鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書　３５

平成３０年度発掘調査報告

（第２分冊）

名越ヶ谷遺跡

小町大路東遺跡

今小路西遺跡

今小路西遺跡

田楽辻子周辺遺跡

平成３１年３月

鎌倉市教育委員会

小町大路東遺跡（大町一丁目 1147 番地点）遺構 243 出土の二彩盤

田楽辻子周辺遺跡（浄明寺一丁目 590 番 2 地点）Ⅱ区 5a 面玉石敷き（東から）

ご あ い さ つ

本市は、市域の６割以上が埋蔵文化財包蔵地であり、多くの市民が埋蔵文化財の眠る土地で生活を送っています。そのため、家屋や店舗の新築や建替え等に伴い、埋蔵文化財に影響を及ぼす工事が行われることも多くあります。このように、私たちが日々の生活を送っていく上でやむを得ず失われる埋蔵文化財について、記録を保存し後世に残すことは、現在を生きる私たちの責務であると言えます。

鎌倉市教育委員会では、昭和５９年度から個人専用住宅の建築等に係る発掘調査を実施しています。本書は平成１７～２３・２５・２６・２９年度に実施した、個人専用住宅の建築等に伴う発掘調査２８か所の調査記録を掲載しています。

本書に収めたひとつひとつの調査成果は、武家政権発祥の地であり、今もその歴史を継承し、文化を発信する鎌倉の貴重な文化遺産です。これらの成果を広く知っていただくとともに、研究資料として活用されることを願って止みません。

最後になりましたが、発掘調査の実施にあたっては、関係者の皆様に深い御理解を賜るとともに、さまざまな御協力をいただきましたことを心からお礼を申しあげます。

平成 31 年 3 月 29 日

鎌倉市教育委員会

例　　言

1　本書は平成 30 年度の国庫補助事業埋蔵文化財緊急調査に係る発掘調査報告書（第２分冊）である。
2　本書所収の調査地点は別表・別図のとおりである。
3　現地調査及び出土資料の整理は、鎌倉市教育委員会文化財課が実施した。
4　出土遺物及び調査に関する図面及び写真等は、鎌倉市教育委員会文化財課が保管している。
5　各調査の成果は、それぞれの報告を参照されたい。

第２分冊　目次

ごあいさつ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ⅰ
例言・・Ⅱ
目次・・Ⅲ
本誌掲載の平成17～23、25・26・29～30年度発掘調査地点一覧・・・・・・・・・・・・Ⅳ
調査地点位置図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ⅴ

６　名越ヶ谷遺跡（No. 231）大町三丁目 2354 番１、６地点

第一章　調査地点の位置と歴史的環境・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
第二章　調査の経過・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
第三章　出土した遺構と遺物・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
第四章　まとめ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13

７　小町大路東遺跡（№233）大町一丁目 1147 番地点

第一章　調査地点の位置と歴史的環境 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・68
第二章　発見した遺構と遺物 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・75
第三章　考察とまとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・122

８　今小路西遺跡（№201）由比ガ浜一丁目 160 番 17 地点

第一章　調査地点の位置と歴史的環境・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・188
第二章　発見した遺構と遺物・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・195
第三章　考察とまとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・230

９　今小路西遺跡（№201）由比ガ浜一丁目 160 番８、10 地点

第一章　調査地点の位置と歴史的環境・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・284
第二章　発見された遺構と遺物・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・291
第三章　近現代の遺構と遺物・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・368
第四章　考察とまとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・388

10　田楽辻子周辺遺跡（№33）浄明寺一丁目 590 番２地点

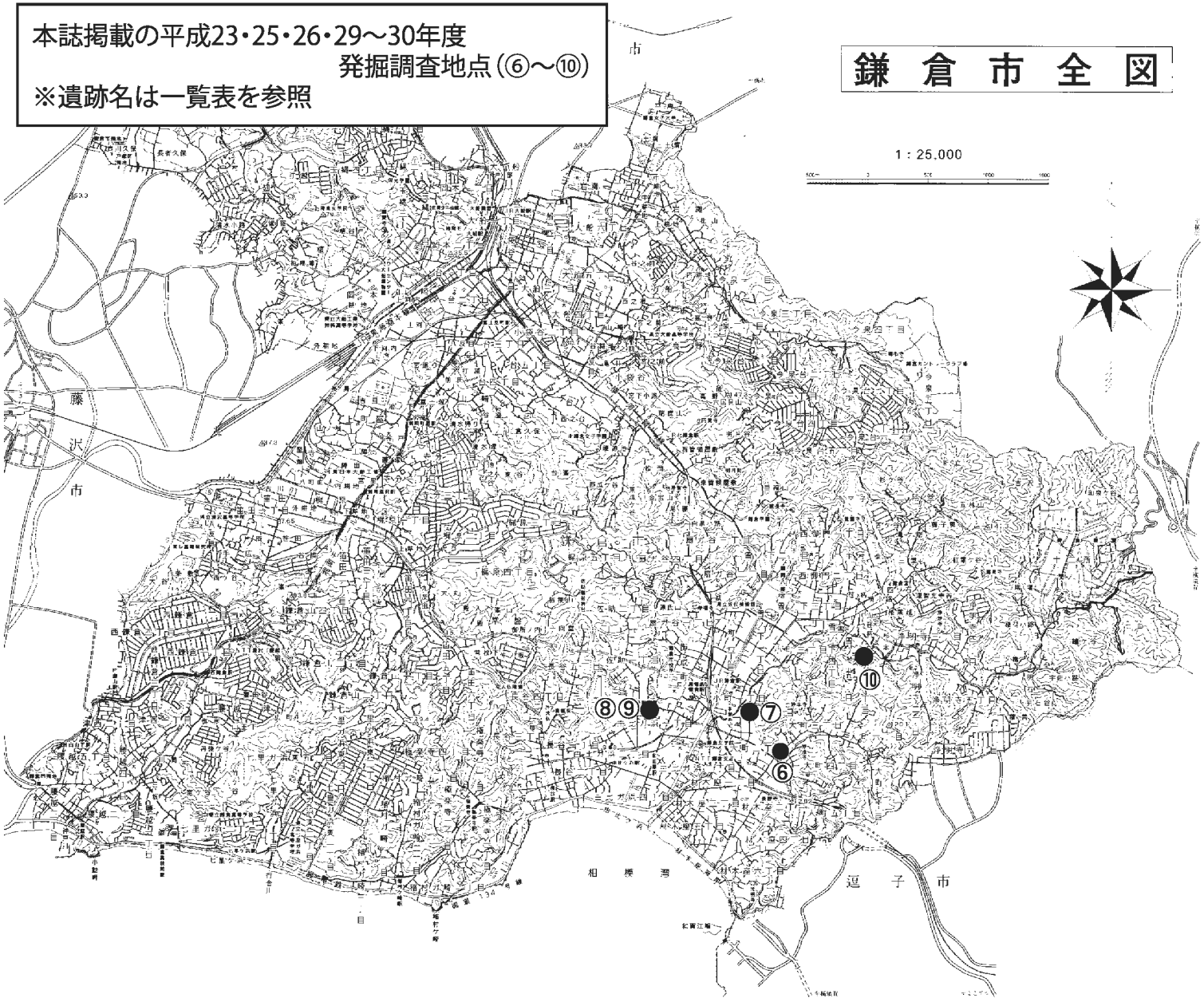
第一章　遺跡の位置と歴史的環境・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・425
第二章　調査の方法と経過・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・427
第三章　基本土層・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・429
第四章　検出遺構と出土遺物・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・431
第五章　調査成果のまとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・450

本誌掲載の平成２３・２５・２６・２９～３０年度発掘調査地点一覧

第2分冊

	遺　跡　名	所　在　地	調　査　原　因	遺跡種別	調査面積	調　査　期　間
6	名越ヶ谷遺跡 (N0,231)	大町三丁目2354番1、6	個人専用住宅 (表層改良工事)	城館跡	43.20	平成23年7月22日 ～平成23年10月3日
7	小町大路東遺跡 (N0,233)	大町一丁目1147番	個人専用住宅 (表層改良工事)	都　市	70.00	平成25年5月23日 ～平成25年9月6日
8	今小路西遺跡 (№201)	由比ガ浜一丁目160番17	個人専用住宅 (柱状改良工事)	城館跡	45.00	平成26年1月14日 ～平成26年4月11日
9	今小路西遺跡 (№201)	由比ガ浜一丁目160番8、10	個人専用住宅 (柱状改良工事)	城館跡	49.00	平成26年5月22日 ～平成26年9月19日
10	田楽辻子周辺遺跡 (N0,33)	浄明寺一丁目590番2	個人専用住宅 (柱状改良工事)	城館跡	41.06	平成30年2月16日 ～平成30年4月26日

本誌掲載の平成23・25・26・29～30年度
発掘調査地点（⑥～⑩）
※遺跡名は一覧表を参照



名越ヶ谷遺跡（№231）

大町三丁目2354番1、6地点

例　言

１．本書は鎌倉市大町三丁目2354番1、6地点に所在する、個人専用住宅の新築に先だち行われた、名越ヶ谷遺跡(県遺跡台帳№231)の発掘調査報告書である。

２．発掘調査は2011年７月22日から同年10月３日にかけて、鎌倉市教育委員会文化財課が実施した。

３．本書使用の遺構図及び遺物実測図は調査員が分担し、原稿執筆は福田 誠が担当した。編集は福田が行った。

４．本書に使用した遺構写真は福田が、遺物写真は須佐仁和が撮影を行った。

５．調査の体制は以下の通りである。

発掘調査

主任調査員　福田 誠(鎌倉市教育委員会嘱託)　玉林美男

調　査　員　伊丹まどか　渡邊美佐子　栂岡渓音　須佐仁和　小野夏菜

作　業　員　(社)鎌倉市シルバー人材センター

整理作業

主任調査員　福田 誠(鎌倉市教育委員会嘱託)

調　査　員　栂岡渓音　森谷十美　佐藤千尋　須佐仁和(撮影)

６．発掘調査資料(記録図面・写真・出土遺物)は、鎌倉市教育委員会が一括保管している。

本文目次

第一章　調査地点の位置と歴史的環境・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
第二章　調査の経過・・6
第三章　出土した遺構と遺物・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
　第１節　層序・・6
　第２節　遺構と遺物・・8
第四章　まとめ・・・13

挿図目次

図１　調査地点位置図とグリッド設定図・・・5
図２　土層断面図・・・・・・・・・・・・・7
図３　第１面・第２面平面図・・・・・・・・・9
図４　第３面・第４面平面図・・・・・・・・11
図５　第５面・第６面平面図・・・・・・・・12
図６　第７面と遺構断面図・・・・・・・・・15
図７　表採・第１面土坑１の遺物・・・・・16
図８　第１面　土坑１の遺物・・・・・・・17
図９　第２面までの遺物・・・・・・・・・・18
図10　第２面・第２面遺構の遺物・・・・・19
図11　第３面まで・第３面遺構の遺物・・・・・20
図12　第４面までの遺物・・・・・・・・・・・21
図13　第４面・第４面柱穴の遺物・・・・・・22
図14　第４面土坑・溝状１の遺物・・・・・・23
図15　第４面落ち込み１の遺物・・・・・・・24
図16　第５面までの遺物・・・・・・・・・・25
図17　第５面・第５面遺構、第６面遺構の遺物・・26
図18　第６面まで・第６面の遺物・・・・・・27
図19　第６面井戸、土坑、柱穴の遺物・・・・・28
図20　第７面まで・第７面遺構の遺物・・・・・29

表目次

遺物観察表１～６・・・30

図版目次

図版１　第１面全景・・・・・・・・・・・・36
図版２　第１面土坑１遺物出土状況・・・・37
図版３　第２面全景・・・・・・・・・・・・38
図版４　第２面遺物出土状況・・・・・・・39
図版５　第３面全景・・・・・・・・・・・・40
図版６　第４面全景・・・・・・・・・・・・41
図版７　第４面の調査・・・・・・・・・・・42
図版８　第５面全景・・・・・・・・・・・・43
図版９　第５面遺物出土状況・・・・・・・44
図版10　第６面全景・・・・・・・・・・・・45
図版11　第６面の調査・・・・・・・・・・・46
図版12　第７面全景・・・・・・・・・・・・47
図版13　第７面の調査と土層断面・・・・・48
図版14　表採・１面土坑１の遺物・・・・・・・49
図版15　第１面土坑第１・２面までの遺物・・・50
図版16　第２面まで・第２面・２面遺構の遺物・・51
図版17　第３面まで・第３面遺構の遺物・・・・52
図版18　第４面までの遺物・・・・・・・・・・53
図版19　第４面・第４面柱穴の遺物・・・・・・54
図版20　第４面土坑の遺物・・・・・・・・・・55
図版21　第４面遺構・第５面までの遺物・・・・56
図版22　第５面まで・第５面の遺物・・・・・・57
図版23　第５面遺構・第６面までの遺物・・・・58
図版24　第６面まで・第６面の遺物・・・・・・59
図版25　第６面遺構の遺物・・・・・・・・・・60
図版26　第７面まで・第７面遺構の遺物・・・・61

第一章　歴史的環境と調査地点の位置

鎌倉は縄文時代前期の海進期(約5,000～6,000年前)には、海面が今より約10m近く上昇し、入り込んだ海水により鎌倉湾が形成され、現在の鶴岡八幡宮付近まで海岸線が迫っていたと考えられる。縄文時代後期の海退期(約4,000年前)よりしだいに平野部分の陸地化が進み、弥生時代(約2,000年前)にはさらに乾燥がすすみ、海岸線付近では堆積した砂によって砂丘が形成されていった。砂丘の背後(北側)にはラグーン(後背湿地)が形成され、旧市内を流れる最大の河川である滑川をはじめ二階堂川、扇川、佐助川などが流れ込んでいた。砂丘や河川によって作られた自然堤防上に、点々と人々が居住を始めたと考えられている。

奈良時代には鎌倉郡の郡衙(郡役所)が置かれ、政治経済の重要な位置を占めていたと考えられる。平安期には、源頼義が石清水八幡宮を勧請した元八幡宮、八幡太郎義家の生まれた甘縄の館、亀ヶ谷の義朝の居館等の存在が知られ、源頼朝が鎌倉に入る1180年以前から源氏相伝の地であった。

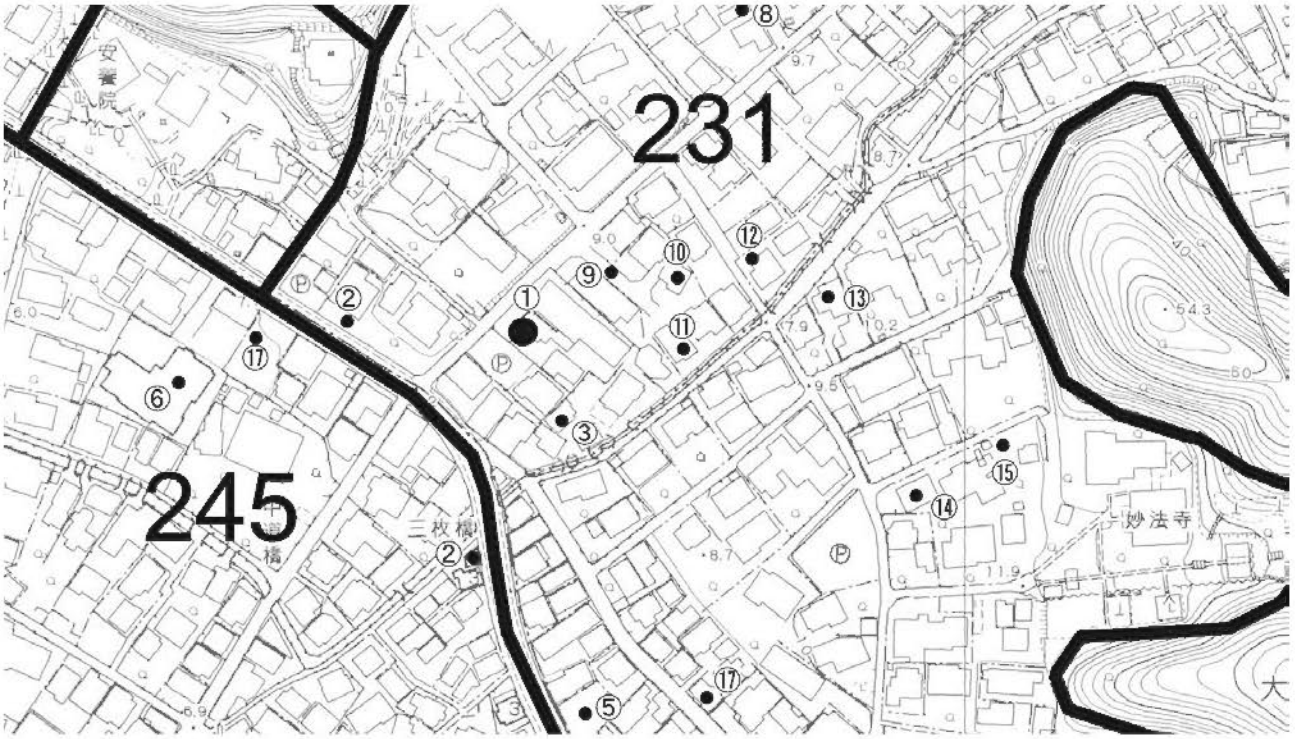
調査地点は下馬交差点から名越へ抜ける途中、名越四つ角を北方向に曲がり直線で約30m、名越ヶ谷の入口付近にあたる。

調査地点は大町三丁目 2354 番 1、6 地点に所在する。遺跡名の名越とは鎌倉の東南部一帯を指していたようで頼朝入府以前、名越は鎌倉の外であったと考えられている。鎌倉郷の東側にあった荏草郷の内にあり頼朝の入府以降、鎌倉に併合されていったものと思われる。名越ヶ谷の南には、後に整備される名越切通しを経て三浦さらに上総へ通じる幹線（旧東海道）が通り交通の要所、鎌倉の出入り口防御の要として重要な位置を果たしていたと考えられる。入り組んだ名越ヶ谷にはいくつかの支谷があり、その内の名越大谷には名越ヶ谷遺跡、山王ヶ谷には山王堂跡、釈迦堂口には北条時政邸跡と推定される遺跡が存在している。このように谷間奥には枝分かれした支谷が開け、釈迦堂の切通しを抜けると大倉から朝比奈へ抜けられる。このように重要な位置を占めていた名越は鎌倉時代初期から拓け、北条時政邸、名越北条氏の居館をはじめ多くの御家人たちが居住していたと思われる。

（福田誠）

参考文献

『鎌倉市史』社寺編・総説編　鎌倉市　吉川弘文館　1959年
『鎌倉事典』白井永二編　　東京堂出版　1976年
『鎌倉廃寺事典』　貫達人・河副武胤編有隣堂　1980年
『としよりのはなし』鎌倉市教育委員会　1971年
「名越ヶ谷遺跡」『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書18（第２分冊）』　鎌倉市教育委員会　2002年３月
「名越ヶ谷遺跡」『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書11（第１分冊）』　鎌倉市教育委員会　1995年３月
「名越ヶ谷遺跡」『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書11（第１分冊）』　鎌倉市教育委員会　1995年３月
「名越ヶ谷遺跡」『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書16（第２分冊）』　鎌倉市教育委員会　2000年３月
「名越ヶ谷遺跡」『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書18（第２分冊）』　鎌倉市教育委員会　2002年３月
「名越ヶ谷遺跡」『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書19』　鎌倉市教育委員会　2003年３月
「名越ヶ谷遺跡」『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書28（第２分冊）』　鎌倉市教育委員会　2012年３月



米町遺跡245

No.	地　　番	調査年	報　告　書　名	刊行年
2	大町二丁目2411番2	1988.7	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書5』「大町二丁目2411番2地点」	1989.3
6	大町二丁目2338番1	1997.11	『米町遺跡発掘調査報告書』「大町二丁目2338番1地点」	1999.9
17	大町二丁目2340番10	2011.4	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書33-1』「大町二丁目2340番10地点」	2017.3

名越ヶ谷遺跡231

1	大町三丁目2354番1.6	2011.7	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書35 』「大町三丁目2354番1.6地点」	2019.3
2	大町三丁目1217番1	1993.7	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書11-1』「大町三丁目1217番1地点」	1995.3
3	大町三丁目2353番2外	2007.12	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書34』「大町三丁目2353番2外地点」	2018.3
5	大町四丁目2406番1	2005.7	県埋蔵報告51	
8	大町三丁目1230番4.7.10	2006.2	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書35』「大町三丁目1230番4.7.10地点」	2019.3
9	大町三丁目2356番3	2000.8	『名越ヶ谷遺跡発掘調査報告書』「大町三丁目2356番3地点」	2001.12
10	大町三丁目2356番11	2001.1	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書19』「大町三丁目2356番11地点」	2003.3
11	大町三丁目2356番10	2001.4	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書19』「大町三丁目2356番10地点」	2003.3
12	大町三丁目1826番9	2000.8	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書18-2』「大町三丁目1826番9地点」	2002.3
13	大町四丁目1880番6外	1993.5	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書11-1』「大町四丁目1880番6外地点」	1995.3
14	大町四丁目1888番	1998.12	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書16-2』「大町四丁目1888番地点」	2000.3
15	大町四丁目1888番の一部	2007.7	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書28-2』「大町四丁目1888番の一部地点」	2012.3
17	大町四丁目2370番2の一部	2017.2	報告書作成中	

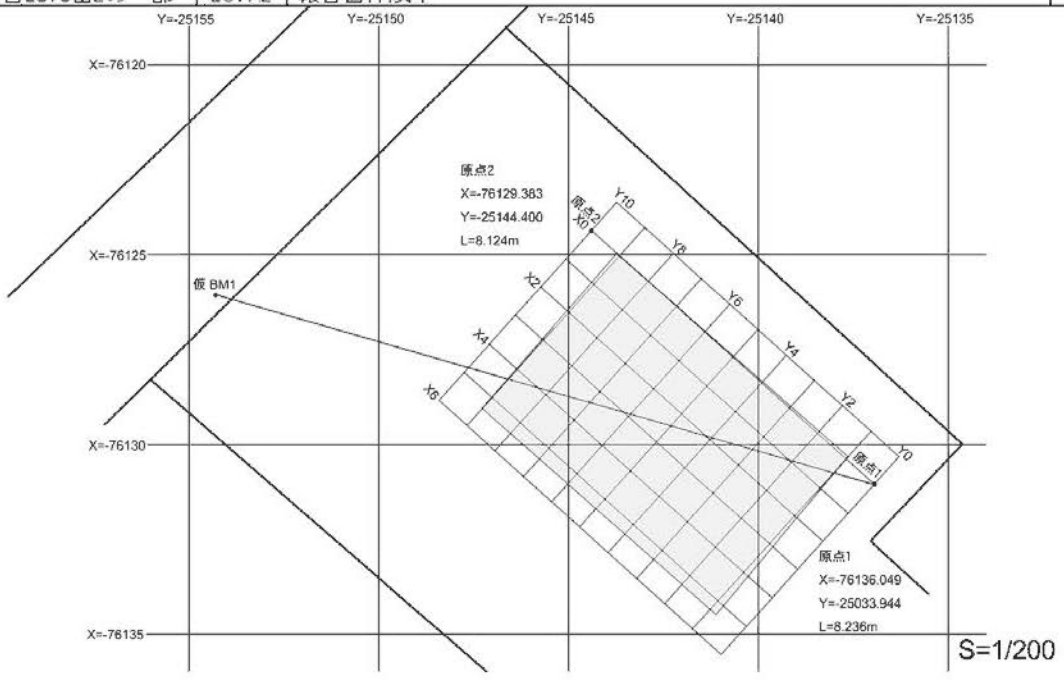


図１　調査地点位置図とグリッド設定図

第二章　調査の経過

遺跡は北緯35° 18′ 48″、東経139° 33′ 24″に位置し、グリットの基準とした原点１(X=-76136.049 Y=-2525033.944)、原点２(X=-76129.383 Y=-25144.400)は、市内４級基準点のＢ005(X=-76510.145 Y=-24756.385)とＢ006(X=-76539.416 Y=-24739.974)を基に設定したものである。調査中に使用したレベルは、大町四丁目1872番1に設置してある３級水準点(№53229)の海抜高11.168ｍを移動したもので、調査地の脇に移動した仮原点の海抜高は、8.124ｍである。排土は、調査終了時に再び埋め戻すために周囲に山積みにした。

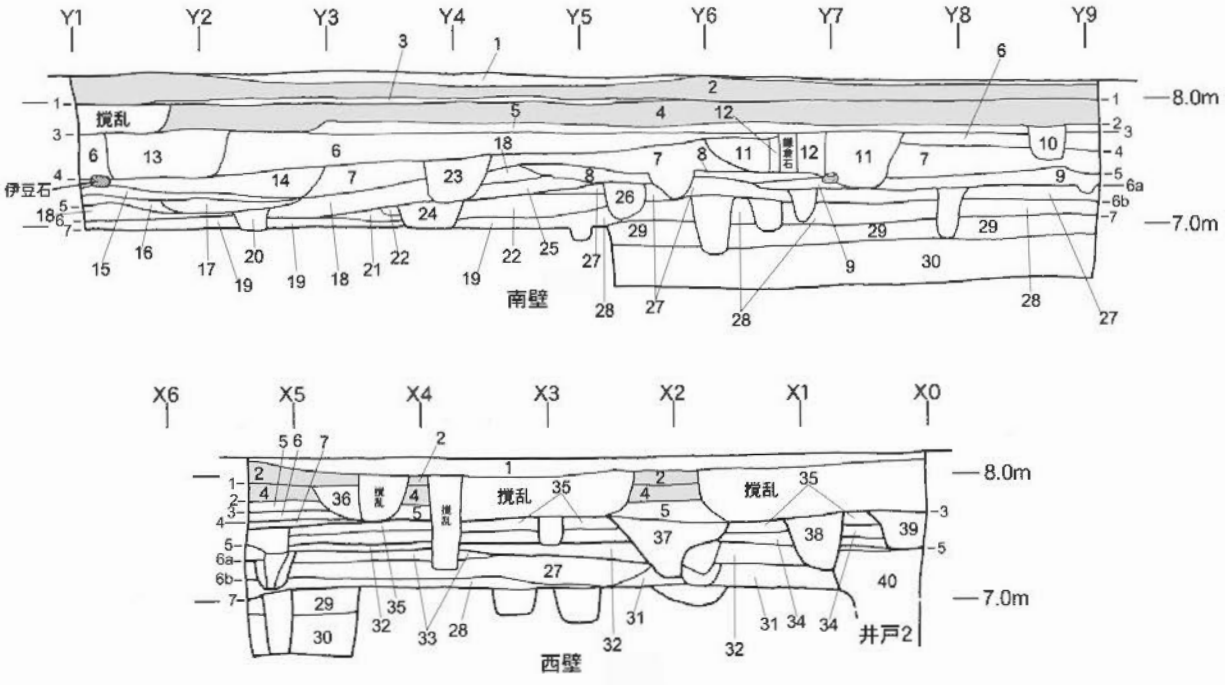
以下、簡単に2011年７月22日から10月３日まで行った調査経過を記す。

７月22日　調査機材の搬入と人力による表土掘削を開始。調査地点脇に仮原点を設け、調査区を設定。
25日　試掘坑を掘り上げ、土層断面を検討し調査予定を立てる。
26日　第１面面出し、精査を開始し、土坑１を検出、掘り下げる。
27日　第１面の全景写真、平面図作成。午後、第２面へ掘り下げ開始。切石列を確認する。
29日　第２面の精査、遺構掘り下げ。
８月１日　第３面へ掘り下げ開始。
３日　第３面の精査、遺構掘り下げ。
４日　第４面へ掘り下げ開始。全体に南から東に遺構面が傾斜する。遺構が多く検出され、薄手のかわらけが多く出土する傾向が見られる。
遺構概念図を作成し順次、遺構を掘り下げる。
10日　第４面全景写真撮影。午後、第５面へ掘り下げを開始。
12日　調査区壁の土層断面図を作成する。お盆期間を含め29日まで一時作業中断。
30日　調査再開。
９月２日　第６面へ掘り下げ開始。概念図を作成する。
８日　井戸１の掘り下げ。井戸２のプラン確認。
12日　井戸２の掘り下げ。平面図作成。
14日　井戸の立面図、北壁土層断面図作成。第７面へ掘り下げ開始。
16日　遺構概念図を作成。
29日　トレンチ調査
10月３日　器材の搬出も含め、全ての調査を終了。検出した遺構と遺物の詳細は次章に譲る。

第三章　検出した遺構と遺物

第１節　**層序**

人力で表土を約10㎝掘り下げると土丹地業面が現れ、土丹で整地された層の厚さは約20～40㎝。比較的多くの近代遺物を検出した。地表面から地山と考えられる黒色粘土層までの深さは約130㎝程で、この間に生活面が約６層確認された。いずれも人為的に整地された土丹混じりの茶灰色ないし灰褐色の粘質土層、砂質土層であった。遺構面は比較的平坦であるが、旧地形は遺跡の東側約50ｍ地点を北から南に流れる逆川に向かって緩やかに傾斜しているようである。



1. 明灰茶色粘質土層
2. 土丹層
3. 黒色粘質土層
4. 土丹層
5. 黒灰色粘質土層
6. 茶灰色粘質土層
7. 淡茶灰色粘質土層
8. 茶灰色砂層土丹層
9. 灰色砂層
10. 黄灰色砂と粗い土丹粒
11. 土丹層
12. 淡茶灰色砂質土層
13. 淡茶灰色砂質土層
14. 淡灰色砂質土層
15. 茶灰色粘質土層
16. 茶灰色粘質砂質
17. 茶灰色砂質土層
18. 灰褐色砂質土層
19. 茶灰色砂質土層
20. 茶灰色砂質土層（土丹多く混じる）
21. 茶褐色土層
22. 淡灰褐色砂質土層
23. 淡茶灰色砂質土層
24. 淡茶灰色砂質土層
25. 暗灰色粘質土層
26. 茶灰色砂質土層
27. 茶褐色砂質土層
28. 茶灰色砂質土層
29. 淡茶灰色粘土層
30. 黒色粘土層
31. 茶灰色砂質土層
32. 明黄灰色砂質土層
33. 暗茶灰色砂質土層
34. 灰色砂質
35. 灰褐色砂質土層
36. 茶灰色砂質土層（土丹粒多く含む）
37. 灰色粘質土層
38. 明灰色砂質土層
39. 明灰色砂質土層
40. 黒灰色粘質土層

図２　土層断面図

第２節　遺構と遺物

ａ．１面の遺構と遺物　図３・７・８、図版１・２・14・15

１面は、海抜8.0ｍで広がる土丹層の面で、近現代建物の基礎と土抗１を検出した。

建物跡は、柱を支える束の位置の地面を40～50cmの範囲で窪め、中に細かな土丹と砕いた鎌倉石を叩き締めて基礎としていた。

土坑１　東西150cm、南北140cmの隅丸方形の土坑で、瓦質火鉢(図７-11～14)、猫行火(ネコアンカ)(図８-28)、角焜炉(カクコンロ)(図８-27)が出土している。

瓦質火鉢(風炉)、猫行火ともに瓦質で表面には丁寧に磨きが入り、炭素を吸着させている為に表面は真っ黒である。４点の瓦質火鉢は接合できないが同一個体と見られる。角焜炉は壊されて廃棄されたようで、細片に砕けていたものを復元したものである。「三河名産製造組合新美海之助」銘が空気窓の脇に刻印されている。愛知県高浜市付近で生産されたもので、この名称が用いられているものは明治23年～43年にかけて製造されたものか。現在でも三河コンロの名で炭火焼き七輪等が名産品として生産されている。

ｂ．２面の遺構と遺物　図３・９・10、図版３・４・16

２面は海抜7.8ｍ前後で広がる黒灰色粘質土層の面で、柱穴18口、土坑11口、かわらけ溜りを検出した。柱穴には規則性が見られないことから、建物は想定できない。

切石列　調査地東側で、300×300cmの範囲で鎌倉石の切石列を検出した。30×45cm程の切石を挟むように20×45cm程の切石が縁を整える様に据えられることから、石畳の通路だったのかもしれないが、遺存状態が悪く詳細は不明。

土坑２　１面の撹乱。

土坑３　１面の撹乱。

土坑４　長径90cm、短径55cm、深さ44cm。茶灰色粘質土、細かい土丹粒とかわらけ片、炭を含む。

土坑５　長径125cm、短径105cm、深さ39cm。茶灰色砂質土細かい土丹粒とかわらけ片含む。糸切りかわらけ大小と常滑片口Ⅱ類出土。

土坑６　径55cm、深さ34cm。淡茶灰色砂質土、土丹、炭、貝殻含む。

土坑７　長径65cm、短径55cm、深さ５cm。茶灰色粘質土、糸切りかわらけ出土。

土坑８　長径55cm、短径40cm、深さ10cm。茶灰色砂質土、糸切りかわらけと鉄釘出土。

土坑９　１面の撹乱。

土坑10　１面の撹乱。

土坑11　長径100cm、短径40cm、深さ11cm。茶灰色砂質土。

土坑12　１面の撹乱。

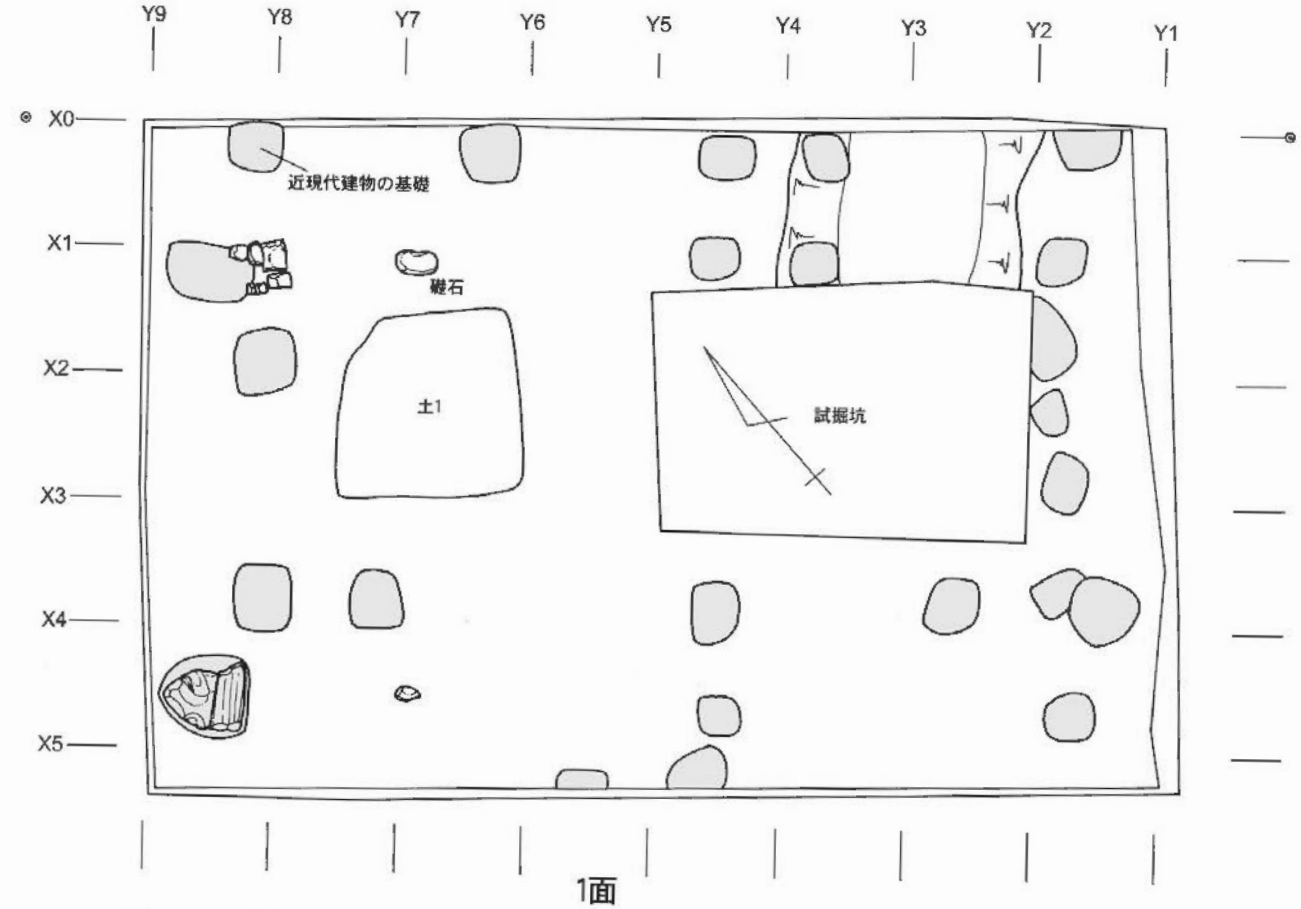
かわらけ溜り１　長径75cm、短径70cm、深さ５cm。淡茶灰色粘質土、糸切りかわらけ、常滑片口Ⅱ類が出土。

２面まで・２面・２面遺構出土の実測できた糸切り成形かわらけ(大)19個の口径/底径比を平均すると、口径１に対する底径比は0.59である。

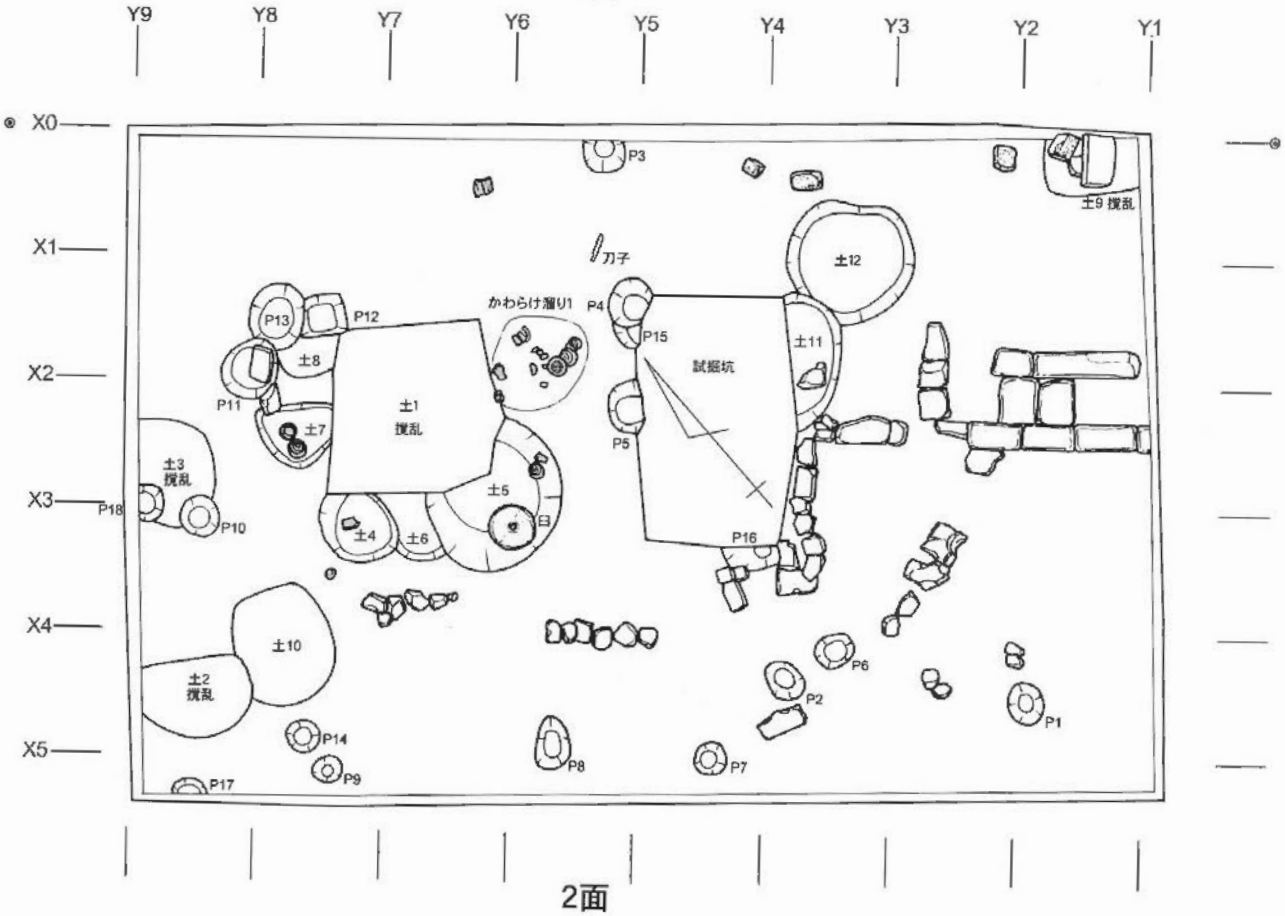
ｃ．３面の遺構と遺物　図４・11、図版５・17

３面は、海抜7.70ｍ前後で広がる茶灰色粘質土層の面である。柱穴16口、土坑７口を検出した。検出した柱穴に規則性は無く、建物として捉えることはできない。遺構の密度は高くない。

柱穴19　温石(図11-131)、柱穴23、片口鉢(図11-129)、柱穴25、青磁碗(図11-128)、柱穴44、緑釉盤(図11-130)が出土している。



1面



2面

図3 第1面・2面平面図

0 2m

土坑13　長径55cm、短径40cm、深さ22cm。灰褐色粘質土。

土坑14　長径60cm、短径45cm、深さ10cm。黒灰色粘質土、糸切りかわらけ出土。

土坑15　径48cm。灰褐色砂質土。

土坑16　長径113cm、短径90cm、深さ25cm。灰色砂質土、土丹を多く含む。

土坑17　長径50cm、短径45cm、深さ14cm。灰色砂質土、締まり無い。

土坑18　長径60cm、短径38cm、深さ10cm。灰色砂質土。

土坑27　径60cm。暗茶灰色砂質土、土丹粒、かわらけ片含む。糸切りかわらけ、、常滑片口Ⅱ類、青磁碗、鉄釘出土。

３面まで・３面遺構出土の実測できた糸切り成形かわらけ(大)３個の口径/底径比を平均すると、口径１に対する底径比は0.61で２面のかわらけとほぼ同じ値である。

ｄ．４面の遺構と遺物　図４・12～15、図版４・18～21

４面は海抜7.6～7.4ｍの淡茶灰色粘質土層の面で、名越ヶ谷に端を発し遺跡の東側を北から南に流れ下る逆川に向かい緩やかに下がっている。柱穴42口、土坑19口と溝状遺構１と落ち込み１を検出した。検出した柱穴に規則性は無く、建物として捉えることはできないが、併せて検出した溝状遺構１と落ち込み1は調査区の東西方向にほぼ並行して確認されている。このことから、当遺跡の基準は、東側に流路がある逆川と現在、名越四角から名越ヶ谷谷奥に向う道路に影響されているものと考えられる。

柱穴38から手捏ね成形かわらけ(小)が初めて１点だけ出土。その他のかわらけはすべて糸切り成形である。糸切り成形のかわらけの口径は、大が12.0～12.9cm、小が6.8～8.7cm程である。常滑は細片ばかりだが甕、片口鉢Ⅰ類・Ⅱ類が出土している。生産年代は13世紀後半代である。

土坑１　長径134cm、短径130cm、深さ30cm。暗茶褐色砂質土、。糸切りかわらけ、、常滑片口Ⅱ類、鉄釘出土。

土坑20　長径138cm、短径130cm、深さ30cm。茶褐色砂質土、土丹粒、炭化物含む。常滑片口Ⅱ類、鉄釘出土。

土坑21　径88cm。茶褐色砂質土。

土坑22　径205cm、深さ37cm。茶灰色砂質土。

土坑23　径105cm、深さ68cm。暗茶灰色砂質土、糸切りかわらけ、青磁碗出土。

４面まで・４面・４面遺構出土の実測できた糸切り成形かわらけ(大)12個の口径/底径比を平均すると、口径１に対する底径比は0.64で、２と３面のかわらけの底径比より若干底部が大きくなる傾向が見られる。

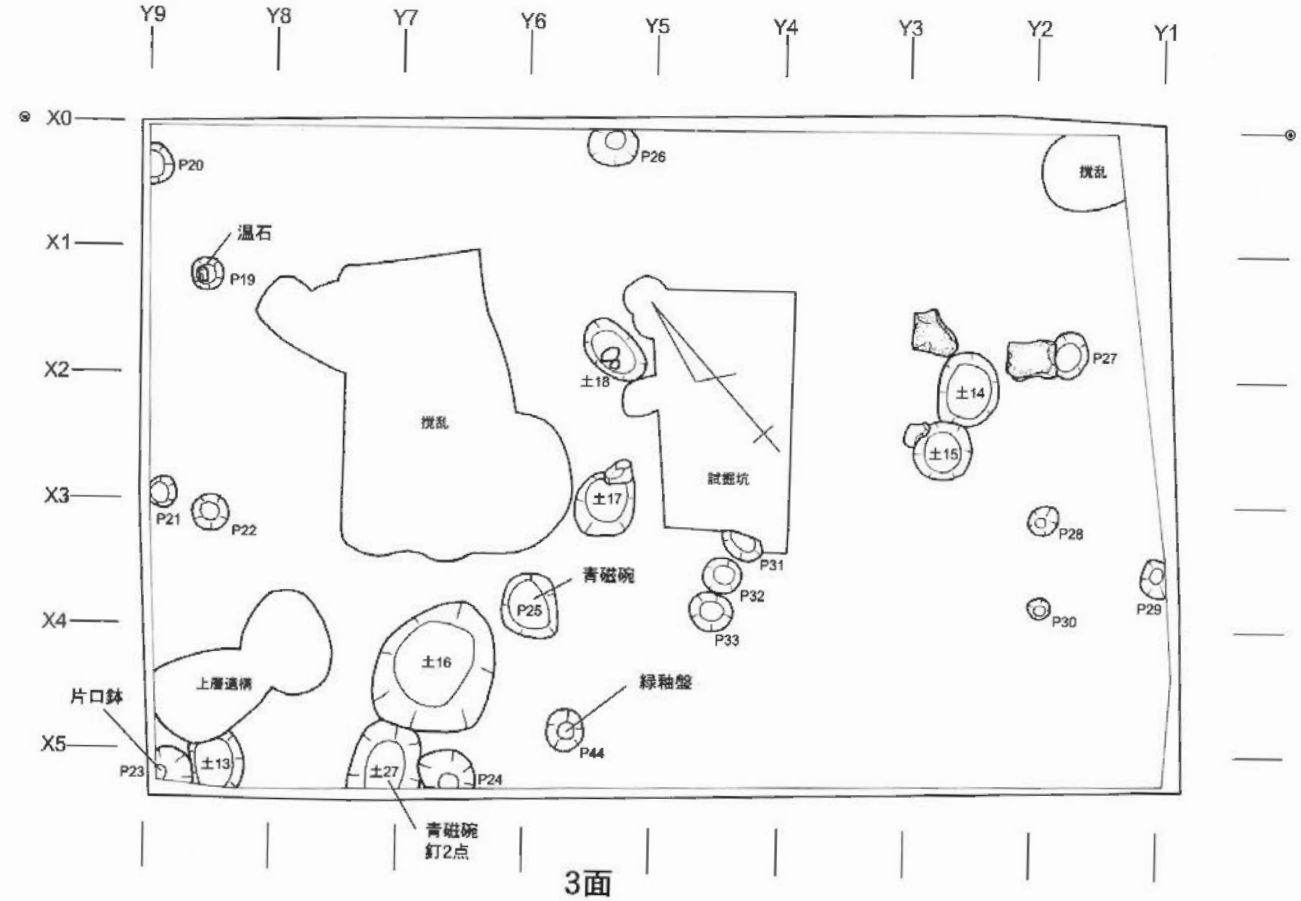
ｅ．５面の遺構と遺物　図５・16・17、図版８・９・21～23

５面は海抜7.1～7.4ｍの茶褐色砂質土層、灰色砂層の面で、４面と同じく東側を北から南に向かい流れ下る逆川に向かって緩やかに傾斜している。柱穴19口、土坑２口を検出した。検出した柱穴に規則性は見られない。２口検出した土坑の内、土坑42は第６面で検出した井戸１の真上に位置している。井戸１が廃棄された後に残った窪みがゴミ穴として使われたものと思われる。５面から手捏ねかわらけ(小)が１点、柱穴92と土坑42から手捏ねかわらけ(小)３点の計４点出土している。併せて土坑42からは、常滑編年５型式の甕と編年６ａ型式の片口鉢Ⅰ類が出土している。

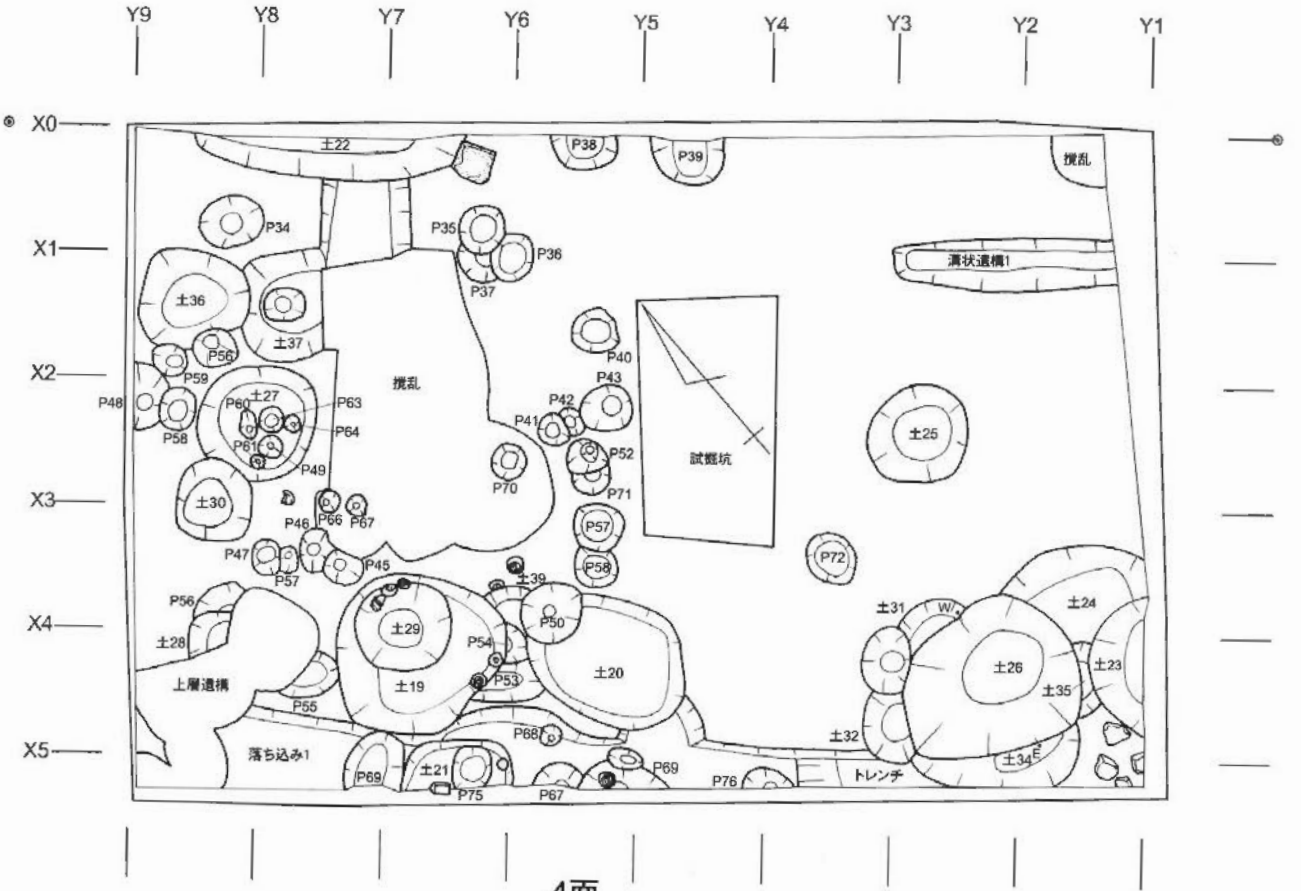
５面・５面遺構出土の糸切り成形かわらけ(大)10個の口径/底径比を平均すると、口径１に対する底径比は0.65で、４面のかわらけとほぼ同じ値である。

ｆ．６面の遺構と遺物　図５・18・19、図版10・11・24・25

６面は海抜7.3～7.05ｍの淡茶灰色粘土層の面が広がる。柱穴64口、土坑６口、井戸２を検出した。



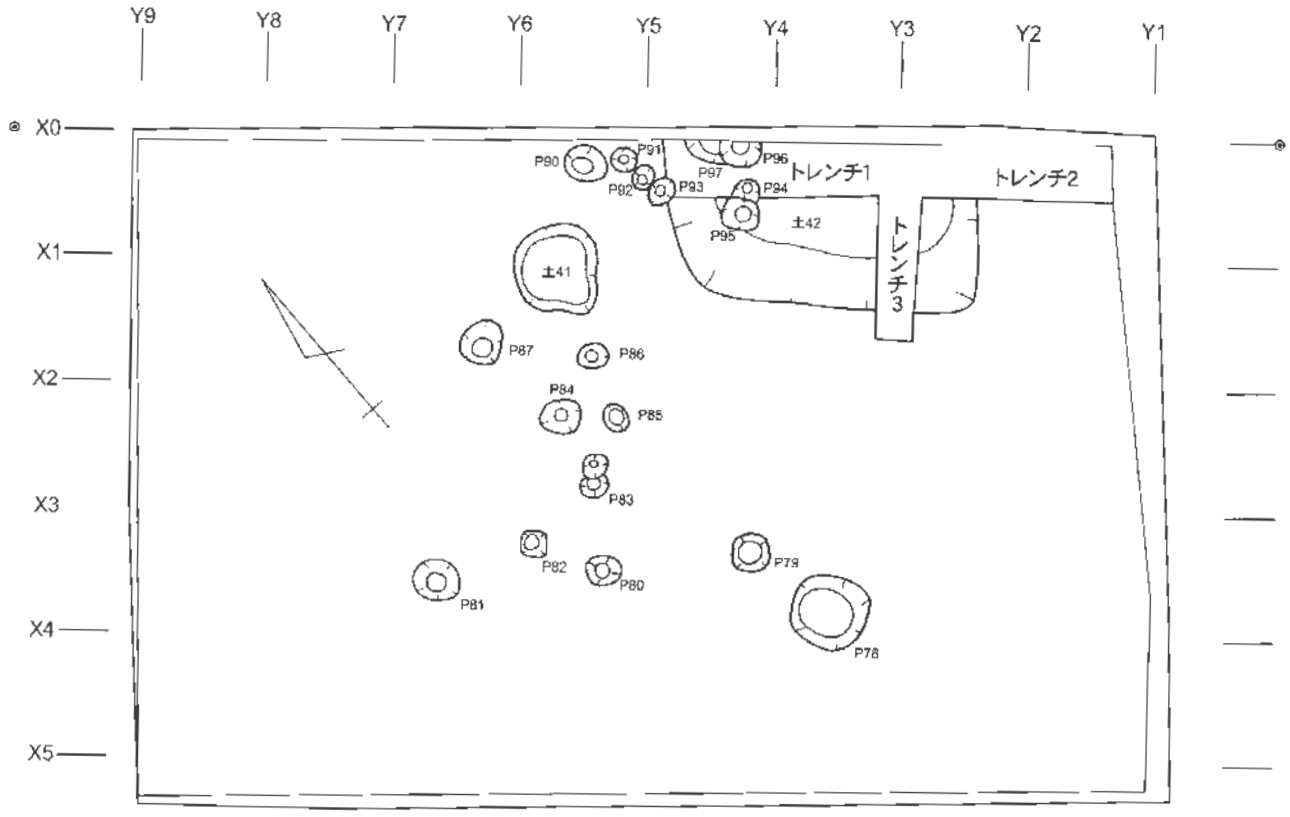
3面



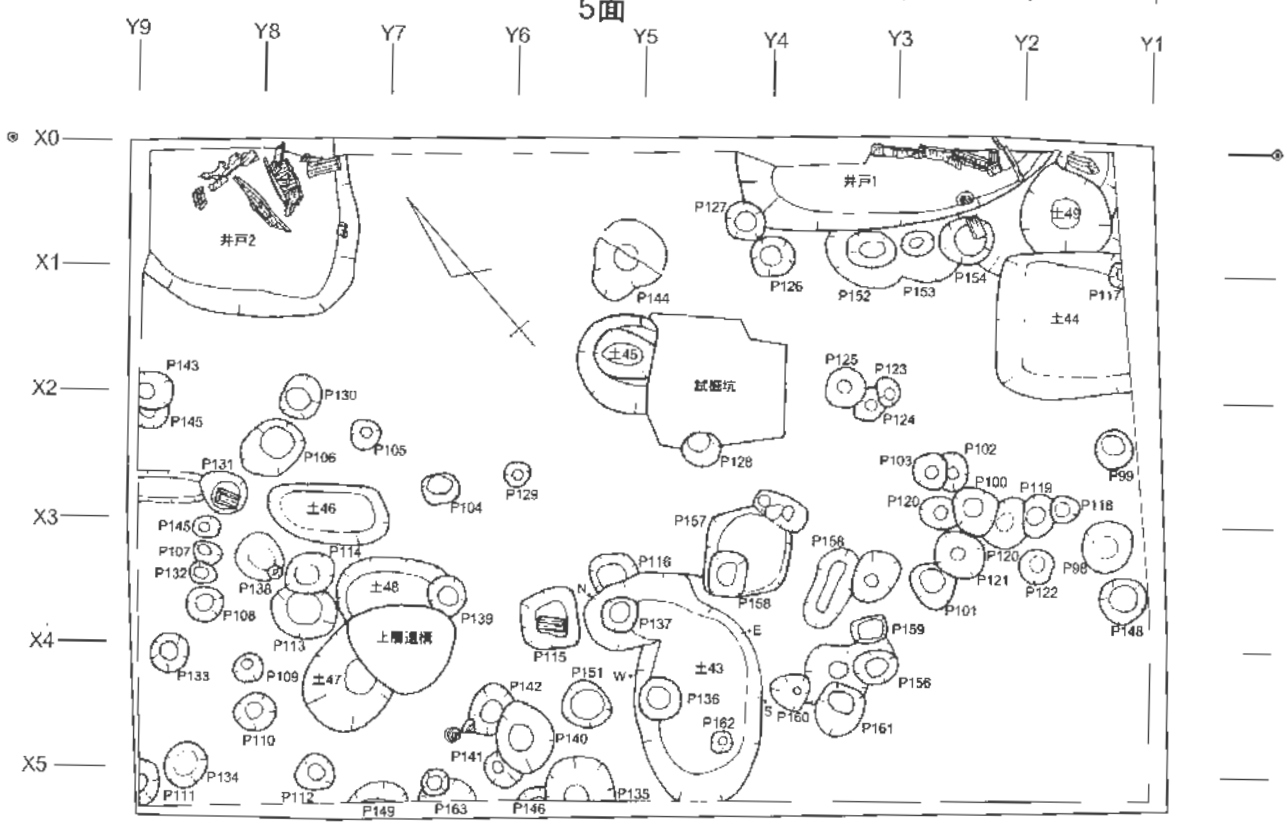
4面

0 2m

図4 第3面・4面平面図



5面



6面

図５ 第５面・６面平面図

0 2m

柱穴115・131・154には底面に礎板が入れられていたが、建物として確認ではきなかった。

６面まで、土坑43・47、柱穴149・156からは手捏ねかわらけ(大)２点、(小)７点の計９点が出土している。併せて出土している常滑片口鉢Ⅰ類・Ⅱ類の生産年代は13世紀後半代である。

６面まで・６面・６面遺構出土の実測できた糸切り成形かわらけ(大)15個の口径/底径比を平均すると、口径１に対する底径比は0.65で、４・５・６面のかわらけの底径比はほぼ同じである。

ｇ．７面の遺構と遺物　図６・20、図版12・13・26

７面は海抜6.95～7.05ｍの淡茶灰色粘質土層が広がる面で、地山と考えられる黒色粘土層の上に堆積しほぼ水平の面である。６面と同じく柱穴176・206・216・228・229の底面には礎板が入れられていたが、建物を確認できなかった。

７面までで手捏ねかわらけ(大)２点、(小)１点、柱穴168から手捏ねかわらけ(大)１点の計４点出土している。７面まで・７面遺構出土の実測できた糸切り成形かわらけ(大)６個の口径/底径比を平均すると、口径１に対する底径比は0.84で、これまでに見た各面のかわらけの底径比と比べ明らかに底部径が大きい。

第四章　まとめ

当遺跡から出土した遺物は、総破片数4962点であった。このうち報告できたものは491点である。破片数からではあるが、4962点の遺物の構成は、舶載品が2.33%、常滑窯製品22.52%、山茶碗0.25%、備前製品0.06%、渥美窯製品0.04%、瀬戸0.47%、手捏ねかわらけ4.64%、糸切りかわらけ63.89%、土製品1.22%、石製品0.68%、鉄製品2.08%、古代0.06%、近代0.95%、その他0.81%であった。

糸切り成形かわらけが63.89%、常滑窯製品が22.52%と実にこの二つで86.41%を占めている。手捏ね成形かわらけ(丸底)と渥美窯の製品が少なく瀬戸の製品も見られることから、この遺跡の主たる年代が13世紀後半代～14世紀代であることが推察される。

大づかみな考察になってしまうが、糸切り成形のかわらけと手捏ね成形のかわらけの出土構成と、糸切り成形のかわらけの底部形状の変化を探ってみた。

２面と３面では、糸切り成形のかわらけと手捏ね成形のかわらけの出土構成を見ると、糸切り成形のかわらけが100%、手捏ね成形のかわらけは無く糸切り成形のかわらけがすべてであった。糸切り成形のかわらけ(大)の口径/底径比を比べたところ、口径１に対する底部径が0.59～0.61で底部が約６割、底部が小さい傾向が見られる。常滑甕、捏鉢では15世紀代のものが見られる。

４面では糸切り成形のかわらけ99.98%：手捏ね成形のかわらけ0.02%で、ほぼ器壁の薄い糸切り成形のかわらけである。糸切り成形のかわらけ(大)の口径/底径比では、口径１に対し底部径は0.64である。

５面と６面では、糸切り成形のかわらけ87.26%：手捏ね成形のかわらけ12.74%で、手捏ね成形のかわらけがかわらけの12.74%を占めるようになる。糸切り成形のかわらけ(大)の口径/底径比を見ると、口径１に対する底部径が0.65と４面とほぼ同じく底部が大きくなる傾向が見られるが、４面との違いは手捏ね成形のかわらけの増加である。

７面では糸切り成形のかわらけ71.43%：手捏ね成形のかわらけ28.57%で、手捏ね成形のかわらけがかわらけ全体の約３割近くを占めるようになる。また、糸切り成形のかわらけ(大)の口径/底径比を見ると、口径１に対する底部径が0.84で、更に底部が大きくなる傾向が顕著になる。

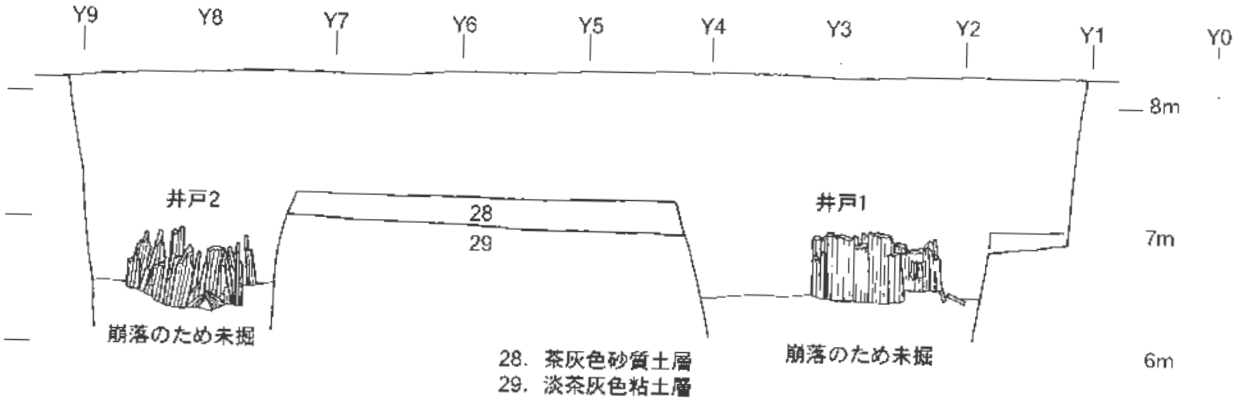
傾向として、下層に行くと手捏ね成形のかわらけの出現率が上がり、口径/底径比を見ると底部径の増大が顕著になるといえる。

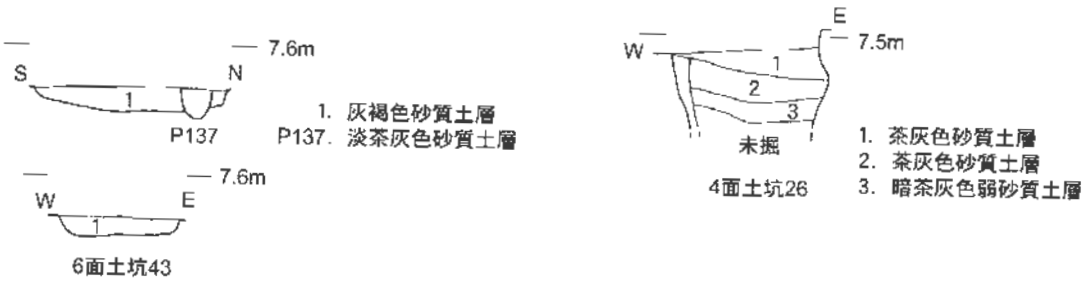
比較的多く出土している常滑甕、捏鉢を見ると、常滑編年４型式から10型式までが確認された。各面で確認した一番新しい型式を挙げると、２面が10型式、３・４面が７型式、５・６・７面が６ａ型式であった。型式を年代で表すと、10型式が1450年～1500年、７型式が1350年～1400年、６ａ型式が1250年～1300年である。あくまでも生産年代で廃棄された年代ではない。

これにかわらけの要素を当てると、おおよそ２面が15世紀代、３面が14世紀後半、４面が14世紀前半、５面・６面が13世紀末、7面が13世紀後半代の年代が考えられる。

遺構では、柱穴と土坑、井戸を検出した。４面・６面・７面では多くの柱穴を検出し、６面・７面では底面に礎板が入れられた柱穴も見ることが出来たが、建物として捉えることは出来なかった。

遺跡の位置は、下ノ下馬から大町を経て名越坂へ向かう大町大路の道筋に近接した町屋の範疇に含まれると考えられるが、この遺構の検出状況から通りに面した整った表ではなく、水場として井戸を中心とした空間に掘っ立て小屋あるいは差しかけ小屋のように頻繁に建て替えるような簡便な建物とゴミ穴（トイレ遺構もあるかもしれないが）が密集する風景が広がっていたと考えられる。





井戸1・2と土坑断面

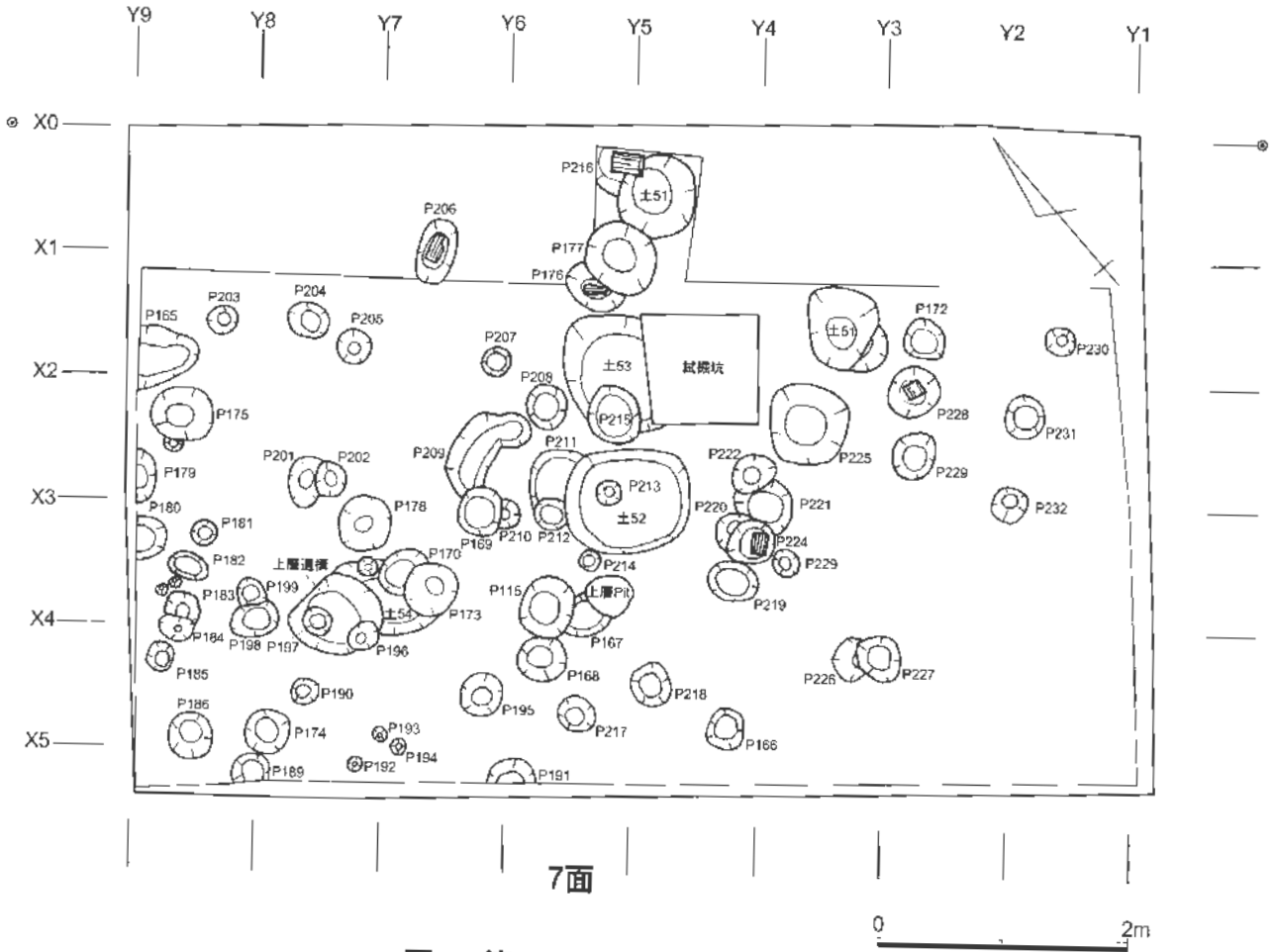


図６ 第７面平面図と遺構断面図

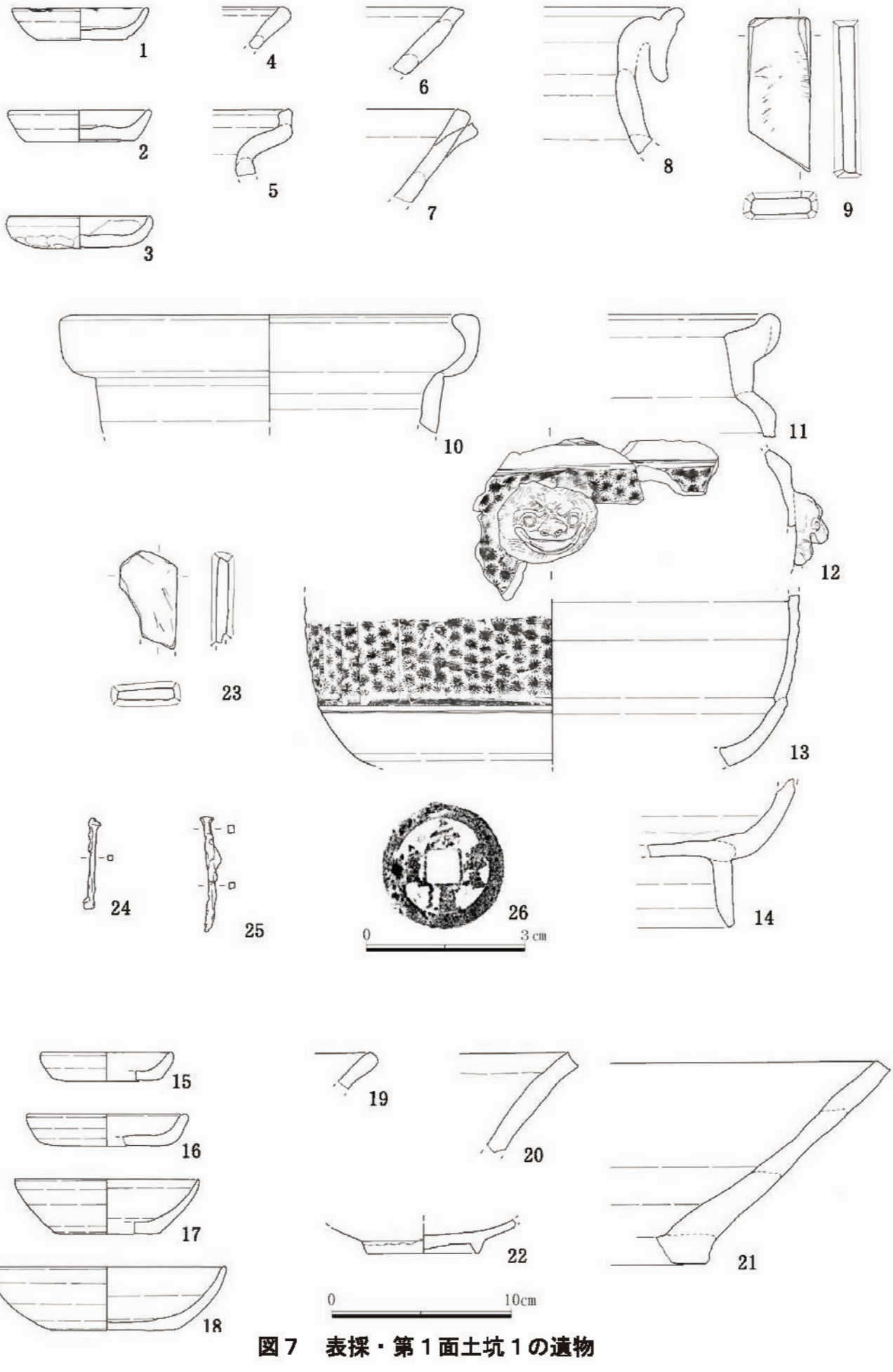


図７　表採・第１面土坑１の遺物

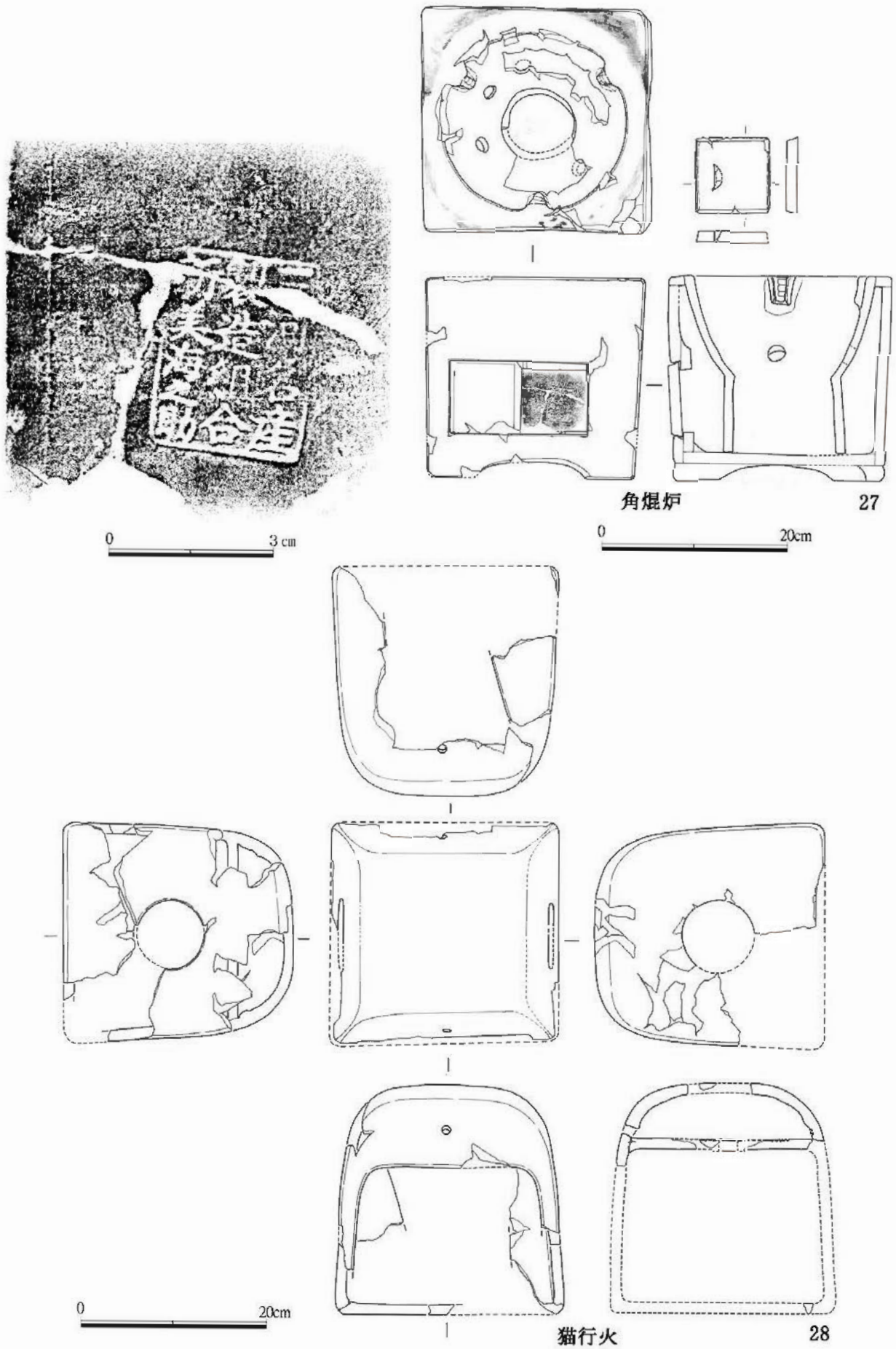


図８　第１面土坑の遺物

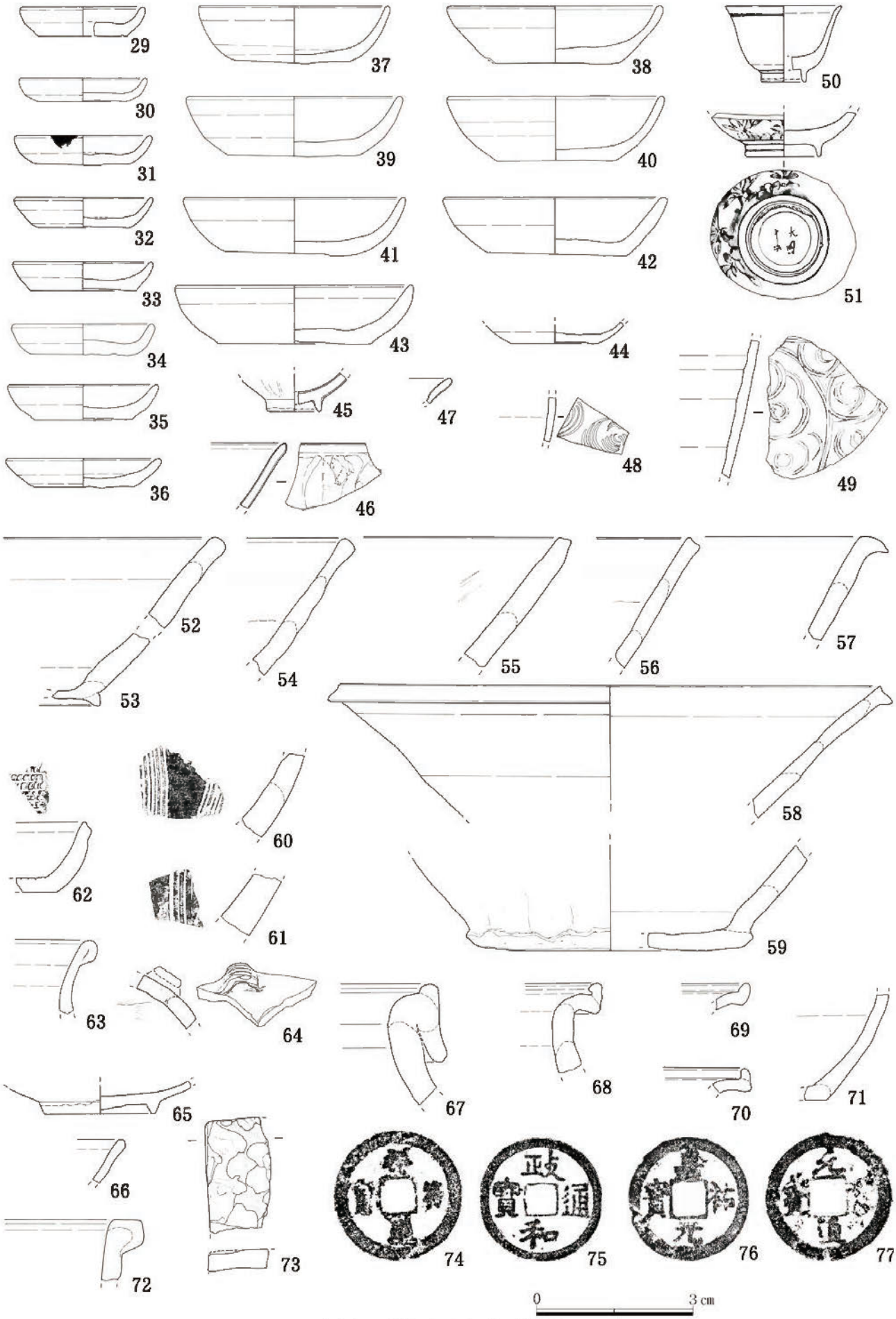

29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
0
3 cm

図９　第２面までの遺物

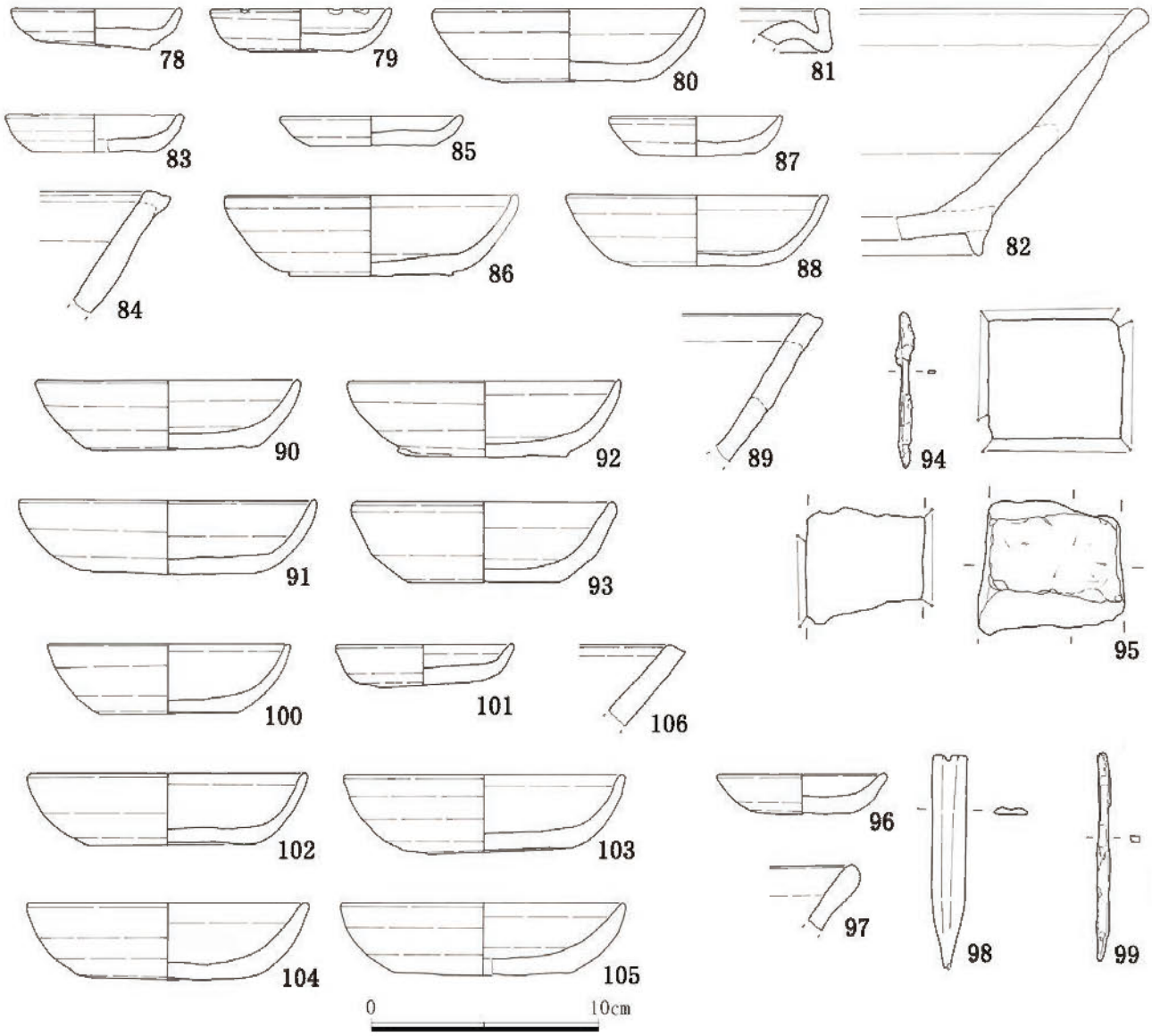


図 10　第２面・第２面遺構の遺物

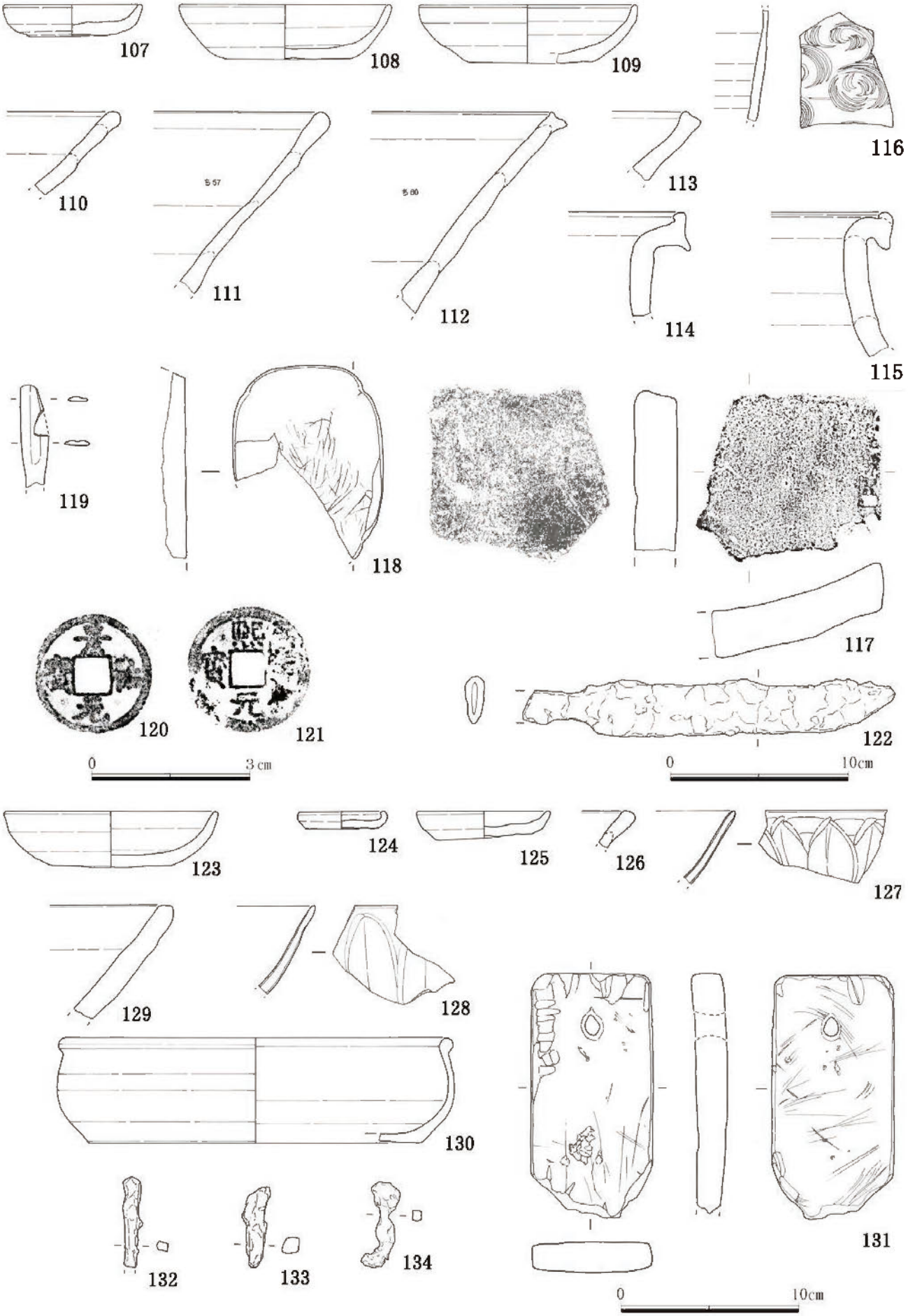


図 11　第３面まで・第３面遺構の遺物

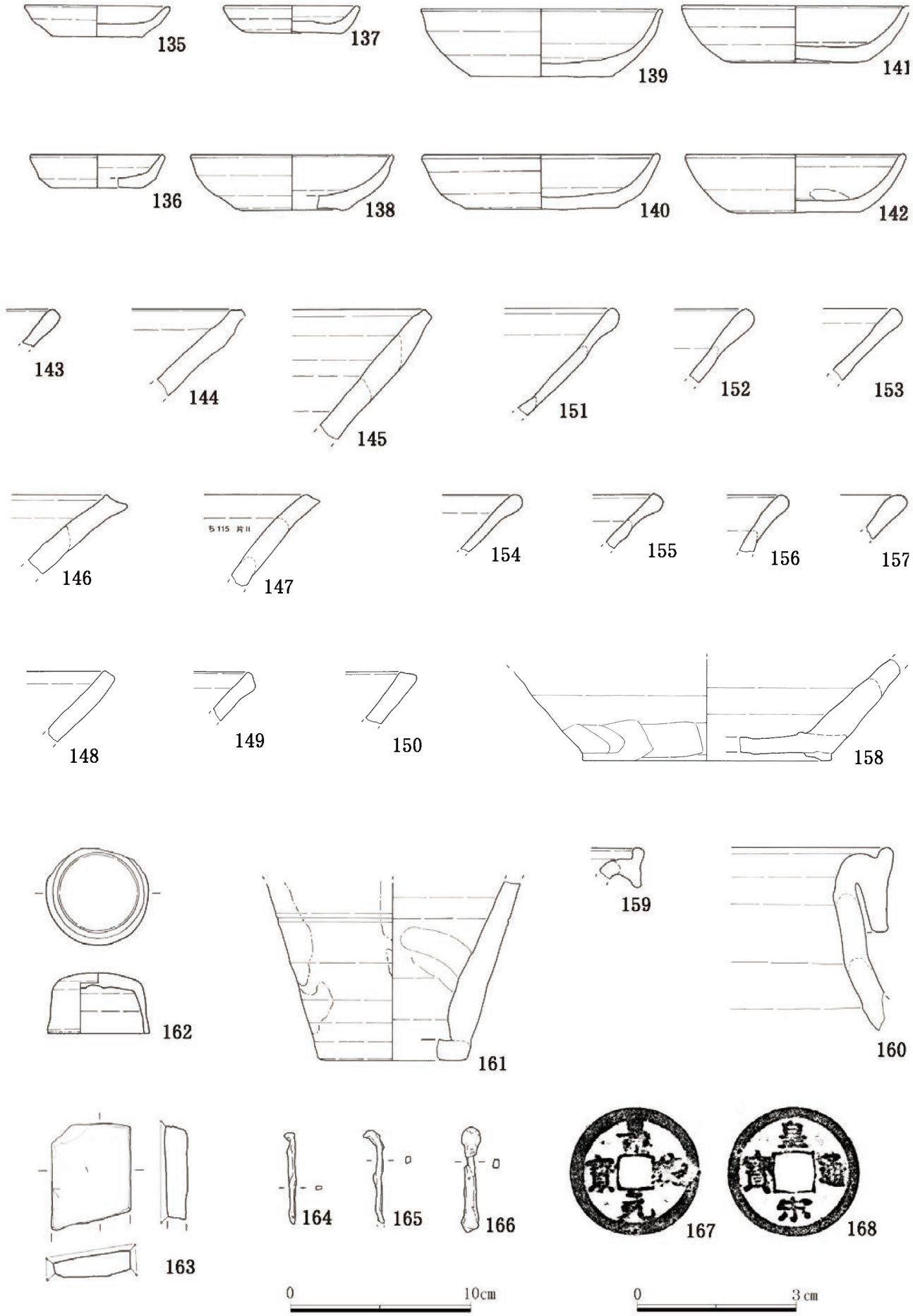


図 12　第４面までの遺物

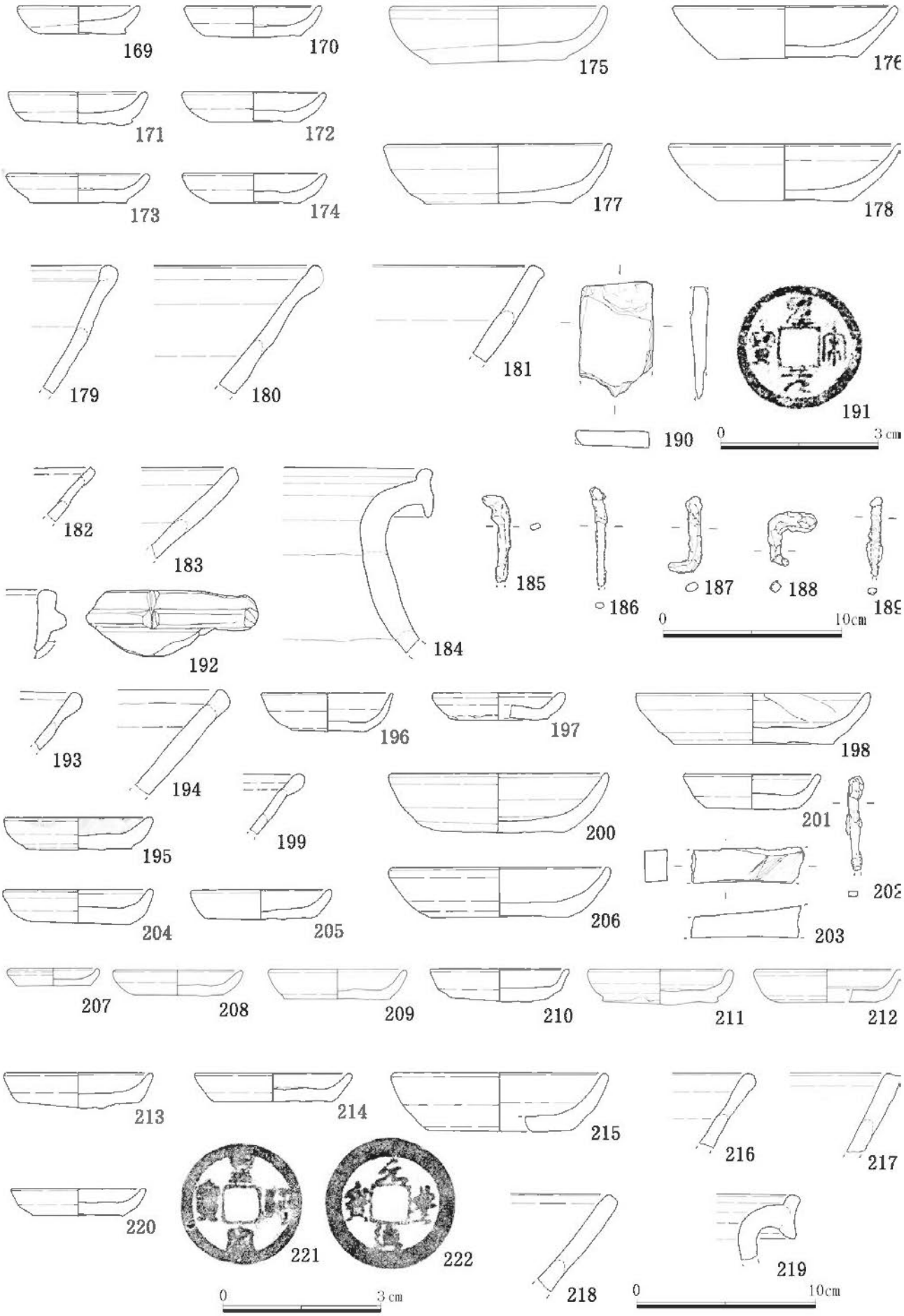


図 13　第４面・第４面柱穴の遺物

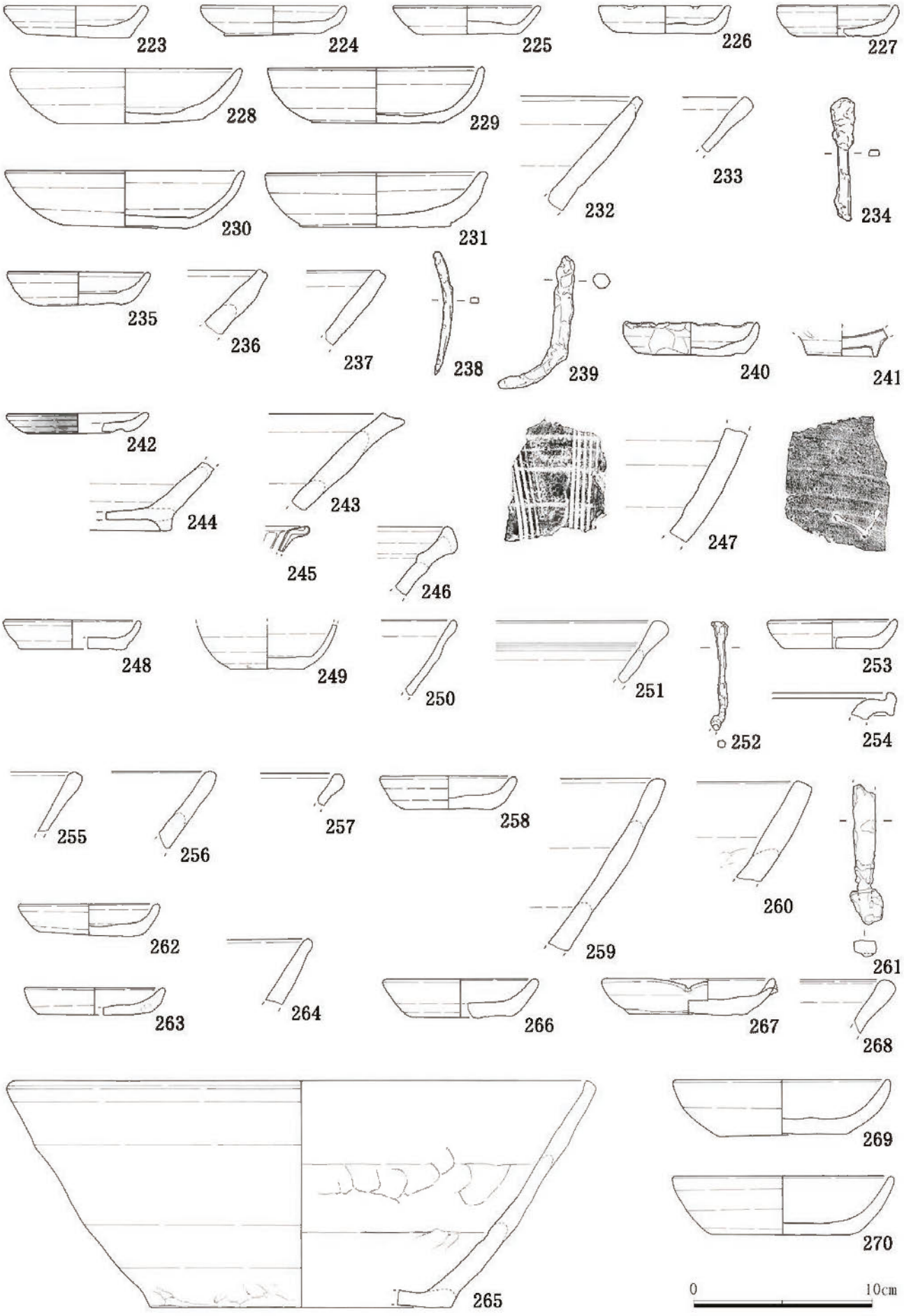


図 14　第４面土坑・溝状遺構１の遺物

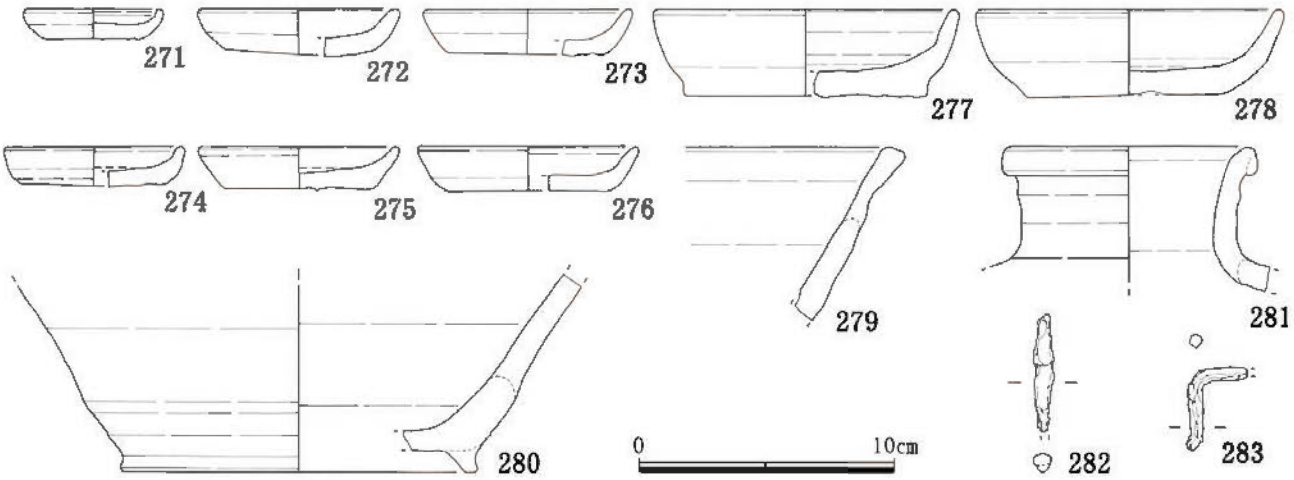


図 15　第４面落ち込み１の遺物

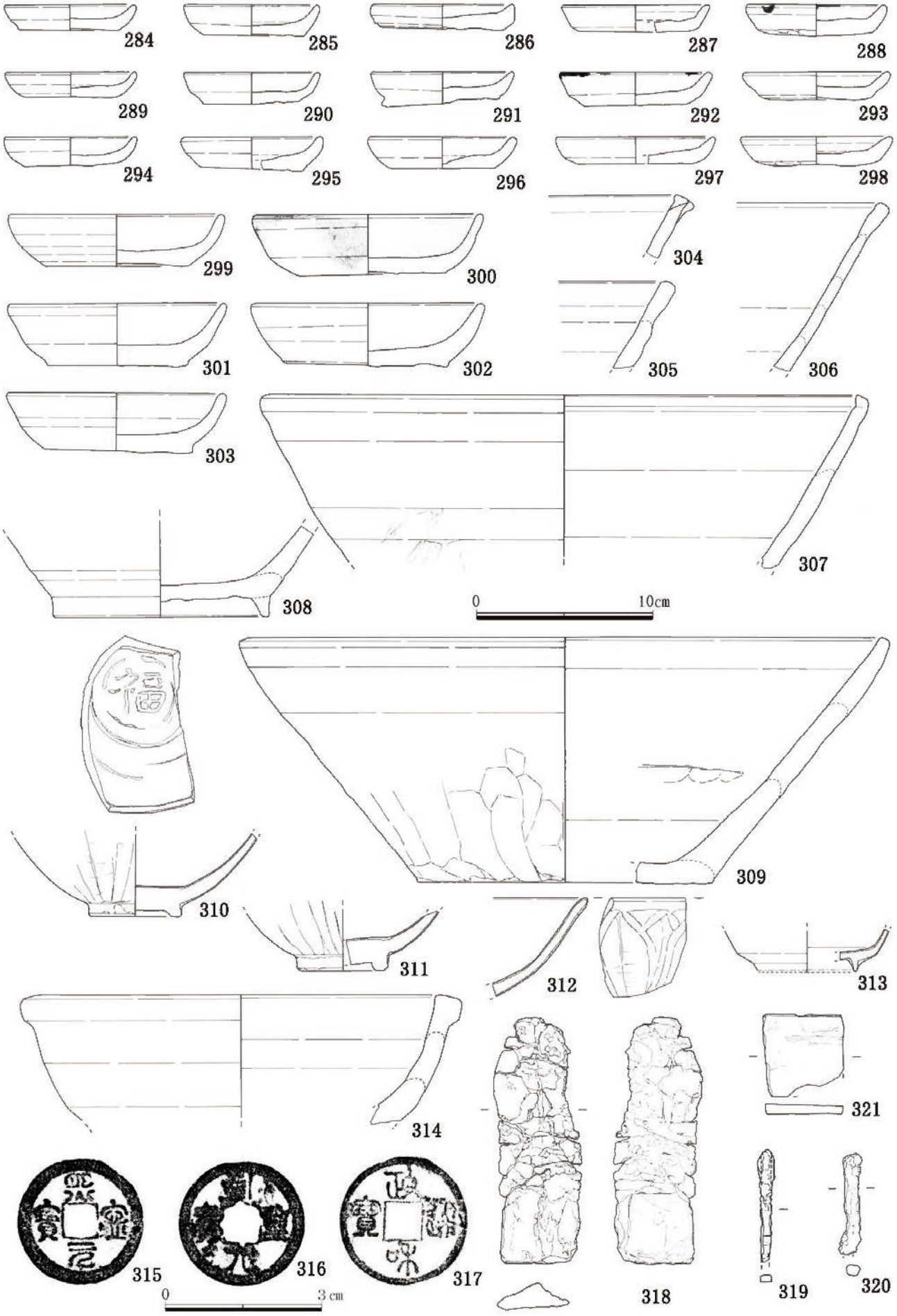


図 16　第５面までの遺物

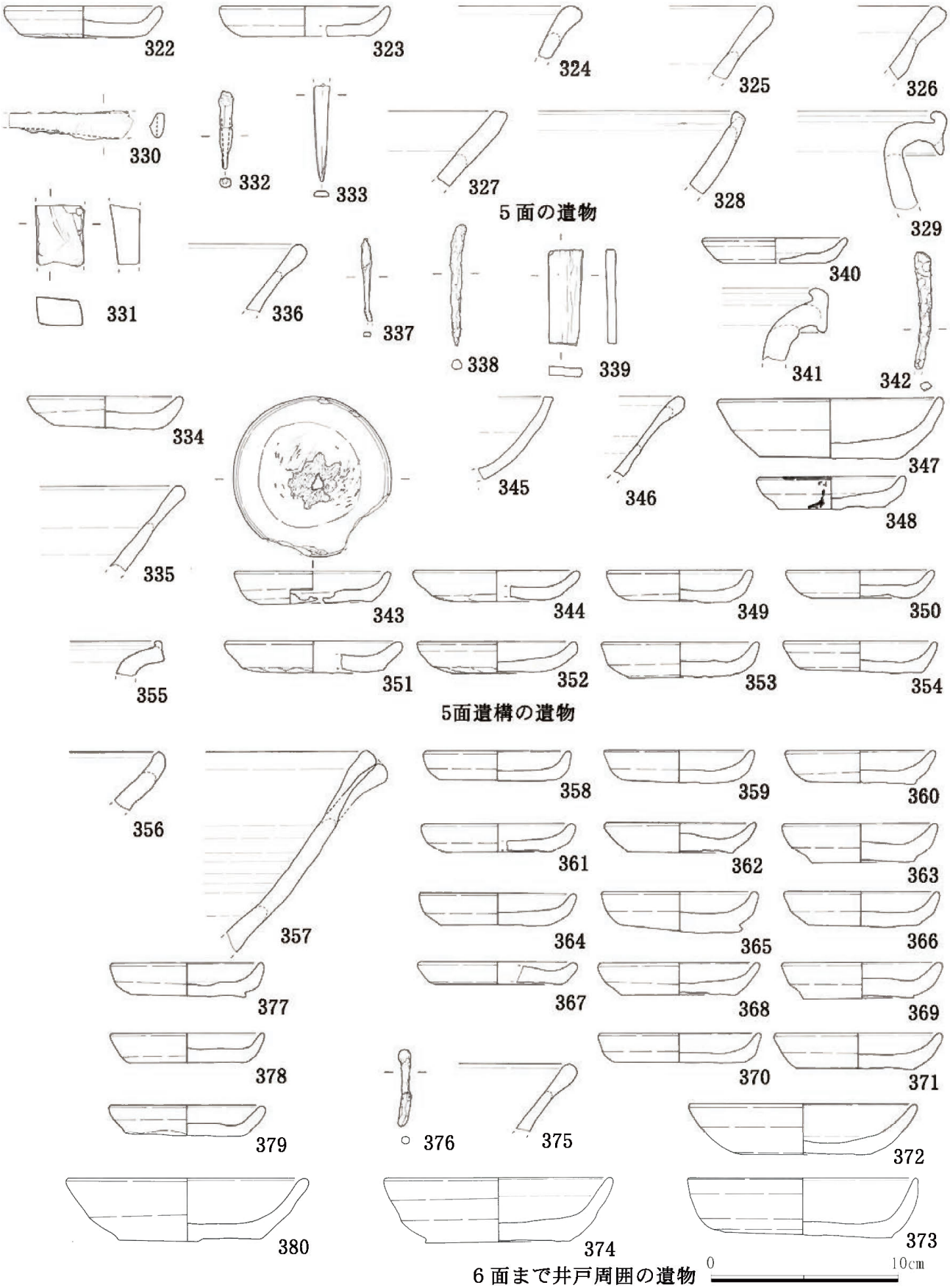


図17　第５面・第５面遺構、 第６面までの遺物

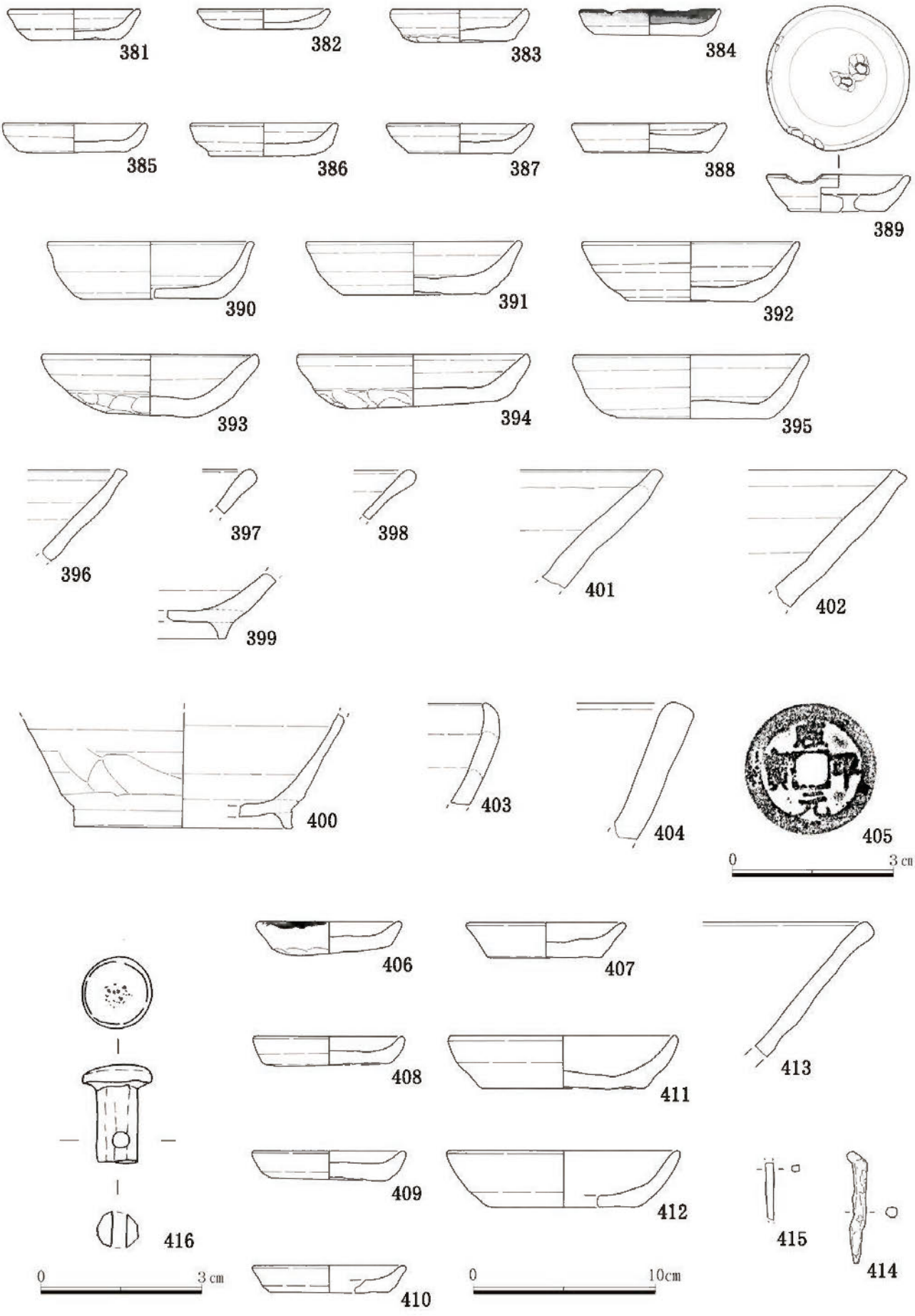


図 18　第６面まで・第６面の遺物

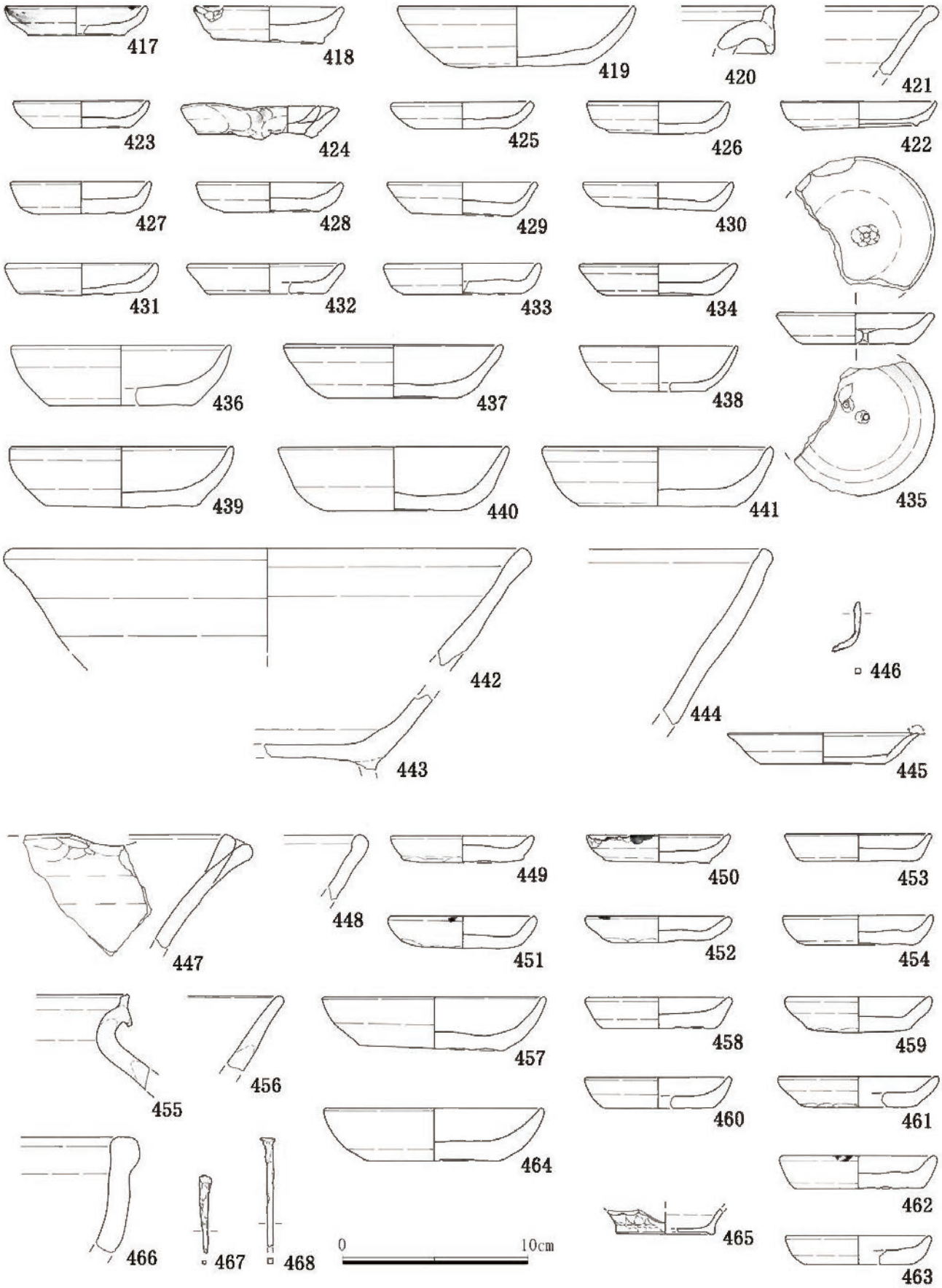


図 19　第６面井戸、土坑、柱穴の遺物

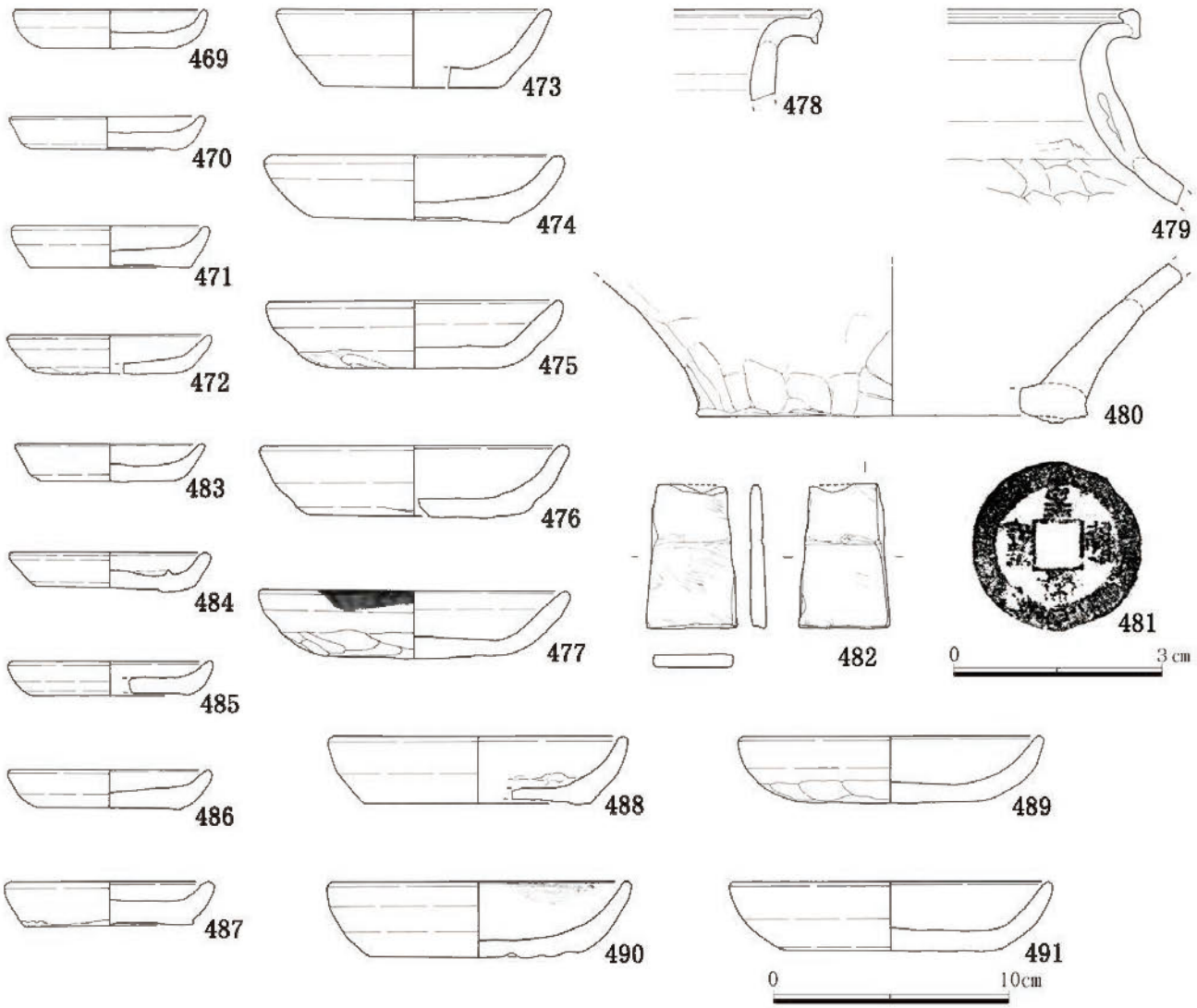


図 20　第７面まで・第７面遺構の遺物

観察表１

図7　表採・1面土坑1の遺物　　（　）は復元法量・単位cm

番号	層位・遺構	種 別	機　種	口径	器高	底径	観　察
1	表土掘削中	土器	糸切りかわらけ(小)	7.7	1.8	5.1	胎土：雲母・白針・クサリ礫・黒色粒　色調：黄橙色　成形：糸切り・スノコ痕　内底ナデ有り　燈明皿
2	表土掘削中	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.9)	1.3	(6.1)	胎土：雲母・白針・クサリ礫・黒色粒　色調：黄橙色　成形：糸切り・スノコ痕
3	表土掘削中	土器	手捏ねかわらけ(小)	7.9	1.8	－	胎土：雲母・白針・クサリ礫・黒色粒　色調：黄橙色　成形：手捏ね　指頭痕
4	表土掘削中	陶器	常滑　片口鉢Ⅰ類	－	－	－	胎土：白色粒、砂多く含む　色調：灰色　成形：体部外面ナデ　常滑編年6a
5	表土掘削中	陶器	常滑　甕　口縁部	－	－	－	胎土：雲母・白針・クサリ礫・黒色粒　色調：橙褐色　成形：糸切り・スノコ痕　内底ナデ有り　常滑編年5
6	表土掘削中	陶器	常滑　片口鉢Ⅱ類	－	－	－	胎土：長石粒及び砂を多く含む　色調灰色　成形：内外面ナデ　口端部外面強いナデ　常滑編年6a
7	表土掘削中	陶器	常滑　片口鉢Ⅱ類	－	－	－	胎土：長石粒及び砂を多く含む　色調灰色　成形：内外面ナデ　口端部外面強いナデ　常滑編年6a
8	表土掘削中	陶器	常滑　甕　口縁部	－	－	－	胎土：長石、礫粒含む　色調：灰褐色に黄緑色の自然釉　常滑編年7
9	表土掘削中	石製品	砥石　仕上げ砥	長(8.8)	幅3.5	厚(1.0)	色調：淡黄色　表面に細かな傷多数あり　鳴滝産
10	土坑1	土器	瓦質火鉢(風炉)	(21.2)	－	－	胎土：灰燈色　焼成：良好硬質
11	土坑1	土器	瓦質火鉢(風炉)	－	－	－	胎土：灰色の砂粒、白色粒、赤色粒含む　色調：黒灰色　焼成：良好硬質
12	土坑1	土器	瓦質火鉢(風炉)	－	－	－	胎土：灰色の砂粒、白色粒、赤色粒を含む　胴部上部片　色調：黒灰色
13	土坑1	土器	瓦質火鉢(風炉)	胴径(27.9)		－	胎土：灰色精良土　体部片　外面に菊花文　色調：黒灰色　焼成：良好硬質
14	土坑1	土器	瓦質火鉢(風炉)	－	－	－	胎土：灰燈色、砂粒、白色粒、赤色粒を含む　焼成：良好硬質　色調：黒灰色
15	土坑1	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.3)	1.6	(5.6)	胎土：雲母・白針・クサリ礫・黒色粒　色調：橙色　成形：糸切り・スノコ痕　内底ナデ有り
16	土坑1	土器	糸切りかわらけ(小)	(9.0)	1.8	(7.5)	胎土：雲母・白針・クサリ礫・黒色粒　色調：黄灰色　成形：糸切り・スノコ痕
17	土坑1	土器	糸切りかわらけ(中)	(10.2)	3.1	(6.1)	胎土：細かい雲母・精良土 色調：黄燈色　成形：糸切り・スノコ痕
18	土坑1	土器	糸切りかわらけ(大)	(13.2)	3.7	(7.3)	胎土：雲母・白針・クサリ礫・黒色粒　色調：橙色　成形：糸切り・スノコ痕　内底ナデ有り
19	土坑1	陶器	常滑　片口鉢Ⅰ類	－	－	－	胎土：2㎜大の砂粒を多く含む　色調：淡灰色　常滑編年6a
20	土坑1	陶器	常滑　片口鉢Ⅱ類	－	－	－	胎土：長石粒含む堅緻　色調：暗灰色　成形：内外面ナデ　常滑編年7
21	土坑1	陶器	常滑　片口鉢Ⅱ類	－	－	－	胎土：長石粒含む　堅緻　色調：濁赤褐色　成形：内外面ナデ　常滑編年7
22	土坑1	陶器	瀬戸　平碗	－	－	(6.4)	胎土：淡黄灰色　精良土　色調：薄黄灰色　成形：釉ハケ塗り
23	土坑1	石製品	砥石　仕上げ砥	長(4.9)	幅3.2	厚0.7	色調：黄灰色　鳴滝産
24	土坑1	鉄製品	釘	長(6.5)	幅0.4	4.0g	断面四角形
25	土坑1	鉄製品	釘	長(5.2)	幅0.3	3.0g	断面四角形
26	土坑1	銅製品	銭　元豊通寶	径2.3	3.0g	－	初鋳年1078　北宋

図8　1面土坑1の遺物　　（　）は復元法量・単位cm

番号	層位・遺構	種 別	機　種	口径	器高	底径	観　察
27	土坑1	土器	角焜炉(カクコンロ)	高22.1	幅24.0	－	胎土：微細な砂粒を含む精良土　色調：褐色　成形：表面ヘラ磨き「三河名産製造組合新美海之助」銘の刻
28	土坑1	土器	猫行火(ネコアンカ)	高25.3	幅24.7	－	胎土：微細な砂粒を含む精良土　色調：黒色　成形：表面ヘラ磨き

図9　2面までの遺物　　（　）は復元法量・単位cm

番号	層位・遺構	種 別	機　種	口径	器高	底径	観　察
29	2面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	(6.9)	1.7	(5.0)	胎土：微砂・白針　色調：黄灰色　成形：糸切り・スノコ痕　内底ナデ有り
30	2面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.2)	1.3	(5.5)	胎土：微砂・白針・クサリ礫　色調：黄灰色　成形：糸切り・スノコ痕　内底ナデ有り
31	2面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	7.6	1.7	(5.5)	胎土：微砂・白針・クサリ礫　色調：黄灰色　成形：糸切り・スノコ痕　内底ナデ有り
32	2面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.7)	1.7	(5.3)	胎土：白針・クサリ礫　色調：橙色　成形：糸切り・スノコ痕　内底ナデ有り
33	2面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.8)	1.6	(5.7)	胎土：白針・クサリ礫　色調：淡橙色　成形：糸切り・スノコ痕　内底ナデ有り
34	2面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.9)	1.7	(6.0)	胎土：白針・クサリ礫　色調：黄燈色　成形：糸切り・スノコ痕　内底ナデ有り
35	2面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	(8.4)	2.0	(5.5)	胎土：白針・クサリ礫　色調：黄燈色　成形：糸切り・スノコ痕　内底ナデ有り
36	2面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	(8.6)	1.6	(5.8)	胎土：白針・クサリ礫　色調：黄灰色　成形：糸切り・スノコ痕　内底ナデ有り
37	2面まで	土器	糸切りかわらけ(大)	10.7	3.3	6.6	胎土：細かい精良土 色調：橙色　成形：糸切り・スノコ痕　内底ナデ有り
38	2面まで	土器	糸切りかわらけ(大)	11.9	3.2	7.2	胎土：細かい精良土 色調：黄燈色　成形：糸切り・スノコ痕　内底ナデ有り
39	2面まで	土器	糸切りかわらけ(大)	(12.1)	3.4	(7.5)	胎土：細かい精良土 色調：橙色　成形：糸切り・スノコ痕　内底ナデ有り
40	2面まで	土器	糸切りかわらけ(大)	12.1	3.7	6.8	胎土：精良土 色調：橙色　成形：糸切り・スノコ痕　内底ナデ有り
41	2面まで	土器	糸切りかわらけ(大)	12.4	3.2	7.7	胎土：精良土 色調：黄燈色　成形：糸切り・スノコ痕　内底ナデ有り
42	2面まで	土器	糸切りかわらけ(大)	12.4	3.2	8.0	胎土：細かい精良土 色調：黄燈色　成形：糸切り・スノコ痕　内底ナデ有り
43	2面まで	土器	糸切りかわらけ(大)	(13.3)	3.3	8.7	胎土：粗土 色調：黄燈色　成形：糸切り・スノコ痕　内底ナデ有り
44	2面まで	土器	白かわらけ(大)	－	－	4.8	胎土：精良土 色調：乳白色　成形：糸切り・スノコ痕
45	2面まで	磁器	青磁　蓮弁文碗	－	－	(2.8)	底部片　胎土：灰白色の精良土　内外面淡緑色の透明な釉
46	2面まで	磁器	青磁　鎬蓮弁文碗	－	－	－	胎土：灰白色の精良土　堅緻　鎬蓮弁文　内外面淡緑色の透明な釉
47	2面まで	磁器	同安窯青磁　皿	－	－	－	胎土：淡灰色の精良土　色調：淡褐色
48	2面まで	磁器	青白磁　梅瓶	－	－	－	胎土：灰白色で精良土　透明な水色の釉
49	2面まで	磁器	青白磁　梅瓶	－	－	－	胎土：灰白色で精良土　透明な水色の釉
50	2面まで	磁器	染付　茶碗	6.5	4.4	2.5	胎土：細かい精良土 色調：白色
51	2面まで	磁器	染付　茶碗	－	－	(4.2)	胎土：細かい精良土 色調：白色
52	2面まで	陶器	常滑　片口鉢Ⅰ類	－	－	－	胎土：長石、白色粒、砂多く含み硬質　色調：淡灰色　常滑編年6a
53	2面まで	陶器	常滑　片口鉢Ⅰ類	－	－	－	胎土：長石、白色粒、砂多く含み硬質　色調：灰色　成形：体部外面底部ヘラケズリ　貼付高台
54	2面まで	陶器	常滑　片口鉢Ⅰ類	－	－	－	胎土：砂粒多くザックリした素地　色調：淡灰色　成形：外面底部ヘラケズリ　常滑編年6a
55	2面まで	陶器	常滑　片口鉢Ⅱ類	－	－	－	胎土：長石粒及び砂を多く含む　色調：暗灰褐色　成形：内外面ナデ　口端部外面強いナデ　常滑編年6a
56	2面まで	陶器	常滑　片口鉢Ⅱ類	－	－	－	胎土：長石粒及び砂を多く含む　色調：茶褐色　成形：内外面ナデ　口端部外面強いナデ　常滑編年6a
57	2面まで	陶器	常滑　片口鉢Ⅱ類	－	－	－	胎土：長石粒及び砂を多く含む　色調：灰褐色　成形：内外面ナデ　口端部外面強いナデ　常滑編年9
58	2面まで	陶器	常滑　片口鉢Ⅱ類	－	－	－	胎土：長石粒及び砂を多く含む　色調：淡赤褐色　成形：内外面ナデ　口端部外面強いナデ　常滑編年10
59	2面まで	陶器	常滑　片口鉢Ⅱ類	－	－	－	胎土：長石粒及び砂を多く含む　色調：淡赤褐色　成形：内外面ナデ　砂底
60	2面まで	陶器	備前　すり鉢	－	－	－	胎土：灰色素地に白色、黒色粒を含む　色調：灰色
61	2面まで	陶器	備前　すり鉢	－	－	－	胎土：燈色に砂粒含む　色調：燈～灰色
62	2面まで	陶器	瀬戸　御皿	－	－	－	胎土：淡灰色　精良土　色調：乳褐色　成形：口唇部シャープ　古瀬戸編年前Ⅱ期(13世紀前葉)
63	2面まで	陶器	瀬戸　壺	－	－	－	胎土：灰色できめ細かく精良　色調：灰色　口縁部片　四耳壺か
64	2面まで	陶器	瀬戸　四耳壺	－	－	－	胎土：灰色精良土　色調：透明オリーブ色釉
65	2面まで	陶器	瀬戸　平碗	－	－	6.4	胎土：淡黄灰色　精良土　色調：薄緑灰色釉　成形：釉ハケ塗り　古瀬戸編年中Ⅲ期(14c中葉)
66	2面まで	陶器	山茶碗	－	－	－	胎土：灰色精良土　白色、黒色の砂粒含む
67	2面まで	陶器	常滑　甕　口縁部	－	－	－	胎土：2㎜ほどの長石、砂を含む　色調：灰色　淡黄～灰緑色の自然釉厚い　常滑編年8
68	2面まで	陶器	常滑　甕　口縁部	－	－	－	胎土：長石含み堅緻　色調：暗褐色　常滑編年5
69	2面まで	陶器	常滑　甕　口縁部	－	－	－	胎土：2㎜ほどの長石、砂を含む　色調：灰色　淡黄～灰緑色の自然釉厚い　常滑編年5
70	2面まで	陶器	常滑　甕　口縁部	－	－	－	胎土：2㎜ほどの長石、砂を含む　色調：灰色　淡黄～灰緑色の自然釉厚い　常滑編年5
71	2面まで	陶器	常滑　甕　底部	－	－	－	胎土：長石、石英、礫粒多く含む　色調：褐色～赤褐色の自然釉
72	2面まで	土器	瓦質火鉢	－	－	－	胎土：長石粒含む　色調：暗灰色
73	2面まで	石製品	砥石　中砥	長(6.8)	幅3.7	厚0.9	色：赤褐色　天草産
74	2面まで	銅製品	銭　祥符通寶	径2.5	4.0g	－	初鋳年1009　北宋
75	2面まで	銅製品	銭　政和通寶	径2.4	3.0g	－	初鋳年1111　北宋
76	2面まで	銅製品	銭　嘉祐元寶	径2.4	5.0g	－	初鋳年1056　北宋
77	2面まで	銅製品	銭　元豊通寶	径2.5	4.0g	－	初鋳年1078　北宋

図10　2面・2面遺構の遺物　　（　）は復元法量・単位cm

番号	層位・遺構	種 別	機　種	口径	器高	底径	観　察
78	2面	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.3)	2.0	(4.0)	胎土：きめ細かい精良土　色調：淡赤灰色　成形：糸切り　内底ナデ有り

観察表２

79	2面	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.3)	2.0	(4.0)	胎土:きめ細かい精良土　色調:淡赤灰色　成形:糸切り　内底ナデ有り
80	2面	土器	糸切りかわらけ(大)	(12.0)	3.3	6.6	胎土:軟質　きめ細かい素地にクサリ礫粒が混じる　色調:赤灰色　成形:糸切り　内底ナデ有り
81	2面	陶器	常滑　甕　口縁部	－	－	－	胎土:長石、礫粒含む　色調:灰褐色に黄緑色の自然釉　常滑編年6a
82	2面	陶器	常滑　片口鉢Ⅰ類	－	－	－	胎土:白色粒、砂多く含む　色調:灰色　成形:体部外面底部ヘラケズリ　常滑編年6a
83	P13	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.7)	1.7	(5.5)	胎土:やや粗土　色調:淡赤灰色　成形:糸切り　内底ナデ有り
84	P13	陶器	常滑　片口鉢Ⅱ類	－	－	－	胎土:長石粒及び砂を多く含む　色調:明灰褐色　成形:内外面ナデ　口端部外面強いナデ　常滑編年7
85	土坑3	土器	糸切りかわらけ(小)	(8.0)	1.3	(5.6)	胎土:きめ細かい精良土　色調:黄橙色　成形:糸切り　内底ナデ有り
86	土坑3	土器	糸切りかわらけ(大)	(13.0)	3.6	(7.3)	胎土:軟質　きめ細かい素地にクサリ礫粒が混じる　色調:黄橙色　成形:糸切り　内底ナデ有り
87	土坑5	土器	糸切りかわらけ(小)	7.4	1．8	5.3	胎土:きめ細かい精良土　色調:黄橙色　成形:糸切り　内底ナデ有り
88	土坑5	土器	糸切りかわらけ(大)	(11.3)	3.2	(5.5)	胎土:軟質　きめ細かい素地にクサリ礫粒が混じる　色調:黄灰色　成形:糸切り　内底ナデ有り
89	土坑5	陶器	常滑　片口鉢Ⅱ類	－	－	－	胎土:長石粒及び砂を多く含む　色調:淡赤褐色　成形:内外面ナデ　口端部外面強いナデ　常滑編年7
90	土坑7	土器	糸切りかわらけ(大)	11.7	3.1	7.6	胎土:軟質　きめ細かい素地にクサリ礫粒が混じる　色調:黄灰色　成形:糸切り　内底ナデ有り
91	土坑7	土器	糸切りかわらけ(大)	13.1	3.3	7.4	胎土:軟質　きめ細かい素地にクサリ礫粒が混じる　色調:黄橙色　成形:糸切り　内底ナデ有り
92	土坑8	土器	糸切りかわらけ(大)	12.0	3.4	7.5	胎土:軟質　きめ細かい素地にクサリ礫粒が混じる　色調:赤橙色　成形:糸切り　内底ナデ有り
93	土坑8	土器	糸切りかわらけ(大)	(11.4)	3.7	(6.6)	胎土:軟質　きめ細かい素地にクサリ礫粒が混じる　色調:赤橙色　成形:糸切り　内底ナデ有り
94	土坑8	鉄製品	釘	長6.9	幅0.3	厚0.2	断面四角形　重さ3.0g
95	土坑9	石製品	砥石　中砥	長(5.7)	幅6.2	厚5.3	色調:灰白～黄灰色　上野産か
96	土坑9	土器	糸切りかわらけ(小)	7.4	1.8	4.6	胎土:きめ細かい精良土　色調:橙色　成形:糸切り　内底ナデ有り
97	土坑9	陶器	常滑　片口鉢Ⅰ類	－	－	－	胎土:白色粒、砂多く含む　色調:灰色　成形:体部外面底部ヘラケズリ　常滑編年7
98	土坑9	骨製品	笄	(9.6)	1.5	0.3	片面に1条の凹み
99	土坑10	鉄製品	釘	長(9.3)	幅0.5	厚0.3	断面四角形　重さ8.0g
100	溜まり1	土器	糸切りかわらけ(大)	10.8	3.0	6.3	胎土:軟質　きめ細かい素地にクサリ礫粒が混じる　色調:赤橙色　成形:糸切り　内底ナデ有り
101	溜まり1	土器	糸切りかわらけ(小)	7.7	1.9	4.6	胎土:きめ細かい精良土　色調:黄灰色　成形:糸切り　内底ナデ有り
102	溜まり1	土器	糸切りかわらけ(大)	12.3	3.2	7.4	胎土:軟質　やや粗い素地にクサリ礫粒が混じる　色調:黄灰色　成形:糸切り　内底ナデ有り
103	溜まり1	土器	糸切りかわらけ(大)	12.4	3.5	6.6	胎土:軟質　きめ細かい素地にクサリ礫粒が混じる　色調:黄灰色　成形:糸切り　内底ナデ有り
104	溜まり1	土器	糸切りかわらけ(大)	12.5	3.4	7.5	胎土:粗い素地にクサリ礫粒が混じる　色調:赤灰色　成形:糸切り　内底ナデ有り
105	溜まり1	土器	糸切りかわらけ(大)	12.6	3.2	7.8	胎土:軟質　やや粗い素地にクサリ礫粒が混じる　色調:黄灰色　成形:糸切り　内底ナデ有り
106	溜まり1	陶器	常滑　片口鉢Ⅱ類	－	－	－	胎土:長石粒及び砂を多く含む　色調:褐色　成形:内外面ナデ　口端部外面強いナデ　常滑編年7

図11　3面まで・3面遺構の遺物　　(　)は復元法量・単位cm

番号	層位・遺構	種 別	機　種	口径	器高	底径	観　察
107	3面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	7.8	1.8	5.1	胎土:粗土に微細な雲母多く含む　色調:黄灰色　成形:糸切り・スノコ痕　内底ナデ有り
108	3面まで	土器	糸切りかわらけ(大)	11.9	3.2	8.0	胎土:軟質　きめ細かい素地にクサリ礫粒が混じる　色調:黄橙色　成形:糸切り　内底ナデ有り
109	3面まで	土器	糸切りかわらけ(大)	12.4	3.4	7.4	胎土:軟質　素地に白針、クサリ礫粒が混じる　色調:橙色　成形:糸切り　内底ナデ有り
110	3面まで	陶器	常滑　片口鉢Ⅰ類	－	－	－	胎土:白色粒、砂多く含む　色調:灰色　成形:体部外面底部ヘラケズリ　常滑編年6a
111	3面まで	陶器	常滑　片口鉢Ⅰ類	－	－	－	胎土:白色粒、砂多く含む　色調:灰色　成形:体部外面底部ヘラケズリ　常滑編年6a
112	3面まで	陶器	常滑　片口鉢Ⅱ類	－	－	－	胎土:長石粒及び砂を多く含む　色調:淡赤褐色　成形:内外面ナデ　口端部外面強いナデ　常滑編年7
113	3面まで	陶器	常滑　片口鉢Ⅱ類	－	－	－	胎土:長石粒及び砂を多く含む　色調:淡赤褐色　成形:内外面ナデ　口端部外面強いナデ　常滑編年7
114	3面まで	陶器	常滑　甕　口縁部	－	－	－	胎土:長石、礫粒含む　色調:灰褐色に黄緑色の自然釉　常滑編年6a
115	3面まで	陶器	常滑　甕　口縁部	－	－	－	胎土:2㎜ほどの長石、砂を含む　色調:灰色　淡黄～灰緑色の自然釉厚い　常滑編年6a
116	3面まで	磁器	青白磁　梅瓶	－	－	－	胎土:灰白色で精良土　透明な水色の釉
117	3面まで	瓦	平瓦　鎌倉Ⅰ期A類	長(9.0)	幅(10)	厚2.6	胎土:精良土　焼き締まる　色調:灰白色　凸面縄目ナデ消し、凹面布目ナデ消し
118	3面まで	石製品	硯　破片	長(10)	幅(8.5)	厚(1.4)	色調:黒灰色　砥石に転用か
119	3面まで	骨製品	笄	(5.8)	1.6	0.3	片面に1条の凹み
120	3面まで	銅製品	銭　景祐元寶	径2.5	3.7g	－	初鋳年　北宋
121	3面まで	銅製品	銭　熙寧元寶	径2.5	3.0g	－	初鋳年　北宋
122	3面まで	鉄製品	刀子	(20.5)	幅2.6	厚1.1	重さ156g　中茎半分欠損
123	土坑14	土器	糸切りかわらけ(大)	(11.8)	3.2	(6.9)	胎土:白針、雲母、クサリ礫と砂粒を含む　色調:黄橙色　成形:糸切り　内底ナデ有り
124	土坑27	土器	糸切りかわらけ(小)	4.8	1.0	3.9	胎土:微細な雲母多く含む　色調:黄橙色　成形:糸切り・スノコ痕　内底ナデ有り
125	土坑27	土器	糸切りかわらけ(小)	7.5	1.5	5.3	胎土:微細な雲母多く含む　色調:黄橙色　成形:糸切り・スノコ痕　内底ナデ有り
126	土坑27	陶器	常滑　片口鉢Ⅰ類	－	－	－	胎土:白色粒、砂多く含む　色調:灰色　成形:体部外面底部ヘラケズリ　常滑編年6a
127	土坑27	磁器	青磁　鏑蓮弁文碗	－	－	－	胎土:灰白色で堅緻、鏑蓮弁文、内外面透明な淡緑色の施釉
128	P25	磁器	青磁　鏑蓮弁文碗	－	－	－	胎土:灰白色の精良土　堅緻　鏑蓮弁文　内外面淡緑色の透明な釉
129	P23	陶器	常滑　片口鉢Ⅱ類	－	－	－	胎土:長石粒及び砂を多く含む　色調:淡赤褐色　成形:内外面ナデ　口端部外面強いナデ　常滑編年6a
130	P44	陶器	緑釉　盤	(21.5)	6.0	(19.0)	胎土:黄灰色　1.5mm大の黒色、白色、赤色の砂を多く含む
131	P19	石製品	温石	長(14)	厚1.8	幅(7.0)	表・裏面に削り痕　1ヶ所穿孔あり
132	土坑27	鉄製品	釘	長(5.2)	幅0.6	厚0.5	断面四角形　重さ6.0g
133	土坑27	鉄製品	釘	長(4.5)	幅0.9	厚0.9	断面四角形　重さ11.0g
134	土坑16	鉄製品	釘	長(4.9)	幅0.7	厚0.6	断面四角形　重さ8.0g

図12　4面までの遺物　　(　)は復元法量・単位cm

番号	層位・遺構	種 別	機　種	口径	器高	底径	観　察
135	4面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	(8.0)	1.8	(5.0)	胎土:やや粗土　色調:黄灰色　成形:糸切り　内底ナデ有り
136	4面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.4)	1.9	(5.1)	胎土:粗土　色調:淡赤灰色　成形:糸切り　内底ナデ有り
137	4面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.3)	2.0	(4.0)	胎土:きめ細かい精良土　色調:橙色　成形:糸切り　内底ナデ有り
138	4面まで	土器	糸切りかわらけ(大)	(11.2)	3.1	(6.2)	胎土:白針、雲母、クサリ礫と砂粒を含む　色調:黄灰色　成形:糸切り　内底ナデ有り
139	4面まで	土器	糸切りかわらけ(大)	(13.5)	3.9	(7.9)	胎土:白針、雲母、クサリ礫と砂粒を含む　色調:黄橙色　成形:糸切り　内底ナデ有り
140	4面まで	土器	糸切りかわらけ(大)	(13.1)	3.1	(8.5)	胎土:白針、雲母、クサリ礫と砂粒を含む　色調:橙色　成形:糸切り　内底ナデ有り
141	4面まで	土器	糸切りかわらけ(大)	(12.6)	3.2	(7.6)	胎土:白針、雲母、クサリ礫と砂粒を含む　色調:黄灰色　成形:糸切り　内底ナデ有り
142	4面まで	土器	糸切りかわらけ(大)	(12.2)	3.3	(7.4)	胎土:白針、雲母、クサリ礫と砂粒を含む　色調:黄灰色　成形:糸切り　内底ナデ有り
143	4面まで	陶器	常滑　片口鉢Ⅱ類	－	－	－	胎土:長石粒及び砂を多く含む　色調:暗褐色　成形:内外面ナデ　口端部外面強いナデ　常滑編年6a
144	4面まで	陶器	常滑　片口鉢Ⅱ類	－	－	－	胎土:長石粒及び砂を多く含む　色調:暗褐色　成形:内外面ナデ　口端部外面強いナデ　常滑編年6a
145	4面まで	陶器	常滑　片口鉢Ⅱ類	－	－	－	胎土:長石粒及び砂を多く含む　色調:褐色　成形:内外面ナデ　口端部外面強いナデ　常滑編年6a
146	4面まで	陶器	常滑　片口鉢Ⅱ類	－	－	－	胎土:長石粒及び砂を多く含む　色調:暗褐色　成形:内外面ナデ　口端部外面強いナデ　常滑編年8
147	4面まで	陶器	常滑　片口鉢Ⅱ類	－	－	－	胎土:長石粒及び砂を多く含む　色調:褐色　成形:内外面ナデ　口端部外面強いナデ　常滑編年7
148	4面まで	陶器	常滑　片口鉢Ⅱ類	－	－	－	胎土:長石粒及び砂を多く含む　色調:暗褐色　成形:内外面ナデ　口端部外面強いナデ　常滑編年6a
149	4面まで	陶器	常滑　片口鉢Ⅱ類	－	－	－	胎土:長石粒及び砂を多く含む　色調:褐色　成形:内外面ナデ　口端部外面強いナデ　常滑編年6b
150	4面まで	陶器	常滑　片口鉢Ⅱ類	－	－	－	胎土:長石粒及び砂を多く含む　色調:暗褐色　成形:内外面ナデ　口端部外面強いナデ　常滑編年6a
151	4面まで	陶器	常滑　片口鉢Ⅰ類	－	－	－	胎土:長石、白色粒、砂多く含み硬質　色調:灰色　成形:体部外面底部ヘラケズリ　常滑編年6a
152	4面まで	陶器	常滑　片口鉢Ⅰ類	－	－	－	胎土:長石、白色粒、砂多く含み硬質　色調:灰色　成形:体部外面底部ヘラケズリ　常滑編年5
153	4面まで	陶器	常滑　片口鉢Ⅰ類	－	－	－	胎土:長石、白色粒、砂多く含み硬質　色調:灰色　成形:体部外面底部ヘラケズリ　常滑編年5
154	4面まで	陶器	常滑　片口鉢Ⅰ類	－	－	－	胎土:長石、白色粒、砂多く含み硬質　色調:灰色　成形:体部外面底部ヘラケズリ　常滑編年6a
155	4面まで	陶器	常滑　片口鉢Ⅰ類	－	－	－	胎土:長石、白色粒、砂多く含み硬質　色調:灰色　成形:体部外面底部ヘラケズリ　常滑編年6a
156	4面まで	陶器	常滑　片口鉢Ⅰ類	－	－	－	胎土:長石、白色粒、砂多く含み硬質　色調:灰色　成形:体部外面底部ヘラケズリ　常滑編年6a
157	4面まで	陶器	常滑　片口鉢Ⅰ類	－	－	－	胎土:長石、白色粒、砂多く含み硬質　色調:灰色　成形:体部外面底部ヘラケズリ　常滑編年6a
158	4面まで	陶器	常滑　片口鉢Ⅰ類	－	－	(13.8)	胎土:長石、白色粒、砂多く含み硬質　色調:灰色　成形:体部外面底部ヘラケズリ　底部片
159	4面まで	陶器	常滑　甕　口縁部	46.0	－	－	胎土:長石多く含み堅緻　色調:暗灰褐色　外面首部に両区灰色の釉　常滑編年6a
160	4面まで	陶器	常滑　甕　口縁部	46.0	－	－	胎土:長石多く含み堅緻　色調:暗灰褐色　外面首部に両区灰色の釉　常滑編年8
161	4面まで	陶器	瀬戸　瓶子	－	－	(8.3)	胎土:灰色できめ細かく精良　色調:灰色　口縁部片

観察表３

162	4面まで	磁器	青白磁 梅瓶蓋	5.6	3.5	－	胎土：灰白色 精良堅緻 釉：透明水色
163	4面まで	石製品	砥石	長(5.1)	幅4.5	厚1.3	色：灰青色 仕上げ砥 鳴滝産or丹波産
164	4面まで	鉄製品	釘	長(5.1)	幅0.3	厚0.2	断面四角形 重さ3.0g
165	4面まで	鉄製品	釘	長(5.6)	幅03	厚0.3	断面四角形 重さ3.0g
166	4面まで	鉄製品	釘	長(6.0)	幅0.3	厚0.4	断面四角形 重さ6.0g
167	4面まで	銅製品	銭 景祐元寶	径2.5	3.7g	－	初鋳年 北宋
168	4面まで	銅製品	銭 皇宋通寶	径2.5	3.7g	－	初鋳年 北宋

図13 4面・4面柱穴の遺物　　（ ）は復元法量・単位cm

番号	層位・遺構	種 別	機 種	口径	器高	底径	観 察
169	4面	土器	糸切りかわらけ(小)	6.8	1.6	5.1	胎土：やや粗土 白針、黒色砂に微砂を含む 色調：黄灰色 成形：糸切り 内底ナデ有り
170	4面	土器	糸切りかわらけ(小)	7.5	1.8	5.4	胎土：やや粗土 クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調：黄灰色 成形：糸切り 内底ナデ有り
171	4面	土器	糸切りかわらけ(小)	7.6	1.8	6.1	胎土：やや粗土 白針、クサリ礫に微砂を含む 色調：橙色 成形：糸切り 内底ナデ有り
172	4面	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.6)	1.6	(5.7)	胎土：やや粗土 白針、微砂を含む 色調：黄灰色 成形：糸切り 内底ナデ有り
173	4面	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.8)	1.6	5.5	胎土：やや粗土 土丹粒、黒色微砂を含む精良土 色調：黄灰色 成形：糸切り 内底ナデ有り
174	4面	土器	糸切りかわらけ(小)	7.9	1.7	5.1	胎土：やや粗土 白針、土丹粒に微砂を含む 色調：黄橙色 成形：糸切り 内底ナデ有り
175	4面	土器	糸切りかわらけ(大)	12.1	3.1	7.6	胎土：白針、クサリ礫、微砂を含む 色調：黄橙色 成形：糸切り 内底ナデ有り
176	4面	土器	糸切りかわらけ(大)	12.5	3.0	8.0	胎土：白針、クサリ礫、微砂を含む 色調：明黄橙色 成形：糸切り 内底ナデ有り
177	4面	土器	糸切りかわらけ(大)	12.6	3.4	8.3	胎土：白針、クサリ礫、微砂を含む 色調：明黄橙色 成形：糸切り 内底ナデ有り
178	4面	土器	糸切りかわらけ(大)	12.9	3.2	7.7	胎土：白針、クサリ礫、微砂を含む 色調：橙色 成形：糸切り 内底ナデ有り
179	4面	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	－	－	－	胎土：長石、白色粒、砂多く含み硬質 色調：灰色 成形：体部外面底部ヘラケズリ 常滑編年6a
180	4面	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	－	－	－	胎土：長石、白色粒、砂多く含み硬質 色調：灰色 成形：体部外面底部ヘラケズリ 常滑編年6a
181	4面	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	－	－	－	胎土：長石粒及び砂を多く含む 色調：淡赤褐色 成形：内外面ナデ 口端部外面強いナデ 常滑編年6a
182	4面	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	－	－	－	胎土：長石粒及び砂を多く含む 色調：淡赤褐色 成形：内外面ナデ 口端部外面強いナデ 常滑編年6b
183	4面	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	－	－	－	胎土：長石粒及び砂を多く含む 色調：淡赤褐色 成形：内外面ナデ 口端部外面強いナデ 常滑編年6b
184	4面	陶器	常滑 甕 口縁部	－	－	－	胎土：黒色噴き出し有り 堅緻 色調：淡茶褐色～茶褐色 口縁上部に自然釉 常滑編年6a
185	4面	鉄製品	釘	長(4.9)	幅0.6	厚0.5	断面四角形 重さ4.0g
186	4面	鉄製品	釘	長(5.6)	幅0.5	厚0.4	錆付着 重さ3.0g
187	4面	鉄製品	釘	長5.7	幅0.7	厚0.5	断面四角形 重さ4.0g
188	4面	鉄製品	釘	長6.4	幅0.6	厚0.6	錆付着 重さ6.0g
189	4面	鉄製品	釘	長(4.5)	幅0.6	厚0.4	断面四角形 重さ3.0g
190	4面	石製品	砥石	長(6.5)	幅4.2	厚0.9	色：黄灰色 鳴滝産 仕上げ砥
191	4面	銅製品	銭 聖宋元寶	径2.4	4.0g	－	初鋳年1101 北宋
192	P34	石製品	滑石製鍋	－	－	－	口縁、鍔部分片
193	P21	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	－	－	－	胎土：白色粒、砂多く含む 色調：灰色 成形：体部外面底部ヘラケズリ 常滑編年6a
194	P35	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	－	－	－	胎土：長石粒及び砂を多く含む 色調：褐色 成形：内外面ナデ 口端部外面強いナデ 常滑編年6a
195	P36	土器	糸切りかわらけ(小)	8.3	1.8	6.0	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む 色調：黄橙色 成形：糸切り 内底ナデ有り
196	P38	土器	糸切りかわらけ(小)	7.3	2.2	4.5	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む 色調：黄灰色 成形：糸切り 内底ナデ有り
197	P38	土器	手捏ねかわらけ(小)	(7.5)	1.6	－	胎土：クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調：黄橙色 成形：手捏ね 内底ナデ有り
198	P38	土器	糸切りかわらけ(大)	(13.2)	2.9	(9.2)	胎土：白針、に砂と気泡を多く含む 色調：淡黄橙色 成形：糸切り 内底ナデ有り
199	P40	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	－	－	－	胎土：白色粒、砂多く含む 色調：灰色 成形：体部外面底部ヘラケズリ 常滑編年6a
200	P40	土器	糸切りかわらけ(大)	12.3	3.4	7.8	胎土：白針、に砂と気泡を多く含む 色調：黄灰色 成形：糸切り 内底ナデ有り
201	P47	土器	糸切りかわらけ(小)	7.6	2.0	5.3	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む 色調：黄灰色 成形：糸切り 内底ナデ有り
202	P47	鉄製品	釘	長(5.3)	幅0.6	厚0.3	断面四角形 重さ3.0g
203	P45	石製品	砥石	長6.4)	幅1.8	厚1.3	色：暗灰色 仕上げ砥
204	P39	土器	糸切りかわらけ(小)	8.2	1.9	5.7	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む 色調：黄灰色 成形：糸切り 内底ナデ有り
205	P48	土器	糸切りかわらけ(小)	7.9	1.7	6.0	胎土：クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調：黄橙色 成形：糸切り 内底ナデ有り
206	P51	土器	糸切りかわらけ(大)	12.2	2.8	7.7	胎土：白針、に砂と気泡を多く含む 色調：橙色 成形：糸切り 内底ナデ有り
207	P53	土器	糸切りかわらけ(小)	(5.0)	1.0	(4.2)	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む 色調：橙色 成形：糸切り 内底ナデ有り
208	P53	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.2)	1.5	(5.0)	胎土：クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調：黄橙色 成形：手捏ね 内底ナデ有り
209	P53	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.7)	1.7	(6.1)	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む 色調：黄灰色 成形：糸切り 内底ナデ有り
210	P53	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.8)	1.8	(5.5)	胎土：クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調：黄橙色 成形：手捏ね 内底ナデ有り
211	P53	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.9)	2.0	(6.5)	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む 色調：黄灰色 成形：糸切り 内底ナデ有り
212	P53	土器	糸切りかわらけ(小)	(8.1)	1.8	(5.4)	胎土：クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調：黄灰色 成形：手捏ね 内底ナデ有り
213	P53	土器	糸切りかわらけ(小)	(8.3)	2.0	(6.9)	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む 色調：黄灰色 成形：糸切り 内底ナデ有り
214	P53	土器	糸切りかわらけ(小)	(8.7)	1.6	(6.8)	胎土：クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調：黄灰色 成形：手捏ね 内底ナデ有り
215	P53	土器	糸切りかわらけ(大)	(12.0)	3.3	(8.0)	胎土：白針、に砂と気泡を多く含む 色調：黄灰色 成形：糸切り 内底ナデ有り
216	P53	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	－	－	－	胎土：長石、白色粒、砂多く含み硬質 色調：灰色 成形：体部外面底部ヘラケズリ 常滑編年6a
217	P53	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	－	－	－	胎土：長石粒及び砂を多く含む 色調：暗褐色 成形：内外面ナデ 口端部外面強いナデ 常滑編年7
218	P57	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	－	－	－	胎土：長石粒及び砂を多く含む 色調：暗灰色 成形：内外面ナデ 口端部外面強いナデ 常滑編年7
219	P74	陶器	常滑 甕 口縁部	－	－	－	胎土：黒色噴き出し有り 堅緻 色調：淡茶褐色～茶褐色 口縁上部に自然釉 常滑編年6a
220	P56	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.4)	1.5	(5.2)	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む 色調：黄橙色 成形：糸切り 内底ナデ有り
221	P56	銅製品	銭 皇宋通寶	径2.4	3.0g	－	初鋳年1038 北宋
222	P46	銅製品	銭 元豊通寶	径2.5	4.0g	－	初鋳年1078 北宋

図14 4面土坑・溝状1の遺物　　（ ）は復元法量・単位cm

番号	層位・遺構	種 別	機 種	口径	器高	底径	観 察
223	土坑19	土器	糸切りかわらけ(小)	7.9	1.9	5.8	胎土：粗土 クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調：黄橙色 成形：糸切り 内底ナデ有り
224	土坑19	土器	糸切りかわらけ(小)	8.1	1.7	5.6	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む 色調：淡黄橙色 成形：糸切り 内底ナデ有り
225	土坑19	土器	糸切りかわらけ(小)	8.2	1.7	5.6	胎土：クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調：黄橙色 成形：糸切り 内底ナデ有り
226	土坑19	土器	糸切りかわらけ(小)	7.3	1.6	5.7	胎土：やや粗土 白針、黒色砂に微砂を含む 色調：黄橙色 成形：糸切り 内底ナデ有り
227	土坑19	土器	糸切りかわらけ(小)	(6.6)	1.8	(4.8)	胎土：クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調：黄橙色 成形：糸切り 内底ナデ有り
228	土坑19	土器	糸切りかわらけ(大)	13.1	3.2	8.2	胎土：白針、微砂含む 色調：淡黄橙色 成形：糸切り 内底ナデ有り
229	土坑19	土器	糸切りかわらけ(大)	12.2	3.2	7.3	胎土：微砂、白針、クサリ礫含む 色調：黄橙色 成形：糸切り 内底ナデ有り
230	土坑19	土器	糸切りかわらけ(大)	13.5	3.2	7.2	胎土：微砂、白針、クサリ礫含む 色調：黄橙色 成形：糸切り 内底ナデ有り
231	土坑19	土器	糸切りかわらけ(大)	12.4	3.1	8.7	胎土：やや粗土 白針、クサリ礫含む 色調：橙色 成形：糸切り 内底ナデ有り
232	土坑19	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	－	－	－	胎土：長石、白色粒、砂多く含み硬質 色調：暗褐色 成形：内外面ナデ 口端部外面強いナデ 常滑編年4
233	土坑19	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	－	－	－	胎土：長石、白色粒、砂多く含み硬質 色調：灰色 成形：体部外面底部ヘラケズリ 常滑編年6a
234	土坑19	鉄製品	釘	長(7.1)	幅0.6	厚0.4	断面四角形 重さ12.0g
235	土坑20	土器	糸切りかわらけ(小)	7.9	1.9	5.2	胎土：やや粗土 クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調：黄灰色 成形：糸切り 内底ナデ有り
236	土坑20	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	－	－	－	胎土：長石、白色粒、砂多く含み硬質 色調：淡赤褐色 成形：内外面ナデ 口端部外面強いナデ 常滑編年
237	土坑20	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	－	－	－	胎土：長石粒及び砂を多く含む 色調：淡赤褐色 成形：内外面ナデ 口端部外面強いナデ 常滑編年6a
238	土坑20	鉄製品	釘	長(7.2)	幅0.4	厚0.3	断面四角形 重さ4.0g
239	土坑20	鉄製品	釘	長(9.8)	幅0.9	厚1.0	断面四角形 重さ19.0g
240	土坑23	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.4)	2.0	(6.1)	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む 色調：黄灰色 成形：糸切り 内底ナデ有り 口縁打ち欠き多数 燈明か
241	土坑23	磁器	青磁 蓮弁文碗	－	－	4.0	胎土：灰白色の精良土 堅緻 蓮弁文底部片 内外面淡緑色の透明な釉
242	土坑24	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.8)	1.1	(5.5)	胎土：クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調：黄灰色 成形：糸切り 内底ナデ有り
243	土坑24	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	－	－	－	胎土：長石粒及び砂を多く含む 色調：淡赤褐色 成形：内外面ナデ 口端部外面強いナデ 常滑編年9
244	土坑24	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	－	－	－	胎土：白色粒、砂多く含む 色調：灰色 成形：体部外面底部ヘラケズリ

観察表４

245	土坑24	磁器	青磁 折縁鉢	－	－	－	胎土：灰白色で堅緻、内外面透明な青緑色の施釉
246	土坑24	陶器	瀬戸大窯 擂鉢	－	－	－	胎土：精良な黄灰色の素地に黒色粒混じり堅緻 外面黒褐色
247	土坑24	陶器	備前 擂鉢	－	－	－	胎土：精良堅緻 色調：暗灰色 内面に5本の条線
248	土坑28	土器	糸切りかわらけ(小)	7.5	2.1	6.1	胎土：クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調：黄灰色 成形：糸切り 内底ナデ有り
249	土坑28	陶器	瀬戸 入子	－	－	4.3	胎土：灰白色 精良土
250	土坑28	陶器	山茶碗	－	－	－	胎土：砂多くザックリした素地 灰色
251	土坑32	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	－	－	－	胎土：白色粒、砂多く含む 色調：灰色 成形：体部外面底部ヘラケズリ 常滑編年6a
252	土坑32	鉄製品	釘	長(6.1)	幅0.4	厚0.4	断面四角形 重さ4.0g
253	土坑34	土器	糸切りかわらけ(小)	7.1	1.6	5.5	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む 色調：淡黄橙色 成形：糸切り 内底ナデ有り
254	土坑34	陶器	常滑 壺 口縁部	－	－	－	胎土：黒色噴き出し有り 堅緻 色調：淡茶褐色～茶褐色 口縁上部に自然釉 常滑編年5
255	土坑37	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	－	－	－	胎土：長石、白色粒、砂多く含み硬質 色調：灰色 成形：体部外面底部ヘラケズリ 常滑編年6a
256	土坑37	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	－	－	－	胎土：長石、白色粒、砂多く含み硬質 色調：灰色 成形：体部外面底部ヘラケズリ 常滑編年6a
257	土坑37	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	－	－	－	胎土：長石、白色粒、砂多く含み硬質 色調：灰色 成形：体部外面底部ヘラケズリ 常滑編年6a
258	土坑38	土器	糸切りかわらけ(小)	7.5	1.9	4.9	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む 色調：淡黄橙色 成形：糸切り 内底ナデ有り
259	土坑38	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	－	－	－	胎土：長石、白色粒、砂多く含み硬質 色調：灰色 成形：体部外面底部ヘラケズリ 常滑編年6a
260	土坑38	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	－	－	－	胎土：長石、白色粒、砂多く含み硬質 色調：淡赤褐色 成形：内外面ナデ 口端部外面強いナデリ 常滑編年
261	土坑38	鉄製品	鏃？	長(8.0)	幅1.3	厚0.7	断面四角形 重さ27.0g 鏃か
262	土坑39	土器	糸切りかわらけ(小)	6.9	1.7	5.4	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む 色調：淡黄橙色 成形：糸切り 内底ナデ有り
263	土坑39	土器	糸切りかわらけ(小)	7.9	1.5	6.3	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む 色調：淡黄橙色 成形：糸切り 内底ナデ有り
264	土坑39	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	－	－	－	胎土：長石、白色粒、砂多く含み硬質 色調：灰色 成形：体部外面底部ヘラケズリリ 常滑編年7
265	土坑39	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	(32.6)	13.0	(17.1)	胎土：長石粒及び砂を多く含む 色調：淡赤褐色 成形：内外面ナデ 口端部外面強いナデリ 常滑編年6a
266	溝状土坑	土器	糸切りかわらけ(小)	(8.4)	2.2	(5.7)	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む 色調：淡黄橙色 成形：糸切り 内底ナデ有り
267	溝状土坑	土器	糸切りかわらけ(小)	(9.8)	2.0	(6.8)	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む 色調：淡黄橙色 成形：糸切り 内底ナデ有り
268	溝状土坑	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	－	－	－	胎土：白色粒、砂多く含む 色調：灰色 成形：体部外面底部ヘラケズリリ 常滑編年6a
269	溝状土坑	土器	糸切りかわらけ(大)	12.1	3.1	7.2	胎土：白針、に砂と気泡を多く含む 色調：淡黄橙色 成形：糸切り 内底ナデ有り
270	溝状土坑	土器	糸切りかわらけ(大)	12.3	3.3	7.8	胎土：白針、に砂と気泡を多く含む 色調：淡黄橙色 成形：糸切り 内底ナデ有り

図15 4面落ち込み1の遺物　　（ ）は復元法量・単位cm

番号	層位・遺構	種 別	機 種	口径	器高	底径	観 察
271	落ち込み1	土器	糸切りかわらけ(小)	5.3	1.2	3.8	胎土：クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調：橙色 成形：糸切り 内底ナデ有り
272	落ち込み1	土器	糸切りかわらけ(小)	7.7	1.8	5.8	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む 色調：橙色 成形：糸切り 内底ナデ有り
273	落ち込み1	土器	糸切りかわらけ(小)	7.9	1.8	6.3	胎土：クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調：黄橙色 成形：手捏ね 内底ナデ有り
274	落ち込み1	土器	糸切りかわらけ(小)	(6.9)	1.6	(6.0)	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む 色調：黄橙色 成形：糸切り 内底ナデ有り
275	落ち込み1	土器	糸切りかわらけ(小)	7.8	1.6	5.9	胎土：クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調：黄橙色 成形：手捏ね 内底ナデ有り
276	落ち込み1	土器	糸切りかわらけ(小)	8.6	1.7	6.3	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む 色調：黄灰色 成形：糸切り 内底ナデ有り
277	落ち込み1	土器	糸切りかわらけ(大)	(11.7)	3.4	(9.6)	胎土：白針、微砂含む 色調：黄橙色 成形：糸切り 内底ナデ有り
278	落ち込み1	土器	糸切りかわらけ(大)	11.9	3.4	7.9	胎土：やや粗土 白針、微砂含む 色調：橙色 成形：糸切り 内底ナデ有り
279	落ち込み1	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	－	－	－	胎土：長石粒及び砂を多く含む 色調：淡赤褐色 成形：内外面ナデ 口端部外面強いナデ 常滑編年6a
280	落ち込み1	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	－	－	(14.0)	胎土：長石、白色粒、砂多く含み硬質 色調：灰色 成形：体部外面底部ヘラケズリ
281	落ち込み1	陶器	常滑 口縁玉縁壺	(9.4)	－	－	胎土：長石 色調：暗褐色 口唇部玉縁 常滑編年6b
282	落ち込み1	鉄製品	釘	長(4.8)	幅0.7	厚0.7	断面四角形 重さ3.0g
283	落ち込み1	鉄製品	釘	長(5.1)	幅0.5	厚0.5	断面四角形 重さ3.0ｇ

図16 5面までの遺物　　（ ）は復元法量・単位cm

番号	層位・遺構	種 別	機 種	口径	器高	底径	観 察
284	5面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	7.3	1.4	5.8	胎土：クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調：黄橙色 成形：糸切り 内底ナデ有り
285	5面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	7.5	1.7	5.7	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む 色調：橙色 成形：糸切り 内底ナデ有り
286	5面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	7.9	1.4	6.9	胎土：クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調：黄灰色 成形：糸切り 内底ナデ有り
287	5面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	8.2	1.5	6.5	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む 色調：橙色 成形：糸切り 内底ナデ有り
288	5面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	7.8	1.8	6.7	胎土：クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調：黄橙色 成形：手捏ね 内底ナデ有り
289	5面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.3)	1.4	(5.3)	胎土：クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調：黄橙色 成形：手捏ね 内底ナデ有り
290	5面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	7.6	1.8	(5.4)	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む 色調：黄灰色 成形：糸切り 内底ナデ有り
291	5面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	8.0	1.8	6.8	胎土：クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調：橙色 成形：糸切り 内底ナデ有り
292	5面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	8.5	1.8	(6.0)	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む 色調：黄橙色 成形：糸切り 内底ナデ有り 燈明皿
293	5面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	8.1	1.6	5.9	胎土：クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調：橙色 成形：糸切り 内底ナデ有り
294	5面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	7.4	1.6	(6.4)	胎土：クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調：黄橙色 成形：手捏ね 内底ナデ有り
295	5面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	7.8	1.8	(5.6)	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む 色調：橙色 成形：糸切り 内底ナデ有り
296	5面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	8.2	1.8	5.9	胎土：クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調：灰黄色 成形：糸切り 内底ナデ有り
297	5面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	(9.0)	1.5	(6.6)	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む 色調：淡黄橙色 成形：糸切り 内底ナデ有り
298	5面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	8.4	1.6	7.0	胎土：クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調：黄灰色 成形：手捏ね 内底ナデ有り
299	5面まで	土器	糸切りかわらけ(大)	12.2	3.0	8.0	胎土：白針に砂を多く含む 色調：黄灰色 成形：糸切り 内底ナデ有り
300	5面まで	土器	糸切りかわらけ(大)	12.9	3.4	(8.4)	胎土：白針に砂を多く含む 色調：淡黄橙色 成形：糸切り 内底ナデ有り
301	5面まで	土器	糸切りかわらけ(大)	(12.3)	3.5	(7.7)	胎土：白針に砂を多く含む 色調：黄灰色 成形：糸切り 内底ナデ有り
302	5面まで	土器	糸切りかわらけ(大)	13.0	3.5	9.4	胎土：白針に砂を多く含む 色調：橙色 成形：糸切り 内底ナデ有り
303	5面まで	土器	糸切りかわらけ(大)	(13.4)	3.2	(9.4)	胎土：白針に砂を多く含む 色調：淡黄橙色 成形：糸切り 内底ナデ有り
304	5面まで	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	－	－	－	胎土：長石粒及び砂を多く含む 色調：暗灰色 成形：内外面ナデ 口端部外面強いナデ 常滑編年6a
305	5面まで	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	－	－	(14.0)	胎土：白色粒、砂多く含む 色調：灰色 成形：体部外面底部ヘラケズリ 常滑編年6a
306	5面まで	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	－	－	(14.0)	胎土：長石、白色粒、砂多く含み硬質 色調：灰色 成形：体部外面底部ヘラケズリ 常滑編年6a
307	5面まで	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	(33.6)	－	－	胎土：長石粒及び砂を多く含む 色調：淡赤褐色 成形：内外面ナデ 口端部外面強いナデ 常滑編年6a
308	5面まで	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	－	－	(14.0)	胎土：長石、白色粒、砂多く含み硬質 色調：灰色 成形：体部外面底部ヘラケズリ
309	5面まで	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	(36.3)	14.1	(16.9)	胎土：長石粒及び砂を多く含む 色調：淡赤褐色 成形：内外面ナデ 口端部外面強いナデ 常滑編年6a
310	5面まで	磁器	青磁 蓮弁文碗	－	－	5.1	胎土：灰白色の精良土 堅緻 鎬蓮弁文底部片 内外面淡緑色の透明な釉 内面見込みに「福」
311	5面まで	磁器	青磁 蓮弁文碗	－	－	5.1	胎土：灰白色の精良土 堅緻 鎬蓮弁文底部片 内外面淡緑色の透明な釉
312	5面まで	磁器	青磁 蓮弁文碗	－	－	4.6	胎土：灰白色の精良土 堅緻 鎬蓮弁文底部片 内外面淡緑色の透明な釉
313	5面まで	磁器	青磁 折腰鉢	－	－	(5.6)	胎土：灰白色の精良土 堅緻 鎬蓮弁文底部片 内外面淡緑色の透明な釉
314	5面まで	土器	瓦質火鉢	(22.6)	－	－	胎土：ザックリした素地に微砂含む 黄燈色
315	5面まで	銅製品	銭 熙寧元寶	径2.4	4.0g	－	初鋳年1068 北宋
316	5面まで	銅製品	銭 乾元重寶	径2.4	3.0g	－	初鋳年758 唐
317	5面まで	銅製品	銭 政和通寶	径2.5	3.0g	－	初鋳年1111 北宋
318	5面まで	鉄製品	形態不明	長(14)	幅4.0	厚1.4	重さ234g
319	5面まで	鉄製品	釘	長6.0	幅0.5	厚0.3	断面四角形 重さ3.4g
320	5面まで	鉄製品	釘	長6.0	幅0.5	厚0.3	断面四角形 重さ3.4g
321	5面まで	石製品	砥石	長(4.7)	幅4.5	厚0.6	色：灰青色 仕上げ砥 鳴滝産

図17 5面・5面遺構・6面かわらけ溜りの遺物　　（ ）は復元法量・単位cm

番号	層位・遺構	種 別	機 種	口径	器高	底径	観 察
322	5面	土器	手捏ねかわらけ(小)	(8.3)	1.7	－	胎土：クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調：黄橙色 成形：手捏ね 内底ナデ有り
323	5面	土器	糸切りかわらけ(小)	(9.0)	1.6	(6.9)	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む 色調：橙色 成形：糸切り 内底ナデ有り
324	5面	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	－	－	－	胎土：白色粒、砂多く含む 色調：灰色 成形：体部外面底部ヘラケズリ 常滑編年6a

観察表５

325	5面	陶器	常滑　片口鉢Ⅰ類	－	－	－	胎土：白色粒、砂多く含む　色調：灰色　成形：体部外面底部ヘラケズリ　常滑編年6a
326	5面	陶器	常滑　片口鉢Ⅰ類	－	－	－	胎土：白色粒、砂多く含む　色調：灰色　成形：体部外面底部ヘラケズリ　常滑編年6a
327	5面	陶器	常滑　片口鉢Ⅱ類	－	－	－	胎土：長石粒及び砂を多く含む　色調：淡赤褐色　成形：内外面ナデ　口端部外面強いナデ　常滑編年6a
328	5面	陶器	常滑　片口鉢Ⅱ類	－	－	－	胎土：長石粒及び砂を多く含む　色調：淡赤褐色　成形：内外面ナデ　口端部外面強いナデ　常滑編年6a
329	5面	陶器	常滑　壺　口縁部	－	－	－	胎土：黒色噴き出し有り　堅緻　色調：淡茶褐色～茶褐色　口縁上部に自然釉　常滑編年6a
330	5面	鉄製品	刀子	長(6.8)	幅1.3	厚0.4	刀子の中茎部分
331	5面	石製品	砥石	長(3.2)	幅2.5	厚1.5	色：暗灰色　中砥
332	5面	鉄製品	釘	長(4.1)	幅0.8	厚0.5	断面四角形　重さ3.0g
333	5面	骨製品	笄	長(5.1)	幅0.8	厚0.3	先端部分
334	P81	土器	糸切りかわらけ(小)	8.1	1.7	5.5	胎土：クサリ礫、土丹粒、微砂を含む　色調：黄灰色　成形：糸切り　内底ナデ有り
335	P81	陶器	常滑　片口鉢Ⅰ類	－	－	－	胎土：白色粒、砂多く含む　色調：灰色　成形：体部外面底部ヘラケズリ　常滑編年6a
336	P78	陶器	常滑　片口鉢Ⅰ類	－	－	－	胎土：長石、白色粒、砂多く含み硬質　色調：灰色　成形：体部外面底部ヘラケズリ　常滑編年6a
337	P78	鉄製品	釘	長(4.5)	幅0.4	厚0.2	断面四角形　重さ1.0g
338	P78	鉄製品	釘	長(6.6)	幅0.6	厚0.5	断面四角形　重さ3.0g
339	P78	石製品	砥石	長(5.1)	幅1.8	厚0.5	色：淡黄色　仕上げ砥
340	P79	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.6)	1.4	(5.5)	胎土：クサリ礫、土丹粒、微砂を含む　色調：黄橙色　成形：糸切り　内底ナデ有り
341	P79	土器	常滑　壺　口縁部	－	－	－	胎土：黒色噴き出し有り　堅緻　色調：淡茶褐色～茶褐色　口縁上部に自然釉　常滑編年6a
342	P79	鉄製品	釘	長(6.4)	幅0.6	厚0.5	断面四角形　重さ6.0g
343	P86	土器	糸切りかわらけ(小)	8.1	1.8	6.0	胎土：クサリ礫、土丹粒、微砂を含む　色調：橙色　成形：糸切り　内底ナデ有り　内底中央に穿孔有り
344	P92	土器	手捏ねかわらけ(小)	(8.7)	1.7	－	胎土：クサリ礫、土丹粒、微砂を含む　色調：黄橙色　成形：手捏ね　内底ナデ有り
345	P90	陶器	瀬戸　鉢	－	－	－	胎土：灰色できめ細かく精良　色調：灰色　口縁部片
346	P95	陶器	山茶碗	－	－	－	胎土：砂多くザックリした素地　灰色　常滑編年5(1220 ～1250)
347	土坑40	土器	糸切りかわらけ(大)	11.9	3.2	7.7	胎土：白針に砂と気泡を多く含む粗土　色調：橙色　成形：糸切り　内底ナデ有り
348	土坑41	土器	糸切りかわらけ(小)	7.8	1.7	5.7	胎土：クサリ礫、土丹粒、微砂を含む粗土　色調：橙色　成形：糸切り　内底ナデ有り
349	土坑42	土器	糸切りかわらけ(小)	7.6	1.7	5.5	胎土：白針に砂を多く含む　色調：淡黄橙色　成形：糸切り　内底ナデ有り
350	土坑42	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.8)	1.5	(5.3)	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む　色調：黄灰色　成形：糸切り　内底ナデ有り
351	土坑42	土器	手捏ねかわらけ(小)	9.2	1.7	－	胎土：クサリ礫、土丹粒、微砂を含む　色調：黄橙色　成形：手捏ね　内底ナデ有り
352	土坑42	土器	手捏ねかわらけ(小)	8.3	1.7	－	胎土：クサリ礫、土丹粒、微砂を含む　色調：黄灰色　成形：手捏ね　内底ナデ有り
353	土坑42	土器	糸切りかわらけ(小)	8.2	1.9	5.5	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む　色調：黄灰色　成形：糸切り　内底ナデ有り
354	土坑42	土器	糸切りかわらけ(小)	8.0	1.6	6.3	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む　色調：橙色　成形：糸切り　内底ナデ有り
355	土坑42	土器	常滑　壺　口縁部	－	－	－	胎土：黒色噴き出し有り　堅緻　色調：灰赤褐色　口縁上部に自然釉　常滑編年5
356	土坑42	陶器	常滑　片口鉢Ⅰ類	－	－	－	胎土：長石、白色粒、砂多く含み硬質　色調：茶褐色　成形：体部外面底部ヘラケズリ　常滑編年6a
357	土坑42	陶器	常滑　片口鉢Ⅰ類	－	－	－	胎土：長石、白色粒、砂多く含み硬質　色調：灰褐色　成形：体部外面底部ヘラケズリ　常滑編年6a
358	6面井戸1西側	土器	糸切りかわらけ(小)	7.7	1.6	6.1	胎土：白針、クサリ礫、土丹粒、微砂を含む　色調：黄灰色　成形：糸切り　内底ナデ有り
359	6面井戸1西側	土器	糸切りかわらけ(小)	7.9	1.7	6.0	胎土：白針、クサリ礫、土丹粒、微砂を含む　色調：黄橙色　成形：糸切り　内底ナデ有り
360	6面井戸1西側	土器	糸切りかわらけ(小)	7.9	1.7	5.8	胎土：白針、クサリ礫、土丹粒、微砂を含む　色調：黄橙色　成形：糸切り　内底ナデ有り
361	6面井戸1西側	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.9)	1.6	(5.7)	胎土：白針、クサリ礫、土丹粒、微砂を含む　色調：黄灰色　成形：糸切り　内底ナデ有り
362	6面井戸1西側	土器	糸切りかわらけ(小)	8.0	1.6	5.7	胎土：白針、クサリ礫、土丹粒、微砂を含む　色調：橙色　成形：糸切り　内底ナデ有り
363	6面井戸1西側	土器	糸切りかわらけ(小)	8.2	2.1	5.6	胎土：白針、クサリ礫、土丹粒、微砂を含む　色調：黄橙色　成形：糸切り　内底ナデ有り
364	6面井戸1西側	土器	糸切りかわらけ(小)	8.2	1.7	5.9	胎土：白針、クサリ礫、土丹粒、微砂を含む　色調：黄橙色　成形：糸切り　内底ナデ有り
365	6面井戸1西側	土器	糸切りかわらけ(小)	8.2	2.1	6.5	胎土：白針、クサリ礫、土丹粒、微砂を含む　色調：橙色　成形：糸切り　内底ナデ有り
366	6面井戸1西側	土器	糸切りかわらけ(小)	8.2	1.9	6.0	胎土：白針、クサリ礫、土丹粒、微砂を含む　色調：橙色　成形：糸切り　内底ナデ有り
367	6面井戸1西側	土器	糸切りかわらけ(小)	(8.4)	1.2	(6.9)	胎土：白針、クサリ礫、土丹粒、微砂を含む　色調：黄灰色　成形：糸切り　内底ナデ有り
368	6面井戸1西側	土器	糸切りかわらけ(小)	8.5	1.7	6.3	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む　色調：橙色　成形：糸切り　内底ナデ有り
369	6面井戸1西側	土器	糸切りかわらけ(小)	8.5	2.0	6.0	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む　色調：黄橙色　成形：糸切り　内底ナデ有り
370	6面井戸1西側	土器	糸切りかわらけ(小)	(8.6)	1.5	(7.1)	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む　色調：橙色　成形：糸切り　内底ナデ有り
371	6面井戸1西側	土器	糸切りかわらけ(小)	8.8	1.9	6.4	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む　色調：橙色　成形：糸切り　内底ナデ有り
372	6面井戸1西側	土器	糸切りかわらけ(大)	(12.1)	2.7	(6.6)	胎土：白針、に砂と気泡を多く含む　色調：橙色　成形：糸切り　内底ナデ有り
373	6面井戸1西側	土器	糸切りかわらけ(大)	12.2	3.1	9.0	胎土：白針、に砂と気泡を多く含む　色調：橙色　成形：糸切り　内底ナデ有り
374	6面井戸1西側	土器	糸切りかわらけ(大)	12.0	3.5	7.8	胎土：白針、に砂と気泡を多く含む　色調：橙色　成形：糸切り　内底ナデ有り
375	6面井戸1西側	陶器	常滑　片口鉢Ⅰ類	－	－	－	胎土：白色粒、砂多く含む　色調：灰色　成形：体部外面底部ヘラケズリ　常滑編年6a
376	6面井戸1西側	鉄製品	釘	長(4.1)	幅0.3	厚0.4	断面四角形　重さ2.0ｇ
377	トレンチ1	土器	糸切りかわらけ(小)	8.0	1.8	6.3	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む粗土　色調：黄灰色　成形：糸切り　内底ナデ有り
378	トレンチ1	土器	糸切りかわらけ(小)	8.2	1.6	6.1	胎土：白針、黒色砂、微砂含む　色調：橙色　成形：糸切り　内底ナデ有り
379	トレンチ3	土器	糸切りかわらけ(小)	8.2	1.6	6.8	胎土：クサリ礫、土丹粒、微砂を含む　色調：黄橙色　成形：手捏ね　内底ナデ有り
380	南壁セクション	土器	糸切りかわらけ(大)	12.9	3.4	7.8	胎土：白針に砂と気泡を多く含むやや粗土　色調：黄灰色　成形：糸切り　内底ナデ有り

図18　6面まで・6面の遺物　　(　)は復元法量・単位cm

番号	層位・遺構	種　別	機　種	口径	器高	底径	観　察
381	6面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.0)	1.7	(4.8)	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む　色調：黄灰色　成形：糸切り　内底ナデ有り
382	6面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.1)	1.2	(5.2)	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む　色調：黄灰色　成形：糸切り　内底ナデ有り
383	6面まで	土器	手捏ねかわらけ(小)	(7.4)	1.8	－	胎土：クサリ礫、土丹粒、微砂を含む　色調：黄灰色　成形：手捏ね　内底ナデ有り
384	6面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	7.7	1.5	6.1	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む　色調：黄橙色　成形：糸切り　内底ナデ有り　口縁打ち欠き　燈明皿
385	6面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	7.9	1.7	5.7	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む　色調：黄橙色　成形：糸切り　内底ナデ有り
386	6面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	8.0	1.9	5.9	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む　色調：黄橙色　成形：糸切り　内底ナデ有り
387	6面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	(8.0)	1.7	(5.8)	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む　色調：黄灰色　成形：糸切り　内底ナデ有り
388	6面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	8.4	1.6	6.9	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む　色調：黄灰色　成形：糸切り　内底ナデ有り
389	6面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	7.9	2.1	5.3	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む　色調：黄灰色　成形：糸切り　内底ナデ有り　内底面中央に穿孔有り
390	6面まで	土器	糸切りかわらけ(大)	(11.4)	3.2	(7.8)	胎土：白針、に砂と気泡を多く含む　色調：黄灰色　成形：糸切り　内底ナデ有り
391	6面まで	土器	糸切りかわらけ(大)	(11.9)	3.0	(8.2)	胎土：白針、に砂と気泡を多く含む　色調：黄橙色　成形：糸切り　内底ナデ有り
392	6面まで	土器	糸切りかわらけ(大)	11.9	3.4	7.1	胎土：白針、に砂と気泡を多く含む　色調：黄橙色　成形：糸切り　内底ナデ有り
393	6面まで	土器	手捏ねかわらけ(大)	11.9	3.4	－	胎土：クサリ礫、土丹粒、微砂を含む　色調：黄灰色　成形：手捏ね　内底ナデ有り
394	6面まで	土器	手捏ねかわらけ(大)	12.8	2.9	－	胎土：クサリ礫、土丹粒、微砂を含む　色調：黄灰色　成形：手捏ね　内底ナデ有り
395	6面まで	土器	糸切りかわらけ(大)	13.1	3.6	8.6	胎土：白針、に砂と気泡を多く含む　色調：黄橙色　成形：糸切り　内底ナデ有り
396	6面まで	陶器	常滑　片口鉢Ⅰ類	－	－	－	胎土：白色粒、砂多く含む　色調：灰色　常滑編年5
397	6面まで	陶器	常滑　片口鉢Ⅰ類	－	－	－	胎土：長石、白色粒、砂多く含み硬質　色調：灰色　常滑編年6a
398	6面まで	陶器	常滑　片口鉢Ⅰ類	－	－	－	胎土：長石、白色粒、砂多く含み硬質　色調：灰色　常滑編年6a
399	6面まで	陶器	常滑　片口鉢Ⅰ類	－	－	－	胎土：白色粒、砂多く含む　色調：灰色　成形：体部外面底部ヘラケズリ
400	6面まで	陶器	常滑　片口鉢Ⅰ類	－	－	(12.0)	胎土：長石、白色粒、砂多く含み硬質　色調：灰色　成形：体部外面底部ヘラケズリ
401	6面まで	陶器	常滑　片口鉢Ⅱ類	－	－	－	胎土：長石粒及び砂を多く含む　色調：暗灰色　成形：内外面ナデ　口端部外面強いナデ　常滑編年6a
402	6面まで	陶器	常滑　片口鉢Ⅱ類	－	－	－	胎土：長石粒及び砂を多く含む　色調：赤褐色　成形：内外面ナデ　口端部外面強いナデ　常滑編年6a
403	6面まで	陶器	渥美　無形壺	－	－	－	胎土：砂が少ない精良土　暗灰色
404	6面まで	土器	瓦質火鉢	－	－	－	胎土：砂が多い素地に白針、クサリ礫、黒色砂を含む　色調：褐色
405	6面まで	銅製品	銭　咸平元寶	径2.5	3.0g	－	初鋳年998　北宋
406	6面	土器	手捏ねかわらけ(小)	7.7	1.8	－	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む　色調：橙色　成形：手捏ね　内底ナデ有り
407	6面	土器	糸切りかわらけ(小)	8.5	2.0	6.1	胎土：白針、微砂を含む　色調：黄灰色　成形：糸切り　内底ナデ有り
408	6面	土器	糸切りかわらけ(小)	8.0	1.6	6.8	胎土：白針、微砂を含む　色調：黄橙色　成形：糸切り　内底ナデ有り
409	6面	土器	糸切りかわらけ(小)	8.2	1.6	6.7	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む　色調：黄橙色　成形：糸切り　内底ナデ有り
410	6面	土器	糸切りかわらけ(小)	(8.2)	1.5	(6.6)	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む　色調：黄灰色　成形：糸切り　内底ナデ有り

観察表６

411	6面	土器	糸切りかわらけ(大)	(12.4)	3.0	(9.2)	胎土：白針に砂と気泡を多く含むやや粗土　色調：黄橙色　成形：糸切り　内底ナデ有り
412	6面	土器	糸切りかわらけ(大)	(12.6)	3.2	(8.4)	胎土：白針に砂と気泡を多く含むやや粗土　色調：橙色　成形：糸切り　内底ナデ有り
413	6面	陶器	常滑　片口鉢Ⅰ類	－	－	－	胎土：長石、白色粒、砂多く含み硬質　色調：灰色　成形：体部外面底部ヘラケズリ　常滑編年5
414	6面	鉄製品	釘	長(6.6)	幅0.7	厚0.5	断面四角形　重さ6.0g
415	6面	鉄製品	釘	長(3.2)	幅0.4	厚0.4	断面四角形　重さ2.0g
416	6面	鹿角製品	目釘	長1.8	径1.3	厚0.8	刀子の目釘と思われる

図19　井戸1、2・土坑・柱穴の遺物　　(　)は復元法量・単位cm

番号	層位・遺構	種 別	機　種	口径	器高	底径	観　察
417	井戸1	土器	糸切りかわらけ(小)	7.6	1.6	(5.1)	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む　色調：黄灰色　成形：糸切り　内底ナデ有り　燈明皿
418	井戸1	土器	糸切りかわらけ(小)	7.9	1.9	5.8	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む　色調：黄灰色　成形：糸切り　内底ナデ有り　口縁打ち欠き有り　燈明皿
419	井戸1	土器	糸切りかわらけ(大)	12.7	3.3	7.1	胎土：白針に砂と気泡を多く含むやや粗土　色調：橙色　成形：糸切り　内底ナデ有り
420	井戸1	陶器	常滑　甕　口縁部	－	－	－	胎土：黒色噴き出し有り　堅緻　色調：淡茶褐色～茶褐色　口縁上部に自然釉　常滑編年5
421	井戸1	陶器	常滑　片口鉢Ⅰ類	－	－	－	胎土：長石、白色粒、砂多く含み硬質　色調：灰色　成形：体部外面底部ヘラケズリ　常滑編年5
422	井戸1	木製品	漆器　小皿	8.3	1.4	6.3	内外面共に黒漆塗り
423	井戸2	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.2)	1.5	5.2	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む　色調：黄灰色　成形：糸切り　内底ナデ有り
424	井戸2	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.4)	1.7	(5.8)	胎土：白針、黒色砂に微砂を含みやや粗土　色調：黄灰色　成形：糸切り　内底ナデ有り
425	井戸2	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.4)	1.5	5.1	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む　色調：橙色　成形：糸切り　内底ナデ有り
426	井戸2	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.5)	1.8	(5.4)	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む　色調：黄灰色　成形：糸切り　内底ナデ有り
427	井戸2	土器	糸切りかわらけ(小)	7.5	1.8	5.2	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む　色調：黄灰色　成形：糸切り　内底ナデ有り
428	井戸2	土器	糸切りかわらけ(小)	7.7	1.7	5.2	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む　色調：黄橙色　成形：糸切り　内底ナデ有り
429	井戸2	土器	糸切りかわらけ(小)	7.9	1.8	5.3	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む　色調：黄灰色　成形：糸切り　内底ナデ有り
430	井戸2	土器	糸切りかわらけ(小)	7.9	1.4	6.2	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む　色調：黄灰色　成形：糸切り　内底ナデ有り
431	井戸2	土器	糸切りかわらけ(小)	8.1	1.8	6.7	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む　色調：黄橙色　成形：糸切り　内底ナデ有り
432	井戸2	土器	糸切りかわらけ(小)	(8.2)	1.7	(6.3)	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む　色調：橙色　成形：糸切り　内底ナデ有り
433	井戸2	土器	糸切りかわらけ(小)	(8.2)	1.7	(6.4)	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む　色調：橙色　成形：糸切り　内底ナデ有り
434	井戸2	土器	糸切りかわらけ(小)	(8.2)	1.7	(5.4)	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む　色調：橙色　成形：糸切り　内底ナデ有り
435	井戸2	土器	糸切りかわらけ(小)	8.2	1.7	5.8	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む　色調：黄灰色　成形：糸切り　内底ナデ有り
436	井戸2	土器	糸切りかわらけ(大)	(11.8)	3.3	(7.8)	胎土：白針に砂と気泡を含む　色調：黄灰色　成形：糸切り　内底ナデ有り
437	井戸2	土器	糸切りかわらけ(大)	(11.6)	2.9	(7.0)	胎土：白針、クサリ礫、土丹粒、微砂を含む　色調：橙色　成形：糸切り　内底ナデ有り
438	井戸2	土器	糸切りかわらけ(大)	(8.4)	2.5	(5.0)	胎土：白針、クサリ礫、土丹粒、微砂を含む　色調：橙色　成形：糸切り　内底ナデ有り
439	井戸2	土器	糸切りかわらけ(大)	12.0	3.4	8.4	胎土：白針、クサリ礫、土丹粒、微砂を含む　色調：黄灰色　成形：糸切り　内底ナデ有り
440	井戸2	土器	糸切りかわらけ(大)	(12.2)	3.5	(7.2)	胎土：白針、クサリ礫、土丹粒、微砂を含む　色調：黄灰色　成形：糸切り　内底ナデ有り
441	井戸2	土器	糸切りかわらけ(大)	(12.2)	3.2	(8.6)	胎土：白針に砂と気泡を含む　色調：黄灰色　成形：糸切り　内底ナデ有り
442	井戸2	陶器	常滑　片口鉢Ⅰ類	(27.8)	－	－	胎土：長石、白色粒、砂多く含み硬質　色調：灰色　常滑編年6
443	井戸2	陶器	常滑　片口鉢Ⅰ類	－	－	－	胎土：長石、白色粒、砂多く含み硬質　色調：灰色　成形：体部外面底部ヘラケズリ
444	井戸2	陶器	常滑　片口鉢Ⅱ類	－	－	－	胎土：長石粒及び砂を多く含む　色調：淡赤褐色　成形：内外面ナデ　口端部外面強いナデ　常滑編年6a
445	井戸2	磁器	白磁　口兀皿	10.2	1.7	6.6	胎土：乳灰白色で精良土、透明な釉、口縁部釉剥ぎ取り
446	井戸2	鉄製品	釘	長(3.4)	幅0.3	厚0.3	断面四角形　重さ0.6g
447	土坑43	陶器	常滑　片口鉢Ⅰ類	－	－	－	胎土：白色粒、砂多く含む　色調：灰色　常滑編年6a
448	土坑43	陶器	常滑　片口鉢Ⅰ類	－	－	－	胎土：白色粒、砂多く含む　色調：灰色　常滑編年6a
449	土坑43	土器	手捏ねかわらけ(小)	(7.6)	1.5	－	胎土：クサリ礫、土丹粒、微砂を含む　色調：黄橙色　成形：手捏ね　内底ナデ有り
450	土坑43	土器	糸切りかわらけ(小)	7.6	1.5	5.8	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む　色調：黄橙色　成形：糸切り　内底ナデ有り
451	土坑47	土器	手捏ねかわらけ(小)	7.7	1.8	－	胎土：クサリ礫、土丹粒、微砂を含む　色調：橙色　成形：手捏ね　内底ナデ有り
452	土坑47	土器	手捏ねかわらけ(小)	7.7	1.5	－	胎土：クサリ礫、土丹粒、微砂を含む　色調：黄橙色　成形：手捏ね　内底ナデ有り
453	土坑45	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.7)	1.5	(6.0)	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む　色調：黄橙色　成形：糸切り　内底ナデ有り
454	土坑46	土器	糸切りかわらけ(小)	8.0	1.6	5.8	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む　色調：黄橙色　成形：糸切り　内底ナデ有り
455	土坑48	陶器	常滑　甕口縁部	－	－	－	胎土：長石、黒色噴き出し有り　色調：明茶色　口唇部折り返しシャープ　常滑編年6a
456	P108	陶器	常滑　片口鉢Ⅱ類	－	－	－	胎土：長石粒及び砂を多く含む　色調：淡赤褐色　成形：内外面ナデ　口端部外面強いナデ　常滑編年6a
457	P109	土器	糸切りかわらけ(大)	11.9	2.9	7.7	胎土：白針、に砂と気泡を多く含む　色調：橙色　成形：糸切り　内底ナデ有り
458	P137	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.6)	1.7	(6.0)	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む　色調：黄橙色　成形：糸切り　内底ナデ有り
459	P149	土器	手捏ねかわらけ(小)	(7.6)	2.0	－	胎土：クサリ礫、土丹粒、微砂を含む　色調：黄橙色　成形：手捏ね　内底ナデ有り
460	P142	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.6)	1.7	(5.8)	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む　色調：黄橙色　成形：糸切り　内底ナデ有り
461	P156	土器	手捏ねかわらけ(小)	8.4	1.7	－	胎土：クサリ礫、土丹粒、微砂を含む　色調：黄橙色　成形：手捏ね　内底ナデ有り
462	P151	土器	糸切りかわらけ(小)	(8.1)	1.8	(6.8)	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む　色調：黄橙色　成形：糸切り　内底ナデ有り
463	P156	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.7)	1.6	(5.8)	胎土：白針、黒色砂に微砂を含む　色調：黄橙色　成形：糸切り　内底ナデ有り
464	P144	土器	糸切りかわらけ(大)	(11.7)	2.9	(7.0)	胎土：白針、に砂と気泡を多く含む　色調：黄橙色　成形：糸切り　内底ナデ有り
465	P155	磁器	青白磁　水注	－	－	(5.2)	胎土：灰白色で精良土　透明な青緑色の釉　外面全体に花と葉を陽刻
466	P156	土器	瓦質火鉢	－	－	－	胎土：粗土　小石粒、砂を多く含む　淡燈色
467	P112	鉄製品	釘	長(4.3)	幅0.2	厚0.2	断面四角形　重さ1.7g
468	P137	鉄製品	釘	長(6.0)	幅0.3	厚0.3	断面四角形　重さ2.2g

図20　7面まで・7面遺構の遺物　　(　)は復元法量・単位cm

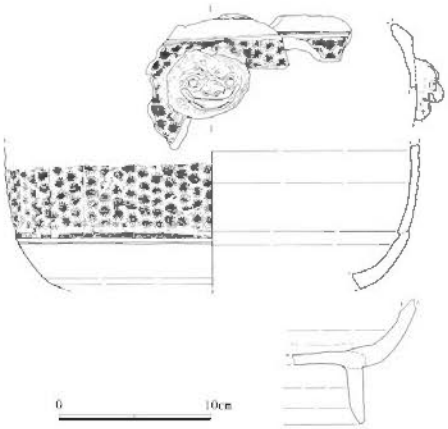
番号	層位・遺構	種 別	機　種	口径	器高	底径	観　察
469	7面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	(8.1)	1.6	(5.8)	胎土：白針、クサリ礫、黒色砂に微砂を含む　色調：黄橙色　成形：糸切り　内底ナデ有り
470	7面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	8.3	1.4	6.4	胎土：白針、クサリ礫、黒色砂に微砂を含む　色調：橙色　成形：糸切り　内底ナデ有り
471	7面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	(8.3)	1.8	(7.0)	胎土：白針、クサリ礫、黒色砂に微砂を含む　色調：橙色　成形：糸切り　内底ナデ有り
472	7面まで	土器	手捏ねかわらけ(小)	8.6	1.6	－	胎土：クサリ礫、土丹粒、微砂を含む　色調：黄橙色　成形：手捏ね　内底ナデ有り
473	7面まで	土器	糸切りかわらけ(大)	(11.4)	3.4	(7.7)	胎土：白針、クサリ礫に砂含む　色調：黄橙色　成形：糸切り　内底ナデ有り
474	7面まで	土器	糸切りかわらけ(大)	12.3	2.8	8.4	胎土：白針、クサリ礫に砂含む　色調：黄橙色　成形：糸切り　内底ナデ有り
475	7面まで	土器	手捏ねかわらけ(大)	(12.4)	2.9	－	胎土：クサリ礫、土丹粒、微砂を含む　色調：黄橙色　成形：手捏ね　内底ナデ有り
476	7面まで	土器	糸切りかわらけ(大)	12.8	3.0	9.0	胎土：白針、クサリ礫に砂含む　色調：黄橙色　成形：糸切り　内底ナデ有り
477	7面まで	土器	手捏ねかわらけ(大)	13.1	2.9	－	胎土：クサリ礫、土丹粒、微砂を含む　色調：橙色　成形：手捏ね　内底ナデ有り
478	7面まで	陶器	常滑　甕　口縁部	－	－	－	胎土：黒色噴き出し有り　堅緻　色調：淡茶褐色～茶褐色　口縁上部に自然釉　常滑編年6a
479	7面まで	陶器	常滑　甕　口縁部	－	－	－	胎土：黒色噴き出し有り　堅緻　色調：淡茶褐色～茶褐色　口縁上部に自然釉　常滑編年5
480	7面まで	陶器	常滑　甕　底部	－	－	(16.6)	胎土：黒色噴き出し有り　堅緻　色調：淡茶褐色～茶褐色
481	7面まで	銅製品	銭　皇宋通寶	径2.5	3.0g	－	初鋳年1034　北宋
482	7面まで	石製品	砥石	長6.2	幅3.5	厚0.6	色：黄灰色　仕上げ砥　鳴滝産
483	土坑51	土器	糸切りかわらけ(小)	7.9	1.6	5.7	胎土：白針、クサリ礫、黒色砂に微砂を含む　色調：黄灰色　成形：糸切り　内底ナデ有り
484	土坑51	土器	糸切りかわらけ(小)	8.2	1.5	6.7	胎土：白針、クサリ礫、黒色砂に微砂を含む　色調：黄灰色　成形：糸切り　内底ナデ有り
485	土坑51	土器	糸切りかわらけ(小)	(8.5)	1.4	(6.3)	胎土：白針、クサリ礫、黒色砂に微砂を含む　色調：橙色　成形：糸切り　内底ナデ有り
486	P166	土器	糸切りかわらけ(小)	8.5	1.6	6.2	胎土：白針、クサリ礫、黒色砂に微砂を含む　色調：橙色　成形：糸切り　内底ナデ有り
487	P171	土器	糸切りかわらけ(小)	8.6	1.9	7.2	胎土：白針、クサリ礫、黒色砂に微砂を含む　色調：黄橙色　成形：糸切り　内底ナデ有り
488	P169	土器	糸切りかわらけ(大)	(12.5)	2.8	(9.8)	胎土：白針、土丹粒に砂を多く含む　色調：黄橙色　成形：糸切り　内底ナデ有り
489	P168	土器	手捏ねかわらけ(大)	(12.8)	2.8	－	胎土：クサリ礫、土丹粒、微砂を含む　色調：黄橙色　成形：手捏ね　内底ナデ有り
490	P168	土器	糸切りかわらけ(大)	12.8	3.2	9.3	胎土：白針、クサリ礫に砂を多く含む　色調：淡黄橙色　成形：糸切り　内底ナデ有り
491	P176	土器	糸切りかわらけ(大)	(13.5)	3.0	(9.0)	胎土：白針、クサリ礫、土丹粒に砂と気泡を多く含む　色調：黄橙色　成形：糸切り　内底ナデ有り

図版１

1. 1面全景 東側から

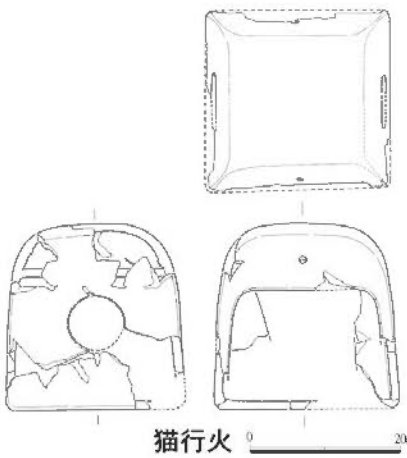
2. 1面全景 西側から

第１面　全景



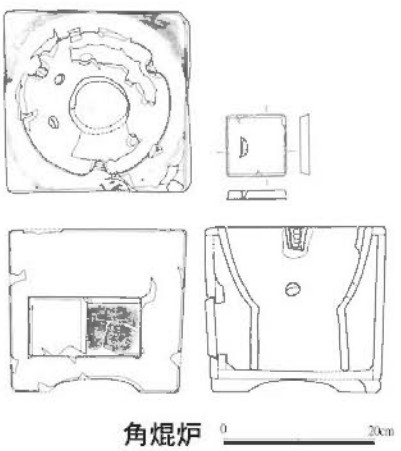
瓦質火鉢（獅子頭風炉）

1. 土坑1 砕かれ廃棄された瓦質火鉢(風炉)・角焜炉・猫行火出土状況



猫行火

2. 土坑1 砕かれ廃棄された瓦質火鉢(風炉)・角焜炉・猫行火出土状況



角焜炉

3. 土坑1 砕かれ廃棄された瓦質火鉢(風炉)・角焜炉・猫行火出土状況

第１面　土坑１遺物出土状況

図版 3

1. 2面全景 東側から

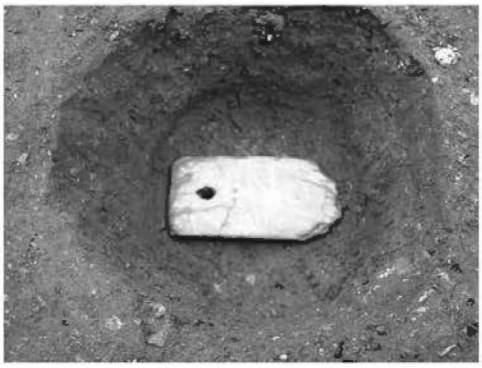
2. 2面全景 西側から

第２面　全景

1. 作業風景

2. かわらけ溜り

3. かわらけ溜り



5. 柱穴19 温石出土状況(3面の遺構)

4. 土坑7 かわらけ出土状況

第２面　遺物出土状況

図版５

1．3面全景　東側から

2．3面全景西側から

第３面　全景

1．4面全景 東側から

2．4面全景 西側から

第４面　全景

図版 7

1. 土坑21・P75 完掘状況

2. 土坑19・29 完掘状況

4. 土坑26 完掘状況

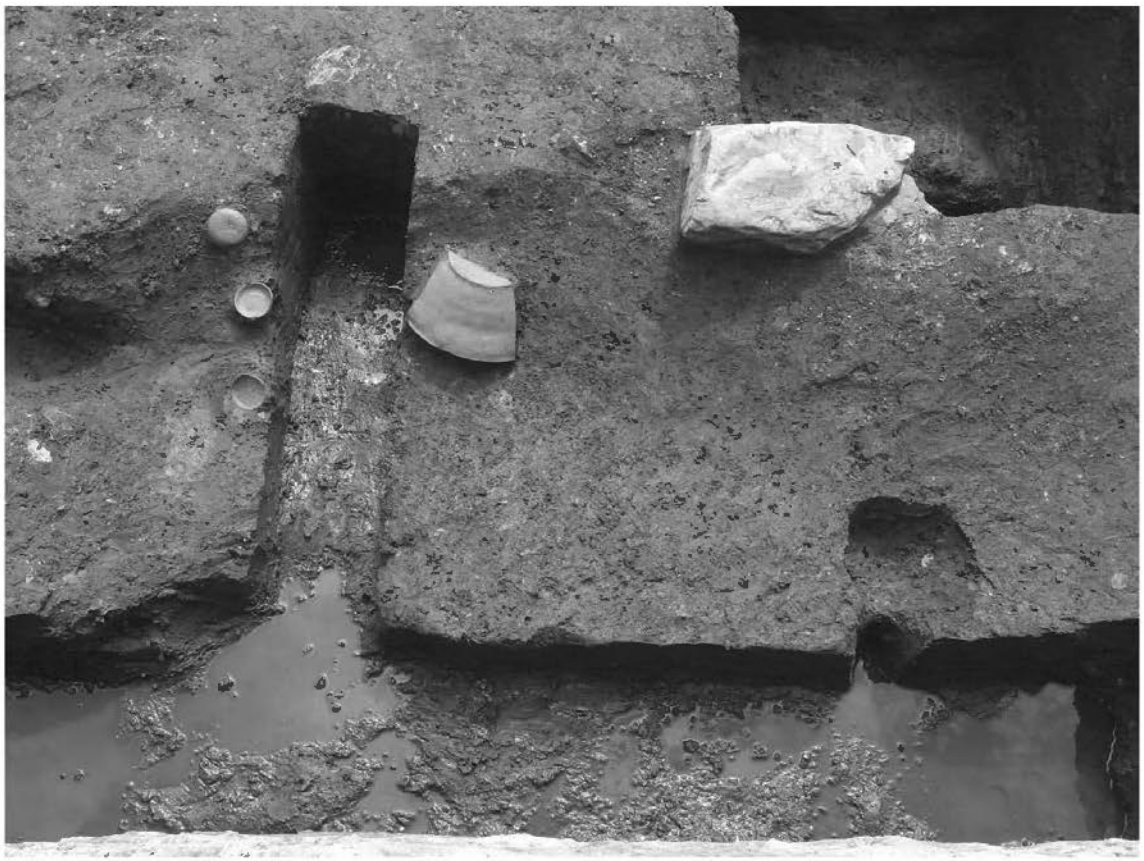
3. 土坑26 土層断面

第４面の調査

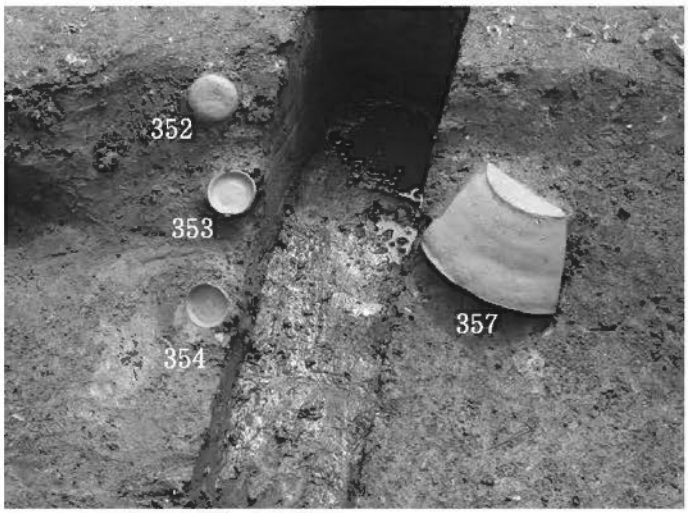
1. 5面全景 東側から

2. 5面全景 西側から

第５面　全景

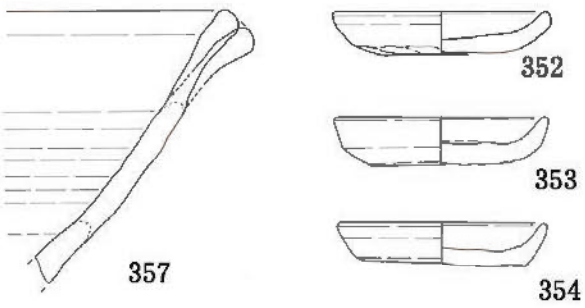


1．5面土坑42 遺物出土状況



2．5面土坑42 遺物出土状況

3．5面土坑42 遺物出土状況



第５面　遺物出土状況

1. 6面全景 東側から

2. 6面全景 西側から

第６面　全景

図版 11

1. 6面まで 井戸1の西側で検出のかわらけ溜り

2. 6面 井戸1 南側掘方

3. 6面 井戸1 北壁に掛かる井戸枠と井戸の掘方

第６面の調査

1. 7面 全景 西側から

2. 7面 P216

3. 7面 P206

4. 7面 全景 東側から

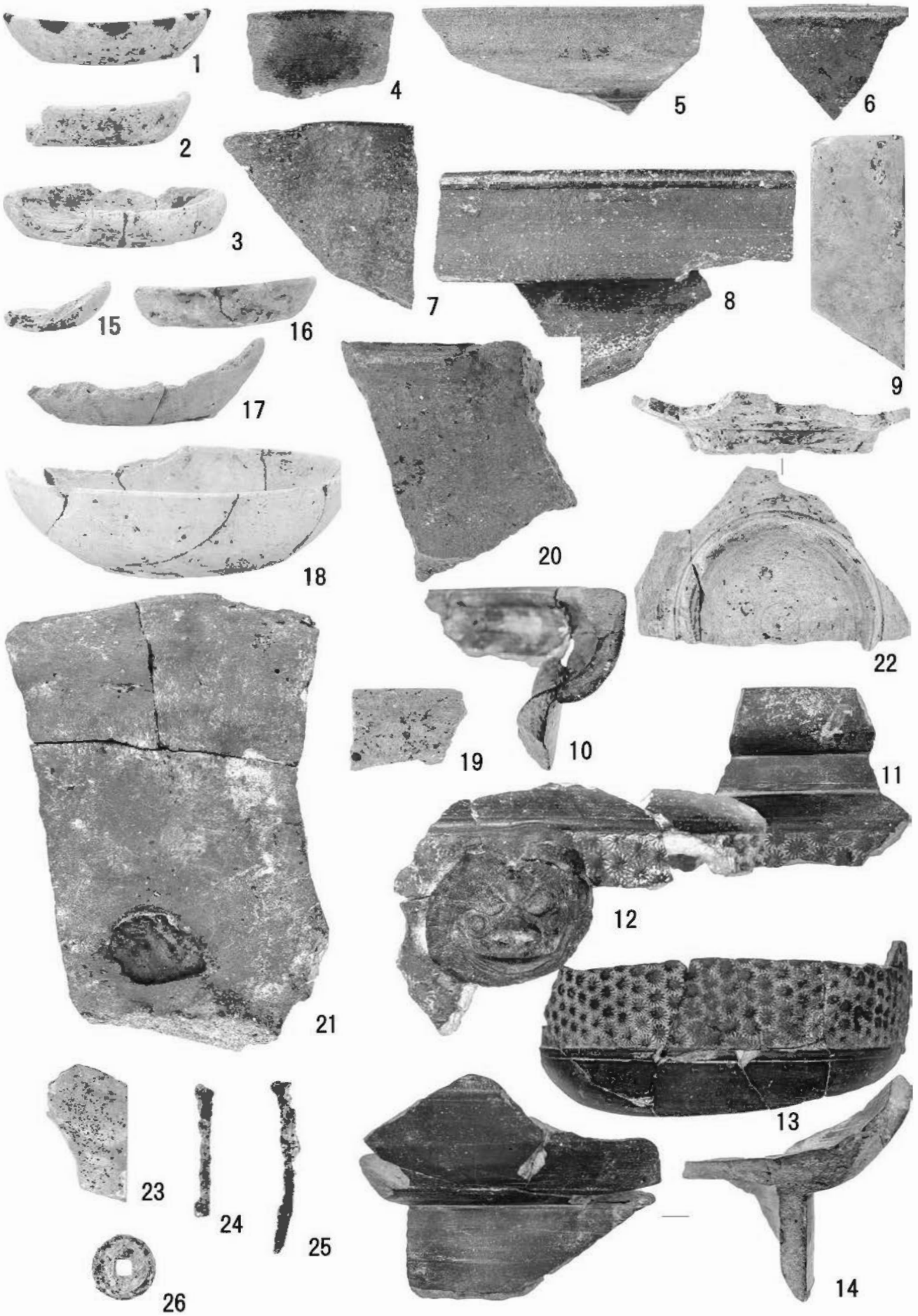
第７面　全景

図 13

1. 南壁断面

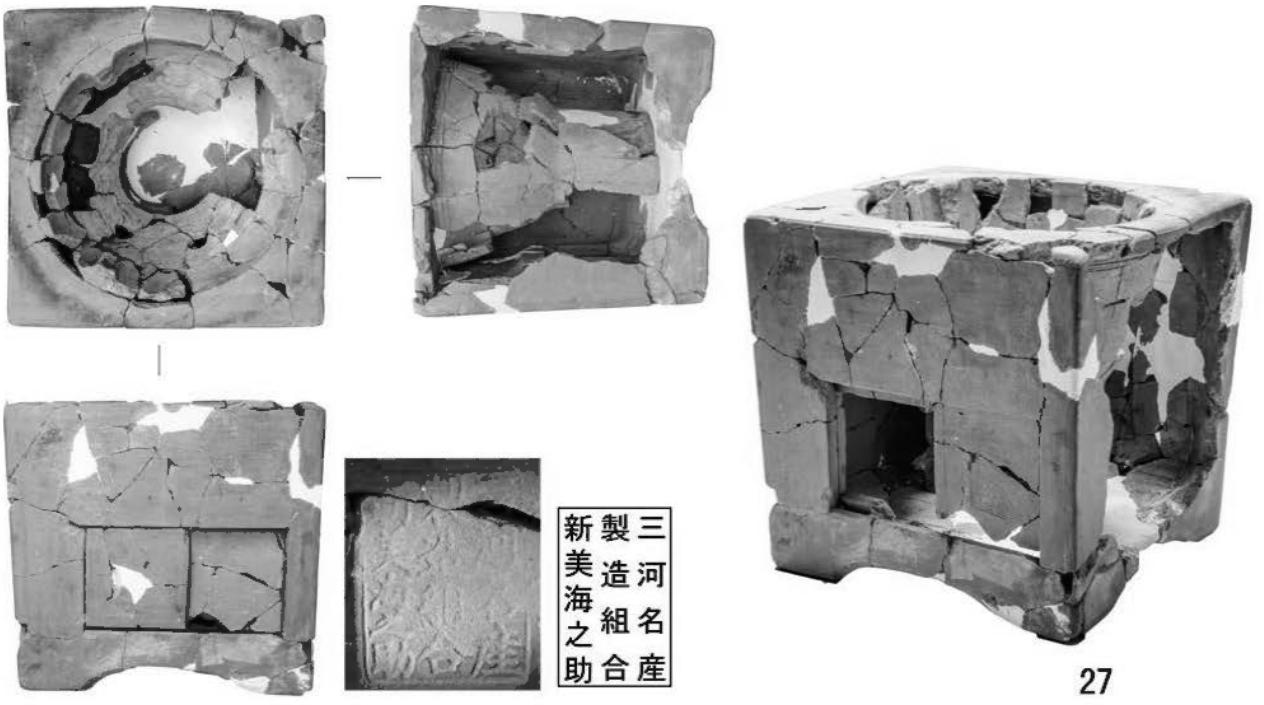
2. 7面 作業風景

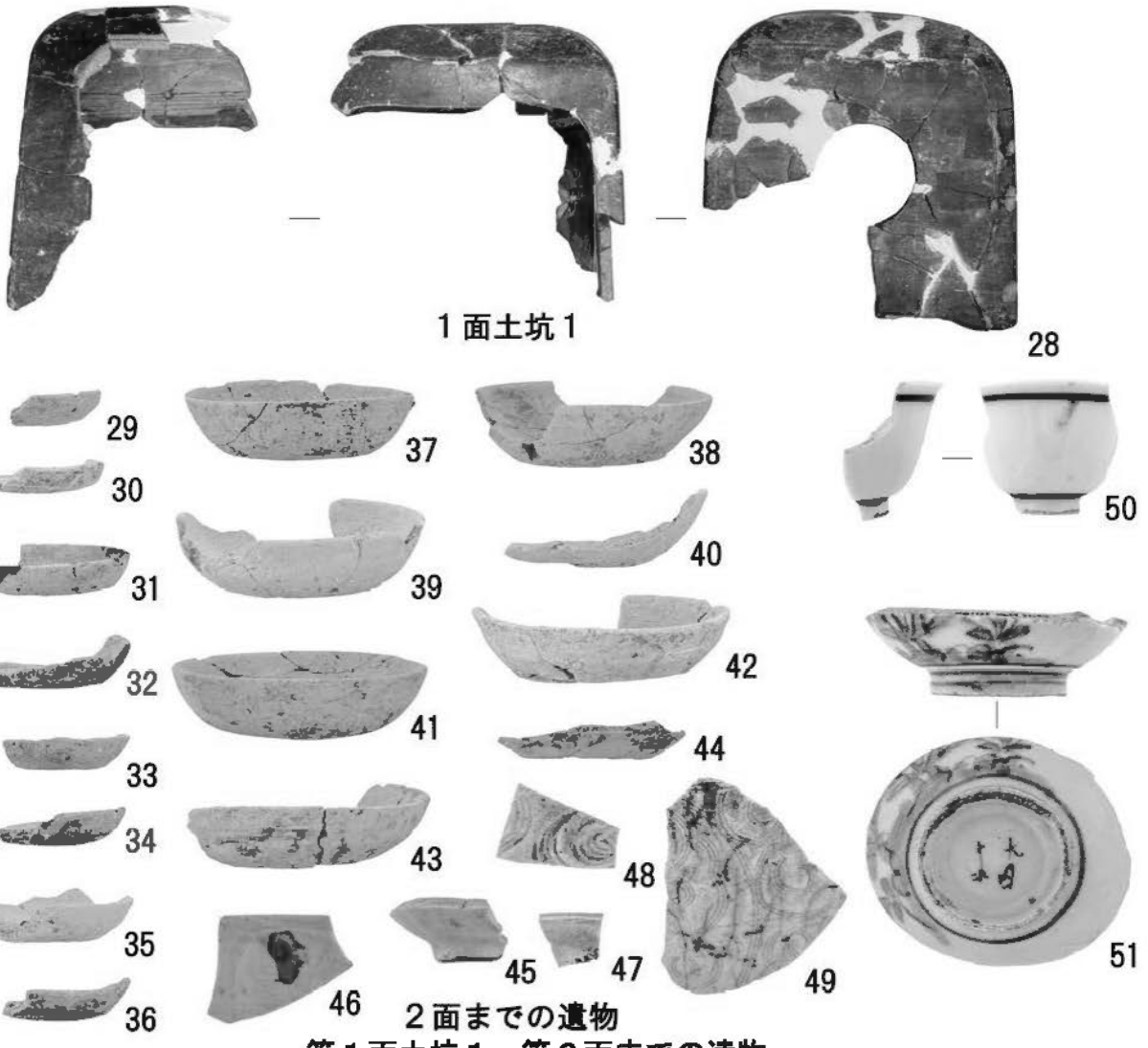
第７面の調査と土層断面



表採・第１面土坑１の遺物

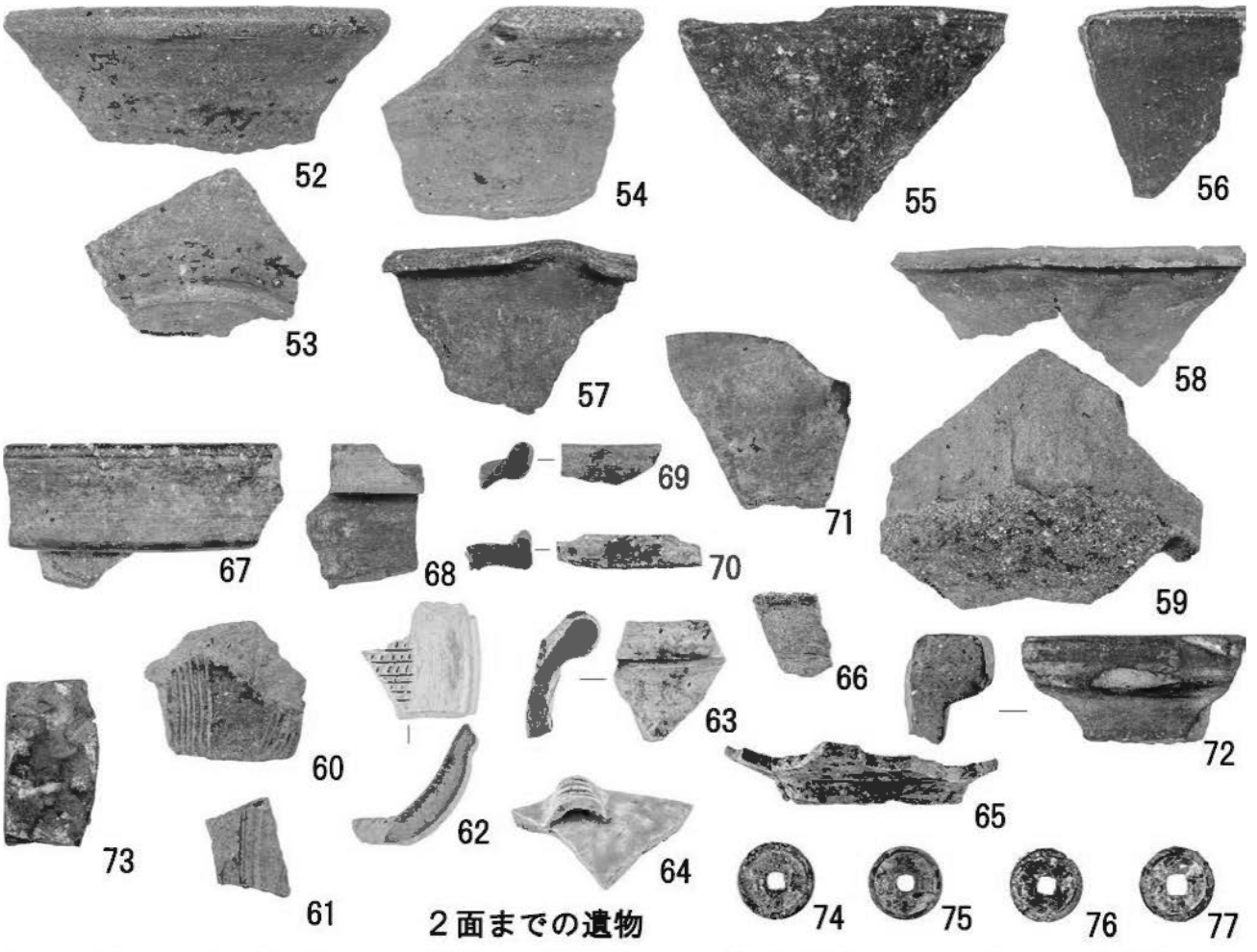
図 15



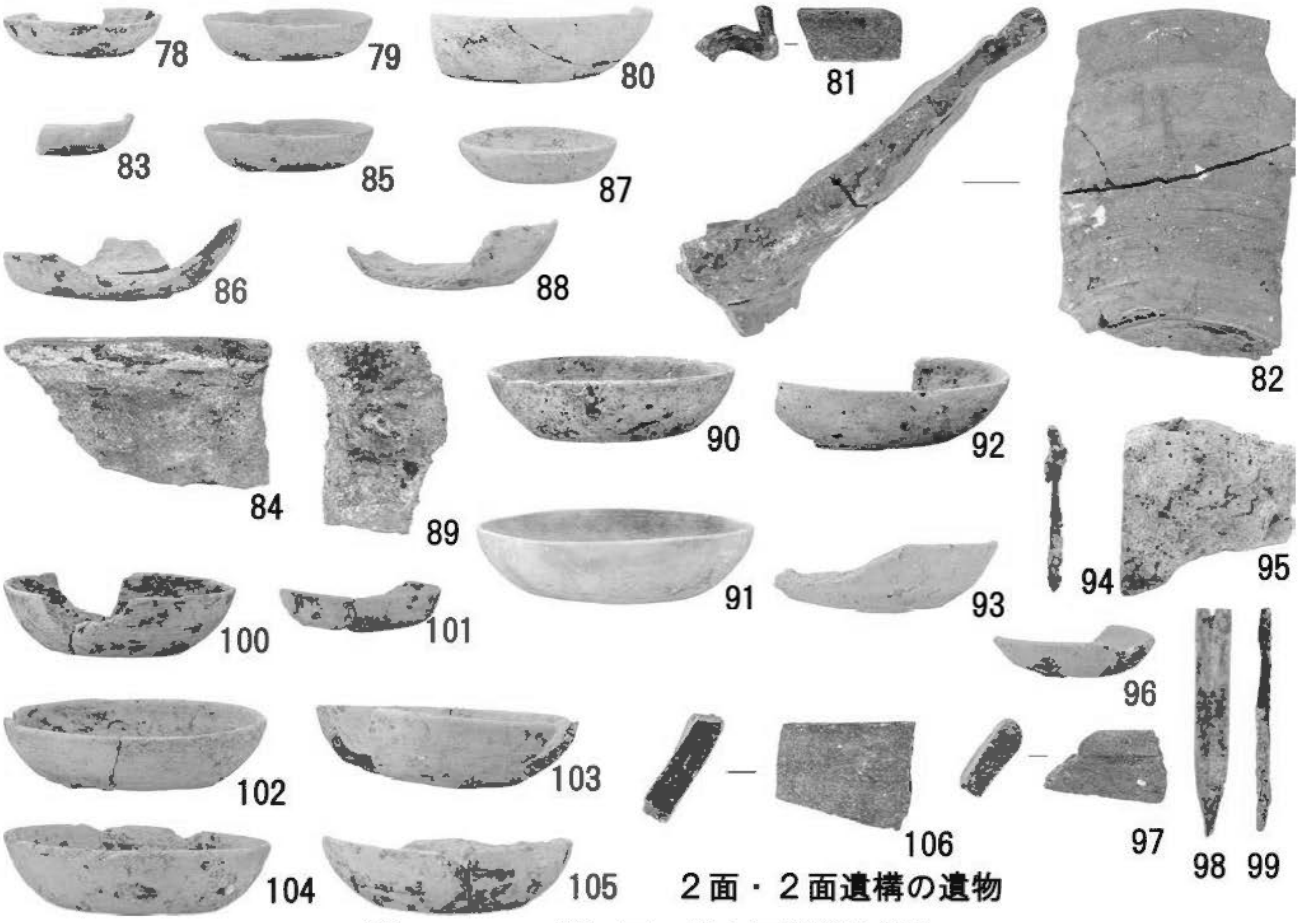


2面までの遺物

第1面土坑1・第2面までの遺物



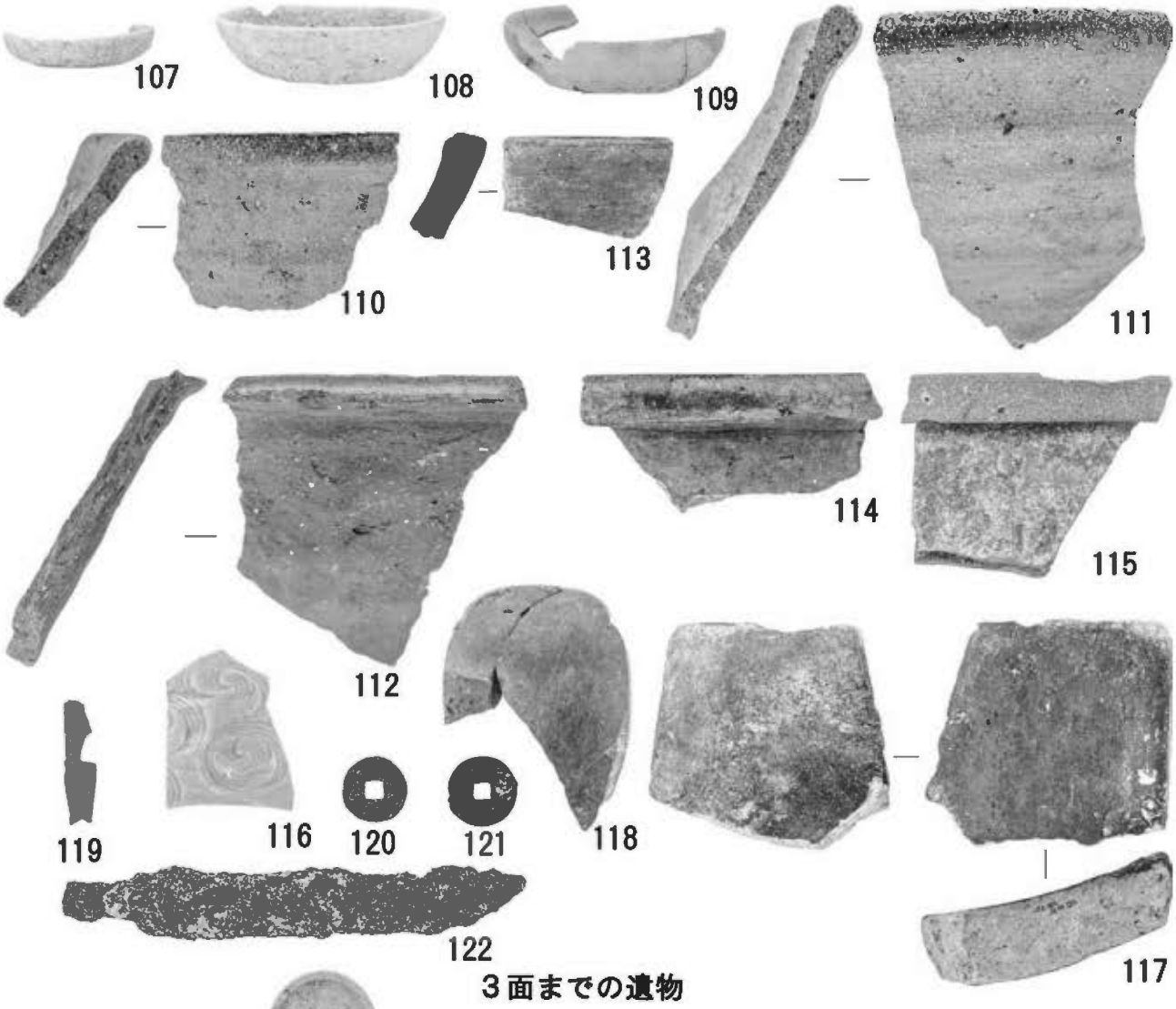
２面までの遺物



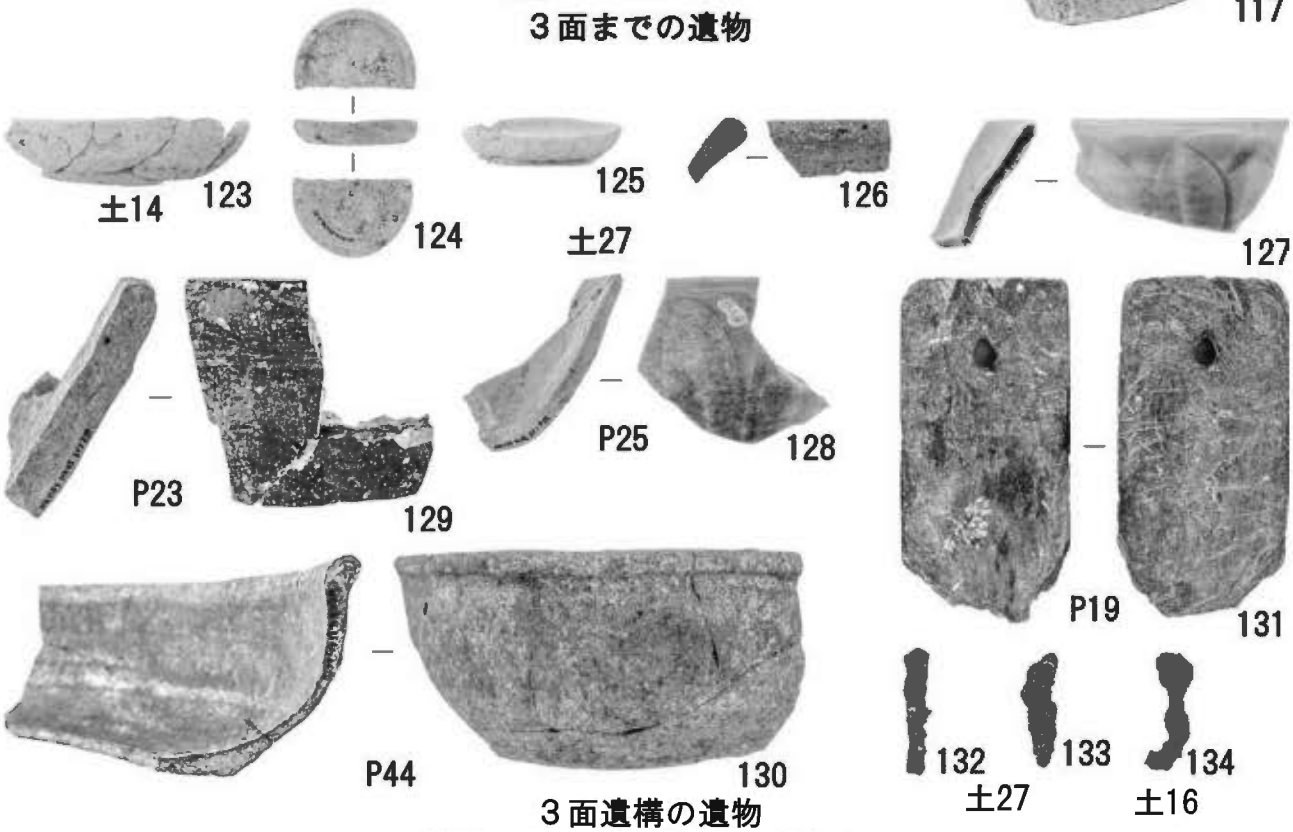
２面・２面遺構の遺物

第２面まで・第２面・第２面遺構の遺物

図 17

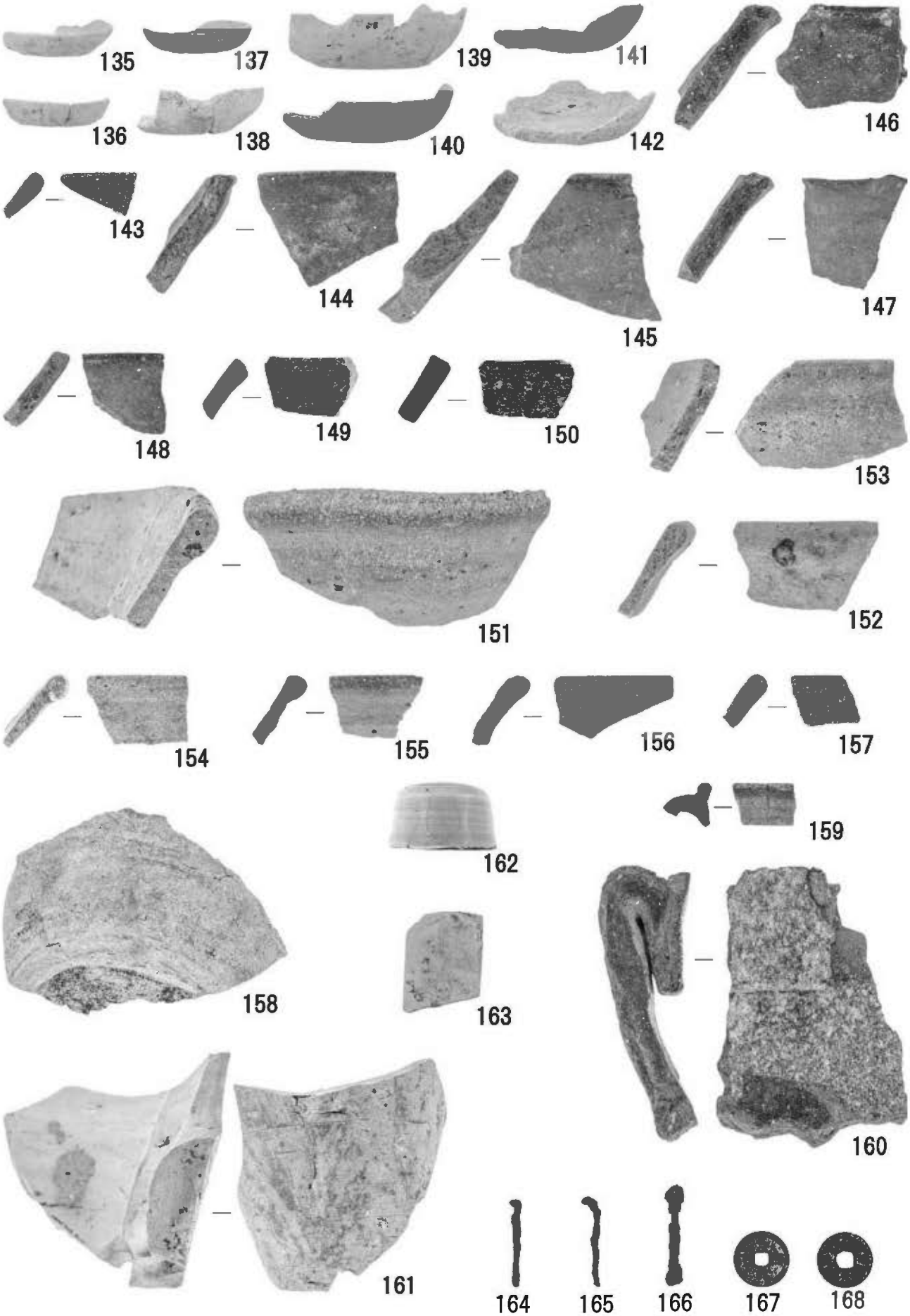


3面までの遺物



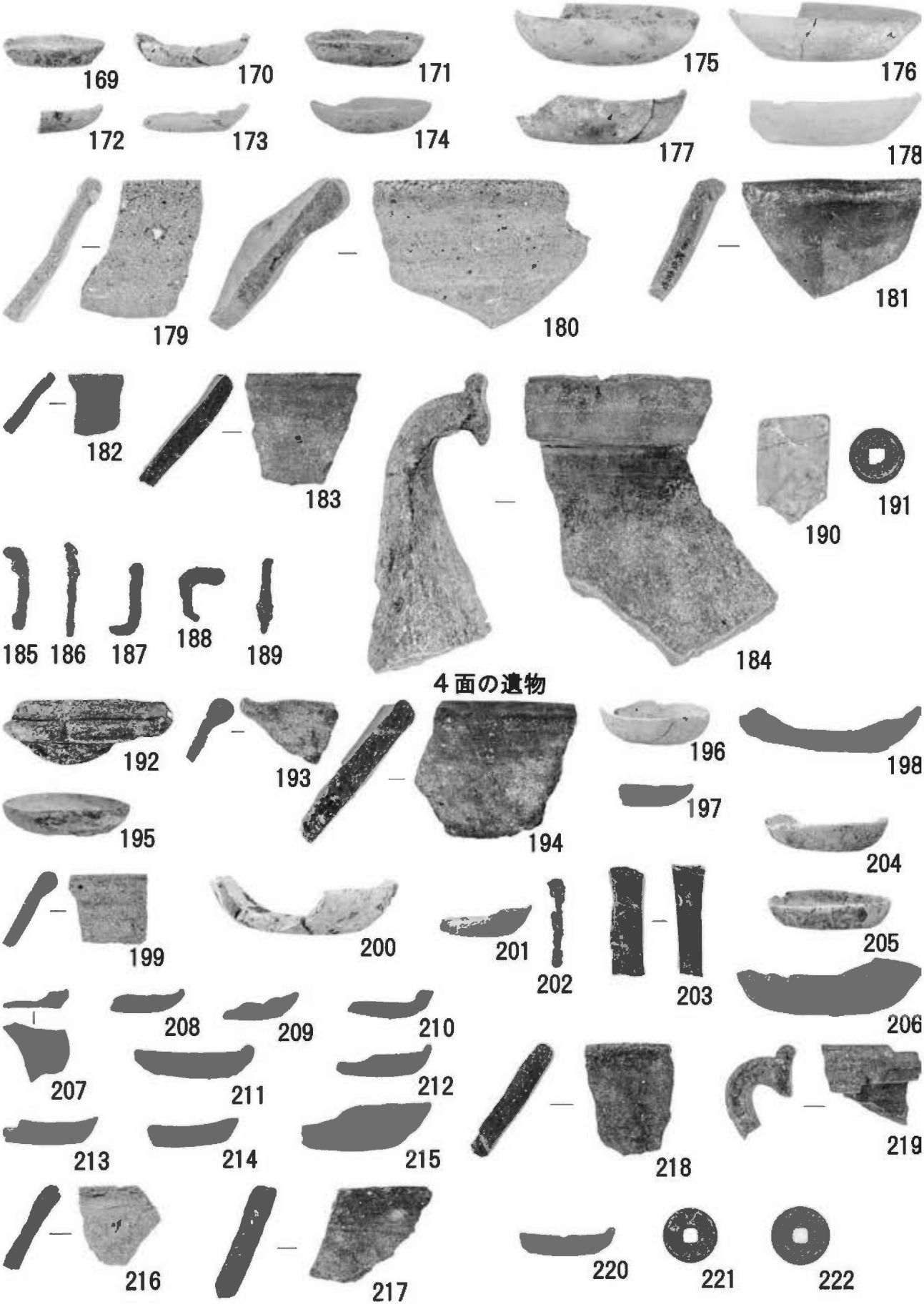
3面遺構の遺物

第3面まで・第3面遺構の遺物


135
137
139
141
136
138
140
142
146
143
144
145
147
148
149
150
153
151
152
154
155
156
157
162
159
158
163
160
161
164
165
166
167
168

第４面までの遺物

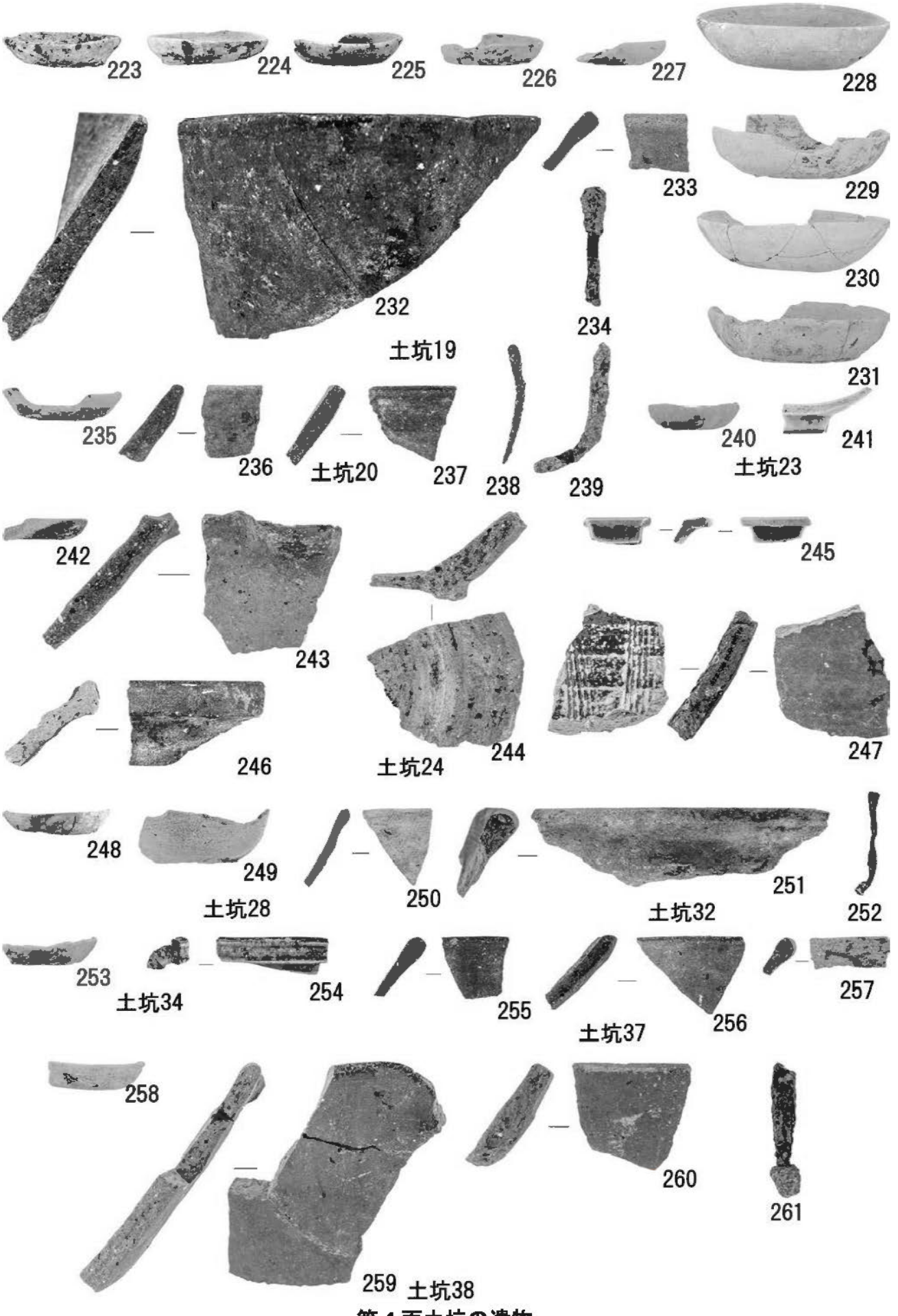
図 19



4面の遺物

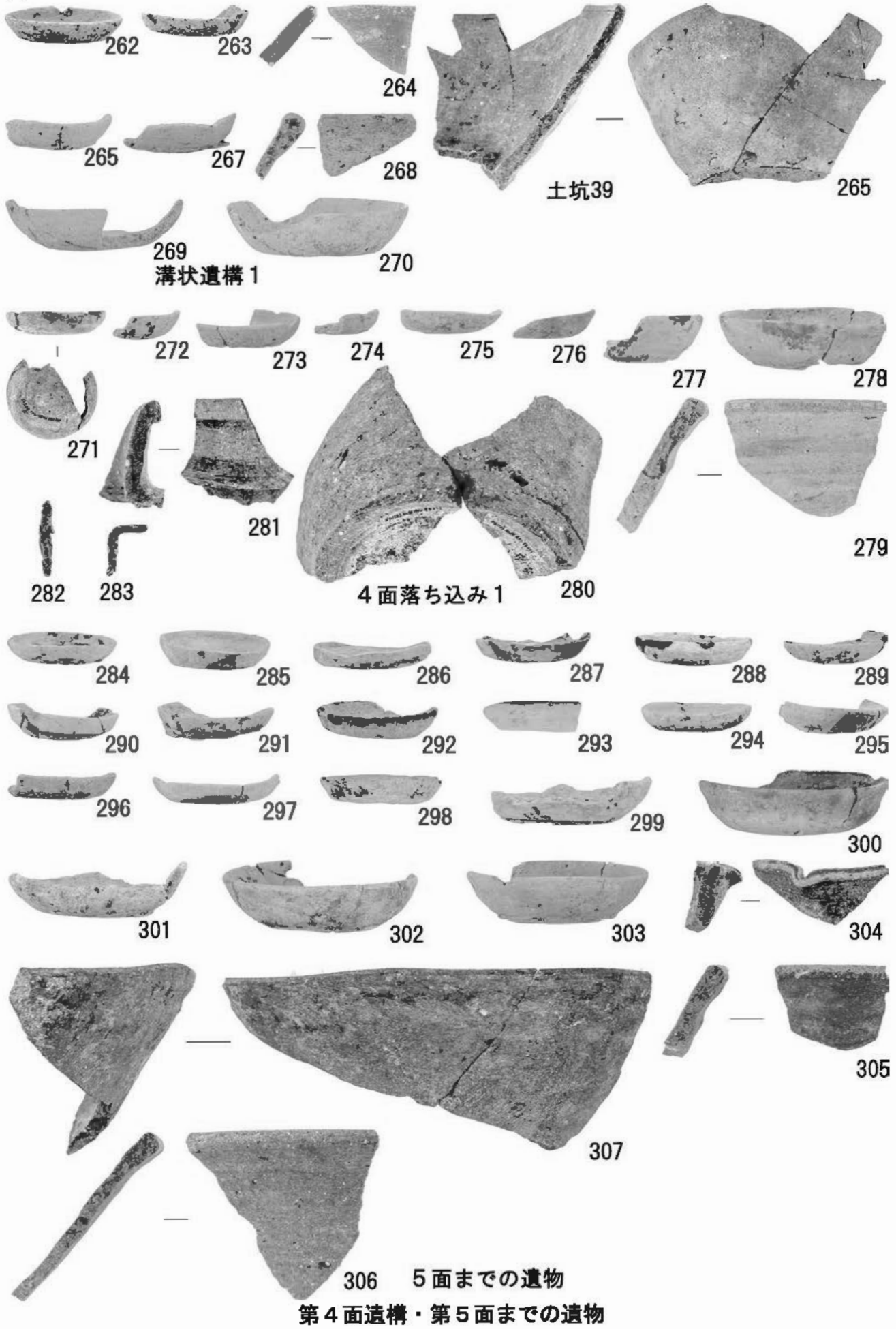
4面柱穴の遺物

第4面・第4面柱穴の遺物

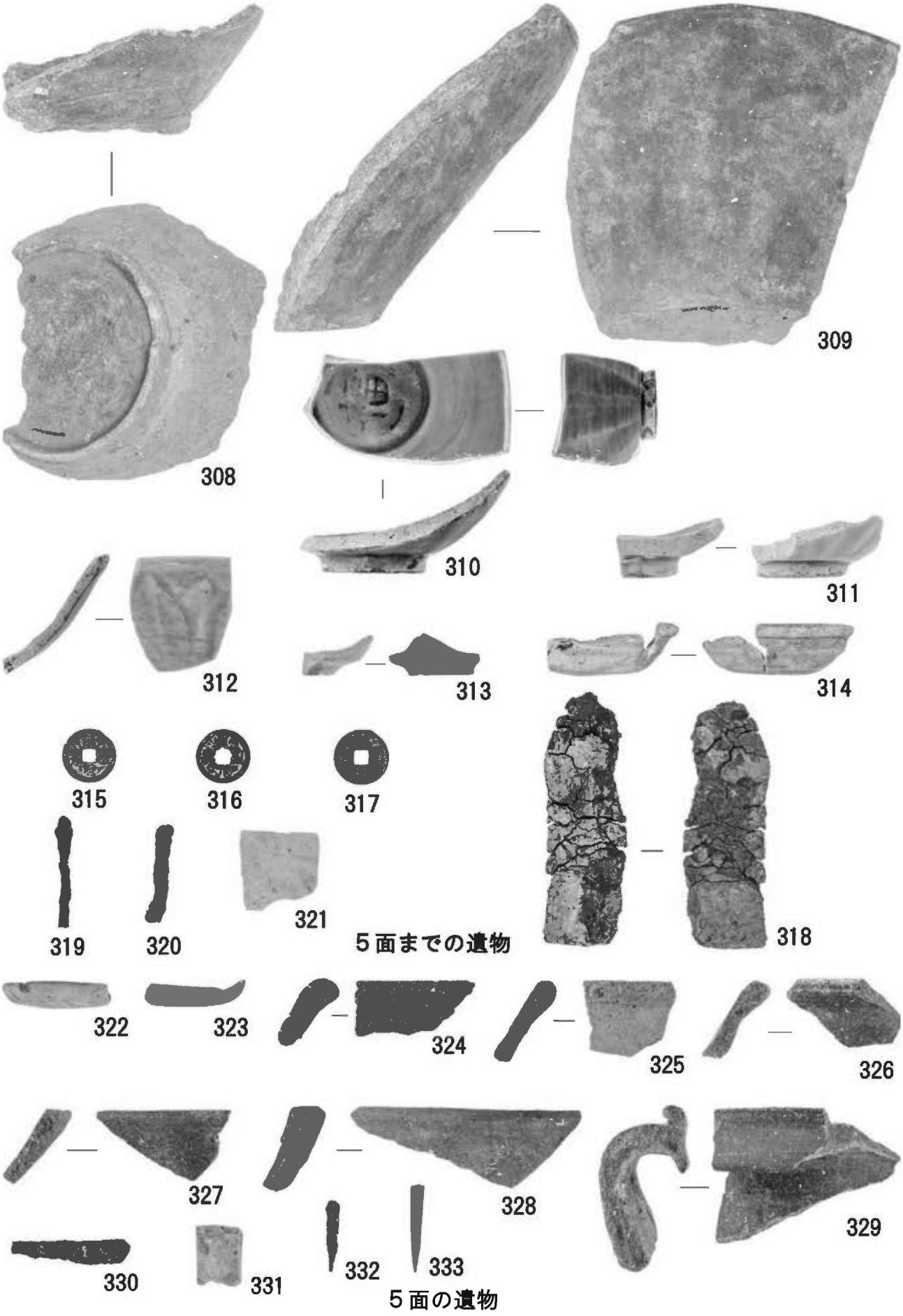

223
224
225
226
227
228
232
233
229
234
土坑19
230
231
235
236
土坑20
237
238
239
240
241
土坑23
242
243
245
244
246
土坑24
247
248
249
土坑28
250
251
土坑32
252
253
土坑34
254
255
土坑37
256
257
258
259
土坑38
260
261

第４面土坑の遺物

図 21



第 4 面遺構・第 5 面までの遺物

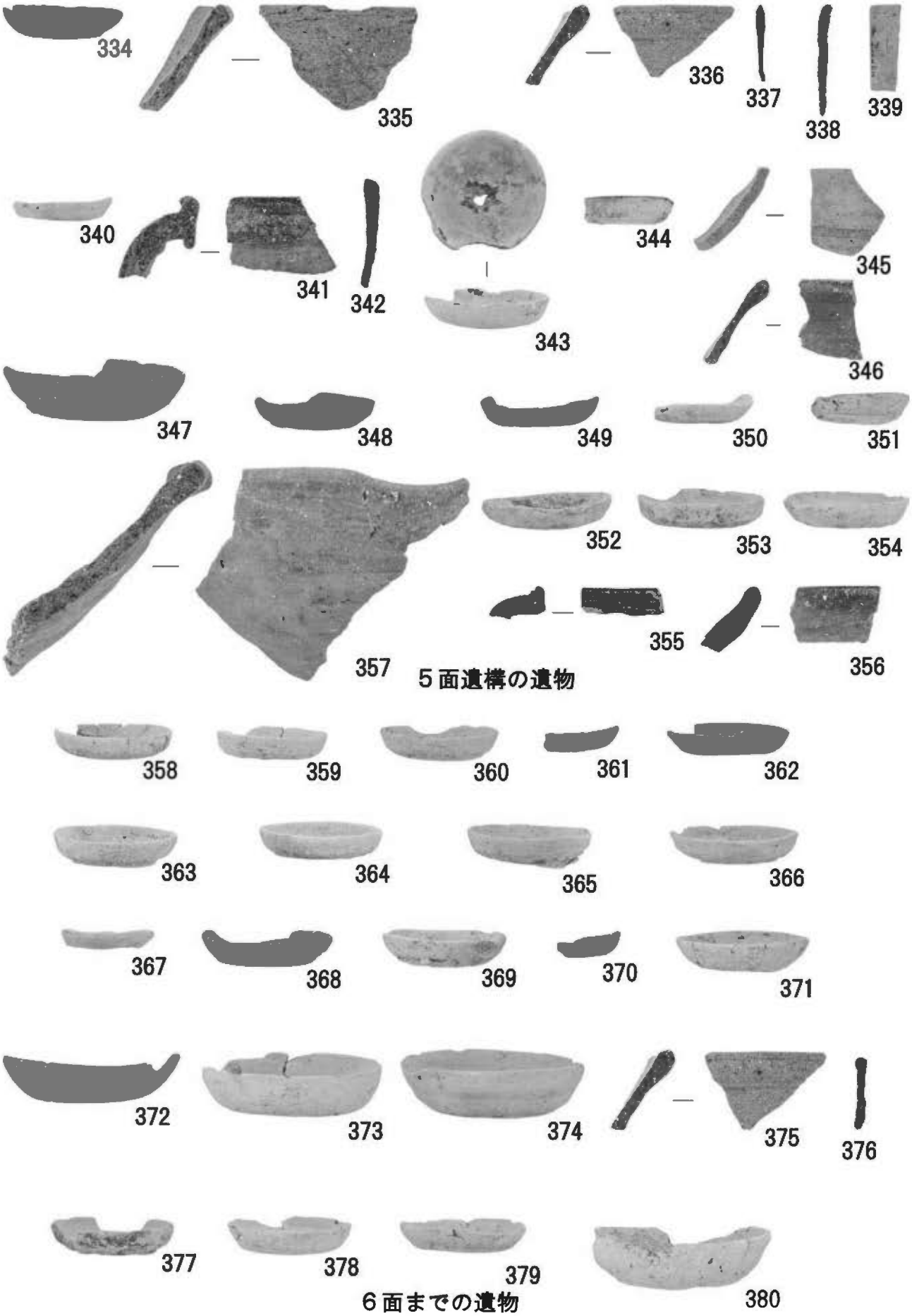


５面までの遺物

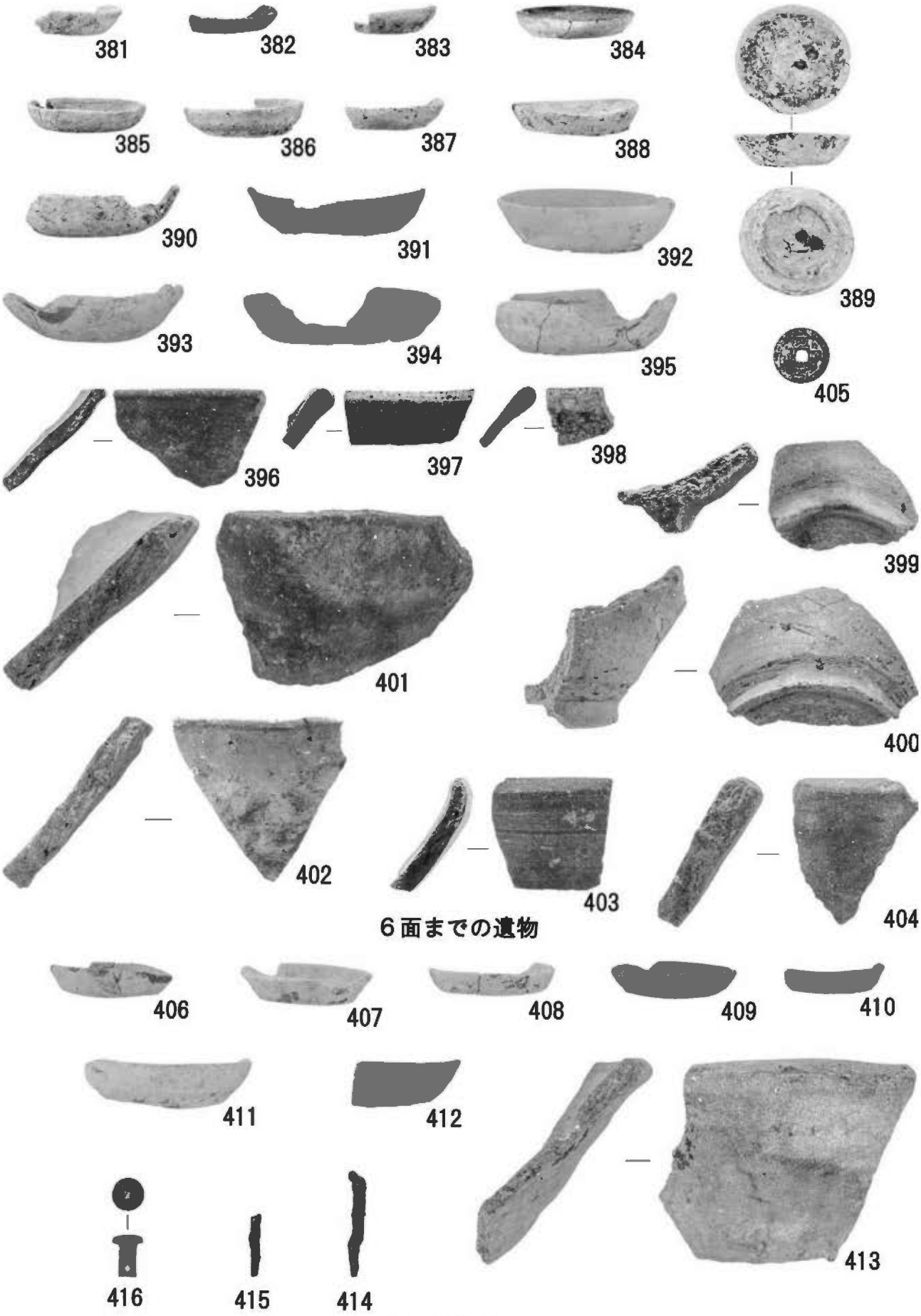
５面の遺物

第５面まで・第５面の遺物

図 23



第５遺構・第６面までの遺物

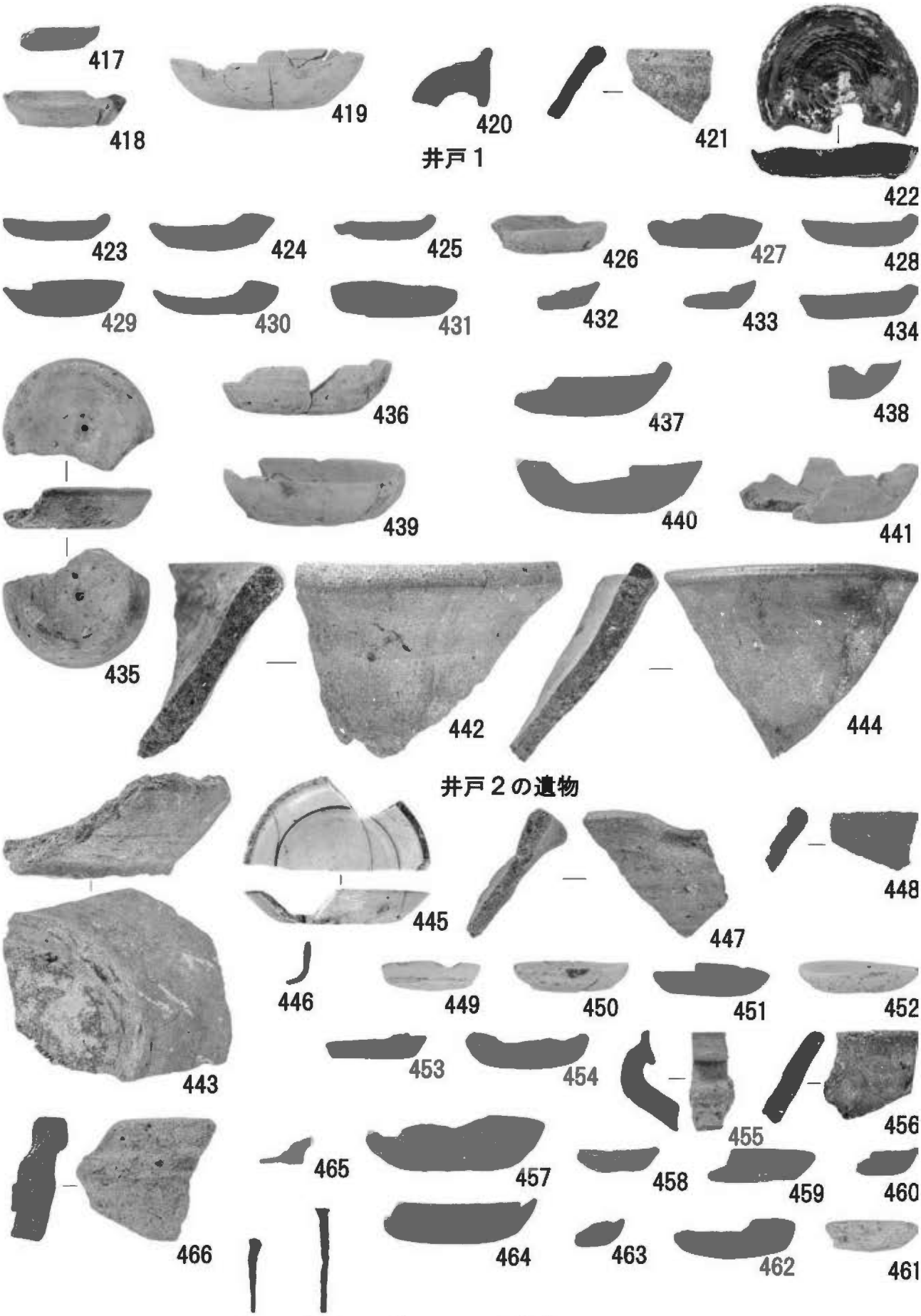


6面までの遺物

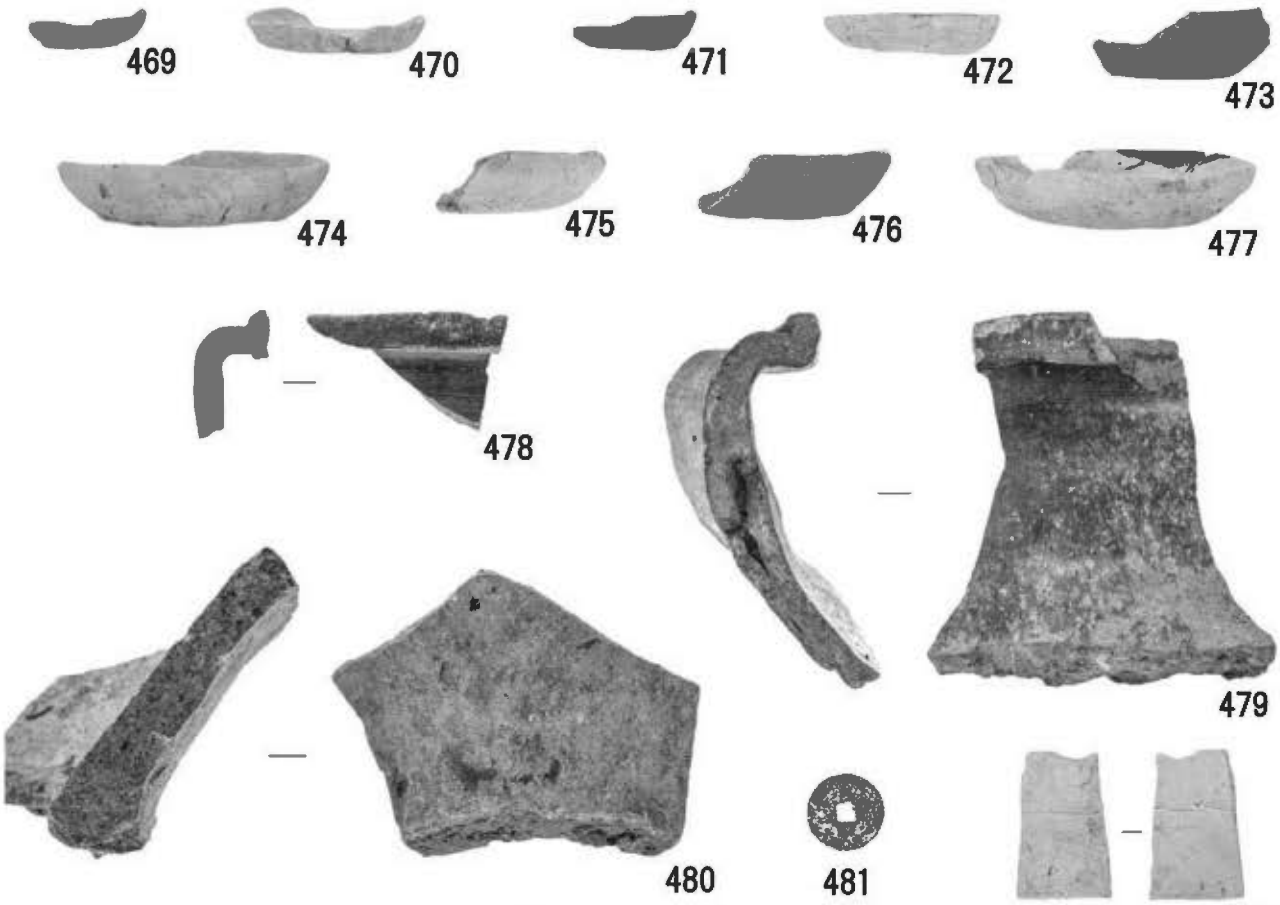
6面の遺物

第6面まで・第6面の遺物

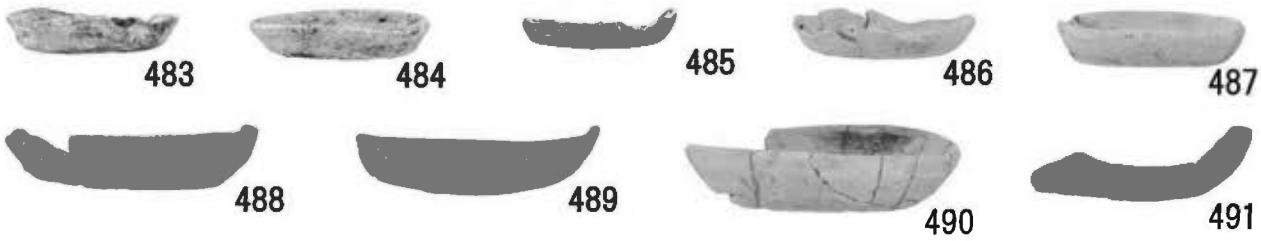
図 25



第 6 面遺構の遺物



7面までの遺物



7面遺構の遺物

第7面まで・第7面遺構の遺物

小町大路東遺跡（No.233）

鎌倉市大町１丁目1147番地点

例　言

1．本報は鎌倉市大町１丁目1147番地点に所在する遺跡の発掘調査報告である。

2．発掘調査は個人住宅改築にかかる建築範囲約70㎡を対象とし、平成25年５月23日から９月６日にかけて実施した。

3．現地における調査体制は以下の通りである。

調査担当者：原　廣志・後藤　健

調　査　員：小野夏菜・吉田映子・岡田慶子・吉田桂子・松吉里永子

作　業　員：安達越郎・江津兵太・鯉沼　稔・徳安秀昭・南齊敬資

4．本報告作成は以下の分担により行った。

遺物実測：岡田慶子・菊川泉・森谷十美

遺物図版作成：後藤　健・岡田慶子・松吉里永子・小野夏菜・吉田桂子

遺構図版作成：後藤　健・岡田慶子・松吉里永子

観　察　表：岡田慶子・松吉里永子

遺構写真：原　廣志・後藤　健

遺物写真：後藤　健・松吉里永子

写真図版作成：後藤　健・岡田慶子・松吉里永子

執　　筆：後藤　健

5．発掘に関わる出土品などの資料は鎌倉市教育委員会が管理・保管している。

6．本報告の遺物図版の縮尺は以下の通りである。

遺物実測図1/3（一部1/4）　銭1/1　各挿図にはスケールを表示してある。

7．遺物は可能な限り復元して実測した。紙面の都合からすべての実測図を掲載していない。遺物に関する詳細は観察表にまとめて記載。

・復原実測の遺物に関しては、計測値に（　　）を付して表記している。

・木製品のうち器形から用途を確実に判別できないものは「…状」として提示してある。

・文章中の「かわらけ」はロクロ成形のかわらけを指し、手づくね成形のかわらけは「手づくね」と記載している。

・ロクロ成形かわらけの底径は回転糸切りの外径部分で、手づくね成形かわらけの底径は、器面が接地した箇所で計測している。

・陶磁器に関しては、常滑は中野晴久氏、瀬戸製品に関しては藤澤良祐氏、磁器は山本信夫氏の編年に基づいて分類した。破片のため不明なものについては割愛した。

8．発掘調査及び報告書作成に関しては次の方々よりご教授、ご協力を賜りました。記して深く感謝いたします。（敬称略・五十音順）

伊丹まどか、汐見一夫、原　廣志、馬淵和雄

目　次

本　文　目　次

第一章　調査地点の位置と歴史的環境 …… 68

第１節　歴史・地理的環境 …… 68
第２節　周辺地点の調査 …… 68
第３節　調査の方法と経緯 …… 71
第４節　遺跡の堆積土層 …… 72

第二章　発見した遺構と遺物 …… 75

第１節　第１面の遺構と遺物 …… 75
第２節　第２面の遺構と遺物 …… 81
第３節　第３面の遺構と遺物 …… 92
第４節　第４面の遺構と遺物 …… 99
第５節　第５面の遺構と遺物 …… 107
第６節　第６面の遺構と遺物 …… 113
第７節　第７面の遺構と遺物 …… 116
第８節　第８面の遺構と遺物 …… 119
第９節　遺構外出土遺物他 …… 121

第三章　考察とまとめ …… 122

挿　図　目　次

図１　調査地点と周辺の遺跡 …… 69
図２　調査位置とグリッド配置図 …… 71
図３　調査区北壁堆積土層図 …… 73
図４　第１面全体図 …… 76
図５　第１面遺構図 …… 77
図６　第１面遺構出土遺物 …… 78
図７　第１面遺構外および構成土出土遺物 …… 79
図８　第１面構成土出土遺物 …… 80
図９　第２面全体図 …… 81
図10　第２面遺構出土遺物（１） …… 83
図11　第２面遺構個別図 …… 84
図12　第２面遺構出土遺物（２） …… 85

図 13　第 2 面遺構土出土遺物（3）　86
図 14　第 2 面礎石建物遺構図　88
図 15　第 2 面遺構外および構成土出土遺物　89
図 16　第 2 面構成土出土遺物（1）　90
図 17　第 2 面構成土出土遺物（2）　91
図 18　第 3 面全体図　92
図 19　第 3 面個別遺構図　93
図 20　第 3 面遺構出土遺物　94
図 21　第 3 面礎石建物遺構図　95
図 22　第 3 面遺構外出土遺物　96
図 23　第 3 面構成土出土遺物　97
図 24　第 4 面全体図　99
図 25　第 4 面方形竪穴遺構図　100
図 26　第 4 面遺構出土遺物（1）　102
図 27　第 4 第遺構出土遺物（2）　103
図 28　第 4 面遺構図　104
図 29　第 4 面礎石建物遺構図　104
図 30　第 4 面遺構および遺構外出土遺物　105
図 31　第 5 面全体図　107
図 32　第 5 面個別遺構図　108
図 33　第 5 面遺構出土遺物（1）　109
図 34　第 5 面遺構出土遺物（2）　110
図 35　第 5 面遺構外および構成土出土遺物　111
図 36　第 6 面全体図　113
図 37　第 6 面出土遺物　114
図 38　第 7 面全体図　116
図 39　第 7 面出土遺物　117
図 40　第 8 面全測図　119
図 41　第 8 面遺構個別図および出土遺物　119
図 42　遺構外出土遺物　121

表　目　次

表 1　出土遺物観察表　126
表 2　出土遺物集計表　147
表 3　遺構計測表　150
表 4　自然遺物集計表　152

図　版　目　次

写真図版 1　153

写真図版 2 154
写真図版 3 155
写真図版 4 156
写真図版 5 157
写真図版 6 158
写真図版 7 159
写真図版 8 160
写真図版 9 161
写真図版 10 162
写真図版 11 163
写真図版 12 164
写真図版 13 165
写真図版 14 166
写真図版 15 167
写真図版 16 168
写真図版 17 169
写真図版 18 170
写真図版 19 171
写真図版 20 172
写真図版 21 173
写真図版 22 174
写真図版 23 175
写真図版 28 176
写真図版 29 177

第一章　調査地点の位置と歴史的環境

第１節　歴史・地理的環境（図１）

小町大路東遺跡はJR鎌倉駅の東、若宮大路周辺遺跡群の南東に位置している。

南は県道の大町交差点より安養院の西端まで、北は東勝寺の丘陵、西は滑川を境に夷堂橋から南下して大町四つ角へ向かう道路、東は別願寺より八雲神社前の道を通り、妙本寺前を抜けて、東勝寺の丘陵前にある小さな谷戸までがおおよその範囲となる。

小町大路は須地賀江端から南に向かい、宝戒寺前、夷堂橋、大町交差点を通り、材木座乱橋、九品寺の門前から材木座海岸にまで達する。大町交差点でこの小町大路と交差する東西方向に走る県道は、大町大路と想定されているが、小町大路と大町大路は南北に連なった一本の道だとの想定もあり、路の呼称は範囲など含めて不確定な部分も多い。

本調査地点周辺には妙本寺、本覚寺、常栄寺などの寺院、やや南には八雲神社など比較的多くの社寺が存在する。

妙本寺は長奥山妙本寺と号する日蓮宗本山で、開山日郎、開基比企能本、文応元年（1260）の創建と伝わる。寺の建つ谷戸は比企ケ谷と呼ばれ、頼朝の乳母比企禅尼がこの地に住んだ事に由来し、その後比企一族の居館があったと伝わる。建仁二年（1202）に比企能員が北条時政に殺され、その後比企一族も滅ぼされるが、この地が一族滅亡の地とされる。

調査地は比企ケ谷の谷口、妙本寺惣門から南側に約80ｍほどに位置し、さらに南に約70ｍには日蓮宗常栄寺がある。常栄寺は慶長十一年（1606）に妙本寺の末寺として自澄院日詔が創建したとされ、日詔は妙本寺14世（あるいは13世）であることから、本来は妙本寺の寺域内であったと想定される。またこの地は頼朝が由比ケ浜を遠望するために桟敷を作ったと伝わっている。常栄寺からさらに約80ｍ南行すると大町の鎮守である八雲神社が位置する。

これらの寺社の前は南北方向に小路が走る。小路は現小町大路にほぼ平行しており、北は妙本寺総門から約200ｍで西に折れ琴弾橋を渡って小町大路に、南は逆川橋のあたりで西に折れ、やはり小町大路に合流する。

東は比企ケ谷を内包する尾根であり、調査地点ではすぐ東に崖面が立ち上がる。調査地点は比企ヶ谷の開口部の左端にあたる。調査地点の海抜は約8.8ｍ、東側の尾根は平場状に張り出した地勢となっているが海抜およそ28ｍで、丘陵の落ち込みはやや急峻である。頂部は約60ｍに達し、比較的比高差は大きい。尾根は大町大路で南限となる。

現状遺跡の周囲は平坦ではあるが、小町大路から滑川に向かって西へは緩やかに下る。

第２節　周辺地点の調査

本地点の周辺では、あまり多くの発掘調査例がない。近接地点では、地点7において中世の礎石建物3基、方形竪穴建物4基、溝34基、井戸3基、土坑35基が検出されている。調査地点東に隣接する小路の東沿いには南北三か所の調査が行われており、いずれも小規模な調査である。地点4では14世紀後半に属する方形竪穴建物が3基検出されている。調査地点5、6ではいずれも14世紀以降の泥岩版築による地業面が確認され、道路遺構とされる。部分的であるが、現在の小路が中世とさほど位置が変わっ

図１　調査地点と周辺の遺跡

No.	名称	住所	調査者	調査	刊行	文献
1	小町大路東遺跡	大町一丁目 1147 番	原・後藤	2013	2018	本報告
2	小町大路東遺跡	大町一丁目 1174 番、1175 番 1	斉木	2014	2018	『小町大路東遺跡発掘調査報告書』鎌倉市遺跡調査会
3	小町大路東遺跡	大町一丁目 1181	原	1980	1980	『鎌倉考古』2
4	妙本寺遺跡	大町一丁目 1146	継	1992	1994	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書』10-2
5	妙本寺遺跡	大町一丁目 1158 番 5	宗臺	1990	1991	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書』7
6	妙本寺遺跡	大町一丁目 1158 番 1	福田	1987	1988	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書』4-3
7	妙本寺遺跡	大町一丁目 1140 番 2	田代・宗臺	1996	1999	『神奈川県埋蔵文化財調査報告』41
8	若宮大路周辺遺跡群	大町一丁目 1084 番 4	宇都	2007	2017	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書』34-5
9	若宮大路周辺遺跡群	大町一丁目 1083 番 1	押木	2018		未報告
10	若宮大路周辺遺跡群	大町一丁目 1084 番 1、1085 番 1	滝沢	2016	2017	『第 27 回鎌倉市遺跡調査・研究発表会』
11	若宮大路周辺遺跡群	小町一丁目 302 番	斉木	1977	1983	『鎌倉市埋蔵文化財発掘調査年報』1
12	若宮大路周辺遺跡群	小町一丁目 333 番 15	押木	2010	2015	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書』31-2
13	若宮大路周辺遺跡群	小町一丁目 333 番 2	原	2007	2008	『貿易陶磁研究』28
14	若宮大路周辺遺跡群	小町一丁目 331 番 1	山口	2011		未報告
15	若宮大路周辺遺跡群	小町一丁目 329 番 10	熊谷	2012	2014	『若宮大路周辺遺跡群(No.242)発掘調査報告書』博通
16	若宮大路周辺遺跡群	小町一丁目 329 番 1	宮田・滝澤	2010	2014	『若宮大路周辺遺跡群(No.242)発掘調査報告書』博通
17	若宮大路周辺遺跡群	小町一丁目 329 番 7	宮田	2013	2016	『若宮大路周辺遺跡群(No.242)発掘調査報告書』博通

ていないことの証左と言えよう。地点 2 では 13 世紀中葉以降の方形竪穴建物が多数、他に井戸や礎石建物が検出されている。

本調査地点から西、小町大路の西側から滑川にかけても数か所の調査例がある、地点 8 では方形竪穴建物が複数と井戸などが検出されており、多くは 13 世紀代と推定されている。地点 10 でも 13 世紀前半～ 14 世紀前半に属する方形竪穴建物や井戸、溝などが発見されている。総じて地下倉の機能が推定される方形の竪穴状遺構の検出例が多いのがこの地域一帯の特徴であると言えよう。

参考・引用文献

三浦勝男編 2005『鎌倉の地名由来辞典』、東京堂出版

鎌倉市史編纂委員会 1972『鎌倉市史　総説編』、吉川弘文館

鎌倉市史編纂委員会 1972『鎌倉市史　社寺編』、吉川弘文館

馬淵和雄他 2007「若宮大路周辺遺跡群」『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書』23-2、鎌倉市教育委員会

第３節　調査の方法と経緯

本発掘調査は個人住宅の改築に伴う事前調査として、鎌倉市教育委員会が実施した。建築計画では基礎工事として地盤改良工事を施すため、平成 24 年 11 月 20 日～ 11 月 22 日にかけて鎌倉市教育委員会が埋蔵文化財の確認調査を実施した。1.8 ｍまで掘削した結果、地表下 25cm で遺物包含層が検出され、地表下 55cm、80cm、135cm で中世遺構面と推定される堆積層の確認がなされた。さらに下層にも中世遺構の存在が予測される結果を得たことから、建築計画実施に先立って本格的な発掘調査を実施する必要ありとの判断がなされた。

以上の手続きより、平成 25 年 5 月 23 日～ 9 月 6 日の約 3 ヶ月をかけて現地での調査を実施した。

遺物包含層は地表下ほどなく遺存していることが予測されたため、人力により表土を除去した。調査範囲は約 70 ㎡の範囲であり、調査区を二分割することなく全体を掘り進める形で調査を進めた（図 2）。住宅建築の基礎工事として、地表下 2 ｍまでは地盤改良を施すことになり、その深さまでの遺構確認を行った。

今回の調査では大きく 8 面の中世遺構面を確認することができた。地表下 2 ｍまでの時点では中世基盤層とされる黒褐色粘質土層には到達していないが、上方の遺構の壁面の観察からやや下方に岩盤面が存在し、東から西へ向かって急激に落ち込んでいる状況が確認できた。中世以前の遺構・遺物については少量の混入が見られるものの、明確な遺構にともなう形では検出できなかった。

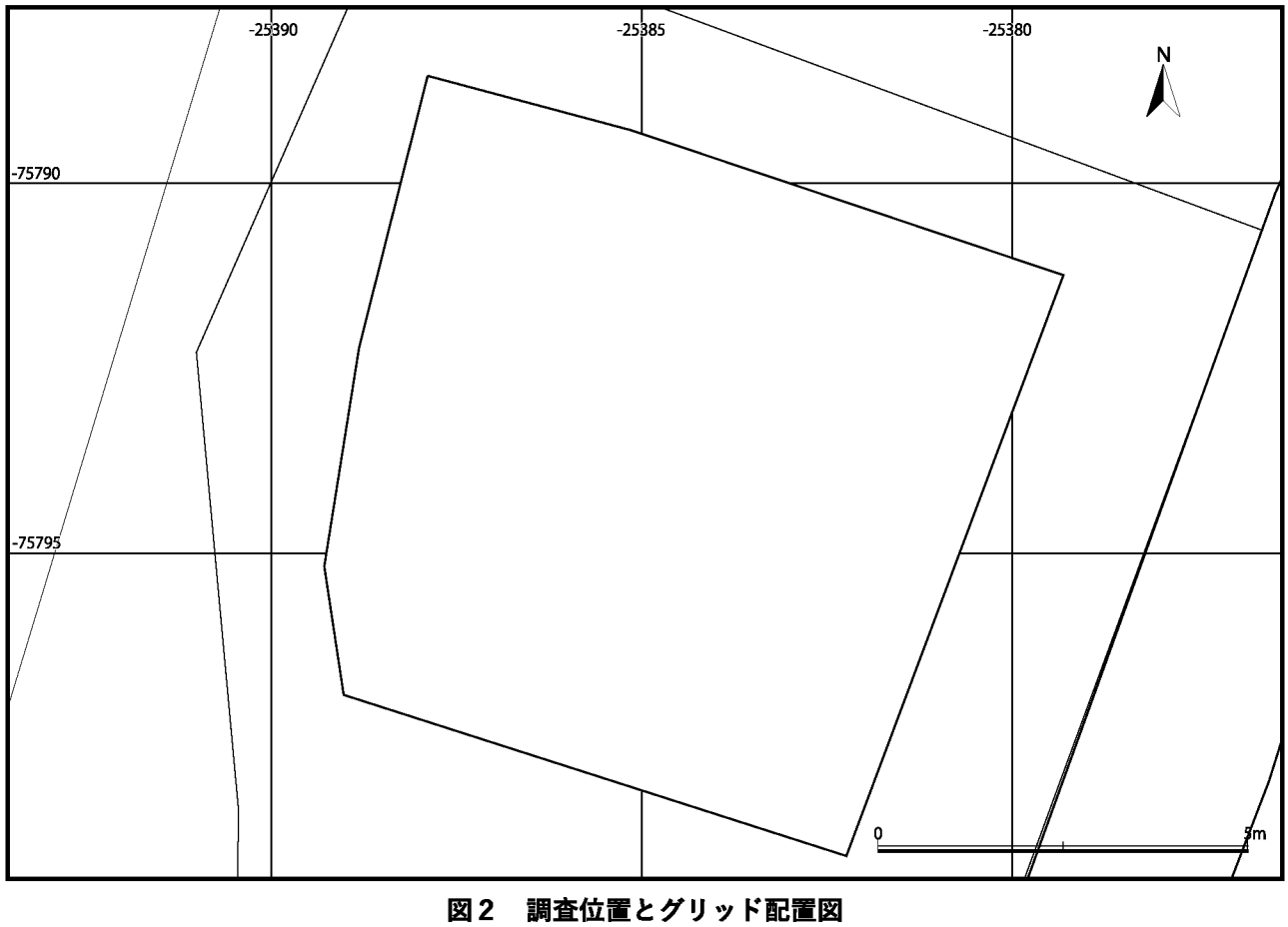


図２　調査位置とグリッド配置図

第４節　遺跡の堆積土層（図３）

本調査では第１面から第８面にわたり、計８面の遺構確認面を検出した。ここでは調査区北面の土層断面図を提示し、遺構確認面相当の土層を中心として地層の堆積状況を述べておく。

現地表面は 8.58 ～ 8.68m をはかる。表土層は約 40 ～ 50cm 堆積しており、厚さはほぼ均等であるが、東側がやや厚くなっている。

第１面は第１面は小粒の泥岩砕片を多く含む暗褐色粘質土の地業面であり、多数の遺構を確認した。確認レベルはおよそ海抜 8.20 ～ 8.35 mであり、北側がやや低くなる。第２層が構成土になる。

第２面はやや大粒の泥岩砕片を含む暗茶褐色粘質土の地業面であり、多数の遺構を確認した。確認レベルはおよそ海抜 8.07 ～ 8.11 mである。第３層が構成土になる。

第３面は小粒の泥岩砕片を多く含む暗茶褐色粘質土の地業面である。確認レベルはおよそ海抜 7.68 ～ 7.70 mである。第４層が構成土になる。

第４面は小粒の泥岩砕片を多く含む暗褐色粘質土の地業面であり、確認レベルはおよそ海抜 7.40 ～ 7.48 mである。第５層が構成土になる。

第５面は小粒の泥岩砕片を含む暗茶褐色粘質土の地業面である。確認レベルはおよそ海抜 7.33 ～ 7.47 mである。第６層が構成土になる。

第６面はやや大粒の泥岩砕片を多く含む暗褐色粘質土の地業面であり、確認レベルはおよそ海抜 7.19 ～ 7.29 mである。第７層が構成土になる。

第７面は小粒の泥岩砕片を多く含む暗褐色粘質土の地業面である。東南部は黒色粘土と泥岩が露出している。確認レベルはおよそ海抜 7.0 ～ 7.17 mである。第８層が構成土になる。

第８面は小粒の泥岩砕片を多く含む黒褐色粘質土の地業面で、東から西へわずかに傾斜して下がる。確認レベルはおよそ海抜 6.8 ～ 6.95 mである。第９層が構成土になる。

第 6、7 面南側の地業面の違いや、遺構の断面観察から、一部は岩盤あるいは崩落した岩盤の堆積が露出し、東から西に向かいやや急傾斜で落ち込むため、現在はやや平坦となっているが本来は尾根から続く傾斜地であったと想定される。その上には中世基盤層と思しき黒色粘質土が堆積しているが、面的に検出していないため、詳細には確認できていない。

土層注記

基本土層

1　暗灰褐色粘質土。表土層。
2　第１面構成土。暗褐色粘質土。泥岩中量。炭化物中量、かわらけ片中量。
3　第２面構成土。暗茶褐色粘質土。泥岩中量。炭化物中量、かわらけ片中量。
4　第３面構成土。暗茶褐色粘質土。泥岩少量。炭化物中量。
5　第４面構成土。暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒中量。炭化物少量。
6　第５面構成土。暗茶褐色粘質土。泥岩少量、泥岩粒中量。炭化物中量、焼土粒少。
7　第６面構成土。暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒中量。炭化物中量、かわらけ片少量。
8　第７面構成土。暗褐色粘質土。しまり弱い。泥岩、泥岩粒中量。炭化物、かわらけ片少量。
9　第８面構成土。黒褐色粘質土。泥岩、泥岩粒中量。炭化物、かわらけ片少量。

その他土層

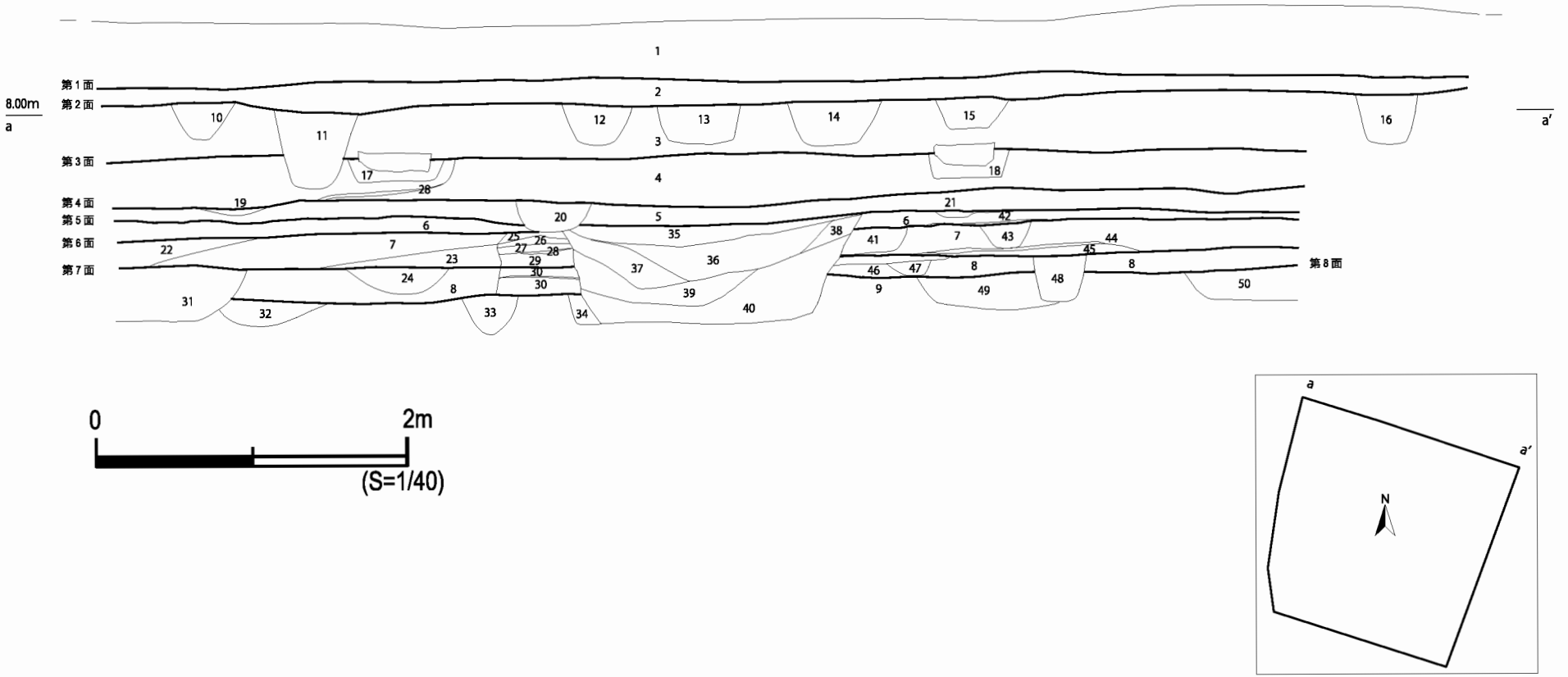


図３　調査区北壁堆積土層図

19　黒褐色粘質土。しまりなし。泥岩、泥岩粒少量。炭層。
21　黒褐色粘質土。しまりなし。炭層、焼土粒多い。
22　暗茶褐色粘質土。しまり弱い。泥岩、泥岩粒中量。炭化物中量、かわらけ片中量。
23　暗褐色粘着土。しまり弱い。泥岩多量。炭化物中量。灰混入。
25　暗褐色粘質土。しまり弱い。焼土と炭の混合層。中央に焼土塊混入。
26　灰黒色粘質土。一部炭層、大部分灰。
27　暗茶褐色粘質土。泥岩、泥岩粒少量。上面に焼土、焼土粒多い。
28　暗褐色粘質土。しまり弱い。炭層。
29　暗褐色粘質土。しまり弱い。泥岩、泥岩粒少量。炭化物中量。焼土粒多い。
30　黒褐色粘質土。しまり弱い。炭層。薄い炭層を間に挟む。
33　暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒中量。炭化物少量、かわらけ片少量。
42　黒褐色粘質土。しまりなし。炭層、焼土粒多い。
44　暗灰色粘質土。しまりなし。泥岩少量。炭と灰混入層。
45　暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒中量。炭化物中量、かわらけ片少量。

遺構覆土

10　遺構 38　明褐色粘質土。泥岩、泥岩粒中量。炭化物、かわらけ片少量。
11　遺構 40　暗茶褐色粘質土。泥岩、泥岩粒少量。炭化物中量。
12　遺構 41　茶褐色粘質土。泥岩中量。炭化物。かわらけ片少量。
13　遺構 42　暗茶褐色粘質土。泥岩、泥岩粒少量。炭化物少量。
14　遺構 43　暗褐色粘質土。しまり弱。　　泥岩中量。底面に薄く炭。
15　遺構 45　暗褐色粘質土。しまりなし。泥岩、泥岩粒少量。
16　遺構 49　暗茶褐色粘質土。泥岩中量。炭化物少量。
17　遺構 165　暗褐色粘質土。しまり弱い。泥岩、泥岩粒少量。炭化物中量。礎石掘方。
18　遺構 166　暗茶褐色粘質土。泥岩少量、泥岩粒多量。炭化物、かわらけ片少量。礎石掘方。
20　遺構 180　暗茶褐色粘質土。泥岩中量。炭化物中量。底部に炭。
24　遺構 259　暗褐色粘質土。しまり弱い。泥岩中量。炭化物。かわらけ片少量。
31　遺構 280　茶褐色粘質土。しまり弱い。泥岩粒中量。炭化物少量、かわらけ片中量。
32　遺構 282　暗褐色粘質土。しまり弱い。泥岩、泥岩粒中量。炭化物中量。
34　遺構 297　黒褐色粘着土。泥岩、泥岩粒中量。
35　遺構 239　黒色粘質土。しまりなし。炭化物中量。
36　遺構 239　暗褐色粘質土。しまりなし。泥岩、泥岩粒少量。炭化物中量。
37　遺構 239　暗褐色粘質土。しまりなし。泥岩、泥岩粒中量。炭化物中量。
38　遺構 239　暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒少量。炭化物中量。
39　遺構 239　暗褐色粘質土。しまりなし。泥岩、泥岩粒少量。炭化物中量、かわらけ片少量。
40　遺構 239　暗褐色粘質土。しまりなし。泥岩、泥岩粒少量。炭化物中量。
41　遺構 257　暗褐色粘着土。泥岩中量。炭化物中量。
43　遺構 251　暗褐色粘質土泥岩中量。炭化物、かわらけ片中量。
46　遺構 281　茶褐色粘質土。炭が混入。
47　遺構 265　暗茶褐色粘質土。泥岩中量。
48　遺構 269　暗茶褐色粘質土。泥岩少量。炭化物。かわらけ片少量。
49　遺構 310　暗褐色粘質土。泥岩中量。炭化物中量。
50　遺構 311　暗褐色粘着土。泥岩中量。炭化物中量。

第二章　発見した遺構と遺物

本地点では調査の結果中世の生活面を８面検出し、その観察と記録を行った。生活面はさらに多く存在すると思われるが、掘削深度制限のため平面的に広がりを捉えたのは８面のみである。遺構については個別図面は現地で実測した遺構および特徴的な遺構を報告する。個別図面のない遺構の形状・規模は全測図および遺構計測表を参照していただきたい。また整理作業時に帰属時期を変更した遺構も存在し、復元全測図と遺構写真では細部に違いが存在する場合もある。

遺物については図化したもの以外は計量表を参照いただきたい。実測遺物は遺物観察表に詳細を報告し、本文中では基本的に遺物名だけを記載する。また自然遺物は別途表に一括してまとめてある。

以下、主な検出遺構について上層より説明する。

第１節　第１面の遺構と遺物（図４～６）

第１面は小粒の泥岩砕片を多く含む暗褐色粘質土の地業面であり、多数の遺構を確認した。確認レベルはおよそ海抜 8.20 ～ 8.35 mであり、北側がやや低くなる。近現代の建築の掘り込みによって全体的に破壊されているが、中世の遺構も多く検出された。遺構はピット 29 穴・土坑７基で、掘立柱建物址の存在が推定できるが明確なプランは復元できなかった。遺構の切り合いより第１面で発見した遺構は、少なくとも３時期の時間差があると考えられる。

遺物は、かわらけ・手づくね・青磁・白磁・青白磁・緑釉・褐釉・常滑・瀬戸・備前・火鉢・石製品・鉄製品・銅銭、自然遺物が出土している。

・ピット

遺構１（図４）

楕円形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、かわらけ片を多く含む。出土遺物（図６）：１は銅製品。

遺構２（図４）

楕円形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。安山岩がピット内に置かれる。かわらけ、獣骨の小片が出土。

遺構３（図４）

１面調査の時点では遺構のプランを認識できず、遺物のまとまりより遺構と認定した。正確な形状は不明。出土遺物（図６）：２はかわらけ。３は青磁碗。ほかに土製品が出土（写真図版７：ａ～ｃ）。胎土は粉質でやや粗、砂粒、雲母を多量に含む。鋳型の可能性があるが、破損激しく詳細不明。

遺構７（図４）

楕円形を呈するピット。遺構 30 と 34 に切られる。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒を多く含む。出土遺物（図６）：４～５はかわらけ。

遺構 10（図４）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土:茶褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物を多く含む。出土遺物（図６）：６はかわらけでピットの北西隅より正位で出土。

遺構 12（図４）

隅丸方形を呈するピット。遺構 13 を切る。遺構覆土:茶褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物を多く含む。出土遺物（図 6）：7 は押印のある常滑甕片。

遺構 14（図 4）

楕円形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物を多く含む。遺物（図 6）：8 は片口鉢 II 類の口縁部片で、内面に押印あり。

遺構 20（図 4）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒を多く含む。遺物（図 6）：9 はかわらけ。ほかに炭化物出土。

遺構 22（図 4）

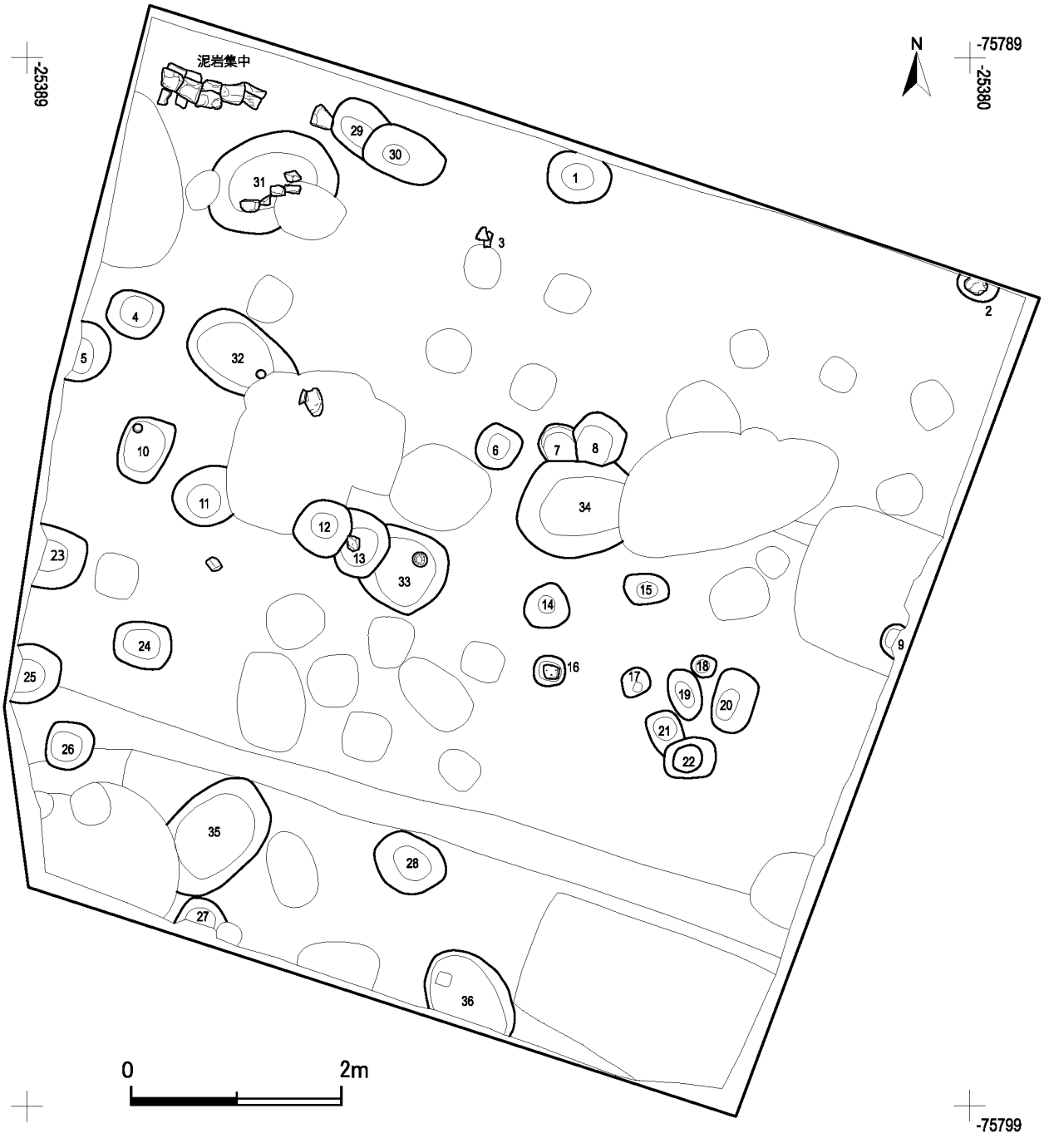


図 4　第 1 面全体図

楕円形を呈するピット。遺構覆土:暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒を含む。出土遺物（図 6）：10 はかわらけ。

遺構 25（図 4）

円形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色弱粘質土。締り弱い。泥岩、泥岩粒含む。出土遺物（図 6）：11 はかわらけ、12 は瀬戸の合子蓋、13 は砥石。

遺構 26（図 4）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、かわらけ片含む。出土遺物（図 6）：14 は瀬戸縁釉小皿、15 は土器質の香炉。

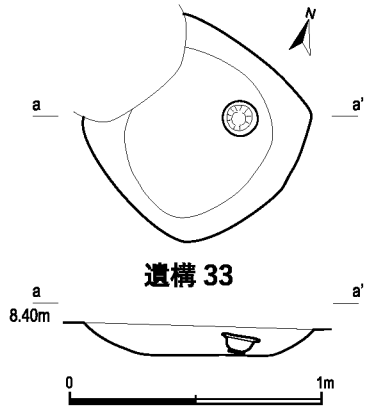


図５　第１面遺構図

遺構 28（図 4）

不整円形を呈するピット。遺構覆土：上層は暗茶褐色粘質土で締り弱く泥岩粒は少。下層は暗茶褐色粘質土で泥岩、泥岩粒を多く含む。出土遺物（図 6）：16 は銅銭。

・土坑

遺構 30（図 4）

隅丸方形を呈する土坑。遺構 29 を切る。遺構覆土：暗褐色弱粘質土。締まり弱く泥岩は少量。出土遺物（図 6）：17 ～ 18 はかわらけで取瓶として使用。19 は瀬戸卸皿。

遺構 32（図 4）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：茶褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物を多く含む。出土遺物（図 6）：20 はかわらけで土坑東南隅より正位で出土。21 はかわらけの加工品。22 ～ 23 は常滑甕。

遺構 33（図 4、5）

略隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土:暗茶褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物多く含む。出土遺物（図 6）：24 の龍泉窯系青磁折縁皿は土坑東北の底部から正位で検出。25 は鉄釘。

遺構 35（図 4）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：暗茶褐色粘質土。大型泥岩を多く含む。出土遺物（図 6）：26 は常滑甕の胴部片で押印あり。

遺構 36（図 4）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：暗茶色粘質土。炭化物を含む。出土遺物（図 6）：27 は青白磁の小型容器、28 は板状銅製品。

第 1 面遺構外出土遺物（図 7）

遺構面精査時に面上で検出した遺物。29 ～ 36 はかわらけ。37 ～ 38 はかわらけを取瓶に使用したもの。39 は青磁折縁鉢。40 ～ 42 は常滑甕で押印あり。43 は常滑壺、44 は常滑片口鉢Ⅱ類。45 は瀬戸卸皿、46 は瀬戸の四耳壺か。47 ～ 48 は瀬戸で器種不明。49 は磨りかわらけ。50 は砥石。51 ～ 52 は碁石か。53 ～ 54 は鉄釘。55 ～ 57 は銅銭。58 は金属製品で用途不明。

第 1 面構成土出土遺物（図 7、8）

1 面より 2 面検出までの間の堆積より出土した遺物。59 ～ 84 はかわらけ。85 は青磁鎬蓮弁文碗、86 ～ 87 は青磁折縁皿、88 は青白磁梅瓶。89 は白磁碗、90 は白磁皿、91 は白磁合子蓋、92 は器種不明の白磁。

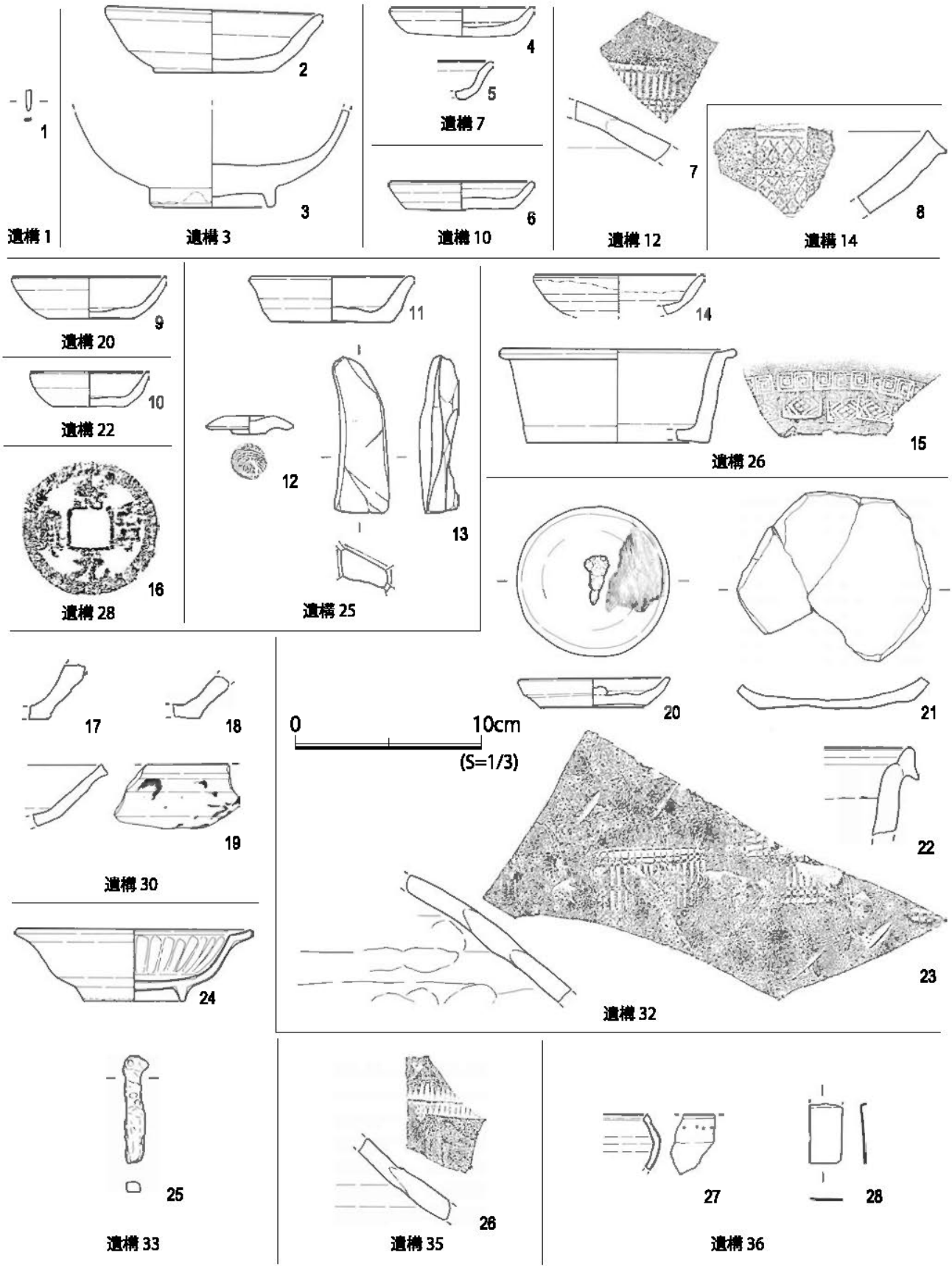
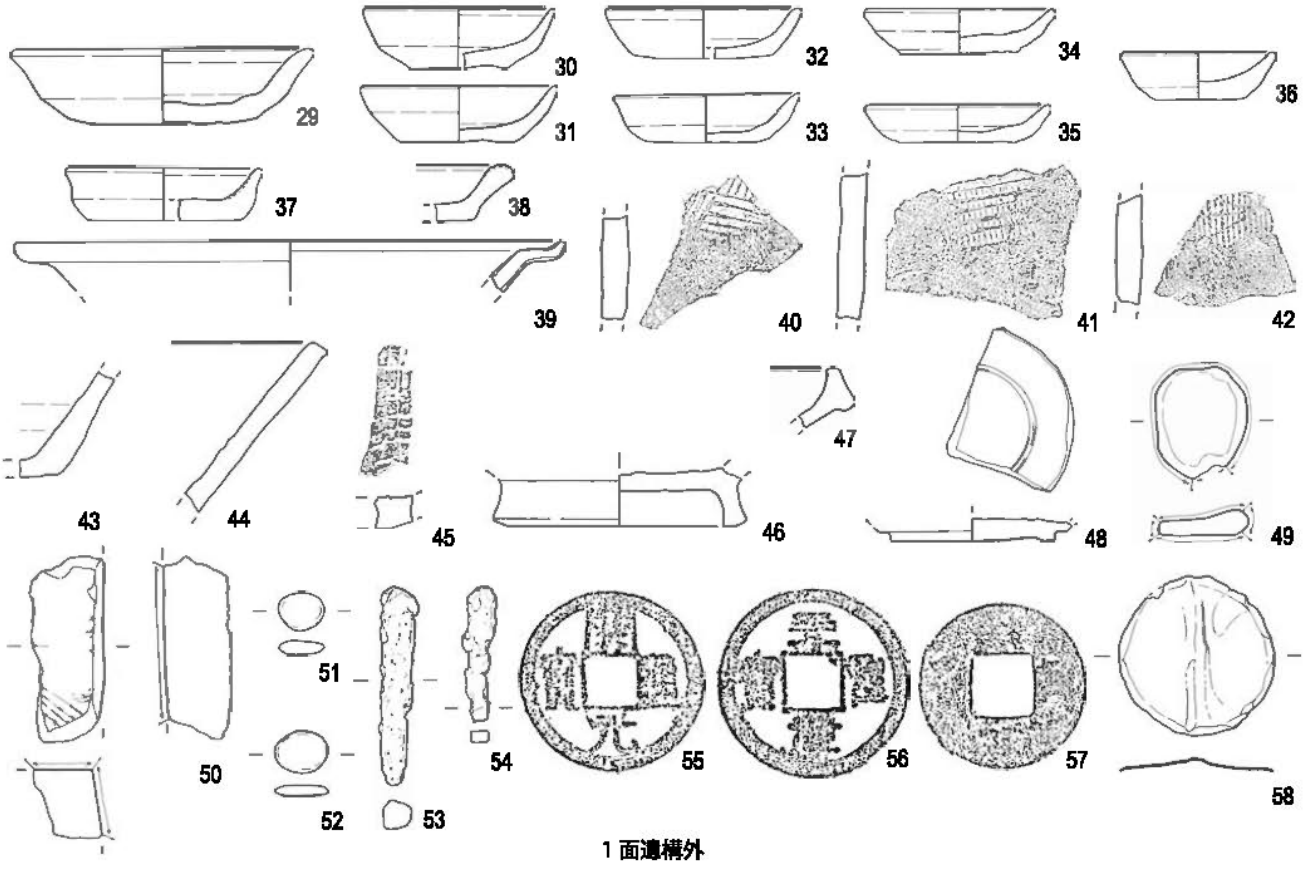
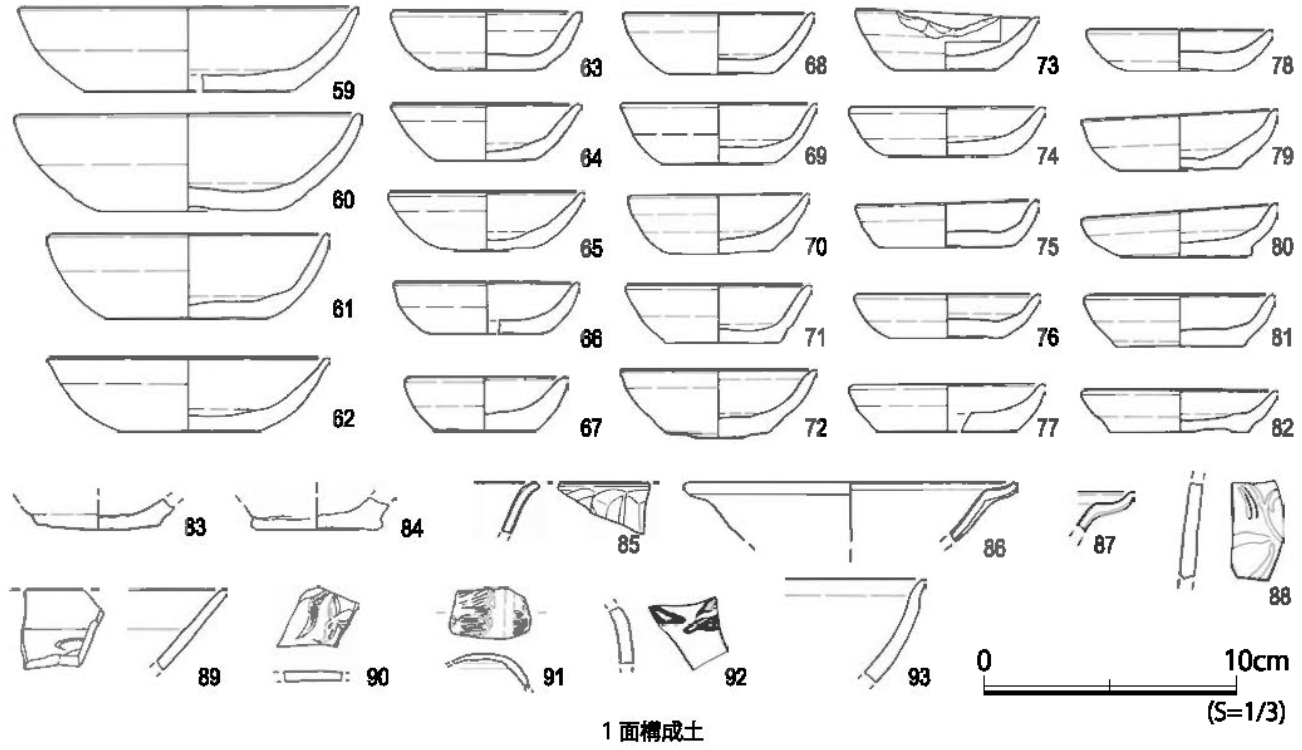


図 6　第 1 面遺構出土遺物

93 は瀬戸天目茶碗。94 ～ 96 は常滑甕、97 は常滑壺か。98 は常滑片口鉢Ⅱ類。99 は瀬戸卸皿、100 は備前擂鉢。101 ～ 104 は瓦質火鉢。105 は風炉。106 は伊勢系土鍋。107 は泥岩加工品。108 ～ 109 は砥石。



1 面遺構外



1 面構成土

図 7　第 1 面遺構外および構成土出土遺物

110 は滑石鍋転用品。111 は加工骨製品で器種は不明。112 ～ 121 は鉄釘。122 ～ 136 は銅銭。

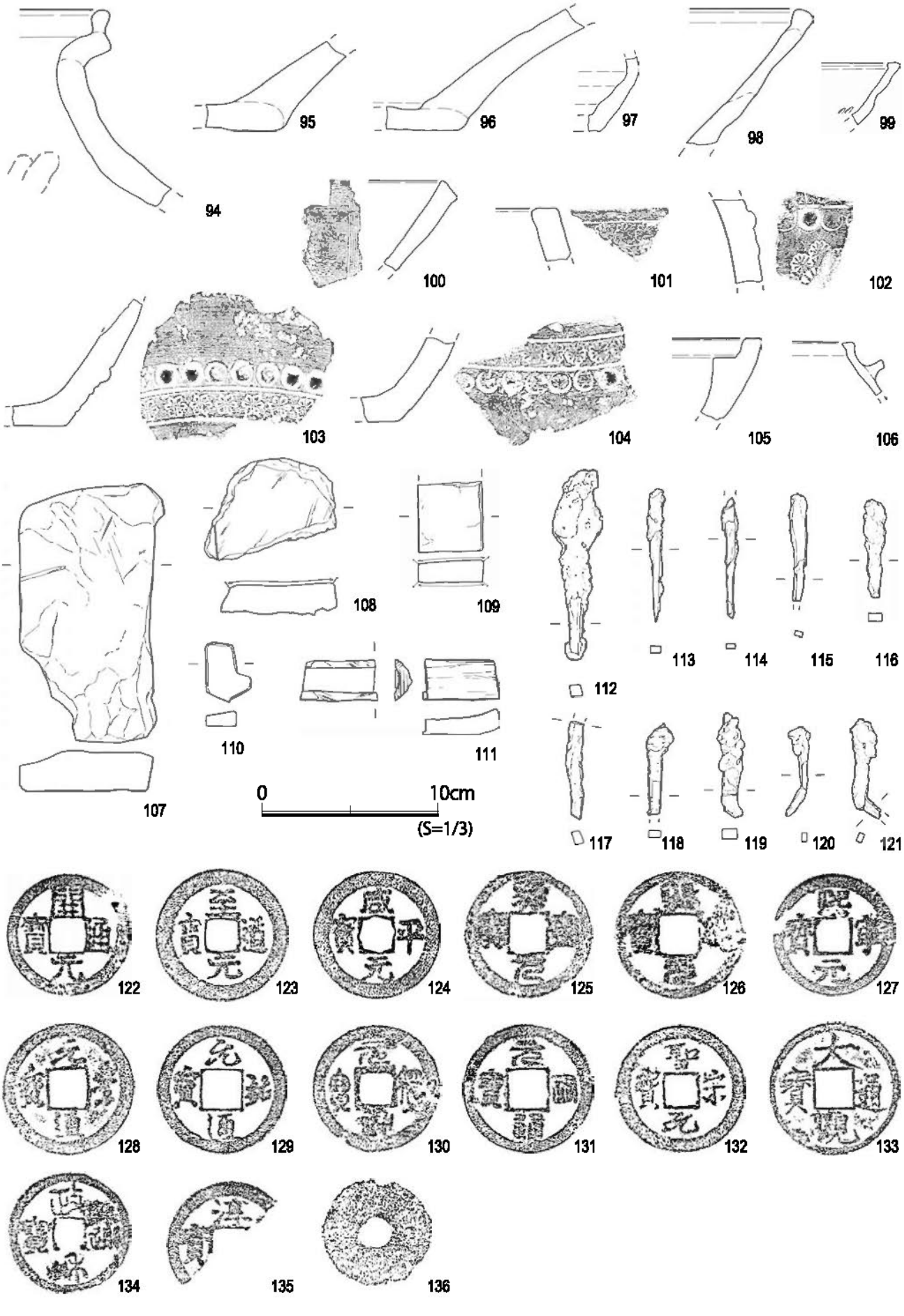


図８　第１面構成土出土遺物

第２節　第２面の遺構と遺物（図９～17）

第２面はやや大粒の泥岩砕片を含む暗褐色粘質土の地業面であり、多数の遺構を確認した。確認レベルはおよそ海抜8.07～8.11ｍである。遺構はピット67穴・土坑14基、凝灰質砂岩による礎石７点である。礎石の存在から少なくとも１基の礎石建物の存在が推定される。遺構の切り合いより第２面で発見した遺構は、少なくとも３時期の時間差があると考えられる。

遺物は、かわらけ・手づくねかわらけ・白かわらけ・青磁・白磁・青白磁・常滑・瀬戸・吉備系土師器・瓦器・火鉢・瓦・鉄製品・石製品・羽口・銭・自然遺物が出土している。

・ピット

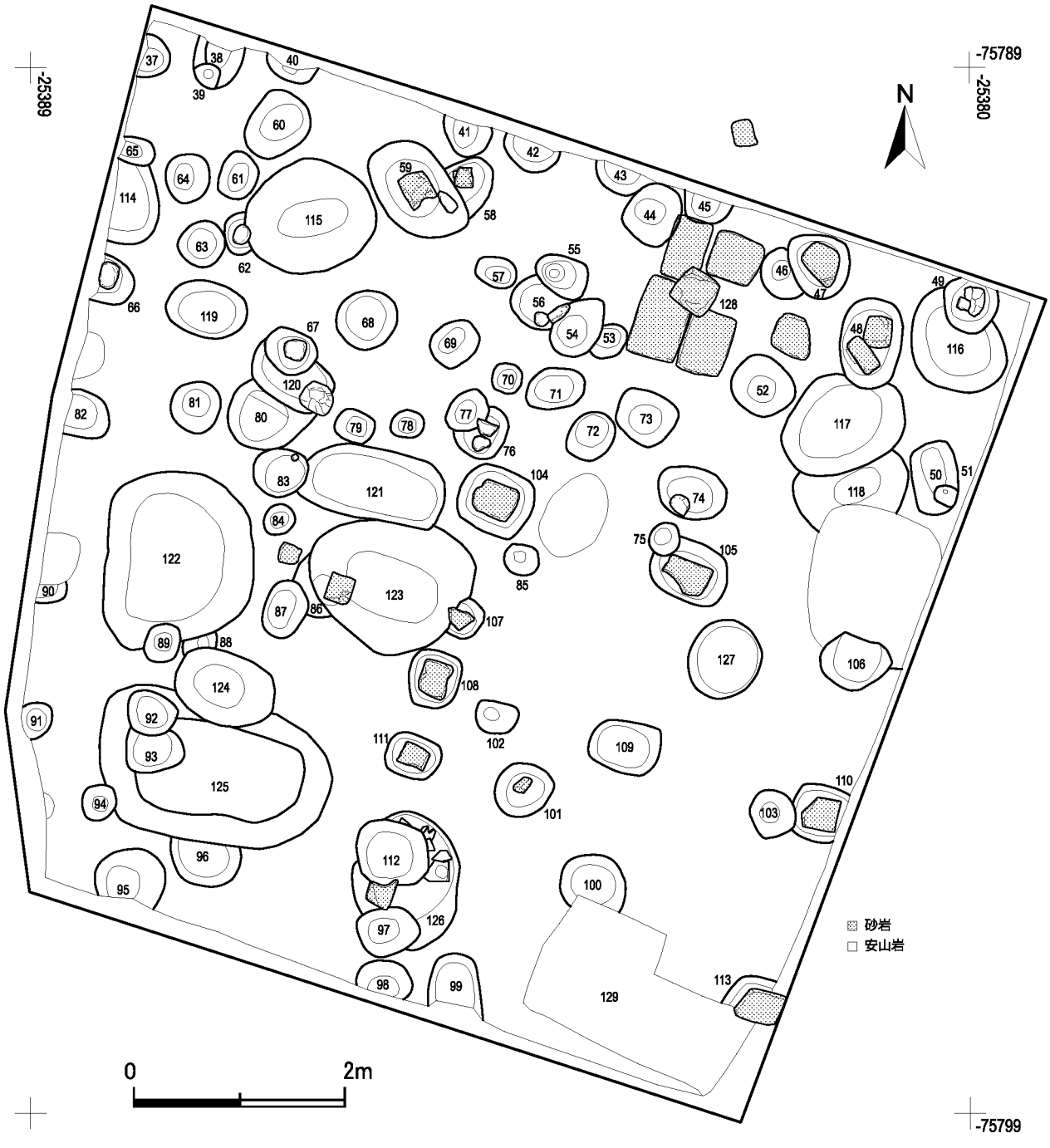


図９　第２面全体図

遺構 38（図 9）

楕円形を呈するピット。遺構 39 に切られる。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒多く炭化物は少ない。下層は泥岩少なく炭化物が多い。出土遺物（図 10）：1 は常滑片口鉢 I 類。

遺構 43（図 9）

円形を呈するピット。調査区外に延びており全体は不詳。遺構覆土：暗褐色粘質土。出土遺物（図 10）：2 は瀬戸縁釉小皿。3 は瓦質火鉢。

遺構 44（図 9）pit48

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒を多く、かわらけ片を少量含む。出土遺物（図 10）：4 はかわらけ。

遺構 46（図 9）

円形を呈するピット。遺構 47 に切られる。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒多く、かわらけ片は少量含む。出土遺物（図 10）：5 ～ 6 はかわらけ。逆位で重ねた状態で出土。

遺構 48（図 9）

隅丸長方形を呈するピット。内部より方形に加工した凝灰質砂岩が 2 枚検出。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒多く含む。出土遺物（図 10）：7 は砥石。

遺構 52（図 9）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒多く含む。出土遺物（図 10）：8 は瀬戸入子。

遺構 56（図 9）

円形を呈するピット。遺構覆土：2 層に分かれる。上層は暗褐色弱粘質土。締り弱く炭を多く含む。下層は茶褐色粘質土。泥岩、泥岩粒を多く含む。

遺構 59（図 9）

隅丸方形を呈するピット。遺構 58 を切る。遺構覆土:暗褐色粘質土。炭化物を多く含む。出土遺物(図 10)：9 は常滑広口壺。

遺構 60（図 9）

不整楕円形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩少なく炭化物多い。出土遺物（図 10）：10 は瀬戸折縁深皿。11 は鉄釘。

遺構 62（図 9）

楕円形を呈するピット。遺構 115 に切られる。遺構覆土：暗茶褐色粘質土。泥岩、泥岩粒多く、炭化物多く含む。径 22cm の安山岩を礎石として使用している。

遺構 66（図 9）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土:2 層に分かれる。上層は暗褐色粘質土。下層は暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒多く含む。出土遺物（図 10）：12 は瀬戸仏供。

遺構 73（図 9）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。炭化物を少量含む。出土遺物（図 10）：13 は青白磁合子蓋。14 は笄。15 は銅銭。

遺構 74（図 9）

楕円形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩粒を多く含む。出土遺物（図 10）：16 は常滑片口碗。

遺構 79（図 9）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物含む。出土遺物（図

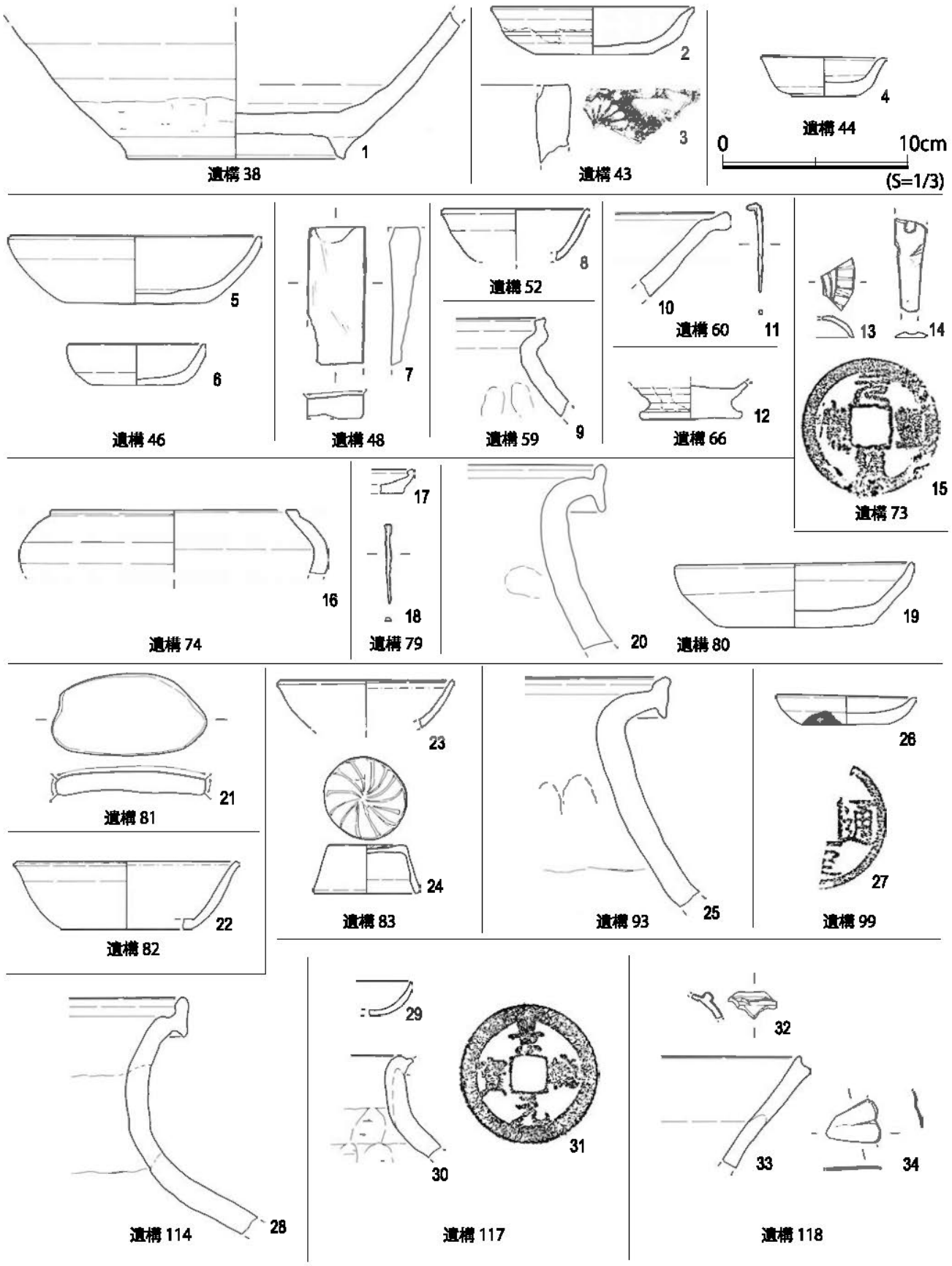


図 10　第 2 面遺構出土遺物（1）

10)：17 はかわらけ。18 は鉄釘。

遺構 80（図 9）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土:茶褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物を多く含む。出土遺物（図 10)：19 はかわらけ。20 は常滑甕。

遺構 81（図 9）

円形を呈するピット。遺構覆土：上層は暗褐色粘質土。大型の泥岩が詰まる。下層は暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒を少量含む。出土遺物（図 10)：21 は磨り常滑。

遺構 82（図 9）

楕円形を呈するピット。遺構覆土：上層は暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒を多く、かわらけ片を少量含む。下層は暗褐色粘質土。炭化物を多く含む。出土遺物（図 10)：22 は白磁口兀碗。

遺構 83（図 9）

円形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒を含む。出土遺物（図 10)：23 は白磁蓋付碗。24 は青白磁梅瓶の蓋で、ピット北部底面より蓋のみ出土。

遺構 93（図 9）

楕円形を呈するピット。出土遺物（図 10)：25 は常滑甕。

遺構 99（図 9）

楕円形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。炭化物、かわらけ片を多く含む。出土遺物（図 10)：26 はかわらけ。27 は銅銭。

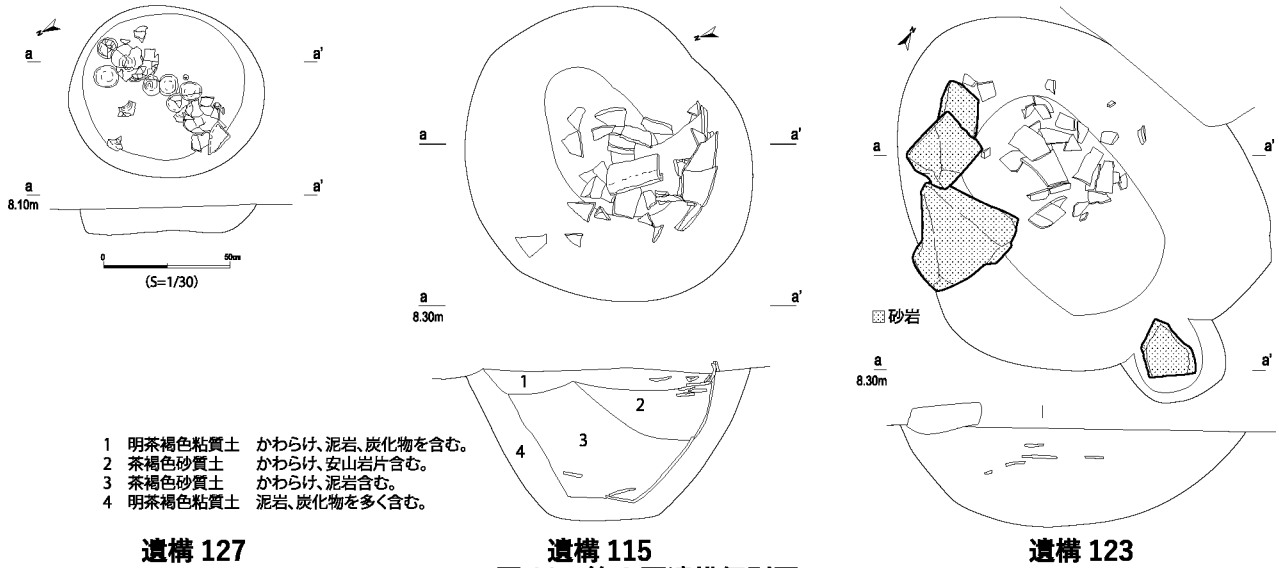
・土坑

遺構 114（図 9）

土坑。調査区外に延びており全体の形状は不明である。遺構覆土:暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒多く、炭化物、かわらけ片は少ない。出土遺物（図 10)：28 は常滑甕。

遺構 115（図 9、11）

隅丸方形を呈する土坑。常滑の甕を埋設した据甕の設置坑。甕は破損し 1/3 程度しか残存せず、残存する口縁から頸部は割れて土坑内に落ち込んでいた。遺構覆土については図 11 を参照。出土遺物（図



遺構 127　　遺構 115　　遺構 123

図 11　第 2 面遺構個別図

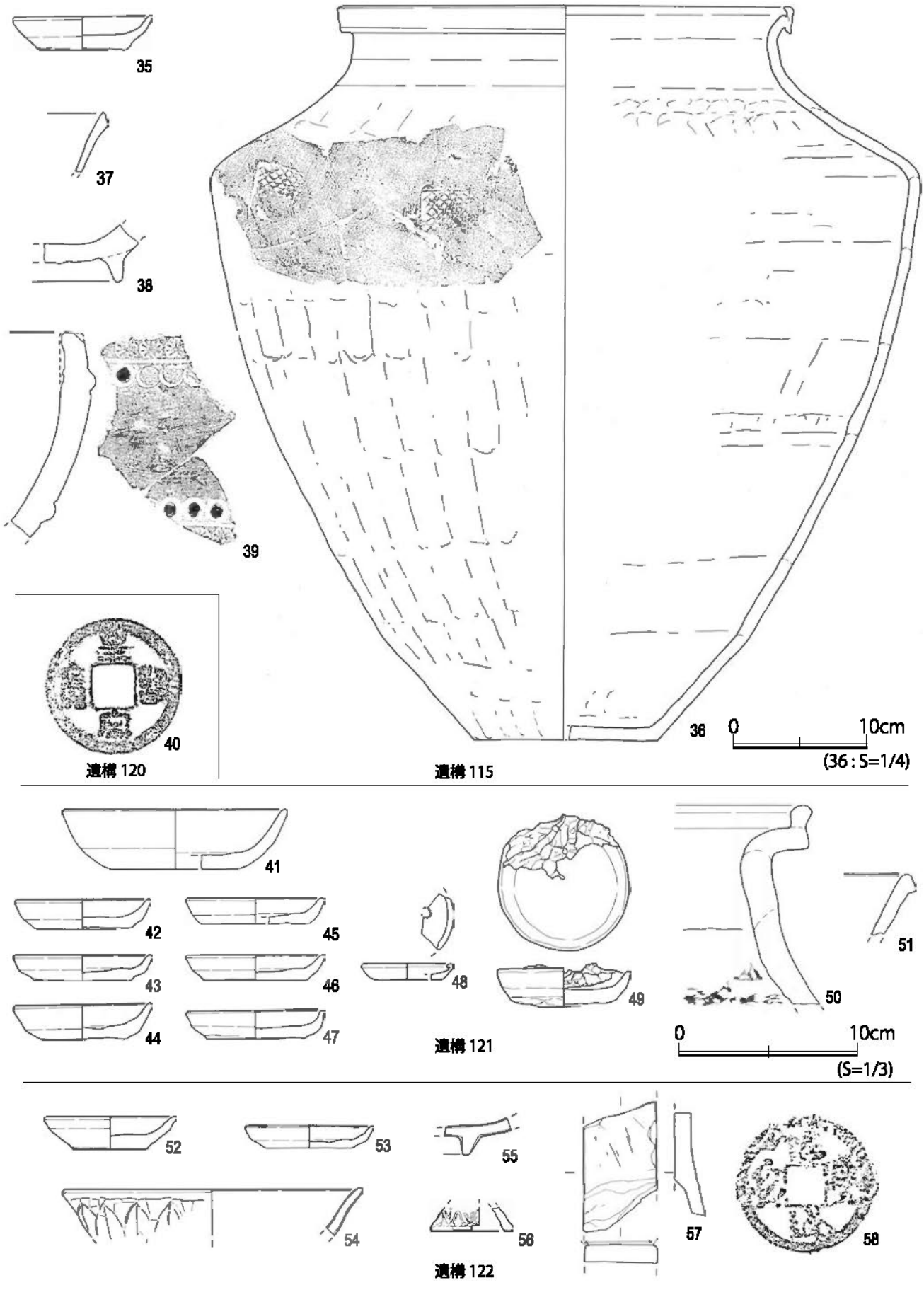


図 12　第 2 面遺構出土遺物（2）

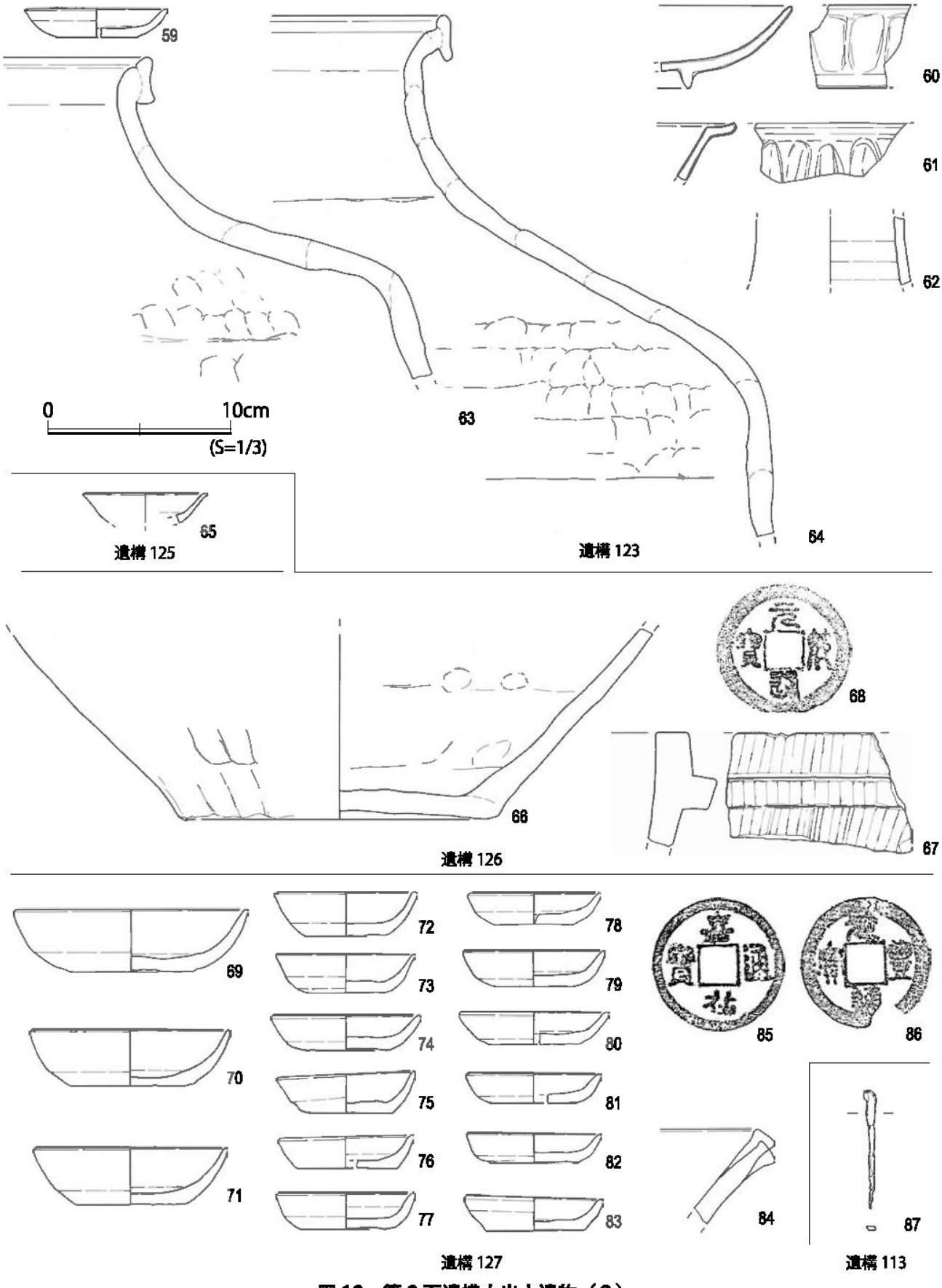


図 13　第 2 面遺構土出土遺物（3）

12):35 はかわらけ、36 は土坑内に設置されていた常滑甕。37 は尾張型山茶碗か。38 は常滑片口鉢 I 類。39 は瓦質火鉢。

遺構 117（図 9）

楕円形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。炭化物を多く含む。出土遺物（図 10）：29 は吉備系土師器小皿。30 は渥美甕。31 は銅銭。

遺構 118（図 9）

楕円形を呈する土坑。遺構 117 に切られる。遺構覆土:暗褐色粘質土。大型泥岩、炭化物を少量含む。出土遺物（図 10）：32 は青白磁の香炉か。33 は常滑片口鉢Ⅱ類。34 は金属製装飾品。

遺構 120（図 9）

隅丸長方形を呈する土坑。遺構 67 に切られる。遺構覆土:暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、かわらけ片、粗砂を含む。出土遺物（図 12）：40 は銅銭。

遺構 121（図 9）

隅丸長方形を呈する土坑。遺構覆土：上層は暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片を多く含む。下層は暗褐色粘質土で焼土が混入、底面に薄い炭層構。出土遺物（図 12）:41 ～ 48 はかわらけ。49 はかわらけで取瓶として使用。50 は常滑甕、51 は常滑壺か。

遺構 122（図 9）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：上層は暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物を多く含み、大型の泥岩が大量に投げ込まれている。下層は暗褐色弱粘質土。炭化物、かわらけ片をわずかに含む。出土遺物（図 12）：52 ～ 53 はかわらけ。54 は青磁蓮弁文碗。55 は青磁皿か。56 は青白磁花瓶。57 は砥石。58 は銅銭。

遺構 123（図 9、11）

隅丸方形を呈する土坑。底面より常滑片を中心とした陶磁器の破片がまとまって出土。遺構覆土：上層は暗褐色粘質土。大型の泥岩塊を多く含む。下層は暗褐色粘質土。大型泥岩、炭化物を多く含む。出土遺物（図 13）:59 はかわらけ。60 は青磁蓮弁文皿。61 は青磁折縁皿。62 は白磁壺。63 ～ 64 は常滑甕。

遺構 125（図 9）

隅丸長方形を呈する土坑。遺構覆土： 上層は暗褐色粘質土。泥岩、炭化物、かわらけ片を多く含む。下層は暗褐色粘質土。大型泥岩を多く、炭化物を少量含む。出土遺物（図 13）：65 は瀬戸小坏。

遺構 126（図 9）

楕円形を呈する土坑。底面より陶磁器片がまとまって出土。遺構覆土：暗褐色粘質土。大型泥岩を多く含む。出土遺物（図 13）：66 は常滑甕。67 は滑石鍋。68 は銅銭。

遺構 127（図 9、11）

円形を呈する土坑。完形のかわらけが列状に収められた状態で底面より検出。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒を多く含む。出土遺物（図 13）：69 ～ 83 はかわらけ。84 は常滑片口鉢Ⅱ類。85 ～ 86 は銅銭。

・礎石建物

遺構 129（図 9、14）

第 2 面では調査区東側で凝灰質砂岩が比較的整然と並んだ形で検出されたため礎石建物と推定される。便宜上それぞれの礎石を伴う掘方にも遺構番号を付し、建物全体をさす番号として 129 を付した。礎石建物を構成するのは遺構 103 ～ 113 で 3 × 3 間の構造であるが、東、南ともに調査区外にさらに広がる可能性がある。礎石の間隔はややばらつきがあるが 1.9 ～ 2 mである。

遺構 106、109、112 は礎石が失われている。112 と 113 の間は礎石、掘方ともに不明だが、試掘時に破壊されたと思われる。西側では 107、111 と不規則な間隔でさらに礎石が存在し、112 の南側にもみられる。これより西側には列をなす礎石は見られず、建物の西端と考えられる。礎石が存在していないが、北側の遺構 50、52、54 は礎石と等間隔に並ぶため、礎石建物に含まれる可能性もあり、その場合には 4 × 3 間の構造となる。そのすぐ北側には板状の凝灰質砂岩 4 枚を敷いた構造物が検出された（遺構 128）。これも礎石建物に付随する構造物の可能性がある。出土遺物（図 13）：87 は鉄釘で、遺構 113 の掘方より出土。

また遺構 66、67、76、74 からはいずれも礎石として使用されたと推定される安山岩を検出した。これらは 2 m間隔で等間隔にならび、礎石建物をなすと推定されるが、南北方向には同様の遺構が検出されておらず、建物としてのプランは確認できていない。遺構 50、52、54 が礎石建物遺構 129 の一角を形成するのであれば、遺構 74 はその内部に入り込む形になるため別の建物である可能性が考えられるが、両者の関連性については詳細を明らかにはしえなかった。

ほかに遺構 127 については完形のかわらけと銅銭がやや整然と埋められていることから、遺構 129 に伴う地鎮の可能性もあろう。

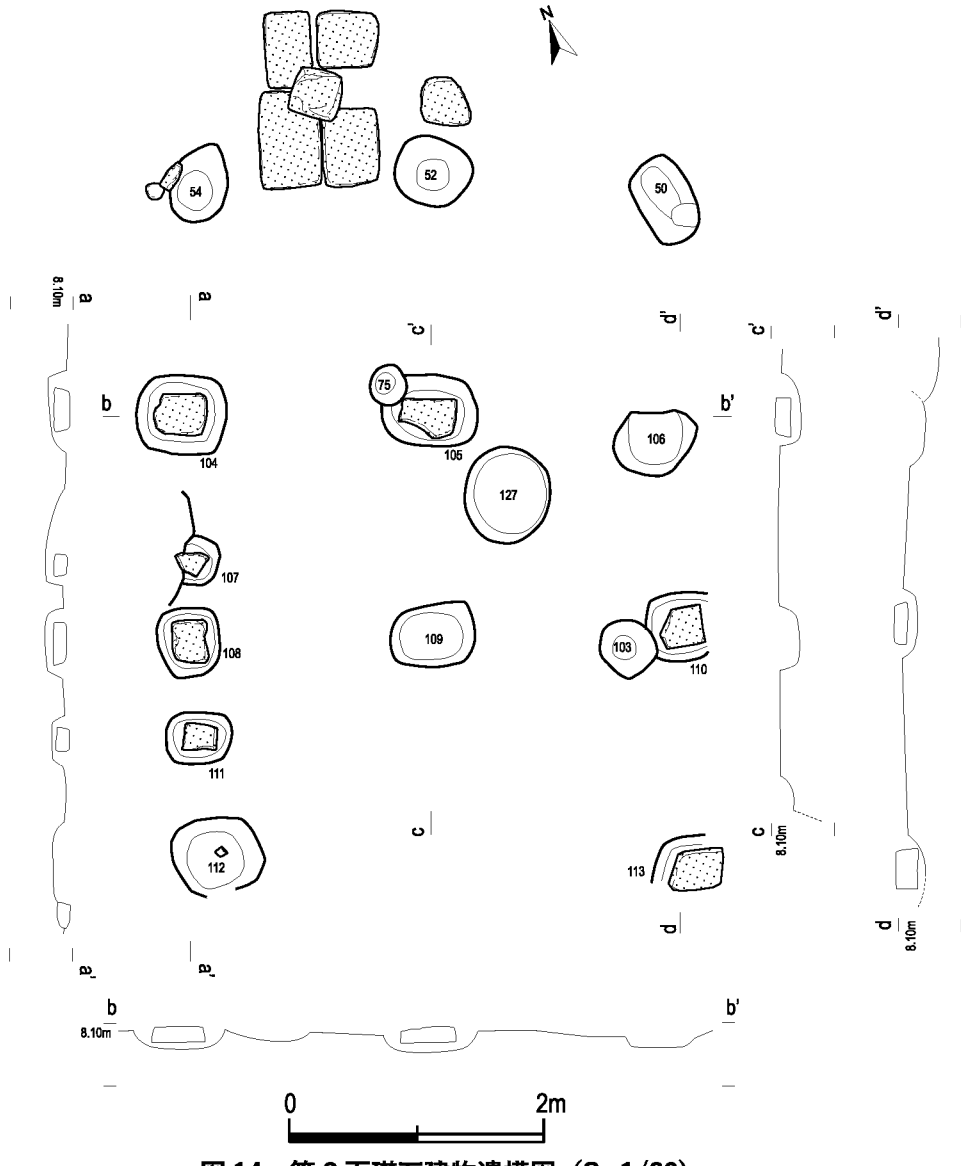


図 14　第 2 面礎石建物遺構図（S=1/60）

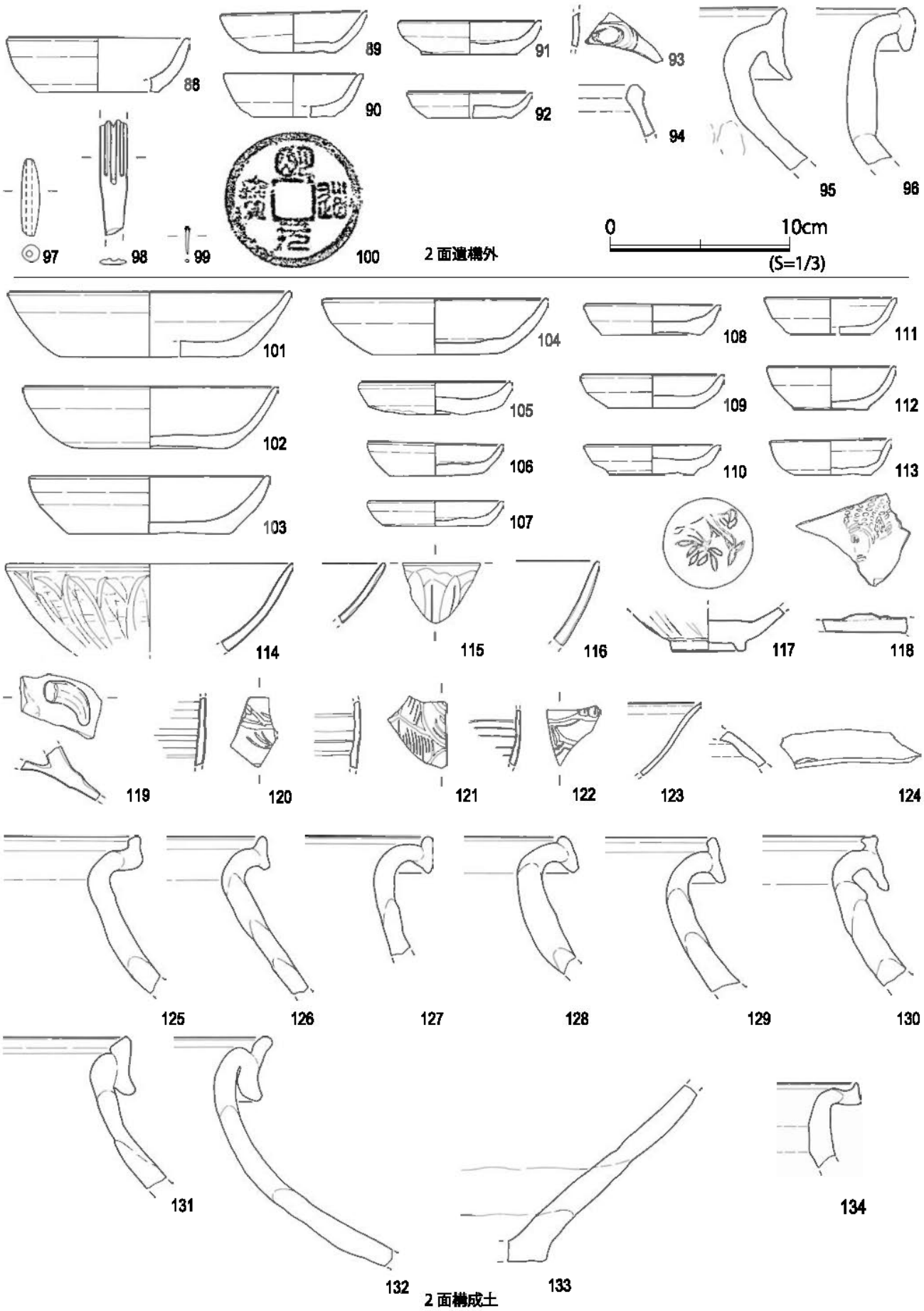


図 15　第 2 面遺構外および構成土出土遺物

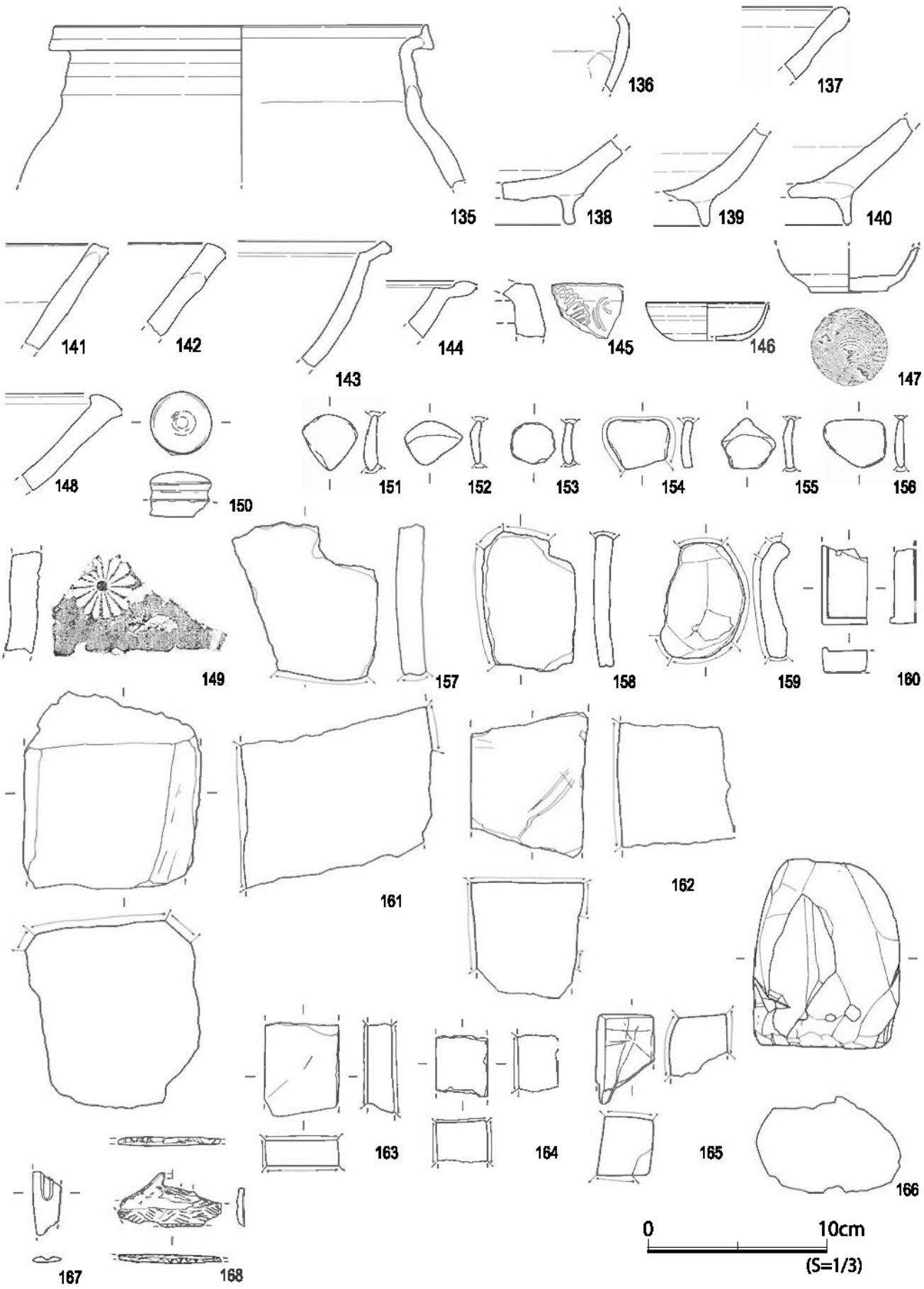


図 16　第 2 面構成土出土遺物（1）

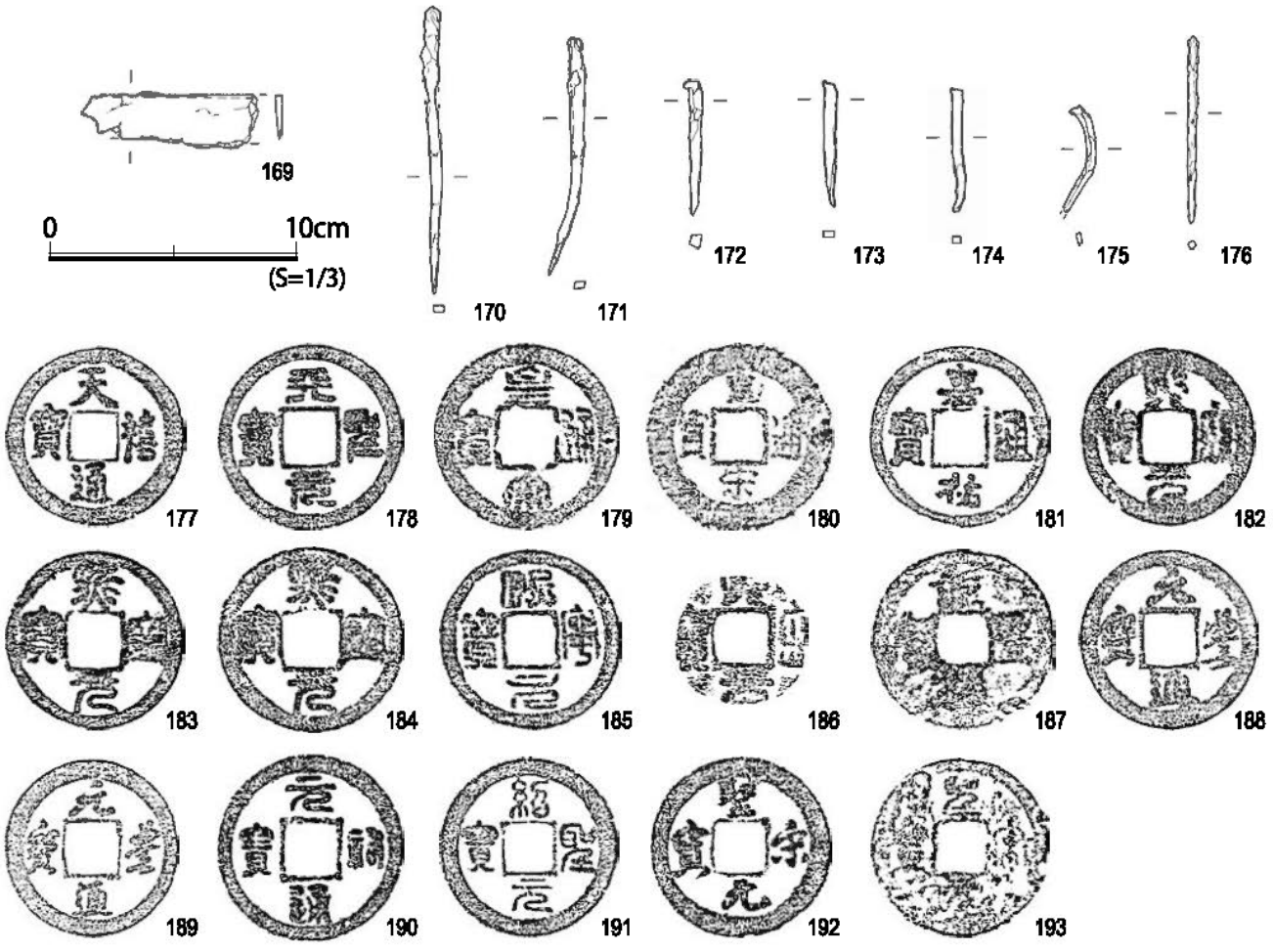


図 17　第 2 面構成土出土遺物（2）

2 面遺構外出土遺物（図 15）

遺構面精査時に面上で検出した遺物。88 ～ 92 はかわらけ。93 は青白磁梅瓶。94 は緑釉盤。95 は常滑広口壺。96 は常滑甕。97 は土埦。98 は笄。99 は鉄釘。100 は銅銭。

2 面構成土出土遺物（図 15 ～ 17）

2 面より 3 面検出までの間の堆積より出土した遺物。101 ～ 113 はかわらけ。114 ～ 115 は青磁蓮弁文碗、116 は青磁碗、117 は青磁蓮弁文碗、118 は青磁双魚文皿、119 は青磁の壺類か。120 ～ 122 は青白磁梅瓶、123 は白磁口兀皿、124 は磁州窯白地鉄絵瓶。125 ～ 133 は常滑甕、134 ～ 135 は常滑広口壺、136 は常滑壺。137 ～ 140 は常滑片口鉢Ⅰ類、141 ～ 142 は片口鉢Ⅱ類。143 ～ 144 は瀬戸折縁深皿、145 は瀬戸筒型香炉か。146 ～ 147 は瀬戸入子。148 ～ 149 は瓦質火鉢。150 は瓦質土器の器蓋。151 ～ 156 は磨りかわらけ、157 ～ 159 は磨り常滑。160 は硯。161 ～ 165 は砥石。166 は軽石加工品、167 は骨製笄、168 は辻具か。169 は鉄製刀子、170 ～ 176 は鉄釘。177 ～ 193 は銅銭。ほかに鉛ガラスの小片が出土している。

第３節　第３面の遺構と遺物（図 18 ～ 23）

第３面は小粒の泥岩砕片を多く含む暗褐色粘質土の地業面である。確認レベルはおよそ海抜 7.68-7.70 mである。多数の遺構を確認し、ピット 33 穴・土坑２基、礎石建物１基、溝状遺構１条を検出した。遺構の切り合いより第３面で発見した遺構は、少なくとも３時期の時間差があると考えられる。

遺物は、かわらけ・手づくね・青磁・白磁・青白磁・褐釉・常滑・瀬戸・火鉢・瓦・石製品・鉄製品銅銭・自然遺物が出土している。

・ピット

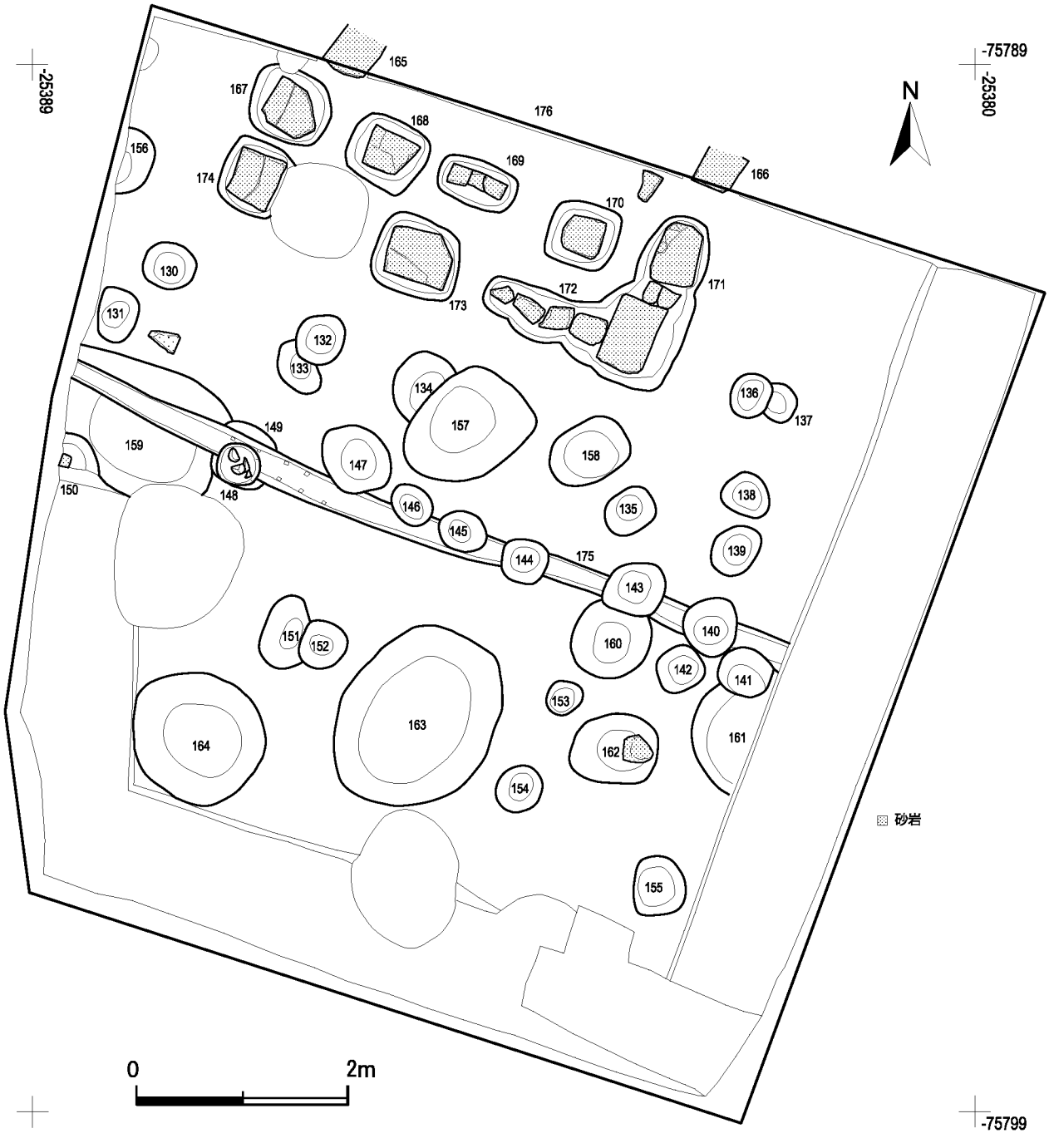


図 18　第３面全体図

遺構 139（図 18）

楕円形を呈するピット。遺構覆土:茶褐色粘質土。出土遺物(図 20):1 は青白磁で器種不明。2 は砥石。

遺構 143（図 18）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：茶褐色粘質土。泥岩、泥岩粒を多く、炭化物とかわらけ片を少量含む。遺構 160 を切る。出土遺物（図 20）：3 は鍔釜。

遺構 146（図 18）

楕円形を呈するピット。遺構覆土：茶褐色粘質土。泥岩を含む。出土遺物（図 20）：4 は泥岩加工品。

遺構 147（図 18）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：上層は茶褐色砂質土。泥岩、泥岩粒、炭化物を少量含む。下層茶褐色粘質土。泥岩、炭化物多く含む。出土遺物（図 20）：5 はかわらけ。

・土坑

遺構 156（図 18）

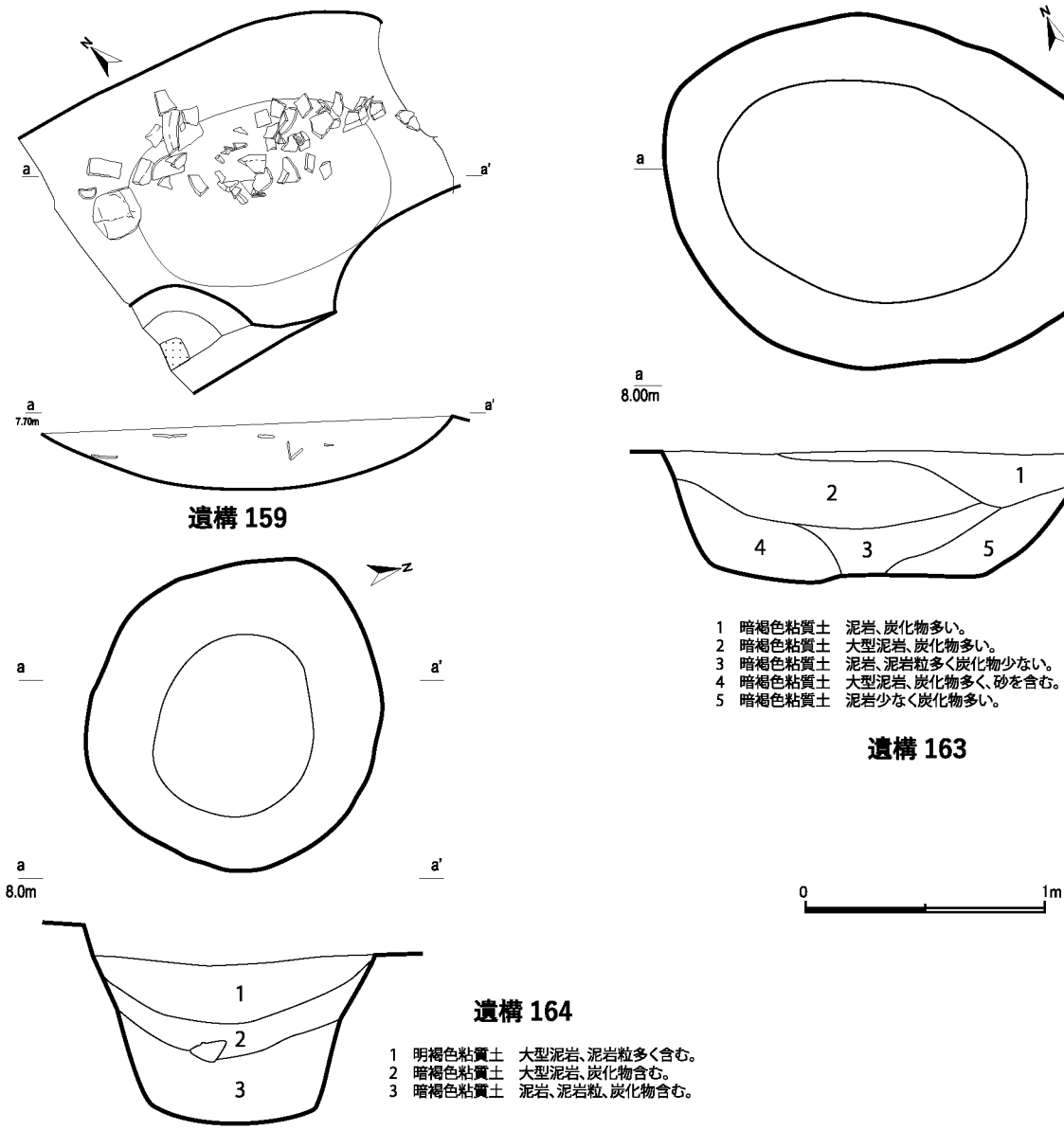


図 19　第 3 面個別遺構図

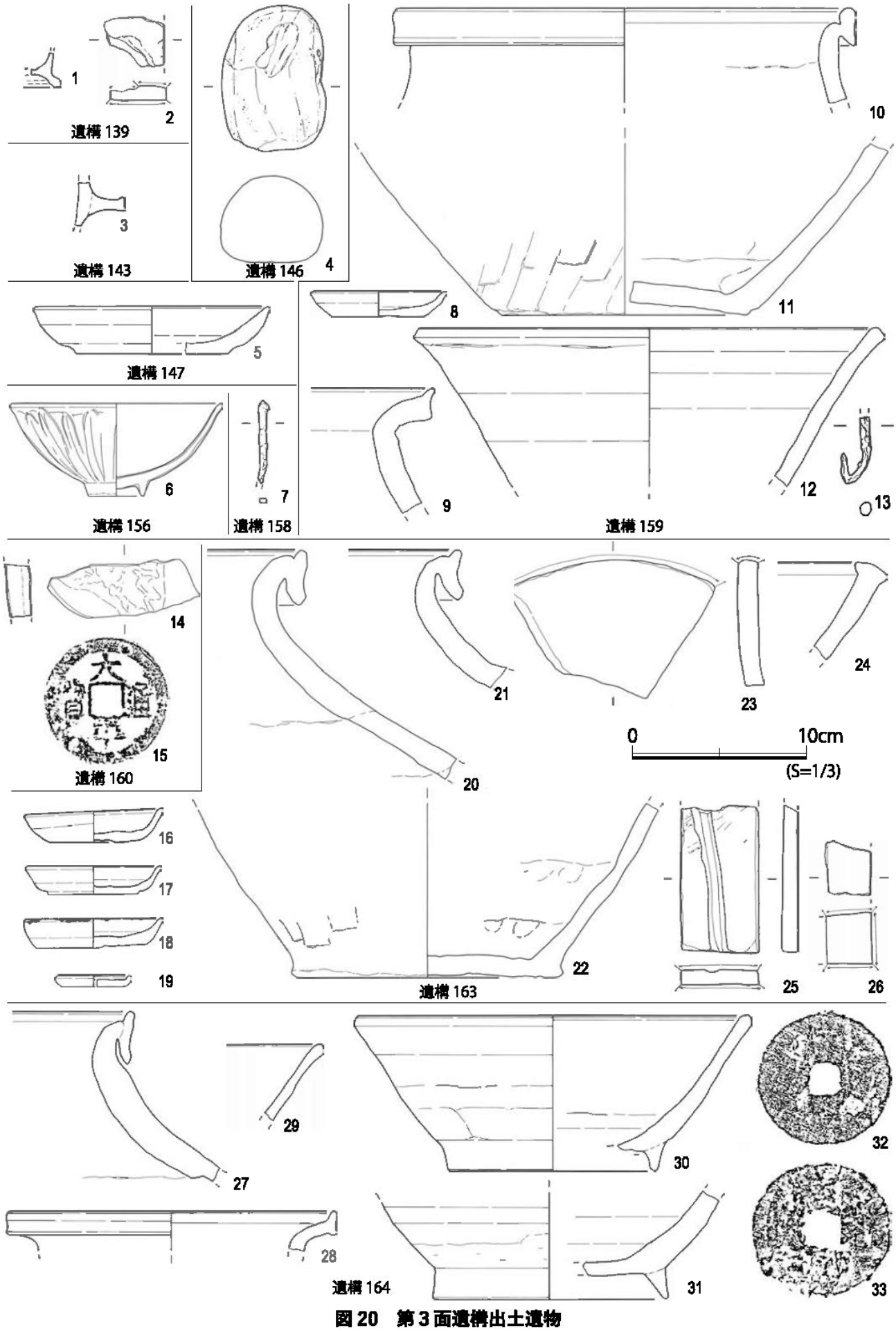


図 20　第 3 面遺構出土遺物

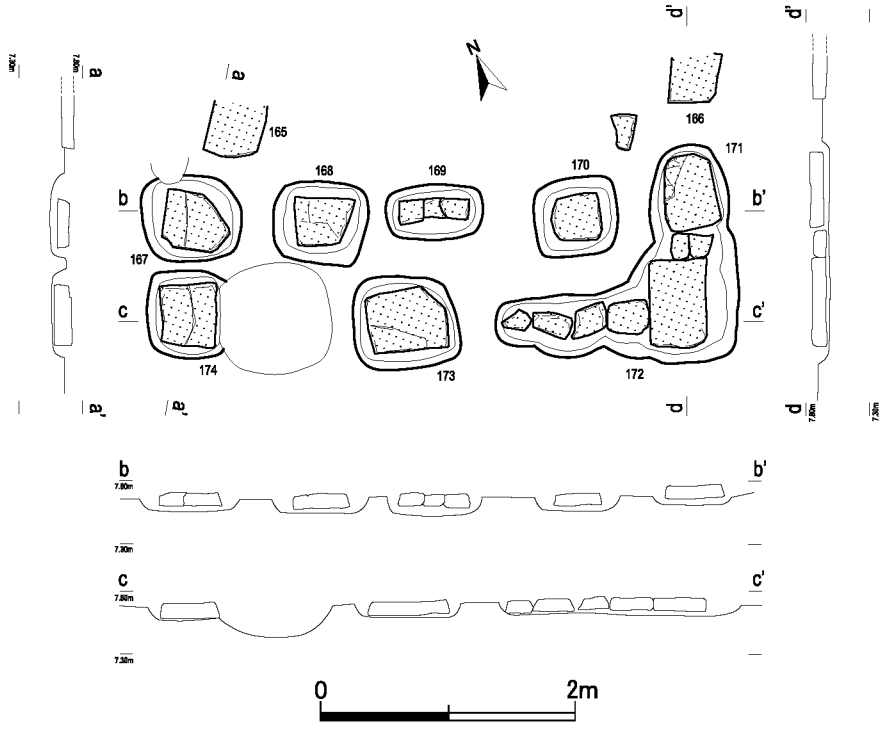


図 21　第 3 面礎石建物遺構図（S=1/60）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：黒褐色粘質土。被熱した泥岩を多く含む。出土遺物（図 20）：6 は青磁蓮弁文碗。

遺構 158（図 18）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：茶褐色粘質土。大型の泥岩、泥岩粒を含む。上部には砂岩粒が混入。出土遺物（図 20）：7 は鉄釘。

遺構 159（図 18、19）

隅丸方形を呈する土坑。底面より多数の陶磁器片がまとまって出土。遺構覆土：明茶褐色粘質土。泥岩粒、かわらけ片を少量含む。下部に褐鉄混入。出土遺物（図 20）：8 はかわらけ。9 ～ 11 は常滑甕、12 は常滑片口鉢 I 類。13 は鉄釘。

遺構 160（図 18）

隅丸方形を呈する土坑。遺構 143 に切られる。遺構覆土:上層は茶褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片を少量含む。下層は茶褐色粘質土。泥岩多く、炭化物を少量含む。出土遺物（図 18）：14 は青磁花生か。15 は銅銭。

遺構 163（図 18、19）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：図 19 を参照。出土遺物（図 20）：16 ～ 19 はかわらけ。20 ～ 22 は常滑甕、23 は磨り常滑。24 は瓦質火鉢。25 ～ 26 は砥石。

遺構 164（図 18、19）

円形を呈する土坑。遺構覆土：図 19 を参照。出土遺物（図 20）：27 は常滑甕、28 は常滑広口壺。29 ～ 31 は常滑片口鉢 I 類。32 ～ 33 は銅銭。

・溝

遺構 175（図 18）

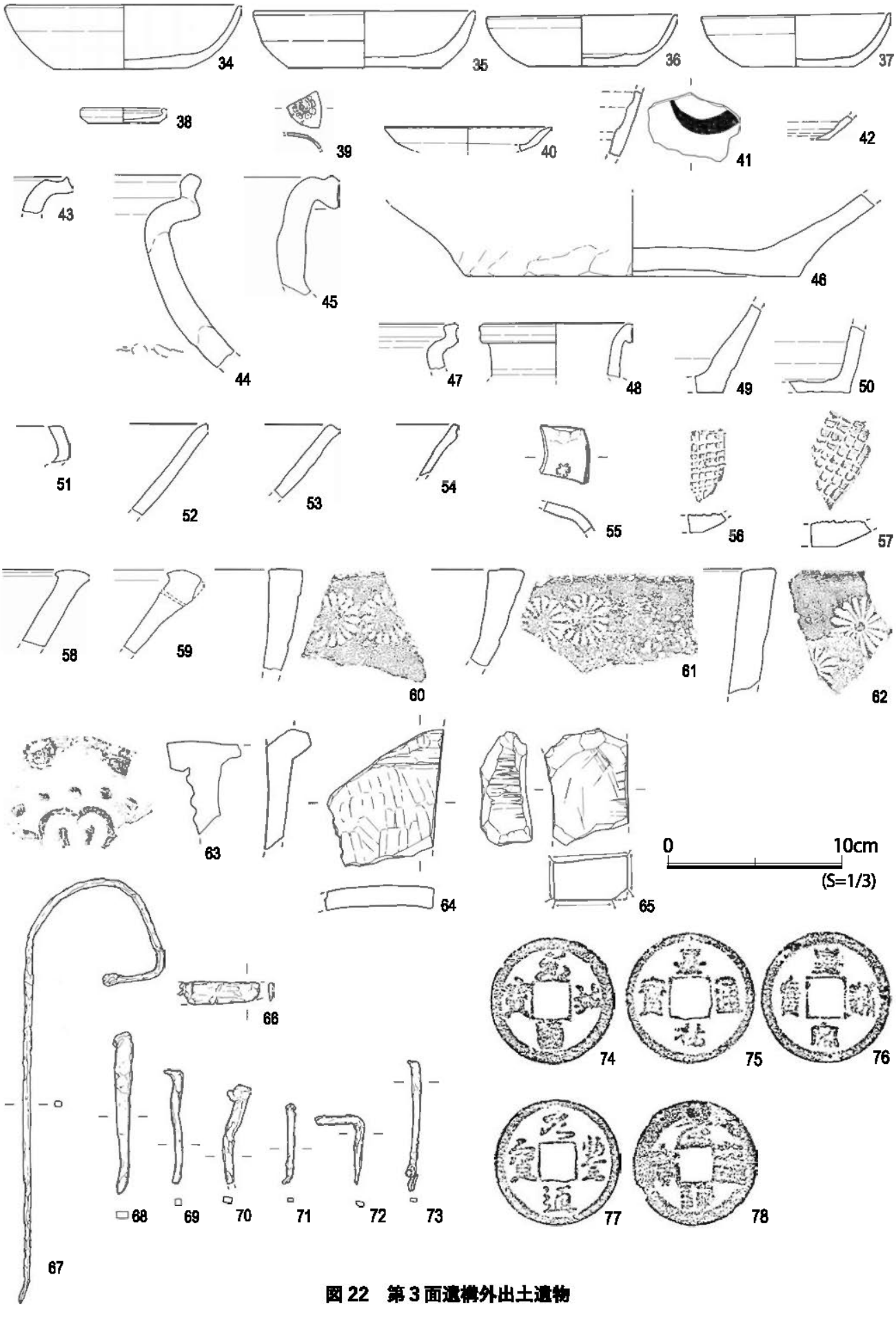


図 22　第 3 面遺構外出土遺物

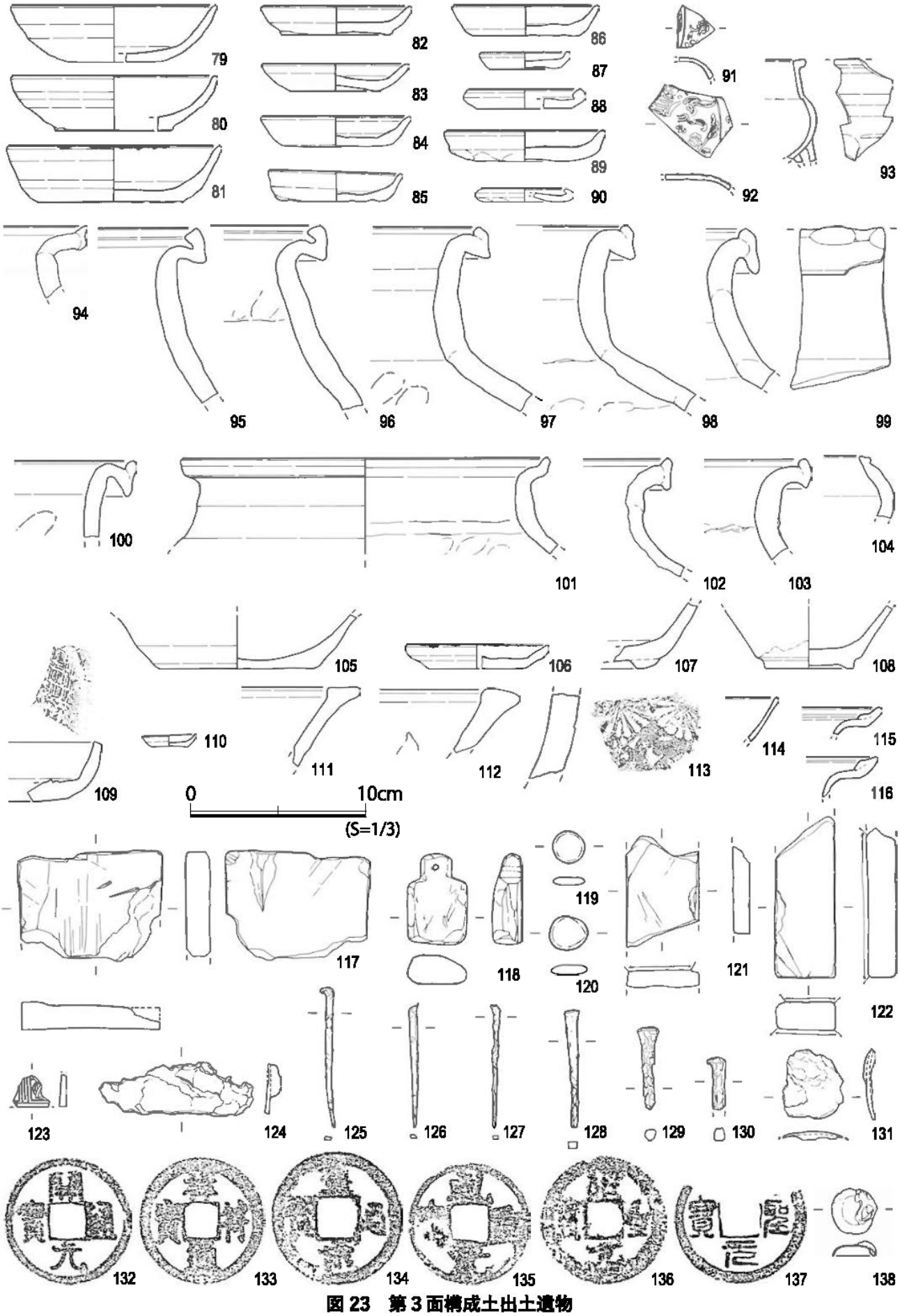


図 23　第 3 面構成土出土遺物

溝。調査区のほぼ中央を東西に走り、両端は調査区外に延びている。幅 20 ～ 25cm、深さ約 5 ～ 10cm。小規模な箱堀りの溝で、小さな杭穴が壁に沿っていくつか確認され、本来は側板があり杭で補強していたと思われる。図示可能な遺物は出土していない。

・礎石建物

遺構 176（図 18、21）

第 3 面調査区の北側で面上に設置された凝灰質砂岩が検出された（遺構 165 ～ 174）。いずれも平坦に加工された砂岩を使用している。東西は約 4.3 mの幅で比較的整然と並んでおり、礎石建物と推定されるため、第 2 面と同様、建物として独自の番号を付した（遺構 176）。調査区内では 2 列、調査区北壁にさらに一列分に相当する礎石が検出され、調査区外にさらに延びているのは確実であるが、全体の規模は定かではない。遺構 165 と 166、遺構 166 ～ 171、遺構 172 ～ 174 の 3 列に分けられるが、それぞれの礎石の数や間隔は一定ではなく、遺構 165 は西側の列からはややずれて内側に入り込んでいる。建物の構造はやや不明瞭で、第 2 面の礎石建物や後述する第 4 面の礎石建物とは異なる。

３面遺構外出土遺物（図 22）

遺構面精査時に面上で検出した遺物。34 ～ 38 はかわらけ。39 は白磁合子の蓋、40 は白磁口兀皿で口唇に紅が付着している。41 は白磁鉄絵瓶、42 は褐釉で器種不明。43 ～ 46 は常滑甕、47 は常滑広口壺、48 は常滑玉縁壺、49 は常滑壺、50 は常滑鳶口壺、51 は常滑片口碗か。52 は常滑片口鉢Ⅰ類、53 は常滑片口鉢Ⅱ類。54 は尾張型山茶碗。55 は瀬戸水注、56 ～ 57 は瀬戸卸皿。58 ～ 59 は土器質火鉢、60 ～ 62 は瓦器質火鉢。63 は軒丸瓦。64 は滑石製鍋の再加工品。65 は砥石。66 は鉄製刀子、67 は火箸、68 ～ 73 は鉄釘。74 ～ 78 は銅銭。

３面構成土出土遺物（図 23）

3 面以下 4 面検出までの間の堆積から出土した遺物。79 ～ 90 はかわらけ。91 ～ 92 は青白磁合子蓋、93 は青白磁の袴腰形香炉か。94 ～ 99 は常滑甕、100 ～ 103 は常滑広口壺。104 は常滑片口碗、105 は常滑で器種不明。106 は尾張型山皿。107 は渥美湖西型山茶碗。108 は瀬戸天目茶碗、109 は瀬戸卸皿、110 は瀬戸入子。111 ～ 112 は土器質火鉢、113 は瓦質火鉢。114 は瓦器質黒縁皿。115 ～ 116 は伊勢系土鍋。117 は滑石製品で温石か。118 は滑石製加工品。119 ～ 120 は碁石。121 ～ 122 は砥石。123 は骨製装飾品。124 は火打金。125 ～ 130 は鉄釘。131 は鉄製品で詳細不明。132 ～ 137 は銅銭、138 は銅製品。

第４節　第４面の遺構と遺物（図 24 ～ 30）

第４面は小粒の泥岩砕片を多く含む暗褐色粘質土の地業面であり、多数の遺構を確認した。確認レベルはおよそ海抜 7.40-7.48 ｍである。遺構はピット 33 穴・土坑 12 基、礎石建物１基、溝状遺構２条、方形竪穴建物５基を検出した。遺構の切り合いより第４面で発見した遺構は、少なくとも３時期の時間差があると考えられる。

遺物はかわらけ・手づくね・青磁・白磁・青白磁・褐釉・常滑・瀬戸・渥美・瓦器・火鉢・瓦・石製品・鉄製品・銅銭・自然遺物が出土している。

・方形竪穴建物

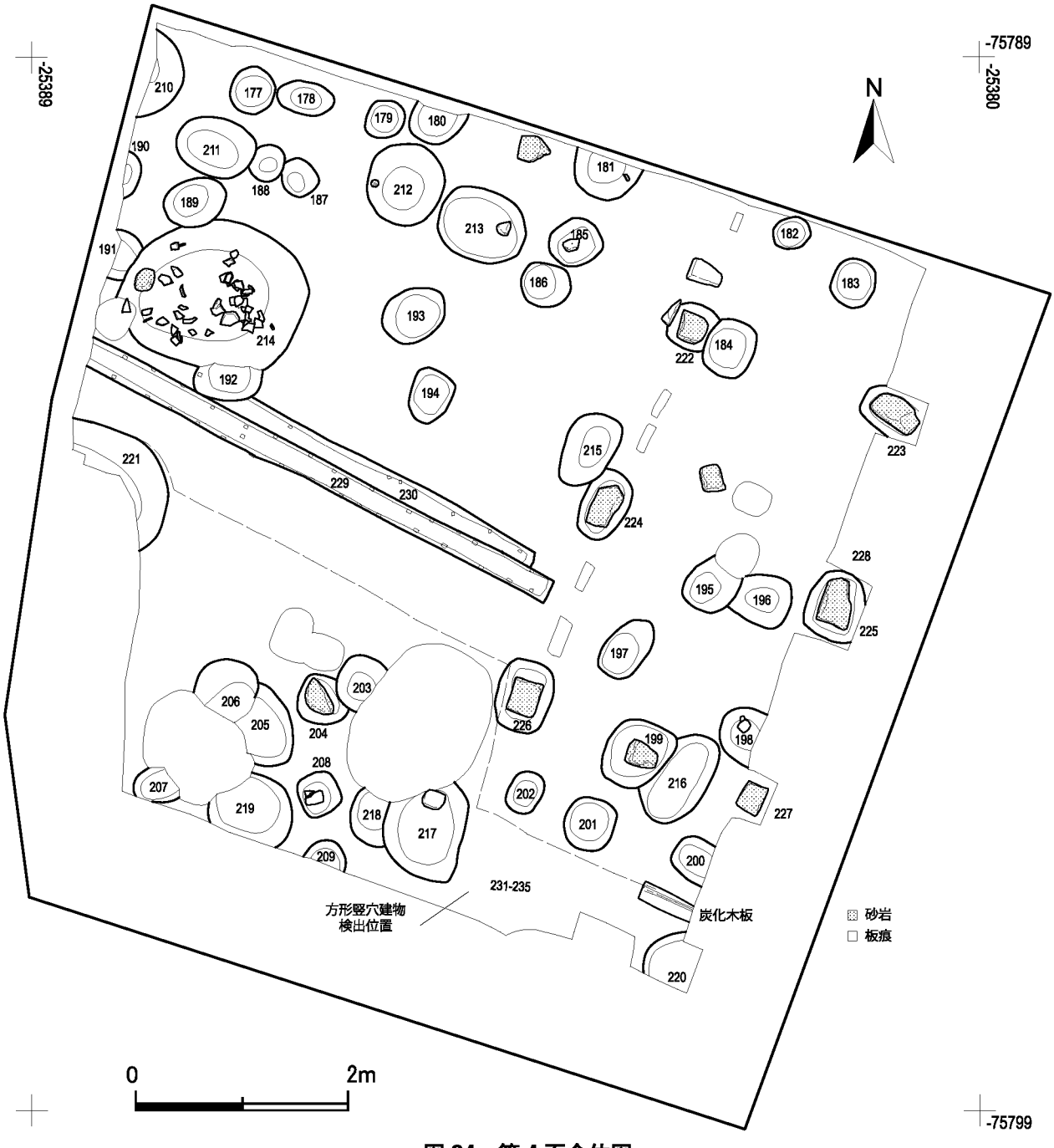


図 24　第４面全体図

第４面の南側では方形竪穴遺構が確認された。遺構覆土にも遺構が確認されたことより、第４面では当初竪穴建物が機能していたが、それを埋め立てて整地し、さらに別の遺構が構築されたと考えられる。竪穴建物は平面と断面の観察から５基存在し、ほぼ同様の場所で建て替えが行われていることが判明し

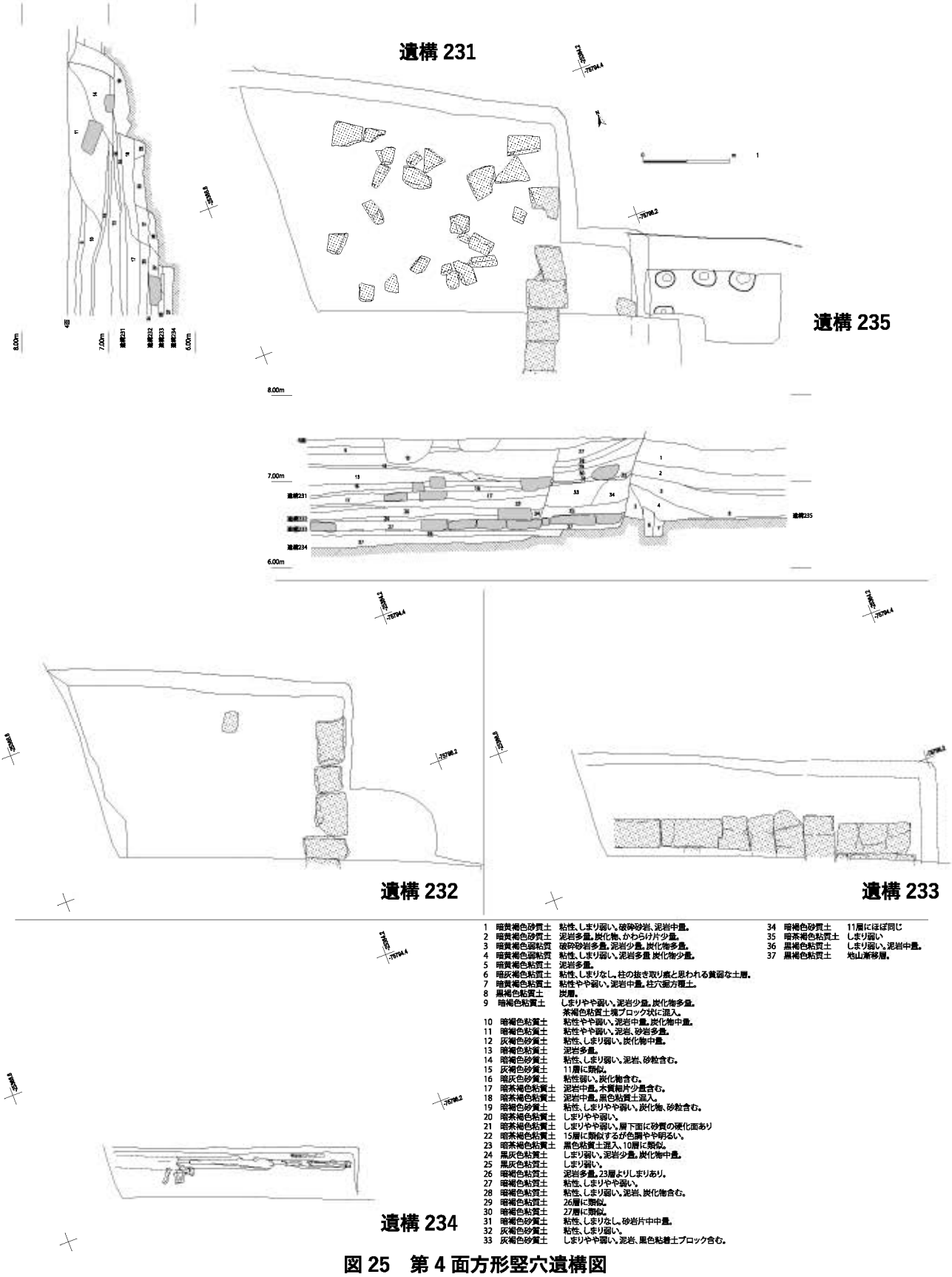


図 25　第 4 面方形竪穴遺構図

た。覆土については遺構231、235の図にまとめて掲載している。

遺構231（図24、図25）

調査区西、南側に延びているため、全体の規模は不明。他の方形建物を壊して構築している。検出した規模は東西3.8 m、南北2.8 m、深さは約0.55 m。床には東壁に沿って平坦に加工した凝灰質砂岩が並べられている。また内部にも整然とはしていないが、板状に加工した砂岩が散在していた。さらに覆土にも多数砂岩が混入ていた。東の砂岩列は調査区南壁に入り込んでいる。東壁には方形の張り出し部が確認され、建物の出入り口と推定される。出土遺物（図26）：1～6はロクロかわらけ、7～8は手づくねかわらけ。9は青磁劃花文碗、10は青磁櫛掻文皿、11は青磁劃花文碗、12は青白磁合子蓋、13は青白磁合子。14は白磁碗、15は白磁鉄絵の小壺。16～22は常滑甕、23は常滑広口壺、24は常滑壺、25は常滑小壷、26は常滑片口鉢Ⅰ類。27は常滑片口鉢Ⅱ類。28は磨り常滑、29は渥美片口鉢、30は東遠型山皿か。31は瀬戸卸皿。32は平瓦。33は土埦。34は泥岩加工品。35は砥石。36は火打金、37～38は鉄釘､39～42は銅銭。43～46は下層出土遺物。43～44はかわらけ。45は青白磁壺､46は釘塊。

遺構232（図24、25）

遺構231の下部より検出された方形竪穴建物。遺構231より西南にずれてその内側に位置し、遺構の掘り込みは破壊されているため本来の規模は不明。残存する規模は東西3.5 m､南北2.1 m､深さは約0.24 mである。遺構231と同様に床上には東壁沿いに平坦に加工した凝灰質砂岩が一列に敷かれている。北側には痕跡が見られない。石列は調査区南壁内にも確認でき、さらに調査区外に延びているのは確実である。出土遺物（図27)：47～52までは遺構232から235の所属が区別できず､一括で取り上げたもの。47～48はかわらけ、49は白かわらけ、50は手づくねかわらけ。51は常滑甕、52は常滑玉縁壺。

遺構233（図24、25）

遺構233の下部より検出された方形竪穴建物。北壁は遺構231、232より南側に寄り、東側は遺構231とほぼ同じである。上方の遺構に破壊されているため、掘り込みは不明で本来の規模は明らかにしえない。残存する規模は東西約4.0 m、南北約1.0 m、深さは約0.2 mである。北壁よりやや南に離れた位置に東西方向に平坦に加工した凝灰質砂岩が敷かれている。東側はさらに調査区南壁に凝灰質砂岩が確認され、本来は床全面に砂岩を敷き詰めていた可能性がある。砂岩列は西側でも調査区外に延びている。出土遺物（図27）：53は常滑小壺、54は常滑片口鉢Ⅱ類、55は硯、56は石製品で器種不明。

遺構234（図24、25）

最も下層から検出された方形竪穴建物。位置的には西南に寄っており、上方の遺構に破壊されているため､本来の掘り込みは不明である。残存する規模は､東西2.35 m､南北約1.0 m､深さ約0.1 mである。床面には北壁沿いに東西方向に長方形の板材が敷かれていた。凝灰質砂岩を敷いていたかどうかは不明である。板材は保存状況が良好ではなく、また西側には検出されていない。東壁沿いにも存在したかどうかは不明。出土遺物（図27）：57は青磁碗、58は常滑甕。

遺構235（図24、25）

東南隅で検出された方形竪穴建物。大部分は試掘坑によって壊されていたが、北壁と床面が残存しており、また南壁の土層観察より方形竪穴建物と判断された。掘り込みは遺構231とほぼ同じレベルからであり、遺構234と切り合い関係にあるかどうかは不明であるが、遺構231、233に壊されていることは確実である。残存規模は東西1.85 m、南北約1.4 m、深さは約0.9 mを測る。床面には壁に沿って4基のピットが検出され､遺構235にともなうものである。床面直上には薄く炭層が検出され､火災にあっ

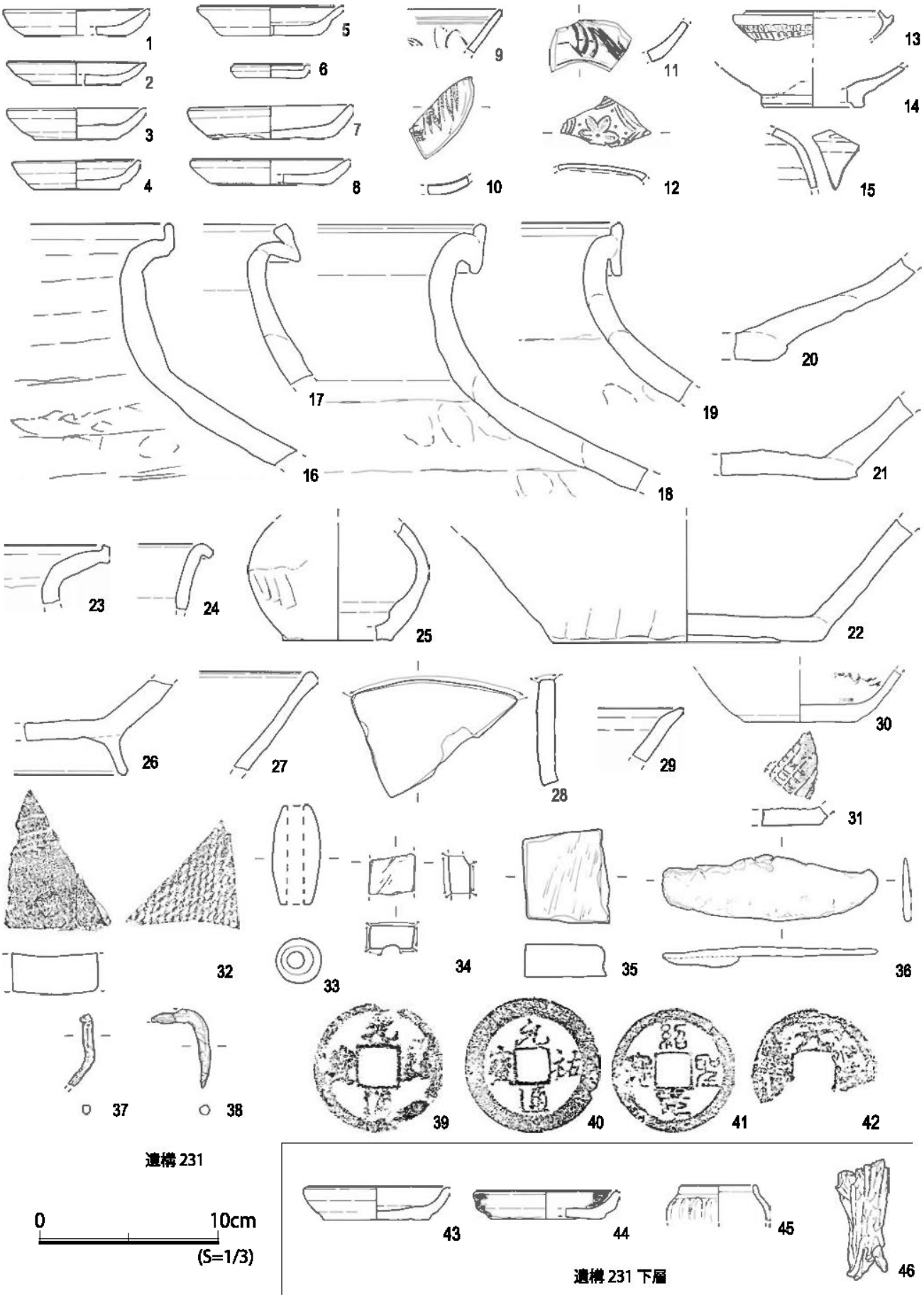


図 26　第 4 面遺構出土遺物（1）

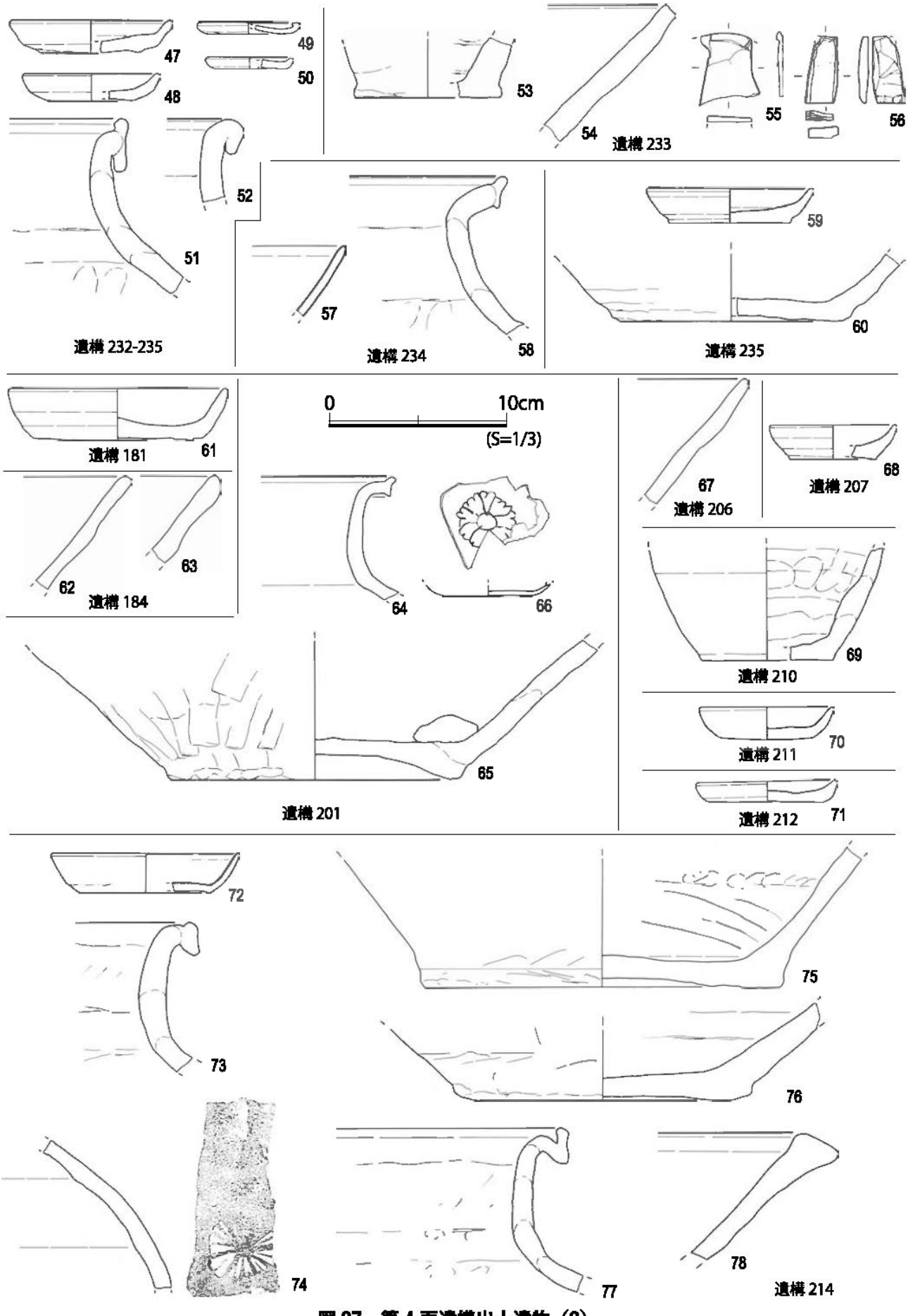


図 27　第 4 面遺構出土遺物（2）

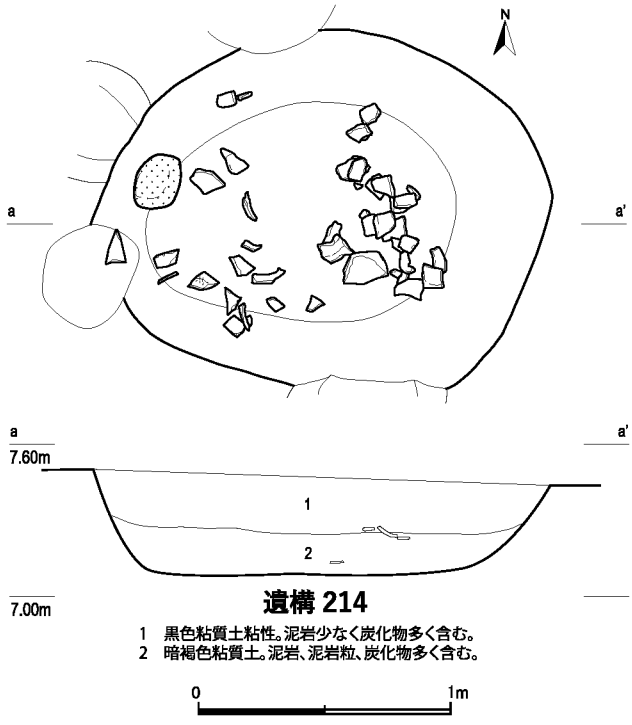


図 28　第 4 面遺構図（S=1/30）

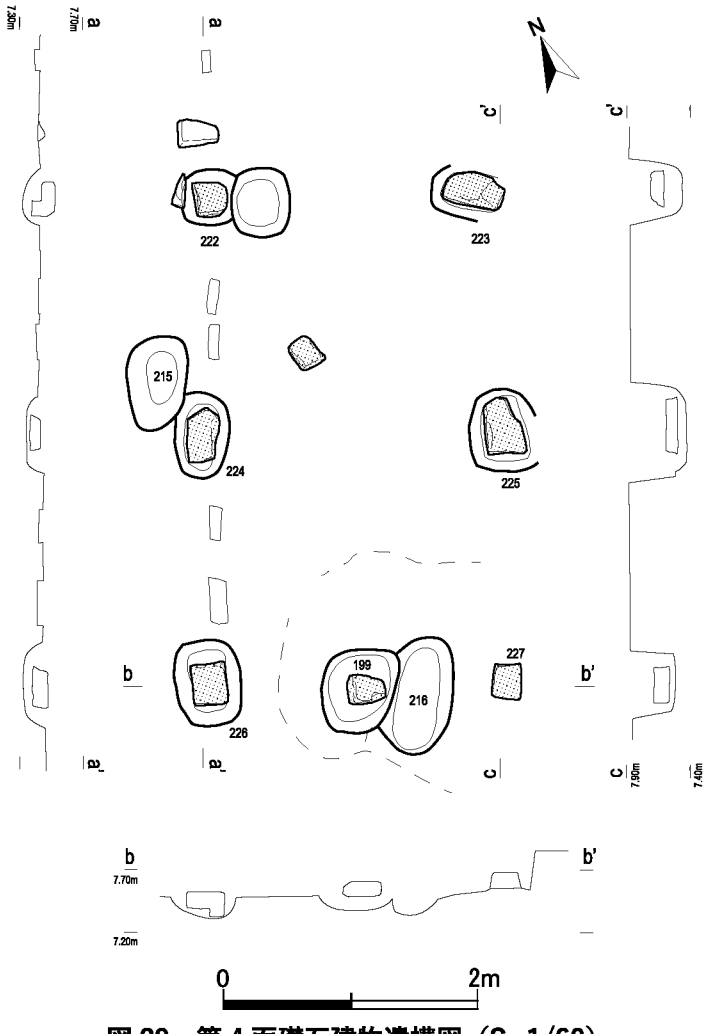


図 29　第 4 面礎石建物遺構図（S=1/60）

た可能性がある。出土遺物（図 27）：59 はかわらけ、60 は常滑甕。

・ピット

遺構 181（図 24）

円形を呈するピット。調査区外に延びる。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物を多く、かわらけ片を少量含む。底部は薄く炭層が見られる。出土遺物（図 27）：61 はかわらけ。

遺構 184（図 24）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩塊を多く、かわらけ片、炭化物を少量含む。出土遺物（図 27）：62 ～ 63 は常滑片口鉢Ⅰ類。

遺構 201（図 24）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：茶褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物多く含む。出土遺物（図 27）:64 は常滑壺、65 は常滑甕、66 は瓦器碗。

遺構 206（図 24）

円形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物を多く含む。出土遺物（図 27）：67 は常滑片口鉢Ⅰ類。

遺構 207（図 24）

楕円形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片多く含む。出土遺物（図 27）:68 はかわらけ。

このほか遺構 198 からは人の頭蓋骨が出土している。下顎骨のみで、やや小さい。

・土坑

遺構 210（図 24）

円形を呈する土坑。調査区外に延びる。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物多く、かわらけ片を少量含む。出土遺物（図 27）：69 は常滑壺。

遺構 211（図 24）

円形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質

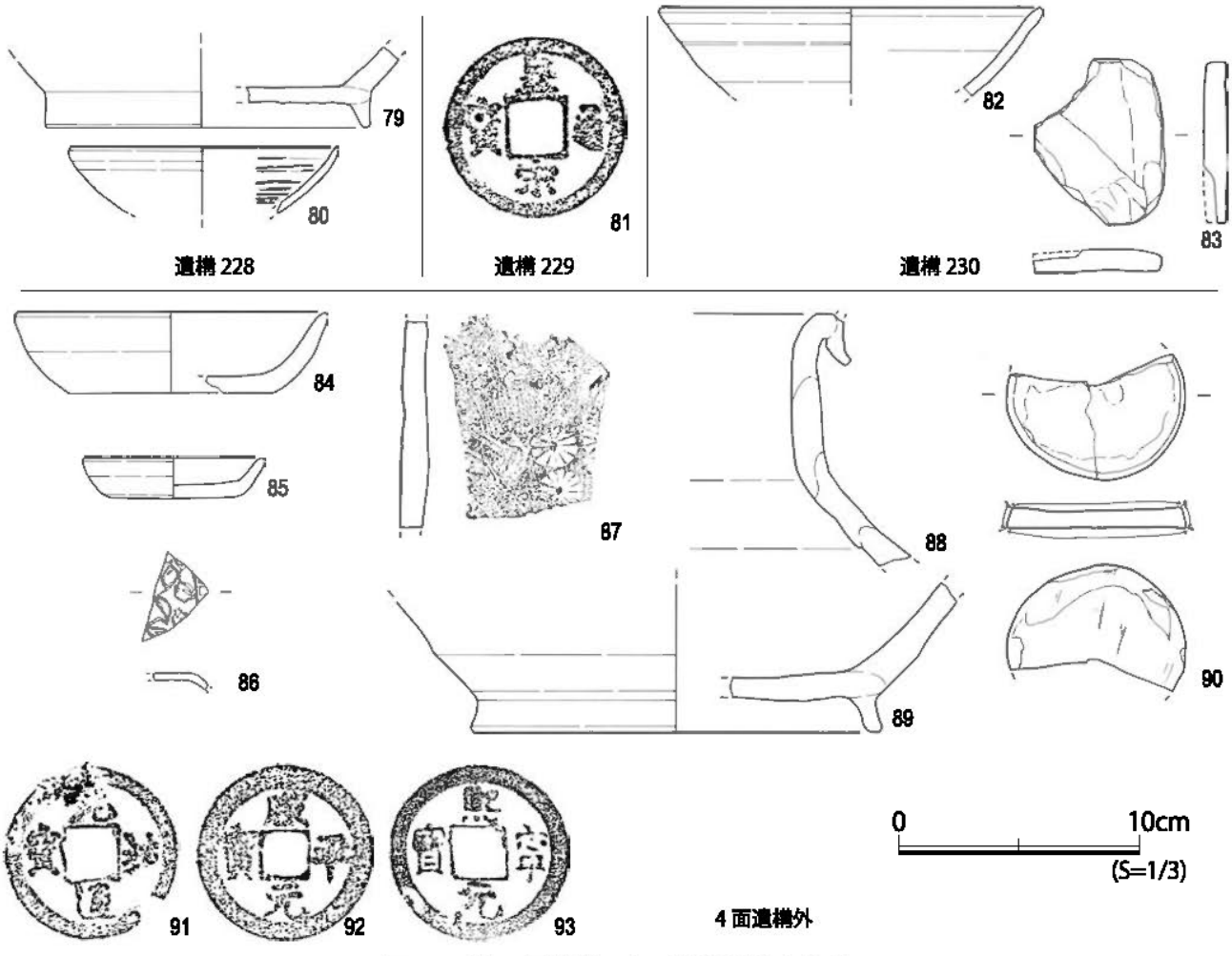


図 30　第 4 面遺構および遺構外出土遺物

土。泥岩、かわらけ片を少量、炭化物を多く含む。出土遺物（図 27）：70 はかわらけ。

遺構 212（図 24）

円形を呈する土坑。遺構覆土：上層は暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物を多く含む。下層は暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒多く、炭化物やや含む。出土遺物（図 27）:71 はかわらけで遺構側壁より出土。

遺構 214（図 24、28）

隅丸方形を呈する土坑。遺構 189 に切られ、191 と 192 を切る。遺構覆土：図を参照。出土遺物（図 27）：72 は白磁口兀皿、73 は常滑広口壺、74 ～ 77 は常滑甕。78 は土器質火鉢。

・礎石建物

遺構 228（図 24、29）

調査区東部より平坦に加工した凝灰質砂岩が整然と配列して検出された（遺構 222 ～ 227）。その配列から礎石建物として独立した番号を付した（遺構 228）。いずれも方形に加工した凝灰質砂岩を使用しているが、遺構 222 と 226 では板状ではなくＬ字状に加工した砂岩が使用されている。確認できた構造は 2 × 3 間で、柱間距離は南北約 1.95 m、東西約 2.1 ～ 2.3 m である。西側では礎石の間に板を埋め込んだと思しき痕跡がそれぞれ 2 基見られ、さらに北側にも続いていることから、北、東とも調査区外に延びている可能性が高く、全体規模は不明である。礎石の位置は南北は第 2 面の遺構 129 にほぼ同じであるが、東西方向は東に 1 m ほどずれている。出土遺物（図 30）：礎石の掘方より出土した遺物。

79 は常滑片口鉢 I 類。80 は瓦器碗。

・溝

遺構 229（図 24）

東西方向に走る溝。礎石の手前で確認できなくなる。残存規模は東西 4.9 m、幅約 0.2 m、深さ 0.05m で、壁際には小さい杭穴が多数検出され、本来壁を板で補強していたと思われる。遺構覆土：炭混じりの粘質層で炭化材も残存する。出土遺物（図 30）：81 は銅銭。

遺構 230（図 24）

東西方向に走る溝。遺構 229 と同様礎石の手前で消失し、229 に切られている。残存規模は東西 4.67 m、幅約 0.19 m、深さ約 0.10m である。壁際には小規模な杭穴が多数検出され、遺構 229 と同様の構造である。遺構覆土：炭層及び焼けた木材の混合層。出土遺物（図 30）：82 は渥美窯の山茶碗か。83 は不明石製品。

4 面遺構外出土遺物（図 30）

遺構面精査時に面上で検出した遺物。84 ～ 85 はかわらけ。86 は白磁合子蓋、87 は常滑甕、88 は常滑広口壺、89 は常滑片口鉢 I 類。90 は磨り常滑。91 ～ 93 は銅銭。

第５節　第５面の遺構と遺物（図 31 ～ 36）

第５面は小粒の泥岩砕片を含む黒色粘質土の地業面である。調査区南側は第４面の方形竪穴建物によって壊され、消失している。北側の上面からの遺構の掘り込みにより破壊が激しく、この面の確認遺構の数は多くはない。確認レベルはおよそ海抜 7.33 ～ 7.47 ｍである。遺構はピット３穴・土坑５基、井戸１基、溝状遺構１条である。遺構の切り合いより第５面で発見した遺構は、少なくとも２時期の時間差があると考えられる。

遺物は、かわらけ・手づくねかわらけ・白かわらけ・青磁・白磁・青白磁・常滑・渥美・瀬戸・火鉢・石製品・鉄製品・銅銭・木製品・自然遺物が出土している。

・土坑

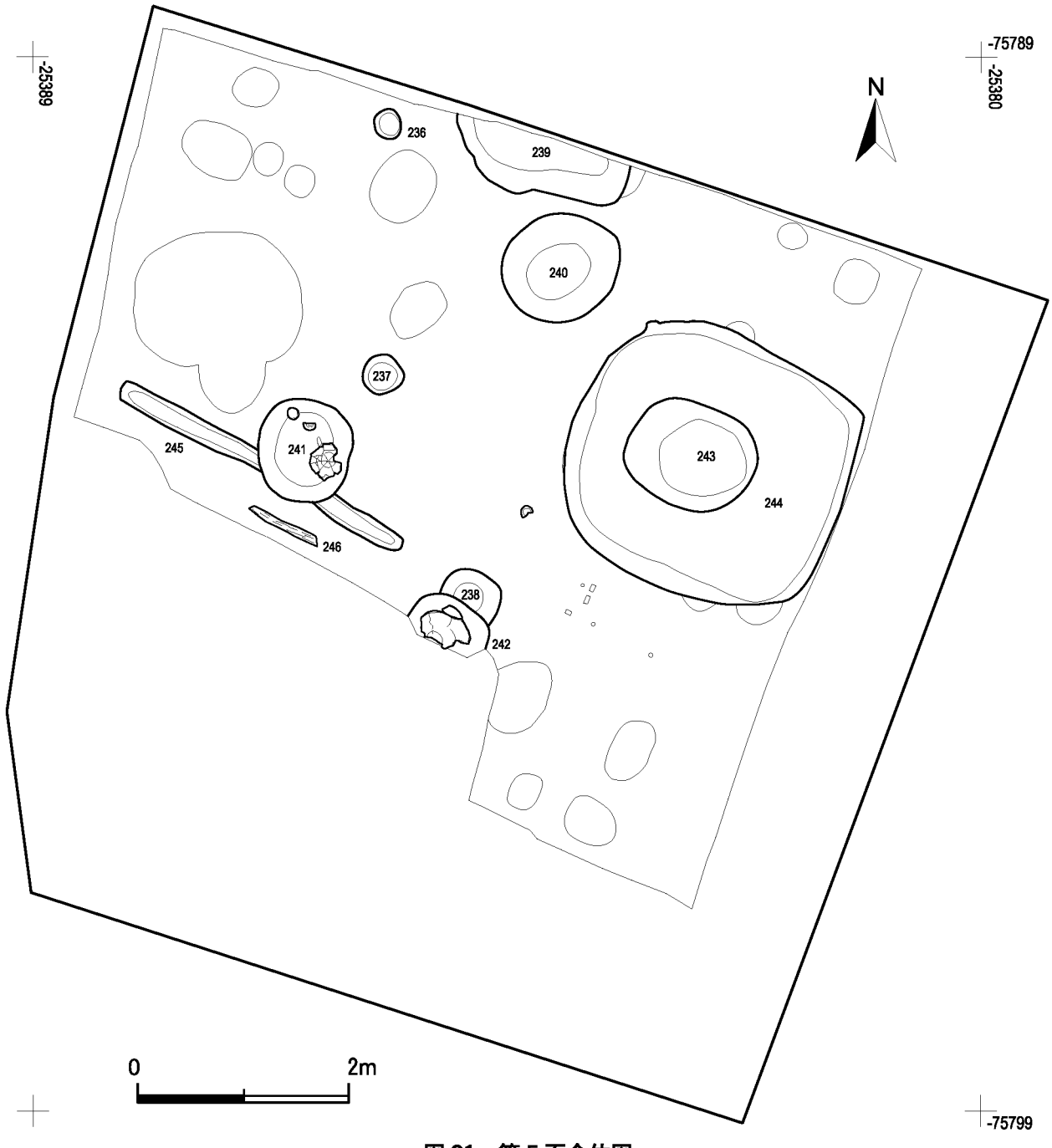
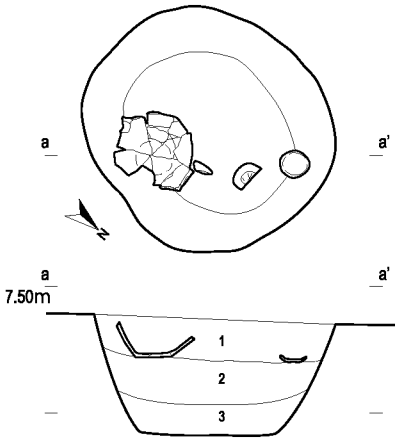
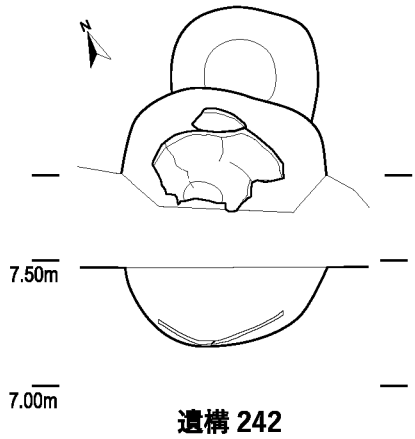


図 31　第５面全体図

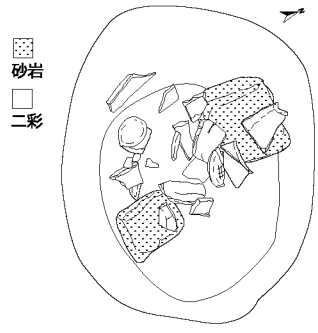


1　明褐色粘質土　泥岩、泥岩粒を多く含む
2　明褐色粘質土　泥岩、泥岩粒を多く含む。
3　暗褐色粘質土　泥岩多く、砂を少量含む。

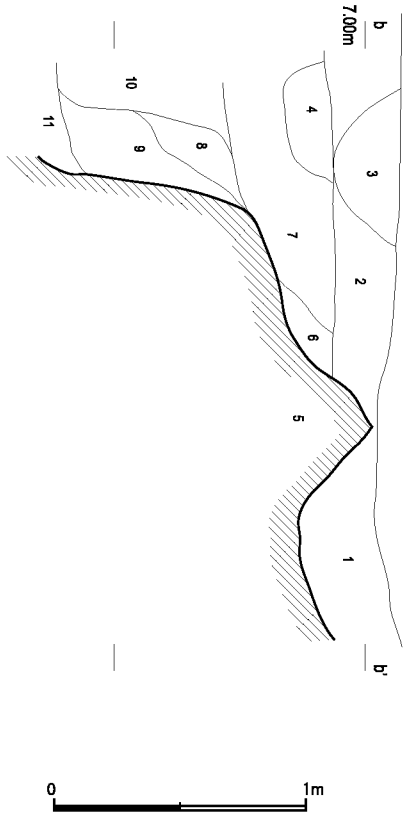
遺構 241

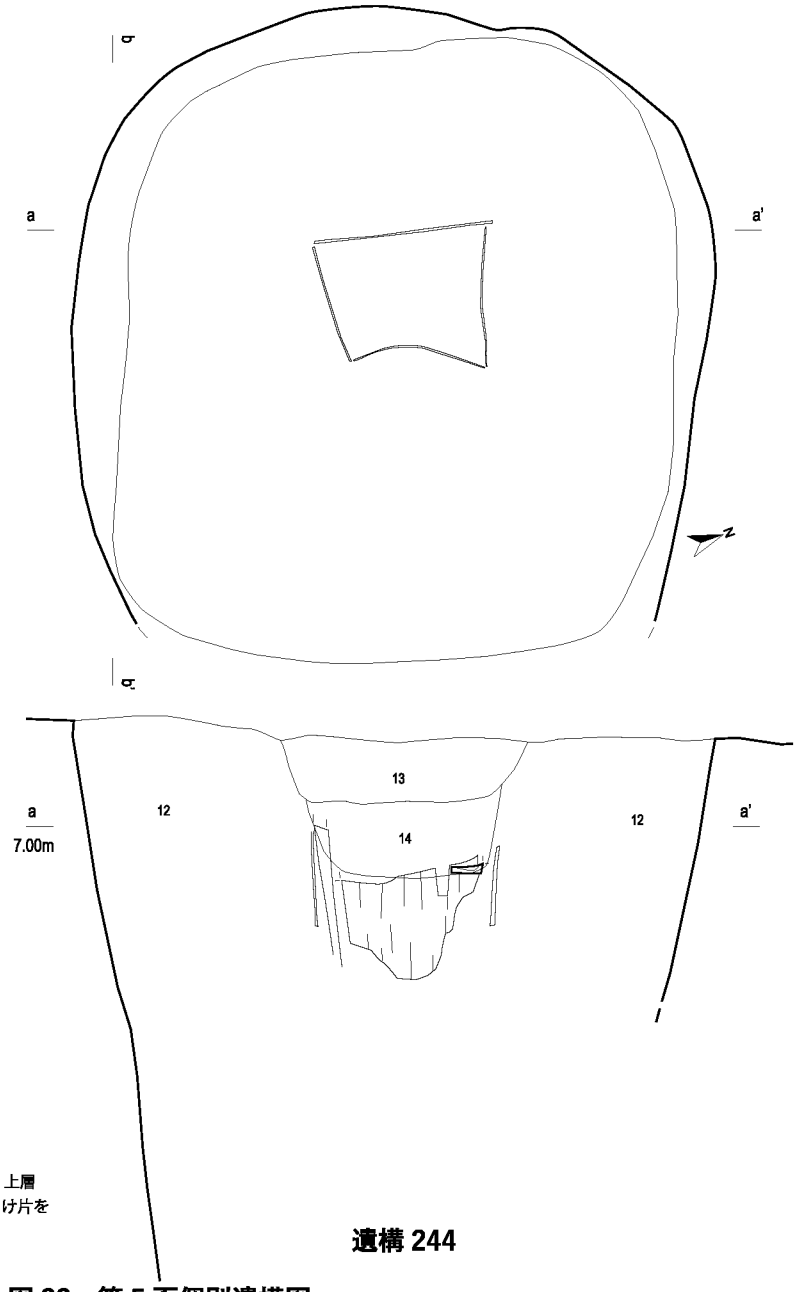


遺構 242



遺構 243





1　暗褐色粘質土　大型の泥岩塊および泥岩粒を多く含む。
2　暗褐色粘質土　泥岩塊、泥岩粒を多く含む。
3　暗褐色粘質土　泥岩塊、泥岩粒を多く含む。
4　暗褐色粘質土　泥岩塊、泥岩粒を多く含む。
5　黄褐色泥岩層　岩盤あるいは崩落した岩塊。
6　黒褐色粘質土　泥岩塊を少量含む。
7　黒褐色粘質土　泥岩塊ほぼ含まず。
8　黒褐色粘質土　泥岩塊がやや少量。
9　黄褐色弱粘質土　やや砂礫混入。
10　黒褐色粘質土　泥岩塊ほぼ含まず。
11　砂層　砂礫層
12　暗茶褐色粘質土　泥岩塊、泥岩粒含む。井戸の裏込め。
13　暗褐色粘質土　泥岩、かわらけ片を少量含む。遺構 243 上層
14　黒褐色粘質土　泥岩、泥岩粒やや多く、炭化物、かわらけ片を多く含む。遺構 243 下層

遺構 244

図 32　第 5 面個別遺構図

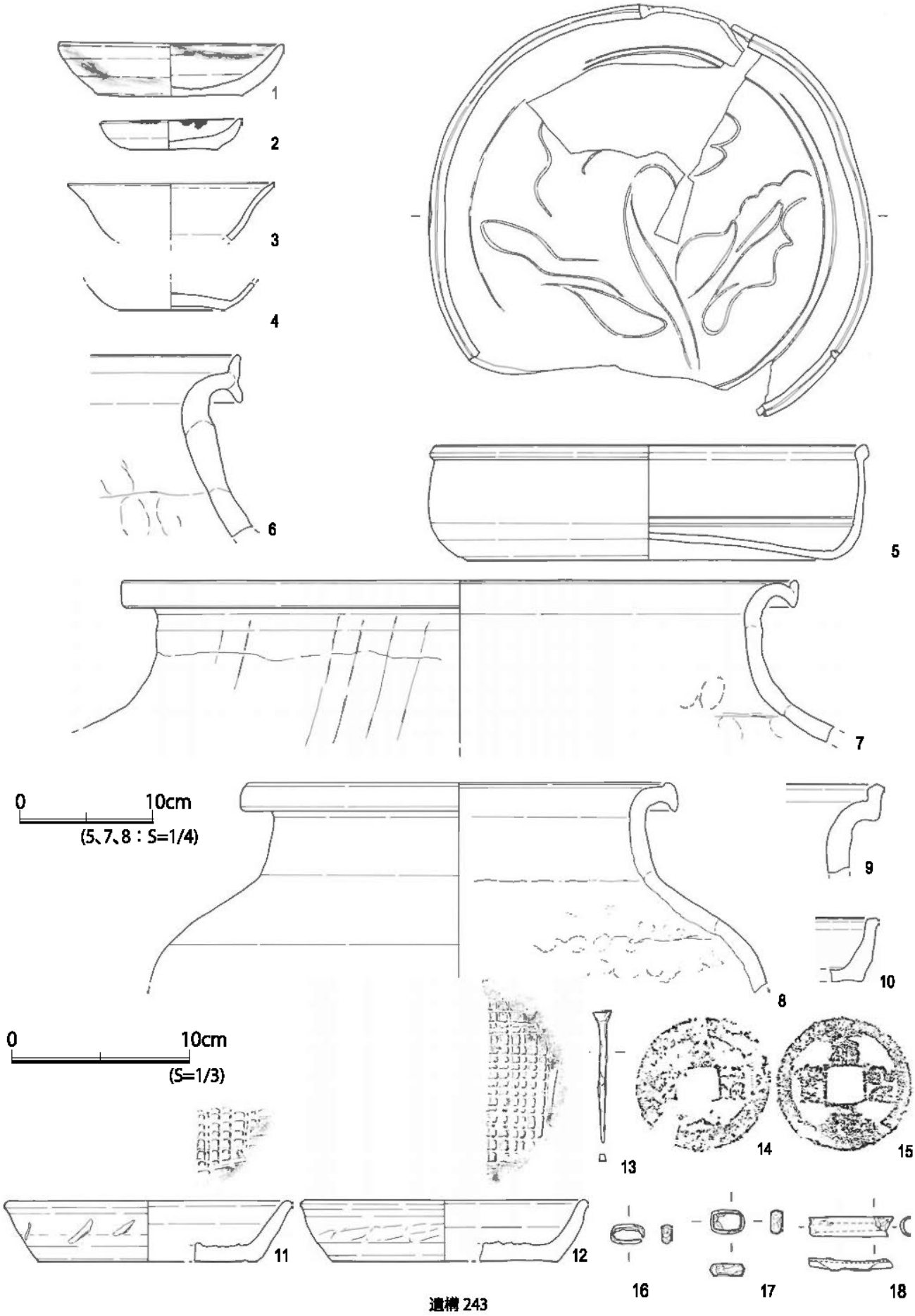


図 33　第 5 面遺構出土遺物（1）

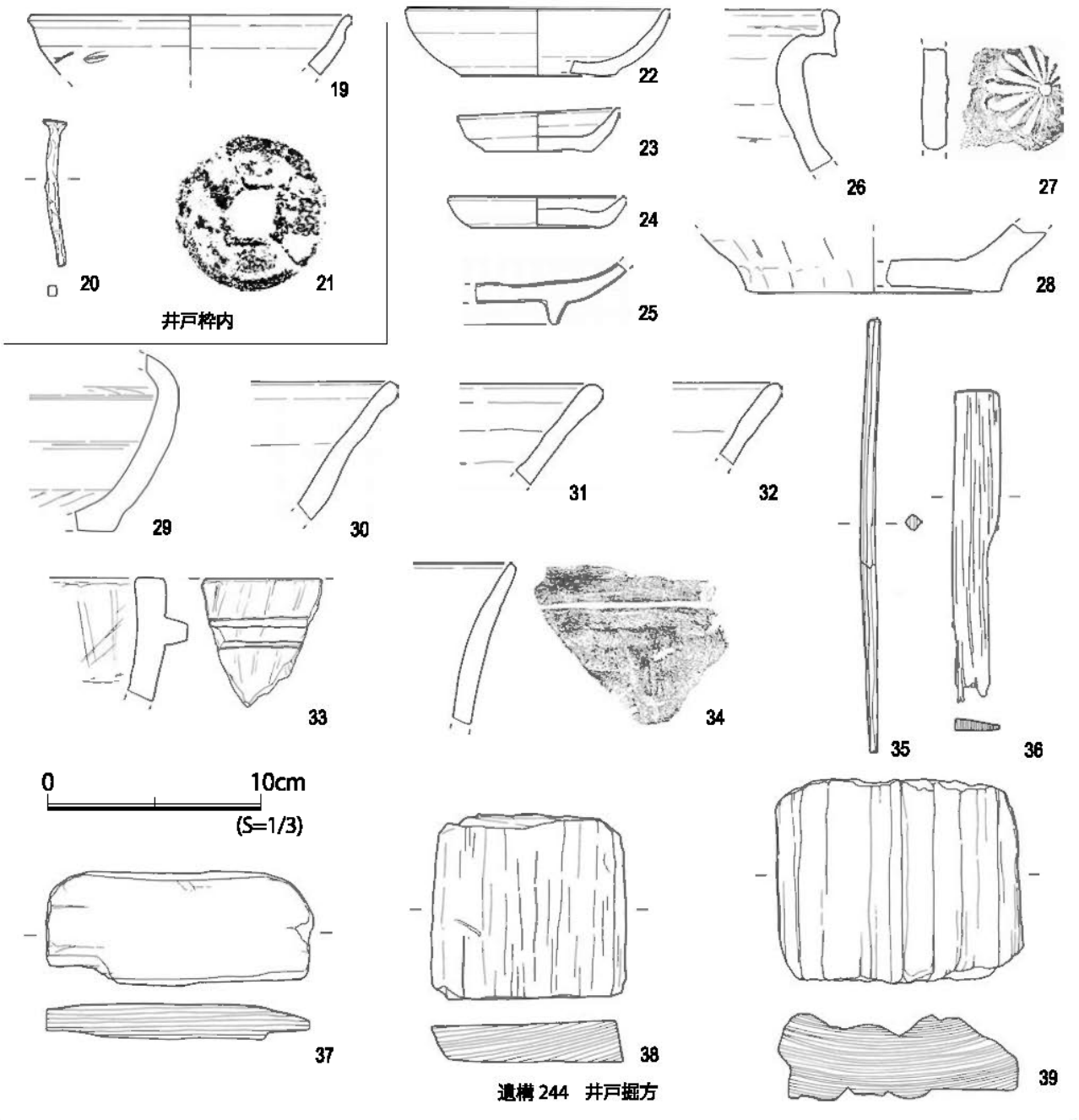
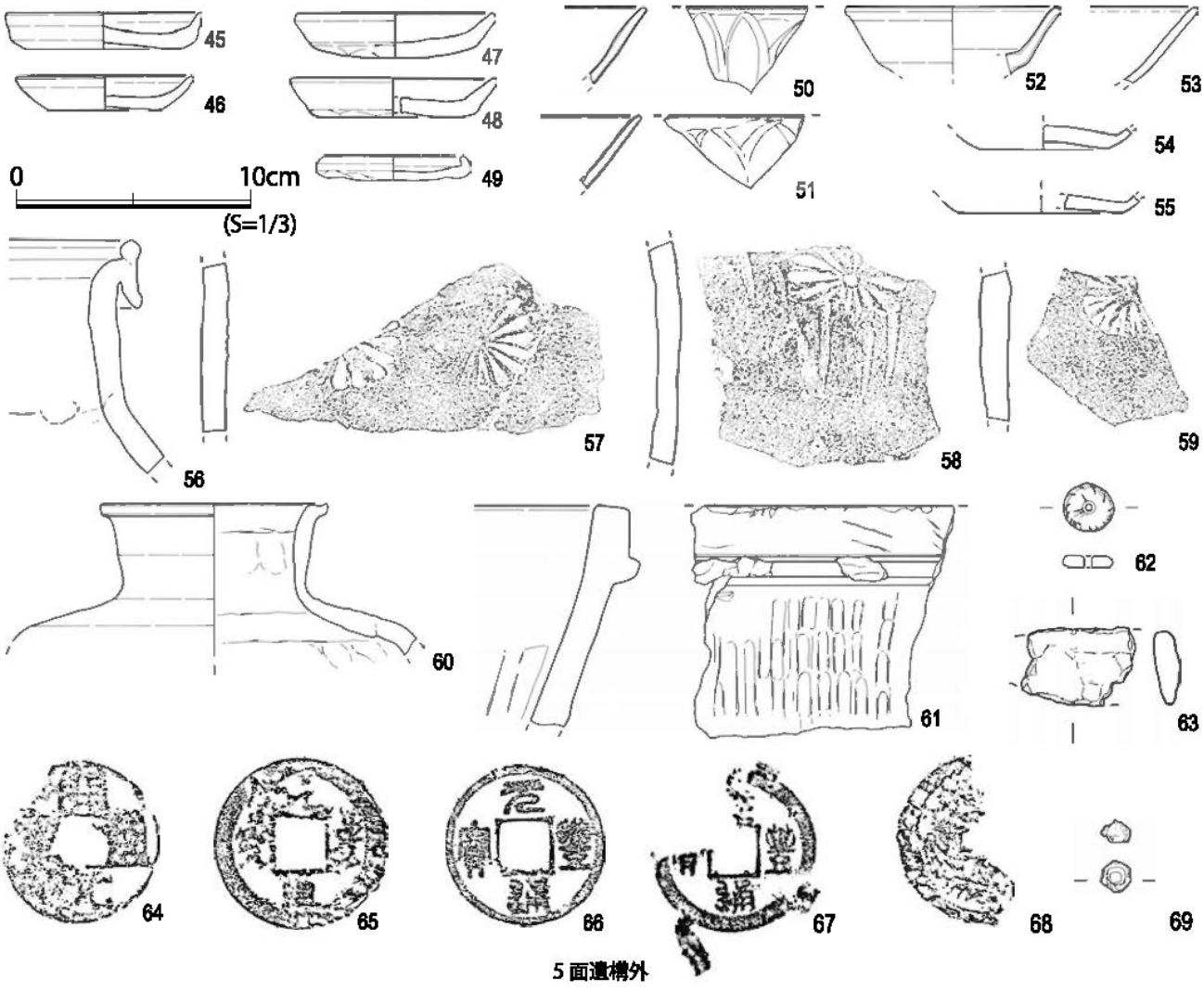
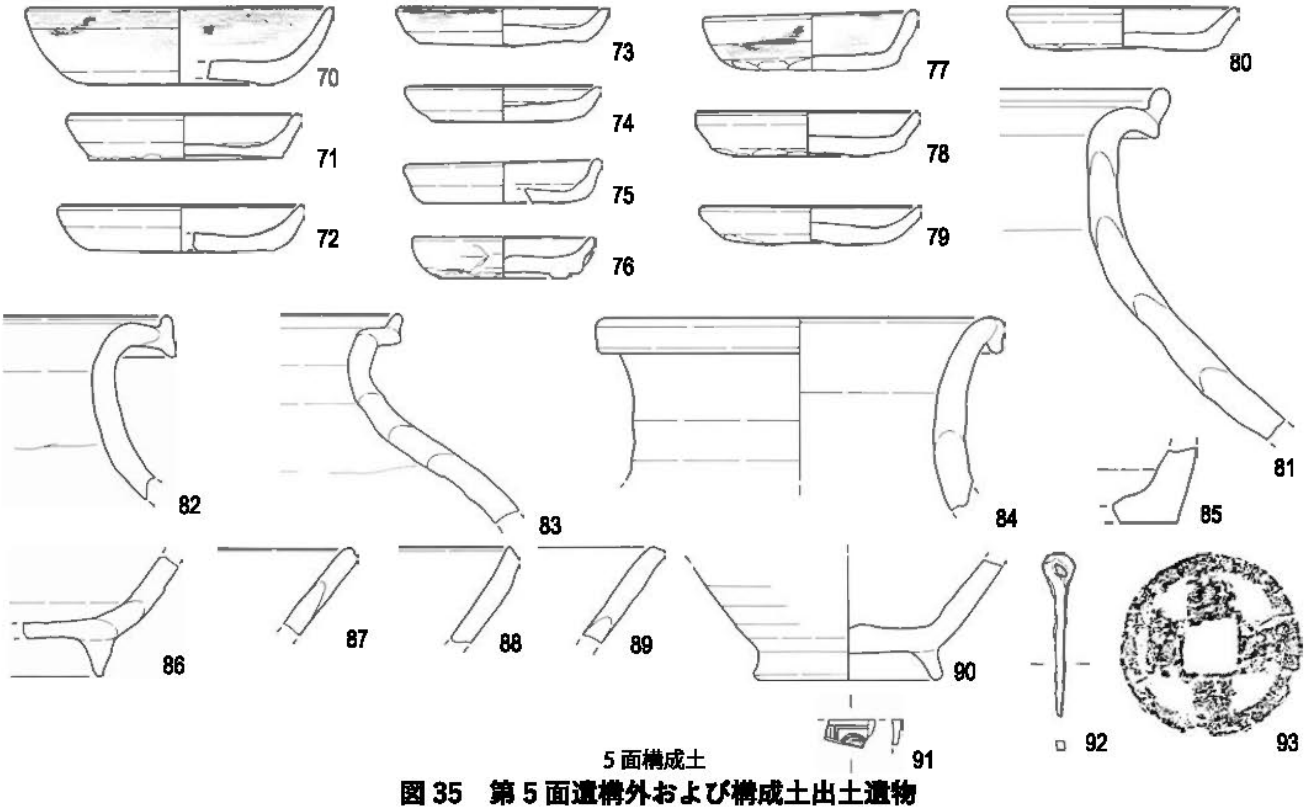


図 34　第 5 面遺構出土遺物（2）



5 面遺構外



5 面構成土

図 35　第 5 面遺構外および構成土出土遺物

遺構 243（図 31、32）

隅丸方形を呈する土坑。遺構 244 の井戸枠のほぼ直上にあたり、井戸の廃棄時に構築された可能性がある。遺物と加工された凝灰質砂岩が比較的まとまって検出された。遺構覆土:図 32 を参照。出土遺物(図 33):1 ～ 2 はかわらけ。3 ～ 4 は白磁口兀皿。5 は磁竈窯二彩盤。6 ～ 7 は常滑甕。 8 ～ 9 は常滑広口壺。10 は常滑盤か。11 ～ 12 は瀬戸卸皿。13 は鉄釘、14 ～ 15 は銅銭。16 ～ 17 は環状製品、18 は管状製品。

遺構 241（図 31、32）

円形を呈する土坑。常滑甕の底部が西北部から検出された。上半部は欠損しており、坑内に設置していた可能性もある。遺構覆土：図 32 を参照。出土遺物（図 34）：40 はかわらけ。41 ～ 42 は常滑甕。

遺構 242（図 31、32）

隅丸方形を呈する土坑。常滑甕が土坑内に設置されていた。甕の胴部上半は削平され、胴部下半も半分は第 4 面の遺構 235 構築の際に壊されたために残存していなかった。遺構覆土:暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒を含む。出土遺物（図 34）：43 は常滑甕で土坑に据えられていた個体。44 は泥岩加工品。

・井戸

遺構 244（図 31、32）

井戸。掘方は約 2.5 × 2.9 ｍの隅丸長方形に大型の土坑を掘り込む。非常に深く掘削深度を大きく超えているため底面は検出していない。掘方壁面の東側では岩盤が確認され、本来の地形は東から西へやや急傾斜で落ち込むと推定される。掘方の中央やや西北寄りに木組みにて横桟式の井戸枠を構築したあと、主に大型の泥岩塊を利用して裏込めをしている。井戸枠は被熱により炭化しておりほぼ原形をとどめていなかった。枠内には焼土の堆積もみられた。遺構覆土：図 32 を参照。

出土遺物（図 34）：井戸枠内からは遺物の出土は少ない。19 は瀬戸卸皿。20 は鉄釘。21 は銅銭。掘方からの出土遺物は 22 ～ 24 はかわらけ。25 は青磁蓮弁文鉢。26 ～ 28 は常滑甕、29 は常滑片口碗、30 ～ 32 は常滑片口鉢Ⅰ類。33 は滑石鍋。34 は縄文土器の深鉢か。35 は木製箸、36 は板状製品部材。37 ～ 39 は木製部材。

・その他遺構

遺構 245（図 31）

溝状の掘り込みだが長さは短い。東西約 3.1 ｍ、幅 0.2 ｍ、深さ約 0.06 ｍ。遺構 241 に切られる。遺構覆土：泥岩と砂混じりの薄い層。図示可能な遺物は出土せず。

遺構 246（図 31）

板の痕跡。長さ約 0.72 ｍ。腐食が激しいが、やや斜めに地中に埋め込んだ状態で検出。長軸の方向は方形竪穴建物や遺構 245 に沿っているが、用途は不明。

５面遺構外出土遺物（図 35）

遺構面精査時に面上で検出した遺物。45 ～ 46 はロクロかわらけ。47 ～ 48 は手づくねかわらけ。49 は手づくねの白かわらけ。50 ～ 51 は青磁蓮弁文碗、52 は青磁折縁鉢。53 ～ 55 は白磁口兀皿。56 ～ 59 は常滑甕、60 は常滑壷。61 は滑石鍋。62 は円形装飾品。63 は鉄製刀子。65 ～ 68 は銅銭で、67 は模鋳銭か。69 は器種不明。

５面構成土出土遺物（図 35）

5面より6面検出までの間の堆積より出土した遺物。70～76はロクロかわらけ、77～80は手づくねかわらけ。81～82は常滑広口壺。83は常滑甕、84は常滑玉縁壺か。85は常滑壺。86は常滑片口鉢Ⅰ類。87～89は常滑片口鉢Ⅱ類。90は瀬戸四耳壺、91は装飾品、92は火箸か。93は銅銭。

第6節　第6面の遺構と遺物（図36～37）

第6面はやや大粒の泥岩砕片を多く含む暗褐色粘質土の地業面であり、上面の遺構による掘削が多いこともあり、残存状況はさほど良好ではない。確認レベルはおよそ海抜7.19～7.29mである。6面の南東部は北側の地業とは異なり黒色粘質土であり、東壁際では泥岩が露出している。この泥岩は岩盤かあるいは崩落して堆積した泥岩塊と推定される。検出した遺構はピット8穴・土坑3基で、建物のプラ

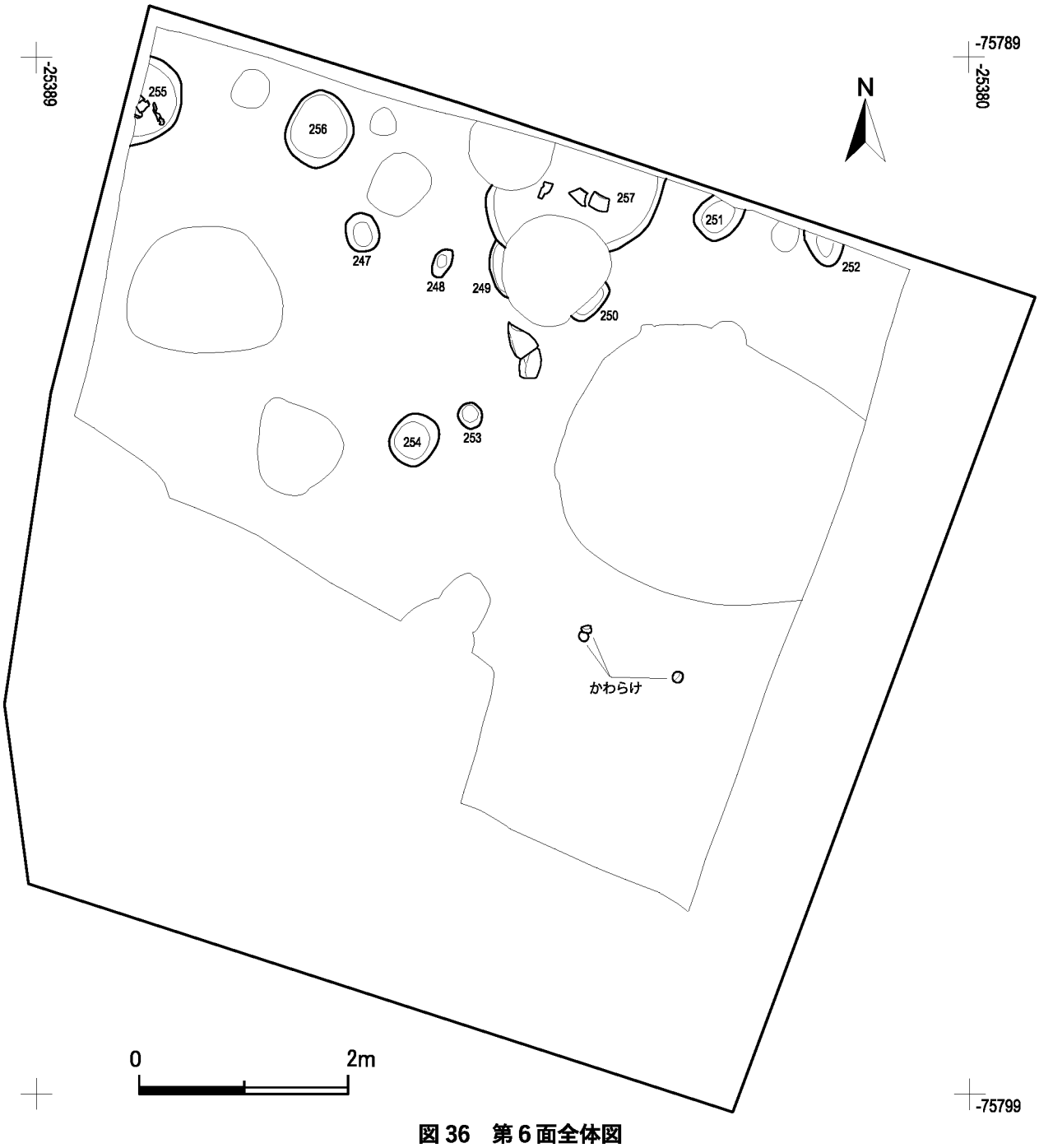


図36　第6面全体図

ンなども明確にしえない。遺構の切り合いより第６面で発見した遺構は、少なくとも２時期の時間差があると考えられる。

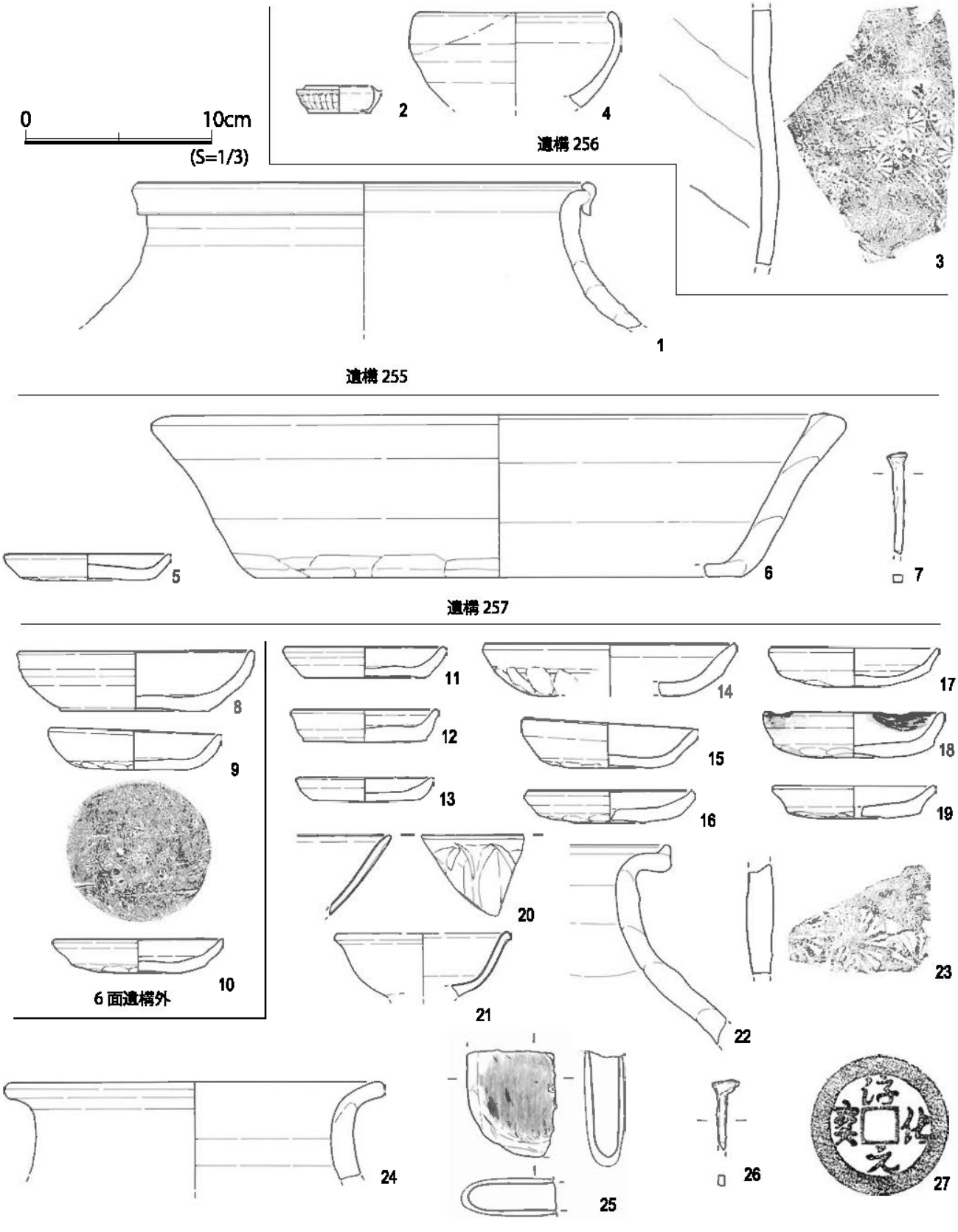


図 37　第６面出土遺物

遺物は、かわらけ・手づくねかわらけ・青磁・白磁・青白磁・常滑・瀬戸・渥美・火鉢・石製品・鉄製品・銅銭、自然遺物が出土している。

・土坑

遺構 255（図 36）

円形を呈する土坑。調査区外に延びる。遺構覆土:黒褐色粘質土。泥岩粒、常滑片含む。出土遺物（図 37）：1 は常滑甕。

遺構 256（図 36）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土:暗茶色粘質土。泥岩、炭化物多い。出土遺物(図 37):2 は白磁合子。3 は常滑甕。4 は常滑片口碗。

遺構 257（図 36）

楕円形を呈する土坑。遺構覆土：上層は暗褐色粘質土。泥岩多く、炭化物、かわらけ少。下層は暗黒褐色粘質土。泥岩少量、炭と灰が混入する層。出土遺物(図 37):5 は手づくねかわらけ。6 は土器質火鉢。7 は鉄釘。

6 面遺構外出土遺物（図 37）

遺構面精査時に面上で検出した遺物。8 はかわらけ。9 ～ 10 は手づくねかわらけ。

6 面構成土出土遺物（図 37）

6 面より 7 面検出までの間の堆積より出土した遺物。11 ～ 16 は手づくねかわらけ。17 ～ 19 はかわらけ。20 は青磁蓮弁文碗、21 は白磁碗。22 ～ 23 は常滑甕、24 は常滑壺。25 は用途不明の石製品。26 は鉄釘。27 は銅銭。

第７節　第７面の遺構と遺物（図 38 ～ 39）

第７面は小粒の泥岩砕片を多く含む暗褐色粘質土の地業面である。東南部は黒色粘質土と泥岩が露出している。調査区南側は第４面の方形竪穴建物に削平されて消失しているが、北側からはやや多数の遺構を確認した。確認レベルはおよそ海抜 7.0 ～ 7.17 ｍである。遺構はピット 22 穴・土坑 10 基、溝状遺構１条、板痕１基。掘立柱建物址のプランなどは明確ではない。遺構の切り合いより第７面で発見した遺構は、少なくとも２時期の時間差があると考えられる。

遺物は、かわらけ・手づくねかわらけ・青磁・白磁・青白磁・常滑・渥美・瀬戸・火鉢・瓦・石製品・鉄製品・銅銭・自然遺物が出土している。

・ピット

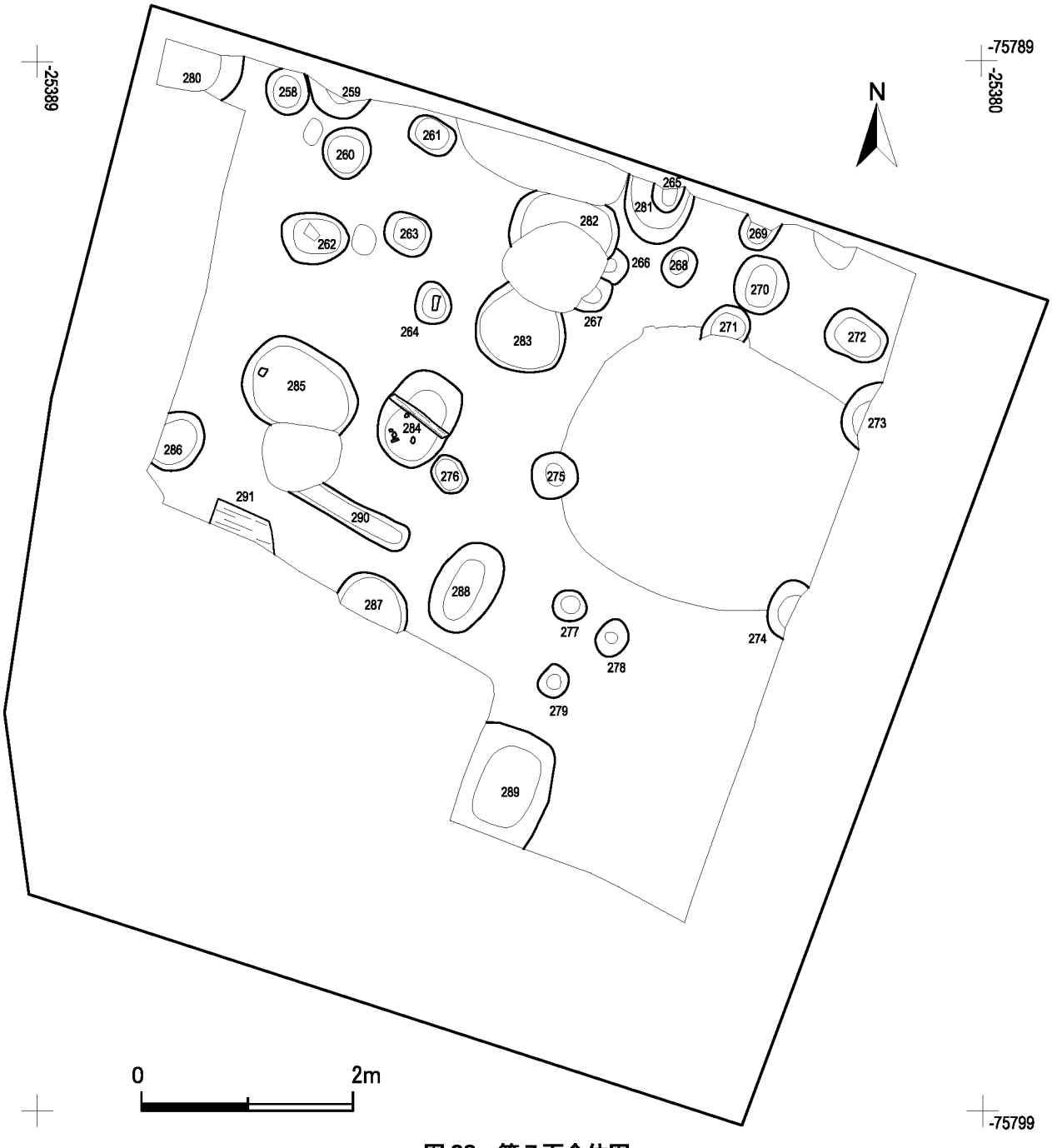


図 38　第７面全体図

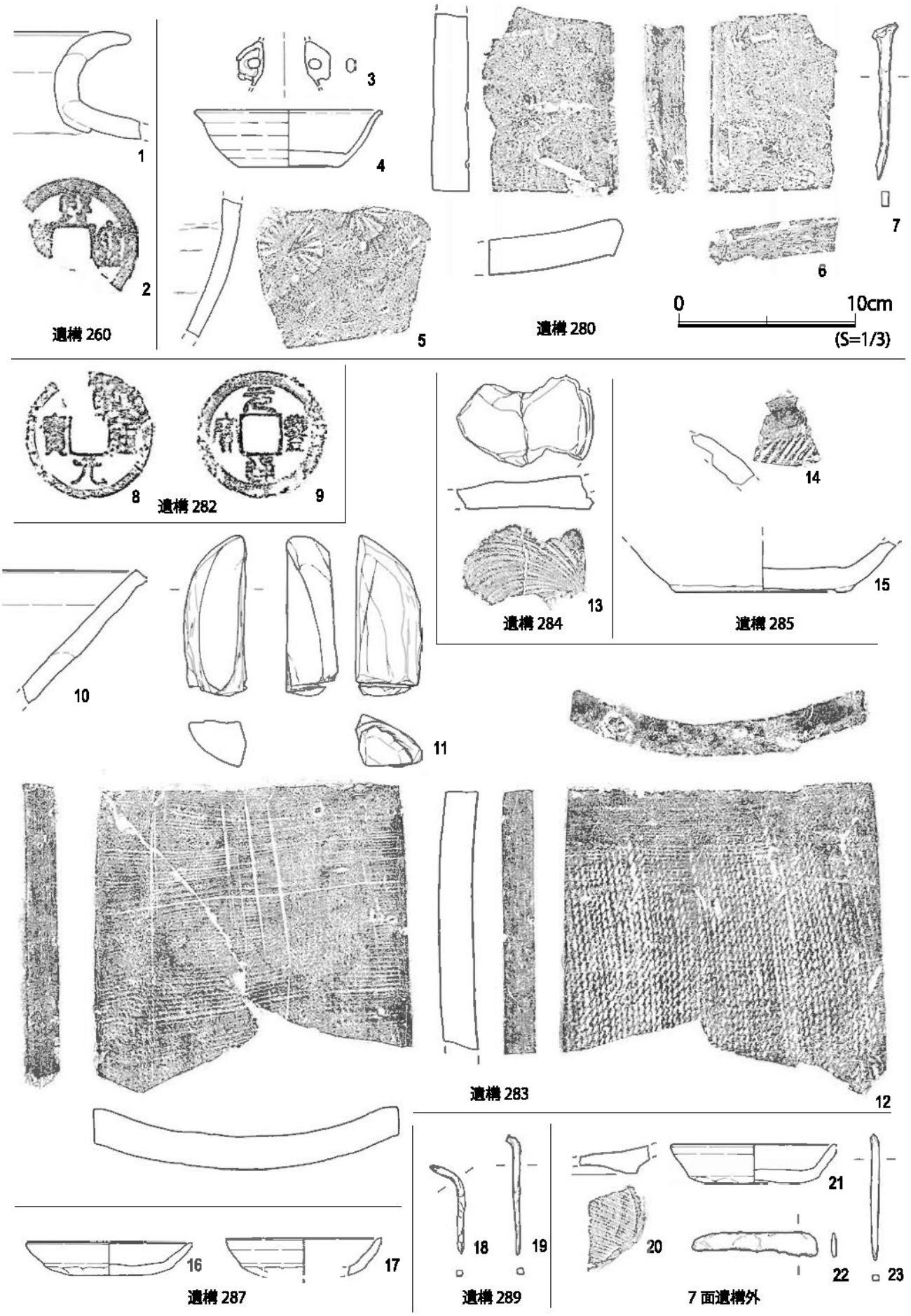

1
2
遺構 260
3
4
5
遺構 280
6
7
0
10cm
(S=1/3)
8
9
遺構 282
13
遺構 284
14
15
遺構 285
10
11
12
遺構 283
16
17
遺構 287
18
19
遺構 289
20
21
22
23
7 面遺構外

図 39　第 7 面出土遺物

遺構 260（図 38）

円形を呈するピット。遺構覆土：茶褐色粘質土。泥岩多く、炭化物、かわらけを少量含む。出土遺物（図 39）：1 は渥美甕。2 は銅銭。

・土坑

遺構 280（図 38）

大半は調査区外に延びるため形状不明。土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒多く、かわらけ片少量含む。底面には薄く炭層あり。出土遺物（図 39）：3 は青白磁小型花瓶。4 は白磁口兀皿。5 は常滑甕。6 は平瓦。7 は鉄釘。

遺構 282（図 38）

隅丸方形を呈する土坑。6 面の遺構に切られ、遺構 266、267 を切る。遺構覆土:暗茶色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物多く、かわらけ片を少量含む。出土遺物（図 39）：8 ～ 9 は銅銭。

遺構 283（図 38）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：暗茶褐色粘質土。泥岩、泥岩粒多く、炭化物を少量含む。出土遺物（図 39）：10 は常滑片口鉢Ⅱ類。11 は硯の加工品。12 は平瓦。

遺構 284（図 38）

隅丸方形を呈する土坑。遺構上面に長方形の板が載った状態で検出。遺構覆土：3 層に分かれる。上層は明茶褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片多く含む。：中層は明茶灰色粘質土。非常に締まりが強い。下層は明茶褐色弱粘質土。炭化物、かわらけを含み、褐鉄混入。出土遺物（図 39）：13 はかわらけ質土製品。

遺構 285（図 38）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：上層は暗褐色粘質土。炭化物多く含む。下層は暗茶褐色粘質土。泥岩、泥岩粒多く含む。出土遺物（図 39）：14 は渥美甕。15 は尾張型山茶碗。

遺構 287（図 38）

円形を呈する土坑。調査区外に延びる。遺構覆土：黒褐色粘質土。泥岩、泥岩粒多く炭化物わずかに含む。底部には大型の泥岩。出土遺物（図 39）：16 ～ 17 は手づくねかわらけ。

遺構 289（図 38）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：上層は暗褐色粘質土。泥岩多く炭化物をわずかに含む：下層は暗茶色粘質土。泥岩、泥岩粒多く、炭化物をわずかに含む。出土遺物（図 39）：18 ～ 19 は鉄釘。

・その他遺構

遺構 290（図 38）

溝状の掘り込み。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒を多く含み、底面に砂混入。

遺構 291（図 38）

面上に方形の板の痕跡。腐食激しく、詳細は不明である。

7 面遺構外出土遺物（図 39）

遺構面精査時に面上で検出した遺物。20 はかわらけ。21 は手づくねかわらけ。22 は鉄製品。23 は鉄釘。

第８節　第８面の遺構と遺物（図 40 ～ 41）

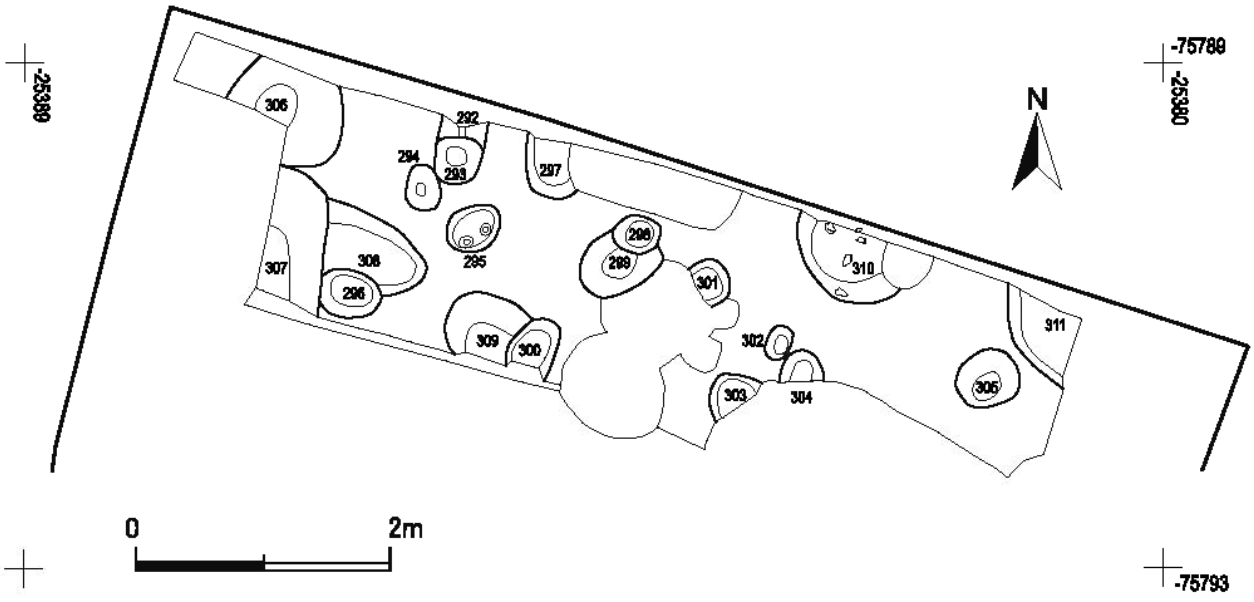


図 40　第８面全測図

第８面は小粒の泥岩砕片を多く含む黒褐色粘質土の地業面で、東から西へわずかに傾斜して下がる。確認レベルはおよそ海抜 6.8 ～ 6.95 ｍである。調査の進行予定上、調査区の北側 7.4 × 2 ｍの範囲に限定して確認を行った。検出遺構はピット 14 穴・土坑６基で、建物址のプランなどは明らかにしえない。遺構の切り合いより、少なくとも３時期の時間差があると考えられる。

遺物は、かわらけ・手づくねかわらけ・青磁・白磁・青白磁・常滑・渥美・石製品・鉄製品・自然遺物が出土している。

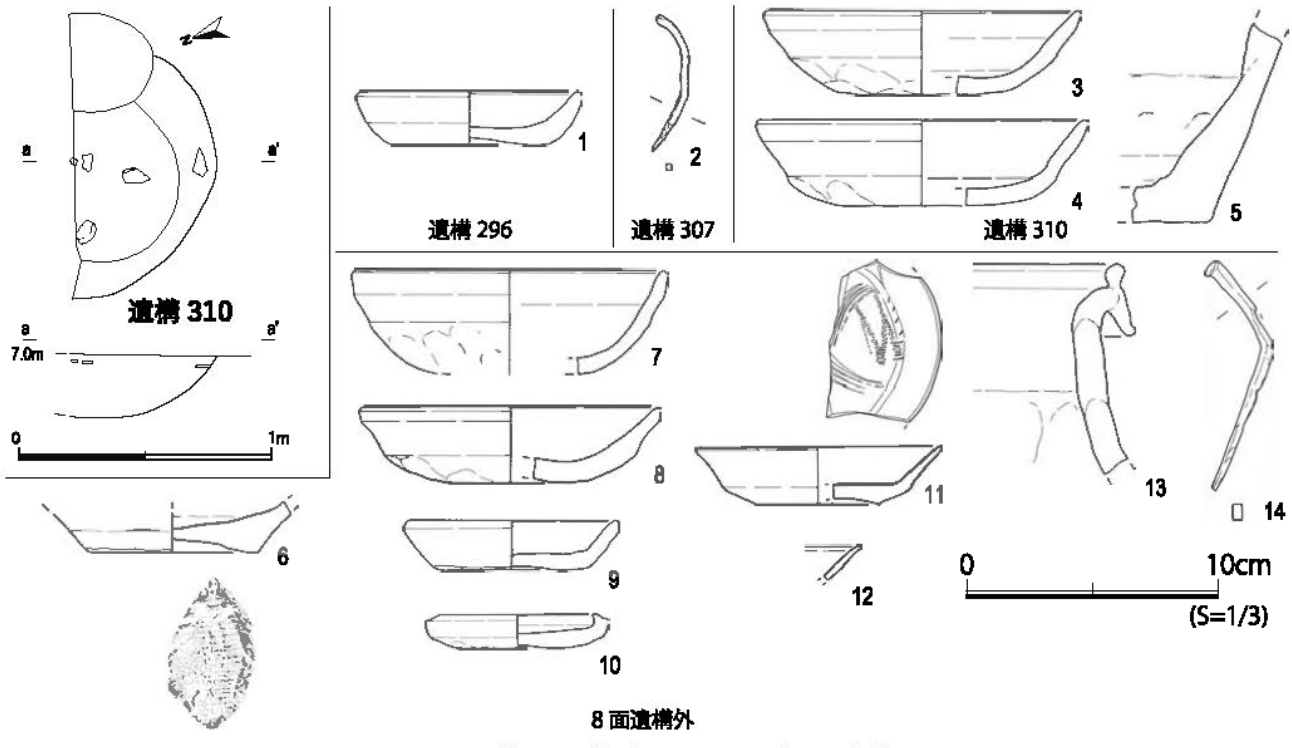


図 41　第８面遺構個別図および出土遺物

・ピット

遺構 296（図 40）

隅丸方形を呈するピット。遺構 307 に一部切られ、308 を切る。遺構覆土：暗茶褐色粘質土。泥岩、泥岩粒多く、黒色粘質土塊が混入。出土遺物（図 41）：1 はかわらけ。

・土坑

遺構 307（図 40）

隅丸方形を呈する土坑。遺構 296、308 を切る。遺構覆土：上層は茶褐色粘質土。泥岩、泥岩粒を多く含み、炭化物、かわらけ片も混入。下層は暗茶褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物を多く含む。出土遺物（図 41）：2 は鉄釘。

遺構 310（図 40、41）

円形を呈する土坑。調査区外に延びている。遺構覆土：暗茶褐色粘質土。泥岩、泥岩粒多く、黒色粘質土塊が混入。出土遺物（図 41）：3 ～ 4 は手づくねかわらけ。5 は渥美小壺。

8 面遺構外出土遺物（図 41）

遺構面精査時に面上で検出した遺物。6 はかわらけ。7 ～ 10 は手づくねかわらけ。11 は青磁櫛掻文皿。12 は白磁で器種不明。13 は常滑甕。14 は鉄釘。

第 9 節　遺構外出土遺物他（図 42）

試掘時の出土遺物、廃土から検出した所属面の不明な遺物のうち図示可能なものを取りあげておく。試掘時の遺物は遺構 235 の遺物も含んでいると思われるが、遺構 235 以外の遺物と厳密に区別することは困難である。

1 ～ 2 はかわらけ。3 ～ 4 は手づくね白かわらけ。5 は白磁皿。6 は瀬戸折縁深皿。7 は瀬戸袴形香炉。8 ～ 19 は常滑甕。20 ～ 22 は鉄釘。23 ～ 25 は銅銭。

そのほか本調査地点では押印文のある常滑片が比較的多く出土している。すべてを詳細に分類して提示することはできなかったが、一部遺構出土遺物として掲載した以外に、部位などが確定しがたいがやや特徴的な押印のある常滑の破片を抜粋して掲載しておく。なお 26 は押印ではないが、2 条の沈線でなんらかの文様を描いている。4 面遺構 232 ～ 234 出土。

押印は縦線と横線の組み合わせによる物が大多数であるが、それ以外にもいくつかのパターンがある。27 は多斜線による格子で 2 面構成土より出土。28 ～ 30 は単×文のある押印で、28 は 2 面遺構外、29 は遺構 122 出土。30 は入子枡との組み合わせ。2 面遺構 123 出土。31 は複合斜線の組み合わせ。4 面遺構 229 出土。32 は矢羽根・樹枝状文。遺構 232 出土。33 ～ 36 は車輪・菊花文で、単独のものが多いが、37 は格子と組み合わせている。33 は 2 面遺構 126 出土。34 は遺構 232 ～ 234 の出土。35 は 5 面遺構外。36 は 3 面遺構 164 出土。37 は 5 面遺構 244 出土。

これらは類似のものが複数みられ、同一個体の破片と思しきものも存在しているが、接合する例はない。押印文のある常滑片は 1 面構成土から 8 面まで出土がみられ、2 面、4 面での出土量がやや多いようである。

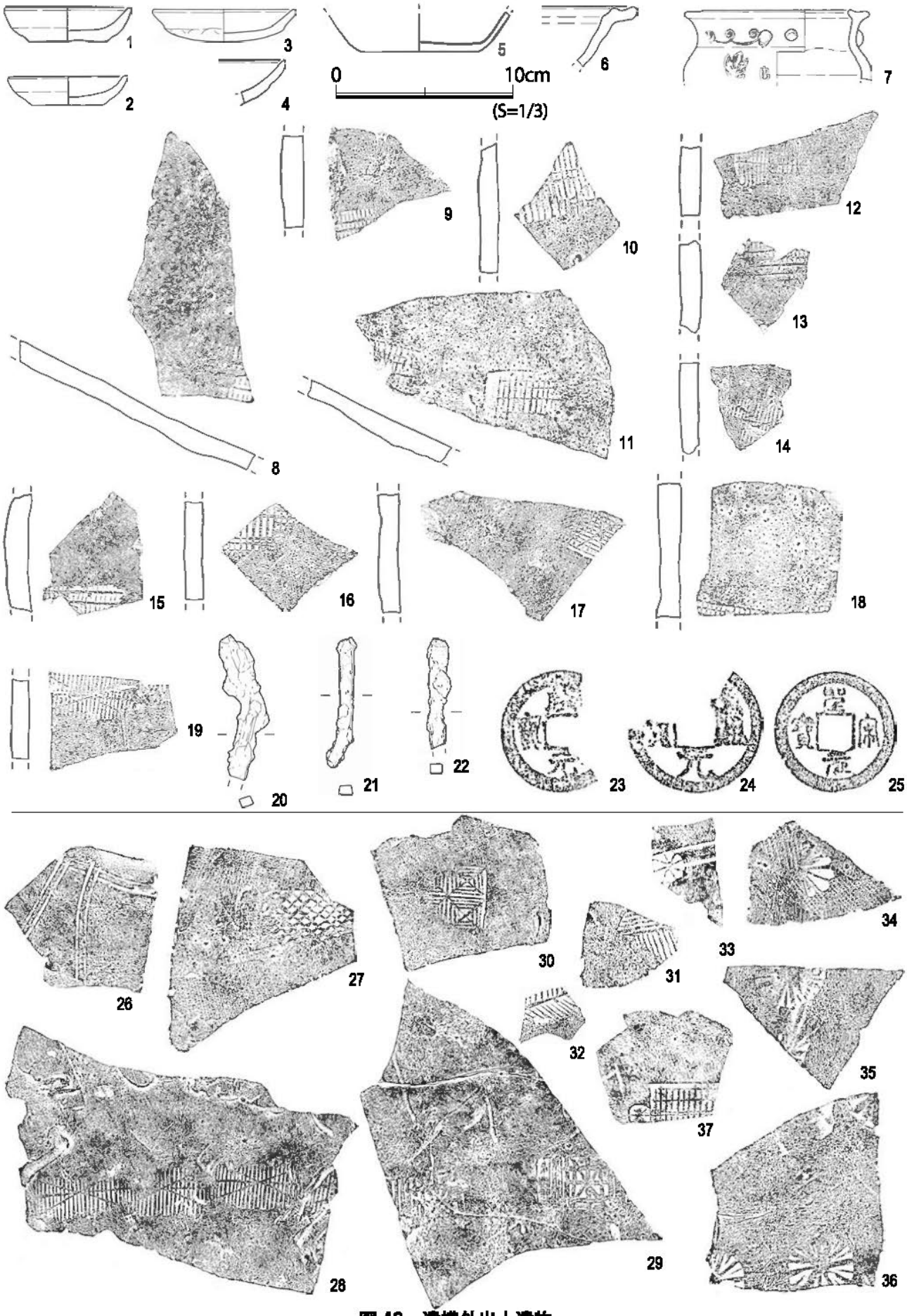


図 42　遺構外出土遺物

第三章　考察とまとめ

本調査地点では中世の生活面が8面検出され、それぞれに建造物が確認された。以下面ごとに検出した遺構・遺物について整理し、簡単ではあるがそれぞれの考察を行ってまとめとしたい。

第1面

第1面は小粒の泥岩砕片を多く含む暗褐色粘質土の地業面であり、ほぼ平坦だが北側に向かってやや下がるようである。確認レベルは海抜8.20 ～ 8.35 mである。現地表から浅いこともあり、近現代の掘り込みによってかなり破壊されている。第1面での検出遺構は少なくとも3期の切り合いがある。遺構はピット29穴・土坑7基で、ピットが比較的多く掘立柱建物址の存在が想定できるが、破壊が激しいこともあり、明確なプランは復元できなかった。北西部には加工された泥岩が数点並んで検出されたが、遺構の性格は明らかにしえなかった。出土遺物は、かわらけ・舶載青磁・国産陶磁器が主体であり、銅製品も少量見られる。これらの出土遺物より1期の時期は14世紀後半と考えられる。

第2面

第2面はやや大粒の泥岩砕片を含む暗褐色粘質土の地業面で、ほぼ平坦である。確認レベルは海抜8.07 ～ 8.11 mである。遺構はピット67穴・土坑14基、礎石建物1棟である。遺構の切り合いより、少なくとも3時期の時間差があると考えられる。調査区では東側で整然と配列する凝灰質砂岩の礎石が検出され、3 × 3間以上の規模をもつ礎石建物が1棟が確認された。建物の内部では地鎮的な意図も推定される土坑が検出している。この礎石建物と東西軸を共通する、安山岩を礎石とした柱穴列が西側に1列確認されたが、建物のプランを明瞭に復元できる形では検出されず、この柱穴列がどのような性格の構造物であるか、また東側の礎石建物との関連がいかなるものかは判然とはしなかった。ほかにも西側には小規模なピット群が多く検出されたが、建築物のプランは明らかではない。いずれにしても調査区の東西で空間利用が異なることは明白である。

遺物は、かわらけ・舶載陶磁器・国産陶磁器が主体である。羽口片など、手工業制作にかかわる道具も出土しているが、数量的には多くない。これらの出土遺物より14世紀代と考えられる。

第3面

第3面は小粒の泥岩砕片を多く含む暗褐色粘質土の地業面で、ほぼ平坦である。確認レベルはおよそ海抜7.68 ～ 7.70 mである。遺構はピット33穴・土坑2基、礎石建物1棟、溝状遺構1条を検出した。礎石建物は調査区北側にあり、第2面の礎石建物と軸は共通するが、位置的には大きくずれている。大半は調査区外にあたるため詳細は不明であるが、礎石の配置自体も異なり、建物の構造自体が第2面の礎石建物とは異なる可能性がある。礎石建物の南側にはピット群を検出している。配置からは明確な構造を推定することは難しい。溝は比較的浅く、礎石建物と軸を共通して東西に延びる。ピットに壊されていることから一時的に構築されたもので、簡素な区画的なものか。溝の南側はピットが少なく、空間的には南北で利用状況が異なるようである。

遺物は、かわらけ・舶載陶磁器・国産陶磁器が主体である。鉄製品もやや多い。軒丸瓦が出土しているが瓦自体の出土はわずかである。ほかに銅銭・自然遺物が出土している。これらの出土遺物よりおお

むね 14 世紀前半と考えられる。

第 4 面

第 4 面は小粒の泥岩砕片を多く含む暗褐色粘質土の地業面であり、確認レベルはおよそ海抜 7.40 ～ 7.48 mで、ほぼ平坦である。遺構はピット 33 穴・土坑 12 基、礎石建物 1 棟、溝状遺構 2 条、方形竪穴建物 5 基を検出した。礎石建物は調査区東側にあり、3 × 2 間の規模で確認されたが、おそらく東と北側の調査区外に広がっており、実際の規模はさらに大きいと推定される。礎石建物の位置は第 2 面の礎石建物よりやや東に寄っているが、ほぼ同じ位置に構築されている。調査区中央には第 3 面とほぼ同じ位置に東西方向の溝が構築されているが、第 3 面のものとは異なり、東側は礎石建物の手間で止まっている。調査区西側ではピットを複数検出したが、建物のプランなどは復元できなかった。溝の南北ではやや遺構の密度に差があるが、調査範囲が狭いこともあり、明確な差を見出すまでには至らない。

調査区の南側からは方形竪穴遺構が検出され、最終的に 5 基の竪穴建物が存在することが明らかになった。竪穴建物自体はほぼ同じ位置に何度か作り直しており切り合いによって破壊されているため、開口部が確認できたのは遺構 231 と遺構 235 の 2 基だけであり、ほかの 3 基の方形竪穴建物が第 4 面の時点で構築されたかどうかは不明な点もあるが、土層観察から遺構 234 以外はそれほど時期差はないと推定され、基本的に第 4 面に属するものと判断する。また竪穴遺構の覆土にピットが見られることや、礎石建物との位置関係、土層の観察などから、これらの方形竪穴建物は第 4 面で検出されているが少なくとも礎石建物よりは古く、おそらく方形竪穴建物を廃絶して整地した後に礎石建物が構築されたと判断できる。その他のピットや土坑などとの時期的な関係を判断することは困難であるが、第 4 面の時点で、方形竪穴建物が立ち並ぶ空間から礎石建物が建つ空間へと、場の性格が大きく変化したと想定される。

遺物はかわらけ・舶載陶磁器、国産陶器を主体とする。これらの出土遺物より、第 3 面と大きな差はなく、おおむね 13 世紀後半～ 14 世紀初頭と考えられる。

第 5 面

第 5 面は小粒の泥岩砕片を含む黒色粘質土の地業面である。確認レベルはおよそ海抜 7.33 ～ 7.47 m で、やや北側が低い。調査区は、南側は第 4 面の方形竪穴建物、北側も上面の遺構による掘り込みの影響によりかなりの範囲が破壊されている。遺構はピット 3 穴・土坑 5 基、井戸 1 基、溝状遺構 1 条のみである。切り合いより少なくとも 2 時期の時間差があると考えられる。ピット、土坑ともに検出数は少なく、建物の存在も不明である。東側では井戸が 1 基検出された。井戸枠のほぼ直上からは遺物の集中する土坑（遺構 234）を検出した。位置的に井戸内への投げ込みとも考えられるが、この遺構内では井戸枠の痕跡などは見られず、井戸との関連は深いと思われるが、別遺構として報告した。井戸は掘り方が非常に大きく、底部は掘削深度制限もあり検出していないが、掘り込みもかなり深いと思われる。掘方に比して井戸枠は小さく、また完全に被熱によって炭化しており、ごく一部で確認できたのみである。火災があったことがうかがわれるが、生活面上にはその痕跡は見られなかった。井戸以外にはほとんど遺構が見られず、やや開けた空間であったと想定される。

遺物は、かわらけ・舶載陶磁器、国産陶器を主体とする。銅製品も少数見られる。これらの出土遺物より、おおむね 13 世紀後半～ 14 世紀初頭に属すると考えられる。

第６面

第７面は小粒の泥岩砕片を多く含む暗褐色粘質土の地業面である。確認レベルはおよそ海抜7.19～7.29ｍであり、南側は第４面の方形竪穴建物によって壊されている。また東南部は黒色粘質土と泥岩が露出しており、遺構の壁面からの推定ではあるが、泥岩は自然の岩盤面か、尾根などからの崩落堆積の可能性がある。黒色粘質土は一般に中世基盤層とされる土に近く、その上に地業がなされている。泥岩層は西に向かってやや急な傾斜で落ち込みが見られ、最深部についてはこの調査では確認できていないが、かなり深くまで落ち込む可能性がある。検出遺構はピット８穴・土坑３基で、掘立柱建物址のプランなどは明確ではない。遺構は密度が低く、第５面に近く開けた空間であった可能性がある。切り合いより少なくとも２時期の時間差があると考えられる。

遺物は、かわらけ・舶載磁器、国産陶器を主体とする。これらの出土遺物より、13世紀後半に属すると推定される。

第７面

第７面は小粒の泥岩砕片を多く含む暗褐色粘質土の地業面である。確認レベルはおよそ海抜7.0～7.17ｍで、ほぼ平坦だが西北に向かってゆるやかに下がる傾向にある。東南部ではやはり黒色粘土と泥岩層がわずかに露出している。調査区南側は第４面の方形竪穴建物に削平されて消失している。検出遺構はピット22穴・土坑10基、溝状遺構１条、板痕１基である。第５、６面に比してピットなどが多く、掘立柱建物址の存在も推定されるが、プランなどは明確ではない。遺構の切り合いより第７面で発見した遺構は、少なくとも２時期の時間差があると考えられる。

遺物は、かわらけ・舶載磁器、国産陶器を主体とする。瓦もわずかであるが出土している。これらの出土遺物より、13世紀半ばに属すると推定される。

第８面

第８面は小粒の泥岩砕片を多く含む黒褐色粘質土の地業面である。確認レベルはおよそ海抜6.8～6.95ｍで、東から西へわずかに傾斜して下がる。調査区を限定したため、ごく一部の範囲しか明らかになっていないが、ピット14穴・土坑６基が検出され、遺構の密度は比較的高い。しかし建物址のプランなどは明らかにしえない。切り合いより、少なくとも３時期の時間差があると考えられる。

遺物は、かわらけ・舶載磁器、国産陶器を主体とする。これらの出土遺物より、13世紀第２四半期に属すると推定される。

以上を概観すると、道路を挟んで東側の調査地点では岩盤などが検出されておらず、判断が難しいところもあるが、東側の尾根からの斜面は本遺跡調査範囲の東端まで及んでおり、岩盤まではかなりの厚さで現地表面まで土が堆積している可能性が高い。岩盤面は残念ながら検出していないが、井戸などの壁面の観察からは、岩盤の上に中世基盤層の可能性が高い黒色土が堆積しており、一部は第６面の高さまで達すると推定される。基盤層そのものを面的に検出していないことと、上面の遺構の掘り込みなどの影響で基盤層の正確な高さやその面的な様子は不明であるが、本来の地形としては尾根から続く傾斜地であり、その後の堆積によってやや平坦となり、中世の地業によって整地がなされたものと推定される。

調査区では一貫して砕いた泥岩を混入した土によって何度も整地がなされている。第７面、８面の時

期は掘立柱建物が存在していたと推定され、第５、６面はそうした建物の存在が希薄になっていたと想定される。第５面の時点で１度火災が起きたようである。第４面では、おそらく当初は方形竪穴建物が数棟立ち並ぶ状況であったと思われるが、それを廃絶して、新たに礎石建物が構築される。その後第３面から第２面にかけても礎石建物が立て直され、空間利用としては第２面から第４面までは基本的に共通していると言える。第１面については削平が激しいこともあり、礎石建物の有無などは不明である。

したがって少なくとも大きく３度ほど本調査地点では土地利用に変化があることが想定できる。常栄寺の歴史的背景からすると、この一帯は妙本寺の影響が強いと考えらえるが、具体的な関連を示す資料には乏しい。

調査件数が少ないながら、この周辺での発掘成果を見ると、小町大路の両側から滑川を越えても方形竪穴建物が検出されており、大町大路から二の鳥居まで含めて、方形竪穴建物が卓越する地域であることが想定され、本調査地点もその一角にあたり、方形竪穴建物も存在していたことが明らかになった。ただし、第２面から第４面にみられるように、方形竪穴建物は比較的短期間で廃棄され、場の性格は大きく変化しているようである。また調査地点の東側でも方形竪穴建物とともに南北方向の道路遺構が検出されている。道路が現状と同じように妙本寺の門前をとおりさらに北まで伸びていたかまでは不明であり、本調査地点ではそうした痕跡は確認できていない。当該地区の尾根前の空間の開発状況については今後の資料増加によって検証していく必要があろう。

表１　出土遺物観察表

図版	No.	出土遺構	材質	種別	遺存度	寸法（cm）				観察項目
						口径	底径	器高	重	a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
6	1	1	銅製品	器種不明		長 [1.1]	幅 [0.3]	厚 [0.1]	0.2g	
6	2	3	土製品	ロクロかわらけ（中）	完形	11.7	6.6	3.45		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
6	3	3	磁器	青磁無文碗	底部完形	-	6.4	［5.2］		b: 灰色　白色粒　精良堅緻　d: 緑灰色　透明　釉層薄い　細かい貫入有り　畳付より上施釉　高台内無釉　f: 大宰府編年　椀Ⅰ-1a
6	4	7	土製品	ロクロかわらけ（小）	3/4	(7.8)	(6.1)	1.6		a: 内底ナデ、外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
6	5	7	土製品	ロクロかわらけ（小）	小片	-	-	2.0		a: 外底回転糸切　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　良土　c: 灰黄色　f: 被熱により熔解　取瓶
6	6	10	土製品	ロクロかわらけ（小）	完形	7.85	5.95	1.6		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
6	7	12	陶器	常滑甕	肩部片	-	-	[3.2]		a: 輪積み成形　b: 黒灰色　砂粒　長石　c: 暗赤褐色　f: 外面押印　縦線文＋横線（4）
6	8	14	陶器	常滑片口鉢Ⅱ類	口縁部小片	-	-	[4.4]		b: 灰色　白色粒　黒色粒　c: 暗赤褐色 d: 内面降灰部緑灰色（僅か）　f: 内面押印　中野分類 EC? 斜格子
6	9	20	土製品	ロクロかわらけ（小）	ほぼ完形	8.35	4.7	2.3		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　良土　c: 橙色　e: 良好
6	10	22	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(6.4)	(4.1)	1.95		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　良土　c: 橙色　e: 良好
6	11	25	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/2	(8.9)	(6.8)	2.55		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　良土　c: 黄橙色　e: 良好
6	12	25	陶器	瀬戸合子蓋	完形	4.6	1.8	1.0		a: 底部回転糸切（右回転）　b: 灰白色　d: 灰黄色　e: 良好
6	13	25	石製品	中砥		長 8.4	幅 2.8	厚 2.0 ～ 0.2		c: 黄灰色　f: 上野産　ほぼ全面に使用痕
6	14	26	陶器	瀬戸緑釉小皿	1/4	(9.2)	-	[2.2]		b: 灰白色　砂　やや粗土　c: やや甘い　軟質　d: 鉄釉口縁部にツケカケ
6	15	26	土製品	土器質香炉	1/4	(12.6)	(10.0)	5.1		a: 外面雷文、割菱押印　b: 灰橙色　微砂　白色粒　雲母（かわらけ質に近い）　e: 良好
6	16	28	銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.7	-	3.0g	f: 熙寧元寶　北宋 1068 年
6	17	30	土製品	ロクロかわらけ（小）	底部片	-	-	[2.9]		b: 黄灰色　微砂　白色粒　赤色粒　c: 赤褐色　f: 被熱により熔解　取瓶
6	18	30	土製品	ロクロかわらけ（小）	底部片	-	-	[2.3]		b: 黄灰色　微砂　赤色粒　c: 赤褐色　f: 被熱により熔解　取瓶
6	19	30	陶器	瀬戸卸皿	口縁～体部小片	-	-	[3.3]		b: 灰白色　精良土　d: 淡緑灰色の灰釉　内面ツケガケ　外面ハケヌリ　e: 良好　硬質　f: 一部黒色の部分が点在する。中Ⅲ～Ⅳ期か。
6	20	32	土製品	ロクロかわらけ（小）	完形	8.0	5.8	1.6		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好　f: 内底部金属製品付着　一部煤付着
6	21	32	土製品	かわらけ転用品	底部完形	最大径 10.3	-	厚 1.0 ～ 0.4		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好　f: 器壁を円盤状に打ち欠きか？
6	22	32	陶器	常滑甕	口縁部片	-	-	[4.6]		a: 輪積み成形　b: 灰色　白色粒　黒色粒　c: 赤褐色　f: 縁帯幅 1.7cm　中野編年 5 型式
6	23	32	陶器	常滑甕	肩部片	-	-	[6.8]		a: 輪積み成形　b: 灰色　長石　白色粒　黒色粒　c: 内面黄褐色　外面暗赤褐色　d: 灰黄色の自然釉　f: 外面押印　縦線文＋横線（5）
6	24	33	磁器	青磁折縁皿（鉢）	完形	12.8	5.6	4.0		b: 完形品のため素地確認できず　d: 淡緑灰色　不透明　畳付露胎　f: 大宰府編年　坏Ⅲ-3b　内面花弁
6	25	33	鉄製品	釘	完形	長 5.8	幅 0.75	厚 0.5	10.1g	f: 四角形状に鍛造
6	26	35	陶器	常滑甕	肩部片	-	-	[4.35]		a: 輪積み成形　b: 黄灰色　長石　石英　白色粒　礫粒　c: 内面灰色　外面赤褐色　e: 良好　f: 外面押印　縦線文＋横線（1）
6	27	36	磁器	青白磁小型容器	口縁部片	-	-	[3.0]		b: 黄褐色　d: 明緑灰色　半透明　釉層薄い　気泡有
6	28	36	銅製品	器種不明	-	残存長 [3.2]	残存幅 1.7	残存厚 0.05	2.3g	f: 一部金鍍金残存
7	29	1 面遺構外	土製品	ロクロかわらけ（大）	2/3	(12.0)	(7.6)	3.1		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
7	30		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(7.6)	(4.0)	2.5		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
7	31		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(7.8)	(5.0)	2.3		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　良土　c: 黄橙色　e: 良好
7	32		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(7.8)	(5.6)	2.1		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂、雲母　赤色粒　海綿骨針　良土　c: 黄橙色　e: 良好
7	33		土製品	ロクロかわらけ（小）	完形品	7.4	4.8	2.0		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
7	34		土製品	ロクロかわらけ（小）	2/3	(7.6)	(5.6)	1.9		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好

図版	No.	出土遺構	材質	種別	遺存度	寸法（cm）				観察項目
						口径	底径	器高	重	a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
7	35	1面遺構外	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/2	(7.4)	(5.0)	1.6		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
7	36		土製品	ロクロかわらけ（小）	4/5	(6.2)	4.2	2.0		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 橙色 e: 良好
7	37		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/2	(7.8)	(6.4)	2.2		a: 外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 灰色　微砂　c: 黄灰色　e: 良好　f: 被熱及び付着物　取瓶
7	38		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/5	-	-	[2.3]		b: 灰色　微砂　雲母　c: 黄灰色　e: 良好　f: 被熱により熔解　取瓶
7	39		磁器	青磁折縁坏	口縁部片	(21.8)	-	[2.0]		b: 灰白色　精良土　d: 灰緑色　半透明　f: 大宰府編年　坏Ⅲ -3a
7	40		陶器	常滑甕	胴部片	-	-	[4.1]		a: 輪積み成形　b: 灰色　長石　礫粒　c: 灰茶色　d: 外面に自然釉　e: 良好　f: 外面押印　中野分類 Bad?
7	41		陶器	常滑甕	胴部片	-	-	[5.8]		a: 輪積み成形　b: 灰色　微砂　長石　礫粒　c: 灰色　e: 良好　f: 外面押印　縦線文＋横線 (5)+ 斜線 (1)
7	42		陶器	常滑甕	胴部片	-	-	[4.3]		a: 輪積み成形　b: 黄橙色～褐灰色　長石　礫粒　c: 黄橙色　d: 内面に自然釉　e: やや良好　f: 外面押印　中野分類 Ca1
7	43		陶器	常滑壺	底部片	-	-	[4.2]		a: 輪積み成形　b: 灰色　微砂　長石　石英　礫粒　c: 灰色　e: 良好
7	44		陶器	常滑片口鉢Ⅱ類	口縁部片	-	-	[6.75]		a: 輪積み　b: 灰白色　微砂　礫粒　c: 赤褐色　d: 内面に灰緑色の自然釉　e: 良好
7	45		陶器	瀬戸卸皿	底部片	-	-	[1.3]		b: 黄灰色　良土　c: 灰緑色　d: 内面に灰釉　e: 良好
7	46		陶器	瀬戸四耳壺？	底部片	-	(10.0)	[2.3]		b: 灰色　良土　c: 灰色　d: 内底および高台に自然釉　e: 良好
7	47		陶器	瀬戸器種不明	口縁部片	-	-	[2.3]		b: 黄灰色　微砂　d: 暗赤褐色　e: 良好
7	48		陶器	瀬戸器種不明	底部片	-	(6.4)	[0.9]		a: 外底回転糸切（右回転）　b: 黄灰色　微砂　d: 内底面鉄釉　e: 良好
7	49		土製品	磨りかわらけ	-	最大長 [4.3]	最大幅 [3.5]	最大厚 1.0		b: 微砂　赤色粒　海綿骨針　c: 黄橙色　e: 良好　f: 全体に摩耗
7	50		石製品	砥石	-	最大長 [7.3]	最大幅 2.65	最大厚 [2.3]		c: 淡橙色～淡灰色　f: 上野産、中砥
7	51		石製品	碁石？	完形	最大長 1.5	最大幅 1.8	最大厚 0.5		c: 黒色
7	52		石製品	碁石？	完形	最大長 1.7	最大幅 2.2	最大厚 0.4		c: 黒色
7	53		鉄製品	釘	-	長 7.9	-	-	20.7g	f: 四角形状に鍛造
7	54		鉄製品	釘	-	長 5.4	幅 0.7	厚 0.4	6.9g	f: 四角形状に鍛造
7	55		銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.6	-	2.8g	f: 開元通寶（楷書）
7	56		銅製品	銭	完形	直径 2.5	内孔 0.6	-	3.6g	f: 天聖元寶（篆書）　北宋 1023 年
7	57		銅製品	銭	完形	直径 2.2	内孔 0.8	-	1.8g	f: 摺銭
7	58		銅製品	器種不明	-	残存長 [6.3]	残存幅 [6.1]	残存厚 [0.05]	8.3g	f: 薄く引き伸ばされている
7	59	1面構成土	土製品	ロクロかわらけ（大）	1/2	13.5	(8.8)	3.5		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
7	60		土製品	ロクロかわらけ（大）	2/3	(13.8)	(7.6)	3.9		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　良土　c: 橙色　e: 良好
7	61		土製品	ロクロかわらけ（中）	3/4	(11.2)	6.8	3.4		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　良土　c: 黄橙色　e: 良好
7	62		土製品	ロクロかわらけ（中）	4/5	(11.2)	5.8	3.0		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　良土　c: 橙色　e: 良好
7	63		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(7.6)	(4.6)	2.4		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
7	64		土製品	ロクロかわらけ（小）	3/4	7.6	4.2	2.3		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　良土　c: 橙色　e: 良好
7	65		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(7.8)	4.0	2.4		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
7	66		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(7.4)	(5.0)	2.1		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　良土　c: 黄橙色　e: 良好
7	67		土製品	ロクロかわらけ（小）	完形	6.5	4.2	2.2		a: 内底ナデ　外底糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　良土　c: 黄橙色　e: 良好
7	68		土製品	ロクロかわらけ（小）	3/4	7.6	4.5	2.5		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
7	69		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(7.8)	(4.6)	2.5		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　良土　c: 黄橙色　e: 良好
7	70		土製品	ロクロかわらけ（小）	ほぼ完形	7.2	4.4	2.45		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
7	71		土製品	ロクロかわらけ（小）	完形	7.4	4.7	2.4		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 橙色　e: 良好

図版	No.	出土遺構	材質	種別	遺存度	寸法（cm）				観察項目
						口径	底径	器高	重	a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
7	72	1面構成土	土製品	ロクロかわらけ（小）	3/4	(7.8)	4.0	2.6		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
7	73		土製品	ロクロかわらけ（小）	ほぼ完形	7.3	4.2	2.4		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好　f: 口縁一部打ち欠き
7	74		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(7.8)	(4.8)	2.0		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　良土　c: 黄橙色　e: 良好
7	75		土製品	ロクロかわらけ（小）	完形	7.3	5.6	1.8		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好　f: 口縁一部煤付着
7	76		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/4	(7.4)	(4.6)	1.8		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
7	77		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(7.8)	(5.6)	1.9		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　泥岩粒　良土　c: 黄橙色　e: 良好
7	78		土製品	ロクロかわらけ（小）	2/3	(7.4)	(4.4)	1.7		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
7	79		土製品	ロクロかわらけ（小）	4/5	7.8	4.8	2.3		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
7	80		土製品	ロクロかわらけ（小）	3/4	7.8	5.4	1.9		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
7	81		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(7.6)	5.2	2.1		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　良土　c: 黄橙色　e: 良好
7	82		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/4	(7.8)	(5.6)	1.7		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　良土　c: 黄橙色　e: 良好
7	83		土製品	ロクロかわらけ（小）	底部小片	-	(4.6)	［1.2］		a: 外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　c: 灰色～暗灰色　e: 良好　f: 被熱及び銅付着　取瓶
7	84		土製品	ロクロかわらけ（小）	底部小片	-	(5.0)	［1.3］		b: 微砂　海綿骨針　c: 黄橙色　e: 良好　f: 被熱及び付着物　取瓶
7	85		磁器	青磁鎬蓮弁文碗	1/10	-	-	[2.0]		b: 灰色　精良堅緻　d: 淡緑灰色　不透明　釉層厚い　貫入あり　f: 大宰府編年　坏Ⅲ -4b?
7	86		磁器	青磁折縁Ⅲ	口縁部片	(13.2)	-	［2.4］		b: 灰白色　精良土　d: 灰緑色　不透明　釉層やや厚い　f: 二次焼成を受けたか為か所々釉が焼ける　大宰府編年　坏Ⅲ -3a
7	87		磁器	青磁折縁Ⅲ	口縁部片	-	-	［1.6］		b: 乳白色　精良土　d: 灰青色　不透明　釉層やや厚い　f: 大宰府編年　坏Ⅲ -3a
7	88		磁器	青白磁梅瓶	小片	最大長［3.8］	最大幅［2.1］	厚0.6		b: 灰白色　精良土　d: 青灰色　透明　釉層極薄い
7	89		磁器	白磁碗	口縁部小片	-	-	[3.2]		a: 櫛掻文　b: 灰白色　黒色粒　気孔あり　精良堅緻　d: 淡水青色　透明　釉層薄い　貫入あり
7	90		磁器	白磁皿	小片	最大長［2.1］	最大幅［2.0］	最大厚0.4		b: 乳白色　精良土　d: 乳白色　半透明　釉層極薄い
7	91		磁器	白磁合子蓋	体部小片	-	-	[1.3]		a: 型押し　b: 白色　黒色粒　精良堅緻　d: 灰白色　透明　釉層薄い　f: 景徳鎮窯の広口壺、合子などか
7	92		磁器	白磁器種不明	小片	-	-	［2.2］		b: 灰色　精良土　d: 灰色　鉄釉
7	93		陶器	瀬戸天目茶碗	口縁部片	-	-	[4.1]		b: 灰白色　精良土　d: 鉄釉（黒釉）ツケガケ　口縁部に錆鉄　e: 良好　硬質
8	94		陶器	常滑甕	口縁部片	-	-	［11.1］		a: 輪積み成形　b: 褐色　微砂　長石　石英　d: 外面に灰緑色の自然釉　e: 良好　f: 縁帯幅 2.3 ㎝　中野編年 5 型式
8	95		陶器	常滑甕	底部片	-	-	［5.1］		a: 輪積み成形　外面下部ヘラ調整　b: 灰色　微砂　長石　石英　c: 橙色　e: 良好
8	96		陶器	常滑甕	底部片	-	-	［6.9］		a: 輪積み成形　b: 灰色　微砂　長石　石英　c: 茶褐色　e: 良好
8	97		陶器	常滑壺？	底部片	-	-	［4.2］		a: 輪積み　b: 灰褐色　微砂　c: 暗灰褐色　d: 内面下部に自然釉　e: 良好
8	98		陶器	常滑片口鉢Ⅱ類？	口縁部片	-	-	［7.7］		a: 輪積み　b: 黄橙色～灰色のしま状　微砂　雲母　長石　石英　赤色粒　c: 灰褐色　e: 良好
8	99		陶器	瀬戸卸皿	口縁部片	-	-	［3.5］		b: 黄灰色　微砂　c: 黄灰色　d: 口縁頂部～外面上部に淡黄緑色の灰釉　e: 良好
8	100		陶器	備前擂鉢	口縁部片	-	-	［5.1］		b: 茶色　微砂　c: 灰茶色　e: 良好
8	101		土製品	瓦質火鉢	口縁部片	-	-	［3.0］		a: 輪積み　b: 灰白色　粗砂　c: 暗灰色　e: 良好　f: 内外面黒色処理　河野分類Ⅴ類
8	102		土製品	瓦質火鉢	鍔部片	-	-	［4.8］		a: 輪積み　b: 灰白色　粗砂　礫粒　c: 暗灰色　e: 良好　f: 内外面黒色処理　河野分類Ⅳ A 類
8	103		土製品	瓦質火鉢	底部小片	-	-	[7.2]		a: 体部上ミガキ　底部脇上段に珠文スタンプ　下段に花文スタンプが施される　b: 灰白色　砂　小石　粗土　c: 外面灰色　f: 河野分類Ⅳ a 類
8	104		土製品	瓦質火鉢	底部片	-	-	［4.8］		a: 輪積み　b: 灰白色　粗砂　礫粒　c: 暗灰色　e: 良好　f: 外面～底部黒色処理　河野分類Ⅳ A 類
8	105		土製品	風炉	口縁部片	-	-	［4.6］		a: 輪積み　b: 灰色～白橙色　微砂　c: 灰色　e: 良好　f: 内面黒灰色
8	106		土製品	伊勢土鍋	口縁部片	-	-	［3.1］		b: 黒灰色　微砂　雲母　赤色粒　c: 肌色　e: 良好
8	107		石製品	泥岩加工品	-	最大長14.7	最大幅7.5	最大厚2.3		c: 淡黄橙色　f: 側面一部に刃物痕有
8	108		石製品	砥石	-	最大長［4.8］	最大幅［6.4］	最大厚［1.8］		c: 淡黄灰色　f: 上野産　中砥　一面以外破損　砥面一面

図版	No.	出土遺構	材質	種別	遺存度	寸法（cm）				観察項目
						口径	底径	器高	重	a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
8	109	1面構成土	石製品	砥石	-	最大長 [3.9]	最大幅 3.7	厚 1.1		c: 淡黄灰色～淡灰黄色　f: 鳴滝産　仕上砥？　両側面にノコ痕有
8	110		石製品	滑石鍋転用品	-	最大長 3.4	最大幅 1.7	厚 5.5～8.5		f: 三面にノコ痕有
8	111		骨製品	器種不明	-	最大長 4.4	最大幅 2.9	最大厚 0.9		f: 両端部・外面一部にノコ痕有
8	112		鉄製品	釘	-	長 10.8	幅 0.6	厚 0.65	48.2g	f: 四角形状に鍛造
8	113		鉄製品	釘	-	長 7.6	幅 0.6	厚 0.4	4.9g	f: 四角形状に鍛造
8	114		鉄製品	釘	-	長 [6.9]	幅 0.5	厚 0.25	3.1g	f: 四角形状に鍛造　先端部欠損
8	115		鉄製品	釘	-	長 [6.1]	幅 0.5	厚 0.2	5.5g	f: 四角形状に鍛造　先端部欠損
8	116		鉄製品	釘	-	長 5.6	幅 0.8	厚 0.5	8.8g	f: 四角形状に鍛造
8	117		鉄製品	釘	-	長 [5.6]	幅 0.7	厚 0.5	7.9g	f: 四角形状に鍛造　先端部欠損
8	118		鉄製品	釘	-	長 [5.2]	幅 0.7	厚 0.4	7.4g	f: 四角形状に鍛造　先端部欠損
8	119		鉄製品	釘	-	長 6.0	幅 0.8	厚 0.6	7.5g	f: 四角形状に鍛造
8	120		鉄製品	釘	-	長 5.1	幅 0.5	厚 0.3	4.3g	f: 四角形状に鍛造
8	121		鉄製品	釘	-	長 [5.7]	幅 0.5	厚 0.3	8.3g	f: 四角形状に鍛造　先端部欠損
8	122		銅製品	銭	完形	直径 2.3	内孔 0.7	-	2.2g	f: 開元通寶（楷書）
8	123		銅製品	銭	完形	直径 2.5	内孔 0.6	-	3.5g	f: 至道元寶（真書）　北宋 995 年
8	124		銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.65	-	4.0g	f: 咸平元寶（真書）　北宋 998 年
8	125		銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.7	-	2.4g	f: 熙寧元寶（篆書）　北宋 1068 年
8	126		銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.7	-	2.9g	f: 熙寧元寶（篆書）?
8	127		銅製品	銭	完形	直径 2.3	内孔 0.6	-	3.5g	f: 熙寧元寶（真書）　北宋 1068 年
8	128		銅製品	銭	完形	直径 2.5	内孔 0.65	-	3.6g	f: 元豊通寶（行書）　北宋 1078 年
8	129		銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.75	-	3.2g	f: 元祐通寶（行書）　北宋 1086 年
8	130		銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.6	-	3.4g	f: 元符通寶（篆書）　北宋 1098 年
8	131		銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.7	-	3.5g	f: 元符通寶（篆書）　北宋 1098 年
8	132		銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.6	-	3.7g	f: 聖宋元寶（行書）　北宋 1101 年
8	133		銅製品	銭	完形	直径 2.5	内孔 0.7	-	3.4g	f: 大観通寶　北宋 1107 年
8	134		銅製品	銭	完形	直径 2.3	内孔 0.55	-	3.6g	f: 政和通寶（篆書）　北宋 1111 年
8	135		銅製品	銭	1/2	直径 -	内孔 -	-	1.5g	f: 淳■■寶
8	136		銅製品	銭	完形	直径 2.0	内孔 0.7	-	1.2g	f: 摺銭か
10	1	38	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	底部片	-	(11.6)	[8.0]		a: 輪積み成形　外底脇へラケズリ　b: 灰色　微砂　長石　石英　礫粒　c: 灰色　e: 良好
10	2	43	陶器	瀬戸 緑釉小皿	1/2	(11.0)	(6.6)	2.6		a: 外底回転糸切（右回転）　b: 黄灰色　精良土　d: 灰釉（淡緑灰色）　内面ハケヌリ後口縁部ツケガケ　e: 良好　硬質　f: 被熱　口縁部煤付着　古瀬戸後期前半
10	3	43	土製品	瓦質火鉢	口縁部片	-	-	[4.2]		b: 灰白色　白色粒　黒色粒　c: 暗灰色　f: 押印　菊花文　口縁輪花　河野分類Ⅲ類
10	4	44	土製品	ロクロかわらけ（小）	ほぼ完形	6.8	3.6	2.2		a: 外底回転糸切　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　粗土　c: 橙色　e: 良好　f: 口縁頂部～内面ケズリ調整、焼成後に削ったか
10	5	46	土製品	ロクロかわらけ（大）	1/3	(13.7)	(8.5)	3.75		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや良土　c: 黄橙色　e: 良好
10	6	46	土製品	ロクロかわらけ（小）	完形	7.55	4.85	2.3		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや良土　c: 黄橙色　e: 良好
10	7	48	石製品	砥石	-	最大長 [7.4]	最大幅 3.0	厚 1.3		c: 淡赤橙色　f: 鳴滝産　仕上砥　側面にノコ痕あり　砥面１面
10	8	52	陶器	瀬戸 入子	口縁部片	(8.0)	-	[2.9]		b: 明灰色　微砂　良土　c: 明灰色　d: 口縁頂部施釉　e: 良好

図版	No.	出土遺構	材質	種別	遺存度	寸法（cm）				観察項目
						口径	底径	器高	重	a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
10	9	59	陶器	常滑 広口壺	口縁部片	-	-	[5.3]		a: 輪積み成形　b: 灰色　微砂　長石　石英　c: 赤褐色　e: 良好　f: 縁帯幅 1.2cm　中野編年 4 ～ 5 型式
10	10	60	陶器	瀬戸 折縁深皿	口縁部片	-	-	[4.5]		b: 黄灰色　微砂　良土　c: 灰緑色　e: 良好
10	11	60	鉄製品	釘	-	長 4.8	幅 0.25	厚 0.25	1.9g	f: 四角形状に鍛造
10	12	66	陶器	瀬戸仏供	底部完形	-	5.3	[2.0]		a: 外底回転糸切（右回転）　b: 淡黄色　精良土　d: 鉄釉　ツケガケ　e: 良好　硬質
10	13	73	磁器	青白磁 合子蓋	小片	-	-	[1.2]		b: 灰白色　精良土　d: 青緑色　半透明　釉層極薄い
10	14	73	骨製品	笄	-	長 [5.0]	幅 1.65	厚 0.3		f: 両端欠損
10	15	73	銅製品	銭	完形	直径 2.5	内孔 0.6	-	3.6g	f: 元豊通寶（篆書）　北宋 1078 年
10	16	74	陶器	常滑 片口碗	口縁部片	-	-	[3.4]		a: 輪積み成形　b: 暗灰色　微砂　長石　c: 茶色　e: 良好　※オカ 310 と同一個体かも？
10	17	79	土製品	内折れかわらけ（極小）	1/5	-	-	[1.3]		a: 外底回転糸切　b: 微砂　雲母　赤色粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
10	18	79	鉄製品	釘	-	長 4.3	幅 0.35	厚 0.2	0.9g	f: 四角形状に鍛造
10	19	80	土製品	ロクロかわらけ（大）	ほぼ完形	13.0	8.6	3.5		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
10	20	80	陶器	常滑 甕	口縁部片	-	-	[10.0]		a: 輪積み成形　b: 灰色　微砂　長石　石英　c: 赤褐色　d：口縁部および外面に灰色の自然釉　e: 良好　f: 縁帯幅 2.6 ㎝　中野編年 6a 型式
10	21	81	陶器	磨り常滑	-	最大長 8.2	最大幅 4.4	厚 1.0		f：側面と外面が摩耗
10	22	82	磁器	白磁 口兀碗	口縁～底部片	(12.2)	(7.4)	3.8		b: 灰色　微砂　d: 灰色　半透明　釉層やや薄い　f: 大宰府編年　皿IX-1c
10	23	83	磁器	白磁 蓋付碗	口縁部片	(9.6)	-	[2.6]		b: 灰色　精良土　d: 灰色　施釉薄い　口縁頂部露胎　f: 蓋か？
10	24	83	磁器	青白磁 梅瓶蓋	完形	5.5	天井部径 4.2	2.6		b: 灰白色　黒色粒　精良堅緻　d: 明緑灰色　透明　釉層薄い　貫入あり　天井内部無釉
10	25	93	陶器	常滑 甕	口縁部片	-	-	[12.2]		a: 輪積み成形　b: 灰褐色　長石　石英　c: 黒褐色　e: 良好　f: 縁帯幅 2.15 ㎝　中野編年 6a 型式
10	26	99	土製品	ロクロかわらけ（小）	2/3	7.6	4.5	1.6		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　粗土　c: 橙色　e: 良好　f: 外底部煤付着
10	27	99	銅製品	銭	1/2	直径 -	内孔 -	-	1.2g	f：不明
10	28	114	陶器	常滑 甕	口縁部片	-	-	[12.7]		a: 輪積み成形　b: 灰色　微砂　長石　石英　c: 赤褐色　e: 良好　f: 縁帯幅 2.1 ㎝　中野編年 6a 型式
10	29	117	土製品	瀬戸内系小皿	小片	-	-	[1.8]		b: 微砂　黒色粒　赤色粒　良土　c: 淡黄色
10	30	117	陶器	渥美 甕	口縁部片	-	-	[5.4]		a: 輪積み成形　b: 灰褐色　白色粒　良土　c: 暗灰黄色～暗灰色
10	31	117	銅製品	銭	完形	直径 2.5	内孔 0.6	-	3.8g	f: 景徳元寶（真書）　北宋 1004 年
10	32	118	磁器	青白磁 香炉か	小片	-	-	[1.4]		a: 灰白色　d: 明緑灰色　不透明　釉層薄い
10	33	118	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	口縁部片	-	-	[6.0]		a: 輪積み成形　b: 暗灰色　砂粒　長石　c: 赤褐色　f: 内面摩耗
10	34	118	銅製品	器種不明		残存長 [2.9]	残存幅 [2.3]	残存厚 [0.1]	3.4g	f: 菊花状製品の一部か
12	35	115	土製品	ロクロかわらけ（小）	3/4	7.8	4.8	2.0		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
12	36	115	陶器	常滑 甕	口縁部～底部	(48.8)	(20.0)	80.2		a: 輪積み成形　内面指頭痕　内外面横ナデ　砂目底　b: 灰褐色　長石　石英　白色粒　黒色粒　小石粒　c: 暗赤褐色　d: 降灰部灰緑色　e: 良好　f: 縁帯幅 3.0m　外面押印　中野分類 Eb 斜格子文（斜線×斜線）
12	37	115	陶器	尾張型山茶碗か	口縁部小片	-	-	[3.2]		a: 内外面横ナデ　b: 黄灰色　微砂　白色粒　c: 黒褐色
12	38	115	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	底部片	-	-	[3.2]		a: 輪積み成形　b: 灰色　長石　石英　c: 灰色　e: 良好
12	39	115	土製品	瓦質火鉢	口縁～体部小片	-	-	[11.4]		a: 体部ミガキ　b: 灰白色　小石　白色粒　赤色粒　気泡　粗土　c: 外面灰色　f: 口縁部と下部　菊花文＋珠文スタンプ　河野分類Ⅳａ類
12	40	120	銅製品	銭	完形	直径 2.5	内孔 0.7	-	3.4g	f: 皇宋通寶（篆書）　北宋 1038 年
12	41	121	土製品	ロクロかわらけ（大）	1/3	(12.6)	(7.0)	3.4		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
12	42	121	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/2	(7.6)	(5.4)	1.7		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好　f: 外底部煤付着
12	43	121	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(7.8)	(5.6)	1.5		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 褐色　e: 良好　f: 二次焼成を受けたか
12	44	121	土製品	ロクロかわらけ（小）	2/3	7.8	5.1	1.8		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 橙色　e: 良好

図版	No.	出土遺構	材質	種別	遺存度	寸法（cm）				観察項目
						口径	底径	器高	重	a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
12	45	121	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(7.8)	(6.2)	1.5		a: 内底ナデ 外底回転糸切（右回転） 板状圧痕 b: 微砂 赤色粒 海綿骨針 粗土 c: 橙色 e: 良好 f: 二次焼成を受けたか
12	46	121	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/2	(7.8)	(5.8)	1.5		a: 内底ナデ 外底回転糸切（右回転） 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好 f: 外底部煤付着
12	47	121	土製品	ロクロかわらけ（小）	ほぼ完形	7.8	5.6	1.7		a: 内底ナデ 外底回転糸切（右回転） 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 灰黄色 e: 良好
12	48	121	土製品	内折れかわらけ（極小）	1/5	(5.0)	(4.0)	0.9		a: 外底回転糸切 b: 微砂 雲母 良土 c: 黄橙色 e: 良好 f: 内底面穿孔有
12	49	121	土製品	ロクロかわらけ（小）	完形	7.4	6.0	2.1		a: 外底回転糸切（右回転） b: 赤色粒 海綿骨針 c: 被熱により赤褐色に変色 f: 被熱による発砲、ただれ、ふくれ等あり 取瓶
12	50	121	陶器	常滑甕	口縁部片	-	-	［11.1］		a: 輪積み成形 b: 灰色 長石 石英 c: 灰褐色 e: 良好 f: 緑帯幅 2.4㎝ 中野編年 5 型式 内面に漆付着
12	51	121	陶器	常滑壺か	口縁部片	-	-	［3.4］		a: 輪積み成形 b: 灰色 長石 石英 礫粒 c: 灰緑色 d: 内外面に自然釉 e: 良好 f: 二次焼成を受けたか
12	52	122	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(7.4)	(4.4)	1.9		a: 内底ナデ 外底回転糸切（右回転） 板状圧痕 b: 微砂 雲母 海綿骨針 泥岩粒 粗土 c: 黄橙色 e: 良好
12	53	122	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/2	(7.2)	(5.0)	1.3		a: 内底ナデ 外底回転糸切（右回転） 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好 f: 口縁部煤付着
12	54	122	磁器	青磁蓮弁文碗	口縁部小片	(16.8)	-	［2.7］		b: 明灰白色 d: 灰緑色 半透明 釉層やや厚い f: 大宰府編年 分類不明
12	55	122	磁器	青磁皿か	底部片	-	-	［2.0］		b: 乳白色 精良土 d: 灰緑色 半透明 貫入あり
12	56	122	磁器	青白磁花瓶	脚部片	-	(4.6)	［1.3］		b: 乳白色 精良土 d: 青白色 不透明 釉層薄い 外面のみ施釉 一部露胎
12	57	122	石製品	砥石	-	最大長［7.2］	最大幅 4.0	厚［1.0］		c: 淡黄灰色 f: 鳴滝産 仕上砥 側面にノコ痕、砥面 1 面
12	58	122	銅製品	銭	完形	直径 2.5	内孔 0.65	-	3.6g	f: 元豊通寶（行書）
13	59	123	土製品	ロクロかわらけ（小）	2/3	(7.8)	(4.8)	1.6		a: 内底ナデ 外底回転糸切（右回転） 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 橙色 e: 良好
13	60	123	磁器	青磁蓮弁文皿	1/8	-	-	4.6		b: 灰白色 気泡少量あり 精良堅緻 d: 淡緑色 不透明 釉層厚い 貫入あり 高台釉剥ぎ f: 被熱か 大宰府編年 椀Ⅲ -2c
13	61	123	磁器	青磁折縁皿	口縁部片	-	-	[3.1]		b: 灰白色 精良堅緻 気孔あり d: 淡緑色 不透明 釉層厚い 貫入あり f: 被熱か f: 大宰府編年 坏Ⅲ -4b
13	62	123	磁器	白磁壺	頸部小片	-	-	[3.7]		b: 灰色 黒色粒 精良堅緻 d: 灰色 透明 釉層薄い 貫入あり 残存部全て施釉
13	63	123	陶器	常滑甕	口縁部～肩部片	-	-	[17.5]		a: 輪積み成形 b: 暗灰色 長石 石英 白色粒 黒色粒 小石粒 c: 赤褐色 d: 口縁内部～肩部まで灰緑色の釉降灰 e: 良好 f: 緑帯幅 2.5cm
13	64	123	陶器	常滑甕	頸部～肩部片	-	-	[28.4]		a: 輪積み成形 内面指頭痕 b: 灰褐色 石英 白色粒 黒色粒 小石粒 やや粗土 c: 暗赤褐色 e: 良好 f: 中野編年 6a 型式 緑帯幅 2.5cm 外面押印 縦線文＋横線 (5)
13	65	125	土製品	瀬戸小坏	口縁部片	(6.8)	-	［1.7］		b: 灰色 微砂 良土 c: 灰色 e: 良好
13	66	126	陶器	常滑甕	底部	17.4	-	[10.4]		a: 輪積み成形 内面指頭痕 b: 灰色 砂粒 長石 小石 c: 暗赤褐色
13	67	126	石製品	滑石鍋	口縁部片	-	-	[6.4]		f: 転用 二次加工の痕跡有
13	68	126	銅製品	銭	完形	直径 2.3	内孔 0.6	-	4.0g	f: 元符通寶（篆書） 北宋 1098 年
13	69	127	土製品	ロクロかわらけ（大）	ほぼ完形	(12.8)	6.8	3.5		a: 内底ナデ 外底回転糸切（右回転） 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 良土 c: 橙色 e: 良好
13	70	127	土製品	ロクロかわらけ（中）	4/5	(11.0)	(6.8)	3.2		a: 内底ナデ 外底回転糸切（右回転） 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好
13	71	127	土製品	ロクロかわらけ（中）	3/4	10.6	6.4	3.2		a: 内底ナデ 外底回転糸切（右回転） 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好
13	72	127	土製品	ロクロかわらけ（小）	ほぼ完形	7.8	4.7	2.5		a: 内底ナデ 外底回転糸切（右回転） 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 橙色 e: 良好
13	73	127	土製品	ロクロかわらけ（小）	ほぼ完形	7.6	4.6	2.2		a: 内底ナデ 外底回転糸切（右回転） 板状圧痕 b: 微砂 雲母 海綿骨針 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好
13	74	127	土製品	ロクロかわらけ（小）	ほぼ完形	8.2	5.0	2.0		a: 内底ナデ 外底回転糸切（右回転） 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好
13	75	127	土製品	ロクロかわらけ（小）	ほぼ完形	7.6	5.0	2.25		a: 内底ナデ 外底回転糸切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好
13	76	127	土製品	ロクロかわらけ（小）	ほぼ完形	7.4	5.2	2.0		a: 内底ナデ 外底回転糸切（右回転） 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好
13	77	127	土製品	ロクロかわらけ（小）	3/4	7.6	4.8	1.9		a: 外底回転糸切（右回転） 板状圧痕 b: 微砂 雲母 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好
13	78	127	土製品	ロクロかわらけ（小）	ほぼ完形	7.3	4.4	1.9		a: 内底ナデ 外底回転糸切（右回転） 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好
13	79	127	土製品	ロクロかわらけ（小）	3/4	7.8	5.9	1.9		a: 内底ナデ 外底回転糸切（右回転） 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 良土 c: 橙色 e: 良好 f: 口縁部歪み有
13	80	127	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/2	(8.2)	(5.2)	1.8		a: 内底ナデ 外底回転糸切（右回転） b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好
13	81	127	土製品	ロクロかわらけ（小）	3/4	7.4	5.0	1.7		a: 内底ナデ 外底回転糸切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好

図版	No.	出土遺構	材質	種別	遺存度	寸法（cm）				観察項目
						口径	底径	器高	重	a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
13	82	127	土製品	ロクロかわらけ（小）	ほぼ完形	7.4	5.1	1.7		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
13	83	127	土製品	ロクロかわらけ（小）	ほぼ完形	7.6	5.5	1.9		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
13	84	127	陶器	常滑片口鉢Ⅱ類	口縁部片	-	-	［5.2］		a: 輪積み成形　b: 暗灰色　微砂　長石　石英　c: 暗赤褐色　e: 良好
13	85	127	銅製品	銭	完形	直径2.4	内孔0.6	-	3.3g	f: 嘉祐通寶（真書）　北宋 1056 年
13	86	127	銅製品	銭	完形	直径2.4	内孔0.7	-	3.2g	f: 元豊通寶（篆書）　北宋 1078 年
13	87	113	鉄製品	釘	-	長6.4	幅0.5	厚0.2	2.0g	f: 四角形状に鍛造
15	88	2面構成土	土製品	ロクロかわらけ（中）	1/6	(10.2)	(7.0)	3.1		a: 外底回転糸切　b: 赤色粒　海綿骨針　c: 表面褐灰色　内面被熱により灰黄褐色に変色　f: 被熱　内面に溶解物付着　取瓶
15	89		土製品	ロクロかわらけ（小）	ほぼ完形	8.2	4.8	2.3		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　泥岩粒　良土　c: 黄橙色　e: 良好
15	90		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(7.8)	(5.0)	2.5		a: 内底ナデ　外底回転糸切　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　良土　c: 黄橙色　e: 良好
15	91		土製品	ロクロかわらけ（小）	2/3	8.0	5.6	1.9		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　良土　c: 黄橙色　e: 良好　f: 内底面に三条の溝
15	92		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(7.0)	(5.0)	1.5		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
15	93		磁器	青白磁梅瓶	胴部小片	-	-	［1.9］		b: 灰白色　精良土　d: 青灰色　透明　釉層極薄い　f: 渦文？
15	94		陶器	緑釉盤	口縁部小片	-	-	[2.9]		b: 灰白色　砂粒　粗土　d: 残存部全体に緑釉施釉　f: 磁竈窯（泉州）
15	95		陶器	常滑甕	口縁部片	-	-	［9.0］		a: 輪積み成形　b: 灰色　微砂　長石　石英　d: 緑帯～外面に黒褐色の自然釉　e: 良好　f: 緑帯幅 4.0 ㎝　中野編年 7 型式か？
15	96		陶器	常滑広口壺	口縁部片	-	-	［8.6］		a: 輪積み成形　b: 灰色　微砂　長石　石英　d: 内面上部および外面に茶褐色～黄緑色の自然釉　e: 良好　f: 緑帯幅 2.3 ㎝　中野編年 6a 型式
15	98		骨製品	笄	-	長[6.4]	幅1.5	厚0.3		f: 両端欠損
15	99		銅製品	釘		長1.5	頂部幅0.3	幅（胴）0.2	0.2g	f: 円形に鋳造
15	100		銅製品	銭	完形	直径2.5	内孔0.6	-	3.5g	f: 明道元寶（篆書）　北宋 1032 年
15	101		土製品	ロクロかわらけ（特大）	1/6	(15.8)	(10.2)	3.7		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　海綿骨針　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
15	102		土製品	ロクロかわらけ（大）	ほぼ完形	14.2	9.0	3.5		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
15	103		土製品	ロクロかわらけ（大）	1/5	(13.4)	(9.0)	3.3		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　海綿骨針　泥岩粒　粗土　c: 橙色　e: 良好
15	104		土製品	ロクロかわらけ（中）	3/4	(12.6)	(7.6)	3.2		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 淡橙色　e: 良好
15	105		土製品	手づくねかわらけ（小）	1/2	(8.6)	-	1.9		a: 内底ナデ（横ナデ後回転状にナデ）　外面下半指頭痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 淡橙色　e: 良好
15	106		土製品	ロクロかわらけ（小）	完形	7.6	5.3	1.9		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 淡橙色　e: 良好
15	107		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/2	(7.6)	(6.0)	1.4		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　良土　c: 淡橙色　e: 良好
15	108		土製品	ロクロかわらけ（小）	4/5	7.6	5.8	1.8		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
15	109		土製品	ロクロかわらけ（小）	2/3	(8.0)	(5.2)	1.9		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
15	110		土製品	ロクロかわらけ（小）	2/3	(7.6)	(5.0)	1.7		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　礫粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
15	111		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/4	(7.4)	(5.0)	2.1		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　良土　c: 灰橙色～灰色　e: 良好　f: 二次焼成を受けたか？内底付着物有
15	112		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/2	(7.2)	(4.2)	2.5		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　黒色粒　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 橙色　e: 良好　f: 撫手
15	113		土製品	ロクロかわらけ（小）	完形	6.8	4.5	2.1		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　良土　c: 淡橙色　e: 良好
15	114		磁器	青磁蓮弁文碗	1/5	(16.0)	-	[5.0]		b: 灰白色　黒色粒　精良堅緻　d: 淡緑灰色　透明　釉層薄い　貫入わずかにあり　f: 大宰府編年　椀Ⅲ-2c
15	115		磁器	青磁蓮弁文碗	口縁部片	-	-	[3.3]		b: 灰白色　d: 暗灰緑色　半透明　釉層やや厚い　気泡有り　f: 大宰府編年　椀Ⅲ-2c
15	116		磁器	青磁碗	口縁部小片	-	-	[4.7]		b: 白色　黒色粒　精良堅緻　d: 淡緑色　半透明　釉層厚い　貫入有り　f: 大宰府編年　椀Ⅲ-1a
15	117		磁器	青磁蓮弁文碗	底部完形	-	4.1	[2.4]		b: 灰白色　精良堅緻　d: 淡緑灰色　透明　釉層薄い　f: 見込み印花文　f: 大宰府編年　椀Ⅱ-C

図版	No.	出土遺構	材質	種別	遺存度	寸法（cm）				観察項目
						口径	底径	器高	重	a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
15	118	2面構成土	磁器	青磁 双魚文皿	内底部小片	-	-	[1.0]		b: 灰白色～橙色　精良堅緻　気泡わずかにあり　d: 淡緑灰色　不透明　釉層厚い　貫入有り　f: 見込み貼付双魚文
15	119		磁器	青磁 壷か	器形・傾き不明	-	-	[3.0]		b: 灰白色　黒色粒　気孔わずかにあり　d: 淡緑色　不透明　釉層厚い　貫入あり　内面は施釉していない箇所あり　傾き不明
15	120		磁器	青白磁 梅瓶	体部小片	-	-	[3.8]		b: 灰白色　d: 内面灰白色　半透明　釉層薄い　外面明緑灰色　半透明　釉層やや薄い　気泡あり
15	121		磁器	青白磁 梅瓶	体部小片	-	-	[3.7]		b: 灰白色　d: 内面灰白色　半透明　釉層薄い　外面明緑灰色　半透明　釉層やや薄い　気泡あり
15	122		磁器	青白磁 梅瓶	体部小片	-	-	[3.1]		b: 灰白色　d: 内面灰白色　半透明　釉層薄い　外面明緑灰色　半透明　釉層やや薄い　気泡あり
15	123		磁器	白磁 口兀皿	口縁部片	-	-	[4.0]		b: 灰白色　d: 灰白色　半透明　釉層やや薄い　ピンホール有　口縁部釉掻き取り露胎　　f: 大宰府編年　皿IX -1c
15	124		磁器	磁州窯 白地鉄絵瓶	肩部小片	-	-	[2.1]		b: 灰色　黒色粒　精良堅緻　気孔あり　d: 灰色　透明　釉層薄い　内外面施釉　f: 鉄絵
15	125		陶器	常滑 甕	口縁部片	-	-	[8.7]		a: 輪積み成形　b: 灰色　砂粒　小石粒　c: 暗赤褐色　d: 内外面に灰白色の自然釉　f: 縁帯幅 1.4cm　中野編年 4 ～ 5 型式
15	126		陶器	常滑 甕	口縁部片	-	-	[6.6]		a: 輪積み成形　内面指頭痕　b: 黄灰色　砂粒　白色粒　黒色粒　小石粒　c: 灰色　d: 外面に明灰緑色の自然釉　f: 縁帯幅 2.0cm　中野編年 5 型式
15	127		陶器	常滑 甕	口縁部片	-	-	[8.7]		a: 輪積み成形　内面指頭痕　b: 灰色　砂粒　白色粒　赤色粒　やや良土　c: 黒色　f: 縁帯幅 1.8cm　中野編年 6a 型式
15	128		陶器	常滑 甕	口縁部片	-	-	[7.6]		a: 輪積み成形　内面指頭痕　b: 灰色　砂粒　白色粒　c: 内面赤褐色　外面暗褐色　d: 外面に灰緑色の自然釉　f: 縁帯幅 2.0cm　中野編年 6a 型式
15	129		陶器	常滑 甕	口縁部片	-	-	[8.5]		a: 輪積み成形　内面指頭痕横ナデ　b: 灰色　砂粒　白色粒　小石粒　c: 赤褐色　d: 内外面に灰白色の自然釉　f: 縁帯幅 2.5cm　中野編年 6a 型式
15	130		陶器	常滑 甕	口縁部片	-	-	[8.3]		a: 輪積み成形　内面横ナデ　b: 灰色　砂粒　白色粒　黒色粒　やや粗土　c: 暗赤褐色　d: 内外面降灰部灰緑色　f: 縁帯幅 3.1cm　中野編年 6b 型式
15	131		陶器	常滑 甕	口縁部片	-	-	[8.4]		a: 輪積み成形　内面指頭痕　b: 灰黄色～灰色　砂粒　白色粒　c: 灰赤色　d: 内面上部降灰部灰白色　f: 縁帯幅 3.2cm　中野編年 6b 型式？
15	132		陶器	常滑 甕	口縁部片	-	-	[12.7]		a: 輪積み成形　内面指頭痕　横ナデ　b: 灰色　砂粒　白色粒　c: 赤褐色　d: 内面に灰緑色の自然釉　f: 縁帯幅 3.6cm　中野編年 7 型式か？
15	133		陶器	常滑 甕	底部片	-	-	[9.8]		a: 輪積み成形　内面指頭痕　横ナデ　b: 灰色　砂粒　長石　黒色粒　c: 橙色～褐灰色
15	134		陶器	常滑 広口壺（大）	口縁部片	-	-	[4.7]		b: 灰色　砂粒　小石粒　やや粗土　c: 赤褐色　d: 内面に灰緑色の自然釉　f: 縁帯幅 1.2cm　中野編年 5 型式
16	135		陶器	常滑 広口壺	口縁部片	(25.0)	-	[11.0]		a: 輪積み成形　b: 灰色　砂粒　長石　c: 暗赤褐色　f: 内外面に白緑色の自然釉　縁帯幅 1.7cm　中野編年 5 型式
16	136		陶器	常滑 壺	胴部片	-	-	[4.4]		a: 内面指頭痕　b: 灰黄色　白色粒　小石粒　良土　c: 内面褐色　外面褐灰色
16	137		陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	口縁部片	-	-	[4.0]		b: 灰色　白色粒　黒色粒　やや粗土　c: 灰色　d: 内面降灰
16	138		陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	底部片	-	-	[4.7]		a: 輪積み成形　外面底部回転ヘラ削り　付け高台　b: 黄灰色　砂粒　小石粒　やや粗土　c: 灰色　f: 内面摩耗
16	139		陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	底部片	-	-	[5.4]		a: 輪積み成形　外面底部回転ヘラ削り　付け高台　b: 灰色　砂粒　黒色粒　小石粒　粗土　c: 灰色　f: 内面摩耗
16	140		陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	底部片	-	-	[5.9]		a: 輪積み成形　外面底部回転ヘラ削り　付け高台　b: 灰色　砂粒　白色粒　黒色粒　小石粒　粗土　c: 灰色　f: 内面摩耗　外面緑色と茶色付着物
16	141		陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	口縁部片	-	-	[6.2]		b: 灰色　砂粒　白色粒　c: 赤褐色　d: 内面降灰部灰緑色　半透明
16	142		陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	口縁部片	-	-	[5.2]		b: 褐灰色　砂粒　白色粒　やや粗土　c: 赤褐色　d: 降灰部明灰緑色
16	143		陶器	瀬戸 折縁深皿	1/7	-	-	[7.0]		b: 灰白色　砂粒　やや粗土　d: 灰釉　ハケヌリ　薄い　e: 良好　軟質　f: 古瀬戸中Ⅰ～Ⅱ期
16	144		陶器	瀬戸 折縁深皿	口縁部小片	-	-	[3.2]		b: 灰黄色　白色粒　精良土　d: 灰釉　ナガシガケ　（内面ハケヌリ？）　f: 古瀬戸中Ⅱ～後Ⅰ期
16	145		陶器	瀬戸 筒型香炉 (?)	下体部小片	-	-	[3.0]		b: 灰白色　精良土　d: 灰釉（淡緑灰色）ナガシガケ　内面は体部のみハケヌリ？　e: 良好　硬質　f: 外面印花文　古瀬戸中期後半以降
16	146		陶器	瀬戸 入子	1/6	(6.9)	(3.8)	2.2		b: 灰色　e: 良好　硬質　d: 口縁部灰白色自然釉
16	147		陶器	瀬戸 入子	底部	-	(4.3)	[2.5]		a: 底部回転糸切（右回転）　b: 灰色　e: 良好　硬質
16	148		土製品	瓦質 火鉢	口縁部片	-	-	[5.4]		b: にぶい黄橙色　砂粒　赤色粒　やや良土　c: 橙色　f: 河野分類ＩＣ類
16	149		土製品	瓦器質 輪花火鉢	胴部片	-	-	[5.6]		a: 内面指頭痕　b: 灰白色　砂粒　白色粒　黒色粒　c: 灰色　f: 外面押印菊花文　河野分類Ⅲ類
16	150		土製品	瓦質土器 器蓋	-	最大長 3.4	最大幅 [3.4]	残存厚 [2.5]		a: 外面磨き　b: 黄灰色　微砂　c: 黒色
16	151		土製品	磨りかわらけ	-	最大長 [3.05]	最大幅 [3.05]	最大厚 [0.7]		b: 微砂　雲母　c: 黄橙色　e: 良好　f: 側面を擦っている
16	152		土製品	磨りかわらけ	-	最大長 [2.45]	最大幅 [3.05]	最大厚 [0.5]		b: 微砂　雲母　c: 橙色　e: 良好　f: 側面を擦っている
16	153		土製品	磨りかわらけ	-	最大長 [2.3]	最大幅 [2.3]	最大厚 [0.5]		b: 微砂　雲母　c: 橙色　e: 良好　f: 側面を擦っている

図版	No.	出土遺構	材質	種別	遺存度	寸法（cm）				観察項目
						口径	底径	器高	重	a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
16	154	2面構成土	土製品	磨りかわらけ	-	最大長 [2.8]	最大幅 [3.4]	最大厚 [0.5]		b: 微砂　雲母　赤色粒　黒色粒　良土　c: 黄橙色　e: 良好　f: 側面を擦っている
16	155		土製品	磨りかわらけ	-	最大長 [2.8]	最大幅 [3.0]	最大厚 [0.5]		b: 微砂　雲母　c: 黄橙色　e: 良好　f: 側面を擦っている
16	156		土製品	磨りかわらけ	-	最大長 [2.65]	最大幅 [3.5]	最大厚 [0.5]		b: 微砂　雲母　c: 黄橙色　e: 良好　f: 側面を擦っている
16	157		陶器	磨り常滑	-	最大長 [8.8]	最大幅 [7.0]	最大厚 [1.5]		b: 灰色　砂粒　白色粒　c: 褐色　f: 一面擦られている
16	158		陶器	磨り常滑	-	最大長 [7.8]	最大幅 [5.0]	最大厚 [1.0]		b: 淡黄色　砂粒　白色粒　赤色粒　小石粒　石粒　c: にぶい赤褐色　f: 2面擦っている
16	159		陶器	磨り常滑	-	最大長 [6.4]	最大幅 [4.3]	最大厚 [1.3]		b: 灰色　砂粒　長石　c: 裏面一部褐色　d: 一部灰緑色の釉　f: 表面及び側面を擦っている
16	160		石製品	硯	-	最大長 [4.4]	最大幅 [2.5]	最大厚 1.35		c: 黒色　f: 鳴滝産
16	161		石製品	砥石	-	最大長 [10.9]	最大幅 [9.6]	最大厚 [9.3]		c: 灰白色　一部黄橙色　赤色　灰色　f: 天草産？　上面 3 面加工　下面 1 面加工部分残存
16	162		石製品	砥石	-	最大長 [8.2]	最大幅 [6.4]	最大厚 [6.35]		c: 淡橙色　灰褐色　f: 天草産　中砥　3 面を擦っている
16	163		石製品	砥石	-	最大長 [5.2]	最大幅 4.15	最大厚 1.45		c: 淡黄色　灰白色　黄橙色　褐色　f: 伊予産　中砥　3 面擦る
16	164		石製品	砥石	-	最大長 [3.4]	最大幅 [2.9]	最大厚 [2.2]		c: 赤褐色　f: 天草産　中砥　3 面を擦っている
16	165		石製品	砥石	-	最大長 [5.0]	最大幅 [3.3]	最大厚 [3.2]		c: 黄橙色　f: 出羽産　仕上砥　2 面擦る
16	166		石製品	軽石加工品	-	最大長 [10.6]	最大幅 [8.0]	最大厚 7.75		c: 黄灰色　f: 上下面に面加工有
16	167		骨製品	笄	小片	長 [3.5]	最大幅 [1.55]	最大厚 [0.3]		
16	168		骨製品	辻具？	小片	長 [3.0]	幅 [5.7]	厚 [0.5]		f: 刻線による模様
17	169		鉄製品	刀子	-	長 [7.1]	幅 1.8	厚 0.3	15.6g	f: 両端部欠損
17	170		鉄製品	釘	-	長 11.6	幅 0.4	厚 0.3	8.7g	f: 四角形状に鍛造
17	171		鉄製品	釘	-	長 9.6	幅 0.4	厚 0.3	7.1g	f: 四角形状に鍛造
17	172		鉄製品	釘	-	長 5.5	幅 0.6	厚 0.5	6.8g	f: 四角形状に鍛造
17	173		鉄製品	釘	-	長 5.0	幅 0.5	厚 0.25	3.0g	f: 四角形状に鍛造
17	174		鉄製品	釘	-	長 5.0	幅 0.3	厚 0.3	3.0g	f: 四角形状に鍛造
17	175		鉄製品	釘	-	長 [4.3]	幅 0.5	厚 0.2	2.3g	f: 四角形状に鍛造　先端部欠損
17	176		鉄製品	不明	-	長 7.6	Φ 0.3	-	3.1g	f: 円柱状
17	177		銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.5	-	3.3g	f: 天禧通寶　北宋 1017 年
17	178		銅製品	銭	完形	直径 2.5	内孔 0.7	-	3.5g	f: 天聖元寶（篆書）　北宋 1023 年
17	179		銅製品	銭	完形	直径 2.5	内孔 0.7	-	3.0g	f: 皇宋通寶（篆書）　北宋 1038 年
17	180		銅製品	銭	完形	直径 2.5	内孔 0.6	-	3.0g	f: 皇宋通寶（真書）　北宋 1038 年
17	181		銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.7	-	2.9g	f: 嘉祐通寶（真書）　北宋 1056 年
17	182		銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.6	-	3.4g	f: 熙寧元寶（篆書）　北宋 1068 年
17	183		銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.7	-	3.2g	f: 熙寧元寶（篆書）　北宋 1068 年
17	184		銅製品	銭	完形	直径 2.5	内孔 0.7	-	2.9g	f: 熙寧元寶（篆書）　北宋 1068 年
17	185		銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.6	-	3.3g	f: 熙寧元寶（篆書）　北宋 1068 年
17	186		銅製品	銭	完形	直径 1.7	内孔 0.6	-	1.6g	f: 熙寧元寶（篆書）　北宋 1068 年　外縁削り取り
17	187		銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.6	-	3.3g	f: 元豊通寶（篆書）　北宋 1078 年
17	188		銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.6	-	3.9g	f: 元豊通寶（行書）　北宋 1078 年
17	189		銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.7	-	3.9g	f: 元豊通寶（行書）　北宋 1078 年
17	190		銅製品	銭	完形	直径 2.5	内孔 0.6	-	3.8g	f: 元祐通寶（篆書）　北宋 1086 年

図版	No.	出土遺構	材質	種別	遺存度	寸法（cm）				観察項目
						口径	底径	器高	重	a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
17	191	2面構成土	銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.6	-	3.0g	f: 紹聖元寶（篆書） 北宋 1094 年
17	192		銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.6	-	3.3g	f: 聖宋元寶（行書） 北宋 1101 年
17	193		銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.6	-	3.9g	f: 聖宋元寶（篆書） 北宋 1101 年
20	1	139	磁器	青白磁 器種不明	脚部片	-	-	[2.0]		b: 白色 精良土 d: 青白色 不透明 釉層極薄い 高台内面露胎
20	2	139	石製品	砥石	-	最大長 [2.8]	最大幅 [3.2]	最大厚 0.7		c: 淡黄白色 f: 備水産 仕上砥 砥面二面
20	3	143	土製品	鍔釜	鍔部片	-	-	[2.5]		b: 灰色 長石 小石粒 c: 黄橙色 e: 良好 f: 内面煤付着
20	4	146	石製品	泥岩加工品	-	最大長 8.3	最大幅 5.4	最大厚 4.9		f: 表面に刃物痕あり
20	5	147	土製品	ロクロかわらけ（大）	1/4	(13.6)	(9.0)	2.8		a: 外底回転糸切 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 良土 c: 橙色 e: 良好
20	6	156	磁器	青磁 蓮弁文碗	1/2	(12.2)	3.2	5.4		b: 灰白色 黒色粒 精良堅緻 d: 淡緑色 半透明 釉層厚い f: 大宰府編年 椀Ⅲ -2c
20	7	158	鉄製品	釘	-	長 [4.7]	幅 0.4	厚 0.25	2.2g	f: 四角形状に鍛造 先端部欠損
20	8	159	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/2	(7.8)	5.4	1.5		a: 内底ナデ 外底回転糸切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 海綿骨針 やや粗土 c: 黄橙色～灰色 e: 良好 f: 内面及び外面～底部 1/2 灰色に変色
20	9	159	陶器	常滑 甕	口縁部片	-	-	[7.2]		a: 輪積み成形 b: 灰色 微砂 長石 石英 礫粒 c: 暗褐色 e: 良好 f: 縁帯幅 1.7 ㎝ 中野編年？型式
20	10	159	陶器	常滑 甕	口縁部片	(26.6)	-	[5.7]		a: 輪積み成形 b: 橙色～灰色 微砂 長石 石英 礫粒 c: 茶褐色 e: 良好 f: 縁帯幅 2.2 ㎝ 中野編年？型式
20	11	159	陶器	常滑 甕	底部片	-	(14.0)	[9.8]		a: 輪積み成形 b: 橙色 微砂 長石 石英 礫粒 c: 赤褐色 e: 良好
20	12	159	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	口縁部片	(27.0)	-	[9.5]		a: 輪積み成形 b: 灰色 微砂 長石 礫粒 c: 灰色 d: 内外面に自然釉 e: 良好
20	13	159	鉄製品	器種不明	-	長 [3.9]	幅 0.5	厚 0.4	1.1g	f: 先端部欠損 円柱状か
20	14	160	磁器	青磁 花生か	頸部小片？	-	-	[3.2]		a: 文様貼付け b: 灰白色 黒色粒 気孔あり 精良堅緻 d: 淡緑色 不透明 釉層厚い 貫入あり f: 外面被熱か
20	15	160	銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.6	-	3.4g	f: 太平通寶 北宋 976 年
20	16	163	土製品	ロクロかわらけ（小）	ほぼ完形	8.0	5.5	1.8		a: 内底ナデ 外底回転糸切（右回転） 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 良土 c: 黄橙色 e: 良好
20	17	163	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/5	(7.8)	(5.4)	1.7		a: 内底ナデ 外底回転糸切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 良土 c: 黄橙色 e: 良好
20	18	163	土製品	ロクロかわらけ（小）	ほぼ完形	8.0	6.5	1.8		a: 内底ナデ 外底回転糸切（右回転） 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 良土 c: 黄橙色 e: 良好 f: 口縁部に煤付着
20	19	163	土製品	ロクロかわらけ（極小）	1/4	(4.4)	(3.8)	0.7		a: 外底回転糸切（右回転） b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 良土 c: 橙色 e: 良好
20	20	163	陶器	常滑 甕	口縁部片	-	-	[13.2]		a: 輪積み成形 b: 灰色 微砂 長石 石英 礫粒 c: 赤褐色 d: 口縁部と外面に灰釉 e: 良好 f: 縁帯幅 3.2 ㎝
20	21	163	陶器	常滑 甕	口縁部片	-	-	[7.9]		a: 輪積み成形 b: 灰色 微砂 長石 石英 礫粒 c: 赤褐色～灰緑色 d: 外面に自然釉 e: 良好 f: 縁帯幅 2.9 ㎝
20	22	163	陶器	常滑 甕	底部片	-	(15.6)	[10.0]		a: 輪積み成形 外面下部ヘラ調整 b: 暗灰色 長石 石英 c: 赤褐色 e: 良好
20	23	163	陶器	磨り常滑	-	最大長 8.1	最大幅 11.5	最大厚 1.2		b: 黄灰色 微砂 長石 c: 黄灰色 f: 断面一部にスリ痕あり
20	24	163	土製品	瓦質 火鉢	口縁部片	-	-	[5.6]		b: 灰白色 微砂 黒色粒 c: 灰色 e: 良好
20	25	163	石製品	砥石		残存長 [8.5]	残存幅 [4.5]	残存厚 [0.9]		c: 淡黄灰色 f: 鳴滝産 仕上砥 頁岩 2面使用 両側面木口一カ所残る
20	26	163	石製品	砥石	-	最大長 [3.1]	最大幅 [2.5]	最大厚 3.0		c: 淡赤灰色～淡青灰色 f: 天草産 中砥 砥面三面
20	27	164	陶器	常滑 甕	口縁部片	-	-	[9.7]		a: 輪積み成形 b: 灰褐色 微砂 長石 石英 c: 茶褐色 e: 良好 f: 縁帯幅 3.0 ㎝ 中野編年？型式
20	28	164	陶器	常滑 広口壺（大）	口縁部片	(19.0)	-	[2.3]		a: 輪積み成形 b: 灰色 微砂 長石 石英 礫粒 c: 黒褐色 d: 内面に灰緑色の自然釉 e: 良好 f: 縁帯幅 1.3 ㎝ 中野編年 6a 型式か
20	29	164	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	口縁部片	-	-	[4.3]		a: 輪積み成形 b: 灰色 微砂 長石 石英 c: 灰色 d: 口縁頂部～内面に緑灰色の自然釉 e: 良好
20	30	164	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	口縁部～底部片	(22.8)	(12.2)	9.1		a: 輪積み成形 外面下部ヘラ削り b: 灰色 長石 石英 礫粒 c: 灰色 d: 口縁～内面に自然釉 e: 良好
20	31	164	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	底部片	-	(13.6)	[6.2]		a: 輪積み成形 外面下部ヘラ削り b: 灰色 微砂 長石 石英 礫粒 c: 灰色 e: 良好
20	32	164	銅製品	銭	完形	直径 2.5	内孔 0.6	-	3.1g	f: 咸平元寶（真書） 北宋 998 年
20	33	164	銅製品	銭	完形	直径 2.5	内孔 0.7	-	2.0g	f: ■■通寶（真書） 北宋 1054 年
22	34	3面遺構外	土製品	ロクロかわらけ（大）	3/4	13.6	7.8	3.8		a: 内底ナデ 外底回転糸切（右回転） 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 良土 c: 橙色 e: 良好

図版	No.	出土遺構	材質	種別	遺存度	寸法（cm）				観察項目
						口径	底径	器高	重	a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
22	35	3面遺構外	土製品	ロクロかわらけ（大）	1/2	(12.8)	(9.0)	3.3		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　粗土　c: 橙色～黄橙色（被熱による色ムラ有）　e: 良好（部分的に被熱）
22	36		土製品	ロクロかわらけ（中）	ほぼ完形	11.0	6.4	3.0		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　良土　c: 橙色　e: 良好
22	37		土製品	ロクロかわらけ（中）	3/4	10.9	6.5	3.1		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　良土　c: 橙色　e: 良好
22	38		土製品	内折れかわらけ（極小）	1/2	5.0	4.4	0.9		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　良土　c: 橙色　e: 良好
22	39		磁器	白磁合子蓋	天井部～体部小片	-	-	[0.9]		a: 型押し　b: 白色　精良堅緻　d: 外面無色　透明　釉層薄い　内面無釉
22	40		磁器	白磁口兀皿（紅付着）	1/8	(9.6)	-	[1.4]		b: 灰白色　黒色粒　精良堅緻　d: 灰白色　透明　口縁部釉剥ぎ取り　f: 口縁露胎部に紅付着（施釉部に付着したものは消えかけている）　大宰府編年　皿IX -1c
22	41		磁器	白磁鉄絵瓶	体部小片	-	-	[3.7]		b: 灰黄色　白色粒　精良堅緻　気孔あり　陶器質に近い　d: 灰色　透明　釉層薄い　内面無釉　f: 鉄絵
22	42		陶器	褐釉器種不明	底部片	-	(5.4)	1.4		a: 内外面横ナデ　b: 灰褐色　精緻　d: 褐釉　外面体部ツケガケ（又はナガシカケ）
22	43		陶器	常滑甕	口縁部小片	-	-	[2.1]		b: 黄灰色　砂　白色粒　c: 暗褐色　f: 縁帯部に磨ったような痕跡有　縁帯幅 1.0cm　中野編年 5 型式
22	44		陶器	常滑甕	口縁～頸部小片	-	-	[11.0]		a: 輪積み成形　b: 灰色　砂　黒色粒　長石粒　c: 内面黒褐色　d: 外面降灰部緑灰色　f: 縁帯幅 2.6cm　中野編年 5 型式
22	45		陶器	常滑甕	口縁部小片	-	-	[6.8]		b: 灰白色　長石粒　c: 内面暗褐色　d: 外面降灰部緑灰色　f: 縁帯幅 1.8cm　中野編年 6a 型式
22	46		陶器	常滑甕	底部片	-	(19.2)	[4.7]		a: 内面横方向ナデ　外面底部脇ヘラナデ　b: 黄灰色　砂　長石粒　c: 外面体部暗褐色　外面底部褐色　d: 内面降灰部暗褐色
22	47		陶器	常滑広口壺	口縁部片	-	-	[2.6]		b: 黄灰色　砂　長石粒　c: 暗赤褐色　f: 縁帯幅 1.3cm　中野編年 4 ～ 5 型式
22	48		陶器	常滑玉縁壺	口縁部小片	(8.8)	-	[3.3]		b: 黄灰色　白色粒　c: 内面褐灰色　外面黒褐色　d: 外面降灰部緑灰色
22	49		陶器	常滑壺	底部片	-	-	[5.0]		a: 内面指頭調整後ナデ　外面体部指頭調整後縦方向ナデ　底部脇横ナデ　b: 灰色　長石粒　c: 暗赤褐色
22	50		陶器	常滑鳶口壺	底部片	-	(9.4)	[3.8]		b: 灰色　砂　長石粒　c: 黒褐色
22	51		陶器	常滑片口碗か	口縁部小片	-	-	[2.1]		a: 横ナデ　b: 灰色　砂　白色粒　c: 褐色　d: 降灰付着
22	52		陶器	常滑片口鉢Ⅰ類	口縁部小片	-	-	[5.2]		a: 外面縦方向の横ナデ　b: にぶい橙色～黄灰色　長石粒　c: 内面褐釉外面にぶい褐色　d: 内面降灰部灰色　f: 口縁以外Ⅱ類
22	53		陶器	常滑片口鉢Ⅱ類	口縁部小片	-	-	[4.2]		a: 口縁部横ナデ　b: 褐灰色　砂　長石粒　c: 内外面褐色　f: 口縁以外Ⅰ類
22	54		陶器	（常滑？）山茶碗	口縁部片	-	-	[2.9]		b: 暗灰色　長石粒　c: 暗褐色　e: 良好
22	55		陶器	瀬戸水注	肩部小片	-	-	[1.8]		b: 灰白色　d 外面：灰釉ハケヌリ　釉層薄い　e: 良好　f: 押印　花文＋条線文　前Ⅲ～中Ⅰ期
22	56		陶器	瀬戸卸皿	底部小片	-	-	[1.1]		a: 外底糸切痕　b: 灰白色　d: 緑灰色の灰釉　外面上体部・内面ツケガケ　釉層薄い　e: 良好
22	57		陶器	瀬戸卸皿	底部小片	-	-	[1.5]		a: 外底糸切痕　b: にぶい黄橙色　d: 灰白色の灰釉　ハケヌリ　釉層薄い　e: 良好　f: 前期～中期前半
22	58		土製品	土器質火鉢	口縁部小片	-	-	[4.4]		a: 内面～口縁部横ナデ　外面胴部指頭調整後ナデ　b: にぶい橙色　砂　赤色粒 e: 良好
22	59		土製品	土器質火鉢	口縁部小片	-	-	[4.8]		a: 内面～口縁部横ナデ　外面胴部指頭調整後ナデ　b: 明黄褐色～にぶい橙色　中心部分灰色　砂　f: 二次焼成による色ムラ有　河野分類Ⅰ C 類
22	60		土製品	瓦器質火鉢	口縁部小片	-	-	[5.7]		b: 浅黄橙～灰白色　砂　小石　e: 良好　f: 体部押印菊花文　河野分類Ⅲ類
22	61		土製品	瓦器質火鉢	口縁部小片	-	-	[5.5]		b: 浅黄橙～灰色　砂　赤色粒　小石　e: 良好　f: 体部押印菊花文　河野分類Ⅲ類　イ―83 と同一個体の可能性有り
22	62		土製品	瓦器質火鉢	口縁部小片	-	-	[7.1]		a: 内面～口縁部横方向ミガキ　b: 灰色　砂　黒色粒　気泡が多い　e: 良好　f: 押印菊花文　河野分類Ⅲ類
22	63		土製品	軒丸瓦	瓦頭部小片	-	-	[5.4]		b: 灰白色　微砂　小石粒　c: 灰色　f: 瓦当部、蓮華文
22	64		石製品	滑石製鍋加工品		最大長 [7.0]	最大幅 [5.9]	最大厚 [2.2]		f: 滑石製鍋の鍔から下体部にかけて直線的に工具で切断一カ所、他の断面は割れ
22	65		石製品	砥石		最大長 [6.5]	最大幅 [4.7]	最大厚 [2.4]		c: 淡黒橙色　f: 天草産　中砥　4 面使用　両木口欠損
22	66		鉄製品	刀子	-	長 [4.6]	幅 1.0	厚 0.25	3.0g	f: 両端部欠損
22	67		鉄製品	火箸	-	長 36.0	Φ 0.4	-	25.7g	
22	68		鉄製品	釘	-	長 9.4	幅 0.7	厚 0.4	21.3g	f: 四角形状に鍛造
22	70		鉄製品	釘	-	長 6.6	幅 0.4	厚 0.3	7.3g	f: 四角形状に鍛造
22	71		鉄製品	釘	-	長 [5.7]	幅 0.5	厚 0.3	8.9g	f: 四角形状に鍛造　先端部欠損

図版	No.	出土遺構	材質	種別	遺存度	寸法（cm）				観察項目
						口径	底径	器高	重	a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
22	72	3面遺構外	鉄製品	釘	-	長 4.7	幅 0.3	厚 0.2	2.8g	f: 四角形状に鍛造
22	73		鉄製品	釘	-	長 6.1	幅 0.5	厚 0.3	3.8g	f: 四角形状に鍛造
22	69		鉄製品	器種不明	-	長 7.5	幅 0.4	厚 0.2	4.7g	f: 四角形状に鍛造
22	74		銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.6	-	3.6g	f: 元祐通寶
22	75		銅製品	銭	完形	直径 2.5	内孔 0.7	-	2.9g	f: 嘉祐通寶
22	76		銅製品	銭	完形	直径 2.5	内孔 0.6	-	3.2g	f: 皇宋通寶
22	77		銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.6	-	3.6g	f: 元豊通寶（行書）
22	78		銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.6	-	3.2g	f: 元豊通寶（篆書）
23	79	3面構成土	土製品	ロクロかわらけ（大）	1/3	(11.8)	(6.2)	3.3		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　良土　c: 黄橙色　e: 良好
23	80		土製品	ロクロかわらけ（大）	1/4	(11.8)	(6.8)	3.2		a: 内底ナデ　外底回転糸切　b: 微砂　雲母　海綿骨針　良土　c: 橙色　e: 良好
23	81		土製品	ロクロかわらけ（大）	ほぼ完形	12.3	8.5	3.3		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 橙色　e: 良好　f: 口縁部に煤付着
23	82		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/4	(8.6)	(6.4)	1.7		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　良土　c: 黄橙色　e: 良好
23	83		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(8.4)	(5.4)	1.6		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　良土　c: 黄橙色　e: 良好
23	84		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(8.6)	(6.4)	1.8		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　良土　c: 黄橙色　e: 良好
23	85		土製品	ロクロかわらけ（小）	2/3	7.7	6.4	1.8		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
23	86		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(8.4)	(6.0)	1.8		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　良土　c: 黄橙色　e: 良好
23	87		土製品	ロクロかわらけ（小）	完形	5.2	4.0	1.0		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 灰橙色　e: 良好
23	88		土製品	内折れかわらけ（小）	2/3	(7.0)	(6.0)	1.2		a: 外底糸切か？　b: 微砂　雲母　赤色粒　橙色土　粗土　c: 淡橙色　e: 良好　f: 外底部ミガキ調整？
23	89		土製品	手づくねかわらけ（小）	1/2	(9.2)	-	1.8		a: 外面下半指頭痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
23	90		土製品	内折れかわらけ（小）	1/2	(5.6)	-	[0.9]		a: 手捏ね　外面下半指頭痕　b: 微砂　雲母　良土　c: 灰白色　e: 良好　硬質　f: 内底一部煤付着
23	91		磁器	青白磁合子蓋	体部小片	-	-	[1.2]		a: 型押し　b: 灰白色　精良堅緻　d: 水青色　透明　内面は釉層薄い　f: イ-98と同一個体の可能性
23	92		磁器	青白磁合子蓋	天井部小片	-	-P662	[0.9]		a: 型押し　b: 灰白色　精良堅緻　d: 水青色　透明　内面は釉層薄い
23	93		磁器	青白磁袴腰形香炉か	口縁～脚部小片	-	-	[5.9]		b: 白色　精良堅緻　d: 水青色　不透明　釉層薄い　f: 被熱か
23	94		陶器	常滑甕	口縁部片	-	-	[4.1]		a: 輪積み成形　b: 灰色　微砂　長石　石英　礫粒　c: 茶褐色　e: 良好　f: 緑帯幅1.7㎝　中野編年5型式
23	95		陶器	常滑甕	口縁部片	-	-	[10.0]		a: 輪積み成形　b: 灰色　微砂　長石　石英　礫粒　c: 黒褐色　d: 口縁部および外面に灰緑色の自然釉　e: 良好　f: 緑帯幅2.1㎝　中野編年5型式
23	96		陶器	常滑甕	口縁部片	-	-	[10.5]		a: 輪積み成形　b: 灰色　微砂　長石　石英　c: 黒褐色　d: 口縁部および外面に灰緑色の自然釉　e: 良好　f: 緑帯幅2.0㎝　中野編年5型式
23	97		陶器	常滑甕	口縁部片	-	-	[10.5]		a: 輪積み成形　b: 灰色　微砂　長石　石英　礫粒　c: 茶褐色　d: 口縁～外面に灰緑色の自然釉　外面やや厚め　e: 良好　f: 緑帯幅1.9㎝　中野編年5型式
23	98		陶器	常滑甕	口縁部片	-	-	[10.5]		a: 輪積み成形　b: 灰色　微砂　長石　石英　礫粒　c: 茶褐色　d: 緑帯～外面に灰緑色の自然釉　やや厚め　e: 良好　f: 緑帯幅1.9㎝　中野編年5型式
23	99		陶器	常滑甕	口縁部片	-	-	[9.2]		a: 輪積み成形　b: 灰色　微砂　長石　石英　c: 茶褐色　d: 口縁内面上部に黄緑茶色の自然釉やや厚い　外面薄い　e: 良好　f: 緑帯幅2.6㎝　緑帯上部に何かを押しつけた痕跡　中野編年6a型式
23	100		陶器	常滑甕	口縁部片	-	-	[4.4]		a: 輪積み成形　b: 灰色　微砂　長石　石英　礫粒　c: 黒灰色　e: 良好　f: 緑帯幅2.0㎝　中野編年6a型式
23	101		陶器	常滑広口壺	口縁部片	(22.6)	-	[6.0]		a: 輪積み成形　b: 灰茶色　微砂　長石　礫粒　c: 赤褐色　e: 良好　f: 緑帯幅1.0㎝　中野編年5型式
23	102		陶器	常滑広口壺	口縁部片	-	-	[6.7]		a: 輪積み成形　b: 灰色　微砂　長石　石英　礫粒　c: 暗褐色　d: 緑帯～外面に緑灰色～褐色の自然釉　e: 良好　f: 緑帯幅1.8㎝　口縁部1㎝代付着物　中野編年6a型式
23	103		陶器	常滑広口壺	口縁部片	-	-	[5.7]		a: 輪積み成形　b: 灰色　微砂　長石　石英　礫粒　c: 灰茶色　d: 外面に緑灰色の自然釉　e: 良好　f: 緑帯幅1.7㎝　中野編年5型式
23	104		陶器	常滑片口碗	口縁部片	-	-	[3.5]		b: 灰色　微砂　長石　石英　c: 茶褐色　e: 良好　f: 中野編年4型式？

図版	No.	出土遺構	材質	種別	遺存度	寸法（cm）				観察項目
						口径	底径	器高	重	a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
23	105	3面構成土	陶器	常滑 器種不明	底部片	-	(8.8)	[3.1]		a: 外底回転糸切（右回転） b: 灰色　微砂　白色粒　c: 暗灰色　d: 内面灰緑色自然釉 e: 良好
23	106		陶器	尾張型山皿	1/4	(8.2)	(5.6)	1.4		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転） b: 微砂　白色粒　小石粒　c: 灰色　e: 良好　f: 口縁部煤付着
23	107		陶器	渥美湖西 山茶碗	底部片	-	-	[3.4]		a: 付け高台　b: 微砂　白色粒　c: 灰色　e: 良好
23	108		陶器	瀬戸 天目茶碗	底部 約2/3	-	5.0	[4.9]		a: 外底糸切痕 b: 灰白色　やや粗　d: 鉄釉ツケガケ又はナガシガケ、無釉部分は鉄化粒 e: 良好　軟質 f: 古瀬戸中Ⅱ期か
23	109		陶器	瀬戸 卸皿	口縁部～ 底部小片	-	-	3.4		a: 外底糸切痕　b: 灰白色　精良土　d: 内面全体～外面上体部に灰釉を施釉　ハケヌリ　釉層薄い　e: 良好　軟質　f: 古瀬戸前期後半か
23	110		陶器	瀬戸 入子	ほぼ完形	3.1	2.1	0.7		a: 外底ケズリ　b: 灰白色　精良　d: 内面降灰部淡緑灰色　e: 良好　硬質
23	111		土製品	土器質 火鉢	口縁部片	-	-	[4.5]		b: 灰黒色　粗砂　礫粒　c: 灰白色　e: 良好　f: 河野分類ⅠA類
23	112		土製品	土器質 火鉢	口縁部片	-	-	[3.6]		b: 灰黒色　粗砂　c: 灰白色　e: 良好　f: 河野分類ⅠC類
23	113		土製品	瓦質 火鉢	胴部片	-	-	[4.7]		b: 灰白色　粗砂　黒色粒　c: 暗灰色　e: 良好　f: 黒色処理　押印菊花文　河野分類Ⅲ類
23	114		土製品	瓦器質 黒緑皿	口縁部片	-	-	[2.5]		b: 灰色　微砂　c: 灰色　e: 良好　f: 口縁頂部～外面上部灰黒色
23	115		土製品	伊勢系土鍋	口縁部片	-	-	[1.5]		b: 灰白色　微砂　白色粒　c: 灰白色　e: 良好
23	116		土製品	伊勢系土鍋	口縁部片	-	-	[2.2]		b: 暗灰色　微砂　雲母　長石　c: 灰白色　e: 良好
23	117		石製品	滑石 温石か	-	最大長 [6.3]	最大幅 8.0	最大厚 1.5		f: 加工痕有
23	118		石製品	滑石製品	完形	長 5.2	幅 3.3	厚 1.6		c: 灰色　f: 上部中央に穿孔あり
23	119		石製品	碁石	完形	直径 1.8	-	厚 0.45		c: 黒色
23	120		石製品	碁石	完形	直径 1.9	-	厚 0.5		c: 黒色
23	121		石製品	砥石	-	最大長 [6.3]	最大幅 4.1	最大厚 [0.9]		c: 橙色　f: 産地不明　仕上砥　両側面に加工痕あり　砥面一面
23	122		石製品	砥石	-	最大長 [9.2]	最大幅 3.3	最大厚 1.6		c: 淡黄灰色　f: 鳴滝産　仕上砥　両側面に加工痕　砥面一面
23	123		骨製品	器種不明	-	最大長 [1.8]	最大幅 [2.0]	最大厚 [0.4]		f: 刻みによる模様
23	124		鉄製品	火打金	-	最大長 [3.0]	最大幅 [8.8]	最大厚 [0.3]	32.0g	f: 剥離している
23	125		鉄製品	釘	-	長 8.0	幅 0.4	厚 0.2	2.9g	f: 四角形状に鍛造
23	126		鉄製品	釘	-	長 7.1	幅 0.3	厚 0.2	3.2g	f: 四角形状に鍛造
23	127		鉄製品	釘	-	長 7.0	幅 0.3	厚 0.2	2.1g	f: 四角形状に鍛造
23	128		鉄製品	釘	-	長 6.7	幅 0.5	厚 0.4	7.1g	f: 四角形状に鍛造
23	129		鉄製品	釘か	-	長 [4.7]	Φ 0.6	-	3.9g	f: 円柱状
23	130		鉄製品	釘	-	長 [3.0]	幅 0.6	厚 0.7	3.6g	f: 四角形状に鍛造　先端部欠損
23	131		鉄製品	不明	-	長 3.9	幅 [3.1]	厚 0.2	9.1g	
23	133		銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.6	-	2.7g	f: 開元通寶　唐
23	134		銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.6	-	3.9g	f: 祥符通寶　北宋 1008 年
23	135		銅製品	銭	完形	直径 2.5	内孔 0.7	-	3.6g	f: 皇宋通寶　北宋 1038 年
23	136		銅製品	銭	完形	直径 2.3	内孔 0.7	-	2.6g	f: 乾元重寶　唐 758 年
23	137		銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.6	-	3.3g	f: 紹聖元寶（行書）　北宋 1094 年
23	138		銅製品	銭	一部欠損	直径 2.5	-	-	2.1g	f: 紹聖元寶（篆書）　北宋 1094 年
23	132		銅製品	不明	-	長 2.6	幅 2.5	高 0.6	3.0g	
26	1	231	土製品	ロクロ かわらけ（小）	1/3	(8.2)	(5.8)	1.5		a: 内底ナデ　外底回転糸切　b: 微砂　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
26	2	231	土製品	ロクロ かわらけ（小）	1/2	(7.8)	(5.2)	1.3		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
26	3	231	土製品	ロクロ かわらけ（小）	1/2	(7.8)	4.8	1.8		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
26	4	231	土製品	ロクロ かわらけ（小）	ほぼ完形	(7.2)	5.0	1.65		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 橙色　e: 良好　f: 歪み有

図版	No.	出土遺構	材質	種別	遺存度	寸法（cm）				観察項目
						口径	底径	器高	重	a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
26	5	231	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/4	(8.2)	(5.6)	1.7		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
26	6	231	土製品	ロクロかわらけ（極小）	1/5	(4.4)	(2.0)	0.8		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右）　板状圧痕　b: 微砂　やや粗土　c: 黄灰色～黄橙色　e: 良好
26	7	231	土製品	手づくねかわらけ（小）	ほぼ完形	9.3	-	1.9		a: 内底ナデ　外面下半指頭痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　やや良土　c: 黄橙色　e: 良好
26	8	231	土製品	手づくねかわらけ（小）	1/3	(9.0)	-	[1.5]		a: 内底ナデ　外面下半指頭痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　やや粗土　c: 灰黄色　e: 良好
26	9	231	磁器	青磁劃花文碗	口縁部片	-	-	[2.4]		a: 内面劃花文　b: 灰色　精良堅緻　d: 灰緑色　不透明　釉層やや薄い　f: 大宰府編年　椀Ⅰ-2(b?)
26	10	231	磁器	青磁櫛掻文皿	底部片	-	-	[1.0]		b: 灰色　黒色粒　精良堅緻　d: 緑灰色　半透明　釉層薄い　気泡あり　f: 内底に櫛掻文　f: 大宰府編年　同安窯系皿Ⅰ-1b
26	11	231	磁器	青磁劃花文碗	胴部片	-	-	[2.2]		b: 灰色　白色粒　黒色粒　緻密　d: 灰緑色　半透明　釉層やや薄い　f: 大宰府編年　椀Ⅰ-2(b?)
26	12	231	磁器	青白磁合子蓋	天井部片	-	-	[9.9]		a: 型押し　b: 明灰色　黒色粒　精良堅緻　d: 緑灰色　釉層薄い　不透明　貫入　気泡あり
26	13	231	磁器	青白磁合子	身の破片	(9.0)	-	[1.9]		a: 型押し　b: 灰白色　黒色粒　精良堅緻　d: 明緑灰色　半透明　釉層やや薄め
26	14	231	磁器	白磁椀	底部片	-	(5.6)	[2.3]		b: 白色　緻密　d: 灰白色　釉層極薄い　高台無釉
26	15	231	磁器	白磁鉄絵の小壺	肩部片	-	-	[3.3]		b: 灰色　黒色粒　精良堅緻　d: 灰白色　釉層やや薄め　不透明　f: 鉄釉で文様の一部を残す
26	16	231	陶器	常滑甕	口縁部～頸部	-	-	[13.5]		b: 灰褐色　黒色粒　白色粒　c: 暗赤褐色　d: 外面降灰部黄灰色　f: 縁帯幅 1.6cm　中野編年 5 型式
26	17	231	陶器	常滑甕	口縁部片	-	-	[8.9]		a: 輪積み成形　b: 灰色　微砂　長石　礫粒　c: 黒褐色　d: 縁帯～外面に緑灰色の自然釉　e: 良好　f: 縁帯幅 2.2 ㎝　中野編年 6a 型式
26	18	231	陶器	常滑甕	口縁～肩部片	-	-	[14.9]		a: 輪積み成形　b: 灰色　微砂　長石　小礫粒　c: 赤褐色　d: 口縁上部～外面に茶褐色～緑灰色の自然釉　e: 良好　f: 縁帯幅 2.7 ㎝　中野編年 6a 型式
26	19	231	陶器	常滑甕	口縁部片	-	-	[10.0]		a: 輪積み成形　b: 微砂　雲母　長石　石英　c: 赤褐色　d: 口縁内外面に自然釉　e: 良好　f: 縁帯幅 2.9 ㎝　中野編年 6a 型式
26	20	231	陶器	常滑甕	底部片	-	-	[5.7]		b: 灰色～黄灰色　微砂　長石　c: 赤褐色　d: 内面に淡茶色～緑灰色の自然釉 e: 良好
26	21	231	陶器	常滑甕	底部片	-	-	[4.7]		a: 輪積み成形　b: 灰色　長石　小礫粒　c: 赤褐色　d: 内面～内底面に茶褐色～緑灰色の自然釉　内底面降灰　e: 良好　f: 窯道具か？外底に付着物有
26	22	231	陶器	常滑甕	底部片	-	15.0	[6.9]		a: 輪積み成形　外底部脇ヘラケズリ　b: 灰色　微砂　長石　小礫粒　c: 暗灰色～赤褐色　d: 内面降灰部暗灰色～緑灰色　e: 良好
26	23	231	陶器	常滑広口壺	口縁部片	-	-	[3.3]		b: 浅黄色　微砂　白色粒　黒色粒　小石粒　c: 褐色　f: 縁帯幅 1.0cm　中野編年 5 型式
26	24	231	陶器	常滑壺	口縁部片	-	-	[3.7]		b: 灰色　微砂　長石　c: 灰褐色　e: 良好
26	25	231	陶器	常滑小壺	胴～底部片	-	(6.1)	[6.5]		b: 灰色　微砂　長石　c: 黒褐色　d: 肩外部・内底部に自然釉　e: 良好
26	26	231	陶器	常滑片口鉢Ⅰ類	底部片	-	-	[5.2]		a: 輪積み　外面下部にヘラケズリ調整　b: 灰色　微砂　長石　石英　礫粒　c: 灰色　d: 内面下部に緑灰色の自然釉　e: 良好
26	27	231	陶器	常滑片口鉢Ⅱ類	口縁部片	-	-	[5.5]		a: 輪積み成形　b: 暗灰色　微砂　長石　c: 赤褐色　e: 良好
26	28	231	陶器	磨り常滑	-	最大長 9.1	最大幅 5.8	最大厚 1.0		b: 灰色　微砂　雲母　長石　c: 赤褐色　e: 良好　f: 割れ口一側面にスリ痕有
26	29	231	陶器	渥美片口鉢	口縁部片	-	-	[3.0]		b: 灰白色　微砂　白色粒　黒色粒　c: 黄灰色
26	30	231	陶器	東遠山皿か	底部片	-	(6.4)	[2.9]		a: 外底回転糸切（右回転）　b: 灰色　微砂　長石　c: 灰色　e: 良好
26	31	231	陶器	瀬戸卸皿	底部片	-	-	[1.1]		b: 灰色　良土　c: 緑灰色　d: 灰緑色施釉　外底部露胎　e: 良好
26	32	231	土製品	平瓦	小片	最大長 [7.6]	最大幅 [4.5]	最大厚 2.2		a: 凸面縄目痕　離れ砂付着　凹面糸切り痕？　ナデ？　b 灰色　微砂　小礫粒　c: 灰色　e: 良好
26	33	231	土製品	土錘	完形	長 5.6	最大幅 2.7	孔径 0.8	内孔 1.0	b: 雲母　海綿骨針　良土　c: 黒褐色　f: 表面全てが黒色なのは被熱か？
26	34	231	石製品	砥石	-	最大長 [2.3]	最大幅 [2.4]	最大厚 [1.2]		c: 黄灰色　f: 鳴滝産　仕上砥　（砥面）表裏と両側面の 4 面使用　両端は破損による断面　裏面に半月状に窪む　表面はなめらかだが砥面ではなく加工痕と考えられる。
26	35	231	石製品	泥岩加工品	-	最大長 5.1	最大幅 4.5	最大厚 1.8		c: 淡黄色　f: 全側面にノコ痕有
26	36	231	鉄製品	火鑽板	-	長 12.1	幅 3.7	厚 0.4	47.9	
26	37	231	鉄製品	釘	-	長 [4.2]	幅 0.5	厚 0.4	2.9g	f: 四角形状に鍛造　先端部欠損
26	38	231	鉄製品	釘	-	長 [6.3]	幅 0.6	厚 0.5	5.5g	f: 四角形状に鍛造　先端部欠損
26	39	231	銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.7	-	3.3g	f: 元祐通寶（行書）　北宋 1086 年

図版	No.	出土遺構	材質	種別	遺存度	寸法（cm）				観察項目
						口径	底径	器高	重	a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
26	40	231	銅製品	銭	完形	直径 2.5	内孔 0.6	-	3.3g	f: 元祐通寶（行書） 北宋 1086 年
26	41	231	銅製品	銭	完形	直径 2.3	内孔 0.6	-	3.6g	f: 紹聖元寶（篆書） 北宋 1094 年
26	42	231	銅製品	銭	1/2	直径 2.3	内孔 0.7	-	1.5g	f: 天漢元寶？ 917 年
26	43	231	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(8.2)	(6.0)	1.9		a: 内底ナデ 外底回転糸切（右回転） b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好
26	44	231	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/2	(8.2)	(6.8)	1.6		a: 内底ナデ 外底回転糸切（右回転） b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好 f: 内外面一部灰茶色
26	45	231	磁器	青白磁壺	口縁部片	(5.8)	-	[2.7]		b: 灰白色 白色粒 黒色粒 精良堅緻 d: 明緑灰色 半透明
26	46	231	鉄製品	釘塊	-	長 6.8	幅 2.9	厚 3.0	32.3g	
27	47	232-235	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(9.2)	(6.0)	1.9		a: 内底ナデ 外底回転糸切 b: 微砂 雲母 海綿骨針 やや粗土 c: 橙色 e: 良好
27	48	232-235	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/4	(7.8)	(5.2)	1.6		a: 内底ナデ 外底回転糸切（右回転） b: 微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c: 灰黄色 e: 良好
27	49	232-235	土製品	内折れ白かわらけ	1/4	(5.8)	-	0.7		a: 手捏ね 外面下半指頭痕 b: 灰白色 微砂 良土 c: 灰白色 e: 良好 f: 底部～口縁部が灰黒色に変色
27	50	232-235	土製品	手づくねかわらけ（極小）	1/3	(5.0)	(4.0)	0.7		a: 底面指頭痕 b: 微砂 雲母 やや粗土 c: 暗灰色 e: 良好 f: 被熱
27	51	232-235	陶器	常滑甕	口縁部片	-	-	[9.9]		a: 輪積み成形 b: 灰色～暗灰色 微砂 小礫粒 c: 褐色 d: 口縁頂部・肩部に灰緑色の自然釉 e: 良好 f: 緑帯幅 3.0cm 中野編年 6a 型式
27	52	232-235	陶器	常滑玉縁壺か	口縁部片	-	-	[4.6]		a: 輪積み成形 b: 灰色 長石 石英 礫粒 c: 赤褐色 d: 口縁頂部・肩部に灰緑色の自然釉 e: 良好 f: 中野編年 6a 型式
27	53	233	陶器	常滑小壺	底部片	-	(8.4)	3.4		a: 輪積み成形 外底脇ヘラケズリ b: 灰色 微砂 小礫粒 c: 赤褐色 e: 良好
27	54	233	陶器	常滑片口鉢Ⅱ類	口縁部片	-	-	[7.7]		a: 輪積み成形 b: 黄灰色 微砂 白色粒 礫粒 c: 灰色 d: 口縁部～内面に黄灰色の自然釉 e: 良好
27	55	233	石製品	硯	-	最長 [4.1]	幅 [2.4]	[0.35]		c: 黄灰色 f: 鳴滝産 底部剥離
27	56	233	骨製品	器種不明	-	長 3.75	幅 1.7	厚 0.6		c: 黄橙色
27	57	234	磁器	青磁碗	口縁部片	-	-	[4.0]		b: 灰色 黒色粒 精良堅緻 d: 青灰色 半透明 釉層やや薄い f: 大宰府編年 椀Ⅰ -1a
27	58	234	陶器	常滑甕	口縁部片	-	-	[8.9]		a: 輪積み成形 b: 灰色 微砂 長石 礫粒 c: 暗灰色 d: 緑帯～外面に白灰色の自然釉 e: 良好 f: 緑帯幅：1.7 ㎝ 中野編年 6a 型式
27	59	235	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(9.4)	(7.0)	2.0		a: 内底ナデ 外底回転糸切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c: 灰黄色 e: 良好 f: 口縁部歪み激しい
27	60	235	陶器	常滑甕	底部片	-	(13.2)	[3.8]		a: 輪積み成形 b: 灰色 微砂 長石 礫粒 c: 赤褐色 d: 内面に灰緑色の自然釉 e: 良好
27	61	181	土製品	ロクロかわらけ（大）	1/3	(12.4)	8.6	3.0		a: 内底ナデ 外底回転糸切（右回転） 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 泥岩 粗土 c: 橙色 e: 良好
27	62	184	陶器	常滑片口鉢Ⅰ類	口縁部片	-	-	[6.3]		b: 灰色 砂 長石粒 c: 灰色 d: 内面降灰部淡緑灰色
27	63	184	陶器	常滑片口鉢Ⅰ類	口縁部片	-	-	[4.8]		b: 灰色 砂 長石粒 c: 灰色
27	64	201	陶器	常滑壺	口縁部片	-	-	[7.0]		a: 輪積み成形 b: 灰白色 白色粒 黒色粒 c: 内面褐色 d: 外面～内面口縁の降灰部緑灰色 f: 緑帯幅 1.1cm 中野編年 6 型式
27	65	201	陶器	常滑甕	底部片	-	(16.2)	[7.8]		a: 輪積み成形 外面縦方向のヘラナデ b: 灰白色 小石粒 c: 外面褐色 d: 内面降灰部緑灰色 f: 内底面付着物有
27	66	201	土製品	瓦器碗	底部小片	-	(4.8)	[0.6]		b: 灰白色 黒色粒 c: 外面黒色 f: 見込みに菊花の暗文 f: 大宰府編年 ⅢIX -1
27	67	206	陶器	常滑片口鉢Ⅰ類	口縁部片	-	-	[6.9]		a: 外面ハケナデ b: にぶい黄橙 砂粒 c: にぶい黄橙 d: 内面降灰部淡緑灰色 f: 口縁部以外Ⅱ類
27	68	207	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/4	(7.2)	5.0	2.0		a: 内底ナデ 外底回転糸切（右回転） b: 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 粗土 c: 橙色 e: 良好
27	69	210	陶器	常滑壺	底部片	-	(7.5)	[6.4]		a: 内面指頭調整 横ナデ b: 黄灰色 白色粒 c: 内面暗褐色 外面黒褐色 d: 内面降灰部緑灰色
27	70	211	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/2	(7.6)	(5.4)	1.9		a: 内底ナデ 外底回転糸切 板状圧痕 b: 微砂 赤色粒 泥岩粒 粗土 砂質 c: 黄橙色 e: 良好
27	71	212	土製品	ロクロかわらけ（小）	完形	8.0	6.5	1.2		a: 内底ナデ 外底回転糸切（右回転） 板状圧痕 b: 砂 雲母 赤色粒 良土 c: 黄灰色 e: やや甘い
27	72	214	磁器	白磁口兀皿	1/8	(10.6)	(7.4)	2.3		b: 灰白色 精良堅緻 d: 灰白色 不透明 f: 口唇部は釉剥ぎ取り 大宰府編年 ⅢIX -2
27	74	214	陶器	常滑甕	口縁部片	-	-	[8.4]		b: 灰緑色 砂粒 長石 小石粒 c: 外面黒褐色 d: 外面降灰部灰緑色 f: 緑帯幅 1.7cm 中野編年 6a 型式
27	75	214	陶器	常滑甕	肩部片	-	-	[8.3]		b: 明黄褐色 白色粒 黒色粒 小石粒 c: 外面赤褐色 内面黄褐色 d: 降灰部灰緑色 f: 外面押印 単一円形意匠菊花文（16 弁）
27	76	214	陶器	常滑甕	底部片	-	(20.0)	[8.0]		b: 黒褐色 砂粒 長石 小石粒 c: 外面黒褐色 底面橙色
27	77	214	陶器	常滑甕	底部片	-	-	[5.5]		a: 外底部脇から胴部ヘラナデ b: 灰黄色 砂粒 長石 小石粒 c: 内面灰緑色 外面赤褐色

図版	No.	出土遺構	材質	種別	遺存度	寸法（cm）				観察項目
						口径	底径	器高	重	a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
27	73	214	陶器	常滑 広口壺	口縁部片	-	-	[9.1]		b: 灰色　砂粒　長石　c: 内面褐色　外面黒褐色　f: 緑帯幅 2.0cm　中野編年 6a 型式　f: 一部被熱
27	78	214	土製品	土器質 火鉢	口縁部片	-	-	[7.1]		b: 灰褐色　砂粒　白色粒　c: 黒褐色　f: 河野分類Ⅰa類
30	79	228	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	底部片	-	(13.2)	[3.3]		a: 外底部脇回転削り　高台貼付け　b: 灰色　砂粒　白色粒　c: 灰色　f: 内面摩耗　高台・内面立ち上がり部煤付着　内面下部に煤痕有
30	80	228	土製品	瓦器 椀	口縁部	-	-	[2.8]		b: 灰黄色　黒色粒　c: 外面黒色　f: 内面平行線による暗文
30	81	229	銅製品	銭	完形	直径 2.5	内孔 0.7	-	3.4g	f: 皇宋通寶
30	82	230	陶器	渥美 山茶碗か	口縁部片	-	-	[3.6]		b: 灰色　微砂　長石　白色粒　黒色粒　c: 外面灰色
30	83	230	石製品	不明		最大長 [6.9]	最大幅 [5.4]	最大厚 0.9		c: 暗灰色　f: 1 側面は切断痕か？　他の側面・表・裏は研摩
30	84	4 面遺構外	土製品	ロクロ かわらけ（大）	1/4	(13.0)	(8.5)	3.4		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 砂　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　粗土　c: 橙色　e: 良好
30	85		土製品	ロクロ かわらけ（小）	1/4	(7.6)	(5.4)	1.8		a: 内底ナデ　外底回転糸切　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　粗土　砂質　c: 黄橙色　e: 良好
30	86		磁器	白磁 合子蓋	蓋小片	-	-	[0.7]		a: 型押し（草花文）　b: 明灰色　黒色粒　精良堅緻　c: 灰緑色　半透明
30	88		陶器	常滑 甕	胴部片	残存長 [8.5]	残存幅 [5.3]	残存厚 [1.1]		b: 灰白色　黒色粒　小石粒　c: 外面褐色　f: 外面押印　単一円形意匠菊花文（14 弁）
30	87		陶器	常滑 広口壺	口縁部片	-	-	[10.4]		a: 輪積み成形　外面縦方向ハケナデ　b: 黄灰色　白色粒　砂粒　c: 内面暗褐色　外面褐色　f: 緑帯幅 1.85cm　中野編年 6b 型式
30	89		陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	底部片	-	(16.6)	[6.2]		a: 外底部脇回転削り　高台貼付け　b: 灰～灰褐色　白色粒　c: 灰～灰褐色
30	90		陶器	磨り常滑	-	最大長 [5.25]	最大幅 7.4	厚 0.9		a: 中心部弱い研磨　甕の外体面と思われる部分は極丁寧な研磨　b: 微砂　c: 黒褐色　f: 常滑甕片を加工したものか
30	91		銅製品	銭	一部欠損	直径 2.4	内孔 0.7	-	3.3g	f: 元祐通寶　北宋 1086 年
30	92		銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.6	-	3.8g	f: 咸平元寶　北宋 998 年
30	93		銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.6	-	4.4g	f: 熙寧元寶
33	1	243	土製品	ロクロ かわらけ（大）	ほぼ完形	12.7	8.2	3.1		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 橙色　微砂　雲母　赤色粒　黒色粒　泥岩粒　やや粗土　c: 赤橙色　e: 良好　f: 被熱　内外半円状に黒色化　口縁歪み有
33	2	243	土製品	ロクロ かわらけ（小）	完形	8.0	5.6	1.7		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好　f: 口縁部煤付着
33	3	243	磁器	白磁 口兀皿	口縁部片	(11.6)	-	[3.1]		b: 灰白色　緻密　d: 灰白色　半透明　釉層極薄い　口縁頂部無釉　f: 大宰府編年　ⅢIX -1c
33	4	243	磁器	白磁 口兀皿	底部片	-	(6.0)	[1.5]		b: 灰色　緻密　d: 灰緑色　半透明　f: 大宰府編年　ⅢIX -1
33	5	243	陶器	磁竜窯 二彩盤	4/5	32.4	27.0	8.6		a: 外面下部ヘラ削り　b: 灰色　赤色粒　黒色粒　白色粒　d: 緑色　黄色　内低～外面下部まで施釉　e: 良好　f: 被熱　内面下部に極浅く二条の沈線
33	6	243	陶器	常滑 甕	口縁部片	-	-	[10.2]		a: 輪積み成形　b: 灰色　微砂　長石　小礫粒　c: 赤褐色　e: 良好　f: 緑帯幅 2.6 ㎝　中野編年 6a 型式
33	7	243	陶器	常滑 甕	口縁部 ～肩部片	(49.8)	-	[12.0]		a: 輪積み成形　b: 灰色　微砂　長石　石英　c: 灰色　d: 口縁内外面に灰～灰白色の自然釉　e: 良好　f: 緑帯幅 2.1 ㎝　中野編年 6a 型式
33	8	243	陶器	常滑 広口壺	口縁部 ～肩部片	(32.4)	-	[16.3]		a: 輪積み成形　b: 暗灰色　微砂　長石　小礫粒　c: 黒褐色　d: 口縁内外面に灰緑色の自然釉　e: 良好　f: 緑帯幅 2.2 ㎝　内面人工的に剥離　中野編年 6a 型式
33	9	243	陶器	常滑 広口壺か	口縁部片	-	-	[5.0]		a: 輪積み成形　b: 灰色　微砂　長石　石英　礫粒　c: 黒褐色　d: 口縁頂部～内面に自然釉　e: 良好　f: 緑帯幅 2.1 ㎝　中野編年 5 型式
33	10	243	陶器	常滑 盤か	口縁 ～底部片	-	-	3.55		b: 灰色　微砂　長石　石英　礫粒　c: 灰褐色　e: 良好
33	11	243	陶器	瀬戸 卸皿	口縁部 ～底部片	(15.5)	(12.1)	3.4		a: 外面斜めに溝状のヘラ痕　b: 灰白色　砂粒　良土　d: 内面淡灰緑色の灰釉　薄い刷毛塗り　外面黄褐色
33	12	243	陶器	瀬戸 卸皿	口縁部 ～底部片	(15.4)	(12.4)	3.4		a: 外面斜めに溝状のヘラ痕　b: 灰白色　砂粒　良土　d: 内面淡灰緑色の灰釉　薄い刷毛塗り　塗りムラが多い　外面黄褐色
33	13	243	鉄製品	釘	-	長 7.4	幅 0.4	厚 0.4	6.1g	f: 四角形状に鍛造
33	14	243	銅製品	銭	一部欠損	直径 2.5	内孔 -	-	1.5g	f: 至道元寶（行書）　北宋 995 年
33	15	243	銅製品	銭	完形	直径 2.5	内孔 0.65	-	3.5g	f: 紹聖元寶（篆書）　北宋 1094 年
33	16	243	銅製品	器種不明	-	長辺 1.9	短辺 1.1	幅 0.1	厚 0.1	重さ 1.0g
33	17	243	銅製品	器種不明	-	長辺 1.9	短辺 1.4	幅 0.6	厚 0.05	重さ 1.2g
33	18	243	銅製品	器種不明	-	長 [4.6]	幅 1.1	高 0.5	厚 0.1	重さ 3.7g

図版	No.	出土遺構	材質	種別	遺存度	寸法（cm）				観察項目
						口径	底径	器高	重	a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
34	19	244	陶器	瀬戸 卸皿	口縁部片	(15.2)	-	[2.9]		b: 灰白色　砂粒　白色粒　黒色粒　良土　d: 灰緑色　釉層薄い　e: 良好
34	20	244	鉄製品	釘	-	長 6.9	幅 0.5	厚 0.4	4.9g	f: 四角形状に鍛造
34	21	244	銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.65	-	2.9g	f: ■■元寶　腐食激しい
34	22	244	土製品	ロクロ かわらけ（大）	1/3	(12.4)	(7.4)	3.2		a: 内底ナデ　外底回転糸切　b: 微砂　赤色粒　白色粒　黒色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
34	23	244	土製品	ロクロ かわらけ（小）	ほぼ完形	7.6	5.0	1.9		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　赤色粒　白色粒　黒色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
34	24	244	土製品	ロクロ かわらけ（小）	1/4	(8.4)	(6.2)	1.5		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　c: 橙色　e: 良好
34	25	244	磁器	青磁 蓮弁文鉢	底部片	-	-	[2.9]		b: 灰白色　黒色微砂　精良堅緻　d: 灰緑色　不透明　釉層厚め　畳付露胎　内底印花文
34	26	244	陶器	常滑 甕	口縁部片	-	-	[7.6]		b: 灰黄色　白色粒　黒色粒　小石粒　c: 灰緑色　f: 縁帯幅 2.2cm　中野編年 5 ～ 6a 型式
34	27	244	陶器	常滑 甕	胴部片	残存長 [5.0]	残存幅 [4.5]	残存厚 [1.1]		b: 黄灰色　砂粒　白色粒　黒色粒　小石粒　c: 内面黄灰色　外面灰黄褐色　f: 外面押印　菊花文（13 弁）
34	28	244	陶器	常滑 甕	底部片	-	(12.0)	[3.2]		b: 灰褐色　白色粒　黒色粒　小石粒　c: 外側暗赤褐色　d: 内面降灰部灰緑色
34	29	244	陶器	常滑 片口碗	胴部 ～底部	-	-	[8.2]		b: 黒褐色　白色粒　小石粒　c: 外面暗赤褐色
34	30	244	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	口縁部片	-	-	[6.5]		b: 灰褐色　砂粒　長石　白色粒　小石粒　c: 灰褐色
34	31	244	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	口縁部片	-	-	[4.7]		b: 灰色　砂粒　白色粒　c: 外面灰色　d: 内面降灰部灰緑色
34	32	244	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	口縁部片	-	-	[3.8]		b: 灰褐色　長石　石英　白色粒　黒色粒　c: 暗褐色
34	33	244	石製品	滑石鍋	口縁部片	-	-	[5.7]		a: 外面ノミによる削り加工　c: 灰白色　f: 内面擦痕有
34	34	244	土製品	縄文 深鉢	口縁部片	-	-	[7.5]		a: 沈線 1 本あり　横ミガキ痕　b: 灰色　微砂　黒雲母　白色粒　黒色粒　泥岩粒　良土　c: 外面淡橙色～黒色　f: 縄文時代後期か
34	35	244	木製品	箸	-	長 20.3	幅（系） 0.7			f: 中央で 2 つに折れる
34	36	244	木製品	板状製品 部材	-	長 (14.7) [14.6]	幅 2.2 [2.1]	厚 0.2 ～ 0.5	最大厚 0.6	f: 柾目材
34	37	244	木製品	部材か 部材	-	縦 5.2 長 12.4	横 12.2 幅 5.3	厚 1.6	最大幅 1.7	
34	38	244	木製品	部材か 部材	-	縦 8.3 長 8.6	横 8.9 [9.6]	厚 2.0 1.8		f: 板目材
34	39	244	木製品	部材か	-	縦 9.5	横 11.5	厚 4.0		f: 板目材　腐食激しい
34	40	241	土製品	ロクロ かわらけ（小）	ほぼ完形	8.7	6.9	1.65		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　良土　c: 橙色　e: 良好　f: 楕円形に歪む
34	41	241	陶器	常滑 甕	口縁部片	-	-	[11.3]		a: 輪積み成形　b: 微砂　長石　石英　小礫　c: 黄灰色　d: 外面に灰白色の自然釉　e: 良好　f: 縁帯幅 1.9 ㎝　中野編年 6a 型式
34	42	241	陶器	常滑 甕	底部片	-	17.4	[9.0]		a: 輪積み成形　b: 灰色　微砂　長石　小礫粒　c: 灰茶色　e: 良好
34	43	242	陶器	常滑 甕	底部片	-	(15.0)	[5.3]		a: 輪積み成形　外面下部ヘラ調整　b: 灰色　微砂　長石　小礫粒　c: 茶褐色　e: 良好
34	44	242	石製品	泥岩加工品	-	最大長 4.3	最大幅 4.2	最大厚 1.5		f：全体にスリ痕あり
35	45	5 面遺構外	土製品	ロクロ かわらけ（小）	1/3	(8.4)	(7.0)	1.6		a: 外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
35	46		土製品	ロクロ かわらけ（小）	1/2	(7.6)	(5.0)	1.5		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
35	47		土製品	手づくね かわらけ（小）	1/3	(8.6)	-	2.0		a: 内底ナデ　外面下半指頭痕　b: 微砂　雲母　良土　c: 灰黄色 e: 良好
35	48		土製品	手づくね かわらけ（小）	1/3	(8.8)	-	1.7		a: 外面下半指頭痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
35	49		土製品	手づくね 白かわらけ （小）	2/3	6.6	-	1.2		a: 外面下半指頭痕　b: 微砂　やや良土　c: 灰白色　e: 良好
35	50		磁器	青磁 蓮弁文碗	口縁部片	-	-	[3.3]		b: 灰白色　緻密　d: 緑灰色　半透明　気泡あり　f: 大宰府編年　椀Ⅲ -2c
35	51		磁器	青磁 蓮弁文碗	口縁部片	-	-	[3.1]		b: 灰白色　緻密　d: 緑灰色　半透明　f: 大宰府編年　椀Ⅲ -2c
35	52		磁器	青磁 折縁鉢	口縁部 ～胴部片	(9.2)	-	[3.0]		b: 灰白色　黒色粒　精良堅緻　口唇部褐色　d: 灰緑色　不透明　釉層厚め　f: 大宰府編年　坏Ⅲ -1a

図版	No.	出土遺構	材質	種別	遺存度	寸法（cm）				観察項目
						口径	底径	器高	重	a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
35	53	5面遺構外	磁器	白磁 口兀皿	口縁部片	-	-	[3.2]		b: 灰白色 緻密 d: 灰白色 不透明 釉層やや薄い 貫入あり 口縁頂部無釉 f: 大宰府編年 皿IX -1c
35	54		磁器	白磁 口兀皿	底部片	-	-	[1.0]		b: 灰白色 緻密 d: 灰白色 半透明 釉層やや薄い f: 大宰府編年 皿IX -1
35	55		磁器	白磁 口兀皿	底部片	-	-	[0.8]		b: 灰白色 緻密 d: 灰白色 半透明 釉層やや薄い f: 大宰府編年 皿IX -1
35	56		陶器	常滑 甕	口縁～肩部片	-	-	[9.9]		a: 輪積み成形 b: 灰色 微砂 長石 小礫 c: 暗褐色 e: 良好 f: 緑帯幅 2.9 ㎝ 中野編年 6b 型式
35	57		陶器	常滑 甕	肩部片	残存長 [7.2]	残存幅 [14.0]	残存厚 [1.0]		b: 灰褐色 砂粒 長石 石英 小石粒 c: 外面灰黄褐色 f: 外面押印 円形意匠菊花文（16 弁）
35	58		陶器	常滑 甕	肩部片	残存長 [9.5]	残存幅 [10.0]	残存厚 [1.0]		b: 褐灰色 砂粒 石英 白色粒 黒色粒 小石粒 c: 外面灰黄褐色 f: 外面押印 円形意匠菊花文（16 弁）+ ヘラ描き線（5）
35	59		陶器	常滑 甕	胴部片	残存長 [6.4]	残存幅 [6.0]	残存厚 [1.3]		b: 黄橙色 砂粒 長石 石英 c: 外面赤褐色 f: 外面押印 円形意匠菊花文（12 弁）
35	60		陶器	常滑 壷	口縁部片	(17.8)	-	[7.4]		a: 輪積み成形 b: 灰色 微砂 長石 礫粒 c: 黒褐色 d: 外面降灰部灰緑色 e: 良好 f: 緑帯幅 0.5cm
35	61		石製品	滑石鍋	口縁～胴部片	-	-	[9.5]		c: 灰白色 f: 外面にケズリ調整痕有
35	62		骨製品	器種不明	-	径 2.05	-	厚 0.5		f：中央にΦ 0.3 ㎝の孔あり
35	63		鉄製品	刀子	-	長 [3.4]	幅 2.3	厚 0.6	9.9g	f: 両端部欠損 全体に錆付着
35	64		銅製品	銭	一部欠損	直径 2.3	内孔 0.65	-	2.4g	f: 開元通寶 唐 621 年
35	65		銅製品	銭	完形	直径 2.45	内孔 0.7	-	3.9g	f: 元豊通寶（行書） 北宋 1078 年
35	66		銅製品	銭	完形	直径 2.25	内孔 0.65	-	2.2g	f: 元豊通寶（篆書） 北宋 1078 年
35	67		銅製品	模鋳銭	一部欠損	直径 2.4	内孔 0.6	-	3.1g	f: 元豊通寶（篆書） 北宋 1078 年 湯道残存
35	68		銅製品	銭	一部欠損	直径 [2.0]	-	-	1.2g	f: 政和通寶（篆書） 北宋 1111 年
35	69		銅製品	器種不明	-	長 1.3	幅 1.3	厚 0.9	1.6g	f: 金メッキ加工
35	70	5面構成土	土製品	ロクロかわらけ（大）	1/3	12.2	7.0	3.1		a: 内底ナデ 外底回転糸切（右回転） 板状圧痕 b: 微砂 赤色粒 海綿骨針 良土 c: 黄灰色 e: 良好 f: 内外面煤付着
35	71		土製品	ロクロかわらけ（小）	ほぼ完形	9.35	7.9	1.85		a: 内底ナデ 外底回転糸切（右回転） 板状圧痕 b: 微砂 雲母 海綿骨針 やや良土 c: 橙色 e: 良好 f: 焼きムラ有 口縁楕円形
35	72		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/5	(9.8)	(7.4)	1.9		a: 内底ナデ 外底回転糸切（右回転） 板状圧痕 b: 微砂 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 灰黄色 e: 良好
35	73		土製品	ロクロかわらけ（小）	ほぼ完形	8.45	6.7	1.55		a: 内底ナデ 外底回転糸切（右回転） 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好 f: 外面口縁一部煤付着
35	74		土製品	ロクロかわらけ（小）	完形品	7.8	5.7	1.45		a: 内底ナデ 外底回転糸切（右回転） 板状圧痕 b: 微砂 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄灰色 e: 良好
35	75		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/2	(7.9)	(6.8)	1.7		a: 内底ナデ 外底回転糸切 板状圧痕 b: 微砂 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 灰黄色 e: やや甘い
35	76		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(7.3)	(5.2)	1.7		a: 内底ナデ 外底回転糸切（右回転） 板状圧痕 b: 微砂 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 灰黄色 e: 良好
35	77		土製品	手づくねかわらけ（小）	3/4	8.55	-	2.45		a: 外面下半指頭痕 b: 微砂 雲母 海綿骨針 やや粗土 c: 黄灰色 e: 良好 f: 内外面薄く煤付着 口縁歪み有
35	78		土製品	手づくねかわらけ（小）	ほぼ完形	8.9	-	1.65		a: 外面下半指頭痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや良土 c: 灰黄色 e: やや甘い
35	79		土製品	手づくねかわらけ（小）	1/4	(8.8)	-	1.4		a: 外面下半指頭痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや良土 c: 黄橙色 e: 良好
35	80		土製品	手づくねかわらけ（小）	1/5	(9.2)	-	1.6		a: 外面下半指頭痕 b: 微砂 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 灰黄色 e: 良好
35	81		陶器	常滑 甕	口縁部片	-	-	[13.9]		a: 輪積み成形 内面指頭痕 b: 灰色 微砂 小石 c: 赤褐色 d: 口縁内側灰緑色降灰 f: 緑帯幅 2.0cm 中野編年 5 型式
35	82		陶器	常滑 広口壺か	口縁部片	-	-	[7.3]		a: 輪積み成形 内面指頭痕 b: 黄灰色 微砂 長石 c: 灰色 d: 口縁内側降灰部灰緑色 f: 緑帯幅 1.6cm 中野編年 6a 型式
35	83		陶器	常滑 広口壺	口縁部片	-	-	[9.1]		a: 輪積み成形 内面指頭痕 b: 褐灰色 微砂 長石 小石粒 c: 褐灰色 d: 口縁降灰部灰白色 f: 緑帯幅 1.2cm 中野編年 5 型式
35	84		陶器	常滑 玉縁壺か	口縁部片	(16.2)	-	[8.0]		b: 灰色 微砂 長石 c: 赤褐色 d: 内外面降灰部灰緑色 f: 緑帯幅 1.5cm
35	85		陶器	常滑 壺	底部片	-	-	[2.9]		b: 暗灰色 微砂 c: 外面灰褐色 内面暗灰色
35	86		陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	底部片	-	-	[4.75]		a: 輪積み成形 外底部回転ヘラケズリ 張り付け高台 b: 灰色 微砂 雲母 白色粒 c: 灰色 f: 内面摩耗 黒色付着物
35	87		陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	口縁部片	-	-	[3.4]		b: 灰色 白色粒 c: 褐灰色 d: 内面降灰灰緑色
35	88		陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	口縁部片	-	-	[3.8]		b: 褐色 白色粒 黒色粒 c: 暗褐色 d: 内面降灰部灰白色
35	89		陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	口縁部片	-	-	[3.8]		b: 黒褐色 白色粒 c: 褐灰色 d: 口縁部降灰部灰緑色

図版	No.	出土遺構	材質	種別	遺存度	寸法（cm）				観察項目
						口径	底径	器高	重	a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
35	90	5面構成土	陶器	瀬戸四耳壺	底部片	-	(7.2)	[4.8]		b: 灰色　c: 灰色　d: 内底部付近に明緑灰色降灰　f: 古瀬戸前期２～３
35	91		骨製品	装飾品	小片	残存長[1.1]	残存幅[1.4]	最大厚[0.4]		c: 灰白色
35	92		鉄製品	火箸か	-	長6.5	幅0.3	厚0.35	5.2g	
35	93		銅製品	銭	完形	直径2.4	内孔0.65	-	1.6g	f: ■■元寶、嘉祐元寶か?（篆書）　北宋 1056 年
37	1	255	陶器	常滑甕	口縁部片	(30.4)	-	[9.9]		a: 輪積み成形　内面指頭痕　b: 褐灰色　微砂　長石　小石粒　c: 褐色　d: 口縁部及び外面に灰緑色の自然釉　f: 緑帯幅 2.2cm　中野編年 6a 型式
37	2	256	磁器	白磁合子	身部	(4.6)	(4.4)	1.9		b: 灰白色　砂粒　良土　d: 灰白色　灰釉を漬け掛け　口縁部は釉をかきとり
37	3	256	陶器	常滑甕	胴部片	残存長[13.5]	残存幅[9.0]	残存厚[0.9]		b: 灰色　白色粒　黒色粒　小石粒　やや粗土　c: 外面黄褐色　外面押印　単一円形意匠菊花文（15 弁）
37	4	256	陶器	常滑片口碗	口縁部～胴部片	(11.4)	-	[5.6]		b: 灰色　砂粒　黒色粒　小石粒　やや粗土　d: 口縁降灰部灰緑色　f: 中野編年 6a 型式
37	5	257	土製品	手づくねかわらけ（小）	1/2	(9.0)	-	1.5		a: 内底ナデ　外面下半指頭痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　やや良土　c: 黄橙色　e: 良好
37	6	257	土製品	土器質火鉢	1/4	(37.4)	(27.7)	9.35		a: 口縁・内側面に横方向ナデ　外側面底部付近削り　口唇に３本と１本の刻線有　b: 褐灰色　微砂　雲母　c: 灰色　f: 河野分類ＩＢ類
37	7	257	鉄製品	釘	-	長[5.4]	幅0.6	厚0.4	6.6g	f: 四角形状に鍛造　先端部欠損
37	8	6面遺構外	土製品	ロクロかわらけ（大）	2/3	12.8	8.3	3.3		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　やや良土　c: 橙色　e: 良好
37	9		土製品	手づくねかわらけ（小）	ほぼ完形	9.3	-	2.2		a: 外面下半指頭痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　やや良土　c: 橙色　e: 良好　f: 口縁歪み有
37	10		土製品	手づくねかわらけ（小）	ほぼ完形	9.2	-	1.8		a: 外面下半指頭痕　板状圧痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　やや良土　c: 黄灰色　焼きムラで一部橙色　e: 良好
37	11	6面構成土	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(8.8)	(6.8)	1.75		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　良土　c: 橙色　e: 良好
37	12		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/2	(8.0)	(6.8)	1.8		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
37	13		土製品	ロクロかわらけ（小）	3/4	7.4	6.0	1.35		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　海綿骨針　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
37	14		土製品	手づくねかわらけ（大）	1/5	(13.7)	(12.5)	2.9		a 外面下半指頭痕　b: 微砂　雲母　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
37	15		土製品	手づくねかわらけ（小）	ほぼ完形	9.5	-	2.35		a: 外面下半指頭痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　やや良土　c: 黄橙色　e: 良好　f: 口縁楕円形
37	16		土製品	手づくねかわらけ（小）	1/3	(9.2)	(8.2)	1.7		a: 外面下半指頭痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
37	17		土製品	手づくねかわらけ（小）	4/5	(9.2)	-	2.15		a: 内底ナデ　　外面下半指頭痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　良土　c: 橙色　e: 良好
37	18		土製品	手づくねかわらけ（小）	1/3	(9.8)	(8.8)	2.3		a: 外面下半指頭痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　やや良土　c: 黄橙色　e: 良好　f: 内外面煤付着　灯明皿
37	19		土製品	手づくねかわらけ（小）	1/3	(8.8)	(7.3)	1.7		a: 外面下半指頭痕　b: 微砂　海綿骨針　良土　c: 橙色　e: 良好
37	20		磁器	青磁蓮弁文碗	口縁部片	-	-	[4.2]		b: 灰色　精良堅緻　d: 緑灰色　半透明　釉層やや厚い　気泡あり　f: 大宰府編年　碗Ⅲ -2c
37	21		磁器	白磁碗	口縁部～胴部片	(9.5)	-	[3.6]		b: 灰白色　黒色粒　精良堅緻　d: 灰白色　不透明　f: 大宰府編年　ⅢIX -1
37	22		陶器	常滑甕	口縁部片	-	-	[10.7]		a: 輪積み成形　内側指頭痕　b: 黄灰色　白色粒　c: 赤褐色　d: 口縁部～外面に灰緑色の自然釉　f: 緑帯幅 1.4cm　中野編年５型式　口縁内側に付着物有
37	23		陶器	常滑甕	胴部片	-	-	[5.8]		b: 明黄褐色　砂粒　石英　白色粒　小石粒　c: 明黄褐色　f: 外面押印　円形意匠菊花文（13 弁）
37	24		陶器	常滑壺か	口縁部片	(20.4)	-	[5.5]		a: 輪積み成形　b: 黄灰色　長石　c: 内面暗灰色　外面灰色
37	25		石製品	用途不明		残存長[5.7]	残存幅[4.6]	残存厚[1.5]		c: 淡黄色　f: 平面に擦り痕有　全面擦っているが、平面中央部付近の擦り跡が激しい　中央に炭付着
37	26		鉄製品	釘	-	長[3.7]	幅0.6	厚0.3	2.5g	f: 四角形状に鍛造　先端部欠損
37	27		銅製品	銭		直径2.5	内孔0.5	-	3.3g	f: 淳化元寶（草書）　北宋 990 年
39	1	260	陶器	渥美甕	口縁部片	-	-	[6.0]		b: 灰色　微砂　黒色粒　c: 暗灰色　d: 内面頸部～外面に茶緑色の灰釉施釉　e: 良好
39	2	260	銅製品	銭	一部欠損	直径(2.4)	-	-	2.4g	f: 熙寧■寶、熙寧元寶か　北宋 1068 年
39	3	280	磁器	青白磁小型華瓶	-	-	-	[2.6]		a: 飾環貼付け　b: 灰白色　黒色粒　精良堅緻　d: 明青灰色　半透明
39	4	280	磁器	白磁口兀皿	1/2	(10.6)	5.6	3.3		b: 灰白色　黒色粒　精良堅緻　d: 灰白色　気孔あり　口唇部釉剥ぎ取り　f: 大宰府編年　ⅢIX -1d

図版	No.	出土遺構	材質	種別	遺存度	寸法（cm）				観察項目
						口径	底径	器高	重	a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
39	5	280	陶器	常滑 甕	胴部片	-	-	[7.8]		a: 輪積み成形　b: 黄橙色　微砂　長石　石英　赤色粒　c: 茶色　e: 良好　f: 外面押印　菊花文（20 弁）
39	6	280	土製品	平瓦	-	最大長 [9.8]	最大幅 [7.4]	最大厚 1.9		a: 凸面離れ砂付着　凹面離れ砂付着　側面をヘラケズリ後に上部ナデ　b: 灰白色　粗砂　白色粒　黒色粒　礫粒　c: 灰～暗灰色　e: 良好
39	7	280	鉄製品	釘	-	長 8.8	幅 0.8	厚 0.4	18.8g	f: 四角形状に鍛造
39	8	282	銅製品	銭	一部欠損	直径 2.4	内孔 0.7	-	2.0g	f: 開元通寶　唐 621 年
39	9	282	銅製品	銭	完形	直径 2.4	-	-	3.5g	f: 元豊通寶　北宋 1078 年
39	10	283	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	口縁部片	-	-	[7.5]		a: 輪積み成形　b: 暗灰色　微砂　長石　c: 赤褐色　d: 口縁頂部～内面に自然釉
39	11	283	石製品	硯石加工品	-	最大長 9.0	最大幅 3.2	最大厚 2.6		f: 凝灰岩　切断痕有　楕円硯の可能性有
39	12	283	土製品	平瓦	-	最大長 [16.2]	最大幅 18.8	最大厚 2.2		a: 凸面タテ位縄目タタキ目　凹面離れ砂糸切痕　狭端部ヨコ位の細い縄目　b 灰色　微砂　白色粒　やや粗土　c: 灰色　e: 良好　f: 女瓦Ａ類？
39	13	284	土製品	かわらけ質 土製品	底部小片	-	-	[1.8]		a: 回転糸切（右回転）　b: 暗灰色　微砂　雲母　海綿骨針　良土　c: 茶色　e: 良好
39	14	285	陶器	渥美 甕	肩部小片	-	-	[2.9]		b: 灰色～灰白色　微砂　c: 黒褐色　d: 外面に黒褐色の施釉　e: 良好
39	15	285	陶器	尾張型 山茶碗	底部片	-	8.0	[2.3]		a: 内面にコテ痕あり　貼り付け高台（少し押し潰されている）　b: 灰色　微砂　長石　小礫粒　c: 灰色　e: 良好
39	16	287	土製品	手づくね かわらけ（小）	1/3	(9.4)	-	1.9		a: 内底ナデ　外面下半指頭痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや良土　c: 橙色　e: 良好　f: 内面煤付着
39	17	287	土製品	手づくね かわらけ（小）	1/5	(8.8)	-	[2.7]		a: 外面下半指頭痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　良土　c: 橙色　e: 良好
39	18	289	鉄製品	釘	-	長 5.0	幅 0.3	厚 0.3	4.0g	f: 四角形状に鍛造
39	19	289	鉄製品	釘	-	長 6.8	幅 0.4	厚 0.4	4.7g	f: 四角形状に鍛造
39	20	7 面遺構外	土製品	ロクロ かわらけ（小）	底部片	-	-	[1.6]		a: 静止糸切　b: 微砂　雲母　海綿骨針　c: 黄橙色　e: やや甘い
39	21		土製品	手づくね かわらけ（小）	3/4	(9.4)	-	2.3		a: 内底ナデ　外面下半指頭痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　やや良土　c: 黄橙色　e: 良好
39	22		鉄製品	不明	-	長 7.1	幅 1.4	厚 0.25	5.2g	
39	23		鉄製品	釘	-	長 7.6	幅 0.4	厚 0.3	6.8g	f: 四角形状に鍛造
41	1	296	土製品	ロクロ かわらけ（小）	1/3	(9.0)	(6.6)	2.2		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　やや良土　c: 灰黄色　e: 良好
41	2	307	鉄製品	釘	-	長 5.4	幅 0.2	厚 0.2	1.9g	f: 四角形状に鍛造
41	3	310	土製品	手づくね かわらけ（大）	1/2	(12.6)	-	[3.4]		a: 内底ナデ　外面下半指頭痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　やや良土　c: 黄灰色　e: やや甘い
41	4	310	土製品	手づくね かわらけ（大）	1/4	(13.2)	-	3.5		a: 内底ナデ　外面下半指頭痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　良土　c: 黄橙色　e: 良好
41	5	310	陶器	渥美 小壺	底部片	-	-	[7.9]		b: 灰色～灰白色　微砂　雲母　c: 暗灰色　e: 良好　f: 外面下部に二条の沈線あり
41	6	8 面遺構外	土製品	ロクロ かわらけ（小）	底部片	-	(6.6)	[2.0]		a: 内底ナデ　外底静止糸切り　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
41	7		土製品	手づくね かわらけ（大）	1/3	(12.6)	-	[4.2]		a: 内底ナデ　外面下半指頭痕　b: 微砂　雲母　良土　c: 黄灰色　e: やや甘い
41	8		土製品	手づくね かわらけ（大）	1/3	(12.0)	-	3.1		a: 内底ナデ　外面下半指頭痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　良土　c: 灰黄色　e: 良好
41	9		土製品	手づくね かわらけ（小）	1/4	(8.6)	-	1.6		a: 内底ナデ　外面下半指頭痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　良土　c: 橙色　e: 良好
41	10		土製品	手づくね かわらけ（小）	1/2	7.3	-	[2.7]		a: 外面下半指頭痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや良土　c: 灰黄色　e: 良好
41	11		磁器	青磁 櫛掻文皿	1/4	(9.8)	(5.0)	2.3		a: 内底面に櫛掻文　b: 灰色　黒色粒　白色粒　緻密　d: 灰緑色　不透明　気泡あり　f: 大宰府編年　同安窯系皿Ⅰ -1b
41	12		磁器	白磁 器種不明	口縁部片	-	-	[1.3]		b: 灰白色　黒色粒　精良堅緻　d: 灰白色　半透明　釉層薄い
41	13		陶器	常滑 甕	口縁部片	-	-	[8.3]		a: 輪積み成形　b: 灰色　長石　小礫粒　c: 赤褐色　e: 良好　f: 縁帯幅 2.9 ㎝　中野編年 6a 型式
41	14		鉄製品	釘	-	長 9.0	幅 0.6	厚 0.4	8.4g	f: 四角形状に鍛造
42	1	廃土他	土製品	ロクロ かわらけ（小）	2/3	7.2	4.6	2.0		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
42	2		土製品	ロクロ かわらけ（小）	1/2	(6.8)	(4.4)	1.7		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
42	3		土製品	手づくね 白かわらけ （小）	1/3	(8.1)	-	1.9		a: 外面下半指頭痕　b: 微砂　黒色粒　赤色粒　c: 灰白色

図版	No.	出土遺構	材質	種別	遺存度	寸法（cm）				観察項目
						口径	底径	器高	重	a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
42	4	廃土他	土製品	手づくね白かわらけ	口縁部片	-	-	[2.4]		a: 外面下半指頭痕　b: 微砂　良土　c: 外面灰白色　f: 外面下部煤付着
42	5		磁器	白磁皿	底部片	-	(6.6)	[2.2]		b: 灰白色　黒色粒　精良堅緻　d: 灰白色　半透明　気泡あり
42	6		陶器	瀬戸折縁深皿	口縁部片	-	-	[3.4]		b: 灰色　精良土　d: 灰緑色　灰釉　e: 良好
42	7		陶器	瀬戸袴形香炉	口縁部片	(10.6)	-	[5.1]		b: 灰白色　微砂　良土　d: 鉄釉　黒褐色　e: 良好　f: スタンプによる渦巻文と草花文　連珠（2個）貼り付けを残す
42	8		陶器	常滑甕	肩部片	-	-	［7.3］		a: 輪積み成形　b: 灰色　長石　白色粒　小石粒　c: 茶色　d: 外面に灰黄緑色の自然釉　e: 良好　f: 外面押印　縦線文＋横線 (3)
42	9		陶器	常滑甕	胴部片	最大長 [6.8]	最大幅 [5.1]	最大厚 1.2		a: 輪積み成形　b: 灰色　長石　石英　黒色粒　c: 灰褐色　d: 外面に灰白緑色の自然釉　e: 良好　f: 外面押印　縦線文＋横線 (1)
42	10		陶器	常滑甕	胴部片	最大長 [7.2]	最大幅 [5.8]	最大厚 1.0		a: 輪積み成形　b: 灰褐色　長石　石英　礫粒　c: 灰褐色　e: 良好　f: 外面押印　縦線文＋横線 (3)
42	11		陶器	常滑甕	肩部片	-	-	［4.6］		a: 輪積み成形　b: 暗灰色　長石　石英　白色粒　小石粒　礫粒　c: 茶色　d: 外面に灰白色の自然釉　e: 良好　f: 外面押印　縦線文＋横線 (5)
42	12		陶器	常滑甕	胴部片	最大長 [6.6]	最大幅 [3.3]	最大厚 0.8		a: 輪積み成形　b: 灰色　長石　石英　黒色粒　小石粒　c: 内面暗灰色外面暗褐色　e: 良好　f: 外面押印　縦線文＋横線 (1)
42	13		陶器	常滑甕	胴部片	最大長 [5.3]	最大幅 [5.2]	最大厚 1.2		a: 輪積み成形　b: 灰色　長石　白色粒　礫粒　c: 灰色　e: 良好　f: 外面押印　中野分類 A0?
42	14		陶器	常滑甕	胴部片	最大長 [5.4]	最大幅 [3.9]	厚 1.0 ～ 1.1		a: 輪積み成形　b: 暗灰色　長石　石英　黒色粒　小石粒　c: 内面灰色外面黄橙色　e: 良好　f: 外面押印　単×（ﾊﾂ）+ 縦線文
42	15		陶器	常滑甕	肩部片	最大長 [6.2]	最大幅 [5.0]	最大厚 1.2		a: 輪積み成形　b: 灰褐色　長石　黒色粒　c: 褐色　d: 外面に灰緑色の自然釉　e: 良好　f: 外面押印　縦線文＋横線 (2)
42	16		陶器	常滑甕	胴部片	最大長 [7.6]	最大幅 [5.5]	最大厚 1.0		a: 輪積み成形　b: 橙色　長石　石英　黒色粒　小石粒　c: 内面灰黄色外面赤褐色　e: 良好　f: 外面押印　縦線文＋横線 (3)
42	17		陶器	常滑甕	胴部片	最大長 [11.5]	最大幅 [6.7]	最大厚 1.2		a: 輪積み成形　b: 褐色　長石　黒色粒　小石粒　c: 茶色　e: 良好　f: 外面押印　単×＋縦線文
42	18		陶器	常滑甕	胴部片	最大長 [7.4]	最大幅 [7.3]	最大厚 1.3		a: 輪積み成形　b: 暗灰色　長石　白色粒　礫粒　c: 暗灰色　d: 外面に灰黄緑色の自然釉　e: 良好　f: 外面押印　縦線文＋横線 (1)
42	19		陶器	常滑甕	胴部片	最大長 [7.0]	最大幅 [3.7]	最大厚 0.9		a: 輪積み成形　b: 灰色　長石　黒色粒　小石粒　c: 灰橙色　e: 良好　f: 外面押印　中野分類 CA0'
42	20		鉄製品	釘	-	長 [8.1]	幅 0.7	厚 0.6	26.7g	f: 四角形状に鍛造 先端部欠損
42	21		鉄製品	釘	-	長 [7.2]	幅 0.8	厚 0.5	11.9g	f: 四角形状に鍛造 先端部欠損
42	22		鉄製品	釘	-	長 [6.2]	幅 0.6	厚 0.5	8.8g	f: 四角形状に鍛造 先端部欠損
42	23		銅製品	銭	一部欠損	直径 2.3	内孔 0.5	-	2.3g	f: 開元通寶（楷書）
42	24		銅製品	銭	一部欠損	直径 2.4	内孔 0.6	-	2.2g	f: 開元通寶（楷書）
42	25		銅製品	銭	完形	直径 2.3	内孔 0.6	-	3.7g	f: 聖宋元寶（篆書）　北宋 1101 年

表２　出土遺物集計表

出土面			第１面				第２面						第３面							第４面							
種別			ピット	土坑	構成土	合計	ピット	礎石掘方	土坑	遺構外	構成土	合計	ピット	土坑	礎石掘方	溝状遺構	直上	構成土	合計	ピット	土坑	礎石掘方	溝状遺構	溝状遺構	方形竪穴	方形竪穴	方形竪穴
遺構番号																175							229	230	231	232	233
かわらけ	ロクロ	大	35	29	307	371	88	5	70	39	281	483	52	82	13	5	91	356	599	37	44	4	9	4	163	29	
		中	1		7	8	2		2			4					4		4	1							
		小	11	11	128	150	31	3	54	18	86	192	20	23	1	1	16	118	179	9	23		1		42	9	
		小片	55	44	74	173	88	7	96	32	69	292	28	36	8		56		128	33	60	6	2		64	29	
	手捏ね	大					3		1	1		5	2	1					3							3	
		小																1	1						1		
	白かわらけ						1		1		3	5	1	1			1	12	15						4	1	
	特殊						1		2		6	9		1					1						1	1	
	取瓶			3	3	6			3	1	1	5															
国産陶磁器	常滑	甕	35	47	606	688	205	41	346	200	1055	1847	114	290	16	9	270	803	1502	99	195	11	28	6	349	85	
		壺			3	3	8	2	5		2	17	3	6			11	21	41	4	1		4		6		
		Ⅰ類		3	13	16	5	3	30	1	60	99	17	18	3		20	105	163	17	16	3			27	4	
		Ⅱ類	4		7	11	1	1	4		9	15						7	7		2		1				
		磨り常滑					1				4	5						1	1	1					1		
		無頸壺																									
	瀬戸		6	1	9	16	12		8	2	12	34	2	2	3		9	16	32	1	0	1			7		
	渥美						1					1					2	2	4						16	5	
	備前				2	2	1		1			2															
	山茶碗	北部												1					1							1	
		南部			1	1	1			1	7	9	3	2			6	2	13	1	3			1	1		
	山皿								1			1															
	不明								1			1															
舶載陶磁器	青磁		3	3	18	24	9	2	31	8	36	86	7	15	2	1	16	42	83	3	2		3		23	4	
	白磁			1	12	13	1		7		21	29	1	5		1	11	22	40	1	2		2		6	4	
	青白磁		1	1	4	6	5	1	5		12	23	1	1			5	6	13		1	1			9		
	緑釉				1	1																					
	褐釉				1	1											1		1	1					1		
	不明				1	1	1			1		2						1	1								
土製品	火鉢		3	2	3	8	6	1	8	2	2	19	1	1			1		3						1		
	鍔釜				2	2					3	3	1	2				5	8	1	1		1				
	羽口									1		1															
	その他		1		1	2	1				1	2													1		
	吉備系				1	1			1	2		3															
	土錘									1		1													1		
瓦質製品	瓦器						1	1	3			5	1						1	2		1					
	火鉢		2		17	19	3		8		13	24		4			6	10	20		8				6		
	瓦										2	2					1		1	1					1		
	その他		1			1					1	1															
金属製品	銭		1		17	18	7		13	1	22	43	3	3		1	7	7	21				3		5		
	釘			1	25	26	16	3	18	5	34	76	5	28	4	6	43	39	125	3	1	1	3		27	5	
	火打金																	1	1								
	鉄滓						2				1	3					4	1	5						1		
	不明		1	1	3	5			2	1	1	4					2	3	5						1		
石製品	砥石				8	8	1		2		8	11	4	4	1		4	6	19		1				4	1	
	硯										1	1															
	滑石				7	7			1	2	6	9	1	2			5	2	10						5		
	軽石												1					3	4						2		
	玉石								15			15						7	7								
	碁石				1	1					1	1	2						2								
	その他		1		2	3	2		4		2	8								1				1	1		
	雲母													1					1								
木製品	部材																										
	箸																										
	不明																										2
自然遺物	加工品				1	1	1			1	2	4						1	1								
	獣骨		3	3	30	36	6		8	4	35	53	5	25	1	1	17	66	115	11		1			46	3	
	人骨										3	3															
	魚骨・鱗				1	1					2	2		1					1								
	貝									1		1													1		
	炭化物			2	1	3	12				11	23	4	2		1		3	10						26	1	
近代遺物			2	1	4	7				1		1															
中世以前									1			1															
不明			1		1	2	2		1		5	8	3				1		4	2					6		
その他																											
合計			167	153	1322	1642	525	70	753	326	1820	3494	282	557	52	26	610	1669	3196	215	360	29	57	12	856	185	2

出土面			第4面					第5面								第6面					第7面					
種別			方形竪穴	方形竪穴	遺構外	構成土	合計	ピット	土坑	井戸裏込	井戸木枠内	溝状遺構	遺構外	構成土	合計	ピット	土坑	遺構外	構成土	合計	ピット	土坑	溝状遺構	遺構外	構成土	合計
遺構番号			234	235						244	244	245											290			
かわらけ	ロクロ	大		7	17	6	320	1	40	38		3	104	114	300	7	8	1	79	95	11	35	3	40	4	93
		中					1																			
		小	1	5	8	2	100	1	10	8			21	38	78		2		28	30	3	10		2		15
		小片	3	9	11	10	227	3	16	43	1	3	57	48	171	6	9	1	39	55	24	36		42	2	104
	手捏ね	大	2	2	2		9	2	1	5			5	3	16	2	1		17	20	3	11			1	15
		小				1	2		3	3		1	6	9	22			2	11	13	2	8		10	1	21
	白かわらけ		1	1			7			1		1	10	4	16				3	3						
	特殊						2														1					1
	取瓶												1		1											
国産陶磁器	常滑	甕	9	15	107	8	912	7	85	129	5	10	198	210	644	3	27		86	116	6	41		23		70
		壺		1	3		19		6	4			5	16	31				1	1		1				1
		Ⅰ類			10		77	2	8	24	1	1	27	21	84	1	3		16	20		7		9		16
		Ⅱ類			3		6		2	1			4	8	15				4	4		1				1
		磨り常滑					2																			
		無頸壺																								
	瀬戸						9		2		1			1	4		3		1	4						
	渥美					3	24		1	1			12	8	22				6	6	4	3		6		13
	備前																									
	山茶碗	北部					1																			
		南部				1	7		4	1			6	6	17				1	1		1				1
	山皿																									
	不明													1	1											
舶載陶磁器	青磁		1	1	5	1	43	1	3	7	1		10	7	29	1			5	6		3				3
	白磁				2	1	18		5	5			6	4	20				1	1		2		1		3
	青白磁					1	12		1	2	1		4		8				1	1		4		1		5
	緑釉																									
	褐釉						2																			
	不明								1		1			1	3											
土製品	火鉢						1			2				5	7									1		1
	鍔釜						3						1	3	4							14				14
	羽口																									
	その他				1		2		2						2											
	吉備系																									
	土錘						1																			
瓦質製品	瓦器						3																			
	火鉢				4		18						1		1		1			1		1				1
	瓦						2															2				2
	その他				1		1																			
金属製品	銭				7	1	16		5	6	1		5	1	18				1	1	1	8				9
	釘				2		42		20	8	6		7	12	53	1	3		4	8		8		4		12
	火打金																									
	鉄滓						1						1	1	2							1				1
	不明						1		7				1		8											
石製品	砥石						6																			
	硯																									
	滑石						5		1	2			1		4											
	軽石						2																			
	玉石																									
	碁石																									
	その他						3												1	1	1	1				2
	雲母																									
木製品	部材									3					3											
	箸									2					2											
	不明						2			2					2											
自然遺物	加工品								2				1	1	4											
	獣骨			1	5		67		5	4			18	23	50	1			1	2	1			2		3
	人骨																									
	魚骨・鱗																									
	貝						1																			
	炭化物					7	34			2				8	10							13				13
近代遺物																								1		1
中世以前										1					1											
不明					2		10		1	1				3	5											
その他																										
合計			1	42	190	42	1991	17	232	305	18	19	512	556	1659	22	57	4	306	389	57	211	3	142	8	421

出土面			第8面								
種別			ピット	土坑	遺構外	合計	試掘	廃土	表土	攪乱	総計
遺構番号											
かわらけ	ロクロ	大	7	2	13	22	21	17	36	4	2361
		中									17
		小	3		5	8	3	8	21	2	786
		小片	15	43	39	97	10	6	23	29	1315
	手捏ね	大	10	10	32	52					120
		小	3	3	12	18					77
	白かわらけ							1			47
	特殊				2	2					15
	取瓶										12
国産陶磁器	常滑	甕	3	6	16	25	62	45	193	2	6106
		壺	1	1	1	3	1	2			119
		Ⅰ類	1	1	1	3	1	4			483
		Ⅱ類					1				60
		磨り常滑									8
		無頸壺									0
	瀬戸						1	2	12		114
	渥美				2	2	1				73
	備前										4
	山茶碗	北部									2
		南部						1			50
	山皿										1
	不明										2
舶載陶磁器	青磁						1	6	24	1	306
	白磁						1	6	6		137
	青白磁		1			1		2	3		74
	緑釉										1
	褐釉								2		6
	不明										7
土製品	火鉢						2		3	2	46
	鍔釜							1			35
	羽口									1	2
	その他								1		9
	吉備系										4
	土錘										2
瓦質製品	瓦器									1	10
	火鉢							1	4		89
	瓦										7
	その他								1		4
金属製品	銭							2	4		132
	釘			1	1	2		2	3		349
	火打金										1
	鉄滓								1		13
	不明								1		24
石製品	砥石								3	1	48
	硯										1
	滑石						1		2	1	39
	軽石							1	3		10
	玉石								79		101
	碁石										4
	その他										17
	雲母										1
木製品	部材										3
	箸							2			4
	不明										4
自然遺物	加工品										10
	獣骨			2		2		5	3		336
	人骨										3
	魚骨・鱗				1	1					5
	貝								12		14
	炭化物							1	5		99
近代遺物								12	145	44	210
中世以前											2
不明								2			31
その他											
合計			44	69	125	238	106	129	590	88	13943

表３　遺構計測表（単位＝m）

遺構NO	上端レベル	上端最大径	底面レベル
1面			
1	8.22～8.20	0.62	8.04～8.03
2	8.22～8.21	0.42	8.13
3	不明	不明	
4	8.28～8.26	0.56	8.07
5	8.30	0.57	8.02
6	8.30～8.29	0.47	8.15
7	8.28～8.22	0.40	8.11～8.09
8	8.32～8.28	0.54	8.08
9	8.32	0.31	8.1
10	8.31～8.30	0.67	8.16～8.14
11	8.32～8.31	0.63	8.03～8.02
12	8.34～8.31	0.55	8.05
13	8.34～8.31	0.65	8.15～8.14
14	8.33～8.30	0.45	8.16
15	8.31～8.28	0.44	8.2
16	8.34～8.32	0.32	8.26
17	8.34～8.31	0.30	8.12
18	8.32～8.31	0.26	8.15
19	8.34	0.51	8.11～8.10
20	8.35～8.33	0.62	8.11～8.10
21	8.34	0.45	8.21
22	8.35～8.33	0.50	8.12～8.08
23	8.30	0.58	8.02
24	8.34～8.30	0.57	8.09～8.08
25	8.36～8.22	0.60	8.08
26	8.33～8.25	0.51	8.09
27	8.36	0.49	8.12
28	8.32～8.31	0.70	8.04～8.03
29	8.25～8.23	0.61	8.18
30	8.27～8.25	0.77	8.00
31	8.28～8.24	1.27	8.13～8.07
32	8.28～8.24	1.11	8.10～8.08
33	8.32～8.29	0.92	8.22～8.20
34	8.31～8.22	1.08	8.09～7.96
35	8.33～8.24	1.28	8.07～7.94
36	8.34～8.32	1.05	8.28～8.27
2面			
37	8.07～8.04	0.43	7.72
38	8.09～8.04	0.55	7.85
39	8.09	0.29	7.73
40	8.02～8.00	0.50	7.40
41	8.07～8.05	0.50	7.80
42	8.06～8.04	0.55	7.81
43	8.08～8.04	0.62	7.80
44	8.08～8.06	0.62	7.92
45	8.07～8.03	0.45	7.70
46	8.03～8.01	0.50	7.74
47	8.06～8.03	0.67	7.81
48	8.09～8.04	0.87	7.76
49	8.10～8.07	0.56	771
50	8.07～8.01	0.70	7.75～7.71
51	8.01	0.25	7.51
52	8.03～7.98	0.62	7.61
53	8.07	0.38	7.82
54	8.10～8.07	0.64	7.77
55	8.10～8.08	0.54	7.78
56	8.10～8.09	0.60	7.82
57	8.09～8.05	0.40	8.02
58	8.07～8.04	0.58	7.96～7.94
59	8.07～8.01	1.15	7.89～7.81
60	8.05～8.00	0.67	7.69
61	8.07～8.02	0.47	7.69
62	8.07～8.04	0.40	7.99
63	8.05	0.47	7.98
64	8.05～8.04	0.50	7.88

遺構NO	上端レベル	上端最大径	底面レベル
2面			
65	8.05～8.04	0.32	7.87
66	8.13～8.06	0.47	7.73
67	8.08～8.04	0.50	7.83
68	8.07～8.05	0.60	7.86
69	8.07～8.04	0.48	7.97
70	8.08～8.06	0.30	7.95
71	8.08～8.06	0.58	7.94
72	8.07～8.05	0.50	7.92
73	8.08～8.05	0.60	7.85
74	8.01	0.70	7.70～7.66
75	8.02～8.00	0.33	7.87
76	8.11～8.06	0.53	7.90
77	8.11～8.08	0.45	7.92
78	8.07～8.06	0.33	8.00
79	8.11～8.08	0.40	7.92
80	8.09～8.06	0.80	7.91～7.84
81	8.09～8.07	0.50	7.88
82	8.14～8.11	0.49	7.75
83	8.08～8.06	0.52	7.78
84	8.10～8.05	0.31	7.95
85	8.05～8.04	0.35	7.57
86	8.08～8.05	0.58	7.56
87	8.10～8.06	0.59	7.83
88	8.10～8.06	0.33	7.89
89	8.10～8.09	0.40	7.78
90	8.09～8.06	0.28	8.11
91	8.07～8.06	0.35	7.82
92	8.07～8.05	0.48	7.92
93	8.07～8.05	0.58	7.88
94	8.09～8.03	0.35	7.88
95	8.08～8.04	0.67	7.80
96	8.06～8.01	0.66	7.83
97	8.03～7.99	0.60	7.60
98	8.06～7.94	0.55	7.67
99	8.06～7.99	0.55	7.13
100	8.04～8.02	0.70	7.93
101	8.02～8.01	0.55	7.88
102	8.05～8.03	0.40	7.60
103	8.05～8.02	0.48	7.73
104	8.05～8.04	0.75	7.94～7.91
105	8.03～8.00	0.77	7.90～7.87
106	8.06～7.98	0.69	7.92～7.90
107	8.02～8.01	0.40	7.89
108	8.04～8.02	0.58	7.92～7.88
109	8.04～8.02	0.71	7.88
110	8.08～8.04	0.65	7.99～7.96
111	8.06～8.01	0.54	7.94～7.89
112	8.05～8.02	0.74	7.96～7.91
113	8.04～7.99	0.55	7.94
114	8.06～8.03	0.80	7.85～7.83
115	8.07～8.01	1.27	7.51～7.43
116	8.10～8.06	1.06	7.90～7.87
117	8.09～8.01	1.23	7.79～7.72
118	8.06～8.01	1.12	7.79～7.74
119	8.07～8.05	0.78	7.90～7.86
120	8.06	0.87	7.96
121	8.08～8.01	1.42	7.91～7.85
122	8.10～8.06	1.83	7.60～7.54
123	8.08～8.01	1.60	7.71～7.67
124	8.10～8.05	1.00	7.81～7.80
125	8.09～8.01	2.30	7.79～7.74
126	-	-	7.60～7.53
127	8.07～8.00	0.82	7.97～7.95
128	-	-	-
129	-	-	-

遺構NO	上端レベル	上端最大径	底面レベル
3面			
130	7.70～7.67	0.50	7.57
131	7.74～7.70	0.54	7.31
132	7.70～7.67	0.51	7.55
133	7.67～7.65	0.55	7.54
134	7.73～7.72	0.69	7.37
135	7.71～7.68	0.52	7.53
136	7.68	0.43	7.42
137	7.68～7.66	0.38	7.48
138	7.68～7.67	0.48	7.37
139	7.71～7.69	0.54	7.26
140	7.70～7.68	0.58	7.53
141	7.73～7.69	0.52	7.56
142	7.71～7.69	0.50	7.55
143	7.72～7.70	0.63	7.44
144	7.74～7.69	0.47	7.55
145	7.72～7.71	0.48	7.55
146	7.73～7.72	0.44	7.53
147	7.73～7.69	0.77	7.41
148	7.72～7.69	0.44	7.54
149	7.70～7.65	0.69	7.50
150	7.72	0.53	7.47
151	7.70～7.65	7.01	7.25
152	7.68～7.65	0.47	7.28
153	7.71～7.69	0.37	7.50
154	7.73～7.69	0.47	7.37
155	7.70～7.67	0.60	7.50
156	7.68～7.61	0.64	7.27
157	7.76～7.73	1.30	7.45～7.40
158	7.74～7.71	0.78	7.49～7.51
159	7.70～7.65	1.85	7.50～7.38
160	7.72～7.69	0.82	7.45～7.41
161	7.70～7.68	1.08	7.55～7.51
162	7.70～7.68	0.86	7.42
163	7.72～7.67	1.89	7.26～7.24
164	7.70～7.64	1.30	7.01～6.97
165	7.69～7.67	-	7.65～7.61
166	7.69～7.68	-	7.67
167	7.65～7.63	0.88	7.58～7.55
168	7.67～7.66	0.85	7.56～7.55
169	7.68～7.66	0.77	7.56～7.54
170	7.70～7.66	0.80	7.59～7.56
171	7.71～7.66	1.72	7.65～7.61
172	7.73～7.67	1.23	7.67～7.62
173	7.72～7.67	0.95	7.61～7.58
174	7.67～7.61	0.82	7.58
175	7.73～7.69	5.30	7.66～7.55
176	-	-	-
4面			
177	7.44～7.41	0.45	7.27
178	7.46～7.44	0.55	7.31
179	7.45～7.44	0.37	7.28
180	7.45～7.43	0.50	7.25
181	7.41～7.40	0.65	7.06
182	7.49～7.48	0.45	7.19
183	7.48	0.47	7.27
184	7.48～7.44	0.60	6.88
185	7.45～7.42	0.53	7.23
186	7.43～7.39	0.50	6.89
187	7.42～7.40	0.38	7.15
188	7.44～7.42	0.35	7.19
189	7.42～7.39	0.60	7.31
190	7.46～7.42	0.46	7.29
191	7.50～7.47	0.49	7.40
192	7.46～7.45	0.65	7.32～7.30
193	7.42～7.39	0.63	7.25

遺構 NO	上端 レベル	上端 最大径	底面レベル
4面			
194	7.47～7.41	0.50	7.37
195	7.50～7.46	0.58	7.23
196	7.51～7.48	0.61	7.18
197	7.48～7.45	0.65	7.42
198	7.53～7.45	0.60	7.39～7.34
199	7.51～7.47	0.78	7.38
200	7.53～7.47	0.50	7.35
201	7.50～7.45	0.52	7.21
202	7.49～7.46	0.43	7.31
203	7.47～7.44	0.55	7.07
204	7.47～7.44	0.50	7.37～7.34
205	7.47～7.45	0.80	7.18
206	-	0.59	7.1
207	7.47	0.42	7.09
208	7.49～7.45	0.47	7.19
209	7.48～7.46	0.41	7.32
210	7.41～7.40	0.87	7.21
211	7.42～7.37	0.75	7.21
212	7.45～7.43	0.78	7.02
213	7.44～7.41	0.82	7.31～7.29
214	7.50～7.42	1.82	7.11～7.09
215	7.45～7.42	0.76	6.89
216	7.51～7.47	0.96	7.47～7.36
217	7.49～7.44	0.95	7.16
218	7.46	0.60	7.22
219	7.47	0.82	7.20
220	7.50～7.43	0.74	7.39～7.35
221	-	-	-
222	-	-	7.56～7.53
223	7.51～7.48	0.72	7.36～7.34
224	7.49～7.41	0.68	7.36
225	7.52～7.48	0.70	7.46～7.43
226	7.56～7.53	0.68	7.49～7.47
227	7.48～7.45	0.54	7.34
229	7.49～7.43	4.92	7.44～7.35
230	7.51～7.46	4.72	7.46～7.41
231	7.47～7.40	3.59	7.03～6.93
231	7.49～7.42	4.50	7.00～6.92
232	6.96～6.88	3.50	6.72～6.66
233	6.71～6.66	3.04	6.53～6.48
234	6.56～6.41	5.69	6.37～6.32
235	7.33～7.29	2.25	6.77～6.57
235	7.17～7.10	1.72	6.57～6.52
235-1	6.51～6.45	0.29	6.07
235-2	6.52～6.47	0.28	6.2
235-3	6.58～6.53	0.24	6.12
235-4	6.54～6.52	0.21	6.35
5面			
236	7.29～7.28	0.30	7.16
237	7.37～7.33	0.40	7.30
238	7.43～7.37	0.62	7.17
239	7.29～7.26	1.43	6.63～6.50
240	7.32～7.27	1.18	6.60～6.52
241	7.40～7.35	1.04	6.94～6.90
242	7.47～7.37	0.80	7.18
243	-	1.27	7.14～7.09
244	-	-	(6.41)
245	7.38～7.32	3.08	7.35～7.24
246	7.48～7.45	0.68	7.21～7.16
6面			
247	7.23	0.35	7.02
248	7.24～7.23	0.29	7.15
249	7.26～7.23	0.56	7.16
250	7.26～7.24	0.45	7.09
251	7.29～7.23	0.50	7.09
252	7.10～7.07	0.47	6.91
253	7.28～7.25	0.25	7.19

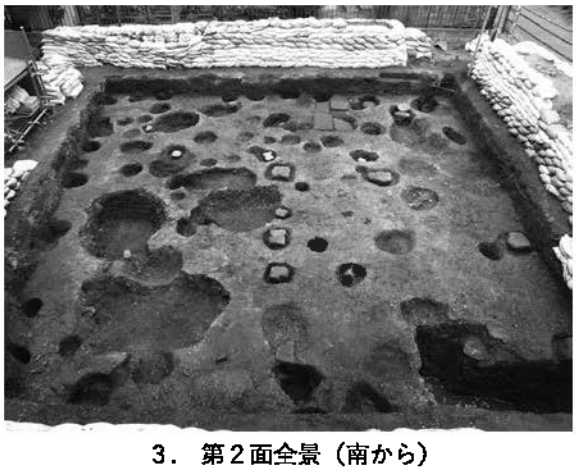
遺構 NO	上端 レベル	上端 最大径	底面 レベル
6面			
254	7.30～7.28	0.52	7.22
255	7.20～7.19	0.88	6.92～6.85
256	7.22～7.21	0.73	7.08
257	7.26～7.23	1.67	7.13～7.05
7面			
258	7.02～7.01	0.45	6.90
259	7.01～7.00	0.65	6.84
260	7.02～7.01	0.49	6.89
261	7.03～7.00	0.45	6.94
262	7.08～7.02	0.57	7.00～7.02
263	7.07～7.05	0.47	6.86
264	7.13～7.11	0.42	6.92
265	7.05～7.02	0.31	6.92
266	7.05～7.04	0.36	6.79
267	7.05～7.04	0.38	6.77
268	7.11～7.09	0.38	6.88
269	7.08～7.07	0.34	6.78
270	7.08～7.06	0.55	6.91
271	7.08～7.07	0.50	6.92
272	7.12～7.05	0.58	6.98～6.94
273	7.15～7.11	0.68	6.76
274	7.14～7.12	0.58	6.83
275	7.13～7.12	0.47	6.81
276	7.16～7.15	0.39	6.87
277	7.15～7.13	0.33	7.05
278	7.15～7.14	0.37	6.98？
279	7.15～7.13	0.32	6.94
280	7.01～7.00	0.87	6.75～6.67
281	7.07	0.70	7.04～7.02
282	7.08～7.05	1.02	6.90～6.87
283	7.13～7.02	0.92	6.79～6.70
284	7.14～7.11	0.93	7.07～7.03
285	7.15～7.06	1.13	6.96～6.90
286	7.08～7.04	0.59	6.94～6.93
287	7.16～7.13	0.75	6.97～6.93
288	7.18～7.13	0.90	6.94～6.93
289	7.21～7.12	1.26	6.88～6.81
290	7.15～7.11	1.20	7.10～7.09
8面			
292	6.85	0.43	6.61
293	6.84～6.83	0.43	6.54
294	6.85～6.83	0.37	6.45
295	6.84～6.83	0.45	6.75～6.72
296	6.83～6.82	0.50	6.65
297	6.89～6.85	0.60	6.67～6.65
298	6.90～6.88	0.36	6.46
299	6.90～6.87	0.67	6.51
300	6.87～6.84	0.50	6.65
301	6.92～6.87	0.38	6.60
302	6.93	0.28	6.72
303	6.92	0.47	6.65～6.62
304	6.94～6.91	0.35	6.76
305	6.94～6.92	0.50	6.51
306	6.88～6.71	1	6.57～6.52
307	6.88～6.76	1.24	6.40～6.37
308	6.85～6.76	0.98	6.72～6.70
309	6.84	0.66	6.72～6.68
310	6.95～6.93	1.02	6.78～6.70
311	6.92	0.94	6.82～6.74

表４　自然遺物集計表

No.	面	遺構	数量	部位等	備考
1		表土	1	中足骨	ウマか
2		表土	1	中足骨片	
3		表土	15	肋骨片	
4		表土	3	骨片	被熱
5		表土	17	小片	
6		表土	2	下顎骨	イルカ
7		表土	10	不明	
8		表土	4	鳥類	
9		表土	1	椎骨	カツオ
10		表土	1	尾椎骨か	
11		表土	1	下顎骨内歯	マダイ
12		表土	1	前上顎骨	クロダイ
13		表土	1	主鰓蓋骨片	
14		表土	1		メガイアワビ
15		表土	2		サザエ（有棘）
16		表土	1		シャコカキ
17		表土	1		ツメタガイ
18		表土	1		アサリ
19		表土	1		ハマグリ
37		表土	1	不明	
38		表土	1		サザエ（有棘）
20		廃土	1	椎骨	イヌか
21		廃土	1	肩甲骨	イヌか
22		廃土	3	不明	
23	1	18	1	不明	
24	1	28	1	肋骨片	
25	1	35	1	歯骨	イシダイ
26	1	36	1	不明	
27	1	36	1	肋骨	被熱
28	1	遺構外	1	胸椎	イルカ
29	1	遺構外	1	不明	
30	1	遺構外	1	不明	
31	1	遺構外	1		シジミか
32	1	構成土	1	肩甲骨	ノウサギか
33	1	構成土	6	肋骨片	
34	1	構成土	1	主鰓蓋骨	マダイか
35	1	構成土	1	椎骨	魚類
36	1	構成土	5	不明	
39	2	54	1	肋骨	切断痕
40	2	58	1	鳥類	
41	2	79	1	不明	切断痕
42	2	85	1	不明	
43	2	95	1	下顎骨	イルカ
44	2	98	1	椎骨	サメ
45	2	115	1	加工骨片	
46	2	115	1	肋骨片	
47	2	115	1	不明	
48	2	117	1	不明	
49	2	121	1	肋骨片	
50	2	123	1	不明	
51	2	123	1	椎骨	魚類
52	2	126	2	肋骨片	
53	2	126	1	加工骨	
54	2	126	1	不明	
55	2	127	1	背鰭棘	チダイか
56	2	遺構外	1	犬歯	イヌ
57	2	遺構外	2	肋骨片	
58	2	遺構外	1	加工骨片	
59	2	遺構外	1	不明	
60	2	遺構外	1		サザエ（有棘）
61	2	構成土	8	肋骨片	
62	2	構成土	2	加工骨片	
63	2	構成土	12	不明	
64	2	構成土	1	不明	被熱
65	2	構成土	1	腰椎	イルカ
66	2	構成土	1	橈骨か	鳥類
67	2	構成土	1	不明	鳥類
68	2	構成土	1	終尾椎	魚類
69	2	構成土	1	椎骨	サメ
70	2	構成土	1	歯骨	クロダイ
71	2	構成土	1	上顎骨	マダイ・チダイ
72	2	構成土	1	歯骨	ハタ
73	2	構成土	1	主上顎骨	不明
74	3	134	1	肋骨片	
75	3	138	1	肋骨片	
76	3	141	1	不明	
77	3	142	1	肋骨片	
78	3	143	1	不明	
79	3	158	1	不明	
80	3	159	2	肋骨	
81	3	159	3	不明	
82	3	159	1	胸椎	イルカ
83	3	159	1	背鰭棘	チダイか
84	3	160	1	鱗	
85	3	161	12	不明	
86	3	162	2	不明	
87	3	163	1	肋骨片	
88	3	175	1	肋骨片	
89	3	遺構外	1	脛骨	シカ
90	3	遺構外	8	不明	
91	3	遺構外	6	肋骨片	
92	3	遺構外	1	前鰓蓋骨	タイ類
93	3	遺構外	1	鰭棘	カツオか
94	3	構成土	2	下顎骨	イルカ
95	3	構成土	1	歯	イルカ
96	3	構成土	1	背鰭棘	チダイか
97	4	183	9	不明	
98	4	184	1	肋骨片	
99	4	198	1	下顎骨	ヒト
100	4	205	1	不明	
101	4	231	1	大腿骨	ノウサギ
102	4	231	6	肋骨片	
103	4	231	6	加工骨	
104	4	231	20	不明	
105	4	231	5	不明	魚骨
106	4	231	1		トコブシ
107	4	232	1	脛骨	ノウサギ
108	4	232	2	不明	
109	4	233	1	不明	
110	4	235	1	不明	
111	4	遺構外	1	寛骨か	
112	4	遺構外	1	不明	
113	4	遺構外	1	前上顎骨	コブダイ
114	4	遺構外	1	歯骨	コブダイ
115	5	243	2	角加工品	シカ
116	5	243	2	肋骨片	
117	5	243	4	不明	
118	5	244	2	加工骨	
119	5	244	1	寛骨	
120	5	244	1	不明	
121	5	遺構外	1	上腕骨	ノウサギか
122	5	遺構外	14	不明	
123	5	構成土	1	中足骨	ウマ
124	5	構成土	1	尺骨	
125	5	構成土	1	肋骨片	
126	5	構成土	3	不明	
127	5	構成土	1	不明	鳥類
128	5	構成土	1	背鰭棘	チダイか
129	6	構成土	1	肋骨片	
130	7	250	1	不明	被熱
131	7	262	1	不明	
132	7	遺構外	1	不明	
133	8	310	1	不明	
134	8		1	不明	
135	8	遺構外	1	魚骨不明	

１．第１面全景（南から）

２．第１面遺構 33（南から）



３．第２面全景（南から）

４．第２面礎石建物（南から）

５．第２面遺構 115（北から）

６．第２面遺構 123（東から）

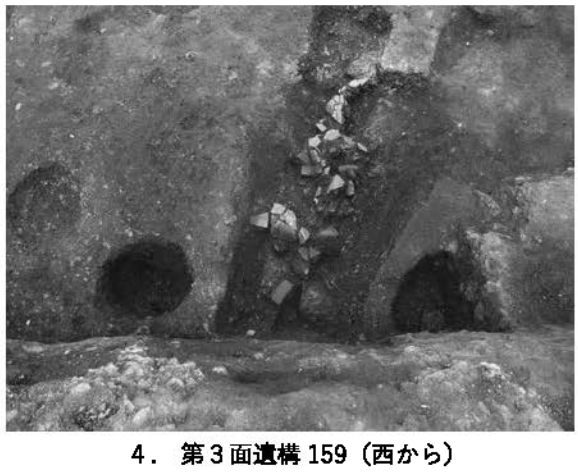
７．第２面遺構 126（北から）

８．第２面遺構 127（東から）

１．第３面全景（南から）

２．第３面礎石建物（北から）

４．第３面遺構 175（西から）

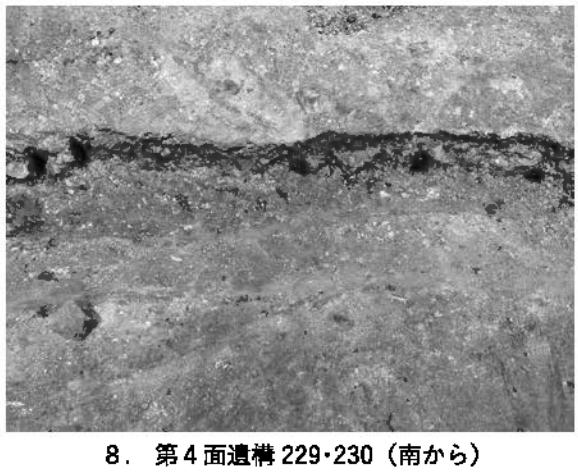


４．第３面遺構 159（西から）

５．第４面全景（南から）

６．第４面礎石建物（西から）

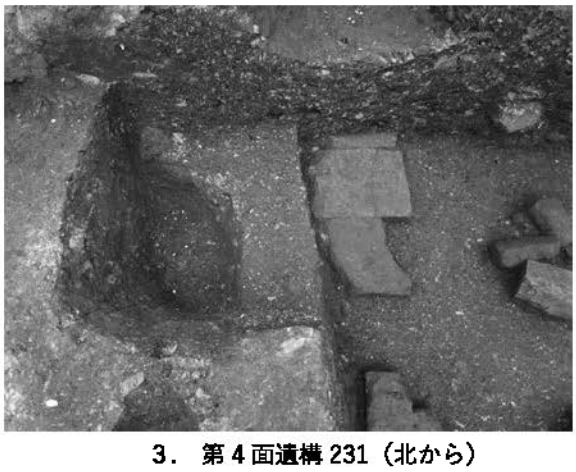
７．第４面遺構 214（西から）



８．第４面遺構 229･230（南から）

1．第 4 面遺構 231（西から）

2．第 4 面遺構 231（西から）

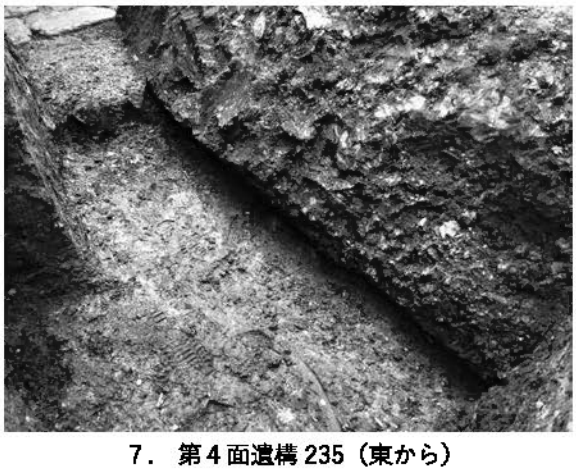


3．第 4 面遺構 231（北から）

4．第 4 面遺構 232・233（南から）

5．第 4 面遺構 232・233（北から）

6．第 4 面遺構 235（北から）



7．第 4 面遺構 235（東から）

8．第 4 面遺構 235（北から）

1． 第 4 面遺構 234（南から）

2． 第 4 面遺構 234（東から）

3． 第 5 面全景（南から）

4． 第 5 面遺構 242（南から）

6． 第 5 面遺構 241（北から）

6． 第 4 面遺構 245（東から）

7． 第 5 面遺構 243（東から）

8． 第 4 面遺構 243 下層（東から）

1． 第 5 面遺構 244（東から）

2． 第 5 面遺構 244 井戸枠検出（東から）

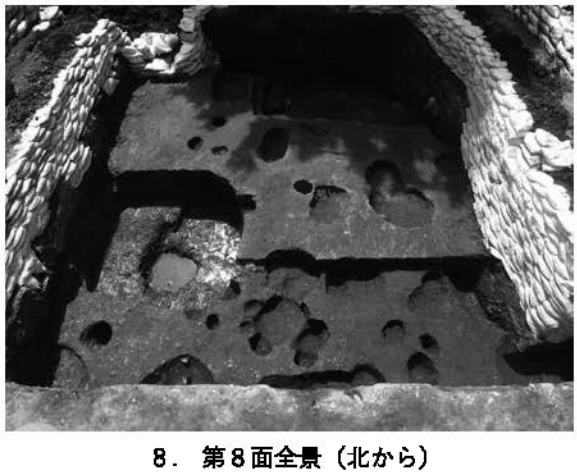
3． 第 5 面遺構 244 完掘（東から）

4． 第 5 面遺構 244 壁面土層（北から）

5． 第 6 面全景（南から）

6． 第 6 面遺構 255（東から）

7． 第 7 面全景（南から）

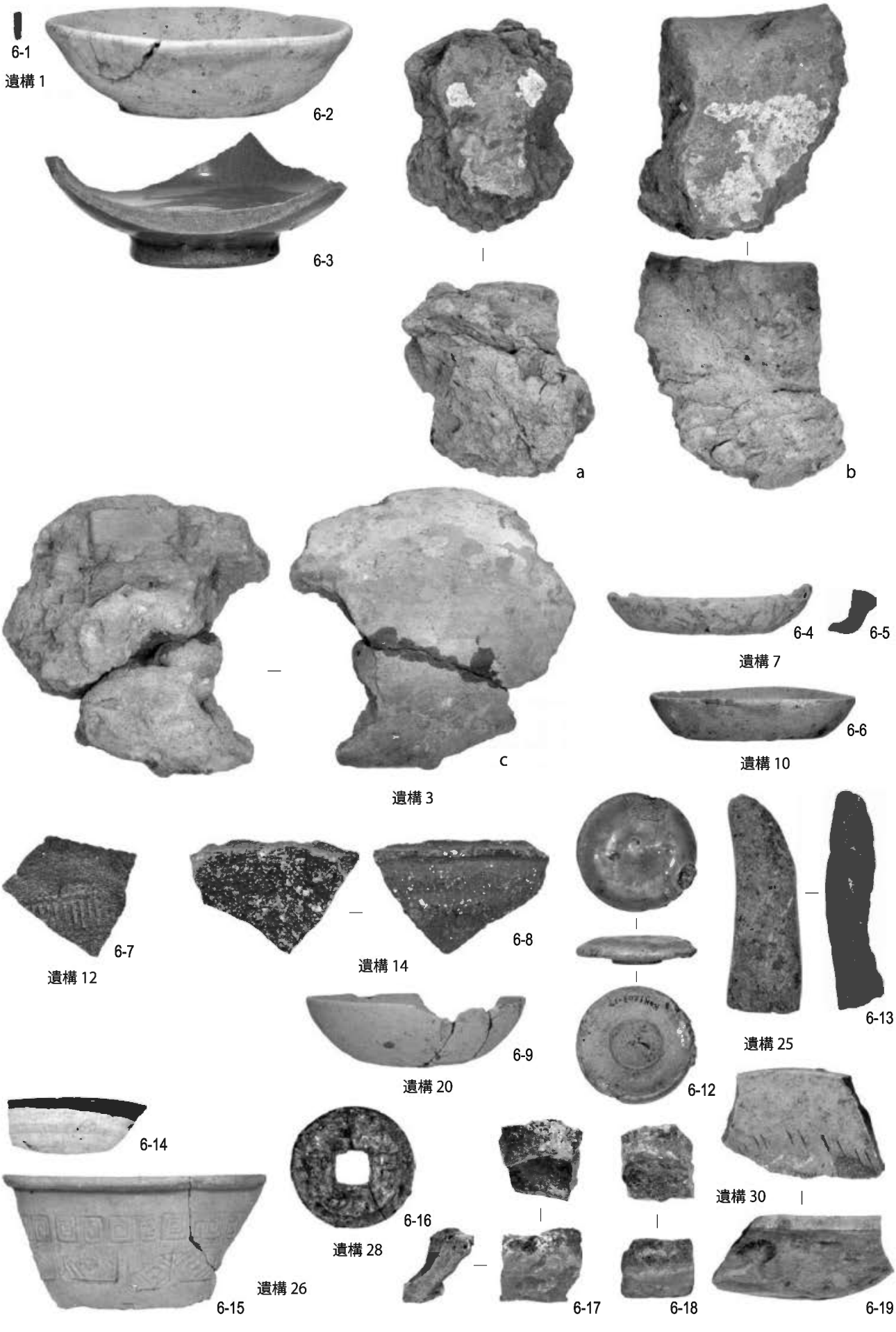


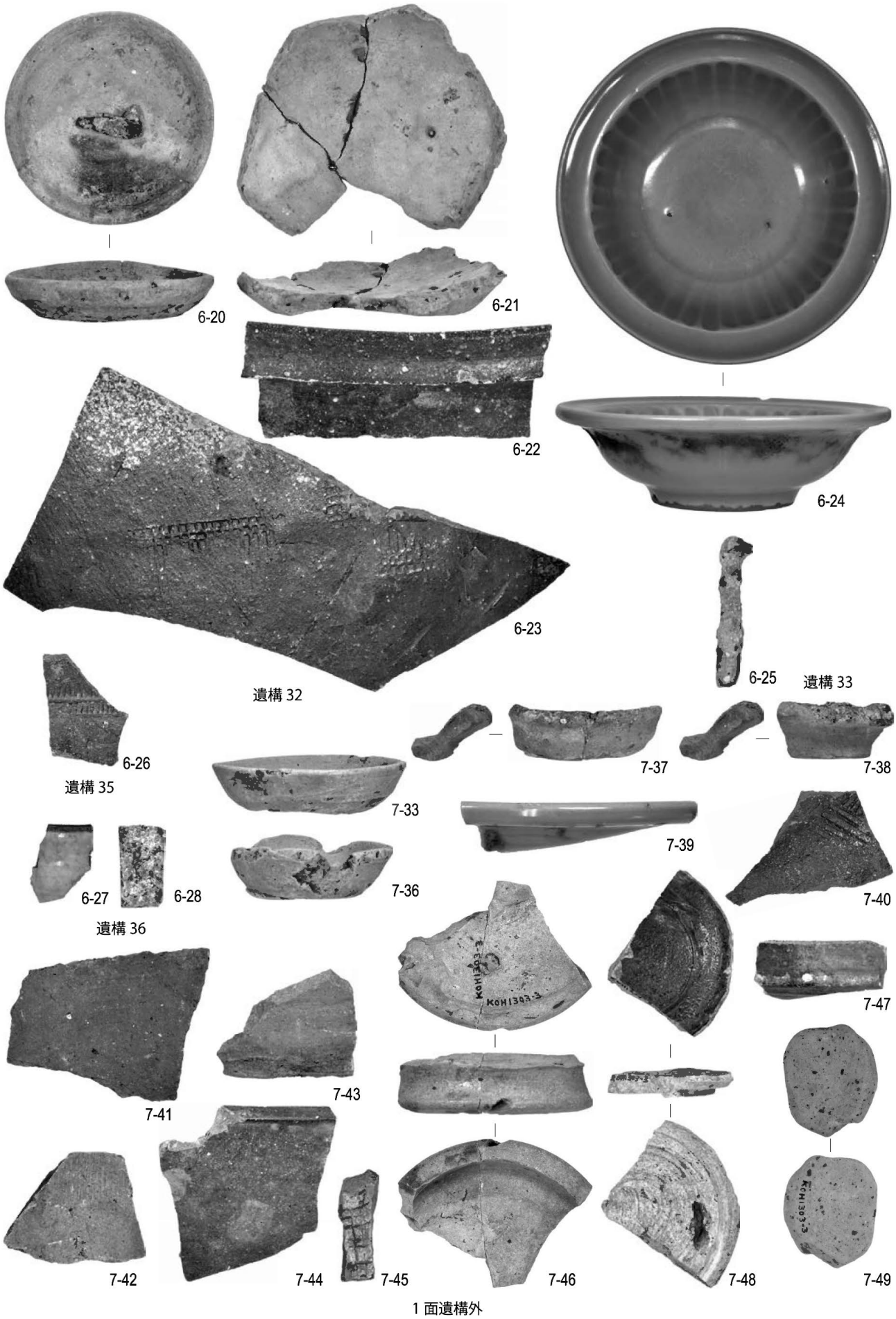
8． 第 8 面全景（北から）

写真図版 6

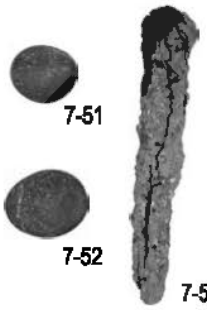
1．調査区南壁セクション（北から）

2．調査区西壁セクション（東から）


6-1
遺構 1
6-2
6-3
a
b
c
遺構 3
6-4
6-5
遺構 7
6-6
遺構 10
6-7
遺構 12
6-8
遺構 14
6-9
遺構 20
6-12
6-13
遺構 25
6-14
6-15
遺構 26
6-16
遺構 28
6-17
6-18
遺構 30
6-19


6-20
6-21
6-22
6-23
6-24
6-25
遺構 32
遺構 33
6-26
遺構 35
7-33
7-36
7-37
7-38
7-39
7-40
6-27
6-28
遺構 36
7-41
7-43
7-47
7-42
7-44
7-45
7-46
7-48
7-49
1 面遺構外

7-50


7-53

7-51

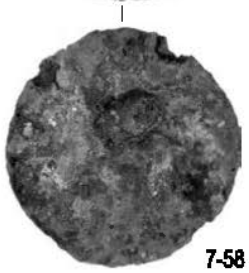
7-52

7-54

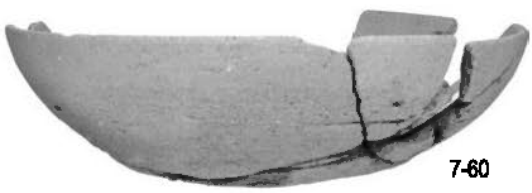
7-55

7-56

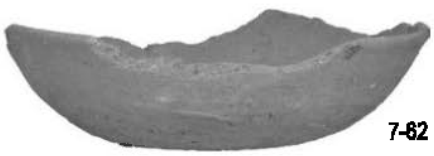
7-57


7-58

1 面遺構外


7-60

7-61


7-62

7-64

7-66

7-67

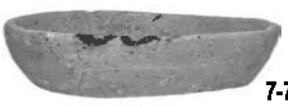
7-68

7-70

7-71

7-72

7-73


7-75

7-79

7-80

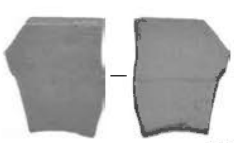
7-83

7-84

7-85

7-86

7-88


7-89

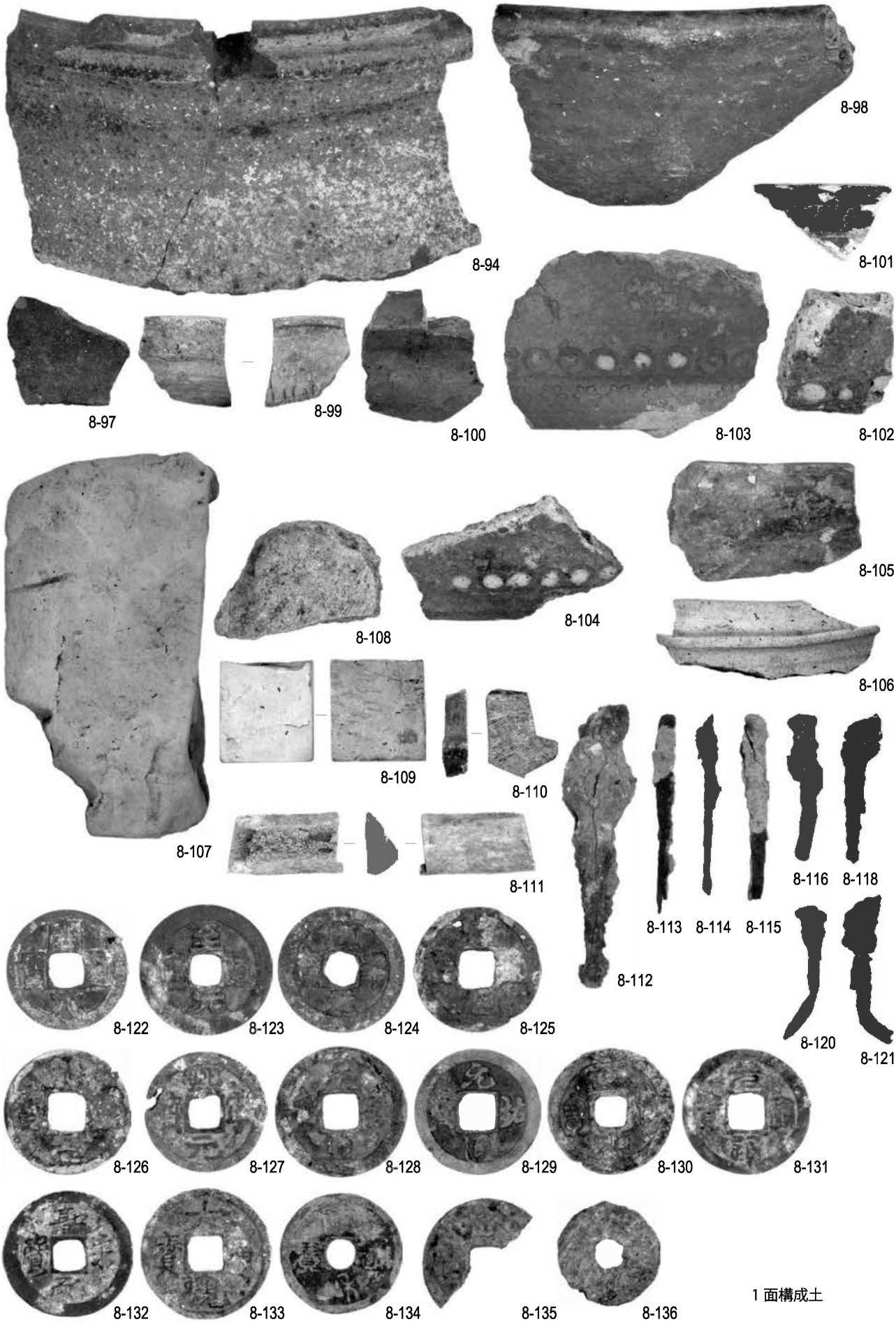
7-90

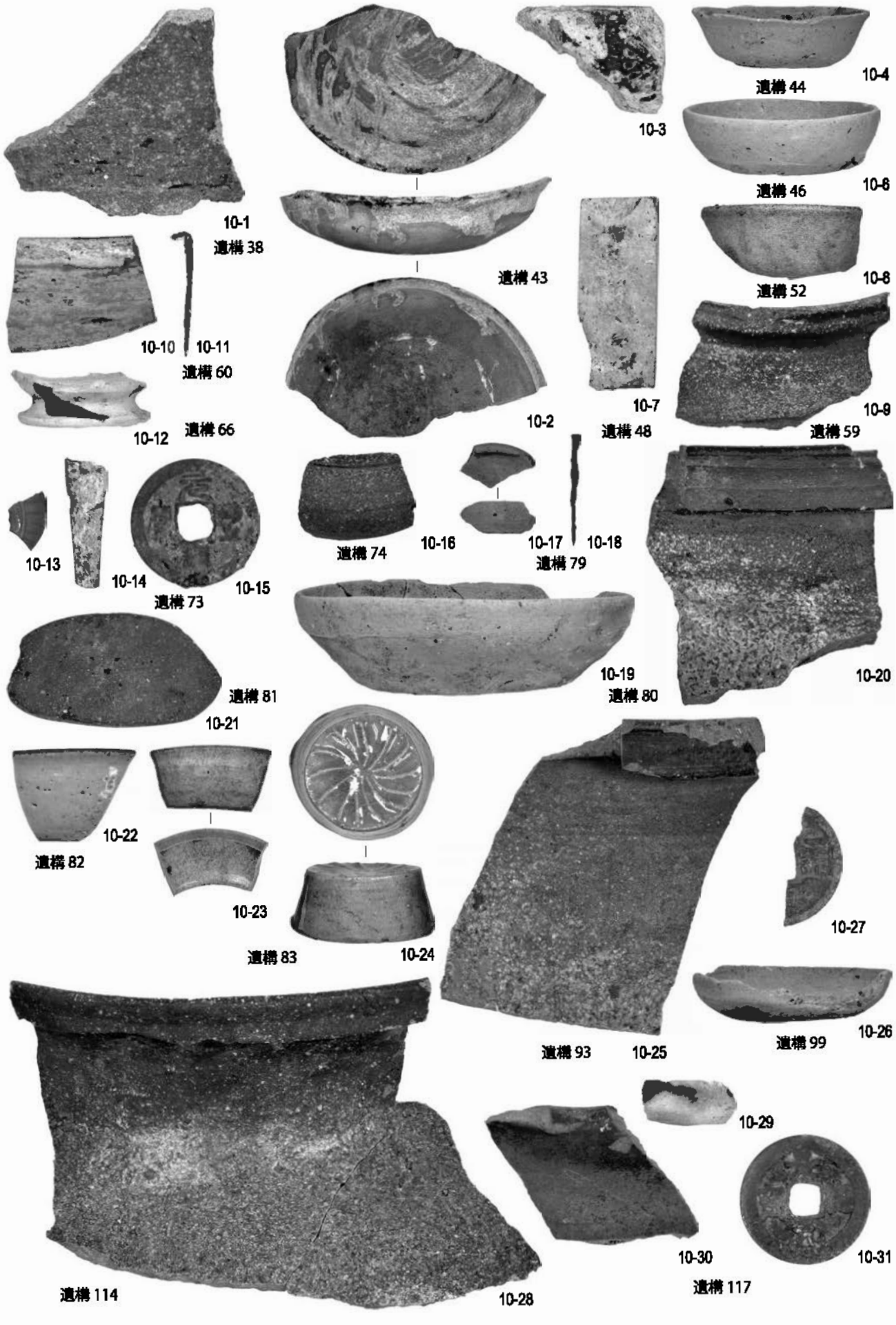
7-91

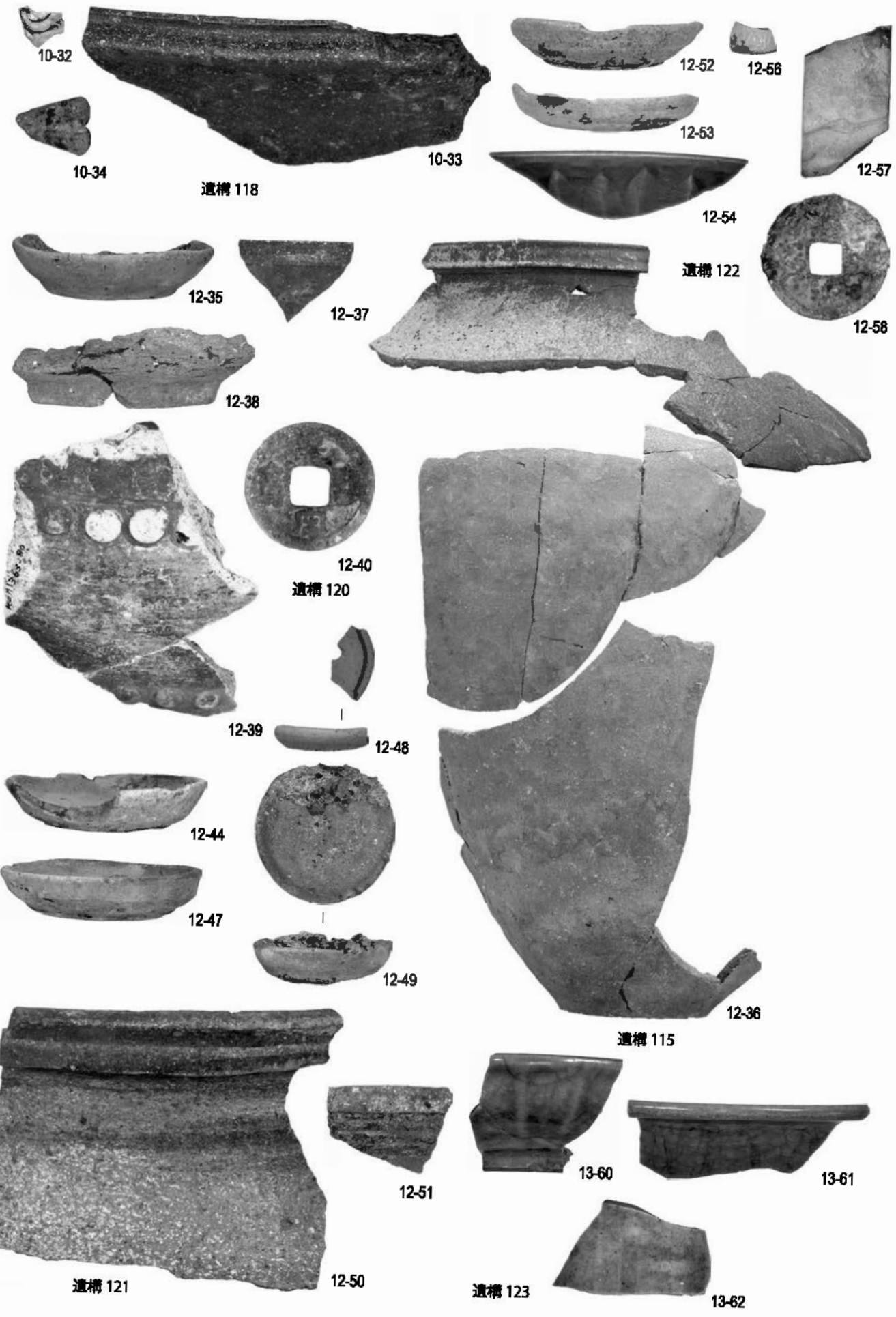
7-92

7-93

1 面構成土


8-94
8-98
8-101
8-97
8-99
8-100
8-103
8-102
8-105
8-104
8-108
8-106
8-109
8-110
8-107
8-111
8-112
8-113
8-114
8-115
8-116
8-118
8-120
8-121
8-122
8-123
8-124
8-125
8-126
8-127
8-128
8-129
8-130
8-131
8-132
8-133
8-134
8-135
8-136
1 面構成土


10-1
遺構 38
10-10
10-11
遺構 60
10-12
遺構 66
遺構 43
10-2
10-3
遺構 44
10-4
遺構 46
10-6
10-7
遺構 48
遺構 52
10-8
10-9
遺構 59
10-13
10-14
10-15
遺構 73
遺構 74
10-16
10-17
10-18
遺構 79
10-19
遺構 80
10-20
遺構 81
10-21
10-22
遺構 82
10-23
遺構 83
10-24
10-25
遺構 93
10-27
10-26
遺構 99
10-28
遺構 114
10-29
10-30
10-31
遺構 117


10-32
10-34
10-33
遺構 118
12-52
12-53
12-54
12-56
12-57
12-35
12-37
12-38
遺構 122
12-58
12-40
遺構 120
12-39
12-48
12-44
12-47
12-49
12-36
遺構 115
12-51
13-60
13-61
12-50
遺構 121
遺構 123
13-62

13-63

13-64

13-65

遺構 125

遺構 123

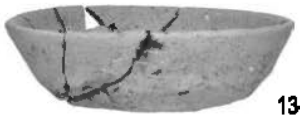
13-68

13-66

遺構 126

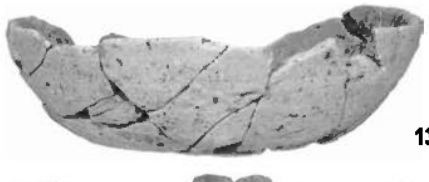
13-67

13-69



13-73

13-78



13-70

13-74

13-79

13-71

13-75

13-81

13-72

13-76

13-82

13-77

遺構 127

13-83

13-84

13-85

13-86

13-87

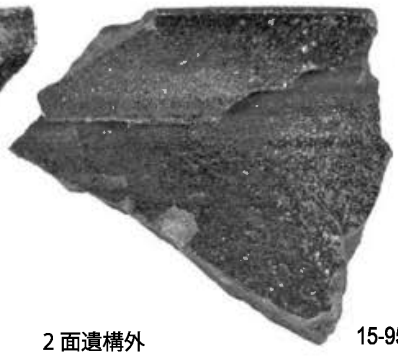
遺構 127

遺構 113

15-88

15-91

15-96


15-95

2 面遺構外

15-93

15-94

15-97

15-98

15-99

15-100

15-102

15-106

15-108

15-112

15-113

15-114

15-115

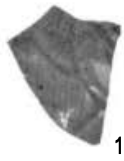
15-116

15-117

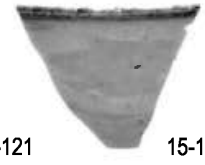
15-118

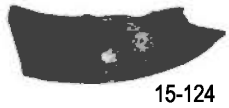
15-119

15-120

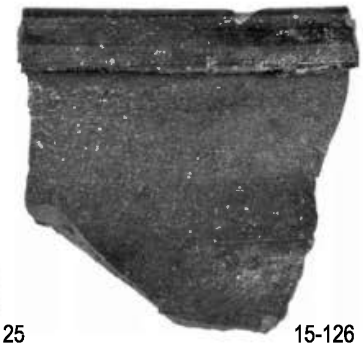

15-121

15-122


15-123

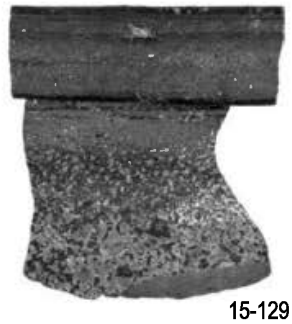

15-124

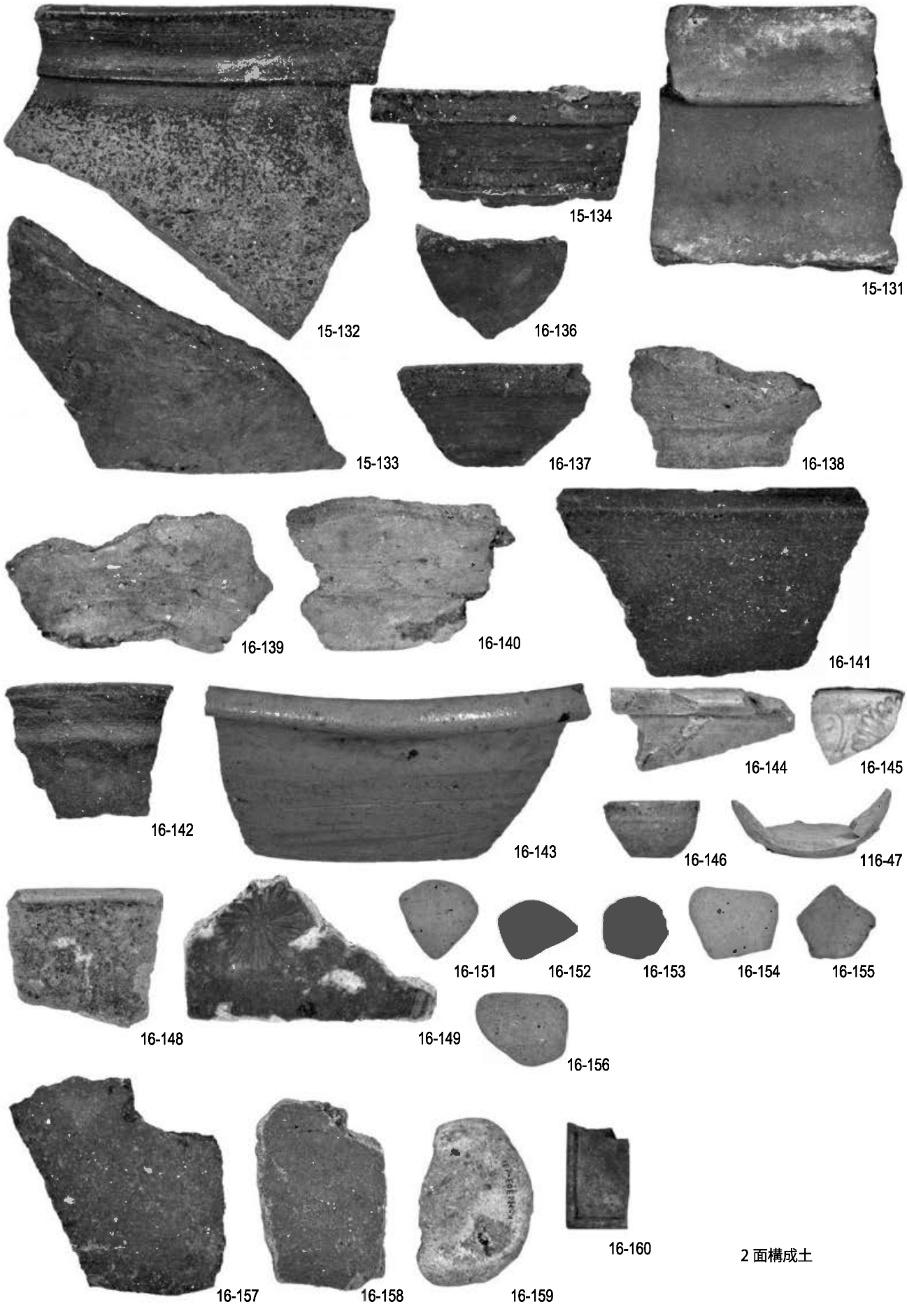
15-125


15-126

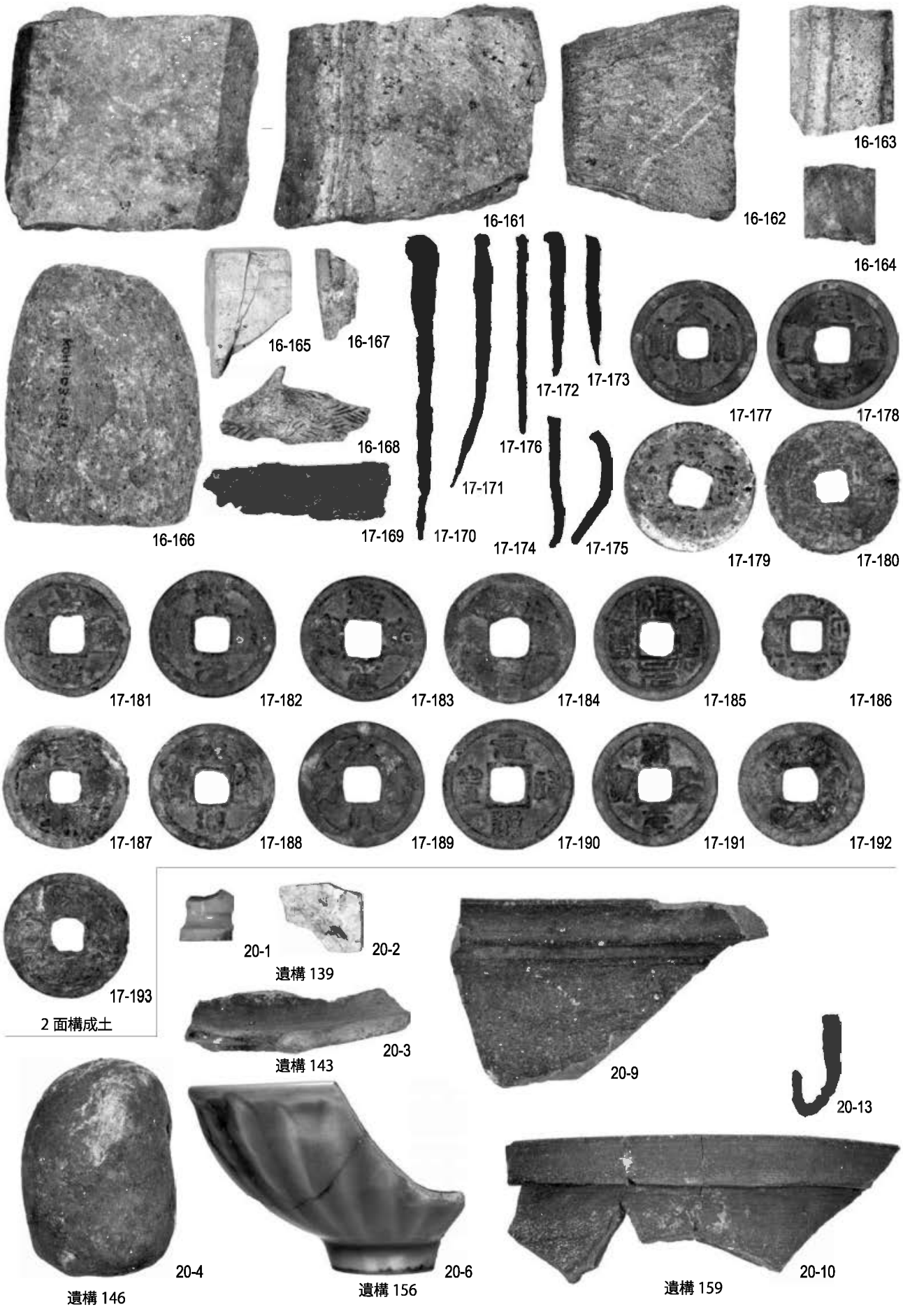
2 面構成土

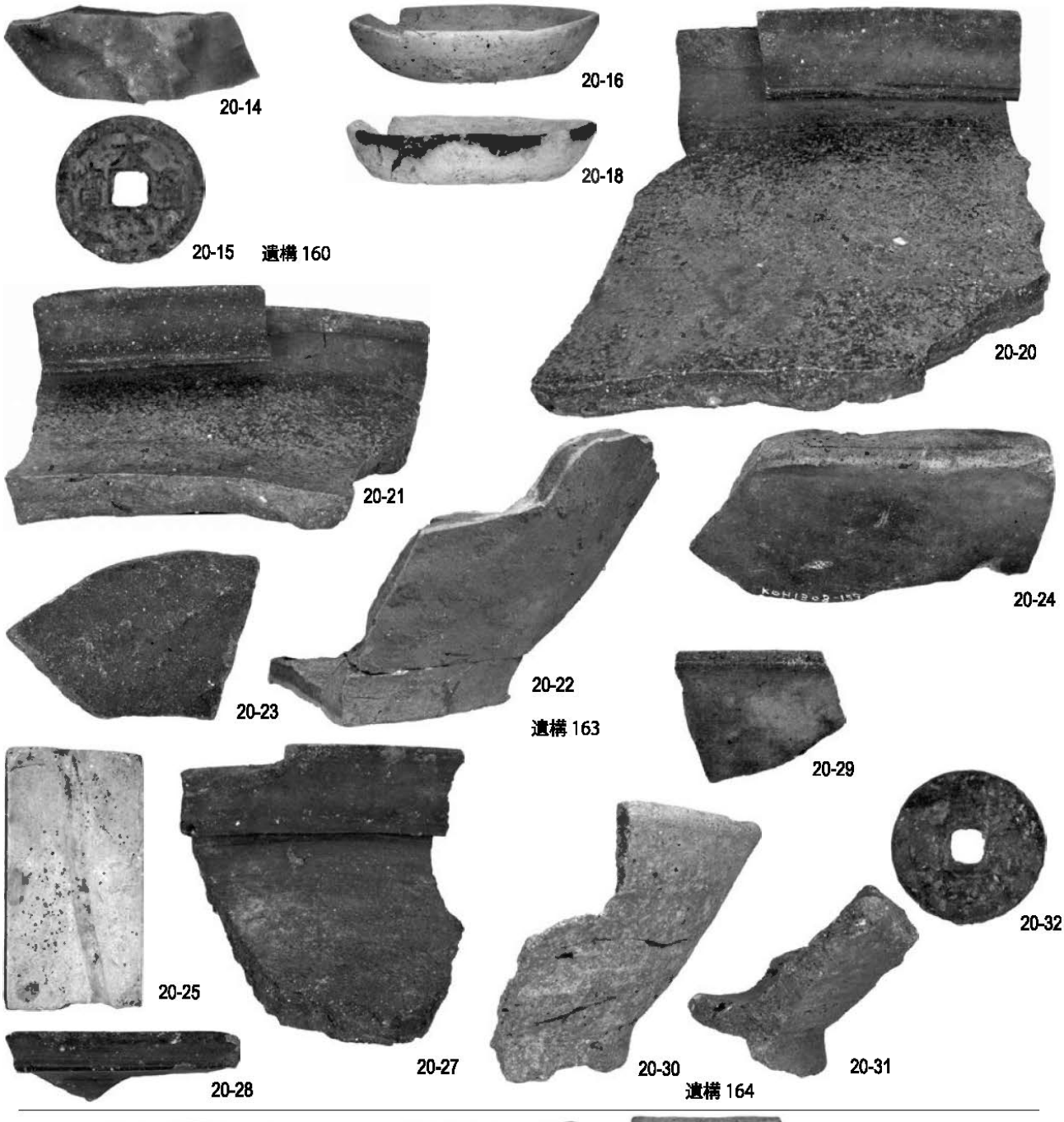
15-127

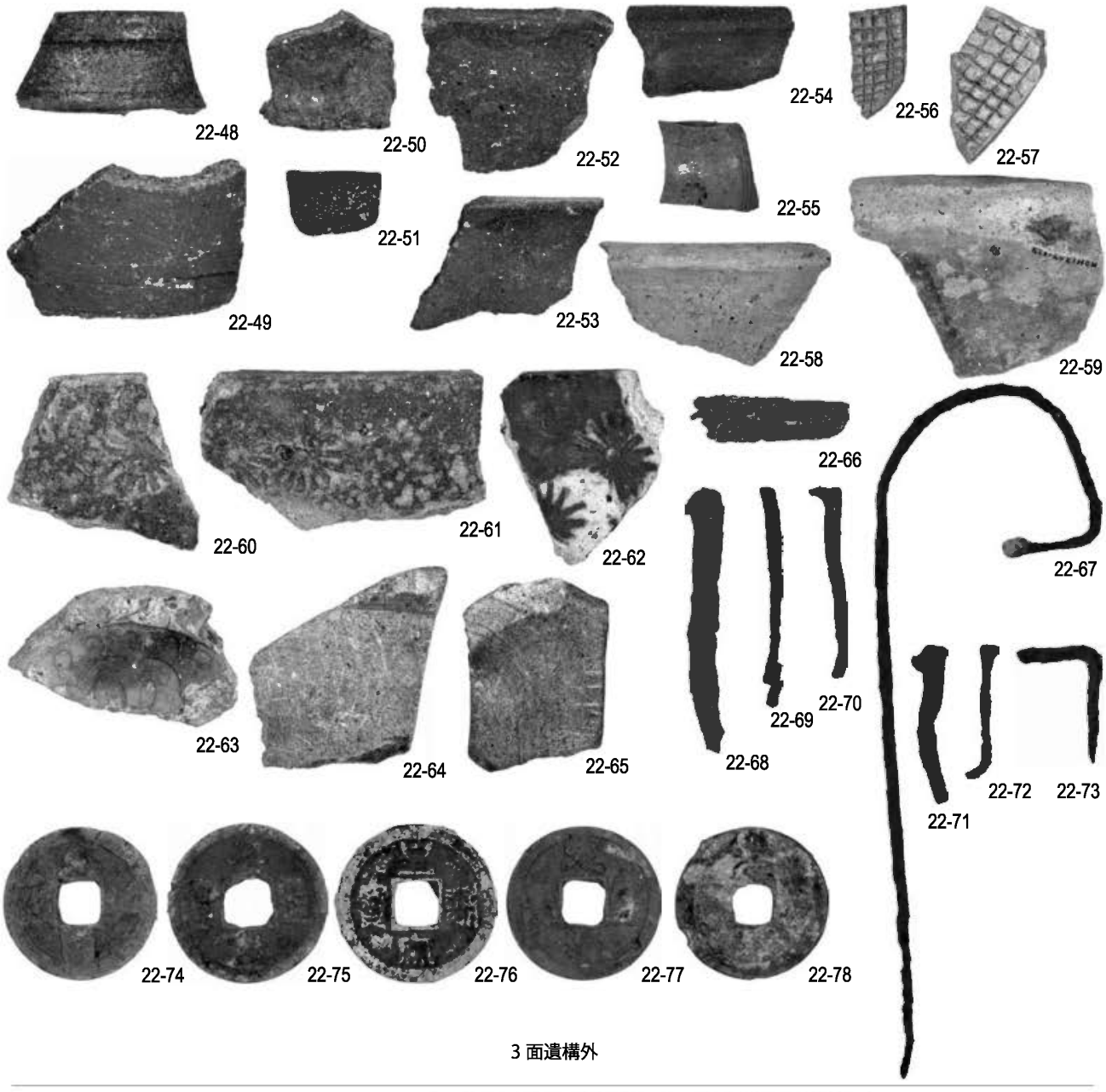

15-129


15-134
15-131
15-132
16-136
15-133
16-137
16-138
16-139
16-140
16-141
16-142
16-143
16-144
16-145
16-146
116-47
16-148
16-149
16-151
16-152
16-153
16-154
16-155
16-156
16-157
16-158
16-159
16-160

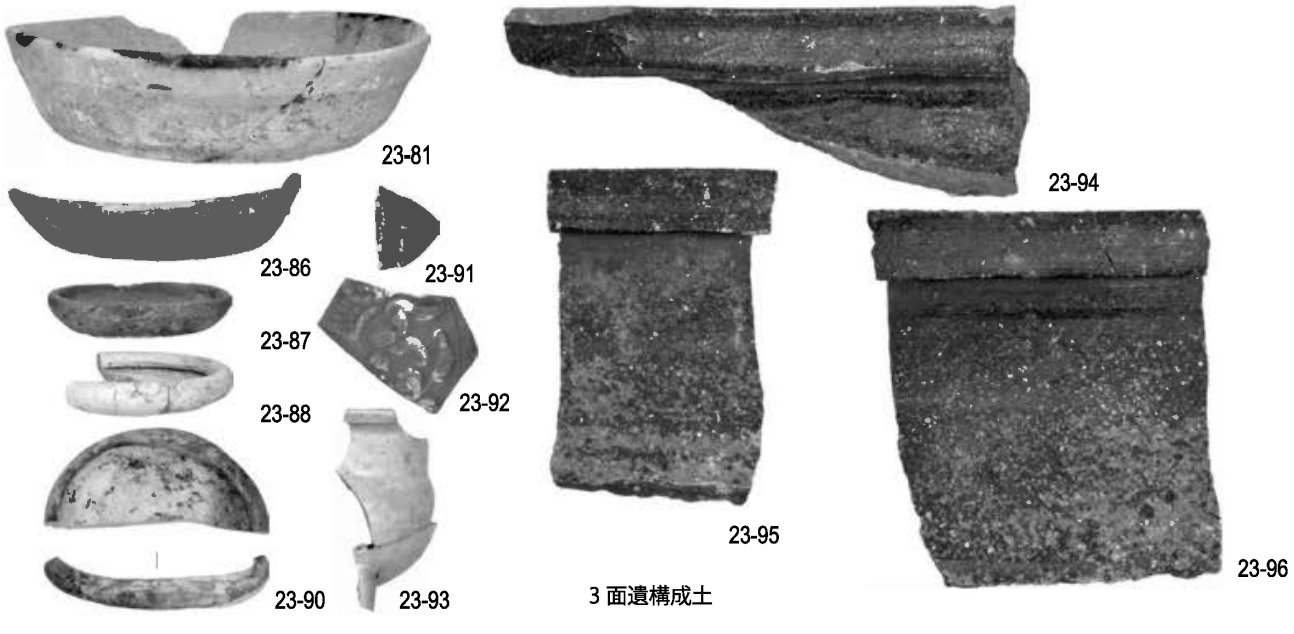
2 面構成土


16-161
16-162
16-163
16-164
16-165
16-166
16-167
16-168
16-169
17-169
17-170
17-171
17-172
17-173
17-174
17-175
16-176
17-177
17-178
17-179
17-180
17-181
17-182
17-183
17-184
17-185
17-186
17-187
17-188
17-189
17-190
17-191
17-192
17-193
2 面構成土
20-1
20-2
遺構 139
20-3
遺構 143
20-4
遺構 146
20-6
遺構 156
20-9
20-10
遺構 159
20-13

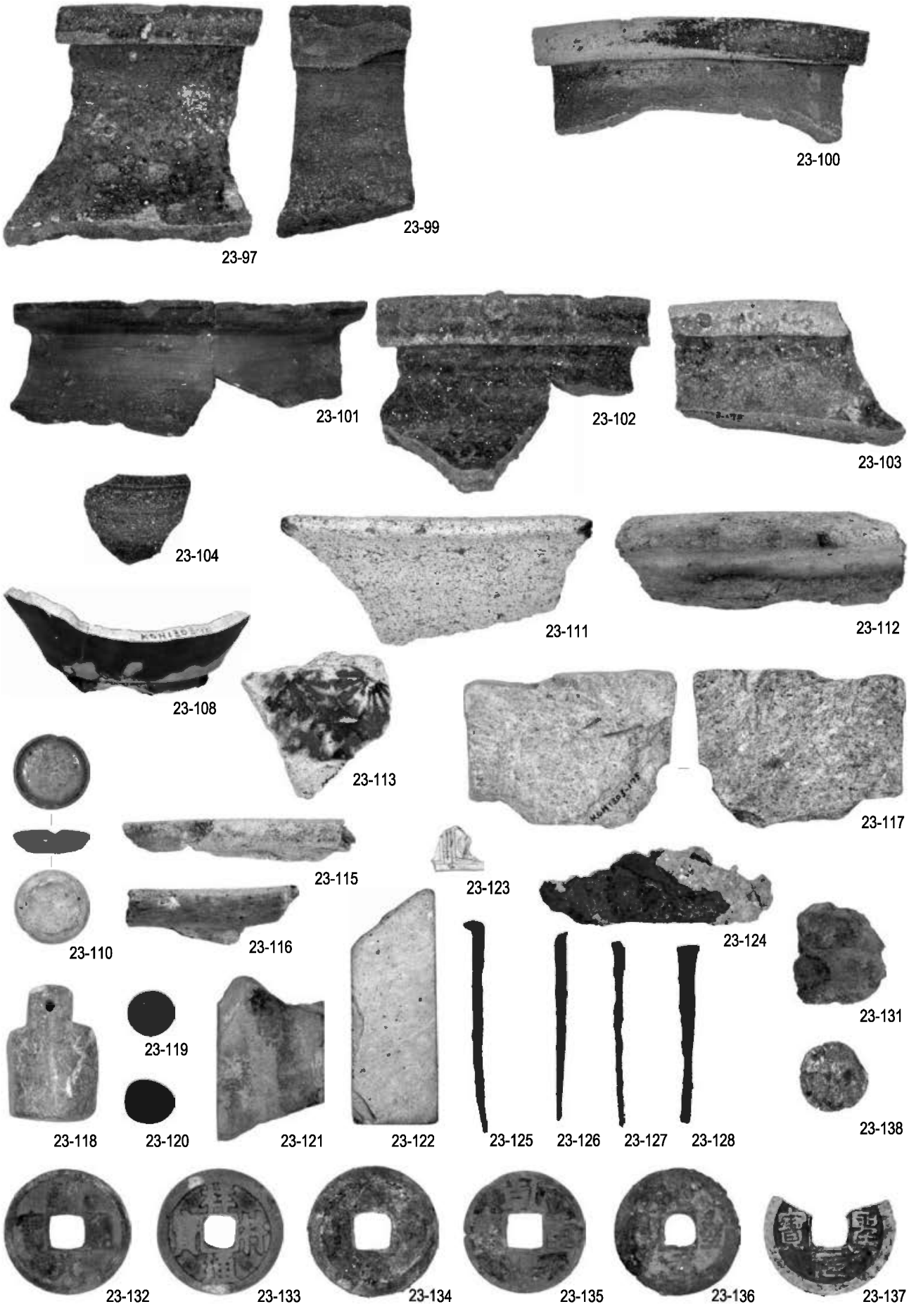

20-14
20-16
20-18
20-15
遺構 160
20-20
20-21
20-24
20-22
20-23
遺構 163
20-29
20-25
20-27
20-32
20-30
20-31
20-28
遺構 164
22-36
22-43
22-47
22-37
22-44
22-39
22-45
22-41
22-40
22-42
第３面遺構外
22-46



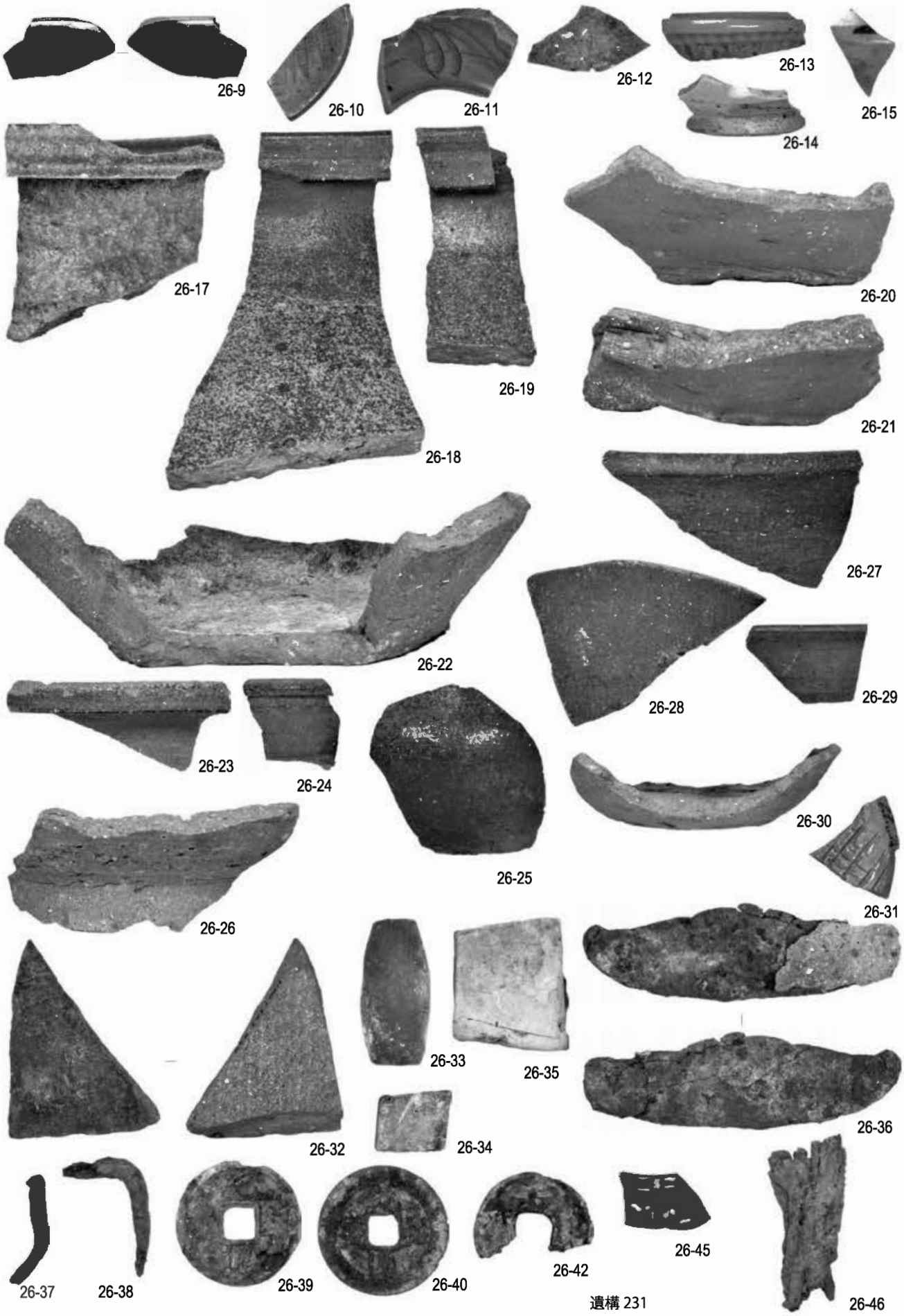
3 面遺構外

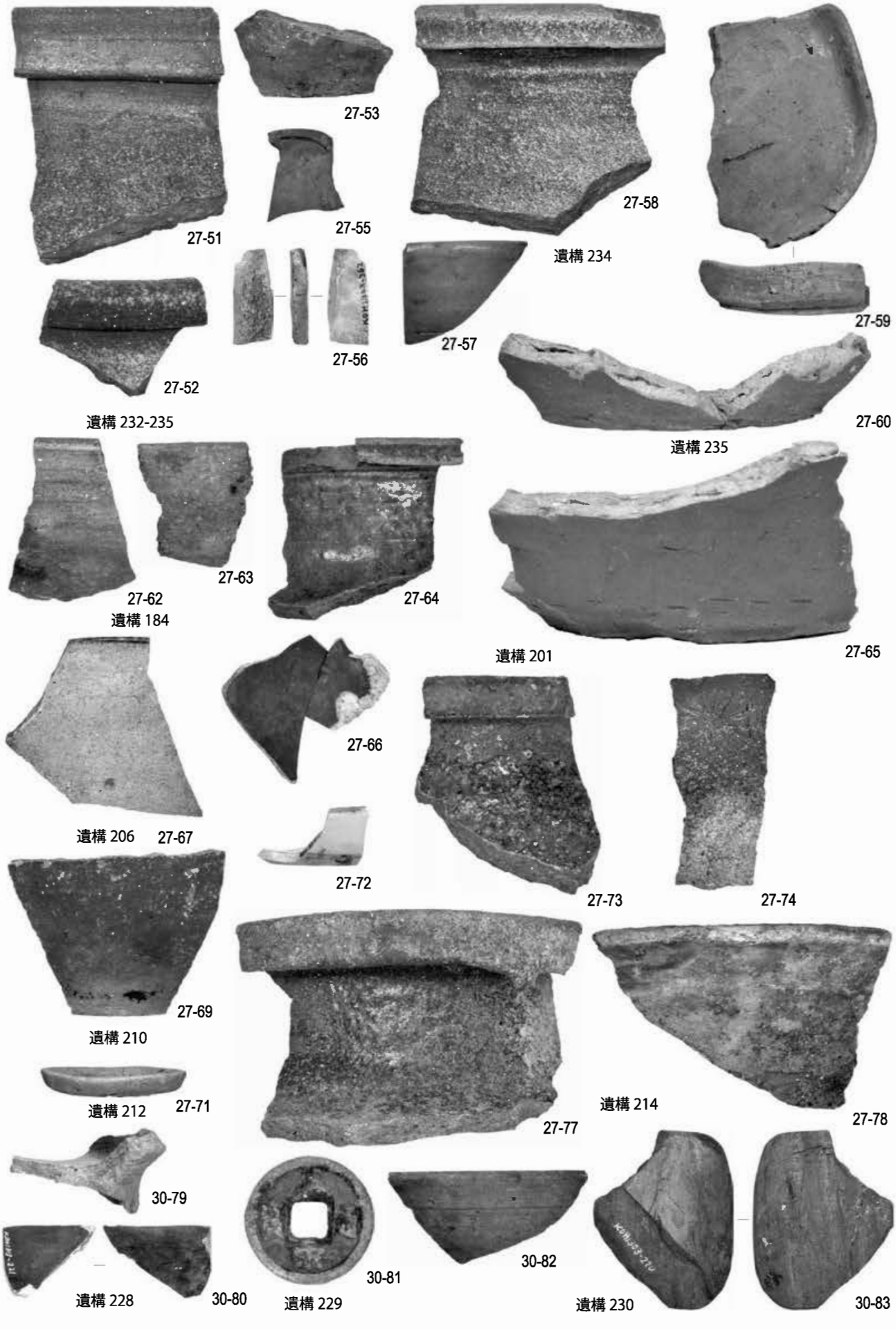


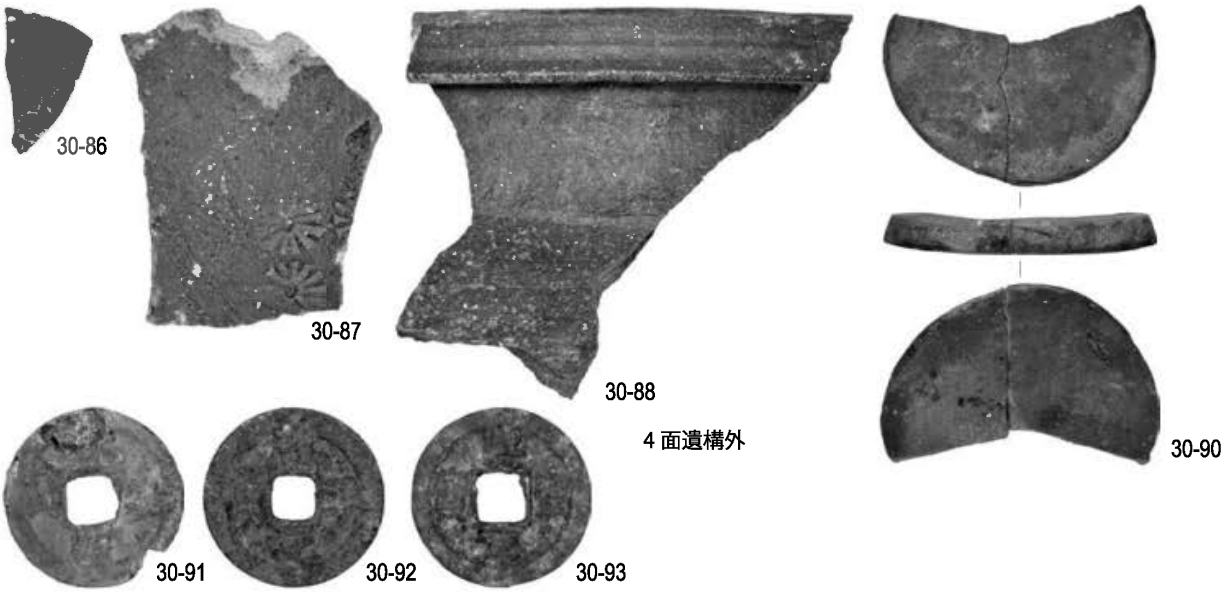
3 面遺構成土


23-97
23-99
23-100
23-101
23-102
23-103
23-104
23-111
23-112
23-108
23-113
23-117
23-115
23-123
23-110
23-116
23-124
23-131
23-119
23-118
23-120
23-121
23-122
23-125
23-126
23-127
23-128
23-138
23-132
23-133
23-134
23-135
23-136
23-137

3 面遺構成土

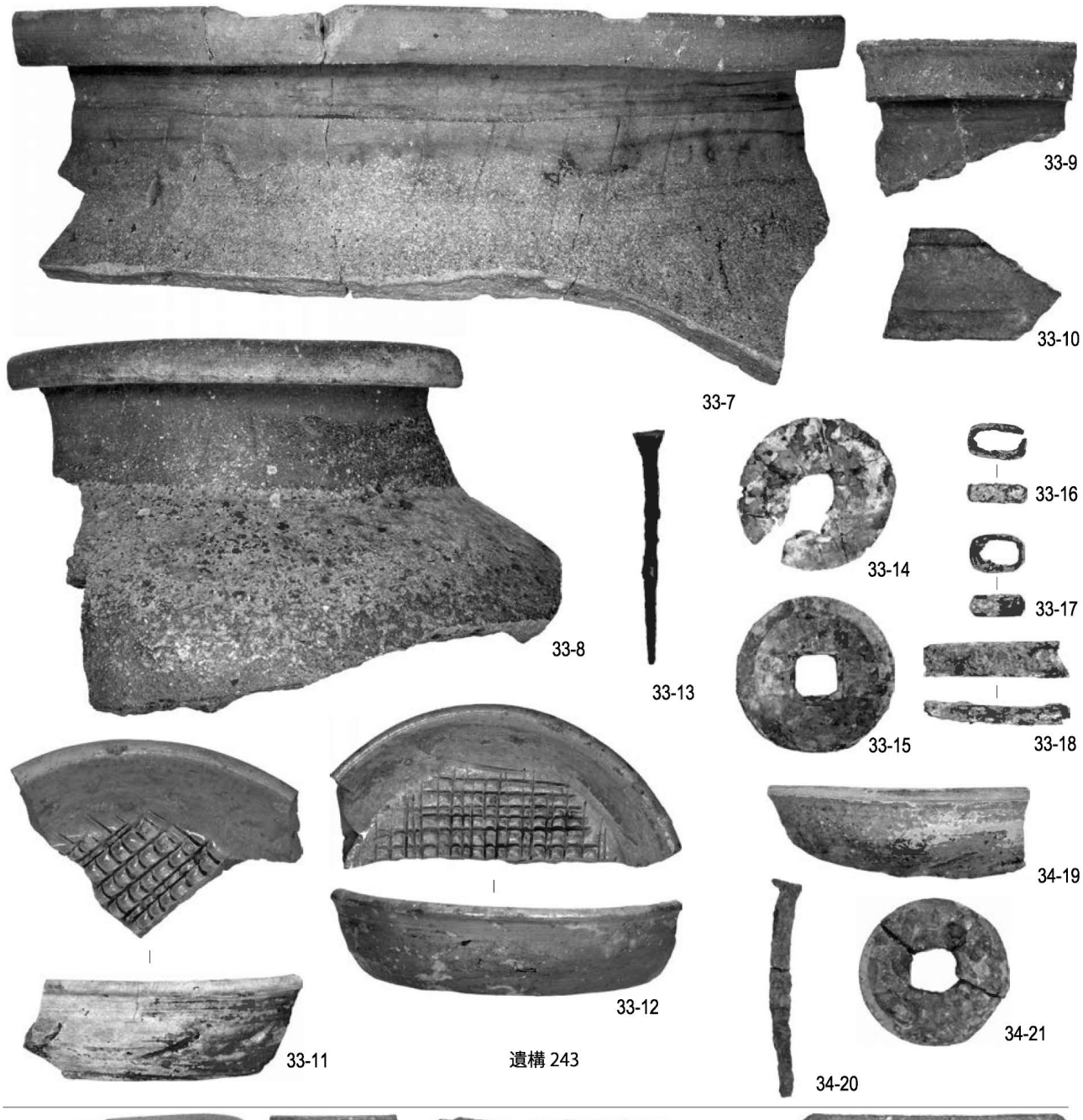

26-9
26-10
26-11
26-12
26-13
26-14
26-15
26-17
26-18
26-19
26-20
26-21
26-22
26-27
26-23
26-24
26-25
26-28
26-29
26-26
26-30
26-31
26-32
26-33
26-34
26-35
26-36
26-37
26-38
26-39
26-40
26-42
26-45
26-46
遺構 231

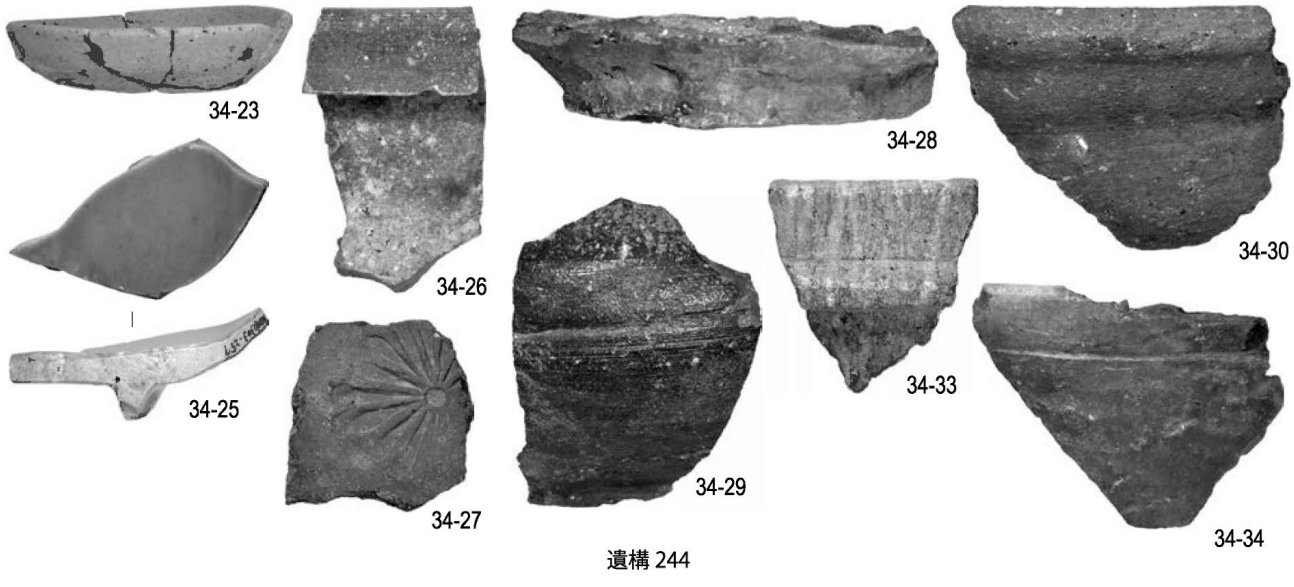

27-53
27-58
27-55
27-51
遺構 234
27-59
27-57
27-56
27-52
27-60
遺構 232-235
遺構 235
27-63
27-62
27-64
遺構 184
27-65
遺構 201
27-66
27-67
遺構 206
27-72
27-73
27-74
27-69
遺構 210
27-77
27-78
遺構 212
27-71
遺構 214
30-79
30-81
30-82
30-80
遺構 228
遺構 229
遺構 230
30-83

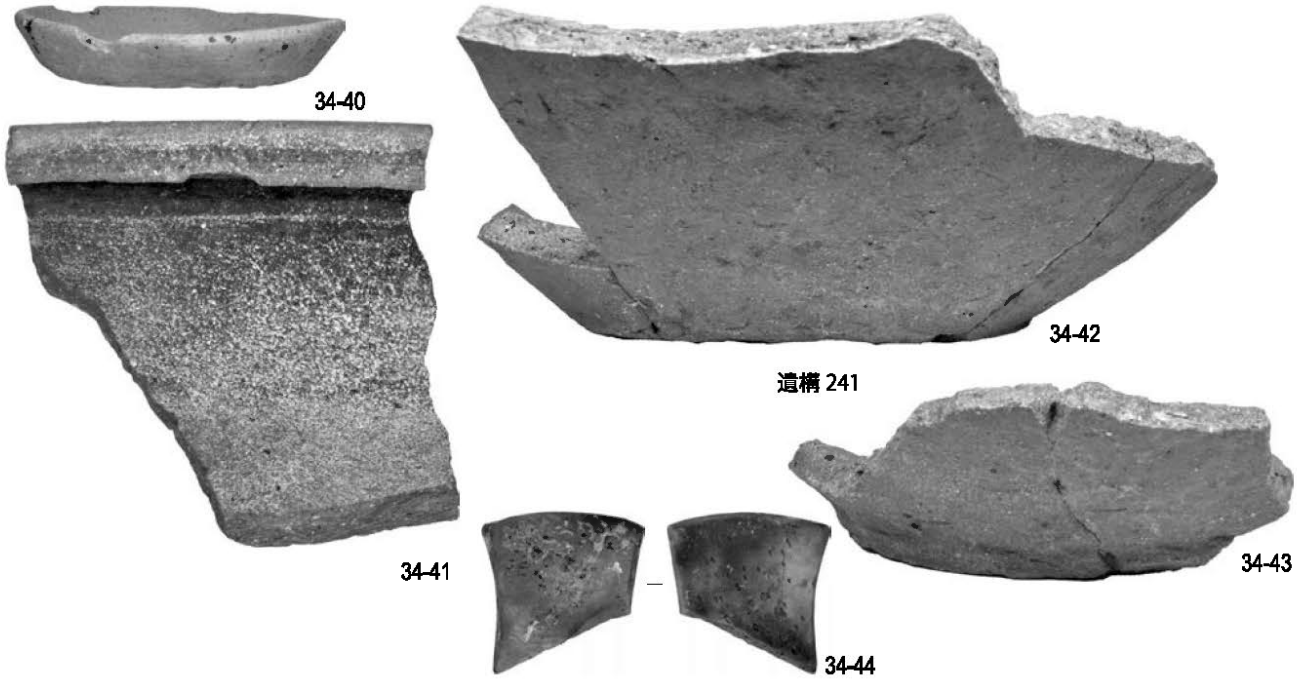


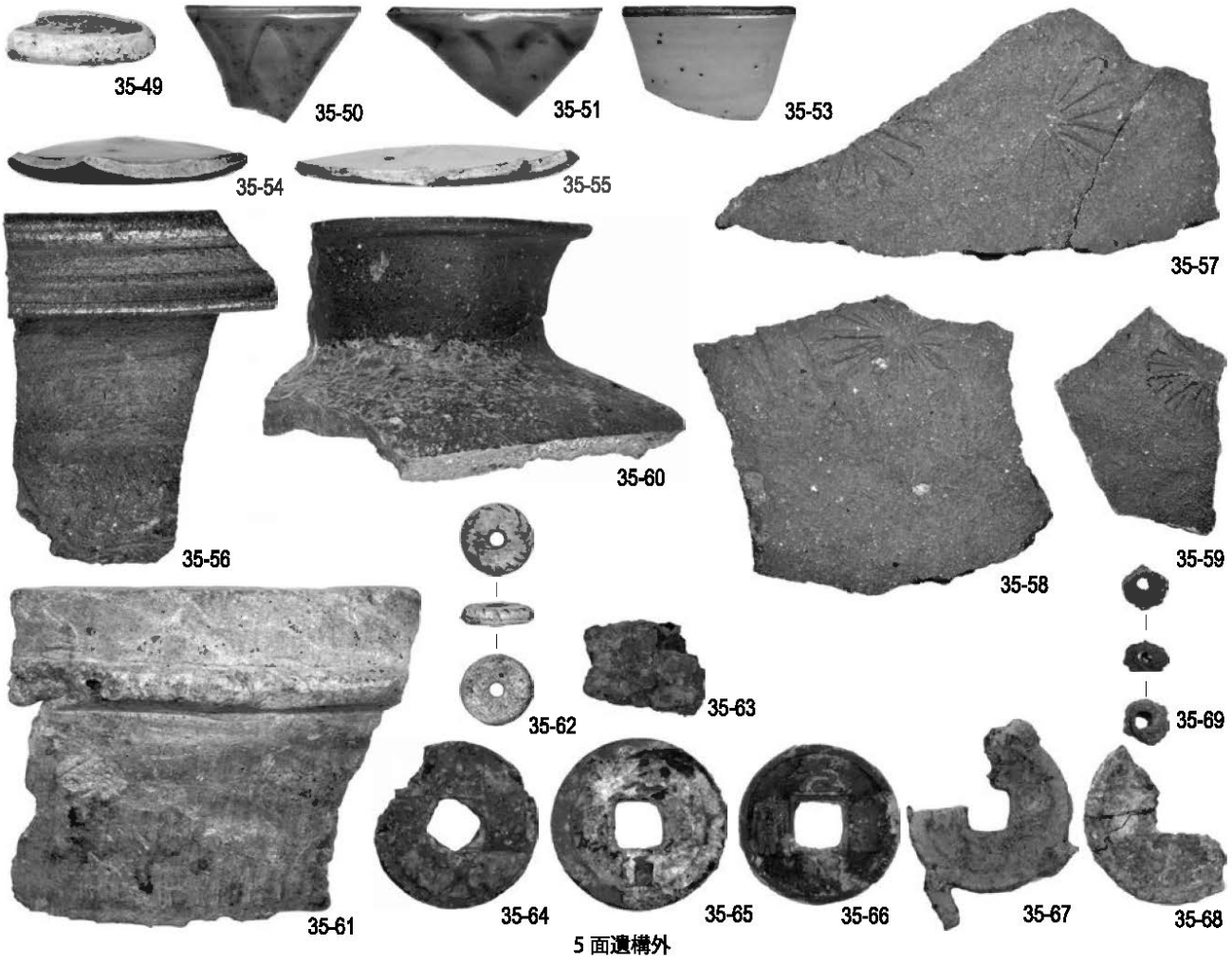
4 面遺構外

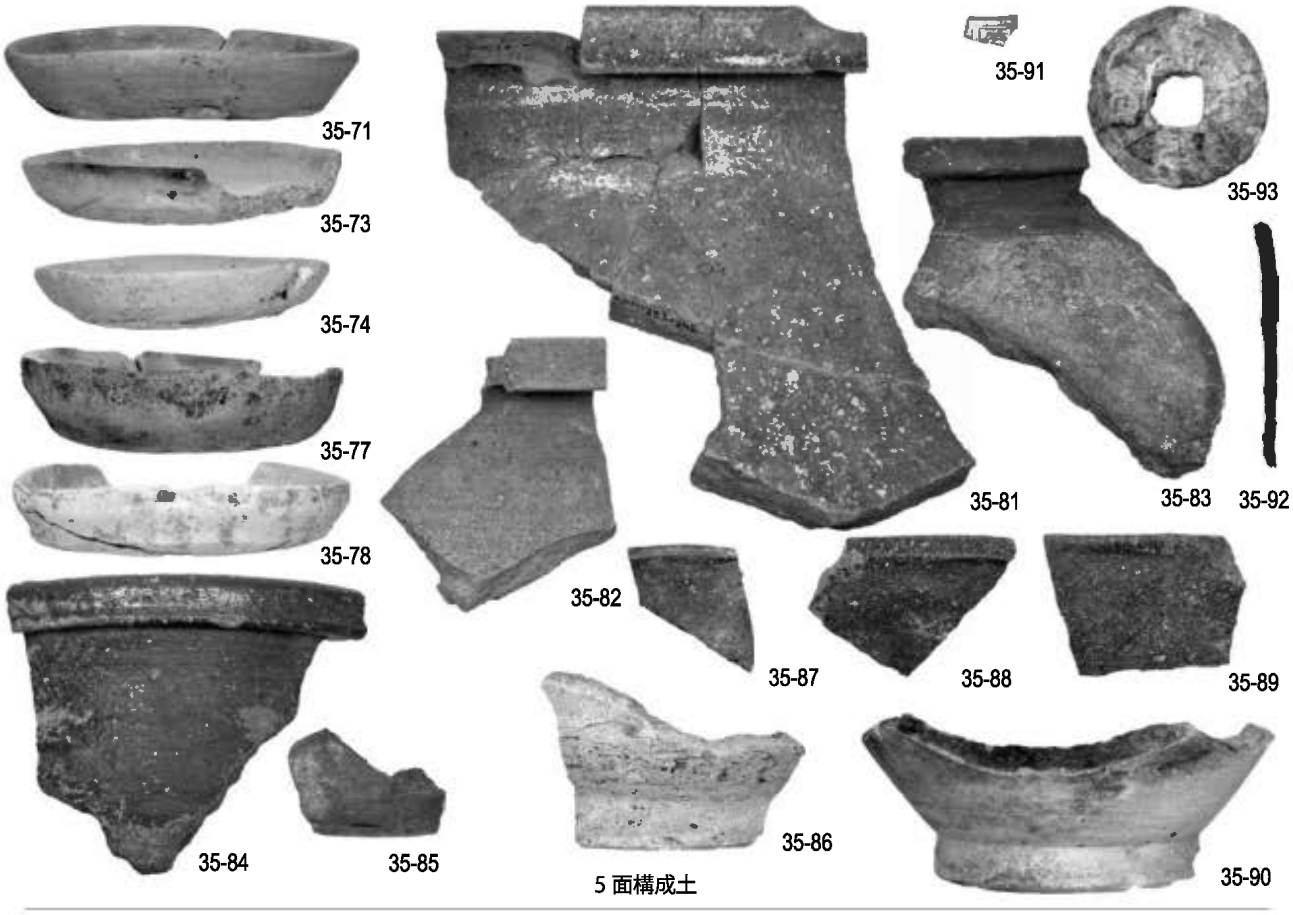
遺構 243


33-9
33-10
33-7
33-8
33-13
33-14
33-16
33-17
33-15
33-18
33-11
33-12
34-19
34-21
34-20
遺構 243


34-23
34-28
34-30
34-26
34-25
34-33
34-29
34-27
34-34
遺構 244


34-40
34-41
34-42
遺構 241
34-43
34-44
遺構 242

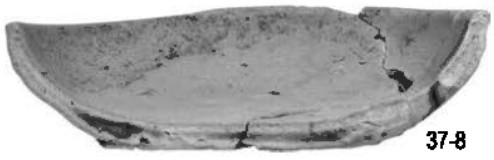

35-49
35-50
35-51
35-53
35-54
35-55
35-56
35-60
35-57
35-58
35-59
35-61
35-62
35-63
35-64
35-65
35-66
35-67
35-68
35-69
5 面遺構外



5 面構成土

遺構 256

遺構 257


37-8

37-9

37-10

6 面遺構外

37-12

37-20

37-21

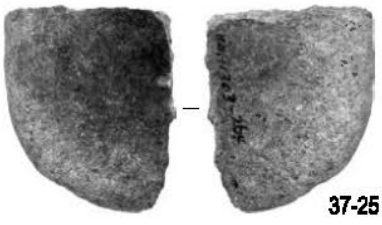
37-22

37-14

37-19

37-23

37-24


37-25

37-26

37-27

6 面構成土

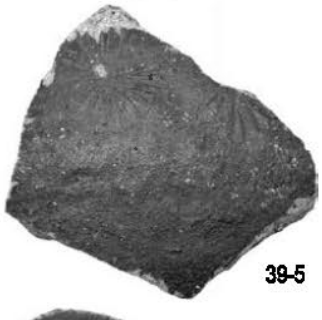
39-1

39-3

39-4

39-2

遺構 260


39-5

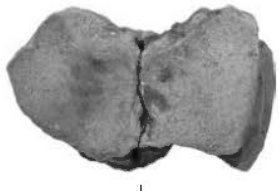
39-6

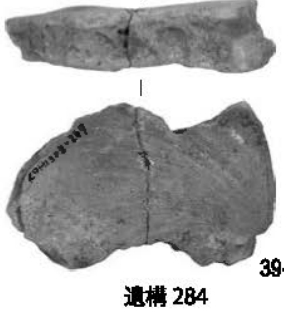
39-7

遺構 280

39-8 39-9

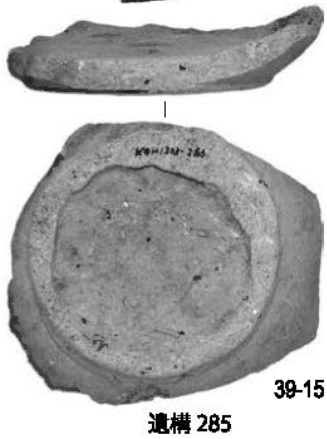
遺構 282



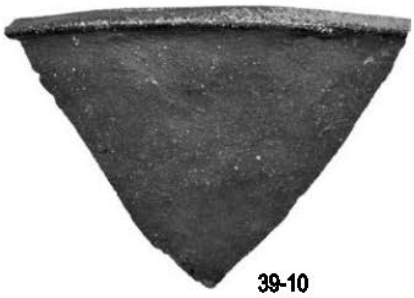

39-13

遺構 284

39-14

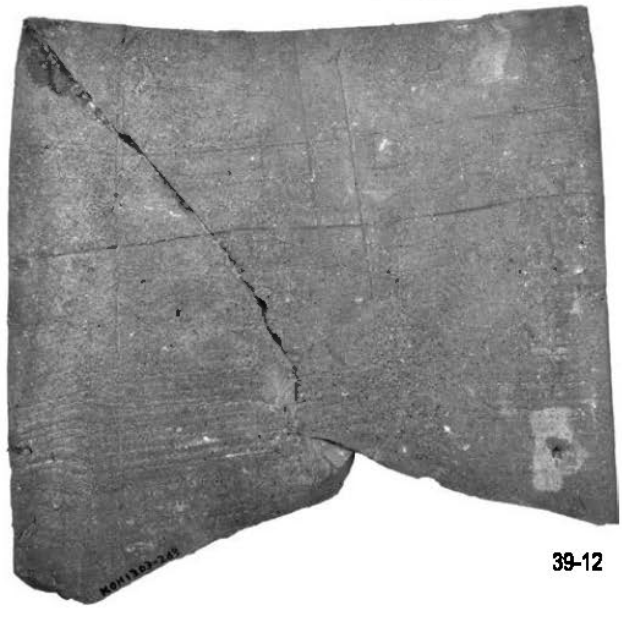

39-15

遺構 285



39-10

39-11



39-12

遺構 283

39-16

遺構 287

39-18 39-19

遺構 289

39-20

39-21

39-22

7 面遺構外

39-23

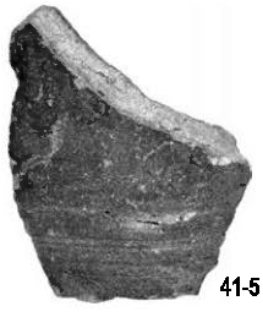
41-1

遺構 296

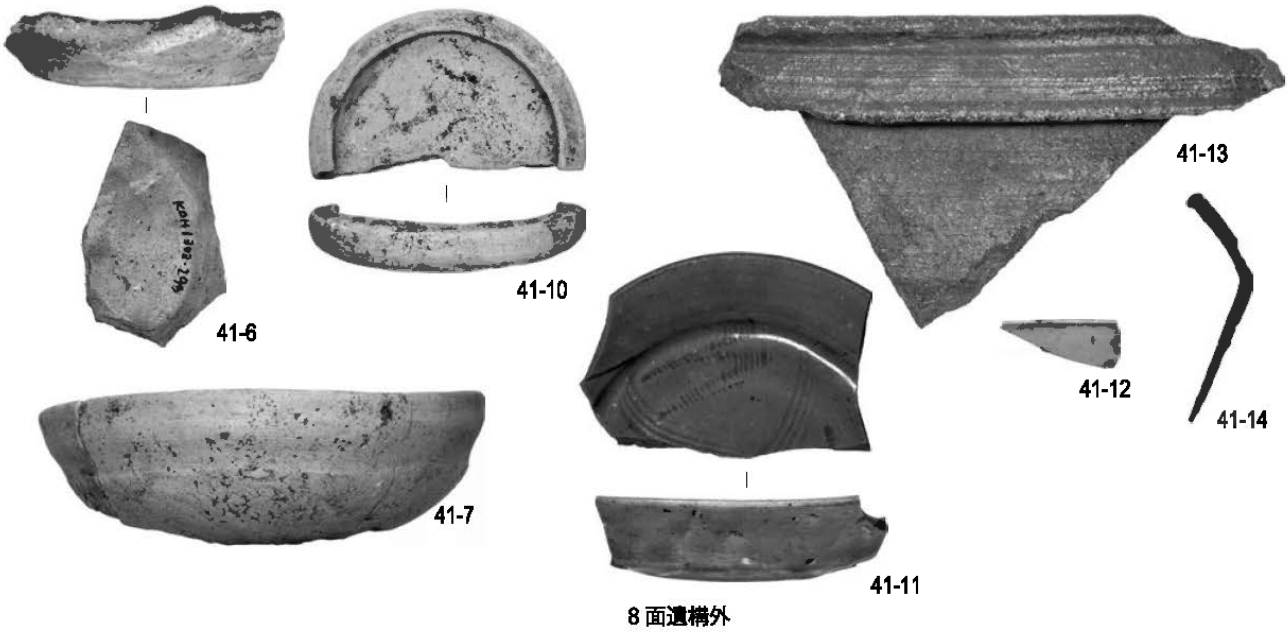
41-3

41-4

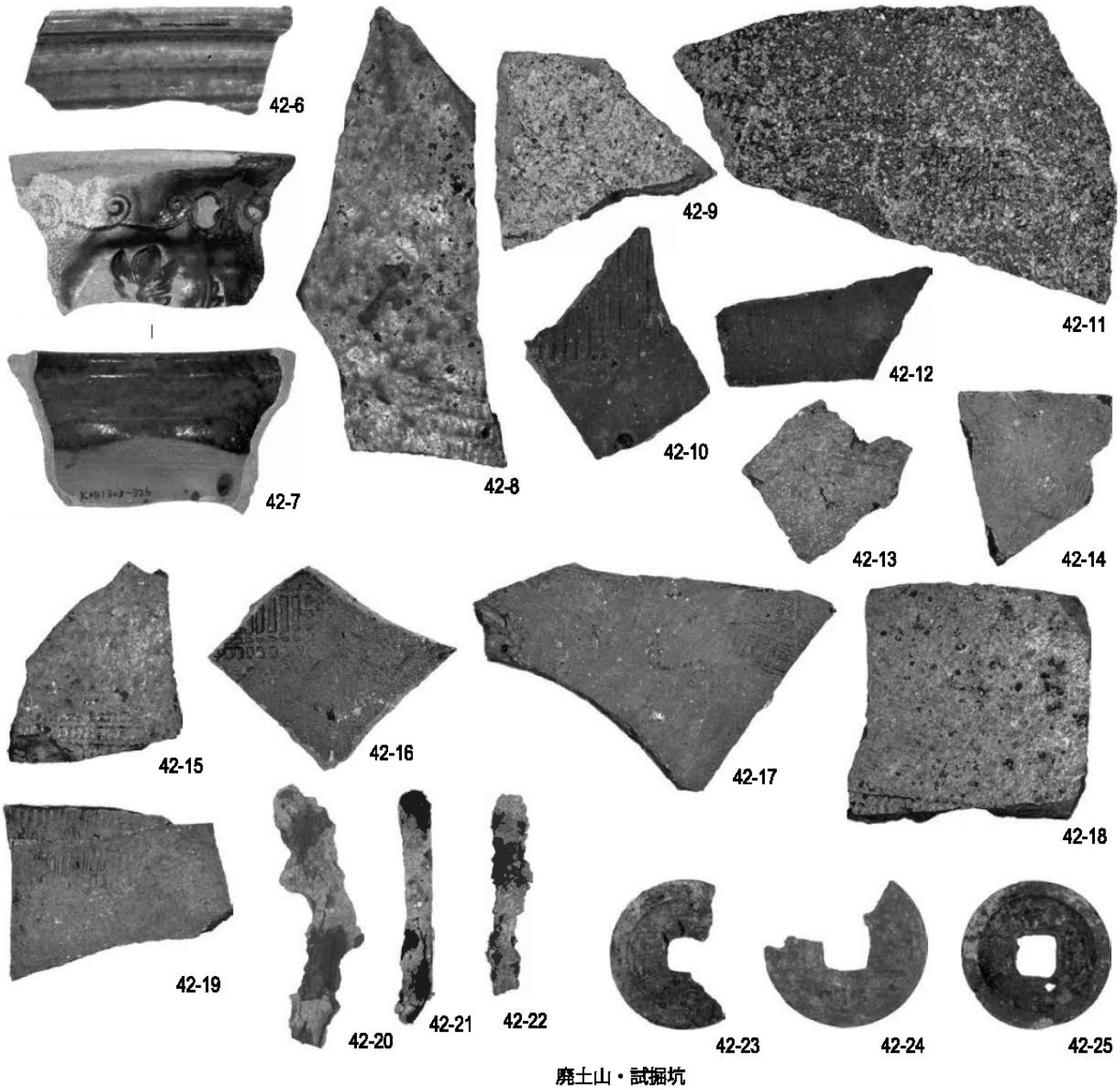
遺構 310



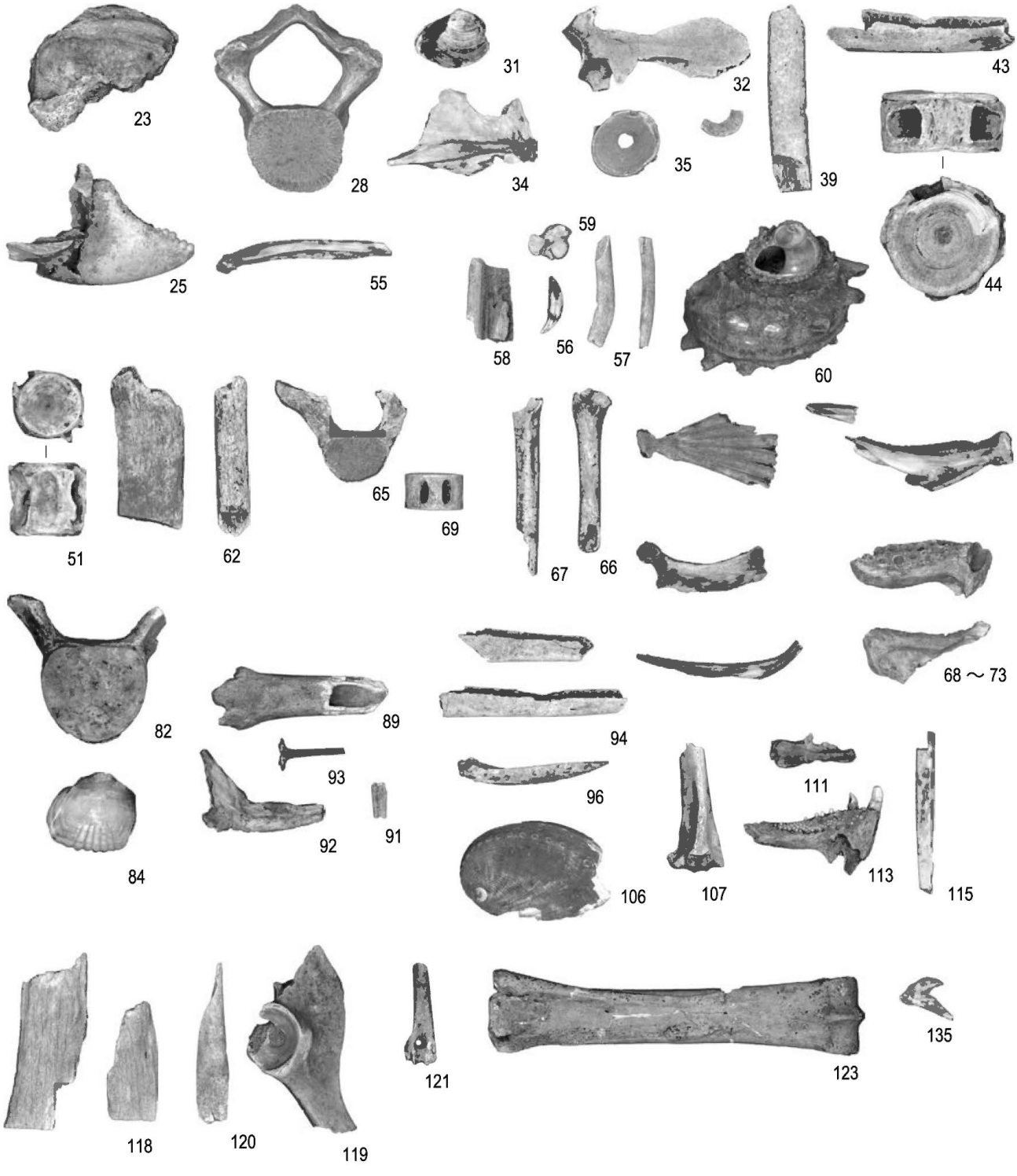
41-5



8 面遺構外



廃土山・試掘坑


23
28
31
34
32
35
39
43
25
55
59
58
56
57
60
44
51
62
65
69
67
66
68 ～ 73
82
89
94
93
96
111
84
92
91
106
107
113
115
118
120
119
121
123
135

今小路西遺跡（No.201）

鎌倉市由比ガ浜一丁目160番17地点

例　言

1.本報は鎌倉市由比ガ浜一丁目160番17地点に所在する遺跡の発掘調査報告である。

2.発掘調査は個人住宅建築にかかる建築範囲約40㎡を対象とし、平成26年1月14日から4月11日にかけて実施した。

3.現地における調査体制は以下の通りである。

調査担当者：原　廣志・後藤　健

調　査　員：吉田桂子・森谷十美・小野夏菜

作　業　員：安達越郎・石黒　清・寺尾征夫・永野幹晴・伴一明

4.本報告作成は以下の分担により行った。

遺物実測：岡田慶子・菊川泉・森谷十美・吉田麻子・畑野愛

遺物図版作成：後藤　健・岡田慶子・松吉里永子・小野夏菜・吉田桂子

遺構図版作成：後藤　健・岡田慶子・松吉里永子

観　察　表：松吉里永子・岡田慶子

遺構写真：後藤　健・須佐仁和

遺物写真：須佐仁和

写真図版作成：後藤　健・岡田慶子・松吉里永子

執　　筆：後藤　健

5.発掘に関わる出土品などの資料は鎌倉市教育委員会が管理・保管している。

6.本報告の遺物図版の縮尺は以下の通りである。

遺物実測図1/3（一部1/4）　銭1/1　各挿図にはスケールを表示してある。

7.遺物は可能な限り復元して実測した。紙面の都合からすべての実測図を掲載していない。遺物に関する詳細は観察表にまとめて記載。

・復原実測の遺物に関しては、計測値に（　　）を付して表記している。

・木製品のうち器形から用途を確実に判別できないものは「…状」として提示してある。

・文章中の「かわらけ」はロクロ成形のかわらけを指し、手づくね成形のかわらけは「手づくね」と記載している。

・ロクロ成形かわらけの底径は回転糸切りの外径部分で、手づくね成形かわらけの底径は、器面が接地した箇所で計測している。

・陶磁器に関しては、常滑は中野晴久氏、瀬戸製品に関しては藤澤良祐氏、磁器は山本信夫氏の編年に基づいて分類した。破片のため不明なものについては割愛した。

8.発掘調査及び報告書作成に関しては次の方々よりご教授、ご協力を賜りました。記して深く感謝いたします。（敬称略・五十音順）

伊丹まどか、汐見一夫、原　廣志、馬淵和雄

目　次

本　文　目　次

第一章　調査地点の位置と歴史的環境 …… 188

第１節　歴史・地理的環境 …… 188
第２節　周辺地点の調査 …… 189
第３節　調査の方法と経緯 …… 191
第４節　遺跡の堆積土層 …… 192

第二章　発見した遺構と遺物 …… 195
第１節　第１面の遺構と遺物 …… 195
第２節　第２面の遺構と遺物 …… 199
第３節　第３面の遺構と遺物 …… 203
第４節　第４面の遺構と遺物 …… 208
第５節　第5a面の遺構と遺物 …… 214
第６節　第5b面の遺構と遺物 …… 223
第７節　第６面の遺構と遺物 …… 225
第８節　遺構外遺物 …… 229

第三章　考察とまとめ …… 230

挿　図　目　次

図１　調査地点と周辺の遺跡 …… 189
図２　調査位置とグリッド配置図 …… 191
図３　調査区西壁堆積土層図 …… 192
図４　第１面全体図 …… 196
図５　第１面遺構個別図 …… 196
図６　第１面遺構出土遺物 …… 197
図７　第１面遺構外および構成土出土遺物 …… 198
図８　第２面全体図 …… 199
図９　第２面遺構個別図 …… 200
図10　第２面遺構81個別図 …… 201
図11　第２面遺構出土遺物 …… 202
図12　第２面遺構外および構成土出土遺物 …… 203
図13　第３面全体図 …… 204
図14　第３面遺構個別図 …… 205

図 15　第 3 面遺構および遺構外出土遺物 206
図 16　第 3 面構成土出土遺物 207
図 17　第 4 面全体図 209
図 18　第 4 面遺構個別図 210
図 19　第 4 面遺構出土遺物 212
図 20　第 4 面遺構・遺構外・構成土出土遺物 213
図 21　第 5a 面全体図 215
図 22　第 5a 面遺構個別図（1） 216
図 23　第 5a 面遺構個別図（2） 218
図 24　第 5a 面遺構出土遺物（1） 219
図 25　第 5a 面遺構出土遺物（2） 220
図 26　第 5a 面遺構出土遺物（3） 221
図 27　第 5a 面遺構・遺構外・構成土出土遺物 222
図 28　第 5b 面全体図 223
図 29　第 5b 面遺構および構成土出土遺物 224
図 30　第 6 面全体図 226
図 31　第 6 面個別遺構図 227
図 32　第 6 面遺構および構成土出土遺物 228
図 33　遺構外出土遺物 229

表　目　次

表 1　出土物観察表 234
表 2　出土遺物集計表 249
表 3　遺構計測表 251
表 4　自然遺物集計表 253

図　版　目　次

写真図版 1 254
写真図版 2 255
写真図版 3 256
写真図版 4 257
写真図版 5 258
写真図版 6 259
写真図版 7 260
写真図版 8 261
写真図版 9 262
写真図版 10 263
写真図版 11 264
写真図版 12 265

写真図版 13 266
写真図版 14 267
写真図版 15 268
写真図版 16 269
写真図版 17 270
写真図版 18 271
写真図版 19 272
写真図版 20 273
写真図版 21 274
写真図版 22 275
写真図版 23 276

第一章　調査地点の位置と歴史的環境

第１節　歴史・地理的環境（図１）

本調査地点は由比ガ浜一丁目 160 番 8、10、JR 鎌倉駅より南西に約 600 ｍの地点に所在する。今小路西遺跡は南北約 1.1km、東西は約 300m におよぶ広範囲の遺跡である。現在の鎌倉市立御成小学校校門前を南北方向に走る今小路を東の境とし、北は寿福寺の門前、南は県道鎌倉葉山線まで至り、西側は笹目谷入口から尾根の際までとなる。

遺跡は鎌倉旧市街地の西部にあたり、海抜はおよそ８～９ｍでさほど大きな起伏がない平坦地となっている。遺跡の西側は源氏山から南へ尾根が延びて続いており、平野部と尾根の比高差は 30 ｍ前後である。本調査地点は佐助ヶ谷と呼ばれる谷戸の開口部に位置しており、佐助ヶ谷は開口部幅 250 ｍ、奥行き 900 ｍほどで、主谷と多くの小支谷で構成されている。本調査地点の北側約 110 ｍは佐助ヶ谷の東端で、源氏山から続く尾根の南端であり、そこから南へは平坦地が続く。本調査地点の周辺についてみれば西高東低であり、今小路に向かってなだらかに下がっている。

尾根の先端部は天狗堂（崎）と呼ばれていたようである。『太平記』の新田義貞鎌倉攻めの記述に「天狗堂と扇ガ谷に軍有と覚て」とあり、また天保三（1832）年の『扇ガ谷村絵図』には丘陵先端に「天狗堂崎」、慶安年間作成とされる『相州鎌倉之図』には「天狗堂」、明暦万治頃とされる『相州鎌倉之図』には「天くたう谷」の文字が確認できる。『太平記』成立以前からのこの地の呼称であり、長らく続いていることがうかがえる。

この尾根の南側は佐助川が東流している。佐助川は銭洗弁財天社、佐助稲荷社を水源として、佐助ケ谷の中央を流れ、谷戸の開口部で東に流路を変え、現在の下馬交差点の付近で滑川に合流する。調査地付近では暗渠となっている。

今小路については、『吾妻鏡』に記載がなく、初見は『快元僧都記』で、天文八（1539）年の十月条に「扇ヶ谷今小路番匠主計助」とあり、番匠主計助が荒神の宮を修補したことがわかるだけである。『新編鎌倉志』には「今小路は寿福寺の前に石橋あり、勝橋と云う。鎌倉十橋の一なり。ここより南を今小路と云う。巽荒神の辺より南を長谷までの間は長谷小路と云うなり」とあり、『大日本地名辞書』では「扇谷の谷口より南に馳せ、裁許橋に至る舊街の名なるべし、今は専寿福寺の門前の南を云ふ」としている。

なお調査地点の北 70m の路は、現在の御成中学校より約 560 ｍ東西に走り、今小路にほぼ直行してその先は江ノ電の線路によって途切れるが、その延長は下馬の交差点となる。「大町大路」の可能性も示唆されているが、定かではない（馬淵 2007）。

第２節　周辺地点の調査

調査地点周辺の発掘調査では、弥生・古墳時代の遺物がまばらに確認されている。また調査地点から南東 400 ｍに位置する和田塚一帯は向原古墳群があったとされる。向原古墳群に属する「采女塚古墳」からは明治期に人物埴輪、馬形埴輪、円筒埴輪が出土しているが、調査地点一帯でも埴輪片が検出されており、往時は古墳群が比較的広い範囲に存在していた可能性がある。

調査地点より北東に 270 ｍの地点 12（今小路西遺跡御成小学校地点）は鎌倉を代表する遺跡であり、調査面積が広く、大きな成果をあげている。中世面の下からは８～ 10 世紀の大型掘立建物群、基壇建

築群が発見され、鎌倉郡家に比定されている。中世では南北にならぶ広大な武家屋敷、道路を挟んで東側に展開する町屋などが検出されており、遺物・遺構とも多岐にわたっている。地点 11 の今小路西遺跡社会福祉センター用地地点は、地点 12 と同様比較的調査面積が広く、やはり貴重な成果をあげた遺跡である。古代では鎌倉郡家に関連すると推定される掘立柱建物が検出されている。中世では 13 世紀から 14 世紀中葉に属する武家屋敷、町屋跡などが検出され、また中世の佐助川の流路と推定される河川遺構も見つかっている。

福祉センター用地地点より道路を挟んで南東側は、本調査地点を含み 10 か所ほどの調査がなされている。そのうち本調査地点から小路をはさんで北東に隣接する地点では 2 ヶ所の調査が行われており、地点 4 では中世面 3 枚から東西道路とそれに交差する南北道路が検出された。13 世紀後半～ 14 世紀後半にかけてと推定されている。その西に隣接する地点 3 では 13 世紀中葉～ 13 世紀初頭にかけて 8 面の生活面が見られ、掘立柱建物など多数の遺構とともに、東西方向の溝が調査区北側で検出されている。この溝は地点 4 にみられる東西道路の側溝に続くものと想定され、東西道路がさらに延長していることが推定される。

地点 5 では生活面 5 枚が確認され、13 ～ 15 世紀にわたり掘立柱建物、溝、井戸、木組み、多数のピッ

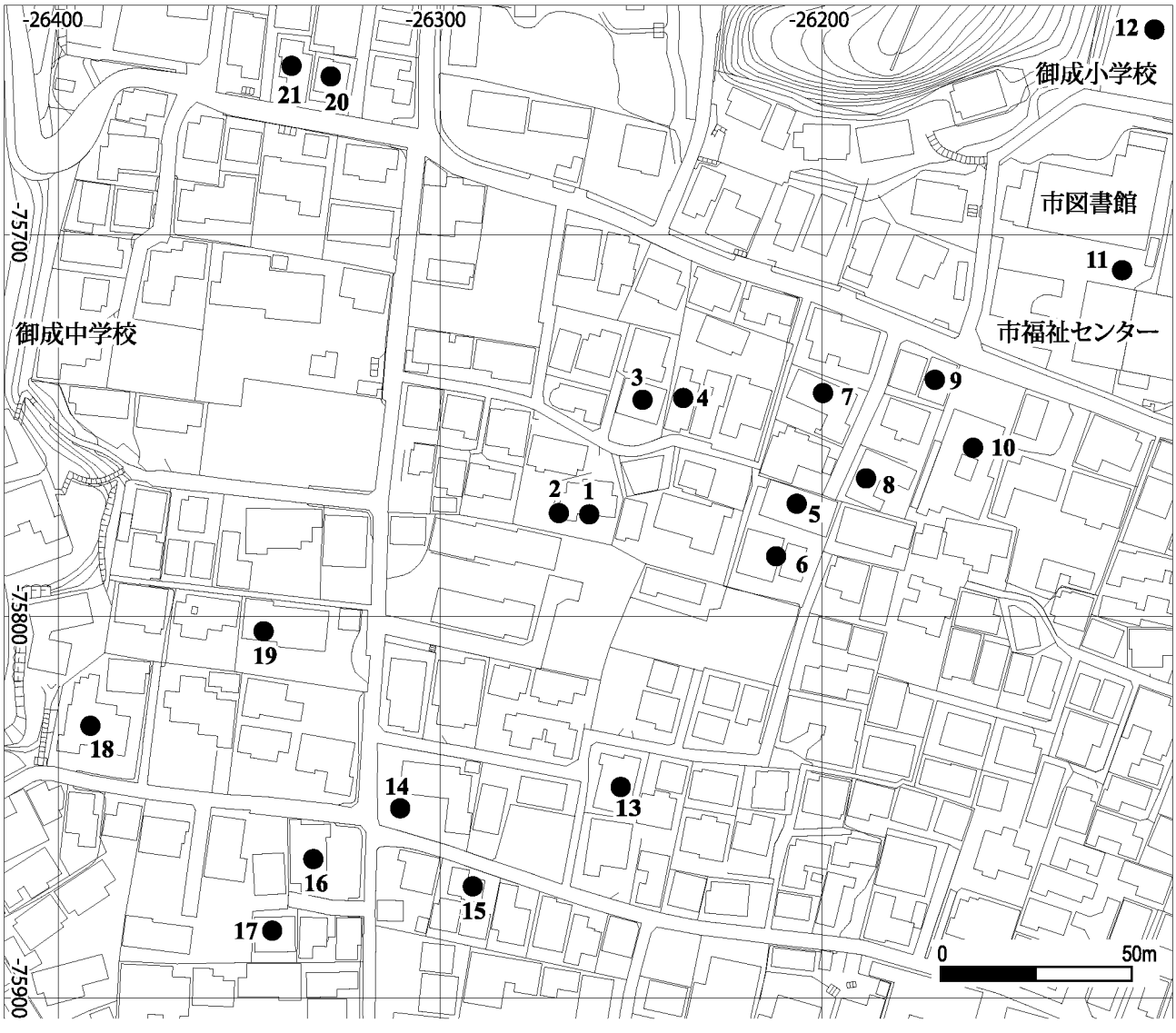


図 1　調査地点と周辺の遺跡

No.	名称	住所	調査者	調査	刊行	文献
1	今小路西遺跡	由比ガ浜一丁目 160 番 17	原・後藤	2013	2018	本報告
2	今小路西遺跡	由比ガ浜一丁目 160 番 8、10	後藤	2014	2018	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書』35
3	今小路西遺跡	由比ガ浜一丁目 157 番 7 外	馬淵	2005	2012	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書』28-1
4	今小路西遺跡	由比ガ浜一丁目 151 番 1 の一部	熊谷	2007	2011	『今小路西遺跡発掘調査報告書』 鎌倉遺跡調査会
5	今小路西遺跡	由比ガ浜一丁目 147 番 2 外	原	2007	2017	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書』34-4
6	今小路西遺跡	由比ガ浜一丁目 147 番 1 の一部	斉木	2007	2017	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書』34-4
7	今小路西遺跡	由比ガ浜一丁目 148 番 11	赤星	1983	1983	『神奈川県埋蔵文化財調査報告』26
8	今小路西遺跡	由比ガ浜一丁目 148 番 5	宮田	2001	2004	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書』20-1
9	今小路西遺跡	由比ガ浜一丁目 148 番 1	野本	2000	2002	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書』18-1
10	今小路西遺跡	由比ガ浜一丁目 141 番 5 外	小林	2006	2007	『今小路西遺跡発掘調査報告書』 玉川文化財研究所
11	今小路西遺跡	御成町 625 番 2	河野・宮田	1989	1993	『今小路西遺跡発掘調査報告書』 今小路西遺跡発掘調査団
12	今小路西遺跡	御成町 625 番 3	河野	1985	1990	『今小路西遺跡（御成小学校内）発掘調査報告書』 今小路西遺跡発掘調査団
13	今小路西遺跡	由比ガ浜一丁目 165 番 2	斉木・鯉渕	2008	2012	『今小路西遺跡発掘調査報告書』 鎌倉遺跡調査会
14	今小路西遺跡	由比ガ浜一丁目 163 番 1	押木	2016	2017	『第 27 回鎌倉市遺跡調査・研究発表会』
15	今小路西遺跡	由比ガ浜一丁目 197 番 2 外	瀬田	2006	2007	『今小路西遺跡発掘調査報告書』 鎌倉遺跡調査会
16	笹目遺跡	笹目町 302 番 5	田代	1993	1995	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書』11-2
17	笹目遺跡	笹目町 302 番 11	継	2000	2002	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書』18-2
18	笹目遺跡	笹目町 423 番 2	斉木	2005	2010	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書』26-2
19	笹目遺跡	笹目町 425 番 1	田代・継	1992	1994	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書』10-2
20	佐助ヶ谷遺跡	佐助一丁目 450 番 24	宮田	1996	1998	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書』14-2
21	佐助ヶ谷遺跡	佐助一丁目 450 番 25･27	宮田	1996	1998	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書』14-2

トが検出されている。その南に隣接する地点 6 では、範囲の狭い調査であるが、生活面が 6 枚検出された。13 世紀中葉～ 15 世紀にかけて、竪穴状遺構、多数の土坑やピットが確認されている。地点 8 では 13 世紀前半～ 14 世紀後半の生活面が 3 枚検出され、南北の道路状遺構、方形竪穴、土坑、井戸などの遺構が確認された。地点 9 では削平で中世面がほとんど残存していなかったようであるが、掘立柱建物 2 棟をはじめとする柱穴群が見られる。南方の地点 15 では中世の生活面 3 枚より、方形竪穴や土坑などが検出されている。

参考・引用文献

三浦勝男編 1993『鎌倉の古絵図 II　鎌倉国宝館図録第 16 集』

三浦勝男編 2005『鎌倉の地名由来辞典』、東京堂出版

鎌倉市史編纂委員会 1972『鎌倉市史　総説編』、吉川弘文館

鎌倉市史編纂委員会 1972『鎌倉市史　社寺編』、吉川弘文館

馬淵和雄他 2007「若宮大路周辺遺跡群」『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書』23-2、鎌倉市教育委員会

『国立国会図書館デジタルコレクション－新編鎌倉志』国立国会図書館

第３節　調査の方法と経緯

本発掘調査は個人住宅の建築築に伴う事前調査として、鎌倉市教育委員会が実施した。建築計画では基礎工事として柱状改良工事を施すため、平成 25 年 8 月 1 日～ 8 月 2 日にかけて鎌倉市教育委員会が埋蔵文化財の確認調査を実施した。1.6 ｍまで掘削した結果、地表下 60cm で遺物包含層が検出され、地表下 85cm で中世遺構面、140cm で砂層を確認し、中世遺構面と推定される堆積層の確認がなされた。遺構面が複数存在することが予測される結果を得たため、建築計画実施に先立って本格的な発掘調査を実施する必要ありとの判断がなされた。

以上の手続きより、平成 26 年 1 月 14 日～ 4 月 11 日の約 3 ヶ月をかけて現地での調査を実施した。

重機による表土除去後、掘削に伴う残土置き場を確保する必要から 45 ㎡の範囲を二分割して調査を進めた（図 2）。

今回の調査では大きく 6 面の中世遺構面を確認することができた。第 6 面より下については一部トレンチを入れて確認を行ったが、暗褐色の粘質土が厚く堆積しており、明確な遺構や遺物などが確認できなかったために、これを中世基盤層と判断し、その時点までの掘削で留め、調査を終了した。

中世以前の遺構・遺物については少量の混入が見られるものの、明確な遺構にともなう形では検出できなかった。

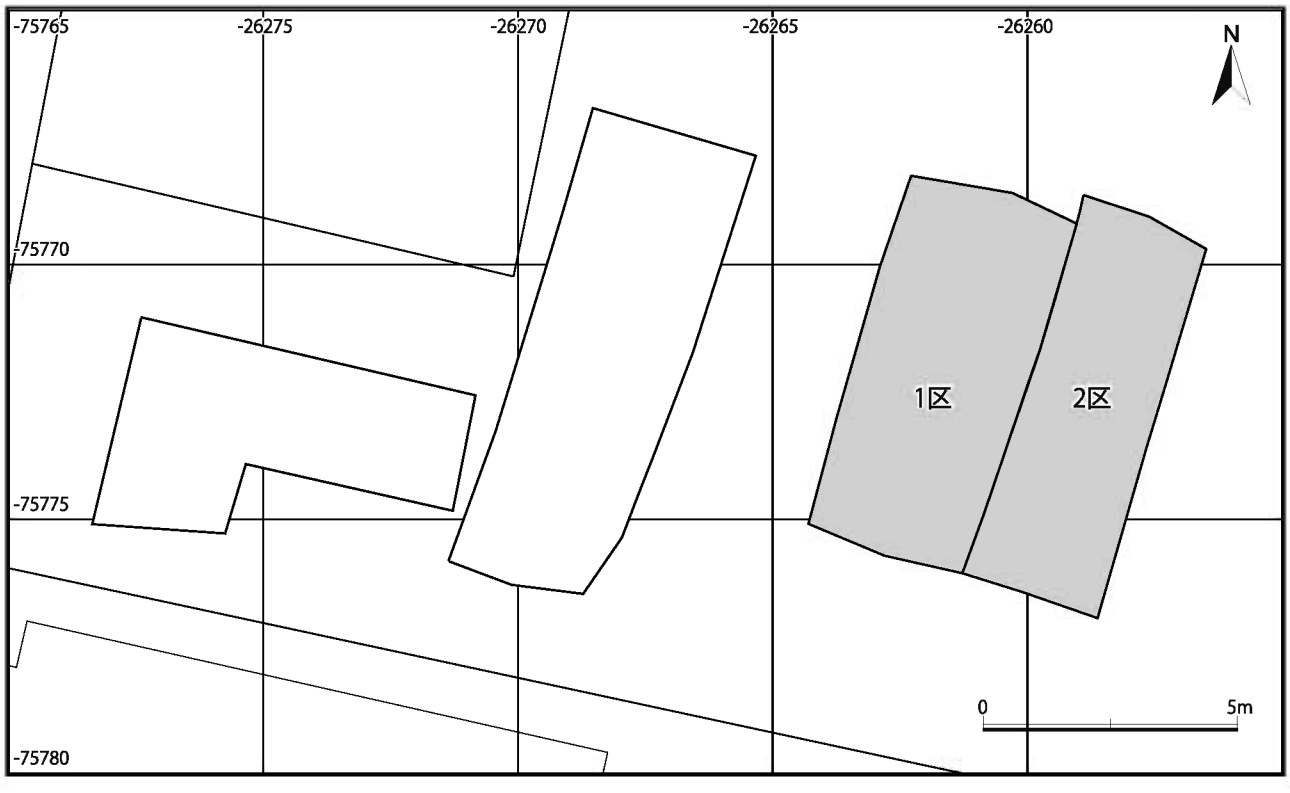


図２　調査位置とグリッド配置図

第４節　遺跡の堆積土層（図３）

本調査では第１面から第６面にわたり、細分を含めて計７面の遺構確認面を検出した。ここでは調査区西面の土層断面図を提示し、遺構確認面相当の土層を中心として地層の堆積状況を述べておく。なお土層断面図は遺構の掘り込みの影響もあり、必ずしも明確に基本土層の状況が反映されていない。

現地表面は 9.08 ～ 9.12m をはかる。表土層は約 60 ～ 70cm 堆積しており、厚さはほぼ均等であるが、近現代の掘り込みが深い箇所が複数あり、中世面を相当破壊している。以下、検出面のレベルおよび構成土について述べる。

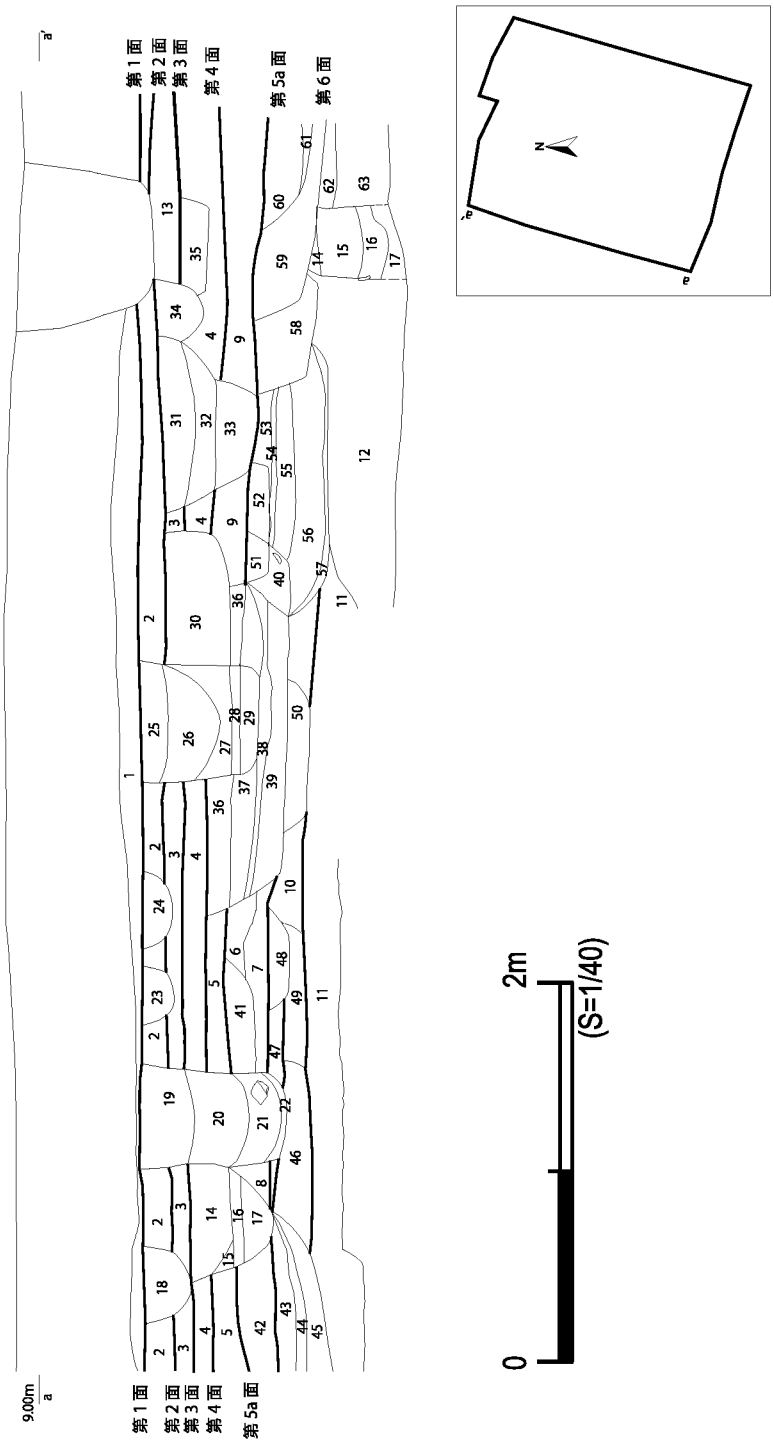


図３　調査区西壁堆積土層図

第1面は小粒の泥岩砕片を多く含む暗褐色粘質土の地業面であり、確認レベルはおよそ海抜8.37～8.42 m。第2層が構成土となる。

第2面は小粒の泥岩砕片を多く含む暗褐色粘質土の地業面であり、確認レベルはおよそ海抜8.25～8.33 m。第3層が構成土となる。

第3面は小粒の泥岩砕片を多く含む暗褐色粘質土の地業面であり、確認レベルはおよそ海抜8.15～8.22 m。第4層が構成土となる。

第4面は小粒の泥岩砕片を含む暗褐色粘質土の地業面であり、確認レベルはおよそ海抜8.03～8.08 m。第5層が構成土となる。

第5面は砂層の色調の違いを基準にしa、bとして細分している。第5a面は暗褐色の砂質土で構成され、泥岩砕片も少量混入する。確認レベルはおよそ海抜7.85～7.95 mである。

第5b面は黒褐色砂質土より構成される。確認レベルはおよそ海抜7.60～7.78 mである。

第6面は明黄褐色砂層によって構成される。砂層自体は薄く、砂の下は暗褐色粘質土となる。確認レベルはおよそ海抜7.56～7.65 mである。

第6面以下は黒褐色粘質土が厚く堆積していることが確認された（第11層、12層）。本調査では、第6面を構成する砂質土を完全には除去せず、面的には確認していないが、続いて調査を実施した隣接する由比ガ浜一丁目160番8、10地点の調査結果から、この黒色粘質土は全面的に存在していることが推定される。また黒色粘質土面よりおよそ50cm下には灰白色砂層が存在していることも推定されるが、本調査では確認しえなかった。

土層注記

1　暗褐色粘質土　泥岩少量。炭化物、かわらけ片中量。
2　暗褐色粘質土　泥岩粒中量。炭化物少量、かわらけ片中量。
3　暗褐色粘質土　泥岩粒中量。炭化物、かわらけ片少量。
4　暗褐色粘質土　泥岩粒、炭化物、かわらけ片少量。
5　暗褐色粘質土　泥岩少量。炭化物、かわらけ片少量。
6　暗褐色粘質土　泥岩少量。炭化物少量、かわらけ片中量。
7　暗褐色粘質土　泥岩中量。炭化物少量、かわらけ片中量。
8　暗褐色粘質土　泥岩粒、炭化物、かわらけ片少量。
9　暗褐色粘質土　泥岩粒少量。かわらけ片中量。
10　黒褐色粘質土　泥岩粒少量。
11　暗褐色粘質土　しまり弱い。
12　暗褐色粘質土　しまり弱い。褐鉄混入。
13　黄褐色粘質土　破砕泥岩および泥岩塊多量。
17　暗褐色粘質土　しまりなし。泥岩粒、炭化物、かわらけ片少量。砂混入。
40　暗褐色粘質土　しまり弱い。泥岩粒少量。
41　暗褐色粘質土　泥岩粒、炭化物少量。
42　暗褐色粘質土　しまり弱い。泥岩、炭化物、かわらけ片中量。
43　暗褐色粘質土　しまり弱い。泥岩、泥岩粒、炭化物中量、かわらけ片少量。
44　暗褐色粘質土　しまり弱い。泥岩粒少量。炭化物中量。
45　暗褐色粘質土　しまり弱い。泥岩粒中量。炭化物、かわらけ片少量。
53　暗褐色粘質土　泥岩粒少量。炭化物少量。
54　黄灰色粘質土　しまり弱い。炭化物少量。
55　暗褐色粘質土　しまり弱い。泥岩、炭化物少量。

56　暗褐色粘質土　しまり弱い。泥岩、炭化物少量。
57　暗褐色粘質土　しまり弱い。泥岩、炭化物少量。
61　暗灰色粘質土　泥岩粒少量。炭化物多量。炭層。
62　暗褐色粘質土　泥岩少量。かわらけ片少量。
63　暗褐色粘質土　しまり弱い。

遺構覆土

14　遺構 119　暗褐色粘質土　しまり弱い。泥岩、炭化物中量、かわらけ片少量。
15　遺構 119　茶褐色砂質土　しまり弱い。泥岩粒、炭化物、かわらけ片少量。砂混入。
16　遺構 119　暗褐色粘質土　しまり弱い。泥岩粒、炭化物、かわらけ片少量。砂混入。
18　遺構 14　暗褐色粘質土　泥岩中量。炭化物、かわらけ片少量。
19　遺構 12　暗褐色粘質土　泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片少量。
20　遺構 12　暗褐色粘質土　泥岩、泥岩粒、炭化物少量。
21　遺構 12　暗褐色粘質土　しまりなし。泥岩、泥岩粒中量。
22　遺構 12　暗褐色粘質土　泥岩粒少量。
23　遺構 10　暗褐色粘質土　泥岩、泥岩粒中量。炭化物、かわらけ片少量。
24　遺構 9　暗褐色粘質土　泥岩、泥岩粒、炭化物中量。
25　遺構 27　暗褐色粘質土　泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片中量。
26　遺構 27　暗褐色粘質土　泥岩、泥岩粒中量。炭化物少量、かわらけ片中量。
27　遺構 27　暗褐色粘質土　泥岩粒少量。炭化物中量。
28　遺構 27　暗褐色粘質土　しまりなし。泥岩粒少量。
29　遺構 27　暗褐色粘質土　泥岩粒少量。
30　遺構 73　暗褐色粘質土　泥岩、炭化物、かわらけ片中量。
31　遺構 72　暗褐色粘質土　泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片中量。
32　遺構 72　暗褐色粘質土　泥岩粒少量。炭化物中量。
33　遺構 72　暗褐色粘質土　泥岩粒、炭化物少量。
34　遺構 35　暗褐色粘質土　泥岩粒、炭化物、かわらけ片少量。
35　遺構 108　暗褐色粘質土　泥岩粒、炭化物、かわらけ片少量。
36　遺構 152　暗褐色粘質土　泥岩粒中量。炭化物少量、かわらけ片中量。
37　遺構 152　暗褐色粘質土　泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片中量。
38　遺構 152　暗灰色粘質土　しまりなし。炭化物中量。
39　遺構 152　暗褐色粘質土　泥岩中量。炭化物少量、かわらけ片少量。
46　遺構 244　暗褐色粘質土　しまりやや弱い。泥岩粒少量。炭化物中量、かわらけ片少量。
47　遺構 224　暗灰色粘質土　泥岩、泥岩粒中量。炭化物、かわらけ片少量。
48　遺構 226　暗褐色粘質土　しまり弱い。泥岩、炭化物、かわらけ片中量。
49　遺構 243　暗褐色粘質土　しまりやや弱い。泥岩粒少量。炭化物中量、かわらけ片少量。
50　遺構 214　暗褐色粘質土　泥岩、炭化物中量、かわらけ片少量。砂混入。
51　遺構 111　暗褐色粘質土　しまり弱い。泥岩粒少量。
52　遺構 111　暗褐色粘質土　しまり弱い。泥岩、炭化物中量。かわらけ片少量。
58　遺構 213　暗褐色粘質土　しまり弱い。泥岩粒、炭化物、かわらけ片少量。
59　遺構 212　暗褐色粘質土　泥岩、炭化物少量。
60　遺構 212　暗褐色粘質土　泥岩、炭化物、かわらけ片中量。きめ細かい土。

第二章　発見した遺構と遺物

本地点では中世の生活面を6面検出し、観察・記録を行った。遺構については個別図面は現地で実測した遺構および特徴的な遺構を報告する。個別図面のない遺構の形状・規模は全測図および遺構計測表を参照していただきたい。また整理作業時に帰属時期を変更した遺構も存在し、復元全測図と遺構写真では細部に違いが存在する場合もある。

遺物については図化したもの以外は計量表を参照いただきたい。実測遺物は遺物観察表に詳細を報告し、本文中では基本的に遺物名だけを記載する。また自然遺物は別途表に一括してまとめてある。

以下、主な検出遺構について上層より説明する。

第1節　第1面の遺構と遺物（図4～7）

第1面は小粒の泥岩砕片を多く含む暗褐色粘質土の地業面であり、多数の遺構を確認した。確認レベルはおよそ海抜8.37～8.42ｍである。遺構はピット26穴・土坑4基で、遺構密度は比較的疎である。掘立柱建物址の存在が推定できるが、明確なプランは復元できなかった。遺構の切り合いより第1面で発見した遺構は、少なくとも2時期の時間差があると考えられる。

遺物は、かわらけ・手づくねかわらけ・青磁・白磁・青白磁・常滑・瀬戸・備前・褐釉・火鉢・石製品・鉄製品・銅銭・自然遺物が出土。中世以前の遺物も混入している。

・ピット

遺構4（図4）

楕円形を呈するピット。遺構覆土：上層は暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒多く炭化物、かわらけ片少量含む。下層は暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒をわずかに含む。出土遺物（図6）：1は底部より出土したかわらけ。

遺構12（図4）

楕円形を呈するピット。調査区外に延びる。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒やや少なく、炭化物、かわらけ片を少量含む。出土遺物（図6）：2～3はかわらけ。4は硯。

遺構15（図4）

円形を呈するピット。調査区外に延びる。遺構覆土：上層は黄褐色粘質土。柱痕が見られる。下層は暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片を少量含む。出土遺物（図6）:5は舶載の天目茶碗。

遺構17（図4）

円形を呈するピット。遺構覆土：上層は茶褐色砂質土。炭化物、かわらけ片を少量含む。柱痕が見られた。下層は暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒多く、炭化物やかわらけ片をわずかに含む。図示可能な遺物は出土せず。

遺構20（図4）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、かわらけ片多く、炭化物を少量含む。出土遺物（図6）：6は常滑甕の口縁。

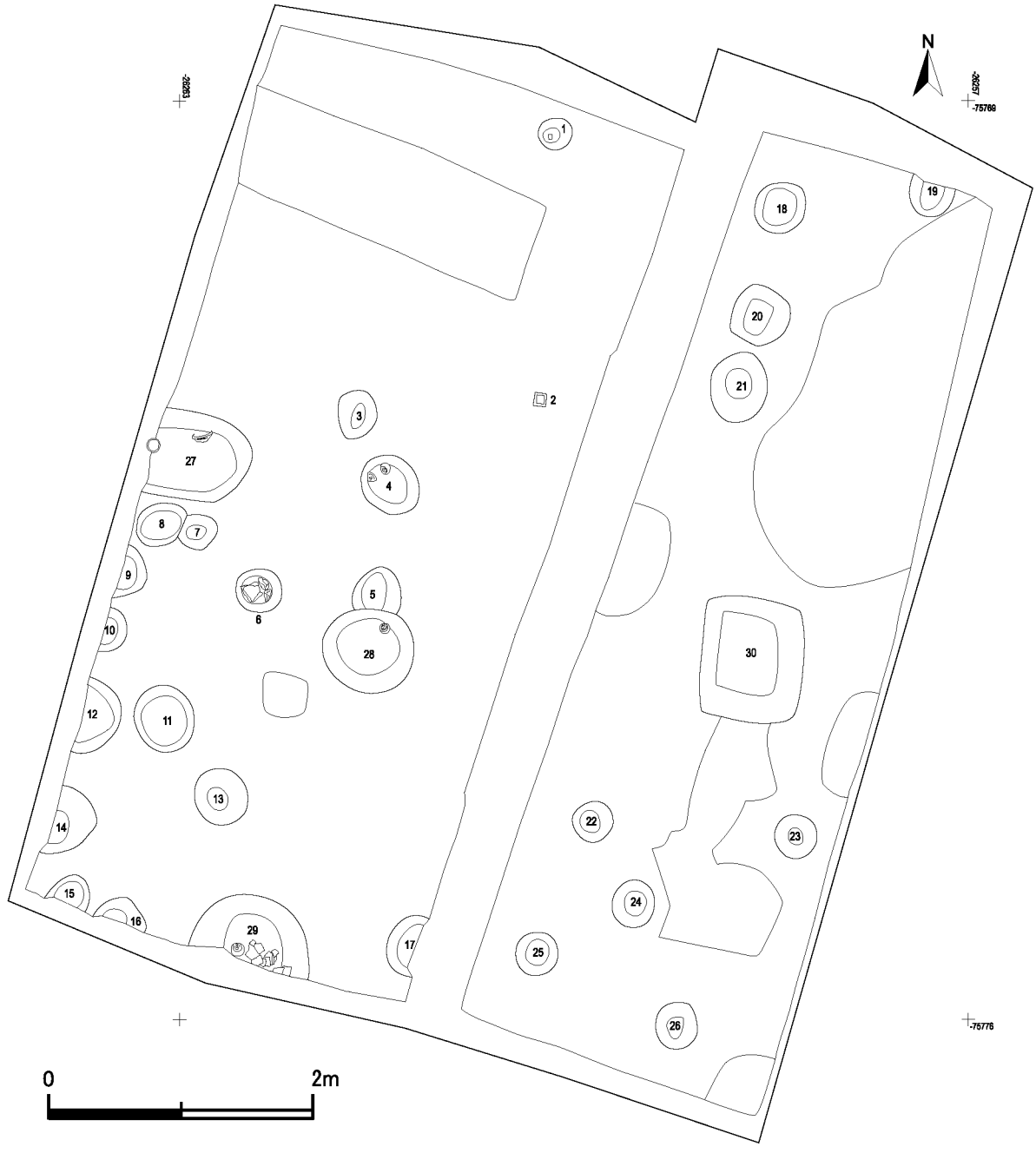


図 4　第 1 面全体図

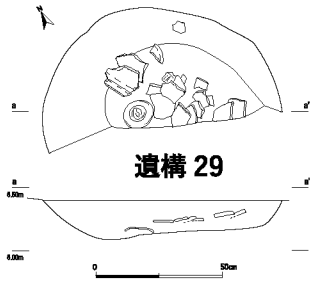


図 5　第 1 面遺構個別図

・土坑

遺構 27（図 4）

楕円形を呈する土坑。遺構覆土：上層は暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片多い。中層は暗褐色粘質土。泥岩粒、かわらけ片多く、炭化物少ない。下層は暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒少なく、板状の炭化物を多く含む。中層下より完形かわらけが検出。出土遺物（図 6）：7 ～ 12 はかわらけ。13 は常滑片口鉢Ⅰ類。14 は火鉢。

遺構 28（図 4）

円形を呈する土坑。遺構覆土:暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物少なく、

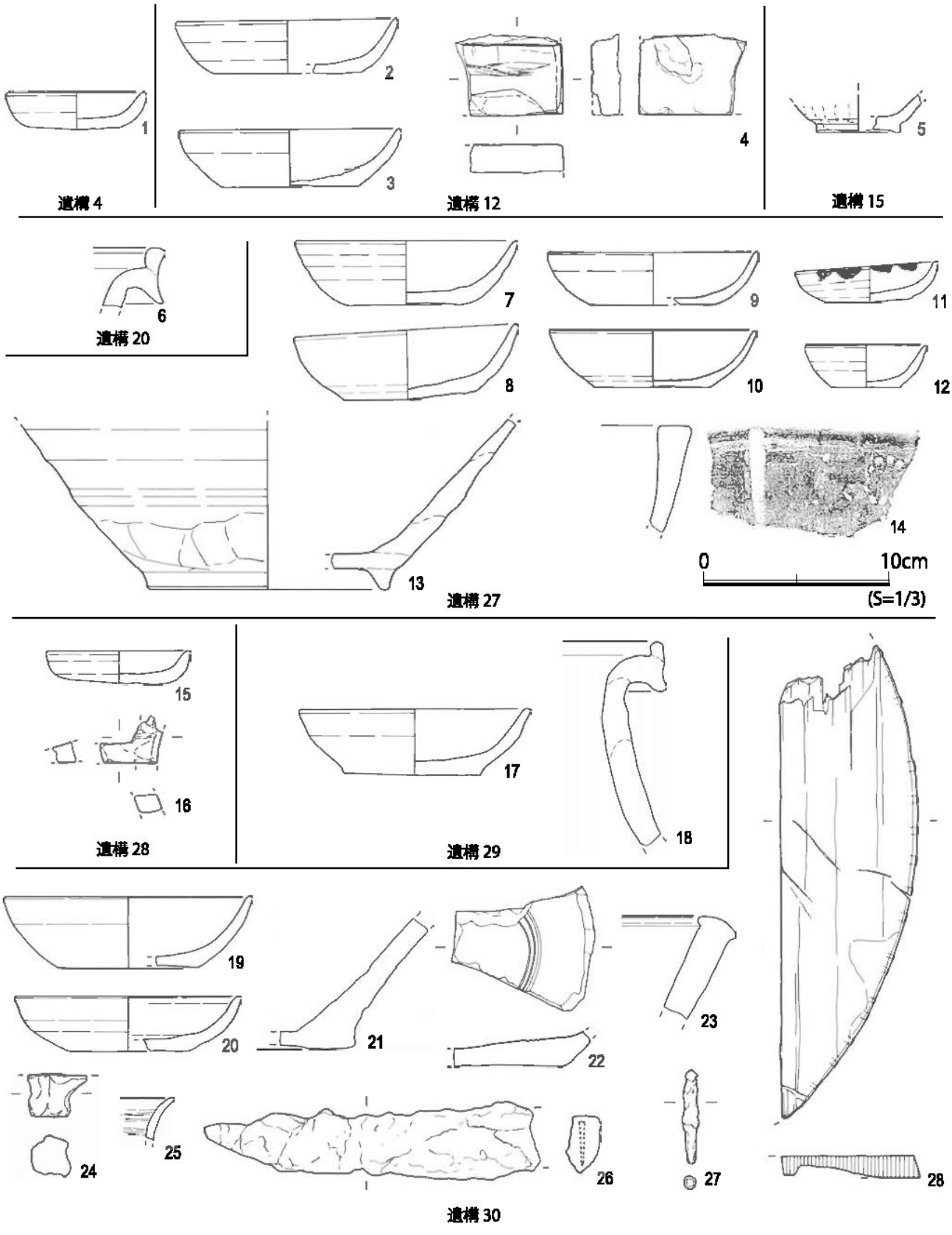


図 6　第 1 面遺構出土遺物

かわらけ片を多く含む。出土遺物（図 6）：15 はかわらけ。16 は滑石加工品。

遺構 29（図 4、5）

円形を呈する土坑。調査区外に延びる。遺構覆土：上層は暗褐色粘質土。泥岩、炭化物、かわらけ片

を多く含む。下層は暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、かわらけ片多く、炭化物を少量含む。上層よりしまりが弱く、底面に泥岩が多く見られる。出土遺物（図 6）：17 はかわらけ。18 は常滑甕口縁。いずれも底面からの出土。

遺構 30（図 4）

方形を呈する土坑。遺構覆土：上層は暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、かわらけ片多い、炭化物もやや含まれる。下層は暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、かわらけ片少なく、炭化物多い。出土遺物（図 6）：19 ～ 20 はかわらけ。21 は常滑甕底部。22 は瀬戸折縁深皿。23 は火鉢。24 は香炉の脚か。25 は土師器片。26 は鉄製刀子。27 は釘。28 は曲げ物の底板。

1 面遺構外出土遺物（図 7）

遺構面精査時に面上で検出した遺物。29 は瀬戸卸皿、30 は備前擂鉢、31 は石製硯片。

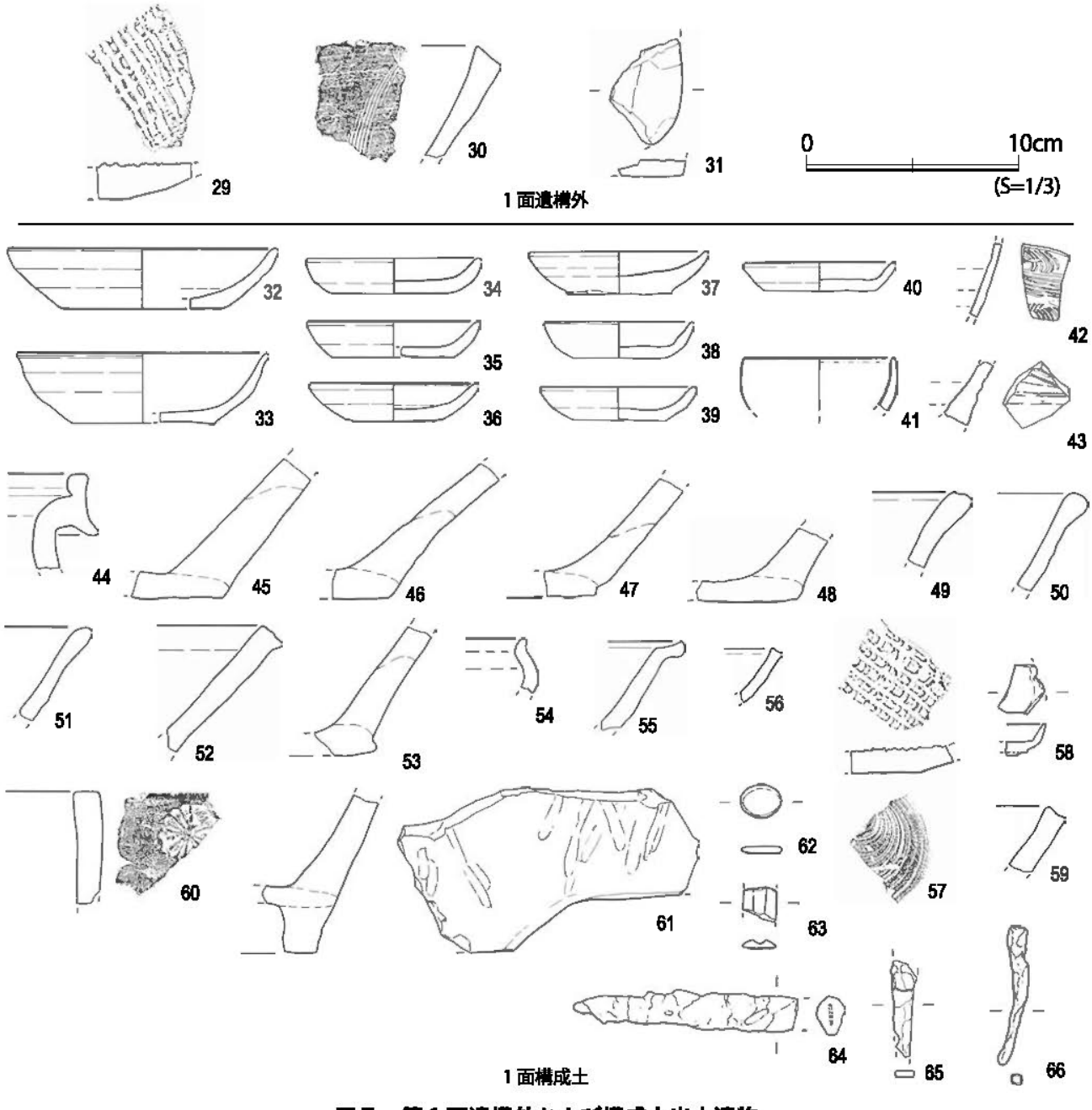


図 7　第 1 面遺構外および構成土出土遺物

１面構成土出土遺物（図 7）

１面より２面検出までの間の堆積より出土した遺物。32 ～ 40 はかわらけですべてロクロ回転によるもの。41 は青磁の托か。42 ～ 43 は青白磁梅瓶。44 ～ 48 は常滑甕の破片。49 ～ 51 は常滑片口鉢Ⅰ類。52 ～ 53 は常滑片口鉢Ⅱ類。54 は常滑片口碗。55 は瀬戸折縁深皿。56 ～ 57 は瀬戸卸皿。58 は瀬戸入子。59 は備前擂鉢。60 ～ 61 は火鉢。62 は碁石。63 は笄片。64 は鉄製刀子。65 ～ 66 は釘。

第２節　第２面の遺構と遺物（図８～ 12）

第２面は小粒の泥岩砕片を多く含む暗褐色粘質土の地業面であり、多数の遺構を確認した。確認レベルはおよそ海抜 8.25 ～ 8.33 ｍである。遺構はピット 41 穴・土坑９基、溝状遺構１条で、掘立柱建物址

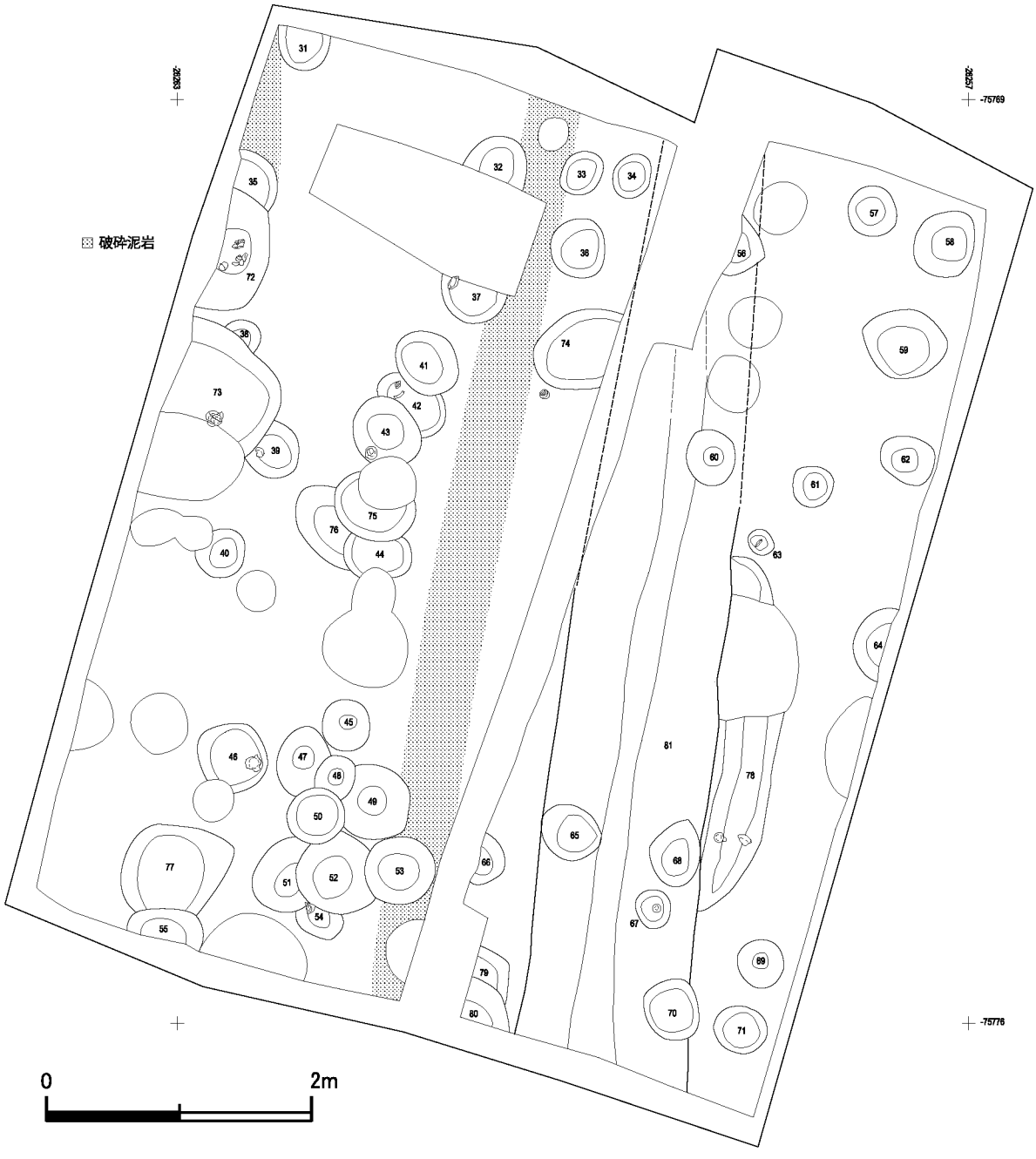


図８　第２面全体図

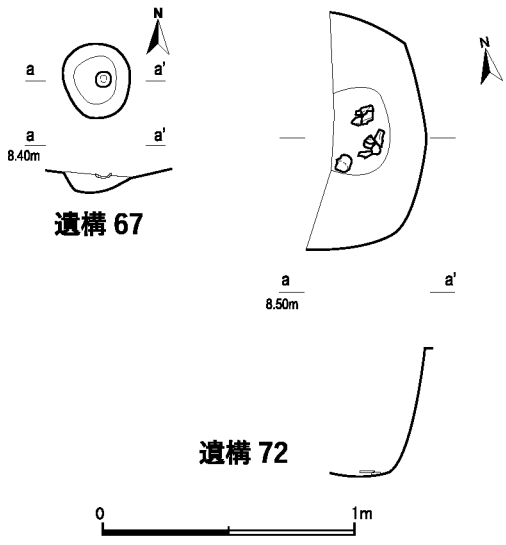


図 9　第 2 面遺構個別図

の存在が推定できるが、明確なプランは復元できなかった。遺構の切り合いより第 2 面で発見した遺構は、少なくとも 3 時期の時間差があると考えられる。

遺物は、かわらけ・手づくねかわらけ・白かわらけ・青磁・白磁・青白磁・常滑・瀬戸・褐釉・火鉢・羽口・瓦・石製品・鉄製品・銅銭・自然遺物が出土。中世以前の遺物も混入している。

・ピット

遺構 32（図 8）

楕円形を呈するピット。試掘坑で南部は削平。遺構覆土：上層は暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物少なく、かわらけ片やや多く含む。下層は暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物を多く含む。出土遺物（図 11）：1 はかわらけ。2 は土師器高坏の脚部。

遺構 42（図 8）

楕円形を呈するピット。遺構 41、43 に切られる。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒やや多い。炭化物は少量含む。出土遺物（図 11）：3 はかわらけ。

遺構 43（図 8）

隅丸方形を呈するピット。遺構 42 を切る。遺構覆土:暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒やや多く、炭化物、かわらけ片を少量含む。出土遺物（図 11）：4 はかわらけ。ピット壁面より検出。5 は常滑甕口縁部片。

遺構 45（図 8）

円形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒やや多く、炭化物、かわらけ片を少量含む。出土遺物（図 11）：6 は碁石。

遺構 50（図 8）

円形を呈するピット。遺構 47 ～ 49、51 ～ 52 を切る。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物多く含む。出土遺物（図 11）：7 はかわらけ。

遺構 53（図 8）

円形を呈するピット。遺構 52 を切る。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片いずれも少量。出土遺物（図 11）：8 は青磁蓮弁文碗、9 は白磁口兀皿。

遺構 54（図 8）

隅丸方形を呈するピット。遺構 51､52 に切られる。遺構覆土:暗褐色粘質土。泥岩､泥岩粒､炭化物多く、かわらけ片少量含む。出土遺物（図 11）：10 は瀬戸折縁深皿。

遺構 59（図 8）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、炭化物、かわらけ片を多く含む。底部に泥岩塊。出土遺物（図 11）：11 ～ 12 は鉄釘。

遺構 63（図 8）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、炭化物多く、かわらけ片少量含む。出土遺物（図 11）：13 はかわらけ。

遺構 65（図 8）

円形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒やや多く、炭化物を少量含む。出土遺物（図 11）：14 は火鉢。

遺構 67（図 8、9）

円形を呈するピット。遺構覆土:暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒多く、炭化物、かわらけ片やや少。出土遺物（図 11）：15 はかわらけで遺構の中央上部より出土。

・土坑

遺構 72（図 8、9）

隅丸方形を呈する土坑。遺構 35 を切る。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片多く含む。一部大型泥岩が投げ込まれている。底面から破砕したかわらけが検出された。出土遺物（図 11）：16 は常滑甕、17 は片口鉢Ⅰ類。18 ～ 20 は底面出土のかわらけ。

遺構 73（図 8）

隅丸方形を呈する土坑。遺構 38、39 を切る。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、炭化物、かわらけ片多く含む。出土遺物（図 11）：21 ～ 24 はかわらけ。遺構中央よりの底面より出土。

遺構 78（図 8）

溝状を呈する土坑。北側は 1 面の遺構によって削平される：暗褐色粘質土。泥岩やや少なく、炭化物かわらけ片多く含む。（図 11）：25 ～ 26 はかわらけ。

・溝状遺構

遺構 81（図 8、10）

南北に走る断面台形の溝。砂層まで掘り込む。残存長さ約 7.1 m、開口部幅約 1.1 m、深さ約 1.1 m。遺構覆土：南部はほとんどが大型の泥岩塊を投げ込んだ状態。北部は暗褐色粘質土で泥岩、泥岩粒を多く含む。1 区では溝を確認していなかったが、2 区の結果と土層の検討より調査区北側を超えてさらに溝が延びていることが想定される。

出土遺物（図 11）:上層出土遺物は次の通り。27 ～ 28 はかわらけ。29 は青磁蓮弁文碗、30 は青磁折縁鉢。31 は常滑甕、32 ～ 33 は常滑片口鉢Ⅰ類、34 は瀬戸柄付片口か。35 は瓦器か。36 は平瓦。37 は加工泥岩、38 は鉄釘、39 は銅銭。下層出土遺物は 40 ～ 49 がかわらけ。50 は青白磁梅瓶、51 は尾張型山茶碗。52 は砥石。

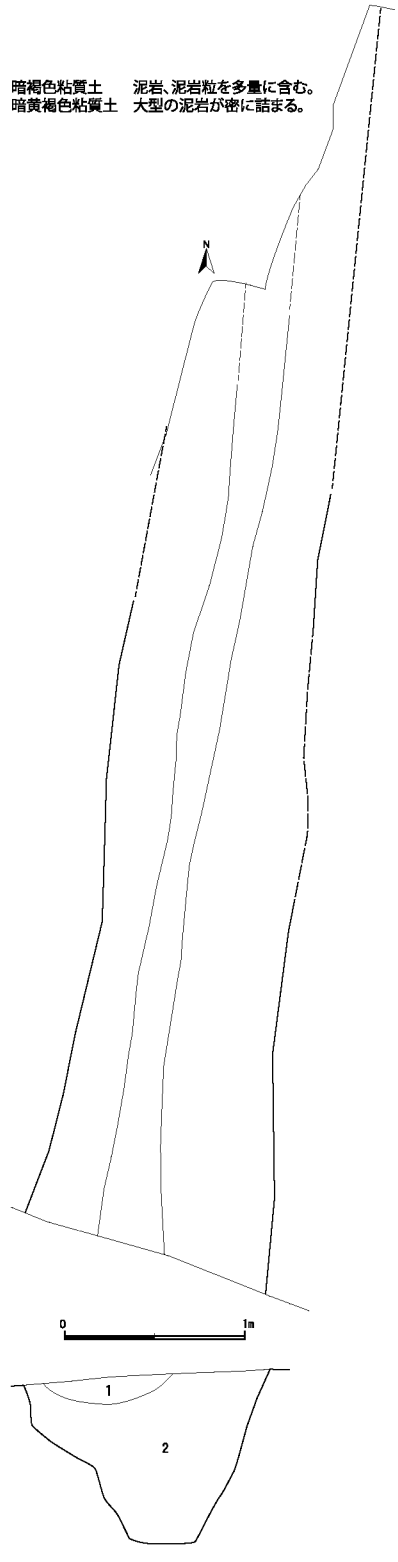


図 10　第 2 面遺構 81 個別図

2 面遺構外出土遺物（図 12）

遺構面精査時に面上で検出した遺物。53 は石製硯、54 は備前擂鉢片。

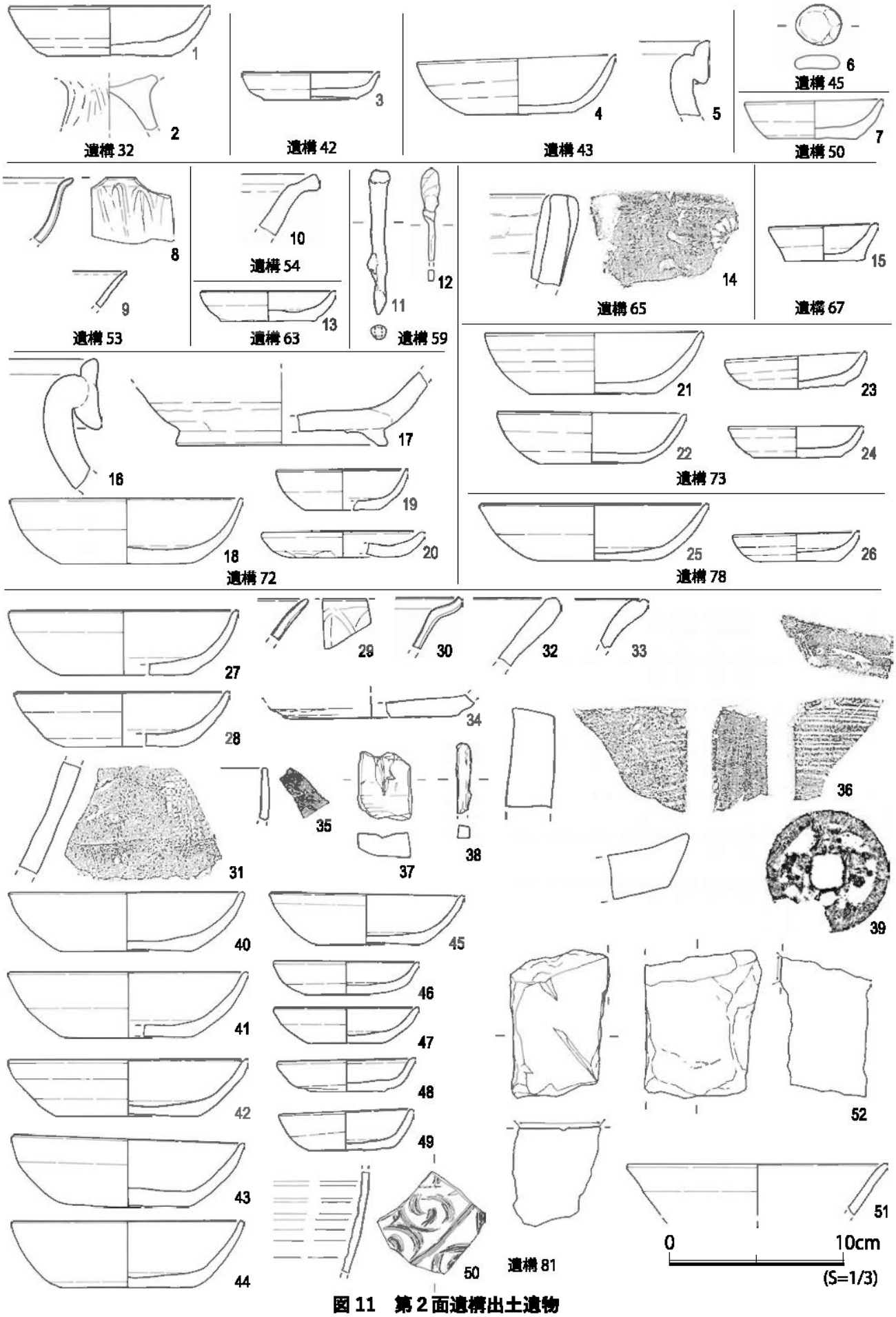


図 11　第 2 面遺構出土遺物

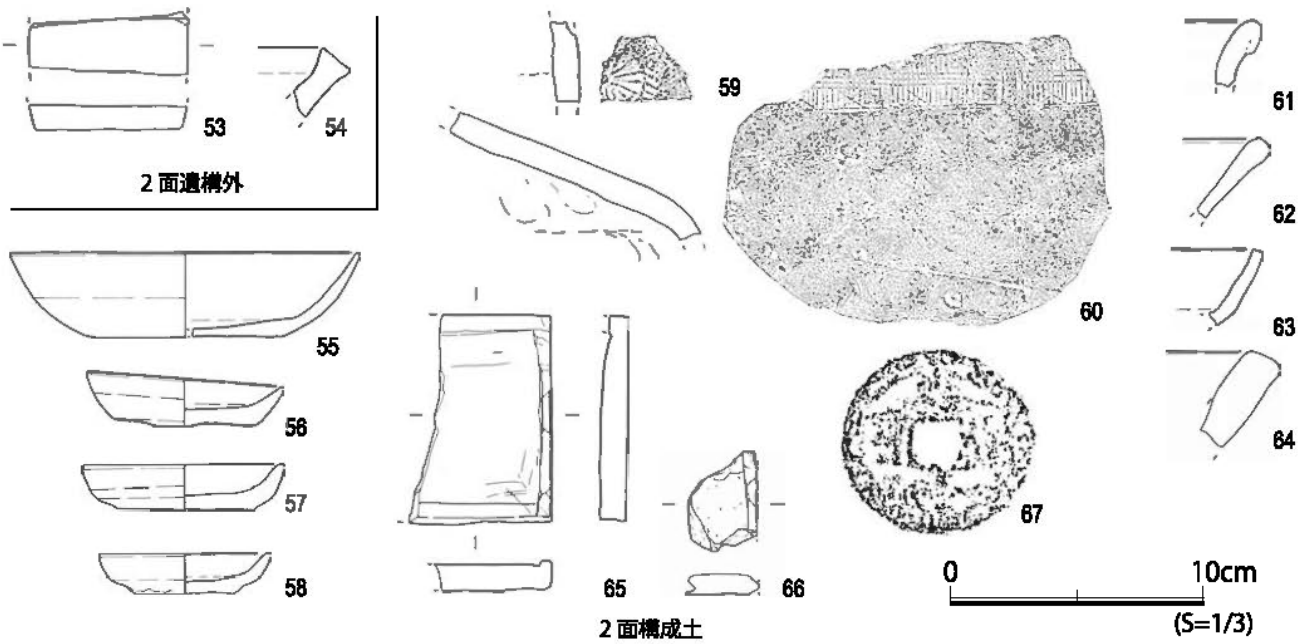


図 12　第 2 面遺構外および構成土出土遺物

2 面構成土出土遺物（図 12）

2 面より 3 面検出までの間の堆積より出土した遺物。55 ～ 58 はかわらけですべてロクロ回転によるもの。59、60 は押印のある常滑甕片。61 は常滑広口壺、62 は片口鉢Ⅰ類、63 は瀬戸卸皿、64 は瓦質火鉢、65 は石製硯、66 は用途不明の石製品、67 は銅銭。

第 3 節　第 3 面の遺構と遺物（図 13 ～ 16）

第 3 面は小粒の泥岩砕片を多く含む暗褐色粘質土の地業面であり、多数の遺構を確認した。確認レベルはおよそ海抜 8.15-8.22 m である。遺構はピット 26 穴・土坑 20 基で、掘立柱建物址の存在が推定できるが、明確なプランは復元できていない。遺構の切り合いより第 3 面で発見した遺構は、少なくとも 2 時期の時間差があると考えられる。また 1 区の東側および西北隅は破砕した泥岩塊が密にみられ、南北に線状に延びるがその性格は不明である。

遺物は、かわらけ・手づくね・青磁・白磁・青白磁・常滑・瀬戸・瓦器碗・火鉢・瓦・鉄製品・石製品・羽口・銭が出土している。

・ピット

遺構 82（図 13）

円形を呈するピット。遺構覆土:暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒を含む。出土遺物(図 15):1 はかわらけ。

遺構 87（図 13）

楕円形を呈するピット。遺構覆土:暗褐色粘質土。泥岩、泥岩塊多く、炭化物、かわらけ片少量含む。出土遺物（図 15）:2 はかわらけでピットの中央から逆位で出土。3 は鉄釘。

遺構 89（図 13）

楕円形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩粒多く、炭化物少ない。出土遺物（図 15）：4 はかわらけで底部より正位で出土。

図 13　第 3 面全体図

遺構 91（図 13、14）

楕円形を呈するピット。遺構覆土:上層は暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒を含む。中層は暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒少なく、炭化物多く含む。下層は暗褐色粘質土。炭化物とかわらけ片を少量含む。出土遺物（図 15）：5 は磨りかわらけ。

遺構 93（図 13、14）

円形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物少量含む。出土遺物（図 15）：6 ～ 7 はかわらけ。

遺構 96（図 13）

円形を呈するピット。遺構覆土：上層は暗褐色粘質土。泥岩多く、炭化物、かわらけ片少量含む。中層は暗褐色粘質土。泥岩粒、炭化物、かわらけ片を少量含む。下層は暗褐色粘質土。炭化物、かわらけ

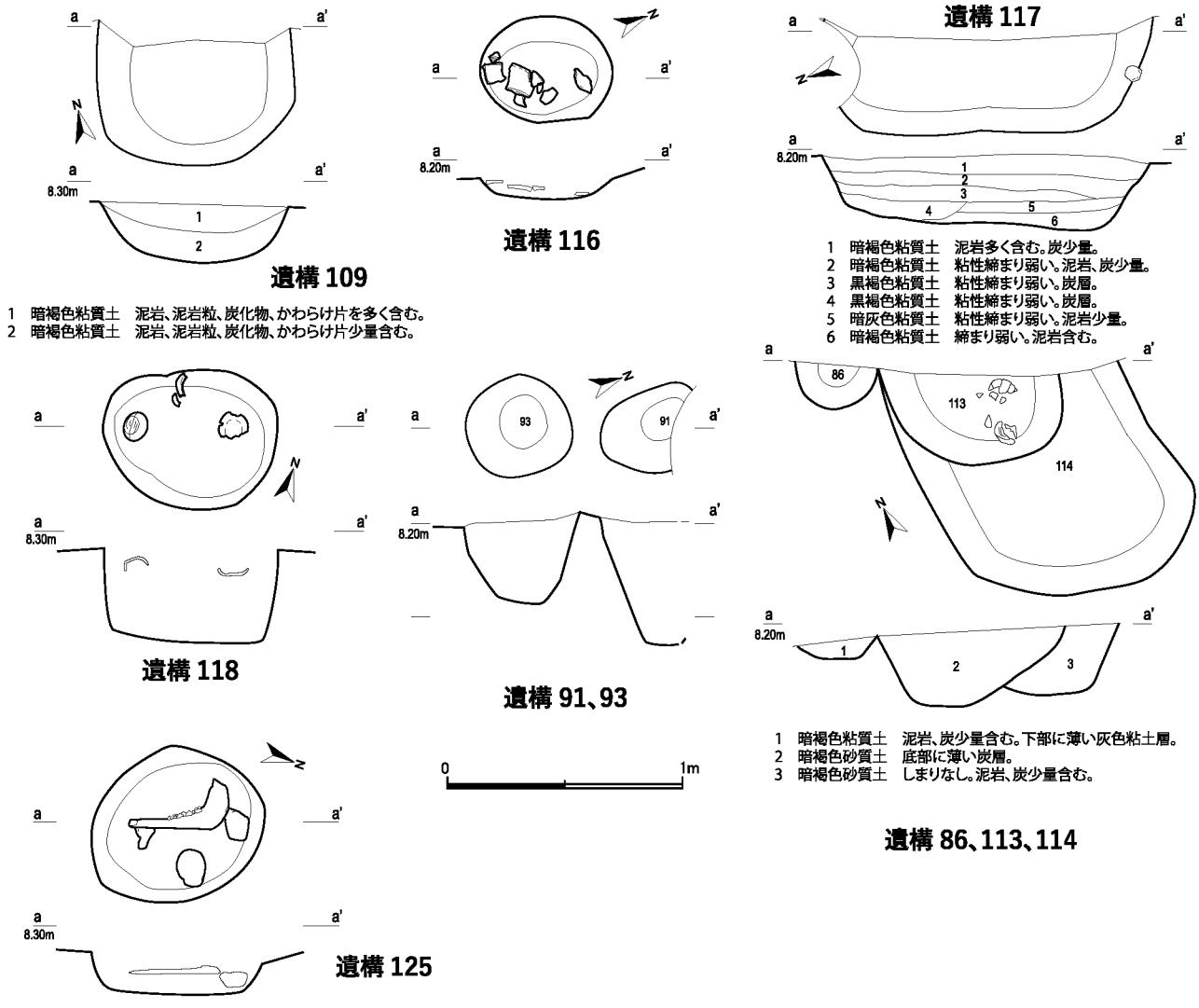


図 14　第 3 面遺構個別図

片を少量含む。出土遺物（図 15）：8 はかわらけで 1 層より逆位で出土。9 は上層出土の青磁蓮弁文碗。

遺構 99（図 13）

楕円形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片少量含む。出土遺物（図 15）：10 はかわらけ。

遺構 100（図 13）

楕円形を呈するピット。遺構 124 に切られる。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒多く、炭化物やや少。底面は茶色の砂。出土遺物（図 15）：11 は常滑片口鉢Ⅱ類。

遺構 103（図 13）

隅丸方形を呈するピット。第 1 面遺構 30 に切られる。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、かわらけ片やや多く、炭化物少量が含まれる。出土遺物（図 15）：12 は瓦質火鉢。

遺構 104（図 13）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、かわらけ片少。炭化物やや多く含む。出土遺物（図 15）：13 は常滑短頸壺か。

遺構 105（図 13）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物多く、かわらけ片少量含

む。出土遺物（図 15）：14 はかわらけでピットの上面より出土。

・土坑

遺構 109（図 13、図 14）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：図を参照。出土遺物（図 15）：15 はかわらけで 1 層より出土。16 は白磁口兀皿。

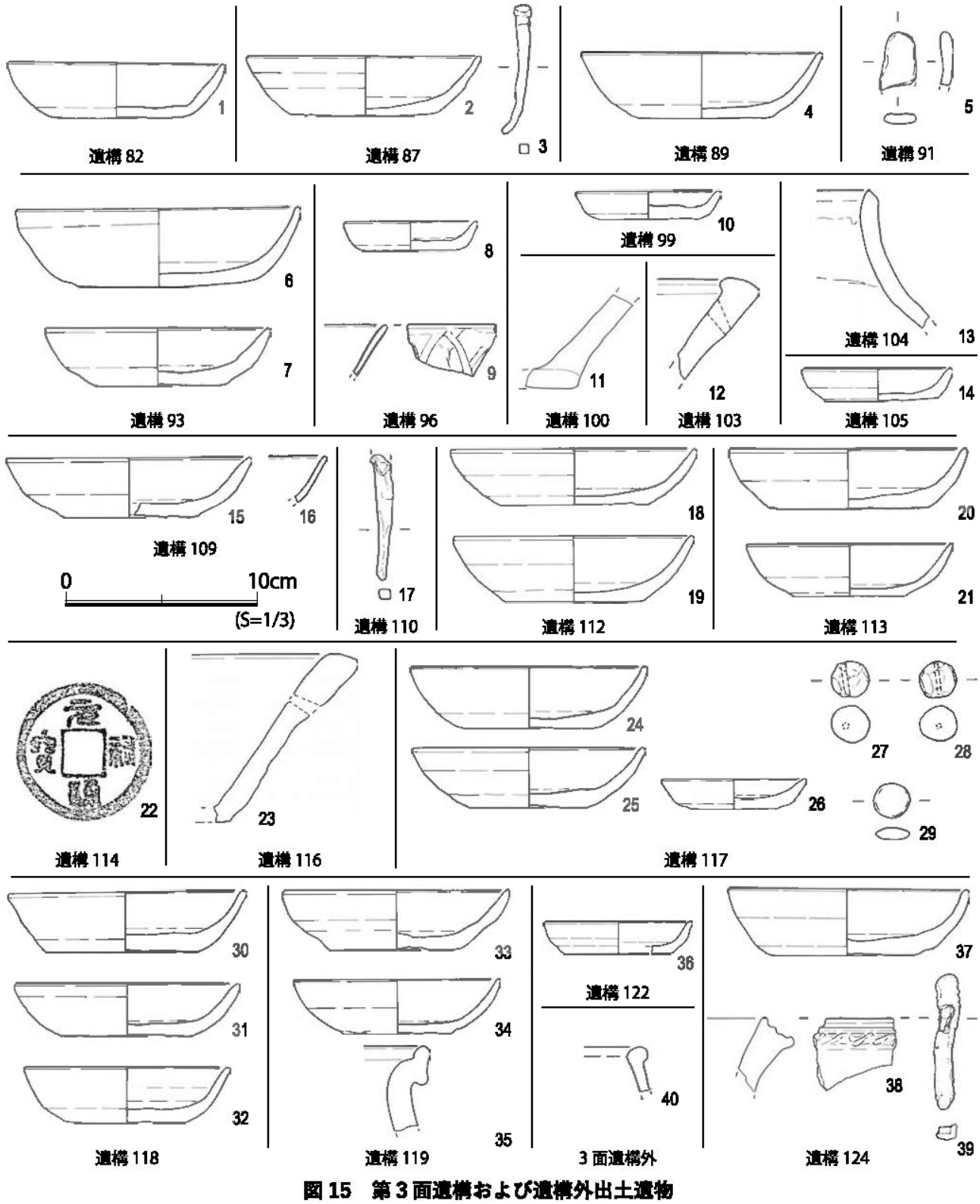


図 15　第 3 面遺構および遺構外出土遺物

遺構 110（図 13）

円形を呈する土坑。遺構 84 に切られる。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩粒多く、炭化物、かわらけ片少量含む。出土遺物（図 15）：17 は鉄釘。

遺構 111（図 13）

円形を呈する土坑。遺構覆土:暗褐色粘質土。泥岩、炭化物多く、かわらけ片少量含む。出土遺物（図 15）：底に有機物の痕跡と動物の肩甲骨。

遺構 112（図 13）

楕円形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物多く、かわらけ片少量含む。出土遺物（図 15）：18 ～ 19 はかわらけ。

遺構 113（図 13、14）

隅丸方形を呈する土坑。遺構 114 を切る。北側は試掘坑により削平。遺構覆土：暗褐色砂質土。炭化物、かわらけ片少量含む。底部に薄く炭層。出土遺物（図 15）：20 ～ 21 はかわらけ。

遺構 114（図 13、14）

隅丸方形を呈する土坑。遺構 113 に切られ、115 を切る。遺構覆土：暗褐色砂質土。泥岩粒、炭化物少なく、かわらけ片多く含む。出土遺物（図 15）：22 は銅銭。

遺構 116（図 13、14）

円形を呈する土坑。遺構覆土:暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒多く、炭化物やや少量含む。出土遺物（図 15）：23 は火鉢。

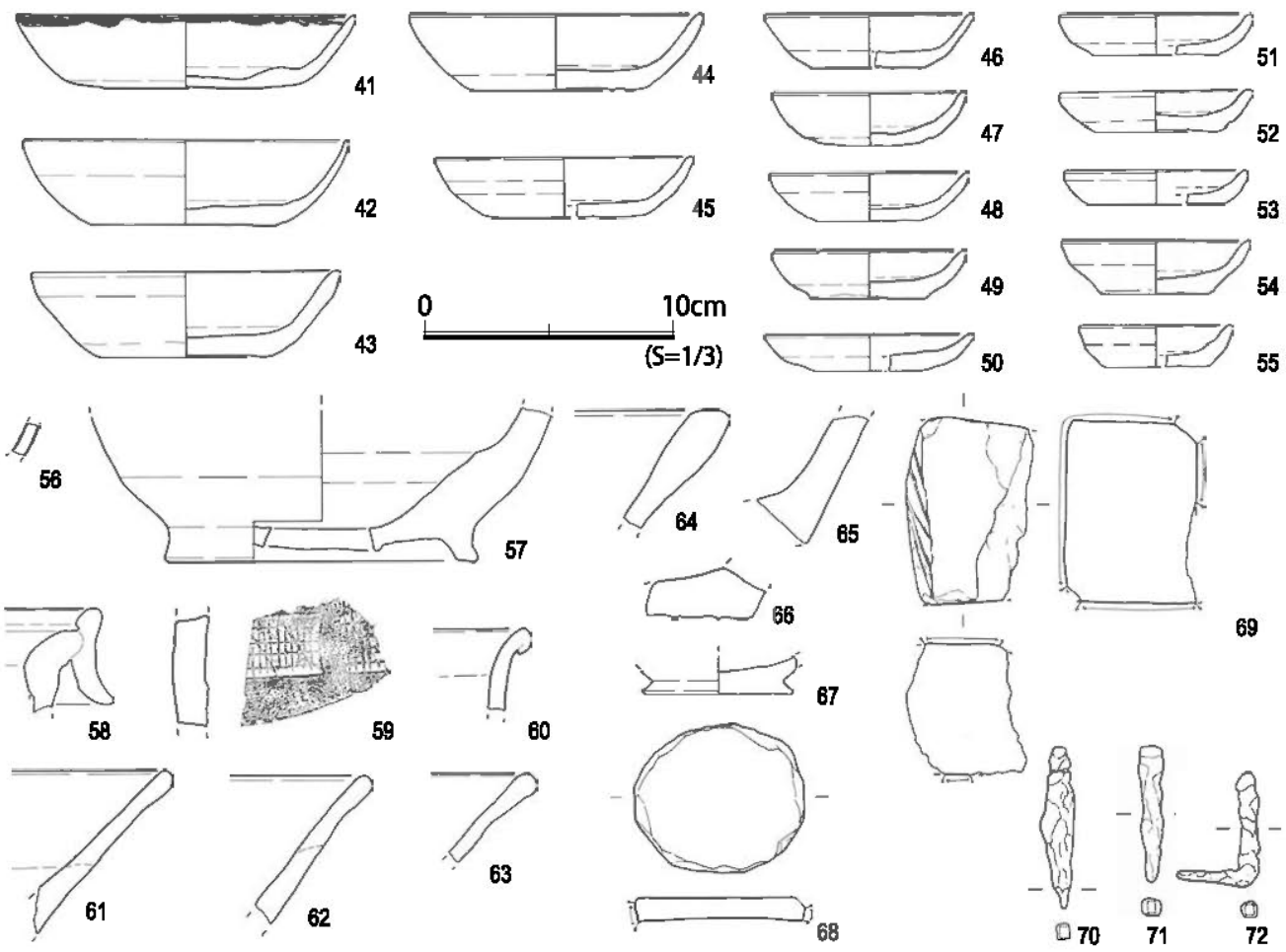


図 16　第 3 面構成土出土遺物

遺構 117（図 13、14）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土:図参照。出土遺物(図 15):24 ～ 26 はかわらけ。27 ～ 28 は土製球。29 は碁石か。

遺構 118（図 13、14）

楕円形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片を少量含む。覆土上面より完形のかわらけが出土。出土遺物（図 15）：30 ～ 32 はかわらけで覆土上部より出土。

遺構 119（図 13）

円形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片をやや含む。出土遺物（図 15）：33 ～ 34 はかわらけ。35 は常滑甕。ほかに獣骨が出土。

遺構 122（図 13）

隅丸方形を呈する土坑。遺構 121 を切る。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩を多く含む。炭化物は少ない。出土遺物（図 15）：36 はかわらけ。

遺構 124（図 13）

隅丸方形を呈する土坑。遺構 100 ～ 102 を切る。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物を多く含む。出土遺物（図 15）：37 はかわらけ。38 は舶載の花盆（植木鉢）か。39 は鉄釘。

遺構 125（図 13、14）

楕円形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。大型泥岩を多く含む。出土遺物：ウマの左下顎骨が出土（写真図版 23-45)。

３面遺構外出土遺物（図 15）

遺構面精査時に面上で検出した遺物。40 は緑釉盤の口縁片。

３面構成土出土遺物（図 16）

３面より 4 面検出までの間の堆積より出土した遺物。41 ～ 55 はかわらけですべてロクロ回転によるもの。56 は舶載の天目片。57 は舶載の花盆（植木鉢）底部。産地不詳。58 ～ 59 は常滑甕、60 は常滑の玉縁壺か。61 ～ 63 は片口鉢 I 類、64 は瓦質火鉢、65、66 は火鉢。67 は台状の底部をもつ背の低い高坏状の器。68 はかわらけ片の加工品。69 は砥石。70 ～ 72 は鉄釘。

第 4 節　第 4 面の遺構と遺物（図 17 ～ 20）

第 4 面は小粒の泥岩砕片を含む暗褐色粘質土の地業面であり、多数の遺構を確認した。確認レベルはおよそ海抜 8.03 ～ 8.08 mであり、西側に向かってわずかに傾斜して下がる。遺構はピット 23 穴・土坑 30 基で、掘立柱建物址の存在が推定できるが、明確なプランは復元できなかった。遺構の切り合いより第 4 面で発見した遺構は、少なくとも 3 時期の時間差があると考えられる。

遺物は、かわらけ・手づくねかわらけ・白かわらけ・青磁・白磁・青白磁・常滑・渥美・瀬戸・褐釉・火鉢・瓦・石製品・鉄製品・銅銭・自然遺物が出土。中世以前の遺物も混入している。

・ピット

遺構 127（図 17）

調査区外に遺構が延びるが、円形を呈すると思われるピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩

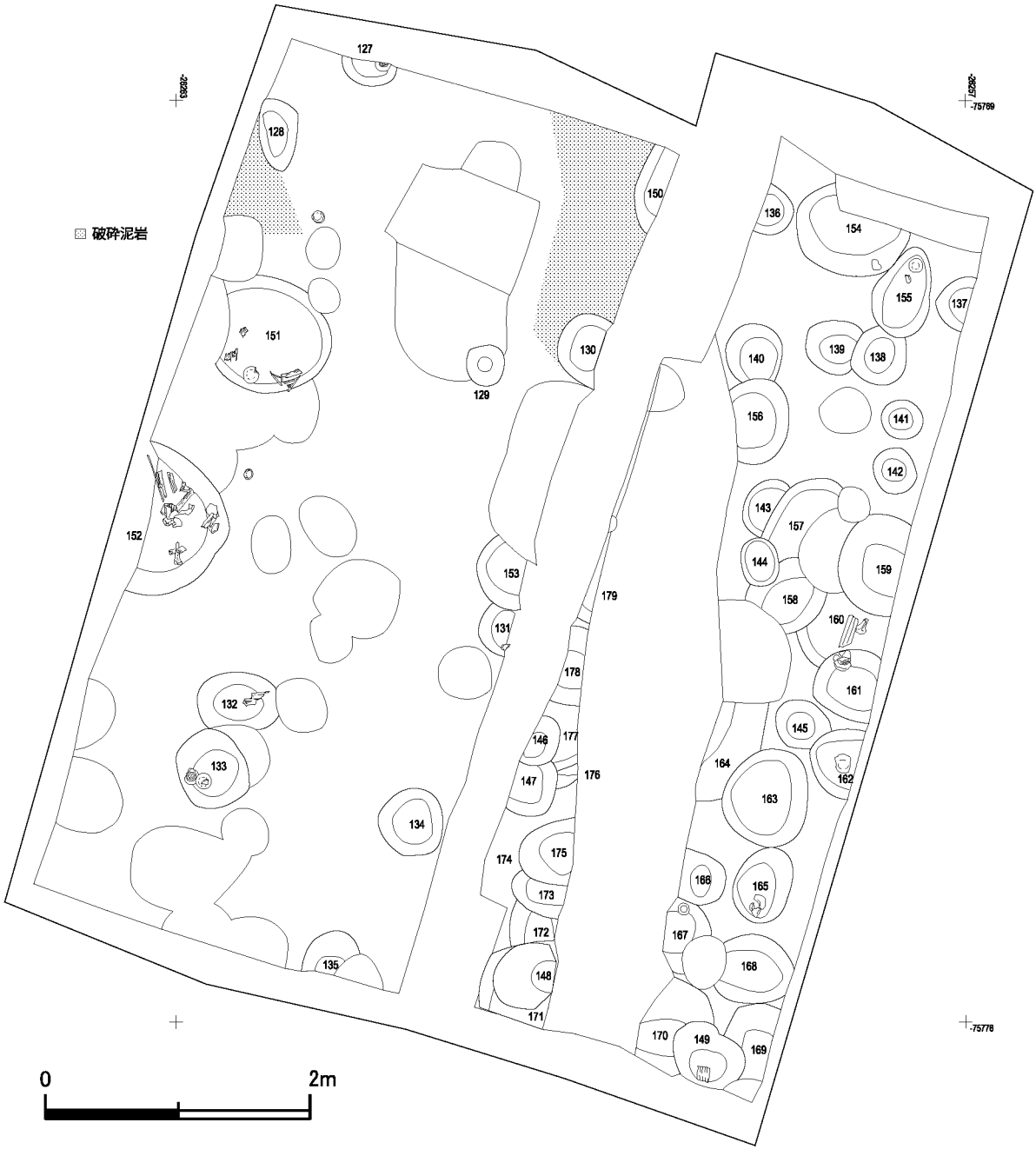


図 17　第 4 面全体図

粒多く、炭化物、かわらけ片少量含む。出土遺物（図 19）：1 はかわらけ。

遺構 128（図 17）

隅丸三角形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。大型泥岩が多量に詰まる。炭化物、かわらけ片少量。出土遺物（図 19）：2 は火鉢。

遺構 132（図 17）Pit67

楕円形を呈するピット。遺構覆土:暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片わずかに含む。粘土質が強い浅い、上面に動物骨。出土遺物（図 19）：3 は土器質の香炉。

遺構 133（図 17）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片ともに稀。混入物わずかで粘性強い。出土遺物（図 19）：3 ～ 6 はかわらけ。7 は碁石。

遺構 134（図 17）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒少なく、炭化物多く含む。底面はは砂。出土遺物（図 19）：8 ～ 9 はかわらけ。

遺構 140（図 17）

隅丸方形を呈するピット。遺構 156 に切られる。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒底に多い。炭化物、かわらけ片少量含む。出土遺物（図 19）：10 は瓦質火鉢。

遺構 141（図 17）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒少量、炭化物、かわらけ片多く含む。出土遺物（図 19）：11 は骨製装身具。

遺構 142（図 17）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒やや多い炭化物、かわらけ片少量含む。出土遺物（図 19）：12 は常滑片口鉢Ⅱ類。

遺構 146（図 17）

隅丸方形を呈するピット。遺構 147 を切る。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片を多く含む。出土遺物（図 19）：13 はかわらけ質火鉢。

遺構 147（図 17）

隅丸方形を呈するピット。遺構 146 に切られる。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物多く、かわらけ片少量含む。出土遺物（図 19）：14 は青磁蓮弁文碗、15 は尾張型山茶碗。

遺構 148（図 17）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物多く、かわらけ片少量含む。出土遺物（図 19）：16 はかわらけ。17 は常滑の広口壺か。18 は片口鉢Ⅰ類。

遺構 149（図 17）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒多く、炭化物、かわらけ片少量含む。147 を切る。出土遺物（図 19）：19 は押印のある常滑片。

・土坑

遺構 151（図 17、18）

円形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片多く含む。底部に白色粘土。出土遺物（図 19）：20 はかわらけ。21 は土器で詳細不明。壺形である。

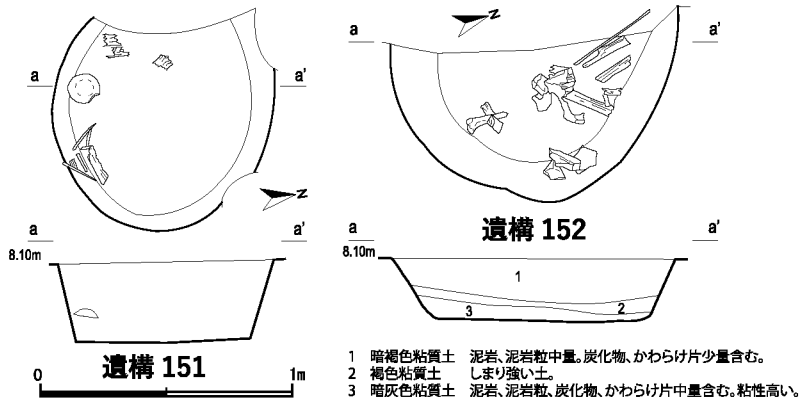


図 18　第 4 面遺構個別図

遺構 152（図 17、18）

円形を呈する土坑。遺構覆土：図を参照。出土遺物（図 19）：22 はかわらけ。23 はかわらけの加工品。24 は土器質の高坏か。

遺構 154（図 17）

楕円形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片少量含む。出土遺物（図 19）：25 はかわらけ。26 は瀬戸柄付片口か。

遺構 155（図 17）

不整楕円形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片多く含む。出土遺物（図 19）：27 はかわらけ。

遺構 156（図 17）

楕円形を呈する土坑。遺構 140 を切る。遺構覆土。暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片多い。底部やや砂っぽい。出土遺物（図 19）：28 はかわらけ。29 は常滑小壺。

遺構 158（図 17）

楕円形を呈する土坑。遺構 157、160 を切る。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物多く、かわらけ片少量含む。出土遺物（図 19）：30 は青磁皿か。

遺構 160（図 17）

遺構 158、159、161 に切られ、正確な形状は不明な土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片多く含む。出土遺物（図 19）：31 はかわらけ。32 は常滑鳶口壺。

遺構 161（図 17）

隅丸方形を呈する土坑。遺構 160 を切る。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片多く含む。出土遺物（図 19）：33 ～ 34 はかわらけ。

遺構 162（図 17）

調査区外に延びるため正確な形状不明の土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片多く含む。出土遺物（図 19）：35 はかわらけ。

遺構 164（図 17）

他の遺構に切られ正確な形状は不明な土坑。遺構覆土：上層は暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片多く含む。下層は暗褐色粘質土。大型泥岩、泥岩粒多く、炭化物少量含む。出土遺物（図 19）：36 ～ 37 はかわらけ。38 は片口鉢Ⅱ類。39 は瓦質火鉢。

遺構 165（図 17）

楕円形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、かわらけ片少なく、炭化物やや多い。出土遺物（図 19）：40 はかわらけ。41 は青磁蓮弁文碗。42 は鉄釘。

遺構 167（図 17）

他の遺構に切られ正確な形状は不明。遺構覆土：上層は暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物多く含む。下層は暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒少。炭化物。出土遺物（図 19）：43 ～ 44 はかわらけ。

遺構 168（図 17）

楕円形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片少量含む。底に泥岩塊。出土遺物（図 20）：45 は常滑片口鉢Ⅰ類。46 は平瓦。

遺構 174（図 17）

他の遺構に切られ正確な形状が不明な土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。大型泥岩多く、炭化物、かわ

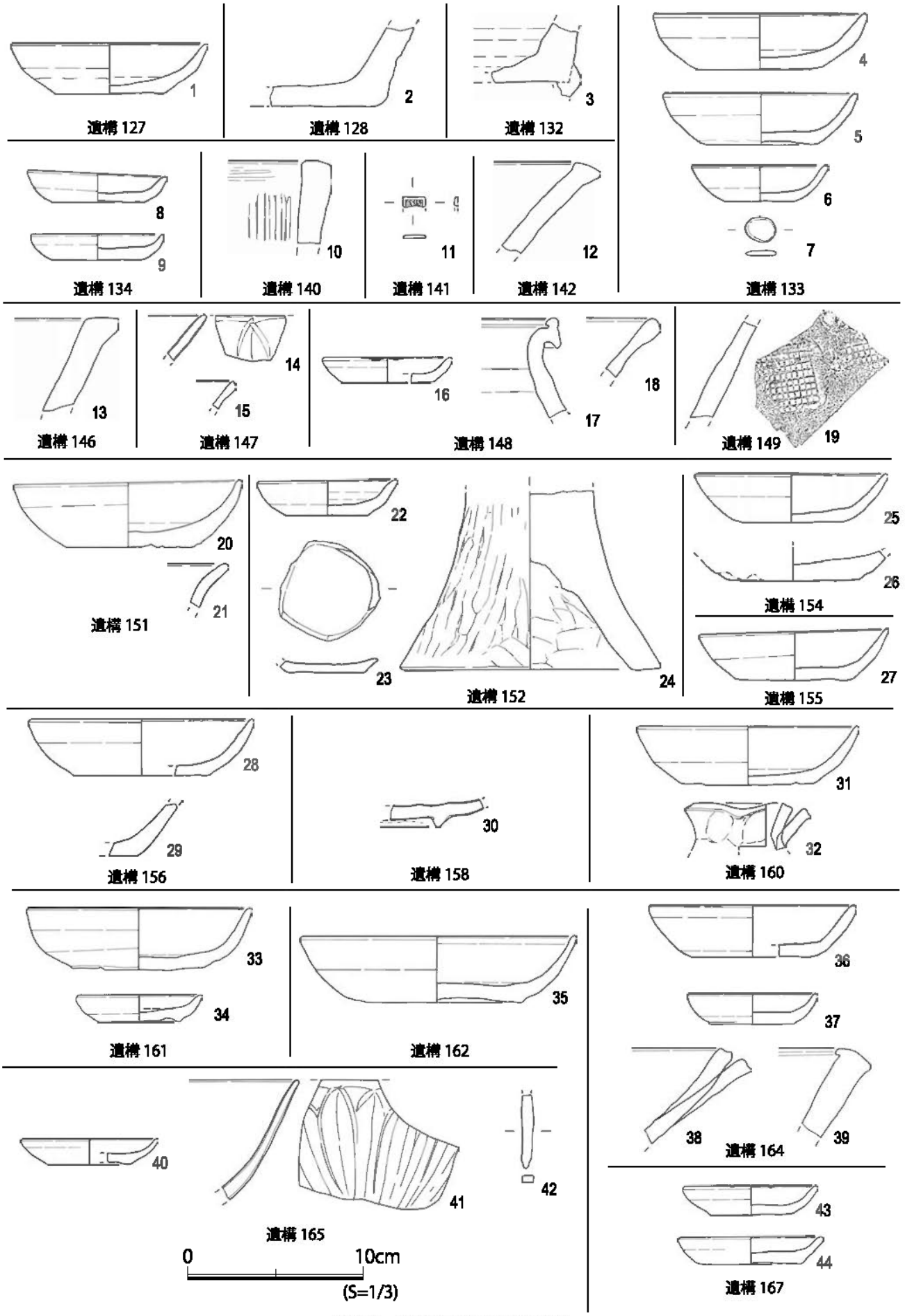


図 19　第 4 面遺構出土遺物

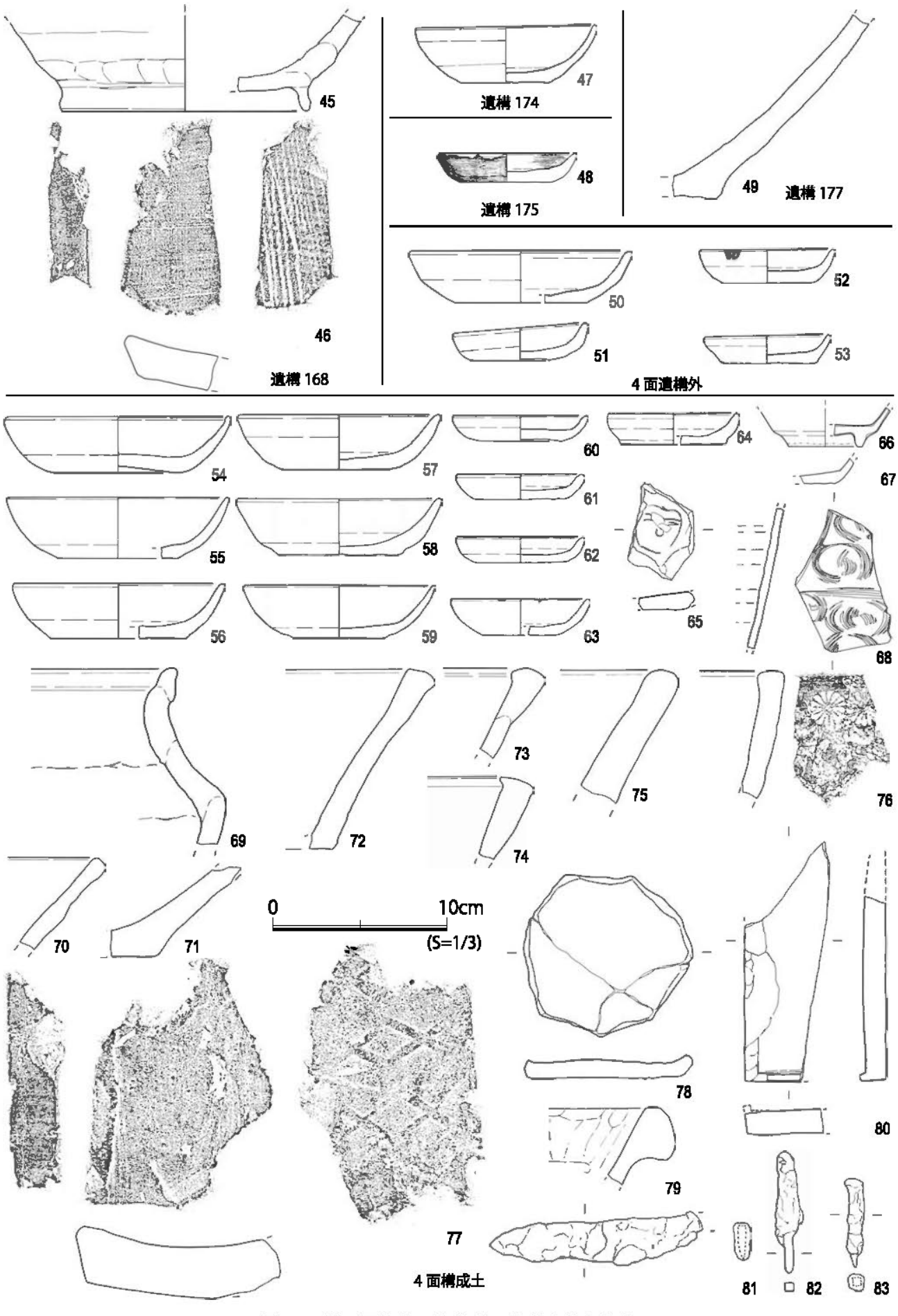


図 20　第 4 面遺構・遺構外・構成土出土遺物

らけ片少量含む。出土遺物（図 20）：47 はかわらけ。

遺構 175（図 17）

隅丸方形を呈する土坑。遺構 173 を切る。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物多く、かわらけ片少量含む。出土遺物（図 20）：48 はかわらけ。

遺構 177（図 17）

他の遺構に切られ正確な形状が不明な土坑。遺構 146、178 に切られ、176 を切る。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片少量含む。出土遺物（図 20）：49 は常滑片口鉢Ⅱ類。

4 面遺構外出土遺物（図 20）

遺構面精査時に面上で検出した遺物。50 ～ 53 はかわらけ。

4 面構成土出土遺物（図 20）

4 面より 5 面検出までの間の堆積より出土した遺物。54 ～ 64 はかわらけですべてロクロ回転によるもの。65 はかわらけ内底部に人物の顔を刻んだもの。焼成後に施している。66 は青磁折腰皿か。67 は白磁口兀皿、68 は青白磁梅瓶。69 は常滑の広口壺、70 は片口鉢Ⅰ類、71 は片口鉢Ⅱ類。72 ～ 76 は火鉢、73 は瓦質、76 は瓦器質。77 は平瓦。78 はかわらけ加工品。79 は高坏か。80 は石製硯、81 は刀子、82 ～ 83 は鉄釘。

第 5 節　第 5a 面の遺構と遺物（図 21 ～ 27）

5 面は砂層を生活面とする。比較的薄い堆積により砂の色調の変化が見られたため、それぞれを a、b として細分している。泥岩はほぼ含まれていない。確認レベルはおよそ海抜 7.85 ～ 7.95 m である。遺構はピット 32 穴・土坑 24 基、方形土坑 4 基で、掘立柱建物址の存在が推定できるが、明確なプランは復元できなかった。遺構の切り合いより第 5a 面で発見した遺構は、少なくとも 5 時期の時間差があると考えられる。

遺物は、かわらけ・手づくねかわらけ・白かわらけ・青磁・白磁・青白磁・常滑・瀬戸・黄釉・褐釉・火鉢・羽口・瓦器・瓦・石製品・鉄製品・銅銭・自然遺物が出土。中世以前の遺物も混入している。

・ピット

遺構 183（図 21）

楕円形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩塊、炭化物、かわらけ片を含む。出土遺物（図 24）：1 は青磁青磁劃花文碗。

遺構 199（図 21）

方形を呈するピット。遺構覆土：枠暗褐色粘質土。泥岩粒を含む。出土遺物（図 24）：2 はかわらけ。側立した状態で出土。

遺構 202（図 21）

楕円形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、炭化物、かわらけ片を含む。出土遺物（図 24）：3 はかわらけ。

遺構 208（図 21）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、炭化物少を少量含む。出土遺物（図

図 21　第 5a 面全体図

24）：4 は常滑甕。

遺構 209（図 21）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、炭化物少を少量含む。出土遺物（図 24）：5 は手づくねかわらけ。6 は内折れかわらけ。

・土坑

遺構 212（図 21）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土:暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物多く、かわらけ片少量含む。出土遺物（図 24）：7 ～ 8 はかわらけ。9 は常滑片口鉢 I 類。10 ～ 11 は瓦質火鉢。12 は土師器高坏か。13 は温石で出土時には四周に薄い木材が付着しており、本来箱状の構造物に入れられていたと思われ

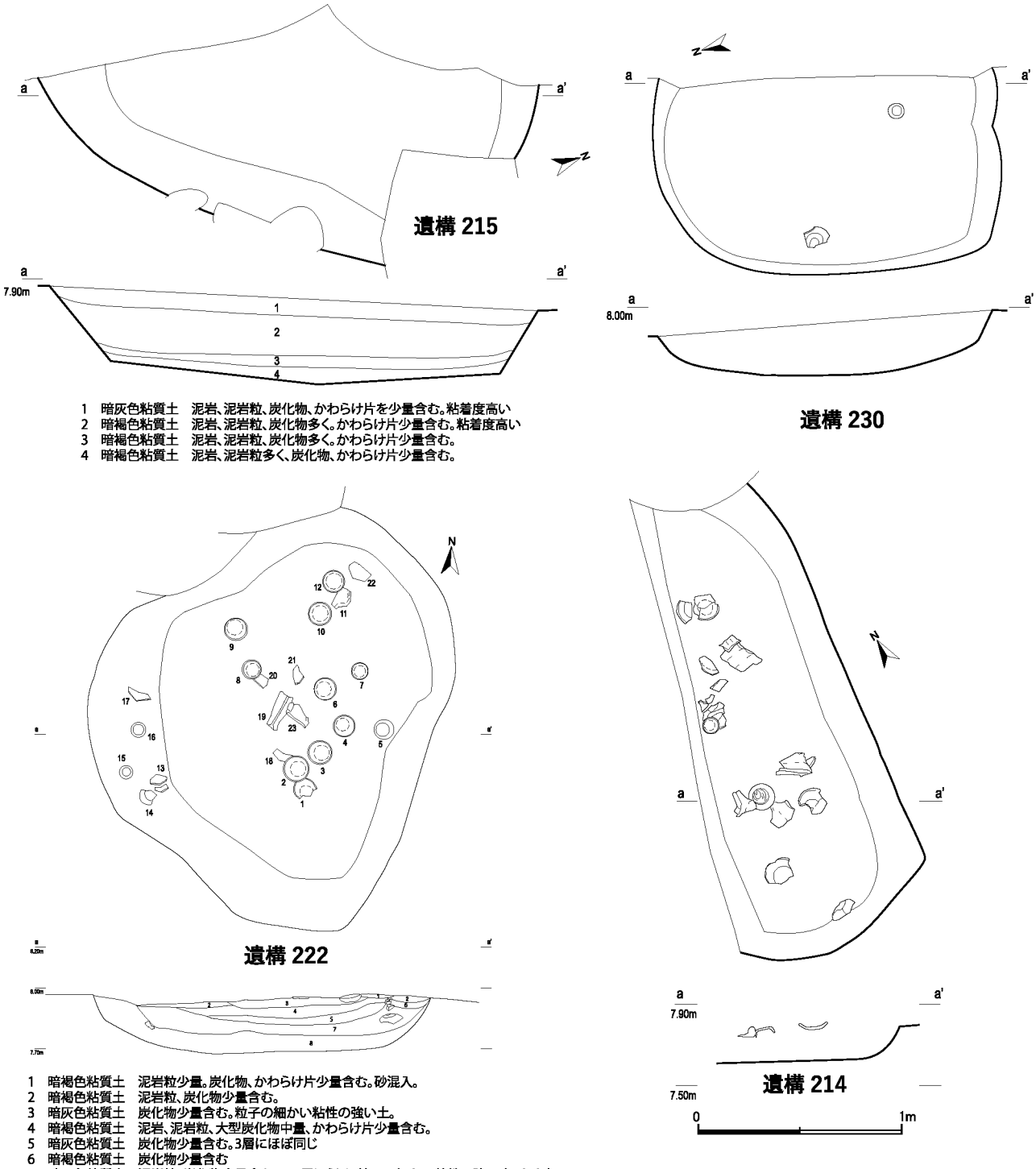


図 22　第 5a 面遺構個別図（1）

る。木材の保存状況の良い面を保護するため埋土を剥離せず取り上げたので、実測図にはそのまま図化してある。

遺構 213（図 21）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物やや多く、かわらけ片少量含む。底部に泥岩塊多い。出土遺物（図 24）：14 ～ 17 はかわらけ。18 は常滑で器種不明。

遺構 214（図 21、22）

隅丸方形を呈する土坑。完形に近いかわらけが多く出土。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、

炭化物を多く、かわらけ片少量含む。底部には黄褐色粘質土。出土遺物(図 24、25):19 ～ 34 はかわらけ、35 ～ 37 は常滑甕、38 ～ 41 は常滑片口鉢Ⅱ類、42 は産地不明の盤、43 は瓦質火鉢、44 は火鉢、45 は鞴の羽口、46 は鉄釘、47 は銅銭。

遺構 215（図 21、22）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：図を参照。出土遺物（図 25）：48 ～ 53 はかわらけ、54 は常滑片口鉢Ⅰ類。55 は平瓦。56 は石製長方硯。

遺構 221（図 21）

不整楕円形を呈する土坑。遺構覆土：暗灰色粘質土。泥岩、泥岩粒少なく、炭化物、かわらけ片やや多く含む。出土遺物（図 25):57 はかわらけ。58 は常滑小壺。59 は常滑片口鉢Ⅰ類、60 は片口鉢Ⅱ類。

遺構 222（図 21、22）

不整楕円形を呈する土坑。完形に近いかわらけが覆土中程より多く出土。遺構覆土：図を参照。出土遺物（図 26）：85 ～ 102 はかわらけ、103 ～ 104 は常滑甕、105 は常滑片口鉢Ⅰ類、106 は片口鉢Ⅱ類。107 は火鉢形土器、108 は火鉢、109 は擦り常滑、110 は平瓦、111 は高坏か。112 ～ 113 は釘。

遺構 224（図 21）

円形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒を含む。出土遺物（図 25）：61 ～ 63 はかわらけ。

遺構 225（図 21）

円形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒を含む。出土遺物（図 25）：72 ～ 78 はかわらけ、79 は常滑片口鉢Ⅰ類、80 は片口鉢Ⅱ類。81 ～ 83 は瓦質火鉢、84 は平瓦。

遺構 226（図 21）

切り合いにより形状不明。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物かわらけ片多く含む。出土遺物（図 25）：64 はかわらけ。65 は瀬戸入子。

遺構 227（図 21）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土:上層は暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片を含む。下層は暗灰色粘質土。泥岩粒をわずかに含む。出土遺物(図 25):66 ～ 68 はかわらけ。69 は伊勢系土鍋。70 ～ 71 は鉄釘。

遺構 229（図 21）

調査区外に延び他の遺構に切られ、形状不明。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片を含む。出土遺物（図 26）：114 はかわらけ、115 は青磁蓮弁文碗、116 は常滑片口鉢Ⅱ類。

遺構 230（図 21、22）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土:図を参照。出土遺物(図 26):117 ～ 120 はかわらけ、121 は瀬戸入子。

遺構 231（図 21）

他の遺構に切られて形状は不明。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒を含む。出土遺物（図 26）：122 は黄釉盤か。

遺構 232（図 21）

楕円形を呈する土坑。遺構覆土：上層は暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物を含む。下層は暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片を含み、底部に炭が薄く広がる。出土遺物（図 26）：123 は不明陶器、124 は天目。125 ～ 126 は鉄釘、127 は銅銭。

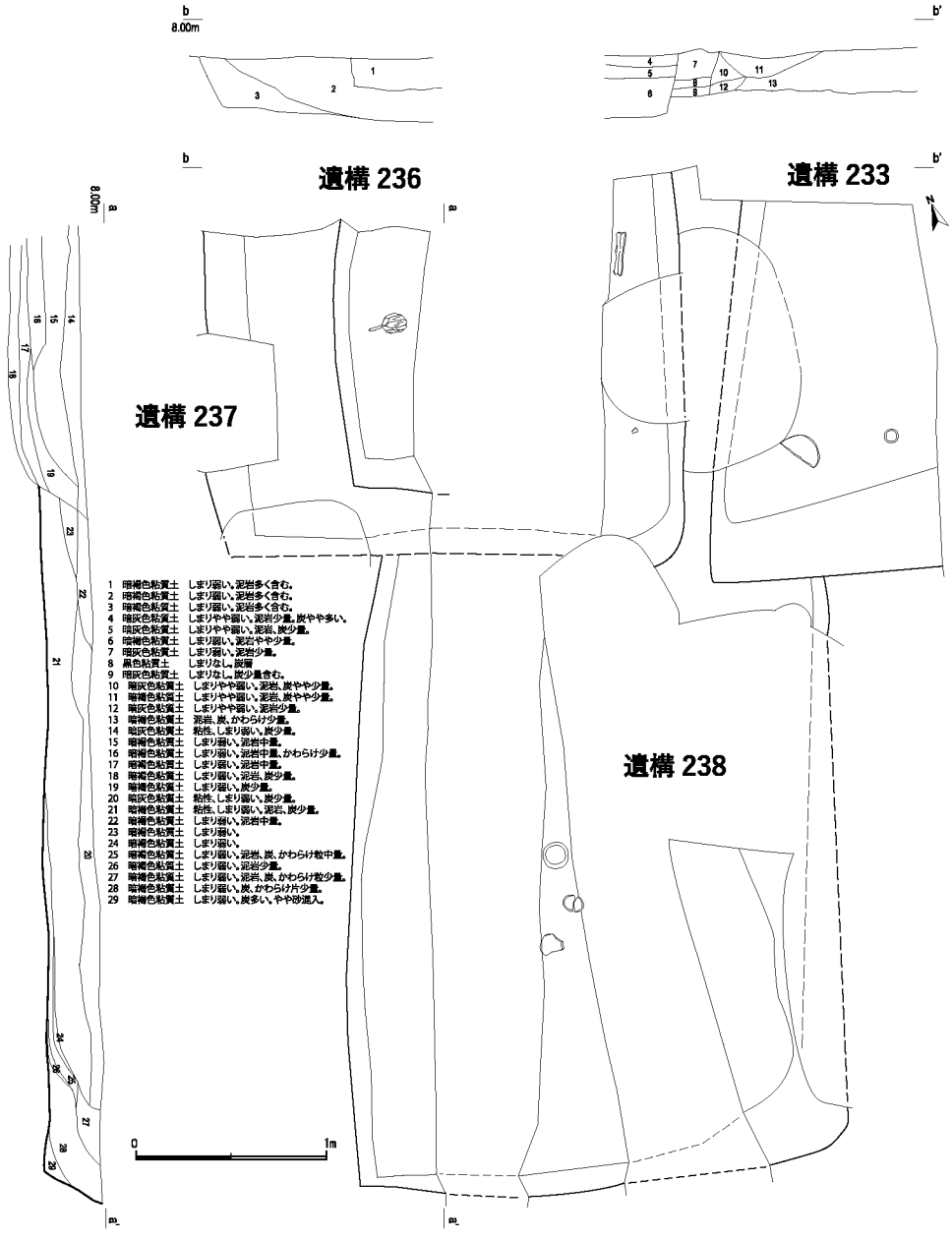


図 23　第 5a 面遺構個別図（2）

・方形土坑

遺構 233（図 21、23）

調査区外に延びるが方形を呈すると考えられる土坑。遺構覆土:上層は暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、かわらけ片を含む。下層は暗褐色粘質土、泥岩粒をわずかに含み、粘性が高く締まりがない。出土遺物（図 27）：128 ～ 131 はかわらけ、132 は青磁蓮弁文鉢、133 は青磁印花文皿、134 は青白磁梅瓶。135 は褐釉花盆（植木鉢）か。136 は常滑片口鉢Ⅰ類、137 ～ 138 は片口鉢Ⅱ類。139 は器種不明の陶器。

遺構 236（図 21、23）

長方形を呈すると考えられる土坑。遺構覆土：図参照。出土遺物（図 27）：140 はかわらけ。141 は常滑片口鉢Ⅰ類、142 は片口鉢Ⅱ類。

遺構 237（図 21、23）

調査区外に延びるが方形を呈すると考えられる土坑。遺構覆土：図参照。出土遺物（図 27）：143 ～ 144 はかわらけ、145 は常滑片口鉢Ⅰ類、146 は片口鉢Ⅱ類。

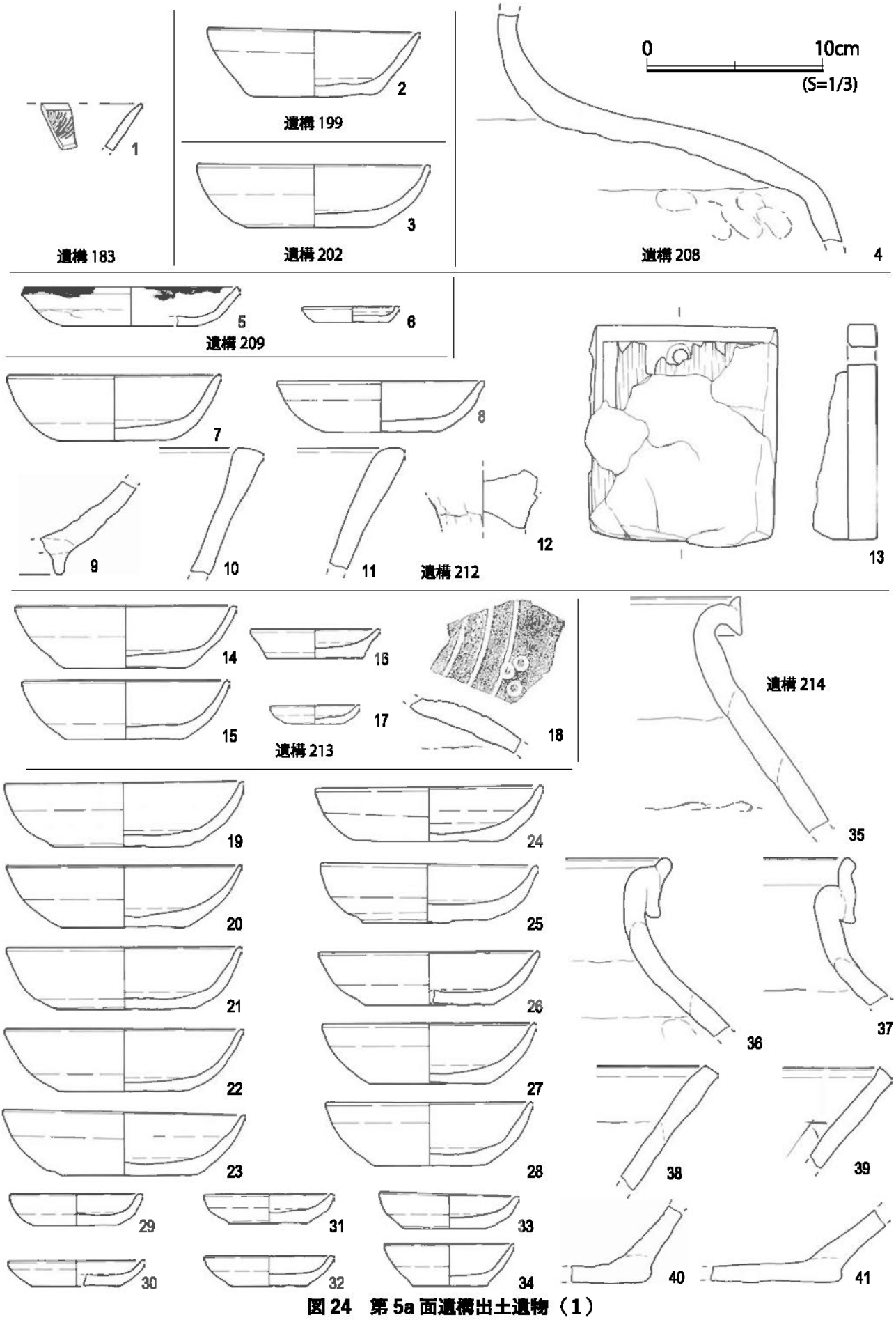


図 24　第 5a 面遺構出土遺物（1）

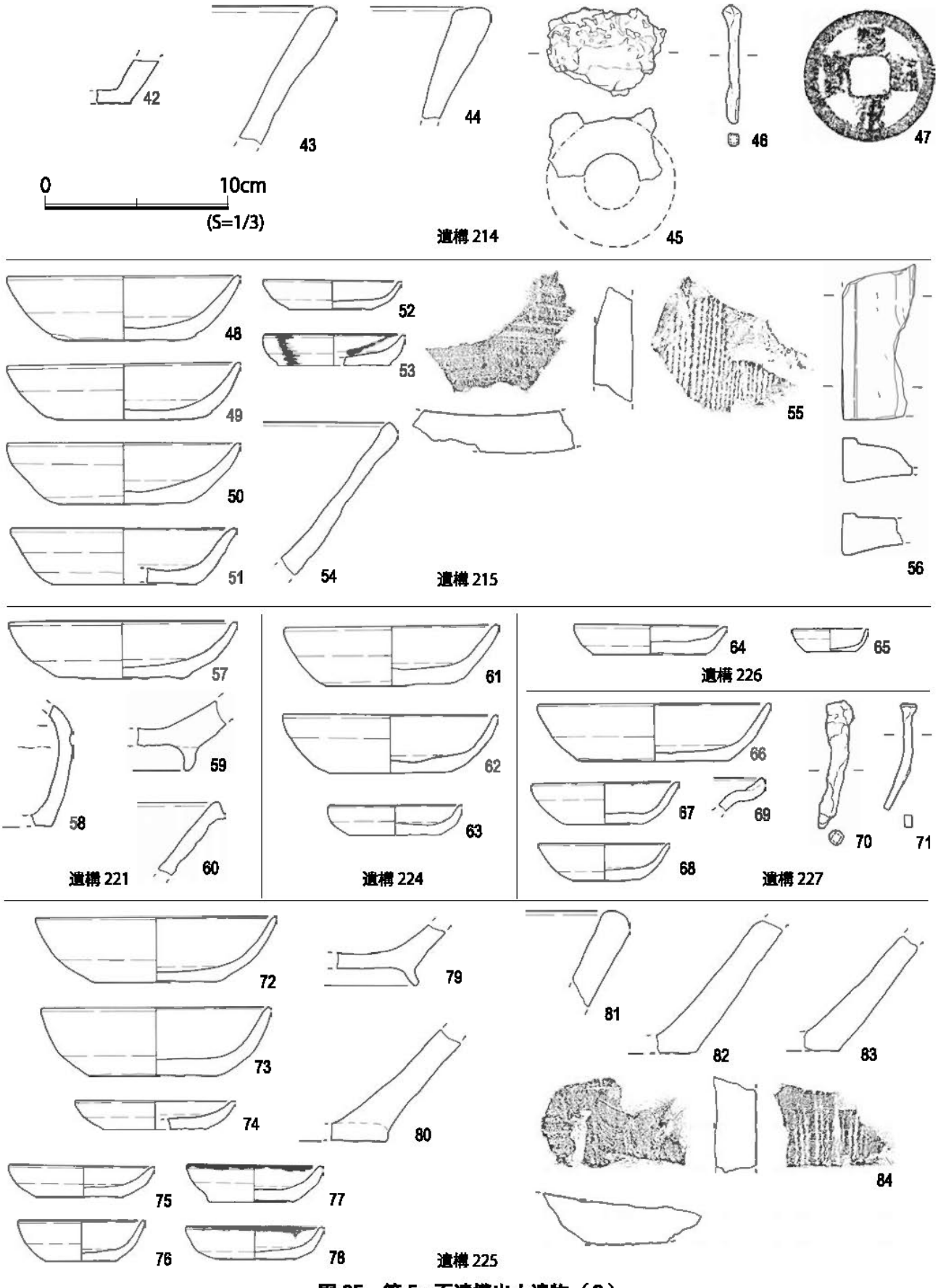


図 25　第 5a 面遺構出土遺物（2）

遺構 238（図 21、23）

長方形を呈する土坑。遺構覆土：図参照。出土遺物（図 27）：147 ～ 157 はかわらけ、158 は青磁蓮弁文碗、

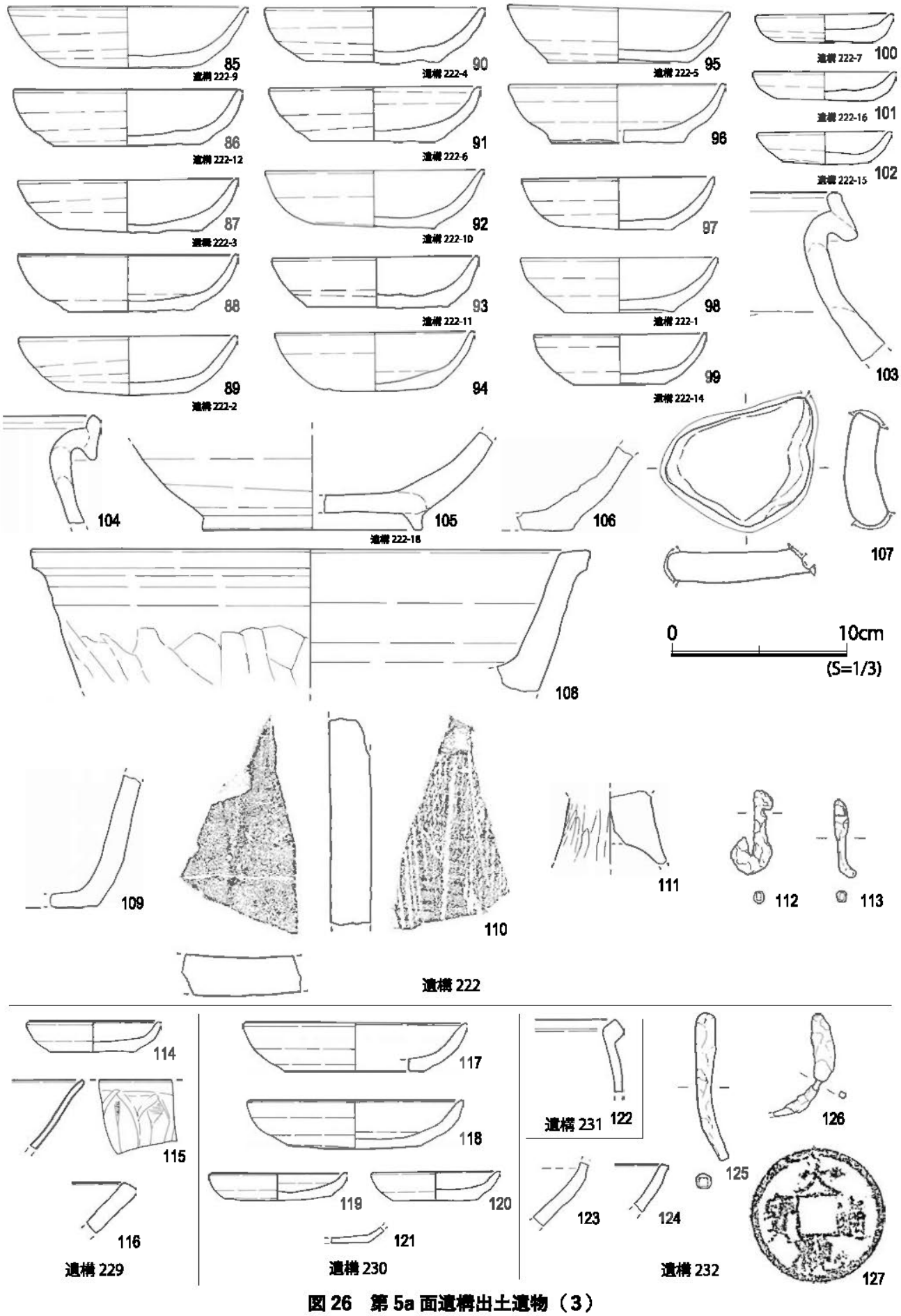


図 26　第 5a 面遺構出土遺物（3）

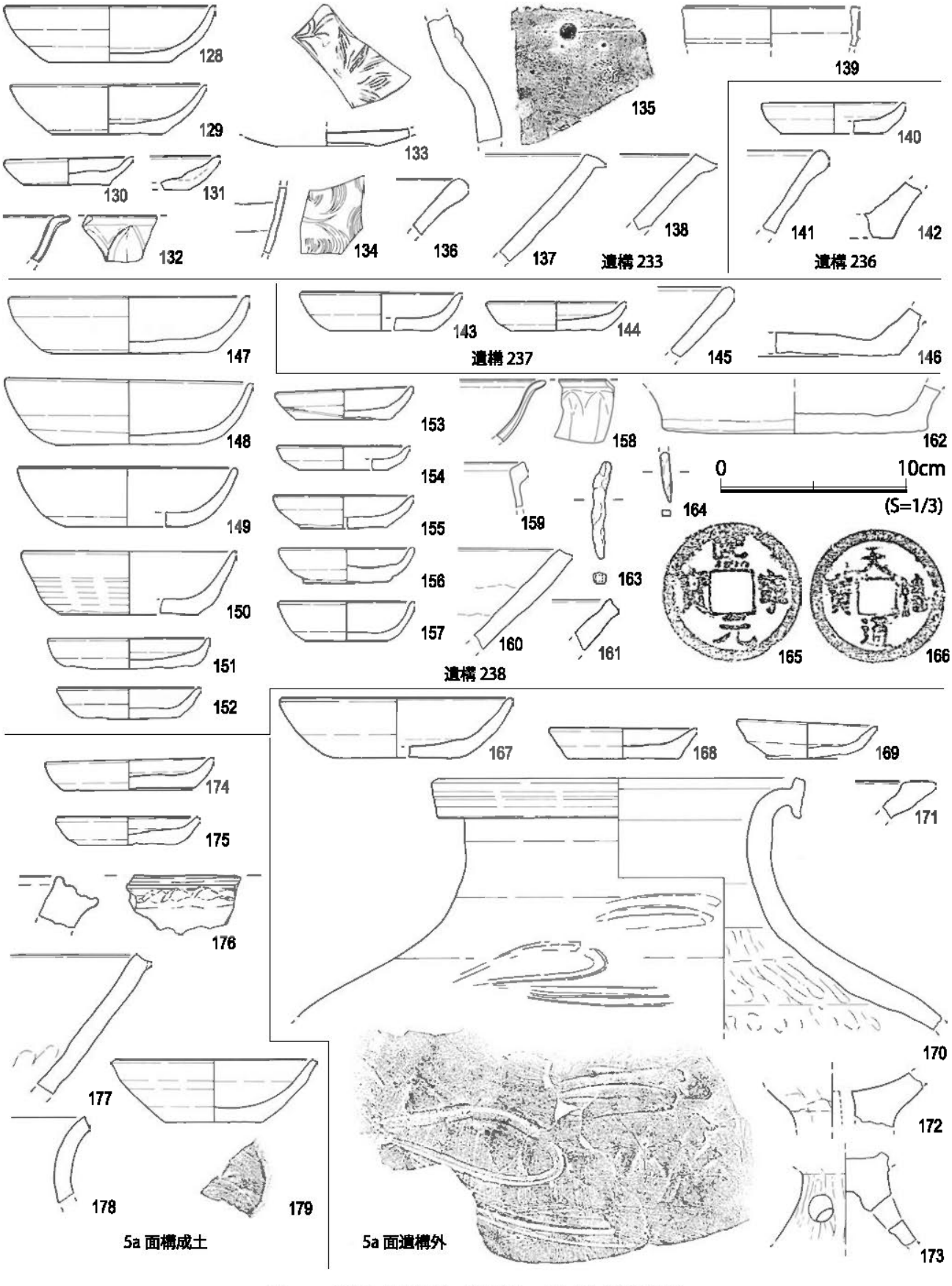


図 27　第 5a 面遺構・遺構外・構成土出土遺物

159 は釉陶盤、160 ～ 161 は常滑片口鉢Ⅱ類、162 は常滑片口鉢Ⅰ類、163 ～ 164 は鉄釘、165 ～ 166 は銅銭。

5a 面遺構外出土遺物（図 27）

遺構面精査時に面上で検出した遺物。167 ～ 169 はかわらけ、170 は常滑甕。肩部に工具により条線が描かれる。171 は土器質火鉢、172 は高坏か。173 は高坏。

5a 面構成土出土遺物（図 27）

5a面より5b面検出までの間の堆積より出土した遺物。174 ～ 175 はかわらけ、176 は褐釉花盆（植木鉢）か。177 は常滑片口鉢Ⅱ類、178 は土師器壺か。179 は須恵器坏。

第 6 節　第 5b 面の遺構と遺物（図 28、30）

第 5b 面は黒褐色砂質土より構成される。確認レベルはおよそ海抜 7.60 ～ 7.78 mである。上面からの

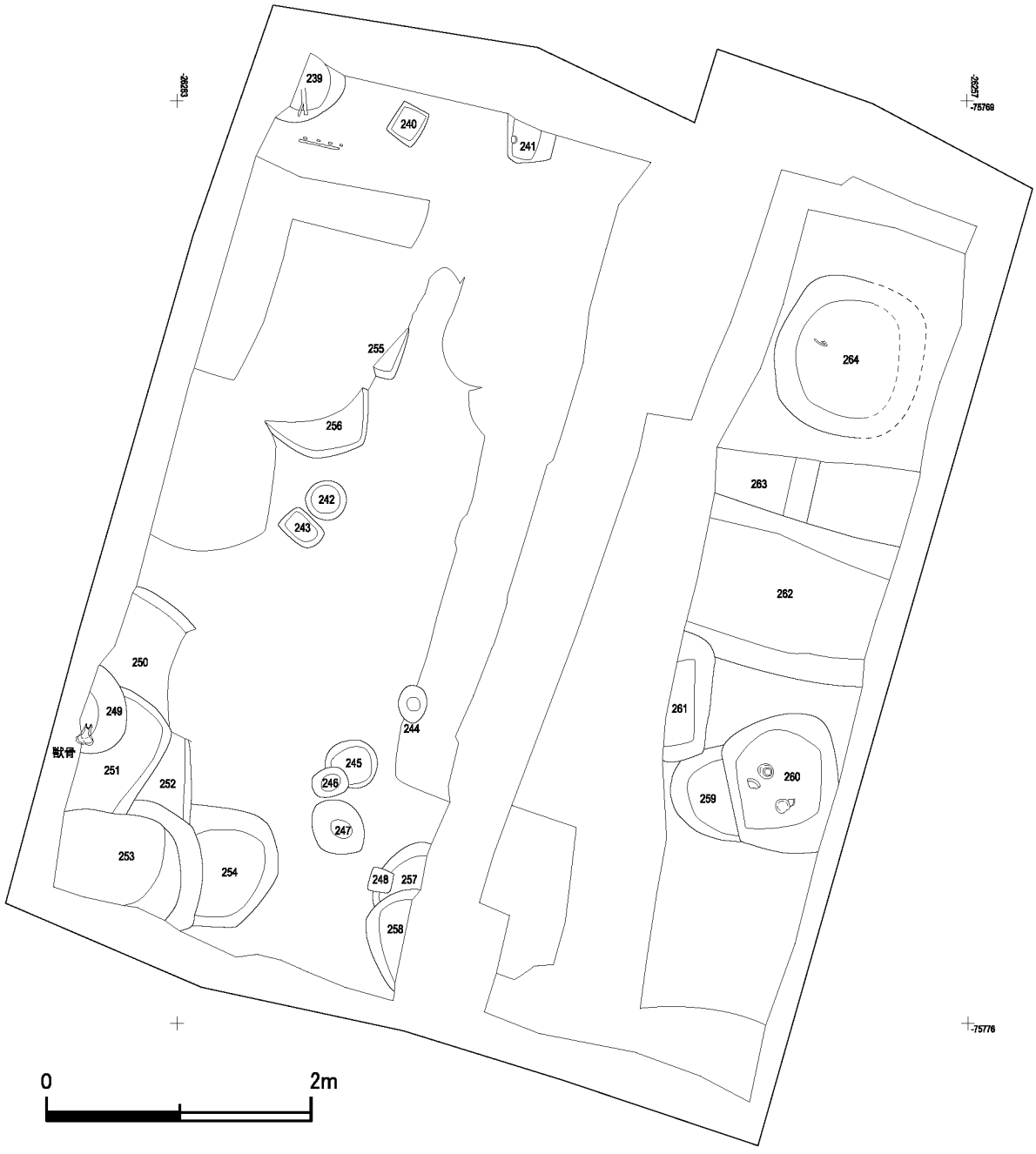


図 28　第 5b 面全体図

遺構の掘り込みは調査区の半分近くは失われている。遺構はピット 10 穴・土坑 16 基で、やや大型の土坑が主体であり、掘立建物址などのプランは不明である。遺構の切り合いより第 5b 面で発見した遺構は、少なくとも 4 時期の時間差があると考えられる。

遺物は、かわらけ・青磁・白磁・青白磁・常滑・火鉢・石製品・自然遺物が出土。

・ピット

遺構 241（図 28）

方形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片を少量含む。出土遺物（図 29）：1 はかわらけ。

・土坑

遺構 249（図 28）

楕円形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒を多く、炭化物、かわらけ片を少量含む。出土遺物：獣骨片が出土。

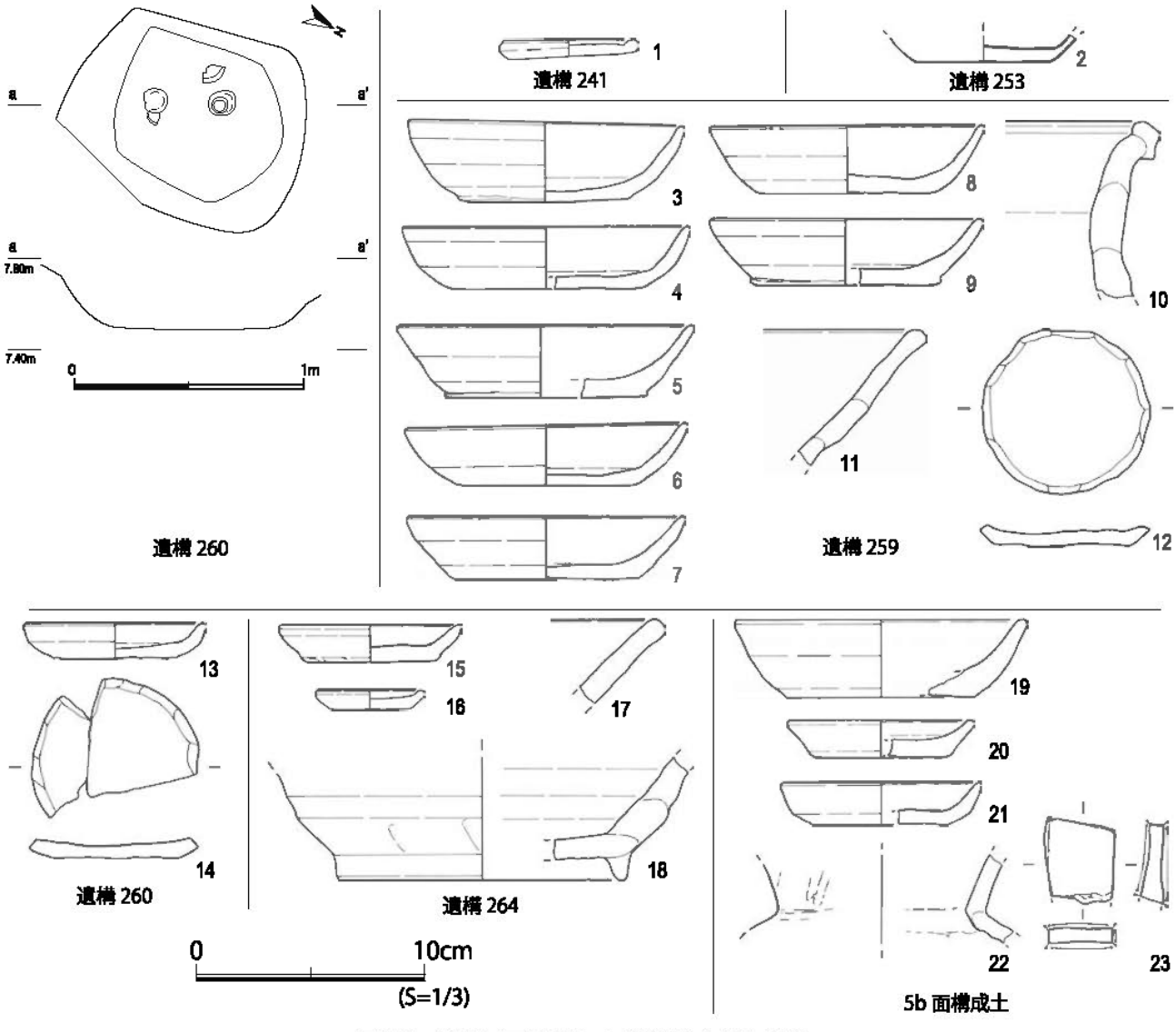


図 29　第 5b 面遺構および構成土出土遺物

遺構 253（図 28）

他の遺構に切られ、形状は詳細不明。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片を少量含む。出土遺物（図 29）：2 は白磁口兀皿。

遺構 259（図 28）

円形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片を少量含む。出土遺物（図 29）：3 ～ 9 はかわらけ、10 は常滑甕。11 は常滑片口鉢 I 類。12 はかわらけ転用品。

遺構 260（図 28、29）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片を少量含む。出土遺物（図 29）：13 はかわらけ、14 はかわらけ転用品。

遺構 264（図 28）

円形を呈する土坑。遺構覆土：上層は黄褐色粘質土。泥岩多く、炭化物、かわらけ片少量含む。下層は暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒多く、炭化物、かわらけ片少量含む。出土遺物（図 29）：15 ～ 16 はかわらけ、17 ～ 18 は常滑片口鉢 I 類。

5 b 面構成土出土遺物（図 29）

5b 面より 6 面検出までの間の堆積より出土した遺物。19 ～ 21 はかわらけですべてロクロ回転によるもの。22 は土師器の坩。23 は砥石。

第 7 節　第 6 面の遺構と遺物（図 30 ～ 32）

第 6 面は明黄褐色砂層によって構成される。砂層自体は薄く、砂の下は暗褐色粘質土となる。確認レベルはおよそ海抜 7.56 ～ 7.65 mである。遺構はピット 7 穴・土坑 14 基で、掘立建物址などのプランは不明である。遺構の切り合いから第 6 面で発見した遺構は、少なくとも 2 時期の時間差があると考えられる。

遺物は、かわらけ・手づくねかわらけ・青磁・白磁・青白磁・常滑・石製品・鉄製品・自然遺物が出土。中世以前の遺物も混入している。

・ピット

遺構 270（図 30）

楕円形を呈するピット。遺構覆土:暗褐色粘質土。泥岩､炭化物少量含む。遺物(図 32):1 はかわらけ。逆位で底部より出土。

遺構 271（図 30）

円形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩塊、炭化物を少量含む。出土遺物（図 32）：2 はかわらけ。逆位で底部より出土。

・土坑

遺構 272（図 30、31）

方形を呈する土坑。南壁には横板を廃止板止めの杭を、東壁と北壁には縦板を設置している。西壁は板などが確認できず。遺構の性格は不明。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、木片を少

量含む。出土遺物（図 32）：3 は青磁櫛掻文皿。

遺構 275（図 30）

円形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩少量、炭化物を多く含む。出土遺物（図 32）：4 ～ 7 はかわらけ。

遺構 276（図 30）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物を含む。出土遺物（図 32）：8 はかわらけ。

遺構 277（図 30）

他の遺構に切られているため正確な形状不明。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物を少量含む。出土遺物（図 32）：9 ～ 11 はかわらけ。

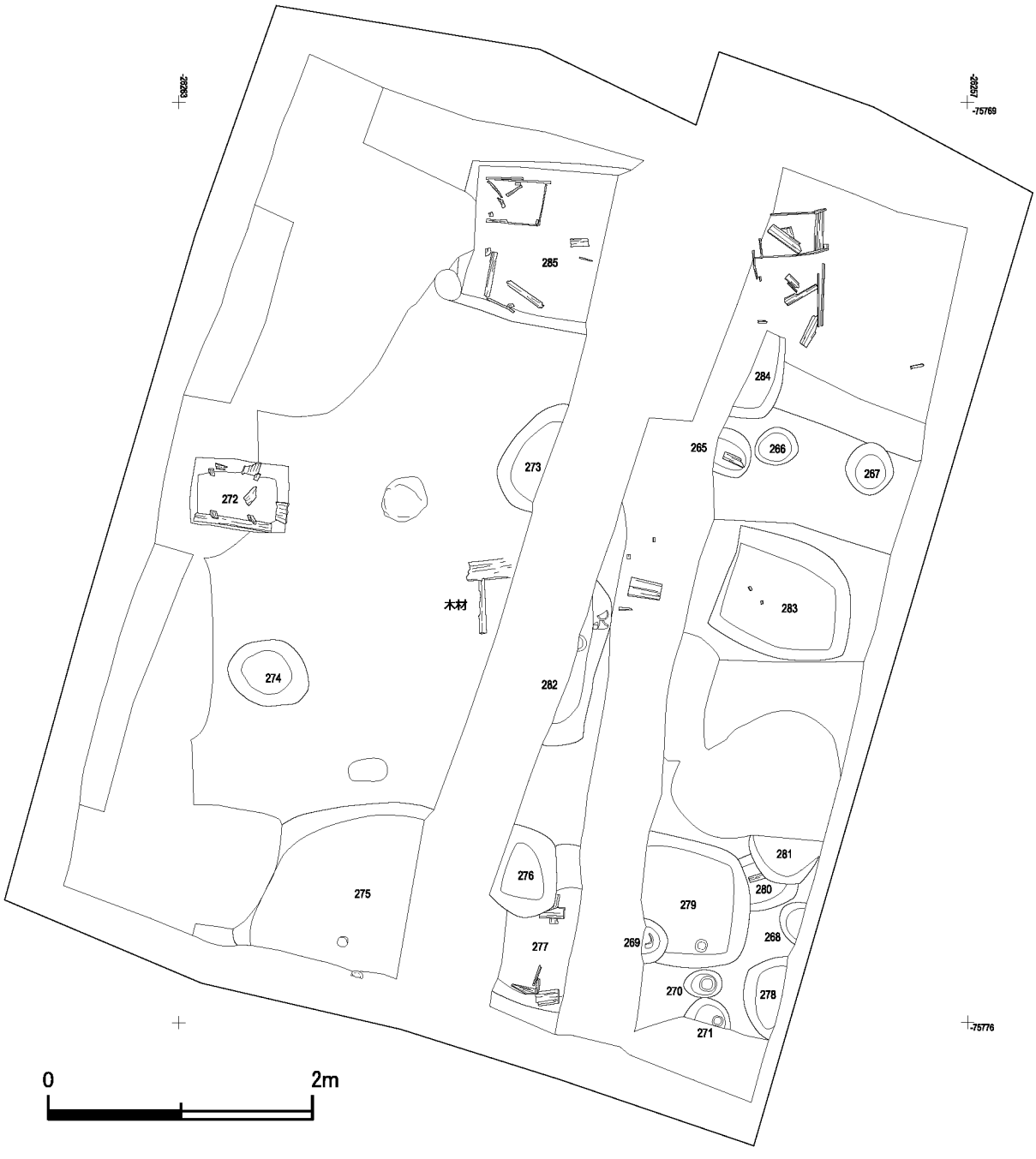


図 30　第 6 面全体図

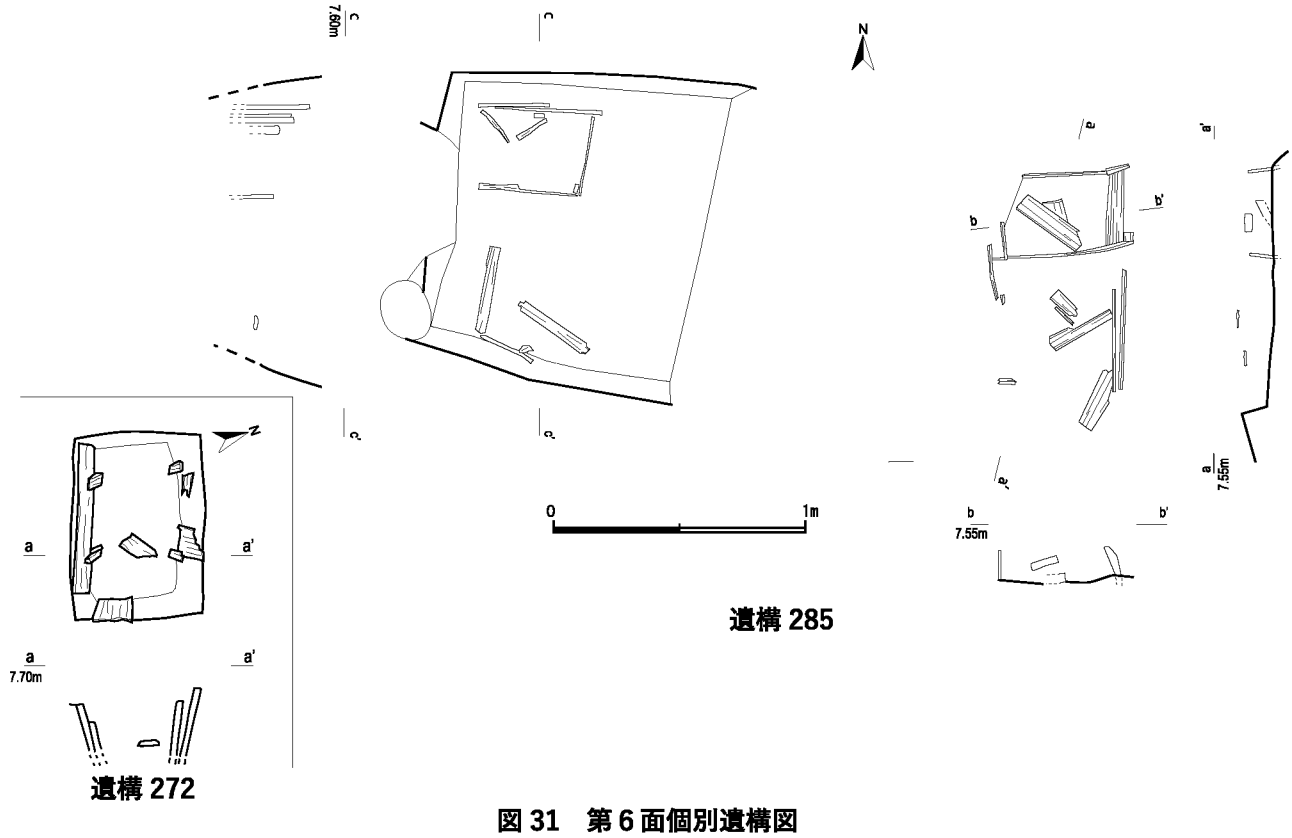


図 31　第 6 面個別遺構図

遺構 282（図 30）

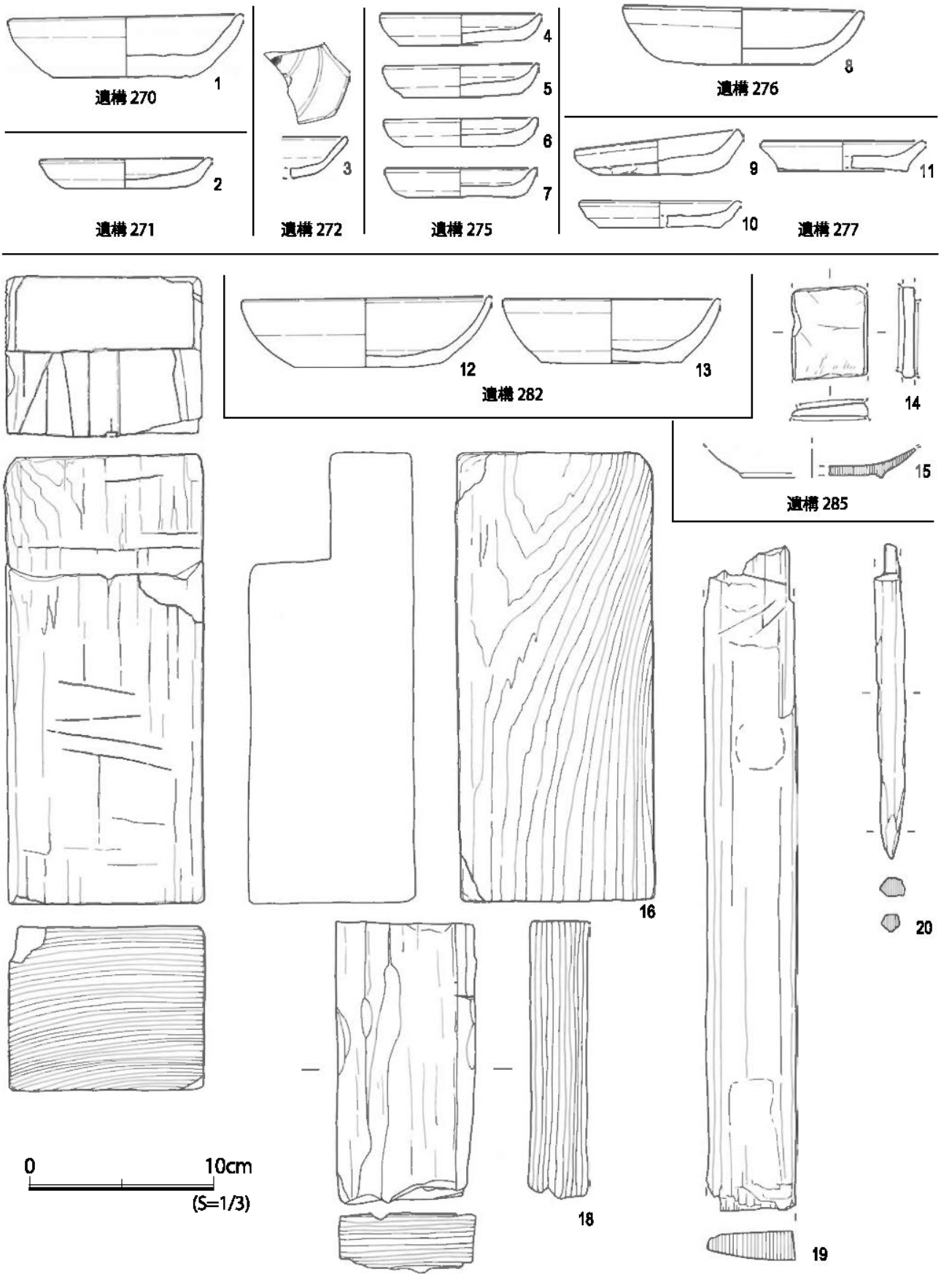
隅丸長方形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒を少量含む。出土遺物（図 32）：12 ～ 13 はかわらけ。

遺構 285（図 30、31）

方形を呈する土坑か。形状が不明瞭。横板と杭によって構築した方形の木組みが検出。遺構の性格は不明。遺構覆土：暗褐色粘質土。出土遺物（図 32）：14 は砥石。15 は漆器皿。

6 面構成土（図 32）

6 面より下の黒色粘着土より検出した遺物。16 ～ 20 はいずれも木製品部材。



6 面構成土

図 32　第 6 面遺構および構成土出土遺物

第 8 節　遺構外出土遺物（図 33）

表土内に混入、また廃土より検出し所属面が不明だが、図示しうる遺物を掲載しておく。

1 ～ 3 はかわらけ。4 は青白磁梅瓶。5 ～ 7 は常滑甕。8 は磨り常滑。9 ～ 10 は瀬戸折縁深皿、11 は瀬戸平碗、12 ～ 13 は瀬戸卸皿、14 は瀬戸花瓶、15 は瀬戸の器種不明品。16 は硯の未製品か。

17 ～ 19 は近代遺物。17 は磁器の蓋付容器。18 は磁器の筒型容器。19 は徳利で「由比ヶ浜　栄屋」の屋号が見える。

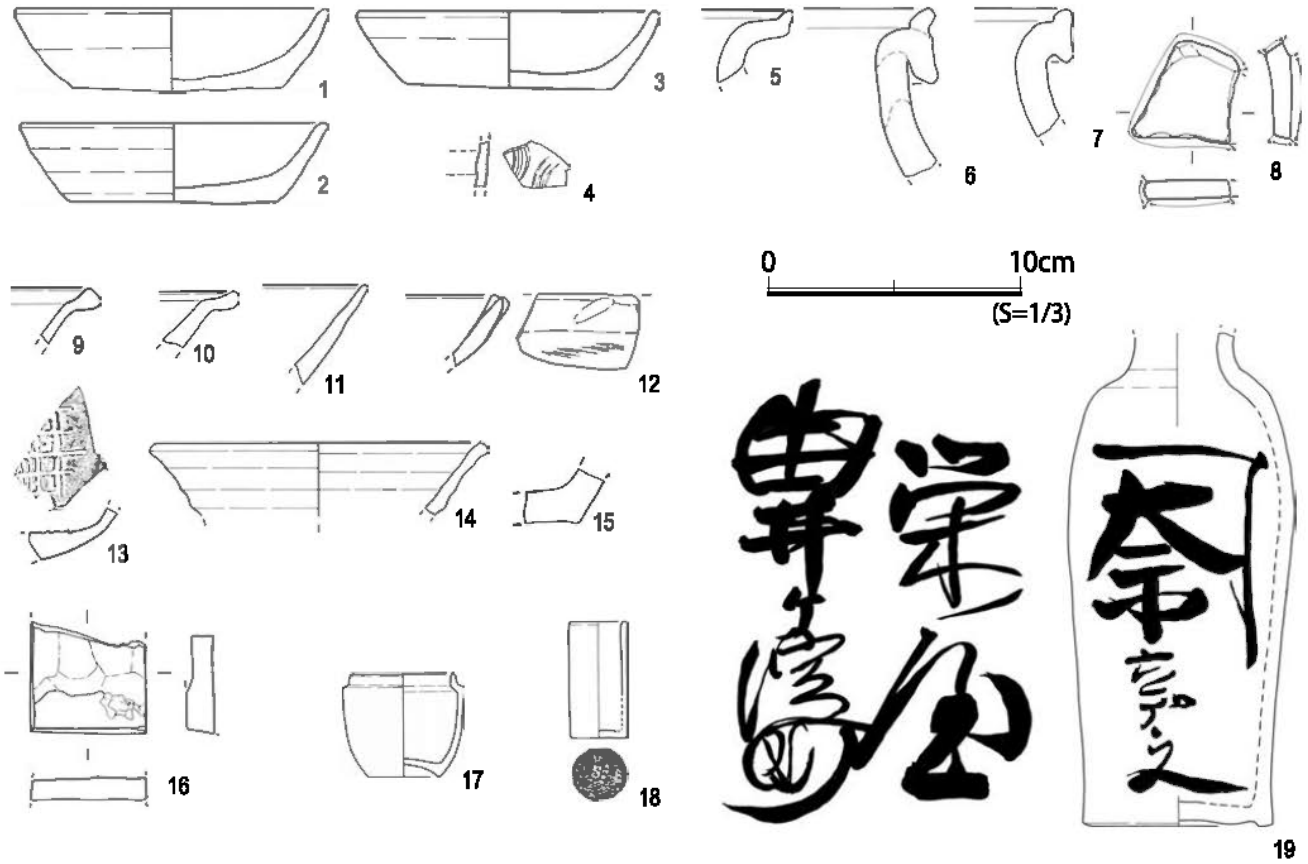


図 33　遺構外出土遺物

第三章　考察とまとめ

本調査地点では中世の生活面が6面検出され、それぞれに建造物が確認された。以下面ごとに検出した遺構・遺物について整理し、簡単ではあるがそれぞれの考察を行ってまとめとしたい。

第1面

第1面は小粒の泥岩砕片を多く含む暗褐色粘質土の地業面であり、確認レベルはおよそ海抜8.37～8.42mである。検出遺構はピット26穴・土坑4基で、遺構密度は比較的低い。一部近現代の掘り込みが1面まで達している。掘立柱建物址の存在が推定できるが、明確なプランは復元できず。切り合いから第1面で発見した遺構は、少なくとも2時期の時間差があると考えられる。

遺物は、かわらけ・舶載陶磁器・国産陶器が主体である。中世以前の遺物も混入している。遺物からおよそ14世紀代に属すると推定される。

第2面

第2面は小粒の泥岩砕片を多く含む暗褐色粘質土の地業面であり、確認レベルはおよそ海抜8.25～8.33mである。検出遺構はピット41穴･土坑9基､溝状遺構1条で､掘立柱建物址の存在が推定できるが､明確なプランは復元できず。切り合いより第2面で発見した遺構は、少なくとも3時期の時間差があると考えられる。溝は大半が大型の泥岩塊を投げ込む形で埋められていた。やや深くほぼ断面Ｖ字形を呈し、調査区をほぼ南北を縦断する形で構築されている。溝は単独で構築されているようであり、区画のために構築したものか。溝の東西では遺構の検出状況は大きな差はないが、溝の西側ではやや泥岩を密にした地業面がほぼ並行して南北方向にみられる。

遺物は、かわらけ・舶載陶磁器・国産陶器が主体である。羽口など手工業生産にかかわる遺物も少数ながら出土している。また中世以前の遺物も混入している。遺物からおよそ13世紀後半～14世紀前半に属すると推定される。

第3面

第3面は小粒の泥岩砕片を多く含む暗褐色粘質土の地業面であり、確認レベルはおよそ海抜8.15～8.22mである。検出遺構はピット26穴・土坑20基で、掘立柱建物址の存在が推定できるが、明確なプランは復元できず。遺構の切り合いより第3面で発見した遺構は、少なくとも2時期の時間差があると考えられる。また第2面とほぼ同様に1区の東側に破砕した土丹塊を密に混入した地業が南北に線状に延びるがその性格は不明である。

遺物は、かわらけ・舶載磁器・国産陶器が主体である。羽口など手工業生産にかかわる遺物も少数ながら出土している。遺物からおよそ13世紀後半～14世紀前半に属すると推定される。

第4面

第4面は小粒の泥岩砕片を含む暗褐色粘質土の地業面であり、確認レベルはおよそ海抜8.03～8.08mで、西側に向かってわずかに傾斜して下がる。遺構はピット23穴・土坑30基で、掘立柱建物址の存在が推定できるが、明確なプランは復元できず。切り合いより第4面で発見した遺構は、少なくとも3

時期の時間差があると考えられる。第4面では東側でピットがやや密集し、西側ではやや空白地帯が多い。東側に建物が集中していた可能性も考えられる。

遺物は、かわらけ・舶載陶磁器・国産陶器が主体であり、中世以前の遺物も混入している。なお構成土への混入であるが、人面を刻したかわらけ片が出土している。人面を刻書する例は中世ではあまり例が多くないようである。落書き的なものか。遺物からおよそ13世紀第4四半期～14世紀初頭に属すると推定される。

第5a面

5面は砂層を生活面とする。比較的薄い堆積により砂の色調の変化が見られたため、それぞれをa、bとして細分している。泥岩はほぼ含まれていない。5aは茶褐色砂質土を主体とし、確認レベルはおよそ海抜7.85～7.95 mである。遺構はピット32穴・土坑24基、方形土坑4基で、やや大型の土坑が多く、また北東部には方形土坑が集中し、切り合いも激しい。ピットは土坑との切り合い関係も複雑で、明瞭な建物のプランなどは明らかにしえない。切り合いより少なくとも5時期の時間差があると考えられる。

遺物は、かわらけ・舶載陶磁器・国産陶器が主体であり、羽口など手工業にかかわる遺物も少量出土。土坑ではかわらけの一括廃棄がやや多くみられる。中世以前の遺物も混入している。遺物からおよそ13世紀後半～14世紀初頭に属すると推定される。

第5b面

第5b面は黒褐色砂質土より構成される。確認レベルはおよそ海抜7.60～7.78 mである。上面からの遺構の掘り込みで調査区の半分近くは失われている。遺構はピット10穴・土坑16基で、やや大型の土坑が主体であり、ピットはわずかであり、建物址の存在も不明瞭である。切り合いより第1面で発見した遺構は、少なくとも4時期の時間差があると考えられる。

遺物は、かわらけ・舶載磁器・国産陶器が主体である。遺物からおよそ13世紀中～後半に属すると推定される。

第6面

第6面は明黄褐色砂層によって構成される。砂層自体は薄く、砂の下は暗褐色粘質土となる。確認レベルはおよそ海抜7.56～7.65 mである。遺構はピット7穴･土坑14基で、全体として検出数が少なく、掘立建物址などの存在も不明瞭である。切り合いから第6面で発見した遺構は、少なくとも2時期の時間差があると考えられる。北側では板材と杭により方形に組んだ構造物が検出されているが、その性格は判然としない。組み方は比較的粗雑である。

遺物は、かわらけ・舶載磁器・国産陶器が主体である。中世以前の遺物も混入している。遺物からおよそ13世紀中～後半に属すると推定される。

第6面以下はやや暗い暗褐色粘質土となり、混入物が少なく遺物も検出されなかったため、中世の地山面と判断した。隣接する今小路西遺跡由比ガ浜一丁目160番8、10地点の結果から見ると、暗褐色粘質土面のおよそ50cmほど下部で灰白色砂層が検出されており、本地点でもほぼ同様であると思われる。

本調査地点からは古墳時代にさかのぼる土師器などを比較的多く検出した。ほとんどは細片であり、

また遺構に明らかに伴う状態では出土していないため、いずれも他からの流入によるものと考えられる。中世の遺物から推定しても、本調査地点の時期はさほど古くまではさかのぼらないと思われる。

第6面では機能的に明らかではない木組み構造物が見られ、明確な掘立柱建物などは想定しづらい。5b面は破壊が激しく詳細が不明である。5面は大型土坑や方形土坑が主体で、やはり掘立柱建物などは想定しづらい。第5面では遺構が何度にもわたって同じような場所に頻繁に構築されていることがうかがえる。第4面から第1面に至るまではおそらく掘立柱建物が主体となり、2面ではやや大型の溝も構築される。この地点では大きく3度、空間利用の変更があったと想定することができよう。ただし、方形土坑の軸と溝の軸を見ると、建物の軸線に大きな変更はないようにみられる。

近隣の地点4（図1）の道路遺構を見ると、本調査地点での溝と南北道路の軸線はほぼ同じで、東西道路とは直行するようであり、この地域一帯にそうした区割りが存在したと想定される。そして空間利用の仕方が変化したとしても、区割りは基本的には変更がなかった可能性がある。現状尾根前を走る道路と本遺跡を含む周辺の道路などの軸線とはずれがあり、本調査地点の溝も今小路と平行しているわけではない。したがって大町大路とも推定される道路が中世当時から存在した道路を踏襲しているかは疑問がある。佐助川の中世の流路も近辺では未確認であり、現在にみられる道路網による街並みと中世当時とは大きく異なっていた可能性もある。やはり調査例が多いとは言えないため、今後の資料の増加によって、さらに検討していく必要があろう。

表１　出土物観察表

図版	番号	遺構番号	材質	種別	遺存度	寸法（cm）				観察項目
						口径	底径	器高	重	a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
6	1	4	土製品	ロクロかわらけ（小）	完形	7.6	5.2	2.1		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　ナデ消し　b: 雲母　赤色粒　海綿骨針　砂　やや粗土　c: 黄灰色　e: やや甘い
6	2	12	土製品	ロクロかわらけ（中）	1/2	(12.0)	8.3	3.1		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩　粗土　c: 橙色　e: 良好
6	3	12	土製品	ロクロかわらけ（中）	1/4	(12.0)	(7.5)	3.1		a: 外底回転糸切　b: 雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩　良土　c: 黄橙色　e: 良好
6	4	12	石製品	硯	-	長[5.7]	幅[4.3]	厚[1.6]		a: 底部（裏面）に現地加工痕　切断痕　c: 黒色　f: 鳴滝産　黒色粘板岩
6	5	15	陶器	天目茶碗	底部1/4片	-	(4.6)	[2.1]		b: 灰白色　白色粒　精良堅緻　d: 褐釉施釉後、黒釉ツケガケか
6	6	20	陶器	常滑甕	口縁部小片	-	-	[3.2]		b: 灰褐色　微砂　長石　c: 灰色　d: 外面縁帯部～頸部に黄灰色の自然釉　e: 良好　f: 縁帯幅 3.0cm　中野編年 6a 型式
6	7	27	土製品	ロクロかわらけ（大）	1/3	(12.0)	(7.2)	3.4		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　5mm 代までの荒い泥岩　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
6	8	12	土製品	ロクロかわらけ（大）	7/8	12.1	7.2	3.8		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩　やや粗土　c: 黄灰色　e: やや甘い
6	9	12	土製品	ロクロかわらけ（中）	1/5	(11.4)	(7.0)	2.9		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　精良土　c: 橙色　e: 良好
6	10	12	土製品	ロクロかわらけ（中）	1/4	(11.2)	(6.4)	3.0		a 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 雲母　赤色粒　精良土　c: 橙色　e: 良好
6	11	27	土製品	ロクロかわらけ（小）	5/6	7.7	4.7	2.0		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　赤色粒　泥岩粒　やや粗土　c: 黄灰色　e: やや甘い　f: 口唇部煤付着
6	12	27	土製品	ロクロかわらけ（極小）	1/3	(6.6)	(3.8)	2.4		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　良土　c: 黄灰色　e: やや甘い
6	13	27	陶器	常滑片口鉢Ⅰ類	底部片	-	(12.0)	[9.2]		a: 輪積み成形　底部脇回転ケズリ　体部ヨコナデ　高台貼付け　b: 灰白色　微砂　長石　白色粒　c: 灰白色　f: 内面摩耗
6	14	27	土製品	火鉢	口縁部片	-	-	[5.7]		a: 口縁部輪花型　内面横ミガキ　外面縦ミガキ　b: 灰白色　白色粒　小石　気泡多し　粗土　c: 暗灰色　f: 河野分類Ⅲ類　菊花文
6	15	28	土製品	ロクロかわらけ（小）	完形	7.8	5.8	1.9		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 雲母　赤色粒　海綿骨針　砂　泥岩　やや粗土　c: 黄灰色　e: やや甘い
6	16	28	石製品	滑石製品	-	最大長[2.9]	最大幅[2.4]	最大厚[1.0]		c: 灰白色
6	17	29	土製品	ロクロかわらけ（大）	ほぼ完形	12.5	7.5	3.6		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　良土　c: 橙色　e: 良好
6	18	29	陶器	常滑甕	口縁～頸部小片	-	-	[11.0]		b: 黄橙色　微砂　白色粒　小石　c: 褐色　f: 縁帯幅 2.7cm　中野編年 6a 型式
6	19	30	土製品	ロクロかわらけ（大）	1/5	(13.4)	(7.8)	3.9		a: 内底ナデ　外底回転糸切　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや良土　c: 橙色　e: 良好　f: 口縁部周辺淡い灰色（煤の痕跡か）
6	20	30	土製品	ロクロかわらけ（中）	1/3	(12.2)	(6.8)	3.0		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　良土　c: 黄橙色　e: 良好
6	21	30	陶器	常滑片口鉢Ⅱ類	底部片	-	-	[7.0]		a: 外底部粗砂、礫粒付着　底部脇に雑な調整痕有　b: 灰色　微砂　長石　小石　礫粒　c: 灰色　e: 良好　f: 内面摩耗
6	22	30	陶器	瀬戸折縁深皿	底部片	-	-	[1.9]		a: 外底回転糸切　b: 黄灰色　粉質　良土　d: 淡黄緑色　灰釉ハケヌリ　釉層極薄い　内外面施釉　e: 良好　f: 中期か
6	23	30	土製品	瓦質火鉢	口縁部小片	-	-	[5.5]		a: 口唇部ミガキ　b: 灰色　微砂　小石粒　c: 黒色　e: 硬質　f: 河野分類ⅠC類　炭素吸着　外面所々剥離
6	24	30	土製品	香炉か	脚部	長[2.3]	最大幅[3.1]	最大厚[2.0]		b: 白橙色　微砂　雲母　白色粒　土器質　c: 白橙色　e: やや甘い
6	25	30	土製品	土師器甕	口縁部小片	-	-	[2.3]		a: 内外面ハケ調整　b: 微砂　赤色粒　c: 灰橙色　e: やや甘い
6	26	30	鉄製品	刀子	-	長[18.2]	幅(2.5)	厚(0.3)	130g	
6	27	30	鉄製品	釘	-	長5.1	幅(0.35)	厚(0.35)	6g	f: 四角形状に鍛造
6	28	30	木製品	曲物の底板	-	最大長[25.5]	最大幅[7.3]	最大厚1.2		a: 縁に 16 ヶ所の鉄釘が打たれているが、うち 2 ヶ所は釘穴のみ f: 所々鉄分付着、数ヶ所に刃物痕あり
7	29	1 面遺構外	陶器	瀬戸卸皿	底部片	-	-	[1.7]		b: 黄灰色　d: 灰釉（卸目部に一部付着）　e: 良好
7	30		陶器	備前擂鉢	口縁部小片	-	-	[5.3]		b: 灰色　白色粒　c: 暗褐色　f: 卸目は一単位 7 条か
7	31		石製品	硯	底部片	長[4.9]	幅[3.3]	厚[0.8]		f: 赤間石　楕円形
7	32	1 面構成土	土製品	ロクロかわらけ（大）	1/4	(12.8)	(8.0)	2.9		a: 内底ナデ　外底回転糸切　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
7	33		土製品	ロクロかわらけ（中）	1/5	(11.9)	(6.8)	3.4		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや良土　c: 橙色　e: 良好
7	34		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/4	(8.3)	(6.0)	1.7		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　良土　c: 黄灰色　e: やや甘い
7	35		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/4	(8.2)	(5.8)	1.7		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
7	36		土製品	ロクロかわらけ（小）	2/3	(8.0)	(4.4)	1.8		a: 内底ナデ　外底回転糸切　ナデ消し　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 橙色　e: 良好

図版	番号	遺構番号	材質	種別	遺存度	寸法（cm）				観察項目
						口径	底径	器高	重	a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
7	37	1面構成土	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/4	(8.5)	(5.0)	2.1		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 雲母　赤色粒　海綿骨針　砂　5mm代までの泥岩　粗土　c: 黄灰色　e: やや甘い
7	38		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(7.1)	4.4	1.8		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　泥岩　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好　f: 外体面のハゼ顕著
7	39		土製品	ロクロかわらけ（小）	ほぼ完形	7.4	4.5	1.8		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　ケズリありか　b: 雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや良土　c: 黄灰色　e: やや甘い
7	40		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	7.2	5.4	1.4		a: 内底ナデ　外底回転糸切　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや良土　c: 橙色　e: 良好
7	41		磁器	青磁托（天目台）か	口縁部小片	(6.6)	-	[2.4]		b: 灰白色　精良堅緻　d: 灰緑色　透明　釉層厚い　表面発泡
7	42		磁器	青白磁梅瓶	体部小片	-	-	[3.5]		b: 灰白色　黒色粒　精良堅緻　d: 水青色　透明　釉層薄い　内面施釉　f: 渦文
7	43		磁器	青白磁梅瓶	下体部小片	-	-	[3.0]		b: 灰白色　黒色粒　精良堅緻　d: 水青色　透明　釉層薄い　内面施釉　全体に貫入あり　f: 渦文
7	44		陶器	常滑甕	口縁部小片	-	-	[4.5]		b: 黄灰色　長石　白色粒　c: 褐色　d: 外面に緑灰色の降灰　f: 緑帯幅3.0cm　中野編年 6a 型式
7	45		陶器	常滑甕	底部小片	-	-	[6.6]		a: 輪積み成形　b: 灰白色　微砂　白色粒　砂　c: 暗赤褐色　d: 内底付近に緑灰色の降灰
7	46		陶器	常滑甕	底部小片	-	-	[6.4]		b: 黄灰色　微砂　白色粒　c: 暗赤褐色
7	47		陶器	常滑甕	底部小片	-	-	[5.6]		a: 輪積み成形　b: 黄灰色　微砂　白色粒　小石　c: 黄灰色
7	48		陶器	常滑甕	底部小片	-	-	[3.5]		b: 灰黄褐色～黄橙色　微砂　長石　白色粒　小石　c: 内面褐色　外面赤褐色　内外面底部黄橙色
7	49		陶器	常滑片口鉢Ⅰ類	口縁部小片	-	-	[3.5]		b: 黄灰色～黄橙色　長石　白色粒　c: 黄灰色～黄橙色　f: 内面やや摩耗
7	50		陶器	常滑片口鉢Ⅰ類	口縁部小片	-	-	[4.6]		b: 灰白色　微砂　白色粒　c: 灰白色
7	51		陶器	常滑片口鉢Ⅰ類	口縁部小片	-	-	[4.4]		b: 灰白色　白色粒　小石　c: 灰白色
7	52		陶器	常滑片口鉢Ⅱ類	口縁部小片	-	-	[6.0]		a: 輪積み成形　内外面口縁ヨコナデ　外面指頭調整後縦ハケナデ　b: 褐色微砂　雲母　白色粒　c: 褐色　f: 内面磨滅
7	53		陶器	常滑片口鉢Ⅱ類	底部小片	-	-	[6.1]		a: 輪積み成形　b: 黄灰色　微砂　長石　白色粒　c: 暗褐色　f: 内面摩耗
7	54		陶器	常滑片口碗	口縁部小片	-	-	[2.6]		b: 灰白色　白色粒　小石粒　c: 灰白色　d: 外面口縁～肩に緑灰色の降灰
7	55		陶器	瀬戸折縁深皿	口縁部小片	-	-	[4.2]		b: 灰白色　精良土　d: 淡緑灰色の灰釉ハケヌリ　釉層薄い　e: 良好　f: 古瀬戸中期前半
7	56		陶器	瀬戸卸皿	口縁部小片	-	-	[2.6]		b: 灰白色　d: 内面に淡緑灰色の灰釉ハケヌリ　釉層薄く残る　外面ほとんど剥落　e: 良好　f: 古瀬戸前Ⅳ～中期前半
7	57		陶器	瀬戸卸皿	底部片	-	(6.2)	[1.2]		a: 外底回転糸切（右回転）　b: 灰白色　微砂　良土　d: 淡緑灰色の灰釉ハケヌリ　釉層薄い　f: 古瀬戸中期前半か
7	58		陶器	瀬戸入子	口縁～底部片	-	-	[1.5]		b: 灰色　c: 灰色　d: 口縁部～内面にかけて灰釉　e: 良好　f: 外底部に粘土付着　口縁部輪花型
7	59		陶器	備前擂鉢	口縁部小片	-	-	[3.1]		b: 黄灰色　白色粒　c: 褐灰色
7	60		土製品	瓦器質火鉢	口縁部小片	-	-	[5.3]		a: 内面口縁部横ミガキ　体部縦ミガキ　外面縦ミガキ　b: 灰白色～橙　砂粗土　c: 灰色　f: 菊花文　河野分類Ⅲ類
7	61		土製品	火鉢	脚部～下体部片	-	-	[7.6]		a: 内底ナデ　内面縦ミガキ　外面弱いミガキ　b: 灰白色　砂　粗土　c: 暗灰色　f: 外面やや磨滅、ミガキの痕跡が弱い　河野分類Ⅲ類
7	62		石製品	碁石	完形	長 1.9	幅 1.6	厚 0.4		c: 黒色
7	63		骨製品	笄	-	長 [1.5]	-	厚 0.4		
7	64		鉄製品	刀子	-	長 [10.6]	幅 (1.0)	厚 (0.1)	36g	
7	65		鉄製品	釘	-	長 [4.6]	幅 0.9	厚 0.3	5g	f: 四角形状に鍛造
7	66		鉄製品	釘	-	長 6.6	幅 (0.4)	厚 (0.3)	6g	f: 四角形状に鍛造
11	1	32	土製品	ロクロかわらけ（中）	1/2	(11.6)	7.4	2.9		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
11	2	32	土製品	土師器高坏	体部～脚部片	-	-	[2.8]		a: 外面縦方向ヘラナデ　b: 橙色～黄橙色　微砂　赤色粒　気泡有　e: 良好
11	3	42	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/4	(7.9)	(5.4)	1.6		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　泥岩粒　粗土　c: 黄灰色　e: やや甘い
11	4	43	土製品	ロクロかわらけ（中）	完形	11.4	6.3	3.2		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　泥岩粒　良土　c: 橙色　e: 良好
11	5	43	陶器	常滑甕	口縁部小片	-	-	[4.3]		b: 灰色　微砂　白色粒　d: 内面口縁付近～外面頸部に淡緑灰色降灰　f: 緑帯部 2.5cm　中野編年 6a 型式
11	6	45	石製品	碁石	完形	長 2.6	幅 2.3	厚 0.8		c: 黒色

図版	番号	遺構番号	材質	種別	遺存度	寸法（cm）				観察項目
						口径	底径	器高	重	a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
11	7	50	土製品	ロクロかわらけ（小）	3/5	8.0	5.2	2.3		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　泥岩　やや粗土　c: 黄灰色　e: やや甘い
11	8	53	磁器	青磁蓮弁文碗	口縁～体部片		-	[3.7]		b: 灰白色　精良堅緻　d: 暗緑色　透明　釉層厚い　気泡　貫入あり
11	9	53	磁器	白磁口兀皿	口縁約片	-	-	[2.1]		b: 灰白色　精良堅緻　d: 灰白色　半透明　釉層薄い　口縁部釉剥ぎ　f: 口縁炭化物付着
11	10	54	陶器	瀬戸折縁深皿	口縁部小片	-	-	[3.5]		b: 灰白色　精良土　d: 灰釉　ハケヌリ　釉層薄い　e: 良好　硬質　f: 古瀬戸前IV～中Ｉ期か
11	11	59	鉄製品	釘	-	長 8.3	幅 (0.4)	厚 (0.5)	13g	f: 四角形状に鍛造
11	12	59	鉄製品	釘	-	長 [5.3]	幅 (0.3)	厚 (0.6)	7g	f: 四角形状に鍛造
11	13	63	土製品	ロクロかわらけ（小）	3/5	(7.8)	(5.6)	1.8		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 橙色～黄橙色　e: 良好　f: 外面体部～底部にかけて灰黒色に変色
11	14	65	土製品	瓦器質輪花火鉢	口縁部小片	-	-	[5.2]		a: 内面ヨコミガキ　外面タテミガキ　b: 灰色　雲母　赤色粒　砂粒　c: 茶褐色　e: 良好　f: 被熱か？器壁が剥離　菊花文の押印　河野分類Ⅲ類
11	15	67	土製品	ロクロかわらけ（極小）	ほぼ完形	6.0	4.5	2.0		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
11	16	72	陶器	常滑甕	口縁部小片	-	-	[7.4]		b: 黄灰色　白色粒　石粒　c: 暗赤褐色　d: 外面縁帯～頸部に暗緑色の降灰　e: 良好　f: 縁帯部 3.4cm　中野編年 6a 型式
11	17	72	陶器	常滑片口鉢Ｉ類	底部片	-	(12.2)	[4.2]		a: 輪積み成形　底部脇回転ヘラケズリ　ヨコナデ　高台貼付け　b: 灰色長石　白色粒　小石　c: 灰色　f: 内面摩耗
11	18	72	土製品	ロクロかわらけ（大）	2/3	(13.4)	(7.8)	4.3		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや良土　c: 黄橙色　e: 良好　f: 歪みがある　所々灰色に変色
11	19	72	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(7.6)	(4.4)	2.4		a: 内底ナデ　外底回転糸切　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや良土　c: 淡黄橙色　e: 良好
11	20	72	土製品	手づくねかわらけ（小）	1/5	(9.4)	-	1.5		a: 内底ナデ　外面下半部指頭痕　b: 微砂　雲母　やや良土　c: 黄橙色　e: 良好
11	21	73	土製品	ロクロかわらけ（中）	1/2	(12.6)	7.3	3.6		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩　良土　c: 橙色　e: 良好
11	22	73	土製品	ロクロかわらけ（中）	2/3	10.9	6.1	3.0		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 雲母　赤色粒　良土　c: 橙～黄灰色　e: 良好（焼成ムラ有り）
11	23	73	土製品	ロクロかわらけ（小）	完形	8.2	5.5	2.0		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩　良土　c: 黄灰色　e: やや甘い
11	24	73	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(7.8)	(5.2)	1.4		a: 内底ナデ　外底回転糸切右回転）ナデ消し　b: 雲母　赤色粒　良土　c: 黄橙色　e: 良好
11	25	78	土製品	ロクロかわらけ（大）	1/4	(13.2)	(7.2)	3.3		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
11	26	78	土製品	ロクロかわらけ（小）	4/5	7.3	5.0	1.7		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや良土　c: 黄橙色　e: 良好
11	27	81	土製品	ロクロかわらけ（大）	1/3	(13.4)	(7.8)	3.8		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好　f: 口縁部歪みあり
11	28	81	土製品	ロクロかわらけ（大）	1/3	(12.4)	(7.2)	3.2		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　良土　c: 黄橙色　e: 良好　f: 全体に歪み激しい
11	29	81	磁器	青磁蓮弁文碗	口縁部小片	-	-	[2.4]		b: 灰色　精良　d: 灰緑色　不透明　釉層やや厚め
11	30	81	磁器	青磁折縁鉢	口縁部小片	-	-	[2.9]		b: 乳白色　精良　d: 灰緑色　不透明　釉層厚め
11	31	81	陶器	常滑甕	胴部片	-	-	[6.5]		b: 灰色　微砂　長石　小石粒　c: 茶褐色　e: 良好　f: 外面押印（格子状）縦線文＋横線 (13)
11	32	81	陶器	常滑片口鉢Ｉ類	口縁部小片	-	-	[3.9]		b: 灰色　長石　小石粒　c: 灰色　e: 良好　f: 中面一部スス付着
11	33	81	陶器	常滑片口鉢Ｉ類	口縁部小片	-	-	[2.8]		b: 灰色　微砂　長石　小石粒　c: 灰色　e: 良好
11	34	81	陶器	瀬戸柄付片口か	底部片	-	(9.8)	[1.2]		b: 黄灰色　微砂　白色粒　d: 淡灰緑色　釉層極薄い　内面施釉　e: 良好
11	35	81	土製品	瓦器か	口縁部小片	-	-	[3.0]		a: 内外面ミガキ　b: 橙色　黒色粒　精良　c: 外面黒色　f: 割菱文スタンプ
11	36	81	土製品	平瓦	-	-	-	[2.5]		b: 灰色　微砂　c: 灰色　e: 良好　硬質
11	37	81	石製品	加工泥岩	-	長 [4.5]	幅 [3.4]	厚 [1.6]		c: 橙色～白橙色　f: 一部刃物痕有
11	38	81	鉄製品	釘	-	長 [3.9]	幅 0.6	厚 0.7		f: 鍛造断面四角
11	39	81	銅製品	銭	一部欠損	直径 2.35	内孔 0.6	-	3.4g	f: 判読不能
11	40	81	土製品	ロクロかわらけ（大）	1/2	(13.7)	(7.6)	3.5		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　良土　c: 橙色　e: 良好
11	41	81	土製品	ロクロかわらけ（大）	1/3	(13.8)	(7.6)	3.8		a: 内底ナデ　外底回転糸切　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
11	42	81	土製品	ロクロかわらけ（大）	1/2	(13.8)	(8.4)	3.3		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　良土　c: 黄橙色　e: 良好　f: 内底部一部灰黒色に変色

図版	番号	遺構番号	材質	種別	遺存度	寸法（cm）				観察項目
						口径	底径	器高	重	a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
11	43	81	土製品	ロクロかわらけ（大）	4/5	13.4	7.4	4.0		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　やや良土　c: 橙色　e: 良好　f: 側面～底部にかけて灰黒色に変色
11	44	81	土製品	ロクロかわらけ（大）	4/5	13.4	7.7	3.9		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　良土　c: 黄橙色　e: 良好
11	45	81	土製品	ロクロかわらけ（中）	3/4	11.2	6.4	3.1		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 灰橙色　e: 良好
11	46	81	土製品	ロクロかわらけ（小）	2/3	8.4	4.5	2.0		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 黄橙色～黄灰色　e: 良好
11	47	81	土製品	ロクロかわらけ（小）	3/4	(8.4)	4.4	2.1		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
11	48	81	土製品	ロクロかわらけ（小）	3/4	8.0	4.6	1.9		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　粗土　c: 黄橙色　e: 良好
11	49	81	土製品	ロクロかわらけ（小）	3/4	7.8	4.7	2.2		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 橙色　e: 良好　f: 全体まだらに煤付着
11	50	81	磁器	青白磁梅瓶	体部小片	-	-	[5.7]		b: 灰白色　黒色粒　精良堅緻　d: 水青色　透明　釉層薄い　f: 渦文　景徳鎮窯か？
11	51	81	陶器	山茶碗	口縁部片	(14.4)	-	[2.9]		b: 灰色　微砂　やや粗土　c: 灰色　d: 口縁部周辺に淡緑色～茶褐色の灰釉（僅か）　e: 良好　f: 南部系尾張型
11	52	81	石製品	砥石	-	長[8.0]	幅[5.0]	厚[5.6]		c: 灰緑色～淡緑色　f: 上野産　荒砥　砥面２ヶ所　使用により灰黒色に変色
12	53	2面遺構外	石製品	硯	-	最大長[2.5]	最大幅[6.2]	最大厚[1.0]		c: 黒色　f: 鳴滝産　両側面と底面のみイキ
12	54		陶器	備前擂鉢	口縁部小片	-	-	[2.8]		b: 灰色　白色粒　c: 黒褐色
12	55	2面構成土	土製品	ロクロかわらけ（大）	1/4	(13.8)	(7.0)	3.5		a: 内底ナデ　外底回転糸切痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
12	56		土製品	ロクロかわらけ（小）	4/5	7.8	5.8	1.9		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
12	57		土製品	ロクロかわらけ（小）	3/4	8.0	5.6	1.9		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 雲母　海綿骨針　泥岩　やや粗土　c: 黄灰色　e: やや甘い
12	58		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(6.8)	(4.0)	1.6		a: 内底ナデ　外底回転糸切　b: 微砂　雲母　海綿骨針　やや良土　c: 黄橙色　e: 良好
12	59		陶器	常滑　甕	胴部小片	-	-	[3.2]		b: 浅黄橙～灰色　微砂　c: 暗褐色　f: 外面押印　車輪・菊花文（16弁）
12	60		陶器	常滑甕	胴部片	-	-	[5.0]		b: 微砂　長石　石英　礫粒　c: 茶色～灰茶色　e: 良好　f: 外面押印　単×文＋縦線文＋横線（3）
12	61		陶器	常滑広口壺	口縁部小片	-	-	[2.6]		b: 茶色　微砂　長石　石英　c: 茶～茶褐色　e: 良好
12	62		陶器	常滑片口鉢Ⅰ類	口縁部小片	-	-	[3.2]		b: 灰色　微砂　長石　石英　c: 灰色　e: 良好
12	63		陶器	瀬戸卸皿	口縁部小片	-	-	[3.0]		b: 黄灰色　精良土　d: 灰緑色の灰釉ハケヌリ　e: 良好
12	64		土製品	瓦質火鉢	口縁部小片	-	-	[3.8]		a: 黒色処理　b: 微砂　白色粒　赤色粒　c: 黒灰色　e: やや甘い　f: 河野編年ⅠB類か
12	65		石製品	長方硯	-	最大長8.2	最大幅[5.6]	最大厚1.2		f: 鳴滝産　1面使用　側面1面再加工
12	66		石製品	不明石製品	-	長[3.5]	幅[2.2]	厚0.7		c: 浅黄橙色
12	67		銅製品	銭	完形	直径2.4	内孔0.5	-	3.3g	f: 判読不能
15	1	82	土製品	ロクロかわらけ（中）	ほぼ完形	11.4	7.2	3.0		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 橙白色　e: 良好
15	2	87	土製品	ロクロかわらけ（大）	ほぼ完形	12.3	7.8	3.2		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
15	3	87	鉄製品	釘	-	長6.8	幅0.5	厚0.5	5g	f: 四角形状に鍛造
15	4	89	土製品	ロクロかわらけ（大）	2/3	(12.6)	(7.4)	3.5		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
15	5	91	土製品	磨りかわらけ	-	長[2.9]	最大幅[1.8]	最大厚[0.5]		c: 橙色　f: 一部破損
15	6	93	土製品	ロクロかわらけ（特大）	ほぼ完形	14.9	9.2	4.2		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 黄橙色～橙色　e: 良好　f: 口縁部灰色に変色
15	7	93	土製品	ロクロかわらけ（中）	1/2	(11.8)	(6.8)	3.1		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 橙白色　e: 良好
15	8	96	土製品	ロクロかわらけ（小）	ほぼ完形	7.0	5.1	1.6		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　ナデ消し　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
15	9	96	磁器	青磁蓮弁文碗	口縁部小片	-	-	[2.7]		b: 灰白色　精良　d: 灰緑色　不透明　釉層薄い
15	10	99	土製品	ロクロかわらけ（小）	2/3	(7.6)	(5.2)	1.5		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
15	11	100	陶器	常滑片口鉢Ⅱ類	底部片	-	-	[4.9]		a: 輪積み成形　外面ヨコナデ　b: 茶色　微砂　雲母　長石　c: 茶色　e: 良好　f: 内面摩耗

図版	番号	遺構番号	材質	種別	遺存度	寸法（cm）				観察項目
						口径	底径	器高	重	a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
15	12	103	土製品	瓦質火鉢	口縁部小片	-	-	[5.2]		a: 口縁下に穿孔有り　口縁部～胴部黒色処理　b: 灰色　微砂　雲母　c: 灰色　e: やや甘い　f: 河野分類ＩＣ類
15	13	104	陶器	常滑短頸壺か	口縁部小片	-	-	[7.2]		b: 灰白色　長石　石英　礫粒　c: 赤褐色　d: 頸部に自然釉　e: 良好　f: 口縁部焼成前に欠損か
15	14	105	土製品	ロクロかわらけ（小）	完形品	7.9	6.1	1.75		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　良土　c: 黄橙色　e: 良好
15	15	109	土製品	ロクロかわらけ（大）	1/3	(12.8)	(7.4)	3.0		a: 内底ナデ　外底糸切痕　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
15	16	109	磁器	白磁口兀皿	口縁部小片	-	-	[2.4]		b: 灰白色　精良　d: 灰白色　半透明　釉層極薄い　口縁部・（外面）底部脇露胎
15	17	110	鉄製品	釘	-	長[6.6]	幅[0.55]	厚[0.5]	6g	f: 四角形状に鍛造
15	18	112	土製品	ロクロかわらけ（大）	1/3	(12.9)	7.8	3.0		a: 内底ナデ　外底回転糸切　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　黄橙色　c: 黄橙色　e: 良好
15	19	112	土製品	ロクロかわらけ（大）	3/4	(12.6)	7.3	3.5		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好　f: 内底面灰茶色に変色
15	20	113	土製品	ロクロかわらけ（大）	2/3	(12.6)	(8.6)	3.2		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
15	21	113	土製品	ロクロかわらけ（中）	1/2	(10.8)	(6.0)	2.8		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
15	22	114	銅製品	銭	完形	直径2.4	内孔0.7	-	2.7g	f: 元祐通寶　北宋 1086 年
15	23	116	土製品	土器質火鉢	口縁部～底部片	-	-	[8.8]		a: 側面穿孔２ヶ所　b: 黒灰色　白色粒　赤色粒　粗砂　c: 橙色～黒灰色　e: 良好　f: 内面灰黒色に変色　河野編年ＩＢ類か
15	24	117	土製品	ロクロかわらけ（大）	2/3	(12.4)	7.4	3.3		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　スダレ状痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
15	25	117	土製品	ロクロかわらけ（大）	1/2	(12.2)	(6.4)	3.2		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
15	26	117	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(7.6)	(4.6)	1.6		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 内面暗灰色　外面黄橙色　e: 良好　f: 内面灰色～暗灰色に変色
15	27	117	土製品	玉	完形	長1.9	幅1.9	高1.9		b: 黄橙色　微砂　雲母　赤色粒　良土　c: 黄橙色　e: 良好　f: 穿孔有
15	28	117	土製品	玉	完形	長1.9	幅1.9	高1.8		b: 橙色　微砂　雲母　赤色粒　良土　c: 橙色　e: 良好　f: 穿孔有
15	29	117	石製品	碁石か	完形	径1.8	幅0.6			c: 黒色
15	30	118	土製品	ロクロかわらけ（大）	4/5	12.5	8.0	3.2		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 黄橙色　: 良好
15	31	118	土製品	ロクロかわらけ（中）	1/2	(11.8)	(7.0)	2.8		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　スダレ状痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
15	32	118	土製品	ロクロかわらけ（中）	完形	10.8	6.6	3.0		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
15	33	119	土製品	ロクロかわらけ（大）	4/5	12.0	7.0	3.2		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 橙色　e: 良好　f: 歪み有り
15	34	119	土製品	ロクロかわらけ（中）	1/4	(10.8)	(5.8)	2.9		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 橙白色　e: 良好
15	35	119	陶器	常滑甕	口縁部片	-	-	[4.5]		b: 灰色　微砂　長石　石英　礫粒　c: 茶色　d: 外面に灰緑色の自然釉　e: 良好　f: 中野編年 6a 型式
15	36	122	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(7.8)	(5.6)	1.7		a: 内底ナデ　外底回転糸切　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
15	37	124	土製品	ロクロかわらけ（大）	4/5	12.6	8.0	3.6		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　粗土　c: 黄橙色　e: 良好　f: 内底一部、灰茶色に変色
15	38	124	陶器	褐釉植木鉢か	口縁部片	-	-	[3.8]		b: 黄灰色　長石　白色粒　黒色粒　気泡やや多い　c: 灰白色　d: 口縁部～内面降灰か？　e: 良好　f: 口唇部沈線２条、口縁部外面に突帯波状
15	39	124	鉄製品	釘	-	長7.1	幅1.0	厚0.8		f: 全体を厚くサビが覆う。
15	40	3 面遺構外	陶器	緑釉洗	口縁部小片	-	-	[2.4]		b: 橙色　長石粒　粗土　緻密　d: 緑釉　f: 磁竈窯か
16	41	3 面構成土	土製品	ロクロかわらけ（大）	1/2	(13.6)	(9.0)	3.0		a: 強い内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好　f: 口縁部煤付着、灯明皿
16	42		土製品	ロクロかわらけ（大）	1/3	(13.05)	(7.6)	3.5		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 浅黄橙色　e: 良好
16	43		土製品	ロクロかわらけ（大）	1/2	(12.4)	(7.0)	3.5		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
16	44		土製品	ロクロかわらけ（中）	1/3	(11.8)	(7.2)	3.1		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転、強く残る）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
16	45		土製品	ロクロかわらけ（中）	1/2	(10.4)	(6.2)	2.5		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
16	46		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/2	(8.4)	(4.6)	2.2		a: 内底ナデ　外底回転糸切　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 橙色　e: 良好　f: 内面一部茶灰色に変色
16	47		土製品	ロクロかわらけ（小）	2/3	(7.8)	4.2	2.2		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　良土　c: 灰黒色～灰色　e: 良好　f: 全体に被熱　煤付着

図版	番号	遺構番号	材質	種別	遺存度	寸法（cm）				観察項目
						口径	底径	器高	重	a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
16	48	3面構成土	土製品	ロクロかわらけ（小）	4/5	(8.0)	(4.4)	2.0		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
16	49		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(7.8)	(4.8)	2.0		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　泥岩粒　c: 黄橙色　e: 良好　f: 口縁部薄く煤付着、灯明皿
16	50		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/2	(8.4)	(4.4)	1.5		a: 内底ナデ　外底回転糸切　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
16	51		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(7.8)	(5.2)	1.7		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
16	52		土製品	ロクロかわらけ（小）	完形	7.8	5.0	1.65		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
16	53		土製品	ロクロかわらけ（小）	2/3	(7.4)	(5.6)	1.4		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　c: 黄橙色　e: 良好
16	54		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/2	(7.6)	(4.4)	2.2		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
16	55		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(6.2)	(4.6)	1.7		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好　f: 内面被熱
16	56		陶器	天目茶碗	体部小片	-	-	[1.3]		b: 灰色　白色粒　精良　d: 黒釉　褐色 (?)　f: 舶載品
16	57		陶器	褐釉植木鉢	底部2/3片	-	12.2	[6.1]		a: 内外面ヨコナデ　高台内ヨコナデ　b: 灰白色　長石　白色粒　黒色粒　気泡多い　粗土　c: 外面赤褐色　d: 無釉　内底に僅かに降灰　e: 良好　f: 内底に直径約 4cm の楕円の穿孔（焼成前加工）を設ける
16	58		陶器	常滑甕	口縁部片	-	-	[4.2]		b: 灰色　微砂　長石　石英　c: 茶褐色　e: 良好　f: 縁帯幅 4.2cm　中野編年 6b 型式
16	59		陶器	常滑甕	胴部片	-	-	[4.5]		b: 灰色　微砂　長石　c: 暗褐色　e: 良好　f: 外面押印　斜線 (1)+ 縦線文 + 横線 (4)
16	60		陶器	常滑玉縁壺か	口縁部小片	-	-	[3.35]		b: 暗灰色　微砂　長石　石英　c: 茶褐色　e: 良好
16	61		陶器	常滑片口鉢Ⅰ類	口縁部小片	-	-	[6.45]		b: 灰色　微砂　長石　小石粒　c: 灰色　e: 良好　f: 内面摩耗
16	62		陶器	常滑片口鉢Ⅰ類	口縁部小片	-	-	[6.0]		b: 灰色　微砂　長石　小石粒　c: 灰色　e: 良好　f: 内面摩耗
16	63		陶器	常滑片口鉢Ⅰ類	口縁部片	-	-	[3.6]		b: 灰色　微砂　長石　小石　c: 茶褐色　d: 内面に茶色の自然釉　e: 良好
16	64		土製品	瓦質火鉢	口縁部小片	-	-	[4.7]		a: 内外面ナデ　口唇ミガキ　b: 灰色　微砂　雲母　c: 灰色　e: 良好
16	65		土製品	火鉢	底部～体部小片	-	-	[5.1]		a: 内外面ヨコナデ　b: 橙、中心部褐灰色　微砂　雲母　赤色粒　精良土　c: 明赤褐色　e: 良好
16	66		土製品	火鉢	底部～体部小片	-	-	[2.0]		a: 内外面ヨコナデ　b: 橙、中心部褐灰色　微砂　雲母　赤色粒　精良土　c: 明赤褐色　e: 良好
16	67		土製品	不明土製品（台状底部）	底部片	-	(6.0)	[1.5]		a: ロクロ成形　内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　良土　c: 黄橙色　e: 良好　f: 台状底部　12 世紀初頭
16	68		土製品	かわらけ加工品	-	長 6.8	幅 5.9	厚 0.9		a: 側面研磨　外底回転糸切　板状圧痕　b: 雲母　赤色粒　粗い泥岩　やや粗土　c: 橙色　e: 良好　f: ロクロ成形かわらけ（大）の底部を楕円形に加工したもの
16	69		石製品	砥石	-	長 [7.5]	幅 [4.9]	厚 [7.4]		c: 灰白色　f: 伊予産　中砥　砥面三面残るも、欠損多い
16	70		鉄製品	釘	-	長 6.5	幅 0.4	厚 0.5	11g	f: 四角形状に鍛造
16	71		鉄製品	釘	-	長 5.5	幅 (0.3)	厚 (0.5)	7g	f: 四角形状に鍛造
16	72		鉄製品	釘	-	長 6.6	幅 (0.35)	厚 (0.4)	7g	f: 四角形状に鍛造
19	1	127	土製品	ロクロかわらけ（中）	3/4	(11.2)	(6.2)	2.9		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや良土　c: 橙色　e: 良好
19	2	128	土製品	火鉢	底部片	-	-	[4.5]		b: 微砂　赤色粒　礫粒　c: 内面暗灰色　外面茶褐色　e: 良好
19	3	132	土製品	香炉	底部片	-	-	[4.2]		a: 内面ヨコナデ　外面糸切痕　b: 橙色～中心部黄橙色　雲母　赤色粒　泥岩粒　砂　やや粗土　土器質　f: 内面被熱　一ヶ所脚残存
19	4	133	土製品	ロクロかわらけ（大）	完形	12.2	7.2	3.2		a: 内底ナデ（強め）　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
19	5	133	土製品	ロクロかわらけ（中）	3/4	11.1	6.3	3.0		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　泥岩粒　やや良土　c: 淡橙色　e: 良好
19	6	133	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/2	(7.8)	(4.0)	2.1		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
19	7	133	石製品	碁石	完形	長 1.7	幅 1.4	厚 0.3		c: 黒色
19	8	134	土製品	ロクロかわらけ（小）	2/3	8.0	5.4	1.7		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
19	9	134	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(7.6)	(5.8)	1.5		a: 内底ナデ　外底回転糸切　ナデ消し　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
19	10	140	土製品	瓦器質火鉢	口縁部片	-	-	[4.7]		a: 内面口唇ミガキ　下部黒色処理　b: 淡赤橙色　赤色粒　粗砂　c: 明褐灰色　f: 被熱か　河野分類Ⅲ類
19	11	141	骨製品	骨製装身具	-	長 [0.6]	幅 1.2	厚 0.2		f: 片面線刻
19	12	142	陶器	常滑片口鉢Ⅱ類	口縁部小片	-	-	[5.2]		a: 輪積み成形　b: 暗灰色　長石　石英　小石粒　c: 暗灰色　e: 良好　f: 中野編年 7 ～ 8 型式

図版	番号	遺構番号	材質	種別	遺存度	寸法（cm）				観察項目
						口径	底径	器高	重	a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
19	13	146	土製品	かわらけ質火鉢	口縁部小片	-	-	[5.3]		b: 橙色～肌色　微砂　白色粒　赤色粒　c: 黄橙色　e: やや甘い　f: 河野分類ⅡＡか
19	14	147	磁器	青磁蓮弁文碗	口縁部小片	-	-	[2.6]		b: 灰白色　精良　d: 灰緑色　透明　釉層薄め　貫入あり
19	15	147	陶器	山茶碗	口縁部小片	-	-	[1.65]		b: 灰色　微砂　白色粒　小石粒　c: 灰色　e: 良好　f: 南部系尾張型
19	16	148	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(7.4)	(5.4)	1.5		a: 内底ナデ　外底回転糸切　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　粗土　c: 黄橙色　e: 良好　f: 口縁部煤付着、灯明皿
19	17	148	陶器	常滑広口壺か	口縁部小片	-	-	[5.7]		b: 暗灰色　微砂　長石　小石粒　c: 暗茶褐色　e: 良好　f: 縁帯幅 1.8cm 中野編年 6a 型式
19	18	148	陶器	常滑片口鉢Ⅰ類	口縁部小片	-	-	[3.35]		b: 灰色　微砂　長石　c: 灰色　e: 良好
19	19	149	陶器	常滑甕	胴部小片	-	-	[5.5]		b: 浅黄橙色　微砂　長石　c: 内面暗褐色　外面赤褐色　d: 灰白色の自然釉が飛散するように付着　e: 甘い　f: 縦線文＋横線 (8) 方形格子
19	20	151	土製品	ロクロかわらけ（大）	ほぼ完形	13.0	7.5	3.8		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　粗土　c: 黄灰色　e: 良好
19	21	151	土製品	不明土器	口縁部片	-	-	[2.5]		b: 灰色　微砂　雲母　c: 灰橙色　e: 良好　f: 時期不明
19	22	152	土製品	ロクロかわらけ（小）	ほぼ完形	8.0	5.0	2.1		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　打ち欠きか　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
19	23	152	土製品	かわらけ転用品	-	最大径 5.6	-	厚 0.6～0.3		a: 外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 橙色　e: 良好　f: 円盤状に端部加工
19	24	152	土製品	高坏か	底部片	-	(14.8)	[10.2]		a: 脚部内面ヘラ調整＋ケズリ　外面ヨコケズリ後タテケズリ　b: 橙色～中心部褐灰色　白色粒　赤色粒　砂　良土　精良堅緻　e: 良好
19	25	154	土製品	ロクロかわらけ（中）	2/3	(11.0)	(5.8)	2.8		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 黄橙色～暗灰色　e: 良好　f: 内外面ともに一部暗灰色に変色
19	26	154	陶器	瀬戸柄付片口か	底部片	-	(8.0)	[1.7]		b: 淡黄色　微砂　d: 淡緑色　ツケガケ　e: 良好　f: 中期
19	27	155	土製品	ロクロかわらけ（中）	完形	10.8	6.8	2.8		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好　f: 内外面ともに一部暗灰色に変色
19	28	156	土製品	ロクロかわらけ（大）	1/3	(12.8)	(7.8)	3.3		a: 内底ナデ　外底回転糸切　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　粗土　c: 黄橙色　e: 良好
19	29	156	陶器	常滑小壺	底部片	-	-	[3.0]		b: 暗灰色　微砂　長石　小石粒　c: 茶褐色　e: 良好
19	30	158	磁器	青磁皿か	底部片	-	(8.0)	[1.6]		b: 灰白色　黒色粒　気孔有　精良堅緻　d: 淡緑灰色　半透明　釉層やや厚い　畳付釉剥ぎ　f: 被熱か　ハマの剥離痕有
19	31	160	土製品	ロクロかわらけ（大）	3/4	(12.6)	(7.8)	3.4		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
19	32	160	陶器	常滑鳶口壺	口縁部小片	(6.0)	-	[2.6]		b: 暗灰色　微砂　長石　小石粒　c: 暗灰色　e: 良好
19	33	161	土製品	ロクロかわらけ（大）	2/3	12.8	7.7	3.6		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　ナデ消し　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　粗土　c: 黄橙色　e: 良好
19	34	161	土製品	ロクロかわらけ（小）	4/5	7.2	4.9	1.6		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
19	35	162	土製品	ロクロかわらけ（特大）	4/5	15.7	9.2	3.85		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　良土　c: 黄橙色　e: 良好
19	36	164	土製品	ロクロかわらけ（中）	1/4	(11.8)	(6.8)	3.0		a: 内底ナデ　外底回転糸切　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　粗土　c: 橙色　e: 良好
19	37	164	土製品	ロクロかわらけ（小）	3/4	7.4	5.0	1.8		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 橙色　e: 良好　f: 一ヶ所大きな歪み有
19	38	164	陶器	常滑片口鉢Ⅱ類	口縁部小片	-	-	[5.4]		b: 茶色　微砂　長石　小石粒　c: 茶色　e: やや甘い
19	39	164	土製品	瓦質火鉢	口縁部小片	-	-	[5.1]		a: 内外面黒色処理　b: 灰白色　微砂　小石粒　c: 灰黒色　e: 良好　f: 外面所々剥離　河野分類ＩＣ類
19	40	162	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(7.8)	(4.8)	1.5		a: 内底ナデ　外底回転糸切　b: 微砂　雲母　赤色粒　良土　c: 黄橙色　e: 良好
19	41	162	磁器	青磁蓮弁文碗	口縁部片	-	-	[6.8]		b: 灰白色　微砂　精良　d: 淡緑色　半透明　釉層やや薄い
19	42	162	鉄製品	釘	-	長 [4.2]	幅 0.6	厚 0.4	3g	f: 四角形状に鍛造
19	43	167	土製品	ロクロかわらけ（小）	4/5	7.7	4.2	1.7		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好　f: 口縁部煤付着
19	44	167	土製品	ロクロかわらけ（小）	3/4	8.3	6.0	1.6		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　海綿骨針　粗土　c: 黄橙色　e: 良好
20	45	168	陶器	常滑片口鉢Ⅰ類	胴部～底部片	-	(14.2)	[5.5]		a: 輪積み成形後ロクロ整形　外底部脇ヘラケズリ　b: 灰色　長石　小石粒　c: 灰色　e: 良好　f: 内面一部摩耗
20	46	168	土製品	平瓦	-	長 [11.5]	幅 [5.3]	厚 2.0		a: 凹面横方向に糸切り痕　凸面縦方向に縄目痕　b: 灰白色　微砂　白色粒　良土　c: 灰色～灰黒色　e: 良好
20	47	174	土製品	ロクロかわらけ（中）	4/5	10.4	5.4	3.3		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや良土　c: 橙色　e: 良好　f: 内底面黒褐色に変色

図版	番号	遺構番号	材質	種別	遺存度	寸法（cm）				観察項目
						口径	底径	器高	重	a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
20	48	175	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/2	(8.0)	(5.4)	1.7		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好　f: 被熱の為、煤付着
20	49	177	陶器	常滑片口鉢Ⅱ類	底部片	-	-	[10.6]		a: 輪積み成形　b: 暗灰色～黄灰色　微砂　長石　小石粒　c: 内面茶色　外面赤褐色　e: やや甘い
20	50	4面遺構外外	土製品	ロクロかわらけ（大）	1/3	(12.8)	(7.6)	3.0		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
20	51		土製品	ロクロかわらけ（小）	完形	7.8	5.6	1.9		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 橙色～黄橙色　e: 良好　f: 口縁部3ヶ所淡暗灰色に変色
20	52		土製品	ロクロかわらけ（小）	完形	7.8	5.5	2.0		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好　f: 口縁部煤付着、灯明皿
20	53		土製品	ロクロかわらけ（小）	ほぼ完形	7.3	5.5	1.65		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
20	54	4面構成土	土製品	ロクロかわらけ（大）	3/4	13.0	8.0	3.3		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
20	55		土製品	ロクロかわらけ（大）	1/4	(12.8)	(7.0)	3.6		a: 内底ナデ　外底回転糸切　b: 微砂　雲母　赤色粒　良土　c: 橙色　e: 良好
20	56		土製品	ロクロかわらけ（中）	1/2	(12.2)	(7.8)	3.2		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄灰色　e: 良好
20	57		土製品	ロクロかわらけ（中）	1/2	(11.7)	(6.6)	3.2		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　海綿骨針　泥岩粒　やや良土　c: 黄橙色　e: 良好
20	58		土製品	ロクロかわらけ（中）	1/2	(11.8)	(7.4)	3.3		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好　f: 口縁部歪み有り
20	59		土製品	ロクロかわらけ（中）	1/2	(11.0)	(5.4)	3.1		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 淡黄橙色　e: 良好
20	60		土製品	ロクロかわらけ（小）	3/4	(7.8)	4.8	1.5		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
20	61		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/2	(7.4)	(5.4)	1.5		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
20	62		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/2	(7.4)	(5.4)	1.5		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
20	63		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(8.0)	(4.4)	2.1		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや良土　c: 橙色　e: 良好　f: 口縁部煤付着、灯明皿
20	64		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(7.6)	(6.2)	1.8		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
20	65		土製品	人面刻文かわらけ	底部小片	-	-	[1.1]		a: 外面底部糸切痕　板状圧痕　b: 橙色　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや良土　e: 良好　f: 内底に線刻で人面（焼成前）
20	66		磁器	青磁折腰皿か	底部片	-	(4.2)	[2.2]		b: 淡黄橙色　気孔あり　磁化せず陶器質に近い　d: 淡緑灰色　不透明釉層厚い　貫入あり　畳付部釉剥ぎ　f: 被熱か
20	67		磁器	白磁口兀皿	底部小片	-	-	[1.5]		b: 灰白色　精良　d: 灰白色　不透明　釉層極薄い
20	68		磁器	青白磁梅瓶	体部小片	-	-	[8.0]		b: 灰白色　黒色粒　精良堅緻　d: 水青色　透明　釉層薄い　f: 鴻文
20	69		陶器	常滑広口壺	口縁～頸部片	-	-	[10.1]		a: 輪積み成形　b: 橙色～茶褐色　微砂　長石　礫粒　c: 茶褐色　d: 口唇部に自然釉付着　e: 良好　f: 縁帯部下部　ナデにより外面と密着　中野編年6b型式
20	70		陶器	常滑片口鉢Ⅰ類	口縁部小片	-	-	[5.3]		b: 灰色　微砂　長石　小石粒　c: 灰色　e: 良好　f: 内面摩耗　中野編年6a型式か
20	71		陶器	常滑片口鉢Ⅱ類	底部片	-	-	[5.1]		a: 輪積み成形　b: 橙色～灰茶色　微砂　長石　小石粒　c: 赤褐色～灰茶色　e: 良好　f: 内面摩耗
20	72		土製品	火鉢	口縁～底部片	-	-	[10.3]		a: 内面ヨコナデ　外面タテナデ　b: 橙色　粗砂　c: 内面灰色　外面灰橙色　e: 良好　f: 河野分類ＩＢ類
20	73		土製品	火鉢	口縁部小片	-	-	[5.2]		a: 黒色処理後ミガキ　b: 灰色　微砂　c: 暗灰色　e: 良好　f: 河野編年ＩＣ類
20	74		土製品	瓦質火鉢	口縁部片	-	-	[4.7]		b: 灰白色　微砂　白色粒　小石粒　c: 灰色　e: 良好
20	75		土製品	火鉢	口縁部小片	-	-	[7.6]		b: 灰橙色　粗砂　c: 内面灰橙色～橙色　外面暗灰色　e: 良好　f: 河野分類ⅡＢ類
20	76		土製品	瓦器質火鉢	口縁部小片	-	-	[7.3]		a: 内外面黒色処理　胴部縦方向のミガキ　b: 灰白色　微砂　粗砂　白色粒　c: 黒灰色　e: 良好　f: 外面所々剥離　口縁下部押印菊花文　河野分類Ⅲ類
20	77		土製品	平瓦	-	最大長[16.4]	最大幅[11.8]	最大厚2.8		a: 凹面離れ砂　凸面斜格子叩き　離れ砂　b: 灰色　中心部灰褐色　赤色粒3mm代までの白色粒　粗砂　粗土
20	78		土製品	かわらけ転用品	-	最大径9.4	-	厚1.1～0.6		a: 外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　粗土　c: 橙色　e: 良好　f: 器壁を円盤状に打ち欠き
20	79		土製品	高坏か	口縁部片	-	-	[4.4]		a: 口唇部～内面ケズリ　外面ヨコナデ　b: 橙色～中心部灰色　雲母　赤色粒　泥岩粒　砂　やや粗土　e: 良好
20	80		石製品	硯	-	最大長[13.6]	最大幅[4.8]	最大厚1.5		f: 鳴滝産　3寸×5寸　1面使用
20	81		鉄製品	刀子	-	長[12.1]	幅[1.9]	厚(0.4)	42g	
20	82		鉄製品	釘	-	長7.0	幅[0.5]	厚[0.5]	13g	f: 四角形状に鍛造

図版	番号	遺構番号	材質	種別	遺存度	寸法（cm）				観察項目
						口径	底径	器高	重	a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
20	83	4 面構成土	鉄製品	釘	-	長 5.1	幅 (0.4)	厚 (0.4)	7g	f: 四角形状に鍛造
24	1	183	磁器	青磁 青磁劃花文碗	口縁部小片	-	-	[2.7]		b: 灰白色　精良堅緻　d: 淡明灰色　透明　釉層薄い　f: 内面劃花文
24	2	199	土製品	ロクロ かわらけ（大）	ほぼ完形	12.1	7.4	3.9		a: 内底ナデ（やや強め） 外底回転糸切（右回転） b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや良土　c: 橙色　e: 良好　f: 口径楕円形に歪む
24	3	202	土製品	ロクロ かわらけ（大）	3/4	13.3	7.6	3.65		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転） 板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや良土　c: 橙色　e: 良好
24	4	208	陶器	常滑 甕	頸部～肩部片	-	-	[13.0]		a: 内面指頭痕　b: 灰色　微砂　長石　小石粒　c: 茶色　d: 灰白色～灰緑色の自然釉　e: 良好　f: 中野編年 6b 型式か
24	5	209	土製品	手づくね かわらけ（大）	1/5	(12.4)	-	[2.3]		a: 内底ナデ　外面下半指頭痕　b: 微砂　雲母　白色粒　赤色粒　粗土　c: 浅黄橙色　e: 良好　f: 口縁部煤やや厚めに付着、灯明皿か　産地不明、搬入品か
24	6	209	土製品	内折れ かわらけ（極小）	完形品	5.5	4.3	0.9		a: ロクロ成形　内底ナデ　外底回転糸切（右回転） 板状圧痕　b: 雲母　赤色粒　良土　c: 黄橙色　e: 良好
24	7	212	土製品	ロクロ かわらけ（大）	2/3	(12.2)	(7.4)	3.8		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転） 板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 赤橙色　e: 良好
24	8	212	土製品	ロクロ かわらけ（中）	1/4	(11.8)	(6.2)	3.0		a: 内底ナデ　外底回転糸切 板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
24	9	212	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	底部片	-	-	[5.3]		a: 外底部脇ヘラケズリ　b: 灰色　微砂　長石　小石粒　c: 灰色　e: 良好　f: 内面所々剥離
24	10	212	土製品	瓦質火鉢	口縁部片	-	-	[7.2]		a: 内面ヨコナデ　口唇部ミガキ　外面ヨコ調整　b: 橙色　微砂　雲母　白色粒　赤色粒　c: 灰橙色～灰色　e: 良好　f: 河野分類Ⅰb類
24	11	212	土製品	瓦質火鉢	口縁部片	-	-	[6.9]		a: 内面体部斜めナデ　内面口縁部ヨコナデ　外面口縁部ヨコナデ　外面体部タテ調整　b: 灰色　微砂　雲母　c: 灰色　e: 良好　f: 河野分類Ⅰb類
24	12	212	土製品	高坏か	脚部片	-	-	[3.3]		a: 外面ケズリ　b: 黄橙色～中心部黄灰色　雲母　赤色粒　泥岩粒　やや粗土　e: 良好
24	13	212	石製品	温石	ほぼ完形	長 12.3	幅 10.2	厚 1.6		c. 黒色　f: 木箱一部残存、裏面には残っていない
24	14	213	土製品	ロクロ かわらけ（大）	3/4	12.6	7.2	3.6		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 灰黄色　e: やや甘い
24	15	213	土製品	ロクロ かわらけ（中）	2/3	(11.8)	(6.6)	3.4		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転） b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
24	16	213	土製品	ロクロ かわらけ（小）	2/3	(7.4)	5.8	1.7		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転） 板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 赤橙色　e: 良好
24	17	213	土製品	ロクロ かわらけ（極小）	3/4	5.1	7.6	1.65		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転） 板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 赤橙色　e: 良好
24	18	213	陶器	常滑 器種不明	肩部片	-	-	[3.1]		b: 茶色～暗灰色　長石　礫粒　c: 茶褐色　d: 外面に自然釉　e: 良好　f: 三条の沈線　円圏文 3 ヶ所有
24	19	214	土製品	ロクロ かわらけ（大）	ほぼ完形	13.6	8.0	3.75		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転） 板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや良土　c: 橙色　e: 良好
24	20	214	土製品	ロクロ かわらけ（大）	4/5	(13.4)	(7.4)	3.6		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転） b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
24	21	214	土製品	ロクロ かわらけ（大）	1/2	(13.4)	(8.4)	3.6		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転） 板状圧痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
24	22	214	土製品	ロクロ かわらけ（大）	2/3	(13.6)	7.2	3.65		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転） 板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
24	23	214	土製品	ロクロ かわらけ（大）	3/4	13.8	7.8	3.7		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
24	24	214	土製品	ロクロ かわらけ（大）	3/4	13.0	8.4	3.15		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転） 板状圧痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　泥岩粒　粗土　c: 黄橙色　e: 良好
24	25	214	土製品	ロクロ かわらけ（大）	完形品	12.4	7.6	3.4		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転） 板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　粗土　c: 橙色　e: 良好　f: 内面器壁所々剥離
24	26	214	土製品	ロクロ かわらけ（大）	1/2	(12.6)	(7.4)	3.1		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転） 板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
24	27	214	土製品	ロクロ かわらけ（大）	1/3	(12.2)	(7.0)	3.5		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転） 板状圧痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
24	28	214	土製品	ロクロ かわらけ（大）	2/3	(11.8)	(6.6)	3.7		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転） 板状圧痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
24	29	214	土製品	ロクロ かわらけ（小）	ほぼ完形	7.6	6.8	1.9		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転） 板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 灰黄色　e: 良好
24	30	214	土製品	ロクロ かわらけ（小）	1/3	(7.8)	(5.0)	1.5		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転） 板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　粗土　c: 黄橙色　e: 良好
24	31	214	土製品	ロクロ かわらけ（小）	2/3	(7.4)	(4.6)	1.7		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転） 板状圧痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　泥岩粒　粗土　c: 灰黄色　e: やや甘い
24	32	214	土製品	ロクロ かわらけ（小）	3/4	(7.4)	(4.6)	1.8		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転） 板状圧痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　泥岩粒　粗土　c: 黄灰色　e: やや甘い
24	33	214	土製品	ロクロ かわらけ（小）	完形品	8.0	4.8	2.1		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転） 板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄灰色　e: やや甘い
24	34	214	土製品	ロクロ かわらけ（小）	2/3	(7.4)	4.3	2.5		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転） 板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 橙色　e: 良好

図版	番号	遺構番号	材質	種別	遺存度	寸法（cm）				観察項目
						口径	底径	器高	重	a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
24	35	214	陶器	常滑 甕	口縁部～頸部片	-	-	[13.4]		a: 内面指頭痕　b: 橙色～暗灰色　微砂　長石　小石粒　c: 茶褐色　e: やや甘い　f: 緑帯幅 2.3cm　中野編年 6a 型式
24	36	214	陶器	常滑 甕	口縁部～頸部片	-	-	[10.1]		a: 内面指頭痕　b: 灰色　微砂　長石　小石粒　c: 茶褐色　d: 頸部に灰緑色の自然釉　e: 良好　f: 緑帯幅 3.5cm　中野編年 6a 型式
24	37	214	陶器	常滑 甕	口縁部片	-	-	[8.4]		b: 橙色　微砂　長石　小石粒　c: 灰色　e: 良好　f: 緑帯幅 3.7cm　中野編年 6b 型式
24	38	214	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	口縁部片	-	-	[7.1]		a: 外底脇ヘラケズリ　b: 灰色　長石　小石粒　c: 茶～茶褐色　e: 良好　f: 中野編年 6b 型式か
24	39	214	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	口縁部片	-	-	[5.65]		b: 暗灰色　長石　小石粒　c: 暗灰色　e: 良好　f: 内面刻線有
24	40	214	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	底部片	-	-	[4.4]		a: 外底部脇ヘラケズリ　b: 灰色～茶褐色～黄白色　微砂　小石粒　c: 茶～灰褐色　e: 甘い　f: 内面器壁所々剥離
24	41	214	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	底部片	-	-	[4.2]		a: 底部脇ヘラケズリ　b: 灰色　微砂　長石　c: 茶～灰褐色　e: 良好　f: 内面摩耗
24	42	214	陶器	産地不明 盤	底部小片	-	-	[2.3]		b: 茶色～灰色　微砂　小石粒　c: 橙色～灰橙色　e: 良好
25	43	214	土製品	瓦質火鉢	口縁部片	-	-	[7.5]		a: 内面斜めナデ　外面口縁部ヨコナデ　胴部タテ調整　b: 黄灰色～灰色　微砂　雲母　c: 内面黄灰色～暗灰色　外面暗灰色　e: 良好　f: 河野分類Ⅰb 類
25	44	214	土製品	火鉢	口縁部片	-	-	[6.1]		b: 灰色～灰橙色　微砂　雲母　c: 灰色～灰橙色　e: 良好
25	45	214	土製品	鞴の羽口	-	長 [4.8]	幅 [6.5]			f: 内径 (3.0)cm、外径 (7.0)cm
25	46	214	鉄製品	釘	-	長 6.4	幅 (0.35)	厚 (0.45)	7g	f: 四角形状に鍛造
25	47	214	銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.7	-	3.3g	f: 治平通寶
25	48	215	土製品	ロクロ かわらけ（大）	2/3	(12.8)	(8.0)	3.6		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好　f: 口縁～下部一部灰色に変色
25	49	215	土製品	ロクロ かわらけ（大）	ほぼ完形	12.8	8.5	3.1		a: 内底ナデ　外底糸切（詳細不明）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
25	50	215	土製品	ロクロ かわらけ（大）	3/4	12.8	7.2	3.4		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
25	51	215	土製品	ロクロ かわらけ（大）	1/3	(12.4)	(8.2)	3.1		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
25	52	215	土製品	ロクロ かわらけ（小）	ほぼ完形	7.6	4.6	1.2		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
25	53	215	土製品	ロクロ かわらけ（小）	1/2	(7.8)	(6.4)	1.75		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好　f: 口縁～底部煤付着、灯明皿
25	54	215	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	口縁部片	-	-	[8.4]		b: 灰白色　微砂　長石　小石粒　c: 灰色　d: 内外面にやや厚めの自然釉　e: 良好
25	55	215	土製品	平瓦		最大長 [6.1]	最大幅 [8.5]	最大厚 [2.1]		a: 凹面糸切痕　微砂の離れ砂　凸面縄目叩き　b: 明褐色～灰色　白色粒　精良堅緻　e: 良好
25	56	215	石製品	長方硯		最大長 [8.5]	最大幅 [3.9]	最大厚 2.2		f:1 面使用
25	57	221	土製品	ロクロ かわらけ（大）	2/3	12.5	7.3	3.3		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
25	58	221	陶器	常滑 小壺	肩部～底部片	-	-	[6.7]		b: 灰色　微砂　長石　c: 灰色　d: 内面底部一部に降灰有　e: 良好
25	59	221	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	底部小片	-	-	[3.8]		b: 灰色　微砂　長石　小石粒　c: 灰色　e: 良好　f: 内面摩耗
25	60	221	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	口縁部小片	-	-	[4.0]		b: 灰茶褐色　微砂　長石　小石　c: 内面暗褐色　外面赤褐色　d: 外面に灰褐色の自然釉　e: 良好
25	61	224	土製品	ロクロ かわらけ（中）	ほぼ完形	11.8	7.2	3.4		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
25	62	224	土製品	ロクロ かわらけ（中）	完形品	11.8	6.6	3.3		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好　f: 口径楕円形　口縁部に打ち欠き 1 点
25	63	224	土製品	ロクロ かわらけ（小）	4/5	(7.4)	(5.2)	1.7		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
25	64	226	土製品	ロクロ かわらけ（小）	完形	8.4	6.5	1.15		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 赤橙色　e: 良好　f: 口径楕円形に歪む
25	65	226	陶器	瀬戸 入子	1/4	(4.2)	(2.9)	1.3		a: 外底ケズリ　b: 灰白色　精良土　d: 内面わずかな降灰　e: 良好
25	66	227	土製品	ロクロ かわらけ（大）	1/2	(12.8)	(8.4)	3.2		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 淡黄橙色　e: 良好
25	67	227	土製品	ロクロ かわらけ（小）	ほぼ完形	8.1	4.5	2.4		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 橙色　e: 良好　f: 口縁部煤付着、灯明皿
25	68	227	土製品	ロクロ かわらけ（小）	4/5	7.2	(3.8)	2.1		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
25	69	227	土製品	伊勢系土鍋	口縁部小片	-	-	[1.8]		b: 灰色　長石　小石粒　c: 灰色～黄灰色　e: 良好
25	70	227	鉄製品	釘	-	長 7.0	幅 (0.4)	厚 (0.4)	11g	f: 四角形状に鍛造

図版	番号	遺構番号	材質	種別	遺存度	寸法（cm）				観察項目
						口径	底径	器高	重	a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
25	71	227	鉄製品	釘	-	長 5.8	幅 0.4	厚 0.6	5g	f: 四角形状に鍛造
25	72	225	土製品	ロクロかわらけ（大）	1/2	(13.2)	(7.0)	3.6		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　泥岩粒　やや粗土　c: 浅黄橙色　e: 良好
25	73	225	土製品	ロクロかわらけ（大）	2/3	(12.6)	(7.2)	3.7		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
25	74	225	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(8.8)	(5.8)	1.6		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
25	75	225	土製品	ロクロかわらけ（小）	ほぼ完形	8.0	5.0	1.8		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
25	76	225	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/2	(7.0)	(4.0)	2.3		a: 内底ナデ　外底回転糸切　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 浅黄橙色　e: 良好
25	77	225	土製品	ロクロかわらけ（小）	完形	7.5	4.8	2.05		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好　f: 口縁部煤付着、灯明皿
25	78	225	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/2	(7.6)	4.8	1.8		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好　f: 口縁部煤付着、灯明皿
25	79	225	陶器	常滑片口鉢Ⅰ類	底部片	-	-	[3.3]		a: 外底部脇ヘラケズリ　b: 暗灰色　微砂　長石　c: 茶～茶褐色　e: 良好
25	80	225	陶器	常滑片口鉢Ⅱ類	底部片	-	-	[6.1]		b: 暗灰色～灰色　長石　小石粒　c: 茶褐色　d: 内面に灰緑色の降灰　e: 良好
25	81	225	土製品	瓦質火鉢	口縁部片	-	-	[5.2]		b: 暗灰色　微砂　雲母　小石粒　c: 内面淡橙色　外面灰色　e: 良好　f: 河野分類Ⅰb類
25	82	225	土製品	瓦質火鉢	底部片	-	-	[7.3]		b: 灰色～暗灰色　微砂　雲母　小石粒　c: 内面灰橙色　外面暗灰色　e: 良好
25	83	225	土製品	瓦質火鉢	底部片	-	-	[6.3]		b: 暗灰色　微砂　雲母　小石粒　c: 淡橙色　e: 良好
25	84	225	土製品	平瓦		最大長 [5.2]	最大幅 [8.5]	厚 [2.1]		a: 凹面離れ砂　凸面縄目痕　b: 黄橙色～灰色　微砂　c: 凹面橙色～茶褐色　凸面灰茶褐色
26	85	222	土製品	ロクロかわらけ（大）	完形品	13.7	7.6	3.5		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　泥岩粒　やや良土　c: 橙色　e: 良好
26	86	222	土製品	ロクロかわらけ（大）	完形品	13.1	8.6	3.3		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　泥岩　粗土　c: 浅黄橙色　e: 良好
26	87	222	土製品	ロクロかわらけ（大）	完形品	12.6	8.2	3.1		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
26	88	222	土製品	ロクロかわらけ（大）	2/3	(12.6)	(7.4)	3.3		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
26	89	222	土製品	ロクロかわらけ（大）	完形品	12.5	7.1	3.4		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　粗土　c: 黄橙色　e: 良好
26	90	222	土製品	ロクロかわらけ（大）	完形品	12.6	7.9	3.2		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄灰色　e: やや甘い
26	91	222	土製品	ロクロかわらけ（大）	完形品	12.1	7.4	3.3		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　粗土　c: 橙色　e: 良好
26	92	222	土製品	ロクロかわらけ（大）	完形品	12.5	7.0	3.4		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　良土　c: 橙色　e: 良好
26	93	222	土製品	ロクロかわらけ（大）	ほぼ完形	11.9	8.4	3.0		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
26	94	222	土製品	ロクロかわらけ（大）	2/3	(11.4)	(6.8)	3.4		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　やや粗土　c: 淡黄橙色　e: 良好
26	95	222	土製品	ロクロかわらけ（大）	2/3	12.7	8.1	3.2		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 雲母　赤色粒　海綿骨針　粗土　c: 橙色　e: 良好　f: 内面～口縁、部分的に被熱
26	96	222	土製品	ロクロかわらけ（大）	1/2	(12.4)	(7.8)	3.4		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　粗土　c: 淡黄橙色　e: 良好
26	97	222	土製品	ロクロかわらけ（中）	完形品	11.0	6.5	3.1		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　良土　c: 橙色　e: 良好
26	98	222	土製品	ロクロかわらけ（中）	3/5	11.3	6.4	3.2		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 雲母　赤色粒　海綿骨針　良土　c: 橙色　e: 良好
26	99	222	土製品	ロクロかわらけ（中）	1/3	(9.9)	5.5	2.9		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　やや良土　c: 浅黄橙色　e: やや甘い
26	100	222	土製品	ロクロかわらけ（小）	完形品	7.9	5.9	1.7		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　泥岩　粗土　c: 黄灰色　e: やや甘い
26	101	222	土製品	ロクロかわらけ（小）	完形品	8.2	5.7	1.7		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄灰色　e: やや甘い　f: 内面被熱
26	102	222	土製品	ロクロかわらけ（小）	3/4	7.7	5.1	1.9		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　泥岩粒　やや粗土　c: 黄灰色　e: やや甘い　f: 内外面一部被熱
26	103	222	陶器	常滑甕	口縁部片	-	-	[9.6]		b: 暗灰色　微砂　長石　小石粒　c: 茶褐色　d: 緑帯部と頸部に淡黄灰色の自然釉付着　e: 良好　f: 緑帯幅 3.0cm　中野編年 6a 型式
26	104	222	陶器	常滑甕	口縁部片	-	-	[6.1]		b: 暗灰色　微砂　長石　小石粒　c: 暗茶褐色　d: 内面から緑帯に自然釉付着　e: 良好　f: 緑帯幅 2.6cm　中野編年 6a 型式
26	105	222	陶器	常滑片口鉢Ⅰ類	底部片	-	(12.4)	[5.6]		a: 外面ヨコナデ　底部脇回転ヘラケズリ　高台貼付け　ヨコナデ　b: 灰褐色　長石粒　砂　d: 内面降灰　f: 内面摩耗
26	106	222	陶器	常滑片口鉢Ⅱ類	底部片	-	-	[4.8]		a: 外面タテナデ　b: 暗灰色　微砂　長石　小石粒　c: 茶灰色　e: 良好　f: 内面摩耗　所々器壁が剝れる
26	107	222	陶器	磨り常滑		最大長 [6.75]	最大幅 [7.8]	最大厚 [1.5]		b: 灰色　微砂　長石　小石　c: 茶褐色　e: 良好　f: 常滑片の縁回り摩耗

図版	番号	遺構番号	材質	種別	遺存度	寸法（cm）				観察項目
						口径	底径	器高	重	a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
26	108	222	土製品	火鉢形土器	口縁部～体部片	(31.2)	-	[8.0]		a: 内外面ヨコナデ　外面体部下半ケズリ　b: 橙色　中心部灰色　微砂　赤色粒　精良堅緻
26	109	222	土製品	火鉢	底部～体部小片	-	-	[7.5]		a: 内面ヨコナデ　外面指頭調整後ヨコナデ　b: 灰白色　黒色粒　良土　緻密　瓦質　c: 外面灰色
26	110	222	土製品	平瓦		最大長 [11.5]	最大幅 [6.5]	最大厚 [2.2]		a: 凹面ナデ　離れ砂　凸面縄目叩き　離れ砂　b: 微砂　白色粒精良土　緻密　c: 灰色　e: 良好
26	111	222	土製品	高坏か	頸部片	-	-	[4.2]		a: 外面磨き　b: 橙色　雲母　赤色粒　白色粒　砂　良土　精良堅緻　e: 良好
26	112	222	鉄製品	釘	-	長 4.8	幅 (0.2)	厚 (0.4)	6g	f: 四角形状に鍛造
26	113	222	鉄製品	釘	-	長 4.4	幅 (0.2)	厚 (0.4)	2g	f: 四角形状に鍛造
26	114	229	土製品	ロクロかわらけ（小）	3/4	7.7	5.1	1.8		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
26	115	229	磁器	青磁蓮弁文碗	口縁部片	-	-	[4.0]		b: 灰色　精良　d: 灰緑色　不透明　釉層薄い
26	116	229	陶器	常滑片口鉢Ⅱ類	口縁部片	-	-	[2.9]		b: 茶色～暗灰色　微砂　長石　石英　c: 茶褐色　e: 良好
26	117	230	土製品	ロクロかわらけ（大）	1/4	(12.8)	(8.2)	2.8		a: 内底ナデ　外底回転糸切　b: 微砂　雲母　海綿骨針　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
26	118	230	土製品	ロクロかわらけ（小）	3/4	(12.4)	(7.8)	2.8		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
26	119	230	土製品	ロクロかわらけ（小）	ほぼ完形	7.9	6.3	1.6		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　泥岩粒　粗土　c: 黄灰色　e: 良好
26	120	230	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/2	7.4	5.1	1.65		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
26	121	230	陶器	瀬戸入子	底部小片	-	-	[0.9]		b: 灰色　良土　c: 灰色　e: 良好　f: 内底に薄く紅付着
26	122	231	陶器	施釉陶器盤（黄釉か）	口縁部小片	-	-	[4.15]		b: 黄灰色　微砂　小石粒　d: 黄灰色　半透明
26	123	232	陶器	天目茶碗	体部片	-	-	[3.6]		b: 灰色　白色粒　精良堅緻　d: 褐釉ツケガケ後　黒釉ツケガケ（二重掛けか）
26	124	232	陶器	器種不明	口縁部小片	-	-	[2.7]		b: 灰色　c: 灰色　e: 良好　f: 古瀬戸初期か
26	125	232	鉄製品	釘	-	長 8.5	幅 (0.5)	厚 (0.5)	12g	f: 四角形状に鍛造
26	126	232	鉄製品	釘	-	長 [7.0]	幅 [0.3]	厚 [0.3]	9g	f: 四角形状に鍛造
26	127	232	銅製品	銭	完形	直径 2.5	内孔 0.7	-	4.0g	f: 大観通寶
27	128	233	土製品	ロクロかわらけ（中）	ほぼ完形	11.4	6.8	3.1		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや良土　c: 橙色　e: 良好
27	129	233	土製品	ロクロかわらけ（中）	1/2	(10.6)	(6.2)	2.7		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　良土　c: 黄灰色　e: 良好　f: 内面灰茶色に変色　煤付着
27	130	233	土製品	ロクロかわらけ（小）	完形	7.0	4.8	1.4		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 橙色　e: 良好　f: 外底部糸切り上に指押さえの痕跡あり
27	131	233	土製品	ロクロかわらけ（小）	小片	-	-	[1.8]		b: 微砂　雲母　c: 暗灰色　e: 硬質　f: 口縁部、底部とも歪み有　内面付着物厚く付く　取瓶
27	132	233	磁器	青磁蓮弁文鉢	口縁部片	-	-	[2.5]		b: 灰白色　精良　d: 灰青色　不透明　釉層若干厚め
27	133	233	磁器	青磁印花文皿	底部小片	-	(5.3)	[0.9]		a: 内底印花文　b: 灰白色　黒色粒　精良堅緻　d: 淡黄灰色　透明　釉層薄い　底部釉はぎ
27	134	233	磁器	青白磁梅瓶か	胴部片	-	-	[3.5]		b: 灰白色　精良　d: 水色　透明　釉層極薄い
27	135	233	陶器	褐釉植木鉢か	頸部片	-	-	[6.9]		a: 内外面、指頭調整後ヨコナデ b: 灰白色　長石　白色粒　黒色粒　気泡やや多い　c: 灰白色　d: 無釉　e: 良好　f: 外面頸部に沈線一条、珠文張付
27	136	233	陶器	常滑片口鉢Ⅰ類	口縁部片	-	-	[3.05]		b: 灰色　微砂　小石粒　c: 灰色　e: 良好　f: 中野編年 6a 型式か
27	137	233	陶器	常滑片口鉢Ⅱ類	口縁部片	-	-	[5.8]		b: 茶色　長石　石英　c: 茶～茶褐色　e: 良好
27	138	233	陶器	常滑片口鉢Ⅱ類	口縁部小片	-	-	[4.1]		b: 暗灰色　微砂　長石　小石粒　c: 暗灰色　e: 良好　f: 中野編年 8 型式か
27	139	233	陶器	器種不明	口縁部片	(9.6)	-	[2.3]		b: 褐色　精良　d: 青黒色　e: 硬く焼き締まっている　f: 被熱か？釉が溶けている　福建窯未確認
27	140	236	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(7.8)	(5.6)	1.7		a: 内底ナデ　外底回転糸切　b: 微砂　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 赤橙色　e: 良好
27	141	236	陶器	常滑片口鉢Ⅰ類	口縁部小片	-	-	[4.45]		b: 灰色　微砂　長石　小石粒　c: 灰色　e: 良好
27	142	236	陶器	常滑片口鉢Ⅱ類	底部小片	-	-	[3.0]		b: 橙色　長石　小石粒　c: 茶～茶褐色　e: 良好
27	143	237	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(8.8)	(5.6)	2.1		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　やや粗土　c: 橙色　e: 良好

図版	番号	遺構番号	材質	種別	遺存度	寸法（cm）				観察項目
						口径	底径	器高	重	a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
27	144	237	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/2	(7.6)	(5.0)	1.6		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
27	145	237	陶器	常滑片口鉢Ⅰ類	口縁部小片	-	-	[3.8]		b: 灰色　微砂　長石　c: 灰褐色　e: 良好
27	146	237	陶器	常滑片口鉢Ⅱ類	底部片	-	-	[2.6]		a: 内外面ナデ　内底ユビナデ　b: 暗灰色　微砂　長石　c: 暗灰色　e: 良好
27	147	238	土製品	ロクロかわらけ（大）	2/3	(13.0)	(9.4)	3.1		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
27	148	238	土製品	ロクロかわらけ（大）	ほぼ完形	13.4	8.0	3.55		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや良土　c: 橙白色　e: 良好
27	149	238	土製品	ロクロかわらけ（大）	1/4	(12.0)	(7.0)	3.3		a: 内底ナデ　外底回転糸切　b: 微砂　雲母、赤色粒　良土　c: 黄橙色　e: 良好
27	150	238	土製品	ロクロかわらけ（大）	1/4	(11.6)	(7.6)	3.5		a: 内底ナデ　外底回転糸切　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
27	151	238	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/4	(8.8)	(7.0)	1.7		a: 内底ナデ　外底回転糸切　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 黄灰色　e: 良好
27	152	238	土製品	ロクロかわらけ（小）	2/3	(7.8)	(5.4)	1.7		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
27	153	238	土製品	ロクロかわらけ（小）	ほぼ完形	7.6	5.8	1.7		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好　f: 外面に成形時についたと思われる筋状の痕あり
27	154	238	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/4	(7.2)	(4.8)	1.3		a: 内底ナデ　外底糸切痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄灰色　e: 良好
27	155	238	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/2	(7.6)	(4.8)	1.8		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
27	156	238	土製品	ロクロかわらけ（小）	2/3	7.6	(5.0)	2.0		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
27	157	238	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(7.4)	(4.8)	2.2		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　良土　c: 橙白色　e: 良好
27	158	238	磁器	青磁蓮弁文碗	口縁部小片	-	-	[3.3]		b: 灰白色　精良　d: 灰緑色　半透明　釉層厚め　気泡有り　f: 口縁端部外反
27	159	238	陶器	施釉陶器盤（黄釉か）	口縁部小片	-	-	[2.5]		b: 灰色　白色粒　黒色粒　赤色粒　d: 黄灰色　e: 良好
27	160	238	陶器	常滑片口鉢Ⅱ類	口縁部小片	-	-	[5.4]		b: 暗灰色　長石　小石粒　c: 褐色～暗灰色　e: 良好
27	161	238	陶器	常滑片口鉢Ⅱ類	口縁部小片	-	-	[2.7]		b: 茶褐色　長石　小石粒　c: 暗茶色　e: 良好
27	162	238	陶器	常滑片口鉢Ⅰ類	底部片	-	(14.0)	[2.6]		b: 灰色　微砂　長石　小石粒　c: 灰色　e: 良好　f: 内面摩耗　所々剥離　外面高台部剥離
27	163	238	鉄製品	釘	-	長 5.2	幅 (0.4)	厚 (0.4)	4g	f: 四角形状に鍛造
27	164	238	鉄製品	釘	-	長 [2.7]	幅 0.4	厚 0.3	1g	f: 四角形状に鍛造
27	165	238	銅製品	銭	完形	直径 2.5	内孔 0.7	-	3.7g	f: 熙寧元寶　北宋 1068 年
27	166	238	銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.6	-	3.5g	f: 天禧通寶　北宋 1017 年
27	167	5a 面遺構外	土製品	ロクロかわらけ（大）	1/4	(12.6)	(7.0)	3.3		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　やや粗土　c: 黄灰色　e: やや甘い
27	168		土製品	ロクロかわらけ（小）	4/5	(8.0)	6.0	1.7		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
27	169		土製品	ロクロかわらけ（小）	2/3	7.6	4.5	2.0		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや良土　c: 黄橙色　e: 良好
27	170		陶器	常滑甕	口縁～頸部片	(19.4)	-	[13.9]		a: 輪積み成形　内面指頭調整　外面縦方向ハケナデ　頸部ヨコナデ　b: 灰色　白色粒　砂粒　c: 褐色　f: 縁帯幅 2.2cm　中野編年 6a 型式　外面肩部ヘラ描き
27	171		土製品	土器質火鉢	口縁部片	-	-	[2.0]		b: 灰黒色　微砂　雲母　c: 灰白色　e: 良好　f: 河野分類Ⅰ A 類か
27	172		土製品	高坏か	頸部片	-	-	[2.9]		a: 外面ケズリ　b: 橙色～中心部黄灰色　微砂　雲母　赤色粒　白色粒　やや粗土　e: 良好　f: 中央に穿孔あり
27	173	5a 面構成土	土製品	高坏	頸部片	-	-	[5.0]		a: 内面指頭調整　外面ミガキ　b: 黄橙色～中心部黄灰色　雲母　赤色粒　海綿骨針　砂　やや粗土　e: 良好
27	174		土製品	ロクロかわらけ（小）	ほぼ完形	9.1	7.4	1.7		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
27	175		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/4	(7.8)	(5.4)	1.55		a: 内底ナデ　外底回転糸切　b: 微砂　雲母　海綿骨針　粗土　c: 黄橙色　e: 良好
27	176		陶器	褐釉植木鉢か	口縁部片	-	-	[2.7]		b: 黄灰色　長石　白色粒　黒色粒　気泡やや多い　c: 灰白色　d: 口縁部～内面降灰か？　e: 良好　f: 口唇部沈線 2 条、口縁部外面に突帯波状
27	177		陶器	常滑片口鉢Ⅱ類	口縁部小片	-	-	[7.5]		a: 輪積み成形　b: 橙色～暗褐色　微砂　長石　小石粒　c: 茶褐色　e: 良好　f: 中野編年 7 型式か
27	178		土製品	古墳時代壺か	口縁部片	-	-	[4.6]		a: 内外面タテハケ後ナデ　b: 微砂　雲母　白色粒　やや粗土　c: 橙色　e: 良好　焼き締まる
27	179		土製品	須恵器坏	1/6	(11.1)	(5.6)	3.5		a: 内外面ヨコナデ　外面外底糸切り後ケズリ　b: 黄灰色　砂　精良土　緻密　d: 口縁部に降灰

図版	番号	遺構番号	材質	種別	遺存度	寸法（cm）				観察項目
						口径	底径	器高	重	a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
29	1	241	土製品	内折れかわらけ（極小）	完形品	6.1	5.9	0.9		a: ロクロ成形　内底ナデ　外底回転糸切（右回転） b: 微砂　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 黄灰色　e: やや甘い
29	2	253	磁器	白磁口兀皿	底部片	-	(5.9)	[1.2]		b: 灰白色　精良　d: 淡灰色　不透明　釉層薄め
29	3	259	土製品	ロクロかわらけ（大）	ほぼ完形	12.1	7.6	3.1		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転） b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 橙色　e: 良好　f: 若干楕円形に歪む
29	4	259	土製品	ロクロかわらけ（大）	1/2	(12.6)	(8.8)	2.8		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転） 板状圧痕 b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
29	5	259	土製品	ロクロかわらけ（大）	1/2	(13.0)	(9.0)	3.2		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転） 板状圧痕 b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
29	6	259	土製品	ロクロかわらけ（大）	4/5	12.4	8.0	2.7		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転） 板状圧痕 b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
29	7	259	土製品	ロクロかわらけ（大）	1/2	(12.2)	(8.4)	2.8		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転） 板状圧痕 b: 微砂　雲母　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好　f: 口縁部一ヶ所、内側へ緩く抑え込んだような歪み有り
29	8	259	土製品	ロクロかわらけ（大）	1/2	(12.0)	(8.0)	3.0		a: 内底ナデ　外底回転糸切 b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
29	9	259	土製品	ロクロかわらけ（大）	3/5	(12.0)	(8.4)	3.5		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕 b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
29	10	259	陶器	常滑壺か	口縁部片	-	-	[7.7]		a: 輪積み成形　b: 灰色　微砂　長石　c: 赤褐色～茶褐色　d: 口縁部と頸部に自然釉付着　e: 良好　f: 中野編年５型式か
29	11	259	陶器	常滑片口鉢Ⅰ類	口縁部片	-	-	[5.9]		b: 灰色　微砂　長石　小石粒　c: 灰白色　d: 口唇部～口縁部に自然釉付着　e: 良好　f: 内面摩耗
29	12	259	土製品	かわらけ転用品	-	最大径7.2	-	厚0.7～0.4		a: 外底回転糸切（右回転） 板状圧痕 b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好　f: 丁寧に器壁を内欠いて円盤状に加工
29	13	260	土製品	ロクロかわらけ（小）	2/3	(8.0)	(5.6)	1.6		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転） 板状圧痕 b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
29	14	260	土製品	かわらけ転用品	-	最大径7.2	-	厚0.7～0.5		a: 外底回転糸切　板状圧痕 b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色～暗灰色（外底部） e: 良好　f: 外底部暗灰色に変色　円盤状に端部加工
29	15	264	土製品	手づくねかわらけ（小）	3/4	(8.0)	-	1.7		a: 内底ナデ　外面下半部指頭痕　板状圧痕 b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
29	16	264	土製品	ロクロかわらけ（極小）	1/3	(4.8)	(3.6)	0.9		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕 b: 微砂　雲母　赤色粒　良土　c: 黄橙色　e: 良好
29	17	264	陶器	常滑片口鉢Ⅰ類	口縁部片	-	-	[3.7]		b: 灰色　微砂　長石　小石　c: 暗灰色　d: 内外面口縁部付近に灰色の自然釉
29	18	264	陶器	常滑片口鉢Ⅰ類	底部片	-	(12.6)	[5.4]		a: 輪積み成形　貼付け高台　b: 灰色　長石　小石　c: 灰色　e: 良好
29	19	5b 面構成土	土製品	ロクロかわらけ（大）	1/3	(12.8)	(8.4)	3.5		a: 外底回転糸切（右回転） 板状圧痕 b: 微砂　雲母　赤色粒　やや粗土　c: 赤橙色　e: 良好
29	20		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/4	(8.2)	(6.0)	1.7		a: 内底ナデ　外底回転糸切 b: 微砂　雲母　泥岩粒　粗土　c: 黄橙色　e: 良好
29	21		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/2	(8.8)	(6.0)	1.9		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転） 板状圧痕 b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
29	22		土製品	坩	頸部片	-	-	[3.8]		a: 内面指頭痕　頸部ミガキ調整　外面頸部タテミガキ b: 微砂　雲母　黒色粒　c: 内面灰白色　外面赤彩　e: 焼き締まる　f: 古墳前期か
29	23		石製品	砥石	-	長[3.4]	幅[2.3]	厚0.6		c: 灰白色　部分的に明赤灰色　f: 伊予　中砥を仕上砥として使用か
32	1	270	土製品	ロクロかわらけ（大）	ほぼ完形	12.8	8.0	3.4		a: 内底ナデ　外底回転糸切　ナデ消し b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
32	2	271	土製品	ロクロかわらけ（小）	完形	9.4	6.9	1.65		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転） b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
32	3	272	磁器	青磁櫛掻文皿	底部～体部小片	-	-	[2.2]		b: 灰色　精良　d: 灰緑色　半透明　釉層極薄い　底部露胎
32	4	275	土製品	ロクロかわらけ（小）	完形	8.8	7.0	1.8		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転） 板状圧痕 b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
32	5	275	土製品	ロクロかわらけ（小）	ほぼ完形	8.5	6.7	1.9		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転） 板状圧痕 b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
32	6	275	土製品	ロクロかわらけ（小）	完形	8.4	6.6	1.6		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転） 板状圧痕 b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
32	7	275	土製品	ロクロかわらけ（小）	完形	8.3	6.4	1.6		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転） 板状圧痕 b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好　f: 外面一部灰色に変色
32	8	276	土製品	ロクロかわらけ（大）	完形	13.1	8.2	3.1		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転） 板状圧痕 b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
32	9	277	土製品	手づくねかわらけ（小）	完形	9.2	-	1.5		a: 内底ナデ　外面下半部指頭痕　板状圧痕 b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
32	10	277	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/2	(8.8)	(6.8)	1.5		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転） b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　粗土　c: 橙色　e: 良好
32	11	277	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/2	(9.0)	(7.4)	1.7		a: 内底ナデ　外底回転糸切（左回転） b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 橙色　e: 良好

図版	番号	遺構番号	材質	種別	遺存度	寸法（cm）				観察項目
						口径	底径	器高	重	a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
32	12	282	土製品	ロクロかわらけ（大）	完形	13.6	8.0	3.8		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　やや良土　c: 橙白色　e: 良好
32	13	282	土製品	ロクロかわらけ（中）	1/2	(11.8)	(7.8)	3.6		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　粗土　c: 橙色　e: 良好
32	14	285	石製品	砥石	-	16.66	最大幅 [4.0]	最大厚 [0.5]		f: 備水産　仕上砥
32	15	285	木製品	漆器　皿	-	-	(8.0)	[1.6]		b: 黒漆の無文皿、底部漆無し
32	16	285	木製品	木製品部材	-	最大長 24.4	最大幅 9.0	最大厚 8.9		
32	17	285	木製品	礎板	-	最大長 [15.3]	最大幅 [7.6]	最大厚 [3.2]		f: 一端を加工。工具痕あり
32	18	285	木製品	不明木製品	-	最大長 [36.1]	最大幅 4.8	最大厚 2.0		f: 両端部欠損、一カ所刃物痕あり
32	19	285	木製品	不明木製品	-	最大長 [17.0]	最大幅 1.3	最大厚 1.0		a: 先端部多角状に削り尖らせる f: 片端部欠損
33	1	表土・廃土	土製品	ロクロかわらけ（大）	完形品	12.4	8.5	3.4		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　粗い泥岩　粗土　c: 黄橙色　e: 良好
33	2		土製品	ロクロかわらけ（大）	1/3	(12.2)	8.4	3.3		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 雲母　赤色粒　海綿骨針　5mm 代までの泥岩　粗土　c: 黄橙色　e: 良好
33	3		土製品	ロクロかわらけ（大）	3/4	12.0	8.3	3.1		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 赤色粒　海綿骨針　粗い泥岩　粗土　c: 黄橙色　e: 良好
33	4		磁器	青白磁梅瓶か？	胴部片	-	-	[1.8]		b: 灰白色　d: 水色　不透明
33	5		陶器	常滑甕	口縁部小片	-	-	[2.9]		b: 灰白色　長石　白色粒　c: 褐色　d: 内面口縁付近に緑灰色の降灰　f: 緑帯幅 1.0cm　中野編年 5 型式
33	6		陶器	常滑甕	口縁部小片	-	-	[6.6]		b: 橙色　白色粒　黒色粒　砂粒　c: 褐色　d: 外面に灰白色の降灰　f: 緑帯幅 3.0cm　中野編年 6a 型式
33	7		陶器	常滑甕	口縁部小片	-	-	[5.0]		b: 灰色　砂粒　c: 内面褐色　d: 外面に緑灰色の降灰　f: 緑帯幅 2.1cm　中野編年 6a 型式
33	8		陶器	磨り常滑	-	長 3.8	幅 3.9	厚 0.9		b: 灰色　微砂　白色粒　c: 明暗灰色　f:4 面研磨　内面（裏面）が特に強く研磨
33	9		陶器	瀬戸折縁深皿	口縁部片	-	-	[2.2]		b: 黄灰色　微砂　d: 灰釉ハケヌリ　e: 良好　f: 中期前半か。被熱受けている
33	10		陶器	瀬戸折縁深皿	口縁部片	-	-	[2.2]		b: 灰色　白色粒　d: 灰釉ハケヌリ　e: 良好　f: 中期前半か
33	11		陶器	瀬戸平碗	口縁部片	-	-	[3.9]		b: 灰色　微砂　d: 灰釉ツケガケ　e: 良好　f: 中期後半か
33	12		陶器	瀬戸卸皿	口縁部片	-	-	[2.8]		b: 灰色　微砂　d: 灰釉ハケヌリ　e: 良好　f: 中期
33	13		陶器	瀬戸卸皿	下体部～底部小片	-	-	[2.0]		b: 灰白色　良土　d: 灰釉　内外面ハケヌリか　釉層薄い　e: 良好　f: 古瀬戸前期後半～中期前半
33	14		陶器	瀬戸花瓶	口縁部片	(13.4)	-	[3.0]		b: 灰色　微砂　白色粒　d: 灰緑色の灰釉ツケガケ　e: 良好　f: 中期後半～後期前半か
33	15		陶器	瀬戸器種不明	底部片	-	-	[2.1]		b: 灰色　d: 灰釉　e: 良好
33	16		石製品	硯未製品か	-	長 [4.3]	幅 4.5	厚 [1.1]		c: 黒色　f: 鳴滝産
33	17		磁器	蓋付容器	完形	4.8	3.4	5.0		d: 透明釉　全体に施釉　畳付部釉剥ぎ　f: 近現代
33	18		磁器	筒型容器	完形	2.4	2.5	5.2		b: 灰白色　黒色粒　精良堅緻　d: 透明釉（やや灰色をおびる）　畳付部露胎　f: 底面線刻　統制品？
33	19		陶器	徳利	口縁欠損頸部以下完形	-	7.4	[19.4]		b: 灰白色　やや陶器質に近い　d: 透明釉　鉄絵　f:「■■■■■」「栄屋由井ヶ浜■」

表２　出土遺物集計表

出土面			第１面					第２面						第３面					第４面				
備考			ピット	土坑	遺構外	構成土	合計	ピット	土坑	溝状遺構	遺構外	構成土	合計	ピット	土坑	遺構外	構成土	合計	ピット	土坑	遺構外	構成土	合計
遺構番号										81													
かわらけ	ロクロ	大	343	218	73	577	1211	348	204	196	137	522	1407	203	373	23	912	1511	319	571	7	739	1636
		中	6	3		163	172	3	7	5		164	179	56	118	7	115	296		6			6
		小	29	17	2	391	439	145	37	11	10	347	550	150	242	11	306	709	23	56	6	61	146
		小片	55	59		46	160	139	44		15	9	207	67	124	3	38	232	4	8		17	29
	手捏ね	大		1			1															1	1
		小										1	1				1	1					
	白かわらけ									1		2	3		1		5	6				1	1
	特殊																					1	1
	取瓶													1				1	1				1
	不明								1				1	1				1					
国産陶磁器	常滑	甕	13	47	18	121	199	31	16	18	7	86	158	22	38	3	79	142	17	44		83	144
		壺	1			3	4	1	1	1	1	2	6	1	2		7	10		2			2
		Ⅰ類	5	4	6	15	30	4	6	5		2	17		11		22	33	5	10		13	28
		Ⅱ類		2		3	5	1	1	1		2	5	5	1		3	9	1	1		2	4
		磨り常滑																					
		不明				12	12		1		1		2										
	瀬戸		1	2	5	23	31	6	2	4		5	17			1	6	7		1		3	4
	渥美																2	2		1			1
	備前				1		1																
	東播											1	1									1	1
	山茶碗	北部																					
		南部												1			1	2	2			2	4
	不明		1		1		2												1				1
舶載陶磁器	青磁		1	2		2	5	3	1	5		4	13	4	1		6	11	1	3	1	4	9
	白磁				1	1	2	1				2	3	2	4			6	1	1		1	3
	青白磁					3	3			1		1	2				1	1		1		1	2
	緑釉															1		1					
	黄釉																						
	褐釉		1			1	2					1	1							1		1	2
	不明									1			1		1		1	2					
土製品	火鉢			4		5	9	1	1	2		3	7	2	2		17	21	4	5		9	18
	鍔釜											1	1						1	1			2
	羽口											1	1										
	その他											1	1		2		1	3		1		1	2
	磨りかわらけ																1	1					
瓦質製品	瓦器							1					1	1			1	2					
	火鉢			2	1	8	11			1		6	7	1	2		3	6		1		8	9
	瓦									1		1	2				1	1		2		1	3
	その他											1	1										
金属製品	銭				1	4	5	1		1		1	3		1			1		1			1
	釘					2	2	8	6	1		7	22	3	11	1	7	22	2	3	3	6	14
	火打金					1	1																
	鉄滓					3	3	1				1	2				1	1	1				1
	不明														1			1					
石製品	砥石				1	5	6			2		1	3				1	1					
	硯	1					1				1		1			1	2	3				1	1
	滑石		1				1					1	1		2		1	3					
	軽石														1			1					
	玉石	8			2		10																
	碁石				1	1	1	1					1		1			1					
	その他				1	1	1	2	1				4		1		1	2	2	1			3
漆製品	椀																						
	皿																						
	その他																						
木製	部材																						
	箸																						
	その他				2	2																	
自然遺物	骨加工品				1	1						1	1				6	6	1				1
	獣骨	5	1	1	14	21	5	7	6	1	11	30	1	27	1	30	59	3	58		14	75
	人骨																						
	魚骨・鱗																						
	貝																1	1					
	炭化物	1			7	8	3	6	1		2	12		1		8	9	2	2			4
	種																						
近代遺物					3	3					1	1											
中世以前		1	1		5	7	1	3				4		4			5	9		1		6	7
不明		2		3	7	12	5	2			3	10		5		7	12	2	3		1	6
合計		474	364	114	1432	2384	710	348	265	173	1194	2690	521	977	52	1599	3149	393	785	17	978	2173	

出土面			第5a面								第5b面				第6面							
種別			ピット	土坑	方形土坑	方形土坑	方形土坑	遺構外	構成土	合計	ピット	土坑	構成土	合計	ピット	土坑	合計	廃土山	試掘坑	表土	攪乱	総計
遺構番号					236	237	238															
かわらけ	ロクロ	大	85	1618	30	28	206	103	138	2208	24	110	134	292	10	97	107	8	45	115	44	8584
		中		6						6									1		1	661
		小	10	142	2	7	33	8	10	212	5	11	24	40	5	15	20	3	5	12	3	2139
		小片					2			2		4		4	1		1		28	112	1	776
	手捏ね	大	1						1	2		1	3	4								8
		小		1			1		1	3			1	1	1	1	2					8
	白かわらけ			2			1			3			1	1								14
	特殊																					1
	取瓶																					2
	不明																					2
国産陶磁器	常滑	甕	7	156	1	10	12	10	10	206		7	4	11		4	4	2	13	56	7	942
		壺		1			2		1	4			1	1					1	1		29
		Ⅰ類	1	32	1	3	7	3		47		6		6		1	1	1		3	1	167
		Ⅱ類		17	1		4		1	23										3		49
		擦り常滑																		1		1
		不明		4						4												18
	瀬戸		1	12			1	1		15									3	12	5	94
	渥美			1	1		1			3												6
	備前																					1
	東播																					2
	山茶碗	北部		1					1	2												2
		南部		1					1	2		1	1	2								10
	不明			1						1												4
舶載陶磁器	青磁		3	14			1	2		20		3	1	4		3	3	1				66
	白磁			2	1		3		1	7		1		1		1	1				1	24
	青白磁			10					1	11						2	2			1		22
	緑釉																					1
	黄釉			1			1			2												2
	褐釉			3						3												8
	不明		1	2					1	4												7
土製品	火鉢			12				2		14											1	70
	鍔釜			4					1	5												8
	羽口			1						1												2
	その他			3						3												9
	磨りかわらけ																					1
瓦質製品	瓦器						1			1								1				5
	火鉢			6			2			8		1		1								42
	瓦			5					1	6									1		1	14
	その他																					1
金属製品	銭			2			2			4												14
	釘		4	33		1	7	2	2	49	1		3	4		2	2			2		117
	火打金																					1
	鉄滓																					7
	不明			2						2												3
石製品	砥石			2					2	4		3	1	4								18
	硯																	1		1		8
	滑石			2						2												7
	軽石					1				1												2
	玉石																					10
	碁石																					3
	その他			4				1		5												15
漆製品	椀																					0
	皿																					0
	その他																					0
木製	部材																					0
	箸																					0
	その他	1	1			1			3													5
自然遺物	骨加工品							1	1													10
	獣骨		66		1	9	2	4	82	1	4	9	14	3		3			1			285
	人骨																					0
	魚骨・鱗																					0
	貝		2						2													3
	炭化物		5		1	12	2		20		1	7	8		2	2						63
	種														1	1						1
近代遺物															1	1	3	5	6			19
中世以前			3	9		1	2		1	16	1		5	6		3	3			1			53
不明			2	7					4	13		3	4	7						12	3	75
合計			119	2193	37	53	311	136	183	3032	32	180	199	411	20	133	153	20	102	339	68	14521

表３　遺構計測表（単位＝m）

遺構NO	上端レベル	上端最大径	底面レベル
1面			
1	8.44～8.43	0.25	8.21～8.17
2	8.41～8.40	0.13	8.35
3	8.40～8.39	0.39	8.31～8.30
4	8.39	0.49	8.20～8.15
5	8.38	0.38	8.20～8.17
6	8.42～8.41	0.35	8.05～8.04
7	8.42～8.41	0.30	8.14
8	8.41～8.37	0.41	8.23～8.21
9	8.45～8.42	0.42	8.28～8.26
10	8.44～8.41	0.35	8.28～8.26
11	8.43～8.42	0.50	8.12～8.10
12	8.43～8.42	0.57	7.83～7.81
13	8.43～8.41	0.44	8.15～8.13
14	8.43～8.41	0.53	8.21～8.19
15	8.43～8.41	0.32	8.34～8.31
16	8.43～8.41	0.40	8.24～8.22
17	8.41～8.39	0.47	8.17～8.12
18	8.43～8.41	0.44	8.26～8.20
19	8.46～8.42	0.35	8.38～8.35
20	8.44～8.43	0.49	8.19～8.17
21	8.43～8.41	0.55	8.19～8.18
22	8.42	0.34	8.37～8.35
23	8.41～8.38	0.33	8.31～8.28
24	8.41	0.36	8.36～8.35
25	8.42	0.33	8.37～8.35
26	8.41～8.40	0.38	8.31～8.25
27	8.42～8.37	0.90	7.92～7.90
28	8.38～8.36	0.70	8.15～8.14
29	8.40～8.38	0.94	8.21～8.09
30	8.41～8.37	1.04	7.82～7.75
2面			
31	8.36～8.35	0.40	8.27～8.24
32	8.29～8.28	0.50	7.84～7.80
33	8.28～8.27	0.35	8.20～8.17
34	8.26～8.24	0.35	8.15～8.14
35	8.38～8.30	0.52	8.08～8.05
36	8.27～8.25	0.42	8.20～8.15
37	8.29～8.26	0.52	8.18～8.14
38	8.25～8.24	0.29	8.04～8.02
39	8.27～8.23	0.44	8.05～8.03
40	8.30～8.27	0.40	8.08～8.07
41	8.29～8.27	0.53	8.06～8.03
42	8.28～8.26	0.58	8.16～8.05
43	8.27～8.26	0.56	8.06～8.03
44	8.28～8.25	0.53	8.08～8.07
45	8.27～8.25	0.40	8.08～8.07
46	8.27	0.39	7.97
47	8.26～8.20	0.54	8.11～8.08
48	8.26	0.34	8.17～8.15
49	8.25～8.24	0.60	8.06～8.05
50	8.27～8.20	0.43	8.18～8.17
51	8.28～8.25	0.59	8.14～8.11
52	8.24	0.67	8.08～8.00
53	8.26～8.25	0.54	8.04～7.99
54	8.24	0.34	8.15～8.14
55	8.27～8.22	0.55	8.15～8.11
56	8.33～8.31	0.47	8.21～8.19
57	8.32～8.30	0.39	8.23～8.22
58	8.30～8.29	0.54	8.14～8.11
59	8.29～8.28	0.66	8.13～8.11
60	8.31～8.28	0.44	8.08
61	8.29～8.27	0.32	8.23～8.21
62	8.29～8.27	0.42	8.10～8.08
63	8.27～8.24	0.21	8.15～8.14
64	8.32～8.29	0.58	8.24～8.23

遺構NO	上端レベル	上端最大径	底面レベル
2面			
65	8.34～8.32	0.46	8.22～8.19
66	8.33～8.32	0.39	8.25～8.24
67	8.31～8.27	0.29	8.25～8.22
68	8.31～8.29	0.52	8.15～8.13
69	8.28～8.23	0.37	8.05～8.02
70	8.29～8.26	0.47	8.23～8.21
71	8.29～8.27	0.42	8.25～8.23
72	8.30～8.24	0.94	7.79～7.77
73	8.25～8.23	1.14	7.94～7.91
74	8.28～8.25	0.77	8.19～8.13
75	8.27～8.25	0.64	8.13～8.12
76	8.29～8.25	0.70	7.97～7.89
77	8.27～8.22	0.88	8.02～7.97
80	8.39～8.35	0.40	8.10
78	8.31～8.23	2.69	8.11～8.08
79	8.35～8.31	0.46	8.25～8.20
81	8.33～8.26	1.18	8.24～8.16
3面			
82	8.23～8.17	0.38	8.13～8.10
83	8.21～8.19	0.22	8.17～8.16
84	8.20～8.15	0.52	8.12～8.08
85	8.19～8.18	0.27	8.12～8.11
86	8.20～8.15	0.35	8.08～8.05
87	8.19～8.16	0.49	7.93～7.92
88	8.21～8.18	0.27	7.86～7.84
89	8.21～8.18	0.50	8.00～7.97
90	8.25～8.23	0.43	7.98～7.94
91	8.25～8.21	0.44	7.71～7.68
92	8.15～8.14	0.46	7.87～7.85
93	8.24～8.19	0.44	7.88～7.85
94	8.20～8.16	0.39	7.87～7.82
95	8.17～8.14	0.50	8.07～7.99
96	8.19～8.17	0.39	7.88～7.84
97	8.21～8.19	0.42	7.94～7.93
98	8.21～8.18	0.41	8.05～8.03
99	8.20～8.18	0.48	8.03～7.93
100	8.19～8.18	0.53	7.87
101	8.18～8.17	0.34	7.99
102	8.17～8.12	0.21	8.00
103	8.19～8.18	0.48	8.06
104	8.20～8.18	0.33	8.05～8.04
105	8.24～8.22	0.43	8.04～8.01
106	8.27～8.24	0.44	8.06～8.03
107	8.28	0.22	8.03～8.02
108	8.26～8.16	0.56	8.07～8.03
109	8.21～8.12	0.90	7.98～7.94
110	8.18～8.15	0.41	8.09～8.07
111	8.19～8.14	0.67	7.86～7.80
112	8.20～8.17	0.64	7.81～7.79
113	8.22～8.11	0.79	8.03～7.85
114	8.20～8.15	1.47	8.07～7.88
115	8.20～8.17	0.86	8.15～8.08
116	8.15～8.12	0.50	8.07～8.04
117	8.04～8.02	1.41	7.88～7.82
118	8.23～8.21	0.73	7.88～7.81
119	8.18～8.16	0.65	7.85～7.83
120	8.18～8.15	0.66	7.97～7.96
121	8.21～8.19	0.64	8.05～8.04
122	8.21～8.19	1.00	8.06～8.04
123	8.19～8.16	2.15	8.07～8.03
124	8.20～8.17	0.83	7.90～7.85
125	8.19～8.13	0.76	8.03～8.01
126	8.22～8.21	1.08	8.16～8.07

遺構NO	上端レベル	上端最大径	底面レベル
4面			
127	8.05～8.04	0.42	7.95～7.94
128	8.05～8.02	0.57	7.94～7.91
129	8.01～7.97	0.32	7.82～7.81
130	8.08～8.02	0.57	7.95～7.85
131	8.08～8.07	0.42	7.86～7.84
132	8.08～8.02	0.62	7.99～7.94
133	8.09～8.07	0.60	7.96～7.92
134	8.08～8.05	0.52	7.92～7.89
135	8.10～8.07	0.47	7.90～7.85
136	8.05～8.03	0.38	7.90～7.89
137	8.07～8.04	0.43	7.95～7.92
138	8.06～8.02	0.45	7.83～7.82
139	8.08～8.06	0.44	7.87～7.82
140	8.08～8.07	0.48	7.82～7.80
141	8.04～8.02	0.32	7.93～7.91
142	8.04～8.03	0.35	7.91～7.90
143	8.04～8.03	0.44	7.93～7.91
144	8.03～8.01	0.37	7.94
145	8.06～8.02	0.45	7.88～7.84
146	8.11～8.10	0.38	7.96～7.94
147	8.11～8.09	0.48	7.94～7.93
148	8.04～7.99	0.53	7.76～7.73
149	8.17～8.06	0.59	7.87～7.85
150	8.07～8.04	0.69	7.96～7.92
151	8.04～8.03	1.00	7.78～7.69
152	8.04～8.03	1.15	7.79～7.76
153	8.08～8.04	0.59	7.86～7.84
154	8.04～8.01	0.87	7.89～7.79
155	8.05～8.03	0.69	7.88～7.84
156	8.08～8.04	0.68	7.87～7.84
157	8.05～8.03	0.75	7.93～7.86
158	8.04～8.01	0.62	7.87～7.84
159	8.05～8.02	0.79	7.78～7.77
160	8.05～8.04	0.73	7.89～7.87
161	8.06～8.04	0.60	7.84～7.82
162	8.06～8.05	0.54	7.88～7.85
163	8.09～8.02	0.75	7.94～7.88
164	8.09～8.06	0.94	7.79～7.75
165	8.10～8.04	0.59	7.95～7.93
166	8.11～8.08	0.46	7.87
167	8.10～8.08	0.57	7.95～7.94
168	8.10～8.07	0.62	7.96～7.95
169	8.10～8.04	0.78	7.80～7.75
170	8.13～8.10	0.76	7.70～7.64
171	8.04～8.00	0.75	7.85～7.81
172	8.03	0.40	7.96～7.91
173	8.06～8.01	0.45	7.87～7.83
174	-	-	-
175	8.08～8.03	0.50	7.89～7.85
176	8.01～8.03	0.25	7.83～7.80
177	8.04～8.03	0.55	7.95～7.84
178	8.08～8.02	0.62	7.80～7.75
179	8.10～8.03	1.39	7.96～7.95
5面			
180	7.64～7.44	0.25	7.28～7.25
181	7.73～7.54	0.28	7.36～7.31
182	7.78～7.75	0.32	7.72
183	7.80～7.78	0.22	7.71
184	7.87～7.76	0.36	7.78～7.77
185	7.86～7.83	0.27	7.84～7.83
186	7.87	0.21	7.83～7.81
187	7.87～7.79	0.56	7.52～7.50
188	7.78～7.76	0.28	7.71～7.69
189	7.81～7.77	0.30	7.66～7.65
190	7.79～7.77	0.25	7.66～7.63

遺構 NO	上端 レベル	上端 最大径	底面レベル
5 面			
191	7.86 ～ 7.79	0.9	7.74
192	7.86	0.37	7.74 ～ 7.73
193	7.85 ～ 7.83	0.10	7.66 ～ 7.65
194	7.82 ～ 7.81	0.11	7.92
195	7.87 ～ 7.85	0.20	7.81 ～ 7.79
196	7.83 ～ 7.80	0.32	7.67 ～ 7.64
197	7.83 ～ 7.81	0.28	7.62 ～ 7.61
198	7.90 ～ 7.87	0.53	7.80 ～ 7.76
199	7.56 ～ 7.54	0.17	7.48
200	7.93 ～ 7.91	0.47	7.74 ～ 7.71
201	7.94 ～ 7.89	0.39	7.65 ～ 7.64
202	7.94 ～ 7.88	0.48	7.71 ～ 7.69
203	7.94 ～ 7.91	0.30	7.82
204	7.99 ～ 7.91	0.63	7.79 ～ 7.73
205	7.98 ～ 7.95	0.59	7.82 ～ 7.80
206	7.95	0.38	7.87 ～ 7.82
207	7.95 ～ 7.92	0.42	7.82
208	7.99 ～ 7.94	0.51	7.82 ～ 7.80
209	7.99 ～ 7.95	0.48	7.88 ～ 7.86
210	7.95 ～ 7.91	0.55	7.90 ～ 7.85
211	7.78 ～ 7.76	0.45	7.63 ～ 7.61
212	7.84 ～ 7.72	1.39	7.51 ～ 7.47
213	7.84 ～ 7.79	1.12	7.72 ～ 7.66
214	7.82 ～ 7.72	2.37	7.64 ～ 7.48
215	7.87 ～ 7.74	2.40	7.74 ～ 7.38
216	7.72 ～ 7.69	0.66	7.71 ～ 7.68
217	7.86 ～ 7.81	0.79	7.66 ～ 7.59
218	7.86 ～ 7.81	1.30	7.80 ～ 7.75
219	7.88 ～ 7.85	1.38	7.86 ～ 7.76
220	7.88 ～ 7.83	0.80	7.83 ～ 7.79
221	7.91 ～ 7.88	0.78	7.85 ～ 7.83
222	7.93 ～ 7.78	2.07	7.73 ～ 7.56
223	7.81 ～ 7.72	0.54	7.62 ～ 7.55
224	7.83 ～ 7.82	0.99	7.82 ～ 7.72
225	7.93 ～ 7.85	1.51	7.49 ～ 7.37
226	7.77 ～ 7.73	1.34	7.68 ～ 7.63
227	7.93 ～ 7.90	1.55	7.78 ～ 7.73
228	7.88 ～ 7.87	0.70	7.70 ～ 7.67
229	7.99 ～ 7.82	1.00	7.48 ～ 7.43
230	7.99 ～ 7.83	1.80	7.82 ～ 7.62
231	7.93 ～ 7.69	1.39	7.60 ～ 7.56
232	7.95 ～ 7.63	1.42	7.60 ～ 7.52
233	7.96 ～ 7.94	0.83	7.94 ～ 7.84
234	7.79 ～ 7.76	0.92	7.69 ～ 7.64
235	7.80 ～ 7.75	1.25	7.61 ～ 7.56
236	7.81 ～ 7.78	1.47	7.60 ～ 7.50
237	7.82 ～ 7.77	2.05	7.58 ～ 7.45
238	7.96 ～ 7.76	3.67	7.66 ～ 7.58
236	7.29 ～ 7.28	0.30	7.16
237	7.37 ～ 7.33	0.40	7.30
238	7.43 ～ 7.37	0.62	7.17
5b 面			
239	7.42 ～ 7.41	0.60	7.13 ～ 7.12
240	7.64 ～ 7.62	0.35	7.59 ～ 7.56
241	7.65 ～ 7.59	0.40	7.55 ～ 7.53
242	7.78 ～ 7.76	0.31	7.74 ～ 7.72
243	7.79 ～ 7.77	0.35	7.75 ～ 7.72
244	7.79 ～ 7.77	0.29	7.67 ～ 7.65
245	7.82 ～ 7.76	0.38	7.64 ～ 7.63
246	7.80 ～ 7.76	0.25	7.71 ～ 7.70
247	7.74 ～ 7.73	0.48	7.60 ～ 7.59
249	7.79 ～ 7.73	0.68	7.54 ～ 7.52
250	7.67 ～ 7.56	1.09	7.54 ～ 7.51
251	7.58 ～ 7.57	1.02	7.54 ～ 7.50
252	7.59 ～ 7.57	0.60	7.53 ～ 7.50
253	7.62 ～ 7.54	1.05	7.41 ～ 7.38
254	7.61 ～ 7.57	0.99	7.44 ～ 7.40

遺構 NO	上端 レベル	上端 最大径	底面レベル
5b 面			
255	7.72 ～ 7.62	0.44	7.62 ～ 7.58
256	7.76 ～ 7.74	0.80	7.67 ～ 7.65
257	7.79 ～ 7.75	0.50	7.76 ～ 7.71
258	7.78 ～ 7.74	0.79	7.70 ～ 7.67
259	7.74 ～ 7.59	1.09	7.51 ～ 7.48
260	7.75 ～ 7.62	0.68	7.45 ～ 7.38
261	7.62 ～ 7.61	0.99	7.52 ～ 7.47
262	7.77 ～ 7.61	1.84	7.59 ～ 7.52
263	7.75 ～ 7.68	0.89	7.68 ～ 7.61
264	7.57 ～ 7.55	1.25	7.49 ～ 7.44
6 面			
265	7.56 ～ 7.53	0.43	7.42 ～ 7.39
266	7.56 ～ 7.52	0.34	7.48 ～ 7.44
267	7.59 ～ 7.58	0.38	7.54 ～ 7.49
268	7.68 ～ 7.66	0.34	7.63 ～ 7.61
269	7.64 ～ 7.63	0.34	7.58 ～ 7.56
270	7.61 ～ 7.64	0.29	7.56
271	7.64 ～ 7.63	0.36	7.59 ～ 7.55
272	7.59 ～ 7.48	0.90	7.34 ～ 7.29
273	7.57 ～ 7.50	0.88	7.50 ～ 7.49
274	7.59 ～ 7.52	0.63	7.52 ～ 7.41
275	7.64 ～ 7.57	1.83	7.58 ～ 7.48
276	7.62 ～ 7.57	0.70	7.39 ～ 7.37
277	7.62 ～ 7.58	1.21	7.57 ～ 7.50
278	7.69 ～ 7.65	0.67	7.60 ～ 7.50
279	7.66 ～ 7.63	1.18	7.52 ～ 7.45
280	6.67 ～ 6.59	0.52	7.48
281	7.69 ～ 7.64	0.55	7.60 ～ 7.56
282	7.58 ～ 7.43	1.31	7.41 ～ 7.30
283	7.59 ～ 7.52	1.26	7.37 ～ 7.34
284	7.55 ～ 7.48	0.73	7.44 ～ 7.41
285	7.51 ～ 7.38	1.70	7.27 ～ 7.20

表４　自然遺物集計表

No.	面	遺構	数量	部位等	備考
1		表土他	1	中節骨	ウシか
2		表土他	4	ウマ歯	
3		表土他	1	不明	
4	1	5	1	ウシかウマか	
5	1	23	1	不明	
6	1	30	1	腰椎	イルカ
7	1	遺構外	1	不明	
8	1	構成土	2	肋骨	哺乳類
9	1	構成土	5	不明	
10	2	32	1	不明	
11	2	47	1	肋骨	小動物
12	2	59	1	不明	
13	2	64	1	距骨か	シカ
14	2	72	1	大腿骨	ネズミ
15	2	72	1	脛骨	ネズミ
16	2	72	1	寛骨	ネズミ
17	2	72	1	不明	
18	2	72	1	不明	鳥類か
19	2	73	1	頸椎	イヌか
20	2	78	1	脛骨	ノウサギ
21	2	遺構外	1	不明	
22	2	構成土	1	尺骨	イヌ
23	2	構成土	1	上腕骨	
24	2	構成土	2	寛骨	
25	2	構成土	1	肋骨	小動物
26	2	構成土	4	加工骨	
27	2	構成土	2	不明	鳥類か
28	2	構成土	10	不明	
29	2	構成土	1	椎骨	
30	3	81	6	不明	
31	3	81	2	不明	哺乳類
32	3	99	1	上腕骨	イノシシ
33	3	109	1	橈骨	
34	3	109	1	不明	
35	3	112	1		クジラか
36	3	113	1	不明	鳥
37	3	113	1	不明	
38	3	114	1	加工骨片	
39	3	116	1	末節骨か	ウシ
40	3	116	1	鳥類か	
41	3	119	3	腰椎	イルカ
42	3	123	2	不明	
43	3	125	1	下顎骨	ウマ
44	3	125	1	脛骨	ウマ
45	3	125	1	下顎骨＋歯	ウマ
46	3	126	1	不明	
47	3	遺構外	1	不明	
48	3	構成土	1	腰椎か	
49	3	構成土	4	橈骨	
50	3	構成土	1	中足骨	不明
51	3	構成土	2	寛骨	
52	3	構成土	1	距骨か	シカか
53	3	構成土	1	肋骨	
54	3	構成土	2	加工骨	
55	3	構成土	1	加工骨	炭化
56	3	構成土	15	不明	小片
57	4	132	1	肩甲骨	ウシ
58	4	134	1	不明	
59	4	140	1	基節骨	ウマ
60	4	152	2	軸椎	ウマ
61	4	152	11	腰椎	クジラか
62	4	152	1	胸椎か	イルカか
63	4	155	1	基節骨	ウマ
64	4	156	1	胸椎	イヌか
65	4	158	1	肋骨か	哺乳類
66	4	161	1	胸椎	イルカ
67	4	160	1	肩甲骨	
68	4	163	1	不明	哺乳類
69	4	164	1	不明	ノウサギか
70	4	164	1	不明	鳥類
71	4	166	1	上腕骨	ニワトリ
72	4	166	1	鳥類不明	
73	4	171	1	橈骨	シカ
74	4	177	1	不明	ウシか

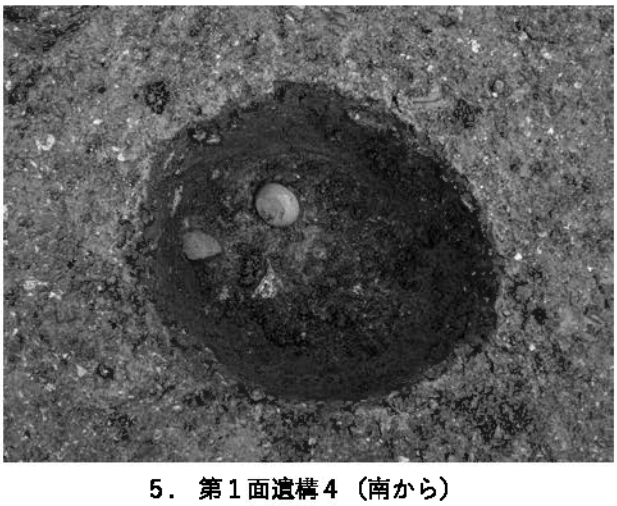
No.	面	遺構	数量	部位等	備考
75	4	177	1	肋骨か	哺乳類
76	4	178	1	胸椎	イルカ
77	4	178	1	胸椎か	イルカ
78	4	構成土	1	基節骨	ウシ
79	4	構成土	1	肩甲骨	
80	4	構成土	1	大腿骨	シカ
81	4	構成土	7	肋骨	
82	4	構成土	7	不明	
83	4	構成土	1	腰椎	クジラか
84	5a	214	1	クジラ椎骨か	
85	5a	214	3	頭蓋骨	ヒトか
86	5a	214	1	頭蓋片＋歯	ウマ
87	5a	214	1	上腕骨	ウシ
88	5a	214	1	肋骨	
89	5a	214	7	不明	
90	5a	215	1	ウシ大腿骨	
91	5a	215	1	イルカ胸椎	
92	5a	215	2	不明	
93	5a	222	2	頭蓋骨	ヒト
94	5a	222	1	歯	ヒト
95	5a	222	1	中節骨	ウマ
96	5a	222	1	肋骨	
97	5a	222	1	胸椎	イルカ
98	5a	222	1	不明	イルカ
99	5a	222	3	不明	
100	5a	222	3	ウマ肩甲骨か	
101	5a	226	1	肋骨	
102	5a	226	1	腰椎	イルカか
103	5a	226	1	魚骨不明	
104	5a	227	1	頭蓋骨か加工痕	ウシ
105	5a	227	1	肩甲骨	小動物
106	5a	227	3	不明	
107	5a	230	1	脛骨か	小動物
108	5a	230	1	不明	哺乳類か
109	5a	230	3	腰椎	イルカ
110	5a	230	1	不明	鳥類
111	5a	233	1	大腿骨か	
112	5a	233	1	脛骨か	
113	5a	233	4	距骨か	
114	5a	233	1	椎骨	サメ
115	5a	234	1	不明	哺乳類
116	5a	237	1	上腕骨	イヌ
117	5a	238	1	不明	
118	5a	238	2	不明	鳥類
119	5a	遺構外	1	シカ大腿骨	
120	5a	遺構外	2	不明	
122	5a	構成土	1	中足骨	ウマ
123	5a	構成土	2	胸椎	イルカ
124	5a	構成土	1	不明	
125	5a	構成土	1	不明	動物
126	5b	249	1	大腿骨	ウシ
127	5b	249	1	不明	
128	5b	253	1	椎骨	サメ
129	5b	254	1	不明	
130	5b	構成土	2	不明	
131	5b	構成土	1	前上顎骨	マダイ
132	5b	構成土	1	肩甲骨	不明
133	5b	構成土	2	不明	
134	5b	構成土	1	距骨	ウマ
135	5b	構成土	1	不明	小動物
136	6	268	3	不明	
137	6	285	1		果核

１．調査区周辺（南西から）

２．２区第１面全景

３．２区第１面全景（北から）

４．１区第１面全景（北から）



５．第１面遺構４（南から）

６．第１面遺構 29（北から）

１．２区第２面全景（北から）

２．１区第２面全景（北から）

３．第２面遺構 73（東から）

４．第２面遺構 81（北から）

５．２区第３面全景（北から）

６．１区第３面全景（北から）

２．第３面遺構 111（東から）

３．第３面遺構 116（西から）

４．第３面遺構 125（東から）

５．２区第４面全景（北から）

６．１区第４面全景（北から）

1． 第 4 面遺構 132・133（東から）

2． 第 4 面遺構 151（西から）

3． 第 4 面遺構 152（西から）

5． 2 区第 5a 面全景（北から）

6． 2 区第 5a 面全景（北から）

2． 第 5a 面遺構 206 ～ 209（東から）

6． 第 5a 面遺構 214（東から）

4． 第 5a 面遺構 215 温石出土状況（南から）

5． 第 5a 面遺構 222（東から）

3． 第 5a 面遺構 238（1 区）（西から）

4． 第 5a 面遺構 238（2 区）（西から）

1． 1 区第 5b 面全景（北から）

2． 2 区第 5b 面全景（北から）

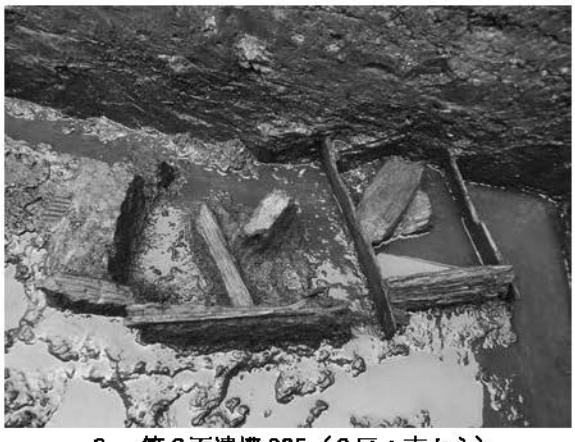
3． 第 6 面全景（北から）

4． 第 6 面全景（北から）

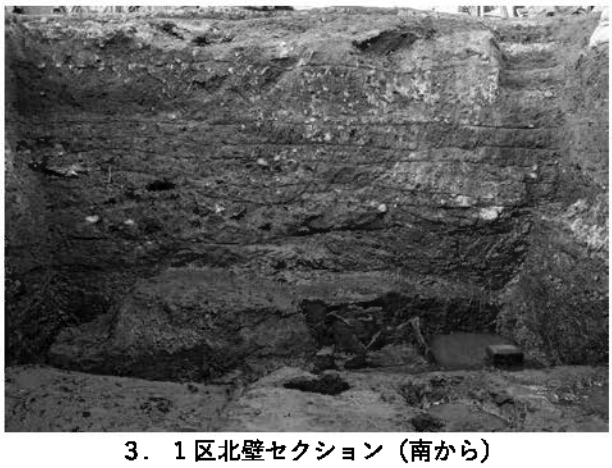
5． 第 6 面遺構 272（北から）

6． 第 6 面遺構 272（北から）

1．第 6 面遺構 285（1 区：南から）

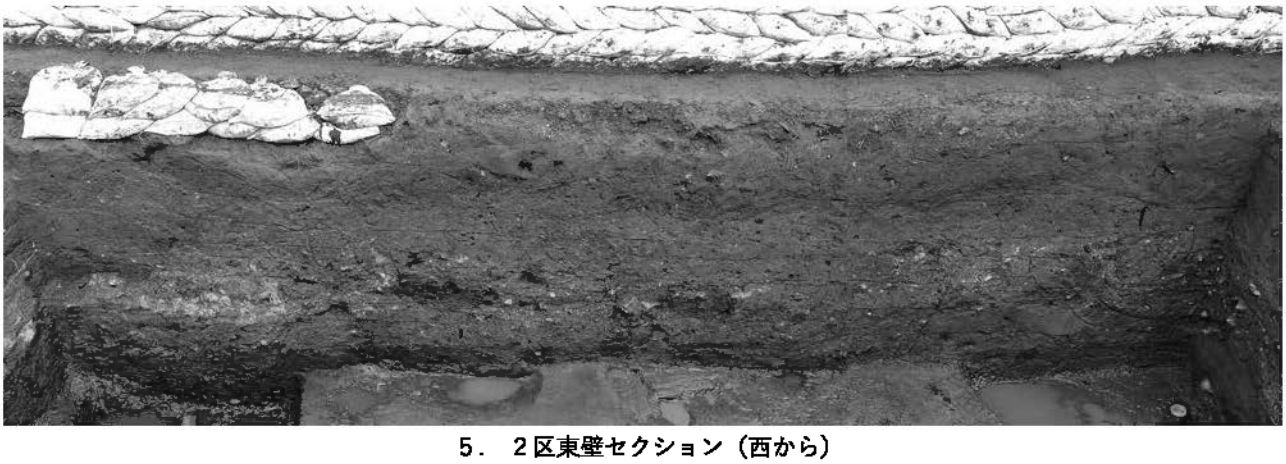


2．第 6 面遺構 285（2 区：東から）



3．1 区北壁セクション（南から）

4．2 区北壁セクション（南から）



5．2 区東壁セクション（西から）

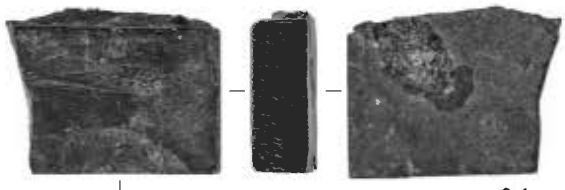
6．2 区南壁セクション（北から）

7．2 区南壁セクション（北から）

6-1

遺構 4

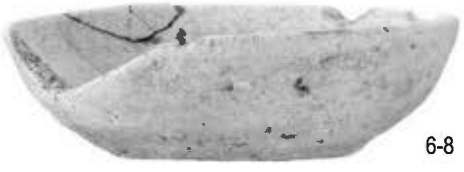
6-2


6-4

遺構 12

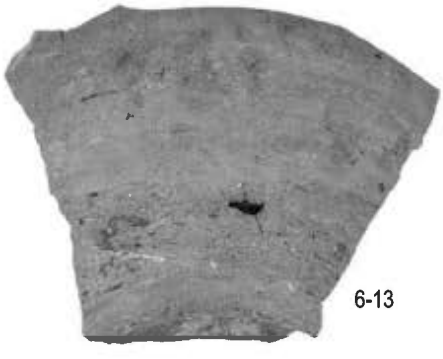
6-5

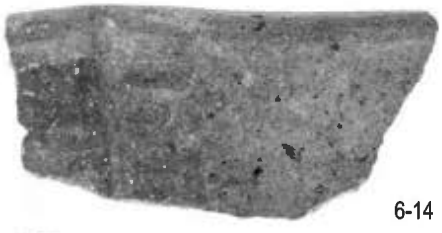
遺構 15


6-8

6-10

6-12


6-13

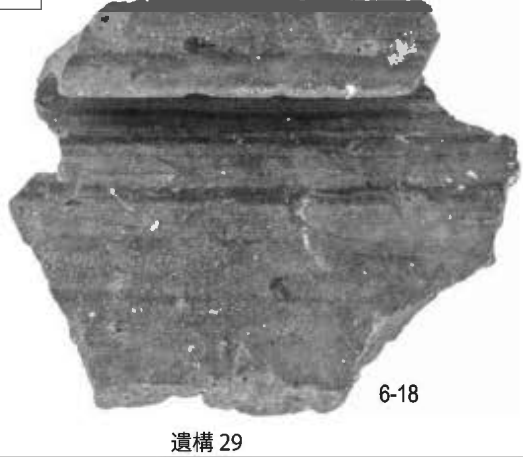

6-14

遺構 27

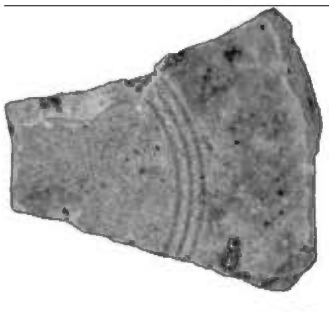
6-15

遺構 28

6-17


6-18

遺構 29



6-22

6-23

6-24

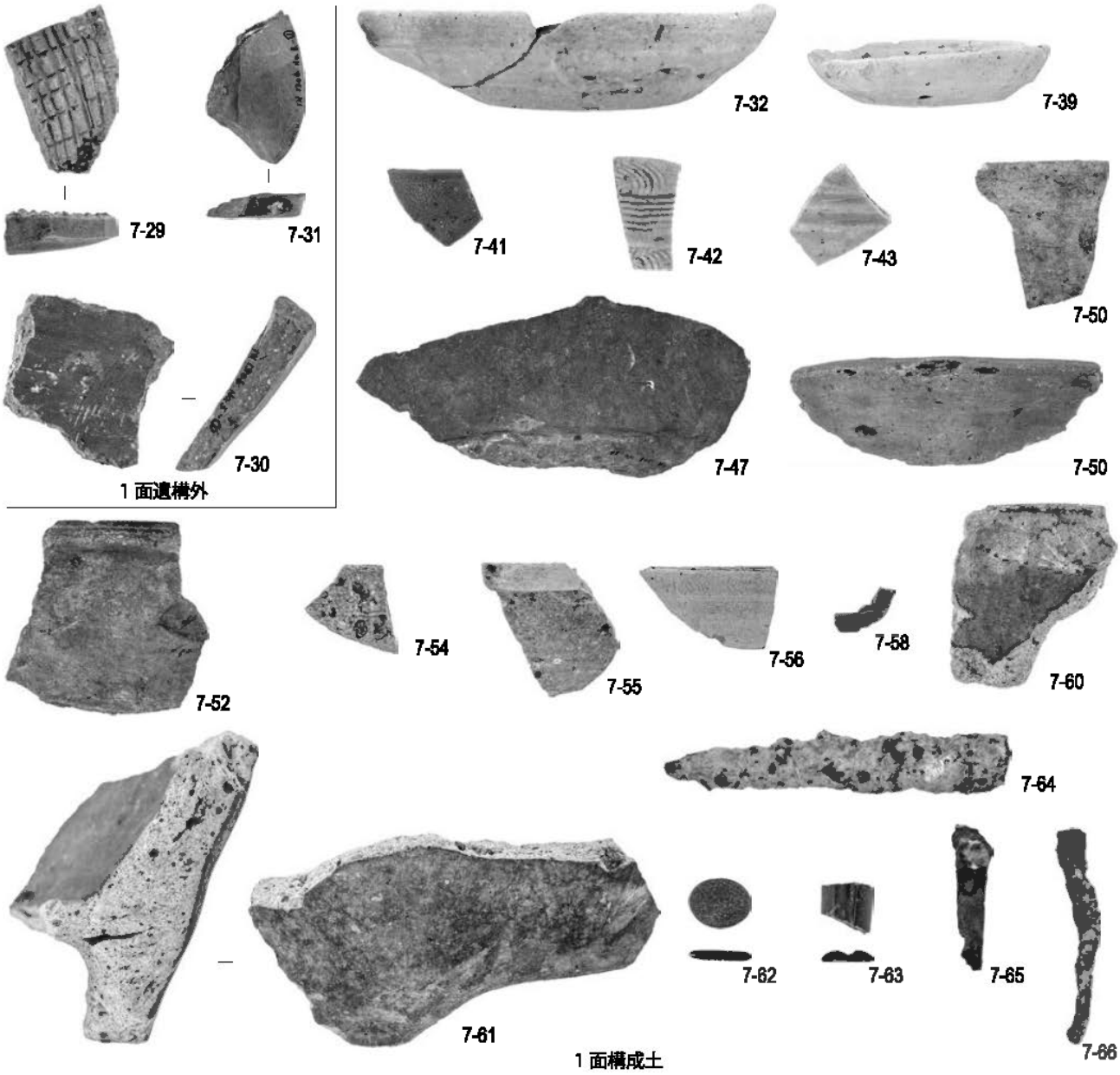
6-25

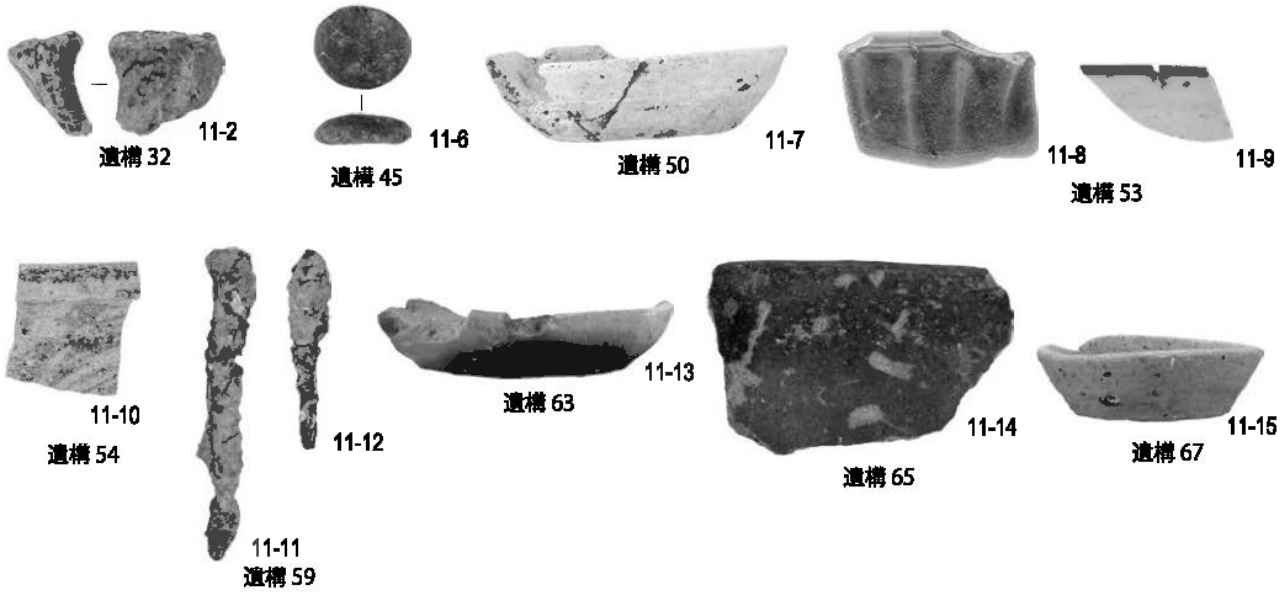
6-26

6-27

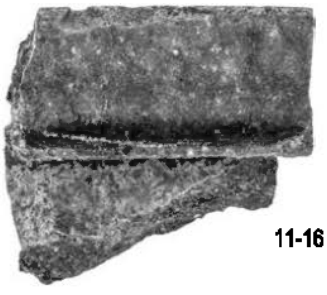
遺構 30

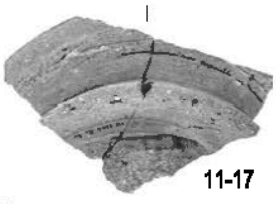
6-28


7-29
7-31
7-30
1 面遺構外
7-32
7-39
7-41
7-42
7-43
7-50
7-47
7-50
7-52
7-54
7-55
7-56
7-58
7-60
7-64
7-61
7-62
7-63
7-65
7-66
1 面構成土


11-2
遺構 32
11-6
遺構 45
11-7
遺構 50
11-8
11-9
遺構 53
11-10
遺構 54
11-12
11-11
遺構 59
11-13
遺構 63
11-14
遺構 65
11-15
遺構 67

11-18


11-16


11-17

遺構 72

11-21

11-22

11-23

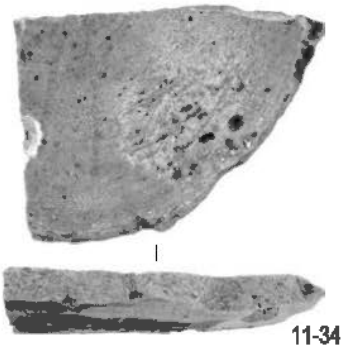
遺構 73

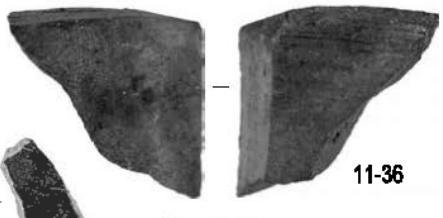
11-26

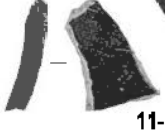
遺構 78

11-27

11-29 11-30


11-34


11-36


11-35

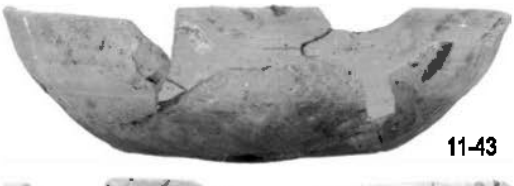
11-37

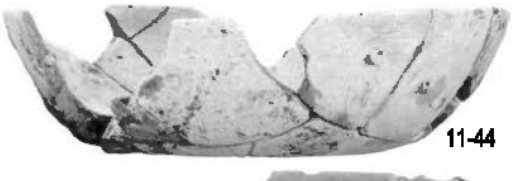
11-38

11-39

11-50

11-51

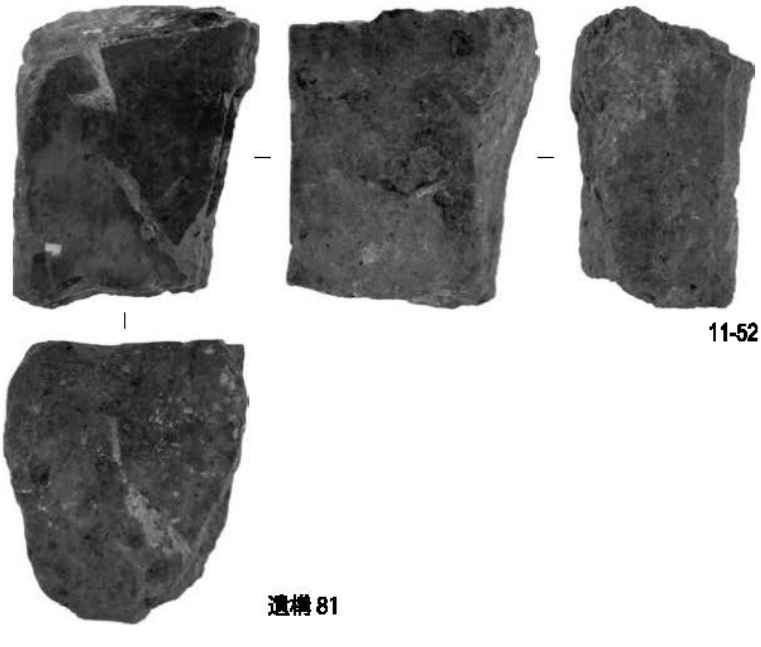

11-43


11-44

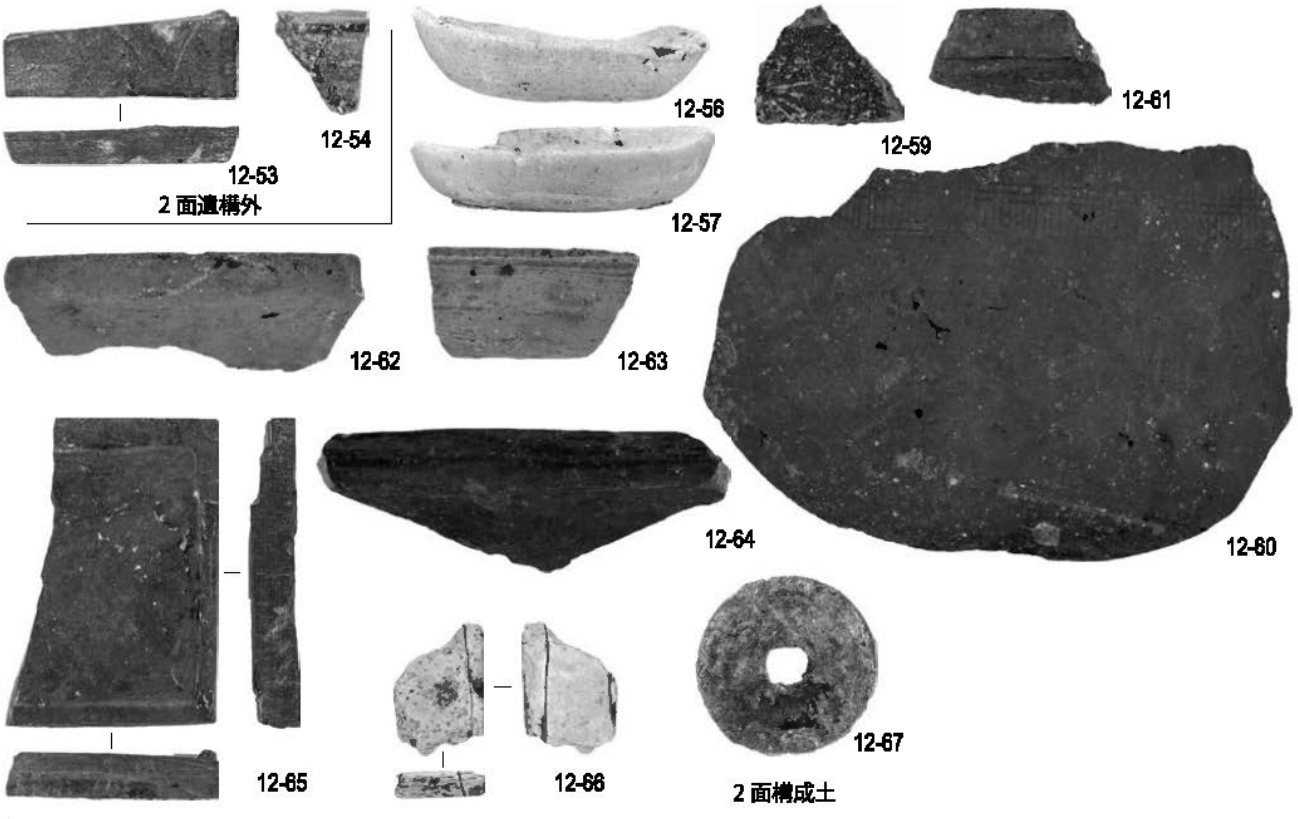
11-45

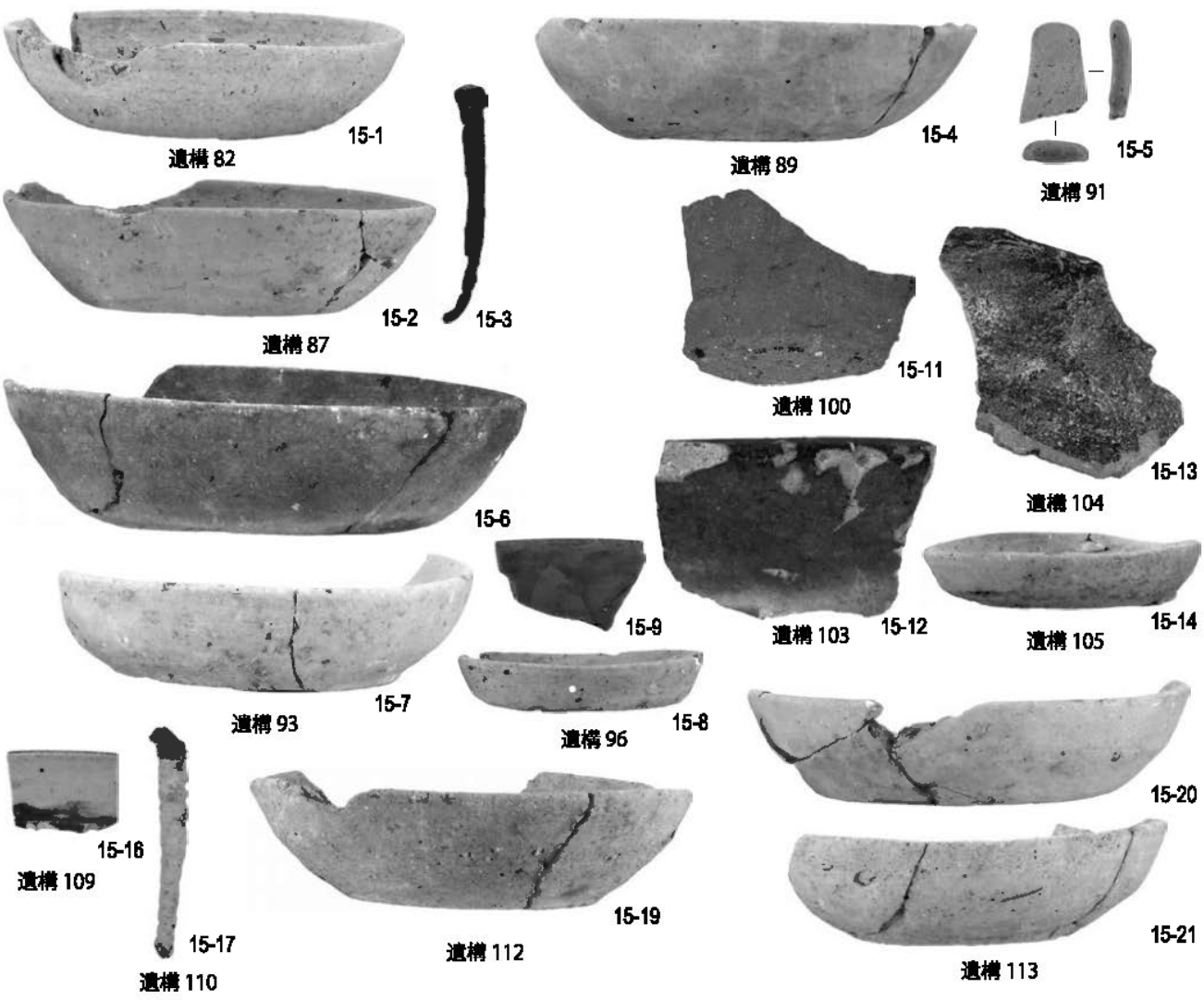
11-46

11-49


11-52

遺構 81

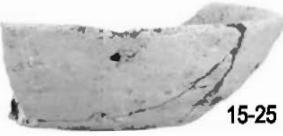

12-53
2 面遺構外
12-54
12-56
12-57
12-59
12-61
12-62
12-63
12-64
12-60
12-65
12-66
12-67
2 面構成土


15-1
遺構 82
15-2
15-3
遺構 87
15-4
遺構 89
15-5
遺構 91
15-6
15-7
遺構 93
15-8
遺構 96
15-9
15-11
遺構 100
15-12
遺構 103
15-13
遺構 104
15-14
遺構 105
15-16
遺構 109
15-17
遺構 110
15-19
遺構 112
15-20
15-21
遺構 113

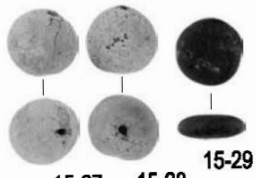
15-22
遺構 114

15-23
遺構 116

15-24


15-25

15-26


15-27 15-28 15-29
遺構 117

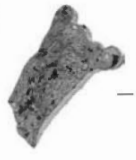
15-30

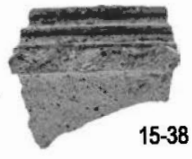
15-33
遺構 119

15-35

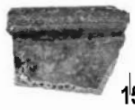
15-32
遺構 118

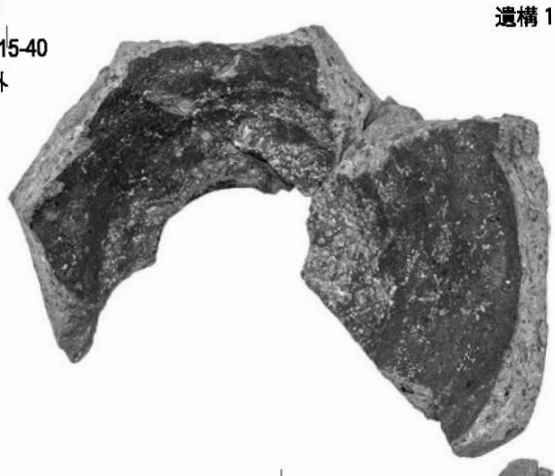
15-37




15-38
遺構 124

15-36
遺構 122


15-40
3 面遺構外



16-41

16-42

16-44

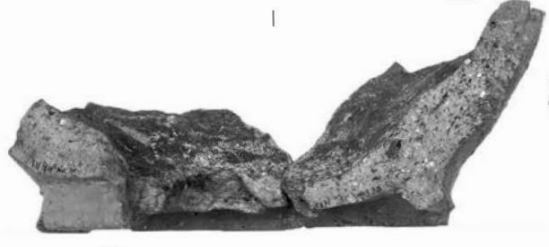
16-47

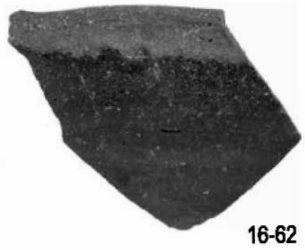
16-49

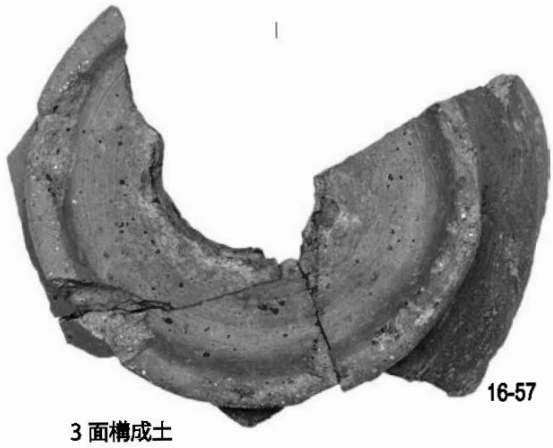
16-52

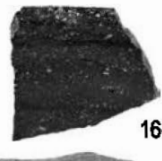
16-56

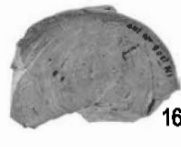
16-60




16-62


16-57
3 面構成土

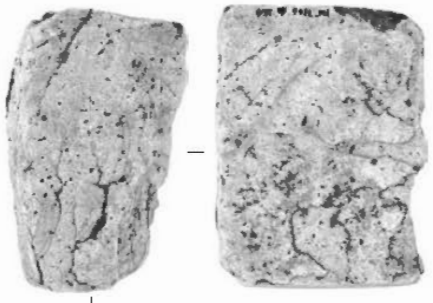

16-63


16-67

16-65

16-66

16-70 16-71 16-72

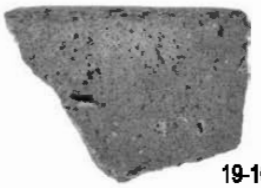

16-69

3 面構成土

19-8

19-9

遺構 134


19-10

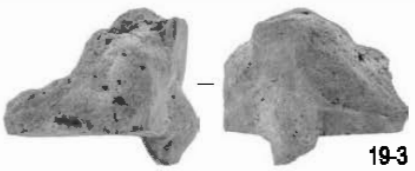
遺構 140

19-11

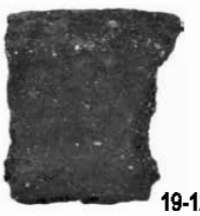
遺構 141

19-1

遺構 127


19-3

遺構 132


19-12

遺構 142

19-14

19-15

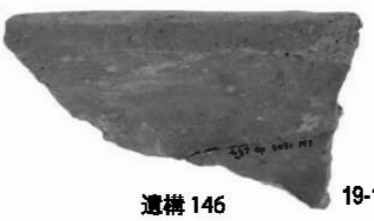
遺構 147

19-4

19-5

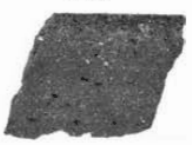
19-7

遺構 133

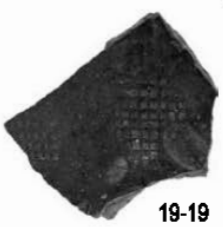

19-13

遺構 146

19-17

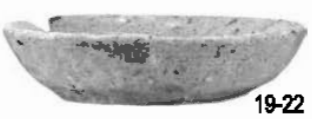

19-18

遺構 148


19-19

遺構 149

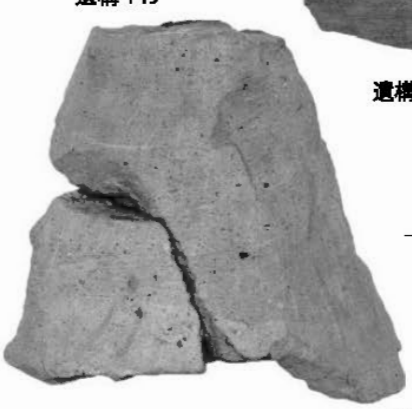
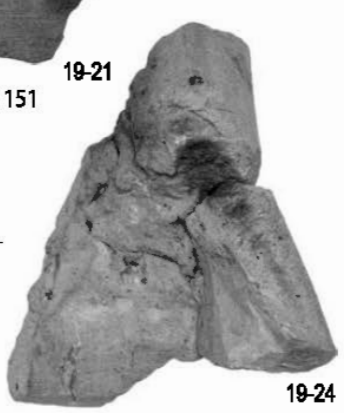
19-20


19-22

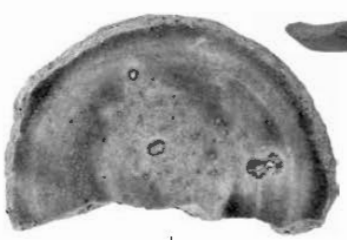
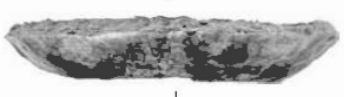
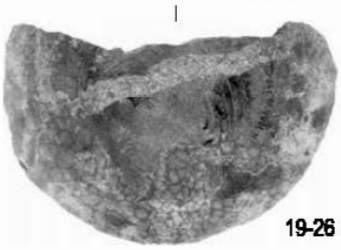
19-23

19-21

遺構 151



19-24

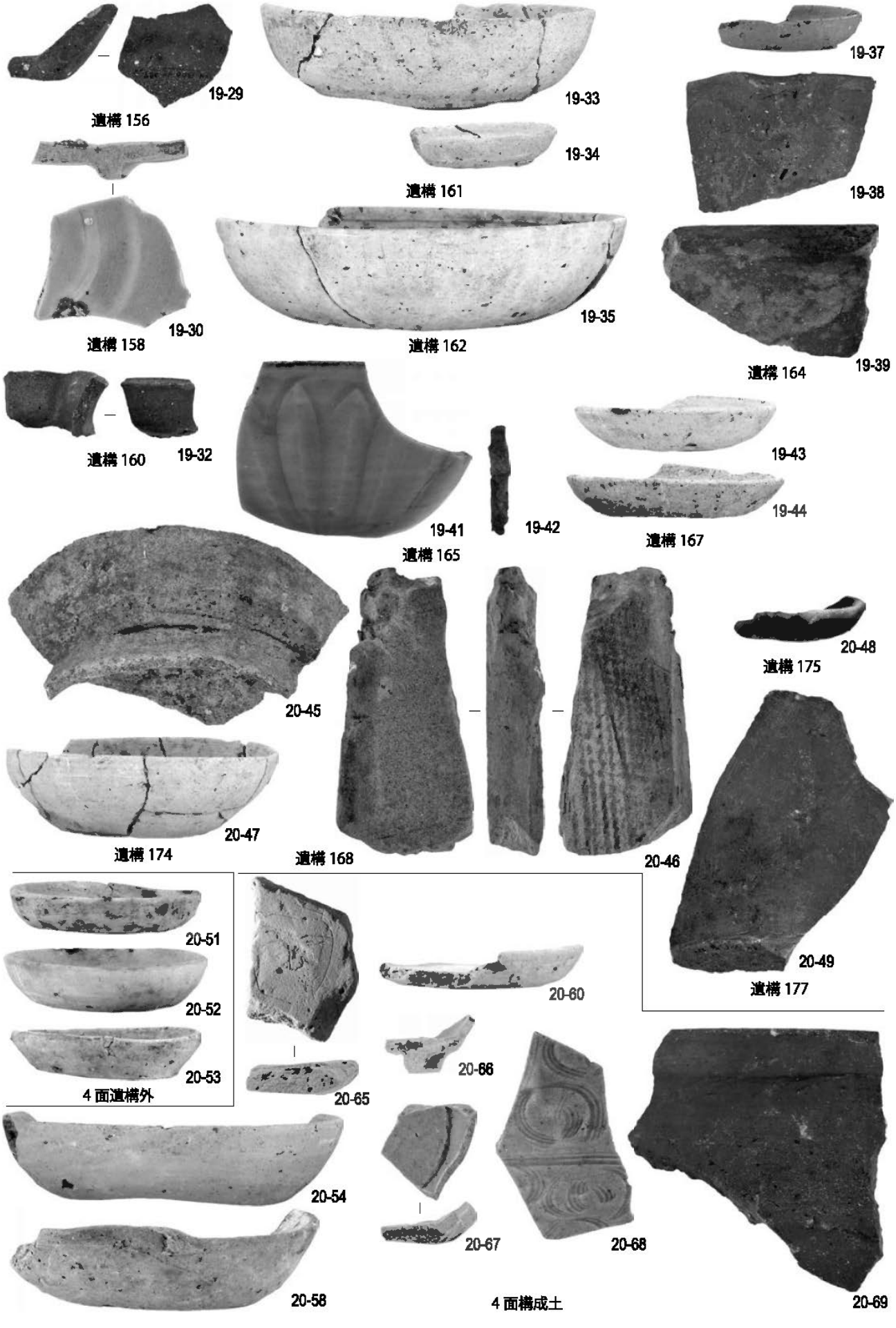
遺構 152




19-26

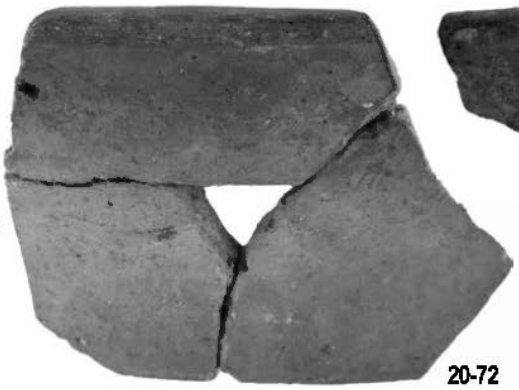
遺構 154

19-27

遺構 155


19-29
遺構 156
19-33
19-34
遺構 161
19-37
19-38
19-30
遺構 158
19-35
遺構 162
19-39
遺構 164
遺構 160
19-32
19-41
遺構 165
19-42
19-43
19-44
遺構 167
20-45
20-47
遺構 174
遺構 168
20-46
20-48
遺構 175
20-49
遺構 177
20-51
20-52
20-53
4 面遺構外
20-65
20-60
20-66
20-54
20-58
20-67
20-68
4 面構成土
20-69

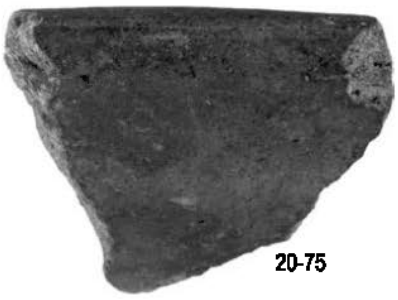
20-70

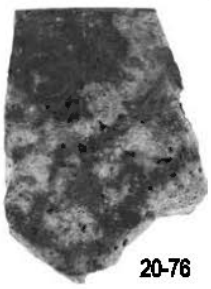

20-72

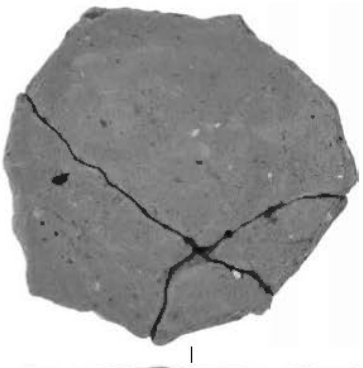
20-73

20-74

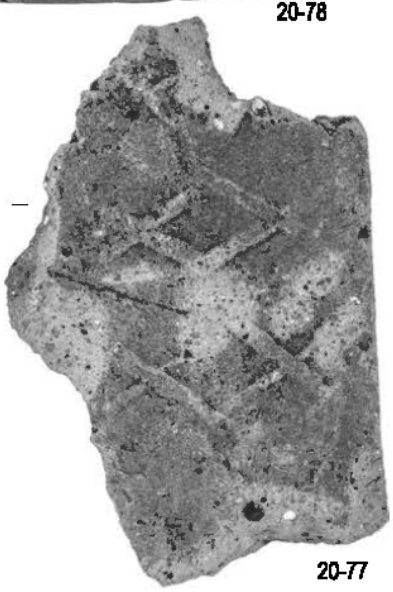
20-71

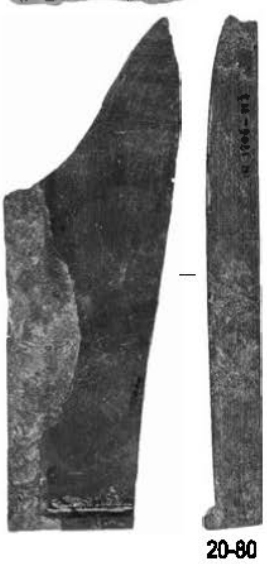

20-75

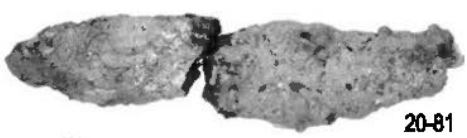

20-76


20-78

20-79


20-77


20-80


20-81

20-82 20-83

4 面構成土

24-1

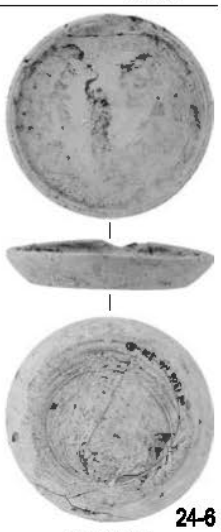
遺構 183

24-2

遺構 199

24-3

遺構 202


24-6

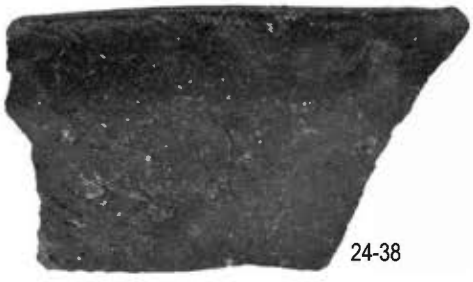
遺構 209

24-36

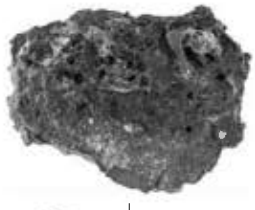
24-37

24-40

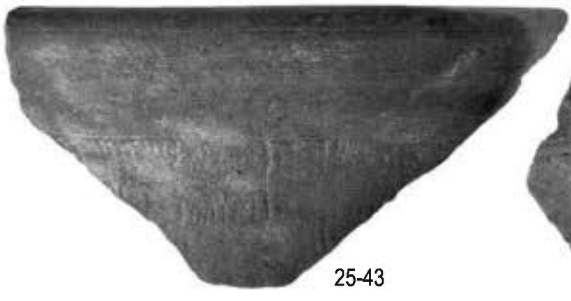
25-42

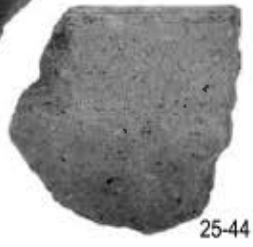

24-38

24-39



25-46


25-43


25-44

25-45

25-47

遺構 214

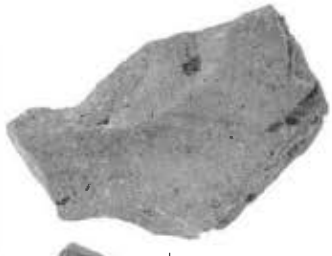
25-49

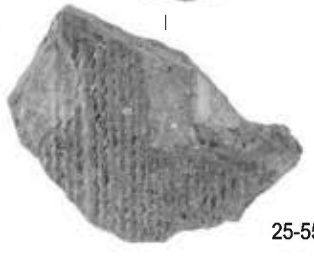
25-50

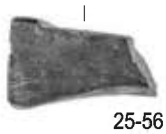
25-52

25-57

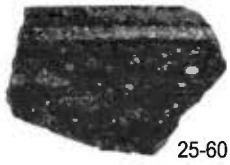
遺構 215

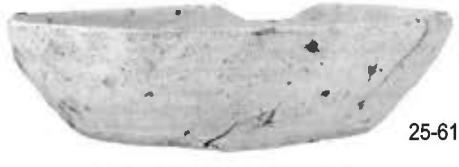



25-55


25-56

25-57


25-60


25-61

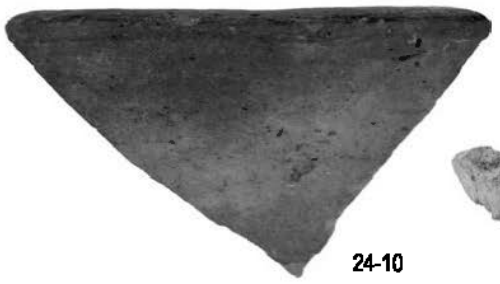
25-58

25-59

遺構 221

25-62

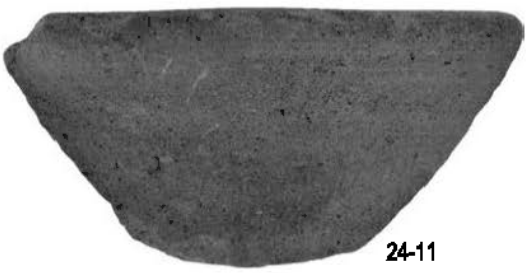
遺構 224

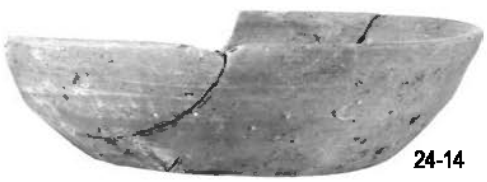

24-10

24-12

遺構 212

24-13


24-11


24-14

24-16

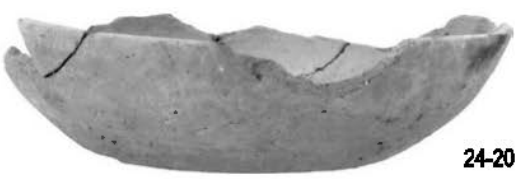
24-17

遺構 213

24-18

24-19

24-24

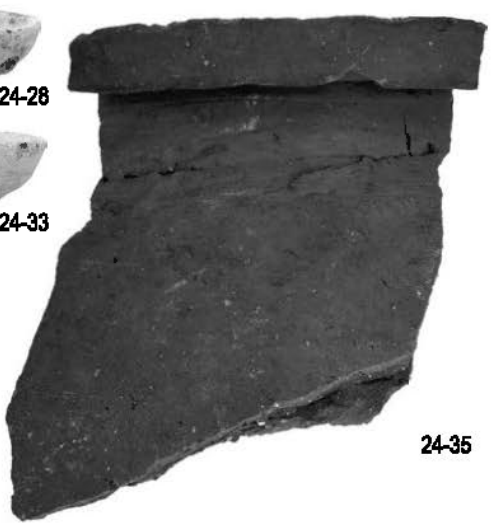

24-20

24-25

24-21

24-28

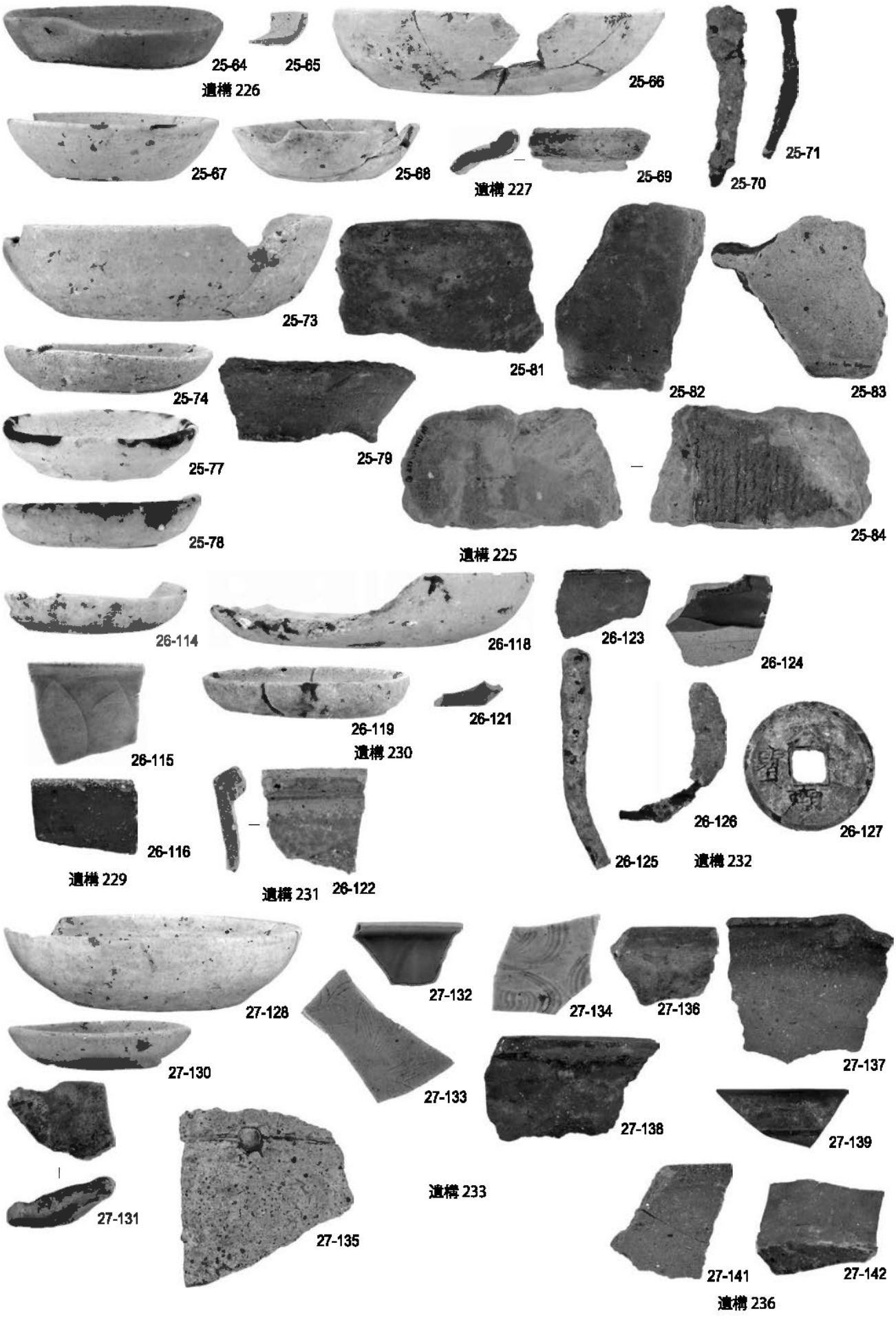
24-33


24-35

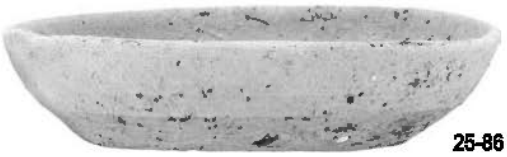
24-22

24-23

遺構 214

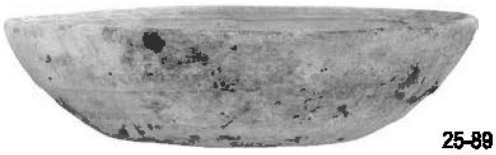

25-64
25-65
遺構 226
25-66
25-67
25-68
25-69
遺構 227
25-70
25-71
25-73
25-74
25-77
25-78
25-79
25-81
25-82
25-83
25-84
遺構 225
26-114
26-115
26-116
遺構 229
26-118
26-119
遺構 230
26-121
遺構 231
26-122
26-123
26-124
26-125
26-126
遺構 232
26-127
27-128
27-130
27-131
27-132
27-133
27-134
27-135
27-136
27-137
27-138
27-139
遺構 233
27-141
27-142
遺構 236

25-85


25-86

25-87

25-88

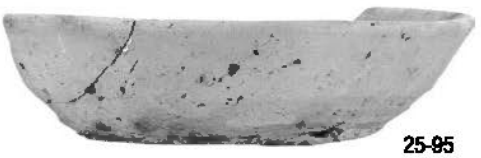

25-89

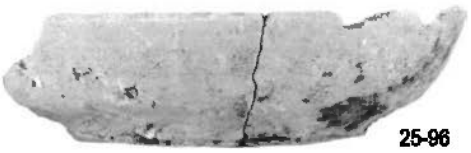
25-90

25-91

25-92

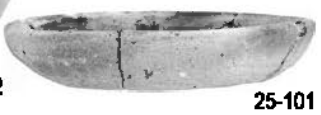
25-93


25-95


25-96

25-97

25-100


25-101

25-102

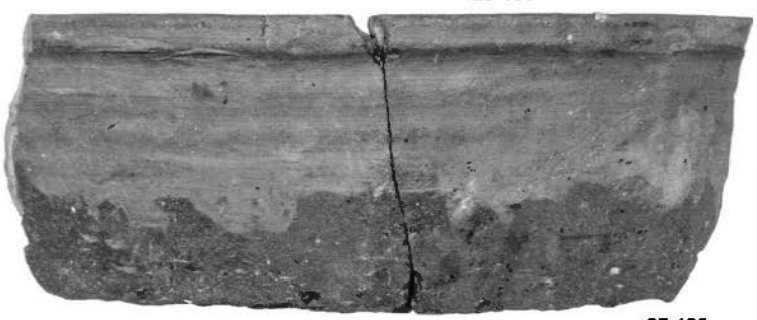
25-103

25-104

25-105

25-106

25-107


25-108

25-110

25-111

25-112

25-113

25-109

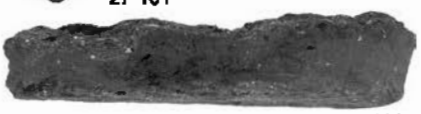
遺構 222

27-148

27-159

27-161

27-163


27-162

27-155

27-157

27-160

27-165

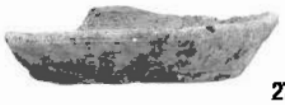
27-166

27-164

27-156

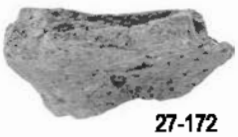
27-158

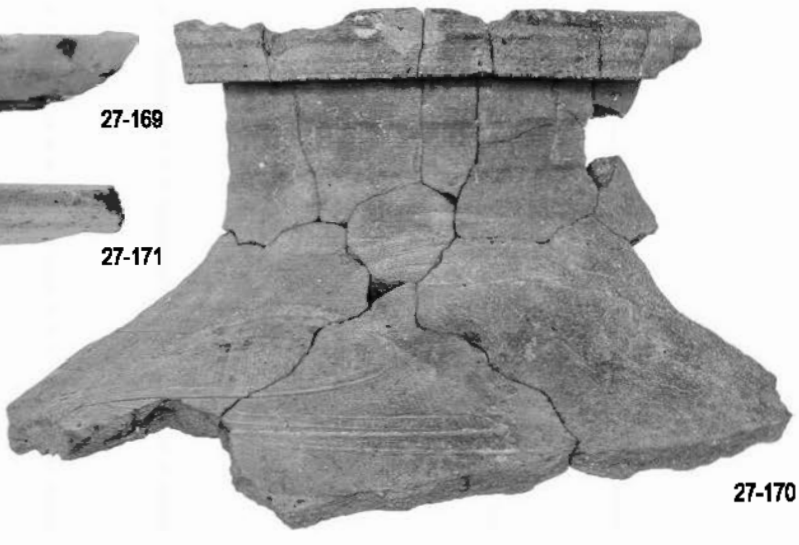
遺構 238

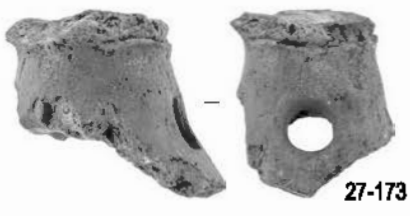

27-168

27-169

27-171

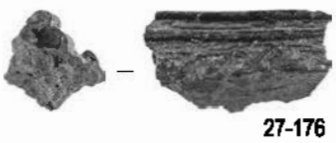

27-172


27-170

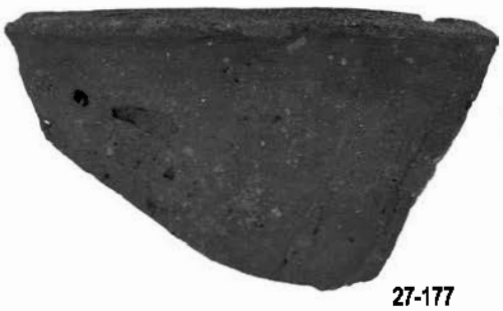

27-173

5a 面遺構外

27-174

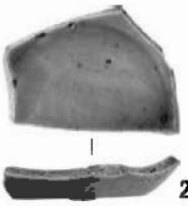

27-176

27-179

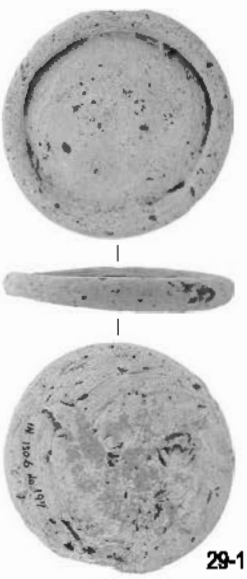

27-177

27-178

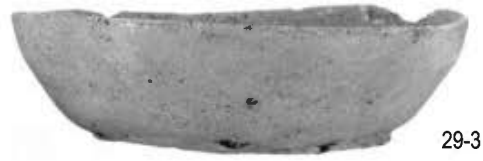
5a 面構成土


29-2

遺構 253


29-1

遺構 241

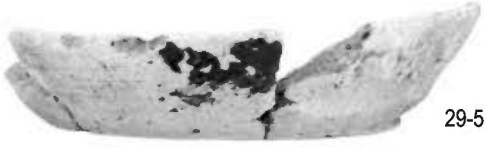

29-3

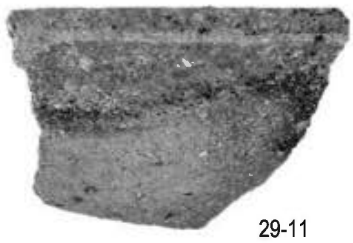
29-6

29-10

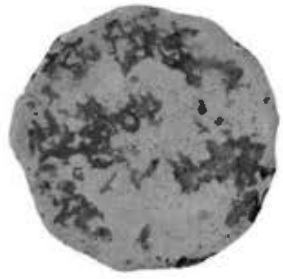
29-4

29-9


29-5


29-11

遺構 259


29-12

29-13

29-17

29-14

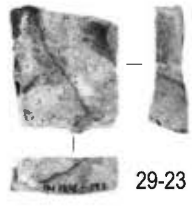
遺構 260

29-18

遺構 264

29-21

29-22


29-23

5b 面構成土

32-1

遺構 270

32-3

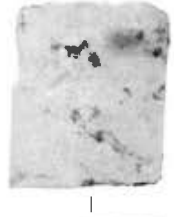
遺構 272

32-4

32-5

32-6

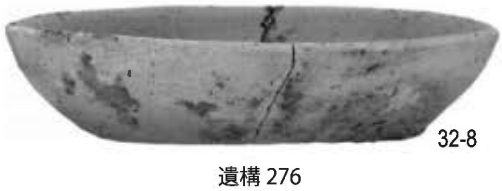
遺構 275


32-14

遺構 285

32-2

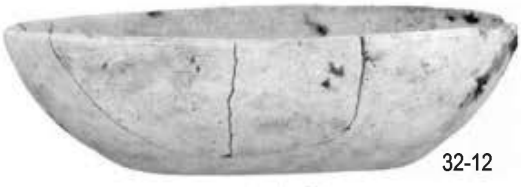
遺構 271


32-8

遺構 276

32-9

遺構 277

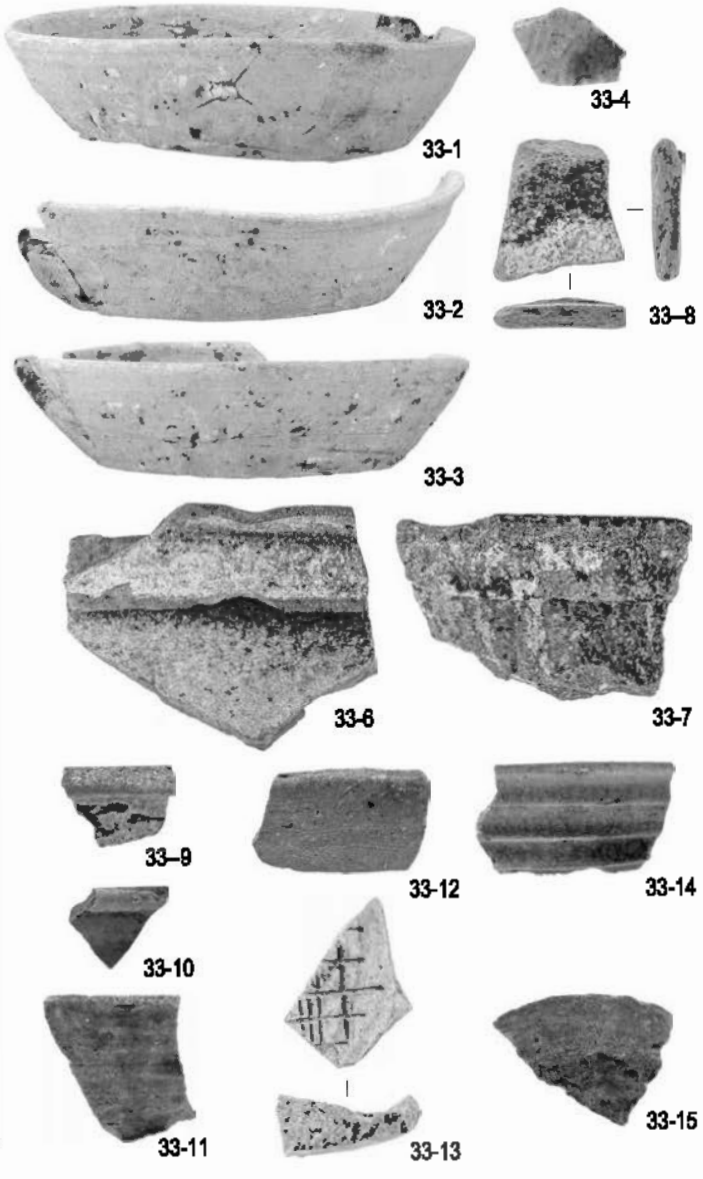

32-12

遺構 282

32-15

32-17

32-16


33-1
33-2
33-3
33-4
33-6
33-7
33-8
33-9
33-10
33-11
33-12
33-13
33-14
33-15

33-16
33-17
33-18
33-19

3
14
19
15
6
13
16
17
18
28
29
32
33
41
49
34
51
45
54
55
57
59
61
64
63
84
80
76
87
72
73
83
86
102
90
131
97
104
116
122
128
137

今小路西遺跡（No.201）

鎌倉市由比ガ浜一丁目160番8、10地点

例　言

1. 本報は鎌倉市由比ガ浜一丁目160番8、10地点に所在する遺跡の発掘調査報告である。
2. 発掘調査は個人住宅建築にかかる建築範囲約49㎡を対象とし、平成26年5月22日から9月19日にかけて実施した。
3. 現地における調査体制は以下の通りである。

調査担当者：後藤　健
調　査　員：岡田慶子・本城　裕・小野夏菜
作　業　員：安達越郎・久島忠敬・永野幹晴・松山豊司・吉澤功

4. 本報告作成は以下の分担により行った。

遺物実測：岡田慶子・松吉里永子・菊川泉・佐藤千尋・吉田麻子・吉田桂子
遺物図版作成：後藤　健・岡田慶子・松吉里永子・小野夏菜・栂岡渓音・吉田桂子
遺構図版作成：後藤　健・岡田慶子・松吉里永子
観　察　表：松吉里永子
遺構写真：後藤　健
遺物写真：須佐仁和
写真図版作成：後藤　健・岡田慶子・松吉里永子
執　　筆：後藤　健

5. 発掘に関わる出土品などの資料は鎌倉市教育委員会が管理・保管している。
6. 本報告の遺物図版の縮尺は以下の通りである。

遺物実測図1/3（一部1/4）　銭1/1　各挿図にはスケールを表示してある。

7. 遺物は可能な限り復元して実測した。紙面の都合からすべての実測図を掲載していない。遺物に関する詳細は観察表にまとめて記載。

・復原実測の遺物に関しては、計測値に（　　）を付して表記している。
・木製品のうち器形から用途を確実に判別できないものは「…状」として提示してある。
・文章中の「かわらけ」はロクロ成形のかわらけを指し、手づくね成形のかわらけは「手づくね」と記載している。
・ロクロ成形かわらけの底径は回転糸切りの外径部分で、手づくね成形かわらけの底径は、器面が接地した箇所で計測している。
・陶磁器に関しては、常滑は中野晴久氏、瀬戸製品に関しては藤澤良祐氏、磁器は山本信夫氏の編年に基づいて分類した。破片のため不明なものについては割愛した。

8. 発掘調査及び報告書作成に関しては次の方々よりご教授、ご協力を賜りました。記して深く感謝いたします。（敬称略・五十音順）

伊丹まどか、汐見一夫、原　廣志、馬淵和雄

目　次

本文目次

第一章　調査地点の位置と歴史的環境 284

第1節　歴史・地理的環境 284
第2節　周辺地点の調査 284
第3節　調査の方法と経緯 287
第4節　堆積土層 288

第二章　発見された遺構と遺物 291
第1節　第1a面の遺構と遺物 291
第2節　第1b面の遺構と遺物 293
第3節　第2面の遺構と遺物 296
第4節　第3面の遺構と遺物 300
第5節　第4面の遺構と遺物 306
第6節　第5面の遺構と遺物 313
第7節　第6a面の遺構と遺物 322
第8節　第6b面の遺構と遺物 324
第9節　第6c面の遺構と遺物 327
第10節　第7a面の遺構と遺物 330
第11節　第7b面の遺構と遺物 334
第12節　第8面の遺構と遺物 336

第三章　近現代の遺構と遺物 368

第四章　考察とまとめ 388

挿図目次

図1　調査地点と周辺の遺跡 285
図2　調査位置とグリッド配置図 287
図3　調査区東壁堆積土層図 289
図4　第1a面全体図 291
図5　第1a面遺構および構成土出土遺物 292
図6　第1b面全体図 294
図7　第1b面遺構および遺構外出土遺物 295
図8　第1b面遺構個別図 296
図9　第2面全体図 297
図10　第2面遺構個別図 298

図 11　第 2 面遺構および構成土出土遺物 …… 299
図 12　第 3 面全測図 …… 301
図 13　第 3 面遺構個別図 …… 302
図 14　第 3 面遺構出土遺物 …… 303
図 15　第 3 面構成土出土遺物 …… 304
図 16　第 4 面全体図 …… 307
図 17　第 4 面遺構個別図 …… 308
図 18　第 4 面遺構出土遺物（1） …… 309
図 19　第 4 面遺構出土遺物（2） …… 310
図 20　第 4 面構成土出土遺物 …… 311
図 21　第 5 面全体図 …… 313
図 22　第 5 面遺構個別図（1） …… 314
図 23　第 5 面遺構出土遺物（1） …… 315
図 24　第 5 面遺構個別図（2） …… 316
図 25　第 5 面遺構出土遺物（2） …… 317
図 26　第 5 面遺構出土遺物（3） …… 318
図 27　第 5 面遺構出土遺物（4） …… 319
図 28　第 5 面遺構外および構成土出土遺物 …… 320
図 29　第 6a 面全体図 …… 323
図 30　第 6a 面遺構個別および出土遺物 …… 324
図 31　第 6b 面全体図 …… 325
図 32　第 6b 面出土遺物 …… 326
図 33　第 6c 面全体図 …… 328
図 34　第 6c 面遺構個別および出土遺物 …… 329
図 35　第 7a 面全体図 …… 330
図 36　第 7a 面遺構個別および出土遺物 …… 331
図 37　第 7a 面遺構出土遺物 …… 332
図 38　第 7a 面構成土出土遺物 …… 333
図 39　第 7b 面全体図 …… 334
図 40　第 7b 面遺構および構成土出土遺物 …… 335
図 41　第 8 面全体図 …… 336
図 42　第 8 面遺構個別図 …… 337
図 43　第 8 面遺構出土遺物（1） …… 338
図 44　第 8 面遺構出土遺物（2） …… 339
図 45　第 8 面遺構および遺構外出土遺物 …… 341
図 46　近現代遺構全体図 …… 368
図 47　近現代遺構 5 ～ 8 出土遺物（1） …… 370
図 48　近現代遺構 5 ～ 8 出土遺物（2） …… 371
図 49　近現代遺構 12 出土遺物（1） …… 372
図 50　近現代遺構 12 出土遺物（2） …… 373
図 51　近現代遺構 12 出土遺物（3） …… 374
図 52　近現代遺構 12 出土遺物（4） …… 375
図 53　近現代遺構 12 出土遺物（5） …… 376
図 54　近現代遺構 12 出土遺物（6） …… 377
図 55　近現代遺構 12 出土遺物（7） …… 378
図 56　近現代遺構 16 出土遺物（1） …… 379
図 57　近現代遺構 16 出土遺物（2） …… 380
図 58　近現代遺構 17 出土遺物 …… 381
図 59　近現代遺構 20 出土遺物（1） …… 382
図 60　近現代遺構 20 出土遺物（2） …… 383

図 61　近現代遺構 20 出土遺物（3）　384
図 62　近現代遺構 20 出土遺物（4）　385
図 63　近現代遺構 20 出土遺物（5）　386
図 64　近現代遺構 20 出土遺物（6）　387

表　目　次

表 1　中世出土遺物観察表　342
表 2　出土遺物集計表　360
表 3　遺構計測表　364
表 4　自然遺物集計表　367
表 5　近代遺物陶磁器観察表　392
表 6　近代遺物ガラス製品観察表　395
表 7　近代遺物その他観察表　398

図　版　目　次

写真図版 1　399
写真図版 2　400
写真図版 3　401
写真図版 4　402
写真図版 5　403
写真図版 6　404
写真図版 7　405
写真図版 8　406
写真図版 9　407
写真図版 10　408
写真図版 11　409
写真図版 12　410
写真図版 13　411
写真図版 14　412
写真図版 15　413
写真図版 16　414
写真図版 17　415
写真図版 18　416
写真図版 19　417
写真図版 20　418
写真図版 21　419
写真図版 22　420
写真図版 23　421
写真図版 24　422

第一章　調査地点の位置と歴史的環境

第１節　歴史・地理的環境（図１）

本調査地点は由比ガ浜一丁目 160 番 8、10、JR 鎌倉駅より南西に約 600 ｍの地点に所在する。今小路西遺跡は南北約 1.1km、東西は約 300m におよぶ広範囲の遺跡である。現在の鎌倉市立御成小学校校門前を南北方向に走る今小路を東の境とし、北は寿福寺の門前、南は県道鎌倉葉山線まで至り、西側は笹目谷入口から尾根の際までとなる。

遺跡は鎌倉旧市街地の西部にあたり、海抜はおよそ８～９ｍでさほど大きな起伏がない平坦地となっている。遺跡の西側は源氏山から南へ尾根が延びて続いており、平野部と尾根の比高差は 30 ｍ前後である。本調査地点は佐助ヶ谷と呼ばれる谷戸の開口部に位置しており、佐助ヶ谷は開口部幅 250 ｍ、奥行き 900 ｍほどで、主谷と多くの小支谷で構成されている。本調査地点の北側約 110 ｍは佐助ヶ谷の東端で、源氏山から続く尾根の南端であり、そこから南へは平坦地が続く。本調査地点の周辺についてみれば西高東低であり、今小路に向かってなだらかに下がっている。

尾根の先端部は天狗堂（崎）と呼ばれていたようである。『太平記』の新田義貞鎌倉攻めの記述に「天狗堂と扇ガ谷に軍有と覚て」とあり、また天保三（1832）年の『扇ガ谷村絵図』には丘陵先端に「天狗堂崎」、慶安年間作成とされる『相州鎌倉之図』には「天狗堂」、明暦万治頃とされる『相州鎌倉之図』には「天くたう谷」の文字が確認できる。『太平記』成立以前からのこの地の呼称であり、長らく続いていることがうかがえる。

この尾根の南側は佐助川が東流している。佐助川は銭洗弁財天社、佐助稲荷社を水源として、佐助ケ谷の中央を流れ、谷戸の開口部で東に流路を変え、現在の下馬交差点の付近で滑川に合流する。調査地付近では暗渠となっている。

今小路については、『吾妻鏡』に記載がなく、初見は『快元僧都記』で、天文八（1539）年の十月条に「扇ヶ谷今小路番匠主計助」とあり、番匠主計助が荒神の宮を修補したことがわかるだけである。『新編鎌倉志』には「今小路は寿福寺の前に石橋あり、勝橋と云う。鎌倉十橋の一なり。ここより南を今小路と云う。巽荒神の辺より南を長谷までの間は長谷小路と云うなり」とあり、『大日本地名辞書』では「扇谷の谷口より南に馳せ、裁許橋に至る舊街の名なるべし、今は専寿福寺の門前の南を云ふ」としている。

なお調査地点の北 70m の路は、現在の御成中学校より約 560 ｍ東西に走り、今小路にほぼ直行してその先は江ノ電の線路によって途切れるが、その延長は下馬の交差点となる。「大町大路」の可能性も示唆されているが、定かではない（馬淵 2007）。

第２節　周辺地点の調査

調査地点周辺の発掘調査では、弥生・古墳時代の遺物がまばらに確認されている。また調査地点から南東 400 ｍに位置する和田塚一帯は向原古墳群があったとされる。向原古墳群に属する「采女塚古墳」からは明治期に人物埴輪、馬形埴輪、円筒埴輪が出土しているが、調査地点一帯でも埴輪片が検出されており、往時は古墳群が比較的広い範囲に存在していた可能性がある。

調査地点より北東に 270 ｍの地点 12（今小路西遺跡御成小学校地点）は鎌倉を代表する遺跡であり、調査面積が広く、大きな成果をあげている。中世面の下からは８～ 10 世紀の大型掘立建物群、基壇建

築群が発見され、鎌倉郡家に比定されている。中世では南北にならぶ広大な武家屋敷、道路を挟んで東側に展開する町屋などが検出されており、遺物・遺構とも多岐にわたっている。地点 11 の今小路西遺跡社会福祉センター用地地点は、地点 12 と同様比較的調査面積が広く、やはり貴重な成果をあげた遺跡である。古代では鎌倉郡家に関連すると推定される掘立柱建物が検出されている。中世では 13 世紀から 14 世紀中葉に属する武家屋敷、町屋跡などが検出され、また中世の佐助川の流路と推定される河川遺構も見つかっている。

福祉センター用地地点より道路を挟んで南東側は、本調査地点を含み 10 か所ほどの調査がなされている。そのうち本調査地点から小路をはさんで北東に隣接する地点では 2 ヶ所の調査が行われており、地点 4 では中世面 3 枚から東西道路とそれに交差する南北道路が検出された。13 世紀後半～ 14 世紀後半にかけてと推定されている。その西に隣接する地点 3 では 13 世紀中葉～ 13 世紀初頭にかけて 8 面の生活面が見られ、掘立柱建物など多数の遺構とともに、東西方向の溝が調査区北側で検出されている。この溝は地点 4 にみられる東西道路の側溝に続くものと想定され、東西道路がさらに延長していることが推定される。

地点 5 では生活面 5 枚が確認され、13 ～ 15 世紀にわたり掘立柱建物、溝、井戸、木組み、多数のピッ

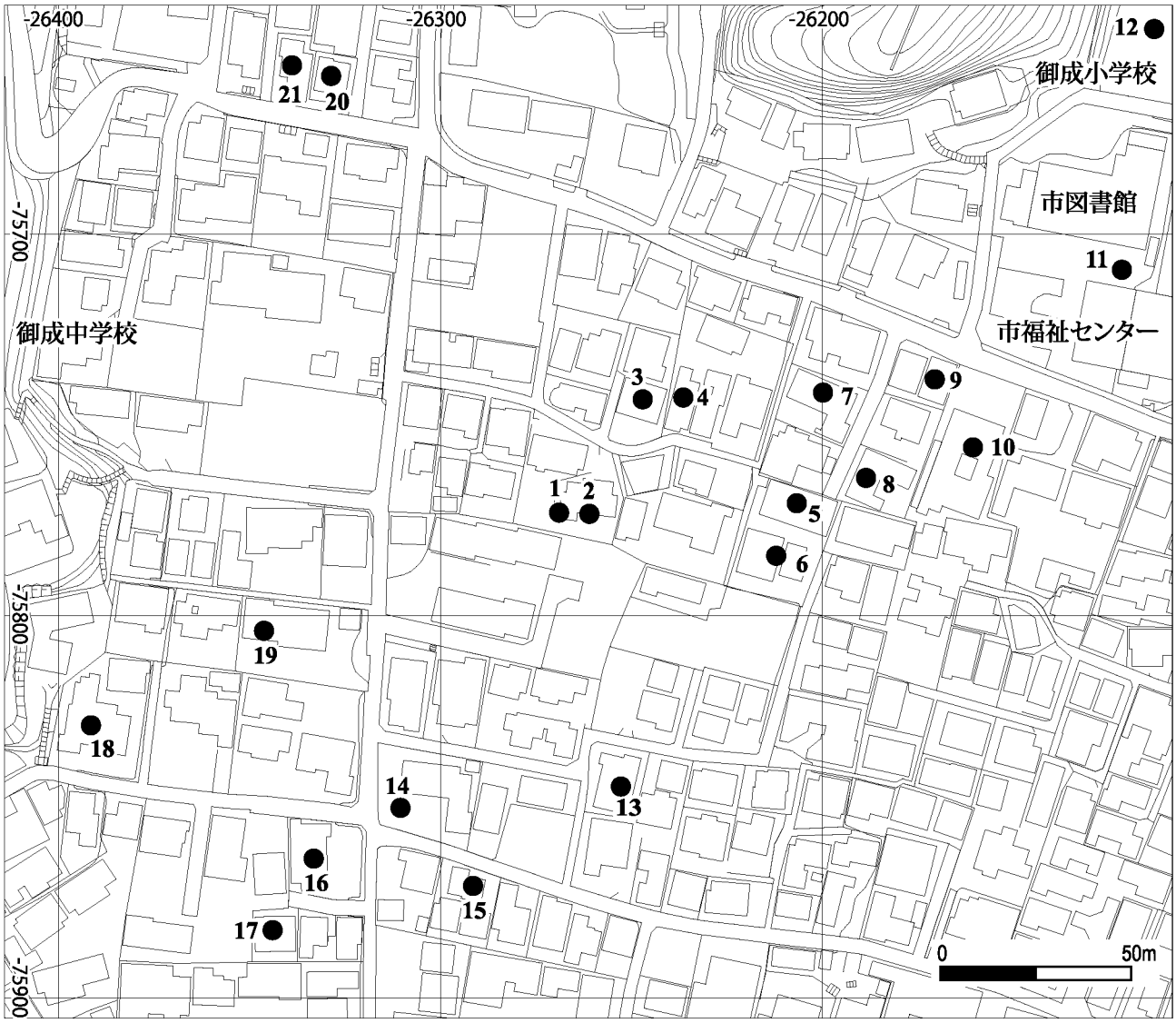


図 1　調査地点と周辺の遺跡

No.	名称	住所	調査者	調査	刊行	文献
1	今小路西遺跡	由比ガ浜一丁目 160 番 8、10	後藤	2014	2018	本報告
2	今小路西遺跡	由比ガ浜一丁目 160 番 17	原・後藤	2013	2018	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書』35
3	今小路西遺跡	由比ガ浜一丁目 157 番 7 外	馬淵	2005	2012	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書』28-1
4	今小路西遺跡	由比ガ浜一丁目 151 番 1 の一部	熊谷	2007	2011	『今小路西遺跡発掘調査報告書』 鎌倉遺跡調査会
5	今小路西遺跡	由比ガ浜一丁目 147 番 2 外	原	2007	2017	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書』34-4
6	今小路西遺跡	由比ガ浜一丁目 147 番 1 の一部	斉木	2007	2017	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書』34-4
7	今小路西遺跡	由比ガ浜一丁目 148 番 11	赤星	1983	1983	『神奈川県埋蔵文化財調査報告』26
8	今小路西遺跡	由比ガ浜一丁目 148 番 5	宮田	2001	2004	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書』20-1
9	今小路西遺跡	由比ガ浜一丁目 148 番 1	野本	2000	2002	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書』18-1
10	今小路西遺跡	由比ガ浜一丁目 141 番 5 外	小林	2006	2007	『今小路西遺跡発掘調査報告書』 玉川文化財研究所
11	今小路西遺跡	御成町 625 番 2	河野・宮田	1989	1993	『今小路西遺跡発掘調査報告書』 今小路西遺跡発掘調査団
12	今小路西遺跡	御成町 625 番 3	河野	1985	1990	『今小路西遺跡（御成小学校内）発掘調査報告書』 今小路西遺跡発掘調査団
13	今小路西遺跡	由比ガ浜一丁目 165 番 2	斉木・鯉渕	2008	2012	『今小路西遺跡発掘調査報告書』 鎌倉遺跡調査会
14	今小路西遺跡	由比ガ浜一丁目 163 番 1	押木	2016	2017	『第 27 回鎌倉市遺跡調査・研究発表会』
15	今小路西遺跡	由比ガ浜一丁目 197 番 2 外	瀬田	2006	2007	『今小路西遺跡発掘調査報告書』 鎌倉遺跡調査会
16	笹目遺跡	笹目町 302 番 5	田代	1993	1995	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書』11-2
17	笹目遺跡	笹目町 302 番 11	継	2000	2002	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書』18-2
18	笹目遺跡	笹目町 423 番 2	斉木	2005	2010	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書』26-2
19	笹目遺跡	笹目町 425 番 1	田代・継	1992	1994	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書』10-2
20	佐助ヶ谷遺跡	佐助一丁目 450 番 24	宮田	1996	1998	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書』14-2
21	佐助ヶ谷遺跡	佐助一丁目 450 番 25･27	宮田	1996	1998	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書』14-2

トが検出されている。その南に隣接する地点 6 では、範囲の狭い調査であるが、生活面が 6 枚検出された。13 世紀中葉～ 15 世紀にかけて、竪穴状遺構、多数の土坑やピットが確認されている。地点 8 では 13 世紀前半～ 14 世紀後半の生活面が 3 枚検出され、南北の道路状遺構、方形竪穴、土坑、井戸などの遺構が確認された。地点 9 では削平で中世面がほとんど残存していなかったようであるが、掘立柱建物 2 棟をはじめとする柱穴群が見られる。南方の地点 15 では中世の生活面 3 枚より、方形竪穴や土坑などが検出されている。

参考・引用文献

三浦勝男編 1993『鎌倉の古絵図 II　鎌倉国宝館図録第 16 集』

三浦勝男編 2005『鎌倉の地名由来辞典』、東京堂出版

鎌倉市史編纂委員会 1972『鎌倉市史　総説編』、吉川弘文館

鎌倉市史編纂委員会 1972『鎌倉市史　社寺編』、吉川弘文館

馬淵和雄他 2007「若宮大路周辺遺跡群」『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書』23-2、鎌倉市教育委員会

『国立国会図書館デジタルコレクション－新編鎌倉志』国立国会図書館

第３節　調査の方法と経緯

本発掘調査は個人住宅の建築築に伴う事前調査として、鎌倉市教育委員会が実施した。建築計画では基礎工事として柱状改良工事を施すこととなったが、隣接する鎌倉市由比ガ浜一丁目 160 番 17 地点で平成 26 年 1 月 14 日～ 4 月 11 日に行った調査において 6 面におよぶ中世遺構面が確認されたため、当地点においても中世遺構の存在が予測されることから、建築計画実施に先立って本格的な発掘調査を実施する必要ありとの判断がなされた。

以上の手続きより、平成 26 年 5 月 22 日 ~ 9 月 19 日の約 4 ヶ月をかけて現地での調査を実施した。

重機による表土除去後、掘削に伴う残土置き場を確保する必要から 49 ㎡の範囲を二分割して調査を進めた（図 2）。

今回の調査では大きく 8 面の中世遺構面を確認することができた。由比ガ浜一丁目 160 番 17 地点では砂層面である 6 面以下の暗褐色土層を中世基盤層と判断し、特に遺構などはないと判断したが、本調査地点においては砂層の下の黒褐色粘質土面からの遺構が確認されたため、これを第 8 面とした。8 面以下は黒褐色粘質土がかなり厚く堆積しているが、いくつかの遺構底面の状況から、その下にさらに白色の砂層の存在が確認された。ごくわずかな範囲かつ湧水のため詳細は不明である。中世以前の遺構・遺物については少量の混入が見られるものの、明確な遺構にともなう形では検出できなかった。

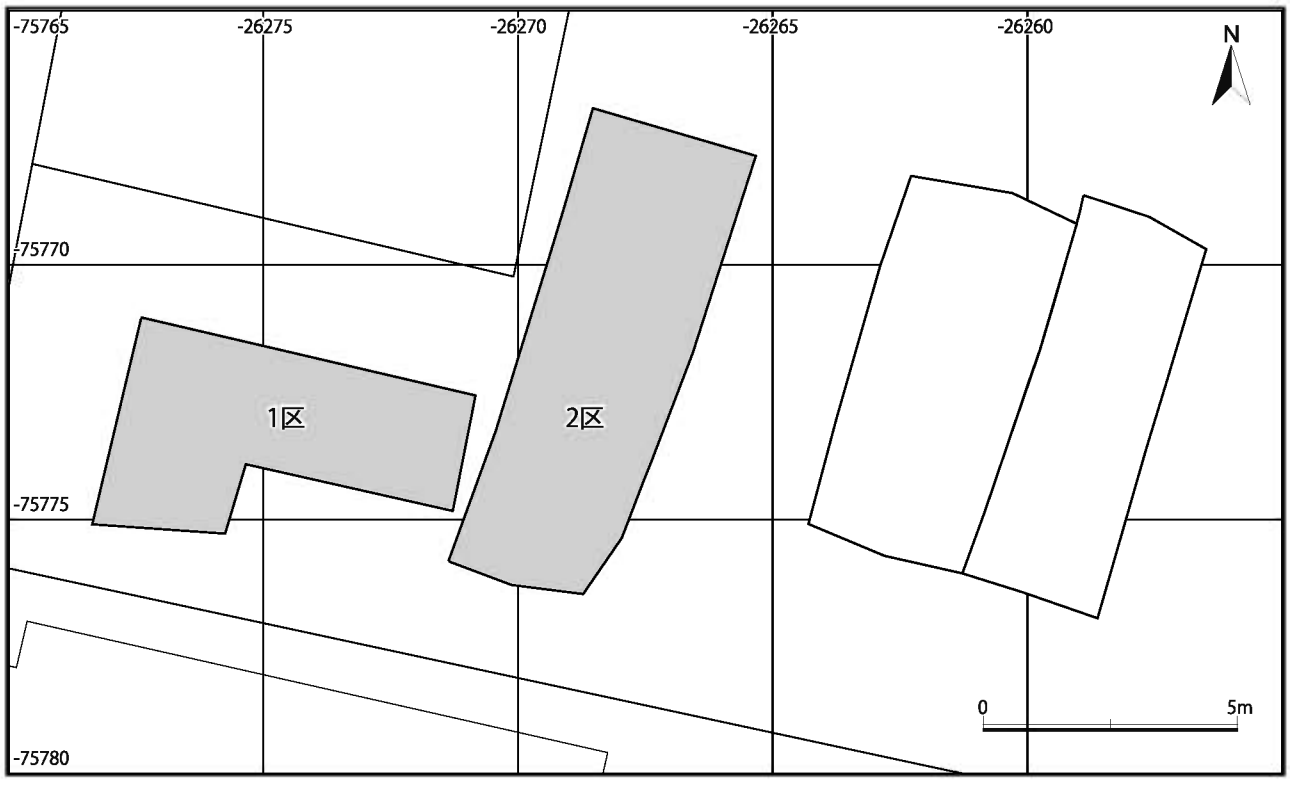


図２　調査位置とグリッド配置図

第4節　基本土層（図3）

本調査では第1面から第8面にわたり、細分を含めて計12面の遺構確認面を検出した。ここでは調査区東面の土層断面図を提示し、遺構確認面相当の土層を中心として地層の堆積状況を述べておく。なお土層断面図は遺構の掘り込みの影響もあり、必ずしも明確に基本土層の状況が反映されていない。

現地表面は海抜9.08～9.12mをはかる。表土層は約50cm堆積しており、厚さはほぼ均等であるが、近現代の掘り込みが深い箇所が複数あり、中世面を相当破壊している。以下、検出面のレベルおよび構成土について述べる。

第1面はa､bに細分される。第1a面は小粒の泥岩砕片を多く含む暗褐色粘質土の地業面で､海抜8.65～8.7 m、全体的に高低差はあまりない。第1層が構成土となる。

第1b面は小粒の泥岩砕片を多く含む暗褐色粘質土の地業面であり、確認レベルはおよそ海抜8.55～8.59 m。第2層が構成土となる。

第2面は小粒の泥岩砕片を多く含む暗褐色粘質土の地業面であり、確認レベルはおよそ海抜8.45～8.50 m。第3層が構成土となる。

第3面は小粒の泥岩砕片を密に多く含む暗褐色粘質土の地業面であり、確認レベルはおよそ海抜8.30～8.36 m。第4層が構成土となる。

第4面は小粒の泥岩砕片を密に含む暗褐色粘質土の地業面であり、確認レベルはおよそ海抜8.20～8.24 m。第5層が構成土となる。

第5面は砂粒の混入した暗褐色粘質土の地業面であり、やや大粒の泥岩砕片を含む。確認レベルはおよそ海抜8.02～8.10 m。

第6面はa､b､cの3面に細分される。第6a面は暗褐色の砂質土で構成される。確認レベルはおよそ海抜7.92～8.03 m。

第6b面は暗褐色の砂質土で構成され、確認レベルはおよそ海抜7.81～7.95 m。第14層が構成土となる。

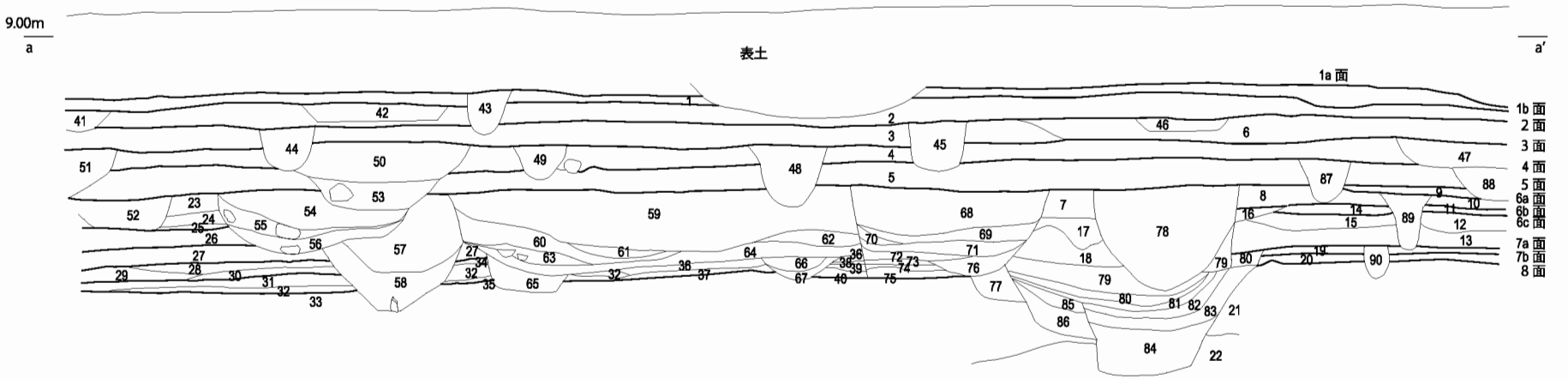
第6c面は黒色の砂質土によって構成され、破砕泥岩をほとんど含まない。レベルはおよそ海抜7.75～7.90 m。第15層が構成土である。

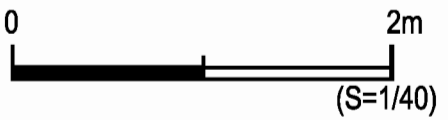
第7面は茶褐色砂層によって構成される。2区北側では砂層の下に炭層が広がりさらにその下から薄い砂層が検出されたため､炭層上面を7a､下を7bとした。7a面の確認レベルはおよそ海抜7.62～7.74 m。1区では2区のような明確な炭層が検出されず、第7b面は2区のみとなる。非常に薄い茶褐色砂質土によって構成される。南には炭層が見られないが､地面が硬化しており被熱によるものと推定される。炭層の確認レベルは海抜7.59～7.74 m、7b面は海抜7.52～7.70 mである。

第8面は黒色粘質土により構成され､泥岩粒などは基本的に含まれない。確認レベルはおよそ海抜7.48～7.68 mである。第21層が構成土である。この面で検出された溝の底部では灰白色の砂質土(第22層)が確認され、黒色土の堆積は約50cm程度であることが確認された。灰白色砂質土は1、2区ともに確認され、面的な広がりをもつものと思われる。

土層注記

1　暗褐色粘質土　泥岩、泥岩粒中量。炭化物少量、かわらけ片中量。
2　暗褐色粘質土　泥岩、泥岩粒中量。炭化物少量、かわらけ片中量。
3　暗褐色粘質土　泥岩、泥岩粒中量。炭化物少量、かわらけ片中量。
4　暗褐色粘質土　泥岩、泥岩粒中量。炭化物少量、かわらけ片中量。
5　暗褐色粘質土　泥岩、泥岩粒中量。炭化物少量、かわらけ片中量。
6　暗褐色粘質土　しまりやや弱い。泥岩、泥岩粒少量。炭化物、かわらけ片少量。
8　黄褐色粘質土　泥岩、泥岩粒中量。炭化物少量。
9　暗褐色粘質土　泥岩粒少量。炭化物、かわらけ片少量。砂混じる。





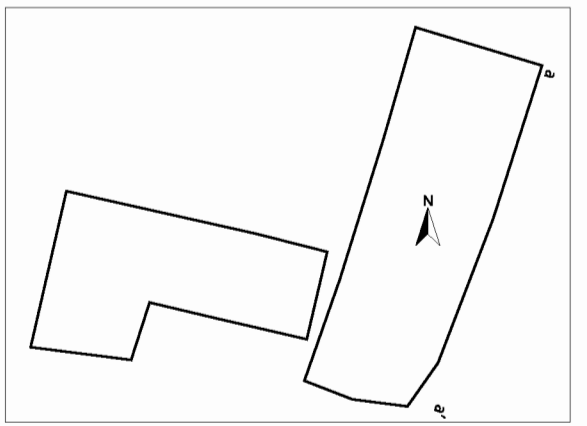


図３　調査区東壁堆積土層図

10　暗褐色粘質土　泥岩少、泥岩粒少量。炭化物少量、2cm 塊少。
11　黒褐色砂質土　泥岩粒少量。炭化物、かわらけ片少量。
12　黒褐色砂質土　炭化物、かわらけ片少量。
13　黒褐色砂質土　炭化物少量。
14　暗褐色砂質土　炭化物少量。
15　暗茶褐色砂質土　炭化物少量。
17　暗褐色粘質土　泥岩粒中量。炭化物、かわらけ片少量。
18　茶褐色砂質土　炭化物少量。
19　白灰色砂質土　炭化物少量。
20　白灰色砂質土　炭化物少量。19 よりやや暗い。
21　暗褐色砂質土　しまりなし。
22　白灰色砂質土　しまりなし。
23　茶褐色粘質土　泥岩、泥岩粒、炭化物中量、かわらけ片少量。
24　茶褐色粘質土　泥岩少、泥岩粒中量。炭化物中量。
25　暗褐色粘質土　泥岩少、泥岩粒中量。炭化物少量。硬化。
26　黒茶褐色砂質土　泥岩粒少量。炭化物少量。
27　黒茶褐色砂質土　炭化物少量。
28　暗褐色粘質土　泥岩粒少量。炭化物中量、砂混入。
29　黒褐色粘質土　炭化物中量、炭層。
30　黒褐色砂質土　炭化物中量、炭層。
31　青緑色砂質土　しまりなし。
32　黒褐色粘質土　炭化物中量、炭層。
33　黒色粘質土。
34　明灰色粘質土　しまり弱い。砂混じる。
35　黄褐色砂質土　しまりなし。
36　茶褐色砂質土　しまり弱い。炭化物中量。
37　白灰色砂質土　しまりなし。炭化物少量。
38　黒褐色砂質土　しまり弱い。炭化物中量。36 よりやや暗い。
39　黄褐色砂質土　しまり弱い。炭化物中量。
40　暗青灰色粘質土　炭化物中量。
41　茶褐色粘質土　泥岩、泥岩粒中量。炭化物少量、かわらけ片中量。
47　暗褐色粘質土　泥岩、泥岩粒中量。炭化物中量、かわらけ片少量。
48　暗褐色粘質土　泥岩少、泥岩粒中量。炭化物中量、かわらけ片少量。
57　茶褐色粘質土　泥岩、泥岩粒少量。炭化物中量、かわらけ片少量。砂混入。
58　暗青灰色粘質土　炭化物少量。33 に近い
65　茶褐色砂質土　しまり弱い。泥岩粒少量。炭化物中量、かわらけ片少量。
66　暗茶褐色砂質土　泥岩粒少量。炭化物、かわらけ片少量。
67　白灰色砂質土　炭化物中量、かわらけ片少量。
77　暗青灰色粘質土　泥岩粒少量。炭化物少量、褐鉄多い。

遺構覆土

7　遺構 238　暗褐色粘質土。泥岩少、泥岩粒中量。炭化物、かわらけ片少量。
16　遺構 254　暗褐色粘砂質。しまり弱い。泥岩粒少量。炭化物中量、かわらけ片少量。
42　遺構 59　土坑 74
43　遺構 24　茶褐色粘質土。泥岩、泥岩粒少量。炭化物、かわらけ片少量。
44　遺構 82　茶褐色粘質土。泥岩少、泥岩粒中量。炭化物、かわらけ片少量。
45　暗褐色粘質土。泥岩少、泥岩粒、炭化物、かわらけ片中量。
46　遺構 98　暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒少量。
49　遺構 98　暗褐色粘質土。泥岩少、泥岩粒、炭化物中量、かわらけ片少量。
50　遺構 146　茶褐色粘質土。泥岩少、泥岩粒、炭化物、かわらけ片中量。
51　遺構 129　茶褐色粘質土。泥岩、泥岩粒中量。炭化物少量、かわらけ片中量。
52　遺構 234　茶褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物中量、かわらけ片少量。
53　遺構 189　茶褐色粘質土。泥岩、泥岩粒中量。炭化物、かわらけ片少量。
54　遺構 244　茶褐色粘質土。泥岩、泥岩粒中量。炭化物中量、かわらけ片少量。
55　遺構 244 茶褐色粘質土。泥岩、泥岩粒中量。炭化物中量、かわらけ片少量。
56　遺構 244　茶褐色粘質土。しまり弱い。泥岩、泥岩粒少量。炭化物少量。
59　遺構 241　暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒中量。炭化物少量、かわらけ片中量。
60　遺構 241　暗褐色粘質土　しまり弱い。破砕泥岩および炭大量。
61　遺構 241　暗黄褐色粘質土　しまり弱い。泥岩粒少量。
62　遺構 241　暗褐色粘質土。しまり弱い。泥岩粒少量。炭化物、かわらけ片少量。
63　遺構 241　暗褐色粘質土。しまり弱い。泥岩、泥岩粒、炭化物中量。かわらけ片少量。
64　遺構 241　暗褐色粘質土。しまり弱い。泥岩粒、炭化物少量。砂混入。
68　遺構 239　暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒中量。炭化物、かわらけ片少量。
69　遺構 239　暗褐色粘質土。しまり弱い。泥岩少量。炭化物少量。
70　遺構 239　暗灰色粘質土。泥岩粒、炭化物中量。かわらけ片少量。砂混入。
71　遺構 239　暗灰色粘質土。しまり弱い。泥岩、泥岩粒中量。炭化物中量、かわらけ片少量。
72　遺構 239　黒褐色砂質土　しまり弱い。炭化物中量。
73　遺構 239　黄褐色砂質土　しまり弱い。炭化物中量。
74　遺構 239　暗褐色粘質土　泥岩粒、炭化物、かわらけ片少量。
75　遺構 239　暗青灰色粘質土　炭化物中量。
76　遺構 239　暗褐色粘質土　泥岩粒、炭化物、かわらけ片少量。
78　遺構 232　暗褐色粘質土　しまり弱い。泥岩、泥岩粒中量。炭化物中量、かわらけ片少量。
79　遺構 375　白灰色砂質土　しまり弱い。炭化物中量、かわらけ片少量。
80　遺構 375　暗灰色砂質土　しまりなし。炭化物少量。
81　遺構 375　白灰色砂質土　炭化物少量、褐色砂混じる。
82　遺構 375　暗青灰色粘質土　しまり弱い。白砂混じる。
83　遺構 375　青灰色粘質土　炭化物少量。
84　遺構 375　赤褐色粘質土　しまり弱い。木片多数。
85　遺構 376　青灰色粘質土
86　遺構 376　暗赤褐色粘質土　84 より暗い。木片少量。
87　暗褐色粘質土　泥岩、泥岩粒中量。炭化物、かわらけ片少量。
88　遺構 182　暗褐色粘質土　泥岩少、泥岩粒中量。炭化物中量、かわらけ片中量。
89　暗褐色粘質土　泥岩少量、泥岩粒中量。炭化物、かわらけ片少量。
90　暗茶褐色砂質土　しまり弱い。かわらけ片少量。

第二章　発見された遺構と遺物

本地点では中世の生活面を８面検出し、観察・記録を行った。遺構については個別図面は現地で実測した遺構および特徴的な遺構を報告する。個別図面のない遺構の形状・規模は全測図および遺構計測表

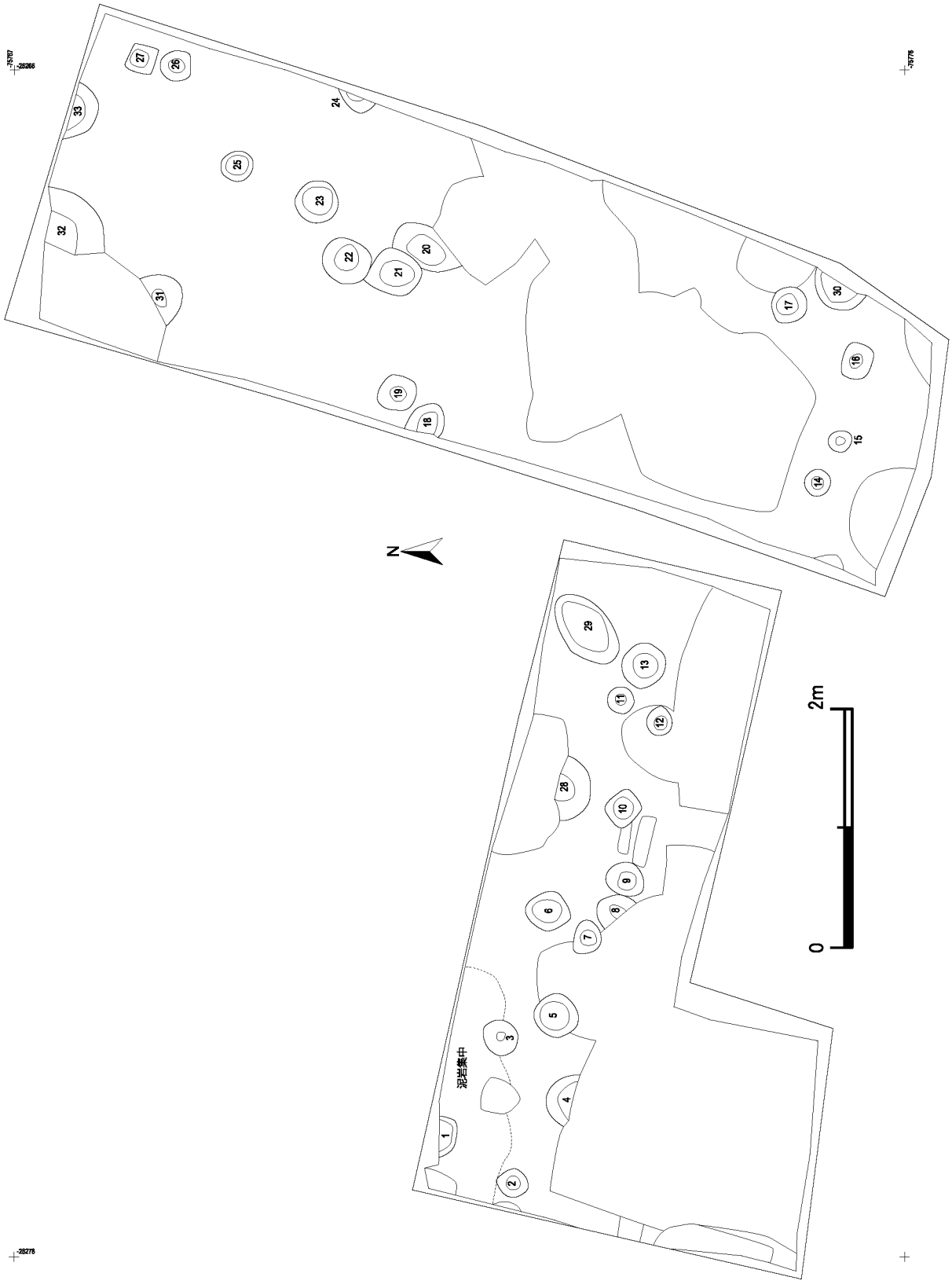


図４　第 1a 面全体図

を参照していただきたい。また整理作業時に帰属時期を変更した遺構も存在し、復元全測図と遺構写真では細部に違いが存在する場合もある。また自然遺物は別途表に一括してまとめてある。

遺物については図化したもの以外は計量表を参照いただきたい。実測遺物は遺物観察表に詳細を報告し、本文中では基本的に遺物名だけを記載する。以下、主な検出遺構について上層より説明する。

第１節　第 1a 面の遺構と遺物（図４～５）

第１面は海抜 8.7m ほどで検出した。上方は削平されかつ近現代の掘り込みで大半が破壊されているが、１区西北で大型泥岩塊の集中が確認され、生活面と判断した。また泥岩塊の集中を取り除いたところで密に敷き詰められた泥岩を検出した。レベル差がわずかで地業の状況も大差がないため双方１面としａ面、ｂ面と細分した。第 1a 面は小粒の泥岩砕片を多く含む暗褐色粘質土の地業面で、海抜 8.65 ～ 8.7 m、全体的に高低差はあまりない。

確認遺構はピット 27 穴・土坑６基で、掘立柱建物址の存在が推定できるが、明確なプランは復元できなかった。遺構の切り合いから第 1a 面で発見した遺構は、少なくとも３時期の時間差があると考え

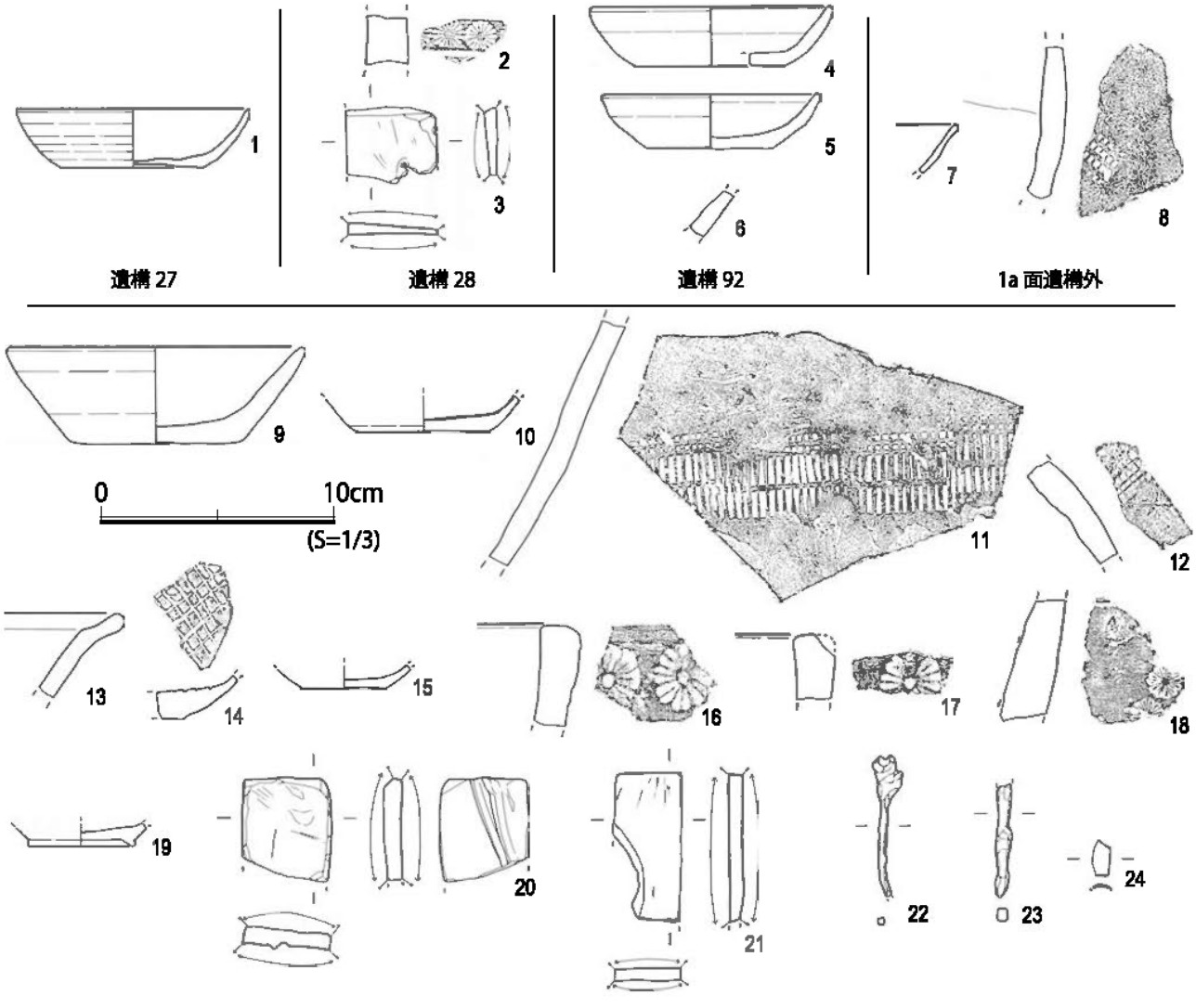


図５　第 1a 面遺構および構成土出土遺物

られる。

遺物は、かわらけ・白かわらけ・青磁・白磁・青白磁・褐釉・常滑・瀬戸・備前・火鉢・石製品・鉄製品・銅銭・自然遺物が出土。

・ピット

遺構 27（図 4）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、かわらけ片多く、炭化物少量含む。出土遺物（図 5）：1 は瓦器質土製品。

・土坑

遺構 28（図 4）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土:暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒多く、炭化物、かわらけ片少量含む。出土遺物（図 5）：2 は瓦器質火鉢。3 は砥石。

・その他

泥岩集中部（図 4）

1 区西北部に 2 × 1 m程度の範囲で泥岩の集中が検出された。泥岩は大型塊を使用し、ある程度平坦に敷き詰めてあるが、削平などもあり用途は不明。出土遺物（図 5）:4 ～ 5 はかわらけ。6 は天目茶碗。

1a 面遺構外出土遺物（図 5）

遺構面精査時に面上で検出した遺物。7 は土製品で器種不明。8 は常滑甕で押印あり。

1a 面構成土出土遺物（図 5）

1a 面より 1b 面検出までの間の堆積より出土した遺物。9 はかわらけ。10 は白磁口兀皿。11 ～ 12 は常滑甕。13 は瀬戸折縁深皿、14 は瀬戸卸皿。15 は瀬戸入子。16 ～ 17 は瓦質火鉢、18 は瓦器質火鉢。19 は不明土器底部。20 ～ 21 は砥石。22 ～ 23 は釘。24 はガラス製品か。

第 2 節　第 1b 面の遺構と遺物（図 6 ～ 8）

第 1b 面は小粒の泥岩砕片を多く含む暗褐色粘質土の地業面であり、多数の遺構を確認した。確認レベルはおよそ海抜 8.55 ～ 8.59 mである。遺構はピット 13 穴・土坑 13 基で、掘立柱建物址の存在が推定できるが、明確なプランは復元できなかった。遺構の切り合いより、第 1b 面で発見した遺構は少なくとも 3 時期の時間差があると考えられる。

遺物は、かわらけ・手づくねかわらけ・青磁・白磁・青白磁・緑釉・褐釉・常滑・瀬戸・備前・東播系・火鉢・瓦・石製品・鉄製品・銅銭・自然遺物が出土。

・ピット

遺構 37（図 6）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒多く、炭化物、かわらけ片少量含む。出土遺物（図 7）：1 は銅銭。

遺構 39（図 6）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、かわらけ片やや多く、炭化物やや多い。出土遺物（図 7）：2 は瓦器質火鉢。3 は東播系擂鉢。

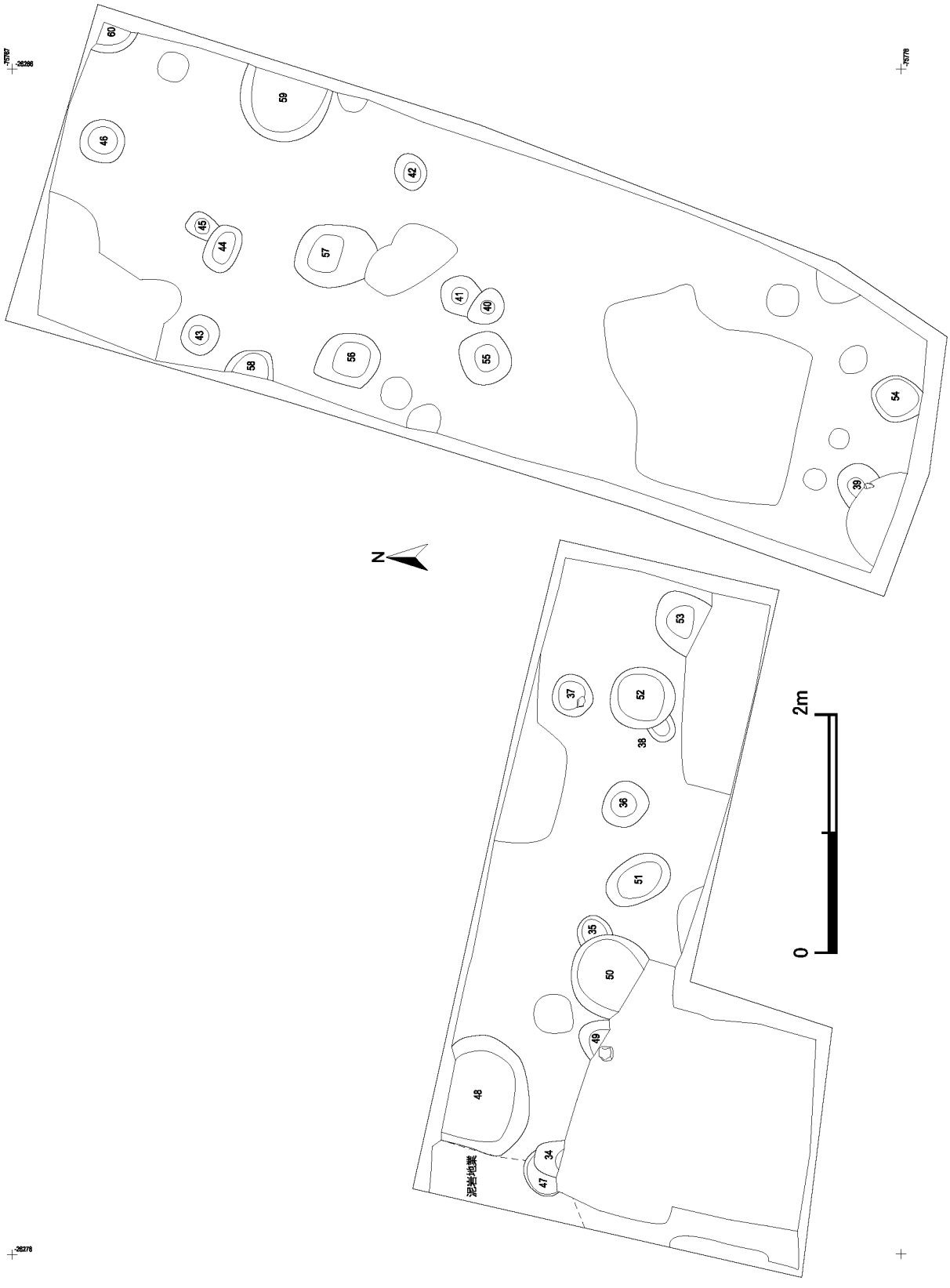


図 6　第 1b 面全体図

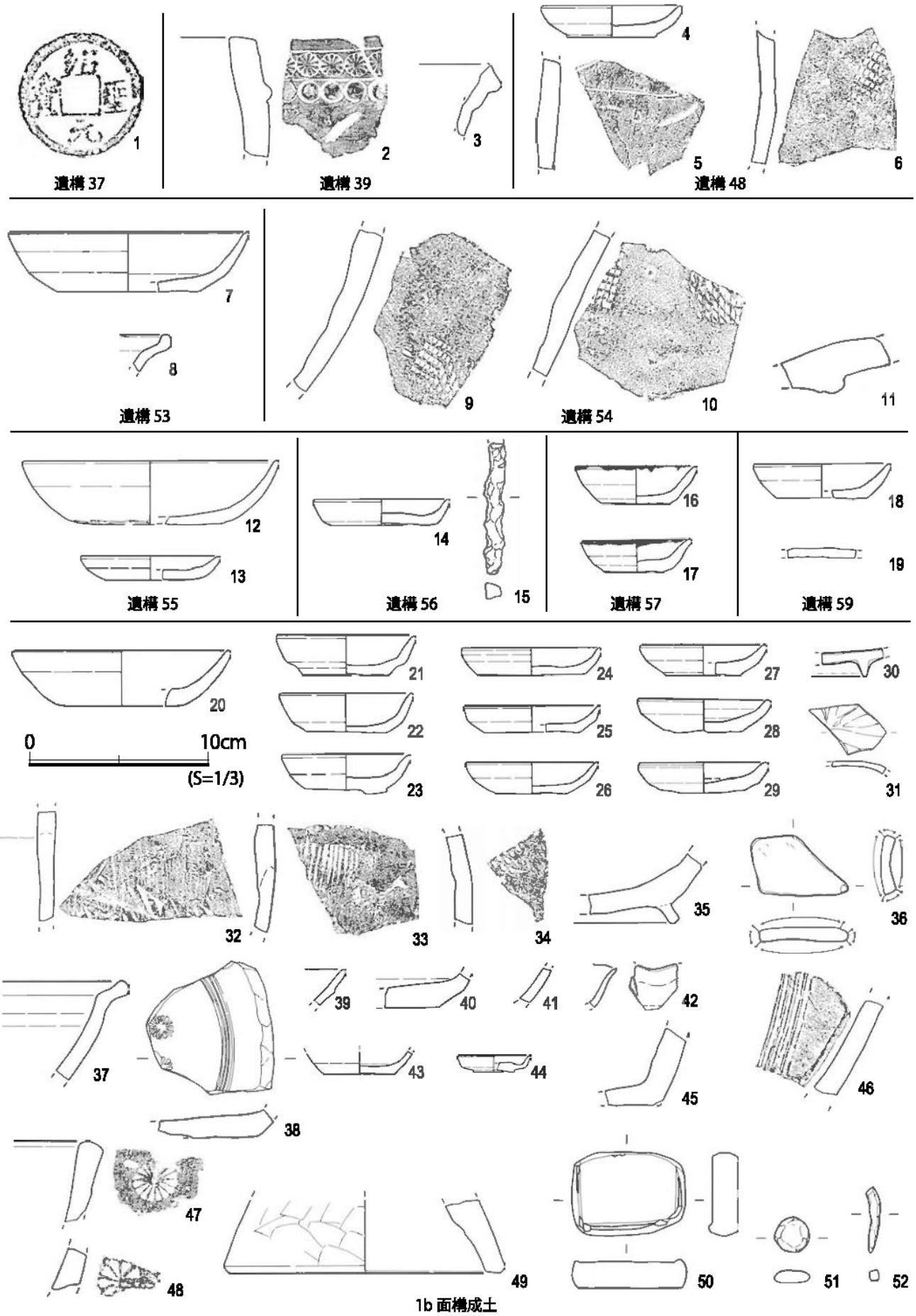


図 7　第 1b 面遺構および遺構外出土遺物

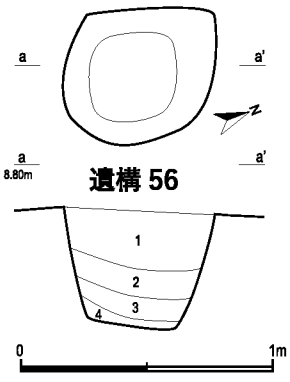


図 8　第 1b 面遺構個別図

・土坑

遺構 48（図 6）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、かわらけ片多く、炭化物やや少ない。出土遺物（図 7）:4 はかわらけ、5 ～ 6 は常滑甕。押印あり。

遺構 53（図 6）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、かわらけ片多く、炭化物少量含む。出土遺物（図 7）:7 はかわらけ。8 は瀬戸の水注か。

遺構 54（図 6）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、かわらけ片やや多く、炭化物少量含む。出土遺物（図 7）：9 ～ 10 は常滑甕。11 は渥美甕か。

遺構 55（図 6）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土:暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒多く、炭化物、かわらけ片少量含む。出土遺物（図 7）：12 ～ 13 はかわらけ。

遺構 56（図 6、8）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：1 ～ 3 層は暗褐色粘質土で、泥岩、泥岩粒、炭化物を多く含む。下層になるほどかわらけ片が少ない。4 層は茶褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、かわらけ片少なく、炭化物やや多い。出土遺物（図 7）：14 はかわらけ。15 は釘。

遺構 57（図 6）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片多く含む。北側炭交じり多い。出土遺物（図 7）：16 ～ 17 はかわらけ。

遺構 59（図 6）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土:暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物少なくかわらけ片多く含む。出土遺物（図 7）：18 はかわらけ。19 は緑釉盤。

1b 面構成土出土遺物（図 7）

1b 面より 2 面検出までの間の堆積より出土した遺物。20 ～ 29 はかわらけ。30 は青磁折縁皿、31 は青白磁合子蓋、32 ～ 34 は常滑甕。35 は常滑片口鉢Ⅰ類、36 は磨り常滑。37 ～ 38 は瀬戸折縁深皿、39 は瀬戸縁釉小皿。40 は瀬戸折縁皿か柄付片口、41 は瀬戸天目碗、42 ～ 44 は瀬戸入子、45 は瀬戸の壺または瓶子。46 は備前擂鉢。47 ～ 48 は瓦器質火鉢。49 は高坏。50 は長方硯、51 は碁石か。52 は鉄釘。

第 3 節　第 2 面の遺構と遺物（図 9 ～ 11）

第 2 面は小粒の泥岩砕片を多く含む暗褐色粘質土の地業面であり、多数の遺構を確認した。確認レベルはおよそ海抜 8.45 ～ 8.50 m である。遺構はピット 25 穴・土坑 12 基、溝 1 条で、掘立柱建物址の存在が推定できるが、明確なプランは復元できなかった。遺構の切り合いより第 2 面で発見した遺構は、少なくとも 3 時期の時間差があると考えられる。

遺物は、かわらけ・白かわらけ・青磁・白磁・青白磁・褐釉・常滑・瀬戸・渥美・瓦器・火鉢・瓦・鉄製品・石製品・銭が出土している

・ピット

遺構 69（図 9）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、かわらけ片少なく、炭化物やや多い。出土遺物（図 11）：1 はかわらけ。

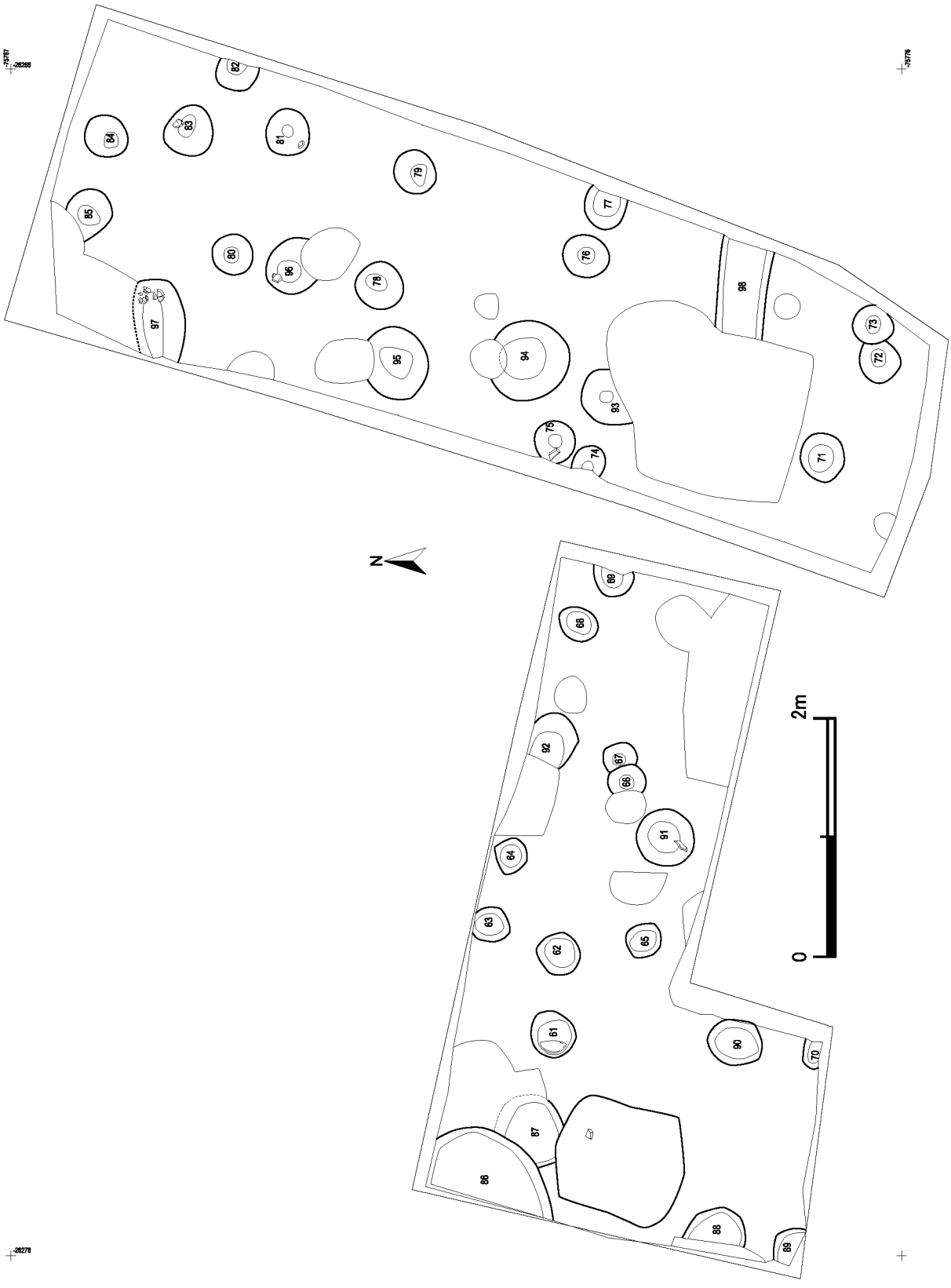


図 9　第 2 面全体図

遺構 71（図 9）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、かわらけ片やや多く、炭化物少量含む。出土遺物（図 11）：2 ～ 3 は釘。

遺構 73（図 9）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒やや多く、炭化物、かわらけ片少量含む。114 を切る。出土遺物（図 11）：4 はかわらけ。

遺構 75（図 9）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒多く、炭化物、かわらけ片少量含む。出土遺物（図 11）：7 は自然硯。

遺構 77（図 9）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒多く、炭化物、かわらけ片少量含む。出土遺物（図 11）：5 ～ 6 は釘。

遺構 81（図 9、10）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒やや多く、炭化物、かわらけ片少量含む。出土遺物（図 11）：8 はかわらけ。

遺構 82（図 9）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物多く、かわらけ片少量含む。底部砂混じり。出土遺物（図 11）：9 はかわらけ。

遺構 83（図 9、10）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、かわらけ片多く、炭化物少量含む。底部に大型泥岩多い。出土遺物（図 11）：10 ～ 11 はかわらけ。

・土坑

遺構 86（図 9）

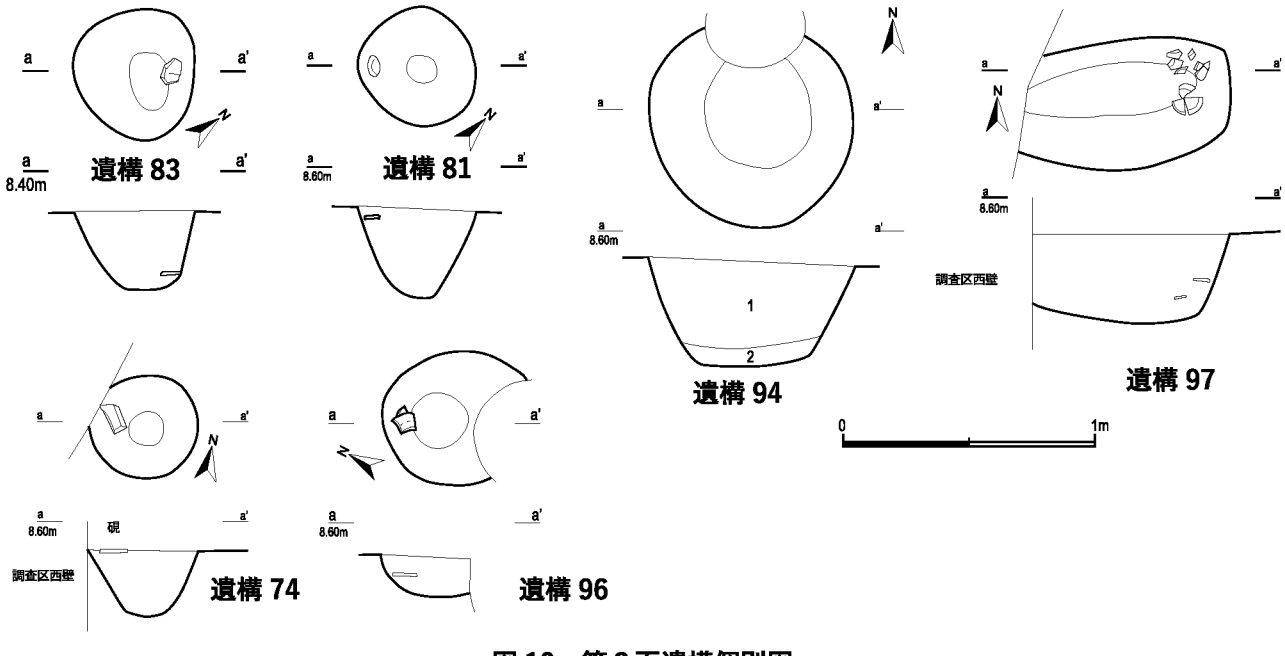


図 10　第 2 面遺構個別図

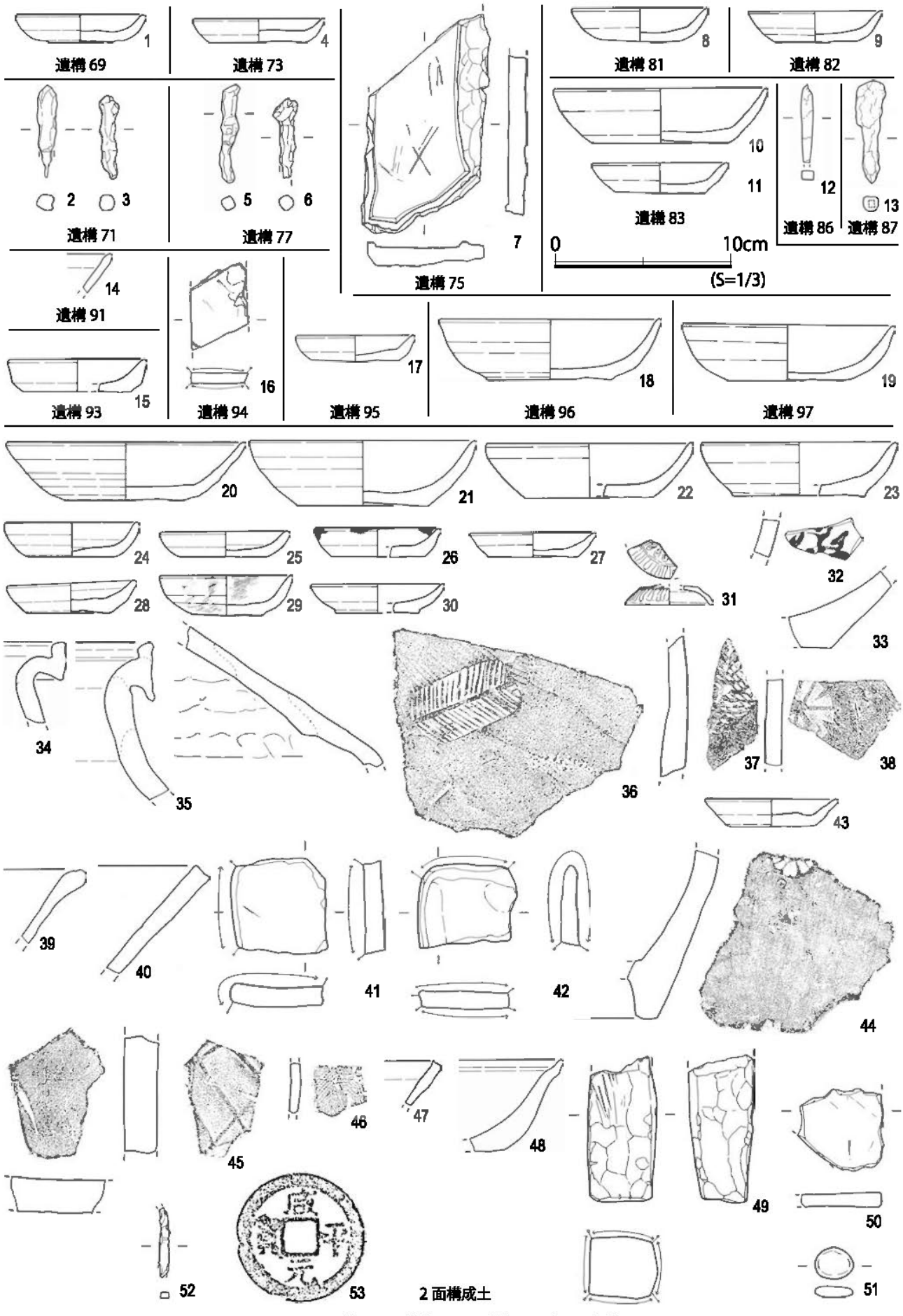


図 11　第 2 面遺構および構成土出土遺物

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、かわらけ片少なく、炭化物多く含む。出土遺物（図 11）：12 は釘。

遺構 87（図 9）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物少なく、かわらけ片やや多い。出土遺物（図 11）：13 は釘。

遺構 91（図 9）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片多く含む。大型泥岩多し。出土遺物（図 11）：14 は不明陶器。

遺構 93（図 9）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片やや多い。出土遺物（図 11）：15 はかわらけ。

遺構 94（図 9）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：2 層に分かれる。上層は暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片多く含む。下層は暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片少量含む。下は砂混じり。出土遺物（図 11）：16 は砥石。

遺構 95（図 9、10）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒やや少なく、炭化物、かわらけ片多く含む。下は砂混じり。出土遺物（図 11）：17 はかわらけ。

遺構 96（図 9、10）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片多く含む。出土遺物（図 11）：18 はかわらけ。

遺構 97（図 9、10）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土:暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒多く、炭化物、かわらけ片少量含む。出土遺物（図 11）：19 はかわらけで覆土中ほどより出土。

・溝

遺構 98（図 9）

溝。近現代攪乱に切られ、西端は不明。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒やや多い。炭化物、かわらけ片少量。遺物は出土したが、図示できるような個体はない。

2 面構成土出土遺物（図 11）

2 面より 3 面検出までの間の堆積より出土した遺物。20 ～ 30 はかわらけ。31 は青白磁合子蓋、32 は高麗青磁碗、33 は青磁壺か。34 ～ 38 は常滑甕。39 は常滑片口鉢Ⅰ類、40 は片口鉢Ⅱ類。41 ～ 42 は磨り常滑。43 は渥美湖西型山皿。44 は瓦器質火鉢、45 は平瓦。46 は土師器甕。47 は不明土器。48 はかわらけ質の不明土製品。49 ～ 50 は砥石。51 は碁石。52 は鉄釘、53 は銅銭。

第 4 節　第 3 面の遺構と遺物（図 12 ～ 15）

第 3 面は小粒の泥岩砕片を密に多く含む暗褐色粘質土の地業面であり、多数の遺構を確認した。確認

レベルはおよそ海抜 8.30 ～ 8.36 mである。遺構はピット 22 穴・土坑 20 基、道路状遺構 1 条、溝状遺構 2 条で、掘立柱建物址の存在が推定できるが、明確なプランは復元できなかった。遺構の切り合いより第 3 面で発見した遺構は、少なくとも 3 時期の時間差があると考えられる。

遺物は、かわらけ・手づくねかわらけ・青磁・白磁・青白磁・緑釉・褐釉・常滑・瀬戸・渥美・吉備

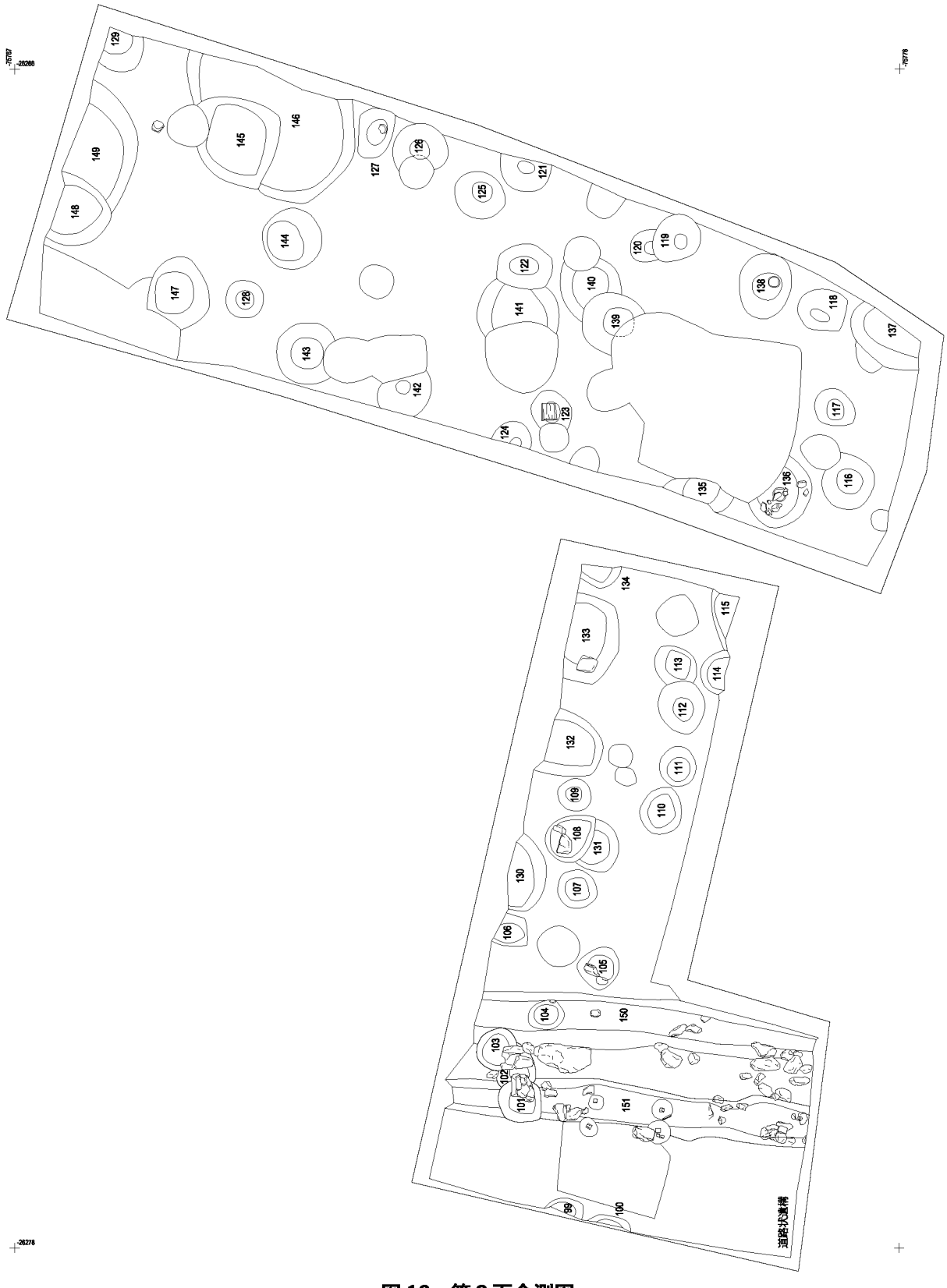


図 12　第 3 面全測図

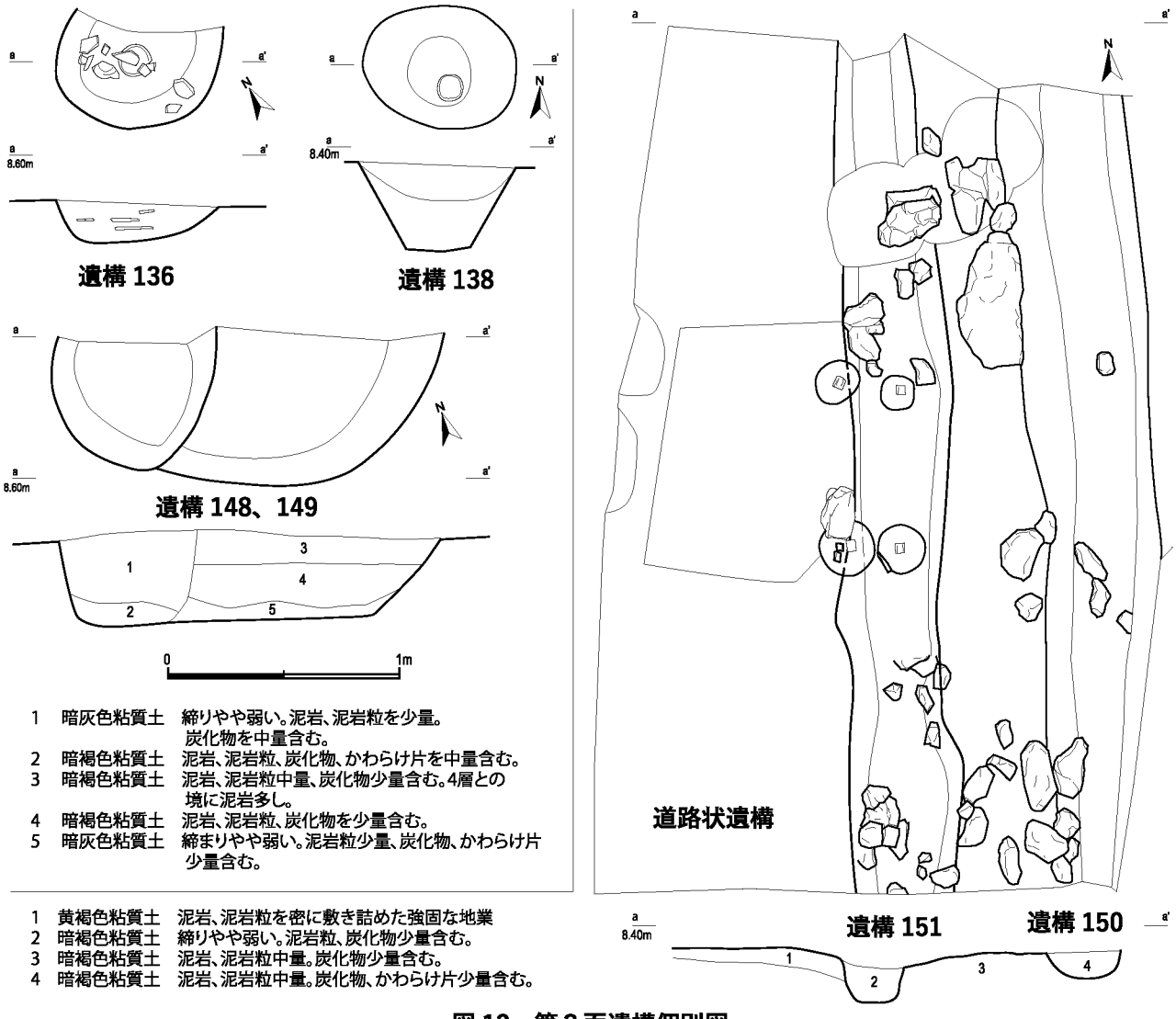


図 13　第 3 面遺構個別図

系土師器・瓦器・火鉢・鉄製品・石製品・銭が出土している。

・ピット

遺構 101（図 12）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗灰色粘質土。大型泥岩、泥岩粒やや多く、炭化物、かわらけ片は少量含む。上部より小型の完形かわらけ出土。出土遺物（図 14）：1 はかわらけ。2 は常滑甕。

遺構 102（図 12）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗灰色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物多く、かわらけ片少量含む。遺構 101、103 に切られる。出土遺物（図 14）：3 ～ 4 はかわらけ。

遺構 103（図 12）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗灰色粘質土。泥岩、泥岩粒やや多く、炭化物、かわらけ片少量含む。出土遺物（図 14）：5 はかわらけ。6 は土師器台付甕。

遺構 104（図 12）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗灰色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片少量含む。出土遺物（図 14）：7 はかわらけ。

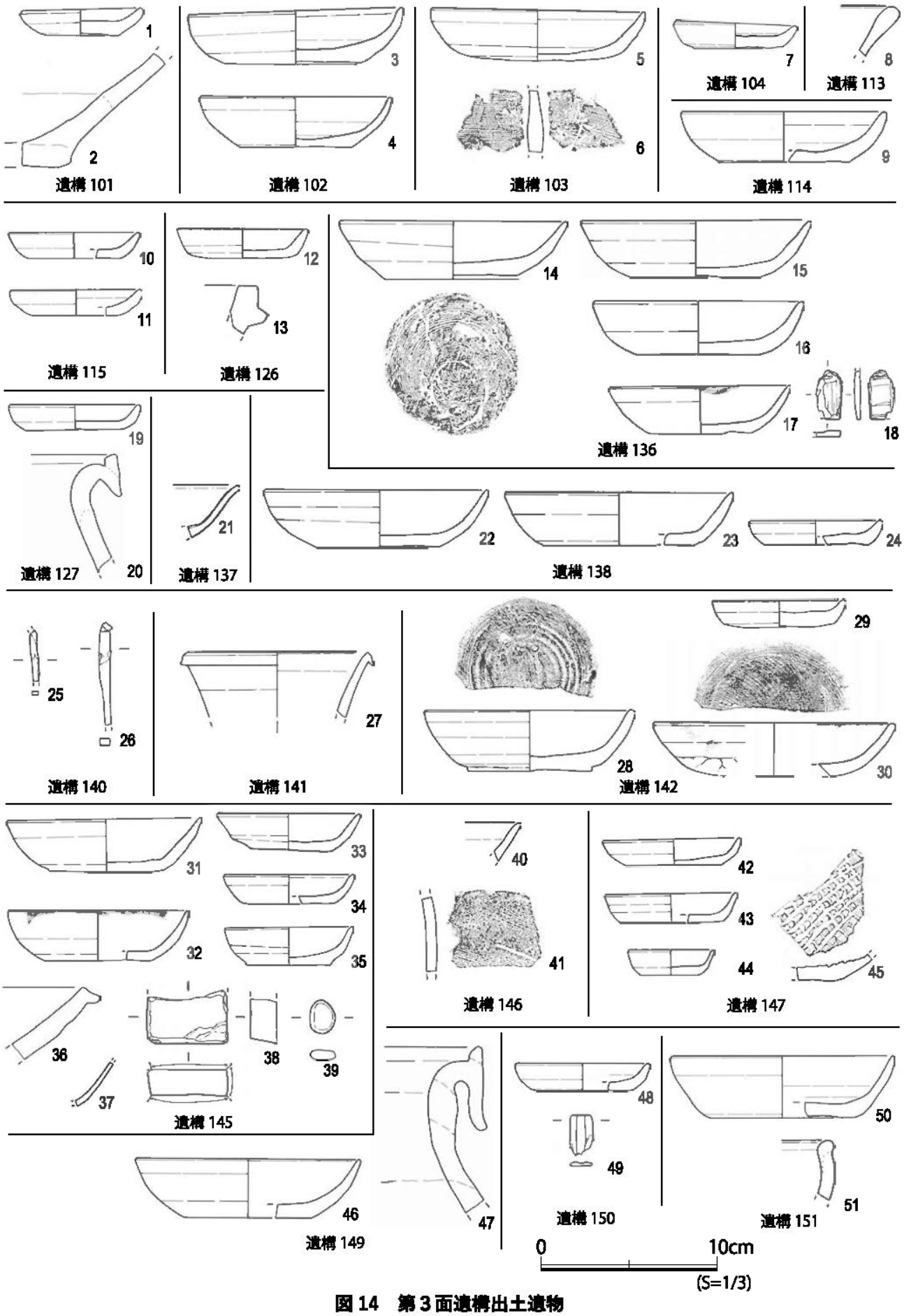


図 14　第 3 面遺構出土遺物

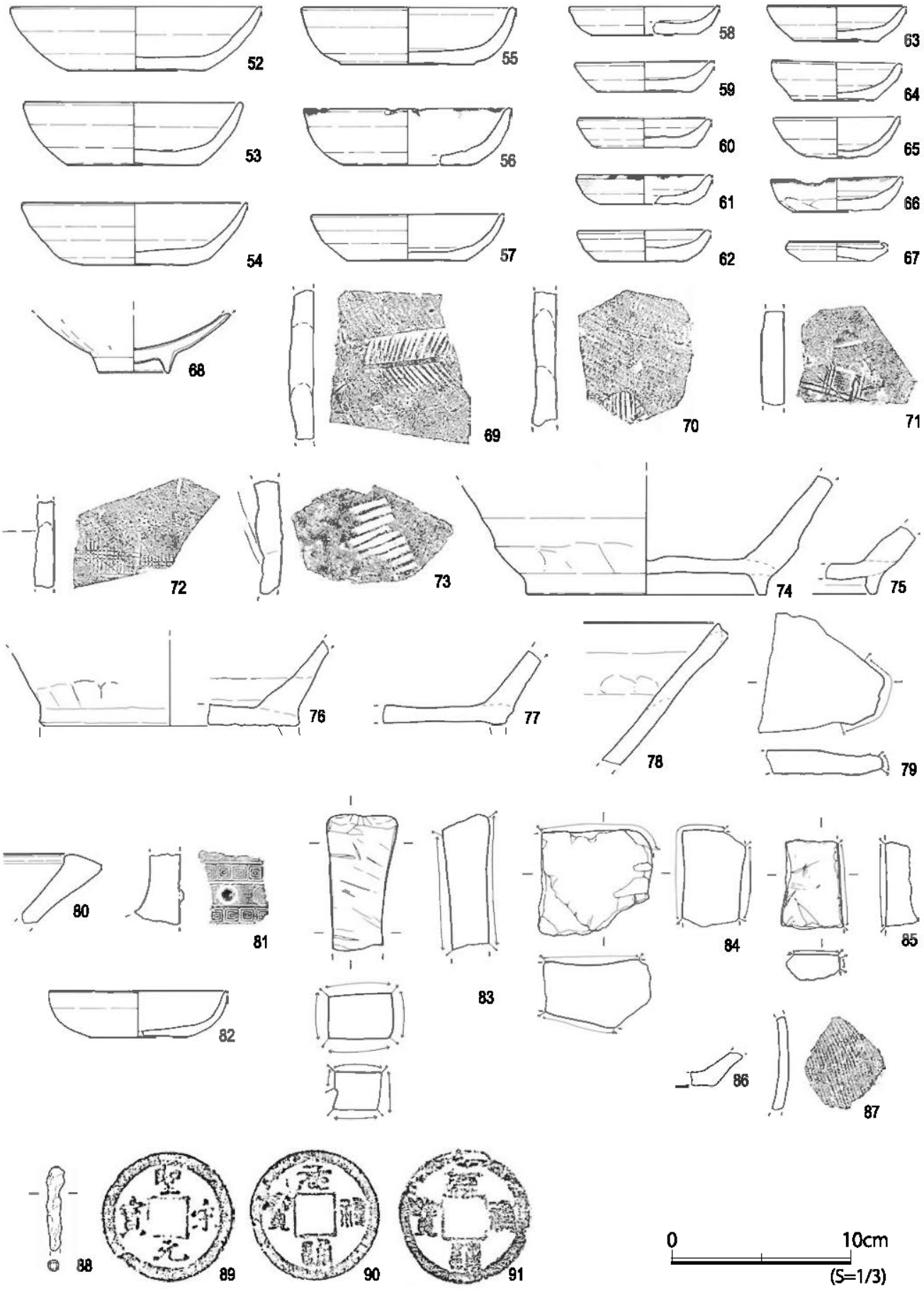


図 15　第 3 面構成土出土遺物

遺構 113（図 12）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗灰色粘質土。泥岩、泥岩粒やや多く、炭化物、かわらけ片少量含む。遺構 112 に切られる。出土遺物（図 14）：8 は常滑片口鉢Ⅰ類。

遺構 114（図 12）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗灰色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片少量含む。出土遺物（図 14）：9 はかわらけ。

遺構 115（図 12）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土:暗灰色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片を多く含む。出土遺物（図 14）：10 ～ 11 はかわらけ。

遺構 126（図 12）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、かわらけ片多く、炭化物は少量含む。出土遺物（図 14）：12 はかわらけ。13 は滑石鍋。

遺構 127（図 12）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片多く含む。底部に薄い炭。出土遺物（図 14）：19 はかわらけ。20 は常滑甕。

・土坑

遺構 136（図 12、13）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片多く含む。出土遺物（図 14）：14 ～ 17 はかわらけ。18 は加工骨。

遺構 137（図 12）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、かわらけ片少なく、炭化物やや多い。出土遺物（図 14）：21 は白磁口兀皿。

遺構 138（図 12、13）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：2 層に分かれる。上層は暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒やや多い、炭化物、かわらけ片少量含む。下層は茶褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ少量含む。砂混入。出土遺物（図 14）：22 ～ 24 はかわらけ。

遺構 140（図 12）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩粒、炭化物多く、かわらけ片少ない。遺構 139 に切られる。出土遺物（図 14）：25 ～ 26 は鉄釘。

遺構 141（図 12）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片少量含む。遺構 122 に切られる。出土遺物（図 14）：27 は渥美壺。

遺構 142（図 12）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土:暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物多く、かわらけ片少量含む。出土遺物（図 14）：28 ～ 29 はかわらけ。30 は手づくねかわらけ。

遺構 145（図 12）

出土遺物（図 14）：31 ～ 35 はかわらけ。36 は常滑片口鉢Ⅱ類。37 は吉備系土師器。38 は砥石。39 は雙六駒か。

遺構 146（図 12）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、かわらけ片少なく、炭化物多く含む。下部に炭層。出土遺物（図 14）：40 は瓦器椀。41 は甕。

遺構 147（図 12）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、かわらけ片多く、炭化物やや少ない。出土遺物（図 14）：42 ～ 43 はかわらけ。44 は瀬戸入子。45 は瀬戸卸皿。

遺構 148（図 12、13）

隅丸方形を呈する土坑。遺構 149 を切る。遺構覆土：図 13 を参照。

遺構 149（図 12、13）

隅丸方形を呈する土坑。遺構 148 に切られる。遺構覆土：図 13 を参照。出土遺物（図 14）：46 はかわらけ。47 は常滑甕。

・道路状遺構と溝

1 区西端は破砕した泥岩を密に敷き詰めており、その東側に小規模であるが溝が 2 条検出された。西側が調査区外であるため幅は不明だが、泥岩地業は小規模な道路状遺構で、溝は道路の側溝と推定される。溝の間には大型の泥岩塊が多く見られ、道路を拡張して新たに側溝を掘りなおした可能性がある。

遺構 150（図 12、13）

溝。遺構覆土：暗灰色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片を含む。下部に大型泥岩多い。出土遺物（図 14）：48 はかわらけ。49 は笄。

遺構 151（図 12、13）

溝。中央部で小型の杭が 4 本検出された。2 本は溝の内部を掘り込む形で埋められており、詳細は不明だが、溝に関連する構造物と考えられる。遺構覆土：暗灰色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片を含む。出土遺物（図 14）：50 はかわらけ。51 は常滑片口碗。

3 面構成土出土遺物（図 15）

3 面より 4 面検出までの間の堆積より出土した遺物。52 ～ 67 はかわらけ。68 は青磁蓮弁文碗。69 ～ 73 は常滑甕。74 ～ 77 は常滑片口鉢Ⅰ類、78 は常滑片口鉢Ⅱ類。79 は磨り常滑。80 は土器質火鉢。81 は風炉。82 は瓦器碗、83 ～ 85 は砥石。86 ～ 87 は土師器甕。88 は鉄釘。89 ～ 91 は銅銭。

第 5 節　第 4 面の遺構と遺物（図 16 ～ 20）

第 4 面は小粒の泥岩砕片を密に含む暗褐色粘質土の地業面であり、多数の遺構を確認した。確認レベルはおよそ海抜 8.20 ～ 8.24 m である。遺構はピット 20 穴・土坑 22 基、溝 2 条で、掘立柱建物址の存在が推定できるが、明確なプランは復元できなかった。遺構の切り合いより第 4 面で発見した遺構は、少なくとも 3 時期の時間差があると考えられる。

遺物は、かわらけ・白かわらけ・青磁・白磁・青白磁・褐釉・常滑・瀬戸・瓦器・火鉢・瓦・鉄製品・石製品・羽口・銭が出土している。

・ピット

遺構 152（図 16）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒やや多く、炭化物、かわらけ片を少量含む。出土遺物（図 18）：1 ～ 2 はかわらけ。

遺構 161（図 16）

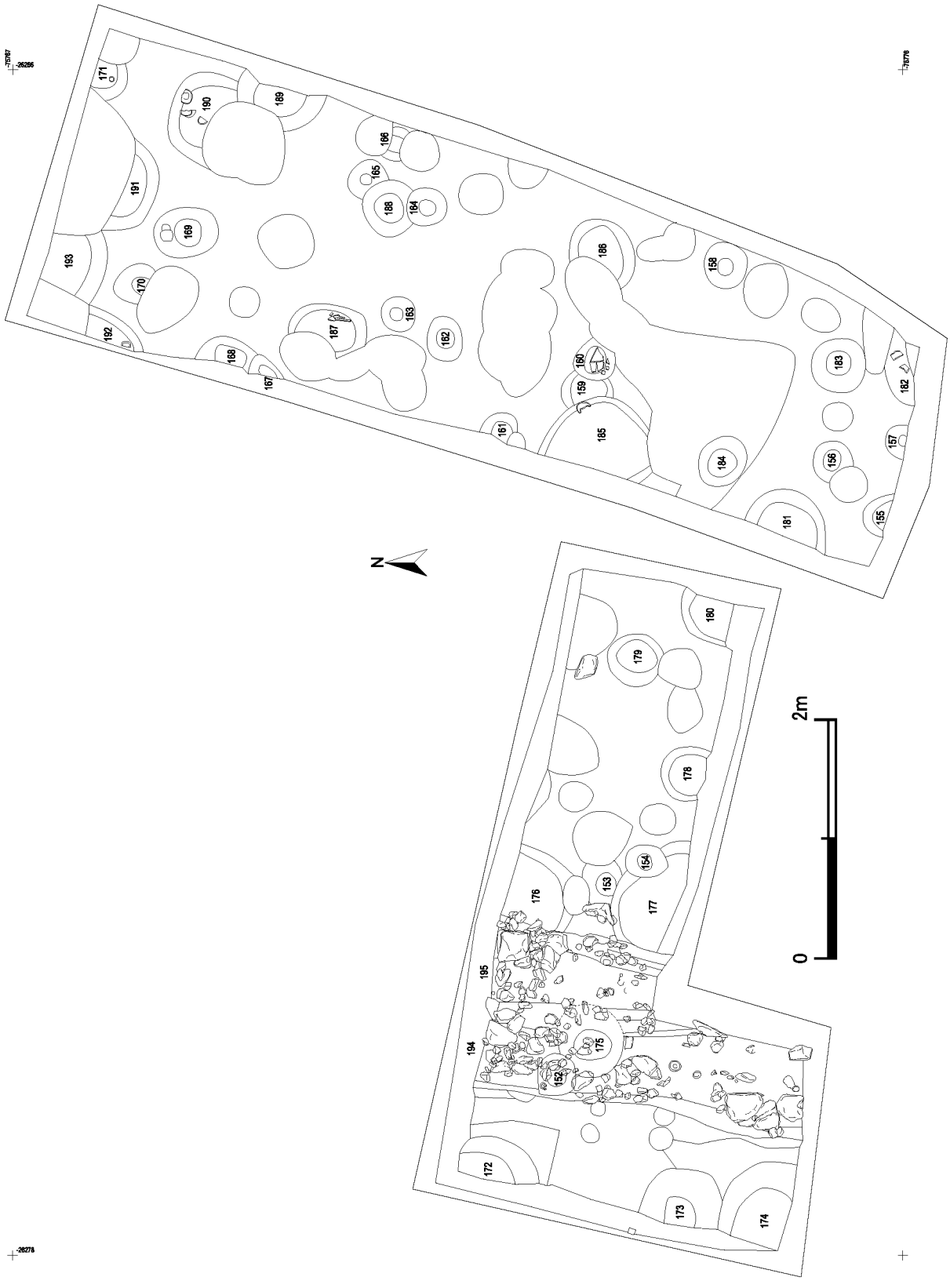


図 16　第 4 面全体図

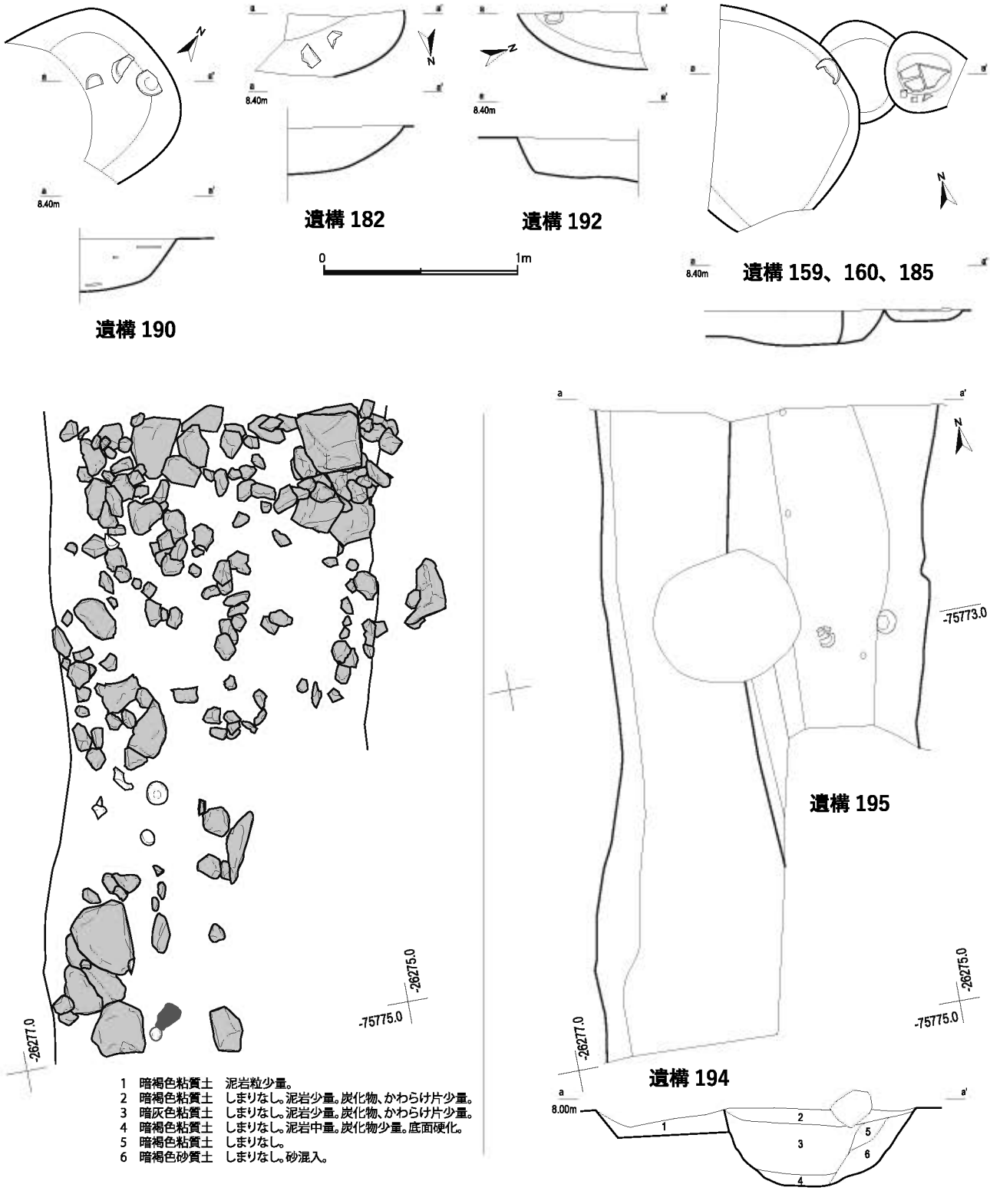


図 17　第 4 面遺構個別図

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗茶褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、かわらけ片少なく、炭化物やや多い。砂混入。出土遺物（図 18）：3 はかわらけ。

遺構 162（図 16）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物多く、かわらけ片少量含む。出土遺物（図 18）：4 は中世以前の甕。

遺構 165（図 16）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒多く、炭化物、かわらけ片少量含む。出土遺物（図 18）：5 は常滑壺。

遺構 168（図 16）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、かわらけ片少なく、炭化物多く含む。遺構 167 に切られる。出土遺物（図 18）：7 ～ 8 はかわらけ。9 は常滑甕。

遺構 171（図 16）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片多く含む。

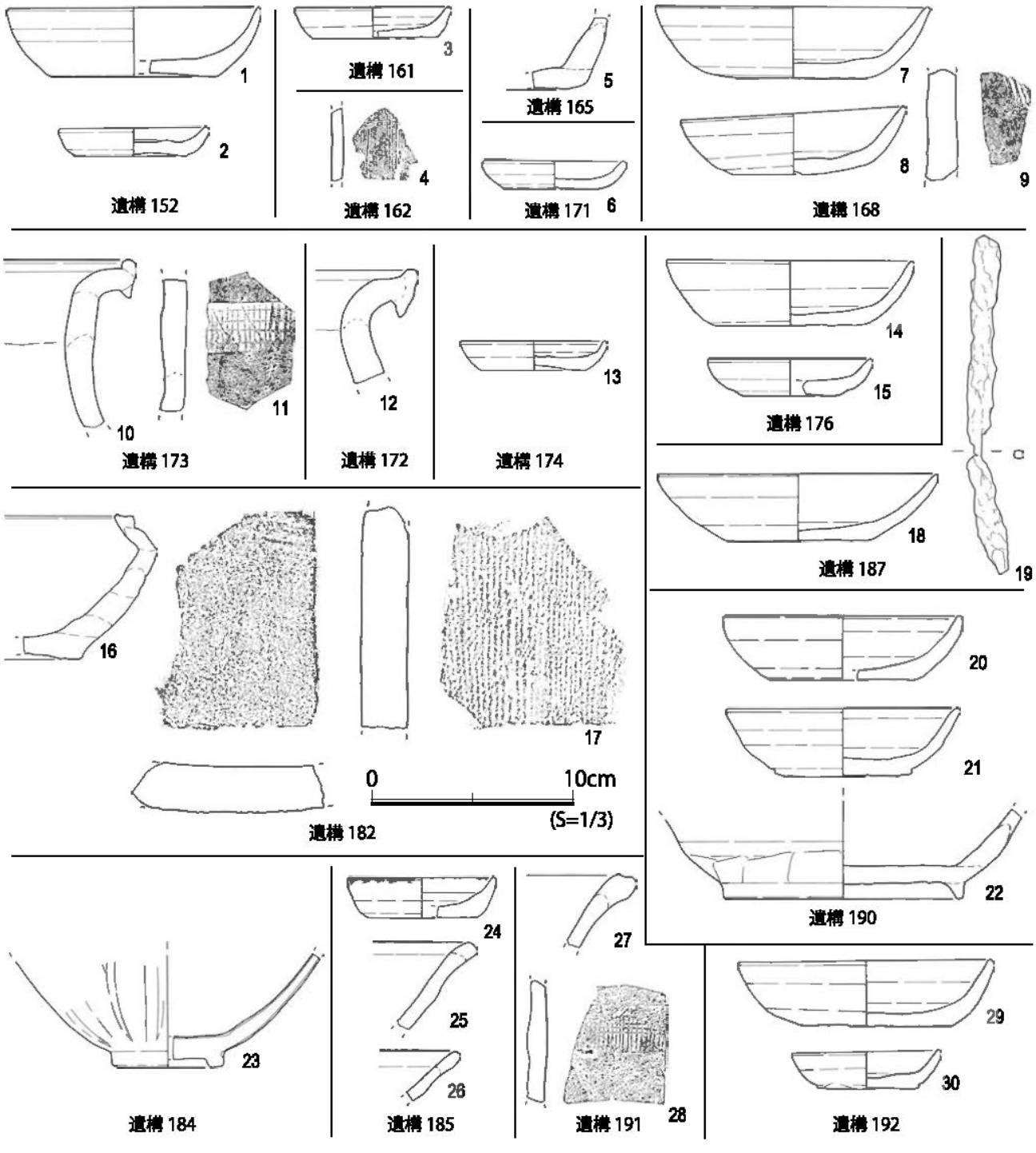


図 18　第 4 面遺構出土遺物（1）

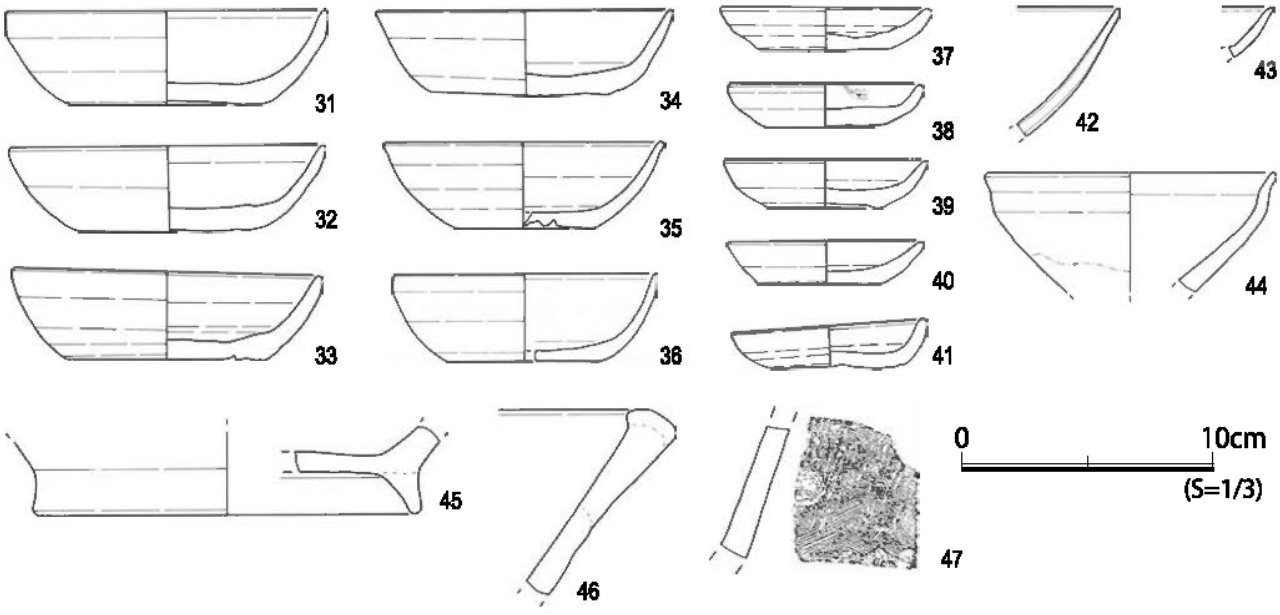


図 19　第 4 面遺構出土遺物（2）

出土遺物（図 18）：6 はかわらけ。

・土坑

遺構 172（図 16）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片少量含む。出土遺物（図 18）：12 は常滑甕。

遺構 173（図 16）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：2 層に分かれる。上層は暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物多く、かわらけ片含む。下層は暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物多く、かわらけ片少量含む。出土遺物（図 18）：10 ～ 11 は常滑甕。

遺構 174（図 16）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片少量含む。出土遺物（図 18）：13 はかわらけ。

遺構 176（図 16）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、炭化物多く、かわらけ片少量含む。出土遺

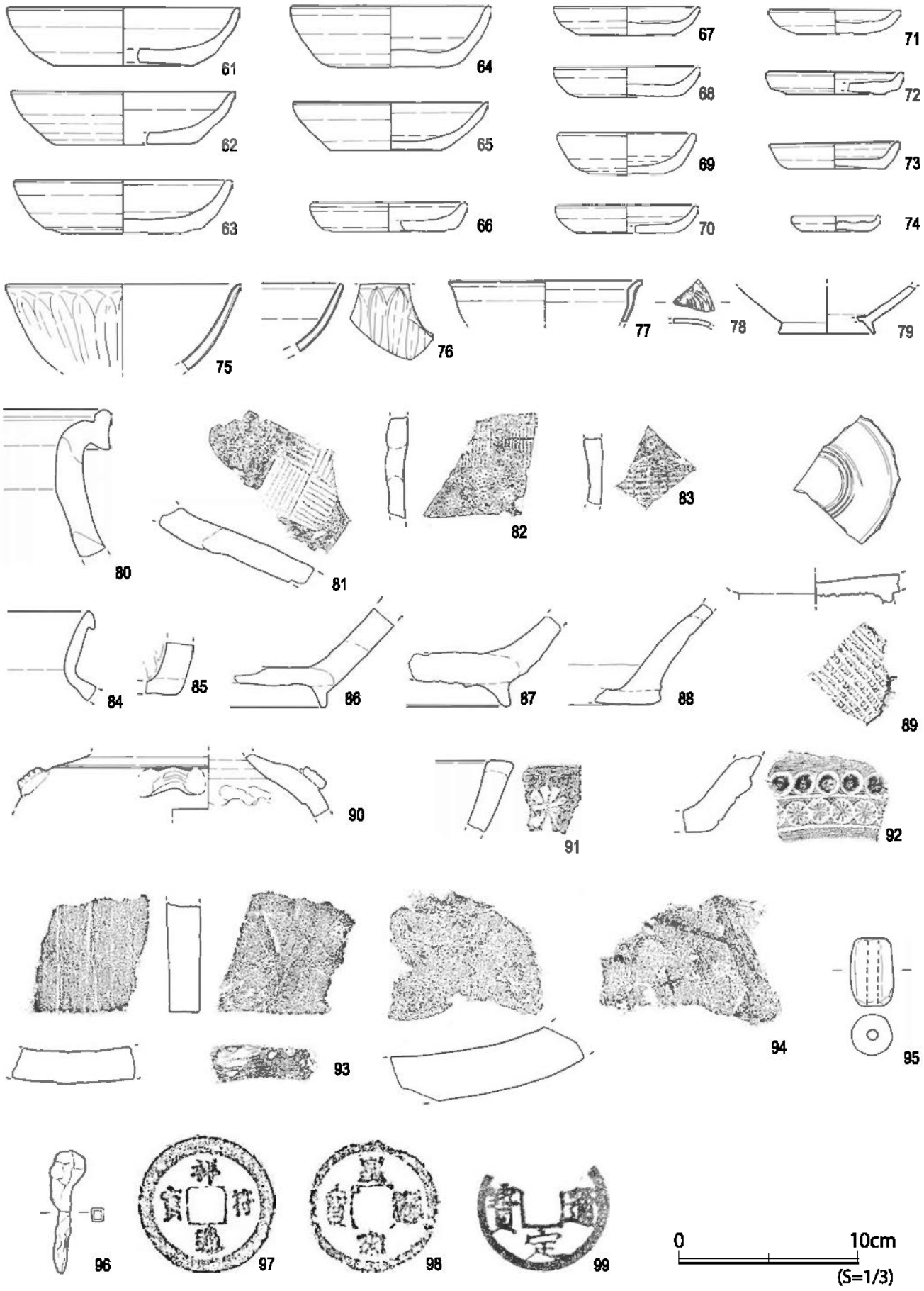


図 20　4 面構成土出土遺物

物（図 18）：14 ～ 15 はかわらけ。

遺構 182（図 16、17）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物少量含む。出土遺物（図 18）：16 は常滑片口碗、17 は平瓦。

遺構 184（図 16）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片少量含む。出土遺物（図 18）：23 は青磁蓮弁文碗。

遺構 185（図 16、17）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片多く含む。遺構 159 を切る。底面は砂。出土遺物（図 18）：24 はかわらけ。25 は常滑片口鉢Ⅰ類。26 は尾張型山茶碗。

遺構 187（図 16）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：上層は黒褐色粘質土。泥岩塊、炭化物、かわらけ片を含む。その下に泥岩混じりの薄い炭層があり、下層は暗褐色粘質土で泥岩粒多く、炭化物、かわらけ片少量含む。砂混入。出土遺物（図 18）：18 はかわらけ、19 は鉄釘。

遺構 190（図 16、17）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片多く含む。遺構 189 に切られる。出土遺物（図 18）：20 ～ 21 はかわらけ。22 は常滑片口鉢Ⅰ類。

遺構 191（図 16）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片多く含む。出土遺物（図 18）：27 は常滑片口鉢Ⅰ類、28 は常滑甕。

遺構 192（図 16、17）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物やや多く、かわらけ片少量含む。出土遺物（図 18）：29 ～ 30 はかわらけ。

・溝

1 区西部に大型泥岩塊の集中部が検出された。土層観察と遺構の掘り込み状況より、溝を廃絶する際に生活面の高さ付近に泥岩を配したものと推定される。溝は 2 条あり、遺構 195 が遺構 194 切る。遺構 194 は非常に浅く、単純な溝とは言い難いが検出部分が狭いこともあり詳細は不明。

遺構 194（図 16、17）

溝。遺構覆土：図を参照。出土遺物（図 19）：31 ～ 41 はかわらけ。42 は青磁蓮弁文碗。43 は白磁口兀皿。44 は天目茶碗。45 は常滑片口鉢Ⅰ類。46 は瓦質火鉢。47 は火鉢か。

遺構 195（図 16、17）

溝。遺構覆土：図を参照。出土遺物（図 19）：48 ～ 57 はかわらけ。58 は白磁口兀皿。59 は甕か。60 は滑石鍋。

4 面構成土出土遺物（図 20）

4 面より 5 面検出までの間の堆積より出土した遺物。61 ～ 74 はかわらけ。75 は青磁蓮弁文碗、76 は青磁蓮弁文小碗、77 は青磁碗。78 は青白磁合子蓋。79 は白磁碗。80 ～ 83 は常滑甕、84 は常滑玉縁壺、85 は常滑壺か。86 ～ 87 は常滑片口鉢Ⅰ類、88 は片口鉢Ⅱ類。89 は瀬戸底卸目皿、90 は瀬戸四耳壺。

91 は瓦器質火鉢、92 は瓦質火鉢。93 ～ 94 は平瓦。95 は土錘。96 は鉄釘。97 ～ 99 は銅銭。

第 6 節　第 5 面の遺構と遺物（図 21 ～ 29）

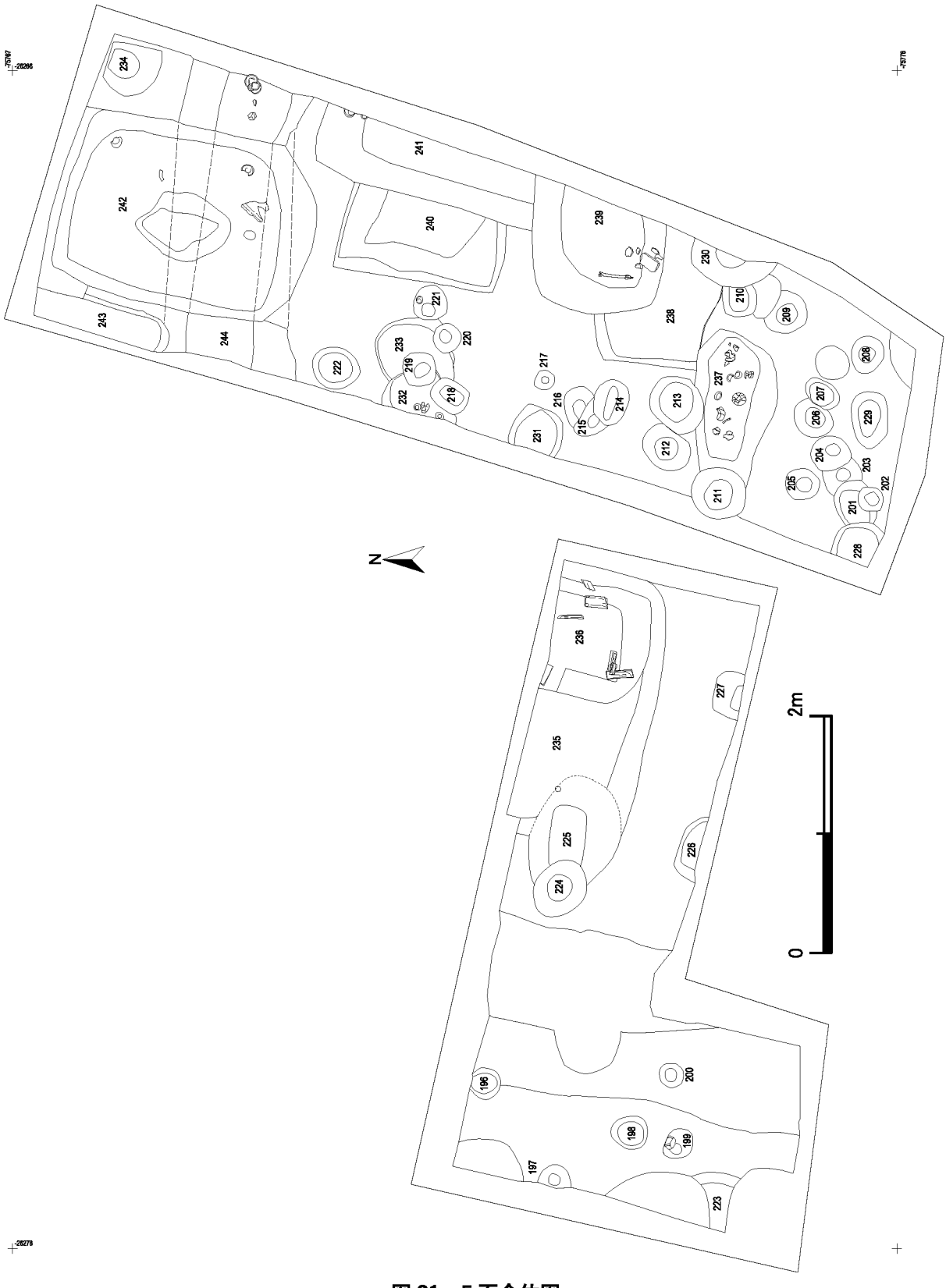


図 21　5 面全体図

第５面は砂粒の混入した暗褐色粘質土の地業面であり、やや大粒の泥岩砕片を含む。４面までとは地業が異なる。確認レベルはおよそ海抜 8.02-8.10 ｍである。遺構はピット 27 穴･土坑 12 基､方形土坑９基、溝１条で、掘立柱建物址の存在が推定できるが、明確なプランは復元できなかった。遺構の切り合いより第５面で発見した遺構は、少なくとも３時期の時間差があると考えられる。

遺物は、かわらけ・手づくね・青磁・白磁・青白磁・常滑・瀬戸・瓦器碗・火鉢・瓦・鉄製品・石製品・羽口・銭が出土している。

・ピット

遺構 196（図 21）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、かわらけ片少なく、炭化物やや多い。出土遺物（図 23）：1 はかわらけ。

遺構 203（図 21）

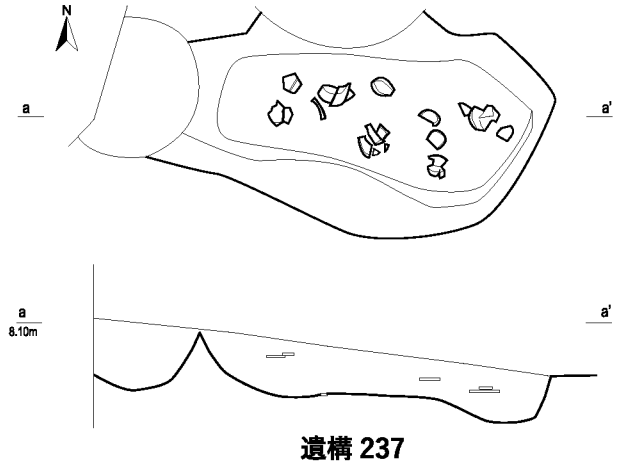
隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗茶褐色粘質土。泥岩、泥岩粒やや多く、炭化物少量含む。出土遺物（図 23）：2 はかわらけ。

遺構 205（図 21）

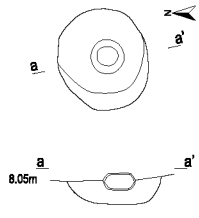
隅丸方形を呈するピット。遺構覆土:暗茶褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物多く含む。出土遺物（図 23）：3 は常滑片口鉢Ⅰ類。4 は砥石。

遺構 206（図 21）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物多く含む。遺構 207 に切



遺構 237



遺構 216

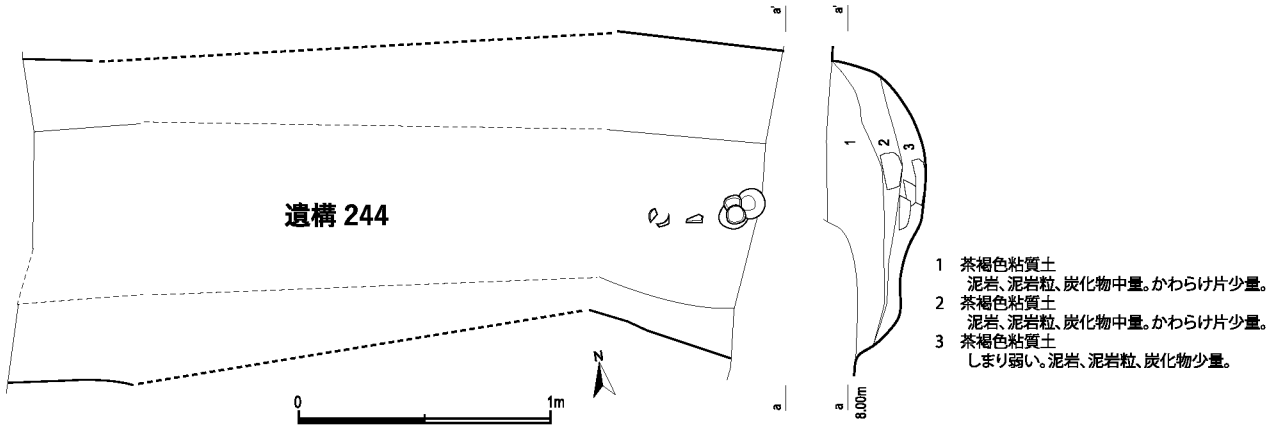


図 22　第５面遺構個別図（１）

られる。出土遺物（図 23）：5 はかわらけ。

遺構 208（図）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土:暗茶褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片少量含む。

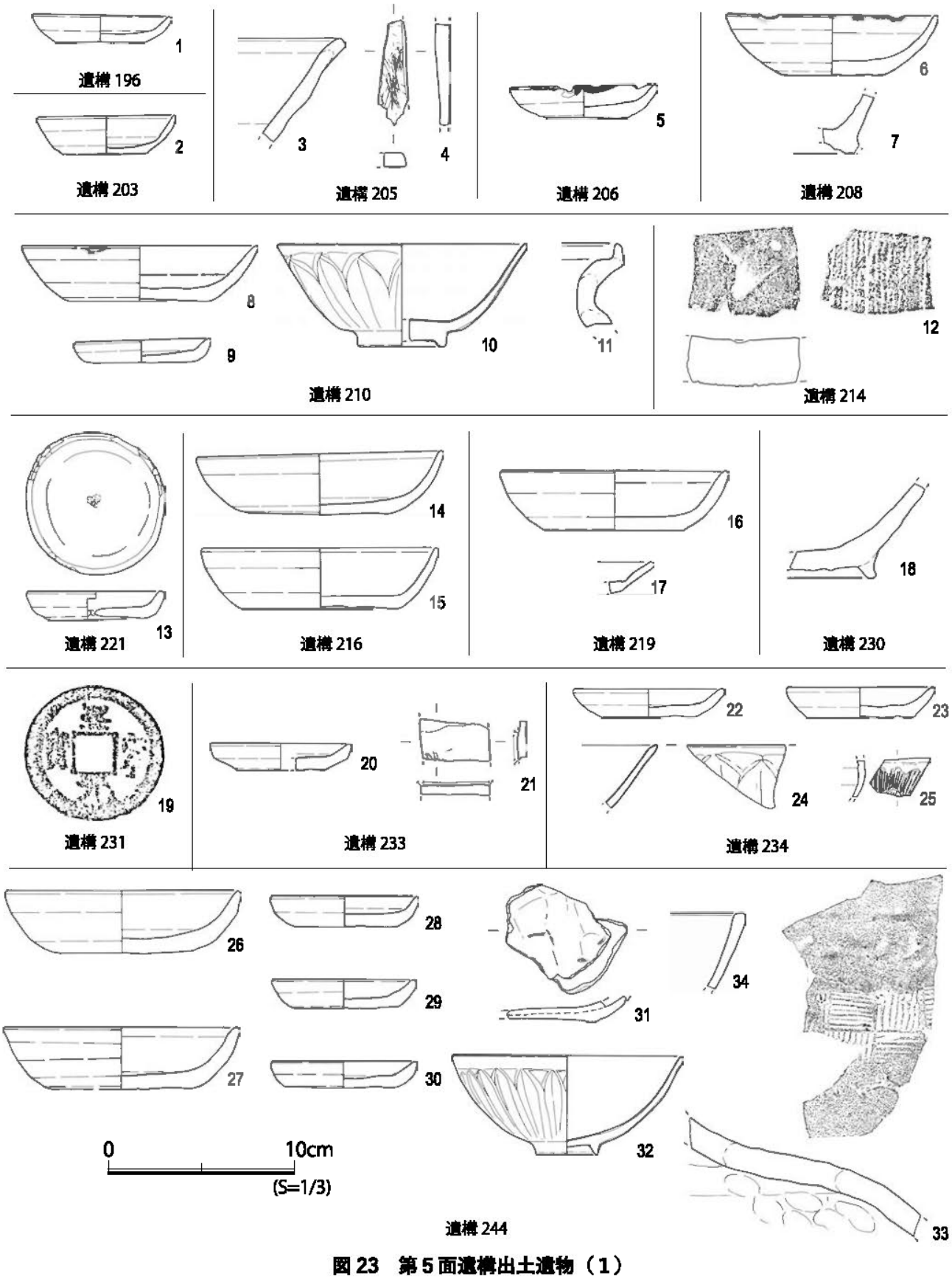
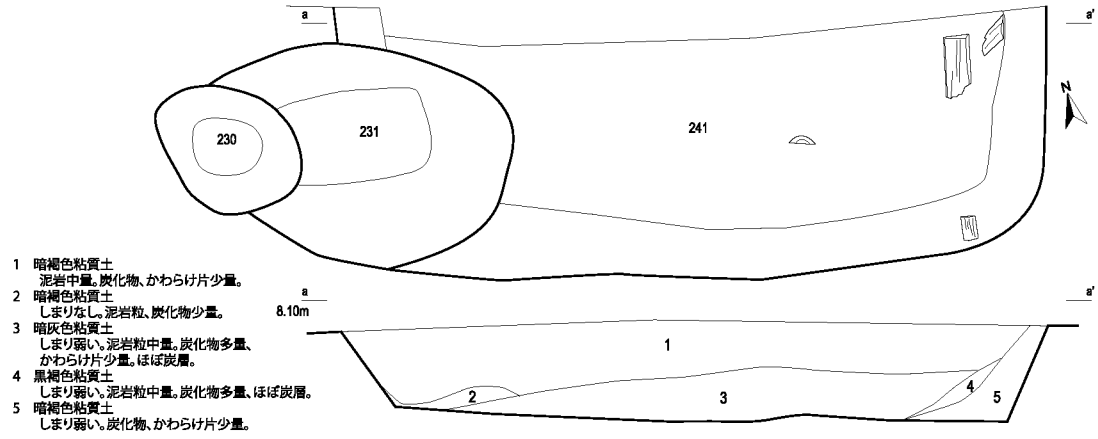
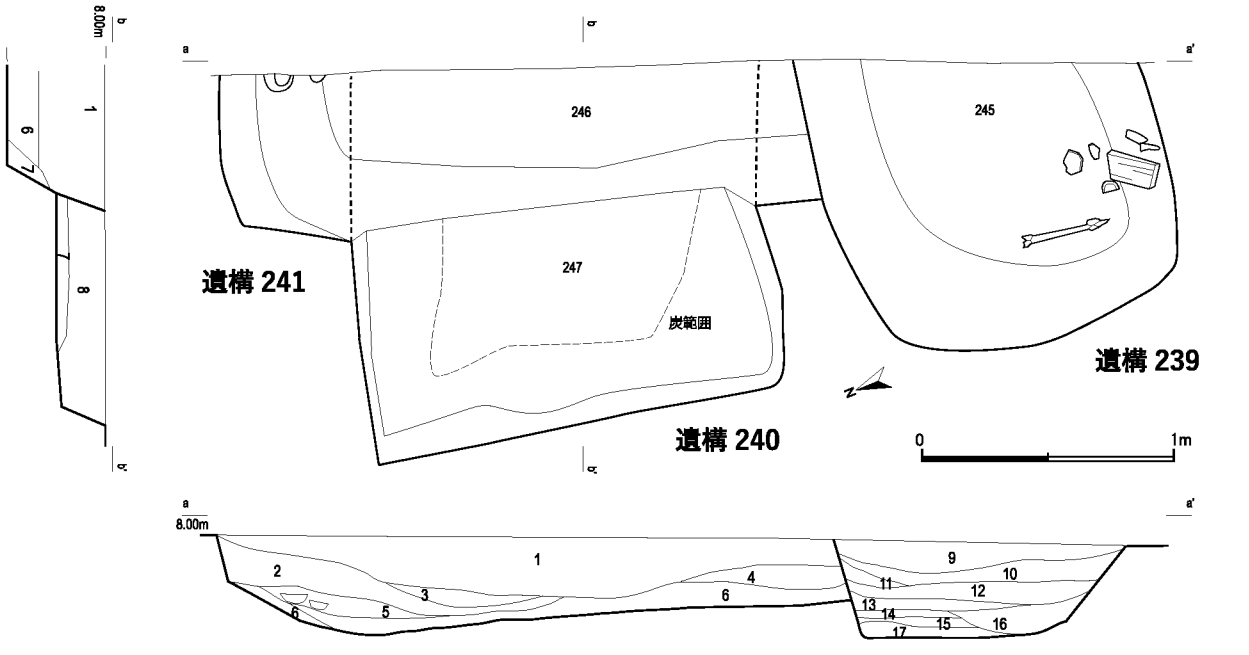
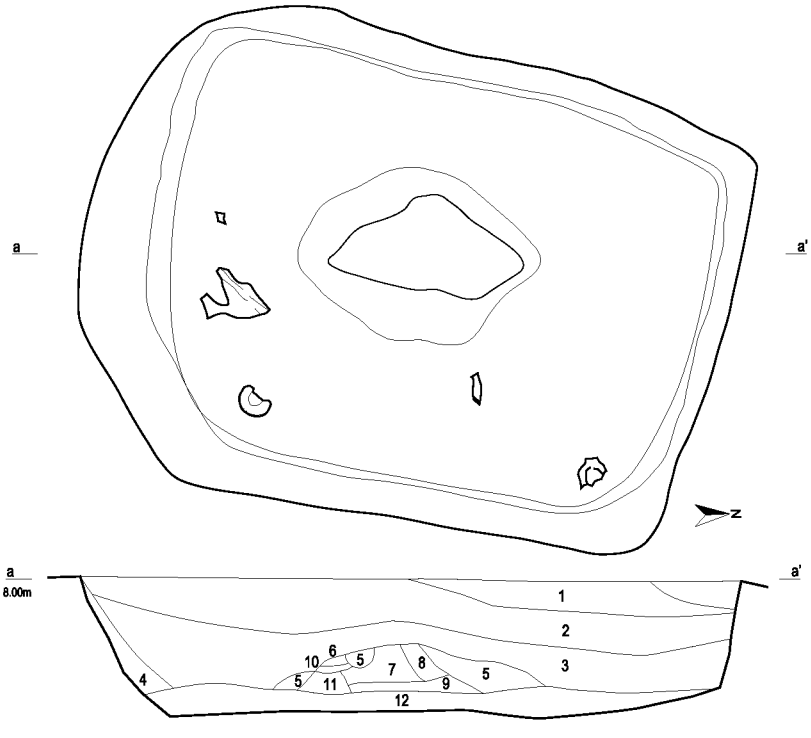


図 23　第 5 面遺構出土遺物（1）





1 暗褐色粘質土 泥岩、泥岩粒中量。炭化物中量、かわらけ片少量。
2 暗褐色粘質土 しまり弱い。破砕泥岩および炭大量。
3 暗黄褐色粘質土 しまり弱い。泥岩粒少量。
4 暗褐色粘質土 しまり弱い。泥岩粒少量。炭化物、かわらけ片少量。
5 暗褐色粘質土 しまり弱い。泥岩、泥岩粒、炭化物中量。
6 暗褐色粘質土 しまり弱い。泥岩粒、炭化物少量。砂混入。
7 暗褐色粘質土 しまり弱い。破砕泥岩および炭大量。
8 暗茶褐色粘質土 しまり弱い。泥岩、泥岩粒、少量。炭中量。
9 暗褐色粘質土 泥岩、泥岩粒中量。炭化物、かわらけ片少量。
10 暗褐色粘質土 しまり弱い。泥岩、炭化物少量。
11 暗灰色粘質土 泥岩粒中量。炭化物中量、かわらけ片少量砂混入。
12 暗灰色粘質土 しまり弱い。泥岩、泥岩粒、炭化物中量。
13 暗茶褐色砂質土 しまり弱い。炭化物少量。
14 黒褐色砂質土 しまり弱い。炭化物中量。
15 黄褐色砂質土 しまり弱い。炭化物中量。
16 暗褐色粘質土 泥岩粒、炭化物、かわらけ片少量。
17 暗青灰色粘質土 炭化物中量。



1 暗褐色粘質土 泥岩中量。炭、かわらけ少量。
2 暗褐色粘質土 締まりやや弱い。泥岩、炭中量。かわらけ片少量。
3 暗灰色粘質土 締まりなし。泥岩少量。炭中量。
4 暗茶褐色粘質土 締まりなし。
5 灰白色粘質土 締まりなし。粘性高い。炭中量。
6 赤褐色粘質土 締まりなし。炭中量。焼土塊。
7 暗赤褐色粘質土 炭中量。
8 暗赤褐色粘質土 7層より明るい。炭中量。
9 明黄褐色粘質土
10 炭層
11 明黄褐色粘質土 木片を多量に含む。
12 白色粘質土 締まりやや多い。粘性高い。上に薄く炭層。

図 24　第 5 面遺構個別図（2）

出土遺物（図 23）：6 かわらけ。7 は土師器台付甕。

遺構 210（図 21）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒多く、炭化物、かわらけ片少量含む。遺構 230 に切られる。出土遺物（図 23）：8 ～ 9 はかわらけ。10 は青磁蓮弁文碗。11 は常滑甕。

遺構 214（図 21）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物多く、かわらけ片少量含

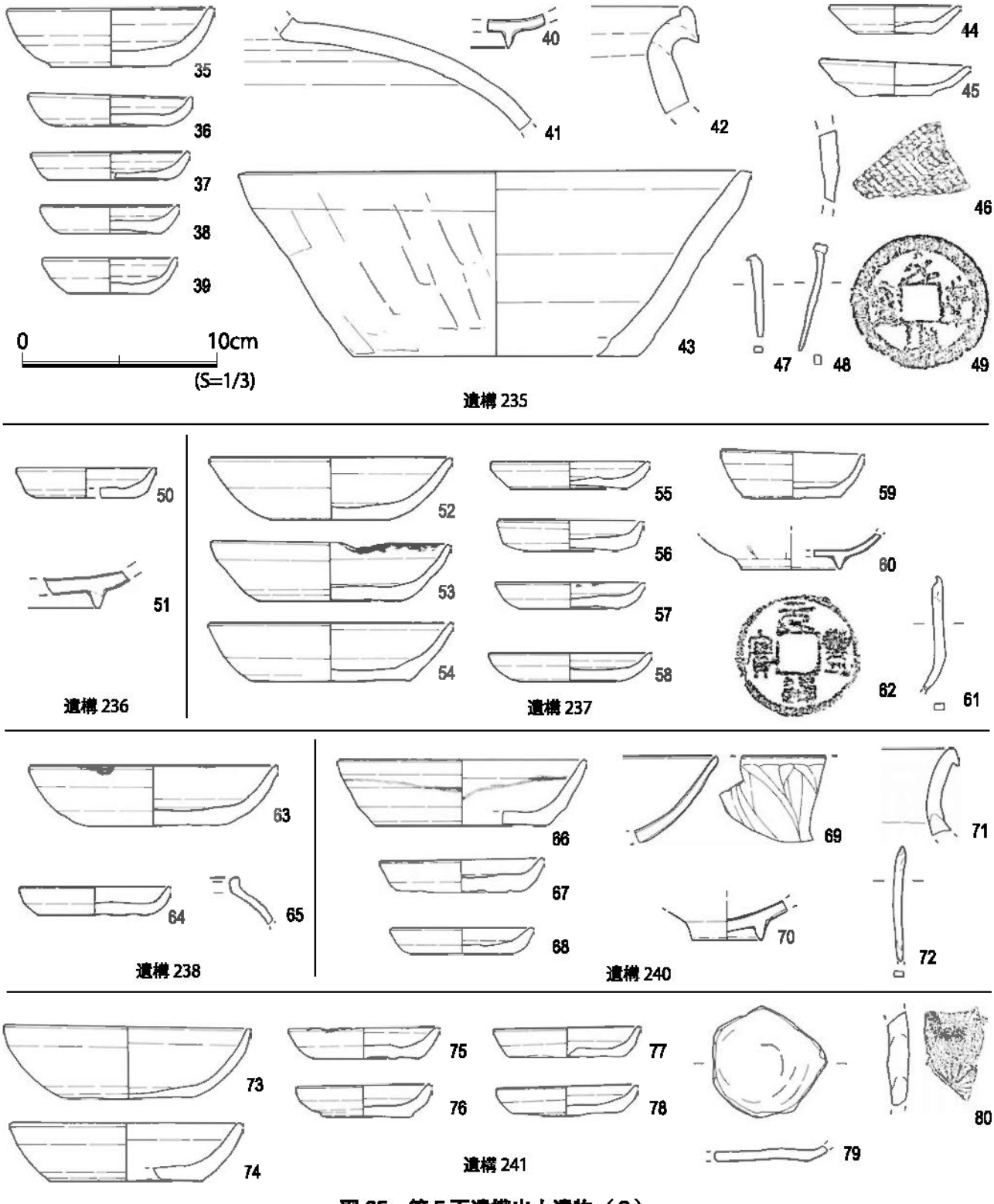


図 25　第 5 面遺構出土遺物（2）

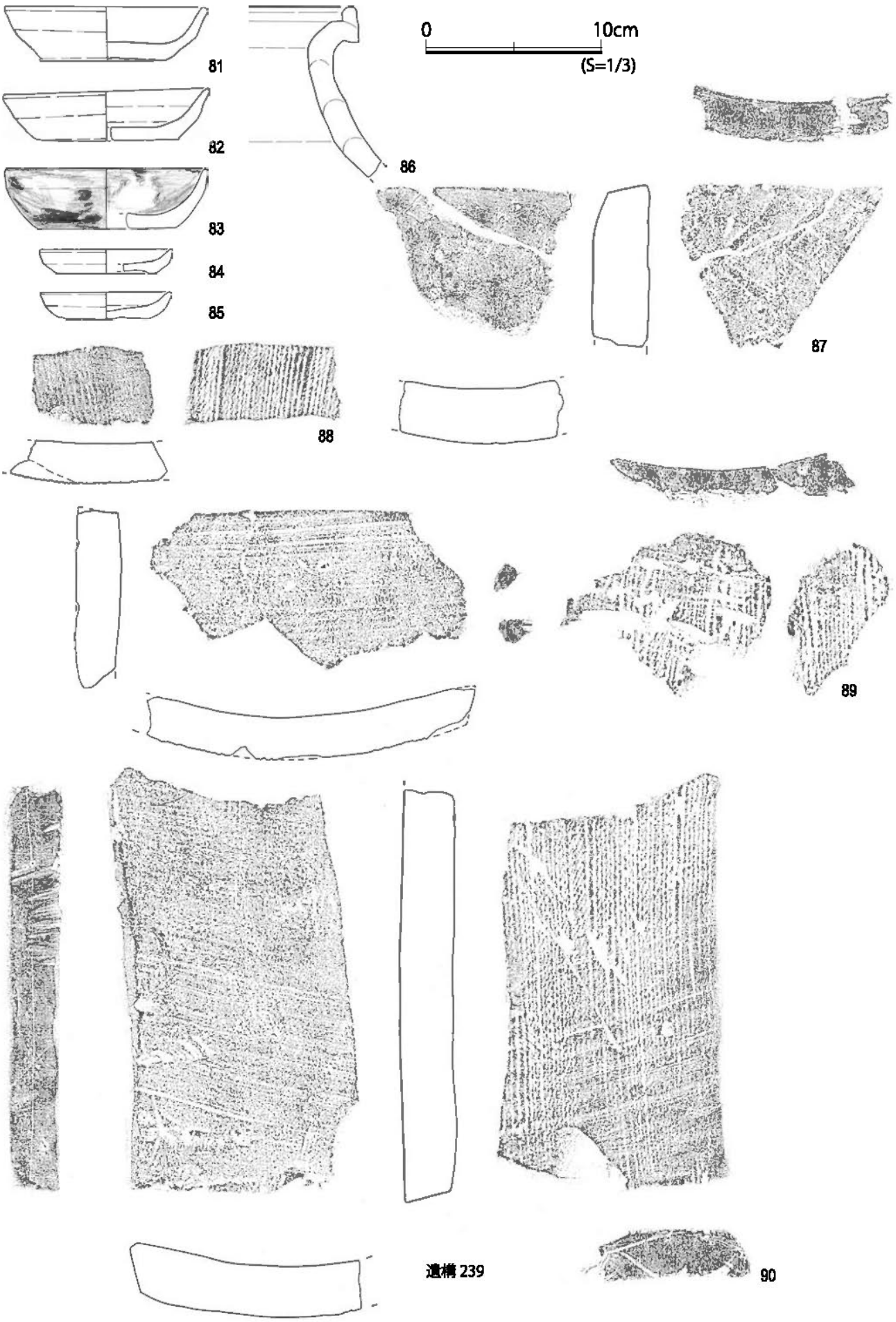
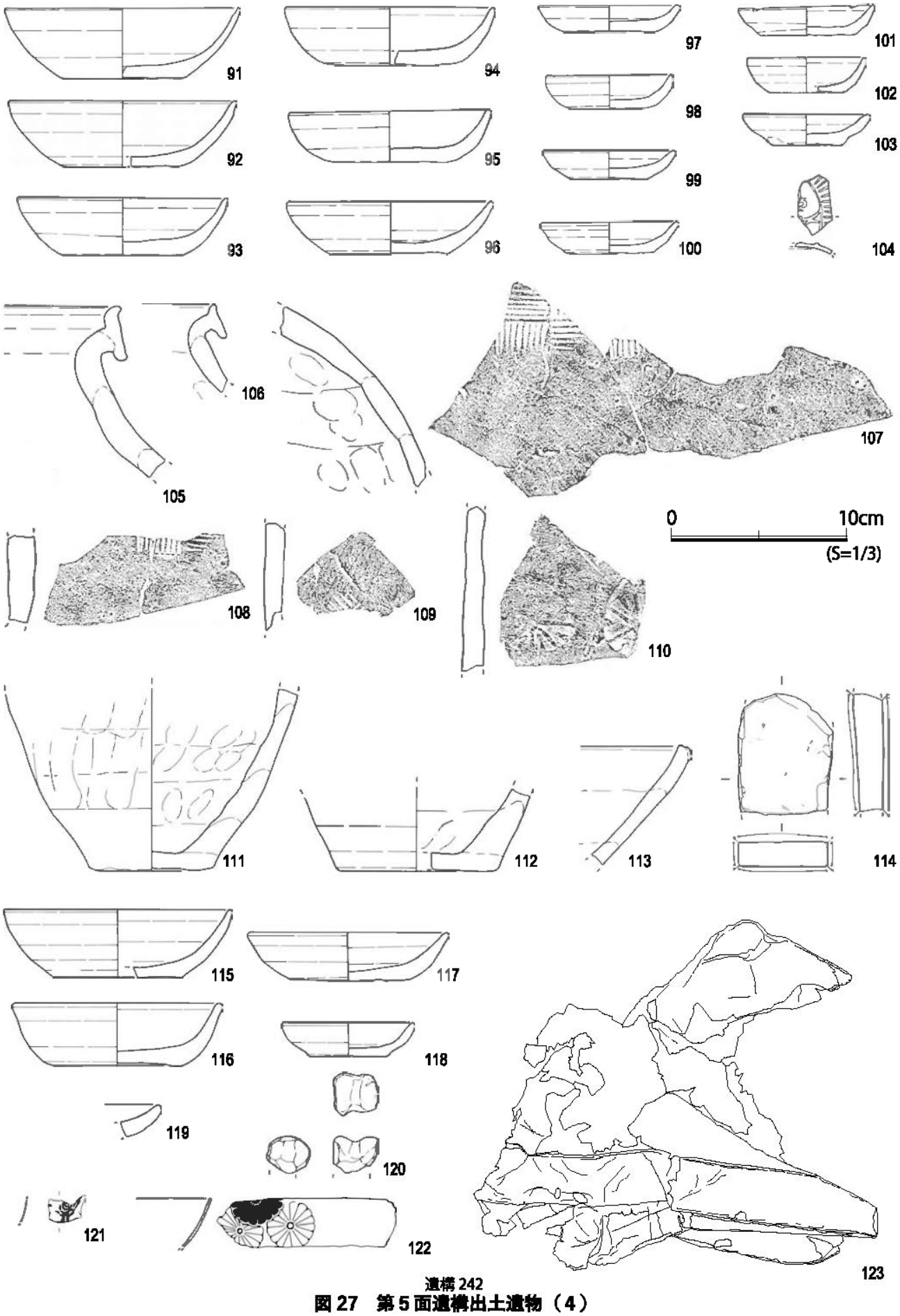


図26　第5面遺構出土遺物（3）



遺構 242

図 27　第 5 面遺構出土遺物（4）

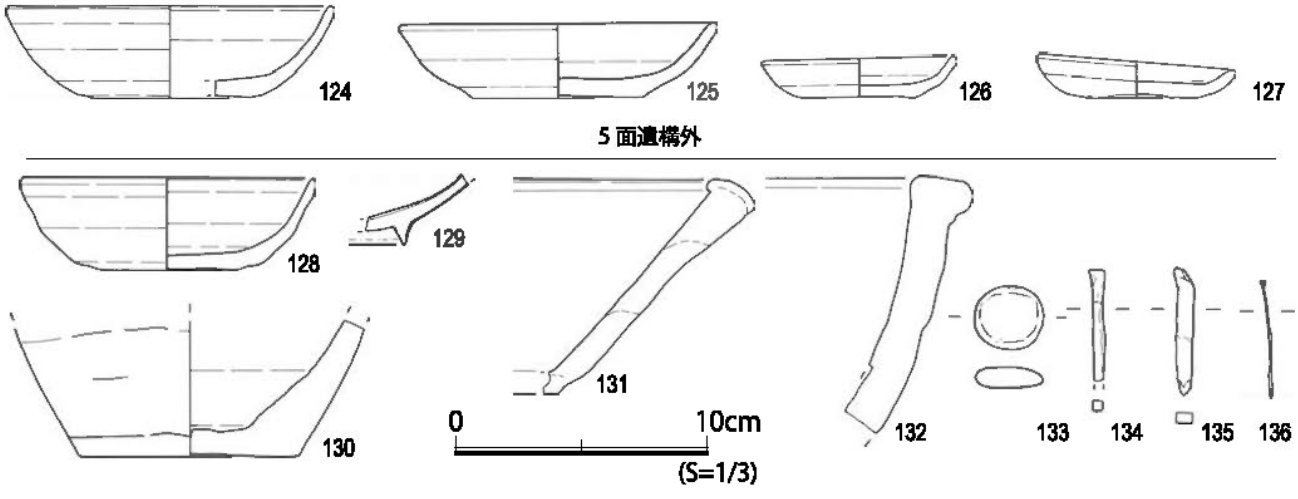


図 28　第 5 面遺構外および構成土出土遺物

む。出土遺物（図 23）：12 は平瓦。

遺構 216（図 21、22）

隅丸方形を呈するピット。かわらけが合わせ口で 2 点重なって検出された。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片含む。出土遺物（図 23）：14 ～ 15 は合わせ口で埋納されていたかわらけ。

遺構 219（図 21）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒多い、炭化物、かわらけ片少量含む。出土遺物（図 23）：16 はかわらけ。17 は青磁皿。

遺構 221（図 21）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒多く、炭化物、かわらけ片少量含む。出土遺物（図 23）：13 はかわらけ。

・土坑

遺構 230（図 21）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片少量含む。出土遺物（図 23）：18 は常滑片口鉢 I 類。

遺構 231（図 21）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物多く、かわらけ片少量含む。出土遺物（図 23）：19 は銅銭。

遺構 233（図 21）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片多く含む。出土遺物（図 23）：20 はかわらけ。21 は砥石。

遺構 234（図 21）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒多く、炭化物、かわらけ片少量含む。出土遺物（図 23）：22 ～ 23 はかわらけ。24 は青磁蓮弁文碗。25 は白磁合子の身。

・方形土坑

平面が方形でやや規模の大きい土坑が調査区の中～東部にかけて多数検出された。切り合いが見られ、同様の場所に何度か作り直しをしていることが想定される。

遺構 235（図 21、24）

比較的大型の方形土坑。東壁は 1 区調査区際で立ち上がる。底面東側からは木材が何枚か検出され、そのうち東壁際では銅銭を一枚載せていた。呪術的なものか。覆土：図参照。出土遺物（図 25）：35 ～ 39 はかわらけ。40 は青磁無文鉢類。41 は褐釉壺。42 は常滑甕。43 は常滑片口鉢Ⅱ類。44 は渥美湖西型山皿。45 は東遠型山皿か。46 は亀山甕。47 ～ 48 は鉄釘。49 は銅銭。

遺構 236（図 21）

遺構 235 構築の際にほとんど削り取られている。東壁のみ共用か。本来のプランは不明。覆土：図参照。出土遺物（図 25）：50 はかわらけ。51 は青磁鉢類。

遺構 237（図 21、22）

やや不整形を呈する。底面近くよりかわらけがまとまって検出。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒多く、炭化物、かわらけ片少量含む。出土遺物（図 25）：52 ～ 59 はかわらけ。60 は青磁蓮弁文碗。61 は鉄釘。62 は銅銭。

遺構 238（図 21）

遺構 237、239 に切られ、一部のみ残存。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物多く、かわらけ片少量含む。出土遺物（図 25）：63 ～ 64 はかわらけ。65 は器種不明。

遺構 239（図 21、24）

隅丸を呈する方形土坑。南壁際から瓦、かわらけ、獣骨がややまとまって検出。覆土は図参照。出土遺物（図 26）：81 ～ 85 はかわらけ。86 は常滑甕。87 ～ 90 は平瓦。

遺構 240（図 21、24）

遺構 241 を壊す。覆土は図参照。底部ほぼ全面に炭が広がっていた。出土遺物（図 25）：66 ～ 68 はかわらけ。69 は青磁蓮弁文碗、70 は青磁碗。71 は常滑壺か。72 は鉄釘。

遺構 241（図 21、24）

遺構 239、遺構 240 に切られ南端は不明。覆土は図参照。底部北側には炭が広がっていた。北壁立ち上がり付近でほぼ完形のかわらけ出土。出土遺物（図 25）：73 ～ 79 はかわらけ。80 は常滑甕。

遺構 242（図 21、24）

やや隅丸を呈する方形土坑。遺構覆土：詳細は図を参照。底面には灰色で粘性の高い土を貼ったようであり、中央部に木片混入の腐植土的な土が堆積しており、やや特異な状況である。出土遺物（図 27）：上層では 91 ～ 103 はかわらけ。104 は白磁合子蓋。105 は常滑甕、106 は常滑広口壺、107 ～ 110 は常滑甕。111 は常滑玉縁壺、112 は常滑壺、113 は常滑片口鉢Ⅱ類。114 は砥石。

下層では 115 ～ 118 はロクロかわらけ。119 は手づくねかわらけ。120 は獣骨。121 ～ 122 は漆器片。123 は烏帽子。

・溝

遺構 244（図 21、22）

東西方向の溝。遺構 242 によって破壊されている。断面逆台形でやや浅い。遺構覆土：図を参照。出土遺物（図 23）：26 ～ 31 はかわらけ。32 は青磁蓮弁文碗、33 は常滑甕。34 は土師器台付甕。

5面遺構外出土遺物（図28）

遺構面精査時に面上で検出した遺物。124～127はかわらけ。

5面構成土出土遺物（図28）

5面より6a面検出までの間の堆積より出土した遺物。128はかわらけ。129は青磁蓮弁文小碗。130は常滑瓶類。131は瓦質火鉢。132は土器質火鉢。133は碁石。134～136は鉄釘。

第7節　第6a面の遺構と遺物（図29～30）

第6面は砂質土でわずかに粘着土や破砕泥岩が混入している。砂の色調や混入物の違いから堆積自体は薄いがそれぞれ別の生活面としてa,b,cの3面を6面として一括した。6a面は暗褐色の砂質土で構成され、細かく破砕した泥岩を面上にやや広い範囲で施している。確認レベルはおよそ海抜7.92～8.03mである。検出遺構はピット22穴・土坑10基、溝3条で、掘立柱建物址の存在が推定できるが、明確なプランは復元できなかった。遺構の切り合いより第1面で発見した遺構は、少なくとも3時期の時間差があると考えられる。

遺物は、かわらけ・手づくね・青磁・白磁・常滑・火鉢・鉄製品・石製品が出土している。

・ピット

遺構250（図29）

楕円形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片少量含む。出土遺物（図30）：1は白磁口兀皿。

遺構258（図29）

円形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片少量。出土遺物（図30）：2は土器で産地不明。

遺構261（図29）

円形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片少量含む。出土遺物（図30）：3は瓦質火鉢。

遺構262（図29）

円形を呈するピット。遺構覆土：暗茶褐色粘砂質土。泥岩粒、炭化物、かわらけ片をわずかに含む。出土遺物（図30）：4は土師器甕。

遺構264（図29）

隅丸長方形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物を少量含む。出土遺物（図30）：5はかわらけ。

・土坑

遺構267（図29）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土:暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物多く、かわらけ片少量含む。出土遺物（図30）：6はかわらけ。

遺構273（図29）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘砂質。泥岩、泥岩粒は多く、炭化物、かわらけ片少量含

む。出土遺物（図 30）：7 は常滑壺。

遺構 275（図 29）

不整楕円形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物多く、かわらけ片少量含む。出土遺物（図 30）：8 は青磁蓮弁文碗。

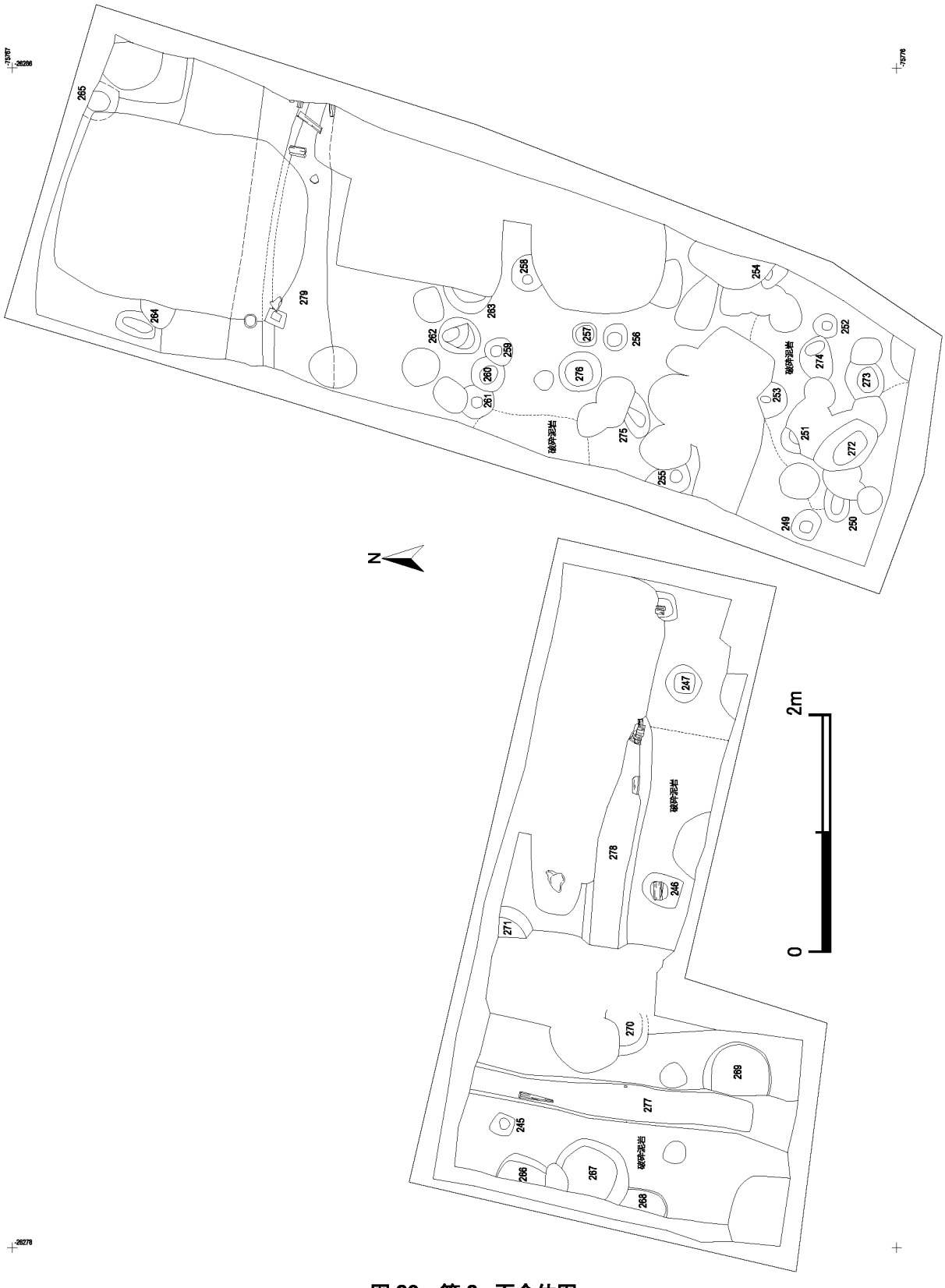


図 29　第 6a 面全体図

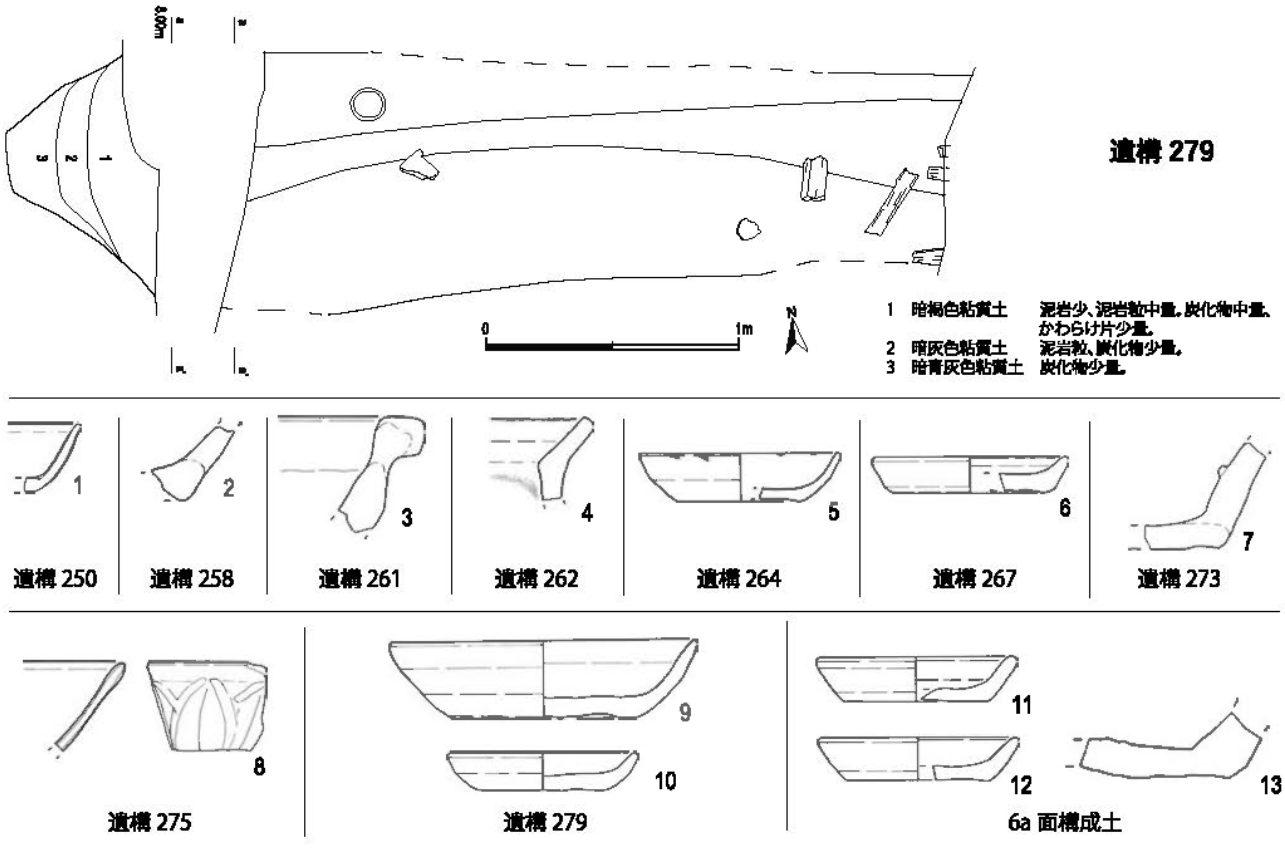


図 30　第 6a 面遺構個別および出土遺物図

・溝

遺構 277（図 29）

南北方向の溝。非常に浅く、南側はほとんど消失してしまっている。遺構覆土：泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片を含む。図示可能な遺物なし。

遺構 278（図 29）

東西方向の溝。東側では木片が壁面からまとまって検出され、そこから北に屈曲しそうであるが、上面の遺構に破壊されており不明。西側に向かって傾斜がきつく下がるが、やはり上面の溝に破壊され不明。遺構覆土:暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物やや多く、かわらけ片少ない。図示可能な遺物なし。

遺構 279（図 29、30）

東西方向に走る溝。第 5 面遺構 244 溝状遺構のほぼ直下にあたる。5 面の溝は 6 a 面のこの溝を掘りなおしたものか。出土遺物（図 30）：9 ～ 10 はかわらけ。

6a 面構成土出土遺物（図 30）

6a 面より 6b 面検出までの間の堆積より出土した遺物。11 ～ 12 はかわらけ。13 は常滑甕。

第 8 節　第 6b 面の遺構と遺物（図 31、32）

第 6b 面は暗褐色の砂質土で構成され、2 区では破砕泥岩を面上に施した部分が多い。確認レベルはおよそ海抜 7.81 ～ 7.95 m である。検出遺構はピット 14 穴・土坑 13 基で、掘立柱建物址の存在が推定

できるが明確なプランは復元できなかった。遺構の切り合いより第1面で発見した遺構は、少なくとも2時期の時間差があると考えられる。

遺物は、かわらけ・手づくねかわらけ・青磁・褐釉・常滑・渥美・瓦器・火鉢・鉄製品が出土している。

・ピット

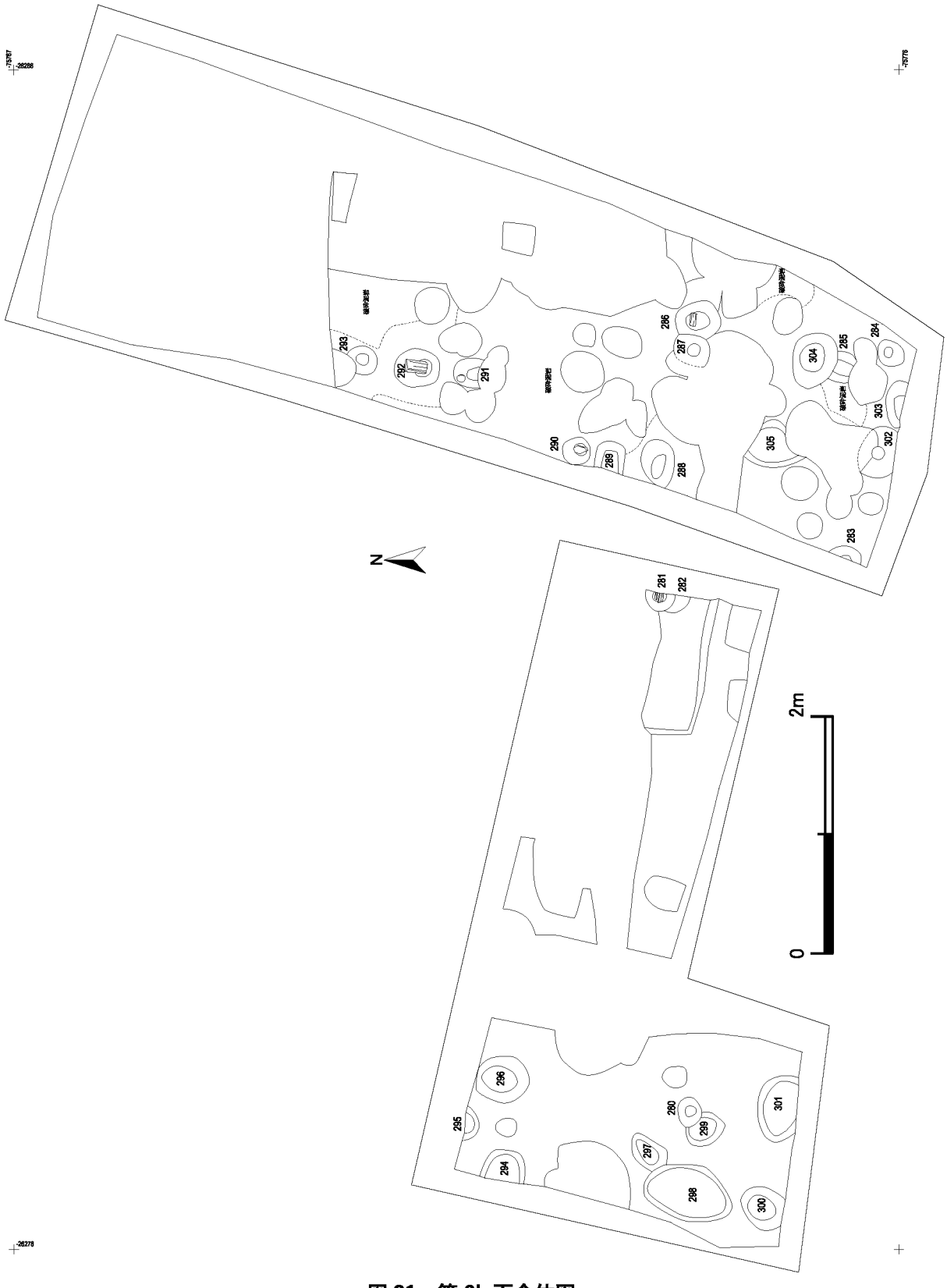


図31　第6b面全体図

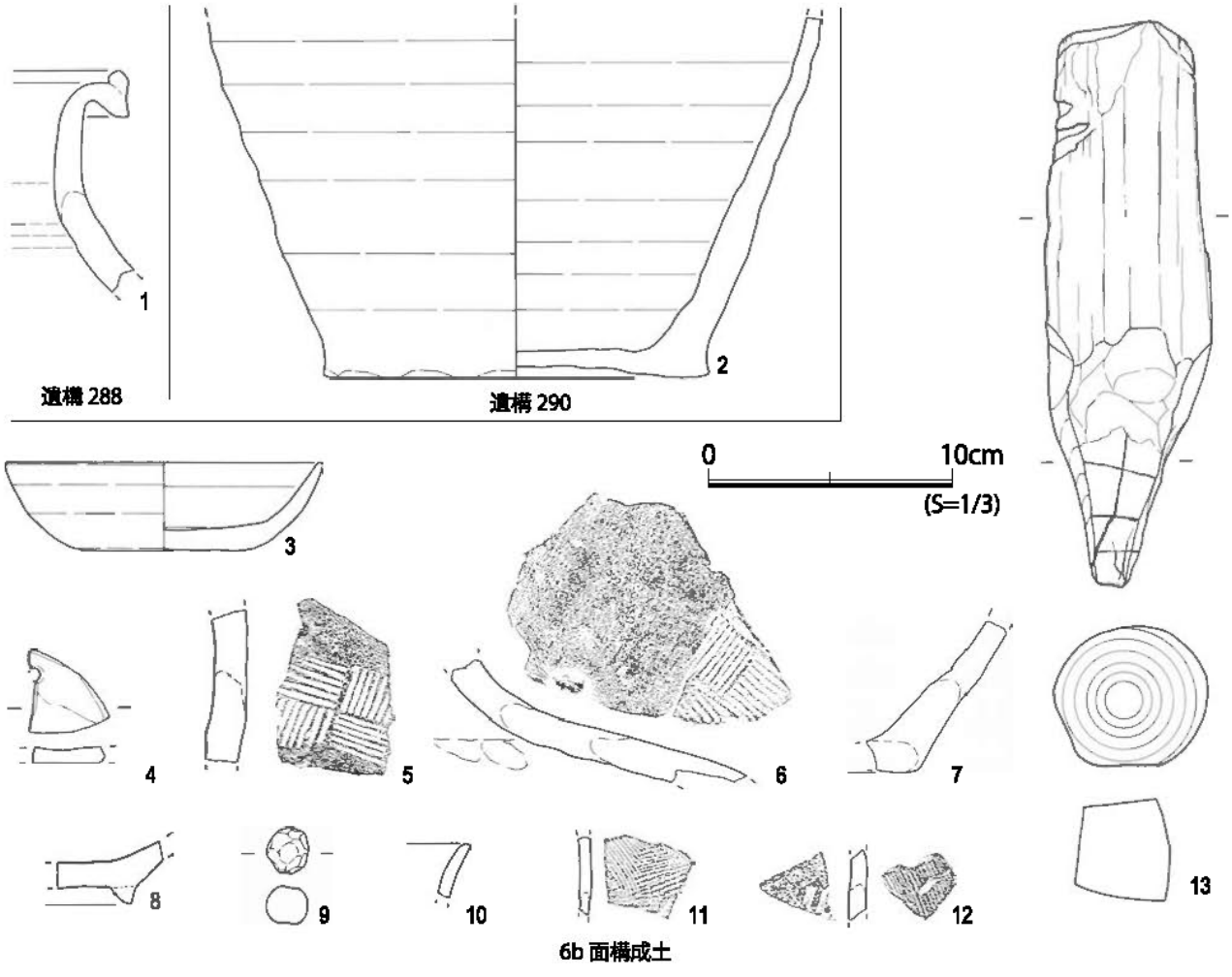


図 32　第 6b 面出土遺物

遺構 288（図 31）

楕円形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片少量含む。出土遺物（図 32）：1 は常滑甕。

遺構 290（図 31）

円形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物を少量含む。出土遺物（図 32）：2 は褐釉壺。

ほかに遺構 286、292 の底面からは礎板を検出。

6b 面構成土出土遺物（図 32）

6b 面より 6c 面検出までの間の堆積より出土した遺物。3 はかわらけ。4 は穿孔かわらけ。5 ～ 7 は常滑甕。8 は尾張型山茶碗。9 は土製珠。10 は土師器甕類。11 ～ 12 は不明土製品。13 は木杭。

第 9 節　第 6c 面の遺構と遺物（図 33、34）

第 6c 面は黒色の砂質土によって構成され、破砕泥岩をほとんど含まない。ただし 1 区中ほどでは破砕泥岩を面的に敷き詰めた箇所を検出した。レベルはおよそ海抜 7.75 ～ 7.90 m である。遺構はピット 17 穴・土坑 9 基、方形土坑 2 基、溝 2 条で、掘立柱建物址の存在が推定できるが、明確なプランは復

元できなかった。遺構の切り合いより第 6c 面で発見した遺構は、少なくとも 3 時期の時間差があると考えられる。

遺物は、かわらけ・白かわらけ・青磁・白磁・緑釉・常滑・瀬戸・瓦器・火鉢・瓦・鉄製品・石製品・銭・自然遺物が出土している。

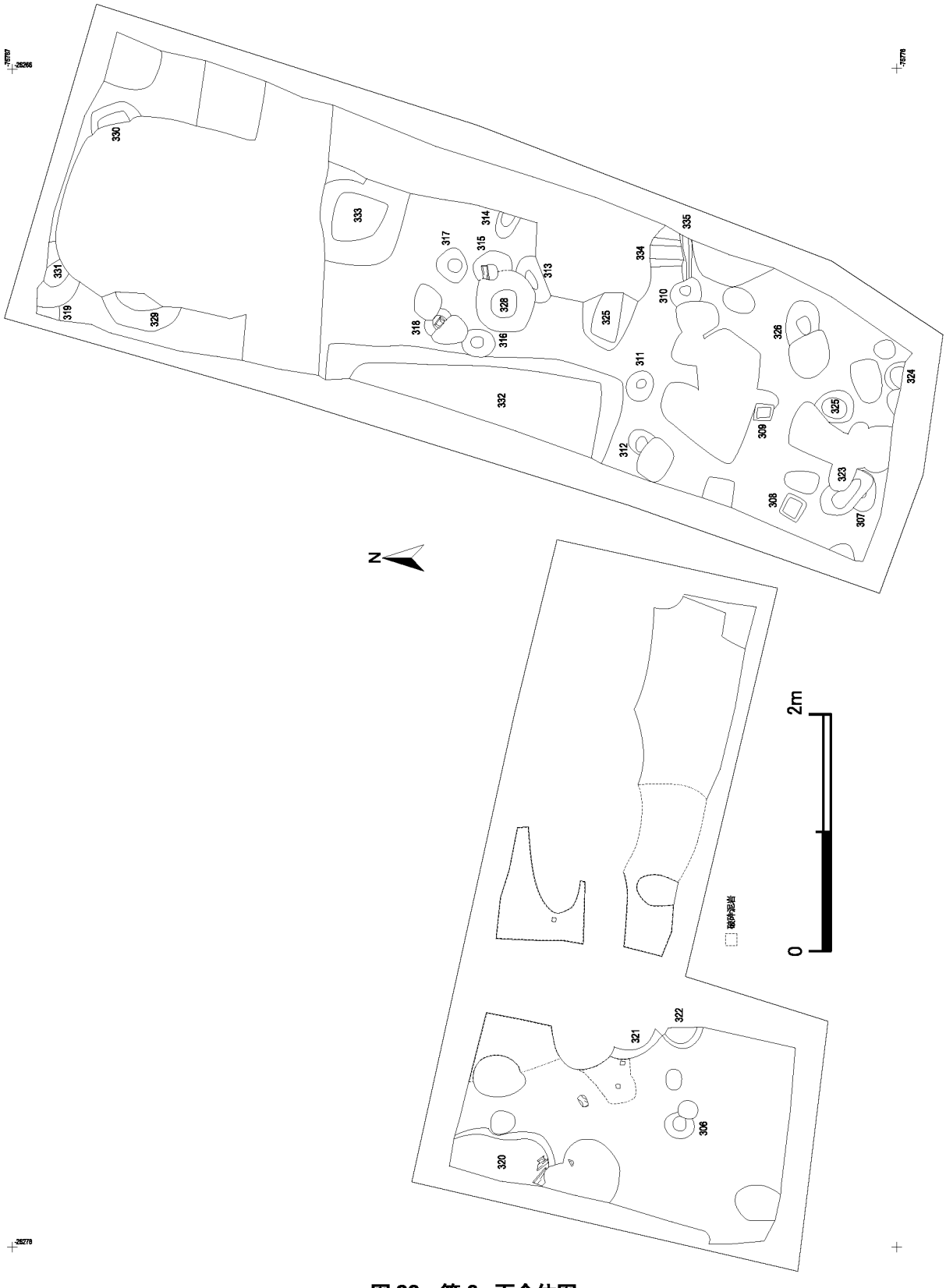


図 33　第 6c 面全体図

・ピット

遺構 311（図 33）

円形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘砂質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片少量含む。出土遺物（図 34）：1 ～ 3 は不明土製品。

遺構 313（図 33）

楕円形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片少量含む。出土遺物（図 34）：4 はかわらけ。

遺構 315（図 33）

楕円形を呈するピット。底面より木材検出。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片少量含む。出土遺物（図 34）：5 はかわらけ。

遺構 317（図 33）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘砂質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片を多く含む。出土遺物（図 34）：6 は土師器甕。

・土坑

遺構 327（図 33）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：暗茶褐色粘砂質土。泥岩、泥岩粒多く、炭化物、かわらけ片少量含む。出土遺物（図 34）：7 は不明土製品。8 は瓦質火鉢。

遺構 328（図 33）

円形を呈する土坑。遺構覆土：暗茶褐色粘砂質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片少量含む。出土遺物（図 34）：9 はかわらけ。

・方形土坑

遺構 332（図 33、34）

方形を呈する土坑。遺構覆土：図 30 参照。土坑上部は破砕泥岩を多く含む締まりの強い土によって丁寧に埋めたような状況である。出土遺物（図 34）：10 ～ 14 はかわらけ。15 は青磁蓮弁文碗。16 は常滑壺。17 は銅銭。

・溝

2 条検出。幅は狭く深さも浅い。ほぼ直行しているが、他の遺構に大部分は破壊されてしまっている。

遺構 334（図 33）

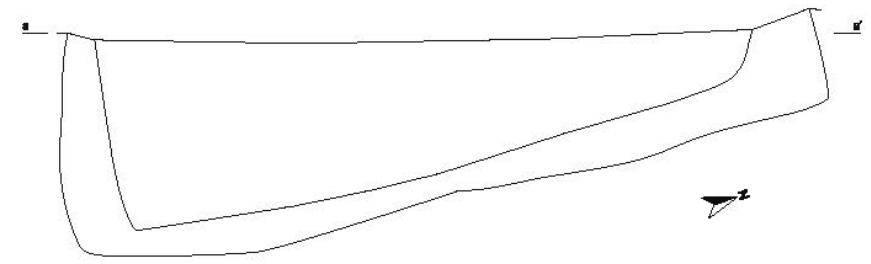
溝。遺構覆土：暗褐色砂質土。粘質土、泥岩粒少量混入。図示可能な遺物なし。

遺構 335（図 33）

溝。遺構覆土：暗褐色砂質土。粘質土、泥岩粒少量混入。図示可能な遺物なし。

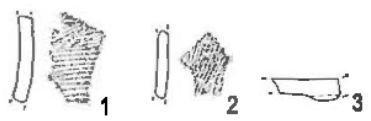
6c 面構成土出土遺物（図 34）

6c 面より 7 面検出までの間の堆積より出土した遺物。18 ～ 22 はかわらけ。23 は手づくねかわらけ。24 は舶載陶器の盤。25 ～ 26 は常滑片口鉢Ⅰ類。27 ～ 28 は平瓦。29 は伊勢系土鍋。30 は須恵器甕。31 は鉄釘。32 は木片でヘラ状工具か。

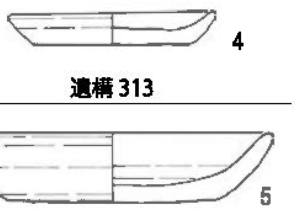


遺構 332

1 褐褐色粘質土　泥岩少、泥岩粒中量。破砕泥岩による硬化層
2 黒色粘質土　しまりなし。炭化物多量、かわらけ片少量。炭層
3 暗褐色粘質土　泥岩粒少量。炭化物少量。砂混入。
4 白灰色砂質土　しまりなし。炭化物中量。
5 暗灰色粘質土　しまりなし。炭化物中量。

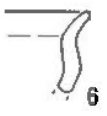


遺構 311



遺構 313

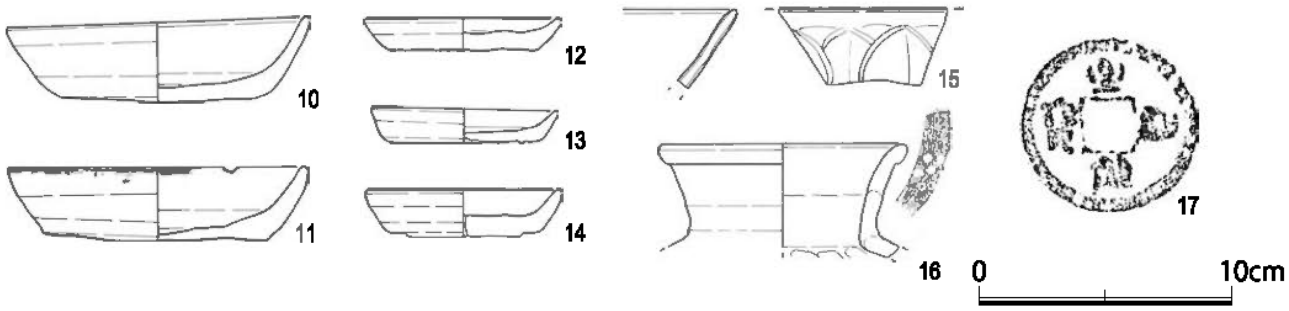
遺構 315



遺構 317

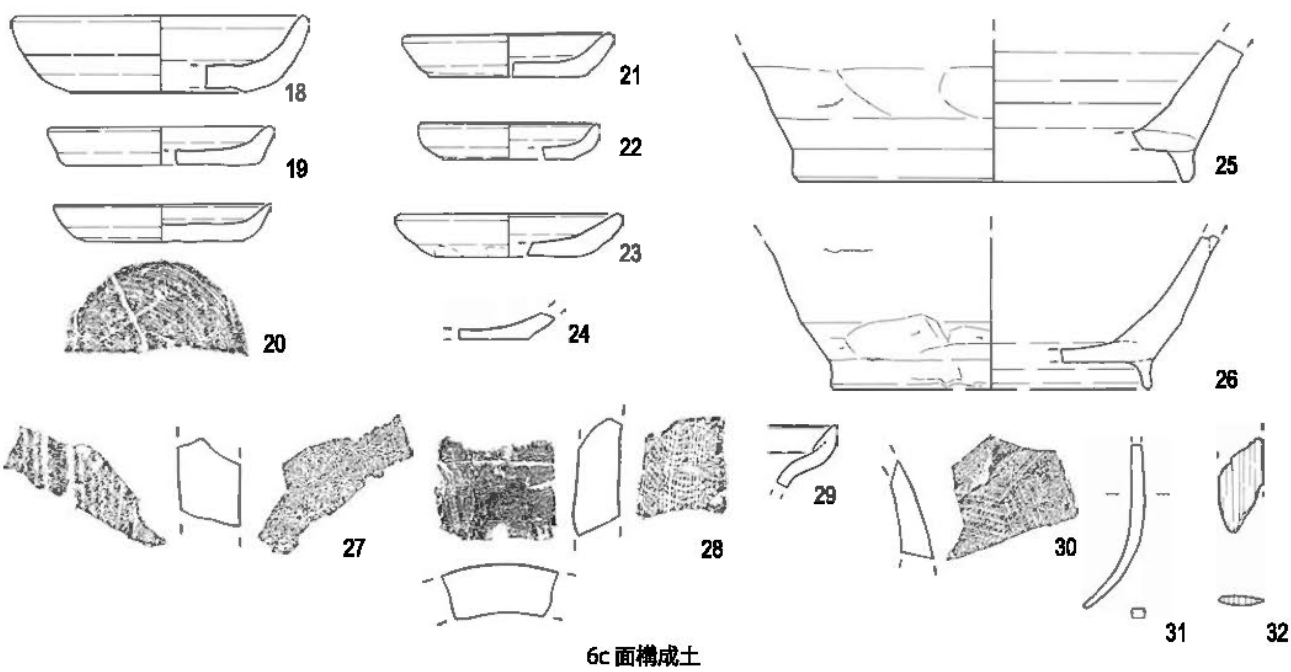
遺構 327

遺構 328



(S=1/3)

遺構 332



6c 面構成土

図 34　第 6c 面遺構個別および出土遺物

第 10 節　第 7a 面の遺構と遺物（図 35 ～ 38）

第 7 面は茶褐色砂層によって構成される。2 区北側では砂層の下に炭層が広がりさらにその下から薄い砂層が検出されたため、炭層上面を 7a、下を 7b とした。1 区では 2 区のような明確な炭層が検出されず、

図 35　第 7a 面全体図

7b 面は調査区東側の 2 区のみとなる。7a 面の確認レベルはおよそ海抜 7.62 ～ 7.74 m で、南から北へ緩やかに下がる。検出遺構はピット 31 穴・土坑 14 基で、掘立柱建物址の存在が推定できるが、明確なプランは復元できなかった。遺構の切り合いより第 7a 面で発見した遺構は、少なくとも 3 時期の時間差があると考えられる。

遺物は、かわらけ・手づくねかわらけ・青白磁・褐釉・常滑・瀬戸・火鉢・鉄製品・自然遺物が出土している。

・ピット

遺構 336（図 35）

円形を呈するピット。遺構覆土：茶褐色砂質土。出土遺物は漆器の椀。残存状況が不良であり図化困難のため、写真のみ掲載する（写真図版 20-a）。

遺構 359（図 35）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：茶褐色砂質土。炭化物を少量含む。出土遺物（図 36）：1 はかわらけ。

・土坑

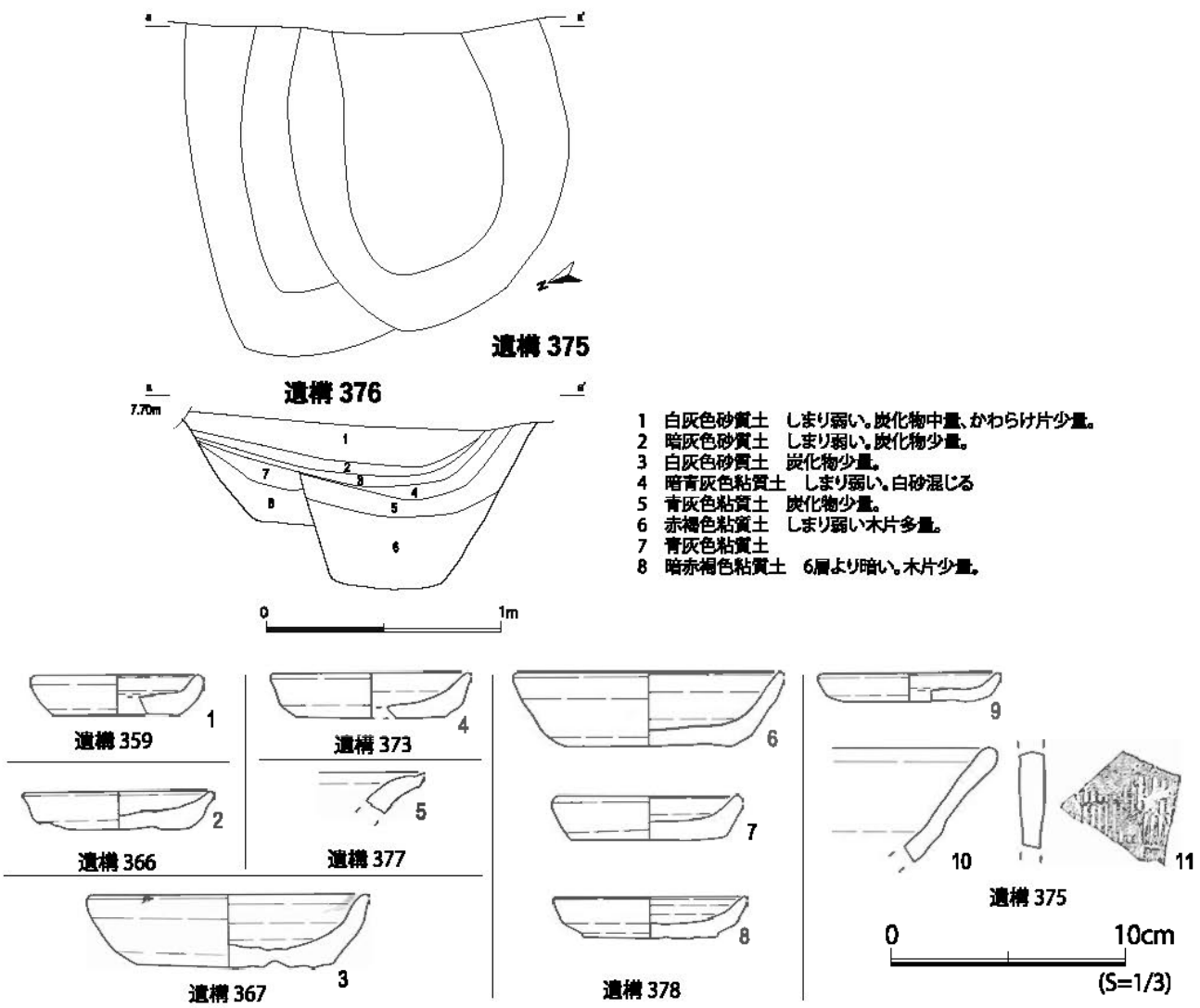


図 36　第 7a 面遺構個別および出土遺物

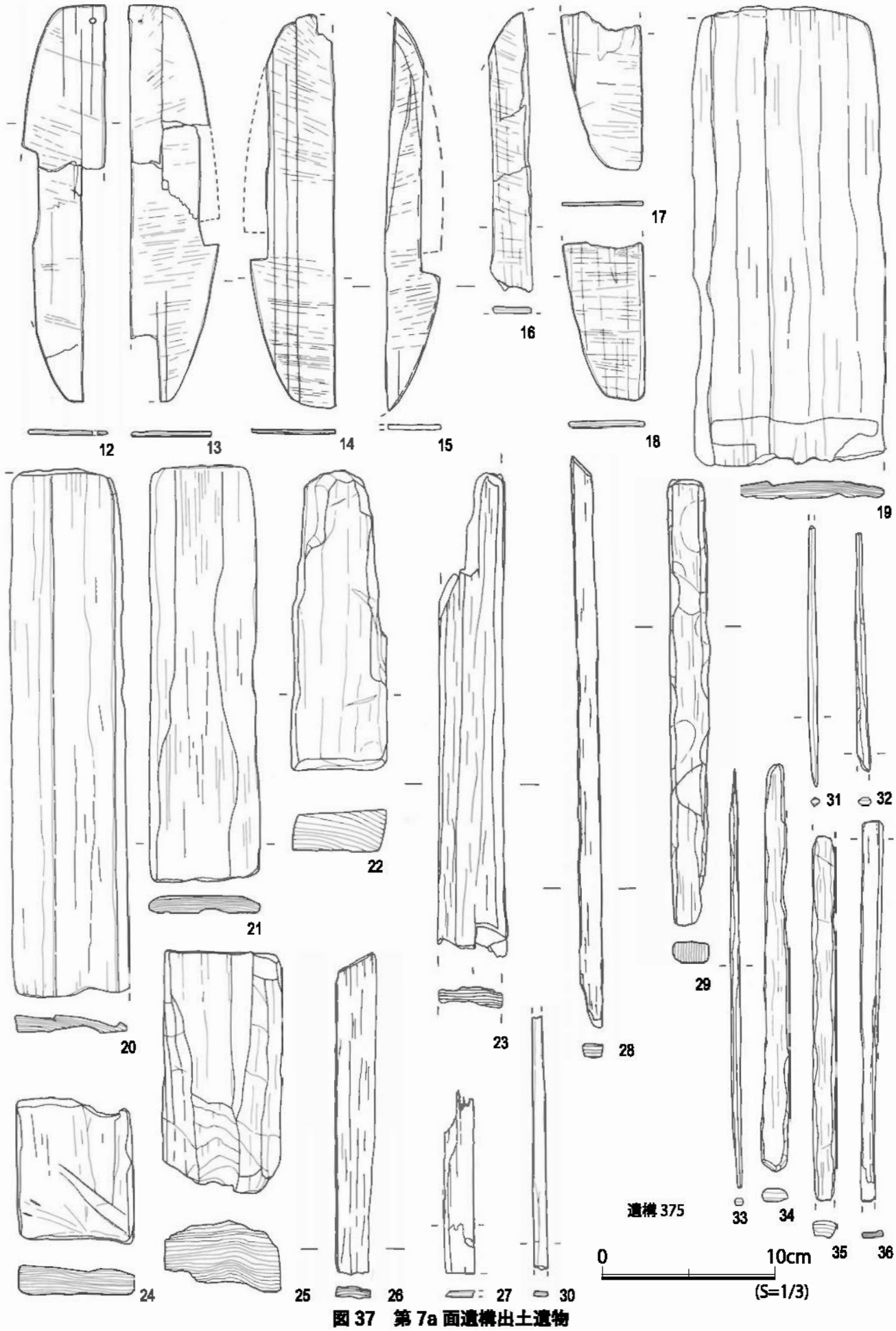


図 37　第 7a 面遺構出土遺物

遺構 366（図 35、36）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色砂質土。底部に炭化物、貝粒を多く含む。出土遺物（図 36）：2 はかわらけ。

遺構 367（図 35）

円形を呈する土坑。遺構覆土:暗褐色砂質土。炭化物、貝粒多く、かわらけ片少量含む。出土遺物（図 36）：3 はかわらけ。

遺構 373（図 35）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色砂質土。炭化物少なく貝粒多い。出土遺物（図 36）：4 はかわらけ。

遺構 375（図 35）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：図参照。出土遺物（図 36）：9 はかわらけ。10 は常滑片口鉢Ⅰ類、11 は常滑甕。12 ～ 18 は草履芯。19 ～ 30 は用途不明木製品。31 ～ 33 は箸。34 ～ 36 は棒状木製品。

遺構 377（図 35）

円形を呈する土坑。遺構覆土：暗茶褐色粘砂質土。泥岩粒少ない。炭化物やや多い。出土遺物（図 36）：5 は瀬戸か。器種不明。

遺構 378（図 35）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：泥岩塊、炭化物、かわらけ片少量含む。出土遺物（図 36）：6 ～ 8 はかわらけ。

・溝

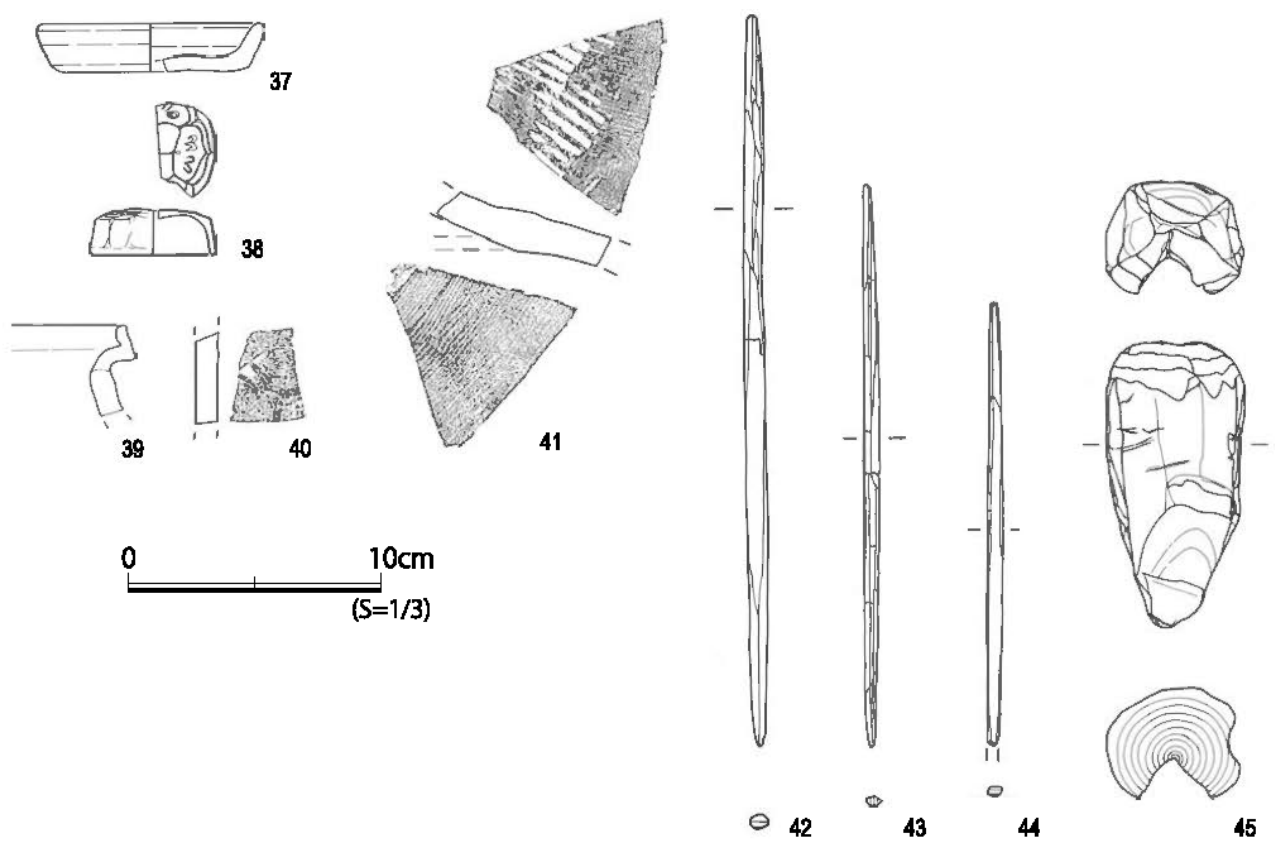


図 38　第 7a 面構成土出土遺物

遺構 380（図 35）

南北方向に走る溝。幅細く深さも浅い。北側は他の遺構に破壊され不明。遺構覆土：暗茶褐色黒土。炭化物少量含む。図示可能な遺物なし。

7a 面構成土出土遺物（図 38）

7a 面より 7b 面検出までの間の堆積より出土した遺物。37 はかわらけ。38 は青白磁梅瓶の蓋。39 ～ 40 は常滑甕。41 は渥美甕。42 ～ 44 は箸。45 は木杭か。

第 11 節　第 7b 面の遺構と遺物（図 39 ～ 40）

7b 面は非常に薄い茶褐色砂質土によって構成される。2 区北側上面には炭化木片が面的に広がる。南には炭層が見られないが、地面が硬化しており被熱によるものと推定される。炭層の確認レベルは海抜

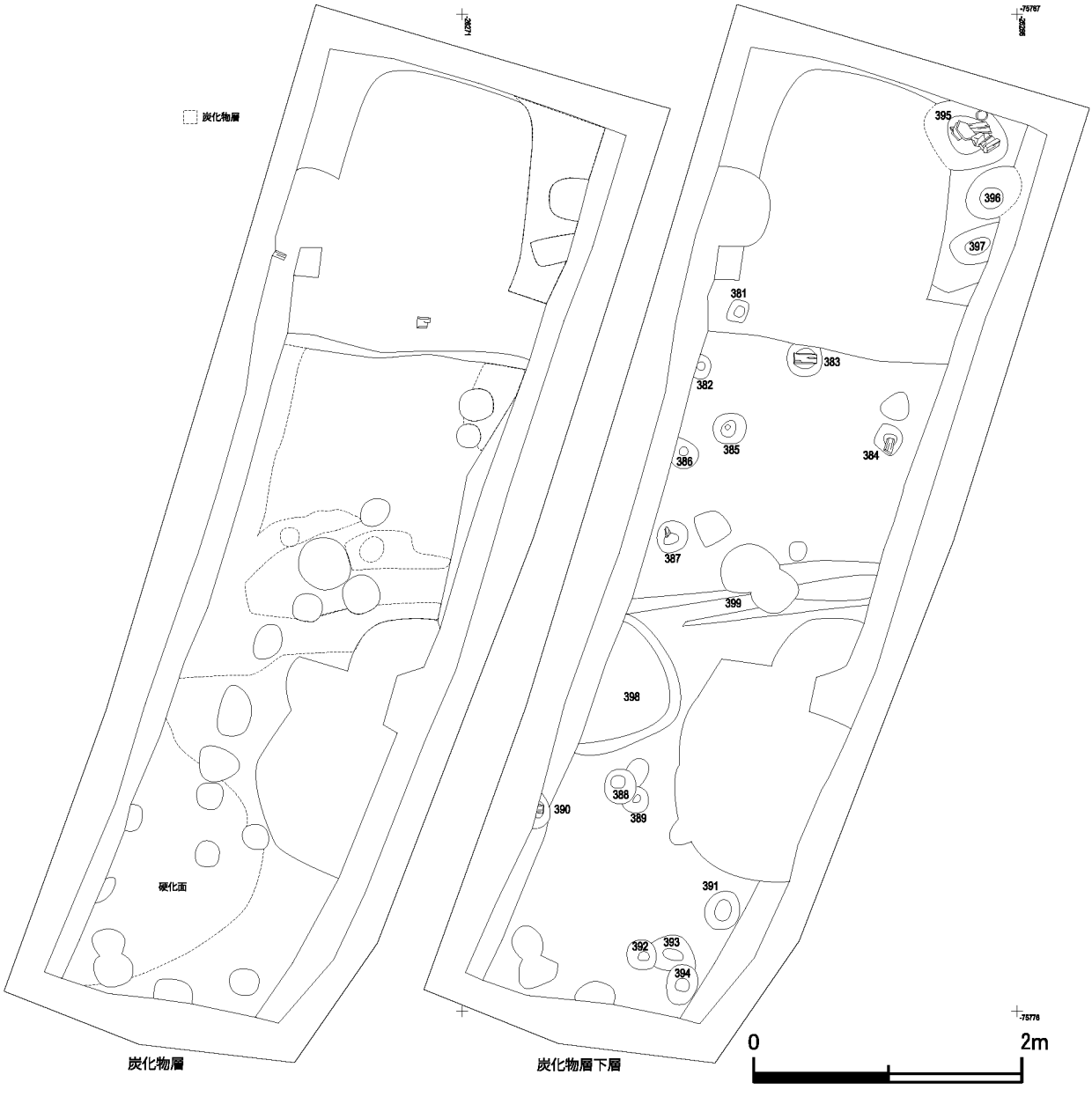


図 39　第 7b 面全体図

7.59 ～ 7.74 m、7b 面は海抜 7.52 ～ 7.70 m であり、南から北へ緩やかに下る。遺構はピット 12 穴・土坑 7 基、溝状遺構 1 条である。遺構の切り合いより第 7b 面で発見した遺構は、少なくとも 2 時期の時間差があると考えられる。

遺物は、かわらけ・青磁・褐釉・常滑が出土している。

・ピット

遺構 381（図 39）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：黒褐色砂質土。炭化物を少量含む。底部に木片。出土遺物（図 40）：1 ～ 2 は草履芯、3 ～ 4 は不明木製品。

遺構 391（図 39）

円形を呈するピット。遺構覆土：茶褐色砂質土。泥岩粒、炭化物を少量含む。出土遺物（図 40）：5 は漆器片。

遺構 392（図 39）

円形を呈するピット。遺構覆土：茶褐色砂質土。出土遺物（図 40）：6 は土師器坏。

・土坑

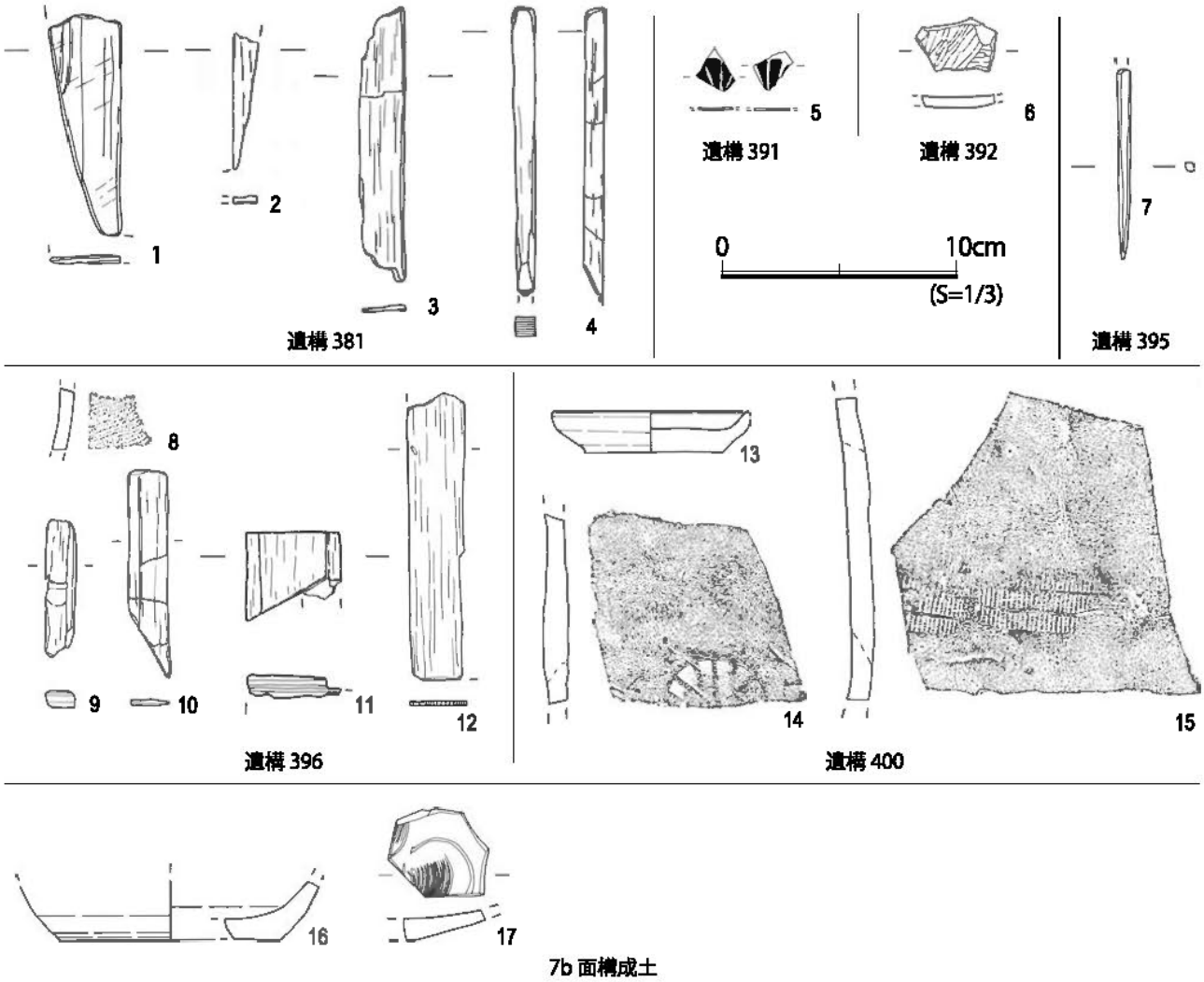


図 40　第 7b 面遺構および構成土出土遺物

遺構 395（図 39）

楕円形を呈する土坑。遺構覆土：茶褐色粘砂質土。泥岩粒、炭化物、かわらけ片を少量含む。黒色粘質土が混入。出土遺物（図 40）：7 は箸か。

遺構 396（図 39）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：茶褐色粘質土で砂が混じる。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片をわずかに含む。出土遺物（図 40）：8 は土師器甕。9 ～ 10 は不明木製品、11 は端材か。12 は折敷。

・溝

遺構 399（図 39）

東西方向の溝。遺構覆土：上層は茶褐色砂質土。炭化物多く、かわらけ片少量含む。下層は白色砂質土。炭化物を少量含む。木片、箸などが混じる：出土遺物（図 40）：13 はかわらけ。14 ～ 15 は常滑甕。

7b 面構成土出土遺物（図 40）

7b 面より 8 面検出までの間の堆積より出土した遺物。16 はかわらけ。17 は青磁櫛掻文皿。

第 12 節　第 8 面の遺構と遺物（図 41 ～ 45）

第 8 面は黒色粘質土により構成され、泥岩粒などは基本的に含まれない。確認レベルはおよそ海抜 7.48 ～ 7.68 m である。1 区西側および 2 区北側では面的に広がる薄い炭層が検出された。炭層を取り除くと砂や泥岩などの混入のない締りのある黒色粘質土となる。検出遺構はピット 15 穴・土坑 11 基で、溝 2 条、道路状遺構 1 条である。掘立柱建物址の存在が推定できるが、明確なプランは復元できなかった。遺構の切り合いより第 8 面で発見した遺構は、少なくとも 3 時期の時間差があると考えられる。

遺物は、かわらけ・手づくねかわらけ・白かわらけ・青磁・常滑・渥美・木製品が出土している。

・ピット

遺構 407（図 41）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗茶褐色粘質土。炭化物多く、かわらけ片を少量含む。出土遺物（図 43）：1 は常滑甕。2 ～ 3 は礎板か。

遺構 409（図 41）

楕円形を呈するピット。遺構覆土：暗青灰色粘質土。泥岩、泥岩粒少なく、炭化物多く含む。出土遺物（図 43）：4 は用途不明木製品。

ほかに遺構 401、407、410 からは礎板と思しき板材が底部より検出。

・土坑

遺構 417（図 41）

出土遺物（図 43）：5 はかわらけ。6 ～ 7 は不明木製品。

遺構 425（図 41）

楕円形を呈する土坑。覆土中央からは角材が、底面からは 3 枚ほど上下に重なった板材を検出。遺構覆土：暗青灰色粘質土。大型泥岩、炭化物を含む。出土遺物（図 43）：8 は下駄。

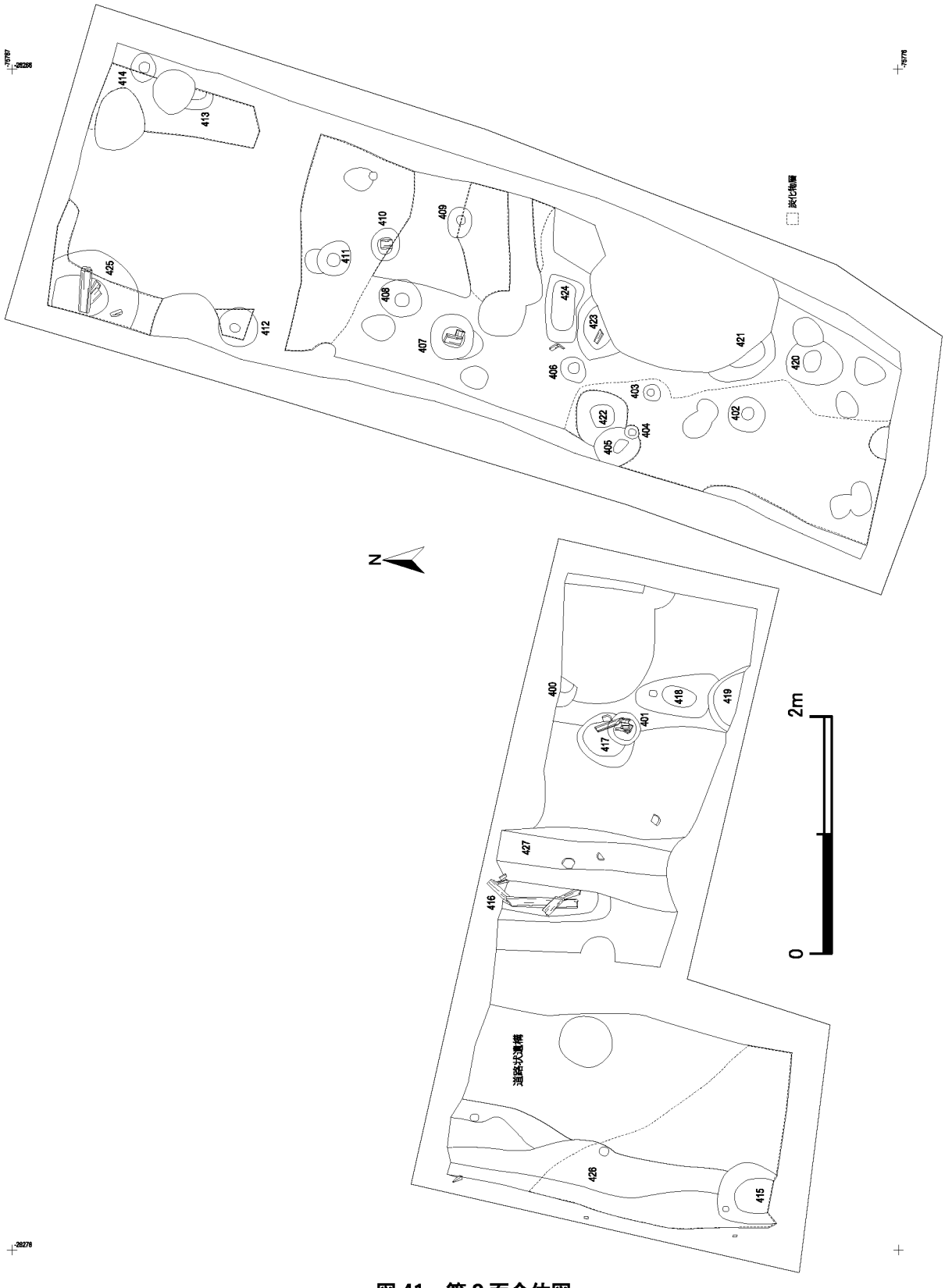


図 41　第 8 面全体図

・溝および道路状遺構

1 区西側では溝状遺構が 2 条（遺構 426、遺構 427）検出された。両遺構の間は平坦で、他よりも土壌の締まりが強く硬化しており、おそらく道路状遺構で両側の溝は道路側溝と推定される。幅は約 2.4

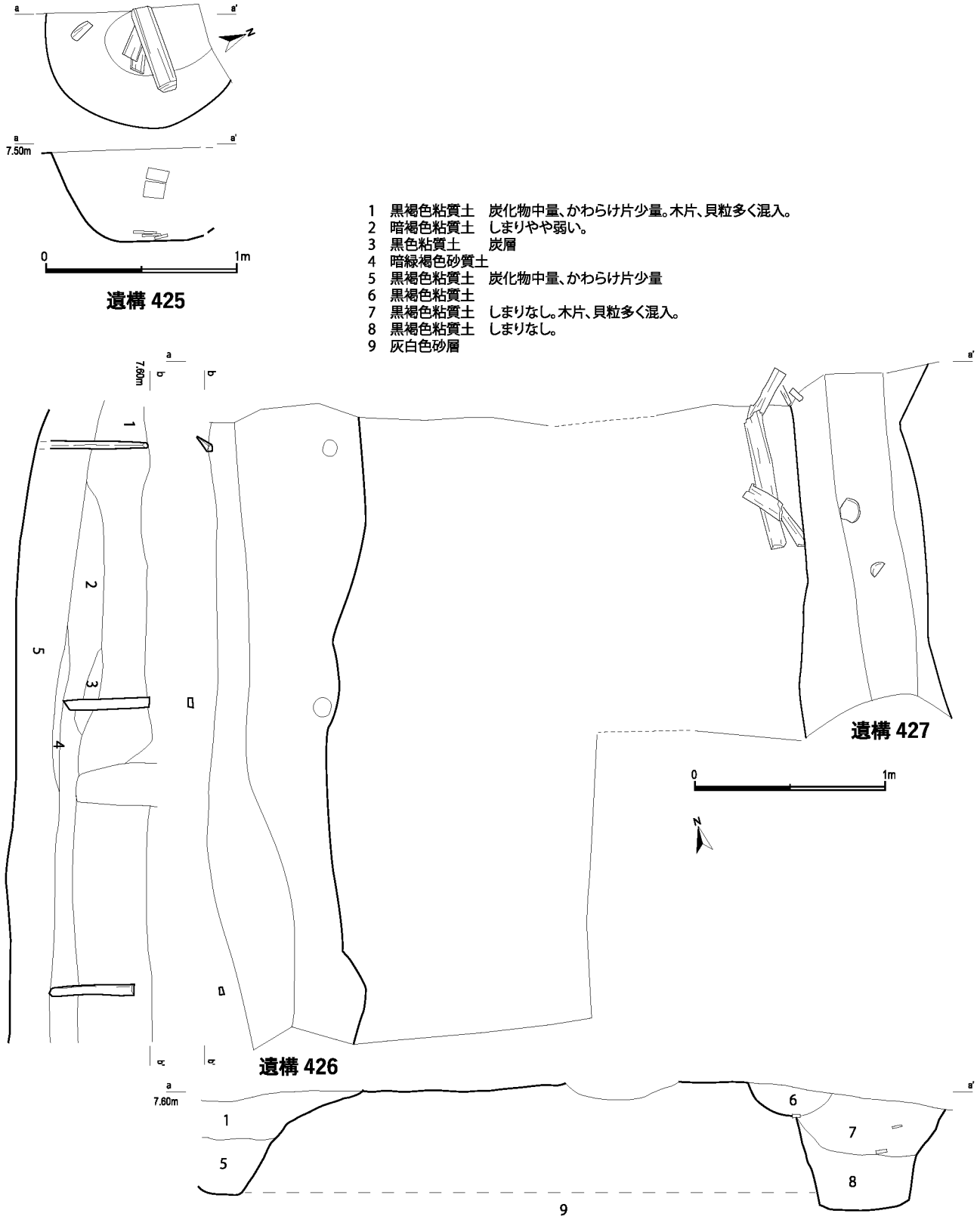


図 42　第 8 面遺構個別図

mであり、長さは大部分が調査区外にあたり不明。この部分は上面の溝によって一部破壊されているほか、東北隅からは板材が 4 枚重なった状態で検出した（遺構 416）が、その性格は不明である。

遺構 426（図 41、42）

溝。断面逆台形で南北方向に走る溝。西側は調査区外にあるため幅は不明。深さは約 0.8 mである。

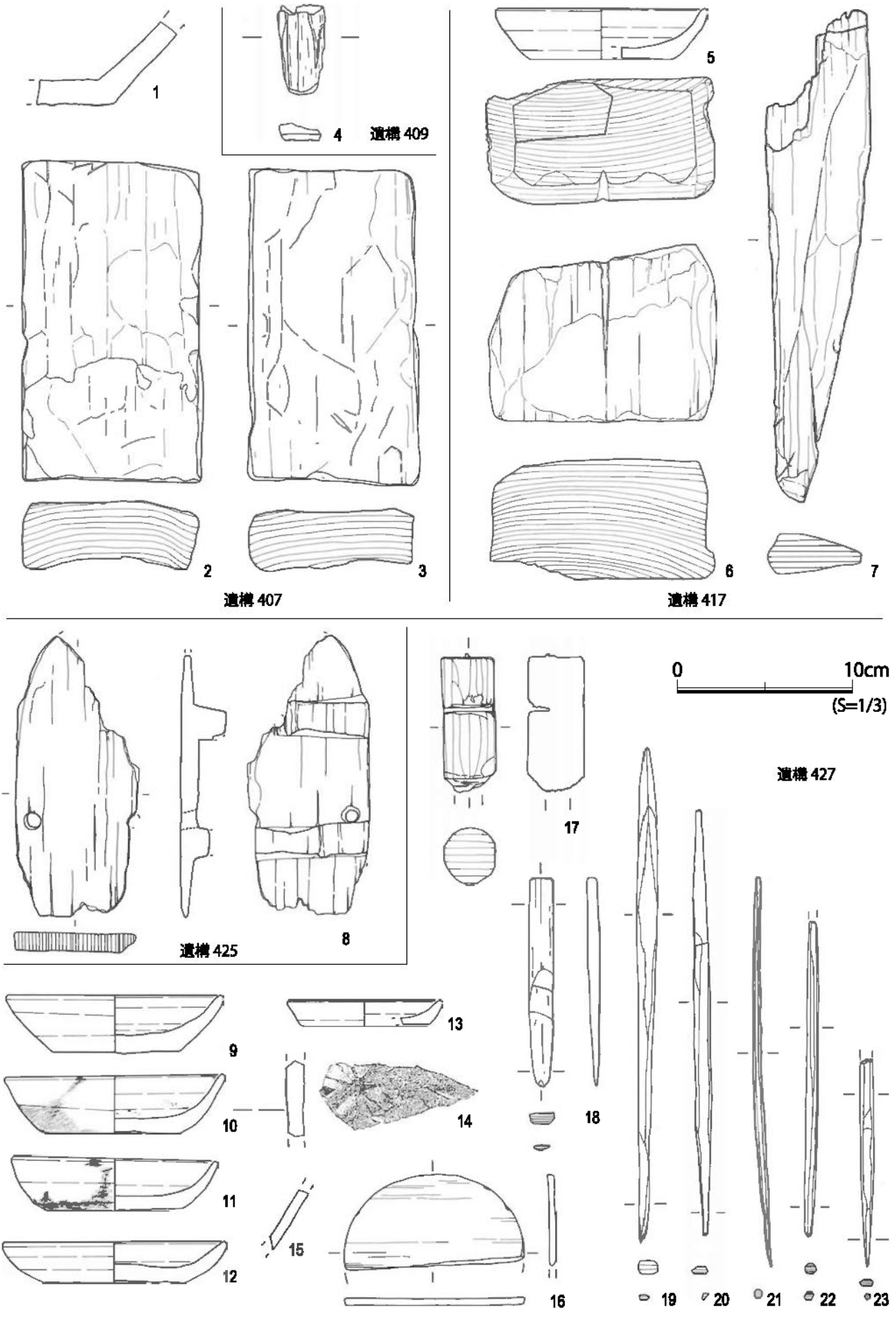


図 43　第 8 面遺構出土遺物（1）

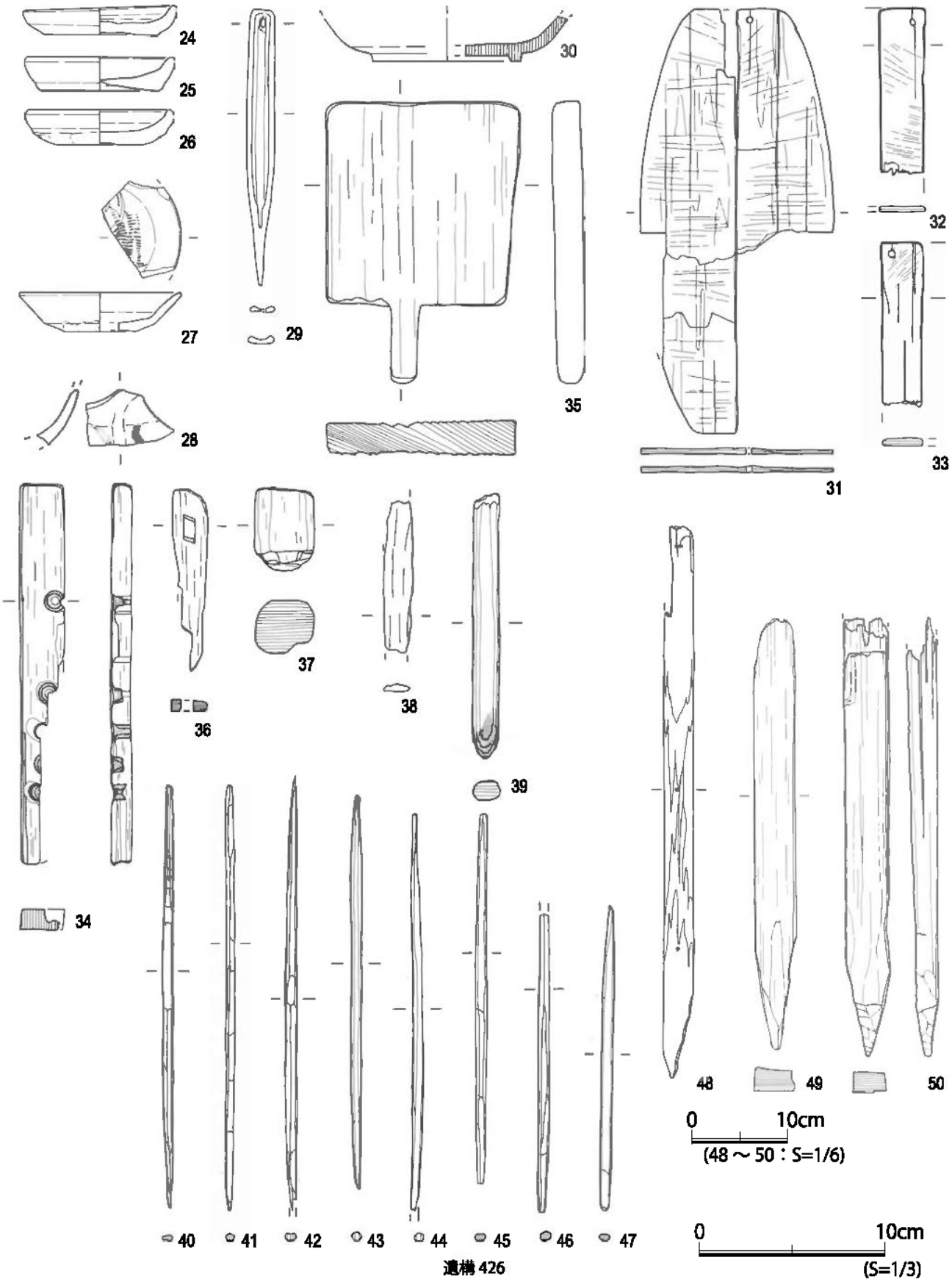


図44　第8面遺構出土遺物（2）

東の壁には杭穴と思われる小穴を2点確認した。また、調査区西壁では木杭が3本ほど検出された（図44：48～50）。溝の底部には達しておらず、溝の中に杭を立てたとは考え難いため、溝が埋めた後に施

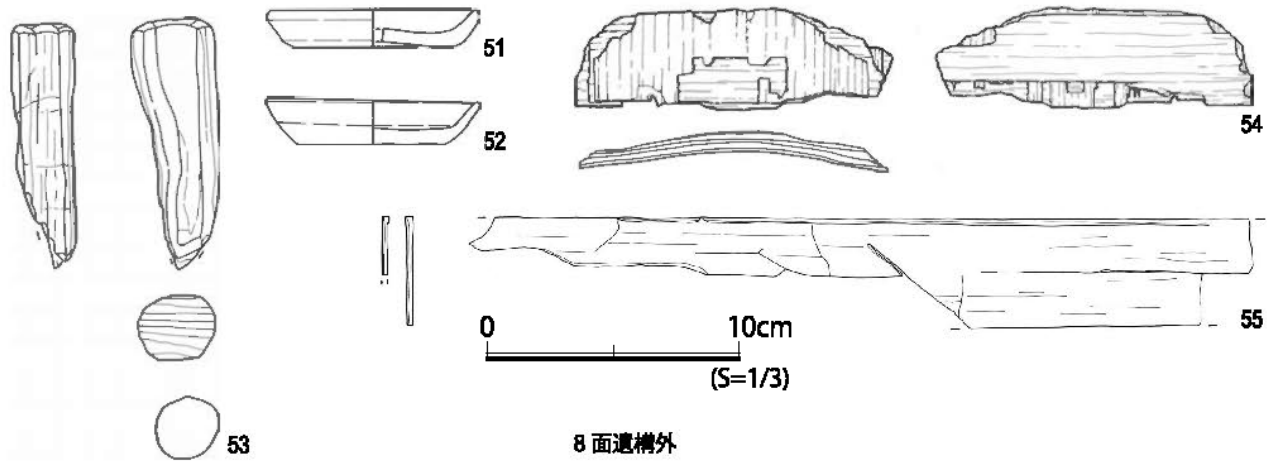


図 45　第 8 面遺構および遺構外出土遺物

したものか。性格は不明。遺構覆土：図 42 参照。出土遺物（図 44）：24 ～ 25 はかわらけ。26 は手づくねかわらけ。27 は青磁櫛描文皿。28 は灰釉陶器碗。29 は笄。30 は漆碗。31 ～ 33 は草履芯。34 は火鑽板。35 ～ 39 は不明木製品。40 ～ 47 は箸。48 ～ 50 は木杭。

遺構 427（図 41、42）

断面逆台形の南北方向に走る溝。遺構 426 にほぼ平行する。幅約 0.65m、深さ約 0.8 mである。遺構覆土：図 42 を参照。出土遺物（図 43）：9 ～ 13 はかわらけ。14 は常滑甕。15 は武蔵型甕。16 は曲物。17 は木栓か。18 は不明木製品。19 ～ 23 は箸。

8 面遺構外出土遺物（図 45）

遺構面精査時に面上で検出した遺物。51 は手づくねかわらけ。52 はかわらけ。53 は木栓か。54 は用途不明木製品、55 は曲物の横板か。

表１　中世出土遺物観察表

図番号	no.	遺構番号	材質	種別	遺存度	寸法（cm）				観察項目
						口径	底径	器高	重	a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
5	1	27	土製品	瓦器質不明土製品	1/5	(10.0)	(6.2)	2.6		a: 内外底ナデ　b: 灰白色～灰色、部分的に淡橙色　内底部指頭痕　b:　微砂　雲母　精緻　c: 灰白色～灰色、部分的に淡橙色　e: 焼きムラ有　f: 瓦器質
5	2	28	土製品	瓦器質火鉢	胴部片	-	-	[2.1]		b: 灰白色　微砂　赤色粒　小石粒　f: 押印菊花文（16 弁）　河野分類Ⅳ A 類
5	3	28	石製品	砥石	-	最大長 [3.8]	最大幅 [3.25]	最大厚 [0.5]		c: 黄灰色　f: 鳴滝産　仕上砥　１面摩耗
5	4	92	土製品	ロクロかわらけ（中）	1/4	(10.4)	(6.4)	2.6		a: 内底ナデ　外底回転糸切　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 灰黄色　e: 良好
5	5	92	土製品	ロクロかわらけ（中）	1/3	(9.4)	(5.4)	2.4		a: 内底ナデ　外底回転糸切　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
5	6	92	陶器	天目碗	体部小片	-	-	[2.0]		b: 褐灰色　黒色粒　精良堅緻　d: 錆釉ツケガケ後黒釉ツケガケか　釉層薄い　f: 舶載か
5	7	1a 面構成土	土製品	不明土製品	口縁部片	-	-	[2.1]		b: 灰色～淡赤橙色（白かわらけ・瓦器に似た胎土）　雲母　精緻　f: 被熱または焼きムラか
5	8		陶器	常滑甕か	胴部片	-	-	[6.5]		a: 輪積み成形　b: 灰色　砂粒　長石　やや粗土　c: 褐色　e: 良好　f: 押印縦線文＋横線（2）
5	9		土製品	ロクロかわらけ（大）	1/5	(12.8)	(7.7)	4.3		a: 内底ナデ　外底回転糸切　ナデ消し　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩　やや粗土　c: 黄灰色　e: 甘い
5	10		磁器	白磁口兀皿	底部片	-	(5.4)	[1.5]		b: 灰色　微砂　堅緻　d: 淡灰色　半透明　釉層極薄い　ツケガケ　底部は釉を掻きナデ
5	11		陶器	常滑甕	胴部小片	-	-	[10.5]		b: 灰色　白色粒　橙色ブロック　精緻　c: 黄橙色～灰黄褐色　f: 外面押印縦線文＋横線（3）
5	12		陶器	常滑甕	肩部小片か	-	-	[4.4]		b: 灰色　白色粒　精緻　c: 内外面とも暗灰色　d: 外面に白色の降灰　f: 外面押印縦線文＋横線（3）
5	13		陶器	瀬戸折縁深皿	口縁部片	-	-	[3.6]		b: 灰白色　砂　やや粗土　c: 緑灰色　d: 灰釉ハケヌリか　f: 中Ⅰ～Ⅱ期か
5	14		陶器	瀬戸卸皿	底部小片	-	-	[1.9]		a: 内底卸目　b: 灰色　精緻　c: 緑灰色　d: 灰釉ハケヌリか
5	15		陶器	瀬戸入子	底部片	-	(3.6)	[1.0]		a: 底部ケズリ　内外面ヨコナデ　b: 灰色　白色粒　精緻　c: 灰黄色　d: 立ち上がり部白色の降灰
5	16		土製品	瓦質火鉢	口縁部小片	-	-	[4.4]		b: 灰白色　砂　白色粒　赤色粒　粗土　c: 橙色　f: 外面押印菊花文　河野分類Ⅲ類
5	17		土製品	瓦質火鉢	口縁部小片	-	-	[2.8]		b: 灰色　砂　白色粒　赤色粒　粗土　c: 内面淡橙色　外面橙色　f: 外面押印菊花文　河野分類Ⅲ類
5	18		土製品	瓦器質火鉢	下体部小片	-	-	[5.2]		b: 灰白色　砂　黒色粒　やや粗土　c: 灰色（黒色処理）　f: 外面押印貼付け珠文＋菊花文＋沈線　河野分類Ⅳ b 類
5	19		土製品	不明土器	底部片	-	(4.5)	[1.0]		a: 内底ナデ　外底回転糸切　貼付け高台　b: 白色　精良　気泡あり　やや締まり悪い　c: 黄灰色　e: 甘い
5	20		石製品	砥石	-	最大長 [4.45]	最大幅 [3.8]	最大厚 [0.8]		c: 灰黄色　f: 鳴滝産　仕上砥　加工痕有　２面摩耗
5	21		石製品	砥石	-	最大長 [6.4]	最大幅 [2.9]	最大厚 [0.6]		c: 灰黄色　f: 鳴滝産　仕上砥　１面摩耗
5	22		鉄製品	釘	-	長 [6.0]	幅 [1.0]	厚 [0.8]		f: 四角形状に鍛造　先端部欠損
5	23		鉄製品	釘	-	最大長 [4.9]	最大幅 [0.7]	厚 [0.6]		f: 四角形状に鍛造　先端部欠損
5	24		ガラス製品か	器種不明	小片	長 [1.5]	幅 [0.7]	厚 [0.1]		a: 筒状か　c: 緑錆色　不透明
7	1	37	銅製品	銭	完形	直径 2.3	内孔 0.65	-	2.4g	f: 紹聖元寶
7	2	39	土製品	瓦器質火鉢	口縁部小片	-	-	[6.7]		b: 淡橙～灰白色　雲母　砂　赤色粒　やや粗土　c: 灰色（黒色処理）　外面やや淡い　f: 外面押印沈線間に菊花文＋蓮珠文　河野分類Ⅳ a 類
7	3	39	陶器	東播系擂鉢か	口縁部小片	-	-	[4.0]		b: 灰色　砂　白色粒　やや粗土　c: 灰色
7	4	48	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(7.9)	(5.1)	1.85		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄灰色　e: 良好
7	5	48	陶器	常滑甕	胴部片	-	-	[6.1]		a: 輪積み成形　内面指頭痕　b: 灰色　微砂　長石　雲母　小石粒　c: 黒灰色　e: 良好　f: 器表面ヘラ描き文様
7	6	48	陶器	常滑甕	胴部片	-	-	[7.4]		a: 輪積み成形　b: 灰色　砂粒　小石粒　c: 褐色　e: 良好　f: 押印横線（6）
7	7	53	土製品	ロクロかわらけ（大）	1/8	(13.4)	(8.0)	3.4		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
7	8	53	陶器	瀬戸水柱か	口縁部片	-	-	[2.0]		b: 灰色　微砂　堅緻　c: 灰色　d: 内外面に灰緑色の灰釉　不透明
7	9	54	陶器	常滑甕	胴部小片	-	-	[9.0]		b: 灰色　白色粒　砂　小石　c: 内面黄褐色　外面灰黄褐色　d: 外面押印縦線文＋横線（4）
7	10	54	陶器	常滑甕	胴部小片	-	-	[8.2]		b: 灰色　白色粒　砂　小石　c: 茶褐色　d: 外面押印格子
7	11	54	陶器	渥美甕か	底部小片	-	-	[3.1]		b: 灰色　白色粒　c: 外面灰色　d: 内面に緑灰色の降灰

図番号	no.	遺構番号	材質	種別	遺存度	寸法（cm）				観察項目
						口径	底径	器高	重	a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
7	12	55	土製品	ロクロかわらけ（大）	1/5	(14.3)	(8.4)	3.6		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩　精緻　c: 黄橙色　e: やや甘い
7	13	55	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/6	(7.8)	(5.2)	1.4		a: 外底回転糸切　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
7	14	56	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(7.6)	(5.6)	1.5		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩　粗土　c: 橙色　e: 良好
7	15	56	鉄製品	釘		長[7.3]	最大幅[1.2]	厚[0.8]		f: 四角形状に鍛造　先端部欠損
7	16	57	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(6.8)	4.0	2.2		a: 内底ナデ　外底回転糸切　ナデ消し　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　粗土　c: 黄橙色　e: やや甘い　f: 口縁部煤付着、灯明皿
7	17	57	土製品	ロクロかわらけ（小）	2/3	6.2	3.5	1.9		a: 内底ナデ　外底回転糸切　ナデ消し　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄灰色　e: やや甘い　f: 口縁部煤付着、灯明皿
7	18	59	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/4	(7.7)	(5.2)	2.0		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩　粗土　c: 橙色　e: 良好
7	19	59	陶器	緑釉盤	底部小片	最大長[3.1]	最大幅[3.9]	厚[0.5]		b: 灰色　白色粒　黒色粒　やや粗土　d: 内外面とも緑釉の施釉　f: 泉州系
7	20	1b面構成土	土製品	ロクロかわらけ（大）	1/3	(12.2)	(6.9)	3.2		a: 外底回転糸切　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
7	21		土製品	ロクロかわらけ（小）	3/5	7.8	5.0	2.3		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩　良土　c: 黄灰色　e: 甘い　f: 口縁部煤付着、灯明皿
7	22		土製品	ロクロかわらけ（小）	ほぼ完形	7.5	4.6	2.3		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
7	23		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(7.2)	4.8	2.3		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩　粗土　c: 赤橙色　e: 焼き締まりが強い
7	24		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(7.8)	(6.2)	1.6		a: 内底ナデ　外底回転糸切　ナデ消し　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩　やや粗土　c: 黄橙色　e: やや甘い
7	25		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/4	(7.6)	(5.4)	1.5		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩　粗土　c: 黄橙色　e: 良好　f: 口縁部に煤付着
7	26		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/4	(7.4)	(4.0)	1.8		a: 内底ナデ　外底回転糸切　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩　良土　c: 橙色　e: 良好
7	27		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/4	(7.1)	(4.2)	1.75		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄灰色　e: やや甘い
7	28		土製品	ロクロかわらけ（小）	ほぼ完形	7.5	4.8	1.95		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄灰色　e: やや甘い
7	29		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/2	(7.3)	(5.0)	1.8		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
7	30		磁器	青磁盤（折縁皿）	底部小片	-	-	[1.6]		b: 灰白色　高台付近淡橙色　精良堅緻　d: 灰緑色　不透明　釉層厚い　気泡なし　貫入あり
7	31		磁器	青白磁合子蓋	天井部小片	-	-	[0.7]		b: 白色　精良堅緻　d: 水青色　透明　釉層薄い　内外面施釉　外面貫入あり
7	32		陶器	常滑甕	胴部片	-	-	[6.0]		a: 輪積み成形　内面ハケ整形　b: 灰色　微砂　長石　c: 灰色　e: 良好　f: 押印斜線（中野分類Ｂ類か）
7	33		陶器	常滑甕	肩部片か	-	-	[6.0]		a: 輪積み成形　b: 灰色　微砂　長石　c: 暗褐色　e: 良好　f: 外面押印　斜線 (1)+ 横線 (1)
7	34		陶器	常滑甕	胴部小片	-	-	[4.9]		b: 灰色　砂　白色粒　小石　やや粗土　堅緻　c: 内面褐色　外面黄橙色　d: 内面に灰白色の降灰　f: 外面押印　縄文的
7	35		陶器	常滑片口鉢Ⅰ類	底部片	-	-	[3.9]		a: 底部脇回転ケズリ　貼付け高台　高台部ヨコナデ　b: 灰色　微砂　小石　堅緻　c: 灰色　f: 内面摩耗
7	36		陶器	磨り常滑	-	最大長[3.3]	最大幅[6.0]	最大厚[0.9]		b: 黒灰色　微砂　f: 全面摩耗
7	37		陶器	瀬戸折縁深皿	口縁部片	-	-	[5.5]		b: 灰白色　やや粗土　d: 内外面に緑灰色の灰釉ハケヌリ　f: 中Ⅰ～Ⅱ期か
7	38		陶器	瀬戸折縁深皿	底部片	-	-	[1.5]		a: 内底面沈線３条、菊花文押印（16弁）　b: 灰白色　精良土　d: 緑灰色の灰釉　内面ナガシカケ　外面施釉方法不明　e: 良好　f: 古瀬戸後期か
7	39		陶器	瀬戸緑釉小皿	口縁部小片	-	-	[2.0]		b: 灰白色　精良土　d: 口縁部のみ鉄釉ツケガケ　e: 良好　f: 古瀬戸後期
7	40		陶器	瀬戸折縁皿（柄付片口か）	底部小片	-	-	[1.9]		a: 外底回転糸切（右回転）　b: 灰白色～灰色　やや粗土　d: 内面は淡緑色の灰釉ナガシカケ　外面は灰色、下体部～底部は灰釉剥離
7	41		陶器	瀬戸天目茶碗	体部小片	-	-	[1.9]		b: 灰白色　砂　やや粗土　d: 黒釉ツケガケ後口縁部付近に鉄釉（茶色）をツケガケ（又はナガシカケ）か　e: やや甘い
7	42		陶器	瀬戸入子	口縁部小片	-	-	[2.6]		a: 口縁部輪花型に成形　b: 灰白色　精良土　c: 灰白色　e: 口縁部に僅かに降灰　e: 良好　f: 内面見込みに少量紅付着
7	43		陶器	瀬戸入子	底部片	-	(4.2)	[1.3]		a: 内外面ヨコナデ　外底ケズリ　b: 灰白色　精良土　c: 灰白色　e: 良好　f: 内面全体に紅付着　古瀬戸前期Ⅱ期か
7	44		陶器	瀬戸入子	1/3	(4.1)	(2.4)	0.9		a: 内外面ヨコナデ　外底回転糸切　b: 灰白色　精良土　c: 灰白色　e: 良好
7	45		陶器	瀬戸壺または瓶子	底部片	-	-	[4.3]		a: 内面ヨコナデ　b: 灰白色　良土　d: 鉄釉を外面全体ナガシカケ　f: 古瀬戸中期～後期
7	46		陶器	備前擂鉢	胴部片	-	-	[5.2]		a: 内面条線４本あり　b: 灰褐色　微砂　雲母　小石粒　c: 黒褐色　e: 良好　f: 内面やや摩滅
7	47		土製品	瓦器質火鉢	口縁部片	-	-	[4.5]		a: 黒色処理　内面ミガキ　b: 灰色　微砂　雲母　f: 瓦器質　押印菊花文（14弁）　河野分類Ⅲ類

図番号	no.	遺構番号	材質	種別	遺存度	寸法（cm）				観察項目
						口径	底径	器高	重	a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
7	48	1b 面構成土	土製品	瓦器質火鉢	体部小片	-	-	[2.3]		b: 橙色　白色粒　角閃石　やや粗土　c: 内面橙色　外面黄灰色（炭素吸着）　f: 外面押印菊花文　河野分類Ⅲ類
7	49		土製品	高坏か	脚部片	-	(14.9)	[4.1]		a: 脚部外面及び底部ケズリ　内面一部ケズリ　b: 橙色　中心部黄灰色　雲母　赤色粒　白色粒　泥岩粒　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
7	50		石製品	長方硯	-	長 4.6	幅 6.3	厚 1.6		f: 鳴滝産　長方硯の岡部側面を研磨し、楕円形に加工　2 面再加工　1 面使用
7	51		石製品	碁石か	完形	長 2.0	幅 1.9	厚 0.8		
7	52		鉄製品	釘		長 [3.6]	最大幅 [0.8]	厚 [0.6]		f: 四角形状に鍛造
11	1	69	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(7.4)	(5.0)	1.65		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄灰色　e: やや甘い
11	2	71	鉄製品	釘		長 [5.2]	幅 [1.1]	厚 [0.9]		f: 四角形状に鍛造
11	3	71	鉄製品	釘		長 [4.7]	幅 [1.1]	厚 [0.9]		f: 四角形状に鍛造
11	4	73	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/4	(7.5)	(5.6)	1.4		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　粗土　c: 橙色　e: 焼き締まりが強い
11	5	77	鉄製品	釘		長 [5.5]	幅 [1.0]	厚 [0.7]		f: 四角形状に鍛造
11	6	77	鉄製品	釘		長 [4.5]	幅 [1.3]	厚 [0.8]		f: 四角形状に鍛造　先端部欠損
11	7	75	石製品	自然硯	-	長 [12.4]	幅 [6.6]	最大厚 1.4		f: 赤間　3 面はつり痕残る
11	8	81	土製品	ロクロかわらけ（小）	完形品	7.8	4.5	2.0		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
11	9	82	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/2	7.6	4.8	1.8		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩　粗土　c: 黄灰色　e: 甘い
11	10	83	土製品	ロクロかわらけ（大）	1/5	(12.2)	(7.8)	3.2		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩　良土　c: 橙色　e: 良好
11	11	83	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/2	(7.8)	5.3	1.8		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩　やや粗土　c: 黄灰色　e: やや甘い　f: 内面被熱または煤付着
11	12	86	鉄製品	釘	-	長 [4.4]	幅 0.6	厚 0.5	6g	f: 四角形状に鍛造
11	13	87	鉄製品	釘	-	長 5.8	幅 0.3	厚 0.4	13g	f: 四角形状に鍛造
11	14	91	陶器	不明	口縁部片	-	-	[2.2]		a: 内外面ヨコナデ　b: 灰色　微砂　白色粒　c: 灰色　e: 良好　f: 東遠か
11	15	93	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/4	(7.9)	(6.3)	1.9		a: 内底ナデ　外底回転糸切　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩　粗土　c: 黄橙色　e: 良好
11	16	94	石製品	砥石	-	最大長 [5.0]	最大幅 [3.3]	厚 0.6		f: 鳴滝産　仕上げ砥　頁岩　2 面使用　両側面残る
11	17	95	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/2	(6.8)	5.2	1.6		a: 内底ナデ　外底回転糸切　ナデ消し　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩　粗土　c: 橙色～灰色　f: 被熱箇所有り
11	18	96	土製品	ロクロかわらけ（大）	1/2	(12.6)	7.0	3.5		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
11	19	97	土製品	ロクロかわらけ（大）	3/4	12.1	7.1	3.3		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩　粗土　c: 黄灰色　e: 甘い
11	20	2 面構成土	土製品	ロクロかわらけ（大）	1/2	(13.6)	7.0	3.8		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩　やや良土　c: 橙色　e: 良好
11	21		土製品	ロクロかわらけ（大）	1/4	(12.9)	(7.6)	3.8		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　ナデ消し　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
11	22		土製品	ロクロかわらけ（中）	1/4	(11.8)	(7.4)	3.2		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩　粗土　c: 橙色　e: 良好
11	23		土製品	ロクロかわらけ（中）	1/3	(11.2)	(7.6)	3.2		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
11	24		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(7.7)	(5.4)	2.1		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　やや粗土　c: 黄灰色　e: やや甘い
11	25		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	7.4	5.3	1.6		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　やや粗土　c: 灰黄色　e: 良好
11	26		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/4	(7.2)	(5.4)	1.7		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　泥岩　粗土　c: 黄灰色　e: 甘い　f: 口縁部煤付着、灯明皿
11	27		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/4	(7.2)	(5.2)	1.5		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩　粗土　c: 橙色～赤橙色　e: 焼き締まり強い　焼成ムラ有
11	28		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/2	7.4	5.1	1.8		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
11	29		土製品	ロクロかわらけ（小）	2/3	7.6	4.2	2.3		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　良土　c: 灰色～黒色　f: 被熱
11	30		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(7.6)	(4.8)	1.8		a: 内底ナデ　外底回転糸切　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩　粗土　c: 黄橙色　e: 良好
11	31		磁器	青白磁合子蓋	1/6	(5.0)	-	[1.1]		a: 型押し　b: 白色　黒色粒　精良堅緻　d: 水青色　透明　釉層薄い　内面無釉　口縁部露胎
11	32		磁器	高麗青磁碗	体部小片	-	-	[2.2]		a: 模様部分象嵌　b: 灰白色　精良堅緻　気泡わずかにあり　d: 緑灰色　半透明　貫入有　釉層薄い

図番号	no.	遺構番号	材質	種別	遺存度	寸法（cm）				観察項目
						口径	底径	器高	重	a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
11	33	2面構成土	磁器	青磁 壺か	底部片	-	-	[4.4]		b: 灰白色　黒色粒　精良堅緻　気泡あり　d: 淡緑色　半透明　釉層薄い　外面のみツケガケ　f: 龍泉窯系か
11	34		陶器	常滑 甕	口縁部片	-	-	[4.6]		a: 輪積み成形　b: 灰色　白色粒　小石　c: 灰褐色　d: 口縁部付近に緑灰色の降灰　f: 緑帯幅 2.1cm　中野編年 6a 型式
11	35		陶器	常滑 甕	口縁部片	-	-	[8.9]		a: 輪積み成形　b: 灰色～橙色　白色粒　黒色粒　小石　やや粗土　c: 内面赤褐色　外面灰褐色　d: 外面に灰色の降灰　f: 緑帯幅 3.3cm　中野編年 6b 型式
11	36		陶器	常滑 甕	肩部片	-	-	[7.7]		b: 橙色　砂　白色粒　c: 内面灰褐色　外面橙色　d: 外面に白色粉状の降灰　f: 外面押印矢羽
11	37		陶器	常滑 甕	胴部片	-	-	[8.0]		a: 輪積み成形　b: 灰色　微砂　長石　c: 褐色　e: 良好　f: 外面押印　斜線＋格子
11	38		陶器	常滑 甕	胴部片	-	-	[4.9]		a: 輪積み成形　内面指頭痕　b: 黒灰色　微砂　赤色粒　小石粒　c: 暗褐色　e: 良好　f: 外面押印　菊花文（8 弁）
11	39		陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	口縁部片	-	-	[4.2]		b: 灰色　長石　白色粒　黒色粒　小石　c: 灰色
11	40		陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	口縁部片	-	-	[6.1]		b: 灰色～褐色　白色粒　小石　c: 内面褐灰色　外面赤褐色
11	41		陶器	磨り常滑	-	最大長 [5.4]	最大幅 [5.3]	最大厚 [1.1]		b: 褐色　長石　c: 褐色　e: 良好　f:2 面摩耗
11	42		陶器	磨り常滑	-	最大長 [4.8]	最大幅 [5.6]	最大厚 [1.0]		b: 灰黒色　砂粒　長石　小石粒　c: 褐色　e: 良好　f:3 面摩耗　片口鉢Ⅱ類の転用
11	43		陶器	渥美湖西型 山皿	2/3	(7.6)	4.7	1.6		a: 内外面ヨコナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 砂　白色粒　黒色粒　粗土　c: 灰白色　d: 口縁部僅かに降灰付着
11	44		土製品	瓦器質 火鉢	脚～体部片	-	-	[9.7]		b: 淡橙色　赤色粒　白色粒　気泡多い　締まり悪い　粗土　c: 内面灰白色～赤橙色　外面橙色　f: 外面押印菊花文　河野分類Ⅲ類
11	45		土製品	平瓦	小片	長 [6.7]	幅 [5.3]	厚 1.9		a: 凹面なで　凸面斜格子叩き　離れ砂　b 灰色　白色粒　c: 灰色　e: 良好
11	46		土製品	土師器 甕	体部小片	-	-	[2.8]		a: 内面ナデ　外面ハケナデ　b: 褐色　微砂　赤色粒　角閃石　緻密
11	47			土器	口縁部片	-	-	[2.5]		b: 微砂　白色粒　c: 浅黄色～橙色　e: 良好　硬質
11	48		土製品	かわらけ質 不明土製品	口縁部～底部片	-	-	[5.2]		a: ロクロ成形　外底回転糸切　内外面器壁ヨコナデ　b: 微砂　雲母　赤色粒　角閃石　良土　c: 黄橙色（焼成ムラ有）　e: 良好
11	49		石製品	砥石	-	長 [8.3]	幅 [3.9]	厚 [3.4]		f: 上野産　中砥　4 面使用　小口 1 ヶ所残る
11	50		石製品	砥石	-	長 [4.7]	最大幅 [4.9]	厚 [0.8]		f: 上野産　中砥　2 面使用　部分的に研磨された箇所あり。本来の側面不明
11	51		石製品	碁石	完形	長 2.1	幅 1.8	厚 0.6		c: 黒色
11	52		鉄製品	釘	-	長 [4.0]	最大幅 [0.6]	厚 [0.3]		f: 四角形状に鍛造　先端部欠損
11	53		銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.6	-	2.6g	f: 咸平元寶
14	1	101	土製品	ロクロ かわらけ（小）	完形品	7.1	4.4	1.6		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄灰色　e: やや甘い
14	2	101	陶器	常滑 甕	底部片	-	-	[6.5]		a: 輪積み成形　b: 灰黒色　微砂　長石　小石粒　c: 暗褐色（底部橙色）
14	3	102	土製品	ロクロ かわらけ（大）	1/3	12.3	7.7	3.1		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 灰黄色　e: 良好
14	4	102	土製品	ロクロ かわらけ（中）	1/4	(11.0)	(6.4)	3.0		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　やや良土　c: 橙色　e: 良好
14	5	103	土製品	ロクロ かわらけ（大）	完形品	12.3	8.0	3.0		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや良土　c: 橙色　e: 良好
14	6	103	土製品	土師器 台付甕	小片	-	-	[3.6]		a: 内外面ハケナデか　灰色　微砂　雲母　赤色粒　白色粒　c: 内面橙色　外面被熱により黒灰色
14	7	104	土製品	ロクロ かわらけ（小）	1/2	7.1	4.9	1.55		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　黒色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄灰色　e: やや甘い
14	8	113	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	口縁部片	-	-	[2.8]		b: 橙色　砂粒　白色粒　小石粒　c: 褐色　d: 口縁部から内面に灰白色の降灰
14	9	114	土製品	ロクロ かわらけ（大）	1/4	(11.8)	(7.6)	3.0		a: 内底ナデ　外底回転糸切　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 灰黄色　e: 良好
14	10	115	土製品	ロクロ かわらけ（小）	1/3	(7.6)	(5.4)	1.55		a: 外底回転糸切　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
14	11	115	土製品	ロクロ かわらけ（小）	1/3	(7.6)	(5.4)	1.55		a: 内底ナデ　外底回転糸切　b: 微砂　雲母　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄灰色　e: やや甘い
14	12	126	土製品	ロクロ かわらけ（小）	1/4	(7.6)	(5.6)	1.8		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 灰黄色　e: やや甘い
14	13	126	石製品	滑石鍋	口縁部片	-	-	[2.7]		c: 灰白色
14	14	136	土製品	ロクロ かわらけ（大）	ほぼ完形	13.0	7.7	3.25		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩　粗土　c: 橙色　e: 良好
14	15	136	土製品	ロクロ かわらけ（大）	1/3	(13.1)	(7.4)	3.3		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩　やや良土　c: 橙色　e: 良好
14	16	136	土製品	ロクロ かわらけ（大）	1/3	(12.0)	(7.1)	3.1		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩　粗土　c: 橙色　e: 良好

図番号	no.	遺構番号	材質	種別	遺存度	寸法（cm）				観察項目
						口径	底径	器高	重	a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
14	17	136	土製品	ロクロかわらけ（中）	1/2	(10.3)	5.8	2.8		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　良土　c: 黄橙色　e: 良好　f: 口縁部煤付着、灯明皿
14	18	136	骨製品	加工骨	-	長 [2.8]	幅 [1.5]	厚 [0.4]		f: 加工途中もしくは加工品端材か
14	19	127	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(7.6)	(5.8)	1.5		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩　やや粗土　c: 黄灰色　e: やや甘い
14	20	127	陶器	常滑甕	口縁部片	-	-	[6.7]		a: 輪積み成形　b: 灰色　白色粒　小石　c: 内面灰褐色　外面赤褐色　d: 内面口縁部付近に白色の降灰　外面縁帯部～頸部に白～緑灰色の降灰　f: 縁帯幅 2.5cm　中野編年 6b 型式
14	21	137	磁器	白磁口兀皿	小片	-	-	[3.1]		b: 白色　精良堅緻　d: 灰白色　透明　施釉薄い　f: 大宰府編年皿IX -1c
14	22	138	土製品	ロクロかわらけ（大）	完形品	12.8	7.1	3.4		a: 内底ナデ　外底回転糸切　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩　粗土　c: 黄橙色　e: やや甘い
14	23	138	土製品	ロクロかわらけ（大）	1/4	(13.0)	(8.6)	3.1		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩　粗土　c: 橙色　e: 良好　f: 部分的に被熱
14	24	138	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/4	(7.6)	(6.0)	1.4		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　泥岩　粗土　c: 橙色　e: 良好　f: 被熱箇所あり
14	25	140	鉄製品	釘	-	長 [2.9]	幅 0.4	厚 0.2	1g	f: 四角形状に鍛造
14	26	140	鉄製品	釘	-	長 [5.8]	幅 0.6	厚 0.35	5g	f: 四角形状に鍛造
14	27	141	陶器	渥美壺	口縁部片	(11.0)	-	[4.0]		b: 暗灰色　砂粒　白色粒　黒色粒　d: 縁帯部下一部自然釉付着　e: 良好　中野編年 1b 型式か
14	28	142	土製品	ロクロかわらけ（大）	2/3	(12.0)	(7.2)	3.6		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　小石粒　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好　f: 内底部にロクロ回転痕残る
14	29	142	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/2	(7.6)	(6.4)	1.6		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　小石粒　泥岩粒　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
14	30	142	土製品	手づくねかわらけ（大）	1/3	(13.8)	-	3.1		a: 内底ナデ　外面下半指頭痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: やや甘い　f: 内外面黒色に変色　内底部強いナデ
14	31	145	土製品	ロクロかわらけ（中）	4/5	11.1	6.5	3.1		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩　やや粗土　c: 黄灰色　e: やや甘い
14	32	145	土製品	ロクロかわらけ（中）	1/4	(10.4)	(6.2)	3.0		a: 内底ナデ　外底回転糸切　b: 微砂　雲母　赤色粒　泥岩　良土　c: 橙色　e: 良好　f: 口縁部煤付着、灯明皿か
14	33	145	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/2	8.3	4.7	2.2		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　泥岩　粗土　c: 橙色　e: 良好
14	34	145	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/4	(7.6)	(5.6)	1.75		a: 内底ナデ　外底回転糸切　ナデ消し　b: 微砂　雲母　赤色粒　泥岩　粗土　c: 黄灰色　e: 甘い
14	35	145	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/2	7.4	5.0	2.2		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 橙色　e: 良好　f: 全体的に煤付着、灯明皿か？
14	36	145	陶器	常滑片口鉢Ⅱ類	口縁部片	-	-	[4.1]		b: 灰色　砂　白色粒　小石粒　c: 内面灰色　外面褐灰色　f: 内面摩耗
14	37	145	土製品	吉備系土師器	下体部小片	-	-	[2.5]		a: 内底ナデか　内外面ヨコナデ　外底回転糸切　b: 淡黄色　精緻　e: 良好
14	38	145	石製品	砥石	-	最大長 [3.0]	幅 4.5	最大厚 1.5		f: 鳴滝産　仕上砥　頁岩　2 面使用　工具痕有　側面 1 ヶ所に研磨したような痕跡あり
14	39	145	石製品	雙六駒か	完形	長 1.9	幅 1.4	厚 0.6		f: 花崗岩製
14	40	146	土製品	瓦器椀	口縁部片	-	-	[2.2]		b: 灰黒色　砂粒　f: 被熱
14	41	146	土師器	甕	胴部片	-	-	[4.2]		b: 中心部灰黒色　微砂　雲母　赤色粒　黒色粒　白色粒　c: 橙色
14	42	147	土製品	ロクロかわらけ（小）	3/4	8.0	5.7	1.6		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　良土　c: 橙色　e: 良好
14	43	147	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(7.6)	6.0	1.7		a: 内底ナデ　外底回転糸切　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩　やや粗土　c: 橙色　e: 焼き締まりが強い
14	44	147	陶器	瀬戸入子	1/3	(5.0)	(3.4)	1.5		a: 内底部指頭痕　外底回転糸切（右回転）　b: 灰白色　精緻　c: 灰白色　d: 内面器壁に緑灰色の降灰
14	45	147	陶器	瀬戸卸皿	底部片	-	-	[1.5]		a: 内底卸目　外底回転糸切（右回転）　b: 灰白色　精緻　c: 灰白色　d: 灰白色～緑灰色の灰釉ハケヌリ　底部露胎　f: 古瀬戸前期～中期前半か
14	46	149	土製品	ロクロかわらけ（大）	3/4	(13.2)	(7.5)	3.5		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　小石粒　泥岩粒　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
14	47	149	陶器	常滑甕	口縁部片	-	-	[9.5]		a: 輪積み成形　b: 橙色　砂粒　長石　石英　白色粒　小石粒　c: 内面赤褐色　外面橙色　e: 良好　f: 縁帯幅 4.5cm　中野編年 8 型式か
14	48	150	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(7.8)	(5.4)	1.65		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 灰黄色　e: やや甘い
14	49	150	骨製品	笄	-	最大長 [2.3]	最大幅 [1.35]	最大厚 [0.25]		a: 片面に浅い溝
14	50	151	土製品	ロクロかわらけ（大）	1/5	(12.8)	(8.2)	3.6		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　白色粒　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
14	51	151	陶器	常滑片口碗	口縁部片	-	-	[3.4]		a: 輪積み成形　b: 灰色　砂粒　長石　c: 黒褐色　e: 良好
15	52	3 面構成土	土製品	ロクロかわらけ（大）	3/5	(14.0)	8.1	3.5		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　泥岩粒　粗土　c: 黄灰色　e: やや良好
15	53		土製品	ロクロかわらけ（大）	1/3	(12.4)	(7.6)	3.6		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや良土　c: 橙色　e: 良好

図番号	no.	遺構番号	材質	種別	遺存度	寸法（cm）				観察項目
						口径	底径	器高	重	a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
15	54	3面構成土	土製品	ロクロかわらけ（大）	3/5	(12.6)	(6.2)	3.5		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　泥岩粒　粗土　c: 黄灰色　e: やや良好
15	55		土製品	ロクロかわらけ（大）	1/4	(12.0)	(7.6)	3.3		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや良土　c: 黄橙色　e: 良好
15	56		土製品	ロクロかわらけ（中）	1/3	(11.6)	(7.2)	3.2		a: 外底回転糸切　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　泥岩粒　粗土　c: 黄灰色　e: やや甘い　f: 口縁打欠け　口縁部煤付着　器表全体的に剥離
15	57		土製品	ロクロかわらけ（中）	1/3	(10.8)	(6.8)	2.65		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや良土　c: 黄灰色　e: やや甘い
15	58		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(8.4)	(6.0)	1.65		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや良土　c: 赤橙色　e: 良好　f: 外底部黒く変色
15	59		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(7.8)	(5.5)	1.75		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄灰色　e: やや良好
15	60		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(7.5)	(6.2)	1.75		a: 内底ナデ　外底回転糸切　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　泥岩粒　粗土　c: 暗黄灰色　e: 良好
15	61		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(7.6)	(5.2)	1.7		a: 内底ナデ　外底回転糸切　b: 微砂　雲母　白色粒　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや良土　c: 灰黄色　e: 良好　f: 口縁部内外面炭付着　灯明皿
15	62		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(7.5)	(5.2)	1.9		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 灰黄色　e: 良好
15	63		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/4	(7.8)	(4.8)	2.0		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　黒色粒　海綿骨針　やや良土　c: 橙色　e: 良好
15	64		土製品	ロクロかわらけ（小）	ほぼ完形	7.3	4.8	2.2		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや良土　c: 黄橙色　e: 良好　f: 口縁に二ヵ所打ち欠き
15	65		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(7.1)	(4.2)	2.35		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや良土　c: 赤橙色　e: 良好　f: 外底部黒く変色
15	66		土製品	ロクロかわらけ（小）	2/3	7.4	5.0	1.95		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好　f: 口縁打ち欠き　口縁部全体煤付着、灯明皿
15	67		土製品	内折れかわらけ（極小）	1/3	(5.7)	(4.2)	1.15		a: ロクロ成形　内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや良土　c: 黄灰色　e: やや甘い
15	68		磁器	青磁蓮弁文碗	底部片	-	(4.0)	[3.2]		b: 灰白色　黒色粒　精良堅緻　d: 淡緑色　不透明　釉層薄い　畳付釉はぎ
15	69		陶器	常滑甕	胴部片	-	-	[8.3]		a: 輪積み成形　b: 灰褐色　砂粒　長石　白色粒　小石粒　c: 暗褐色　e: 良好　f: 外面押印　矢羽
15	70		陶器	常滑甕	胴部片	-	-	[7.5]		a: 輪積み成形　b: 灰褐色　砂粒　長石　白色粒　小石粒　c: 灰色　e: 良好　f: 器表全面に灰黄色の付着物　外面押印　斜線＋横線（1）
15	71		陶器	常滑甕	胴部片	-	-	[5.25]		b: 灰黒色　砂粒　長石　小石粒　c: 黄橙色　d: 内面に灰白色の降灰　e: 良好　f: 外面押印　単×文
15	72		陶器	常滑甕	胴部片	-	-	[4.7]		a: 輪積み成形　b: 灰色　砂粒　長石　白色粒　c: 褐色　e: 良好　f: 外面押印　単×文＋縦線文＋横線（4）
15	73		陶器	常滑甕	胴部片	-	-	[6.4]		a: 輪積み成形　b: 灰色　砂粒　白色粒　黒色粒　d: 外面暗灰緑色の降灰　e: 良好　f: 外面押印　縦線文
15	74		陶器	常滑片口鉢Ⅰ類	胴部～底部片	-	(13.0)	[6.6]		a: 輪積み成形　外面ヨコナデ　貼付け高台　b: 灰色　砂粒　長石　白色粒　小石粒　c: 灰色　e: 良好　f: 内面摩耗
15	75		陶器	常滑片口鉢Ⅰ類	底部片	-	-	[3.8]		a: 輪積み成形　貼付け高台　b: 灰色　砂粒　長石　白色粒　小石粒　c: 灰色　e: 良好　f: 内面摩耗
15	76		陶器	常滑片口鉢Ⅰ類	底部片	-	-	[4.8]		a: 輪積み成形　外底部脇ナデアゲ　b: 灰色　砂粒　長石　石英　c: 灰色　e: 良好　f: 内面やや摩耗
15	77		陶器	常滑片口鉢Ⅰ類	底部片	-	-	[4.1]		a: 輪積み成形　b: 灰色　砂粒　長石　石英　c: 灰色　e: 良好　f: 内面および外底部摩耗　高台剥離
15	78		陶器	常滑片口鉢Ⅱ類	口縁部～胴部片	-	-	[7.9]		a: 輪積み成形　b: 灰色　砂粒　長石　c: 褐色　d: 内面に乳白色の降灰　e: 良好
15	79		陶器	磨り常滑	-	最大長[7.0]	最大幅[6.6]	最大厚[1.3]		b: 灰色　砂粒　長石　白色粒　小石粒　c: 内面明褐色　d: 外面に暗灰緑色の自然釉　e: 良好　f: 外面押印　縦線文　一部摩耗
15	80		土製品	土器質火鉢	口縁部小片	-	-	[3.9]		a: 内外面ヨコナデ　b: 灰黒色　微砂　白色粒　小石粒　c: 灰白色　e: 甘い　f: 河野分類ＩＡ類
15	81		土製品	風炉	部位不明	-	-	[3.9]		b: 灰白色　微砂　赤色粒　白色粒　c: 内面灰色　外面淡橙色　f: 外面押印　横線（1)+ 四角４個＋横線（1)+ 蓮珠文＋横線（1)+ 四角４個＋横線（1）
15	82		土製品	瓦器碗	口縁部～底部片	(10.0)	(5.6)	2.65		a: 内底ナデ　外底回転糸切　b: 灰黒色　微砂　雲母　c: 灰黒色　外面口縁～体部の一部灰白色
15	83		石製品	砥石	-	最大長[7.6]	最大幅[2.8]	最大厚[2.5]		a: 切出し痕　加工痕有　b: 凝灰岩　c: 白～黄橙色（年輪状の石紋有）　f:4面摩耗
15	84		石製品	砥石	-	最大長[5.9]	最大幅[6.3]	最大厚[3.6]		c: 灰白色～明灰黄色　f: 伊予産　凝灰岩　中砥
15	85		石製品	砥石	-	最大長[5.0]	最大幅[3.4]	最大厚[1.7]		c: 暗灰黄色　f: 上野産　仕上砥
15	86		土製品	土師器甕	底部片	-	-	[1.9]		b: 微砂　雲母　白色粒　c: 黄灰色　f: 内面に黒い汚れ付着
15	87		土製品	土師器甕	胴部片	-	-	[5.1]		a: 内面ナデ　外面ハケ目調整　b: 微砂　赤色粒　白色粒　黒色粒　c: 暗黄橙色

図番号	no.	遺構番号	材質	種別	遺存度	寸法（cm）				観察項目
						口径	底径	器高	重	a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
15	88	3 面構成土	鉄製品	釘	-	長 [4.7]	幅 0.35	厚 0.35	4g	f: 四角形状に鍛造
15	89		銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.7	-	3.1g	f: 聖宋元寶
15	90		銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.7	-	3.5g	f: 元祐通寶
15	91		銅製品	銭	完形	直径 2.5	内孔 0.8	-	2.9g	f: 元祐通寶（篆書） 1086 年 北宋
18	1	152	土製品	ロクロかわらけ（大）	1/4	(12.6)	(8.2)	3.5		a: 内底ナデ 外底回転糸切（右回転） b: 微砂 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや良土 c: 灰黄色 e: 良好
18	2	152	土製品	ロクロかわらけ（小）	ほぼ完形	7.5	5.8	1.5		a: 内底ナデ 外底回転糸切（右回転） 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好
18	3	161	土製品	ロクロかわらけ（小）	2/3	7.8	6.5	1.6		a: 内底ナデ 外底回転糸切（右回転） 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好
18	4	162	土製品	中世以前甕	小片	-	-	[3.6]		a: 内面ケズリ 外面ハケ目調整 b: 灰色 微砂 赤色粒 白色粒 黒色粒 泥岩粒 c: 内面橙色 外面明灰褐色
18	5	165	陶器	常滑壺	底部片	-	-	[3.55]		a: 外底脇ヘラ削り 外面ヨコナデ b: 褐灰色 砂粒 長石 白色粒 黒色粒 小石粒 c: 褐灰色 d: 内底面に明灰緑色の自然釉
18	6	171	土製品	ロクロかわらけ（小）	ほぼ完形	7.2	5.1	1.5		a: 内底ナデ 外底回転糸切（右回転） 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄灰色 e: やや良好
18	7	168	土製品	ロクロかわらけ（大）	4/5	13.7	7.7	3.6		a: 内底ナデ 外底回転糸切（右回転） b: 微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや良土 c: 黄橙色 e: 良好 f: 口縁に二ヵ所打ち欠き
18	8	168	土製品	ロクロかわらけ（中）	ほぼ完形	11.2	6.7	3.1		a: 内底ナデ 外底回転糸切（右回転） 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄灰色 e: やや甘い
18	9	168	陶器	常滑甕	胴部片	-	-	[5.5]		b: 灰色 砂粒 長石 白色粒 c: 内面褐色 d: 外面に灰緑色の自然釉 e: 良好 f: 外面押印 縦線文
18	10	173	陶器	常滑甕	口縁部～頸部片	-	-	[8.2]		a: 輪積み成形 b: 灰色 砂粒 長石 小石粒 c: 暗褐色 d: 外面に灰白色の降灰 e: 良好 f: 縁帯幅 1.85cm 中野編年 6a 型式
18	11	173	陶器	常滑甕	胴部片	-	-	[6.5]		a: 輪積み成形 b: 灰色 砂粒 長石 小石粒 c: 灰黒色 d: 外面に灰色の降灰 e: 良好 f: 外面押印 斜線 (2)+ 縦線文 + 横線 (4)
18	12	172	陶器	常滑甕	口縁部～頸部片	-	-	[5.6]		a: 輪積み成形 b: 灰色 砂粒 長石 小石粒 c: 黒褐色 d: 口縁部内面と外面体部に灰緑色と暗褐色の降灰 e: 良好 f: 縁帯幅 2.5cm 中野編年 6a 型式
18	13	174	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(7.3)	(5.2)	1.45		a: 内底ナデ 外底回転糸切（右回転） 板状圧痕 b: 微砂 金雲母 赤色粒 良土 c: 淡黄橙色 e: やや甘い
18	14	176	土製品	ロクロかわらけ（大）	1/2	12.3	7.8	3.3		a: 内底ナデ 外底回転糸切（右回転） 板状圧痕 b: 微砂 雲母 海綿骨針 泥岩粒 やや良土 c: 橙色 e: 良好
18	15	176	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/4	(8.2)	(4.2)	1.9		a: 内底ナデ 外底回転糸切（右回転） 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 灰黄色 e: 良好
18	16	182	陶器	常滑片口碗	口縁部～底部片	-	-	7.1		a: 輪積み成形 内外面ヨコナデ 外底脇ナデ調整 外底板状圧痕 b: 橙色 砂粒 長石 白色粒 黒色粒 c: 褐色 e: 良好
18	17	182	土製品	平瓦	-	最大長 [11.1]	最大幅 [9.3]	最大厚 [2.2]		a: 凹面布目痕をナデ消し 凸面縄目叩き痕 b 灰色 微砂 雲母 白色粒 小石粒 良土 c: 褐色 e: 良好 f: Ⅰ期Ａ類
18	18	187	土製品	ロクロかわらけ（大）	1/4	(13.9)	(7.1)	3.4		a: 内底ナデ 外底回転糸切（右回転） 板状圧痕 b: 微砂 雲母 白色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄橙色 被熱のため内外面暗褐色に変色 e: 良好
18	19	187	鉄製品	釘	-	長 [16.8]	幅 0.4	厚 0.4	42g	f: 四角形状に鍛造
18	20	190	土製品	ロクロかわらけ（中）	1/3	(11.9)	(7.2)	3.3		a: 内底ナデ 外底回転糸切（右回転） b: 微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好
18	21	190	土製品	ロクロかわらけ（中）	1/3	(11.6)	(7.0)	3.45		a: 内底ナデ 外底回転糸切（右回転） b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好
18	22	190	陶器	常滑片口鉢Ⅰ類	底部片	-	(11.6)	[4.4]		a: 輪積み成形 外底脇ヘラ調整 ヨコナデ 貼付け高台 b: 灰色 砂粒 長石 白色粒 黒色粒 小石粒 c: 灰色 e: 良好 f: 内面全体摩耗
18	23	184	磁器	青磁蓮弁文碗	体部～底部片	-	(5.4)	[5.6]		a: 外底ケズリ調整 b: 灰白色 微砂 白色粒 黒色粒 d: 明灰緑色 半透明 釉層薄い
18	24	185	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(7.4)	(5.6)	2.1		a: 内底ナデ 外底回転糸切（右回転） b: 微砂 雲母 赤色粒 黒色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄灰色 e: やや良好 f: 口縁部煤付着、灯明皿
18	25	185	陶器	常滑片口鉢Ⅰ類	口縁部片	-	-	[4.3]		a: 輪積み成形 内外面ヨコナデ b: 灰色 砂粒 長石 白色粒 黒色粒 c: 灰色 d: 口縁部に灰白色の降灰 e: 良好
18	26	185	陶器	尾張型山茶碗	口縁部片	-	-	[2.5]		a: 内外面ヨコナデ b: 灰白色 砂粒 長石 白色粒 c: 灰白色 d: 口縁部に明灰緑色の自然釉 e: 良好
18	27	191	陶器	常滑片口鉢Ⅰ類	口縁部片	-	-	[3.6]		a: 輪積み成形 内外面ヨコナデ b: 灰色 砂粒 長石 白色粒 黒色粒 c: 灰色 e: 良好 f: 口縁部に窪み
18	28	191	陶器	常滑甕	胴部片	-	-	[6.0]		a: 輪積み成形 b: 暗灰色 砂粒 長石 白色粒 小石粒 c: 褐色 d: 灰緑色の降灰 e: 良好 f: 外面押印 縦線文 + 横線 (3)
18	29	192	土製品	ロクロかわらけ（大）	4/5	12.7	7.85	3.35		a: 内底ナデ 外底回転糸切（右回転） b: 微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄灰色 e: やや甘い
18	30	192	土製品	ロクロかわらけ（小）	完形品	7.4	5.0	1.9		a: 内底ナデ 外底回転糸切（右回転） b: 微砂 雲母 赤色粒 白色粒 海綿骨針 泥岩粒 良土 c: 黄橙色 e: 良好
19	31	194	土製品	ロクロかわらけ（大）	2/3	12.8	7.6	3.8		a: 内底ナデ 外底回転糸切（右回転） 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好

図番号	no.	遺構番号	材質	種別	遺存度	寸法（cm）				観察項目
						口径	底径	器高	重	a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
19	32	194	土製品	ロクロかわらけ（大）	ほぼ完形	12.6	7.2	3.5		a: 内底ナデ甘い　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
19	33	194	土製品	ロクロかわらけ（大）	4/5	12.35	8.0	3.4～3.7		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: やや甘い
19	34	194	土製品	ロクロかわらけ（中）	ほぼ完形	11.8	7.4	3.5		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　小石粒　やや粗土　c: 淡黄橙色～淡橙色　e: やや甘い
19	35	195	土製品	ロクロかわらけ（中）	1/3	(11.2)	(5.4)	3.5		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　良土　c: 淡黄橙色　e: やや甘い
19	36	194	土製品	ロクロかわらけ（中）	1/5	(10.5)	(6.2)	3.5		a: 外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　赤色粒　海綿骨針　やや良土　c: 橙色　e: 良好　f: 外面に指頭痕有
19	37	194	土製品	ロクロかわらけ（小）	ほぼ完形	8.4	5.4	1.8		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　黒雲母　金雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 淡橙色～淡黄橙色　e: やや甘い
19	38	194	土製品	ロクロかわらけ（小）	ほぼ完形	7.8	5.0	1.8		a: 内底ナデ甘い　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 橙色　e: 良好　f: 内面に黒ズミ有
19	39	194	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(8.1)	(4.7)	1.95		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
19	40	194	土製品	ロクロかわらけ（小）	4/5	7.85	5.0	1.75		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
19	41	194	土製品	ロクロかわらけ（小）	2/3	7.8	(4.8)	1.4～1.9		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　やや粗土　c: 灰黄色～淡橙色　e: 良好
19	42	194	磁器	青磁蓮弁文碗	口縁部片	-	-	[5.1]		b: 灰白色　黒色粒　気孔あり　d: 明灰緑色　半透明　気泡有
19	43	194	磁器	白磁口兀皿	口縁部片	-	-	[2.0]		b: 灰白色　精良堅緻　d: 白色　不透明　釉層薄い　口縁部釉はぎ　f: 口縁部釉はぎ部分に漆付着
19	44	191	陶器	天目茶碗	口縁部片	(11.6)	-	[4.9]		b: 黄灰色　白色粒　やや粗土　堅緻　c: 黒褐色　d: 黒釉ツケガケ後口縁部のみ褐釉施釉　f: 建窯か？
19	45	194	陶器	常滑片口鉢Ⅰ類	底部片	-	(14.9)	[3.5]		a: 輪積み成形　外面と高台一部ヨコナデ　貼付け高台　b: 灰色　砂粒　長石　白色粒　小石粒　c: 灰色　e: 良好
19	46	194	土製品	瓦質火鉢	口縁部片	-	-	[7.4]		a: 輪積み成形　内面と口縁部ヨコナデ　外面指頭痕とハケ目痕　b: 灰色　微砂　白色粒　小石粒　c: 灰色
19	47	194	土製品	火鉢類か	体部片	-	-	[5.2]		a: 内面ヨコナデ　外面ヘラナデ　b: 微砂　雲母　白色粒　やや粗土　c: 内面は淡黄橙色～淡黒色　外面は赤褐色
19	48	195	土製品	ロクロかわらけ（大）	ほぼ完形	13.0	7.0	3.8～4.0		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　泥岩粒　良土　c: 淡橙色　e: 良好
19	49	195	土製品	ロクロかわらけ（大）	1/2	(12.8)	7.9	3.7		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 淡黄橙色～淡橙色　e: やや甘い
19	50	195	土製品	ロクロかわらけ（大）	1/3	(12.2)	7.2	3.25		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 灰色　外面一部褐色に変色　e: 良好　f: 口縁部炭付着　灯明皿
19	51	195	土製品	ロクロかわらけ（小）	2/3	7.7	5.4	1.7～2.0		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　良土　c: 淡黄橙色　e: やや甘い
19	52	195	土製品	ロクロかわらけ（小）	ほぼ完形	8.0	4.8	2.0		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
19	53	195	土製品	ロクロかわらけ（小）	ほぼ完形	7.75	5.2	1.6		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄灰色　e: やや甘い
19	54	195	土製品	ロクロかわらけ（小）	3/5	8.0	6.0	1.5～1.8		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　泥岩粒　良土　c: 淡灰黄色　e: やや甘い
19	55	195	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(8.2)	(6.6)	1.5		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　泥岩粒　良土　c: 黄橙色　e: 良好
19	56	195	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/5	(8.2)	(5.8)	1.6		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　良土　c: 淡橙色　e: 良好
19	57	195	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	7.6	5.0	1.75		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 黄灰色　e: やや甘い
19	58	195	磁器	白磁口兀皿	口縁部～底部片	-	-	2.75		b: 灰白色　微砂　白色粒　堅緻　d: 明緑灰色　半透明　口縁釉掻き取り
19	59	195	土製品	甕か	底部片	-	(6.2)	[1.9]		b: 灰色　微砂　雲母　黒色粒　海綿骨針　小石粒　c: 褐色　f: 非中世か
19	60	195	石製品	滑石鍋	底部片	-	(15.0)	[3.9]		a: 外面ノミ痕
20	61	4面構成土	土製品	ロクロかわらけ（大）	1/4	(13.0)	(8.0)	3.3		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや良土　c: 橙色　e: 良好
20	62		土製品	ロクロかわらけ（大）	1/4	(12.5)	(7.8)	3.05		a: 内底ナデ　外底回転糸切　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや良土　c: 黄灰色　e: やや良好
20	63		土製品	ロクロかわらけ（大）	1/4	(12.2)	(8.3)	3.1		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
20	64		土製品	ロクロかわらけ（中）	1/3	(11.2)	(7.2)	3.55		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
20	65		土製品	ロクロかわらけ（中）	4/5	10.9	6.3	2.75		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや良土　c: 黄灰色　e: やや良好
20	66		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(8.8)	(6.7)	1.7		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 内面灰橙色　外面黄橙色　e: 良好
20	67		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(8.2)	(5.8)	1.7		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好

図番号	no.	遺構番号	材質	種別	遺存度	寸法（cm）				観察項目
						口径	底径	器高	重	a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
20	68	4面構成土	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(8.2)	(5.9)	1.75		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄灰色　e: やや良好
20	69		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(7.8)	(4.4)	2.5		a: 内底ナデ　外底回転糸切　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄灰色　e: やや甘い
20	70		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(8.0)	(5.8)	1.6		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄灰色　e: やや甘い
20	71		土製品	ロクロかわらけ（小）	4/5	7.4	4.7	1.45		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　黒色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄灰色　e: やや甘い
20	72		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(7.7)	(5.2)	1.2		a: 内底ナデ　外底回転糸切　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　泥岩粒　やや良土　c: 灰黄色　e: やや甘い
20	73		土製品	ロクロかわらけ（小）	ほぼ完形	7.3	5.6	1.4～1.6		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　赤色粒　白色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 灰黄色　e: やや甘い
20	74		土製品	内折れかわらけ（極小）	1/3	(5.0)	(3.8)	0.9		a: ロクロ成形　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　やや精良　c: 黄橙色　e: 良好
20	75		磁器	青磁蓮弁文碗	口縁部片	(13.1)	-	[4.9]		b: 灰白色　精良堅緻　僅かに気泡有　d: 淡緑色　不透明　釉層厚い
20	76		磁器	青磁蓮弁文小碗	口縁部片	-	-	[3.8]		b: 灰色　精良堅緻　d: 緑青色　半透明　釉層厚い
20	77		磁器	青磁碗	口縁部片	(10.8)	-	[2.4]		b: 灰白色　精良堅緻　d: 淡緑色　不透明　釉層厚い
20	78		磁器	青白磁合子蓋	天井部小片	-	-	[0.5]		a: 型押し　b: 灰白色　黒色粒　精良堅緻　d: 水青色　透明　釉層薄い　内外面施釉
20	79		磁器	白磁碗	底部片	-	(5.2)	[2.7]		a: 高台部内側カンナ痕有　b: 白色　精良堅緻　d: 乳白色　透明　釉層薄い
20	80		陶器	常滑甕	口縁部片	-	-	[8.2]		a: 輪積成形　縁帯部から内面ヨコナデ　外面体部は縦方向ハケナデ　b: 黄灰色　砂　白色粒　c: 黒褐色　f: 縁帯幅 2.2cm　中野編年 6a 型式
20	81		陶器	常滑甕	肩部片	-	-	[4.1]		b: 灰色　砂粒　白色粒　小石粒　c: 内面褐色　d: 外面に暗灰緑～暗褐色の自然釉　e: 良好　f: 外面押印　　横線（7）+ 縦線（8）と縦線（7）+ 横線（6）
20	82		陶器	常滑甕	胴部片	-	-	[5.6]		a: 輪積み成形　b: 灰色　砂粒　長石　白色粒　小石粒　c: 褐色　e: 良好　f: 外面押印　縦線文＋横線（1）
20	83		陶器	常滑甕	胴部片	-	-	[3.6]		a: 輪積み成形　b: 灰色　砂粒　長石　白色粒　小石粒　c: 褐色　e: 良好　f: 外面押印　縦線文＋横線（4）
20	84		陶器	常滑玉縁壺	口縁部～肩部片	-	-	[5.0]		b: 褐灰色　砂粒　c: 褐灰色　d: 肩部に淡緑灰色の降灰少量あり
20	85		陶器	常滑壺か	底部小片	-	-	[2.9]		a: 輪積み成形　内面指頭痕　b: 灰色　微砂　雲母　小石粒　c: 褐色
20	86		陶器	常滑片口鉢Ⅰ類	底部片	-	(11.6)	[5.5]		a: 内面ヨコナデ　底部脇ヘラケズリ　貼付け高台　b: 灰色　砂粒　白色粒　黒色粒　c: 灰色
20	87		陶器	常滑片口鉢Ⅰ類	底部片	-	-	[5.0]		a: 輪積み成形　外底脇ケズリ　ヨコナデ　貼付け高台　b: 灰色　砂粒　長石　白色粒　c: 灰色　e: 良好　f: 内面やや摩耗
20	88		陶器	常滑片口鉢Ⅱ類	底部片	-	-	[5.6]		a: 輪積み成形　指頭痕　外底脇ヘラ調整　砂底　b: 橙色　砂粒　赤色粒　白色粒　黒色粒　小石粒　c: 褐色　d: 内面に灰黄色の降灰　e: 良好
20	89		陶器	瀬戸底卸目皿	底部片	-	-	[1.6]		a: 内底面沈線２条　高台内卸目　b: 灰白色　精良土　d: 灰釉　内面ナガシカケ　外面高台より外ハケヌリか　e: 良好　f: 古瀬戸中期Ⅰ・Ⅱ期
20	90		陶器	瀬戸四耳壺	肩部小片	-	-	[3.5]		a: 耳部貼付け　b: 灰白色　精良土　d: 淡緑色の灰釉を外面のみナガシカケ　e: 良好　f: 中期後半以降
20	91		土製品	瓦器質火鉢	口縁部片	-	-	[3.9]		a: 内外面磨き　b: 橙色　微砂　赤色粒　白色粒　小石粒　やや粗土　c: 暗灰色　f: 外面押印　菊花文（9弁）　河野分類Ⅲ類
20	92		土製品	瓦質火鉢	底部片	-	-	[4.3]		a: 外面磨き　b: 淡橙色　微砂　赤色粒　白色粒　粗土　c: 灰色　灰黒色のムラ　f: 外面押印　沈線（1）+ 車輪・菊花文（11弁）+ 沈線（1）+ 連珠　河野分類ⅣＡ類
20	93		土製品	平瓦	-	最大長［6.7］	最大幅［7.2］	最大厚［1.9］		a: 凹面離れ砂　凸面縄目叩き痕　b 灰色　微砂　雲母　白色粒　小石粒　c: 白黒色　e: 良好　f: Ⅰ期Ａ類
20	94		土製品	平瓦	-	最大長［7.0］	最大幅［10.7］	最大厚［2.7］		a: 凹面布目痕か？　凸面格子の中に「十」の叩き目　b 灰色　微砂　雲母　赤色粒　白色粒　c: 灰白色　e: 良好　f: Ⅱ期Ｃ類
20	95		土製品	土錘	完形品	長 3.8	幅 2.3	厚 2.2	孔径 0.55	b: 黄橙色　微砂　雲母　海綿骨針　e: やや甘い　f: かわらけ質
20	96		鉄製品	釘	-	長 6.8	幅 (0.4)	厚 (0.5)	13g	f: 四角形状に鍛造
20	97		銅製品	銭	完形	直径 2.5	内孔 0.65	-	3.2g	f: 祥符通寶
20	98		銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.7	-	2.8g	f: 皇宋通寶
20	99		銅製品	銭	一部欠損	直径 2.4	内孔 0.65	-	-	f: ■定通寶
23	1	196	土製品	ロクロかわらけ（小）	ほぼ完形	7.5	4.8	1.6		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　黒雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
23	2	203	土製品	ロクロかわらけ（小）	ほぼ完形	7.5	4.6	2.15		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　泥岩粒　良土　c: 黄橙色　e: 良好
23	3	205	陶器	常滑片口鉢Ⅰ類	口縁部片	-	-	[5.6]		a: 輪積み成形　内外面ヨコナデ　外面一部ヘラ削り痕　b: 灰色　砂粒　長石　白色粒　c: 灰色　e: 良好　f: 内面摩耗
23	4	205	石製品	砥石	-	最大長［5.6］	最大幅［1.6］	最大厚［0.8］		c: 灰黄色　f: 鳴滝産　仕上砥　両面に細かな傷痕多く残る

図番号	no.	遺構番号	材質	種別	遺存度	寸法（cm）				観察項目
						口径	底径	器高	重	a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
23	5	206	土製品	ロクロかわらけ（小）	ほぼ完形	7.9	4.5	1.8		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　泥岩粒　粗土　c: 黄橙色　e: 良好　f: 口縁部複数の打ち欠き　内底部剥離　口縁部煤付着、灯明皿
23	6	208	土製品	ロクロかわらけ（中）	1/3	(11.4)	(6.3)	3.35		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　黒色粒　泥岩粒　やや良土　c: 黄橙色　e: 良好　f: 口縁部一部打欠き　光線部煤付着、灯明皿
23	7	208	土製品	台付甕	脚部片	-	-	[3.2]		a: 外面ハケ調整　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　泥岩粒　c: 褐色
23	8	210	土製品	ロクロかわらけ（大）	1/2	(12.7)	7.7	3.05		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好　f: 口縁部僅かに炭化物
23	9	210	土製品	ロクロかわらけ（小）	ほぼ完形	7.4	5.9	1.35		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 黄灰色　e: やや甘い
23	10	210	磁器	青磁蓮弁文碗	口縁部～底部片	(13.4)	(4.4)	5.6		b: 暗灰色　白色粒　精良堅緻　気孔あり　d: 暗緑灰色　半透明　釉層厚い
23	11	210	陶器	常滑甕	口縁部片	-	-	[4.5]		a: 輪積み成形　b: 黄灰色　砂粒　長石　小石粒　c: 褐色　d: 外面体部に灰緑色の自然釉　e: 良好　f: 縁帯幅 1.1cm　中野編年 5 型式
23	12	214	土製品	平瓦	-	最大長[5.0]	最大幅[6.05]	最大厚[2.5]		a: 離れ砂　凸面縄目叩き痕　b 灰色　微砂　雲母　白色粒　c: 灰黒色　e: 良好　f: Ⅰ期Ａ類か
23	13	221	土製品	ロクロかわらけ（小）	ほぼ完形	7.5	5.55	1.65		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　良土　c: 黄橙色　e: 良好　f: 中央に穿孔有　口縁打ち欠き
23	14	216	土製品	ロクロかわらけ（大）	2/3	13.3	8.0	2.9		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　良土　c: 橙色　e: 良好
23	15	216	土製品	ロクロかわらけ（大）	ほぼ完形	12.8	8.5	3.4		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　金雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　泥岩粒　良土　c: 黄橙色　e: 良好
23	16	219	土製品	ロクロかわらけ（大）	1/3	(12.3)	(7.5)	3.3		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや良土　c: 黄橙色　e: 良好
23	17	219	磁器	青磁皿	口縁部～底部片	-	-	[1.7]		b: 灰色　微砂　白色粒　黒色粒　精良堅緻　気孔有　d: 灰緑色　透明　釉層極薄い
23	18	230	陶器	常滑片口鉢Ⅰ類	底部小片	-	-	[5.1]		a: 内外面ヨコナデ　貼付け高台　b: 黄灰色　長石　砂　小石　c: 暗赤褐色　d: 内面に緑灰色の降灰　f: 内底面摩耗
23	19	231	銅製品	銭	完形	直径2.4	内孔0.6	-	4.4g	f: 熙寧元寶
23	20	233	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(7.6)	(4.9)	1.55		a: 内底ナデ　外底回転糸切　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄灰色　e: やや甘い
23	21	233	石製品	砥石	-	最大長[2.25]	最大幅[3.8]	最大厚[0.6]		c: 淡黄色　f: 鳴滝産　仕上砥　4 面摩耗
23	22	234	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(8.2)	(5.2)	1.6		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄灰色　e: やや甘い
23	23	234	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(8.0)	(5.9)	1.7		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
23	24	234	磁器	青磁蓮弁文碗	口縁部片	-	-	[3.4]		b: 灰白色　微砂　白色粒　黒色粒　精良堅緻　気孔有　d: 明灰緑色　半透明　釉層極薄い
23	25	234	磁器	白磁合子　身	体部小片	-	-	[2.0]		a: 型押し　b: 灰白色　精良堅緻　d: 白色　透明　釉層薄い　内外面施釉
23	26	244	土製品	ロクロかわらけ（小）	ほぼ完形	12.7	7.6	3.5		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
23	27	244	土製品	ロクロかわらけ（小）	ほぼ完形	12.7	8.0	3.4		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
23	28	244	土製品	ロクロかわらけ（小）	完形品	8.0	5.5	1.7		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　粗土　c: 黄灰色　e: やや甘い
23	29	244	土製品	ロクロかわらけ（小）	完形品	7.8	6.0	1.6		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄灰色　e: やや甘い
23	30	244	土製品	ロクロかわらけ（小）	ほぼ完形	7.9	6.2	1.5		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　泥岩粒　粗土　c: 橙色　e: 良好
23	31	244	土製品	ロクロかわらけ	底部片	-	-	[1.4]		a: 薄い器２枚を張り合わせている　内底ナデ　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　c: 黄灰色　e: やや甘い
23	32	244	磁器	青磁蓮弁文碗	口縁部～底部片	(12.4)	(3.3)	5.4		b: 灰白色　白色粒　黒色粒　精良堅緻　d: 灰緑色　半透明　釉層厚い　畳付き部一部露胎
23	33	244	陶器	常滑甕	肩部片	-	-	[6.5]		a: 輪積み成形　内面指頭痕　b: 灰色　砂粒　長石　白色粒　小石粒　c: 内面灰黒色　外面暗褐色　d: 外面に灰黄～褐色の自然釉　e: 良好　f: 外面押印　横線 (7)+ 縦線 (8) と縦線 (7)+ 横線 (6) の組み合わせ
23	34	244	土製品	台付甕	口縁部片	-	-	[4.0]		a: 口縁部面取り　b: 灰黒色　微砂　雲母　赤色粒　白色粒　c: 黄灰色
25	35	235	土製品	ロクロかわらけ（中）	1/2	(10.7)	(6.4)	3.15		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　良土　c: 橙色　e: 良好
25	36	236	土製品	ロクロかわらけ（小）	2/3	8.5	5.6	1.5～1.8		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
25	37	235	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(8.2)	(6.4)	1.45		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　良土　c: 淡黄橙色　e: 良好　f: 口縁部に粘土張り合わせ痕のような痕有
25	38	236	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(7.2)	5.2	1.5		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　泥岩粒　良土　c: 黄橙色　e: 良好
25	39	235	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(7.0)	(4.3)	1.9		a: 内底ナデ　外底回転糸切　b: 微砂　雲母　黒雲母　海綿骨針　やや良土　c: 淡黄橙色　e: やや甘い

図番号	no.	遺構番号	材質	種別	遺存度	寸法（cm）				観察項目
						口径	底径	器高	重	a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
25	40	235	磁器	青磁 鉢類	底部片	-	(7.7)	[1.7]		b: 灰白色　精良堅緻　c: 釉と素地の境赤茶色に発色　d: 淡暗緑色　半透明　釉層厚い　f: 大宰府編年　坏-Ⅲ類か
25	41	235	陶器	褐釉 壺	肩部片	-	-	[5.7]		a: 輪積成形？　内外面ヨコナデ　b: 灰黄色　白色粒　やや粗土　c: 赤褐色　d: 外面全体と内底頸部より上に褐釉施釉　f: 舶載
25	42	235	陶器	常滑 甕	口縁部片	-	-	[5.4]		a: 輪積み成形　b: 暗灰色　白色粒　雲母　砂粒　c: 暗灰色　d: 口縁部と外面体部に白褐色の降灰　e: 良好　f: 緑帯幅 2.1cm　中野編年 6a 型式
25	43	235	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	口縁部 ～底部片	(26.3)	(15.2)	10.0		a: 口縁部ナデ　外底脇ヘラナデ　外底離れ砂　b: 淡褐色　赤色粒　白色粒　砂粒　c: 淡赤褐色～淡褐色　d: 内面に淡褐色の降灰　e: 良好
25	44	235	陶器	渥美湖西型 山皿	1/2	(6.8)	3.8	1.5		a: 内底ナデ　内外面ヨコナデ　外底回転糸切　b: 灰白色　黒色粒　c: 灰白色　e: 良好
25	45	235	陶器	東遠型 山皿か	完形品	7.8	4.0	1.8		a: 内底ナデ　器壁ヨコナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 白色粒　小石粒　c: 灰色　e: 良好　f: 内面摩滅
25	46	235	陶器	亀山 甕	胴部片	-	-	[3.7]		b: 灰白色　黒色粒　c: 内面淡灰色　外面暗灰色　f: 外面押印　格子
25	47	235	鉄製品	釘	-	長 4.2	幅 0.4	厚 0.3	2g	f: 四角形状に鍛造
25	48	235	鉄製品	釘	-	長 5.5	幅 0.35	厚 0.5	4g	f: 四角形状に鍛造
25	49	235	銅製品	銭	完形	直径 2.3	内孔 0.6	-	2.4g	f: 元豊通寶
25	50	236	土製品	ロクロ かわらけ（小）	1/3	(7.2)	(5.2)	1.6		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　赤色粒　白色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
25	51	236	磁器	青磁 鉢類	底部片	-	(8.0)	[1.9]		b: 灰白色　精良堅緻　c: 釉と素地の境赤茶色に発色　d: 淡暗緑色　半透明　釉層厚い　貫入あり　f: 大宰府編年　坏-Ⅲ類か
25	52	237	土製品	ロクロ かわらけ（大）	1/3	(12.5)	(6.4)	3.3		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　白色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄灰色　e: やや甘い
25	53	237	土製品	ロクロ かわらけ（大）	ほぼ完形	12.35	7.7	3.1		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　泥岩粒　粗土　c: 黄橙色　e: 良好　f: 口縁一部欠ける　口縁部煤付着、灯明皿か
25	54	237	土製品	ロクロ かわらけ（大）	4/5	12.6	8.2	3.05		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄灰色　e: やや甘い
25	55	237	土製品	ロクロ かわらけ（小）	1/3	(8.2)	(6.1)	1.45		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　泥岩粒　粗土　c: 黄橙色　e: 良好
25	56	237	土製品	ロクロ かわらけ（小）	ほぼ完形	7.55	5.6	1.55		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄灰色　e: やや甘い
25	57	237	土製品	ロクロ かわらけ（小）	ほぼ完形	7.7	5.2	1.4		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　泥岩粒　粗土　c: 黄灰色　e: やや甘い　焼きムラ有　f: 口縁部煤痕
25	58	237	土製品	ロクロ かわらけ（小）	2/3	(8.4)	5.2	1.55		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　白色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 黄灰色　e: やや甘い
25	59	237	土製品	ロクロ かわらけ（小）	1/2	7.4	5.2	2.5		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
25	60	237	磁器	青磁 蓮弁文碗	底部片	-	(5.1)	[1.8]		b: 灰白色　白色粒　黒色粒　精良堅緻　d: 灰緑色　半透明　畳付き部一部露胎
25	61	237	鉄製品	釘	-	長 [5.9]	幅 0.5	厚 0.3	6g	f: 四角形状に鍛造
25	62	237	銅製品	銭	完形	直径 2.1	内孔 0.6	-	2.7g	a: 外縁削り取り　f: 元豊通寶（篆書）　北宋 1078 年
25	63	238	土製品	ロクロ かわらけ（大）	1/3	(12.8)	(7.2)	3.2		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄灰色　e: やや甘い　f: 口縁部煤痕
25	64	238	土製品	ロクロ かわらけ（小）	1/3	(7.8)	(6.0)	1.5		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　泥岩粒　粗土　c: 橙色　e: 良好
25	65	238	陶器	器種不明	口縁部片	-	-	[2.4]		a: 外面ヨコナデ　b: 灰色　微砂　白色粒　黒色粒　小石粒　粗土　d: 灰緑色　不透明　釉層極薄い　f: 舶載品か？
25	66	240	土製品	ロクロ かわらけ（大）	1/4	(12.8)	(9.2)	3.5		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
25	67	240	土製品	ロクロ かわらけ（小）	1/3	8.5	6.8	1.8		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　黒色粒　海綿骨針　粗土　c: 黄橙色　e: 良好　f: 被熱か？半分黒色化
25	68	240	土製品	ロクロ かわらけ（小）	1/3	(7.4)	(5.3)	1.4		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　泥岩粒　粗土　c: 黄灰色　e: やや甘い
25	69	240	磁器	青磁 蓮弁文碗	口縁部片	-	-	[4.4]		b: 灰白色　灰色粒　黒色粒　精良堅緻　気孔あり　d: 明灰緑色　半透明　釉層厚い
25	70	240	磁器	青磁 無文碗	底部片	-	-	[2.0]		b: 灰白色　白色粒　黒色粒　精良堅緻　気孔あり　釉層厚い　d: 灰緑色　半透明
25	71	240	陶器	常滑 壺か	口縁部片	-	-	[4.5]		a: 輪積み成形　b: 灰色　砂粒　長石　c: 暗褐色　d: 外面に灰黄色の降灰　e: 良好　f: 緑帯幅 0.9cm
25	72	240	鉄製品	釘	-	長 [5.8]	幅 0.45	厚 0.3	4g	f: 四角形状に鍛造
25	73	241	土製品	ロクロ かわらけ（大）	ほぼ完形	12.7	7.0	3.8		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　金雲母　赤色粒　黒色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
25	74	241	土製品	ロクロ かわらけ（中）	1/3	(12.0)	(8.0)	3.1		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好

図番号	no.	遺構番号	材質	種別	遺存度	寸法（cm）				観察項目
						口径	底径	器高	重	a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
25	75	241	土製品	ロクロかわらけ（小）	ほぼ完形	7.8	5.8	1.65		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　黒色粒　海綿骨針　泥岩粒　粗土　c: 橙色　e: 良好　f: 口縁部煤痕
25	76	241	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/2	7.0	5.0	1.75		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　泥岩粒　粗土　c: 黄橙色　e: やや甘い　焼きムラ有
25	77	241	土製品	ロクロかわらけ（小）	2/3	7.6	6.0	1.6		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　泥岩粒　粗土　c: 黄灰色　e: やや甘い
25	78	241	土製品	ロクロかわらけ（小）	4/5	7.3	5.8	1.6		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　粗土　c: 黄灰色　e: 良好　焼きムラ有
25	79	241	土製品	ロクロかわらけ（小）	底部片	-	4.7	[0.75]		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　粗土　c: 橙色　e: 良好　体部破損部擦り痕か？
25	80	241	陶器	常滑甕	胴部片	-	-	[4.8]		a: 輪積み成形　b: 灰色　微砂　小石粒　c: 褐色　e: 良好　f: 外面押印　車輪・菊花文（8弁）
26	81	239	土製品	ロクロかわらけ（中）	2/3	11.6	7.4	3.3		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　粗土　c: 黄橙色　e: 良好
26	82	239	土製品	ロクロかわらけ（中）	ほぼ完形	11.8	8.3	3.15		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　粗土　c: 黄橙色　e: 良好
26	83	239	土製品	ロクロかわらけ（中）	1/3	(11.6)	(8.1)	3.5		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや良土　c: 黄橙色（全体的に黒～灰黒色に変色）　e: 良好　f: 煤付着　灯明皿
26	84	239	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(7.6)	(6.1)	1.4		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや良土　c: 黄灰色　e: やや良好
26	85	239	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/2	7.5	5.2	1.6		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
26	86	239	陶器	常滑甕	口縁部片	-	-	[9.7]		a: 輪積成形　縁帯部から内面ヨコナデ　外面体部は縦方向ハケナデ＋ヨコナデ　b: 灰白色　白色粒　c: 内面黒褐色　外面褐色　f: 縁帯幅 2.0cm　中野編年 5 型式
26	87	239	土製品	平瓦	-	最大長[9.7]	最大幅[9.3]	最大厚[3.25]		a: 凹面布目ナデ消し　凸面斜格子の叩き痕　b 灰色　微砂　雲母　赤色粒　白色粒　小石粒　やや粗土　c: 灰白色～淡灰橙色　e: 良好　f: Ⅱ期Ｃ類
26	88	239	土製品	平瓦	-	最大長[4.9]	最大幅[8.9]	最大厚[2.3]		a: 凹面布目ナデ消し　離れ砂　凸面縄目叩き痕　b 灰色　微砂　石英　c: 灰白色　e: 良好　f: Ⅰ期Ａ類か
26	89	239	土製品	平瓦	-	最大長[10.3]	最大幅[17.9]	最大厚[2.5]		a: 凹面ナデ　離れ砂　凸面縄目叩き痕　b 灰色　微砂　雲母　白色粒　c: 橙色　e: 良好　f: Ⅰ期Ａ類
26	90	239	土製品	平瓦	-	最大長[24.7]	最大幅[23.4]	最大厚[3.3]		a: 凹面ナデ　凸面縄目叩き痕　縁側面取り　側面一部ナデ調整　b 灰色　微砂　雲母　白色粒　小石粒　c: 橙色　e: 良好　f: Ⅰ期Ａ類
27	91	242	土製品	ロクロかわらけ（大）	1/4	(13.4)	(7.5)	4.1		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや良土　c: 淡橙色　e: 良好
27	92	242	土製品	ロクロかわらけ（大）	1/3	(13.0)	(7.8)	3.6		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 黄灰色　e: やや良好
27	93	242	土製品	ロクロかわらけ（中）	ほぼ完形	12.0	6.9	3.4		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
27	94	242	土製品	ロクロかわらけ（中）	1/3	(12.0)	(7.0)	3.4		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
27	95	242	土製品	ロクロかわらけ（中）	ほぼ完形	11.6	7.0	3.05		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄灰色　e: やや良好
27	96	242	土製品	ロクロかわらけ（中）	1/3	(11.8)	(7.0)	3.1		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　白色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄灰色　e: やや良好
27	97	242	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(8.1)	(5.2)	1.6		a: 内底ナデ　外底回転糸切　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
27	98	242	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(7.3)	(5.3)	2.0		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　口縁～胴部灰色に変色　e: 良好
27	99	242	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(7.6)	(4.6)	1.7		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　泥岩粒　粗土　c: 黄灰色　e: やや甘い
27	100	242	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/2	(7.9)	5.3	1.9		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　泥岩粒　粗土　c: 橙色　e: 良好
27	101	242	土製品	ロクロかわらけ（小）	ほぼ完形	7.8	5.6	1.7		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄灰色　e: やや良好　f: 口縁部１ヶ所打欠き有
27	102	242	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/4	(6.8)	(4.3)	2.1		a: 内底ナデ　外底回転糸切　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 淡橙色　e: 良好
27	103	242	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(7.3)	(4.3)	1.85		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　泥岩粒　粗土　c: 黄灰色　e: やや良好
27	104	242	磁器	白磁合子蓋	天井部小片	-	-	[0.6]		a: 型押し　b: 灰白色　精良堅緻　d: 黄白色　透明　釉層薄い　内外面施釉
27	105	242	陶器	常滑甕	口縁部～頸部片	-	-	[9.8]		a: 輪積み成形　b: 褐色　砂粒　長石　白色粒　小石粒　c: 褐色　d: 内面～頸部に明灰緑色の降灰　f: 中野編年 6a 型式
27	106	242	陶器	常滑広口壺	口縁部片	-	-	[5.0]		a: 輪積み成形　b: 灰黒色　砂粒　長石　白色粒　小石粒　c: 褐色　d: 口縁内～頸部に灰緑色の降灰　f: 中野編年 6a 型式
27	107	242	陶器	常滑甕	胴部片	-	-	[10.4]		a: 輪積み成形　b: 灰色　砂粒　長石　白色粒　小石粒　c: 褐色　e: 良好　f: 外面押印　横線（7）+ 縦線（8）と縦線（7）+ 横線（6）の組み合わせ
27	108	242	陶器	常滑甕	肩部片か	-	-	[4.9]		a: 輪積み成形　b: 灰色　砂粒　長石　白色粒　小石粒　c: 褐色　e: 良好　d: 暗灰緑色の降灰　f: 外面押印　横線（7）+ 縦線（8）と縦線（7）+ 横線（6）の組み合わせ

図番号	no.	遺構番号	材質	種別	遺存度	寸法（cm）				観察項目
						口径	底径	器高	重	a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
27	109	242	陶器	常滑 甕	胴部片	-	-	[6.0]		a: 輪積み成形　b: 黄橙色　砂粒　長石　赤色粒　白色粒　黒色粒　c: 灰色　e: 良好　f: 外面押印　横線（7）+ 縦線（8）と縦線（7）+ 横線（6）
27	110	242	陶器	常滑 甕	胴部片	-	-	[9.3]		a: 輪積み成形　b: 暗黄橙色　砂粒　長石　赤色粒　白色粒　黒色粒　c: 褐色　e: 良好　f: 外面押印　車輪・菊花文（7 弁）
27	111	242	陶器	常滑 玉縁壺	底部片	-	(7.0)	[10.4]		a: 外面体部ナデ　外底脇回転ケズリ　b: 灰色　長石　小石　c: 内面褐色　外面暗赤褐色
27	112	242	陶器	常滑 壺	底部片	-	(8.4)	[4.8]		a: 輪積み成形　b: 暗灰色　砂粒　長石　白色粒　黒色粒　c: 暗褐色　f: 外底端部に籾痕有
27	113	242	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	口縁部片	-	-	[6.8]		a: 輪積み成形　b: 黄橙色　砂粒　赤色粒　白色粒　黒色粒　小石粒　泥岩粒　c: 褐色　e: 良好
27	114	242	石製品	砥石	-	最大長 [7.0]	最大幅 [5.4]	最大厚 [1.7]		c: 灰黒色　f: 上野産　中砥　側面にＶ字の切痕有　4 面摩耗
27	115	242	土製品	ロクロ かわらけ（大）	1/3	(13.0)	(7.4)	3.4		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや良土　c: 黄灰色　e: やや甘い
27	116	242	土製品	ロクロ かわらけ（大）	1/4	(12.0)	7.4	3.7		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 黄灰色　e: やや甘い
27	117	242	土製品	ロクロ かわらけ（中）	4/5	11.5	7.0	2.9		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　泥岩粒　粗土　c: 橙色　e: 良好
27	118	242	土製品	ロクロ かわらけ（小）	1/3	(7.6)	(4.5)	2.0		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　白色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄灰色　e: やや甘い
27	119	242	土製品	手づくね かわらけ（小）	口縁部片	-	-	[1.9]		a: 内底ナデ　外面下半指頭痕　b: 微砂　雲母　白色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 黄灰色　e: やや甘い
27	120	242		獣骨						犬の骨か
27	121	242	木製品	漆器		-	-	[1.2]		b: 黒漆の地に朱色のスタンプ
27	122	242	木製品	漆器		-	-	[2.8]		b: 黒漆の地に朱色の手描き文様、16 花弁の菊 f: 損傷激しく傾き不明
27	123	242	漆製品	折烏帽子	4/5	最大高 [20.2]	最大幅 [22.9]			f: 布地に黒漆。表面の布の剥落箇所多い。
28	124	5 面遺構外	土製品	ロクロ かわらけ（大）	1/3	(13.0)	(7.1)	3.7		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　良土　c: 橙色　e: 良好
28	125		土製品	ロクロ かわらけ（大）	1/3	(12.6)	(7.0)	3.0		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　良土　c: 黄橙色　e: 良好
28	126		土製品	ロクロ かわらけ（小）	完形品	7.75	5.0	1.65		a: 内底ナデ　ヘラ削り　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄灰色　e: やや甘い
28	127		土製品	ロクロ かわらけ（小）	完形品	7.9	5.1	1.5		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
28	128	5 面構成土	土製品	ロクロ かわらけ（大）	1/2	(11.7)	(5.2)	3.8		a: 外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　赤色粒　精良土　c: 淡橙色　e: 良好
28	129		磁器	青磁 蓮弁文小碗	底部片	-	-	[2.7]		b: 灰白色　精良堅緻　d: 明青緑色　半透明　釉層厚い　高台部露胎
28	130		陶器	常滑 瓶類	底部片	-	(8.7)	[5.4]		a: 輪積み成形　ヘラ切　b: 黒色　微砂　白色粒　c: 内面暗茶褐色　外面赤茶褐色　d: 内面に降灰　e: 良好
28	131		土製品	瓦質 火鉢	口縁部 ～底部片	-	-	[8.5]		a: 輪積み成形　内外面ヨコナデ　b: 灰色　微砂　白色粒　小石粒　c: 灰色
28	132		土製品	土器質 火鉢	口縁部片	-	-	[10.0]		a: 内外面ミガキ　b: 微砂　赤色粒　白色粒　良土　c: 内面暗淡褐色　外面白色～淡橙色　e: 良好　f: 河野分類ⅡＡ類
28	133		石製品	碁石	完形	径 2.6	-	厚 0.8		c: 黒色
28	134		鉄製品	釘	-	長 [4.4]	幅 0.4	厚 0.4	3g	f: 四角形状に鍛造
28	135		鉄製品	釘	-	長 5.1	幅 0.6	厚 0.4	4g	f: 四角形状に鍛造
28	136		鉄製品	釘	-	長 4.65	幅 0.1	厚 0.1	0.3g	
30	1	250	磁器	白磁 口兀皿	口縁部 ～底部片	-	-	[2.8]		b: 白色　微砂　白色粒　黒色粒　d: 灰白色　半透明　釉層極薄い
30	2	258	-	土器 産地不明	底部片	-	-	[2.9]		a: 内面ヨコナデ　b: 灰褐色　微砂　雲母　赤色粒　白色粒　小石粒　粗土　c: 褐色　f: 外面半分黒色に変色
30	3	261	土製品	瓦質火鉢	口縁部片	-	-	[4.5]		a: 内外面ヨコナデ　b: 灰色　微砂　雲母　赤色粒　白色粒　泥岩粒　粗土　c: 灰赤色　f: 河野分類ⅡＥ類
30	4	262	土製品	土師器 甕	口縁部片	-	-	[3.2]		b: 黄橙色　微砂　雲母　赤色粒　白色粒　黒色粒　小石粒　c: 明灰褐色　f: 被熱　口縁部と外面頸部に炭化物付着　内面筋状の煤痕
30	5	264	土製品	ロクロ かわらけ（小）	1/3	(8.0)	(5.0)	2.0		a: 内底ナデ　外底回転糸切　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　やや良土　c: 橙色　e: 良好　f: 口縁部煤付着、灯明皿
30	6	267	土製品	ロクロ かわらけ（小）	1/3	(7.8)	(6.4)	1.5		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　赤色粒　白色粒　海綿骨針　小石粒　粗土　c: 淡橙色～赤橙色　e: 良好
30	7	273	陶器	常滑 壺	底部片	-	-	[4.2]		a: 輪積み成形　b: 灰色　砂粒　長石　小石粒　c: 黒灰色　d: 内面に暗灰緑色の自然釉　f: 内面に粘土塊付着
30	8	275	磁器	青磁 蓮弁文碗	口縁部片	-	-	[3.5]		b: 灰色　微砂　白色粒　精良堅緻　気孔あり　d: 灰緑色　半透明　釉層厚い　気泡有
30	9	279	土製品	ロクロ かわらけ（大）	ほぼ完形	12.2	7.4	3.15		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　黒色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
30	10	279	土製品	ロクロ かわらけ（小）	1/3	(7.6)	(4.7)	1.6		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好

図番号	no.	遺構番号	材質	種別	遺存度	寸法（cm）				観察項目
						口径	底径	器高	重	a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
30	11	6a 面構成土	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(8.0)	(6.0)	1.9		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　良土　c: 黄灰色　e: やや甘い
30	12		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(8.0)	(6.0)	1.8		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　白色粒　海綿骨針　泥岩粒　良土　c: 黄灰色　e: やや甘い
30	13		陶器	常滑甕	底部片	-	[6.3]	[2.6]		a: 輪積み成形　離れ砂　b: 灰色　微砂　白色粒　黒色粒　d: 内面に暗黄緑色の降灰
31	1	288	陶器	常滑甕	口縁部片	-	-	[9.1]		a: 輪積成形　縁帯部～内面ヨコナデ　外面体部は縦方向ハケナデ　b: 黄灰色　砂　長石　黒色粒　c: 黒褐色　d: 肩部僅かに白色の降灰　f: 縁帯幅 2.0cm　中野編年 6a 型式
31	2	290	陶器	褐釉壺	底部片	-	(15.6)	[14.7]		a: 内外面ヨコナデ　b: 灰黄色　白色粒　精良　c: 赤褐色　d: 外面全体と内底面に褐釉施釉　f: 舶載　※ち 56 と接合、ち 56 欠番
31	3	6b 面構成土	土製品	ロクロかわらけ（大）	1/4	(13.0)	(6.9)	3.7		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　粗土　c: 橙色　e: 良好
31	4		土製品	穿孔かわらけ	底部片	-	[2.7]	[0.7]		a: 内底ナデ　外底回転糸切　b: 微砂　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 橙色　e: 良好　f: 穿孔有
31	5		陶器	常滑甕	胴部片	-	-	[6.2]		a: 輪積み成形　b: 灰色　砂粒　長石　白色粒　小石粒　c: 褐色　d: 外面に暗灰緑色の自然釉　e: 良好　f: 外面押印　横線 (7)+ 縦線 (8) と縦線 (7)+ 横線 (6) の組み合わせ
31	6		陶器	常滑甕	肩部片	-	-	[5.1]		
31	7		陶器	常滑甕	底部片	-	-	[6.2]		a: 輪積み成形　b: 暗灰色　砂粒　長石　雲母　白色粒　c: 暗褐色　d: 内外面に暗灰緑色の自然釉　e: 良好
31	8		陶器	尾張型山茶碗	底部片	-	(5.7)	[2.6]		a: 外底部糸切痕　貼付け高台　b: 淡灰色　白色粒　砂粒　やや粗土　c: 淡灰色　d: 内面に明青緑色半透明の降灰
31	9		土製品	玉		長 1.9	幅 1.7	高 1.5		b: 黄橙色　雲母　赤色粒　角閃石　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
31	10		土製品	土師器甕類	口縁部片	-	-	[2.2]		b: 微砂　雲母　赤色粒　c: 黄橙色　e: 良好
31	11		土製品	不明土製品	小片	-	-	[3.2]		a: 外面ハケ調整　b: 黄灰色　微砂　長石　赤色粒　泥岩粒　c: 褐色　e: 良好　硬質
31	12		土製品	不明土製品	小片	-	-	[2.9]		a: 外面ハケ調整　b: 微砂　雲母　白色粒　黒色粒　c: 褐色　e: 良好　硬質
31	13		木製品	杭先		最大長 23.0	最大幅 6.5	最大厚 5.6		a: 先端部四角形状に削り、尖らせている
34	1	311	土製品	不明土製品	小片	-	-	[3.4]		a: 内面ナデ　外面ハケ目調整　b: 微砂　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　粗土　c: 褐色
34	2	311	土製品	不明土製品	小片	-	-	[2.7]		a: 内面ナデ　外面ハケ目調整　b: 微砂　雲母　赤色粒　泥岩粒　c: 灰橙色
34	3	311	土製品	不明土製品	底部片	-	-	[0.9]		a: 内外面磨き　b: 微砂　雲母　c: 暗褐色
34	4	313	土製品	ロクロかわらけ（小）	2/3	(8.2)	(6.2)	1.3		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　泥岩粒　粗土　c: 橙色　e: 良好
34	5	315	土製品	ロクロかわらけ（大）	1/4	(12.7)	(8.4)	2.85		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　泥岩粒　粗土　c: 橙色　e: 良好
34	6	317	土製品	土師器甕	口縁部片	-	-	[3.2]		a: 内外面ナデ　b: 黄灰色　微砂　白色粒　黒色粒
34	7	327	土製品	不明土製品	小片	-	-	[3.7]		a: 内面ナデ　外面ヘラケズリ　b: 褐色　微砂　赤色粒　白色粒　c: 褐色　e: 良好
34	8	327	土製品	瓦質火鉢	小片	-	-	[3.0]		a: 内面櫛状痕　b: 灰色　微砂　雲母　白色粒　黒色粒　c: 暗灰色
34	9	328	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(8.0)	(6.0)	1.2		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
34	10	332	土製品	ロクロかわらけ（中）	2/3	12.0	7.9	3.2		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
34	11	332	土製品	ロクロかわらけ（中）	2/3	11.9	9.0	3.05		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄灰色　e: やや甘い　f: 口縁部一部打ち欠け　口縁部煤付着、灯明皿
34	12	332	土製品	ロクロかわらけ（小）	4/5	7.8	6.0	1.35		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄灰色　e: やや甘い
34	13	332	土製品	ロクロかわらけ（小）	4/5	7.4	6.0	1.4		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: 良好
34	14	332	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(7.8)	(4.7)	1.95		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　泥岩粒　粗土　c: 赤橙色　e: 良好
34	15	332	磁器	青磁蓮弁文碗	口縁部片	-	-	[3.1]		b: 灰色　精良堅緻　d: 暗灰緑色　ほぼ不透明　釉層厚い
34	16	332	陶器	常滑壺	口縁部片	(11.6)	-	[5.5]		b: 灰色　砂粒　長石　白色粒　小石粒　c: 褐色　d: 口縁内と肩部に灰緑色の降灰　f: 外面押印丸文 (6 つ)
34	17	332	銅製品	銭	完形	直径 2.3	内孔 0.65	-	3.0g	f: 至和元寶
34	18	6c 面構成土	土製品	ロクロかわらけ（中）	1/3	11.8	7.0	3.2		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 淡橙色　e: 良好
34	19		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/5	(9.0)	(7.7)	1.6		a: 内底ナデ　外底回転糸切　b: 微砂　雲母　良土　c: 黄灰色　e: 甘い

図番号	no.	遺構番号	材質	種別	遺存度	寸法（cm）				観察項目
						口径	底径	器高	重	a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
34	20	6c 面構成土	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(8.6)	(6.2)	1.5		a: 内底ナデ　外底糸切（静止糸切か）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: やや甘い
34	21		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(8.4)	(6.6)	1.8		a: 内底ナデ　外底回転糸切（左回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや良土　c: 淡黄橙色　e: 良好
34	22		土製品	ロクロかわらけ（小）	1/5	(7.2)	(5.4)	1.5		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　小石粒　良土　c: 淡黄褐色　e: 良好
34	23		土製品	手づくねかわらけ（小）	1/5	(9.0)	-	1.8		a: 内底ナデ　外面下半指頭痕　b: 微砂　雲母　黒色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
34	24		陶器	舶載盤	底部片	-	-	[1.1]		a: 外底部離れ砂、板状圧痕　b: 淡灰黄色　雲母　赤色粒　白色粒　良土　d: 内面施釉（ほぼ剥離）　外面露胎　釉層薄い　f: 泉州窯系
34	25		陶器	常滑片口鉢Ⅰ類	底部片	-	-	[5.6]		a: 輪積み成形　外底部脇ヘラナデ　貼付け高台　b: 淡黄褐色　砂粒　白色粒　c: 淡黄褐色
34	26		陶器	常滑片口鉢Ⅰ類	底部片	-	(12.4)	[6.0]		a: 輪積み成形　外底部脇ヘラナデ　貼付け高台　b: 淡灰色　砂粒　白色粒　c: 淡灰色　f: 内面摩耗
34	27		土製品	平瓦	小片	-	-	最大厚[2.4]		a: 凹面離れ砂　布目痕　b 暗灰色～暗褐色　雲母　白色粒　c: 凸面黄灰色　凹面黒色～灰色　e: 良好　f: Ⅰ期
34	28		土製品	平瓦	小片	-	-	最大厚[2.0]		a: 凹面布目痕　b 灰色　微砂　雲母　白色粒　c: 灰白色　e: 良好
34	29		土製品	伊勢系土鍋	口縁部小片	-	-	[2.5]		b: 淡灰茶白色　白色粒　小石粒　c: 内面暗灰白色　外面暗灰色　e: 良好？　f: 内面黒く煤けている
34	30		陶器	須恵器甕	胴部片	(3.9)	-	-		a: 内面ハケ目　b: 灰色　微砂　白色粒　やや粗土　c: 暗灰色　e: 良好
34	31		鉄製品	釘	-	長[6.9]	幅0.45	厚0.4	7g	f: 四角形状に鍛造
34	32		木製品	木片ヘラ状工具か		最大長[3.75]	最大幅[1.8]	最大厚[0.4]		
写 20	a	336	木製品	漆椀	2/3	(13.0)	7.1	[2.6]		f: 高台剥離
36	1	359	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/5	(7.4)	(5.9)	1.85		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: やや甘い
36	2	366	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/2	8.2	5.5	1.7		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　貝　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
36	3	367	土製品	ロクロかわらけ（大）	1/2	(12.1)	8.7	3.2～3.3		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　砂粒　小石粒　やや粗土　c: 淡橙色　e: 良好　f: 口縁部煤付着　灯明皿か？
36	4	373	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/4	(8.6)	(6.6)	2.05		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　良土　c: 黄橙色　e: やや甘い
36	5	377	陶器	瀬戸？器種不明	口縁部小片	-	-	[1.7]		b: 淡灰黄色　雲母　赤色粒　白色粒　c: 外面淡赤褐色　d: 内面に降灰
36	6	378	土製品	ロクロかわらけ（中）	1/3	(11.6)	(7.4)	3.3		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
36	7	378	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/2	(8.2)	7.0	2.0		a: 内底ナデ　外底回転糸切　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 橙色　e: やや甘い
36	8	378	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/3	(8.3)	(5.9)	1.8		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 黄橙色　e: やや甘い
36	9	375	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/4	(7.85)	(5.8)	1.3		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　海綿骨針　良土　c: 淡黒色～黄橙色　e: 良好　f: 一部煤付着灯明皿か？
36	10	375	陶器	常滑片口鉢Ⅰ類	口縁部片	-	-	[4.9]		b: 黄灰色　砂粒　白色粒　黒色粒　d: 内面に降灰　e: 良好
36	11	375	陶器	常滑甕	胴部片	-	-	[4.1]		a: 輪積み成形　b: 灰色　白色粒　黒色粒　c: 内面淡黄褐色　外面暗褐色　e: 良好　f: 外面押印　縦線文＋横線（2）
37	12	375	木製品	草履芯	-	最大長[23.0]	最大幅[4.8]	最大厚[0.35]		f: 藁状の繊維圧痕、小孔有り、金剛草履
37	13	375	木製品	草履芯	-	最大長[23.0]	最大幅[5.0]	最大厚[0.3]		
37	14	375	木製品	草履芯	-	最大長[22.7]	最大幅[4.9]	最大厚[0.3]		
37	15	375	木製品	草履芯	-	最大長[22.8]	最大幅[3.0]	最大厚[0.3]		
37	16	375	木製品	草履芯	-	最大長[16.1]	最大幅[2.4]	最大厚[0.4]		
37	17	375	木製品	草履芯	-	最大長[9.2]	最大幅[4.5]	最大厚[0.3]		f: 藁状の繊維圧痕有り
37	18	375	木製品	草履芯	-	最大長[9.1]	最大幅[4.6]	最大厚[0.35]		f: 藁状の繊維圧痕有り、金剛草履
37	19	375	木製品	不明木製品	-	最大長[26.5]	最大幅11.0	最大厚1.0		
37	20	375	木製品	不明木製品	-	最大長[30.5]	最大幅6.6	最大厚1.0		
37	21	375	木製品	不明木製品	-	最大長[24.0]	最大幅[6.35]	最大厚[1.05]		
37	22	375	木製品	不明木製品	-	最大長[17.3]	最大幅[5.5]	最大厚[2.4]		
37	23	375	木製品	不明木製品	-	最大長[28.0]	最大幅3.85	最大厚1.0		

図番号	no.	遺構番号	材質	種別	遺存度	寸法（cm）				観察項目
						口径	底径	器高	重	a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
37	24	375	木製品	不明木製品	-	最大長 [8.45]	最大幅 [6.9]	最大厚 [1.9]		
37	25	375	木製品	礎板	-	最大長 14.0	最大幅 7.4	最大厚 3.6		
37	26	375	木製品	不明木製品	-	最大長 [18.6]	最大幅 2.3	最大厚 0.6		
37	27	375	木製品	不明木製品	-	最大長 [10.5]	最大幅 [1.9]	最大厚 [0.4]		f: 両面一部炭化
37	28	375	木製品	不明木製品	-	最大長 [33.1]	最大幅 1.35	最大厚 0.8		
37	29	375	木製品	不明木製品	-	最大長 [25.75]	最大幅 2.3	最大厚 1.2		
37	30	375	木製品	不明木製品	-	最大長 [14.7]	最大幅 [0.8]	最大厚 [0.3]		
37	31	375	木製品	箸	-	最大長 [15.1]	最大幅 [0.5]	最大厚 [0.5]		
37	32	375	木製品	箸	-	最大長 [13.75]	最大幅 [0.8]	最大厚 [0.45]		
37	33	375	木製品	箸	-	最大長 [24.2]	最大幅 [0.5]	最大厚 [0.4]		
37	34	375	木製品	ちゅう木か	-	最大長 [23.6]	最大幅 [1.6]	最大厚 [0.8]		f: 一部全体的に炭化している面がある
37	35	375	木製品	ちゅう木か	-	最大長 [21.1]	最大幅 [1.3]	最大厚 [1.0]		
37	36	375	木製品	不明木製品 ちゅう木か	-	最大長 [22.0]	最大幅 [1.2]	最大厚 [0.3]		
38	37	7a 面構成土	土製品	ロクロかわらけ（小）	1/4	(9.0)	(7.0)	2.0		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 淡黄橙色　e: やや甘い　f: 歪み有
38	38		磁器	青白磁 梅瓶蓋	口縁部片	(5.0)	天井幅 (4.7)	[1.9]		a: 型押し　b: 白色　精良堅緻　d: 淡青白色　半透明　釉層薄い　内面天井部施釉　f: 割れ目に漆のような付着物
38	39		陶器	常滑 甕	口縁部片	-	-	[3.55]		a: 輪積み成形　b: 明淡灰色　白色粒　小石粒　c: 内面暗赤褐色　外面暗茶褐色　d: 口縁部内面と縁帯部に明黄緑色の降灰　e: 良好　f: 縁帯幅 2.0cm　中野編年 5 型式
38	40		陶器	常滑 甕	底部片	-	-	[3.6]		a: 輪積み成形　b: 暗灰色～暗黄褐色　赤色粒　白色粒　小石粒　c: 内面淡茶褐色　外面赤茶褐色　e: 良好　f: 外面押印　車輪・菊花文
38	41		陶器	渥美 甕	胴部片	-	-	[3.05]		a: 内面ハケ目有　b: 微砂　赤色粒　c: 内面淡灰黒色　外面灰黄色　e: 良好　f: 外面押印　縦線文
38	42		木製品	箸	-	長 29.0	最大幅 0.6	最大厚 0.4		
38	43		木製品	箸	-	長 22.3	最大幅 0.65	最大厚 0.4		
38	44		木製品	箸	-	長 17.5	最大幅 0.6	最大厚 0.35		
38	45		木製品	杭か	-	最大長 [11.2]	直径 4.8 ～ 5.2	最大厚 [3.9]		
40	1	381	木製品	草履芯	-	最大長 [9.3]	最大幅 [3.05]	最大厚 [0.35]		
40	2	381	木製品	草履芯	-	最大長 [5.8]	最大幅 [1.0]	最大厚 [0.3]		
40	3	381	木製品	不明木製品	-	最大長 11.6	最大幅 [1.9]	最大厚 [0.3]		
40	4	381	木製品	不明木製品	-	最大長 [12.3]	最大幅 [0.8]	最大厚 [0.8]		
40	5	391	木製品	漆器片	-	最大長 [1.3]	最大長 [1.3]	最大長 [0.3]		b: 黒漆の地に朱色の手描き文様、菊か　f: 極薄い漆器片のため傾き不明確
40	6	392	土製品	土師器 坏	底部小片	-	-	[0.45]		a: 内面ミガキ　外面ケズリ　内外面赤彩　b: 淡黄橙色　微砂　雲母　赤色粒　緻密
40	7	395	木製品	箸か	-	最大長 [8.1]	最大幅 0.6	最大厚 0.4		a: 先端部多角形に削り尖らせる
40	8	396	土製品	土師器 甕	体部小片	-	-	[2.6]		a: 内外面ハケナデ　b: 橙色　微砂　赤色粒　角閃石　やや粗土
40	9	396	木製品	不明木製品	-	最大長 [5.85]	最大幅 [1.3]	最大厚 0.7		a: 両端部刃物で削り加工が施されている
40	10	396	木製品	不明木製品	-	最大長 8.8	最大幅 1.7	最大厚 0.3		f: 刃物による傷あり
40	11	396	木製品	端材か	-	最大長 [3.8]	最大幅 [4.0]	最大厚 1.0		a: 上木口、下木口に切断痕有り、側面面取り
40	12	396	木製品	折敷	-	最大長 [12.15]	最大幅 [2.45]	最大厚 0.2		f: 端部の一部切り落とされている。
40	13	400	土製品	ロクロかわらけ（小）	完形品	8.5	6.0	1.8		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 淡黄橙色　e: やや甘い
40	14	400	陶器	常滑 甕	胴部片	-	-	[8.1]		a: 輪積み成形　b: 暗灰色～黄褐色　赤色粒　白色粒　c: 内面淡茶褐色　外面赤茶褐色　e: 良好　f: 外面押印　車輪・菊花文

図番号	no.	遺構番号	材質	種別	遺存度	寸法（cm）				観察項目
						口径	底径	器高	重	a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
40	15	400	陶器	常滑 甕	胴部片	-	-	[12.8]		a: 輪積み成形　b: 灰色　白色粒　黒色粒　c: 内面茶褐色　外面明茶褐色　e: 良好　f: 外面押印　縦線文＋横線(2)
40	16	7b面構成土	土製品	ロクロかわらけ(中)	底部片	-	(9.3)	[2.5]		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや良土　c: 淡橙色　e: 良好
40	17		磁器	青磁 櫛掻文皿	底部小片	-	-	[1.3]		a: 内底部櫛掻文　b: 暗灰色　精良堅緻　d: 明緑青色　透明　釉層薄い
43	1	407	陶器	常滑 甕	底部片	-	-	[4.7]		a: 輪積み成形　外底脇ヘラナデ調整か　b: 明淡灰色　微砂　石英　小石粒　c: 外面赤褐色　d: 内面に茶黄緑色の降灰　e: 良好
43	2	407	木製品	礎板か	-	最大長 18.3	最大幅 10.2	最大厚 3.7		
43	3	407	木製品	礎板か	-	最大長 18.0	最大幅 9.7	最大厚 3.4		
43	4	409	木製品	不明木製品	-	最大長 [5.1]	最大幅 [2.8]	最大厚 [1.0]		
43	5	417	土製品	ロクロかわらけ(中)	1/4	(12.1)	(8.3)	2.9		a: 内底ナデ　外底回転糸切　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 淡橙色　e: 良好
43	6	417	木製品	不明木製品 （部材）	-	最大長 [10.0]	幅 12.0	最大厚 7.9		a: 端部２ヶ所に削られている
43	7	417	木製品	不明木製品	-	最大長 [28.0]	最大幅 [5.3]	最大厚 [2.3]		f: 損傷激しい、木地表面に刃物痕有り
43	8	425	木製品	下駄	2/3	最大長 (16.0)	最大幅 (7.0)	最大厚 1.0		f: 連歯
43	9	427	土製品	ロクロかわらけ(大)	2/3	12.4	7.5	3.3～3.4		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　やや粗土　c: 淡灰黄色　e: やや甘い
43	10	427	土製品	ロクロかわらけ(大)	2/3	12.6	8.0	3.3～3.5		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　海綿骨針　小石粒　やや粗土　c: 淡橙色　e: 良好　f: 内外面煤付着　灯明皿
43	11	427	土製品	ロクロかわらけ(中)	1/2	11.8	8.0	2.8～3.2		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）板状圧痕　b: 微砂　雲母　白色粒　小石粒　やや粗土　c: 橙色　e: 良好　f: 内外面煤付着　灯明皿か？　歪み有
43	12	427	土製品	ロクロかわらけ(大)	1/2	(12.8)	(8.2)	2.4		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　白色粒　泥岩粒　良土　c: 灰黄色　e: やや甘い
43	13	427	土製品	ロクロかわらけ(小)	1/2	8.8	7.2	1.3～1.5		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）板状圧痕　b: 微砂　赤色粒　白色粒　海綿骨針　小石粒　泥岩粒　やや粗土　c: 淡橙色　e: 良好
43	14	427	陶器	常滑 甕	胴部片	-	-	[4.3]		a: 輪積み成形　b: 淡黒褐色～淡茶褐色　赤色粒　白色粒　小石粒　c: 内面暗褐色　外面赤茶褐色　e: 良好　f: 外面押印　車輪文
43	15	427	土製品	武蔵型 甕	胴部片	-	-	[3.4]		a: 外面ヘラナデ　b: 雲母　小石粒　良土　c: 淡黒色　e: 良好
43	16	427	木製品	曲物	-	長 10.2	最大幅 [5.2]	厚 0.4		
43	17	427	木製品	栓か	-	最大長 [7.7]	直径 3.0～3.2	厚 3.25		
43	18	427	木製品	不明木製品	-	長 11.9	幅 1.4	厚 0.65		f: 削り有
43	19	427	木製品	不明木製品	-	長 28.2	幅 1.1	厚 0.75		
43	20	427	木製品	箸か	-	長 24.3	最大幅 0.95	最大厚 0.45		
43	21	427	木製品	箸	-	長 22.2	最大幅 0.55	最大厚 0.5		
43	22	427	木製品	箸	-	最大長 [17.9]	最大幅 [0.7]	最大厚 [0.6]		f: 尖端焼けて炭化
43	23	427	木製品	箸	-	最大長 [11.8]	最大幅 [0.8]	最大厚 [0.4]		
44	24	426	土製品	ロクロかわらけ(小)	2/3	8.3	6.4	1.4～1.7		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　小石粒　やや粗土　c: 橙色　e: 良好　f: 歪み有
44	25	426	土製品	ロクロかわらけ(小)	1/3	(8.1)	(6.5)	1.9		a: 内底ナデ　外底回転糸切（左回転？）板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 淡橙色　e: 良好
44	26	426	土製品	手づくねかわらけ(小)	1/5	(8.0)	-	2.0		a: 内底ナデ　外面下半指頭痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　良土　c: 黄灰色　e: やや甘い
44	27	426	磁器	青磁 櫛掻文皿	口縁～底部片	(9.6)	(4.2)	2.4		a: 模様櫛掻　b: 灰白色　黒色粒　精良　気泡あり　d: 水青色　透明　釉層薄い　外体部ツケガケ
44	28	426	陶器	灰釉陶器 碗	体部小片	-	-	[3.0]		b: 灰色　微砂　雲母　白色粒　粗土　d: 灰白色　内外面釉ツケガケか　f: 黒線の文様痕跡有
44	29	426	骨製品	笄	完形品	長 14.9	幅 1.4	厚 0.4		
44	30	426	木製品	漆碗（無文）	-	-	(8.0)	[2.3]		b. 柾目材、黒漆の無文碗
44	31	426	木製品	草履芯	-	最大長 22.9	最大幅 [10.3]	最大厚 0.3		
44	32	426	木製品	草履芯	-	最大長 [8.9]	最大幅 [2.5]	最大厚 0.3		

図番号	no.	遺構番号	材質	種別	遺存度	寸法（cm）				観察項目
						口径	底径	器高	重	a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
44	33	426	木製品	草履芯	-	最大長 [8.8]	最大幅 [2.3]	最大厚 0.4		
44	34	426	木製品	火鑽板	-	長 20.5	最大幅 [2.4]	厚 1.15		f: 火鑽孔は 5 つあり、摩擦によって炭化している。
44	35	426	木製品	不明木製品	-	長 15.2	幅 10.2	厚 1.8		f: 一部煤けて炭化している
44	36	426	木製品	不明木製品	-	最大長 [9.75]	最大幅 [1.9]	最大厚 0.5		
44	37	426	木製品	不明木製品	-	長 4.5	直径 2.9～3.5	厚 2.9		
44	38	426	木製品	不明木製品	-	最大長 [8.2]	最大幅 [1.55]	最大厚 [0.35]		
44	39	426	木製品	不明木製品	-	最大長 [14.3]	最大幅 [1.5]	厚 1.0		f: 尖端焼けて炭化
44	40	426	木製品	箸	-	長 22.8	最大幅 0.6	最大厚 0.3		
44	41	426	木製品	箸	-	長 22.9	最大幅 0.5	最大厚 0.4		
44	42	426	木製品	箸	-	長 23.4	最大幅 0.6	最大厚 0.4		
44	43	426	木製品	箸	-	長 21.1	最大幅 0.6	最大厚 0.5		
44	44	426	木製品	箸	-	長 21.4	最大幅 0.7	最大厚 0.45		
44	45	426	木製品	箸	-	長 19.9	幅 0.6	厚 0.4		
44	46	426	木製品	箸	-	最大長 [16.0]	最大幅 0.6	最大厚 0.5		
44	47	426	木製品	箸	-	長 16.4	最大幅 0.6	最大厚 0.4		
44	48	426	木製品	杭	-	長 59.2	幅 3.3	厚 1.7		
44	49	426	木製品	杭	-	長 46.4	幅 4.4	厚 2.6		f: 杭尖端両端削り
44	50	426	木製品	杭	-	最大長 [47.1]	最大幅 4.6	最大厚 2.3		a: 先端部を削って尖らせている
45	51	8 面遺構外	土製品	手づくねかわらけ（小）	1/5	(8.4)	-	1.5		a: 内底ナデ　外面下半指頭痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　泥岩粒　やや粗土　c: 灰黄色　e: 甘い
45	52		土製品	ロクロかわらけ（小）	ほぼ完形	8.5	6.0	1.9		a: 内底ナデ　外底回転糸切（右回転）　板状圧痕　b: 微砂　雲母　赤色粒　海綿骨針　泥岩粒　やや粗土　c: 橙色　e: 良好
45	53		木製品	栓か	-	最大長 [9.7]	最大幅 [2.5]	最大厚 [2.5]		
45	54		木製品	不明	-	最大長 [4.0]	最大幅 [12.2]	最大厚 [0.8]		f:5 枚の板を張り合わせている
45	55		木製品	曲物の横板か	-	最大長 [30.7]	最大幅 [4.25]	最大厚 [0.3]		

表 2　出土遺物集計表

出土面			第 1a 面					第 1b 面				第 2 面					第 3 面							
種別			ピット	土坑	遺構外	構成土	合計	ピット	土坑	構成土	合計	ピット	土坑	溝状遺構	構成土	合計	ピット	土坑	溝状遺構	溝状遺構	土丹地業	遺構外	構成土	合計
遺構番号														98					150					
かわらけ	ロクロ	大	46	33	19	289	387	61	165	298	524	165	114	4	286	569	164	306	15	16	11	2	383	897
		中				2	2		10	12	22		1		23	24	9	11			1		16	37
		小	5		1	27	33	4	30	124	158	39	27	1	191	258	30	84	5	2	4	5	68	198
		小片	94	19	11	152	276	109	79	191	379	240	127	5	112	484	316	318	24	22	12	10	195	897
	ね手捏	大							10		10							1						1
		小																						
	白かわらけ					1	1								1	1								
	特殊														1	1								
	取瓶																							
	不明														1	1		2						2
国産陶磁器	常滑	甕	7	5	5	53	70	4	20	100	124	21	21		110	152	18	54	3	3	4	3	70	155
		壺			3	6	9		2	11	13		1		1	2		3		1			5	9
		Ⅰ類	1	2	3	7	13		1	10	11	2	5		9	16	6	7	2		2		7	24
		Ⅱ類			1	5	6			3	3		1		3	4	2	10			1		5	18
		磨り常滑								1	1				2	2								
	瀬戸		2		6	21	29	3	1	15	19	3	5		19	27	3	2					5	10
	渥美														3	3		2						2
	備前					1	1		1	1	2													
	亀山																							
	東播							1																
	山茶碗	北部													1	1								
		南部								2	2		1			1	1	3					7	11
	山皿																							
	不明																							
舶載陶磁器	青磁			1		6	7	1		3	4	1	2	1	13	17	1	6					7	14
	白磁				2	2	4			2	2	2	1		2	5	2	1			1		2	6
	青白磁				1		1			1	1				1	1	1							1
	緑釉								1		1						1							1
	褐釉					4	4		1	3	4				5	5	4	6		1				11
	その他																						6	6
	天目					1	1			2	2													
	不明																							
土製品	火鉢		1	1		1	3					1			6	7	1	2						3
	その他									1	1													
	羽口																							
	吉備系土師器																	1						1
	磨りかわらけ																							
	土錘																							
瓦質製品	瓦器												1			1		3					1	4
	火鉢		1	1		9	11	1	1	11	13	2	2		7	11	1	1					5	7
	風炉																						1	1
	瓦									1	1				2	2								
	その他														1	1							1	1
金属製品	銭					1	1	1			1				1	1					1		2	3
	釘					4	4		1	3	4	3	4		1	8	2	9					5	16
	鉄滓												1			1	1						1	2
	不明																							
石製品	砥石			1	1	1	3						1		4	5		1					3	4
	硯	1					1			1	1	1				1		1						1
	滑石					2	2		2		2		1			1	1							1
	碁石									1	1				1	1								
	その他											1				1		3						3
	雲母																							
漆製品	椀																							
	皿																							
	その他																							
木製	部材																							
	箸																							
	不明																							
自然遺物	骨加工品					2	2												1					1
	獣骨								1	4	5	2			13	15	5	1	1	1			2	10
	貝																							0
	炭化物																	1				2		3
	種																							
中世以前															1	1	2	1					3	6
不明			1		2	10	13	1	4	3	8	3	2		4	9	1	4	1	1			3	10
合計			160	63	55	607	885	187	330	804	1320	486	318	11	825	1640	572	844	52	47	37	22	803	2377

出土面			第4面							第5面														
種別			ピット	土坑	溝状遺構	溝状遺構	遺構外	構成土	合計	ピット	土坑	方形土坑	方形土坑	方形土坑	方形土坑	方形土坑	方形土坑	方形土坑	方形土坑	方形土坑	溝状遺構	遺構外	構成土	合計
遺構番号					194	195						235	235	236	237	238	239	240	241	242	244			
かわらけ	ロクロ	大	64	128	19	54	1	463	729	35	37	16	57	9	21	20	27	22	47	368	28	22	63	772
		中	2	5	2	4		18	31	1			11		1		4		3	13	1	2	2	38
		小	23	39	5	13	2	101	183	15	12	6	19	3	19	7	11	18	28	28	9	9	7	191
		小片	181	170	40	69		199	659	79	40	20	1	8	54	31	51	53	42	152	12	35	70	648
	ね手捏	大								1														1
		小																						
	白かわらけ			1					1														1	1
	特殊																							
	取瓶							1	1															
	不明																							
国産陶磁器	常滑	甕	12	20	2	10		62	106	13	26	6	7	1	3		11	9	7	38	24	2	14	161
		壺	1	4	1	1		6	13									1		3	2	2	3	11
		Ⅰ類	2	6	1	1		14	24		2		1				1	2	1	1				8
		Ⅱ類						2	2				1							3	2			6
		磨り常滑																						
	瀬戸							8	8		1								1	2				4
	渥美																							0
	備前																							0
	亀山												1				1							2
	東播																							
	山茶碗	北部	1	1					2															
		南部	2	5				7	14	2	2		1							1	1	1		8
	山皿												1											1
	不明																							
舶載陶磁器	青磁		3	4		3		12	22	4	1	2	3	1	2		2	3	1	1	2	2	3	27
	白磁		1			1		7	9	1	2								1	3		1	3	11
	青白磁		1					4	5															
	緑釉																							
	褐釉		9	10		1		26	46	21	2		3				1	1			2	1	1	32
	その他																				1			1
	天目																							
	不明							1	1															
土製品	火鉢			2				1	3								2			1			1	4
	その他																						1	1
	羽口							1	1															
	吉備系土師器																							
	磨りかわらけ																							
	土錘							1	1															
瓦質製品	瓦器							2	2						1							1		2
	火鉢					1		3	4			1	4										1	6
	風炉																							
	瓦			1				3	4	1					3		1							5
	その他																							
金属製品	銭							3	3		1	1			1									3
	釘	1	2					8	11	2			2		1		2	2		2			3	14
	鉄滓				1				1	2														2
	不明		1						1									1						1
石製品	砥石									1	1									1				3
	硯							1	1															
	滑石		3					2	5	1									1					2
	碁石																							
	その他							1											1				1	2
	雲母																							
漆製品	椀																							
	皿																							
	その他																							
木製	部材																							
	箸																							
	不明																							
自然遺物	骨加工品																							
	獣骨		3	2	1			12	18					2	8		1	1		3			1	16
	貝		1						1														2	2
	炭化物														1					7	2			10
	種							1	1															
中世以前			3			1		1	5	2			1						1	1	1			5
不明				4				2	6						2	2			1	1				6
合計			306	410	72	161	3		952	181	127	52	113	24	117	60	115	113	134	629	87	78	177	2007

出土面			第 6a 面							第 6b 面				第 6c 面						第 7a 面				
種別			ピット	土坑	溝状遺構	溝状遺構	溝状遺構	構成土	合計	ピット	土坑	構成土	合計	ピット	土坑	方形土坑	方形土坑	構成土	合計	ピット	土坑	溝状遺構	構成土	合計
遺構番号					277	278	279									332	333					380		
かわらけ	ロクロ	大	8	9	3	1	51	9	81	14	22	42	78	6	7	41	4	79	137	3	56	1	51	111
		中														1			1					
		小	8	4	1		3	2	18	2			2	2	3	6		11	22	7	10		7	24
		小片	28	12	4	3	13	11	71	13	21	47	81	19	10	6	4	98	137	15	65	1	61	142
	ね手捏	大	1						1			2	2										1	1
		小																			1			1
	白かわらけ													1					1					
	特殊											1	1											
	取瓶																							
	不明																							
国産陶磁器	常滑	甕	1	3	1		13	1	19	2		13	15	3		7		16	26		5		6	11
		壺		1			2		3							1			1					
		Ⅰ類					1		1	1		1	2					6	6		1		1	2
		Ⅱ類																		1				1
		磨り常滑																						
	瀬戸															1		1	2		1			1
	渥美											1	1											
	備前																							
	亀山																							
	東播																							
	山茶碗	北部										1	1											
		南部									1	1	2											
	山皿																							
	不明																							
舶載陶磁器	青磁			1					1			1	1			1		1	2					
	白磁		1						1									3	3					
	青白磁																					1	1	2
	緑釉																	1	1					
	褐釉									13	1		14								1			1
	その他																							
	天目																							
	不明																							
土製品	火鉢		1						1			1	1		1	2			3		1			1
	その他		1						1			1	1			1		1	2					
	羽口																							
	吉備系土師器																							
	磨りかわらけ																							
	土錘																							
瓦質製品	瓦器											1	1			1			1					
	火鉢																	1	1	1				1
	風炉																							
	瓦																	2	2					
	その他																							
金属製品	銭																							
	釘			2					2			1	1					1	1					
	鉄滓			1					1															
	不明																							
石製品	砥石						1		1															
	硯																							
	滑石		1						1															
	碁石																							
	その他																	1	1					
	雲母																			18				18
漆製品	椀																							
	皿																							
	その他																							
木製	部材																							
	箸																							
	不明																							
自然遺物	骨加工品																							
	獣骨		1	1					2							1		6	7		3			3
	貝							2	2		3		3					11	11		7		13	20
	炭化物																	2	2		1		1	2
	種										2		2								1		1	2
中世以前			1				4		5						1	2		13	16	1	4			5
不明				1					1			1	1	5	1			2	8		1		2	3
合計			52	35	9	4	88	25	213	45	50	115	210	36	23	71	8	256	394	46	158	3	145	352

出土面			第7b面					第8面										
種別			ピット	土坑	遺構外	構成土	合計	ピット	土坑	溝状遺構	溝状遺構	北炭層下	遺構外	合計	廃土山	表採	攪乱混入	総計
遺構番号										419	420							
かわらけ	ロクロ	大	13	7	6	26	52	5	9	12	22	4		52	9	2	35	3911
		中							1					1			2	136
		小		1		1	2	6	2	5	4	2		19			3	953
		小片	5		6	17	28	6	5	9	13	6		39			14	3476
	ね手捏	大						1	1		1			3				9
		小								3			1	3				4
	白かわらけ									1				1				6
	特殊																	2
	取瓶																	1
	不明																	3
国産陶磁器	常滑	甕		8		1	9	1	1		3		1	5	2		8	739
		壺																48
		Ⅰ類		3		2	5			1				1				102
		Ⅱ類													1	2		40
		磨り常滑																2
	瀬戸														1	1	3	86
	渥美								1					1				7
	備前																	1
	亀山																	2
	東播																	1
	山茶碗	北部																4
		南部				1	1											37
	山皿																	1
	不明																	0
舶載陶磁器	青磁					1	1			1				1	1			94
	白磁																	39
	青白磁																	10
	緑釉																	2
	褐釉					1	1											114
	その他																	7
	天目																	1
	不明																	1
土製品	火鉢																	26
	その他																	5
	羽口																	1
	吉備系土師器																	1
	磨りかわらけ																	0
	土錘																	1
瓦質製品	瓦器																	11
	火鉢																	41
	風炉																	1
	瓦																	13
	その他																	2
金属製品	銭																	11
	釘																1	58
	鉄滓																1	8
	不明																	2
石製品	砥石																	16
	硯																	4
	滑石																	12
	碁石																	1
	その他																	7
	雲母																	18
漆製品	椀																	0
	皿																	0
	その他																	0
木製	部材																	0
	箸																	0
	不明																	0
自然遺物	骨加工品									1				1				4
	獣骨								2	2				4				75
	貝								11	21	38			70			1	110
	炭化物			2			2		2					2				21
	種									1				1				6
中世以前			1	1			2				2			2				47
不明										1	2			3			3	63
合計			19	22	12	50	103	19	26	58	85	12	2	200	14	5	73	9426

表３　遺構計測表（単位＝m）

遺構NO	上端レベル	上端最大径	底面レベル
1a面			
1	8.79～8.62	0.43	8.58
2	8.66～8.60	0.17	8.58
3	8.77～8.75	0.37	8.61
4	8.67～8.66	0.54	8.55
5	8.64～8.63	0.45	8.46
6	8.67～8.65	0.44	8.55
7	8.66～8.60	0.33	8.54
8	8.78～8.76	0.41	8.60
9	8.66～8.62	0.45	8.48
10	8.63～8.61	0.40	8.64
11	8.63～8.62	0.27	8.51
12	8.65～8.63	0.30	8.49
13	8.72～8.70	0.46	8.62～8.60
14	8.62	0.27	8.48～8.47
15	8.63	0.21	8.52
16	8.65～8.63	0.39	8.50～8.48
17	8.61～8.61	0.38	8.44～8.41
18	8.67～8.65	0.34	8.54
19	8.67～8.65	0.42	8.46～8.44
20	8.64～8.58	0.73	8.48～8.47
21	8.65～8.58	0.56	8.52～8.50
22	8.65～8.63	0.50	8.54～8.52
23	8.64～8.62	0.43	8.58～8.57
24	8.70～8.66	0.36	8.41
25	8.64～8.65	0.31	8.61～8.59
26	6.63～8.61	0.31	8.41
27	8.61	0.34	8.52～8.50
28	8.62～8.61	0.61	8.40
29	8.60～8.57	0.83	8.52
30	8.64～8.61	0.57	8.53～8.52
31	8.62～8.40	0.50	8.41
32	8.63～8.62	0.61	8.37
33	8.65～8.62	0.59	8.59
33	8.28～8.27	0.35	8.20～8.17
1b面			
34	8.45～8.54	0.29	8.37
35	8.56～8.54	0.30	8.42
36	8.55～8.51	0.49	8.36
37	8.53～8.52	0.43	8.38
38	8.52	0.20	8.46
39	8.57	0.44	8.46
40	8.61～8.58	0.41	8.27
41	8.61～8.59	0.39	8.43
42	8.58～8.57	0.37	8.40
43	8.59～8.56	0.39	8.46
44	8.60～8.59	0.28	8.51
45	8.60～8.59	0.49	8.45
46	8.60～8.58	0.43	8.43
47	8.55	0.36	8.51
48	8.54～8.51	1.24	8.32
49	8.55～8.54	0.28	8.35
50	8.56	0.83	8.41
51	8.58～8.54	0.69	8.42
52	8.52～8.50	0.63	8.46
53	8.49～8.47	0.51	8.20
54	8.57～8.52	0.51	8.46
55	8.61～8.59	0.55	8.40
56	8.63～8.59	0.55	8.16
57	8.60～8.59	0.77	8.34
58	8.60～8.59	0.35	8.39
59	8.58～8.56	0.67	8.35
60	8.56～8.58	0.62	8.46

遺構NO	上端レベル	上端最大径	底面レベル
2面			
61	8.46～8.45	0.48	8.26
62	8.44～8.43	0.44	8.16
63	8.53～8.47	0.38	8.19
64	8.51～8.48	0.38	8.19
65	8.50～8.46	0.40	8.33
66	8.48～8.43	0.38	8.27
67	8.46～8.44	0.34	8.24
68	8.47～8.45	0.43	8.31
69	8.46～8.44	0.42	8.31
70	8.54～8.53	0.28	8.49
71	8.49～8.46	0.50	8.28
72	8.48～8.46	0.41	8.17
73	8.49～8.46	0.40	8.16
74	8.49～8.47	0.41	8.22
75	8.49～8.47	0.26	8.26
76	8.46～8.44	0.48	8.20
77	8.47～8.44	0.35	8.16
78	8.48	0.47	8.19
79	8.47～8.45	0.44	8.21
80	8.47～8.46	0.41	8.35
81	8.44～8.37	0.47	8.08
82	8.46～8.43	0.43	8.18
83	8.44	0.50	8.13
84	8.43	0.47	8.19
85	8.45～8.44	0.39	8.09
86	8.53～8.39	1.43	8.30～8.28
87	8.47～8.43	0.77	8.27
88	8.53～8.51	0.62	8.46
89	8.53～8.51	0.39	8.46
90	8.56～8.52	0.57	8.42
91	8.50～8.44	0.59	8.33
92	8.51～8.42	0.51	8.26
93	8.47～8.46	0.61	8.21
94	8.49～8.46	0.83	8.07
95	8.48～8.46	0.77	8.03
96	8.48～8.47	0.53	8.31
97	8.46～8.44	0.81	8.11～8.12
98	8.50～8.45	0.52	8.42
3面			
99	8.31～8.27	0.39	8.29
100	8.42～8.32	0.44	8.33
101	8.26～8.25	0.38	8.06
102	8.26	0.36	8.02
103	8.33～8.18	0.40	8.04
104	8.17～8.12	0.35	8.04
105	8.30～8.27	0.40	8.08
106	8.26～8.24	0.32	8.19
107	8.34～8.29	0.39	8.00
108	8.36～8.31	0.54	8.23
109	8.35～8.31	0.33	8.03
110	8.36～8.26	0.49	8.15
111	8.32～8.28	0.43	8.16
112	8.30～8.25	0.54	8.03
113	8.31～8.25	0.40	8.05
114	8.27	0.43	8.18
115	8.34～8.28	0.46	8.17
116	8.38～8.34	0.51	8.19
117	8.37～8.34	0.44	8.13
118	8.33～8.31	0.50	8.07
119	8.34～8.32	0.53	7.95
120	8.32～8.29	0.24	7.95
121	8.31～8.29	0.52	7.96
122	8.34～8.31	0.56	7.96
123	8.35～8.32	0.35	8.17
124	8.38～8.35	0.30	8.02

遺構NO	上端レベル	上端最大径	底面レベル
3面			
125	8.31～8.30	0.51	7.90
126	8.32～8.30	0.57	8.04
127	8.33～8.30	0.50	8.00
128	8.37～8.34	0.39	7.96
129	8.32～8.31	0.42	8.07
130	8.38～8.26	0.76	8.07～8.06
131	8.34～8.29	0.48	8.30
132	8.35～8.32	0.57	8.12～8.11
133	8.34～8.27	0.89	8.09
134	8.32～8.31	0.40	8.21
135	8.37～8.34	0.72	8.15
136	8.40～8.35	0.68	8.22
137	8.32	0.82	8.13
138	8.34～8.31	0.69	7.95
139	8.33	0.62	8.03
140	8.33～8.31	0.62	8.08～8.02
141	8.33～8.29	0.85	8.05
142	8.36～8.34	0.61	8.00
143	8.36～8.34	0.55	7.93
144	8.35～8.33	0.62	7.95
145	8.33～8.08	0.98	7.91～7.84
146	8.33～8.27	1.98	8.13～8.08
147	8.37～8.12	0.65	7.86
148	8.36～8.30	0.69	7.93
149	8.36～8.31	0.87	7.91～7.89
150	8.47～8.27	0.55	8.34～8.16
151	8.33～8.25	0.50	8.09～8.02
4面			
152	8.21～8.00	0.46	7.99
153	8.18～8.17	0.52	8.08
154	8.21～8.19	0.42	8.02
155	8.22～8.21	0.44	8.09
156	8.23～8.22	0.42	8.03
157	8.21～8.22	0.36	8.08
158	8.21～8.19	0.50	7.76
159	8.19～8.15	0.53	8.02
160	8.18～8.12	0.45	8.12
161	8.20～8.19	0.29	8.05
162	8.19～8.18	0.44	7.91
163	8.19～8.18	0.35	7.95
164	8.19～8.17	0.42	7.82
165	8.17～8.15	0.42	7.90
166	8.19～8.15	0.29	8.01
167	8.19	0.35	8.00
168	8.18	0.53	7.91
169	8.18～8.16	0.65	7.79
170	8.15	0.44	7.90
171	8.18	0.36	8.01
172	8.18～8.13	0.85	7.90～7.89
173	8.20～8.03	0.78	7.89
174	8.24～8.10	0.92	7.98
175	7.91～7.55	0.75	7.45
176	8.19～8.14	1.20	7.98～7.95
177	8.23～8.17	1.29	8.07～8.04
178	8.19～8.16	0.57	8.04
179	8.17～8.14	0.54	7.96
180	8.22～8.18	0.54	8.12
181	8.24～8.20	0.86	8.11～8.10
182	8.22～8.20	0.80	7.98
183	8.21～8.19	0.56	8.00
184	8.15～8.04	0.56	7.93
185	8.21～8.05	1.13	8.03～8.01
186	8.21～8.19	0.79	7.96
187	8.18～8.16	0.78	8.01
188	8.18～8.17	0.59	8.02

遺構 NO	上端 レベル	上端 最大径	底面レベル
4面			
189	8.14～8.06	0.88	7.94
190	8.20～8.09	0.90	7.97～7.94
191	8.19～8.17	0.91	7.91
192	8.16～8.11	0.68	7.94
193	8.18～8.11	0.65	7.90
194	8.06～7.99	-	7.96～7.86
195	8.07～7.74	1.02	7.59～7.53
5面			
196	7.96～7.85	0.33	7.86
197	8.02～7.99	0.24	7.65
198	8.01～7.98	0.39	7.95
199	8.07～8.09	0.33	7.77
200	7.94～7.91	0.25	7.76
201	8.08	0.44	8.00
202	8.08～7.98	0.28	7.82
203	8.07	0.38	7.83
204	8.08～8.06	0.37	7.77
205	8.10～8.08	0.33	7.82
206	8.08～8.02	0.43	7.81
207	8.06	0.38	7.97
208	8.05～8.04	0.39	7.90
209	8.05～8.04	0.43	7.90
210	7.94～7.88	0.30	7.80
211	8.11～8.02	0.56	7.82
212	8.03	0.52	7.90
213	7.84～7.80	0.43	7.55
214	8.01～7.99	0.47	7.69～7.65
215	7.99～7.96	0.40	7.75
216	8.02～7.97	0.38	7.92
217	8.01	0.20	7.93
218	8.02～7.98	0.39	7.77
219	7.97～7.94	0.35	7.67
220	8.02～7.99	0.28	7.84
221	7.99～7.91	0.35	7.70
222	8.02～7.91	0.50	7.88
223	8.05	0.61	7.91
224	8.02～7.97	0.61	7.71
225	8.05～7.98	1.21	7.54
226	8.06～8.02	0.68	7.91
227	8.07～8.01	0.48	7.80
228	8.08	0.47	8.03
229	8.07～8.05	0.58	7.98
230	8.03～7.85	0.88	7.46
231	8.05～8.01	0.44	8.00
232	8.03	0.80	7.99
233	7.98～7.93	0.70	7.94
234	7.94～7.84	0.60	7.63
235	8.02～7.79	2.09	7.63～7.01
236	7.62～7.59	1.18	7.29
237	8.09～7.87	1.37	7.92～7.71
238	8.01～7.89	1.41	7.92～7.86
239	7.99～7.65	1.15	7.48～7.38
240	8.00～7.90	1.62	7.87～7.78
241	8.00～7.92	2.04	7.62～7.54
242	8.00～7.83	2.54	7.54～7.51
243	8.05	1.42	7.95～7.85
242	7.79～7.73	0.68	7.54～7.52
243	7.67～7.56	1.09	7.54～7.51
244	-	-	-
6a面			
245	7.91～7.89	0.25	7.67
246	8.02～7.98	0.55	7.80～7.58
247	7.97～7.93	0.37	7.79
248	7.93～7.90	0.3	7.79
249	8.03	0.32	7.89
250	8.05	0.25	7.96
251	8.05	0.3	7.87
252	8.03～7.99	0.23	7.94

遺構 NO	上端 レベル	上端 最大径	底面レベル
6a面			
253	8.02	0.3	7.83
254	8.01	0.3	7.86
255	8.00～7.96	0.39	7.83
256	7.93～7.91	0.3	7.65
257	7.96～7.93	0.23	7.88
258	7.95～7.83	0.38	7.75
259	8.00～7.99	0.29	7.84
260	7.99	0.36	7.77
261	8.01～7.97	0.35	7.8
262	7.98～7.87	0.43	7.81～7.62
263	7.97	0.52	7.87
264	7.94～7.88	0.41	7.83
265	7.95～7.86	0.38	7.82
266	7.90～7.84	0.5	7.86
267	7.92～7.88	0.78	7.72
268	7.90～7.87	0.46	7.89
269	7.95～7.92	0.71	7.91
270	7.90～7.84	0.51	7.65
271	7.93	0.34	7.81
272	8.06	0.72	7.82
273	8.03	0.34	7.78
274	8.02～7.98	0.46	7.89
275	8.00～7.97	0.4	7.78
276	7.98～7.95	0.44	7.81
277	7.94～7.86	0.42	7.92～7.87
278	7.99～7.94	0.44	7.75～7.73
279	7.90～7.72	1.03	7.52
6b面			
280	7.89	0.3	7.67
281	7.74～7.47	0.47	7.46
282	7.74～7.47		7.62
283	8	0.33	7.82
284	7.96～7.92	0.29	7.81
285	7.92～7.89	0.32	7.9
286	7.87～7.85	0.47	7.61
287	7.87～7.74	0.36	7.35
288	7.97～7.88	0.48	7.76
289	7.99	0.28	7.83
290	7.97	0.29	7.72
291	7.93	0.24	7.77
292	7.92	0.46	7.65
293	7.91	0.32	7.79
294	7.85～7.82	0.32	7.82
295	7.82	0.28	7.77
296	7.8	0.54	7.65
297	8.86～7.81	0.43	7.76
298	7.82	0.92	7.78
299	7.89～7.83	0.39	7.83
300	7.76～7.71	0.45	7.46
301	7.89	0.7	7.85
302	7.95	0.52	7.5
303	7.95	0.48	7.84
304	7.94	0.58	7.7
305	7.99	0.56	7.95
6c面			
306	7.81	0.3	7.75
307	7.94	0.29	7.76
308	7.91	0.23	7.8
309	7.89～7.85	0.18	7.84
310	7.77～7.73	0.32	7.47
311	7.84～7.81	0.32	7.62
312	7.83～7.81	0.19	7.71
313	7.89～7.86	0.51	7.47
314	7.90～7.83	0.26	7.86
315	7.89～7.85	0.41	7.65
316	7.83～7.77	0.34	7.51
317	7.87～7.82	0.37	7.58

遺構 NO	上端 レベル	上端 最大径	底面レベル
6c面			
318	7.85～7.81	0.29	7.61
319	7.88～7.86	0.24	7.66
320	7.80～7.76	1.02	7.74～7.77
321	7.75～7.73	0.59	7.64
322	7.76	0.42	7.65
323	7.93～7.91	0.61	7.76
324	7.89	0.21	7.85
325	7.87	0.39	7.79
326	7.89～7.87	0.36	7.69
327	7.85～7.80	0.58	7.56
328	7.86～7.84	0.62	7.66
329	7.85～7.80	0.84	7.56
330	7.83～7.80	0.53	7.72
331	7.85～7.82	0.64	7.59
332	7.83～7.80	2.98	7.64～7.61
333	7.85～7.78	0.93	7.64
334	7.76～7.75	0.27	7.69
335	7.75～7.69	0.12	7.66
7面			
336	7.72	0.22	7.64
337	7.74	0.31	7.65
338	7.74～7.70	0.32	7.66
339	7.73～7.69	0.23	7.63
340	7.70～7.68	0.36	7.25
341	7.66	0.28	7.54
342	7.60～7.58	0.32	7.4
343	7.69～7.61	0.51	7.3
344	7.75～7.73	0.36	7.61
345	7.77～7.75	0.29	7.63
346	7.7	0.34	7.63
347	7.7	0.19	7.65
348	7.75	0.27	7.69
349	7.79	0.27	7.7
350	7.75	0.24	7.71
351	7.75	0.25	7.66
352	7.78～7.76	0.31	7.68
353	7.74	0.29	7.72
354	7.72	0.34	7.59
355	7.70～7.68	0.28	7.58
356	7.62～7.53	0.22	7.32
357	7.68～7.57	0.26	7.35
358	7.77～7.73	0.21	7.59
359	7.66～7.63	0.3	7.55
360	7.68	0.31	7.6
361	7.69		7.49
362	7.66	0.31	7.54
363	7.63	0.19	7.62
364	7.62	0.26	7.46
365	7.56		7.52
365	7.56	0.22	7.52
366	7.75～7.67	0.21	7.69～7.62
367	7.73～7.70	0.51	7.64
368	7.65	0.43	7.63
369	7.73	0.62	7.66
370	7.73	0.52	7.67
371	7.68	0.52	7.57
372	7.70～7.68	0.68	7.5
373	7.71	0.64	7.53～7.47
374	7.70～7.65	0.42	7.55
375	7.70～7.64	1.27	7.08～6.86
376	7.61～7.52	1.39	7.05
377	7.66～7.63	0.56	不明
378	7.65～7.61	1.69	7.61～7.59
379	7.64～7.57	0.93	7.38
380	7.73～7.70	0.19	7.70～7.68

遺構 NO	上端 レベル	上端 最大径	底面レベル
7b 面			
381	7.43 ～ 7.35	0.19	7.03
382	7.60 ～ 7.58	0.21	7.43
383	7.56	0.33	7.5
384	7.55	0.27	7.47
385	7.59 ～ 7.57	0.28	7.49
386	7.51	0.22	7.52
387	7.61 ～ 7.59	0.31	7.43
388	7.62 ～ 7.60	0.29	7.39
389	7.61	0.23	7.39
390	7.60 ～ 7.63	0.28	7.47
391	7.65 ～ 7.63	0.37	7.4
392	7.65 ～ 7.63	0.26	7.47
393	7.64	0.47	7.57
394	7.65	0.37	7.56
395	7.49 ～ 7.44	0.63	7.01
396	7.57 ～ 7.55	0.56	7.18
397	7.6	0.42	7.47
398	7.62 ～ 7.56	1.28	7.55 ～ 7.51
399	7.63 ～ 7.59	0.44	7.56 ～ 7.54
8 面			
400	7.57	0.27	7.34
401	7.63	0.35	7.46
402	7.63 ～ 7.61	0.35	7.41
403	7.51	0.17	7.42
404	7.46	0.14	7.11
405	7.53 ～ 7.46	0.39	7.3
406	7.51 ～ 7.48	0.28	7.45
407	7.54 ～ 7.52	0.49	7.12
408	7.51 ～ 7.48	0.45	7.26
409	7.52 ～ 7.50	0.32	7.34
410	7.48	0.35	7.36
411	7.50 ～ 7.46	0.38	7.37
412	7.50 ～ 7.37	0.43	7.21
413	7.44 ～ 7.42	0.23	7.35
414	7.44 ～ 7.41	0.29	7.3
415	7.65 ～ 7.60	0.56	7.34
416	7.65	1.13	7.51
417	7.57 ～ 7.30	0.59	7.11
418	-	-	-
419	7.67 ～ 7.65	0.69	7.63
420	7.58	0.58	7.28
421	7.59	0.71	7.38
422	7.53 ～ 7.49	0.47	7.42
423	7.48	0.61	7.27
424	7.55 ～ 7.48	0.64	7.41
425	7.49 ～ 7.32	0.86	7.04 ～ 7.01
426	7.67 ～ 7.61	0.78	6.91 ～ 6.85
427	7.67 ～ 7.26	0.68	6.93 ～ 6.86

表４　自然遺物集計表

No.	面	遺構	数量	部位等	備考
1		攪乱	1		ヒメイトマキボラ
2	1b	51	1	不明	哺乳類頸骨か
3	1b	構成土	4	不明	動物骨
4	2	64	1	不明	小動物
5	2	62	1	尺骨か	ネコ
6	2	構成土	1	上腕骨	イヌ
7	2	構成土	1	腰椎か	イヌか
8	2	構成土	2	加工痕あり	哺乳類
9	2	構成土	1	椎骨	イルカ
10	2	構成土	6	不明	
11	2	構成土	1	歯	ウマか
12	3	116	1	不明	
13	3	120	1	椎骨	海生哺乳類
14	3	127	1	椎骨	海生哺乳類
15	3	127	1	踵骨	キツネか
16	3	146	1	下顎骨か	
17	3	148	1	不明	
18	3	構成土	1	上腕骨か	ウシ・ウマ
19	3	構成土	1	頸骨か	小型哺乳類
20	3	構成土	3	不明	
21	4	172	1	肋骨	
22	4	構成土	1	肩甲骨か	哺乳類
23	4	構成土	1	椎骨か	哺乳類
24	4	構成土	4	不明	
25	4	構成土	1	脛骨か	
26	4	構成土	1		果核
27	5	175	1	不明	貝破片
28	5	175	1	不明	
29	5	194	1	上腕骨か	イヌ
30	5	194	1	不明	鳥類か
31	5	194	1	肋骨	
32	5	194	1	主鰓蓋骨	切断痕
33	5	194	1	不明	哺乳類
34	5	236	1	胸椎か	イルカ
35	5	237	1	不明	
36	5	239	1	中足骨	ウマ
37	5	239	1	距骨	ウマ
38	5	239	1	踵骨	ウマ
39	5	239	1	肋骨	
40	5	239	4	不明	
41	5	240	1	不明	動物骨
42	5	242	1	大腿骨か	イヌか
43	5	242	1	基節骨	
44	5	242	1	不明	加工痕あり
45	5	構成土	1	下顎骨	イヌ
46	5	構成土	2		ハマグリ
47	6a	264	1	不明	動物骨
48	6a	275	1	不明	
49	6a	構成土	1		アワビ
50	6b	298	1		ハマグリ
51	6b	298	1		ダンベイキサゴ
52	6b	298	4		果核
53	6c	332	1	不明	
54	6c	332	1	上腕骨か	ウマか
55	6c	構成土	1	下歯	ウマ
56	6c	構成土	3	不明	
57	6c	構成土	1		サザエ（有棘）
58	6c	構成土	3		イボキサゴ
59	6c	構成土	7		ハマグリ
60	7	372	1	不明	魚骨
61	7	372	2		ハマグリ
62	7	366	2		ハマグリ
63	7	366	1		バイガイ
64	7	378	1	不明	動物骨
65	7	構成土	7		ハマグリ
66	7	構成土	2		アワビ
67	7	構成土	1		果核
68	7	構成土	2		ダンベイキサゴ
69	7	構成土	1		ハマグリ
70	8	415	1	尺骨か	シカ
71	8	426	1	上腕骨	イヌ
72	8	426	1	脛骨か	
73	8	426	3	不明	
74	8	426	1	不明	魚骨か
75	8	426	9		ハマグリ
76	8	426	2		チョウセンハマグリ
77	8	426	2		サザエ（有棘）
78	8	426	2		アカニシ
79	8	426	1		クロアワビ
80	8	426	1		マダカアワビ
81	8	426	3		メガイアワビ
82	8	426	8		ダンベイキサゴ
83	8	426	1		ツメタガイ
84	8	426	1		果核
85	8	427	12		ダンベイキサゴ
86	8	427	1		サザエ（有棘）
87	8	427	5		ハマグリ
88	8	427	5		アワビ
89	8	427	2		マダカアワビ
90	8	遺構外	5		ハマグリ
91	8	遺構外	4		アカニシ
92	8	遺構外	2		ダンベイキサゴ
93	8	遺構外	1		イガイ
94	8	遺構外	2	不明	
95	8	構成土	3		ダンベイキサゴ
96	8	構成土	1		果核

第三章　近現代の遺構と遺物（図 46 ～ 64）

第 1 面では調査区の南側大半に上方からの掘り込みが達し、1 面以下を破壊する形で近現代に構築された土坑が多数検出された。多くは調査区外に広がっているやや大きめの土坑であり、多種の遺物が投

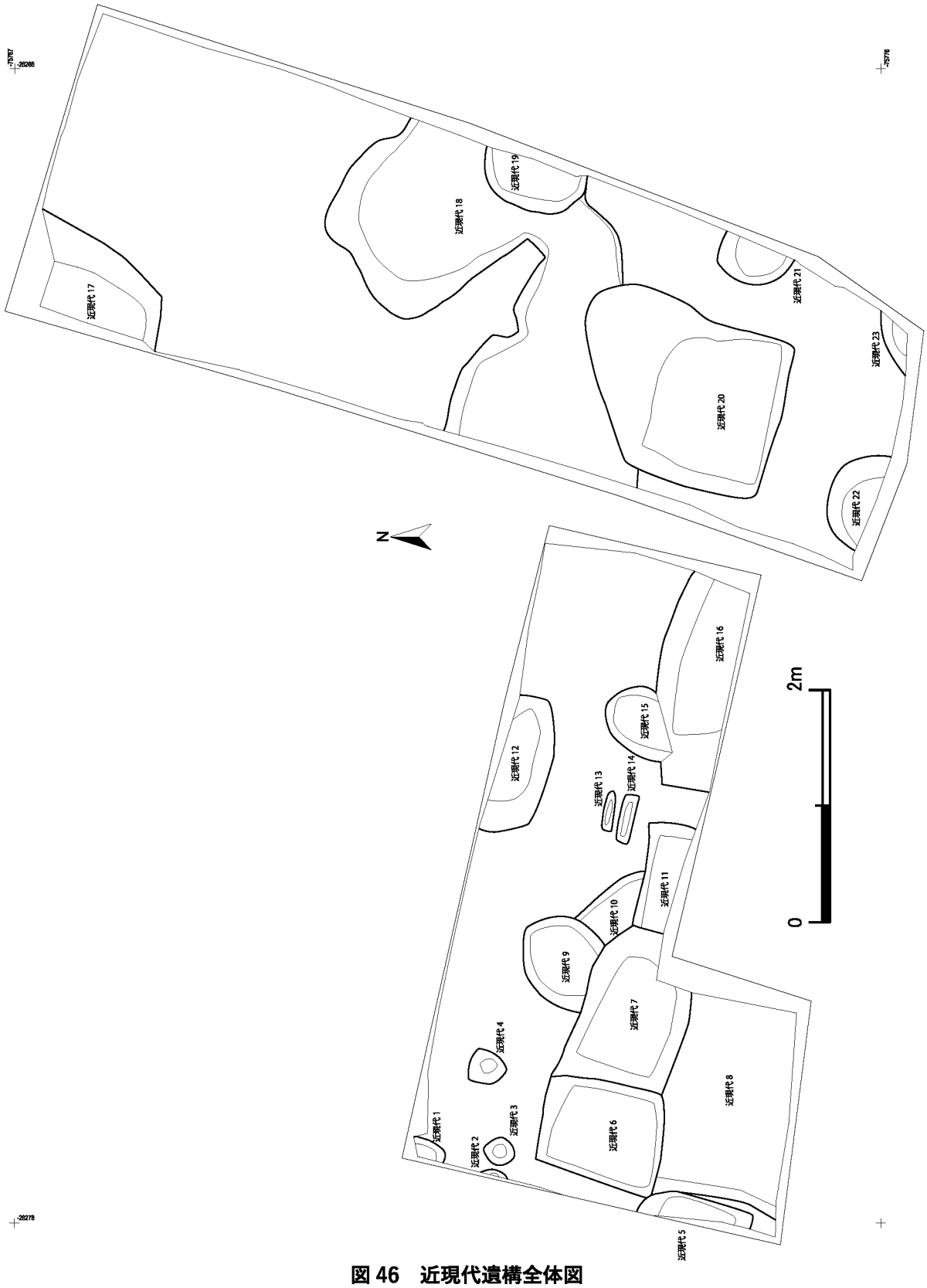


図 46　近現代遺構全体図

げ込まれたような状態で破砕して出土した。不要物を廃棄したと想定される。一定の数量でまとまって検出されたため、主要なものを取り上げておく。

近現代遺構 5 ～ 8（図 46）

調査区南西隅に広がる。いずれも方形を呈する土坑であり、遺構 5、遺構 6 はやや深く掘り込んでおり、第 3 面の道路状遺構面を破壊している。出土遺物は掘り下げる段階で明確に区別できなかったので、一括している。

出土遺物（図 47、48）：ガラス製品が主体である。

磁器：2 は機械栓で、鉄製のワイヤーが残存している。

ガラス製品：1 はビール瓶で底部付近に「DAINIPPONBREWERY」のエンボスがある。大日本麦酒株式会社製。3 は清酒瓶。

4、5 は化粧品瓶。6 は扁平な胴部の側面に「レートフード」のエンボスあり。化粧品瓶で平尾賛平商店製。7 は白色瓶で底面に源氏香のエンボスあり。柳屋本店製。8 は胴部にエンボスあり。「博仁堂完全高」か。詳細不明。

9 は丸善のインク瓶。底面に「M」のエンボスあり。10、11 は器壁のやや厚いグラス。法量、形態ともにほぼ同じであるが、底面のエンボスは異なる。

12 は計量瓶。扁平で両側に目盛りのエンボスあり。13 は薬瓶。胴部に「外用タープ水」のエンボスあり。玉置製薬。14 も薬瓶で、「外用全治水」のエンボスあり。東京尾澤製。

15 ～ 23 は小型の細身の瓶で、それぞれの詳細な用途は不明。18 は化粧品瓶か。19 は頸部以上が破損しているが、「便電気砥」のエンボスがあり、電化液の瓶である。22 のみスクリュー栓。24 は糊瓶か。25 は乳白色ガラスで化粧品瓶か。上下で対になると思われる。26、27 は蓋で、対応する瓶は不明。

29 はプレスガラスの小鉢。30 はおはじき。

近現代遺構 12（図 46）

1 区北東壁面際で検出した深い土坑。掘り込みは第 3 面まで達する。調査区北側にもさらに伸びている。

出土遺物（図 49 ～ 55）：陶磁器・ガラス製品が多数出土している。

磁器：1 ～ 9 は碗でほとんどは手描きによるものだが、8 のみプリント施文で「東洋陶器」の角銘がある。10 は小杯。11 ～ 14 は碗蓋。11 は 5 の碗の蓋と思われる。13、14 は「肥」の角銘あり。15 は洋皿、16、17 は小皿、18 は鉢である。19 ～ 21 は筒形湯呑、22、23 はコーヒーカップ。24 は壺。25 は土瓶。26 は香炉。

陶器：27 は小型の鉢、28 は茶こぼし。29 は隅丸方形を呈する器。30 が急須。31 は瓦質の筒型土器。器種は不明だが火鉢か。

土器：32 は植木鉢。33 は愛知高浜産の角焜炉。2/3 ほど残存しているが製作者の印はない。他に数点の胴部破片と、引き戸が出土している。34 は内部につく漏斗状の部位で同一個体と思われる。

ガラス製品：35 はビール瓶で「国分商店発賣　河合商店醸造」のエンボスが底部付近にみられる。36 はコルク栓の牛乳瓶で、胴部に「湘南牧舎」のエンボスあり。37、38 は頸部が短く背の高い瓶。37

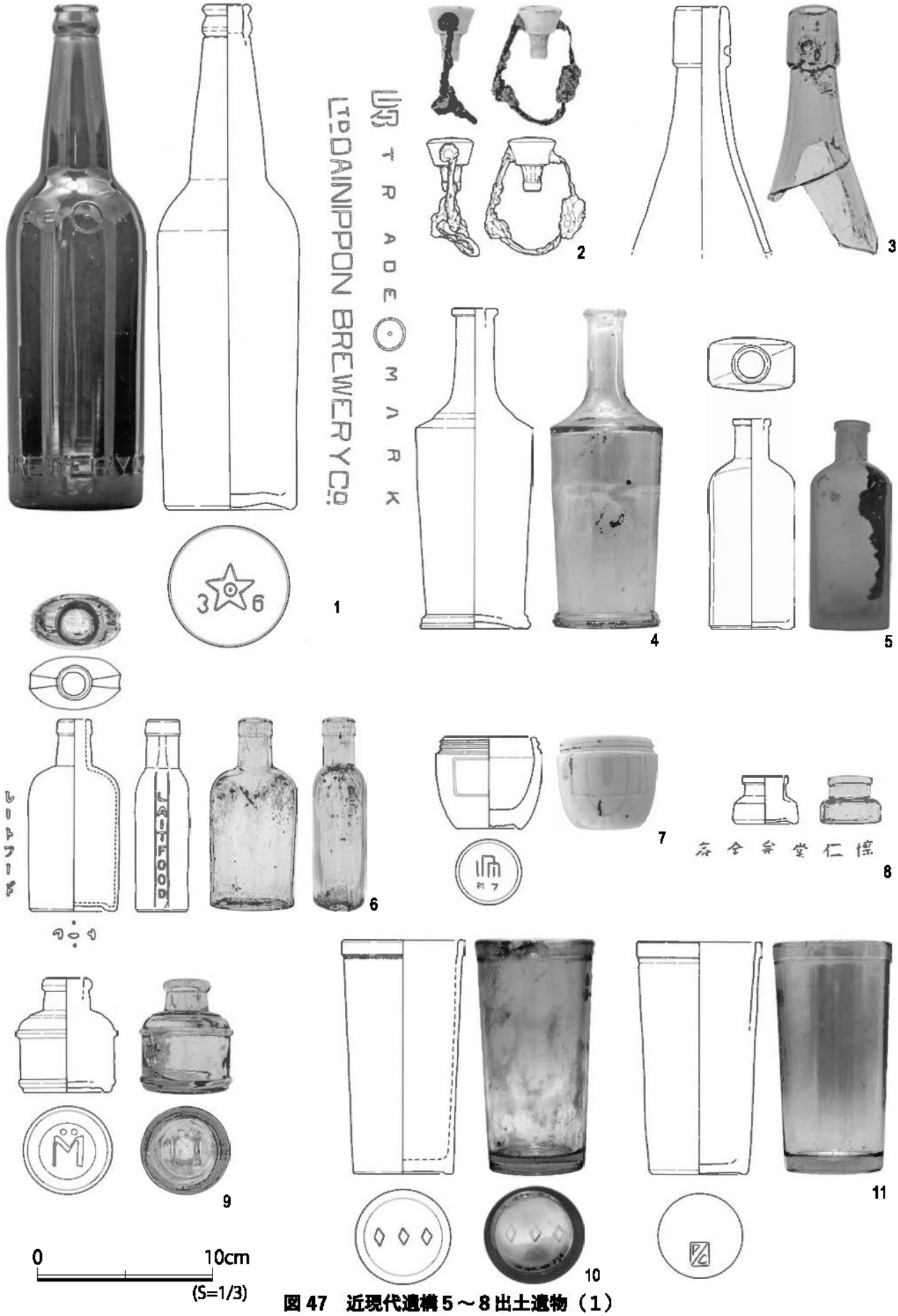


図 47　近現代遺構 5～8 出土遺物（1）

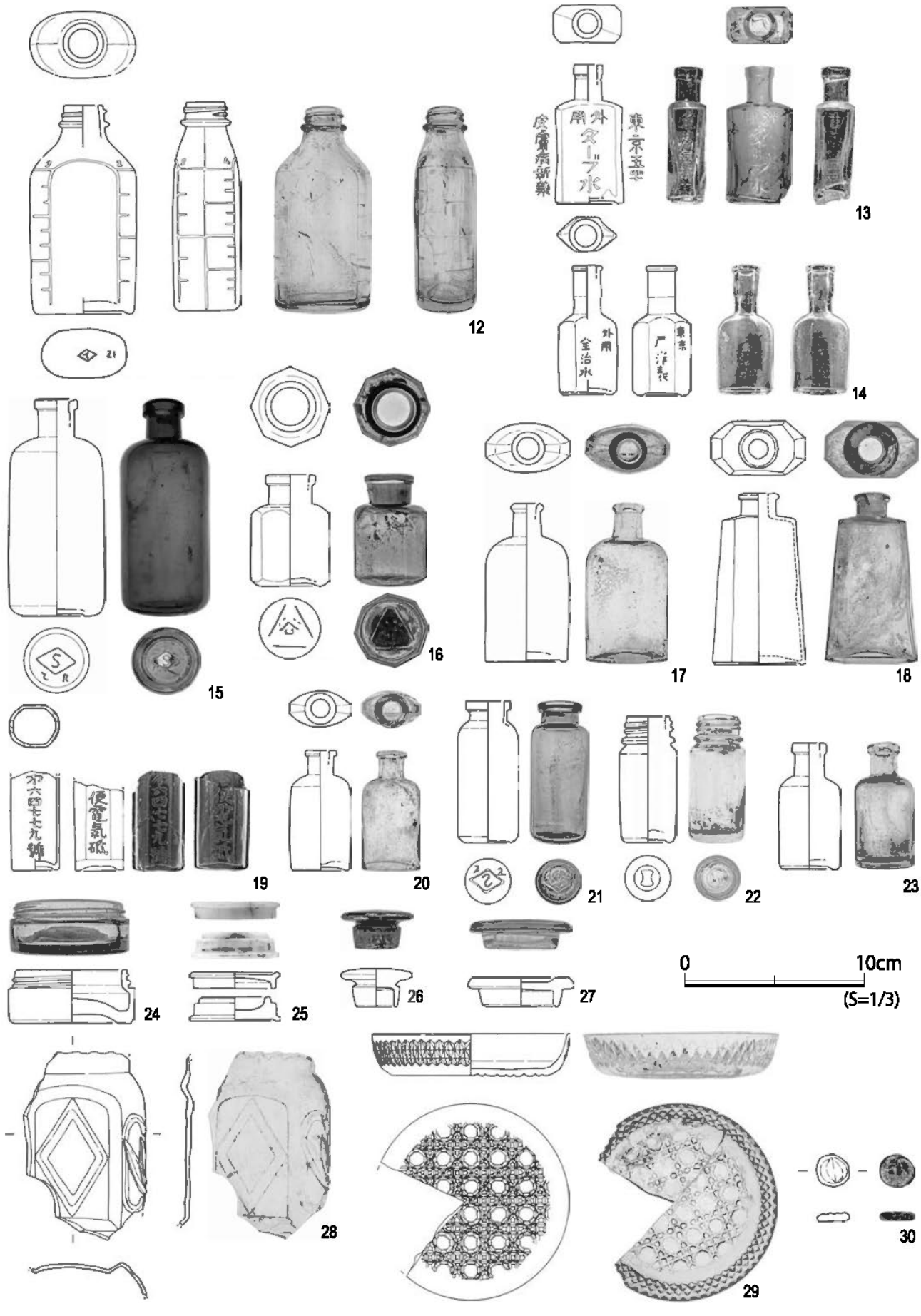


図 48　近現代遺構５～８出土遺物（２）

には底部にエンボスがあるが、詳細不明。

39、40 は化粧品瓶。41 は小型の瓶。42 は「江戸の華」のエンボスがあり白髪染めの容器。43、44 は化粧クリームの瓶。45 は化粧品瓶で底面に「POLA」のエンボスあり。46 は胴部にプリントで「NEOPOLA」の商標あり。化粧品瓶あるいは香水瓶か。POLA 製化粧品の瓶はもう 1 点出土している。

47 は計量瓶でエンボスの目盛りあり。

48 は調味料瓶で、底部に「AJINOMOTO」のエンボスあり。49 は調味料瓶。50 は胴部下半に「Kikkoman」のエンボスがあり、醤油差し。プラスチック製の蓋も残存する。51 も醤油差しと思われるが、メーカー

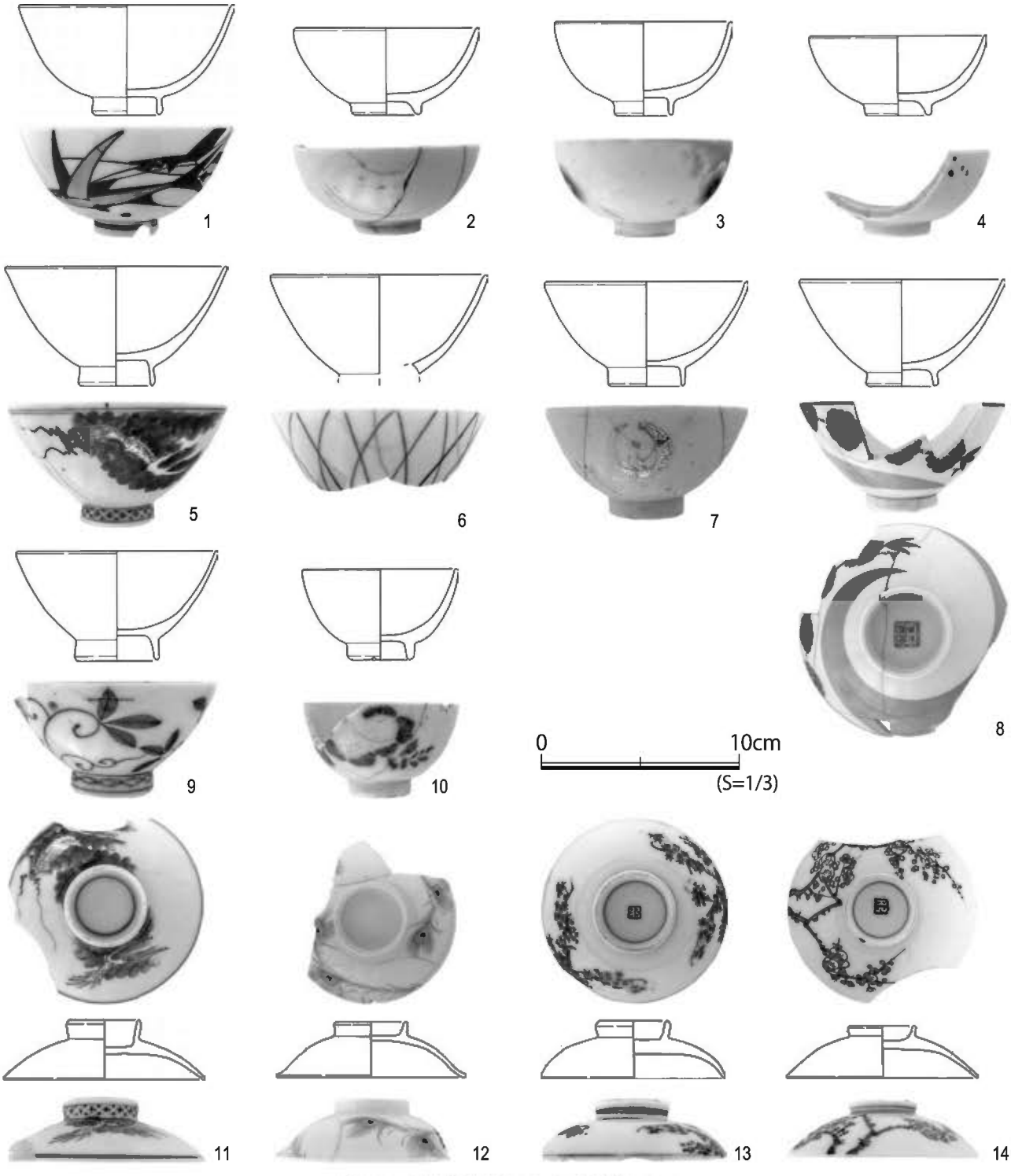


図 49　近現代遺構 12 出土遺物（1）

名などは見られない。52はプレスガラスの小鉢。53は底部のみプレスのある小鉢。同様の破片がもう1点出土している。

54～60は詳細な用途不明の瓶。55以外はスクリュー栓で、60は鉄製の蓋が付いたままである。61

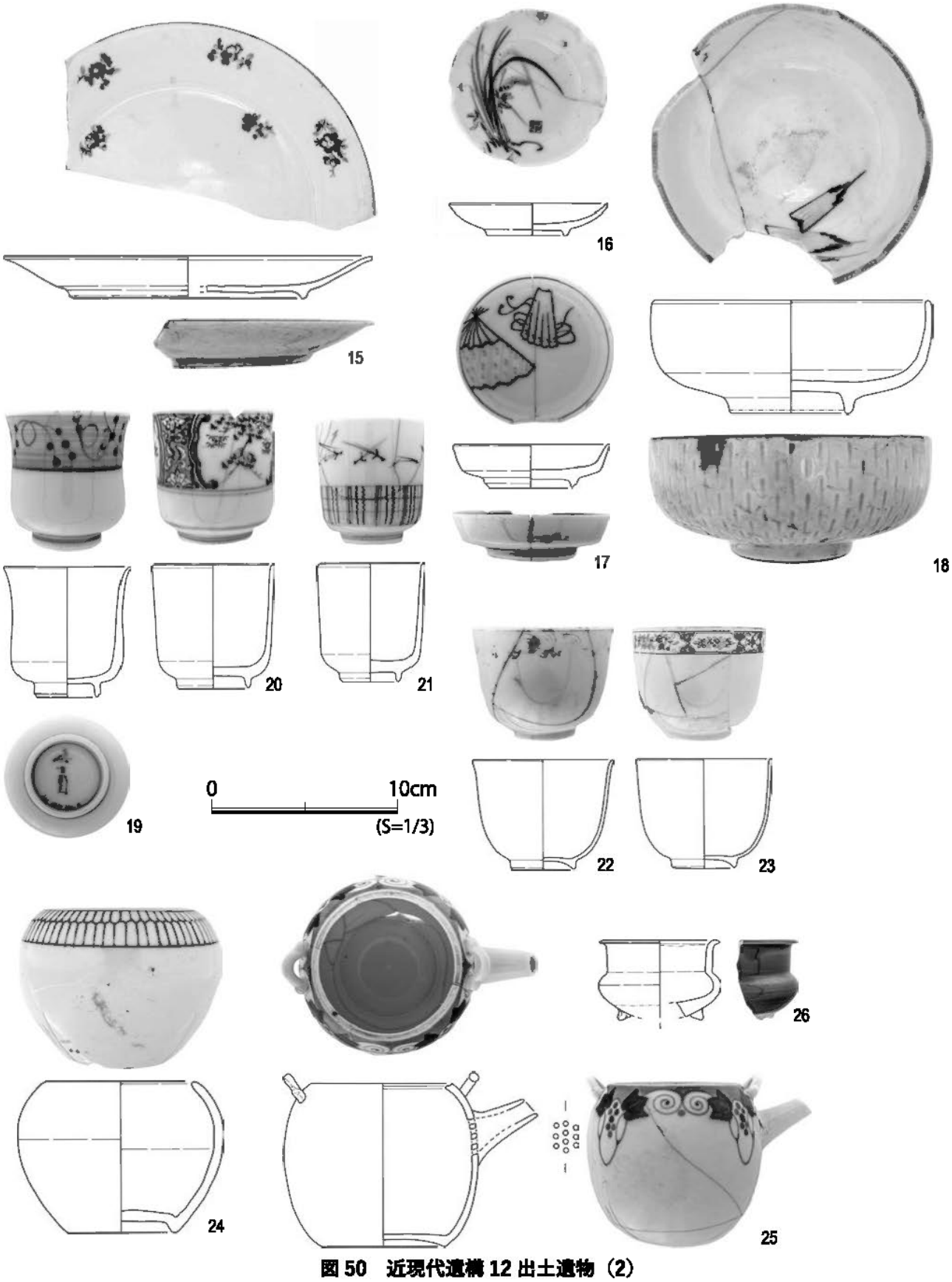


図50　近現代遺構12出土遺物（2）

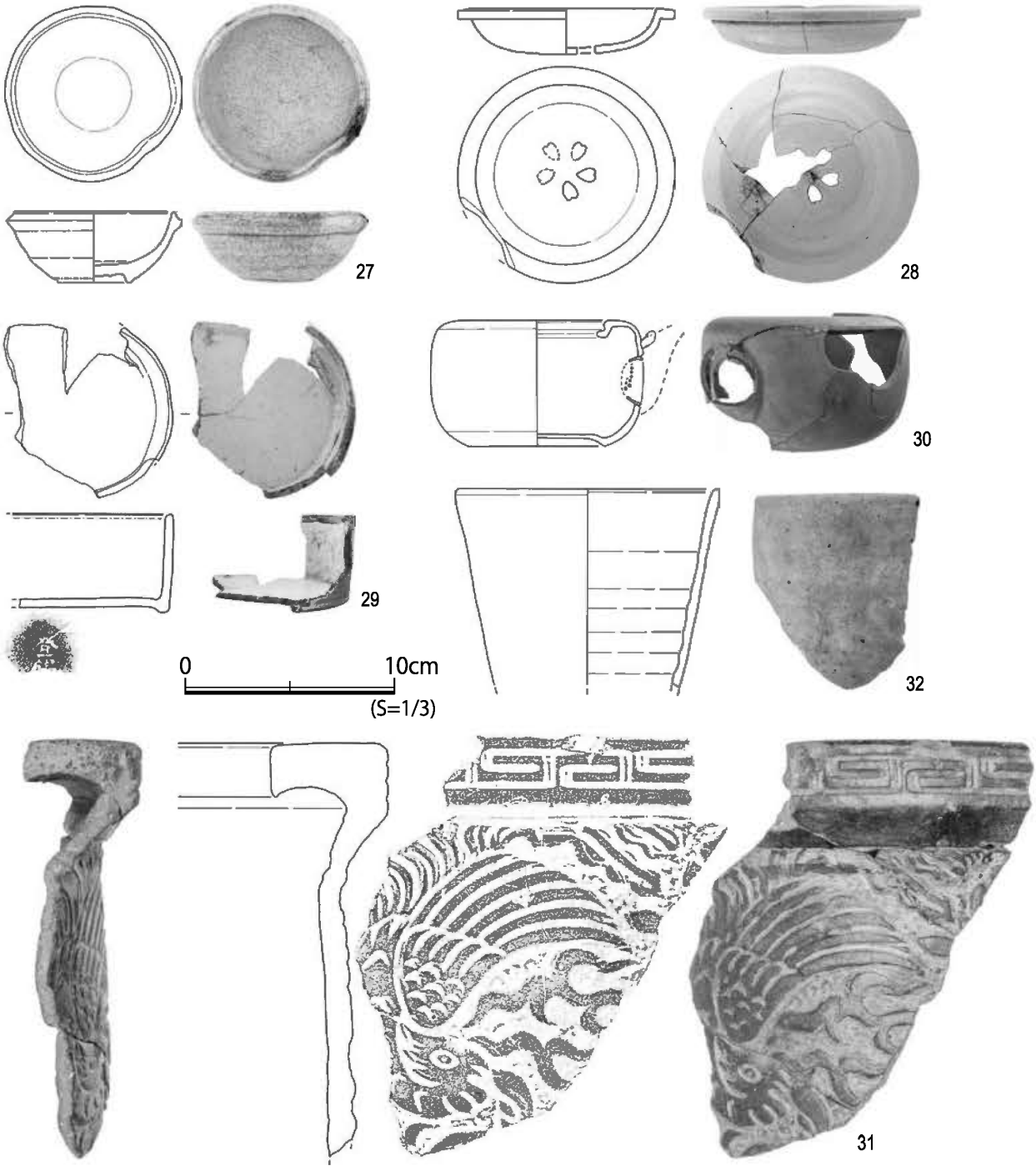


図 51　近現代遺構 12 出土遺物（3）

は糊の容器か。62 は乳白色ガラスの蓋。化粧品瓶か。ほかのガラス製品としてはランプシェード、板ガラスなどの破片が出土している。

その他：63 は薬莢で MANDOLIN の銘あり。64 は鼈甲製の髪飾りか。65 はヤマサ醤油のマークのあるプラスチック製の醤油差しの蓋。66 はプラスチック製の瓶の蓋。67 はプラスチック製で正方体。6 面それぞれに平仮名が 1 文字描かれる。同様の製品はほかに 2 点あり「ねぼざぞべて」「ろひぶきし」とひらがなが書かれる。ほかに遺構 20 からも 1 点出土し、「いるへばげに」とひらがなで書かれている。玩具。

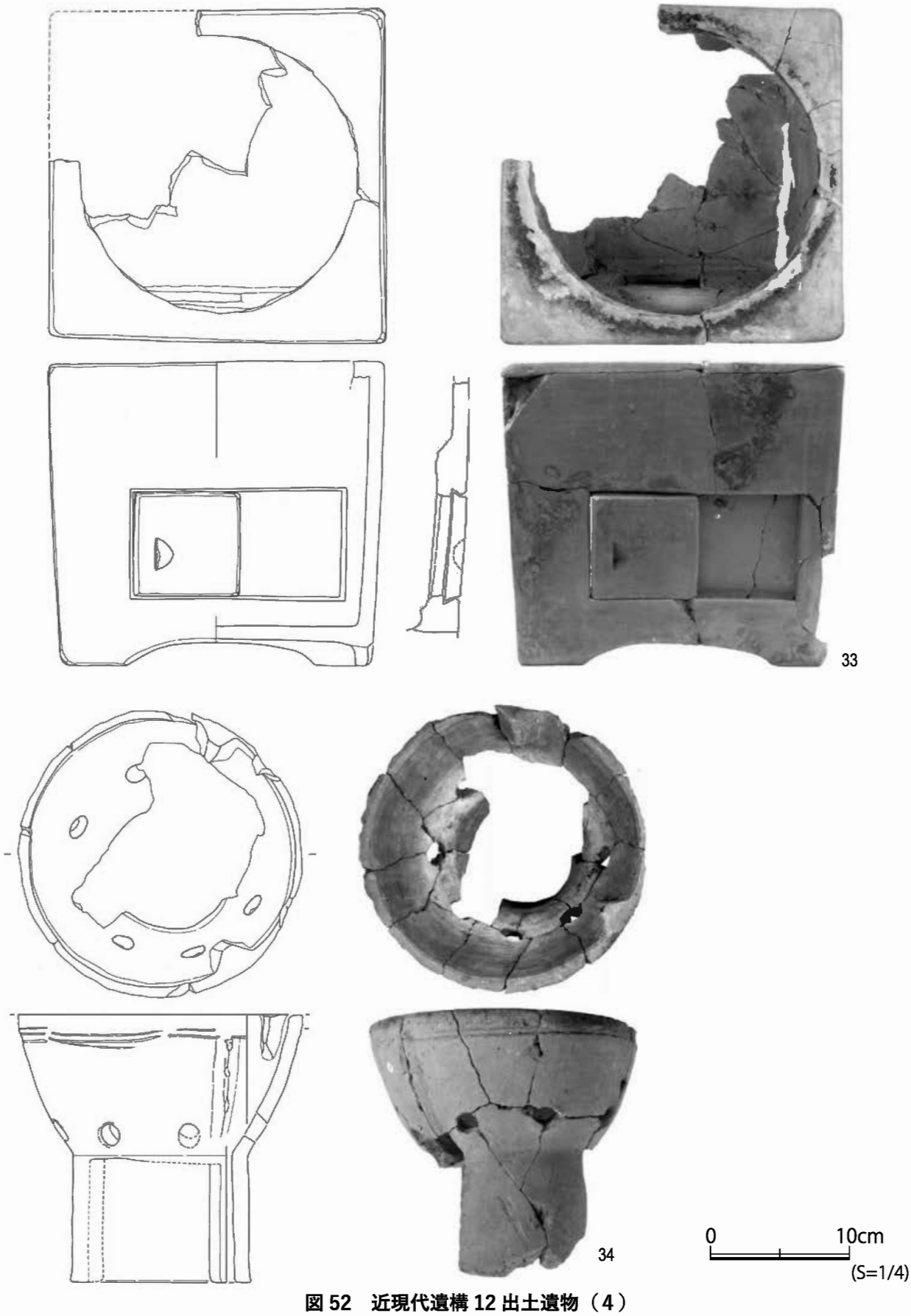


図 52　近現代遺構 12 出土遺物（4）

近現代遺構 16（図 46）

1 区東南隅で検出したやや大型の土坑である。

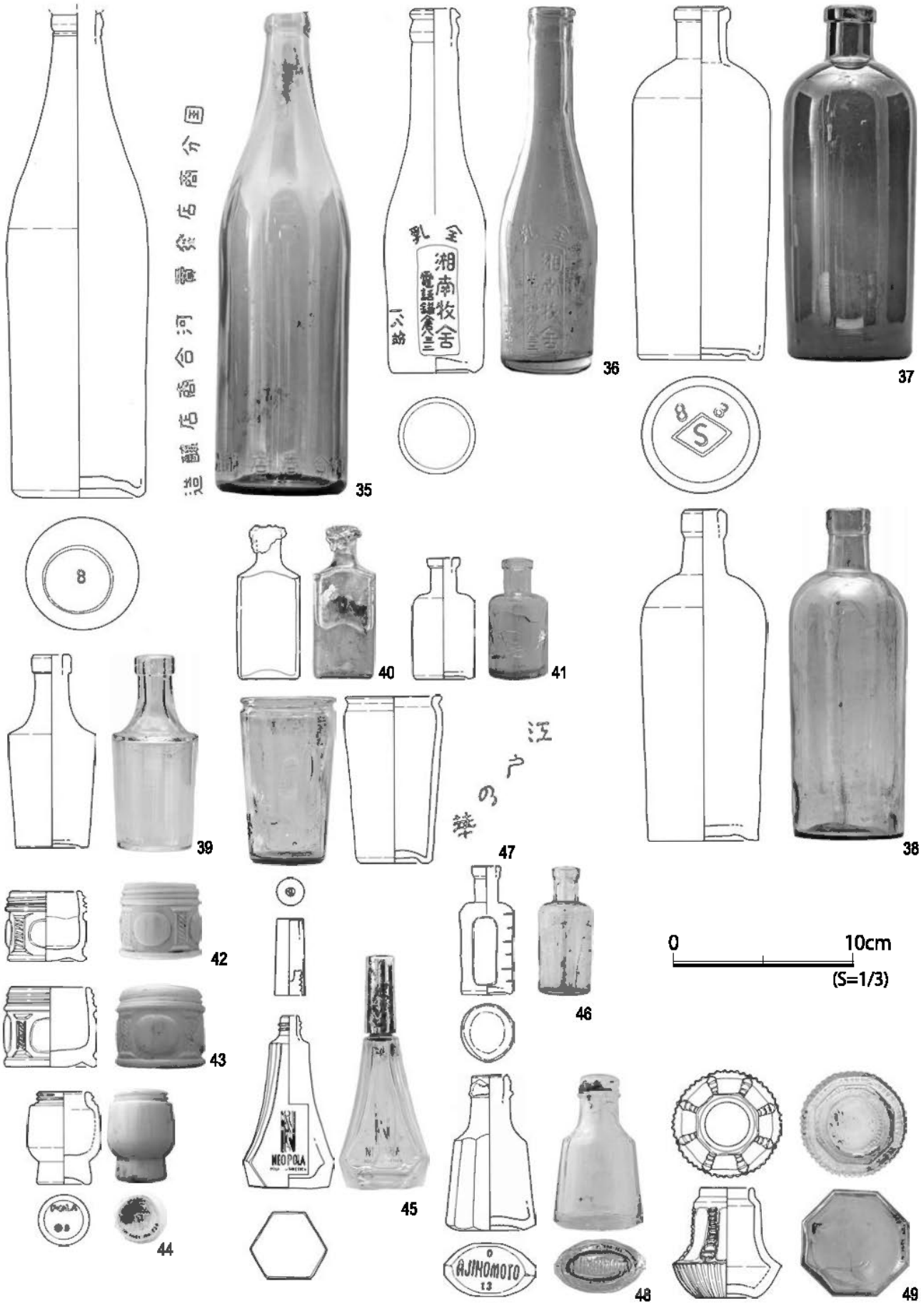


図 53　近現代遺構 12 出土遺物（5）

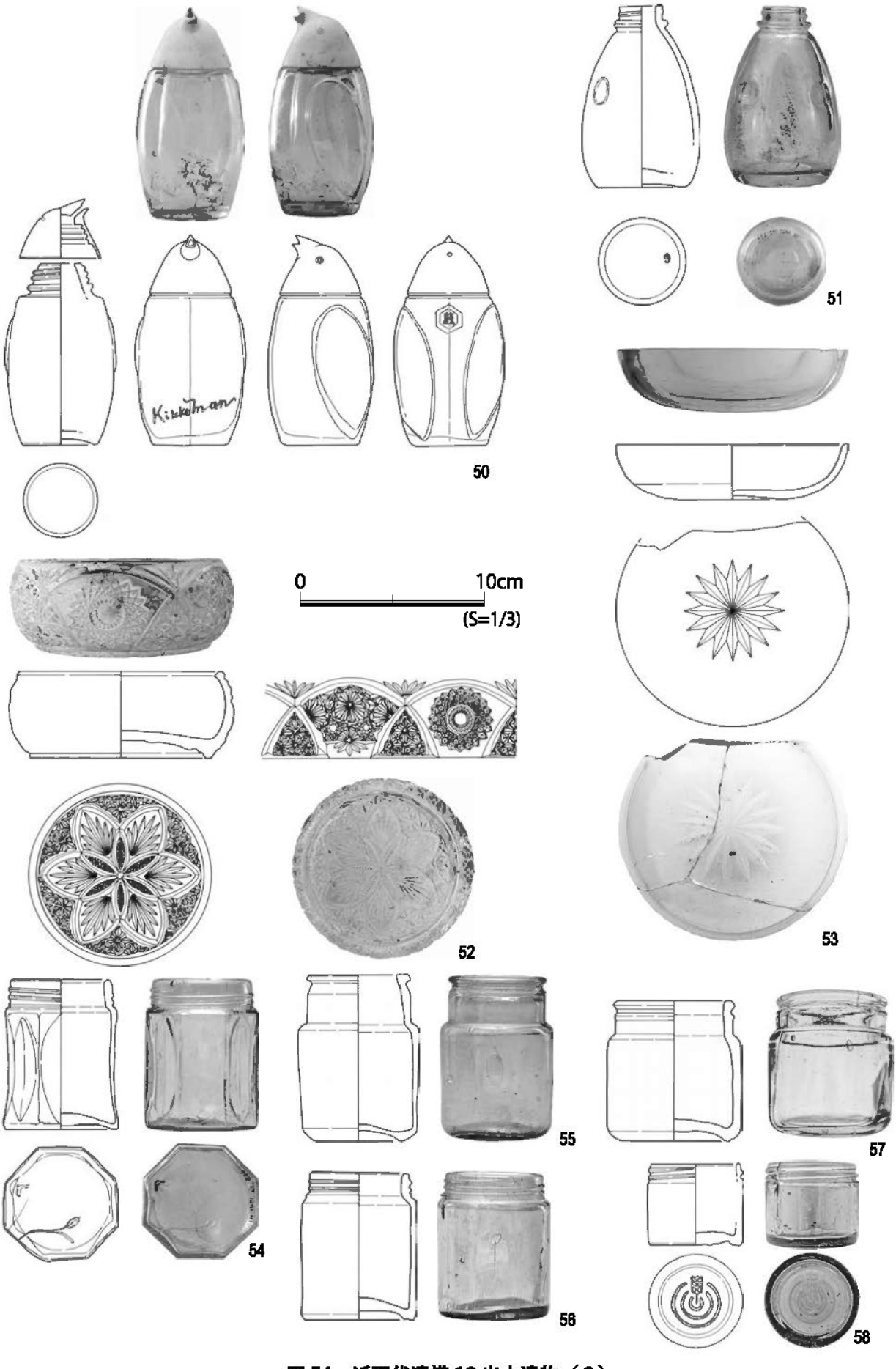


図 54　近現代遺構 12 出土遺物（6）

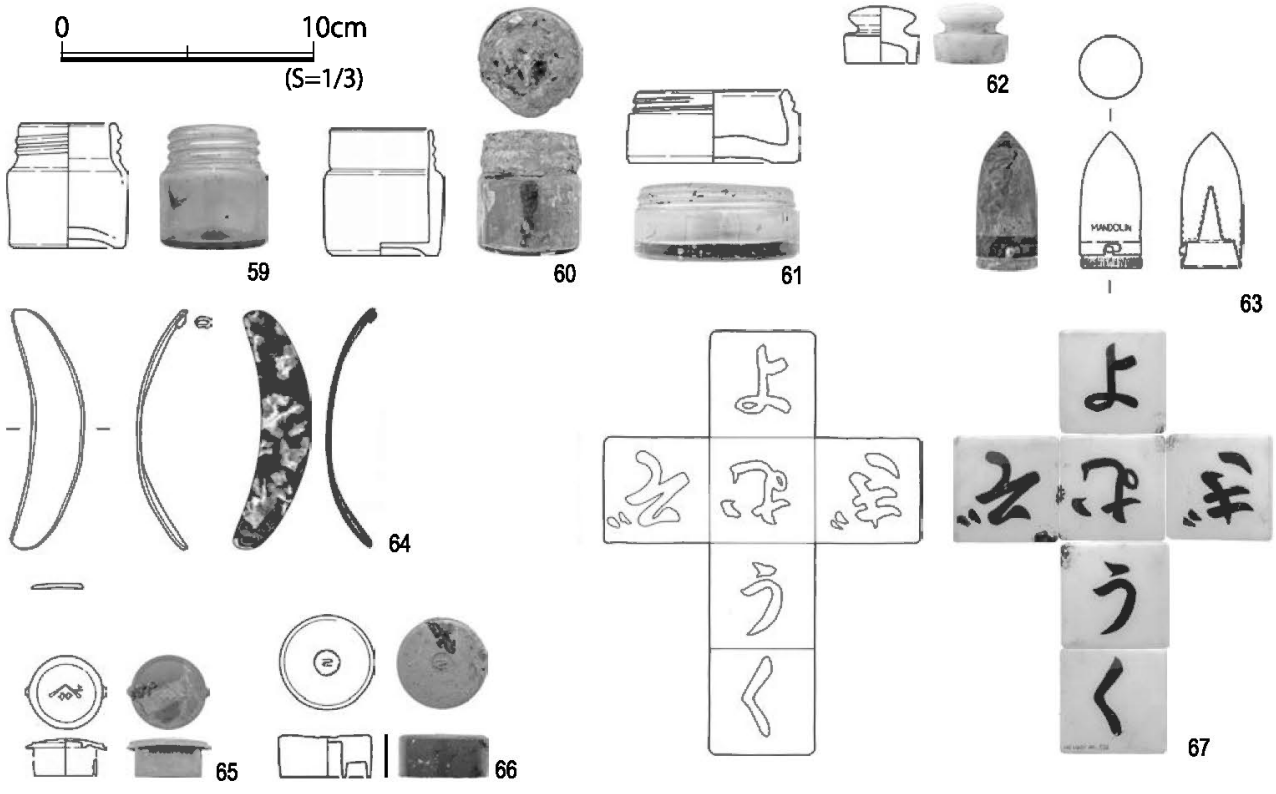


図 55　近現代遺構 12 出土遺物（7）

出土遺物（図 56、57）は陶磁器、ガラス製品が主体である。

磁器:1 は碗、2 は鉢、3 はカップで底部に銘があるが破損で一部のみ。4 ～ 7 は皿で、5、6 は洋食器。8 は徳利、9 は小杯、10 は仏飯器、11 は崎陽軒の醤油皿、12 は手描きによる急須、13 は急須の蓋。龍山の銘あり。14 と 15 は人形の頭部。16、17 は碍子。16 には銅版転写による施文がある。18 はフック。

陶器：19、21 は土瓶類の蓋、20 は土鍋の蓋。22 はポマード容器。23 ～ 25 はタイル片で 23 と 24 は佐藤タイル工業製。25 は不明。

土器：26 は植木鉢。ガラス製品：27 は乳白色ガラスで底面に「東京安藤井筒堂」のエンボスあり。化粧品の瓶か。

その他：28 はコカ・コーラのアルミ缶。29 はプラスティック製のキャップ。

近現代遺構 17（図 46）

調査区 2 区の西北隅で検出されたやや大型で、掘り込みの深い土坑。

出土遺物（58）：出土数はやや少量である。

磁器：1 は小皿。2 は小杯。3 は筒形湯呑。

陶器：4 は湯呑。5、6 はタイルで佐藤タイル工業製。

ガラス瓶：7 は計量瓶。胴部に目盛りのエンボスあり。8 は薬瓶で丸薬入れ。9 は薬瓶で、底部に「VICKSVAPORUB」のエンボスあり。大正製薬か。10 は薬瓶で底部に「MENTHOLATAUM」の瓶エンボスあり。11、12 も化粧品瓶か。スクリュー栓。ほかにコップが 1 点出土している。

近現代遺構 18（図 46）

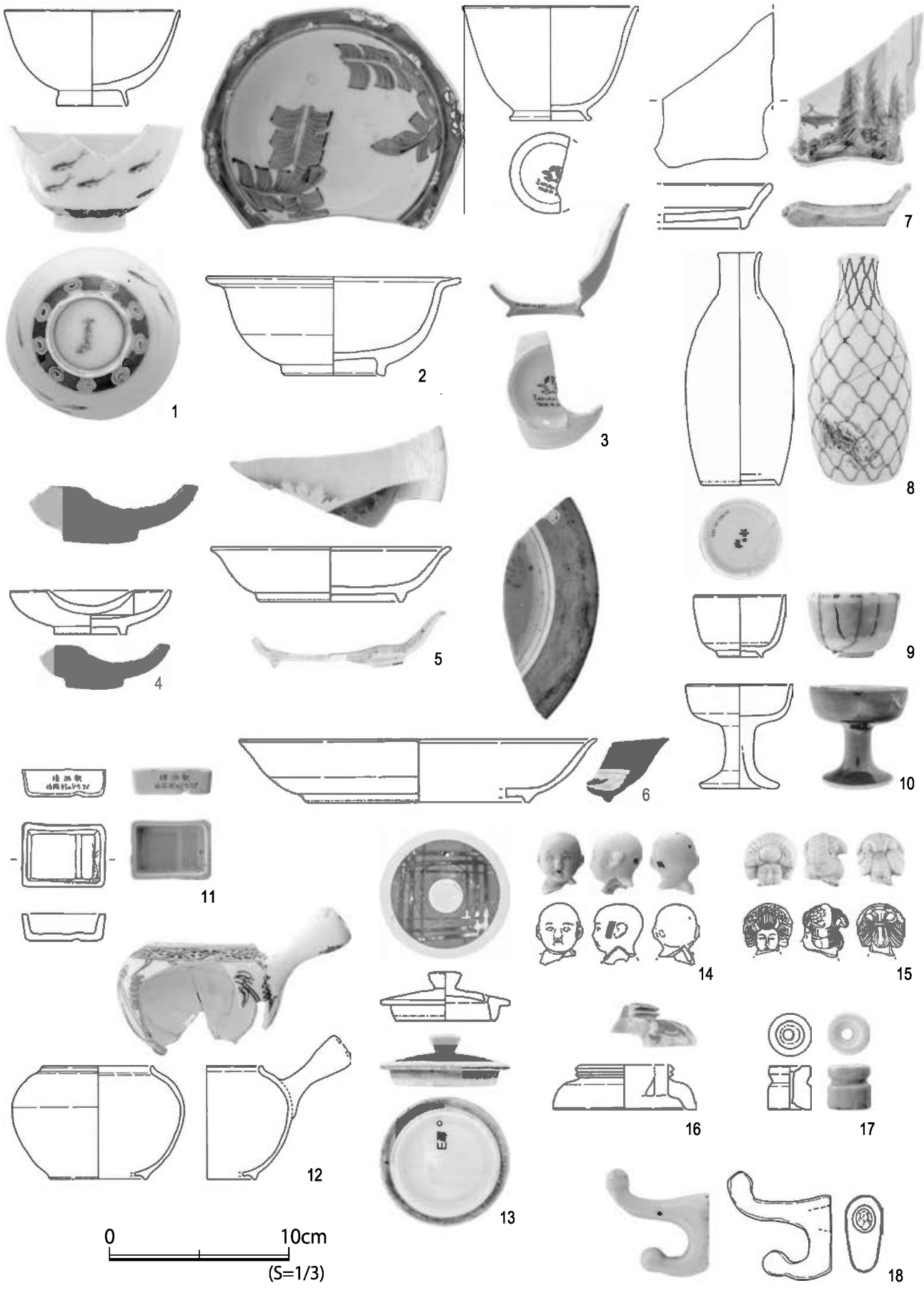


図 56　近現代遺構 16 出土遺物（1）

調査区２区の南に位置する、大型で深い土坑。

出土遺物（図 59 ～ 64）：多数の遺物がまとまって出土した。

磁器：1、2 は小皿。 3 はやや大型の鉢。4 は筒形湯呑、5 は土瓶。6、7 は醤油差し。 8 は散蓮華。9 は崎陽軒の醤油入れ「ひょうちゃん」。

陶器：10 は壷類の蓋か。11、12 は土瓶の蓋、13 は碗か。14 は土瓶、15 は急須、16 は土瓶。17、18 は貧乏徳利でほぼ同じであり、「坂之下　みとめ」の屋号が見られる。19 は甕。20 は擂鉢。21 は人形。

ガラス製品：22 はビール瓶で「キリンビール」のエンボスあり。23、24 もビール瓶でいずれも胴部

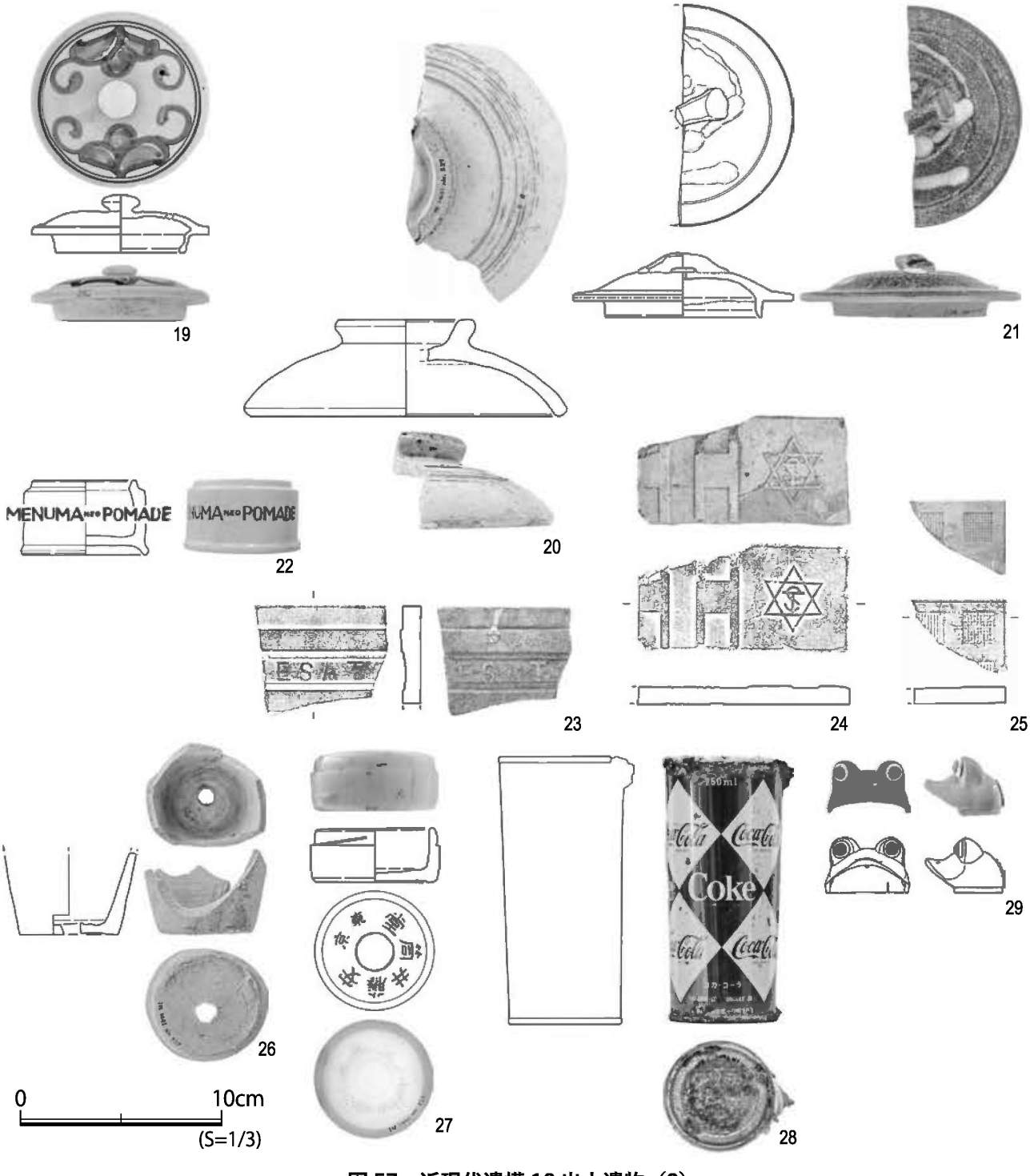


図 57　近現代遺構 16 出土遺物（2）

下端に「大日本麦酒株式会社」のエンボスがある。肩部のエンボスに差異あり。大日本麦酒のビール瓶はほかに3本出土しており、遺構7からも1本出土している。25、26は飲料瓶。27、28は牛乳瓶。29、30は汽車茶瓶の蓋。31、32は汽車茶瓶で胴部に「鉄道局御指定　御茶」のエンボスあり。同様の瓶はほかに2点出土している。33はワイングラス。34はカレー粉瓶か。

35は化粧品瓶で「白色美顔水」の瓶。桃谷順天館製。36、37は化粧品瓶。38は胴部に「志らが赤髪染　ナイス」のエンボスあり。丹平商会製。39は乳白色のクリーム瓶。40はインク瓶で底部に「M」のエンボスあり。丸善製。

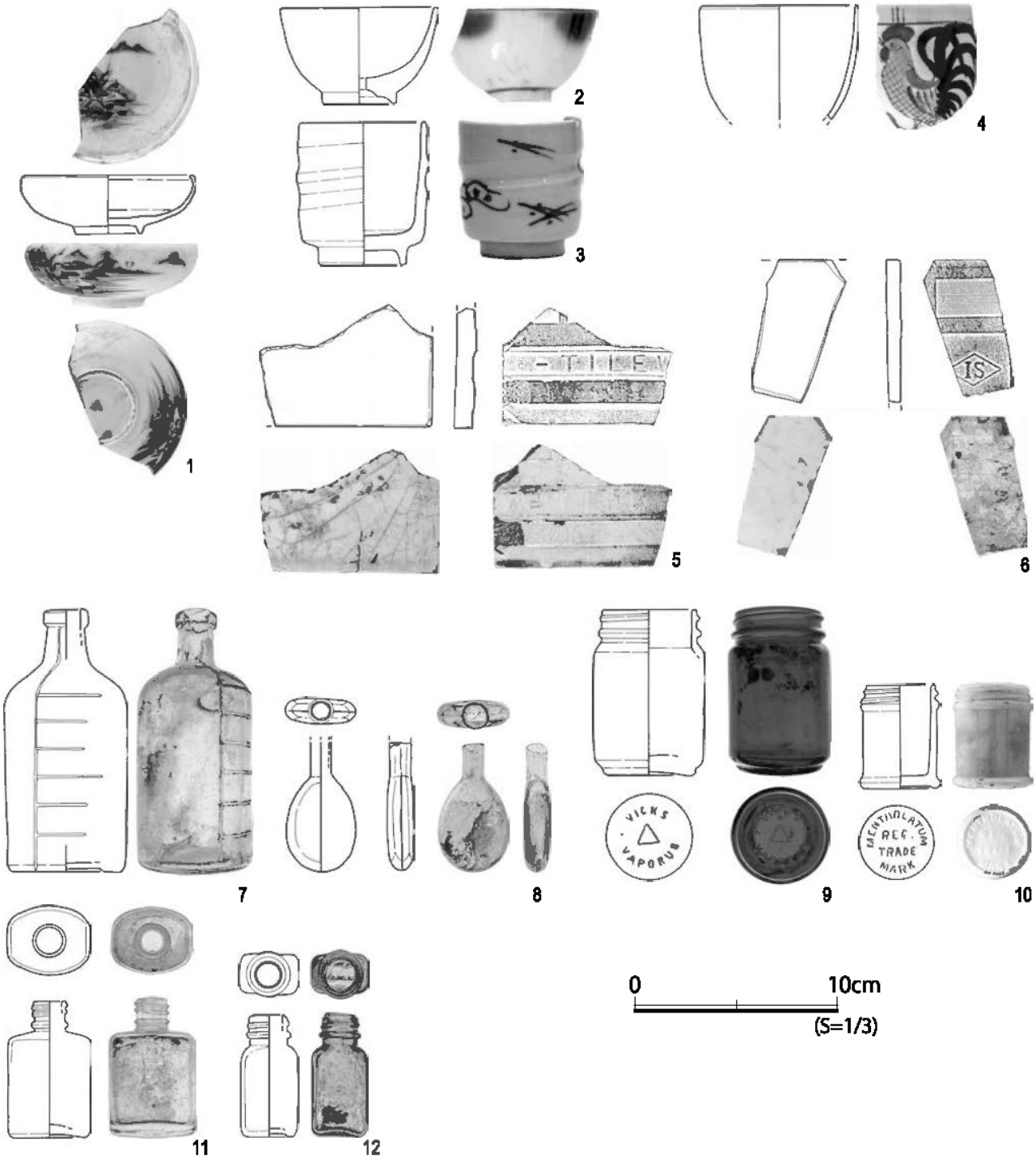


図58　近現代遺構17出土遺物

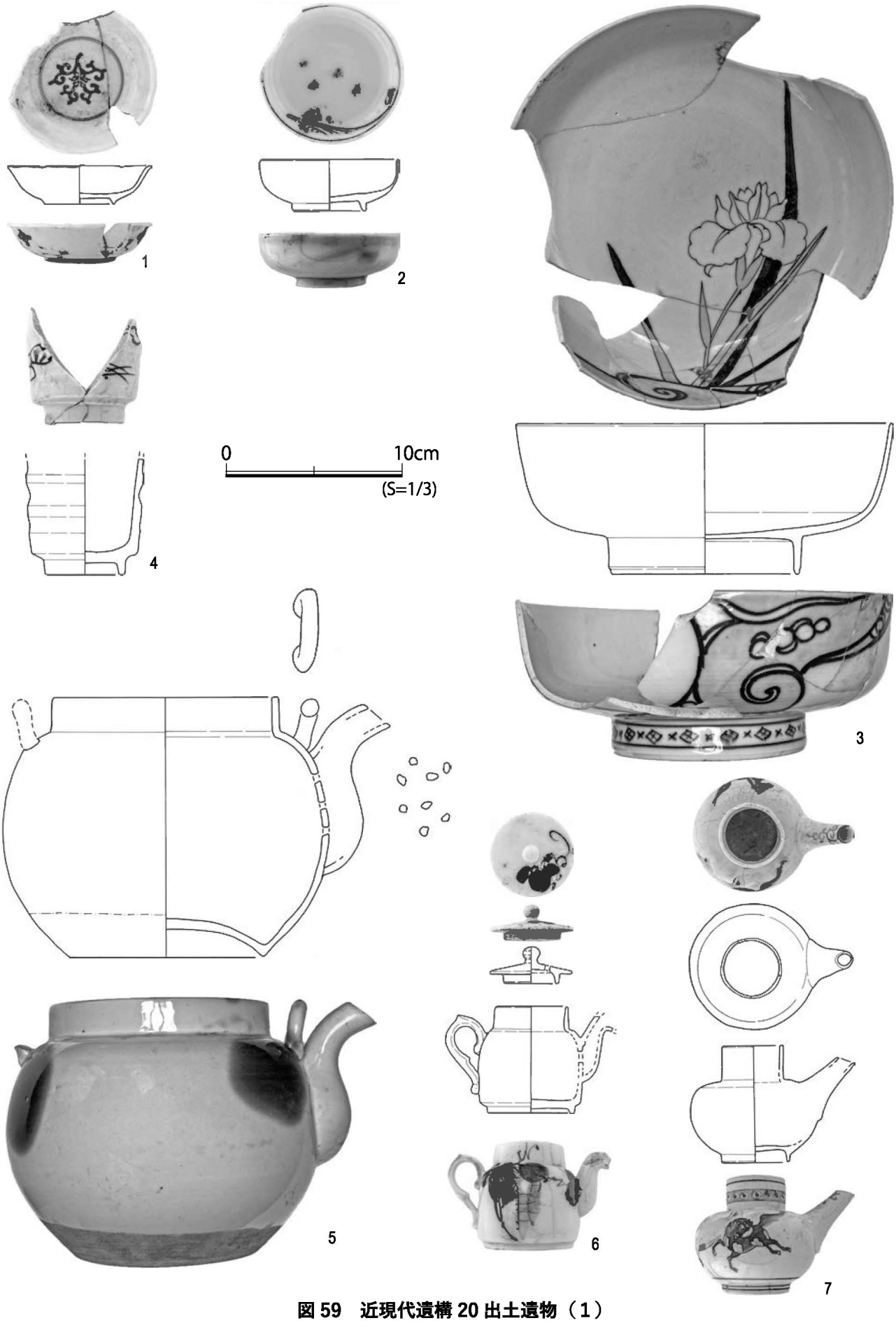


図 59　近現代遺構 20 出土遺物（1）

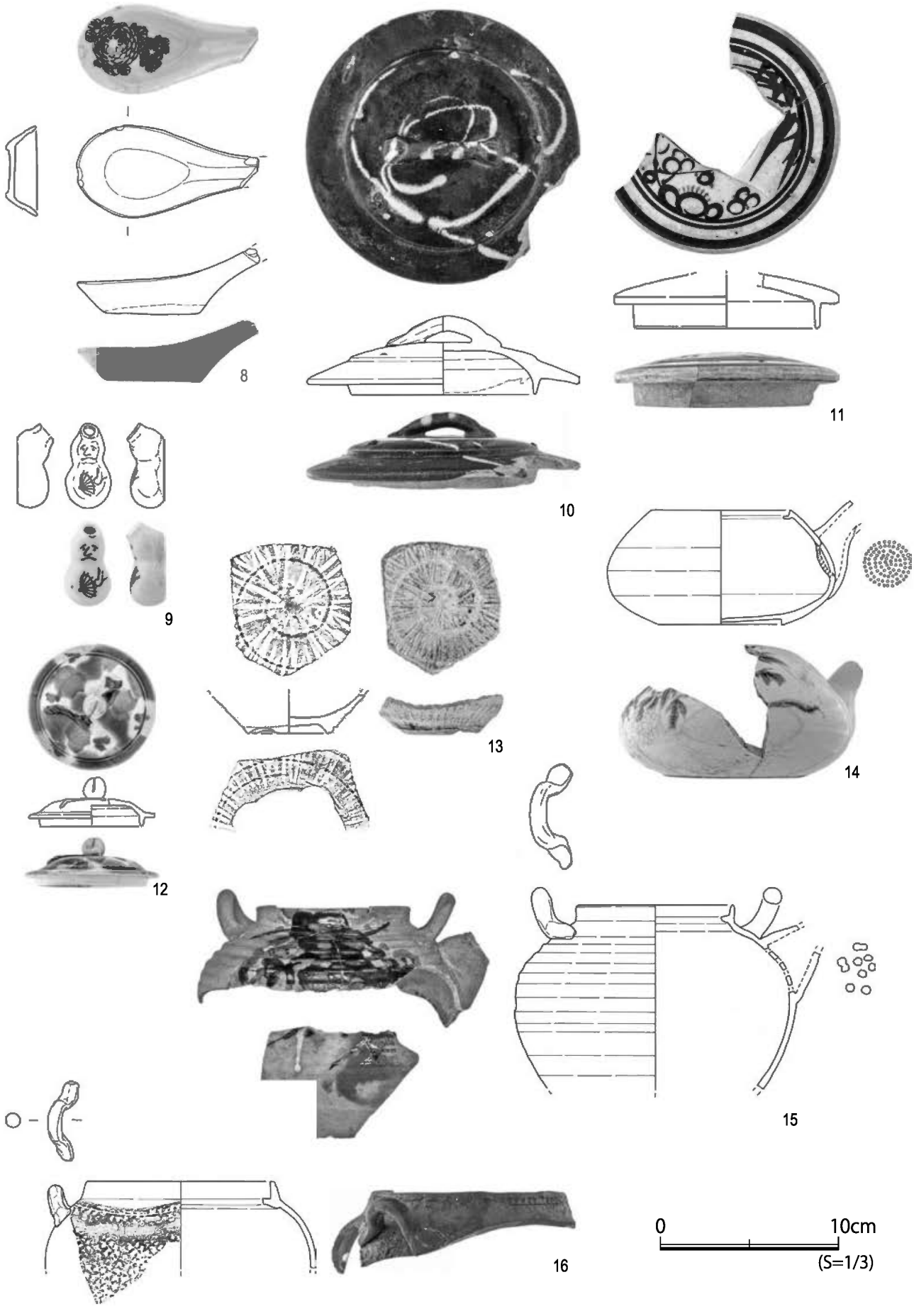


図 60　近現代遺構 20 出土遺物（2）

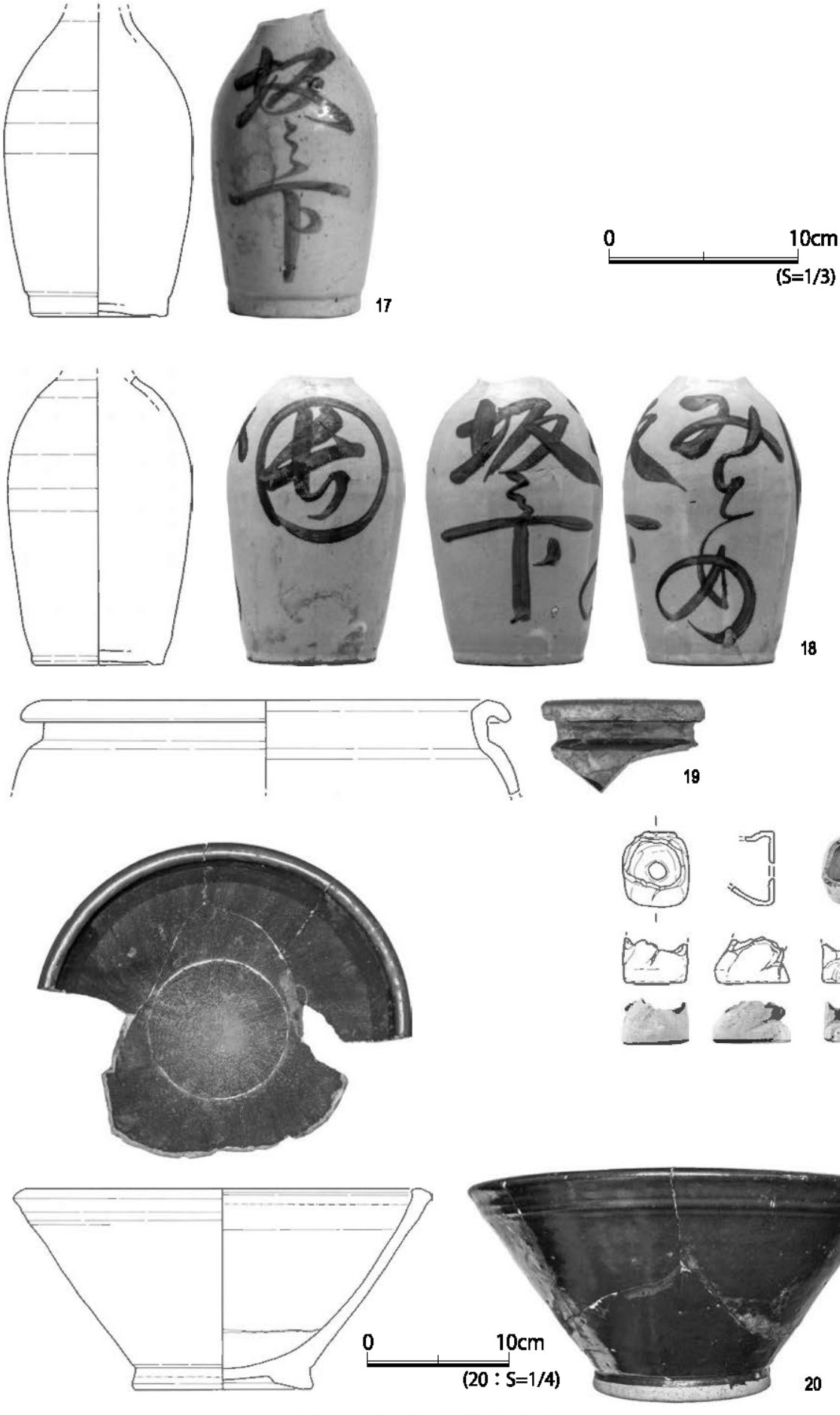


図 61　近現代遺構 20 出土遺物（3）

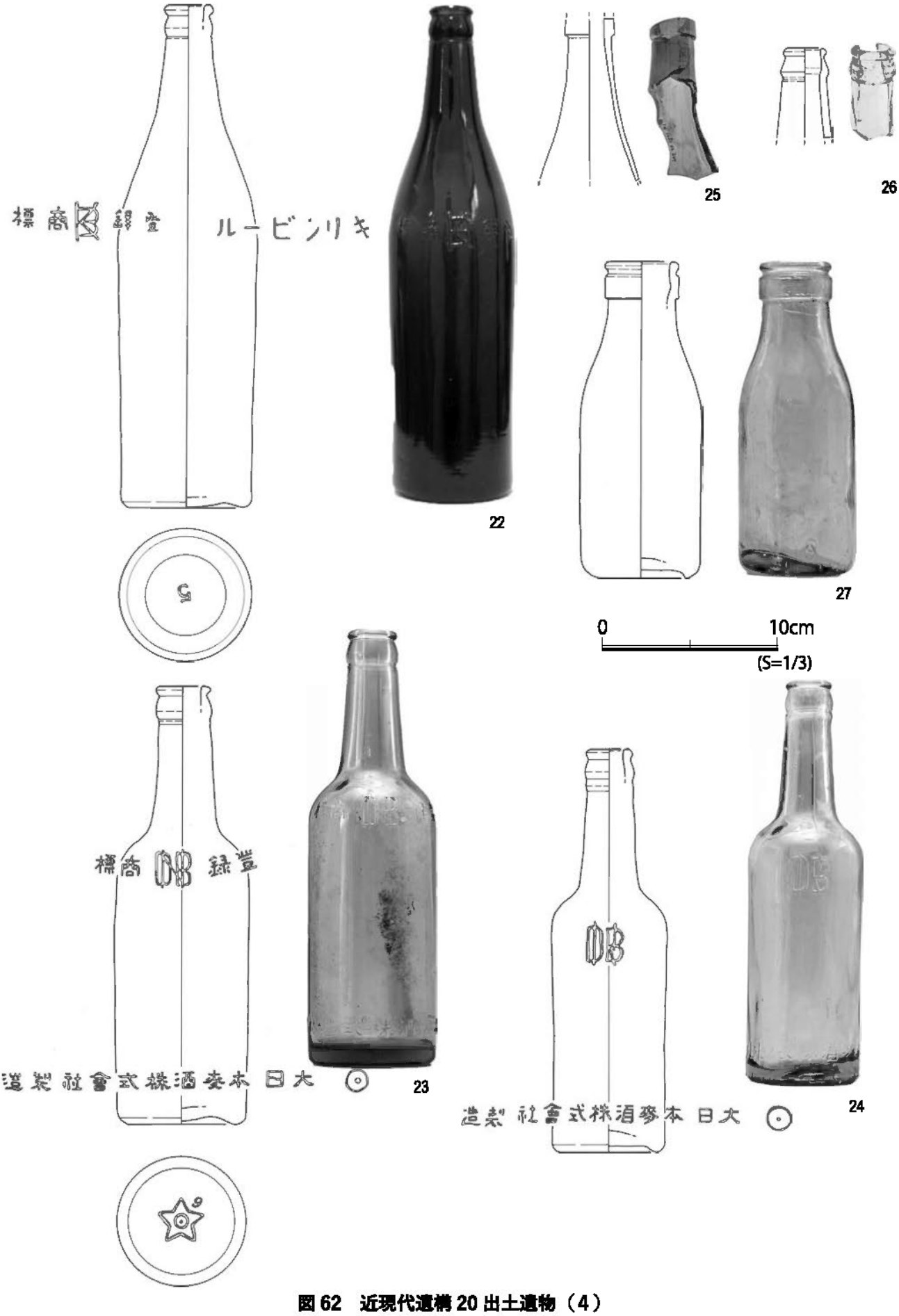


図 62　近現代遺構 20 出土遺物（4）

図 63　近現代遺構 20 出土遺物（5）

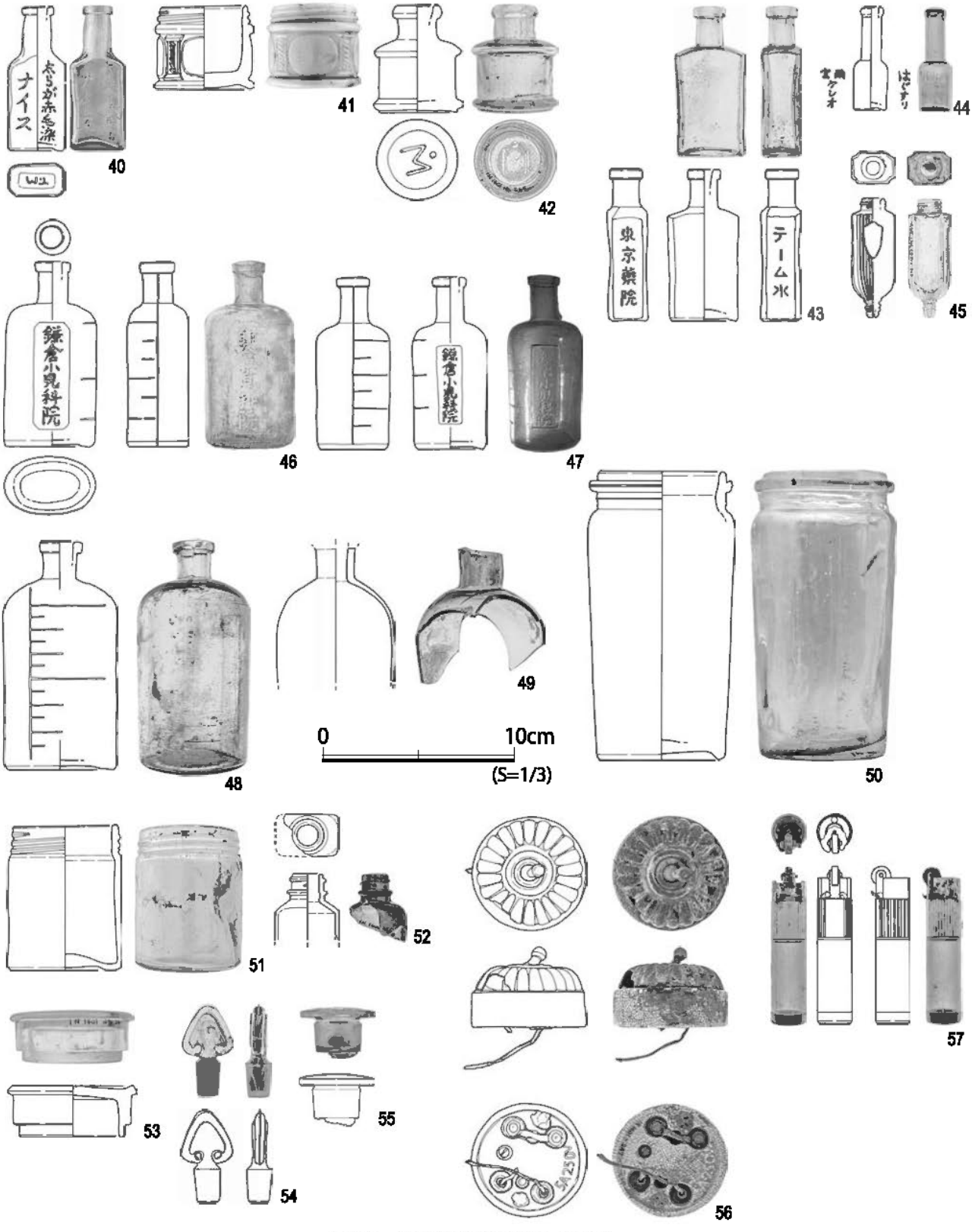


図 64　近現代遺構 20 出土遺物（6）

41 は薬瓶で側面に「東京藥院　テーム水」のエンボスあり。42 は薬瓶で「はぐすり　雨宮ケレオ」のエンボスあり。43 は点眼式の目薬瓶。44、45 は計量瓶でラベル部にいずれも「鎌倉小児科院」のエンボスあり。46 も計量瓶。47 ～ 50 は用途不明の瓶。51 ～ 53 は蓋で、52 と 53 は化粧品瓶の蓋。

その他：55 はスイッチ。56 はライター。

第四章　考察とまとめ

本調査地点では中世の生活面が8面検出され、それぞれに建造物が確認された。以下面ごとに検出した遺構・遺物について整理し、簡単ではあるがそれぞれの考察を行ってまとめとしたい。

第1a面

第1a面は上方は削平されかつ近現代の掘り込みで大半が破壊されている。小粒の泥岩砕片を多く含む暗褐色粘質土の地業面で、検出レベルは海抜8.65～8.7 m、全体的に高低差は少ない。確認遺構はピット27穴・土坑6基で、掘立柱建物址の存在が推定できるが、明確なプランは復元できず。切り合いから第1a面で発見した遺構は、少なくとも3時期の時間差があると考えられる。

遺物は、かわらけ・舶載陶磁器、国産陶器が主体である。銅銭・自然遺物が出土。遺物からおよそ15世紀代に属すると推定される。

第1b面

第1b面は小粒の泥岩砕片を多く含む暗褐色粘質土の地業面であり、確認レベルはおよそ海抜8.55～8.59 mである。確認遺構はピット13穴、土坑13基で、掘立柱建物址の存在が推定できるが、明確なプランは復元できず。西端にやや密な破砕泥岩の地業があり、道路状遺構の可能性もあるが、近現代の掘り込みにより破壊が激しく判然としない。遺構の切り合いから第1b面で発見した遺構は少なくとも3時期の時間差があると考えられる。

遺物は、かわらけ・舶載陶磁器・国産陶器が主体である。瓦も少数出土している。遺物からおよそ14世紀代に属すると推定される。

第2面

第2面は小粒の泥岩砕片を多く含む暗褐色粘質土の地業面であり、確認レベルはおよそ海抜8.45～8.50 mである。遺構はピット25穴、土坑12基、溝1条で、掘立柱建物址の存在が推定できるが、明確なプランは復元できず。遺構の切り合いから第2面で発見した遺構は、少なくとも3時期の時間差があると考えられる。

遺物は、かわらけ・舶載陶磁器・国産陶器を主体とし、瓦も少数出土している。遺物からおよそ14世紀前半に属すると推定される。

第3面

第3面は小粒の泥岩砕片を密に多く含む暗褐色粘質土の地業面であり、確認レベルはおよそ海抜8.30～8.36 mである。確認遺構はピット22穴、土坑20基、道路状遺構1条、溝状遺構2条で、掘立柱建物址の存在が推定できるが、明確なプランは復元できず。道路状遺構は拡張あるいは縮小している可能性がある。泥岩による舗装は非常に強固なものとなっている。切り合いより第3面で発見した遺構は、少なくとも3時期の時間差があると考えられる。

遺物は、かわらけ・舶載陶磁器・国産陶器が主体である。遺物からおよそ 14 世紀初頭に属すると推定される。

第 4 面

第 4 面は小粒の泥岩砕片を密に含む暗褐色粘質土の地業面であり、確認レベルはおよそ海抜 8.20 ～ 8.24 mである。確認遺構はピット 20 穴、土坑 22 基、溝 2 条で、上面からの掘り込みによりかなりの部分が破壊されている。掘立柱建物址の存在が推定できるが、明確なプランは復元できず。切り合いより第 4 面で発見した遺構は、少なくとも 3 時期の時間差があると考えられる。第 4 面では道路状遺構は確認していないが、第 3 面の道路状遺構のすぐ東側にやや深い南北方向の溝が構築され、最終的には上面に大型の泥岩塊を配すことで廃棄してしまっている。

遺物は、かわらけ・舶載陶磁器・国産陶器が主体であり、羽口のような手工業生産に関わる製品も少数出土している。遺物からおよそ 14 世紀初頭に属すると推定される。

第 5 面

第 5 面は砂粒の混入した暗褐色粘質土の地業面であり、やや大粒の泥岩砕片を含む。4 面までとは地業の様相が異なる。確認レベルはおよそ海抜 8.02 ～ 8.10 mである。遺構はピット 27 穴、土坑 12 基、方形土坑 9 基、溝 1 条で、やや大型の方形土坑が卓越するのが特徴であり、調査区の中央～東北にかけて検出している。遺構の切り合いより第 5 面で発見した遺構は、少なくとも 3 時期の時間差があると考えられる。

遺物は、かわらけ・手づくねかわらけ・舶載陶磁器・国産陶器が主体であり、羽口のような手工業生産に関わる製品も少数出土している。遺物から 13 世紀後半～ 14 世紀初頭に属すると推定される

第 6a 面

第 6a 面は暗褐色砂質土で構成され、細かく破砕した泥岩を面上にやや広い範囲で施している。確認レベルはおよそ海抜 7.92 ～ 8.03 mである。検出遺構はピット 22 穴、土坑 10 基、溝 3 条で、掘立柱建物址の存在が推定できるが、明確なプランは復元できず。切り合いより第 6a 面で発見した遺構は、少なくとも 3 時期の時間差があると考えられる。東西方向の溝 2 条、南北方向の溝 1 条が検出され、東西方向は軸が共通する。上面からの掘り込みや遺構外にあたるため、溝それぞれの関係などは判然としない。

遺物は、かわらけ・手づくねかわらけ・舶載陶磁器・国産陶器が主体である。遺物からおよそ 13 世紀後半～ 14 世紀前半に属すると推定される。

第 6b 面

第 6b 面は暗褐色の砂質土で構成され、2 区では破砕土丹を面上に施した部分が多い。確認レベルはおよそ海抜 7.81 ～ 7.95 mである。上面からのほりこみで北部はほとんど残っていない。確認遺構はピット 14 穴、土坑 13 基で、ピットでは礎版が検出される例もあり、掘立柱建物址の存在が推定できるが明

確なプランは復元できず。切り合いより第 6b 面で発見した遺構は、少なくとも 2 時期の時間差があると考えられる。

遺物は、かわらけ・手づくねかわらけ・舶載陶磁器・国産陶器が主体である。遺物からおよそ 13 世紀後半～ 14 世紀前半に属すると推定される。

第 6c 面

第 6c 面は黒色の砂質土によって構成され、破砕泥岩をほとんど含まない。ただし 1 区中ほどでは破砕泥岩を面的に敷き詰めた箇所を検出した。確認レベルはおよそ海抜 7.75 ～ 7.90 m で、北に向かって緩やかに下がる。確認遺構はピット 17 穴、土坑 9 基、方形土坑 2 基、溝 2 条で、礎版の検出もあり、掘立柱建物址の存在が推定できるが、明確なプランは復元できず。溝は小規模なものであり、ごく一時的なものと想定される。切り合いより第 6c 面で発見した遺構は、少なくとも 3 時期の時間差があると考えられる。

遺物は、かわらけ・手づくねかわらけ・舶載陶磁器・国産陶器が主体である。遺物からおよそ 13 世紀後半～ 14 世紀前半に属すると推定される。

第 7a 面

第 7a 面は茶褐色砂層によって構成される。検出レベルはおよそ海抜 7.62 ～ 7.74 m で、南から北へ緩やかに下がる。検出遺構はピット 31 穴、土坑 14 基で、掘立柱建物址の存在が推定できるが、明確なプランは復元できず。溝は 1 条確認したが、小規模なものであり、やはり一時的なものと想定される。切り合いより第 7a 面で発見した遺構は、少なくとも 3 時期の時間差があると考えられる。

遺物は、かわらけ・手づくねかわらけ・舶載陶磁器・国産陶器が主体である。遺物からおよそ 13 世紀後半に属すると推定される。

第 7b 面

7b 面は非常に薄い茶褐色砂質土によって構成される。2 区北側上面には炭化木片が面的に広がる。南には炭層が見られないが、地面が硬化しており被熱によるものと推定される。炭層の確認レベルは海抜 7.59 ～ 7.74 m、7b 面は海抜 7.52 ～ 7.70 m であり、南から北へ緩やかに下る。2 区については少なくともほぼ全面が被熱を受けているようである。遺構はピット 12 穴、土坑 7 基、溝状遺構 1 条である。切り合いより第 7b 面で発見した遺構は、少なくとも 2 時期の時間差があると考えられる。

遺物は、かわらけ・青磁・褐釉・常滑が出土している。遺物からおよそ 13 世紀後半に属すると推定される。

第 8 面

第 8 面は黒色粘質土により構成され、泥岩粒などは基本的に含まれない。確認レベルはおよそ海抜 7.48 ～ 7.68 m である。1 区西側および 2 区北側では面的に広がる薄い炭層が検出された。炭層を取り除くと砂や泥岩などの混入のない締りのある黒色粘質土となる。検出遺構はピット 15 穴、土坑 11 基、溝

2条、道路状遺構1条である。礎板の検出例もあり掘立柱建物址の存在が推定できるが、明確なプランは復元できず。1区の西側は面の硬化度と東西にほぼ同じ深さの溝があることより道路遺構と推定した。道路遺構の上にも炭化層が確認され、調査区全面的に被熱を受けていると想定される。切り合いより第8面で発見した遺構は、少なくとも3時期の時間差があると考えられる。

遺物は、かわらけ・舶載陶磁器・国産陶器・木製品が主体である。遺物からおよそ13世紀中～後半に属すると推定される。

近現代遺物

一部の遺物は明治期にまでさかのぼるものもある。統制陶器などは含まれていないが、プラスチック製品が多くみられ、磁器やガラス瓶などからみると昭和のものが主体であると考えられ、戦後のものまで含まれていると想定される。本調査地点および隣接する由比ガ浜一丁目160番17地点を含め本来は一つの敷地であり、その邸宅のゴミが主体となる廃棄坑と推定される。

本調査地点では、中世以前と考えられる遺物も出土しているが、明確に遺構に伴って出土したものはなく、他所からの混入品と想定される。第8面以下はやや暗い暗褐色粘質土で、土自体には泥岩や砂などの混入物はほぼ確認されない。50cmほど下の遺構の底面からは灰白色砂層が確認されており、暗褐色土がかなりの厚さで砂の上に堆積している。調査期間などの制約もあり、暗褐色土を掘り下げて確認はしていないが、中世の地山面である可能性は高いと考えられる。下部の砂層は自然堆積かとも思われるが詳細は不明。

中世の基盤層と思われる第8面では側溝を伴う道路が構築される。第3面でも検出され、やや西にずれるがほぼ同じ位置にある。その間では明白な道路状遺構はみられないが、4面、6面でも同じ軸の南北方向の溝があり、調査区西部がある種の境界であったと考える。被熱を受けたあと砂が堆積し、再び被熱を受けた後再度砂が堆積して生活面を構築する。北部では東西方向の溝が構築される。

第5面では方形土坑が調査区ほぼ全域にみられ、遺構が重複するため数度同じような場所に作り直しをしている。4面以上ではこの種の方形土坑がみられず、ピット、土坑が主体で、掘立柱建物が立ち並ぶ様相であったと考えられる。隣接する160番17地点に類似して、大きく3度の空間利用の変更があったと想定できよう。道路や溝の東西、南北の軸線は時期が変わっても変化していない。160番17地点の考察で見たように、近隣の地点4（図1）などで見られる道路などの軸はこの地域一帯の区割りとして共通のもので、本調査地点もほぼ一致しており、基本的にその原則は変化していないと考えられる。

最後に由比ガ浜一丁目160番17地点との対比であるが、距離5mほどの隣接地点でありながら、砂層の堆積状況の違いや、本調査地点では明瞭な炭化層が160番17地点では検出されていないことから、必ずしも単純には対比できないが、地業の様子や高さ、遺構や遺物の状況より、第2面が160番17地点第1面、第3面が160番17地点第2面、第4面が160番17地点第3面、第5面が160番17地点第4面、第6a面が160番17地点第5a面，第6c面が160番17地点第5b面、第7a～7b面が160番17地点第6面に対応すると想定される。第1a、1b面は160番17地点では削平されて存在せず、第8面は160番17地点では未調査である。

表５　近代遺物陶磁器観察表

図版番号	no.	出土遺構	器種	種別	絵付け手法	法量				顔料：釉色調：胎土	技法／文様／その他	備考	遺存度
						口径	底径	器高					
49	1	12	碗	磁器	手描き	10.9	3.3	5.7		酸化コバルト：透明釉：白色精緻	外面：飛魚２匹、圏線 高台外面：二重圏線	高台銘「石泉」	ほぼ完形
49	2	12	碗	磁器	手描き	9.4	3.2	4.5		透明釉：白色精緻	外面：上絵付か 高台畳付：露胎、離れ砂		2/3
49	3	12	碗	磁器	吹き墨	9.0	2.8	4.85		青色：透明釉：白色精緻	外面：吹き墨　青い梅花文様 口縁部金彩 高台畳付：露胎		3/4
49	4	12	碗	磁器	不明	(9.0)	3.2	4.1		透明釉：白色精緻	高台畳付：露胎		1/5
49	5	12	碗	磁器	手描き	11.3	3.6	6.2		酸化コバルト：透明釉：白色精緻	外面：口縁下部に二重圏線、龍雲 高台外面：圏線＋七宝 ?+ 圏線	高台銘「白峰園」	ほぼ完形
49	6	12	碗	磁器	手描き	11.0	-	[5.2]		酸化コバルト：透明釉：白色精緻			口縁部のみ
49	7	12	碗	磁器	手描き	10.3	3.8	5.4		透明釉：白色精緻	外面：口縁部金彩　立涌文、根松、鶴、亀甲に菊 高台畳付：露胎		ほぼ完形
49	8	12	碗	磁器	プリント	10.4	3.4	5.5		透明釉：白色精緻	外面：花文様（ピンク・青・灰・黄色）、 高台外面：圏線（灰色）/ 口唇部灰色で口銹仕様	高台銘「東洋陶器」（橙色）	1/2
49	9	12	碗	磁器	手描き	10.2	4.1	5.6		酸化コバルト：透明釉：白色精緻	外面：草花文様　花は淡ピンク色 高台：圏線内に鎖状文様 高台畳付：露胎		3/4
49	10	12	碗	磁器	手描き	7.9	3.0	4.8		酸化コバルト：透明釉：白色精緻	外面：上絵付　薄紅色で花文様 高台畳付：露胎、離れ砂		4/5
49	11	12	器蓋	磁器	手描き	10.2	-	3.1	ツマミ径 3.6	酸化コバルト：透明釉：白色精緻	外面：二重圏線、龍雲 ツマミ外面：圏線＋七宝 ?+ 圏線	高台銘「白峰園」	2/3
49	12	12	器蓋	磁器	手描き	(9.6)	-	2.9	ツマミ径 3.6	透明釉：白色精緻	外面：上絵付　孔雀の羽根文様（朱・金・水色）		1/2
49	13	12	器蓋	磁器	手描き	9.3	-	3.0	ツマミ径 3.5	酸化コバルト：透明釉：白色精緻	外面：二重圏線＋圏線＋紅葉＋圏線 ツマミ内面：圏線	「肥前」 （朱と金／上絵付）	ほぼ完形
49	14	12	器蓋	磁器	手描き	9.7	-	2.7	ツマミ径 3.3	酸化コバルト：透明釉：白色精緻	外面：三重圏線＋梅の木 ツマミ内面：圏線 上絵付　朱と金で梅の離しべ	「肥前」 （朱と金／上絵付）	1/2
50	15	12	洋皿	磁器	プリント	(19.8)	(12.6)	2.3		透明釉：白色　精緻	色絵		1/3
50	16	12	皿	磁器	手描き	8.3	4.3	1.7		酸化コバルト：透明釉：白色　精緻	内面：植物文、花は上絵付（朱・金）	内面：「肥」 （朱と金／上絵付）	ほぼ完形
50	17	12	小皿	磁器	手描き	8.4	4.5	2.4		酸化コバルト：透明釉：白色精緻	外面：口縁下部圏線、扇子文様、高台に二重圏線　高台内：圏線　高台畳付：露胎		ほぼ完形
50	18	12	鉢	磁器	手描き	15.2	6.6	6.4		酸化コバルト：透明釉：白色　精緻	口唇部：きざみ 外面：淡黄緑色　飛び鉋 畳付露胎		4/5
50	19	12	湯呑	磁器	手描き	6.8	3.3	7.3		酸化コバルト：透明釉：白色精緻	外面：花の輪 高台：二重圏線 高台内：圏線	高台銘「眞古園」	ほぼ完形
50	20	12	湯呑	磁器	手描き	(6.6)	3.8	6.9		酸化コバルト：透明釉：白色精緻	外面：窓絵紅葉、草文様 外面：上絵付（朱・金）紅葉の葉と窓 高台畳付：露胎		1/2
50	21	12	湯呑	磁器	手描き	5.8	3.2	6.6		酸化コバルト：透明釉：白色精緻	外面：上部に松葉・折松葉。下部に格子。 高台外面：二重圏線 外面：上絵付（朱・金）　上部に松葉、下部に格子。高台畳付：露胎		ほぼ完形
50	22	12	コーヒーカップ	磁器		7.6	3.4	6.1		透明釉：白色精緻	外面：上絵付　上部に植物文か		1/2
50	23	12	コーヒーカップ	磁器	プリント	7.3	3.3	6.0		透明釉：白色精緻	外面上部に 1.1cm 幅で帯状に花柄（黄・桃・黄緑・灰色）。口縁部金彩		ほぼ完形
50	24	12	小壺	磁器	手描き	8.0	6.0	8.1		酸化コバルト：透明釉：白色　精緻	外面：口縁部下に帯状に剣頭文か 外底畳付部：凹三ヶ所有 畳付露胎		完形品
50	25	12	土瓶	磁器	手描き	7.6	6.6	8.9	最大径 10.5	透明釉：白色精緻	外面：上部に葡萄柄		体部のみ
50	26	12	香炉	磁器		(6.0)	-	4.3		酸化コバルト：透明釉：白色精緻	底部・脚部：露胎		1/3
51	27	12	小鉢	陶器		7.6	3.4	3.4		黄色釉：黄白色　粘質土			完形品
51	28	12	茶こぼしか	陶器		10.4	-	2.2		透明釉：黄白色　精良堅緻	全体に貫入入る 桜の花型に孔		上部のみ ほぼ完形
51	29	12	不明	陶器		-	-	[4.7]		黄白色：乳白色	口縁部および畳付露胎		口縁部～底部片
51	30	12	急須	陶器		10.1	-	6.0		褐色：暗灰色堅緻		銘：判読不能	体部片 2/3

図版番号	no.	出土遺構	器種	種別	絵付け手法	法量				顔料：釉色調：胎土	技法 / 文様 / その他	備考	遺存度
						口径	底径	器高					
56	1	16	碗	磁器	手描き	9.8	4.0	5.4		酸化コバルト：透明釉：白色　精緻	外面：魚と渦巻文	高台銘「古春花造」	4/5
56	2	16	鉢	磁器	手描き	14.2	5.6	5.6		酸化コバルト：透明釉：白色　精緻	内面：植物文 高台内外面：圏線		4/5
56	3	16	カップ	磁器		(9.8)	(4.6)	6.5		透明釉：白色　精緻	口縁部：金色の縁取り	高台内プリント（赤）：花の絵、「SAKURA」「MADE IN JP」	
56	4	16	小皿	磁器		(9.0)	(4.2)	2.5		灰色　精緻	内面：網目模様（茶褐色） 口縁部：茶褐色に着色		1/3
56	5	16	洋皿	磁器		(13.4)	8.2	3.1		酸化コバルト：透明釉：白色　精緻	高台畳付：露胎		1/3
56	6	16	洋皿	磁器		(19.8)	(12.4)	3.5		淡緑色：白色　精緻	釉：口縁～内面にかけて塗られる		1/5
56	7	16	角皿	磁器	手描き	-	-	[2.5]		酸化コバルト：白色　精緻	風景画か		不明
56	8	16	一合徳利	磁器	手描き	2.2	4.4	12.9		酸化コバルト：透明釉：白色　精緻		外底銘：「谷口造」	ほぼ完形
56	9	16	坏	磁器		(5.2)	2.4	3.6		透明釉：白色　精緻	金泥、高台畳付：露胎		2/3
56	10	16	仏飯器	磁器		5.8	4.0	5.8		酸化コバルト：透明釉：白色　精緻	外底露胎		ほぼ完形
56	11	16	醤油皿	磁器	銅板転写	横 4.6	縦 3.5	1.5		酸化コバルト：透明釉：白色　精緻		側面：「横浜駅　崎陽軒のシウマイ」	完形品
56	12	16	急須	磁器	手描き	6.0	5.4	6.3		酸化コバルト：透明釉：白色　精緻			体部のみ
56	13	16	急須蓋	磁器	プリント	5.5	-	2.7	ツマミ径 1.8	透明釉：白色　精緻	外面文様、体部との接地面露胎	内面：「龍山」	完形品
56	14	16	人形	磁器		-	-	[3.5]	最大幅 2.7	透明釉：白色　精緻	彩色		頭部のみ
56	15	16	人形	磁器		-	-	[3.0]	最大幅 2.6	白色　精緻			頭部のみ
56	16	16	碍子	磁器	銅板転写ダミ	径 (8.0)	-	2.5		酸化コバルト：透明釉：白色　精緻			1/3
56	17	16	碍子	磁器		径 2.4	-	2.5		透明釉：白色　精緻	一部露胎		完形品
56	18	16	フック	磁器		最大長 6.0	最大幅 2.1	最大厚 4.25		透明釉：白色　精緻			完形品
57	19	16	急須蓋	陶器	手描き	径 8.8	-	2.9	ツマミ径 1.8	黄緑色釉：黄白色	陶器、外面：植物文（褐色・紅色・濃緑色）、体部との接地面露胎		完形品
57	20	16	土鍋蓋	陶器		径 (16.0)	-	4.8	ツマミ径 6.6	黄白色			1/3
57	21	16	急須蓋	陶器		径 (11.0)	-	3.2		灰茶～茶色	陶器、体部との接地面露胎		1/2
57	22	16	整髪料容器	陶器		5.2	6.3	3.7		黄白色	貫入有	側面（青色）：「MENUMA NEO POMADE」	完形品
57	23	16	タイル	陶器		長 [4.8]	幅 [6.5]	厚 0.9		白色釉：白色　粘質土	型押し		
57	24	16	タイル	陶器		長 [5.2]	幅 [10.3]	厚 0.9		白色釉：白色　粘質土	型押し	「佐藤タイル工業」	
57	25	16	タイル	陶器		長 [4.0]	幅 [5.0]	厚 [0.8]		白色釉：白色　粘質土	型押し		
58	1	17	小皿	磁器	手描き	(8.1)	3.2	2.9		酸化コバルト：透明釉：白色精緻			1/3
58	2	17	丸碗	磁器		(7.5)	(3.5)	4.7		酸化コバルト：透明釉：白色精緻	口錆		1/3
58	3	17	湯呑	磁器	手描き	(6.2)	(4.0)	7.0		酸化コバルト：透明釉：白色精緻	外面：色絵（緑・朱）　松・露芝文様		2/3
58	4	17	丸碗	陶器		(7.6)	-	[5.6]		透明釉：灰白色精緻	外面：色絵（黄・橙・茶・黒・ピンク）		口縁～胴部片
58	5	17	タイル	陶器		長 [6.1]	幅 [8.6]	厚 1.0		白色釉：白色　粘質土	型押し		
58	6	17	タイル	陶器		長 [7.0]	幅 [3.8]	厚 0.7		白色釉：灰白色　精緻	型押し		
59	1	20	小皿	磁器	手描き	8.2	3.9	2.1		酸化コバルト：透明釉：白色精緻			2/3
59	2	20	小皿	磁器	手描き	8.0	4.1	3.0		酸化コバルト：透明釉：白色精緻	高台畳付：露胎、離れ砂		ほぼ完形
59	3	20	鉢	磁器		21.4	10.7	8.7		酸化コバルト：透明釉：白色精緻	内面：下絵（黒色）		2/3
59	4	20	湯呑	磁器	手描き	-	4.1	[6.5]		酸化コバルト：透明釉：白色精緻	外面：色絵（緑・朱）　松・露芝文様		胴部～底部片
59	5	20	土瓶	磁器		12.4	11.0	14.7		酸化コバルト：透明釉：白色精緻	外面体下部：露胎		片耳のみ欠損

図版番号	no.	出土遺構	器種	種別	絵付け手法	法量				顔料：釉色調：胎土	技法 / 文様 / その他	備考	遺存度
						口径	底径	器高					
59	6	20	醤油差蓋	磁器	手描き	3.0	-	2.1	ツマミ径 1.0	透明釉：白色精緻	合わせ口：露胎		完形品
59	6	20	醤油差	磁器	手描き	4.0	4.9	6.0		透明釉：白色精緻	外面：色絵（緑・藤色） 畳付：露胎		ほぼ完形
59	7	20	醤油差	磁器		3.2	3.8	6.6	最大幅 9.2	透明釉：白色精緻	金彩 / 九谷		ほぼ完形
60	8	20	散蓮華	磁器	銅板転写	最大長 5.2	最大幅 [10.1]	3.7		酸化コバルト：透明釉：白色精緻	底部：露胎		2/3
60	9	20	醤油入れ	磁器	銅板転写	長 4.8	最大幅 2.6	2.1		酸化コバルト：透明釉：白色精緻	ひょうちゃん		ほぼ完形
60	10	20	蓋	陶器	イッチン	10.0	-	4.4	最大径 15.1	褐釉：黄橙色　砂　精緻	外面：褐釉・イッチン掛け / 窯道具痕あり。内面：鉛釉か。合わせ口：露胎		ほぼ完形
60	11	20	土瓶蓋	陶器	手描き	(10.0)	-	[3.0]	天井部径 (12.6)	透明釉：灰白色精緻	鉄絵 (?)		3/5
60	12	20	蓋	陶器		5.9	-	2.8	ツマミ径 1.3	酸化コバルト：透明釉：黄白色精緻 (?)	体部上面文様：四彩　緑・黄・酸化コバルト・褐釉	天井部内面：千鳥の刻印	完形品
60	13	20	碗	陶器		-	4.7	[2.1]		灰白色　砂	内面全体から外面高台より上：褐釉	高台畳付 (?)：「春逸」	底部完形
60	14	20	急須	陶器	手描き	(7.8)	7.0	6.9		酸化コバルト：透明釉：灰白色精緻	口縁合わせ口：露胎		2/3
60	15	20	土瓶	陶器		8.6	-	[11.3]		酸化コバルト：透明釉：灰白色精緻	回転ケズリ 外面：梅樹文（酸化コバルト・青緑釉・褐釉） 内面下体部：灰釉か。ツケガケ		口縁～胴部片
60	16	20	土瓶	陶器		(10.5)	-	[4.9]		褐灰色精緻、表面暗赤褐色	内面：布目痕		2/3
61	17	20	貧乏徳利	陶器		-	6.8	[16.1]	最大幅 9.8	酸化コバルト：透明釉：灰白色　やや粗土	底部：砂付着		胴部～底部片
61	18	20	貧乏徳利	陶器		-	6.7	[15.2]	最大幅 9.6	酸化コバルト：透明釉：灰白色　やや粗土	側面：〇の中に長、「みとめ」「坂ノ下」		胴部～底部片
61	19	20	甕	陶器		-	-	[5.0]		柿釉：灰色　長石　精緻	釉：全体施釉		口縁部片
61	20	20	擂鉢	陶器		29.5	13.3	15.3		柿釉：灰白色　粗土	底部：露胎 内面：重ね焼き痕		2/3
61	21	20	人形	陶器		奥行 4.0	幅 [3.3]	[2.4]		透明釉：灰白色精緻	底部：被熱、一部煤付着		底部片

表 6　近代遺物ガラス製品観察表

図版番号	no.	出土遺構	器種・器形	色調	法量				技法 / 文様 / その他	備考	遺存度
					口径	底径	器高				
47	1	5～8	ビール瓶	褐色 透明	2.4	7.0	28.7	最大幅 8.0	型合わせ目（口縁から底部）	側面エンボス：「TRADE　◎　MARK DNB」 「DAINIPPON　BREWERYCo_.LTD」 底部エンボス：「☆（二重）の中に◎」「3」「6」	完形品
47	3	5～8	瓶	緑青色 透明	2.7	-	[14.0]			同様の品もう 1 点あり	口縁から胴部
47	4	5～8	瓶	無色 透明	2.4	6.0	18.3	最大幅 6.7	上げ底、型合わせ目なし		完形品
47	5	5～8	瓶	白色 半透明	2.1	4.4	11.9	最大幅 4.8	上げ底、型合わせ目（頸から底部）、内部に赤灰色の付着物		完形品
47	6	5～8	瓶	無色 透明	1.6	4.7	10.9	最大幅 5.2	上げ底、型合わせ目（頸から底部）	側面エンボス：「レートフード」 「LAITFOOD」 底部エンボス：「・」「レート」「・」	完形品
47	7	5～8	瓶	白色 不透明	5.2	3.6	5.2	最大幅 6.0	上げ底	底部エンボス：「源氏香図」 マーク「N」「7」（柳屋）	完形品
47	8	5～8	瓶	無色 透明	2.6	3.4	2.7	最大幅 3.7	上げ底、型合わせ（頸から底部）	底部エンボス：「博仁堂完全亮」	完形品
47	9	5～8	瓶	無色 透明	2.4	4.8	6.5	最大幅 5.7	上げ底、型合わせ（頸から底部）	底部エンボス：「・・の下に M」（丸善）	完形品
47	10	5～8	コップ	無色 透明	6.7	5.5	13.3	最大幅 7.0	口縁部付近に刻み	底部エンボス：「◇　◇　◇」	完形品
47	11	5～8	コップ	無色 透明	6.9	5.3	13.2	最大幅 7.0	口縁部付近に刻み	底部エンボス：☑の中、左に P、右に C のマーク	完形品
48	12	5～8	薬瓶	無色 透明	2.0	5.2	11.6	最大幅 5.85	上げ底、型合わせ（口縁と胴でズレ）	側面エンボス：目盛り「2」「3」「4」 底部エンボス：「◇の中にイ」「21」	完形品
48	13	5～8	瓶	無色 透明	1.6	(3.6)	7.7	最大幅 3.8	上げ底、型合わせ目（頸から底部）	側面エンボス：「外用」「ターブ水」 （横）「皮膚病新薬」「東京玉■」	底部一部欠損
48	14	5～8	瓶	無色 透明	1.4	2.8	7.2	最大幅 3.2	上げ底、型合わせ（頸から底部）	側面エンボス：「外用」「金冶水」 （裏面）「東京」「尾澤製」	完形品
48	15	5～8	瓶	褐色 透明	2.2	3.8	12.1	最大幅 5.2	上げ底、型合わせ（頸から底部）	底部エンボス：「8」「2」「◇の中に S」	完形品
48	16	5～8	瓶	褐色 透明	2.6	3.3	6.2	最大幅 4.4	上げ底、型合わせ（頸から底部）	底部エンボス：「／_＼の中に谷」	完形品
48	17	5～8	瓶	淡緑色 透明	1.5	4.4	8.8	最大幅 4.6	上げ底、型合わせ（頸から底部）		完形品
48	18	5～8	瓶	無色 透明	1.8	4.8	9.5	最大幅 5.2	上げ底、型合わせ目（頸から底部）		完形品
48	19	5～8	瓶	青色 透明	-	2.4	[5.2]	最大幅 2.7	型合わせ	側面エンボス：「[軽] 便電氣砥」 （裏）「[第] 六四七七九號」	胴部～底部片
48	20	5～8	瓶	淡緑色 透明	1.6	3.1	6.7	最大幅 3.4	上げ底、型合わせ（頸から底部）		完形品
48	21	5～8	瓶	褐色 透明	2.4	2.6	7.9	最大幅 3.4	上げ底、型合わせ（頸から底部）	底部エンボス：「2」「2」「◇の中に S（反転）」	完形品
48	22	5～8	瓶	無色 透明	2.4	2.6	7.0	最大幅 3.2	上げ底、型合わせ（口から底部）	底部エンボス：分銅型のマーク （塩野義製薬か）	完形品
48	23	5～8	瓶	無色 透明	1.8	3.1	7.0	最大幅 3.4	上げ底、型合わせ（頸から底部）		完形品
48	24	5～8	瓶	緑青色 透明	5.9	6.4	3.0	最大幅 7.0			完形品
48	25	5～8	容器蓋	白色 不透明	3.00	-	0.9	最大幅 5.0	天井部径 4.6		完形品
48	25	5～8	容器身	白色 不透明	3.6	4.9	1.3	最大幅 5.0			完形品
48	26	5～8	瓶蓋	褐色 透明	2.2	-	2.2		天井部径 4.0		完形品
48	27	5～8	瓶蓋	淡緑色 透明	4.0	-	1.6	最大幅 5.9	天井部径 5.4		完形品
48	28	5～8	瓶	無色 透明	-	最大幅 [6.7]	[10.5]		プレスガラス		体部片
48	29	5～8	小鉢	無色 透明	11.0	8.9	2.4		プレスガラス		3/4
48	30	5～8	おはじき	緑色 透明	長 1.8	幅 1.8	厚 0.5				完形品
53	35	12	瓶	緑青色 透明	-	6.4	[27.0]	最大幅 7.7	上げ底	側面エンボス：「国分商店發賣　河合商店醸造」 底部エンボス：「8」	口縁部一部欠損
53	36	12	牛乳瓶	無色 透明	2.2	4.2	20.3	最大幅 6.4	型合わせ目（頸から底部）、上げ底	胴部エンボス：「全乳」「湘南牧舎　電話鎌倉八三二」「一、八扮」	完形品
53	37	12	瓶	褐色 透明	2.8	6.6	19.6	最大幅 7.6	型合わせ目なし、上げ底	底部エンボス：「8」「3」「◇の中に S」	完形品
53	38	12	瓶	緑色 透明	2.0	6.0	18.4	最大幅 7.0	気泡有、型合わせ目無し、不均等な上げ底		完形品

図版番号	no.	出土遺構	器種・器形	色調	法量				技法 / 文様 / その他	備考	遺存度
					口径	底径	器高				
53	39	12	瓶	無色透明	2.0	4.0	10.7	最大幅 4.8	型合わせ目なし、上げ底		完形品
53	40	12	瓶	緑色透明	(1.3)	3.0	8.5	最大幅 3.4	口縁部に蓋付着のめ密閉、瓶内液体		完形品
53	41	12	瓶	無色透明	1.8	3.2	6.7	最大幅 3.4	気泡有、型合わせ目（頸下半から底部）、上げ底		完形品
53	42	12	瓶	緑色透明	5.2	3.5	9.3	最大幅 5.4	気泡有、型合わせ目（口縁部と胴部でそれぞれ別の合わせ目有）、上げ底	底部エンボス：「江戸の華」	完形品
53	43	12	容器	白色不透明	4.0	4.2	4.0	最大幅 4.6	型合わせ目（頸から底部）		2/3
53	44	12	化粧瓶	乳白色不透明	4.2	5.0	4.5	最大幅 5.2	型合わせ目（胴から底部）		完形品
53	45	12	化粧瓶	白色不透明	2.8	3.0	5.1		型合わせ目（胴から底部）	底部エンボス：「POLA」「〇の中に K」「9」	完形品
53	46	12	化粧瓶	無色透明	蓋径 1.5 瓶 1.1	蓋 - 瓶 4.4	蓋長 4.3 瓶 9.6	瓶最大幅 5.0		胴部プリント：「N」「NEO POLA」「POLA COSMETICS」	完形品
53	47	12	薬瓶	無色透明	1.6	2.6	7.1	最大幅 3.0	型合わせ目（頸から底部）、上げ底、底部歪み有	外面エンボス：目盛り	完形品
53	48	12	調味料瓶	無色透明	1.8	3.9	8.6	最大幅 3.8	型合わせ目（口縁から底部）、上げ底、口縁部付着物、外側面 12 ヶ所面取り	底部エンボス：「0」「AJINOMOTO」「13」	完形品
53	49	12	瓶	無色透明	3.0	3.2	6.1	最大径 6.0	気泡有、型合わせ目（頸から底部まで 3 分割）、8 角形、口縁部擦り痕、上げ底		完形品
54	50	12	醤油差し	蓋：淡明橙色 瓶：無色透明	蓋 4.2 瓶 2.1	蓋 - 瓶 4.0	蓋 3.2 瓶 9.8	最大幅 6.3	型合わせ目（口縁から底部）、若干上げ底、プラスチック製の蓋、ペンギンを想起させる器形	胴部エンボス：「KikkoMan」 「二重亀甲文の中に萬」外底エンボス：「2･K」	完形品
54	51	12	醤油差し	無色透明	2.3	4.8	9.8	最大幅 6.5	型合わせ目（口縁から底部）、上げ底、胴部 4 ヶ所に円形の窪み有	外底エンボス：「6」or「9」	完形品
54	52	12	小鉢	無色透明	11.0	9.8	4.7	最大幅 12.2	3 ヶ所に型合わせ目（口縁から底部）、上げ底、プレスガラス		完形品
54	53	12	小鉢	無色透明	12.6	6.0	3.0		上げ底、外底面に切り込み文様、プレスガラス		完形品
54	54	12	瓶	緑色透明	5.2	6.1	8.1	最大幅 6.2	気泡有、型合わせ目（胴から底部）、上げ底	底部エンボス：花文様	完形品
54	55	12	瓶	緑色透明	5.3	4.5	9.0	最大幅 6.4	気泡有、型合わせ目（口縁部、頸部から底部）、上げ底		完形品
54	56	12	瓶	緑色透明	5.1	6.0	8.0	最大幅 6.1	気泡有、型合わせ目（胴から底部）、上げ底		完形品
54	57	12	瓶	無色透明	6.2	5.8	7.6	最大幅 7.2	気泡有、上げ底、型合わせ目（頸から底部）		完形品
54	58	12	瓶	緑色透明	4.6	5.0	4.5		気泡有、型合わせ目無し	底部エンボス：的模様＋矢 ヤマトのり	完形品
55	59	12	瓶	無色透明	3.8	4.4	4.9	最大幅 4.8	上げ底		完形品
55	60	12	瓶	青色透明	4.0	4.1	5.0		上げ底、内容物有、金属製の蓋は腐食激しい		完形品
55	61	12	瓶	緑色透明	6.2	6.6	2.9		気泡有、型合わせ目（胴から底部）、上げ底		完形品
55	62	12	蓋	白色不透明	2.6	2.8	2.3		気泡有、型合わせ目（ツマミ部分）、ツマミ以下擦り痕		完形品
57	27	16	不明	白色不透明	6.0	6.3	2.8			外底エンボス：「東京　安藤井筒堂」	完形品
58	7	17	瓶	無色透明	1.6	5.2	12.9	最大幅 6.0	上げ底、型合わせ目（頸から底部）	側面エンボス：目盛り	完形品
58	8	17	丸薬入れ	淡緑色透明	-	-	6.4	最大幅 3.4	型合わせ		口縁一部欠損
58	9	17	瓶	紺色透明	4.6	4.0	8.2	最大幅 5.4	上げ底、型合わせ目（口縁から胴部、胴部から底部）	底部エンボス：「VICKS」「N」「△」「・」「VAPORUB」	完形品
58	10	17	瓶	白色不透明	3.3	3.6	5.1	最大幅 4.0	上げ底、型合わせ目（胴から底部）	底部エンボス：「MENTHOLATUM」「PEG」「TRADE」「MARK」	完形品
58	11	17	瓶	無色透明	1.6	3.6	6.7	最大幅 4.0	上げ底、型合わせ目（口縁から底部）		完形品
58	12	17	瓶	淡緑色透明	1.6	2.2	6.0	最大幅 2.9	上げ底、型合わせ目（口縁から底部）		完形品
62	22	20	ビール瓶	茶褐色半透明	2.5	6.6	28.6	最大幅 8.0	型合わせ目（口縁から底部）	側面エンボス：「キリンビール登録 KB 商標」 底面エンボス：「5」	完形品
62	23	20	瓶	淡緑色透明	2.5	5.5	25.0	最大幅 6.9	型合わせ目（口縁から底部）、上げ底	側面エンボス：「登録 DNB 商標」 「◎　大日本麥酒株式會社製造」 底部エンボス：「☆（二重）の中に◎」「6」	完形品
62	24	20	瓶	淡緑色透明	2.2	5.5	22.9	最大幅 6.6	型合わせ目（口縁から底部）、上げ底	側面エンボス：「DNB」「◎　大日本麥酒株式會社製造」	完形
62	25	20	瓶	茶色透明	-	-	[9.3]				頸部～胴部片

図版番号	no.	出土遺構	器種・器形	色調	法量				技法 / 文様 / その他	備考	遺存度
					口径	底径	器高				
62	26	20	瓶	無色透明	2.0	-	[5.2]		型合わせ目（口縁から頸部）		口縁部～頸部片
62	27	20	瓶	淡緑色透明	4.0	4.9	18.0	最大幅 6.9	型合わせ目（口縁から底部）、上げ底		完形
63	28	20	瓶	無色透明	-	5.3	[17.1]	最大径 6.7			口縁部のみ欠損
63	29	20	茶瓶付属コップ	緑色透明	3.1	4.5	4.4		気泡有		完形
63	30	20	茶瓶付属コップ	淡緑色透明	3.3	4.6	4.6		気泡有	底部エンボス：「☆（二重）の中に◎」	完形
63	31	20	茶瓶	淡緑色透明	2.8	6.8	16.1	最大幅 7.3	型合わせ目（口縁から底部）、上げ底	側面エンボス：「鉄道局御指定」「御茶」「冨岡式茶瓶製造元　大日本麦酒株式會社」	完形
63	32	20	茶瓶	淡褐色透明	2.8	-	[9.7]				口縁～胴部片
63	33	20	ワイングラス	無色透明	-	-	[7.3]				1/4
63	34	20	瓶	無色透明	2.3	4.6	12.2		上げ底、型合わせ目（頸から底部）		完形品
63	35	20	瓶	無色透明	2.0	3.5	8.65	最大幅 4.0	型合わせ目（頸から底部）、上げ底	底部エンボス：トンボと桃のマーク（桃谷順天堂）	完形
63	36	20	瓶	無色透明	2.2	4.0	13.7	最大幅 5.0	上げ底、合わせ目無し		完形
63	37	20	瓶	緑色透明	6.4	6.5	10.4	最大幅 7.1	型合わせ目（胴から底部）、上げ底	側面エンボス：「江戸の華」 底面エンボス：「柳屋製」	完形
63	38	20	瓶	緑色透明	5.2	6.0	8.1	最大幅 6.2	型合わせ目（胴から底部）、上げ底		完形
63	39	20	瓶	無色透明	2.6	3.4	9.6	最大幅 4.4	上げ底、口縁から頸部擦りガラス		完形
63	40	20	瓶	無色透明	1.5	2.9	7.5		型合わせ目（頸から底部）、上げ底	側面エンボス：「志らが赤毛染」「ナイス」 底部エンボス：「T.M」	完形
63	41	20	化粧瓶	乳白色不透明	4.4	5.0	4.4		型合わせ目（胴から底部）		完形
63	42	20	インク瓶	緑色透明	2.2	4.1	5.6	最大幅 4.6	型合わせ目（頸から底部）	底部エンボス：「M」（丸善）	完形
64	43	20	瓶	無色透明	1.7	3.4	8.0	最大幅 3.7	型合わせ目（頸から底部）、上げ底	側面エンボス：「東京薬院」「テーム水」	完形
64	44	20	薬瓶	茶色透明	1.1	1.7	5.4	最大幅 1.8	型合わせ目（頸から底部）、上げ底	側面エンボス：「雨宮ケレオ」「はぐすり」	完形
64	45	20	目薬瓶	無色透明	1.2	0.5	6.2	最大幅 2.2			ほぼ完形
64	46	20	薬瓶	無色透明	1.8	4.0	9.65	最大幅 4.7	型合わせ目（頸から底部）、上げ底	側面エンボス：目盛り、「鎌倉小児科院」	完形
64	47	20	薬瓶	無色透明	1.7	3.4	9.0	最大幅 3.9	型合わせ目（頸から底部）、上げ底	側面エンボス：目盛り、「鎌倉小児科院」	完形
64	48	20	薬瓶	無色透明	2.2	5.4	11.9	最大幅 5.9	上げ底、型合わせ目（頸から底部）	側面エンボス：目盛り	完形
64	49	20	瓶	水青色透明	-	-	[7.1]				頸部～底部片
64	50	20	瓶	無色透明	6.4	6.7	15.1	最大幅 6.7	上げ底、型合わせ目（頸から底部）		完形品
64	51	20	瓶	無色透明	5.4	5.6	7.5	最大幅 5.9	型合わせ目（胴から底部）、上げ底		完形品
64	52	20	瓶	暗褐色透明	1.4	-	[3.5]	最大幅 3.3			口縁～胴部片
64	53	20	蓋	無色透明	5.4	6.3	2.7	最大幅 6.7			完形
64	54	20	蓋	緑色透明	-	最大幅 2.7	4.9	蓋下部径 1.0	型合わせ、下部擦りガラス		完形品
64	55	20	蓋	無色透明	上部径 3.9	下部径 2.3	2.7		下部擦りガラス		完形

表７　近代遺物その他観察表

図番号	no.	出土遺構	器種	材質	法量			顔料：釉色調：胎土等	技法 / 文様 / その他	備考	遺存度
					長さ	幅	厚さ				
46	2	5～8	ボトル栓		6.7	5.6	2.7		栓：磁器		ほぼ完形
51	31	12	火鉢	土製品	-	-	[19.7]	胎土：微砂、雲母、小石 瓦器質			口縁部片
51	32	12	植木鉢	土製品	(12.4)	-	[9.4]	橙色。胎土：雲母　角閃石、砂、精緻	焼成：良好		口縁部片
51	33	12	角コンロ	土製品	20.3	-	[19.2]	明赤灰色。胎土：赤色粒、雲母、長石粒	焼成：良好 内面：底部被熱		中身
51	34	12	角コンロ	土製品	長 24.1	幅 24.1	21.9	明赤灰色。胎土：赤色粒、雲母、長石粒	焼成：良好。内面：ナデ、部分的に指頭調整。外面：磨き		外身
55	63	12	薬莢	金属製品	-	2.3	5.4			銘：「MANDOLIN」	
55	64	12	髪飾りか	鼈甲製品	長 9.6	幅 2.1	厚 0.2		樹脂。金属のようなものが付着		
55	65	12	蓋	プラスチック製	径 3.4		1.7		プラスチック製、赤色	ヤマサ醤油のエンボス	
55	66	12	蓋	プラスチック製	径 3.2		1.5		プラスチック製、青色 同型の蓋緑色のもの１点あり	蓋：印有	
55	67	12	玩具	プラスチック製	4.2	4.2	4.2		プラスチック製、黄地に青で 文字のプリント、中に内容物有	「よ」「む」「う」「く」「ぞ」「ぎ」	完形
57	26	16	植木鉢	土製品	-	5.0	[4.2]	胎土：微砂、雲母 色調：橙色 焼成：良好			体部～底部片
57	28	16	アルミ缶	金属製品	径 5.5	-	13.2			コカ・コーラ	
57	29	16	不明	プラスチック製	-	幅 4.2	高さ 2.8		緑色、カエル		
64	56	20	スイッチ	銅製品 陶器	直径 6.0	-	3.2		菊座・スイッチ：銅製 ソケット：陶器	底部エンボス：「5A25OV」	
64	57	20	ライター	プラスチック製	径 1.8	-	8.2		上部：白色不透明 体部：紫色透明　底部脇：黒色		ほぼ完形

１．　１区第 1a 面全景（西から）

２．　２区第 1a 面全景（南から）

３．　１区第 1b 面全景（西から）

４．　２区第 1b 面全景（南から）

５．　１区第２面全景（西から）

６．　２区第２面全景（南から）

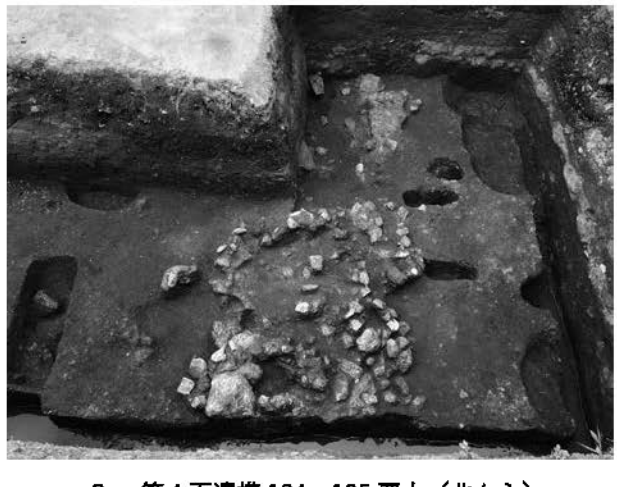
１．１区第３面全景（西から）

２．２区第３面全景（南から）

３．１区第４面全景（西から）

４．２区第４面全景（北から）

５．第４面遺構 190（北から）



３．第４面遺構 194・195 覆土（北から）

1． 第 4 面遺構 194 完掘（北から）

2． 第 4 面遺構 195 遺物出土状況（西から）

3． 1 区第 5 面全景（西から）

4． 2 区第 5 面全景（南から）

5． 第 5 面遺構 235（北から）

6． 2 区第 5 面南部遺構（南から）

1．第 5 面遺構 237（南から）

2．第 5 面遺構 239（北から）

3．第 5 面遺構 240・241（東から）

4．第 5 面遺構 240（西から）

5．第 5 面遺構 242（北から）

6．第 5 面遺構 242 完掘（東から）

1． 1区第 6a 面全景（西から）

2． 2区第 6a 面全景（南から）

3． 1区第 6a 面東部（西南から）

4． 第 6a 面遺構 279（北から）

5． 1区第 6b 面全景（西から）

6． 2区第 6b 面全景（南から）

1． 1 区第 6b 面全景（西から）

2． 2 区第 6b 面全景（南から）

3． 1 区第 6c 面全景（西から）

4． 2 区第 6c 面全景（南から）

5． 第 6c 面遺構 332（西から）

1． 1区第 7a 面全景（西から）

2． 2区第 7a 面全景（南から）

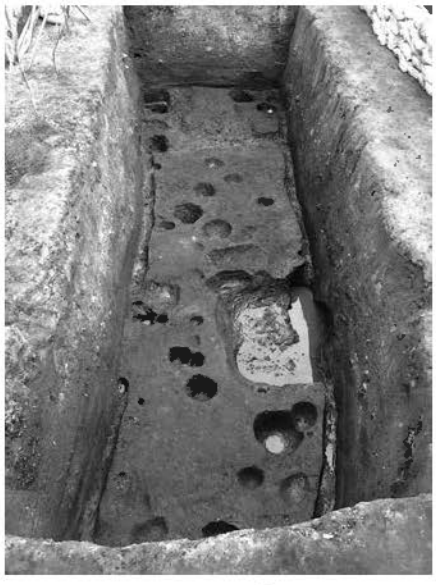
3． 第 7a 面遺構 367（南から）

4． 2第 7b 面全景（南から）

5． 第 7b 面遺構 383・384（北から）

5． 第 7b 面遺構 393（西から）

１．１区第８面全景（西から）



２．２区第８面全景（南から）

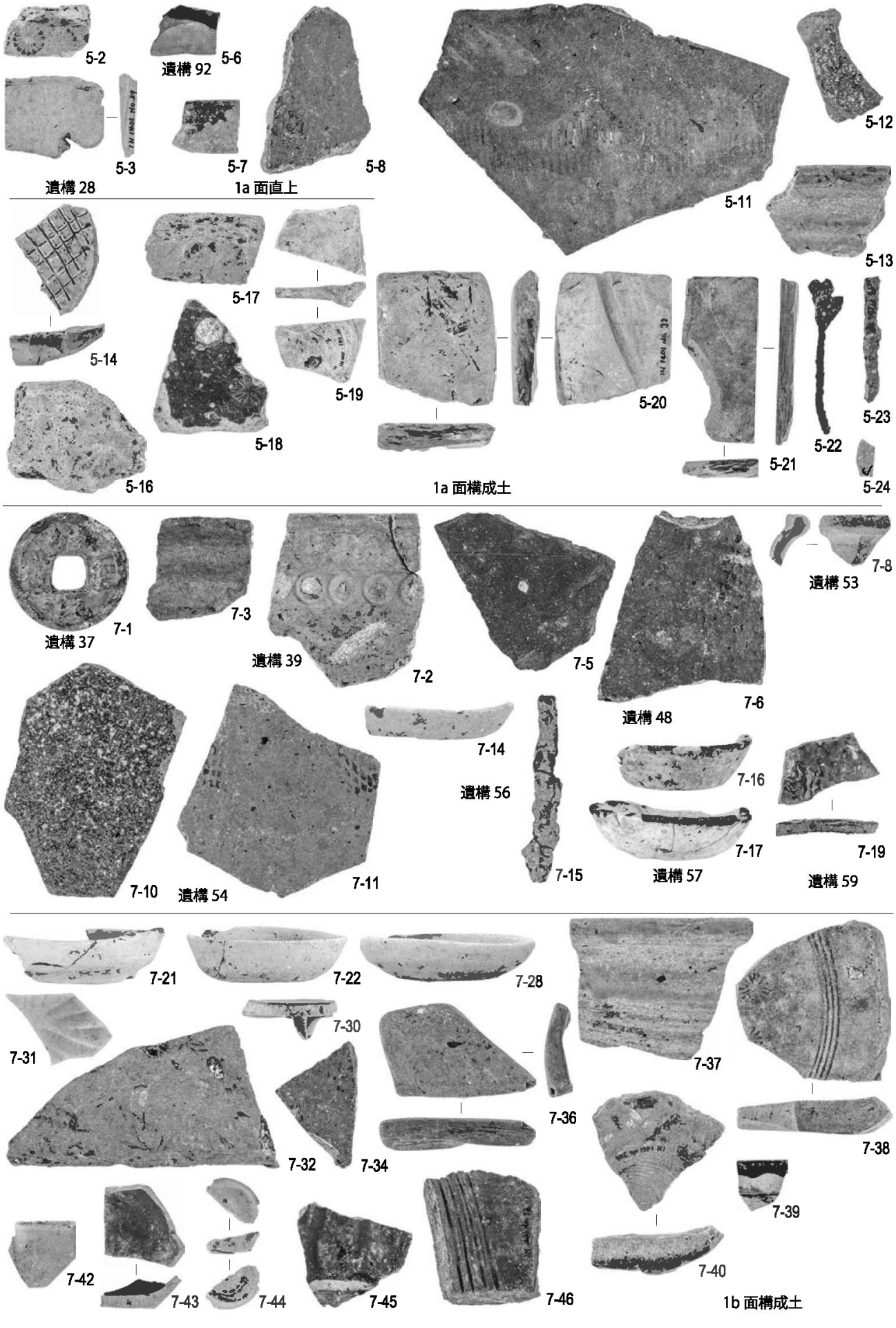
３．第８面遺構 419.420（北から）

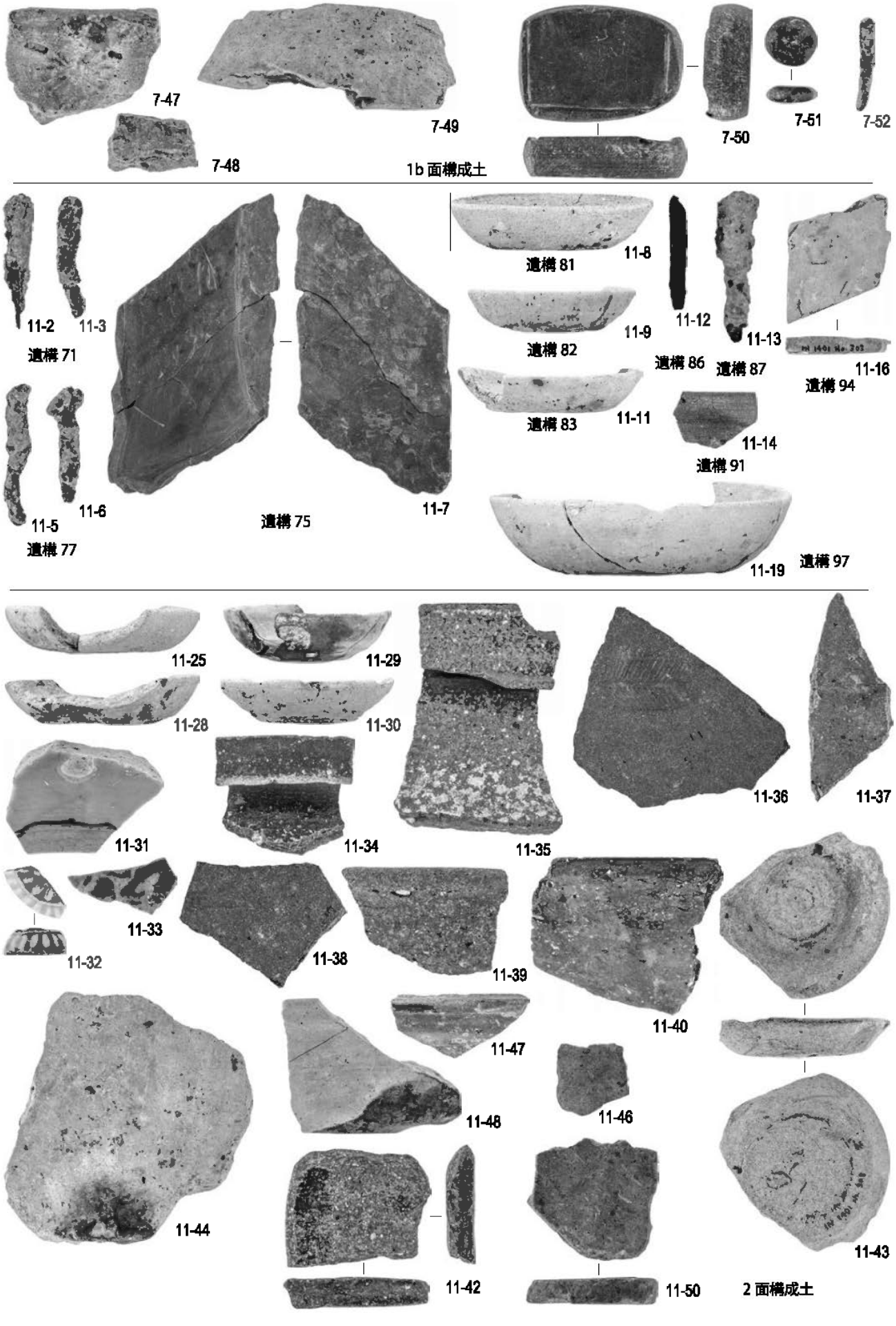
４．第８面遺構 427（南から）

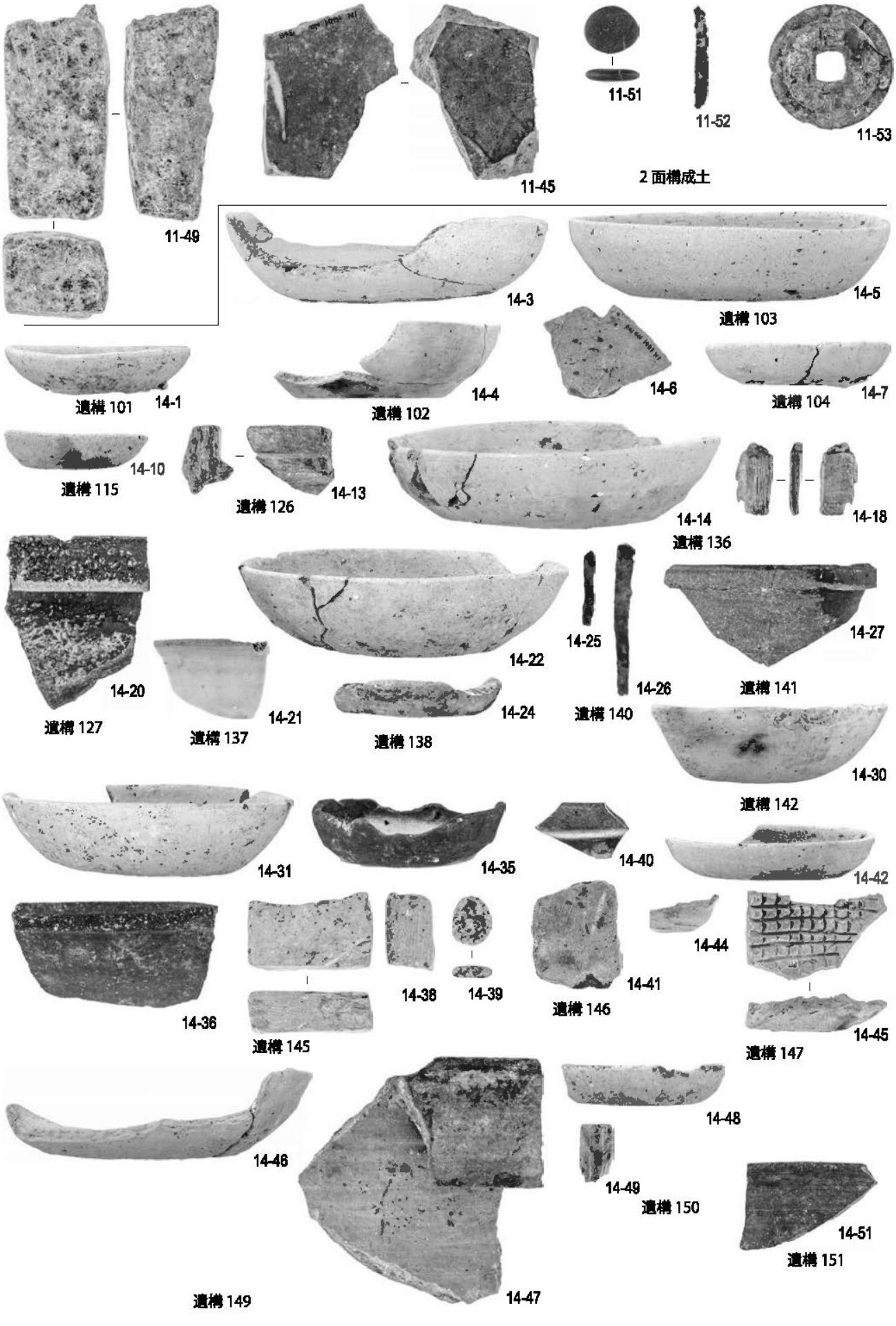
５．２区東壁セクション（西から）

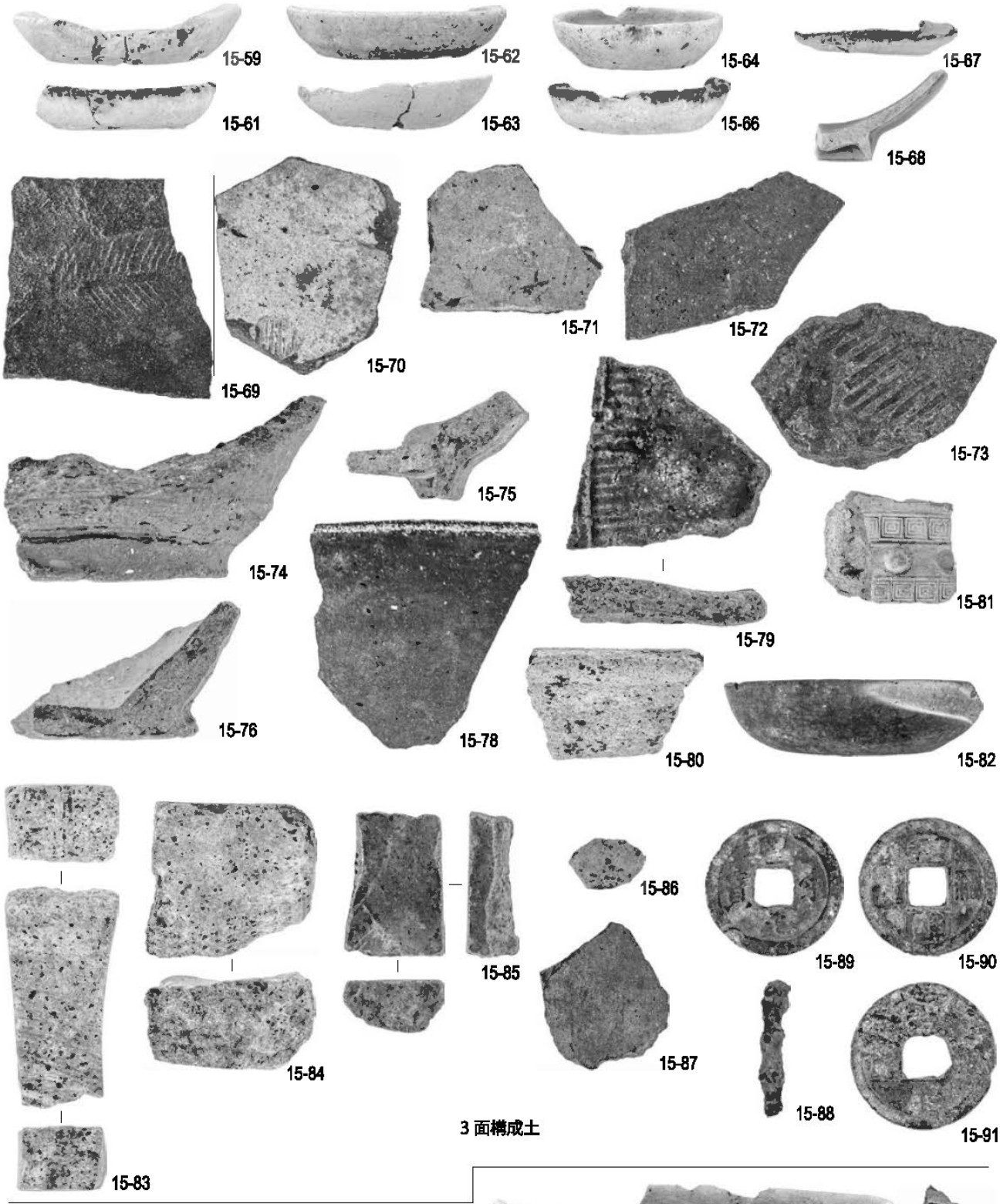
６．２区南壁セクション（北から）

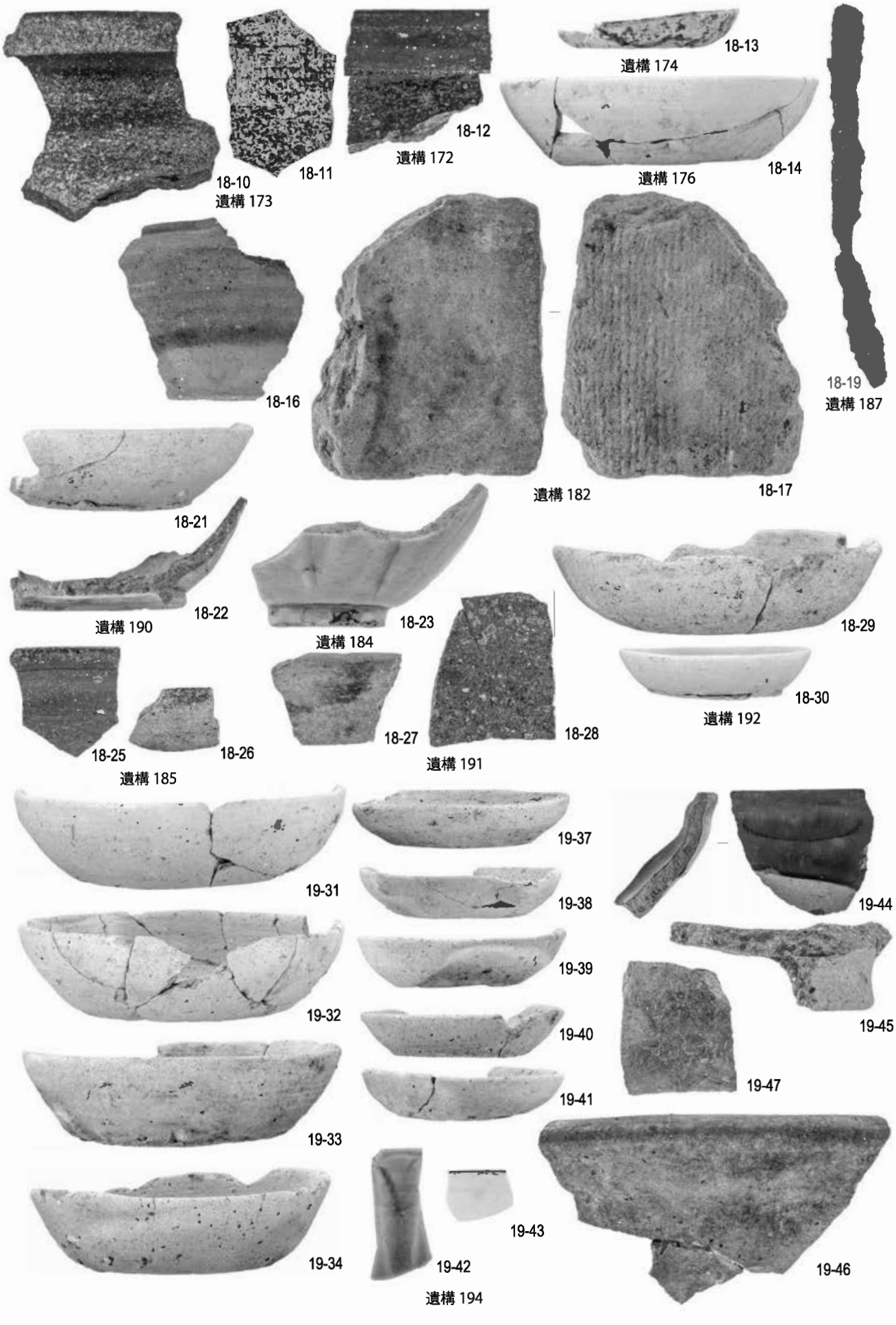
７．１区南壁セクション（北から）

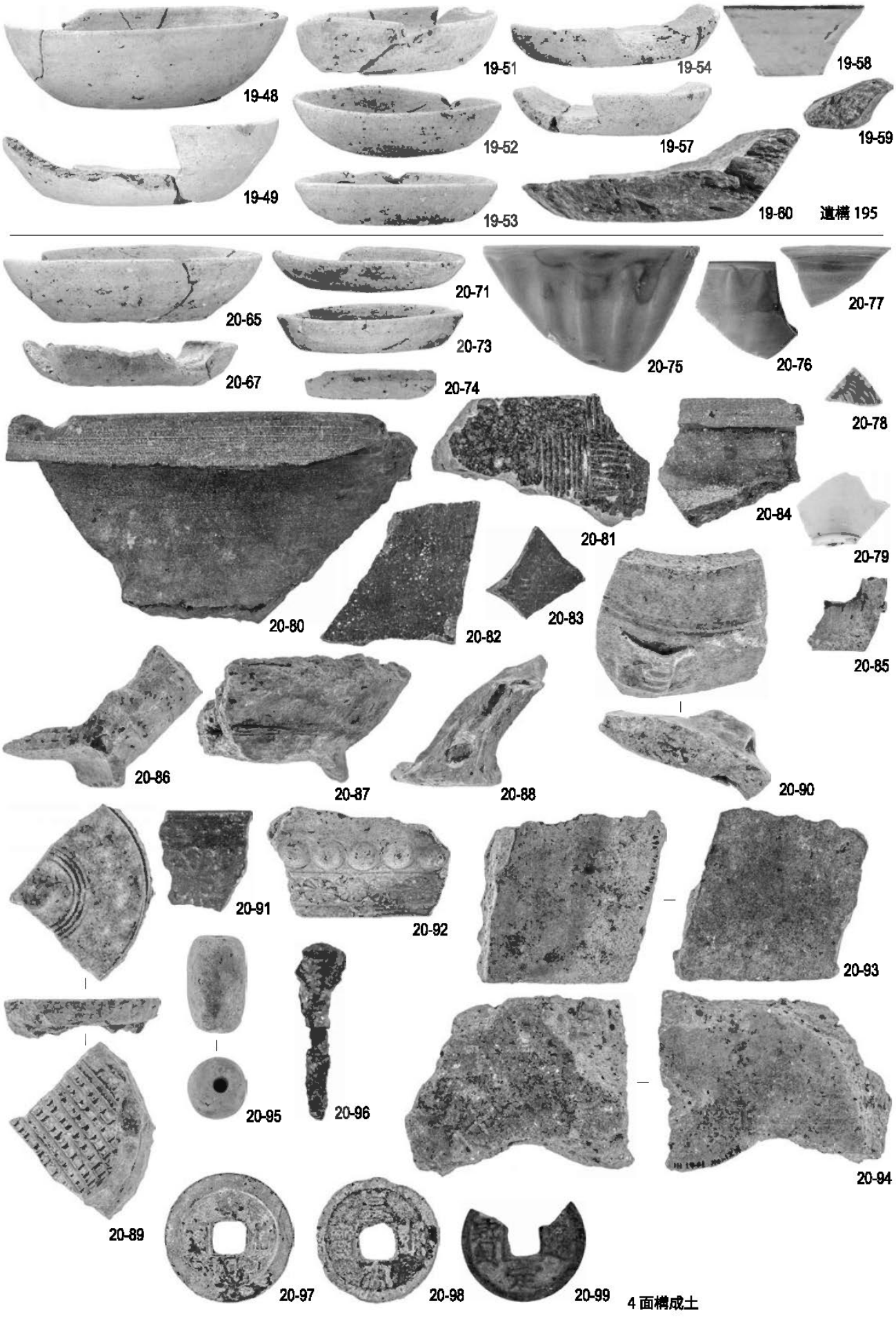

5-2
5-3
遺構 28
遺構 92
5-6
5-7
5-8
1a 面直上
5-11
5-12
5-13
5-14
5-16
5-17
5-18
5-19
5-20
5-21
5-22
5-23
5-24
1a 面構成土
7-1
遺構 37
7-3
遺構 39
7-2
7-5
7-6
遺構 48
7-8
遺構 53
7-10
遺構 54
7-11
7-14
遺構 56
7-15
7-16
7-17
遺構 57
7-19
遺構 59
7-21
7-22
7-28
7-30
7-31
7-32
7-34
7-36
7-37
7-38
7-39
7-40
7-42
7-43
7-44
7-45
7-46
1b 面構成土

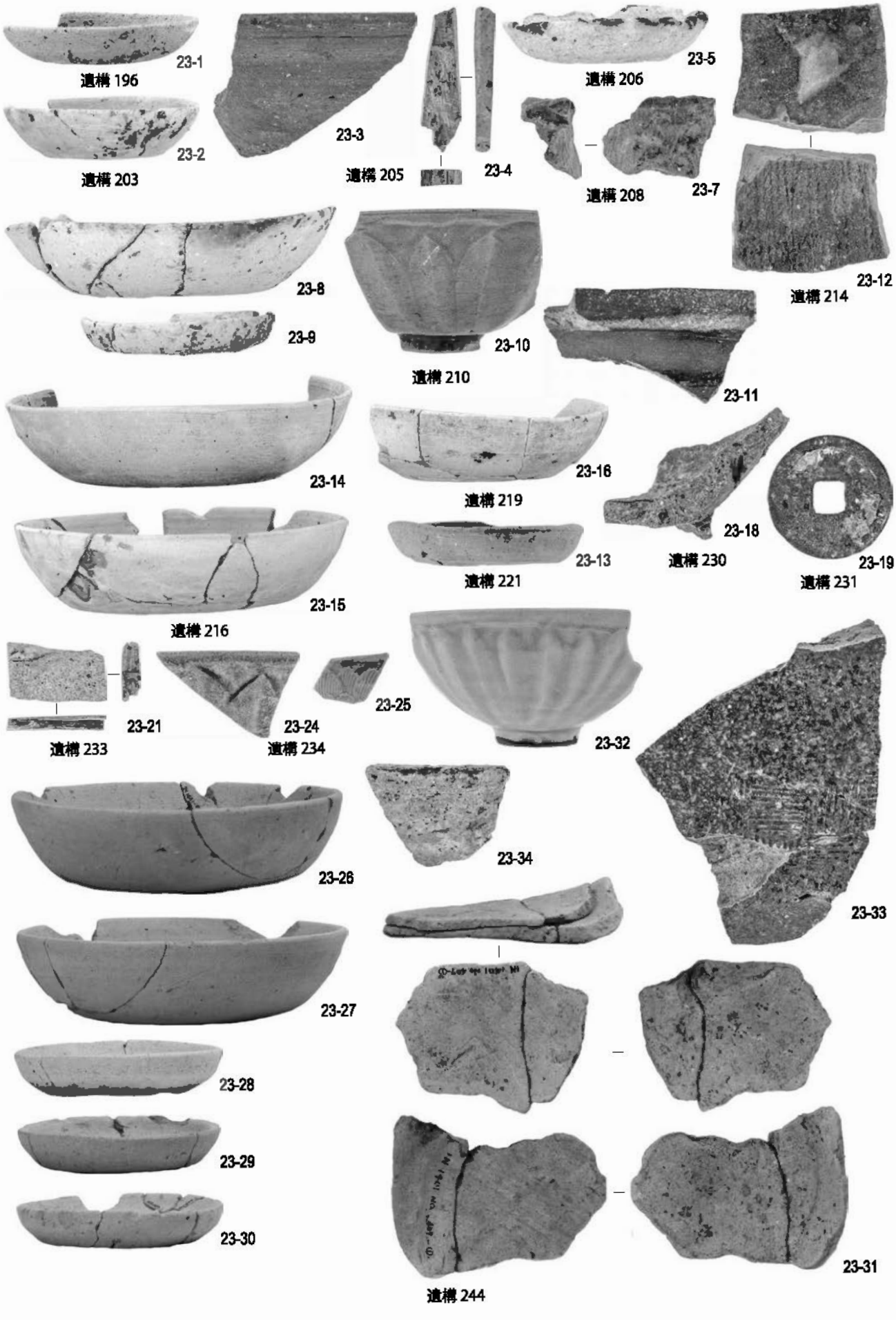

7-47
7-48
7-49
1b 面構成土
7-50
7-51
7-52
11-2
11-3
遺構 71
11-5
11-6
遺構 77
遺構 75
11-7
遺構 81
11-8
遺構 82
11-9
遺構 83
11-11
11-12
遺構 86
11-13
遺構 87
11-14
遺構 91
11-16
遺構 94
11-19
遺構 97
11-25
11-28
11-29
11-30
11-31
11-32
11-33
11-34
11-35
11-36
11-37
11-38
11-39
11-40
11-42
11-43
11-44
11-46
11-47
11-48
11-50
2 面構成土

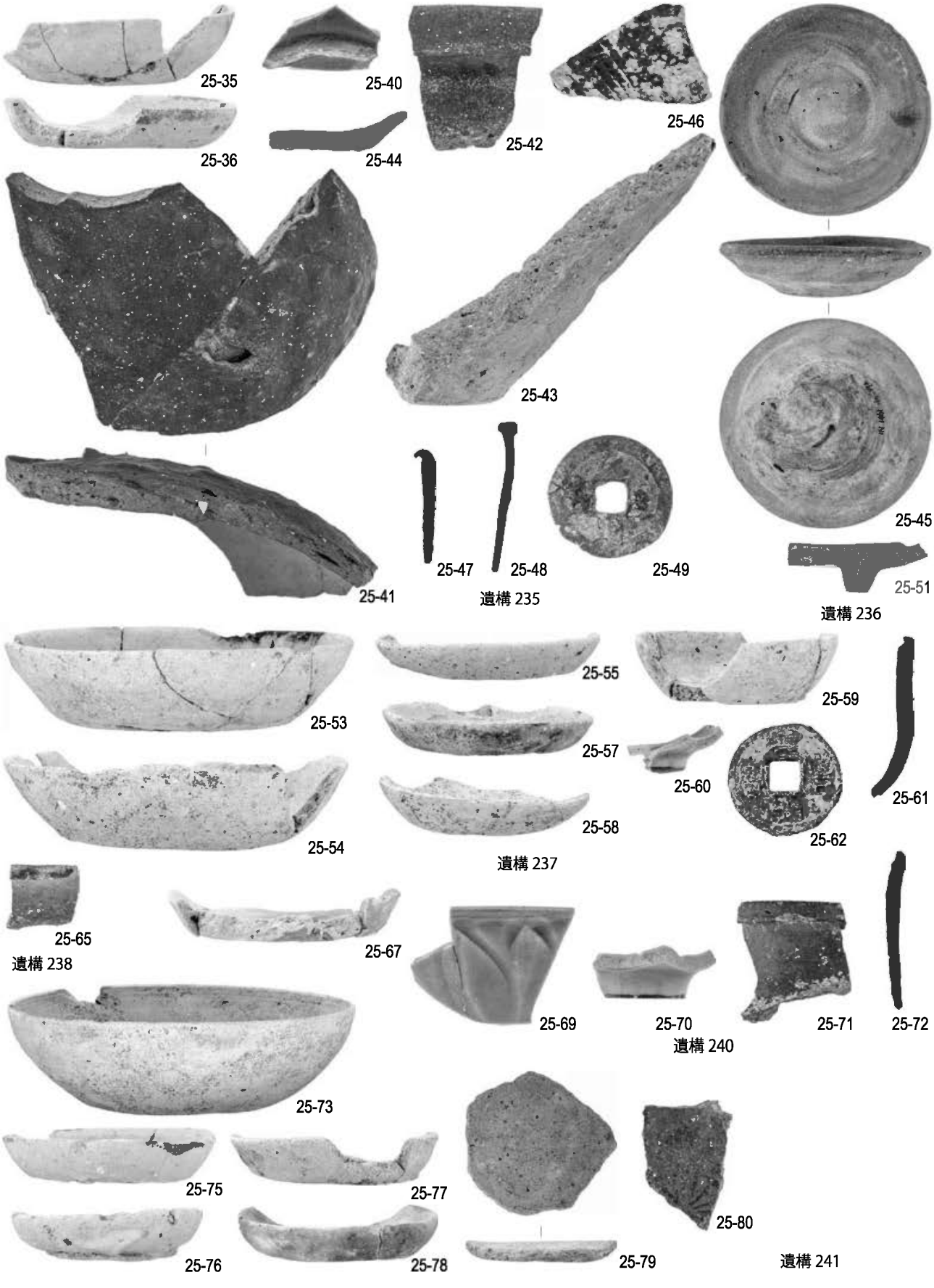

11-49
11-45
11-51
11-52
11-53
2 面構成土
14-3
14-5
遺構 103
遺構 101
14-1
14-4
遺構 102
14-6
14-7
遺構 104
14-10
遺構 115
遺構 126
14-13
14-14
遺構 136
14-18
14-20
遺構 127
14-22
14-25
14-26
遺構 140
14-27
遺構 141
14-21
遺構 137
14-24
遺構 138
14-30
遺構 142
14-31
14-35
14-40
14-42
14-36
14-38
14-39
14-41
遺構 146
14-44
14-45
遺構 147
遺構 145
14-46
14-48
14-49
遺構 150
14-51
遺構 151
14-47
遺構 149


15-59
15-62
15-64
15-67
15-61
15-63
15-66
15-68
15-69
15-70
15-71
15-72
15-73
15-74
15-75
15-81
15-79
15-76
15-78
15-80
15-82
15-84
15-85
15-86
15-89
15-90
15-87
15-88
15-91
15-83
3 面構成土
遺構 152
18-2
18-4
18-5
18-7
18-9
遺構 161
18-3
遺構 162
遺構 165
18-6
18-8
遺構 168
遺構 171

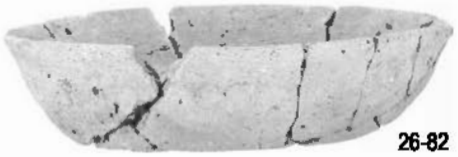

18-10
遺構 173
18-11
18-12
遺構 172
18-13
遺構 174
遺構 176
18-14
18-19
遺構 187
18-16
遺構 182
18-17
18-21
18-22
遺構 190
18-23
遺構 184
18-29
18-30
遺構 192
18-25
18-26
遺構 185
18-27
18-28
遺構 191
19-31
19-37
19-44
19-38
19-32
19-39
19-45
19-40
19-47
19-41
19-33
19-43
19-46
19-34
19-42
遺構 194


19-48
19-51
19-54
19-58
19-52
19-57
19-59
19-49
19-53
19-60
遺構 195
20-65
20-71
20-75
20-77
20-73
20-76
20-67
20-74
20-78
20-80
20-81
20-84
20-79
20-82
20-83
20-85
20-86
20-87
20-88
20-90
20-91
20-92
20-93
20-95
20-96
20-94
20-89
20-97
20-98
20-99
4 面構成土

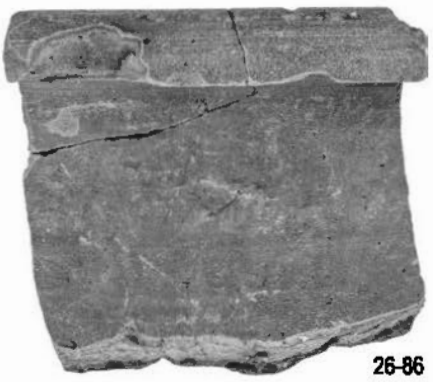

23-1
遺構 196
23-2
遺構 203
23-3
遺構 205
23-4
23-5
遺構 206
遺構 208
23-7
23-12
遺構 214
23-8
23-9
23-10
遺構 210
23-11
23-14
23-16
遺構 219
23-18
遺構 230
23-19
遺構 231
23-13
遺構 221
23-15
遺構 216
23-21
遺構 233
23-24
遺構 234
23-25
23-32
23-33
23-34
23-26
23-27
23-28
23-29
23-30
23-31
遺構 244

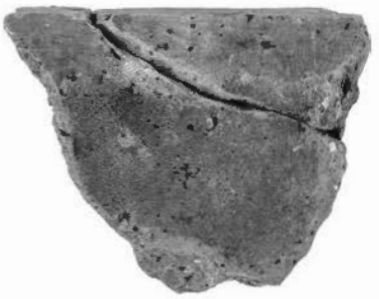

25-35
25-36
25-40
25-44
25-42
25-46
25-43
25-41
25-47
25-48
25-49
遺構 235
25-45
25-51
遺構 236
25-53
25-54
25-55
25-57
25-58
25-59
25-60
25-61
25-62
遺構 237
25-65
遺構 238
25-67
25-69
25-70
25-71
25-72
遺構 240
25-73
25-75
25-76
25-77
25-78
25-79
25-80
遺構 241

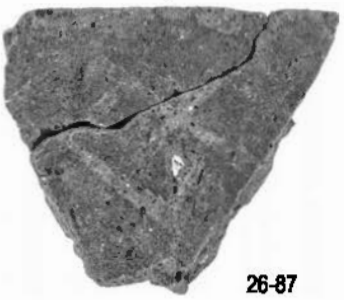
26-81

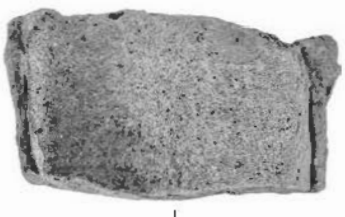

26-82

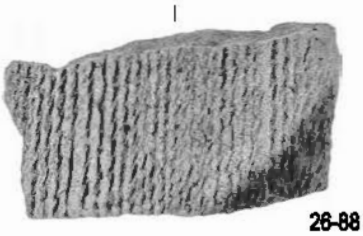
26-85


26-86

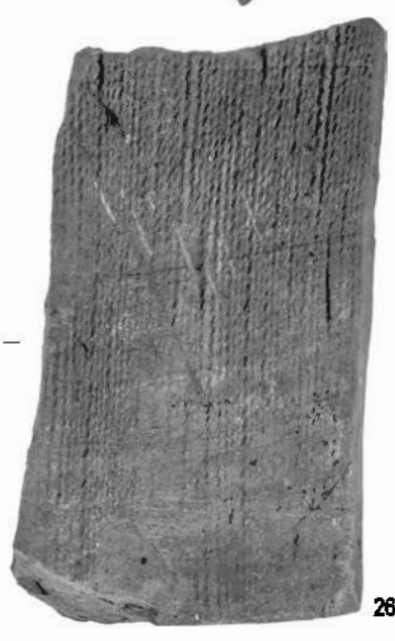



26-87

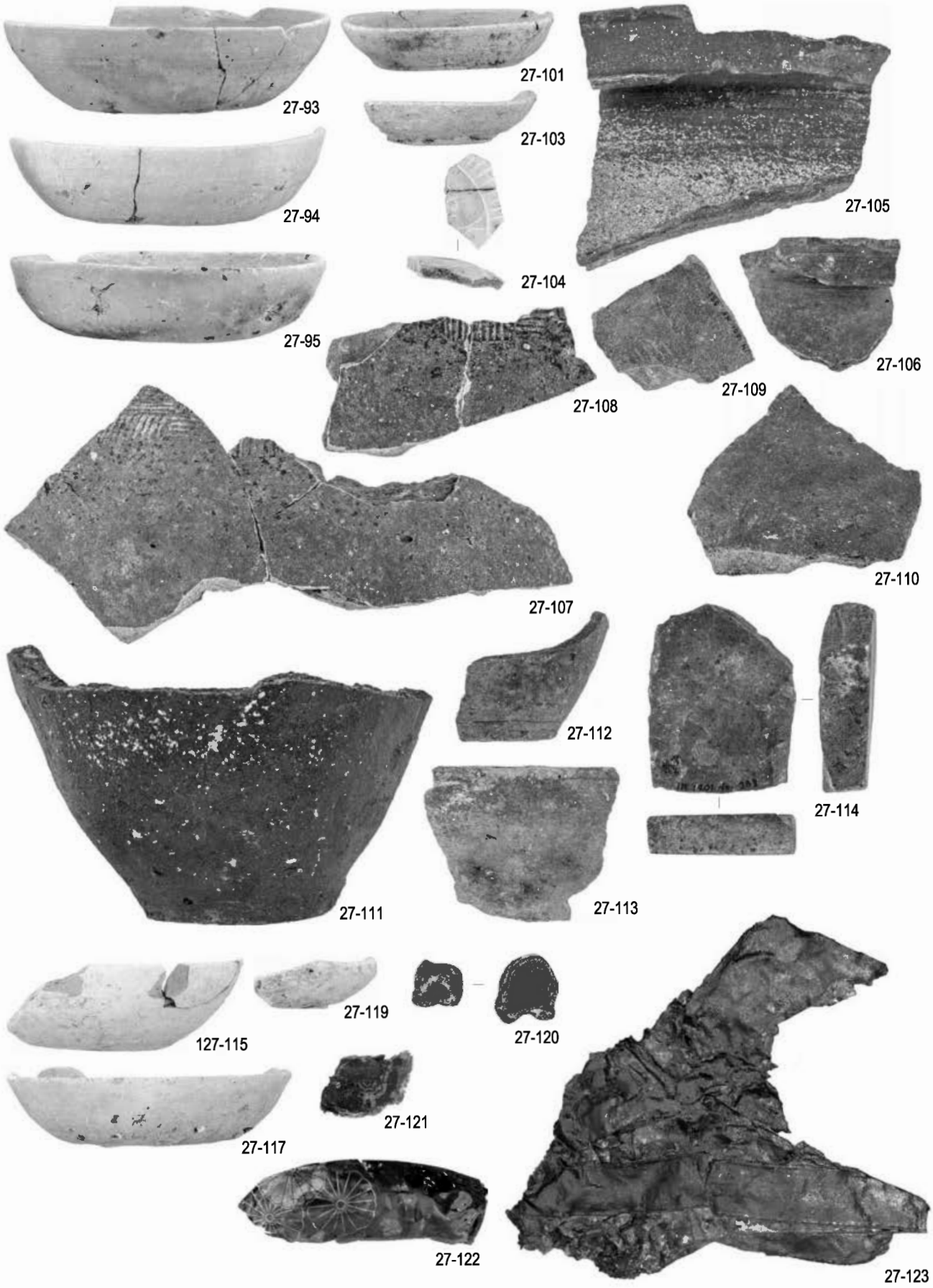



26-88

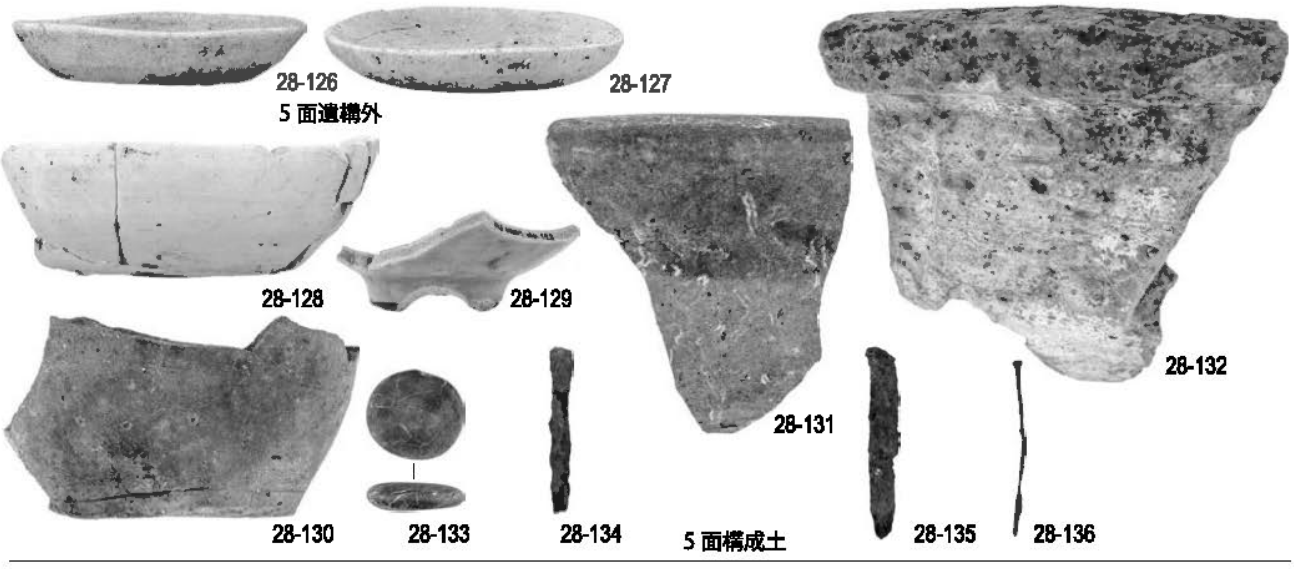
26-89

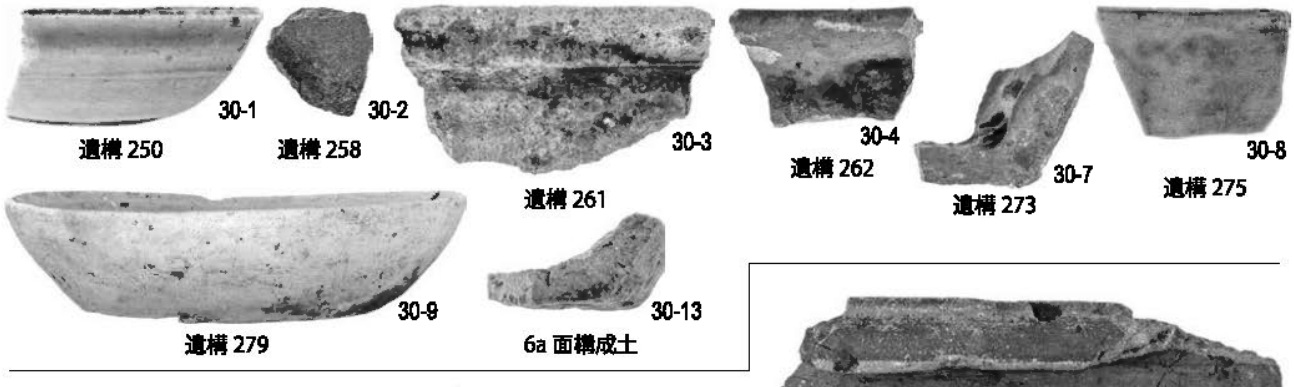

26-90

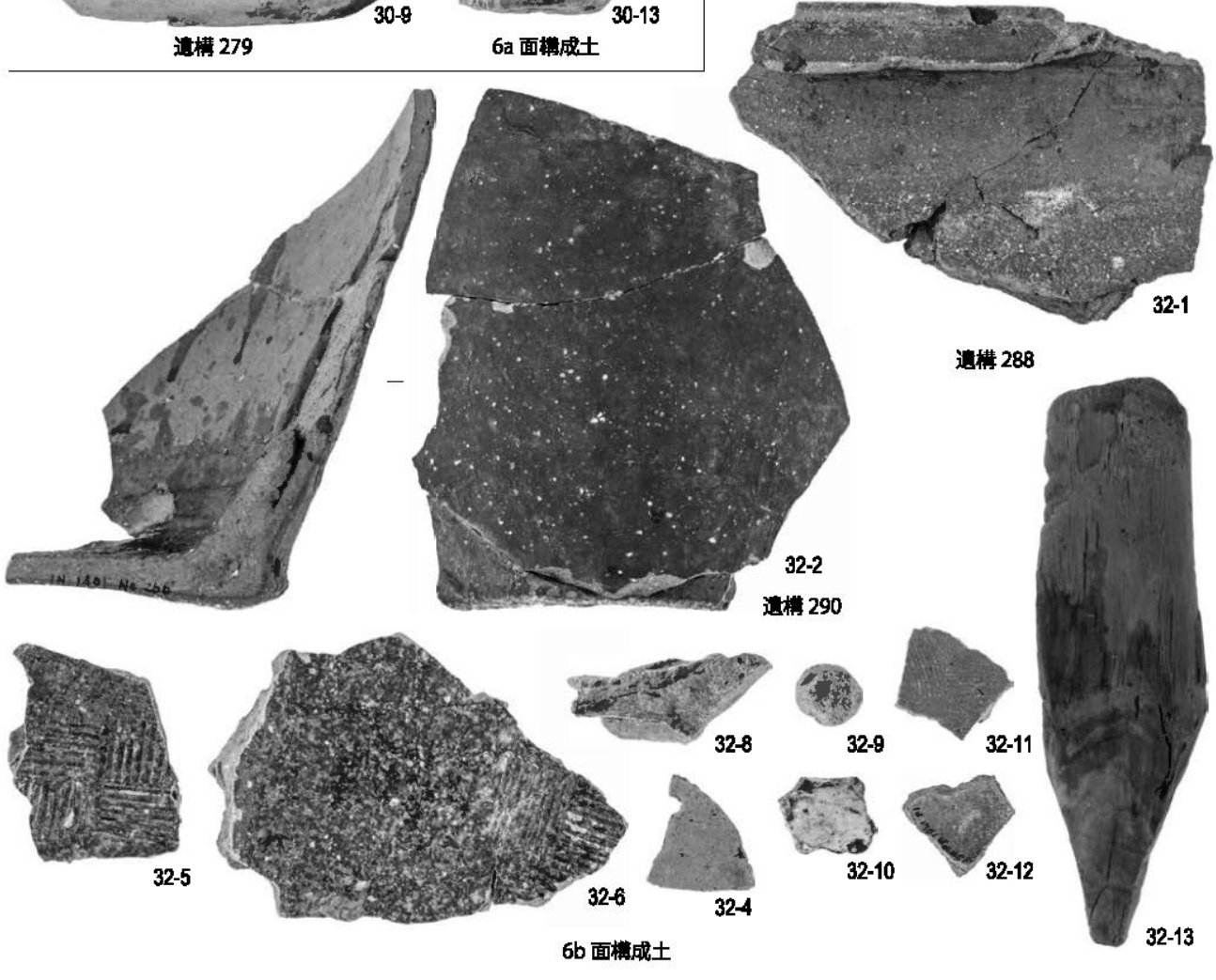
遺構 239

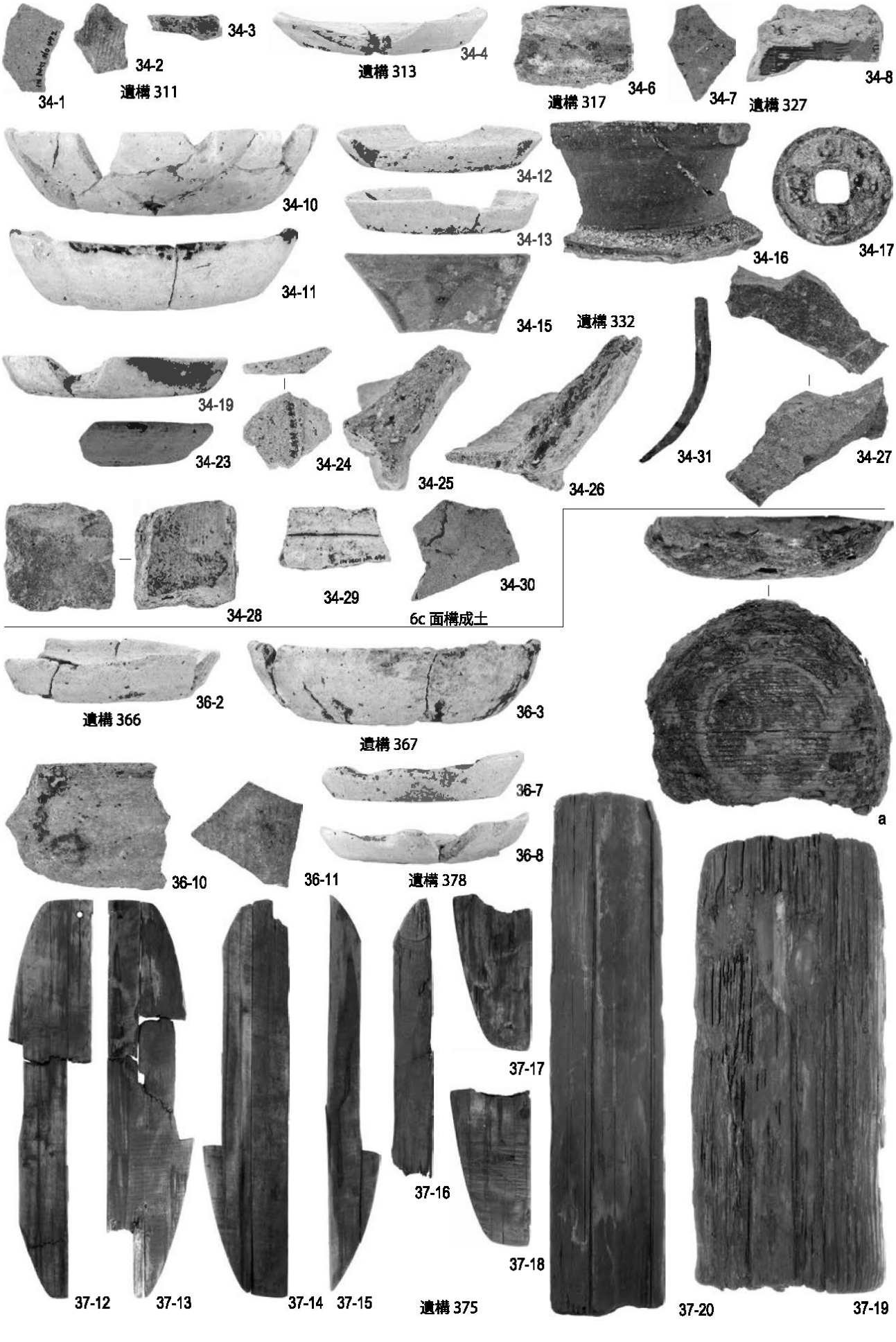

27-93
27-101
27-103
27-105
27-94
27-104
27-95
27-106
27-109
27-108
27-110
27-107
27-112
27-114
27-111
27-113
27-119
127-115
27-120
27-121
27-117
27-122
27-123

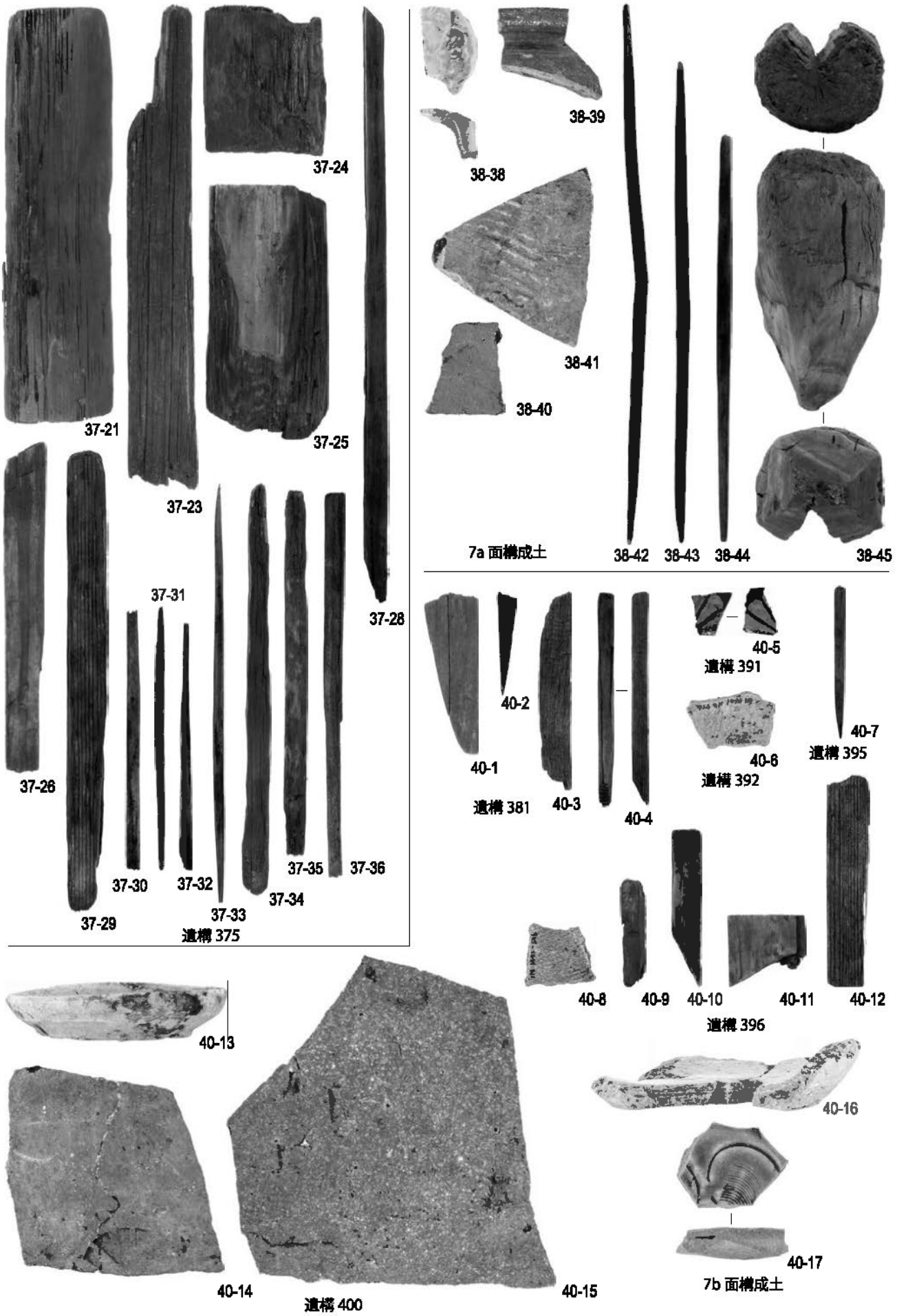
遺構 242

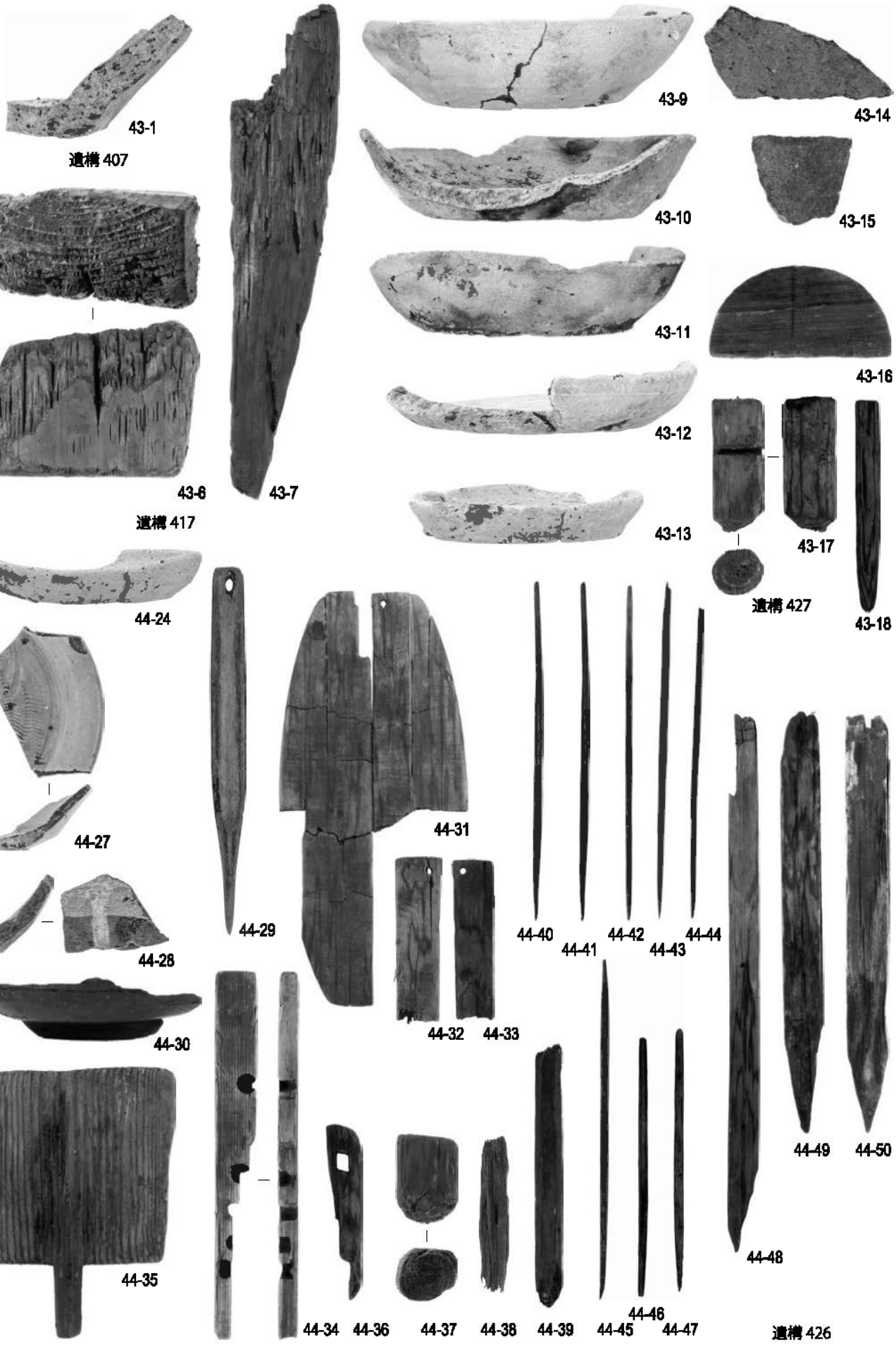

28-126
28-127
5 面遺構外
28-128
28-129
28-132
28-131
28-130
28-133
28-134
5 面構成土
28-135
28-136

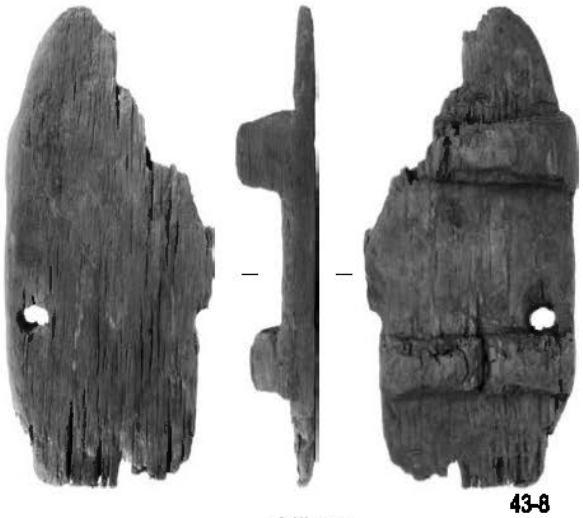

30-1
30-2
30-3
30-4
30-7
30-8
遺構 250
遺構 258
遺構 261
遺構 262
遺構 273
遺構 275
30-9
30-13
遺構 279
6a 面構成土


32-1
遺構 288
32-2
遺構 290
32-8
32-9
32-11
32-5
32-6
32-4
32-10
32-12
32-13
6b 面構成土


34-1
34-2
遺構 311
34-3
34-4
遺構 313
遺構 317
34-6
34-7
遺構 327
34-8
34-10
34-11
34-12
34-13
34-15
遺構 332
34-16
34-17
34-19
34-23
34-24
34-25
34-26
34-31
34-27
34-28
34-29
34-30
6c 面構成土
a
遺構 366
36-2
遺構 367
36-3
36-7
36-8
36-10
36-11
遺構 378
37-17
37-16
37-18
37-12
37-13
37-14
37-15
遺構 375
37-20
37-19


37-21
37-24
37-25
37-23
37-28
37-26
37-31
37-30
37-32
37-33
37-34
37-35
37-36
37-29
遺構 375
38-39
38-38
38-41
38-40
7a 面構成土
38-42
38-43
38-44
38-45
40-5
遺構 391
40-2
40-1
遺構 381
40-3
40-4
40-6
遺構 392
40-7
遺構 395
40-8
40-9
40-10
40-11
40-12
遺構 396
40-13
40-14
遺構 400
40-15
40-16
40-17
7b 面構成土


43-1
遺構 407
43-6
遺構 417
43-7
43-9
43-10
43-11
43-12
43-13
43-14
43-15
43-16
43-17
遺構 427
43-18
44-24
44-27
44-28
44-29
44-30
44-31
44-32
44-33
44-35
44-40
44-41
44-42
44-43
44-44
44-34
44-36
44-37
44-38
44-39
44-45
44-46
44-47
44-48
44-49
44-50
遺構 426

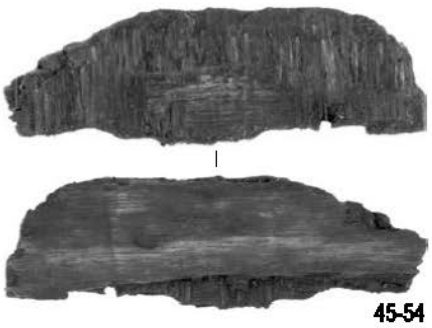


43-8

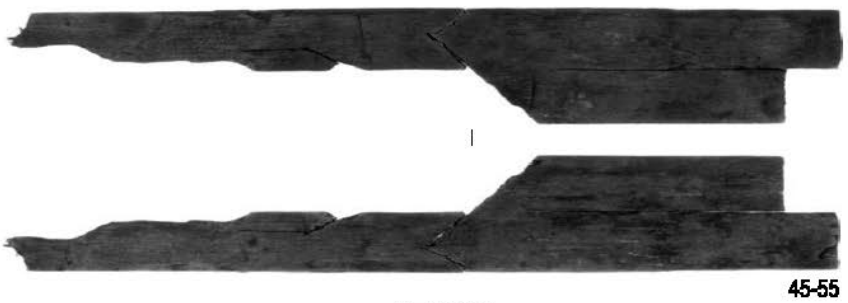
遺構 425

45-52

45-53



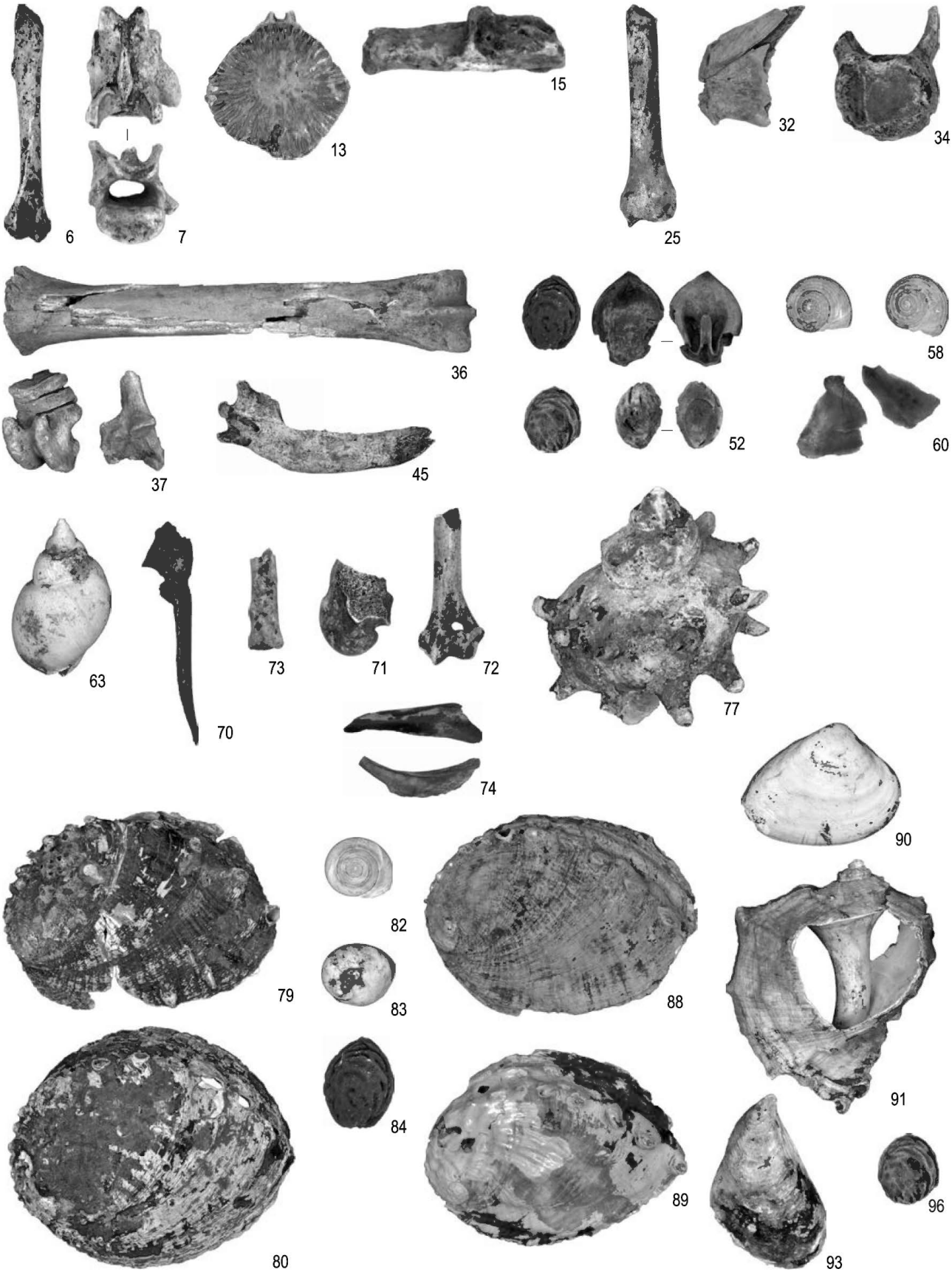
45-54



45-55

8 面遺構外

写真図版 24


6
7
13
15
25
32
34
36
37
45
52
58
60
63
70
73
71
72
77
74
90
79
82
83
88
91
80
84
89
93
96

田楽辻子周辺遺跡（No.33）

浄明寺一丁目590番2地点

例　言

1．本報告は、鎌倉市浄明寺一丁目590番2において実施した、田楽辻子周辺遺跡（鎌倉市No.33）の発掘調査報告である。

2．発掘調査は平成30年2月16日から同年4月26日にかけて、個人専用住宅の建設に伴う国庫補助事業として鎌倉市教育委員会文化財課が実施した。調査の対象面積は、41.06㎡である。

3．発掘調査体制は、以下のとおりである。

調査担当者　　押木弘己（鎌倉市文化財課 臨時的任用職員）

調　査　員　　岡本夏菜、神田倫子、渡邊美佐子（鎌倉市文化財課 臨時的任用職員）

作　業　員　　鯉沼　稔、吉澤　功、寺尾征夫、星　栄人、遠藤雅廣、松澤和通

（公益社団法人 鎌倉市シルバー人材センター 文化財班）

整理作業参加者　押木弘己、神田倫子（鎌倉市文化財課 臨時的任用職員）

4．本報告の作成は、以下の分担で行った。

本文執筆・編集　　押木

遺物実測・挿図作成　　神田

遺構挿図・写真図版作成、遺物撮影・写真図版作成、遺物観察表・カウント表作成　押木

5．本調査に係わる出土遺物および各種記録類は、鎌倉市教育委員会が保管している。本調査地の略称は市教育委員会の統一基準に従って「ＤＺ１７０５」とし、出土品への注記などに使用した。

凡　例

1．挿図の縮尺は、遺構・遺物ともに図中に表示している。

2．本書中に記載した国土座標値は、世界測地系（第Ⅸ系：東日本大震災後の補正前）に基づいている。

3．挿図に示した方位標は座標北（Ｙ軸）で、真北はこれより0°09′25″ほど東に振れている。

4．遺構挿図中の水糸高は、海抜値を示す。

5．出土遺物の年代観は以下の文献を参考としたが、筆者が各所見を理解し切れていない部分もある。

◆かわらけ・遺物全体の様相：宗臺秀明　2005「中世鎌倉の土器・陶磁器」『全国シンポジウム　中世窯業の諸相～生産技術の展開と編年～資料集』

◆輸入陶磁器：『大宰府条坊跡ＸＶ―陶磁器分類編―』太宰府市教育委員会　2000

◆瀬戸窯製品：藤澤良祐　2008『中世瀬戸窯の研究』高志書院

◆常滑・渥美窯製品：『愛知県史』別編窯業3　中世・近世常滑系　愛知県　2012

◆瓦質土器：河野眞知郎　1993「中世鎌倉火鉢考－東国との関連において-」

『考古論叢神奈河』第２集　神奈川県考古学会

本文目次

第一章　遺跡の位置と歴史的環境

第１節　遺跡の立地・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・425

第２節　周辺の調査成果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・425

第二章　調査の方法と経過

第１節　調査に至る経緯・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・427

第２節　調査の方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・429

第３節　調査の経過・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・429

第三章　基本土層・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・429

第四章　検出遺構と出土遺物

第１節　検出遺構・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・431

第２節　出土遺物・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・443

第五章　調査成果のまとめ

第１節　遺構の年代観と変遷・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・450

第２節　5a 面の玉石敷きについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・451

挿図目次

図１　調査地点の位置・・・・・・・・・・・426

図２　国土座標移動図および調査区配置図・428

図３　土層断面図・・・・・・・・・・・・430

図４　１面全体図・・・・・・・・・・・・・432

図５　２面全体図・・・・・・・・・・・・・433

図６　３面全体図・・・・・・・・・・・・・434

図７　４面全体図・・・・・・・・・・・・・435

図８　5a 面全体図・・・・・・・・・・・・436

図９　5b 面全体図・・・・・・・・・・・・・438

図 10　６面全体図・・・・・・・・・・・・・440

図 11　６面下全体図・・・・・・・・・・・441

図 12　出土遺物（1）・・・・・・・・・・・442

図 13　出土遺物（2）・・・・・・・・・・・443

表目次

表１　田楽辻子周辺遺跡の調査地点・・・・426

表２　出土遺物観察表・・・・・・・・444・445

表３　出土遺物カウント・計量表・・446 ～ 449

写真図版目次

図版１

1.　現地調査前（北東から）

2.　Ｉ区　表土掘削状況（北西から）

3.　Ｉ区　作業風景（東から）

4.　Ｉ区１面　全景（西から）

5.　Ｉ区２面　全景（西から）

6.　Ｉ区２面　南東隅遺物出土状況（西から）

7.　Ｉ区３面　全景（西から）

8.　Ｉ区４面　全景（西から）

図版２

1.　Ｉ区４面　土坑１（西から）

2.　Ｉ区４面　土坑１断面（南から）

3.　Ｉ区５面　土坑１（5 面時、北から）

4.　Ｉ区５面　全景（西から）

5.　Ｉ区５面　礎石（東から）

6.　Ｉ区５面　切石列（北から）

7. Ⅰ区6面　全景（西から）
8. Ⅰ区6面上　炭層範囲（北から）

図版3

1. Ⅰ区6面調査時　2面の落ち込み（北から）
2. Ⅰ区6面下　全景（西から）
3. Ⅰ区西壁　土層断面（東から）
4. Ⅰ区東壁　土層断面（北西から）
5. Ⅰ区南壁　土層断面（北東から）
6. Ⅰ区北壁　土層断面（南西から）
7. Ⅰ区北東隅　6面下遺物出土状況（南から）
8. Ⅰ区6面下トレンチ東壁土層断面（西から）

図版4

1. Ⅱ区1面　全景（西から）
2. Ⅱ区2面　全景（西から）
3. Ⅱ区3面　全景（西から）
4. Ⅱ区4面　全景（検出時、西から）
5. Ⅱ区4面上　遺物出土状況（西から）
6. Ⅱ区4面　全景（割れ石等除去後、西から）
7. Ⅱ区　作業風景（南西から）

図版5

1. Ⅱ区5a面　全景（西から）
2. Ⅱ区5a面　玉砂利敷き面（北西から）

図版6

1. Ⅱ区5b面　全景（炭層検出時、西から）
2. Ⅱ区5b面　全景（西から）

図版7

1. Ⅱ区5a面　柱穴列（6面調査時、北西から）
2. Ⅱ区6面　全景（西から）

図版8

1. Ⅱ区5b面　北側切石列落ち込み状況（6面調査時、北から）
2. Ⅱ区6面下　全景（岩盤検出時、西から）

図版9

1. Ⅱ区5b面下～6面　土坑1　常滑甕片（南西から）
2. 同上、土層断面（南から）
3. Ⅱ区6面下　岩盤以北（東から）
4. Ⅱ区西壁　土層断面（北東から）
5. Ⅱ区東壁　土層断面（西から）
6. Ⅱ区西部南壁　土層断面（北から）
7. Ⅱ区東部南壁　土層断面（北から）

図版10　出土遺物

第一章　遺跡の位置と歴史的環境

第1節　遺跡の立地

本調査地は鎌倉市浄明寺一丁目590番2に所在する。滑川左岸に所在し、樹枝状に開かれた丘陵谷戸のひとつ「釈迦堂ヶ谷」の開口部付近に立地する（図1)。この一帯では、滑川は大きく蛇行しながら西に流れ、これを挟み込む格好で二本の東西道が走っている。北側は県道204号（金沢・鎌倉線）で、中世の史料には「六浦道」の名で登場する。南側は「田楽辻子のみち」と呼ばれる市道である。本地点は「田楽辻子のみち」の南側で、釈迦堂ヶ谷の奥へ向かう南北道との三叉路に面している。現地表面の標高は15.5ｍ前後を測り、北と西に向けてなだらかに下がる立地条件にある。

遺跡名にもなっている「田楽辻子」は『吾妻鏡』嘉禄三年（1227）正月二日条や正嘉元年（1257）十一月二十二日条の火災記事に登場し、鎌倉時代まで遡る道路名称であったことが分かる。この近辺に田楽師の住居があったことが名前の由来とされ、筋違橋から宝戒寺橋付近を経て、滑川左岸の丘陵裾に沿って宅間ヶ谷辺りで六浦道に繋がったものと考証されている（高柳1959)。上掲の火災記事からは、この一帯に幕府御家人以下、多くの人家が軒を連ねていた様子が窺い知れる。将軍御所をはじめ幕府の枢要施設にも近いことから、谷戸内の好立地から順に、切土・盛り土造成によって平坦地を広げながら屋地を拡大していった様子が推察できよう。

この近辺では、滑川の両岸で樹枝状に開けた谷戸が数多く存在するが、左岸では東から順に宅間ヶ谷、犬懸ヶ谷、釈迦堂ヶ谷、大御堂ヶ谷が間口・奥行きともに大きく、歴史的由来も比較的つかめている。前二者は南北朝・室町期の関東管領上杉氏四家のうち宅間・犬懸家がそれぞれ居を構えていたという。宅間ヶ谷には建武元年（1334）の開創と伝わる功臣山報国寺が残る。開山は足利家時とも上杉重兼とも伝える。犬懸上杉氏では、「犬懸入道」と呼ばれ禅秀の乱（応永二十三年＝1416）で滅ぼされた氏憲が有名である。釈迦堂ヶ谷は北条泰時が父義時追福のため嘉禄元年（1225）に建立した釈迦堂に由来する。大御堂ヶ谷は源頼朝が父義朝の菩提を弔うため文治元年（1185）に建立した勝長寿院の俗称「大御堂」が由来とされる。同寺は鶴岡八幡宮寺･永福寺と並び称される三大寺院であり、三代将軍源実朝の死後、彼の墓や、その母である北条政子の新造御所も設けられたというが、これまで本格的な発掘調査は殆どなされてこず、史料上に登場する主要堂宇の配置や変遷など、具体的様相は全くつかめていない。

第2節　周辺の調査成果

田楽辻子周辺遺跡は滑川の左岸、ほぼ現行の流路に沿って東西長750ｍ、南北幅150ｍで展開する。現在までに11地点で発掘調査が実施されているが、図1が示すように各地点が分散しており、小規模な調査が占めていることから、遺跡全体の性格や、土地利用の変遷を考察できるだけの材料は得られていない。「田楽辻子」に沿った地点1・3は「田楽辻子」の南に接しており、ともに現行道路と並行する15世紀代の道路遺構が検出されている。地点1の道路遺構は大よそ13世紀の中頃以降、6回の改修を経ていたことが指摘され、道筋や規模の変動は経つつも「田楽辻子」の前身といえる東西道が鎌倉時代には存在していたことが明らかとなった。上述した勝長寿院や釈迦堂など、鎌倉時代前半の創建寺院を擁した谷戸が当地域に並ぶことを傍証とすれば、これらを結ぶ交通路が早くから整備されたことは十分

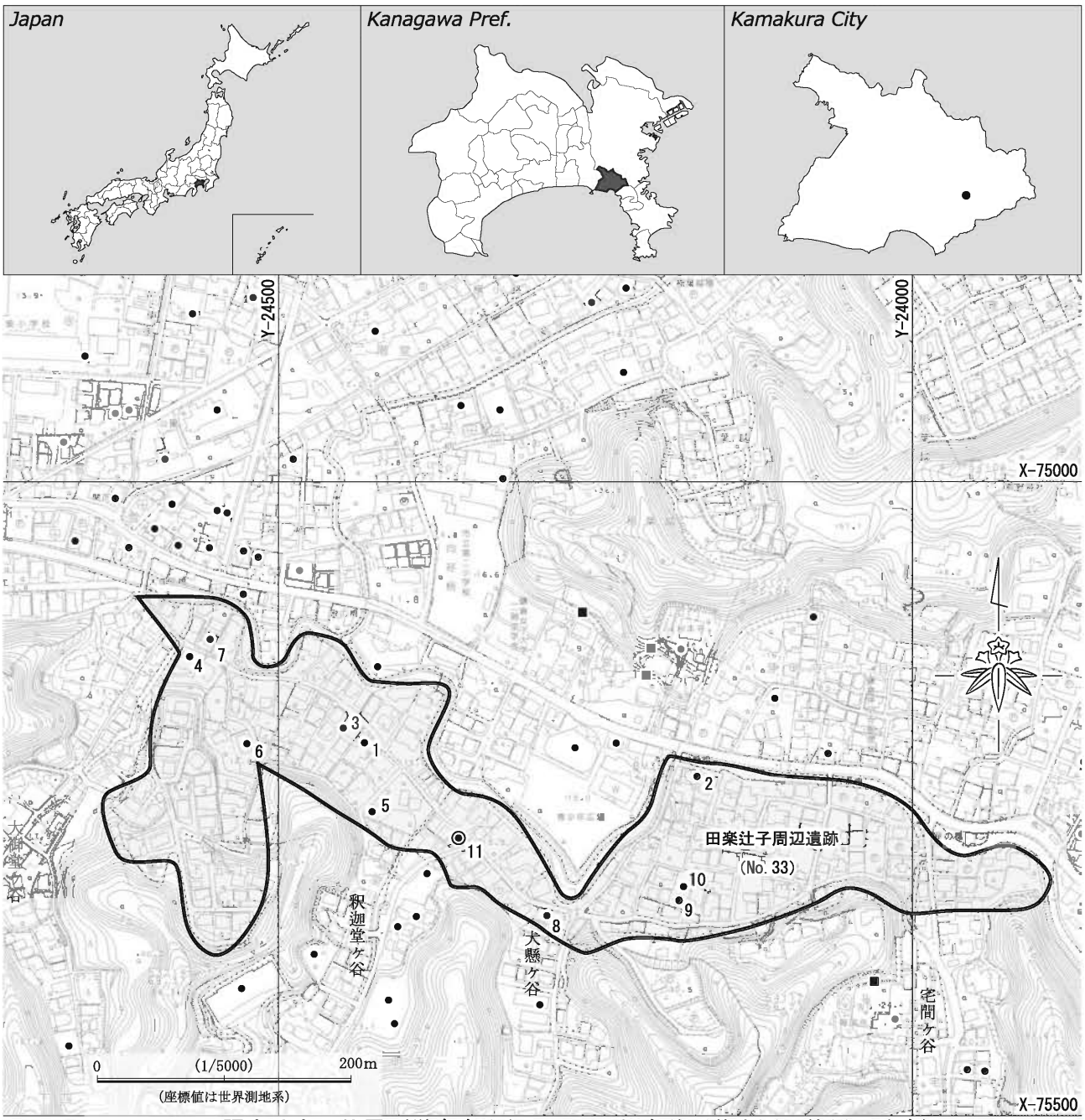


図 1　調査地点の位置（鎌倉市発行 1:2,500 都市計画基本図を使用・改変）

表 1　田楽辻子周辺遺跡の調査地点（番号は図 1 に対応）

No.	地番	調査年度	面積（㎡）	所収文献
1	浄明寺字釈迦堂 658 番	1989 年度	150	『釈迦堂田楽辻子遺跡』釈迦堂田楽辻子遺跡発掘調査団　手塚直樹 他 1990
2	浄明寺字宅間 562 番 33	1990 年度	19	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書 8』鎌倉市教育委員会　大上周三 1992
3	浄明寺一丁目 661 番 1	1998 年度	254	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書 16（第 1 分冊）』鎌倉市教育委員会　森 孝子 2000
4	雪ノ下五丁目 555 番	1999 年度	51	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書 22（第 1 分冊）』鎌倉市教育委員会　福田 誠 2006
5	浄明寺一丁目 652 番 8	2008 年度	67	『第 19 回鎌倉市遺跡調査・研究発表会 発表要旨』NPO 法人鎌倉考古学研究所　森 孝子 2009
6	浄明寺一丁目 676 番 1	2008 年度	105	『田楽辻子周辺遺跡発掘調査報告書』（有）鎌倉遺跡調査会　齋木秀雄 他 2012
7	浄明寺一丁目 556 番 6 外	2009 年度	39	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書 28（第 2 分冊）』鎌倉市教育委員会　押木弘己 2012
8	浄明寺一丁目 691 番 4	2010 年度	54	—
9	浄明寺二丁目 569 番 14	2012 年度	50	—
10	浄明寺二丁目 569 番 10	2012 年度	59	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書 30（第 2 分冊）』鎌倉市教育委員会　根本志保 2014
11	**浄明寺一丁目 590 番 2**	**2017 年度**	**41.06**	**本報告**

に考えられる。

丘陵裾に接した地点5では、鎌倉時代前期から南北朝時代にかかる9枚の遺構面が検出されている。13世紀中頃～後半に比定される第6面～第3面は、屋敷地の中心部といった性格が想定されている。第4面では雨落ち溝状の方形区画内に礎石建物が建ち、区画外には貝殻粒を含む白色砂が厚く敷かれていた。続く第3面ではL字形の溝で仕切られた土地利用の痕が見て取れ、調査区の西半部では白色砂や玉砂利を敷いた整地面が検出されている。後述するように、本地点の第5面の整地状況と近似しており、帰属年代も概ね一致するようである。

地点6は、釈迦堂ヶ谷と大御堂ヶ谷とに挟まれた小谷戸内に立地する。13世紀第1四半期～15世紀中頃の間で5枚の遺構面が確認され、下層の5・4面では南北道路が調査区を斜めに貫き、3面以降は掘立柱や礎石建物が展開するようになって土地利用の形態が変化する。最下層の5面から瓦の出土量が多く、完形の平瓦など残存度の高い資料も一定量見られる。5面では永福寺創建期（Ⅰ期）瓦が占め、4面以降に同Ⅱ期瓦が認められる。少量ながら軒瓦も出土しており、部分的ではあったとしても瓦葺き建物が谷戸内に存在していた可能性は十分に想定でき、13世紀第1四半期という5面の年代観と併せ、西隣の谷戸に展開した勝長寿院との関係が注目される。

先述したように遺跡地全体の性格までは見通せないが、概して13世紀前半～15世紀中頃まで盛り土整地を繰り返した土地利用が続き、13世紀後半には区画の改変も含め、土地利用の在り方が変化する傾向を見出せる。浄明寺地区は南北朝・室町時代において鎌倉公方の御所や関東管領上杉氏の邸宅など政治の枢要が集中するエリアであった。こうした政治秩序の崩壊をもって中世都市としての鎌倉も終焉を迎えることになるが、発掘成果による遺跡変遷の傾向からも、この間の動向を垣間見ることができる。

参考文献（表1掲載分以外）

高柳光寿　1959『鎌倉市史　総説編』鎌倉市史編纂委員会編　吉川弘文館

白井永二編　1976『鎌倉事典』東京堂出版

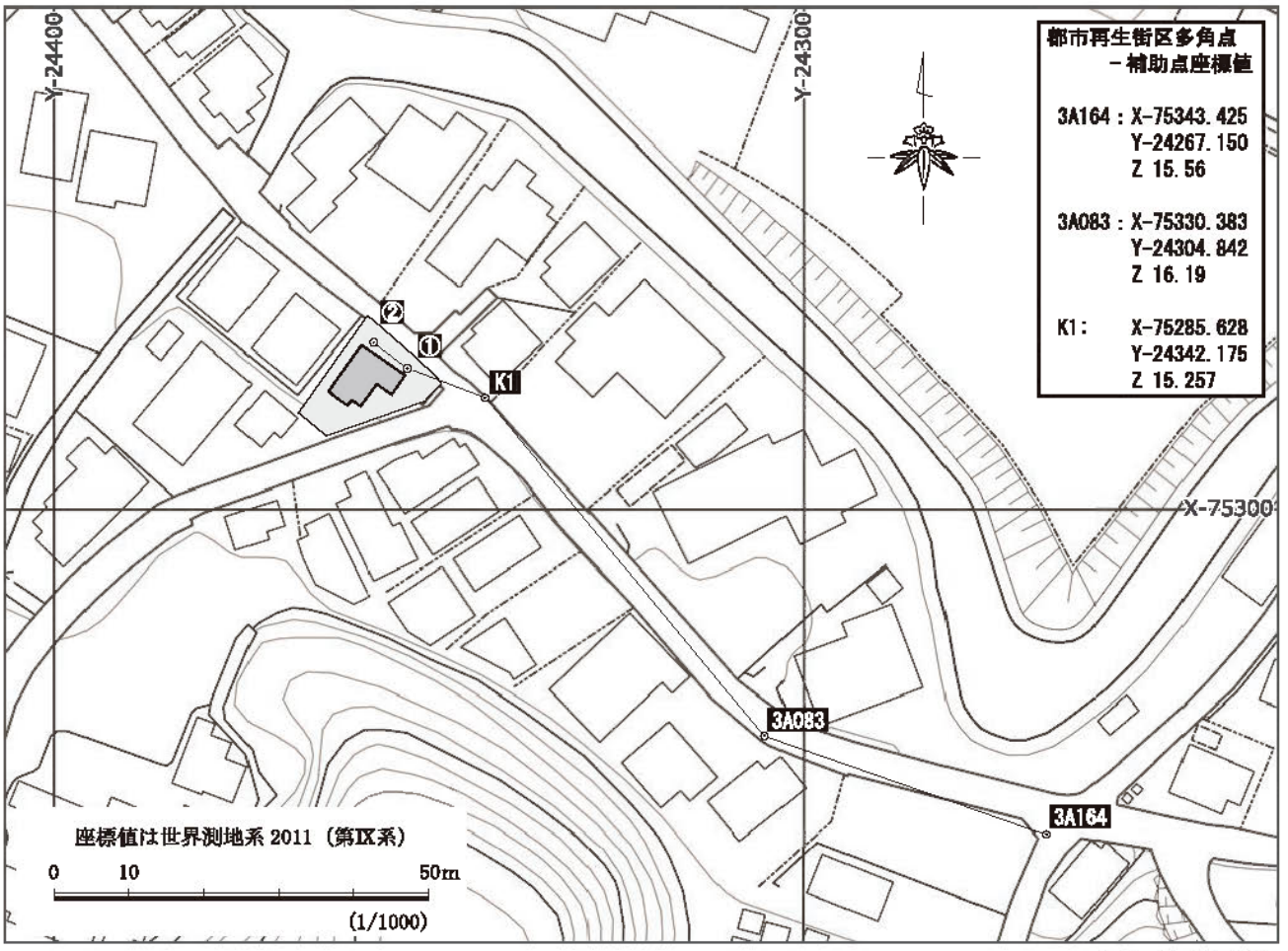
貫　達人・川副武胤　1980『鎌倉廃寺事典』有隣堂

第二章　調査の方法と経過

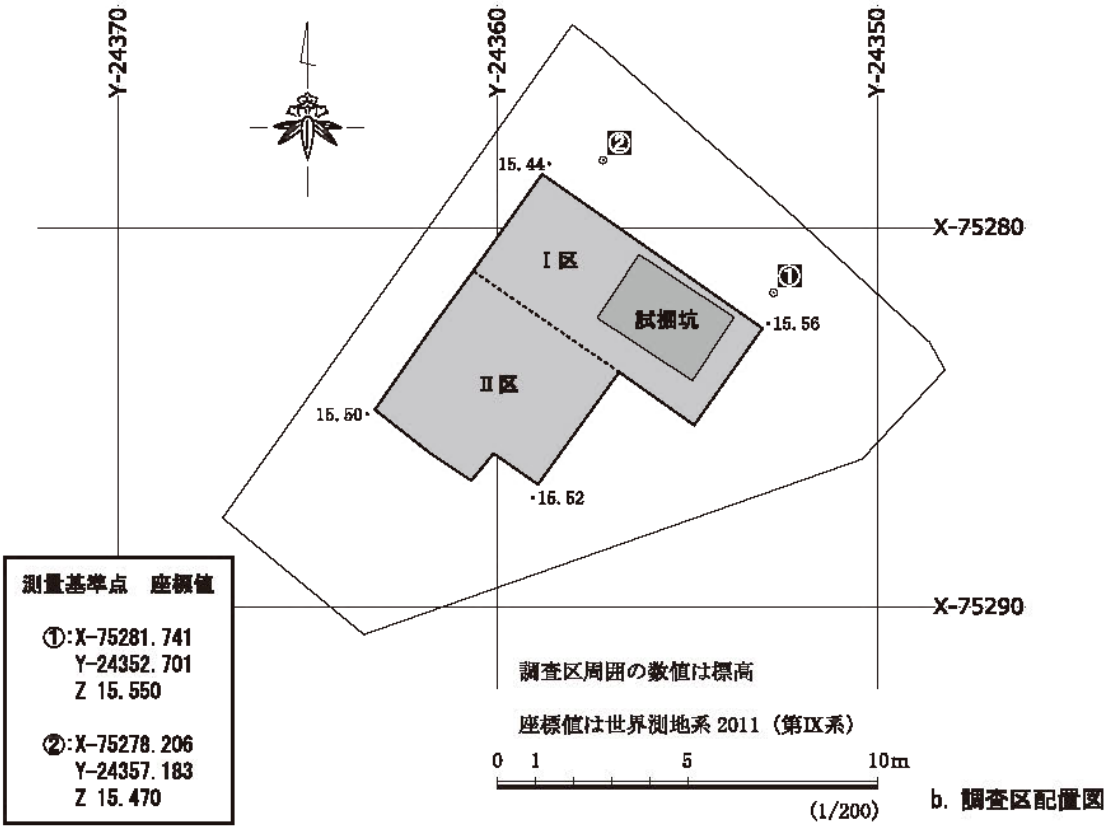
第1節　調査の経緯と経過

本発掘調査は個人専用住宅の建設工事に先立つ埋蔵文化財の記録保存調査として、鎌倉市教育委員会文化財課（市教委）が実施した。建設計画では基礎工事として最大深度6.75ｍの地盤改良（柱状改良）を行う設計であったことから、市教委では平成29年7月12・13日に確認調査を実施し、地表下206㎝までの間に中世の遺物包含層ないし整地面を少なくとも5枚程度確認した。この結果を受け、建設計画の実施に当たっては、事前に本格的な発掘調査を行う必要があるという判断に至った。

発掘調査は平成30年2月16日に工事範囲北半部（Ⅰ区）から着手し、3月26日から南半部（Ⅱ区）に移行した後、4月26日にはⅡ区の埋め戻しと調査器材の撤収を行って現地での全作業工程を終えた。出土品・記録類の整理作業と報告書の作成業務には即座に着手し、文化財課分室で約2ヶ月間従事した。



a. 国土座標移動図



b. 調査区配置図

図２　国土座標移動図および調査区配置図

第2節　調査の方法

今回の発掘調査は土壌改良の施工範囲を対象としたが、安全面を配慮して隣地や道路との境界線から十分な距離を取ったため、調査面積は当初予定の51㎡から、最終的には41.06㎡まで減少した。

掘削にともなう発生土置き場を確保するため調査区は2分割し、Ⅰ区（北半部）→Ⅱ区（南半部）の順に着手した（図2-b）。Ⅰ・Ⅱ区とも地表から40cmまでは重機で掘り下げ、以下は人力による掘削に移行した。地表面から1.5ｍ程の深さで中世の基盤層に達し、これ以下は土層の堆積状況を把握すべく調査範囲を狭めて掘削を行った。地表面から2ｍの深さに達したところで掘削を終え、写真・測量図といった記録類の作成に移行した。測量には国家座標系（JGD2011）基準軸を用いることとし、市道上に打設された都市再生街区多角点（補助点）2点間の関係を起点に、開放トラバース測量によって調査地の敷地内に基準点を移設した。この時、標高（垂直座標）も併せて移設した（図2-a）。

第三章　基本土層

図3には、調査区壁の土層断面図を掲げた。今回の調査では大きく6枚の中世遺構面を確認したが、最上面の1面は表土を除去した後の中世遺物包含層の上面で、削平を受けた可能性も高く、生活面とは言い難い。最下面となる6面より下位では明確な整地層は認められなかったが、自然要因と考えられる斜面状堆積土の中から弥生時代～中世の遺物が出土している。器壁の厚い手づくねかわらけが含まれるので、6面の構築開始期を13世紀第2四半期～中頃に比定する材料となる。6面以降では、破砕泥岩を盛り土した嵩上げ整地が繰り返され、3面と2面の整地に際しては大型の泥岩ブロックが積み上げられており、特に2面は乱雑な整地によるものであった。5面と4面は3面よりも丁寧な整地状況であったので、4面以降、3面構築までの間に土地利用上の画期があった可能性を指摘できる。

6面整地層を取り除いて掘り下げを進めた結果、Ⅱ区の南半部では地表下170㎝前後で岩盤面が検出された。部分的にではあるが、岩盤面上では中世基盤層に当たる黒褐色土の堆積も確認できた。岩盤は北西～南東方向のラインを縁辺として、60～70°という急斜度で北東に向けて落ち込む。地表下200cmまで斜面を追って掘り下げたものの、岩盤面の底を確認するには至らなかった。落ち込み内には黄灰色の砂質土と粘質土が交互に堆積し、北西に落ち込む斜面状堆積を呈していた。上述のように弥生時代～鎌倉時代前半期の遺物片が混在しており、谷戸の上方などから土砂の移動によってもたらされたものと考えられる。また、堆積土の粒子が比較的緻密であることから、基本的には水流にともなう浸食・堆積を繰り返した結果の埋没土と考えている。岩盤の落ち込みについては確実な根拠はないが、人工の開削ではなく、地滑りなど自然要因による所産という印象を持っている。

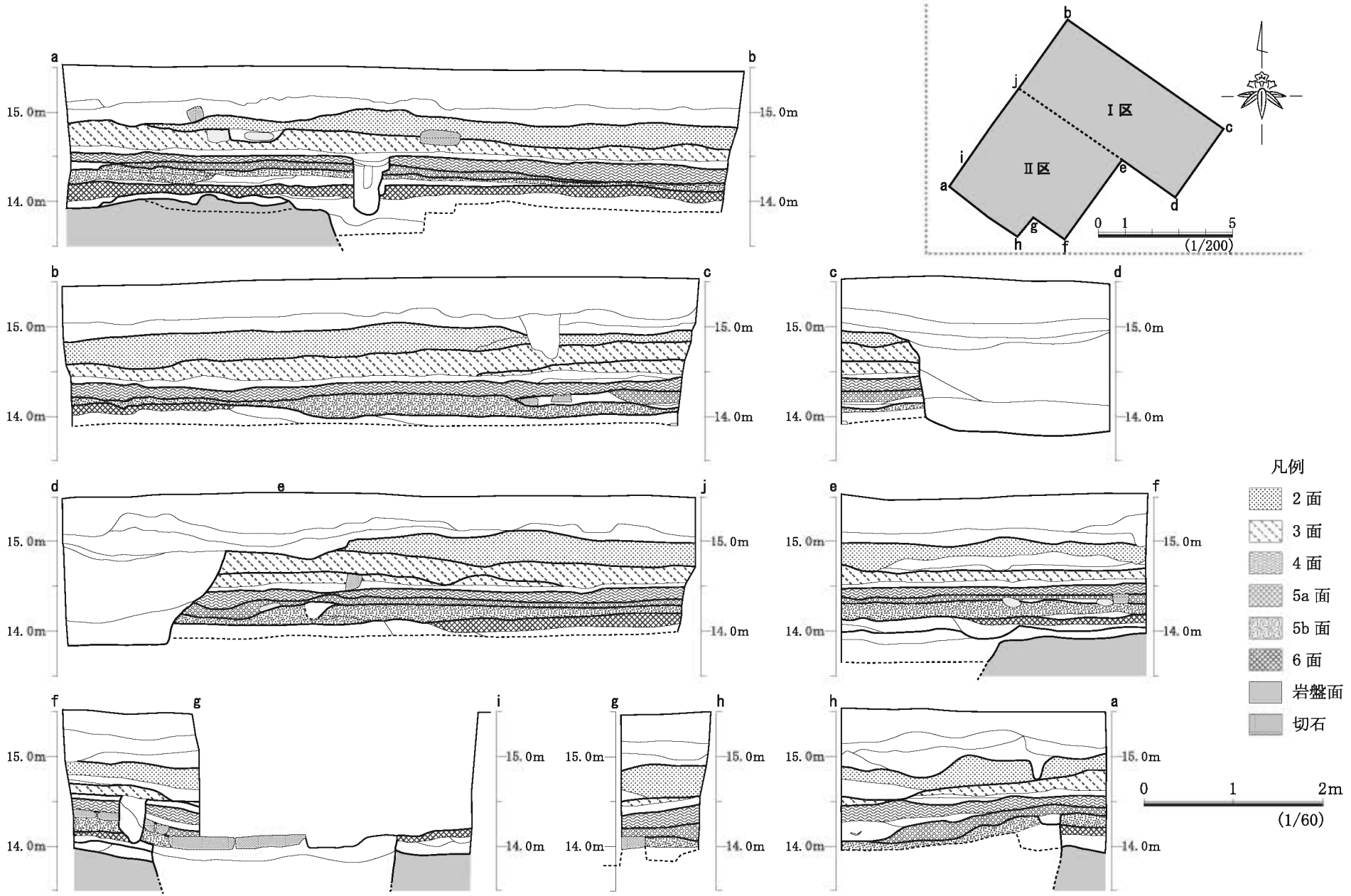

a
b
15.0m
14.0m
b
c
15.0m
14.0m
c
d
15.0m
14.0m
d
e
j
15.0m
14.0m
e
f
15.0m
14.0m
f
g
i
15.0m
14.0m
g
h
15.0m
14.0m
h
a
15.0m
14.0m
Ⅰ区
Ⅱ区
0 1 5
(1/200)
凡例
2面
3面
4面
5a面
5b面
6面
岩盤面
切石
0 1 2m
(1/60)

図３　土層断面図

第四章　検出遺構と出土遺物

第1節　検出遺構

(1) 1面の遺構（図4）

1面は地表下30～40cmの標高15.0～15.1ｍ前後で確認した。表土と近世以降の耕作土を除去したところでの確認となったが、耕作土を埋土とする浅い落ち込み以外は明確な遺構を確認できなかった。現地では整地面として記録をとったが、実際のところは中世遺物包含層を検出したに過ぎないと考えている。

(2) 2面の遺構（図5）

地表下70～80cmの標高14.8～15.0ｍ前後で確認された。泥岩ブロックを埋め立てた粗い整地層を構築しており、上面の整形は雑で凹凸が著しかった。Ⅰ区東端部では深さ1ｍ程度の竪穴状遺構を検出したが、平面的に竪穴と認識できたのは6面調査時のことで、2～5面では埋土のレンズ状堆積を土坑と判断して記録を取っていた。調査区壁の断面観察により、これら土坑も含めて2面から掘り込まれた竪穴状遺構であったことを確認した。Ⅱ区南半部では整地面の上面が20cmほど落ち込む箇所が見られたが、これは下層（6面）井戸廃絶後の埋め立てが不十分であったことによる、陥没の影響と見ている。

竪穴状遺構は東と南が調査区外に続くため全体規模は把握できなかった。検出できた範囲では、東西1.5ｍ以上、南北2.6ｍ以上を測り、深さは最大で1.1ｍを計測した。底面は平坦であり、方形基調を呈することから、2面上での掘り込み形態も方形状に復元した。埋土は上下2層に大別でき、上位2/3までは泥岩ブロックを主体に埋め立てられた感があり、下位1/3は暗灰色粘質土が堆積しており経時的埋没を想起させる状況であった。

(3) 3面の遺構（図6）

地表下80～100cmの標高14.6～14.9ｍ前後で確認された。Ⅱ区側については、本来の整地面上面より低いレベルまで掘り下げての検出となってしまった。断面観察により、北→南と東→西に緩やかに下がる生活面であったことが確認されている。比較的丁寧な整地面であったが、ここを掘り込む遺構は非常に少なく、調査区の西壁際で整地層に埋め込まれた凝灰岩切石（鎌倉石）と、浅い掘り込みの底に安山岩を据えた2例を検出できたに過ぎない。両者は石材こそ異なるが天端レベルが14.8ｍ弱で同じである、また4面以下の遺構軸線とも近似した配置状況と見なせることから、この2基を西辺とする礎石建物が展開していた可能性も指摘できる。

(4) 4面（図7）

地表下100～120cmの標高14.3～14.5ｍで確認された。3面整地層との間に軟弱な粘質土の薄層を挟むが、断面観察ではこれを掘り込んで3面の整地土にパックされるピットが確認できたため、薄層も4面存続時に堆積したものと考えた。比較的丁寧な整地面として確認できたものの、現地調査時はⅠ区で確認された土坑1のみを明確な掘り込みを持つ4面遺構として把握したに留まったが、その後の土層断面の検討により、5面調査時に検出された建物柱穴などを4面に帰属させ得るものと判断した。写真図版1-8、4-4・6などに遺構が殆ど写り込んでいないのも、そのためである。

土坑1はⅠ区の北東部で検出された。直径120cmほどの円筒形土坑で、確認面から90cmほどの標高13.47ｍ前後まで掘削したものの、底面の確認には至らなかった。深度および断面形状から見て、井戸

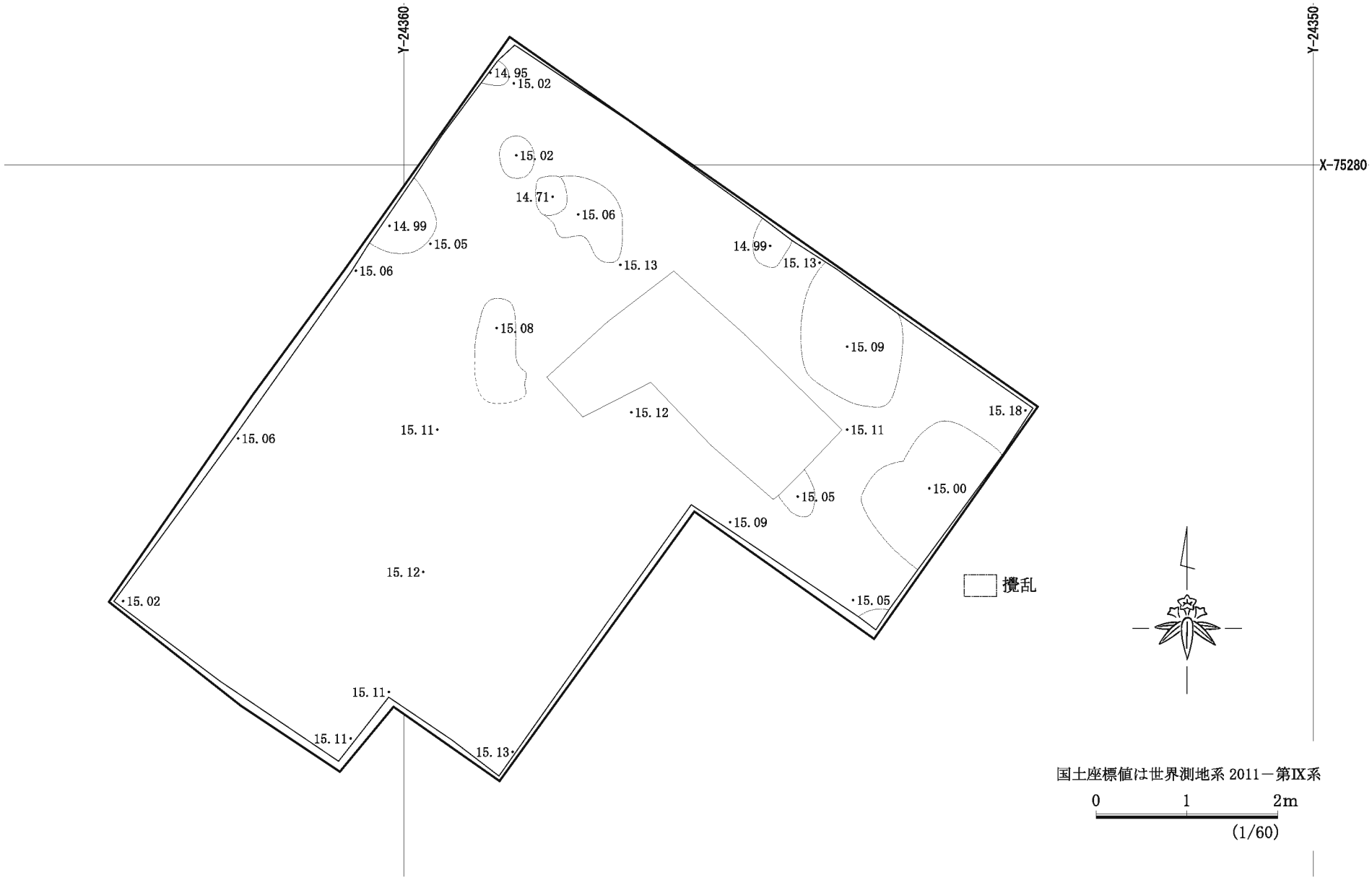

Y-24360
Y-24350
X-75280
14.95
15.02
15.02
14.71
15.06
14.99
15.05
15.06
15.13
14.99
15.13
15.08
15.09
15.12
15.18
15.11
15.06
15.11
15.05
15.00
15.09
15.12
15.02
15.05
15.11
15.11
15.13
攪乱
国土座標値は世界測地系 2011－第Ⅸ系
0
1
2m
(1/60)

図４　１面全体図

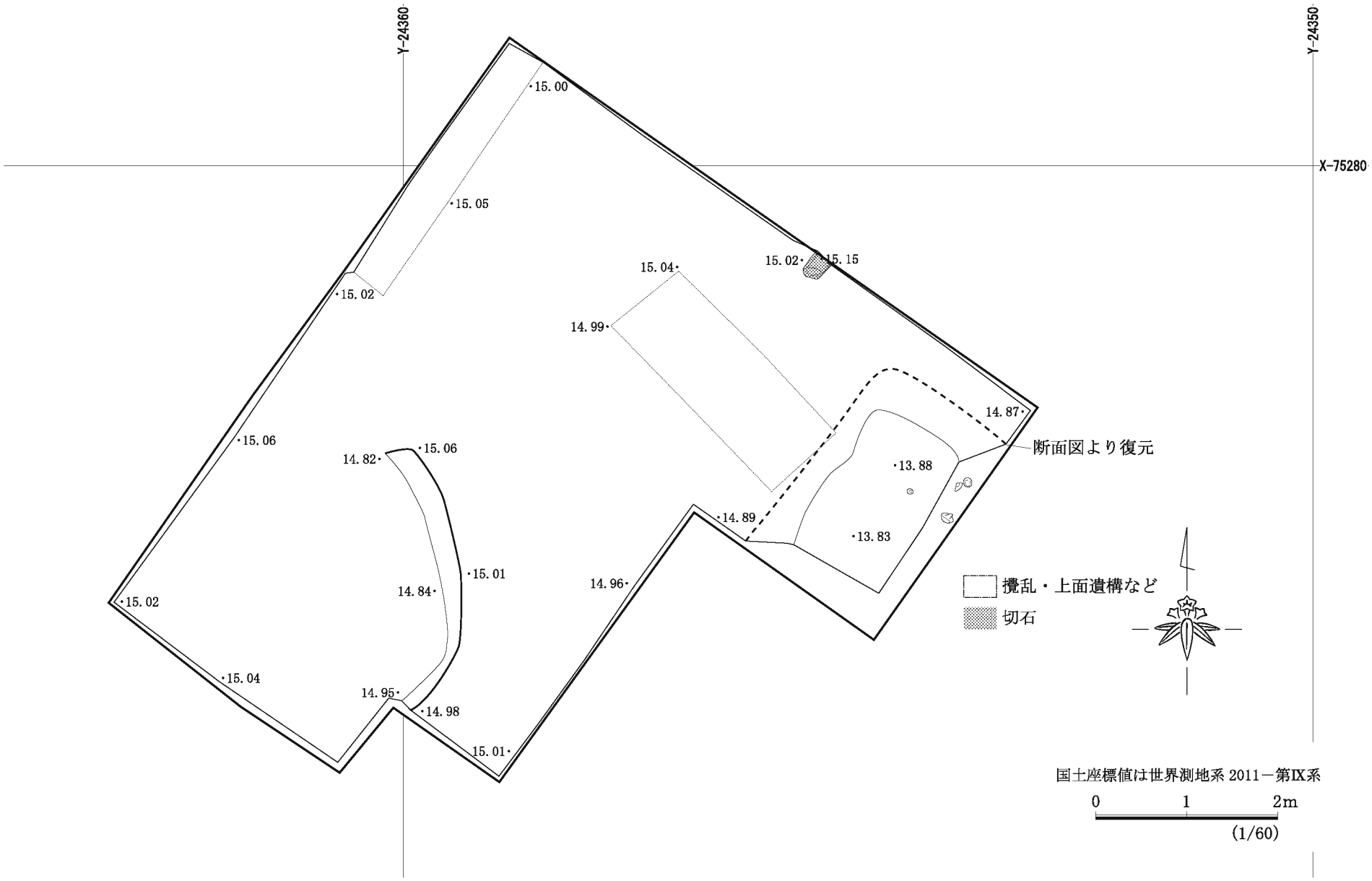

Y-24360
Y-24350
X-75280
15.00
15.05
15.02
15.04
15.02
15.15
14.99
14.87
断面図より復元
15.06
14.82
15.06
13.88
14.89
13.83
15.01
14.84
15.02
14.96
攪乱・上面遺構など
切石
15.04
14.95
14.98
15.01
国土座標値は世界測地系 2011－第Ⅸ系
0
1
2m
(1/60)

図５　２面全体図

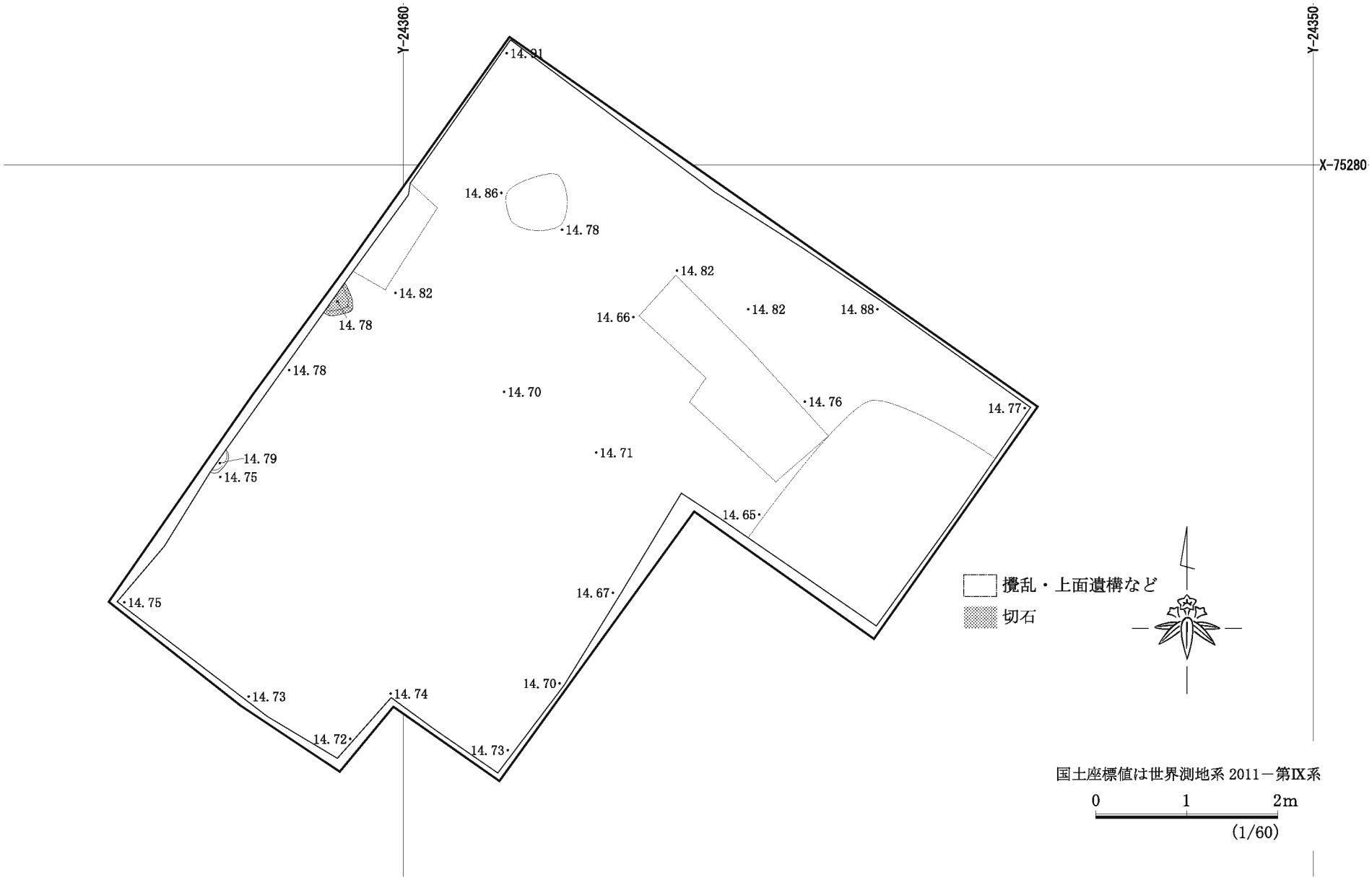

Y-24360
Y-24350
X-75280
14.86
14.78
14.82
14.78
14.82
14.66
14.82
14.88
14.78
14.70
14.76
14.77
14.71
14.79
14.75
14.65
14.67
14.75
14.73
14.74
14.70
14.72
14.73
攪乱・上面遺構など
切石
国土座標値は世界測地系 2011－第Ⅸ系
0
1
2m
(1/60)

図６　３面全体図

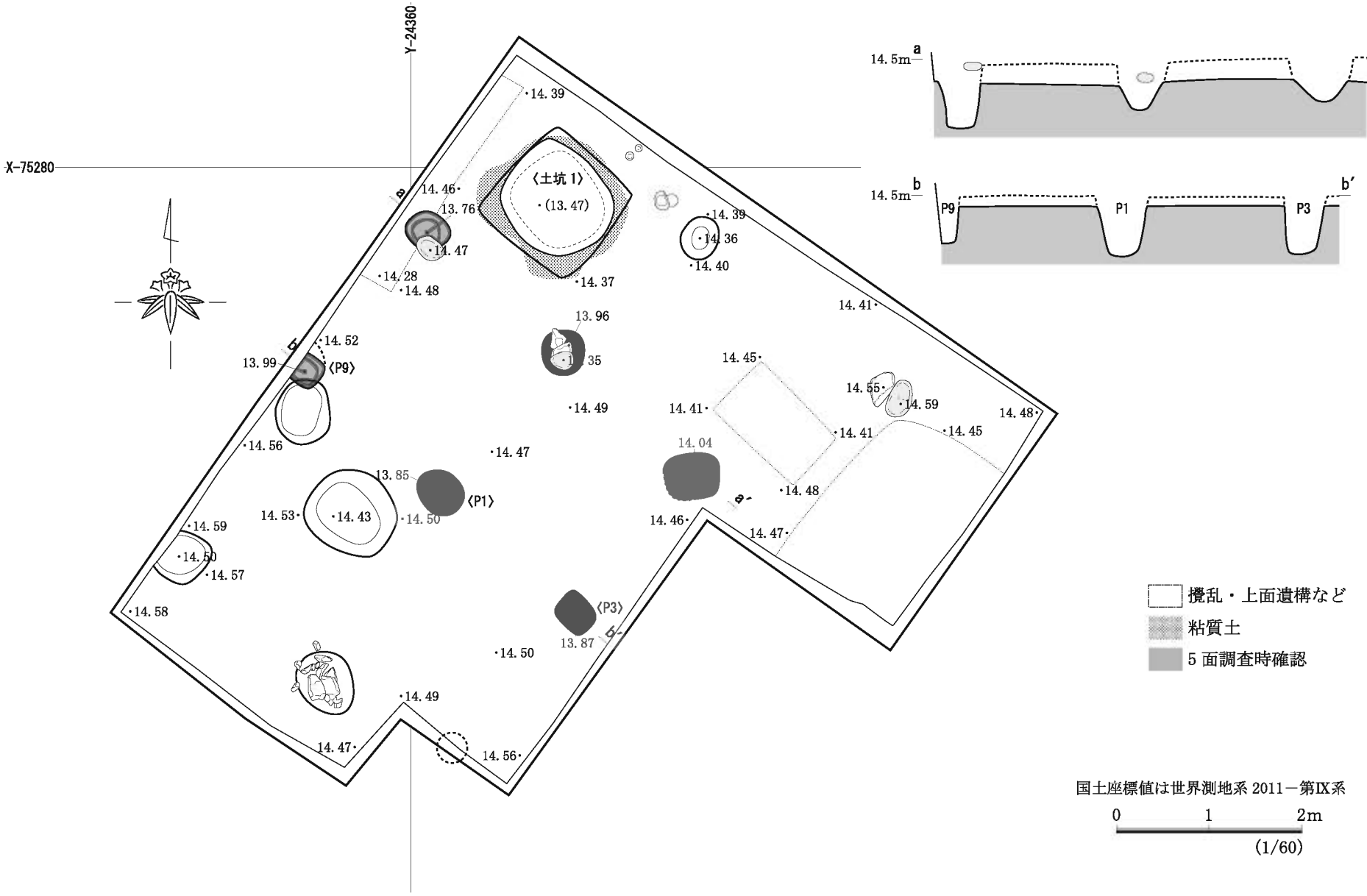

Y-24360
X-75280
〈土坑 1〉
(13.47)
〈P9〉
〈P1〉
〈P3〉
14.5m a a′
14.5m b b′
P9
P1
P3
攪乱・上面遺構など
粘質土
5 面調査時確認
国土座標値は世界測地系 2011－第Ⅸ系
0 1 2m
(1/60)

図 7　4 面全体図

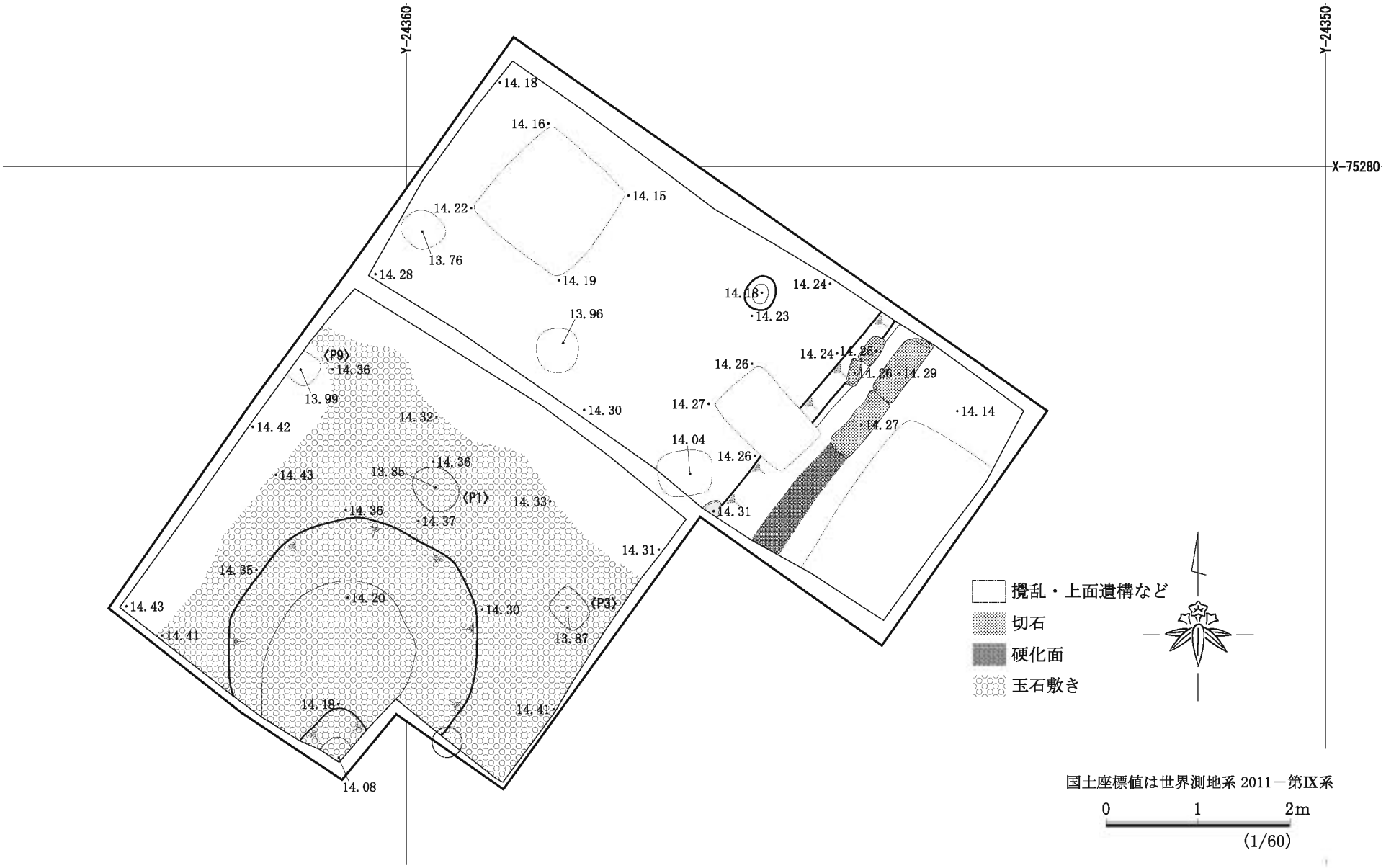

Y-24360
Y-24350
X-75280
14.18
14.16
14.15
14.22
13.76
14.28
14.19
14.18
14.24
14.23
13.96
14.24
14.25
14.26
14.26
14.29
14.27
14.30
14.14
14.27
14.04
14.26
14.42
14.32
(P9)
14.36
13.99
14.43
13.85
14.36
(P1)
14.33
14.36
14.37
14.31
14.31
14.35
14.43
14.20
14.30
(P3)
14.41
13.87
14.18
14.41
14.08
攪乱・上面遺構など
切石
硬化面
玉石敷き
国土座標値は世界測地系 2011－第Ⅸ系
0
1
2m
(1/60)

図８　５ａ面全体図

であった可能性が高い。円筒形土坑の内部は大型の泥岩ブロックで埋め戻されていたが、ブロック間の隙間が多く乱雑な印象を受けた。この上位では1面の段階から撹乱穴が見つかっていたが、これは1面から掘り込まれたものと考えるよりも、本土坑の埋め立てが粗雑であったために後世になって陥没した結果と解釈する方が妥当であろう。円筒形土坑の外周にはキメ細かい灰色粘土が貼り付き、これを取り除いたところで平面130cm四方の掘り方となることが確認できた。

この他、Ⅰ区～Ⅱ区に跨る格好で掘立柱建物1棟が検出された。東西2間以上×南北1間を確認した。柱間距離は東西・南北とも200cmで、柱穴の深さは確認面から50～70cmを測る。東西柱穴列の中心軸は、N48° Wを指す。一部柱穴の埋土上層には安山岩礫が落ち込んでおり、柱穴並びの延長線上近くに深さ10cm程度の浅い落ち込みが点在する状況が見られたため、掘立柱建物の廃絶後、これを拡張する形で礎石建物へと建て替えられたことも、可能性としては低いが指摘しておきたい。

(5) 5面（図8・9）

上・下層で2枚に分かれ、上層を5a面、下層を5b面とした。

5a面は地表下110～130cmの標高14.2～14.4m前後で確認された。玉砂利敷きの整地面で、Ⅱ区のほぼ全域で確認された。玉石は径2～5cm程度の円礫が用いられ、正確な同定は行っていないが安山岩や硬質砂岩などが主体になるものと思われる。密度は北に向かうに連れて希薄となり、Ⅱ区北辺部以北とⅡ区西辺部では確認できなかった。Ⅱ区の南半部では平面が円形で浅いすり鉢状を呈する窪地が確認され、この部分にも玉石が敷かれた上に、薄い砂層が堆積していた。調査当初、窪地を池などと考えて洲浜様の造作が施されたものと想像したが、後に6面まで掘り下げるに及び、6面井戸の埋め立て土が後世に陥没した際、5a面の石敷き面も、その影響で大きく落ち込んだ事実が判明した。

玉石敷き層は厚いところでは10cmを測り、これを全て除去すると薄い炭層の堆積が見られ、さらにこれを除去した14.15～14.35m前後で、泥岩粒により丁寧に整えられた5b面を検出した。5b面ではⅠ区の東辺部とⅡ区南辺部で凝灰岩切石（鎌倉石）を直列に並べた区画遺構を検出した。未調査部分を含むが、両調査区の切石列は図9で示したように直角に屈曲して繋がるものと考えられる。Ⅰ区・Ⅱ区ともに各々2条の石列が並行して検出されたが、Ⅰ区では西側、Ⅱ区では北側と、屈曲の内区側となる切石のサイズが小さかった。同規格の切石を用いていないことと、残存状態が良好なⅡ区切石列は大小2列ともに整形面を南西辺に揃えるように配置されていたことから、両者が一対となる溝の護岸石ではなく、初期に小型の切石を並べて外縁としていたところを、次段階にはこれを「埋め殺して」その外側に大型の切石を並べ直したものと考えた。つまり、大小2列の切石列は時期差を有し、一定区画の東辺と南辺を区切る縁石であったと理解したい。南辺（Ⅱ区側）の延伸ラインは新・旧両段階ともN52° Wを指し、本地点北側の市道と近似した軸線を取る。

旧段階（内区側）の切石列では幅15cm×厚さ10cmで長さ40～70cmの切石が、新段階（外区側）の切石列では幅30×厚さ12cmで長さ75～80cmの切石が用いられていた。両段階とも各所で切石が取り外されており、Ⅰ区新段階（東側）では荷重による硬化面となって切石の痕跡が残され、Ⅱ区新切石列では切石1個分のサイズより一回り大きい抜き取り穴が確認された。Ⅰ・Ⅱ区ともに旧切石列の内区側で掘り方となる落ち込みが確認されたが、このライン上の数ヶ所において、切石に接する形で安山岩の扁平石が据えられていた。Ⅱ区南西角では100～110cmの間隔でL字形に屈曲する並びが見られ、他の遺存する石も併せて平均的な距離を算出すると、本来は約105cmスパンで配置されていたと見られる。下層井戸の影響による陥没箇所を除いた扁平石の上面レベルは14.31～14.36mを測り、遺構面全体の高低差に準じて推移する。機能・用途として、切石の固定や地覆木材の基礎などが考えられる。

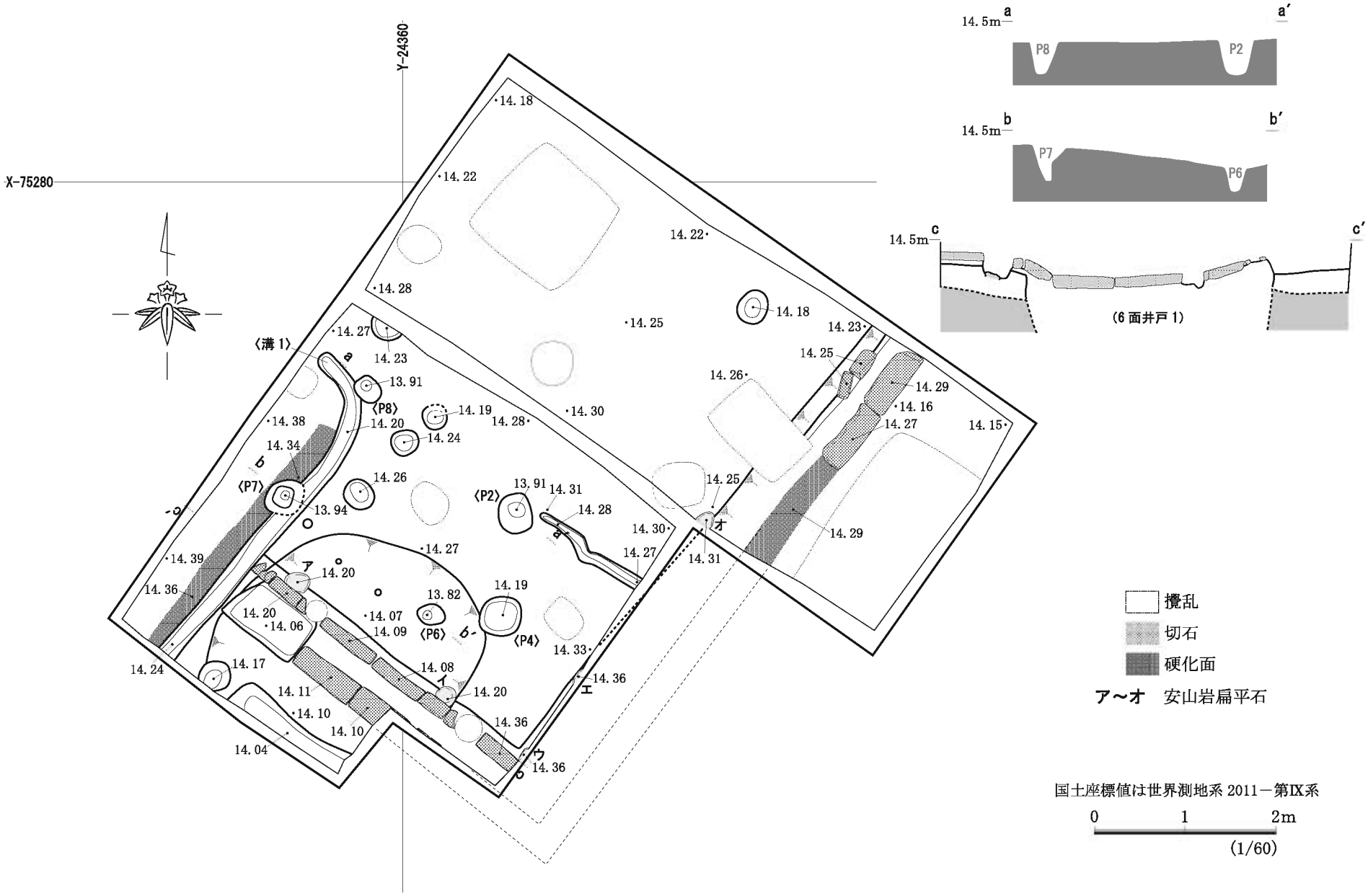

Y-24360
X-75280
〈溝 1〉
〈P8〉
〈P7〉
〈P2〉
〈P6〉
〈P4〉
ア
イ
ウ
エ
オ
14.5m a a′
P8
P2
14.5m b b′
P7
P6
14.5m c c′
(6 面井戸 1)
攪乱
切石
硬化面
ア～オ　安山岩扁平石
国土座標値は世界測地系 2011－第Ⅸ系
0 1 2m
(1/60)

図９　５b 面全体図

Ⅱ区の西辺部近くでは、両段階の切石列西端を途切れさせる格好で、これと直交する小規模な溝1が検出された。南は調査区外に延び、北側は西に90°カーブして途切れ、調査範囲内では南北3.6ｍの長さまで確認できた。上幅25㎝、底幅は15～20㎝を測り、確認面からの深さは10㎝程で底面標高は14.20～14.25ｍ前後を測る。南北の延伸方向は、N40°Eを指す。南北溝部分では、溝の西縁に沿って20㎝幅の硬化面が続いており、ここにも切石列が配置されていた可能性が高い。溝1の以西は、5a面において玉石敷きが希薄であったエリアとも重なることから、溝1とこれに付帯したであろう切石列は雨落ち溝や縁石といった建物区画（基壇の可能性も）に関連する遺構で、玉石敷きはその東側に広がる庭的空間の演出装置として整えられた可能性も想定できる。よって、溝1関連遺構は、後述のピット列とともに5a面に帰属させ得るかもしれない。

溝1と西縁の硬化面を切るピット7はピット2・6・8とともに1組の掘立柱建物または柱穴列として復元できた。東西1間（200㎝）×南北1間（150㎝）まで確認でき、東西へはさらに延伸する可能性がある。

(6) 6面（図10）

6面は地表下120～150㎝の標高14.0～14.3ｍ前後で確認された。灰色粘質土を緻密・堅固に突き固めて整地されていた。Ⅱ区の南半部で井戸と見られる方形の落ち込みが検出された他、土坑・ピット各1基が検出された。

6面の井戸1は調査区の南西外に続くため全体規模は不明だが、大よそ一辺3.4ｍを前後の方形掘り方を呈し、概ね標高13.85ｍ以下では岩盤を掘り込んで構築されていた。廃絶後は大型の泥岩ブロックを乱雑に投げ込んで埋め立てられており、この結果、先述のように上位遺構面の陥没を招いたことが想定される。埋土は確認面から70㎝下の標高13.5ｍ前後まで掘り下げたところで安全面への配慮から掘削を終えた。これより下位は、ピンポールを数ヶ所に刺したところ、さらに70㎝以上の深さを測ることが確認された。掘削できたレベルまでででは、痕跡も含めて枠材の存在は確認できなかった。

土坑1は6面より上位を掘り込み面とし、5b面には蓋をされる層位関係にあることから、6面の存続期間中､整地面の貼り増しなどに伴って構築されたと見られる。正確な平面規模は捉えられなかったが、長径120㎝×短径80㎝前後の楕円形プランを呈していたものと考えられる。掘り込み面は標高14.2ｍ前後、底面標高は約13.85ｍを測る。土坑内には埋土に混じって破砕された常滑甕片が多く出土した。口縁～胴下部の1/3程度まで復元できたが、底部の破片は1点も採集できなかった（図13-48)。

(7) 6面下（図11）

6面遺構の記録を取った後、さらに下層への掘り下げを進めたが明確な整地面は確認できなかった。Ⅱ区の南半部では標高13.85ｍ前後で岩盤面が検出され､北に向けて急激に落ち込む状況が確認できた。Ⅰ区では部分的ながら土坑の底面となる13.07ｍまで掘り下げて見たものの岩盤面の検出には至らず、さらに下位に存在することが確認された。岩盤以北の堆積土は黄色系の砂質土と粘質土が混ざり合っており､一定レベルで平らに削ると､異なる性質の土が東西ラインを境に堆積している状況が認められた。Ⅰ区深掘りトレンチでの土層観察などの結果、こうした状況は北に向けて落ち込む斜面堆積によるものと判断した。岩盤面の落ち際には幾筋もの亀裂が入るものの掘削工具痕は認められなかったことから、落ち込みは人工の営為で成ったものではなく、地滑りなどの自然現象で形成されたものと考えられる。上記の斜面堆積も、谷戸上方からの土砂流入や水流による撹拌など度重なる自然作用を経て形成されたものであろう。堆積土中からは中世遺物の他、少量だが古墳時代にまで遡る土器片も出土している。

岩盤以北の6面下堆積土上で確認できた遺構として確実な例はⅠ区東部の土坑1のみで、Ⅱ区で表現

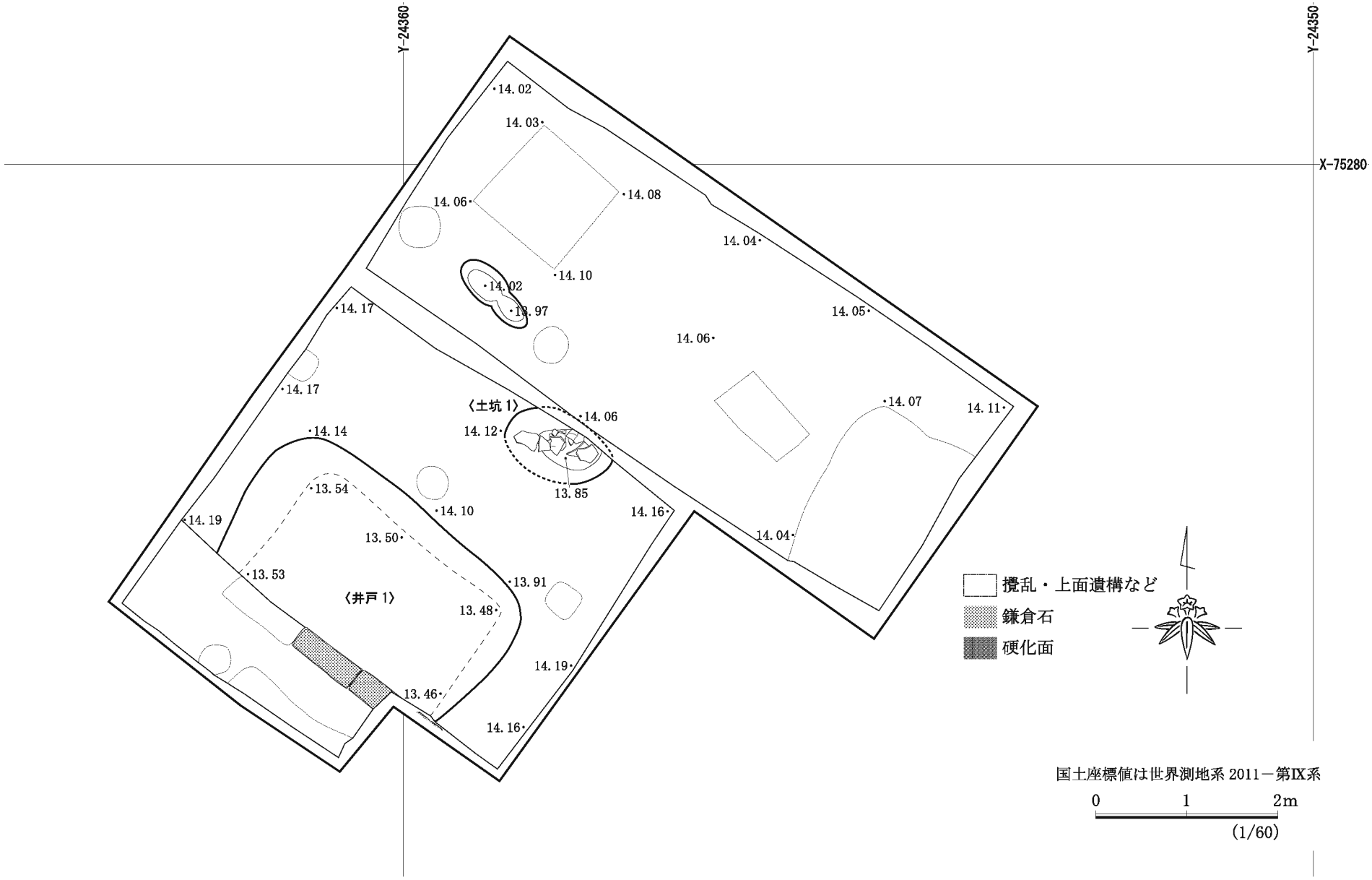

Y-24360
Y-24350
X-75280
14.02
14.03
14.06
14.08
14.04
14.10
14.02
13.97
14.17
14.05
14.06
14.17
〈土坑 1〉
14.06
14.07
14.11
14.14
14.12
13.85
13.54
14.10
14.16
14.19
13.50
14.04
13.53
〈井戸 1〉
13.91
13.48
14.19
13.46
14.16
攪乱・上面遺構など
鎌倉石
硬化面
国土座標値は世界測地系 2011－第Ⅸ系
0
1
2m
(1/60)

図 10　6 面全体図

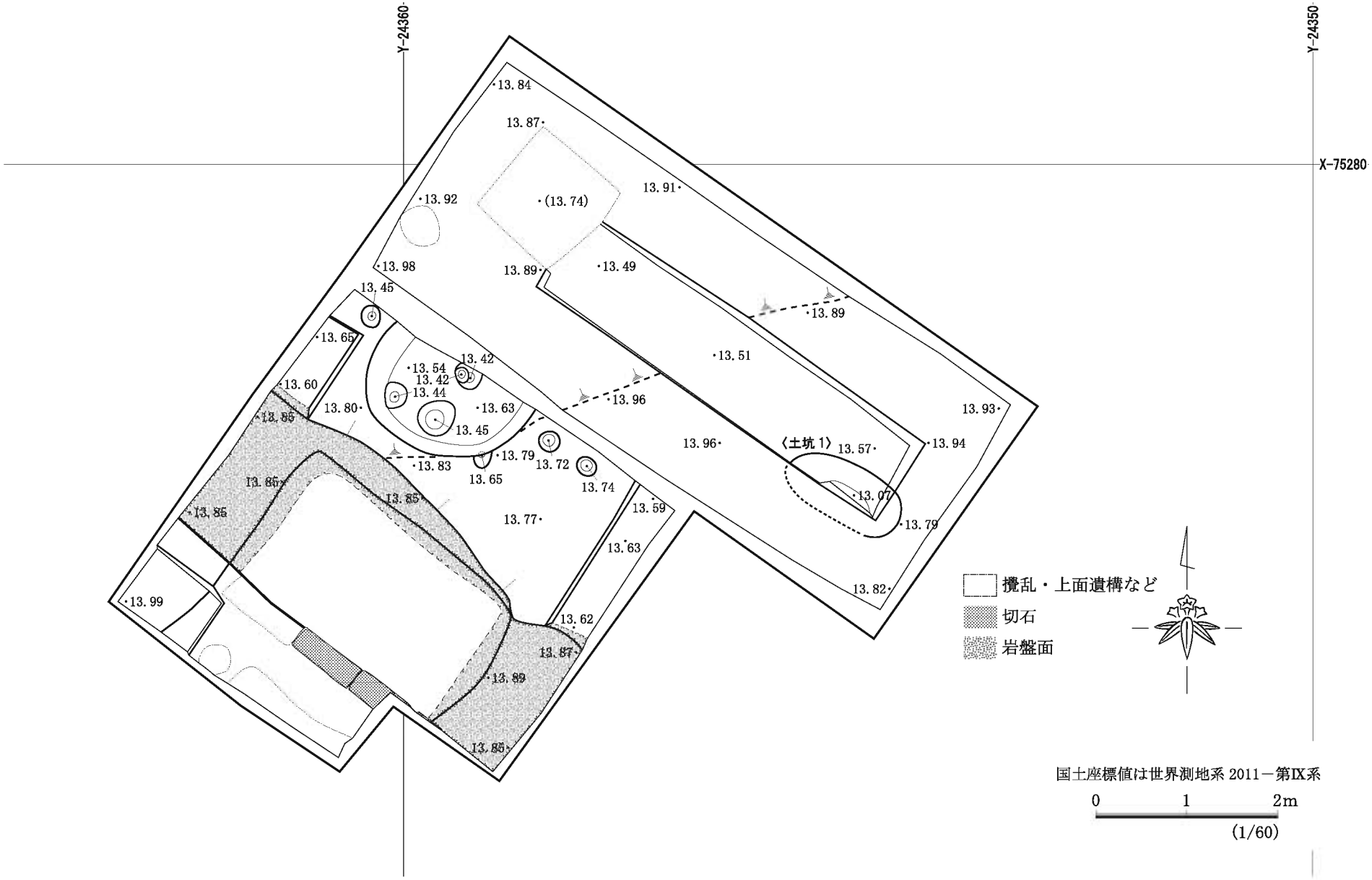

Y-24360
Y-24350
X-75280
13.84
13.87
13.92
(13.74)
13.91
13.98
13.89
13.49
13.45
13.89
13.65
13.51
13.42
13.54
13.42
13.44
13.60
13.80
13.63
13.96
13.93
13.45
13.96
〈土坑 1〉
13.57
13.94
13.83
13.79
13.72
13.65
13.74
13.85
13.85
13.85
13.77
13.59
13.63
13.79
13.82
13.99
13.62
13.87
13.89
13.85
攪乱・上面遺構など
切石
岩盤面
国土座標値は世界測地系 2011－第Ⅸ系
0
1
2m
(1/60)

図 11　6 面下全体図

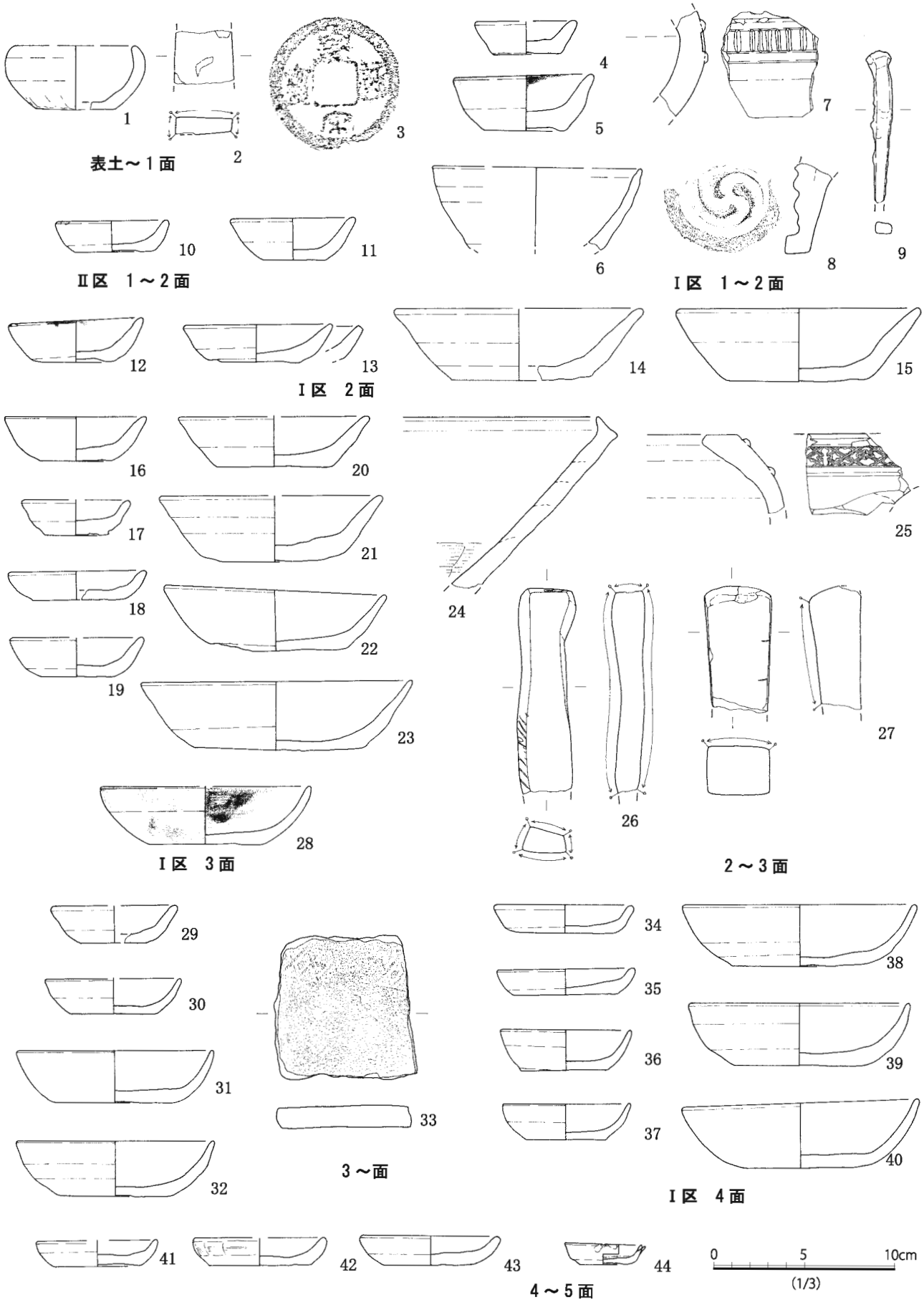


図 12　出土遺物 (1)

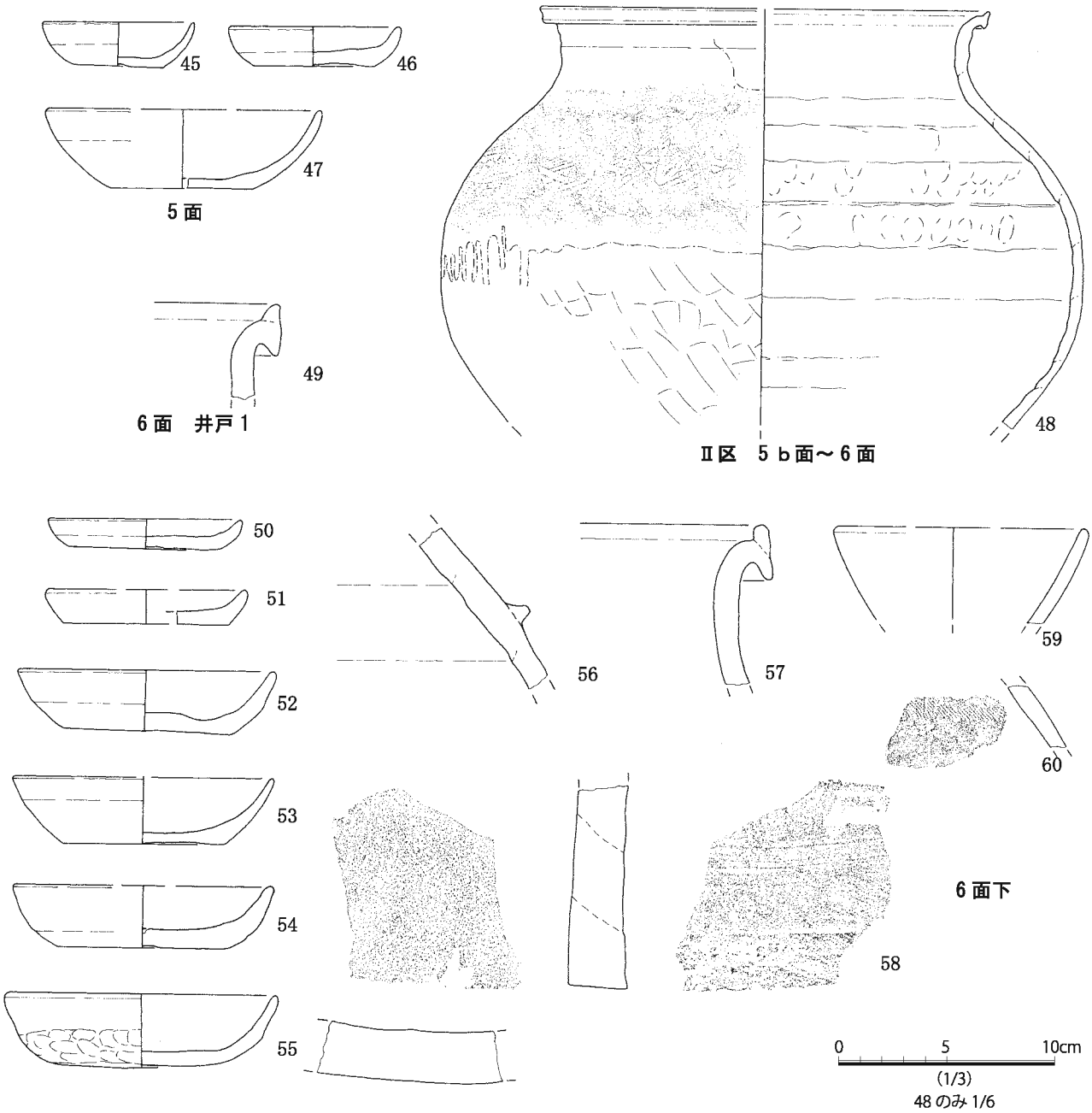


図13　出土遺物 (2)

されている土坑や小ピットは、自然作用の堆積を誤って掘ってしまった可能性が高い。土坑1は長径135 cm×短径60 cm、確認面からの深さは80cmを測り、暗灰色粘質土を埋土とする。出土遺物はなかった。

第2節　出土遺物（図12・13、表2・3）

図12･13には、上層から順に出土遺物を掲げた。各層位とも量的に主体となるのはロクロかわらけで、手づくねかわらけは上層遺構への混入品を除くと5a面より下位の層位より出土したが、数量としては僅少で、客体的といえる存在であった。以下、かわらけを中心に各遺構面の遺物様相を述べる。

1面下では器壁が厚く身深で外反器形を取る。2面でも厚手の資料が中心となるが、小皿に外反傾向が見られない点は1面下と異なる。14・15の大皿は体部が直線的に外方に開くが、器形がシャープなためか重厚感を感じさせない。2面下では厚手と比較的薄手の資料が混在する。両タイプともに大皿は体部下位に丸みを帯び、口縁部は外方に引き延ばして作られている。小皿も体部に丸みがあり、口縁部

表２　出土遺物観察表

遺物番号	種別	器種	法量（cm）			残存率	重量	内底面調整		外底面圧痕		色調	出土遺構・胎土ほかの特徴
			口径	底径	器高		(g)	ﾅﾃﾞ	ｻｻﾗ状	板状	ｽﾉｺ状		
出土遺物(1)(図12)													
表土～1面													
1	土器	古式土師器 小型鉢	(6.7)	(4.4)	3.6	1/5						赤灰	砂粒多、内外面赤彩ヵ
2	石製品	砥石	長さ [3.0]	幅 3.2	厚さ 1.0	両端欠						暗灰	鳴滝産　仕上げ砥
3	銅製品	銭	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	皇宋通寶（篆書） 中国北宋代　1038年初鋳
1～2面													
4	土器	ロクロ かわらけ・小	(5.5)	(3.8)	1.9	1/2弱		○		○		橙	白針、雲母
5	土器	ロクロ かわらけ・小	7.7	4.3	3.2	3/4		○		○		黄灰	白針、雲母 口縁の一部黒色に変色
6	陶器	瀬戸 天目茶碗	(11.4)	—	[4.5]	口1/8						灰白	内外面鉄釉
7	瓦質土器	火鉢	—	—	[5.8]	体小片						灰白	Ｖ類ヵ　風炉の可能性あり
8	瓦	軒丸瓦 or軒桟瓦	瓦当径 7.0	—	—	瓦当面 2/3						灰	三巴文
9	鉄製品	釘	長さ [8.4]	幅 1.1	厚さ 0.7	下端欠損	18					—	
10	土器	ロクロ かわらけ・小	6.0	4.4	1.8	口一部 欠損	[30]	○		○		橙	白針、雲母 口縁の一部黒色に変色
11	土器	ロクロ かわらけ・小	6.8	3.5	2.3	ほぼ完形	46	○		○		黄灰	白針、雲母
12	土器	ロクロ かわらけ・小	7.3	4.3	2.5	ほぼ完形	56	○		○		黄灰	白針　口縁の一部黒色に変色
13	土器	ロクロ かわらけ・小	8.0	5.0	2.2	2/3		○		○		黄灰	白針、雲母 口縁外面に焼成前のケズリ痕
14	土器	ロクロ かわらけ・大	(13.5)	(7.8)	4.0	1/3		○		○		橙	白針、雲母
15	土器	ロクロ かわらけ・大	13.3	7.7	4.2	ほぼ完形	229	○		○		橙	白針、雲母
2～3面													
16	土器	ロクロ かわらけ・小	7.7	4.0	2.5	3/4		○		○		橙	白針、雲母 外面の一部剥落
17	土器	ロクロ かわらけ・小	(5.8)	(3.5)	2.0	2/3		○		○		橙	白針、雲母
18	土器	ロクロ かわらけ・小	7.5	5.1	1.6	底一部 欠損		○				黄橙	白針、雲母
19	土器	ロクロ かわらけ・小	(7.3)	4.0	2.2	1/3		○		○		橙	白針、雲母
20	土器	ロクロ かわらけ・中	(10.5)	(6.2)	2.8	1/2弱		○		○		橙	白針、雲母
21	土器	ロクロ かわらけ・大	(12.2)	7.8	3.6	口3/4 欠		○		○		橙	白針、雲母
22	土器	ロクロ かわらけ・大	12.2	7.5	3.8	口一部 欠	145	○		○		橙	白針、雲母
23	土器	ロクロ かわらけ・大	14.9	9.4	3.9	3/4		○		○		黄橙	白針、雲母
24	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	—	—	[9.3]	口小片						赤褐	砂粒、長石粒 内面やや磨耗
25	瓦質土器	風炉ヵ	—	—	[4.4]	口小片						灰白	口縁外面に横位の凸帯文が二条、その間に花菱文スタンプ 体上部に弧状スリット
26	石製品	砥石	長さ [11.3]	幅 3.2	厚さ 1.8	下端欠						明灰	上野産　中砥ヵ 側面に刃物痕
27	石製品	砥石	長さ [6.8]	幅 3.7	厚さ 2.9	下端欠						明灰	上野産　中砥ヵ 側面に刃物痕(鋸引き痕か)
3面													
28	土器	ロクロ かわらけ・大	(11.5)	(6.3)	3.2	1/3		○		○		黄橙	白針、雲母 内外面黒色に変色（焦げ）
3～4面													
29	土器	ロクロ かわらけ・小	(6.9)	(3.7)	2.1	1/2弱		○		○		橙	白針、雲母
30	土器	ロクロ かわらけ・小	(7.5)	4.8	2.0	1/3		○				黄橙	白針、雲母
31	土器	ロクロ かわらけ・中	10.2	6.7	2.9	1/2		○				黄橙	雲母
32	土器	ロクロ かわらけ・中	10.8	6.4	3.1	1/2		○		○		黄橙	白針、雲母
33	陶器	常滑 転用陶片	長さ 8.0	幅 7.6	厚さ 1.2	完形	122					褐	甕片を研磨具として整形ヵ 研磨具としての使用痕なし

遺物番号	種別	器種	法量（cm）			残存率	重量	内底面調整		外底面圧痕		色調	出土遺構・胎土ほかの特徴
			口径	底径	器高		(g)	ナデ	ザラ状	板状	スノコ状		
4面													
34	土器	ロクロ かわらけ・小	7.5	5.6	1.6	完形	52	○		○		黄橙	白針、雲母
35	土器	ロクロ かわらけ・小	7.6	5.7	1.5	2/3		○		○		黄灰	4面土坑1　白針、雲母
36	土器	ロクロ かわらけ・小	7.2	4.8	2.3	ほぼ完形	47	○		○		黄灰	4面土坑1　白針、雲母
37	土器	ロクロ かわらけ・小	7.0	4.4	2.0	1/2		○		○		橙	4面土坑1　白針、雲母
38	土器	ロクロ かわらけ・大	12.8	7.5	3.5	完形	159	○		○		橙	白針、雲母
39	土器	ロクロ かわらけ・大	12.2	7.3	3.5	1/2		○		○		橙	白針、雲母
40	土器	ロクロ かわらけ・大	13.0	6.0	3.8	3/5		○				橙	白針、雲母
4面下													
41	土器	ロクロ かわらけ・小	(6.6)	(4.7)	1.5	1/3		○		○		橙	白針、雲母
42	土器	ロクロ かわらけ・小	(7.2)	(5.6)	1.6	2/5		○		○		黄橙	白針、雲母　外面に強いナデ
43	土器	ロクロ かわらけ・小	7.5	5.0	1.7	ほぼ完形	57	○				橙	白針、雲母
44	陶器	瀬戸 入子	4.3	2.6	1.2	完形	14	○				灰	小石粒含む 口縁内面に自然釉
出土遺物(2)(図13)													
5面													
45	土器	ロクロ かわらけ・小	7.0	4.2	2.2	1/2		○		○		橙	白針、雲母
46	土器	ロクロ かわらけ・小	7.8	5.5	1.9	1/2		○				黄橙	白針、雲母
47	土器	ロクロ かわらけ・大	(12.7)	(6.6)	3.7	1/3		○		○		黄橙	白針、雲母
5～6面													
48	陶器	常滑 甕	(41.6)	—	(38.8)	上位 1/3						灰	5ｂ面下土坑1　6ａ型式 砂粒、長石　肩部にスタンプ 上部内外面に自然釉
6面													
49	陶器	常滑 甕	—	—	[4.3]	口小片						灰	6面井戸1　砂粒、長石 内外面自然釉
6面下													
50	土器	ロクロ かわらけ・小	8.9	7.0	1.4	1/2		○		○		灰黄	白針、雲母
51	土器	ロクロ かわらけ・小	(9.2)	(7.7)	1.6	1/4		○				橙	6面下土坑2 白針、雲母
52	土器	ロクロ かわらけ・大	11.9	7.8	3.0	ほぼ完形	162	○		○		黄橙	白針、雲母
53	土器	ロクロ かわらけ・大	(12.0)	7.5	3.1	口欠		○		○		橙	白針、雲母
54	土器	ロクロ かわらけ・大	(11.9)	(7.8)	2.9	1/4		○		○		橙	白針、雲母
55	土器	手づくね かわらけ・大	12.4	—	3.4	3/4		○		○		黄灰	白針、雲母
56	陶器	常滑 突帯文付壺	—	—	[7.5]	胴小片						灰	砂粒、長石　外面自然釉
57	陶器	常滑 甕	—	—	[7.4]	口小片						灰	6a～6ｂ型式 砂粒、長石　内外面自然釉
58	瓦	平瓦	—	—	厚さ 2.2～ 2.8	狭端面 一部						灰	6面下土坑2　砂粒、白色粒 永福寺女瓦D類の一種ヵ 凸面板ナデ　凹面離れ砂
59	土器	土師器 坩ヵ	(11.6)	—	(4.4)	口小片						橙	粗砂多、角閃石
60	土器	弥生土器 壺	—	—	[3.0]	胴小片						橙	小礫粒　外面単節LR縄文 +ヘラミガキ、赤彩

を直線的ないし外方に立ち上げている。3面～5面では、身深で内湾器形の資料が主体となり、3面下の31・32は口径が10cm台で中皿といえる。3面の出土品としては28の1点のみを提示したが、2面下のかわらけとは器形の印象が明らかに異なる。6面下では大皿・小皿ともに低平な資料が主体となり、1点のみだが手づくね大皿も図示できた（55）。かわらけ以外の陶磁器類は少なく、年代特定の根拠は薄弱だが、常滑製品では2面下に9～10型式の片口鉢Ⅱ類（24）が、6面下に6型式の甕（57）があり、それぞれ15世紀代と13世紀後半頃という、大よその年代観を示している。

表３　出土遺物カウント・計量表

面・層位①

面・層位	土器(かわらけ)										白色土器		土器			
	ロクロ						手づくね				小片		鍔釜		燭台	
	大		小		不明		大		小							
表土～1面	59	*753*	5	*47*	118	*513*										
1面下	201	*3142*	32	*434*	196	*852*										
2面下	172	*4585*	55	*568*	518	*2740*					1	*4*	1	*9*	1	*108*
3面下	215	*2637*	48	*438*	364	*1245*					1	*2*				
4面下	91	*1162*	27	*206*	188	*691*										
5a面下	51	*428*	14	*136*	79	*230*	1	*10*								
5b面下	35	*355*	3	*19*	175	*421*	2	*11*								
6面下	41	*806*	7	*156*	45	*156*	19	*235*	4	*27*						
帰属不明	41	*518*	7	*97*	6	*19*	1	*10*								
合計	906	*14386*	198	*2101*	1689	*6867*	23	*266*	4	*27*	2	*6*	1	*9*	1	*108*

面・層位	白磁								青白磁		龍泉窯系青磁							
	口禿皿(IX類)		口禿碗(IX類)		印花文皿(X類)		碗・皿		碗・皿		蓮弁文碗(IIorIII類)		蓮弁文碗(II類)		劃花文碗(I類)		折縁皿(坏III類)	
表土～1面											1	*4*						
1面下																		
2面下			1	*10*			1	*1*							2	*10*		
3面下							1	*1*					2	*16*			1	*5*
4面下	1	*4*			1	*3*					1	*7*	1	*7*				
5a面下													1	*2*				
5b面下	1	*3*					1	*1*										
6面下															1	*10*		
帰属不明											2	*20*						
合計	2	*7*	1	*10*	1	*3*	3	*3*			4	*31*	4	*25*	3	*20*	1	*5*

面・層位	瀬戸													
	卸皿		天目碗		折縁皿		直縁大皿		碗		入子		瓶類	
表土～1面									1	*5*				
1面下			1	*26*	2	31					1	*2*	1	*23*
2面下	1	*16*			1	48	2	*21*						
3面下											3	*33*		
4面下											1	*14*		
5a面下											1	*1*		
5b面下														
6面下														
帰属不明														
合計	1	*16*	1	*26*	3	*79*	2	*21*	1	*5*	6	*50*	1	*23*

面・層位	渥美・湖西		尾張・常滑											
	甕		甕		壺		山茶碗		片口鉢				転用片	
									I類		II類			
表土～1面			1	*33*										
1面下	4	*405*	6	*325*							1	*68*		
2面下			30	*1585*					1	*17*	5	*279*		
3面下			9	*371*							1	*18*	1	*123*
4面下			7	*166*					1	*14*	1	*33*		
5a面下	1	*26*												
5b面下			42	*2851*					3	*38*				
6面下			28	*2507*	2	*146*	1	*14*	3	*55*				
帰属不明			3	*147*										
合計	5	*431*	126	*7985*	2	*146*	1	*14*	8	*124*	8	*398*	1	*123*

凡例：各器種とも左の数値は破片点数、右の斜体数値は重量（g）を表す。

面・層位	瓦質土器							
	火鉢		火鉢Ⅱ類(B類)		火鉢Ⅴ類(E類)		火鉢Ⅵ類(F類)	
表土～1面								
1面下	4	*119*	1	*122*			1	*75*
2面下	1	*21*			1	*48*		
3面下								
4面下								
5a面下								
5b面下								
6面下								
帰属不明							1	*73*
合計	5	*140*	1	*122*	1	*48*	2	*148*

面・層位	瓦													
	平瓦								丸瓦						軒桟瓦カ	
	平瓦		A類		C類		F類		A類		B類		C類			
表土～1面																
1面下															1	*67*
2面下					1	*382*										
3面下																
4面下																
5a面下	1	*10*														
5b面下			1	*165*									1	*142*		
6面下			4	*974*	1	*274*	1	*51*	1	*100*	1	*52*	1	*99*	1	*52*
帰属不明																
合計	1	*10*	5	*1139*	2	*656*	1	*51*	1	*100*	1	*52*	2	*241*	2	*119*

面・層位	銅製品		鉄製品		石製品						骨	貝
	銭		釘		碁石		砥石		上野産中砥		獣骨	ウミニナ
表土～1面	1	*3*	1	*8*					1	*19*		
1面下			2	*28*								
2面下	1	*3*	1	*11*			1	*90*	1	*125*		
3面下	1	*1*									1	
4面下					1	*4*						1
5a面下												
5b面下												
6面下	1	*3*										
帰属不明												
合計	4	*10*	4	*47*	1	*4*	1	*90*	2	*144*	1	1

面・層位	土師器								近代土器		近代陶器		ガラス	
	甕		壷		坩・鉢		不明		焜炉?		壷		瓶	
表土～1面					1	*17*					1	*15*	1	*27*
1面下														
2面下														
3面下														
4面下	1	*5*												
5a面下	46	*377*												
5b面下	3	*34*	2	*27*	1	*5*	6	*23*						
6面下	6	*146*	6	*97*	2	*42*								
帰属不明									1	*70*				
合計	56	*562*	8	*124*	4	*64*	6	*23*	1	*70*	1	*15*	1	*27*

地区	面	遺構・層位	かわらけ											
			ロクロ						手づくね					
			大		小		不明		大		小		不明	
Ⅰ	1面	撹乱	5	*53*	1	*17*	32	*132*						
Ⅰ	2面	竪穴状遺構	51	*920*	20	*253*	71	*247*	2	*22*	1	*7*	2	*7*
Ⅰ	4面	面上	2	*150*	2	*113*								
Ⅰ	4面	土坑1(井戸)	37	*655*	15	*244*	21	*71*						
Ⅰ	4面	礎石A下ピット			4	*9*								
Ⅱ	4面	P-3					4	*10*			1	*1*		
Ⅱ	4面	集石	4	*30*			4	*15*						
Ⅱ	5b面	溝1	1	*7*			3	*7*						
Ⅱ	5b面	P-2	1	*12*			2	*3*						
Ⅱ	5b面	P-8			1	*32*								
Ⅱ	5b面	切石抜き取り穴					2	*6*						
Ⅱ	5b～6面	土坑1			1	*3*								
Ⅱ	6	井戸1	6	*29*	1	*8*	4	*8*						

地区	面	遺構・層位	青白磁		龍泉窯系青磁						尾張・常滑			
			水注		蓮弁文碗(Ⅲ類)		折縁皿(坏Ⅲ類)		碗・皿		甕		片口鉢Ⅰ類	
Ⅰ	1面	撹乱												
Ⅰ	2面	竪穴状遺構			1	*5*	2	*8*	1	*3*	3	*242*	1	*29*
Ⅰ	4面	面上												
Ⅰ	4面	土坑1(井戸)	1	*5*							3	*105*		
Ⅰ	4面	礎石A下ピット												
Ⅱ	4面	P-3												
Ⅱ	4面	集石									1	*44*		
Ⅱ	5b面	溝1												
Ⅱ	5b面	P-2												
Ⅱ	5b面	P-8												
Ⅱ	5b面	切石抜き取り穴												
Ⅱ	5b～6面	土坑1									1	*7960*		
Ⅱ	6	井戸1									4	*315*		

地区	面	遺構・層位	東濃		瓦質土器				瓦			
			山茶碗		火鉢		火鉢B(Ⅱ類)		平瓦A類		丸瓦A類	
Ⅰ	1面	撹乱										
Ⅰ	2面	竪穴状遺構			1	*32*	1	*27*	1	*194*	2	*186*
Ⅰ	4面	面上										
Ⅰ	4面	土坑1(井戸)	1	*13*								
Ⅰ	4面	礎石A下ピット										
Ⅱ	4面	P-3										
Ⅱ	4面	集石										
Ⅱ	5b面	溝1										
Ⅱ	5b面	P-2										
Ⅱ	5b面	P-8										
Ⅱ	5b面	切石抜き取り穴										
Ⅱ	5b～6面	土坑1										
Ⅱ	6	井戸1										

遺構②

地区	面	遺構・層位	鉄製品		石製品		土師器				骨	
			釘		滑石		甕		壺		獣骨	イルカ骨
					不明							
Ⅰ	1面	撹乱										
Ⅰ	2面	竪穴状遺構	1	*14*	1	*26*						
Ⅰ	4面	面上										
Ⅰ	4面	土坑1(井戸)	1	*32*			1	*13*			5	*2*
Ⅰ	4面	礎石A下ピット							1	*4*		
Ⅱ	4面	P-3					1	*43*				
Ⅱ	4面	集石										
Ⅱ	5b面	溝1										
Ⅱ	5b面	P-2										
Ⅱ	5b面	P-8										
Ⅱ	5b面	切石抜き取り穴							1	*12*		
Ⅱ	5b～6面	土坑1										
Ⅱ	6	井戸1										

確認調査時

面・層位	土器(かわらけ)						青白磁		龍泉窯系青磁				土師器	
	ロクロ						碗・皿		蓮弁文碗(ⅡorⅢ類)		蓮弁文碗(Ⅱ類)		甕	
	大		小		不明									
確認調査1・2面下?	12	*222*	2	*26*	3	*8*					1	*9*		
確認調査3面下?			5	*41*			1	*1*	1	*3*				
確認調査6面下?													2	*28*
合計	12	*222*	7	*67*	3	*8*	1	*1*	1	*3*	1	*9*	2	*28*

第五章　調査成果のまとめ

今回は41㎡と狭小な範囲の調査となったが、大きく6枚の中世遺構面を確認でき、鎌倉～南北朝・室町時代における比較的整然とした土地利用の変遷を捉えることができた。以下、出土遺物から各面の年代観を考察しつつ、遺構変遷を振り返りたい。併せて、5a面で検出された玉石敷き面についても、周辺調査での類例を参考としながら若干の検討を加えたい。

第1節　遺構の年代観と変遷

1面は表土直下での検出となり、明確な遺構の確認には至らなかった。2面ではⅠ区東端部で竪穴状遺構を確認した。1面と2面の構築は大型の泥岩ブロックを用いた乱雑な盛り土造成によって行われており、3面の泥岩を隙間なく突き固めた丁寧な整地状況とは様相を異にしていた。出土遺物の面でも、2面下と3面以下とではかわらけの器形が明らかに異なることから、両者間には土地の利用状況に一定の断絶があった可能性も想定できる。2面と2面下出土のロクロかわらけは、大皿が外傾～外反器形を呈する資料が主体であり、小皿は身深で体部下位に丸みを帯びた器形が多い。資料数は少ないながらも、ともに上層に向かうにつれて器壁が厚くなる傾向が看取できる。大よそ、14世紀後葉～15世紀前半の様相と理解できよう。

3面では調査区の西縁部で安山岩と凝灰岩切石が面上に据わっており、両石間は220㎝の距離がある。これ以外は遺構が全く検出されなかったので両石の性格付けはできないが、調査区外の西と南に礎石列となって続いていたと仮定しても、先行する4面建物の軸線を踏襲していたものと見なせ不自然な印象は受けない。ただ、3面～4面の盛り土は比較的厚く、ここを土地利用上の画期とも見なし得るので、この間に継続性を見出すべきか、それとも多少の断絶があったと考えるべきか、両方の可能性を示して周辺調査成果の蓄積を待つことにしたい。ひとまず、上下遺構面との関係から、14世紀中頃の年代を当てておく。

4面では柱間スパンが200㎝の掘立柱建物が検出され、同位置での礎石建物への造り替えが行われた可能性もある。掘立柱建物は1間×2間以上の柱列として確認できたのみで、調査区外には如何ほどの規模で展開するのか定かでない。柱間のスパンから建物と考えたが、区画・遮蔽施設であった可能性もあり得る。他に、井戸と見なせる平面方形の筒形土坑が検出されている。3面下～4面の出土かわらけはロクロ成形品で占められ、身深で内湾する坏形の資料が主体となり大・中・小の三法量がある。小皿には坏形の他、低平な個体も含まれる。伴出する陶磁器が僅少であるため年代判定の根拠とすべき資料を欠いているが、上下の遺構面との関係から、14世紀前葉頃を考えておきたい。

5面は整地状況から2段階に区分でき、上層の5a面ではⅡ区を中心に玉石敷き面が広がっていた。これに先行する5b面では、Ⅱ区で玉石敷きに被覆された2時期の切石列が検出され、Ⅰ区ではこれと直交方向に並ぶ切石列が5a面段階でも玉石敷きに覆われない形で残存していた。従って、5b～5a面には時間的連続性を想定でき、Ⅱ区側では玉石敷きによる整地の更新が行われたものと理解している。玉石敷きを除去すると5b面の直上で薄い炭層の堆積が認められたので、近傍での火災が再整地の理由とも推測できる。両切石列は調査区南東外でL字に屈曲する可能性があり、その場合には基壇状施設の南東角と見立てることができる。Ⅱ区切石列は西端部分が小規模な溝（溝1）に切られ、これに沿って

切石列が延びていた痕跡（硬化面）も確認されている。また、溝1や硬化面を切るピットは建物または柱穴列に復元することも可能で、5b面から5a面へと続く間には、整地や区画施設の更新が頻繁に実施されたことを物語っている。

5b面下では常滑甕片を廃棄した土坑1基を、6面上ではⅡ区5b面の切石列の下位で平面3ｍ四方に復元できる井戸1基が検出された。井戸は岩盤層を掘り抜いているが、この直ぐ北東側は岩盤面自体が急激に落ち込んでいるため検出できなかった。人為的開削ではなく、地滑りなど自然現象が成因と考えている。5面～6面下（岩盤上）の出土遺物は、常滑甕が5～6型式、かわらけはロクロ成形品が主体となる。ロクロかわらけは6面下では低平な大・小皿が主体だが、5面では身深の坏形も見受けられる。こうした様相から5～6面を13世紀後半～14世紀初頭と捉え、当地点での土地利用開始期と考えたい。

本地点は釈迦堂ヶ谷の開口部に立地し、第一章で触れた推定「田楽辻子」に接した位置に所在する。しかしながら、釈迦堂の創建年代（嘉禄元年＝1225）や『吾妻鏡』における「田楽辻子」の初見記事とされる13世紀前葉の生活痕跡を確認することはできず、13世紀後半という鎌倉時代後期に土地利用が活発化する様子が見て取れた。谷戸の開口部という立地条件にあり、調査区の北半部は岩盤層が急激に落ち込む不安定な土地柄であったことが、土地利用の後れに繋がったことも考えられる。釈迦堂ヶ谷での調査事例は限られているが、13世紀前半まで遡る遺構の検出例は僅少である。この時期、谷戸内の土地利用は安定した自然地形（平場）を選択した局所的なものであったのかもしれない。

第2節　5a面の玉石敷きについて

最後に、5a面で検出された玉石敷きについて再び触れておく。第一章でも述べたように、玉石敷きの類例は図1-地点5で13世紀中頃～後半の事例として確認でき（森2009）、地点1でも15世紀以降の玉石面に加え、平面的な広がりは不明確としながらも、さらに下位の層序にも玉石敷き面が存在すると報告されている（手塚・田畑1990）。また、遺跡地は公方屋敷跡になるが、この中の一地点（73㎡）でも13世紀中葉～後葉とされる5面において玉石敷きによる整地範囲が確認されている（熊谷2006）。本地点も含め、狭小な面積での確認であるため他の建物などとの関連性は明らかにし得ないが、丁寧な整地と比較的整然とした遺構配置が連綿と続く様は各地点ともに共通しており、およそ武家屋敷の一角と見なせる有り様である。鎌倉時代後期といえるこの時期、浄明寺地区では屋敷地の一画を玉石敷きで飾ることが一種の流行であったとも考えられよう。

鎌倉後期の上級武家屋敷跡として著名な今小路西遺跡（御成小学校地点）の北谷3B面でも、「奥座敷」とも評された礎石建物の南前面に玉石敷きの庭が広がっており、14世紀前葉の年代が付与されている（河野ほか1990）。同建物の火災層中からは他に類を見ない輸入陶磁器の優品が出土し、また玉石敷きの南東限界部には六角井戸が設えられるなど、年代や居住者の格式といった諸点で浄明寺一帯の事例と同列には扱えない。それでも、屋地内に玉石敷きを施すことが鎌倉の武家社会の中で一定のステータスシンボルであったと理解することは可能であろう。今回は極めて限られた範囲の発掘調査であったが、鎌倉後期における当地点の居住者像を考察するにあたり、参考となる知見が得られたといえよう。

参考文献（刊行年順）

手塚直樹・田畑佐和子　1990『釈迦堂田楽辻子遺跡』釈迦堂田楽辻子遺跡発掘調査団

熊谷　満　2006「公方屋敷跡（No.268）　浄明寺四丁目273番地点」
『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書22（第2分冊）』鎌倉市教育委員会

森 孝子　2009「田楽辻子周辺遺跡の調査」『第19回鎌倉市遺跡調査・研究発表会 発表要旨』
特定非営利活動法人　鎌倉考古学研究所

1.　現地調査前（北東から）

2.　Ⅰ区　表土掘削状況（北西から）

3.　Ⅰ区　作業風景（東から）

4.　Ⅰ区 1 面　全景（西から）

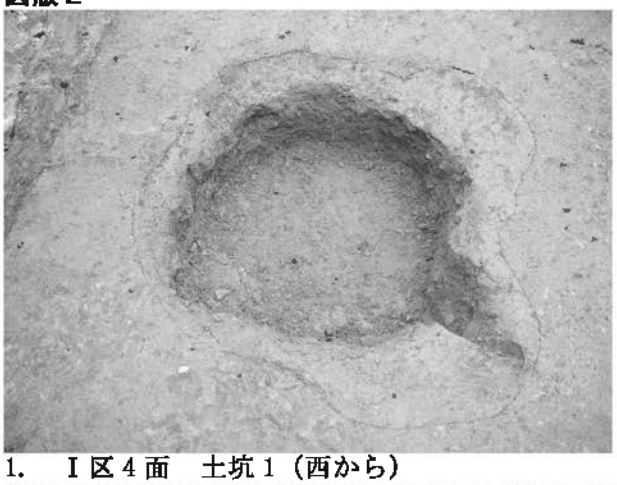
5.　Ⅰ区 2 面　全景（西から）

6.　Ⅰ区 2 面　南東隅遺物出土状況（北西から）

7.　Ⅰ区 3 面　全景（西から）

8.　Ⅰ区 4 面　全景（西から）

図版２



1.　Ⅰ区４面　土坑１（西から）

2.　Ⅰ区４面　土坑１断面（南から）

3.　Ⅰ区４面　土坑１（5面時、北から）

4.　Ⅰ区５面　全景（西から）

5.　Ⅰ区５面　礎石（東から）

6.　Ⅰ区５面　切石列（北から）

7.　Ⅰ区６面　全景（西から）

8.　Ⅰ区６面上　炭層範囲（北から）

1.　Ⅰ区６面調査時　２面の落ち込み（北から）

2.　Ⅰ区６面下　全景（西から）

3.　Ⅰ区西壁　土層断面（東から）

4.　Ⅰ区東壁　土層断面（北西から）

5.　Ⅰ区南壁　土層断面（北東から）

6.　Ⅰ区北壁　土層断面（南西から）

7.　Ⅰ区北東隅　６面下遺物出土状況（南から）

8.　Ⅰ区６面下トレンチ東壁土層断面（西から）

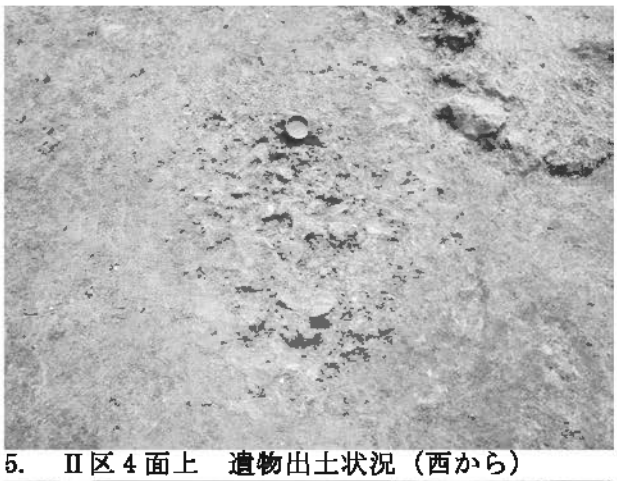
図版４

1.　Ⅱ区１面　全景（西から）

2.　Ⅱ区２面　全景（西から）

3.　Ⅱ区３面　全景（西から）

4.　Ⅱ区４面　全景（検出時、西から）



5.　Ⅱ区４面上　遺物出土状況（西から）

6.　Ⅱ区４面　全景（割れ石等除去後、西から）

7.　Ⅱ区　作業風景（南西から）

1.　Ⅱ区 5a 面　全景（西から）

2.　Ⅱ区 5a 面　玉砂利敷き面（北西から）

図版６

1.　Ⅱ区 5b 面　全景（炭層検出時、西から）

2.　Ⅱ区 5b 面　全景（西から）

1.　Ⅱ区5a面　柱穴列（6面調査時、北西から）

2.　Ⅱ区6面　全景（西から）

図版８

1.　Ⅱ区 5b 面　北側切石列落ち込み状況（6 面調査時、北から）

2.　Ⅱ区 6 面下　全景（岩盤検出時、西から）

1.　Ⅱ区 5b 面下～６面　土坑１　常滑甕片（南西から）

2.　同上、土層断面（南から）

3.　Ⅱ区６面下　岩盤以北（東から）

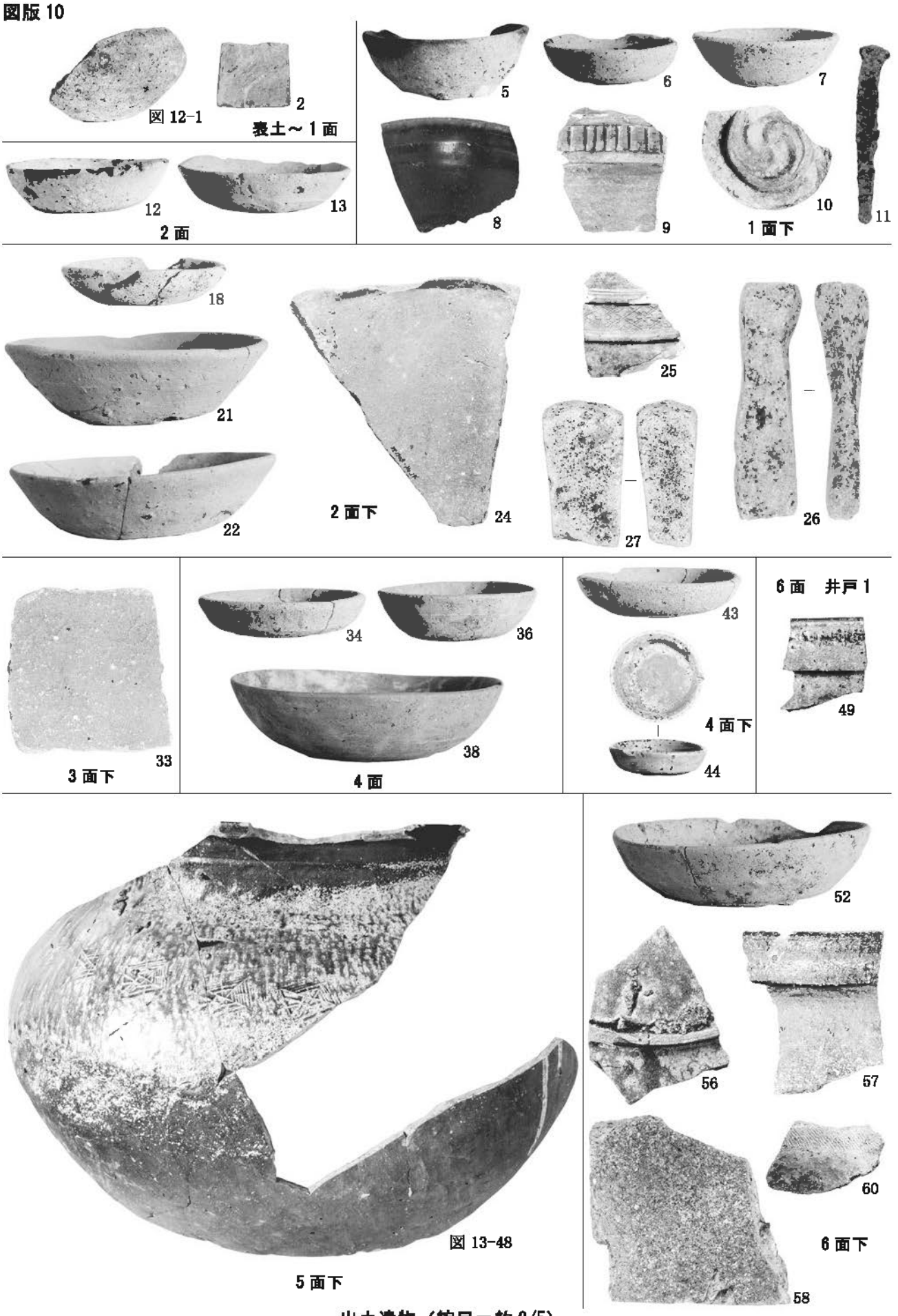
4.　Ⅱ区西壁　土層断面（北東から）

5.　Ⅱ区東壁　土層断面（西から）

6.　Ⅱ区西部南壁　土層断面（北から）

7.　Ⅱ区東部南壁　土層断面（北から）

図版 10



出土遺物（縮尺＝約 2/5）

報 告 書 抄 録

ふりがな	かまくらしまいぞうぶんかざいきんきゅうちょうさほうこくしょ
書名	鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書
副書名	平成３０年度調査報告
巻次	３５　（第２分冊）
シリーズ名	
シリーズ番号	
編著者	福田　誠／後藤　健／後藤　健／後藤　健／押木弘己
編集機関	鎌倉市教育委員会
所在地	〒２４８－８６８６　鎌倉市御成町１８番１０号
発行年月日	西暦２０１９年３月２９日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
なごえがやついせき 名越ヶ谷遺跡	神奈川県鎌倉市 大町三丁目 2354番1、6	14204	231	３５° １８’ ４８″	１３９° ３３’ ２４″	20110722 ～ 20111003	43.20	個人専用住宅 （鋼管杭工事）
こまちおおじひがしいせき 小町大路東遺跡	神奈川県鎌倉市 大町一丁目 1147番	14204	233	３５° １８’ ５９″	１３９° ３３’ １５″	20130523 ～ 20130906	70.00	個人専用住宅 （鋼管杭工事）
いまこうじにしいせき 今小路西遺跡	神奈川県鎌倉市 由比ガ浜一丁目 160番17	14204	201	３５° １９’ ００″	１３９° ３２’ ４０″	20140114 ～ 20140411	40.00	個人専用住宅 （鋼管杭工事）
いまこうじにしいせき 今小路西遺跡	神奈川県鎌倉市 由比ガ浜一丁目 160番8、10	14204	201	３５° １９’ ００″	１３９° ３２’ ３９″	20140522 ～ 20140919	49.00	個人専用住宅 （鋼管杭工事）
でんがくずししゅうへんいせき 田楽辻子周辺遺跡	神奈川県鎌倉市 浄明寺一丁目 590番2	14204	33	３５° １９’ １６″	１３９° ３３’ ５５″	20180216 ～ 20180426	41.06	店舗併用 個人専用住宅 （鋼管杭工事）

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
なごえがやついせき 名越ヶ谷遺跡	城館跡	中世・近現代	柱穴、土坑、井戸、切石列、溝状遺構	かわらけ、国産陶器、舶載陶磁器、木製品、金属製品、骨製品、石製品	近現代と13世紀後半～15世紀の生活面に柱穴等を確認。
こまちおおじひがしいせき 小町大路東遺跡	都市遺跡	中世	土坑、ピット、溝礎石建物、方形竪穴建物、井戸	かわらけ、国産陶器、舶載陶磁器、瓦、木製品、石製品、金属製品、骨製品	13世紀前半～14世紀前半の生活面に方形竪穴建物や礎石建物を確認。
いまこうじにしいせき 今小路西遺跡	城館跡	中世	土坑、ピット、溝状遺構	土師器、かわらけ、国産陶器、舶載陶磁器、木製品、金属製品、石製品	13世紀中頃～14世紀前半の土坑やピットを確認。人面を刻したかわらけが出土。
いまこうじにしいせき 今小路西遺跡	城館跡	中世・近現代	溝、土坑、ピット	土師器、須恵器、かわらけ、国産陶器、舶載陶磁器、瓦、木製品、金属製品、石製品	中世は13世紀中頃～14世紀後半の土坑、ピットを確認。かわらけ埋納遺構あり。
でんがくずししゅうへんいせき 田楽辻子周辺遺跡	城館跡	中世	掘立柱建物、井戸、切石列、溝、土坑、ピット	弥生土器、土師器、かわらけ、国産陶器、瓦、木製品、金属製品、石製品	13世紀後半～15世紀前半の掘立柱建物、玉石敷きの整地や切石列を確認。

鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書　３５
平成３０年度発掘調査報告
（ 第 ２ 分 冊 ）

発 行 日　平成３１年３月２９日

編集・発行　　鎌倉市教育委員会
印　　刷　　文一堂印刷株式会社